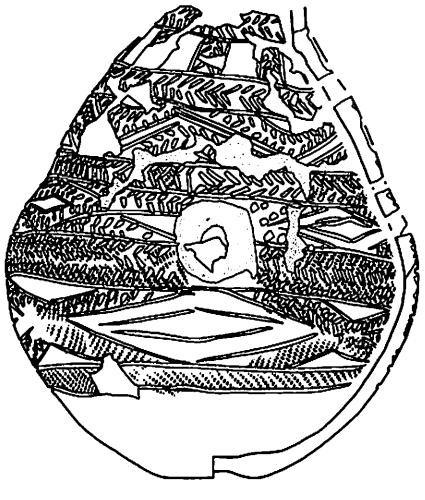
北埋調報 134

千 歳 市

キウス４遺跡（３）

―北海道横断自動車道（千歳～夕張）埋蔵文化財発掘調査報告書―



平成 9・10 年度

財団法人　北海道埋蔵文化財センター

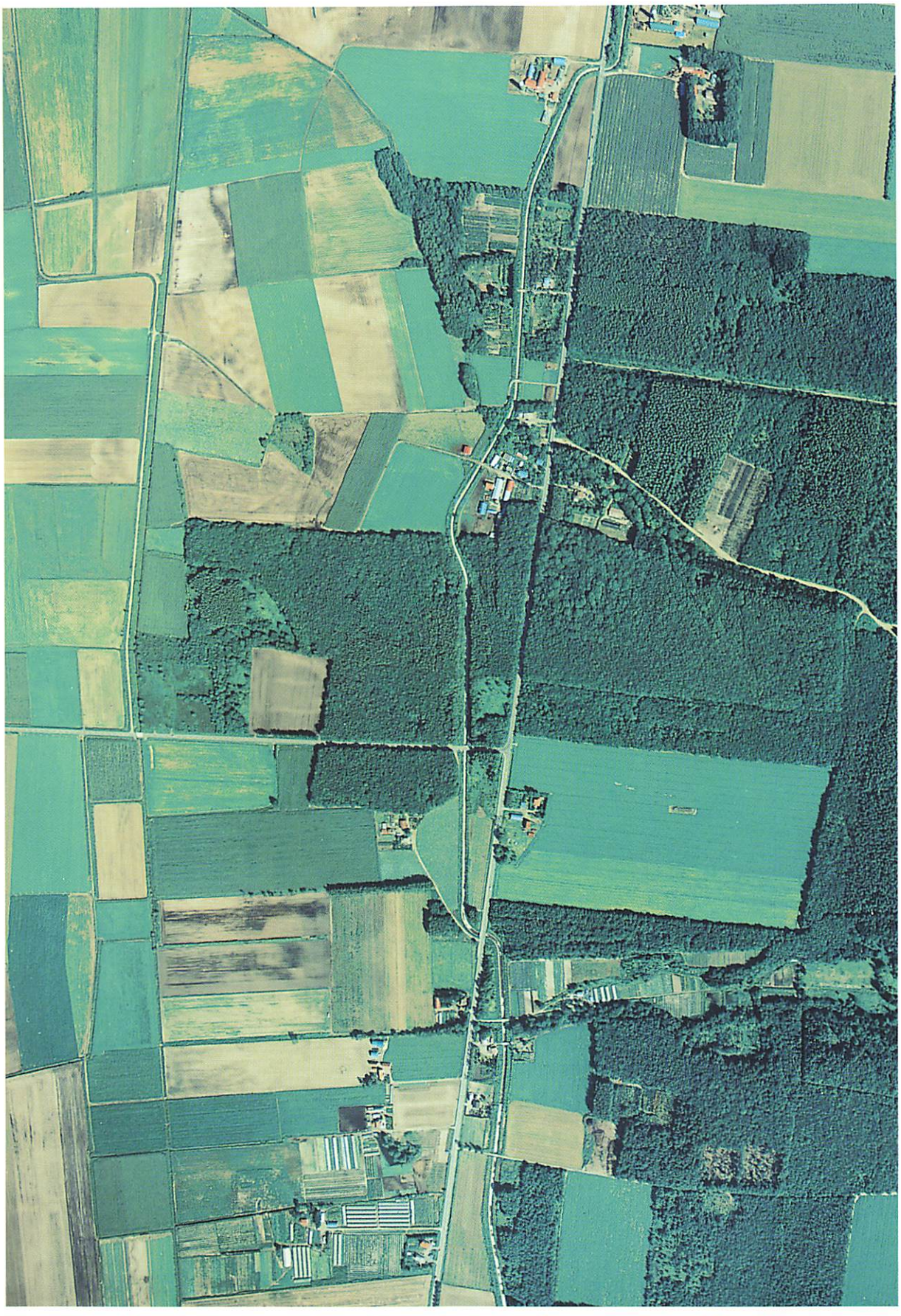
千 歳 市

キウス４遺跡（３）

―北海道横断自動車道（千歳～夕張）埋蔵文化財発掘調査報告書―

平成 9・10 年度

財団法人　北海道埋蔵文化財センター



1　遺跡全景（国土地理院空中写真による）



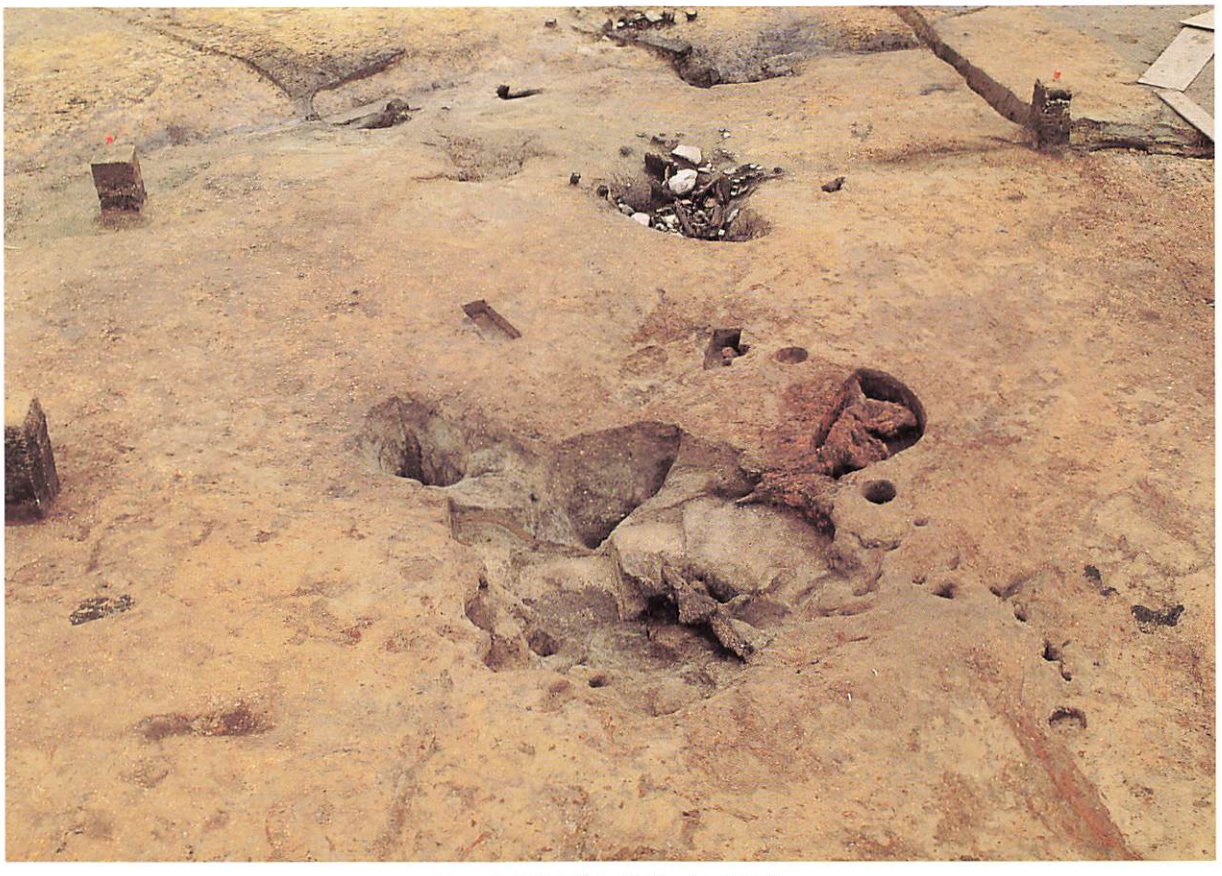
1　調査区全景（Ａ地区北部分）



2　調査区全景（Ａ地区南部分）



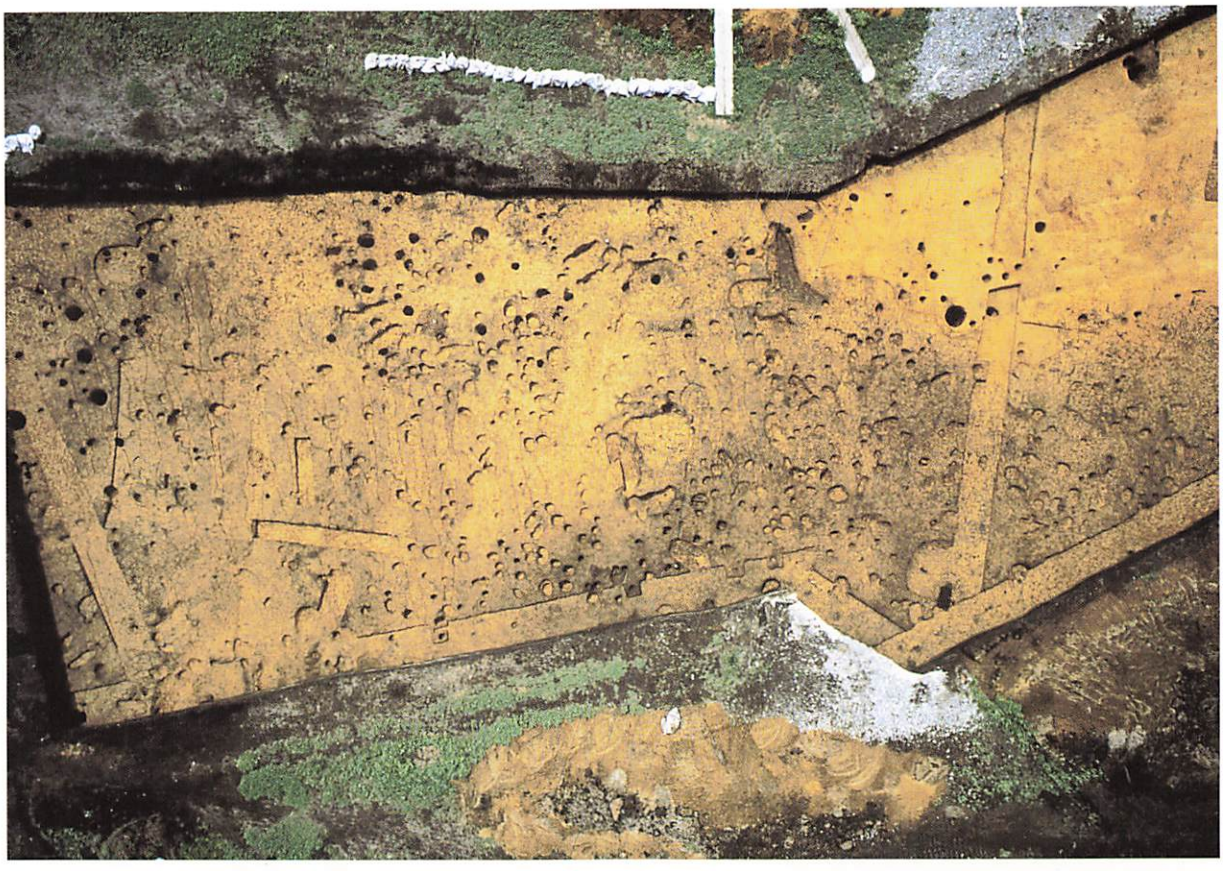
1　早・前期住居跡群（A 地区）



2　水場遺構土壙群（A 地区）



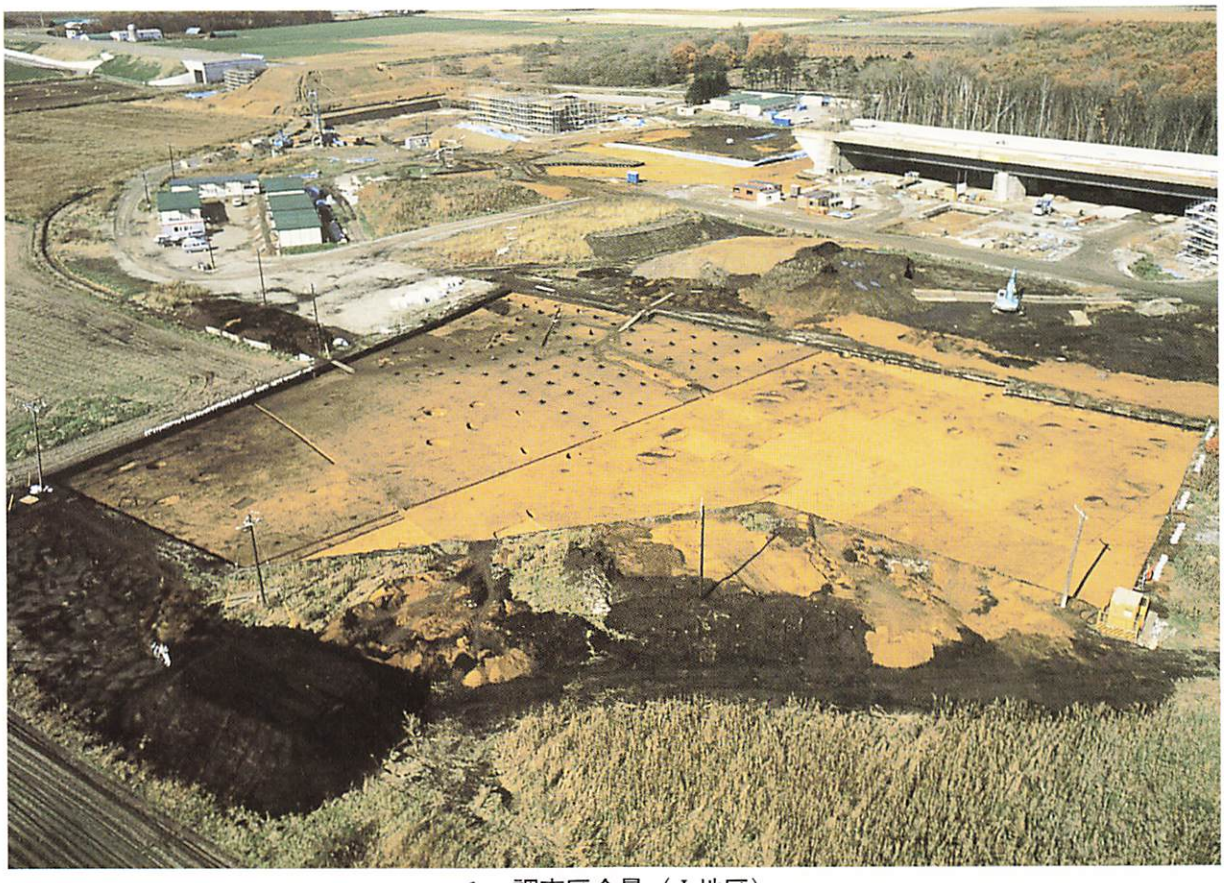
1　調査区全景（H地区）



1　柱穴群（H地区）



2　調査区全景（K地区）



1　調査区全景（Ⅰ地区）



2　盛土遺構土層断面（Ⅰ地区）



1　後期の土器群（A 地区）



2　後期の土器群（I 地区）



1　水場遺構出土土器群（ALP-2）



2　水場遺構出土土器群（ALP-3・4）



1　前期の土器群（A 地区）



2　早期の土器群（A 地区）



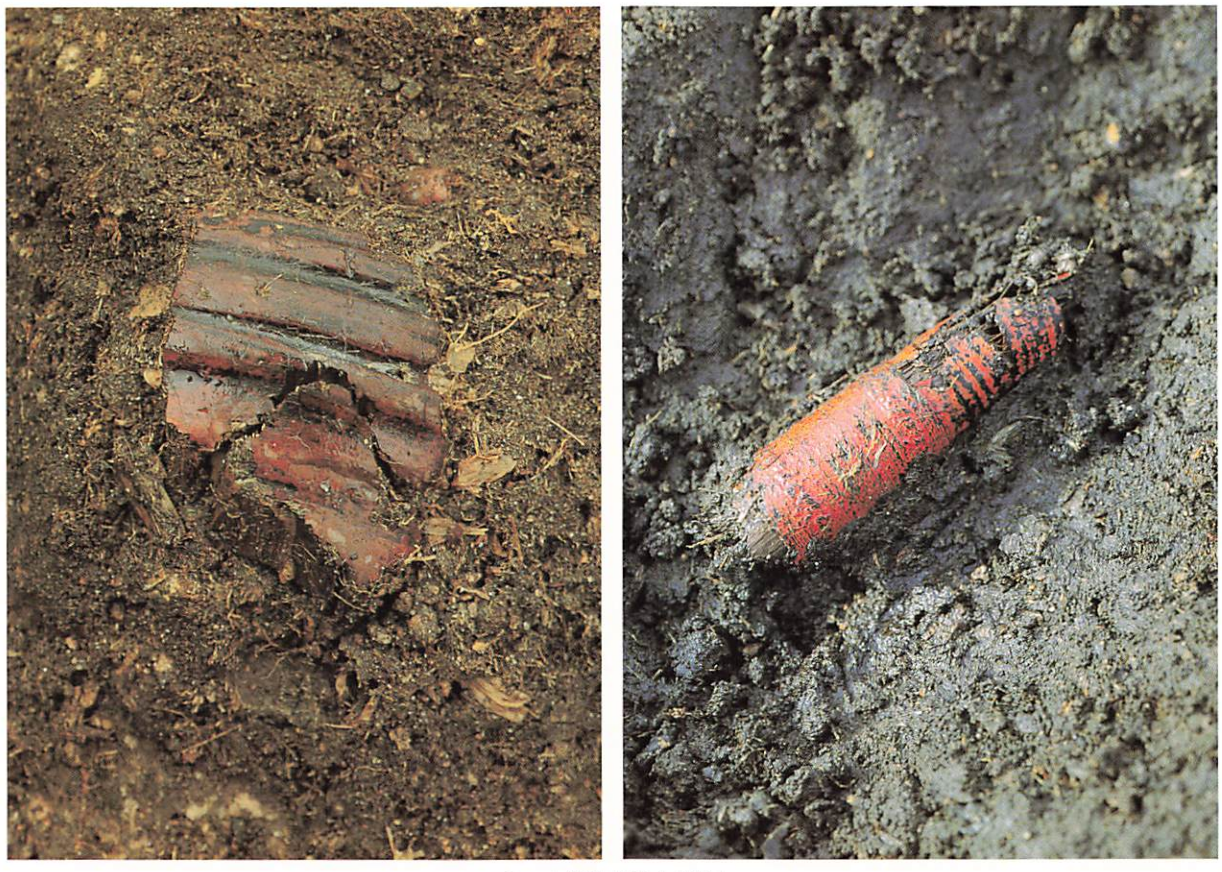
1　赤彩土器（H・I 地区）



2　赤彩土器（A 地区）



1．朱塗りの木製品



2．木製品出土状況

例　言

1．本書は北海道横断自動車道建設に伴い、財団法人北海道埋蔵文化財センターが平成９年度に発掘を実施した千歳市キウス４遺跡Ａ・Ｈ・Ｋ・Ｉ地区の埋蔵文化財発掘調査報告書である。整理作業は平成10年度に行った。なお、キウス４遺跡の地区名については、Ｉ章で説明しているが、平成７年度にもＡ地区と呼称して調査した地区があり、同じ遺跡の中で地区名が重複するが、今回報告するのは平成９年度に調査したＡ地区であることをお断りする。

2．平成９年度の発掘及び、平成10年度の整理は、第２調査部第３調査課が担当した。

3．木製品の整理作業は第１調査部資料調査課の田口尚、倉橋直孝が担当した。

4．本書の執筆は佐川俊一、和泉田毅、藤井浩、山中文雄、袖岡淳子、阿部明義、田口尚が行った。

5．整理作業の担当は下記のとおりである。
土器（藤井・山中）、石器（和泉田・藤井・玉邑）、木製品（佐川）
遺構（担当調査員）、フローテーション資料（藤井）

6．現場の写真撮影は各調査員が行った。遺物の写真撮影は土器・石器をクリーク写真事務所の佐藤雅彦氏に委託、木製品は資料調査課の菊池慈人が行った。

7．現場の空中写真撮影、トータルステーションによる遺物の取り上げ・遺構の実測は(株)シン技術コンサルに委託した。

8．放射性炭素による年代測定は京都産業大学山田治氏及び(株)地球科学研究所に委託した。

9．花粉分析、珪藻分析、植物珪酸体分析はパリノ・サーヴェイ(株)に委託した。

10．動物遺存体の同定は千歳サケのふるさと館の高橋理氏に依頼した。

11．炭化植物種子の同定は札幌国際大学の吉崎昌一氏、北海道大学埋蔵文化財調査室の椿坂恭代氏に委託した。

12．朱塗り木製品の分析については北海道開拓記念館の小林幸雄氏に依頼した。

13．木製遺物の樹種同定は、農林水産省森林総合研究所の平川泰彦氏指導のもと、第１調査部資料調査課の岡本育子が行った。

14．黒曜石製遺物の原材産地分析については、京都大学原子炉実験所の藁科哲男氏に委託した。

15．石器などの石材鑑定は、第１調査部資料調査課花岡正光の指導のもと玉邑肇章、和泉田毅、藤井浩が行った。

16．テフラのEPMA分析はジオサイエンス株式会社に委託した。

17．調査にあたっては、下記の諸機関および人々の御協力、御助言をいただいた（順不同、敬称略）。
文化庁、北海道教育委員会、北海道開拓記念館　山田悟郎・小林幸雄・赤松守雄・平川善祥・右代啓視、北海道開拓の村　野村崇、千歳市埋蔵文化財センター　大谷敏三・田村俊之・豊田宏良・遠藤昭浩・松田淳子、千歳サケのふるさと館　髙橋理、恵庭市教育委員会　上屋真一・松谷純一・森　秀之・佐藤幾子・長町弘章、北広島市教委員会　遠藤龍畝、平取町教育委員会　森岡健治・長田佳弘、余市町教育委員会　宮　宏明、静内町郷土館　薮中剛司、えりも町郷土資料館　ほろいずみ　中岡利泰、北海道文化財保護協会　竹田輝雄・長谷川徹・森本蕉、函館市北方民族資料館　長谷部一弘・野村祐一、岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　佐々木嘉直・伊藤　拓・中川重紀、福島県立博物館　森幸彦、新潟県新発田市教育委員会　田中耕作

記号等の説明

1．遺構は以下の記号によって表記し、原則として発掘調査順に番号を付した。

M：盛土遺構　MF：盛土遺構中の焼土　H：竪穴住居跡　HP：住居跡の付属ピット
P：土壙　SP：小土壙　KP：杭の残存しているピット　F：焼土
（L：樽前c火山灰より下層の遺構、U：樽前c火山灰より上層の遺構）

2．遺構図はグリッド線に従い、方位記号を付した。真北は南北方向の基線に対して西偏19度3分20秒である。レベルは標高（単位m）を示す。

3．遺構の規模は「確認面での長軸長×短軸長／床(底)面での長軸長×短軸長／確認面からの最大深」の順で記した。一部、破壊されているものについては現存長を(　)で、不明のものは(－)で示した。

4．掲載した実測図等の縮尺は原則的に以下のとおりとし、スケールを付した。

遺構実測図	1：40，1：80	土層断面図	1：40，1：80
土器実測図	1：4	土器拓影図	1：3
剝片石器実測図	1：2	礫石器実測図	1：3
土製品・石製品	1：2，1：3	木製品	1：2，1：3，1：4

5．出土遺物分布図の表示は、遺物の種類別に以下の記号で示した。

●：土器　▲：剝片石器　▼：礫石器　■：礫　☆：土製品、石製品

6．赤色顔料付着の土器片の赤彩部分、木製品の炭化部分はスクリーントーンで示した。

7．土層の混在状態は、基本土層などを用いて下記のように表している。

A＋B：AとBがほぼ同量混じる
A＞B：AにBが少量混じる
A≫B：AにBが微量混じる
A≒B：ほぼ等しく混じる

8．土層の色調は『新版標準土色帖』（小山・竹原1967）を使用し、カラーチャートの番号を付したものがある。

9．土層の記述には、下記の記号・略称を用いた場合がある。

Ta-a　：樽前a降下軽石堆積物
Ta-c　：樽前c降下軽石堆積物
B-Tm：白頭山－苫小牧火山灰
En-a　：恵庭a降下軽石堆積物
En-L　：恵庭a降下軽石堆積物起源のローム層
En-P　：恵庭a降下軽石堆積物のうち未風化の軽石礫

目　次

口　絵（カラー写真）
例　言
記号等の説明
目　次
挿図目次
表目次
図版目次（第１分冊）

Ⅰ　調査の概要…… 1
　1　調査要項…… 1
　2　調査体制…… 1
　3　調査に至る経緯…… 1
　4　調査結果の概要…… 5
Ⅱ　遺跡の環境…… 7
　1　遺跡の位置と環境…… 7
　2　遺跡の地形…… 7
　3　遺跡の層序……10
　4　周氷河現象の観察……10
Ⅲ　調査及び報告の方法……15
　1　調査の方法……15
　　発掘区の設定……15
　　発掘調査の方法……15
　　フローテーション……15
　2　遺物の分類……15
　(1)　土　器……15
　(2)　石　器……16
　(3)　各種製品……16
Ⅳ　Ａ地区の調査……21
　1　概　要……21
　(1)　概　要……21
　(2)　土　層……24
　(3)　河道跡……35
　2　遺構と遺物……38
　(1)　盛土遺構……38
　(2)　住居跡……44
　(3)　水場遺構……81
　(4)　土壙・ピット群 ……104

(5) 焼　土 ……131
(6) 石斧集中 ……147
3　包含層の遺物 ……152
(1) 土　器 ……152
縄文早期・前期の土器 ……152
縄文時代後期以降の土器 ……176
(2) 石　器 ……205
(3) 木製品 ……223
Ⅲ層出土の木製品 ……223
Ⅴ層出土の木製品 ……231
4　小　括 ……243
Ⅴ　H・K地区の調査 ……245
1　概　要 ……245
2　H地区の遺構と遺物 ……250
(1) 盛土遺構 ……250
(2) 土壙状・柱穴状ピット群 ……261
(3) 住居跡 ……261
(4) 大型柱穴列 ……262
(5) 土　壙 ……269
(6) HLP の出土遺物 ……270
(7) 焼　土 ……275
(8) HUKP－1 ……275
3　K地区の遺構と遺物 ……277
(1) 土壙状・柱穴状ピット群 ……277
(2) 住居跡 ……277
(3) 大型柱穴列 ……277
(4) 土　壙 ……278
(5) 焼　土 ……278
(6) KLP の出土遺物 ……278
Ⅵ　Ⅰ地区の調査 ……301
1　概　要 ……301
2　遺構と遺物 ……312
(1) 盛土遺構 ……312
(2) 土　壙 ……343
(3) 焼　土 ……369
3　包含層の遺物 ……416
(1) 土器・土製品 ……416
(2) 石　器 ……426
4　小　括 ……445
(1) 遺　構 ……445

(2) 遺　物 ……447
Ⅶ　自然科学的手法による分析・鑑定 ……451
1　キウス４遺跡放射性炭素年代測定結果…… 451
2　キウス４Ａ遺跡の自然科学分析…… 452
3　千歳市キウス４遺跡出土木製遺物の樹種同定結果について ……486
4　キウス４遺跡出土の黒曜石製遺物の原材産地分析 ……493
5　千歳市キウス４遺跡Ａ・Ｈ・Ｋ地区出土動物遺存体 ……505
6　北海道キウス４遺跡Ａ・Ｈ・Ｉ・Ｋ地区から出土した縄文時代の植物種子 ……514
7　キウス４遺跡Ｉ地区から出土した遺構に残存する脂肪の分析 ……522
8　キウス４遺跡の完新世テフラについて ……536
9　キウス４遺跡（Ａ地区）出土漆製品の材質と技法 ……551
Ⅷ　集計・一覧 ……557

報告書抄録……

第２分冊
写真図版

挿図目次

第Ⅰ章

図Ⅰ－1　遺跡の位置…… 2
図Ⅰ－2　調査区設定図…… 4

第Ⅱ章

図Ⅱ－1　遺跡周辺の地形図…… 8
図Ⅱ－2　調査区周辺の地形図…… 9
図Ⅱ－3　土層柱状図及び周辺のテフラ分布……11
図Ⅱ－4　構造土の平面分布(H地区)……12
図Ⅱ－5　構造土の平面分布(Ⅰ地区)……13

第Ⅳ章

図Ⅳ－1　A地区遺構位置図……22
図Ⅳ－2　A地区遺構位置図……23
図Ⅳ－3　A地区基本層序……27
図Ⅳ－4　Ⅲ層上面地形図……28
図Ⅳ－5　Ⅴ層上面地形図……29
図Ⅳ－6　A地区ライン土層断面図……30
図Ⅳ－7　A地区北壁土層断面図(1)……31
図Ⅳ－8　A地区北壁土層断面図(2)……32
図Ⅳ－9　A地区Mライン土層断面図(1)……33
図Ⅳ－10　A地区Mライン土層断面図(2)……34
図Ⅳ－11　河道跡土層断面……36
図Ⅳ－12　盛土遺構……39
図Ⅳ－13　盛土遺跡遺物分布及び接合関係図……40
図Ⅳ－14　盛土遺構出土の遺物(1)……41
図Ⅳ－15　盛土遺構出土の遺物(2)……42
図Ⅳ－16　ALH－1 ……45
図Ⅳ－17　ALH－3(1) ……47
図Ⅳ－18　ALH－3(2) ……48
図Ⅳ－19　ALH－4(1) ……50
図Ⅳ－20　ALH－4(2) ……51
図Ⅳ－21　ALH－5 ……52
図Ⅳ－22　ALH－6(1) ……54
図Ⅳ－23　ALH－6(2) ……55
図Ⅳ－24　ALH－6出土の石器 ……56
図Ⅳ－25　ALH－7・8 ……58
図Ⅳ－26　ALH－9 ……59
図Ⅳ－27　ALH－10(1) ……61
図Ⅳ－28　ALH－10(2) ……62
図Ⅳ－29　ALH－10(3) ……63
図Ⅳ－30　ALH－11 ……65
図Ⅳ－31　ALH－12 ……66
図Ⅳ－32　ALH－13(1) ……68
図Ⅳ－33　ALH－13(2) ……69
図Ⅳ－34　ALH－14(1) ……72
図Ⅳ－35　ALH－14(2) ……73
図Ⅳ－36　ALH－15 ……75
図Ⅳ－37　ALH－17(1) ……76
図Ⅳ－38　ALH－17(2) ……77
図Ⅳ－39　ALH－17(3) ……78
図Ⅳ－40　ALH－18 ……80
図Ⅳ－41　水揚遺構の位置と地形……82
図Ⅳ－42　ALP－1と出土遺物 ……83
図Ⅳ－43　ALP－1出土の木製品 ……84
図Ⅳ－44　ALP－2 ……86
図Ⅳ－45　ALP－2遺物出土状況図(1) ……87
図Ⅳ－46　ALP－2遺物出土状況(2) ……88
図Ⅳ－47　ALP－2遺物出土状況(3) ……89
図Ⅳ－48　ALP－2遺物出土状況(4) ……90
図Ⅳ－49　ALP－2出土の遺物(1) ……91
図Ⅳ－50　ALP－2出土の遺物(2) ……92
図Ⅳ－51　ALP－2出土の遺物(3) ……93
図Ⅳ－52　ALP－2出土の遺物(4) ……94
図Ⅳ－53　ALP－2出土遺物(5) 木製品 ……95
図Ⅳ－54　ALP－2出土遺物(6) 木製品 ……96
図Ⅳ－55　ALP－3・4 ……99
図Ⅳ－56　ALP－3・4出土の遺物(1) ……100
図Ⅳ－57　ALP－3・4出土の遺物(2) ……101
図Ⅳ－58　ALP－3・4出土の遺物(3) ……102
図Ⅳ－59　ALP－3・4出土の遺物(4) ……103
図Ⅳ－60　ALP－5～14とALSP ……106
図Ⅳ－61　ALP－15～19とALSP ……107
図Ⅳ－62　ALP－5・6・9・10出土の遺物 ……108
図Ⅳ－63　ALSP出土の遺物及びALKP－1と出土木製品 ……109
図Ⅳ－64　ALKP－2出土木製品 ……110
図Ⅳ－65　ALP－11出土の遺物 ……111
図Ⅳ－66　ALP－20・21・22 ……114
図Ⅳ－67　ALP－23・24・25 ……115
図Ⅳ－68　ALP－27・28・29・30 ……118
図Ⅳ－69　ALP－31・32・33・34 ……119
図Ⅳ－70　ALP－35・36・37・38・39 ……123
図Ⅳ－71　ALP－40・44・45・47・48・49 ……126
図Ⅳ－72　ALP－46・50 ……128
図Ⅳ－73　ALP－51・52・54・55・59・60 ……130
図Ⅳ－74　ALF－3～17 ……135
図Ⅳ－75　ALF－19～46 ……142
図Ⅳ－76　ALF－47～59・61と焼土出土の遺物 ……146
図Ⅳ－77　「石斧集中」出土状況図(1)……148
図Ⅳ－78　「石斧集中」出土状況図(2)……149
図Ⅳ－79　「石斧集中」出土の遺物(1)……150
図Ⅳ－80　「石斧集中」出土の遺物(2)……151
図Ⅳ－81　包含層出土の土器(1) ……157

図Ⅳ－82　包含層出土の土器(2)……158
図Ⅳ－83　包含層出土の土器(3)……159
図Ⅳ－84　包含層出土の土器(4)……160
図Ⅳ－85　包含層出土の土器(5)……161
図Ⅳ－86　包含層出土の土器(6)……162
図Ⅳ－87　包含層出土の土器(7)……163
図Ⅳ－88　包含層出土の土器(8)……164
図Ⅳ－89　包含層出土の土器(9)……169
図Ⅳ－90　包含層出土の土器(10)……170
図Ⅳ－91　包含層出土の土器(11)……171
図Ⅳ－92　包含層出土の土器(12)……172
図Ⅳ－93　包含層出土の土器(13)……173
図Ⅳ－94　包含層出土の土器(14)……174
図Ⅳ－95　包含層出土の土器(15)……175
図Ⅳ－96　包含層出土の土器(16)……179
図Ⅳ－97　包含層出土の土器(17)……180
図Ⅳ－98　包含層出土の土器(18)……181
図Ⅳ－99　包含層出土の土器(19)……182
図Ⅳ－100　包含層出土の土器(20)……183
図Ⅳ－101　包含層出土の土器(21)……184
図Ⅳ－102　包含層出土の土器(22)……185
図Ⅳ－103　包含層出土の土器(23)……186
図Ⅳ－104　包含層出土の土器(24)……187
図Ⅳ－105　包含層出土の土器(25)……188
図Ⅳ－106　包含層出土の土器(26)……189
図Ⅳ－107　包含層出土の土器(27)……190
図Ⅳ－108　包含層出土の土器(28)……191
図Ⅳ－109　包含層出土の土器(29)……192
図Ⅳ－110　包含層出土の土器(30)……193
図Ⅳ－111　包含層出土の土器(31)……194
図Ⅳ－112　包含層出土の土器(32)……195
図Ⅳ－113　包含層出土の土器(33)……196
図Ⅳ－114　包含層出土の土器(34)……197
図Ⅳ－115　包含層出土の土器(35)……198
図Ⅳ－116　包含層出土の土器(36)……199
図Ⅳ－117　包含層出土の土器(37)……200
図Ⅳ－118　包含層出土の土器(38)……201
図Ⅳ－119　包含層出土の土器(39)……202
図Ⅳ－120　包含層出土の土器(40)……203
図Ⅳ－121　包含層出土の土器(41)……204
図Ⅳ－122　包含層出土の石器(1)……207
図Ⅳ－123　包含層出土の石器(2)……208
図Ⅳ－124　包含層出土の石器(3)……209
図Ⅳ－125　包含層出土の石器(4)……210
図Ⅳ－126　包含層出土の石器(5)……211
図Ⅳ－127　包含層出土の石器(6)……212
図Ⅳ－128　包含層出土の石器(7)……213
図Ⅳ－129　包含層出土の石器(8)……214
図Ⅳ－130　包含層出土の石器(9)……215
図Ⅳ－131　包含層出土の石器(10)……216
図Ⅳ－132　包含層出土の石器(11)……217
図Ⅳ－133　包含層出土の石器(12)……218
図Ⅳ－134　包含層出土の石器(13)……219
図Ⅳ－135　包含層出土の石器(14)……220
図Ⅳ－136　包含層出土の石器(15)……221
図Ⅳ－137　包含層出土の石製品……222
図Ⅳ－138　縄文前期木製品出土状況……224
図Ⅳ－139　包含層出土の木製品(1)……227
図Ⅳ－140　包含層出土の木製品(2)……229
図Ⅳ－141　包含層出土の木製品(3)……230
図Ⅳ－142　包含層出土の木製品(4)……233
図Ⅳ－143　包含層出土の木製品(5)……234
図Ⅳ－144　包含層出土の木製品(6)……235
図Ⅳ－145　包含層出土の木製品(7)……236
図Ⅳ－146　包含層出土の木製品(8)……237
図Ⅳ－147　包含層出土の木製品(9)……238
図Ⅳ－148　包含層出土の木製品(10)……239
図Ⅳ－149　包含層出土の木製品(11)……240
図Ⅳ－150　包含層出土の木製品(12)……241
図Ⅳ－151　包含層出土の木製品(13)……242
第Ⅴ章
図Ⅴ－1　H地区遺構位置図……246
図Ⅴ－2　K地区遺構位置図……247
図Ⅴ－3　Ⅴ層地形図及び土層断面図(H・K地区)…248
図Ⅴ－4　土層断面図(H地区北壁)……249
図Ⅴ－5　盛土遺構位置図……250
図Ⅴ－6　HM－1遺物出土状況及び接合関係図…251
図Ⅴ－7　HM－1出土の遺物(1)……253
図Ⅴ－8　HM－1出土の遺物(2)……254
図Ⅴ－9　HM－1出土の遺物(3)……255
図Ⅴ－10　HM－1出土の遺物(4)……256
図Ⅴ－11　HM－2と出土遺物……258
図Ⅴ－12　HM－3と出土遺物……260
図Ⅴ－13　HLH－1……263
図Ⅴ－14　HLH－2……264
図Ⅴ－15　ピット群位置図(1)及び大型柱穴列……265
図Ⅴ－16　ピット群位置図(2)……266
図Ⅴ－17　ピット群位置図(3)……267
図Ⅴ－18　ピット群位置図(4)……268
図Ⅴ－19　HLP－332出土の遺物……272
図Ⅴ－20　HLP出土の遺物(1)……273
図Ⅴ－21　HLP出土の遺物(2)……274
図Ⅴ－22　HUKP－1と出土遺物……276
図Ⅴ－23　大型柱穴列及びKLP位置図(1)……279

図Ⅴ－24　KLP位置図(2)……280
図Ⅴ－25　KLP位置図(3)……281
図Ⅴ－26　KLP位置図(4)……282
図Ⅴ－27　KLP出土の遺物(1)……285
図Ⅴ－28　KLP出土の遺物(2)……286
図Ⅴ－29　包含層出土の土器(1)……289
図Ⅴ－30　包含層出土の土器(2)……290
図Ⅴ－31　包含層出土の土器(3)……291
図Ⅴ－32　包含層出土の土器(4)……292
図Ⅴ－33　包含層(K地区)出土の土器(5)……293
図Ⅴ－34　包含層出土の石器(1)……296
図Ⅴ－35　包含層出土の石器(2)……297
図Ⅴ－36　包含層出土の石器(3)及び土製品……298
図Ⅴ－37　包含層(K地区)出土の石器(4)……299
第Ⅵ章
図Ⅵ－1　Ⅰ地区の土層模式図……302
図Ⅵ－2　遺構位置図(Vb層上面地形図)……303
図Ⅵ－3　地形測量図(1)……305
図Ⅵ－4　地形測量図(2)……306
図Ⅵ－5　東西メインセクション(1)……307
図Ⅵ－6　東西メインセクション(2)……309
図Ⅵ－7　東西メインセクション(3)……309
図Ⅵ－8　南北メインセクション(1)……311
図Ⅵ－9　南北メインセクション(2)……311
図Ⅵ－10　盛土A・Bと盛土中焼土の位置図……312
図Ⅵ－11　盛土A・Bの土層図……313
図Ⅵ－12　盛土A中の焼土……316
図Ⅵ－13　盛土A出土の土器(1)……318
図Ⅵ－14　盛土A出土の土器(2)……319
図Ⅵ－14　盛土A出土の土器(3)……320
図Ⅵ－16　盛土A出土の土器(4)……321
図Ⅵ－17　盛土A出土の土器(5)……322
図Ⅵ－18　盛土A出土の石器(1)……324
図Ⅵ－19　盛土A出土の石器(2)……325
図Ⅵ－20　盛土B中の焼土……328
図Ⅵ－21　盛土B出土の土器(1)……330
図Ⅵ－22　盛土B出土の土器(2)……331
図Ⅵ－23　盛土B出土の土器(3)……332
図Ⅵ－24　盛土B出土の土器(4)……333
図Ⅵ－25　盛土B出土の土器(5)……334
図Ⅵ－26　盛土B出土の土器(6)……335
図Ⅵ－27　盛土B出土の石器(1)(1層)……337
図Ⅵ－28　盛土B出土の石器(2)(2層・盛土)……338
図Ⅵ－29　盛土B焼土出土の土器(1)……340
図Ⅵ－30　盛土B焼土(IMBF10)出土の土器(2)及び接合関係図……341
図Ⅵ－31　IMBF－9出土の石器……342
図Ⅵ－32　ILP－1……343
図Ⅵ－33　ILP－1出土の石器……344
図Ⅵ－34　ILP－2……345
図Ⅵ－35　ILP－3出土の土器及び接合関係図……346
図Ⅵ－36　ILP－3……347
図Ⅵ－37　ILP－3出土の石器……349
図Ⅵ－38　ILP－4……349
図Ⅵ－38　ILP－5……350
図Ⅵ－38　ILP－6……351
図Ⅵ－41　ILP－7出土の土器……351
図Ⅵ－42　ILP－7……352
図Ⅵ－43　ILP－8……352
図Ⅵ－44　ILP－8出土の土器……353
図Ⅵ－46　ILP－9……353
図Ⅵ－45　ILP－9出土の土器……353
図Ⅵ－47　ILP－10……354
図Ⅵ－48　ILP－11出土の土器……355
図Ⅵ－49　ILP－11……355
図Ⅵ－50　ILP－12……356
図Ⅵ－51　ILP－13……357
図Ⅵ－52　ILP－14……358
図Ⅵ－53　ILP－15……359
図Ⅵ－54　ILP－16……360
図Ⅵ－55　ILP－17……360
図Ⅵ－56　ILP－18……361
図Ⅵ－57　ILP－19出土の土器……361
図Ⅵ－58　ILP－19……362
図Ⅵ－59　ILP－20……362
図Ⅵ－61　ILP－21……363
図Ⅵ－60　ILP－21出土器……363
図Ⅵ－62　ILP－22……364
図Ⅵ－63　ILP－23……364
図Ⅵ－64　ILP－24……365
図Ⅵ－65　ILP－25……365
図Ⅵ－66　ILP－26出土の石器……366
図Ⅵ－67　ILP－26……366
図Ⅵ－68　ILP－27……367
図Ⅵ－69　ILP－28……367
図Ⅵ－70　ILP－29……368
図Ⅵ－71　焼土（Vb層上面付近及びVb層中）分布図(1)……371
図Ⅵ－72　焼土分布図(2)……373
図Ⅵ－72　焼土分布図(3)……375
図Ⅵ－74　焼土の位置図と出土遺物……377
図Ⅵ－75　焼土（土層図掲載分）位置図(1)……379
図Ⅵ－76　焼土の土層図(1)……379
図Ⅵ－77　焼土（土層図掲載分）位置図(2)……381

図Ⅵ－78　焼土の土層図(2) ……381
図Ⅵ－79　焼土（土層図掲載分）位置図(3) ……383
図Ⅵ－80　焼土の土層図(3) ……383
図Ⅵ－81　焼土（土層図掲載分）位置図(4) ……384
図Ⅵ－82　焼土の土層図(4) ……384
図Ⅵ－83　包含層出土の土器(1) Ⅲ・Ⅳ層……418
図Ⅵ－84　包含層出土の土器(2) Ⅴ層……419
図Ⅵ－85　包含層出土の土器(3) Ⅴa層－1 ……420
図Ⅵ－86　包含層出土の土器(4) Ⅴa層－2 ……421
図Ⅵ－87　包含層出土の土器(5) Ⅴb層－1 ……422
図Ⅵ－88　包含層出土の土器(6) Ⅴb層－2 ……423
図Ⅵ－89　包含層出土の土器(7) Ⅵ・Ⅶ層・撹乱……424
図Ⅵ－90　包含層出土の土器(8)及び盛土出土の赤彩土器・土製品 ……425
図Ⅵ－91　発掘区別・器種別出土石器点数(1) ……427
図Ⅵ－92　発掘区別・器種別出土石器点数(2) ……428
図Ⅵ－93　発掘区別・器種別出土石器点数(3) ……429
図Ⅵ－94　発掘区別・器種別出土石器点数(4) ……430
図Ⅵ－95　包含層出土の石器(1) Ⅲ層……431
図Ⅵ－96　包含層出土の石器(2) Ⅳ層……431
図Ⅵ－97　包含層出土の石器(3) Ⅴ層－1 ……433
図Ⅵ－98　包含層出土の石器(4) Ⅴ層－2 ……434
図Ⅵ－99　包含層出土の石器(5) Ⅴa層 ……436
図Ⅵ－100　包含層出土の石器(6) Ⅴb層－1 ……438
図Ⅵ－101　包含層出土の石器(7) Ⅴb層－2 ……439
図Ⅵ－102　包含層出土の石器(8) Ⅵ層と木の根痕 …441
図Ⅵ－103　包含層出土の石器(9) Ⅶ層と木の根痕 …442
図Ⅵ－104　包含層出土の石器(10) Ⅰ層・撹乱・排土 443
図Ⅵ－105　焼土と風倒木痕の関係図……446
第Ⅶ章
Ⅶ－2
図1　試料採取地点の位置 ……453
図2　試料採取地点の模式柱状図および分析層位 …454
図3　A地区G45北壁の主要珪藻化石群集の層位分布 ……456
図4　A地区G36北壁の主要珪藻化石群集の層位分布 ……461
図5　A地区G45北壁の主要花粉化石群集の層位分布 ……467
図6　A地区G36北壁の主要花粉化石群集の層位分布 ……469
図7　A地区G45北壁の植物珪酸体群集の層位分布 472
図8　A地区G36北壁の植物珪酸体群集の層位分布 473
図9　H地区H－1の植物珪酸体群集の層位分布 …474
Ⅶ－4
図1　黒曜石原産地 ……497
Ⅶ－7
図2－1　試料中に残存する脂肪の脂肪酸組成 ……530
図2－2　試料中に残存する脂肪の脂肪酸組成 ……531
図3－1　試料中に残存する脂肪のステロール組成 532
図3－2　試料中に残存する脂肪のステロール組成 533
図4　試料中に残存する脂肪の脂肪酸組成樹状構造図 ……534
図5　試料中に残存する脂肪の脂肪酸組成による種特異性相関 ……535
Ⅶ－8
図1　グリッドW－44とフラスコ状ピットLP－3におけるテフラ層序 ……537
図2　試料K4-1の斜方輝石の化学組成分布……540
図3　試料K4-2の斜方輝石の化学組成分布……541
図4　試料K4-3の斜方輝石の化学組成分布……542
図5　試料K4-4の斜方輝石の化学組成分布……543
図6　試料K4-5の斜方輝石の化学組成分布……544
図7　試料K4-2の火山ガラスの化学組成分布……545
図8　試料K4-7の斜方輝石の化学組成分布……546
図9　試料K4-8の斜方輝石の化学組成分布……547
図10　試料K4-9の斜方輝石の化学組成分布……548
図11　試料K4-10の斜方輝石の化学組成分布 ……549
図12　試料K4-11の斜方輝石の化学組成分布 ……550

表目次

第Ⅰ章
表1　キウス4遺跡　年度・地区別調査面積一覧…… 3
第Ⅲ章
表1　フローテーション選別資料一覧……17
第Ⅳ章
表1　縄文時代前期の木製品ほか樹種同定一覧(1) …225
表1　縄文時代前期の木製品ほか樹種同定一覧(2) …226
第Ⅵ章
表1　盛土A中の焼土一覧 ……315
表2　盛土B中の焼土一覧 ……326
表3　Ⅴ層中の焼土一覧 ……385
第Ⅶ章
Ⅶ－2
表1　A地区G45北壁の珪藻分析結果(1) ……457
表1　A地区G45北壁の珪藻分析結果(2) ……458
表1　A地区G45北壁の珪藻分析結果(3) ……459
表1　A地区G45北壁の珪藻分析結果(4) ……460
表2　A地区G36北壁の珪藻分析結果(1) ……462
表2　A地区G36北壁の珪藻分析結果(2) ……463
表2　A地区G36北壁の珪藻分析結果(3) ……464
表2　H地区H－1の珪藻分析結果 ……465
表4　A地区G45北壁の花粉分析結果 ……468

表５　Ａ地区Ｇ36北壁の花粉分析結果 ……470
表６　Ｈ地区Ｈ－１の花粉分析結果 ……471
表７　Ａ地区Ｇ45北壁の植物珪酸体分析結果 ……475
表８　Ａ地区Ｇ36北壁の植物珪酸体分析結果 ……475
表９　Ｈ地区Ｈ－１の植物珪酸体分析結果 ……475
Ⅶ－４
表１－１　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値 ……498
表１－２　〃 …499
表１－３　〃 …500
表１－４　〃 …501
表１－５　〃 …502
表２　千歳市キウス４遺跡Ａ地区出土黒曜石製遺物の元素比分析結果 ……503
表３　千歳市キウス４遺跡Ａ地区出土の黒曜石石器の原材産地推定結果 ……504
Ⅶ－５
表１　平成９年度キウス４遺跡Ａ・Ｈ・Ｋ地区出土動物遺存体 ……507
Ⅶ－６
表１　キウス４遺跡出土炭化種子表 ……527
Ⅶ－７
表１　土壌試料の残存脂肪抽出量 ……529
表２　試料中に分布するコレステロールとシトステロールの割合 ……529
Ⅶ－８
表１　テフラ・土壌の鉱物組成 ……537
表２　試料K4-1の斜方輝石の化学組成 ……540
表３　試料K4-2の斜方輝石の化学組成 ……541
表４　試料K4-3の斜方輝石の化学組成 ……542
表５　試料K4-4の斜方輝石の化学組成 ……543
表６　試料K4-5の斜方輝石の化学組成 ……544
表７　試料K4-6の火山ガラスの化学組成 ……545
表８　試料K4-7の斜方輝石の化学組成 ……546
表９　試料K4-8の斜方輝石の化学組成 ……547
表10　試料K4-9の斜方輝石の化学組成 ……548
表11　試料K4-10の斜方輝石の化学組成 ……549
表12　試料K4-11の斜方輝石の化学組成 ……550
第Ⅷ章
表１　遺構一覧 ……557
表２　調査区別遺物集計一覧 ……579
表３　遺構別遺物集計一覧 ……581
表４　遺構掲載土器一覧 ……601
表５　遺構掲載石器一覧 ……607
表６　包含層掲載土器一覧 ……611
表７　包含層掲載石器一覧 ……622
表８　掲載木製品一覧 ……630

写真図版

第Ⅶ章
Ⅶ－２
珪藻化石(1) ……480
珪藻化石(2) ……481
珪藻化石(3) ……482
花粉化石(1) ……483
花粉化石(2) ……484
植物珪酸体 ……485
Ⅶ－３
樹種同定顕微鏡写真(1) ……488
樹種同定顕微鏡写真(2) ……489
樹種同定顕微鏡写真(3) ……490
樹種同定顕微鏡写真(4) ……491
樹種同定顕微鏡写真(5) ……492
Ⅶ－６
キウス４遺跡跡出土炭化種子写真 ……519
Ⅶ－９
漆膜表面の観察と分析(1) ……553
漆膜表面の観察と分析(2) ……554
漆膜表面の観察と分析(3) ……555

Ⅰ　調査の概要

1　調査要項

事 業 名：北海道横断自動車道（千歳～夕張）埋蔵文化財発掘調査
委 託 者：日本道路公団北海道支社
受 託 者：財団法人北海道埋蔵文化財センター
遺 跡 名：キウス４遺跡（北海道教育委員会登載番号Ａ－03－92）
所 在 地：千歳市中央1190－３ほか
調査面積：10,990㎡
調査期間：平成９年４月１日～平成10年３月31日（現地調査５月６日～10月30日）
整理期間：平成10年４月１日～平成11年３月31日

2　調査体制

財団法人北海道埋蔵文化財センター

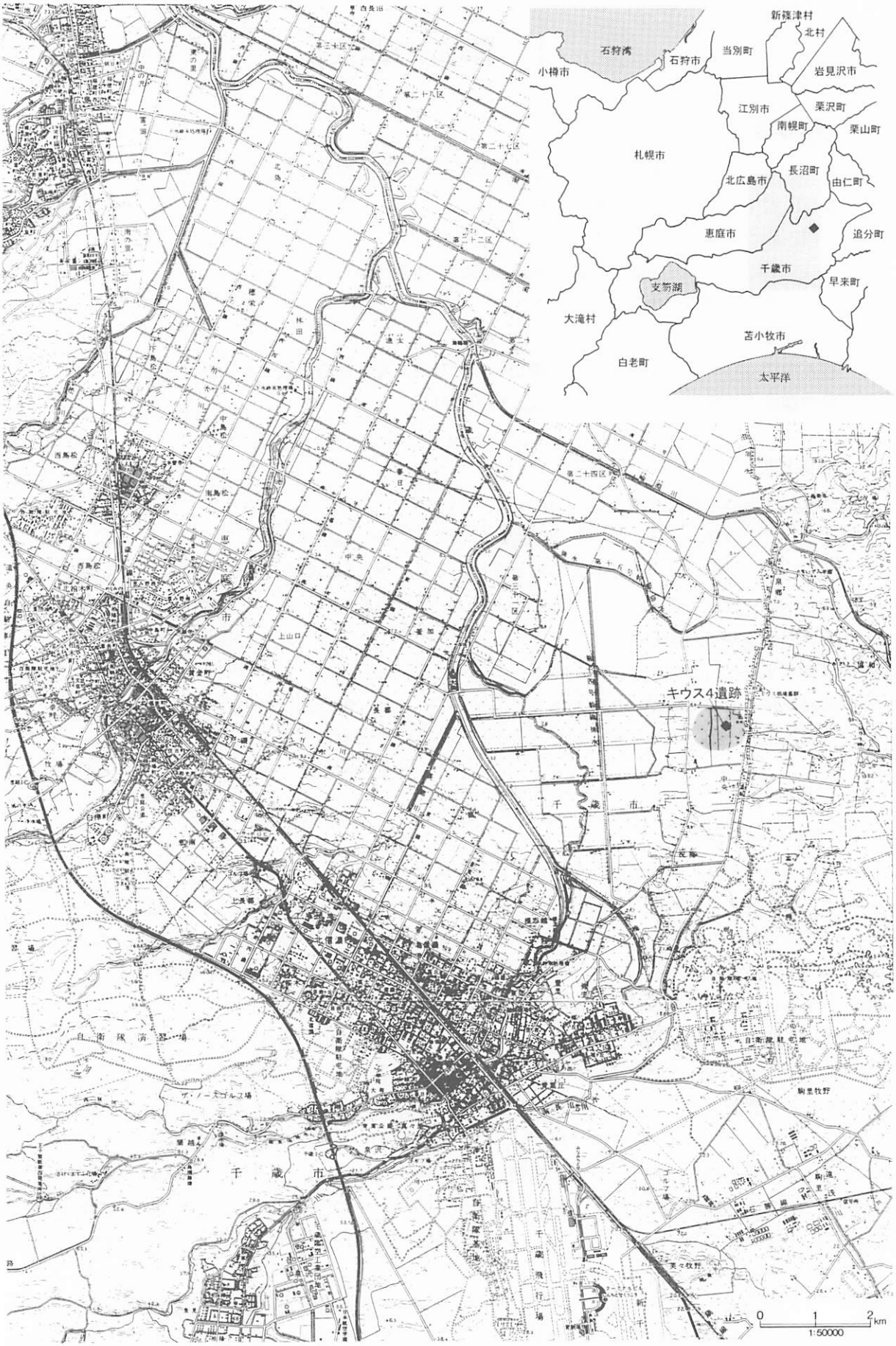
理 事 長	伊藤　一夫（平成10年５月31日まで）	第２調査部長	鬼柳　　彰
理 事 長	大澤　　満（平成10年６月８日から）	第３調査課長	佐川　俊一（発掘担当者）
専務理事	佐藤　哲人	主査	和泉田　毅（発掘担当者）
常務理事	柴田　忠昭	主任	藤井　　浩
常務理事	木村　尚俊	主任	玉邑　肇章
業務部長	北條　雅洋（平成10年３月31日まで）	文化財保護主事	阿部　明義
業務部長	中田　　仁（平成10年４月１日から）	文化財保護主事	山中　文雄
		文化財保護主事	袖岡　淳子（平成９年度）

3　調査に至る経緯

道東と道央部を結ぶ北海道横断自動車道は、平成10年２月現在、小樽－札幌ジャンクション（30.3㎞）、道東の清水－池田間（50.7㎞）が供用され、千歳－夕張間（42.3㎞）は工事区間となっている。この千歳－夕張間のルートは、道央自動車道の千歳ジャンクションから分岐して恵庭市内の国道36号線、JR千歳線を横断、千歳市内に入り千歳川を渡り、馬追丘陵を越え、胆振管内追分町、空知管内の由仁、栗山町を経て夕張市に至る延長42.3㎞である。

財団法人北海道埋蔵文化財センターによる北海道横断自動車道（千歳～夕張）建設工事に伴う発掘調査は、平成５年度の千歳市オサツー１遺跡・キウス７遺跡（北埋調報90）ではじまった。翌６年度はキウス５遺跡・キウス７遺跡・ケネフチ８遺跡（北埋調報92）、平成７年度にキウス５遺跡（北埋調報104）、キウス７遺跡（北埋調報105）、キウス４遺跡（平成11年度報告予定）。平成８年度、キウス４遺跡（北埋調報124）、キウス５・７遺跡（北埋調報）、ユカンボシC15遺跡、恵庭市ユカンボシE７遺跡。平成９年度は前年度と同じ遺跡のほかに、恵庭市ユカンボシE10遺跡（北埋調報129）。平成10年度は、キウス４・５・７遺跡とユカンボシC15遺跡の現地調査を行って千歳～夕張間の横断道関係の発掘調査を終了した。

キウス４遺跡は、平成３年度から同８年度にかけての北海道教育委員会による範囲確認調査、平成５年７・10月に遺跡全体の詳細試掘調査（トレンチによる分布調査）が行われた。その結果、周堤墓



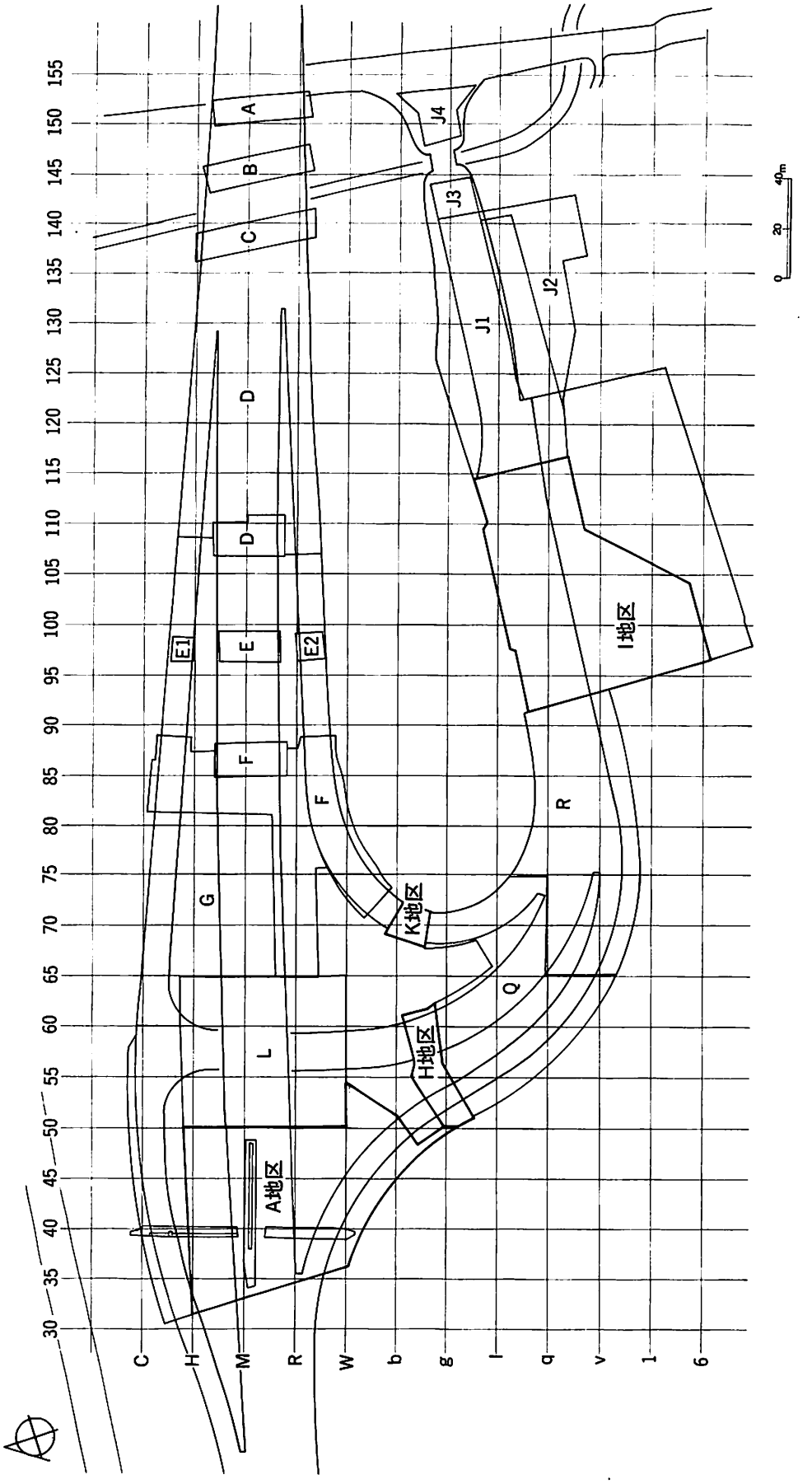
図Ⅰ－1　遺跡の位置　（国土地理院発行　5万分の1地形図「恵庭」「千歳」を用いて作成したものである。）

9基、盛土遺構2カ所、竪穴住居跡、土壙などが見つかり、縄文時代後期の大規模な遺跡であることが判明した。

本格的な調査は平成7年度に、自動車道の橋台・橋脚部分6カ所（A～F地区）の2,429㎡について発掘を行ったのが最初である。この調査では、縄文時代後期後葉の周堤墓1基、北側盛土遺構、道跡などが新たに見つかった。平成8年度は本線西側インターボックス部分（L地区）の調査3,930㎡を行い、北側盛土遺構の一部から約40万点の遺物が出土した。平成9年度は2課体制で本線およびインターチェンジ部分20,970㎡の調査を行った。平成10年度は3課体制で前年と同じ部分18,940㎡の調査を実施し、現地の発掘調査を終了した。

表1　キウス4遺跡　年度・地区別調査面積一覧

年度／地区	H7	H8	H9	H10	合計
A(H7)	430				430
A(H9)			4750		4750
A2				2230	2230
B	434				434
C	525				525
D	364		6140		6504
E	312				312
E1			110		110
E2			110		110
F	364		3620		3984
G				3690	3690
H			640		640
I			5400		5400
J				4860	4860
K			200		200
L		3930			3930
Q				3920	3920
R				4240	4240
合計	2429 ㎡	3930 ㎡	20970 ㎡	18940 ㎡	46269 ㎡


A
B
C
D
D
E1
E
E2
F
F
G
H地区
K地区
L
A地区
J4
J3
J2
J1
I地区
R
Q
0
20
40m
C
H
M
R
W
b
g
l
q
v
1
6
30
35
40
45
50
55
60
65
70
75
80
85
90
95
100
105
110
115
120
125
130
135
140
145
150
155

図Ⅰ－2　調査区設定図

4　調査結果の概要

平成9年度に発掘調査を行った千歳市キウス4遺跡A・H・K・I地区について、地区ごとに説明する。

A地区

キウス4遺跡の中では、最も西側に位置する。調査面積は4,750㎡、丘陵緩斜面の西端にあたる。遺構は竪穴住居跡17軒、土壙60基、柱穴状ピット198カ所、盛土遺構、焼土61カ所である。遺物は土器片約92,000点、石器等約32,000点、木製品63点の合計約124,000点が出土した。

A地区は縄文時代早期後半から前期前半にかけての活動の跡がみられる北側と、縄文時代後期後葉に活動の跡がみられる南側地区に分けられる。北側地区は標高6.4～4.5m、中央部に高まりがあり、西と南側は低地、北東側は緩斜面となっている。早期から前期の遺構は、中央部の高まりから北東側にかけての標高6.4～5.4mに分布する。一方、西側の低地からは縄文時代前期前半の木製品や流木？が斜面の裾付近で約10m四方の範囲にまとまって出土した。

南側の地区は、東から西へかけて低くなる斜面となっており、標高は6.5～4.4mである。東側は「北側盛土遺構」の西端にあたり、Enpを含む暗褐色土が後期後葉の遺物とともに薄く広がっている。それより西側の標高5m前後の低地には、同時期の水場遺構が分布し、周辺からは朱塗丸木弓の破片や木製容器、楯状製品、杭などの木製品が出土した。

H地区

H地区(640㎡)は「北側盛土遺構」の南西端に位置する。標高は9～7m、南東から北西への緩斜面である。A地区と50ラインを壙に隣接している。耕作によりⅥ層上面まで削平されていた。遺構は盛土遺構3カ所、土壙および柱穴状ピット878カ所、焼土23カ所が検出された。柱穴の配列から推定された住居跡は5軒、大型の柱穴列が1カ所ある。遺物は土器片32,000点、石器8,000点、合計約40,000点出土した。縄文時代後期後葉の堂林式土器の時期に相当するものが主体である。このほかⅦ層上面において、周氷河環境下で形成されたものと考えられる「線状土」および恵庭a軽石の凍結破砕現象の痕跡が確認された。

K地区

K地区(200㎡)はH地区の東約20mにあり、標高は9.5m前後である。耕作により・層上面まで削平されていた。遺構は住居跡1軒、土壙および柱穴状ピット277カ所、焼土3カ所が検出された。大型柱穴列は1カ所確認されている。遺物は土器片6,500点、石器1,500点、合計約8,000点出土した。H地区と同様に縄文時代後期後葉の堂林式期のものが主体である。

I地区

キウス4遺跡の中では南側に位置し、東から西へ緩やかに低くなっている。調査面積は5,400㎡である。遺構は盛土遺構2カ所、盛土中の焼土80カ所、土壙29基、焼土1,455カ所を検出した。遺物は土器片37,000点、石器等25,435点、合計61,000点出土した。盛土遺構は縄文時代後期後葉の南側盛土　端の一部にあたり、2つのブロックが確認された。盛土中からは多くの遺物とともに焼土も検出された。土壙には墓、フラスコ状ピット、Tピット、性格不明のピットなどがある。そのほとんどは後期後葉の時期であるが、東側で発見された性格不明のピット3基については、早期の遺構と考えられる。

石器のうち、石鏃の出土量が多いこと、焼土や大きな風倒木痕の存在などからI地区は狩猟空間の可能性が大きいと思われる。

II　遺跡の環境

1　遺跡の位置と環境（図Ⅰ－1）

キウス4遺跡は、千歳市北東部の「中央」地区に所在する。この「中央」地区は千歳市の市街地から約8㎞のところに位置し、夕張郡長沼町に隣接する市境でもある。この地区一帯は馬追丘陵西側から連なる緩斜面と旧長都沼、馬追沼の干拓地を中心とした低地帯からなり、遺跡はこの低地と丘陵の地形界を中心に展開している。

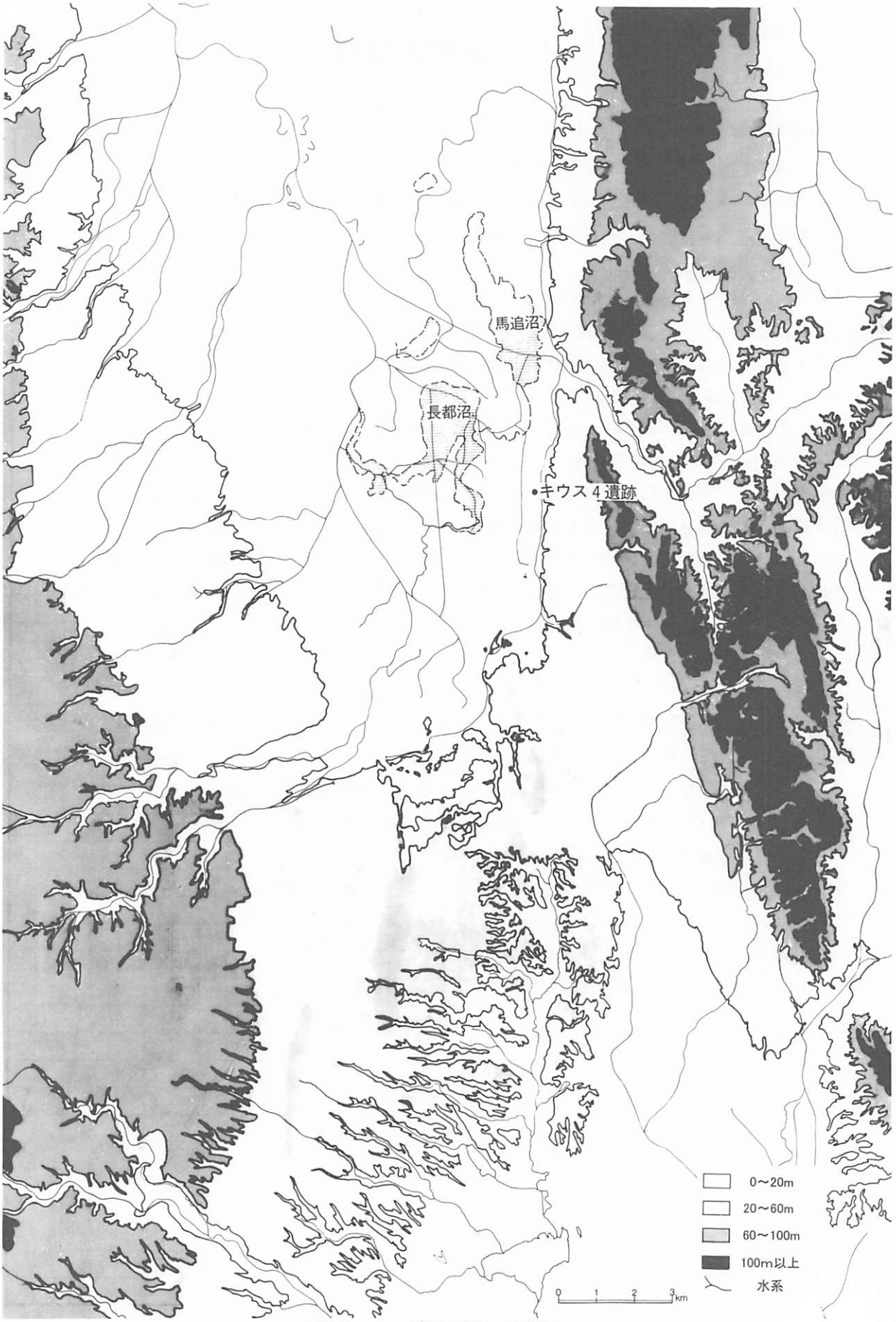
遺跡の南側にはキウス川が西流する。キウス川は馬追丘陵から東、西へと開析して流れ、オルイカ川へと流れ込む河川の一つである。キウス4遺跡はキウス川下流域の右岸、オルイカ川中流域の右岸に位置する。この川の流域には数多くの遺跡が知られ、調査されている。キウス5・7遺跡は標高約20～45mのキウス川上流域に位置し、縄文からアイヌ文化期の遺跡である。キウス川遺跡は標高10mの下流域右岸に位置し、本遺跡と同様に縄文時代後期の包含層が確認されている。また、遺跡の北東約300mの緩斜面上には国指定史跡「キウス周堤墓群」が所在する。

本年度の4つの調査区は、馬追丘陵から連なる緩斜面から低地帯にかけて立地する。標高20mのI地区は東から西へ向けて緩やかに下る緩斜面上である。標高15mのK地区はほぼ平坦である。標高10～12mのH地区は南から北に緩やかに下る斜面と調査区西部には低湿部に連続するやや急な斜面が認められる。A地区は全体が低湿部に当たり、厚い泥炭層が堆積する。調査区内には緩やかな起伏が認められ、最も低い中央部分には旧河道が確認されている。

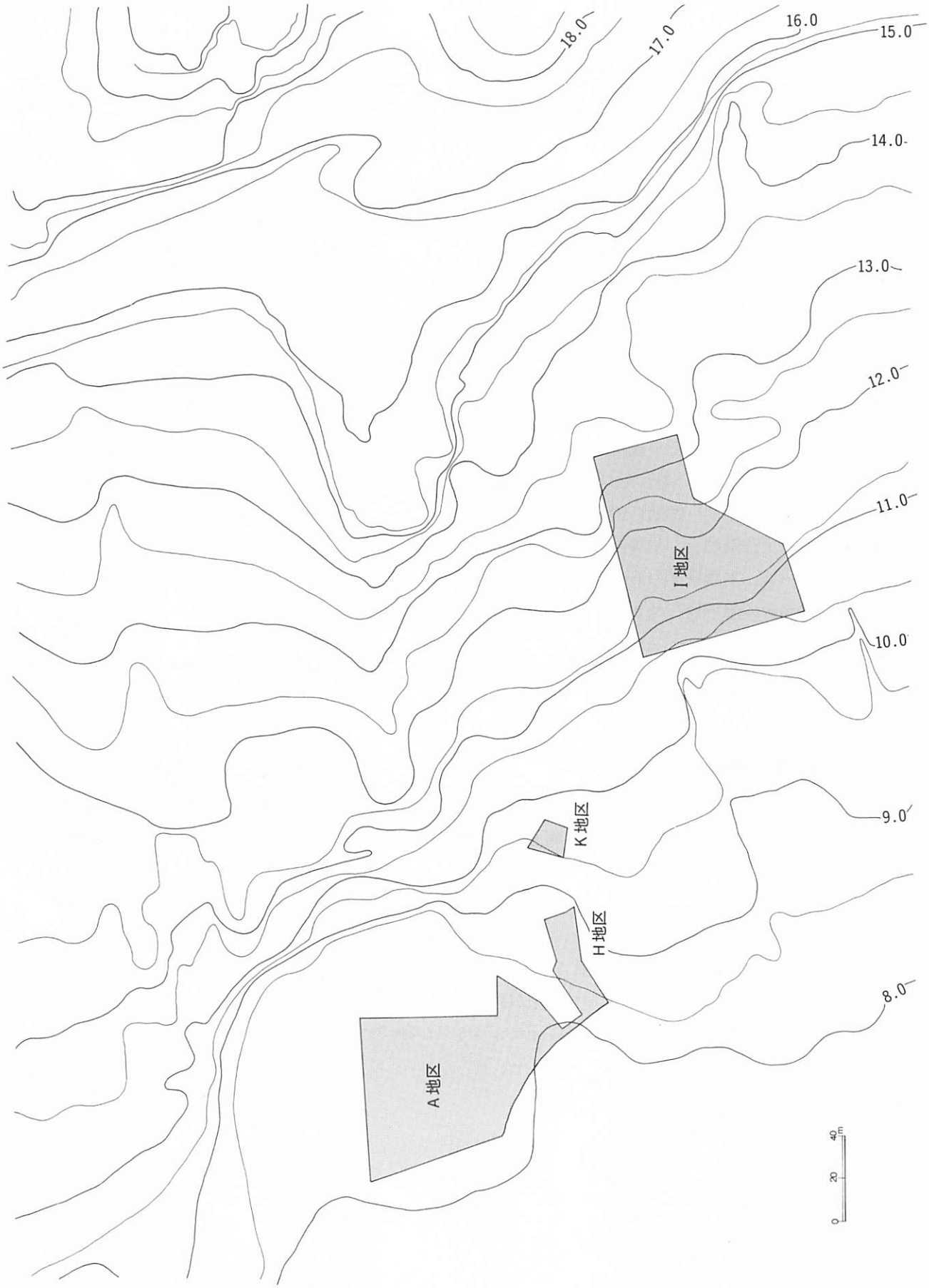
2　遺跡の地形（図II－1・2）

遺跡周辺は、石狩平野の南端、石狩低地帯と呼ばれる広大な低平地とこの東を縁取るように南北にのびる馬追丘陵からなる。石狩低地帯は、約3万年前の支笏カルデラの噴火による石狩川の流路変更により、低湿化したものである。さらに石狩川や千歳川、夕張川などの氾濫が繰り返されて形成され、全国的にも数少ないほどの勾配の緩い低地帯になっている。馬追丘陵は、標高273mの馬追山を最高地点とする、南北30㎞にのびる緩やかな丘陵である。

遺跡周辺の地形は、このような低地域と馬追丘陵に連なる緩斜面とが入り組んで展開する景観を呈しているといえる。緩斜面は樽前a降下軽石（Ta-a）、樽前c降下岩片（Ta-c）、恵庭a降下軽石（En-a）が確認されている。低地域は千歳川に流れ込むオルイカ川やキウス川により開析された地形で、旧河道、小河谷、自然堤防、氾濫原などの微地形が広がる状態である。



図II－１　遺跡周辺の地形図



図II－2　調査区周辺の地形図

3　遺跡の層序（図II－3）

Ⅰ層：現表土、耕作土。

II層：樽前山起源の降下軽石(Ta-a)。A.D.1739年降下。砂質のテフラを主体とする。数枚のフォールユニットからなる。

III層：黒色粘土質腐植土。新千歳空港の「第Ⅰ黒色土(ⅠB層)」に相当する。低湿部では白頭山起源のB-Tmの薄層を挟在するとともに、泥炭・砂礫などが堆積するので細分した。縄文時代晩期～中世の遺物包含層。

Ⅳ層：樽前山起源の降下岩片・スコリア(Ta-c)。2,300～2,500年前頃降下。低地に近いところや斜面部ではTa-cを主体とする暗褐色土である。低湿部では$Ta\text{-}c_1$と$Ta\text{-}c_2$の2枚が見られる。$Ta\text{-}c_1$は軽石で、層厚1.5cm。$Ta\text{-}c_2$は上部が軽石、下部は岩片・スコリアで層厚は合わせて10cm。$Ta\text{-}c_1$と$Ta\text{-}c_2$の間層は層厚4cmの黒褐色の泥炭である。低湿部ではⅣ層(Ta-c)の直上4～5cm、層厚1～1.5cmの軽石が層状に連続していることが多く、$Ta\text{-}c_1$の可能性が強い。*

Ⅴ層：黒色粘土質腐植土。新千歳空港の「第II黒色土(IIB層)」に相当する。盛土遺構を介してⅤ層はⅤa層とⅤb層に分層した。低湿部では泥炭、シルト、粘土、砂礫が堆積しているので細分した。縄文時代早期～晩期の遺物包含層。

Ⅵ層：暗褐色粘土質腐植土。Ⅴ層とⅦ層の漸移層。

Ⅶ層：褐色ローム。本層直下のEn-aの軽石を含む。

Ⅷ層：恵庭岳起源の降下軽石(En-a)。15,000～17,000年前頃降下。

＊北海道火山灰命名委員会(1979,1982)による$Ta\text{-}c_1$と$Ta\text{-}c_2$である。

4　周氷河現象の観察（図II－4・5）

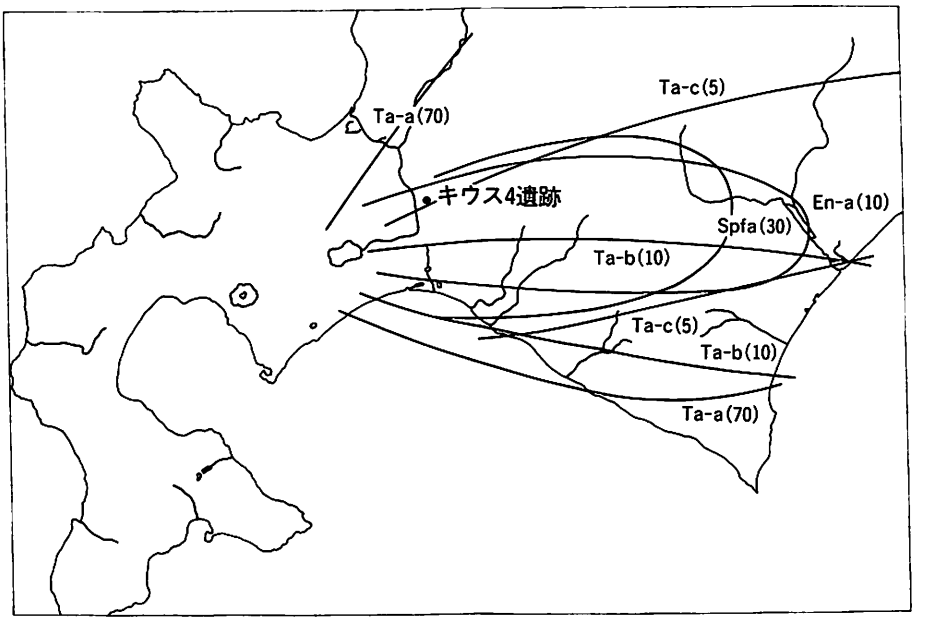
本遺跡では二つの調査区（H地区、Ⅰ地区）において、土壌層の凍結－融解による周氷河現象が認められた。恵庭岳起源の降下軽石En-aが凍上し、土壌断面ではインボリューションを示し、平面形態は構造土を示している。

【H地区】

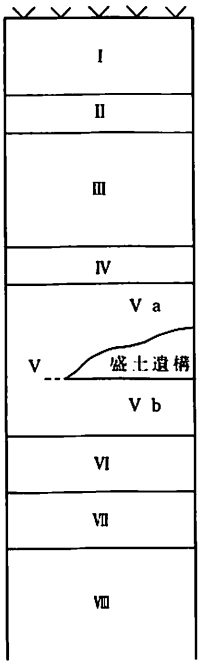
H地区では「線状土」と「凍結破砕土」が確認された。H地区は標高約10mのほぼ平坦な面であるが、北方向に低くなる緩やかな傾斜が見られる。この傾斜方向に添ったかたちで、Ⅵ層上面にてⅧ層に由来するEn-aパミスが線状に凍上した現象が見られ、これを構造土の一種の「線状土」と確認した。また、調査区内で最も高い部分においては、En-aパミスが砂状に細かく破砕した「凍結破砕」現象の痕跡を確認することができた。

【Ⅰ地区】

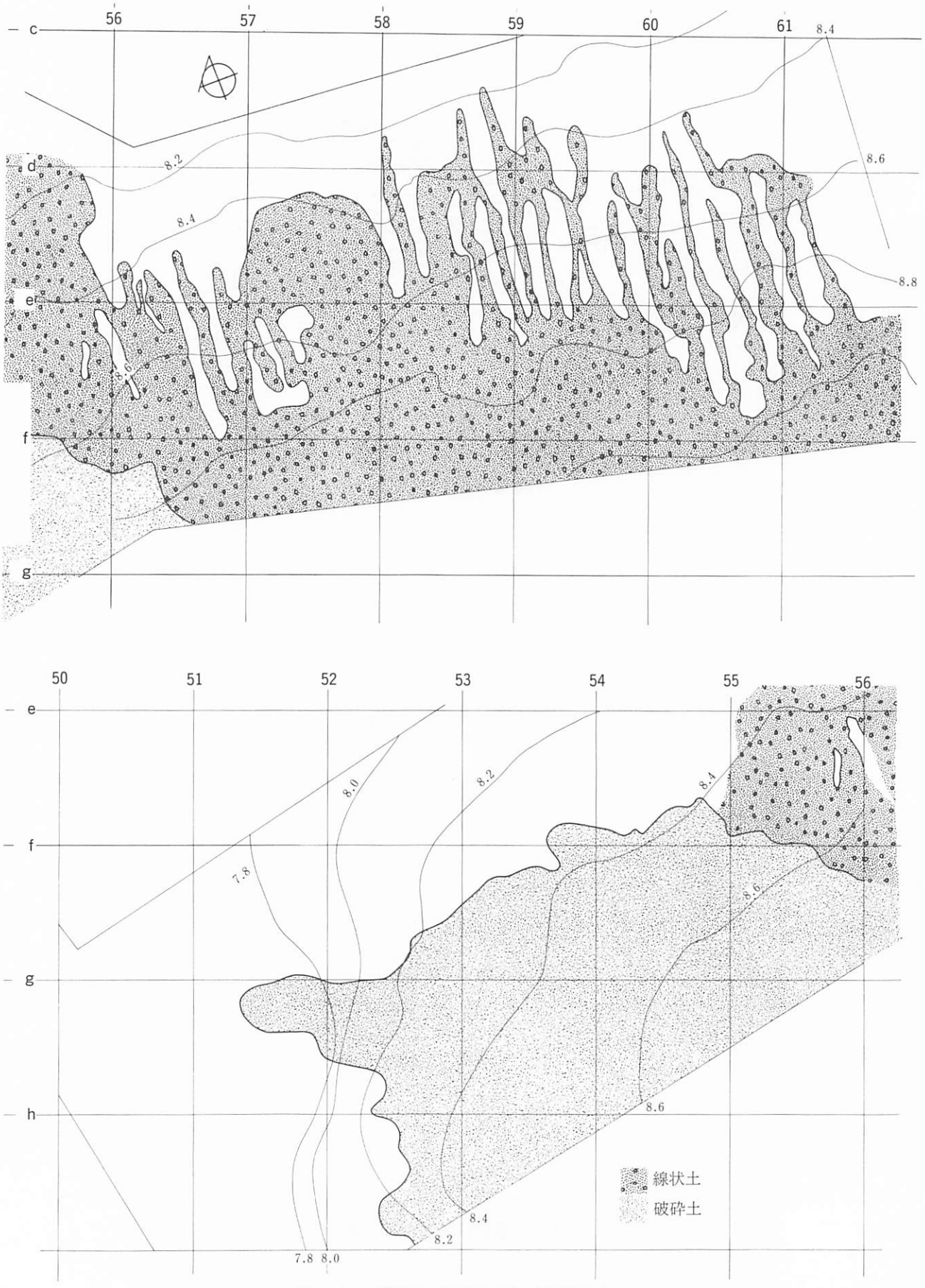
「第Ⅵ章　1　概要」を参照



主要テフラの等層厚線図

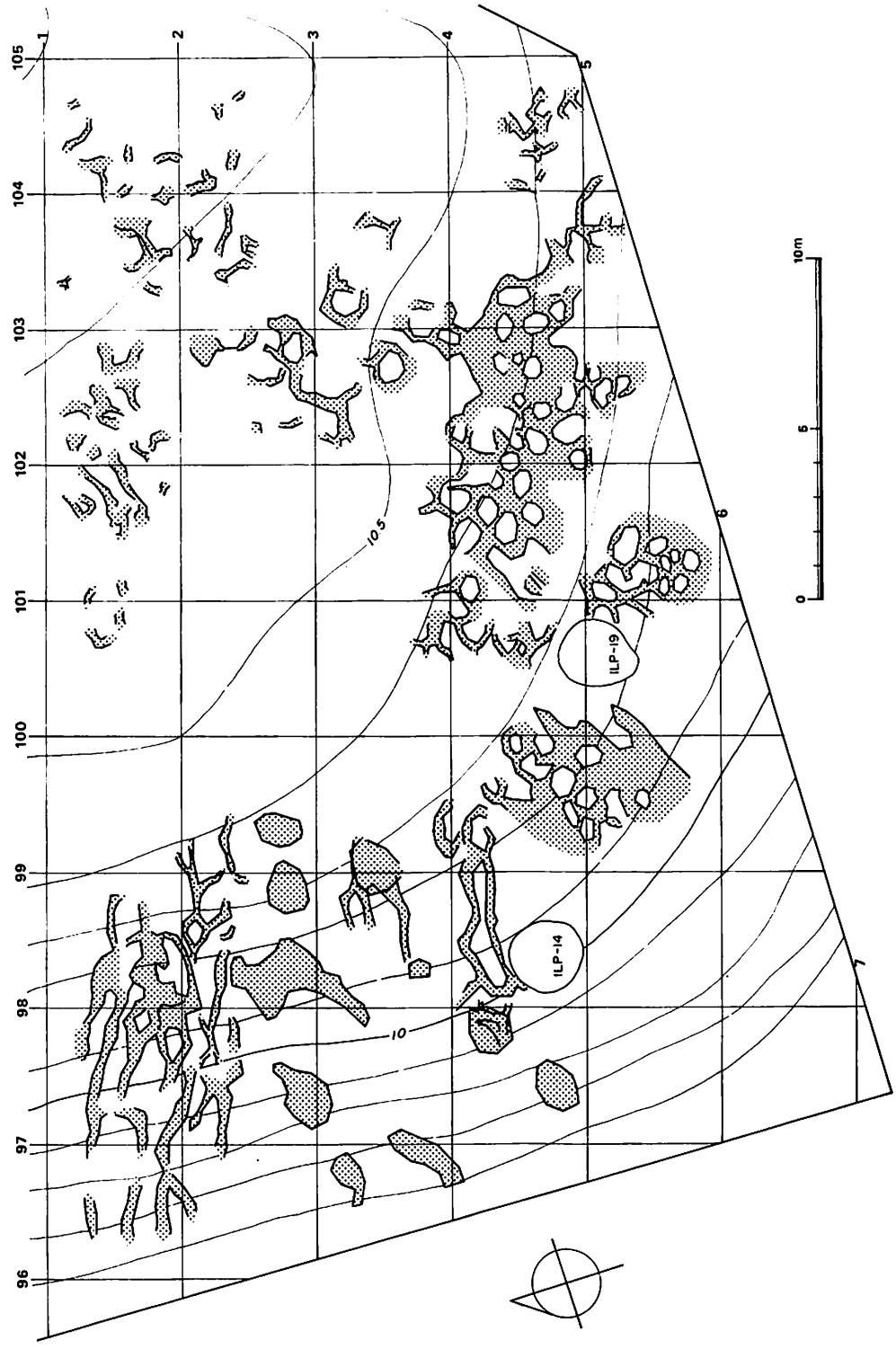


図II－3　土層柱状図及び周辺のテフラ分布



図II－4　構造土の平面分布（H地区）

（高等線はVII層上面）



図II－5　構造土の平面分布（1地区）

石器分類基準(記号表)

Ⅰ 石鏃・石槍類
- A 石鏃
  - 1 石刃鏃
  - 2 長身のもの
  - 3 薄身のもの
    - a 柳葉形のもの
    - b 五角形のもの
  - 4 三角形のもの
    - a 凹基のもの
    - b 平基のもの
  - 5 木葉形のもの
  - 6 菱形のもの
  - 7 有茎のもの
    - a 凹基のもの
    - b 平基のもの
    - c 凸基のもの
  - 8 分類困難な破片・未成品など
- B 石槍またはナイフ
  - 1 有茎のもの
  - 2 茎が明瞭にみられないもの(木葉形・菱形を含む)
  - 8 分類困難な破片・未成品など

Ⅱ 石錐
- A 石錐
  - 1 素材の一部に刺突部を作り出したもの
  - 2 つまみ部をもつ棒状のもの
  - 3 棒状のもの
  - 8 分類困難な破片・未成品など

Ⅲ つまみ付きナイフ・スクレイパー
- A つまみ付きナイフ
  - 1 片面全面加工のもの(裏面の一側縁に刃部をもつもの)
  - 2 片面全面加工のもの
  - 3 片面周縁加工のもの
  - 4 両面加工のもの
  - 8 分類困難な破片・未成品など
- B スクレイパー
  - 1 石へらと称されるもの
  - 2 円形のもの
  - 3 主に縦長で下端部に刃部をもつもの
  - 4 側縁に抉入がありそれを刃部とするもの
  - 5 縦長で側縁に刃部をもつもの
  - 6 素材の形状を大きく変えていないもの
  - 8 分類困難な破片・未成品など

Ⅳ 石斧類
- A 石斧
  - 1 擦り切り手法によって製作されたもの
  - 2 敲打痕のみられるもの
  - 3 打ち欠きにより整形されているもの
  - 4 部分的に磨かれているもの
  - 5 全面磨製のもの
  - 8 分類困難な破片・未成品など
- B 石のみ

Ⅴ たたき石
- A たたき石
  - 1 棒状礫を素材としたもの
  - 2 扁平礫を素材としたもの
  - 3 円礫を素材としたもの
  - 4 くぼみ石
  - 8 分類困難な破片・未成品など

Ⅵ すり石
- A すり石
  - 1 断面が三角形の礫の稜をすったもの
  - 2 扁平礫を素材としたもの
  - 3 扁平礫を半円状に打ち欠き弦をすったもの
  - 4 円礫を素材としたもの
  - 5 北海道式石冠
  - 8 分類困難な破片・未成品など

Ⅶ 石鋸・砥石
- A 石鋸
  - 1 石鋸
  - 8 分類困難な破片・未成品など
- B 砥石
  - 1 研磨面に溝があるもの
  - 2 板状のもの
  - 3 角柱状のもの
  - 8 分類困難な破片・未成品など

Ⅷ 台石・石皿
- A 台石・石皿
  - 1 台石・石皿
  - 8 分類困難な破片・未成品など

Ⅸ 石錘
- A 石錘

Ⅹ 加工痕・使用痕のみられる剥片や礫など
- A 加工痕・使用痕のみられる剥片
  - 1 剥片に加工痕のみられるもの(Rフレイク)
  - 2 剥片に使用痕のみられるもの(Uフレイク)
- B 加工痕のみられる礫
  - 1 擦り切り痕のある礫・礫片
  - 2 意図不明の加工痕のあるもの

ⅩⅠ 石核・剥片類
- A 石核・原石
  - 1 石核
  - 2 石器原石・素材と考えられるもの
- B 剥片・破片・砕片

III　調査及び報告の方法

1　調査の方法

発掘区の設定

調査区は平成8年度調査に用いられたものを踏襲した。この調査区は日本道路公団北海道横断自動車道（千歳－夕張）のセンター杭(STA128)を原点とし、100m東に位置するSTA129と結んだ直線を基準としたものである。グリッドはMラインを東西の基準線とし、原点STA128に直交する線を100ラインとして4m四方で設定した。これにより今回の調査区は南北方向にG～Z、a～z、1～8、東西には31～117の区画線が引かれた。各グリッドの表示はG－31、e－60、1－100などと呼称した。

発掘調査の方法

調査区は大まかに、低湿部が主体のA地区、丘陵上のH・K・I地区に分けられ、調査の方法も各地区により異なる部分がある。火山灰層を主体とするI・II層は全て重機により除去した。III層は全面積の25%の試掘調査を行い。これ以外は重機により掘り下げた。低湿部のA地区では厚い泥炭層の掘り下げにも重機を用いた。IV層以下の包含層は人力で掘り下げたが。A地区の泥炭層の一部は重機を併用して掘り下げている。

遺構の輪郭の測量及び遺物の取り上げには手取りとトータルステーションにより記録する方法とを併用した。またI地区・H地区の盛土遺構の一部では1m×1mの小グリッドを用いて遺物を取り上げたところがある。

フローテーション

住居跡の床面や焼土、その他遺構の覆土の土壌については資料を採取し、フローテーションにより、微細遺物とくに動物や植物遺存体を分離、採集した。

現場で採取した資料はコンテナに広げて十分風乾させ、その後乾燥重量と体積を計測し、フローテーションマシンを用いて残渣、浮遊物を回収した。浮遊物の回収には2種類のフルイ（フルイ目2.00㎜、0.425㎜）を用いて分別採取し、残渣とともに収納した。採取した3種のサンプルは全て重量を計測し集計した。（表2）

2　遺物の分類

(1)　土　器

I群土器　　縄文時代早期に属するもの

a類　貝殻復縁圧痕文、条痕文が施文されているもの

b類　縄文、撚糸文、絡条体圧痕文、組紐圧痕文、貼付文などが施された土器群

b－1類　東釧路II式、東釧路III式

b－2類　コッタロ式

b－3類　中茶路式

b－4類　東釧路IV式

II群土器　縄文時代前期に属する土器群
　a－1類　花積下層式土器、長七谷地III群土器、綱文式土器に相当するもの。
　a－2類　春日町式土器、中野式土器などに相当するもの。
　b類　円筒土器下層式に相当し、植苗式、大麻V式に相当するもの。
III群土器　縄文時代中期に属する土器群
　a類　円筒土器上層式に相当するもの。
　b－1類　天神山式土器に相当するもの。
　b－2類　柏木川式土器に相当するもの。
　b－3類　北筒式（トコロ6類)、ノダップII式、煉瓦台式に相当するもの。
IV群土器　縄文時代後期に属する土器群
　a類　前葉の土器。余市式、入江式に相当するもの。
　b類　中葉の土器。船泊上層式、手稲式、銚澗式、エリモB式に相当するもの。
　c類　後葉の土器。堂林式、三ツ谷式、御殿山式に相当するもの。
V群土器　縄文時代晩期に属する土器群
　a類　大洞B・BC式に相当するもの。
　b類　大洞C1・C2式に相当するもの。
　c類　大洞A・A'式・タンネトウL式に相当するもの。
VI群土器　続縄文時代に属する土器群
VII群土器　擦文時代に属する土器群

(2) 石　器

剝片石器群
　石鏃
　石槍またはナイフ
　石錐
　つまみ付きナイフ
　スクレイパー
　両面加工石器
　剝片に加工痕が見られるもの（Rフレイク）
　剝片に使用痕が見られるもの（Uフレイク）
　石核、フレイク・チップ

礫石器群
　石斧
　石のみ
　たたき石
　すり石
　石鋸
　砥石
　台石・石皿
　石錘
　礫・礫片類

(3) 各種製品

土製品：耳栓、土玉、スタンプ形土製品、ミニチュア土製品など
石製品：石玉、石棒、異形石器など
木製品

表1　フローテーション選別資料一覧

グリッド	遺構	層位	サンプル番号	乾燥重量(kg)	体積(I)	残渣重量(kg)	土器(g)	フレイク・チップ(g)	礫(g)	骨片(g)	炭化物(g)	浮遊物(g)
H-39	包含層	V-8b	539	160.60	244.00	3170.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4
d-55	包含層	Vb	1-15	113.96	162.00	1160.0	7.2	0.9	0.4	0.2	0.1	194.2
d-55	包含層	Vb	131-142	71.55	100.50	710.0	18.1	0.2	2.2	2.1	1.0	118.9
e-55		Vb	238-239	10.20	16.00	80.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	22.5
	ALF-002	覆土	430	1.78	4.00	20.0	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0	1.8
Z-51	ALF-003	焼土	541	2.00	2.30	40.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	9.0
	ALF-004	覆土	431	2.22	3.00	50.0	2.7	0.1	0.0	0.0	0.0	8.3
	ALF-004	V	542	2.10	3.50	10.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	15.6
	ALF-005	覆土	432	1.30	2.00	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.1
	ALF-006	覆土	433	1.19	2.00	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.1
	ALF-007	覆土	434	2.80	4.50	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.3
Z-51	ALF-008	V	544	2.10	2.50	100.0	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	24.5
	ALF-009	V－1	435	8.48	14.20	390.0	3.9	0.0	1.4	0.0	0.0	28.6
	ALF-010	V－1	436	6.12	3.80	60.0	1.1	0.1	0.0	0.3	0.0	10.3
	ALF-011	V－1	437	4.28	8.20	130.0	6.6	0.0	0.3	0.1	0.0	9.9
	ALF-012	覆土	438	1.28	2.90	20.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	14.1
e-48	ALF-013	V－1	545	3.36	6.50	110.0	3.6	0.2	0.9	1.0	0.0	15.6
	ALF-014	覆土	440	0.14	1.00	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ALF-015	覆土	441	0.39	1.00	30.0	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	14.0
	ALF-017	V－1	442	8.18	17.00	150.0	3.0	0.0	0.4	0.4	0.1	36.9
	ALF-018	覆土	546	4.10	6.50	40.0	7.6	1.8	0.0	0.0	0.0	7.0
	ALF-019	覆土	445	2.62	3.50	10.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	3.4
	ALF-020	覆土	446	5.12	10.00	50.0	0.4	0.1	2.9	0.0	0.0	16.0
I-41	ALF-021	覆土	547	5.40	8.10	30.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	10.5
H-42	ALF-022	覆土	548	6.10	9.80	70.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	36.2
I-43	ALF-023	覆土	549-550	8.40	12.20	80.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	23.5
	ALF-024	覆土	447	1.90	3.20	20.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	ALF-025	覆土	448-449	0.87	1.70	10.9	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	59.5
G-40	ALF-026	覆土	551	4.98	7.50	30.0	1.4	4.2	0.3	0.0	0.0	27.4
	ALF-027	覆土	450	0.26	0.50	10.0	0.4	0.3	0.2	0.0	0.0	2.1
	ALF-028	覆土	451	0.62	1.20	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4
G-41	ALF-029	覆土	552	2.68	4.50	20.0	0.0	0.4	0.4	0.0	0.0	11.2
G-41	ALF-030	覆土	553	4.00	5.00	20.0	0.0	0.3	0.8	2.0	0.0	7.6
	ALF-031	覆土	452	0.20	0.40	10.0	0.0	0.2	0.3	0.0	0.0	3.8
I-44	ALF-033	覆土	554	9.66	14.80	100.0	0.0	1.5	3.9	0.6	0.0	26.6
I-44	ALF-034	覆土	555-556	12.64	17.50	70.0	0.3	0.1	2.1	0.0	0.0	3.2
H-42	ALF-035	覆土	557	2.66	4.80	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.0
	ALF-036	覆土	456	2.68	4.00	20.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	9.7
H-41	ALF-038	覆土	558	2.80	4.00	20.0	0.6	0.0	0.2	0.0	0.0	9.9
H-41	ALF-039	覆土	559-560	8.18	11.50	70.0	1.1	0.1	0.7	0.0	0.0	48.3
	ALF-040	VI	561	7.00	10.00	10.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	3.3
	ALF-042	VI	562-563	18.52	27.30	120.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	5.8
	ALF-043	VII	564	1.30	2.00	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.6
	ALF-044	VI	565	8.75	13.30	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	11.7
	ALF-045	覆土	566	2.10	3.50	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	50.4
	ALF-046	覆土	567	3.60	6.20	50.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
	ALF-047	覆土	568-569	10.10	14.00	850.0	0.6	0.0	0.3	0.8	0.0	29.0
	ALF-048	覆土	570-571	1.24	2.20	20.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	26.2
	ALF-049	覆土	572-575	13.20	22.50	240.0	16.2	0.6	2.2	1.1	0.0	21.9
	ALF-050	覆土	576-577	0.24	0.27	20.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	30.1
	ALF-051	覆土	578-579	4.30	6.80	140.0	1.4	0.5	0.0	0.0	0.0	14.6
N-45	ALF-053	VII	580	11.20	15.50	140.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.8
	ALF-059	焼土	581	3.40	5.00	30.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0
	ALF-060	覆土	582	12.50	17.00	150.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.5
H-43	ALF-32	覆土	751	0.92	1.50	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.9
	ALF-51	覆土	752	0.00	0.00	10.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	9.9
	ALH-003	覆土	583	4.20	7.00	1100.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	5.5
	ALH-004	覆土	584-585	17.10	26.50	6520.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.9

グリッド	遺構	層位	サンプル番号	乾燥重量(kg)	体積(l)	残渣重量(kg)	土器(g)	フレイク・チップ(g)	礫(g)	骨片(g)	炭化物(g)	浮遊物(g)
	ALH-005	覆土焼土	586	0.72	1.10	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.1
	ALH-006	覆土	587	12.18	20.30	1560.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.3
	ALH-007	覆土	543	4.50	7.00	30.0	1.9	0.0	0.1	0.0	0.0	14.3
	ALH-011	覆土	588-589	59.04	98.00	2100.0	21.9	9.0	0.7	0.0	0.5	362.5
	ALH-012	覆土	590	30.00	38.00	5760.0	5.6	0.6	0.9	0.0	0.6	9.6
	ALH-013	覆土	591-592	12.00	20.00	250.0	0.0	0.4	0.5	0.0	0.9	289.1
	ALH-014	覆土	593-596	35.90	45.80	5510.0	27.3	0.0	2.4	0.0	0.8	434.7
	ALH-015	覆土	597-599	10.50	14.50	400.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.1
	ALH-016	覆土	600	9.50	12.00	370.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	9.6
	ALP-002	覆土中B	458-480	62.87	89.40	6890.0	441.9	3.8	4.9	0.2	0.2	392.7
	ALP-005	覆土	481	0.72	1.10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	ALP-017	Ⅶ	182	4.12	6.10	110.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	9.8
	ALP-022	覆土7	602-604	19.05	29.6	700.0	17.5	0.0	0.5	0.0	0.2	27.2
	ALP-032	覆土	605	3.10	4.50	50.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.7
	ALP-034	覆土	606	2.75	3.50	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.9
	ALP-039	覆土	607	2.90	5.00	70.0	2.5	0.2	0.0	0.0	0.0	27.5
	ALP-046	5	608	2.30	4.30	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.4
	AMF-001	覆土	609	3.10	4.00	100.0	3.3	0.1	0.0	0.2	0.0	3.9
	AMF-002	覆土	483	2.90	5.10	20.0	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0	10.2
	ANP-005	覆土	610	2.60	4.00	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.5
G-39		Ⅴ層	750	16.00	11.60	340.0	2.8	0.5	1.2	0.0	0.0	31.9
	HLF-001	焼土	332-333	7.69	10.50	240.0	1.4	0.0	0.1	0.0	0.0	6.2
	HLF-003	焼土	334	5.90	9.00	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	15.5
	HLF-004	焼土	335	5.90	9.00	220.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.0
	HLF-006	焼土	334-339	19.80	23.50	450.0	1.8	0.0	0.9	0.0	0.0	136.5
	HLF-007	焼土	340	1.00	1.00	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.8
	HLF-008	焼土	341	0.80	0.90	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.4
	HLF-009	焼土	342	1.30	2.00	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	HLP-002	覆土下	171-172	6.77	10.50	2330.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	38.0
	HLP-010	覆土	391-399	72.47	104.00	2610.0	10.5	0.5	1.4	0.2	0.0	264.0
	HLP-019	覆土	349-355	57.05	81.85	3540.0	5.9	1.0	2.6	0.0	0.0	96.0
	HLP-136	覆土	166-170	33.55	46.50	1400.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	8.5
	HLP-207	覆土	380-384	20.90	32.00	1700.0	1.7	0.6	0.0	0.0	0.0	18.5
	HLP-307	覆土	343-348	26.40	41.00	4680.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	49.8
	HLP-332	覆土	385-390	45.10	63.50	480.0	16.9	1.4	5.0	2.5	1.3	37.9
	HLP-333	覆土	400-425	122.31	170.80	4896.0	89.6	9.9	14.7	4.1	1.0	71.8
	HLP-410	覆土下	426	11.15	15.50	650.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
	HLP-412	覆土下	427	4.21	7.00	380.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.8
	HLP-463	覆土	428	5.95	8.00	1000.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.2
	HLP-505	覆土下	159-162	19.11	27.80	4000.0	0.6	0.0	2.5	0.0	0.0	128.7
	HLP-522	覆土下	173	4.05	5.00	290.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	36.8
	HLP-537	覆土下	429	9.95	13.00	2280.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	17.3
c-55	HM-1	盛土2	16-23	92.44	125.00	790.0	6.2	0.7	1.0	0.6	0.0	88.3
d-55	HM-1	盛土	143-153	74.19	99.50	1620.0	35.3	0.9	1.9	3.8	2.5	188.8
d-55	HM-1	盛土2	154-158	33.74	51.50	340.0	5.2	0.1	1.4	0.0	0.1	108.0
f-56	HM-1	盛土	174-176	13.85	17.00	410.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	47.8
	HM-2	盛土	208-237	112.88	155.20	4790.0	33.5	1.8	2.9	0.0	0.2	762.1
e-60	HM-2	盛土2	129-130	13.50	16.00	300.0	4.1	0.4	1.0	0.3	0.0	24.7
e-61	HM-2	盛土1	302-331	176.40	220.00	5210.0	66.2	1.1	2.8	0.0	0.6	866.7
e-61	HM-2	盛土2	240-260	113.50	134.50	4370.0	57.6	1.7	3.3	0.8	0.0	1215.9
e-61	HM-2	盛土2	282-301	119.17	149.50	3730.0	39.4	2.0	1.6	0.1	0.0	872.9
f-61	HM-2	盛土1	177-207	116.72	148.90	5600.0	23.9	0.7	0.7	0.1	0.0	586.0
h-52	HM-3	盛土2	61-78	88.82	135.50	1930.0	4.3	0.3	0.0	0.0	0.0	226.3
i-52	HM-3	盛土2	356-379	104.10	133.50	2110.0	6.2	0.6	0.3	0.0	0.0	465.7
	HMF-001	覆土	261	1.20	1.00	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.2
	HMF-002	覆土	262	2.20	2.00	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.7
	HMF-003	覆土	263	0.25	0.20	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	HMF-004	覆土	264	1.45	1.50	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	HMF-005	覆土	265	1.45	1.50	20.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0
	HMF-006	覆土	266	1.45	2.00	50.0	0.6	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0

グリッド	遺構	層位	サンプル番号	乾燥重量(kg)	体積(l)	残渣重量(kg)	土器(g)	フレイク・チップ(g)	礫(g)	骨片(g)	炭化物(g)	浮遊物(g)
	HMF-007	覆土	267	44.25	55.00	560.0	3.9	0.3	0.6	0.0	0.0	158.4
	HMF-008	覆土	268	25.90	34.00	300.0	5.1	0.2	1.3	0.0	0.0	281.7
	HMF-009	覆土	269	1.65	2.00	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.4
	HMF-010	覆土	270	1.50	2.00	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	164.3
	HMF-011	覆土	271	1.00	0.80	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.8
	HMF-012	覆土	272	2.70	3.50	50.0	0.4	0.0	0.1	0.0	0.0	10.2
	HMF-013	覆土	273	0.40	0.50	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.9
	HMF-014	覆土	274	0.50	0.50	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.5
	HMF-015	覆土	275	0.40	0.30	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.6
	HMF-016	覆土	276	2.45	3.00	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1
	HMF-017	覆土	277	3.00	3.00	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5
	HMF-021	覆土	278	1.65	1.00	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.4
	HMF-022	覆土	279	1.30	1.50	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8
	HMF-023	覆土	280	1.85	2.00	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.2
	HMF-024	覆土	281	0.35	0.30	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	ILFG-004	覆土	611	6.00	8.50	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.8
	ILFG-011	覆土	612	8.80	13.00	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.7
	ILFG-022	覆土	613	9.90	15.00	190.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.2
	ILFG-034	覆土	614	5.70	9.00	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.8
	ILFG-039	覆土	615	1.40	2.00	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.1
	ILFG-051	覆土	616	3.70	5.00	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.6
	ILFG-067	覆土	617	2.10	3.00	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.0
	ILFG-073	覆土	618	2.50	3.80	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1313.2
	ILFG-077	覆土	619	4.60	5.50	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.3
	ILFG-083	覆土	620	5.40	8.00	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
	ILFG-084	覆土	621	11.10	17.00	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	7.1
	ilfg-097	覆土	622-625	9.70	17.50	350.0	2.8	1.5	0.1	0.0	0.0	32.7
	ilfg-102	覆土	626-630	11.50	19.50	230.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	24.2
	ILFG-103	覆土	631	5.80	9.00	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-120	覆土	632	11.00	16.00	150.0	15.5	0.0	0.0	0.0	0.0	15.2
	ilfg-125	覆土	633-637	10.89	18.10	730.0	14.7	0.2	0.0	0.0	0.0	97.2
	ilfg-135	覆土	638-639	3.58	6.80	90.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.9
	ilfg-142	覆土	640-642	6.28	11.30	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5
	ILFG-160	覆土	643	1.10	1.60	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
	ILFG-168	覆土	644	0.70	1.10	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9
	ILFG-171	覆土	645	1.70	3.00	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-183	覆土	646	1.30	2.00	30.0	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ilfg-195	覆土	647	1.72	3.20	20.0	0.0	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0
	ILFG-200	覆土	648	2.20	3.00	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0
	ILFG-201	覆土	649	0.80	1.00	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	135.8
	ILFG-205	覆土	650	0.60	1.00	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.2
	ilfg-342	覆土	651	0.30	0.50	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.9
	ilfg-357	覆土	652-653	1.14	2.15	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.1
	ilfg-371	覆土	654-655	2.48	4.30	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
	ilfg-437	覆土	656-657	4.08	6.00	90.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	92.7
	ilfg-449	覆土	658	0.24	0.60	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.6
	ilfg-473	覆土	659-660	1.70	3.00	30.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
	ilfg-484	覆土	661-662	1.28	2.40	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.4
	ilfg-494	覆土	663-664	1.72	3.10	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.7
	ILFG-505	覆土	665	3.40	0.00	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-506	覆土	666	0.80	0.10	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-510	覆土	667	15.80	23.00	200.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-513	覆土	668	1.54	2.00	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	263.3
	ILFG-517	覆土	669	1.30	2.00	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5
	ILFG-545	覆土	670	4.60	6.50	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.6
	ILFG-578	覆土	671	30.93	44.00	150.0	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-634	覆土	672	3.70	5.00	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-640	覆土	673	1.30	2.00	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-646	覆土	674	7.30	11.00	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.4
	ILFG-653	覆土	675	7.10	9.50	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	39.2

グリッド	遺構	層位	サンプル番号	乾燥重量(kg)	体積(I)	残渣重量(kg)	土器(g)	フレイク・チップ(g)	礫(g)	骨片(g)	炭化物(g)	浮遊物(g)
	ILFG-704	覆土	676	2.60	3.50	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.1
	ILFG-705	覆土	677	3.76	5.00	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-713	覆土	678	3.80	5.00	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
	ILFG-721	覆土	679	5.50	7.00	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-724	覆土	680	7.30	12.50	90.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-725	覆土	681	5.04	7.20	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-730	覆土	682	4.52	6.50	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	94.6
	ILFG-735	覆土	683	3.70	5.00	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-736	覆土	684	6.90	9.00	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-739	覆土	685	5.64	8.00	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-750	覆土	686	5.00	8.00	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-758	覆土	687	5.54	8.00	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-759	覆土	688	6.90	9.20	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
	ILFG-764	覆土	689	4.40	6.00	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-765	覆土	690	5.80	8.20	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-779	覆土	691	5.50	7.00	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-788	覆土	692	4.80	6.10	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-794	覆土	693	3.50	5.00	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-804	覆土	694	7.00	10.50	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-805	覆土	695	5.00	6.50	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-816	覆土	696	2.50	3.50	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-824	覆土	697	2.80	4.00	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-837	覆土	698	1.60	2.00	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-842	覆土	699	3.34	5.80	30.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-849	覆土	700	7.24	11.00	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-864	覆土	701	6.82	9.50	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.4
	ILFG-871	覆土	702	4.60	6.50	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
	ILFG-880	覆土	703	6.12	9.00	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.5
	ILFG-886	覆土	704	7.00	13.00	130.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-932	覆土	705	2.10	3.00	20.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
	ILFG-933	覆土	706	3.50	5.00	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.1
	ILFG-937	覆土	707	3.40	5.00	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.1
	ILFG-938	覆土	708	1.46	2.10	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.2
	ILFG-939	覆土	709	3.00	5.00	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.6
	ILFG-945	覆土	710	5.00	7.00	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7
	ILFG-959	覆土	711-712	10.70	15.00	160.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILFG-971	覆土	713	3.50	4.00	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.7
	ILP-002	覆土	714-718	90.70	134.90	5650.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
	ILP-003	墳底直上№9	719-731	28.03	51.90	4860.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	10.1
	ILP-007	覆土	732-733	2.30	3.20	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
	ILP-009	覆土	734	22.10	28.00	1400.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7
	ILP-011	墳底直上4	735-738	8.40	14.10	140.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.8
	ILP-013	覆土	739	2.28	4.00	340.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
	ILP-014	覆土	740	10.16	16.00	320.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ILP-021	覆土	741-746	600.42	904.30	14100.0	133.5	0.2	0.9	0.0	0.0	3.8
	IMBF-009	覆土	747	8.72	12.20	110.0	6.4	0.0	5.4	0.0	0.0	2.1
	IMF-001	覆土	748	5.50	7.00	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.7
	IMF-002	盛土A	749	20.00	29.00	240.0	7.4	0.9	0.6	0.0	0.2	1.9
	KLP-005	覆土下層	536	279.57	362.00	29148.7	173.2	8.6	8.5	0.0	0.3	223.3
	KLP-009	覆土	538	46.75	60.00	5630.0	40.4	0.4	10.4	0.0	0.0	5.3
	KLP-015	覆土	537	80.50	102.00	1120.0	5.2	0.8	0.5	0.0	0.0	3.6
e-61	HM-2	盛土1	24-60	120.15	162.90	4840.0	41.1	0.4	0.6	0.0	0.1	1710.0
e-60	HM-2	盛土1	79-128	233.74	293.70	6530.0	95.5	2.8	13.1	0.0	0.1	5396.6
総合計				4548.97	6357.07	185980.6	1598.2	81.2	132.1	25.6	15.3	20922.9

Ⅳ　A地区の調査

1　概　要

(1)　概　要

A地区（4,750㎡）は馬追丘陵から続く緩斜面の末端に位置する。キウス4遺跡の中では最も西側にあたり、北側はA2地区、東側はL地区、南側はH地区に隣接する。

地形は、南東側から北西方向へ張り出す標高6m程の台地部分と、標高4～5m程の低湿部分とに大きく分けられる。土層断面やⅢ層とⅤ層の地形図を比較すると、低湿部に厚く堆積した泥炭が台地との比高差を次第に縮めていく様子が表れている。

遺構はすべてⅤ層で確認されたものである。住居跡、土壙、小ピット、焼土、盛土遺構、水場遺構などが検出された。遺物は土器片約92,000点、石器等約32,000点、木製品等80点が出土した。遺構・遺物はWラインを境にその様相が大きく異なり、北側では縄文時代早期後半～前期前半、南側では後期後葉のものが分布する。

Wライン以北は、上述した台地部分の中央から北側に、縄文時代早期後半～前期前半の遺構が集中している。遺構の中で確実に住居跡と判断されるものは、ALH－3、4、5、10、13、14、15、17の8軒である。この内、早期後半のものはALH－5、10、13、14、15、17の6軒である。平面形は不整円形や楕円形を呈し、地床炉があるものとないものがみられる。前期前半のものはALH－3、4の2軒である。平面形は隅丸長方形を呈し、南側にはテラス状の張り出しが設けられる。規模は長軸が7m程と大型である。住居内で地床炉、柱穴は検出されていない。

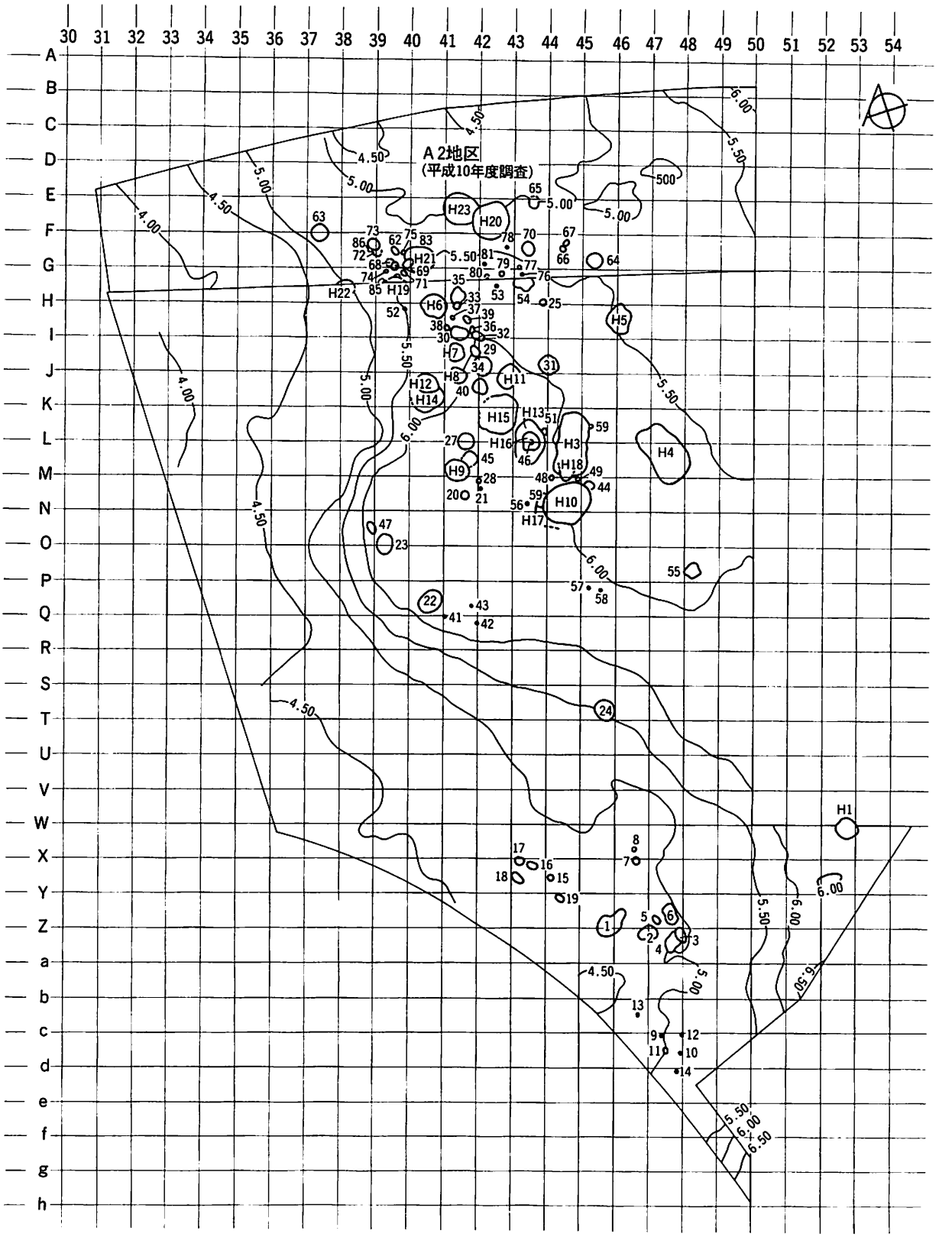
土壙は、主に台地の北側で検出されたが、ALP－22、23、24、47等のように台地の縁に点在するものもある。規模・形態などから、いくつかのまとまりが存在すると思われる。土壙の中で主だったものとしては、覆土から中茶路式土器がまとまって出土したALP－20、底面近くから美々7式土器の大型破片が出土し、包含層出土の土器と接合したALP－46、覆土中から静内中野式土器の破片が多量に出土し、遺構上部に台石を設置した張り出し部が設けられているALH－6が上げられる。なお、ALH－6は規模から住居に相当する遺構名を与えてしまったことを断っておく。

台地で検出された焼土の中には、北に向かって列をなすようにみられるものがある。隣接するA2地区ではこのような状況がより顕著にみられる。台地部分で検出された遺構の大半は、時期についての明確な決め手を欠き、周囲の遺物から縄文時代早期後半～前期前半のものであると言うに留まった。

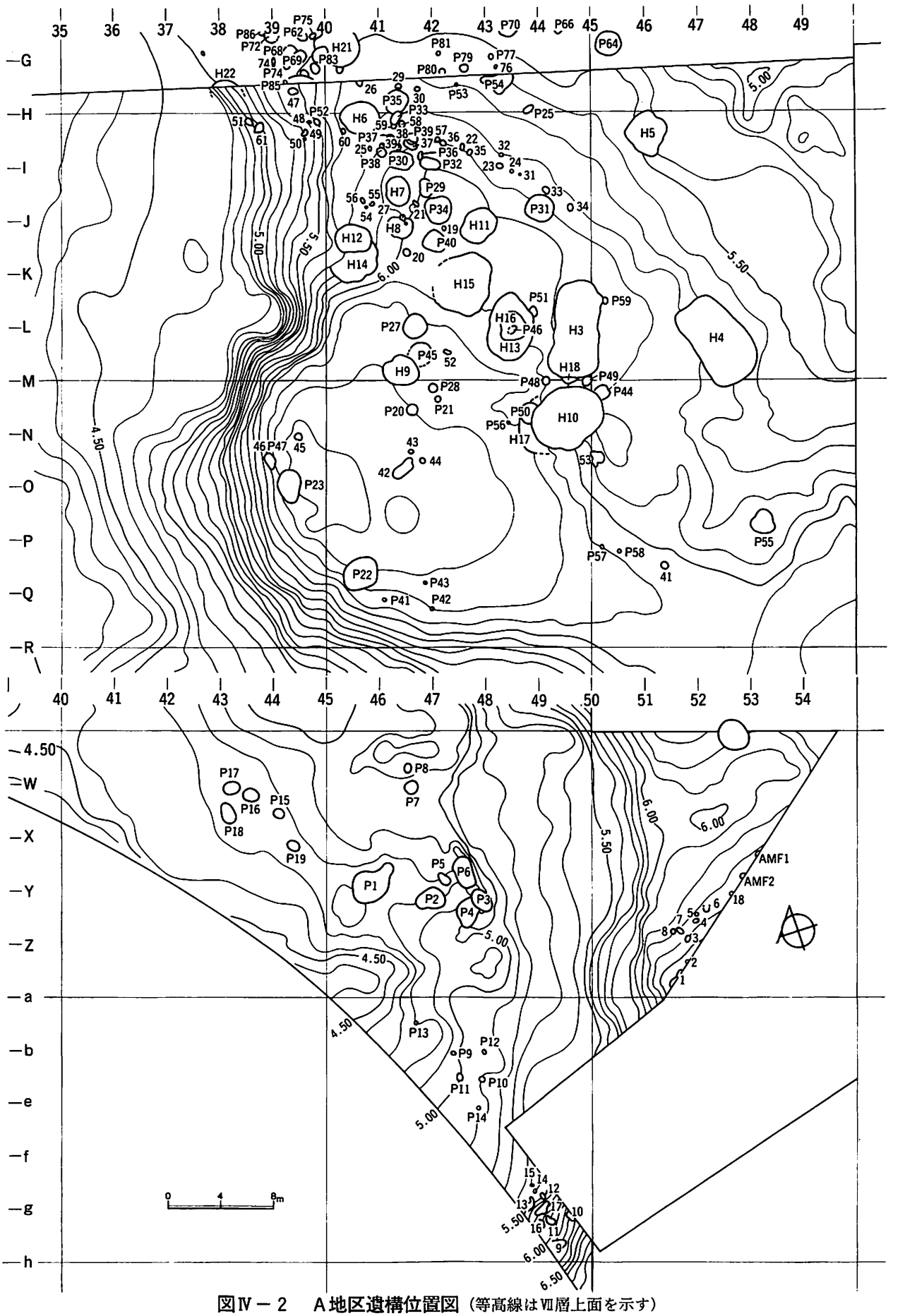
この他、注目されるものとしてT－42区での石斧集中がある。掘り込みは確認されず、周囲から遺物はほとんど出土していない。

遺物は、縄文時代早期後半～前期前半のものが出土している。土器では特に中茶路式土器が多い。石器では断面が三角形のすり石など礫石器の多さが目につく。

Wライン以南は湧水の豊富な低湿部にあたり、水場や盛土など縄文後期の遺構・遺物が集中している。水場遺構は4基の土壙からなり、緩斜面のゆるやかな沢地形に沿って一列に並ぶ。これらの土壙からは、堂林式を主とする土器片、石皿、台石、木片などが合計1,000点以上出土した。それぞれの平面形はいずれも不整形で、深さ1.2～1.6m、底面に顕著な凸凹がみられる。このため自然地形と人為的な掘り込みとの境は明瞭ではなく、壙底付近からの豊富な湧水を考慮すると、本遺構は自然の落ち込みを利用して営まれた可能性が考えられる。



図Ⅳ－1　A地区遺構位置図（等高線はⅦ層上面を示す）



図Ⅳ－２　A地区遺構位置図（等高線はⅦ層上面を示す）

水場遺構の他、低湿部では小ピットが200基近く検出されており、木杭が残っていたものもある。

盛土遺構はF・H・L地区でも検出された北側盛土の縁辺部である。低湿部よりやや高い部分に広がる。盛土下のVb層では焼け方が弱い焼土のまとまりが検出された。

遺物は縄文時代後期中葉から後葉の鉇澗式、堂林式期のものがほとんどであるが、低湿部ということもあって、朱塗りの容器、丸木弓の破片、槌状製品等の木製品が出土した。

(2) 土　層

A地区の土層は基本的にキウス4遺跡全体の基本土層と同じで、Ⅰ～Ⅷ層に分層している（図Ⅱ－3）。ただし、A地区のほとんどは低湿部に位置しているため、平成8年度に調査を行ったキウス4遺跡L地区（北埋調報124）と同様に、Ⅲ・Ⅴ層を細分した。また平成10年度には北側のA2地区の調査が行われ、本来なら土層名がA地区と一致しなければならないが、一部異なっている。異なる土層名を使用したところでは、相互の報告書中でそれぞれ対応する土層名を付記している。

A地区の基本土層はW－43区北壁（第3地点）で観察した。しかし、この部分は低地部分のためプライマリーなⅧ層が確認できず、これを補うためにA地区の北壁2カ所で花粉分析用の試料を採取するとともに、土層の観察も合わせて行った。1カ所は縄文時代早期・前期の遺構のまとまりがみられたG－45区北壁（第2地点）、もう1カ所はそこから西へ約34m、前期の木製品や遺物が出土した低地部分G－36区北壁（第1地点）である。土層柱状図はこの3カ所と40ラインのメインセクション中、C14年代測定試料を採取したU－39区東壁（第4地点）の合わせて4カ所を図示した。また、第1・2地点の柱状図の中で、右端の連続した数字は、花粉分析試料の試料番号である。柱状図の右側には、C14年代測定結果を示した。

以下、第3地点の土層を基本に説明し、不足部分については他地点の土層を参考に補足する。

Ⅰ　層：表土、耕作土。
Ⅱ　層：樽前a降下軽石層。耕作により削られ、部分的にしか残っていない。
Ⅲ－1：黒色泥炭。層厚12cm。Ⅲ－1～9層までは、泥炭と黒泥の互層。
2：暗褐色泥炭。層厚8cm。Ⅲ－4層に同じ。
3：黒色泥炭。バンド状、層厚5cm。
4：暗褐色泥炭。分解のすすんでいない泥炭。ミズゴケのようなスポンジ状の植物を多く含む。層厚30cm。
5：黒色泥炭。(7.5YR1.7/1) 層厚23cm。
6：暗褐色泥炭。層厚14cm。
7：黒泥。Ⅲ－9層上部より黒みを帯びる。層厚8cm。
8：褐灰色泥炭。(7.5YR4/1) 層厚7cm。
8b：暗褐色泥炭質土。En-aパミスが少量混じる。
8c：灰褐色砂礫層。En-aパミスと粗砂が混じる。
9：黒褐色泥炭。Ⅲ－10層を挟む。色調はその上下で異なる。上部は褐色を帯び（10YR1.7/1）層厚6cm。下部は黒色を帯び、層厚4cm。
10：樽前c_1降下軽石層。層厚1.5cm。
Ⅳ　層：樽前c_2降下軽石層。（上部は軽石で層厚4cm、下部は岩片で層厚5.5cm。）
Ⅴ－1：黒泥。層厚26cm、Ⅴ－2層を含む。断面を削るとボソボソ、植物の分解がすすんでいる。

Ⅴ－7層よりも黒みが強い。《Ⅴ層上位相当》

2　：灰赤色泥炭質土。(2.5YR5/2) 層厚1cm以下層は連結しない。《Ⅴ層上位相当》

3　：褐灰白泥炭質土。(7.5YR6/1) 層厚6cm。《Ⅴ層中位1相当》

4　：褐色泥炭。層厚6cm。《Ⅴ層中位2相当》

5　：黒褐色泥炭。層厚6cm。《Ⅴ層中位3相当》

6　：褐色泥炭。層厚8cm。《Ⅴ層中位4相当》

7　：黒泥。層厚20cm、Ⅴ－1層より褐色を帯びる。断面を削っても、Ⅴ－1層のようにボソボソにはならず、土の粒子が極め細かい。

8　：灰褐色泥炭。(7.5YR4/2) 層厚8cm。指の腹でこすると砂粒の粒子を感じる。径3～8㎜の角が円くなったEn-aを少量含む。インボリューションでⅤ－9層中のEn-aが上がっている。

9　：灰褐色砂礫層。(7.5YR5/2) 層厚14cm。細砂、粗砂、En-aを多く含み互層となっている。En-aは径2cm以下の亜円礫で、まれに径6cmの亜角礫ものを含む。

10　：オリーブ灰色砂。(2.5GY5/1) と褐灰色粘土、シルト (10YR4/1) の互層（層厚27cm、粘土と砂が層厚1～10㎜で何枚も堆積している。下位には層厚3～9cmの粘土が堆積している。Ⅴ－9層との界は明瞭である。

11　：黒褐色泥炭。(5YR2/1) 層厚20cm。径10cm前後の木を含む。径5～12㎜のEn-aの亜円礫を少量含む。Ⅴ－13層より明るい。

12　：黒褐色砂礫層。(10YR3/1) 径8～20㎜のEn-a亜円礫を多く含む。層厚7cm。

13　：黒褐色泥炭。(10YR2/2) 径25～35㎜の木を少量含む。層厚10cm。

14a：黒褐色砂礫層。(10YR3/2) 層厚26cm。径5～25㎜のEn-a亜角礫を多く含む。

14b：黒褐色泥炭。(7.5YR3/1) 層厚6cm。層は連続しない。

14c：灰黄褐色砂礫層。(10YR3/2) 径23cm。径5～18㎜のEn-a亜角礫を多く含む。

15a：暗褐色泥炭。(7.5YR3/3) 泥炭の二次堆積土。層厚11cm。Ⅴ－15b層と同様シルト中に層厚5㎜以下の泥炭が何枚も入る。

15b：灰白色砂。(7.5Y7/2) シルトと砂の互層。シルト中に層厚10～20㎜の砂層が入る。層厚40cm。

16　：暗緑灰色砂礫層。(5G3/1) 上部は鉄分の沈着で橙褐色を呈する。径50㎜以下の角が丸くなった支笏の軽石を含む。砂の分級はあまりよくない。砂が主体でほかに礫を含む。

A地区の土層断面は、調査区の中央部を十字に通る40ライン東壁とMライン北壁、そしてA地区の北壁の3カ所について実測図を作成した。

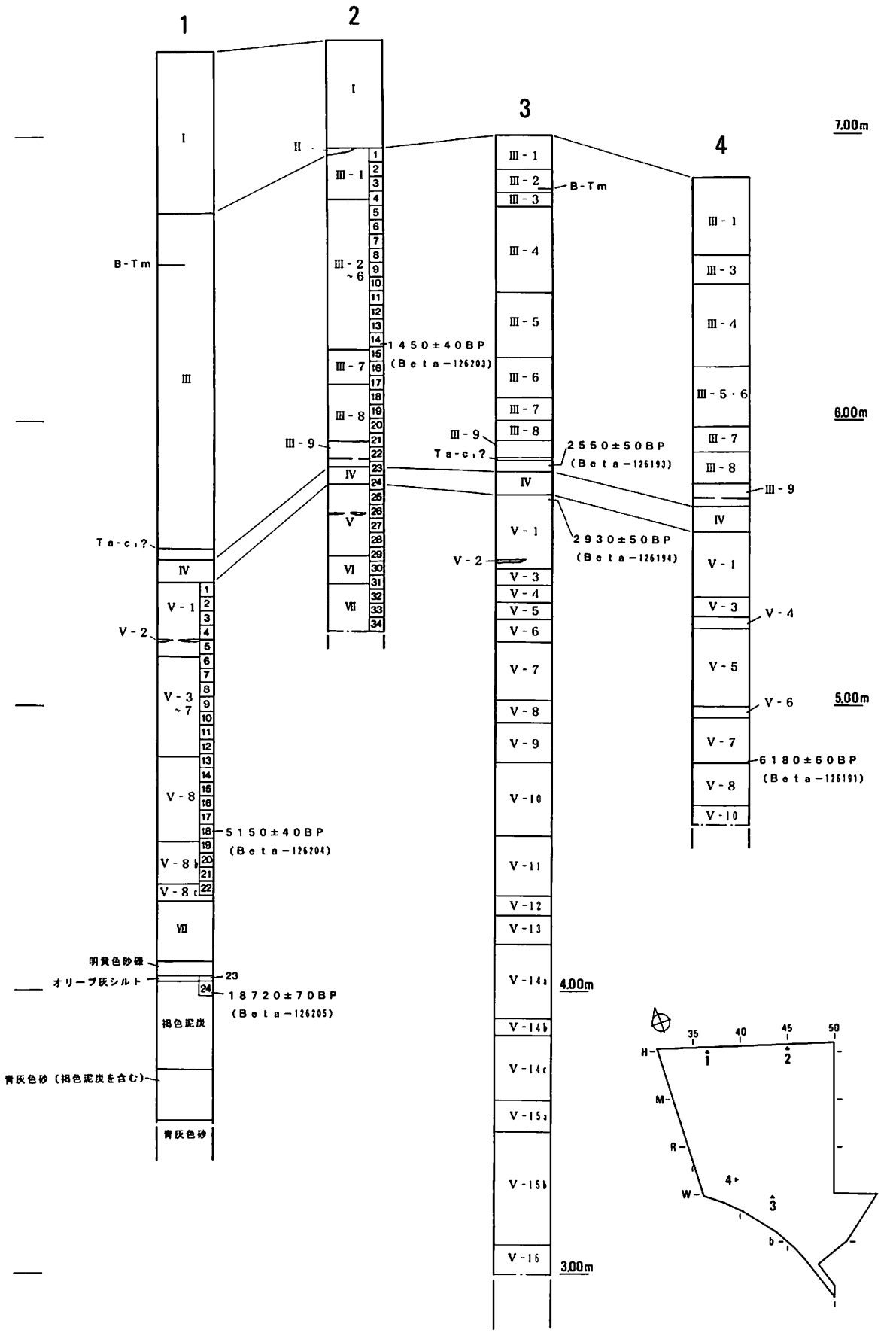
東西方向のMラインでは、M39付近を境に地形的に変化する。東側は標高6m前後で縄文時代早期、前期の遺構が検出された高まり部分である。この部分では3軒の住居跡（東からALH－4・3・9）がトレンチにかかり、遺構の断面と住居跡の掘上げ土（ALH－3・4）が観察された。また、M49より東側ではⅣ層の堆積後、水の影響により土層が撹乱されており、遺物はほとんど出土しない。

M39の西側は標高4.5m前後の低地部分でⅧ層を主体とする砂礫層が堆積し、早期、前期の遺物と流木などが少量出土した。この低地部分はⅧ層上面に黒色土とEnaパミスが混じり、パミスの含まれる量によって2層に分けた。上層（Ⅴ－8b層）は黒色土＞パミスが混じるが、下層（Ⅴ－8c

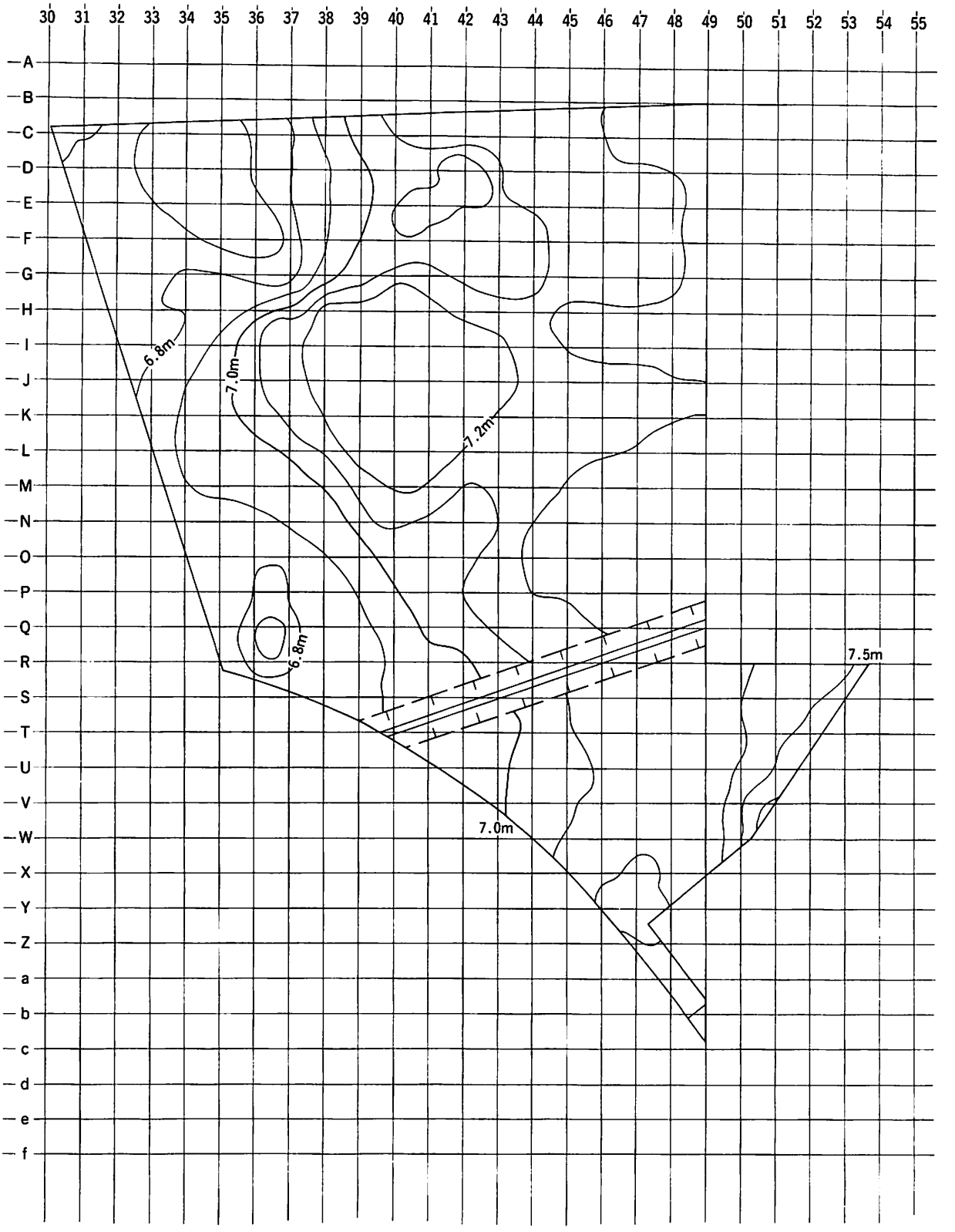
層）は黒色土＜パミスである。トレンチの最も西端では、Ⅷ層上面の標高が約４m、その上のⅤ－８層からは、径約40cmの流木が土層中に入っている。A地区の西端では遺物は出土しない。

同じく東西方向のセクションである北壁では、Mラインとほぼ同様の傾向だが、Mラインでは斜面が急であるのに対し、北壁では39ラインから西に向かって緩やかに低くなっている。37～38ライン間では流木、炭化木などが約10m四方の範囲にまとまっており、前期の土器片、すり石、石皿なども比較的多く出土した。この流木のまとまりは、北側のA２地区へも続いている。一方、東側は遺構の立地する高まり部分にあたるが、Mラインのように明瞭な遺構の断面はみあたらなかった。一部、38～41ライン間で遺構の掘上げ土と焼土の断面が見られた程度である。さらに東側の47.5ラインから東側ではMライン同様、水の営力によりⅣ～Ⅶ層まで撹乱を受け土層が乱されていた。

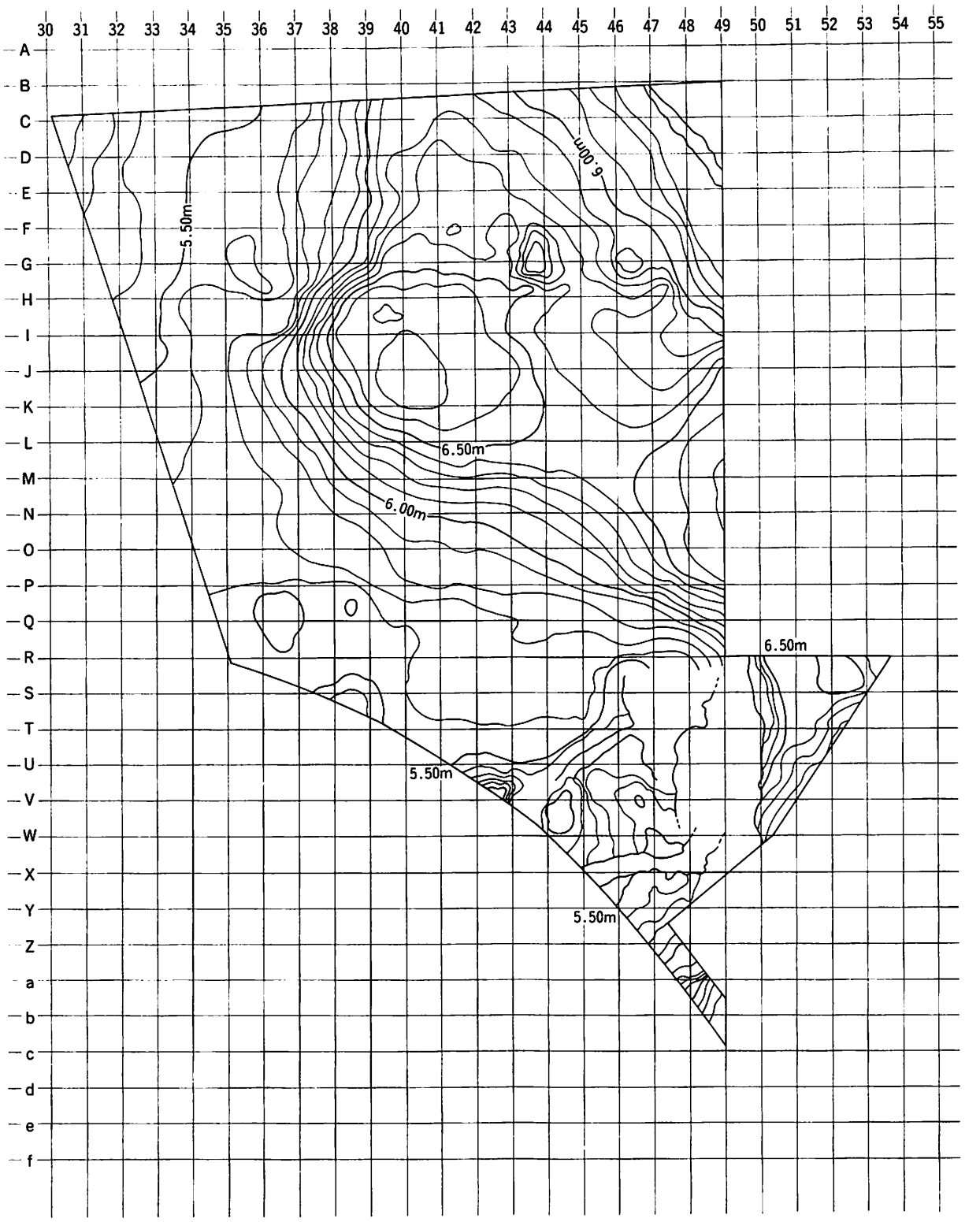
南北方向の40ラインはちようど段丘縁にあたり、Ⅶ・Ⅷ層はPラインの南から除々に低くなっている。G～Kラインあたりには、Ⅶ層上面に遺構の掘り上げ土が分布する。


1
2
3
4
7.00m
6.00m
5.00m
4.00m
3.00m
B-Tm
Ta-c₁?
1450±40BP
(Beta-126203)
2550±50BP
(Beta-126193)
2930±50BP
(Beta-126194)
5150±40BP
(Beta-126204)
18720±70BP
(Beta-126205)
6180±60BP
(Beta-126191)
明黄色砂礫
オリーブ灰シルト
褐色泥炭
青灰色砂（褐色泥炭を含む）
青灰色砂
35
40
45
50
H
M
R
W

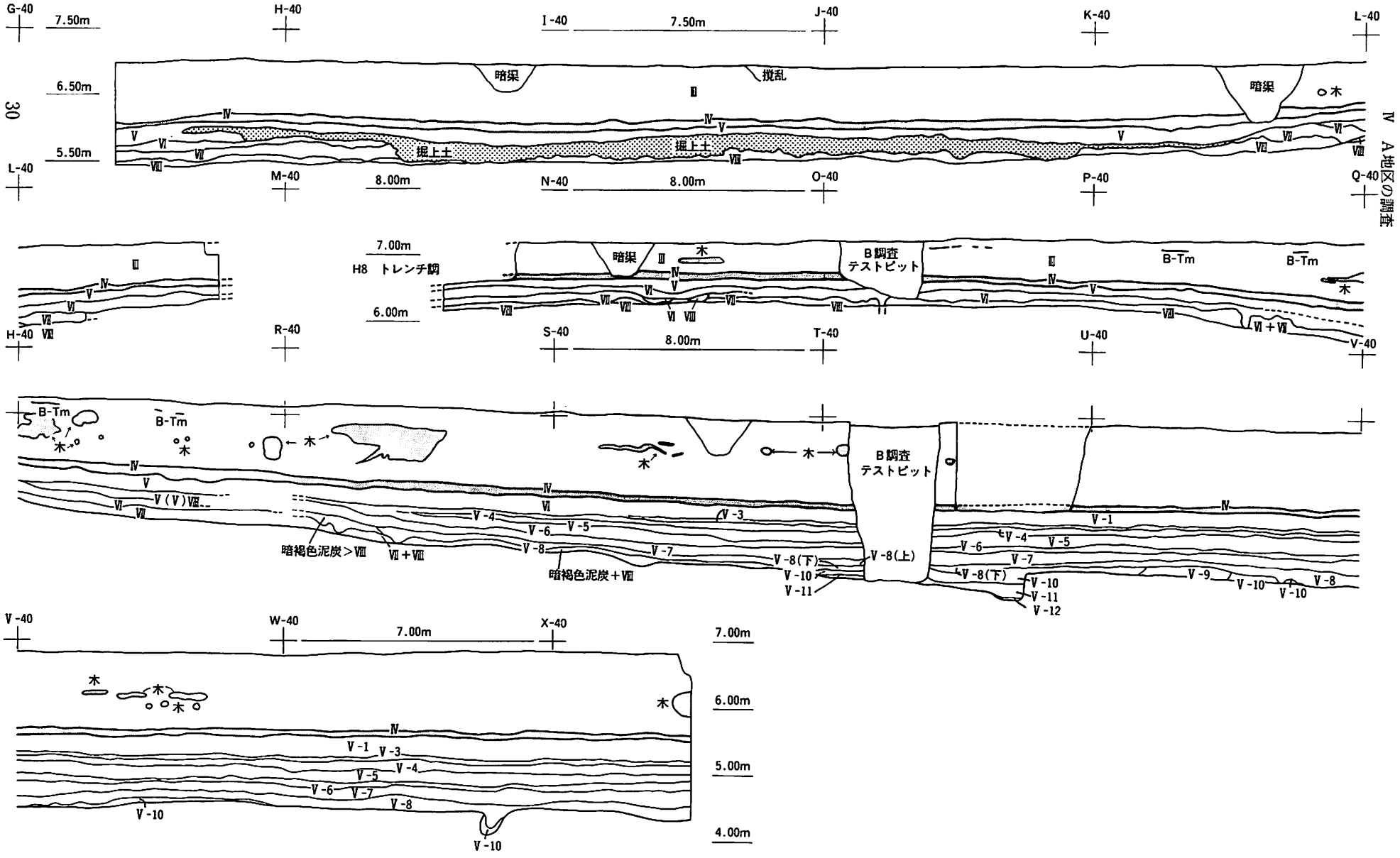
図Ⅳ－3　A地区基本層序


30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f
6.8m
7.0m
7.2m
6.8m
7.5m
7.0m

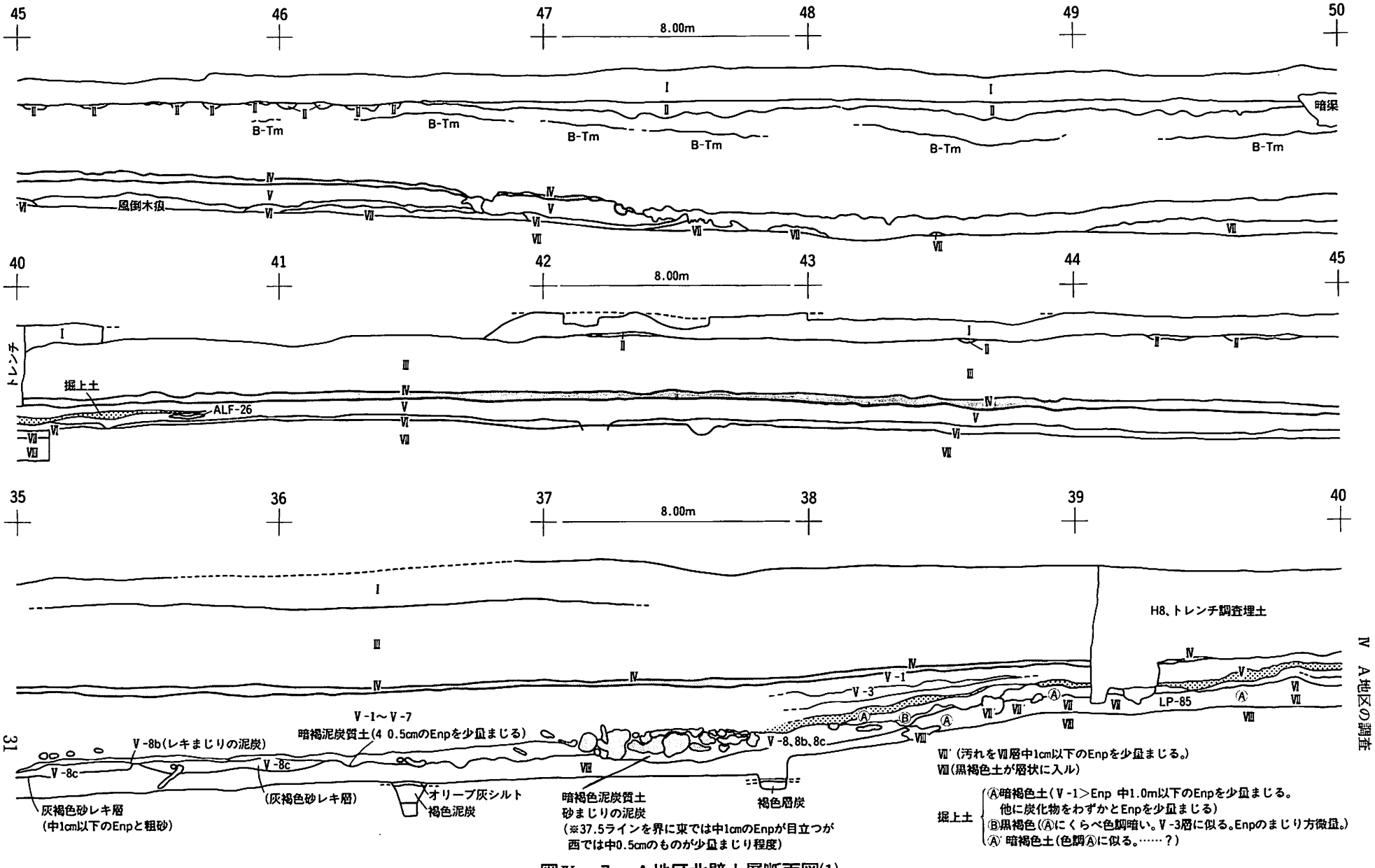
図Ⅳ－4　Ⅲ層上面地形図


30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f
5.50m
6.00m
6.50m
6.00m
6.50m
5.50m
5.50m

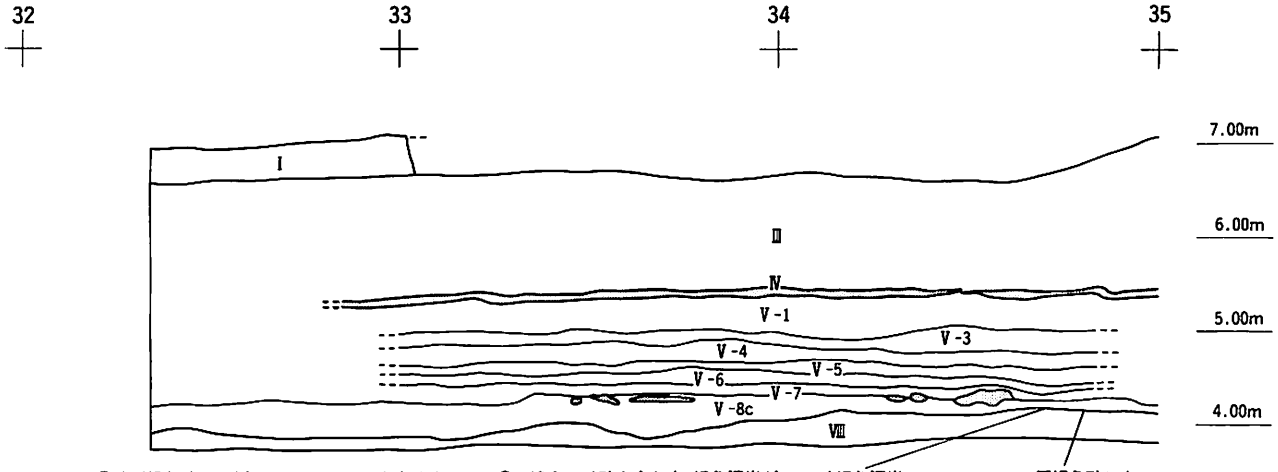
図Ⅳ－5　Ⅴ層上面地形図



図Ⅳ－6　A地区ライン土層断面図

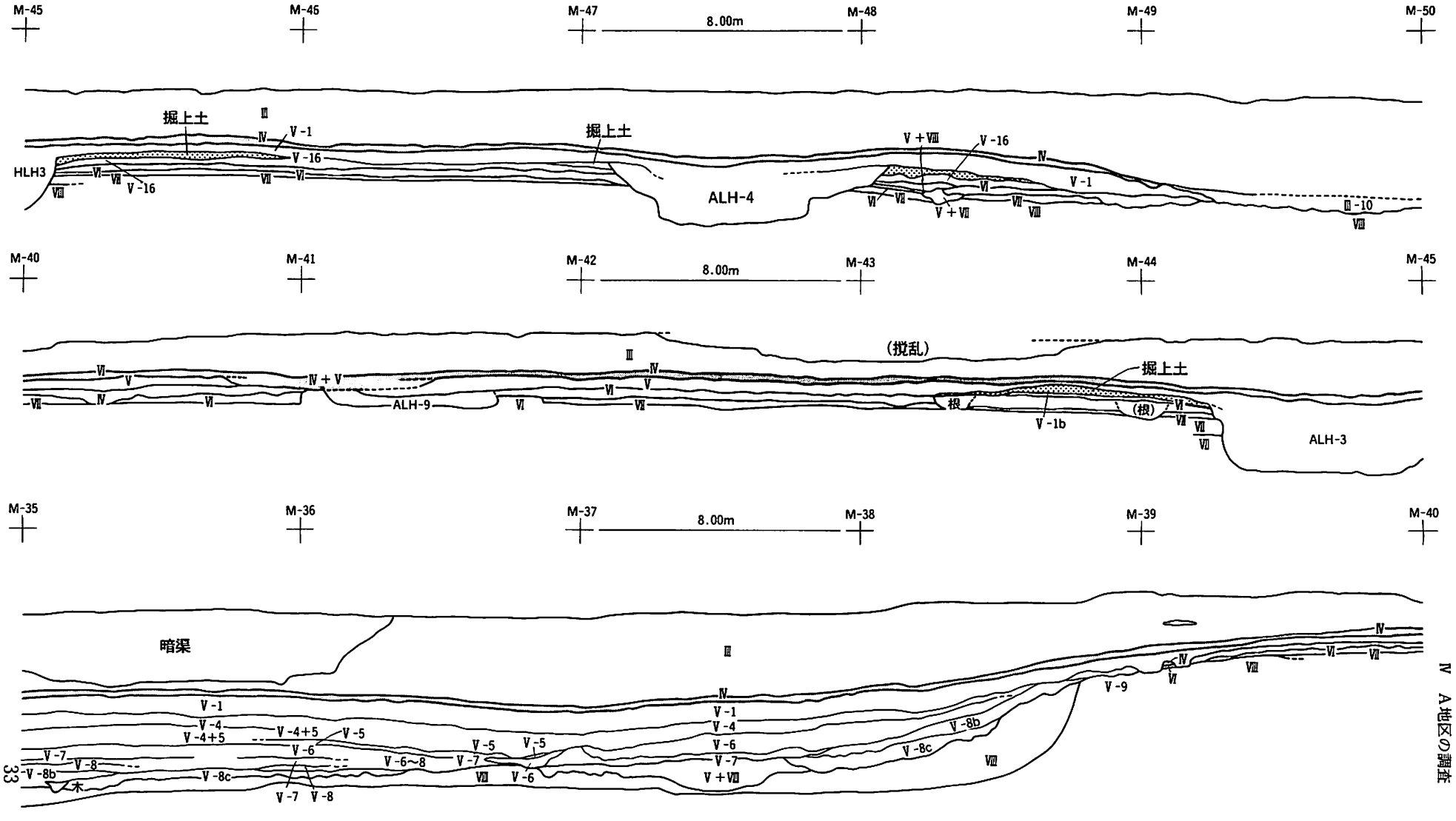


図Ⅳ－7　A地区北壁土層断面図(1)

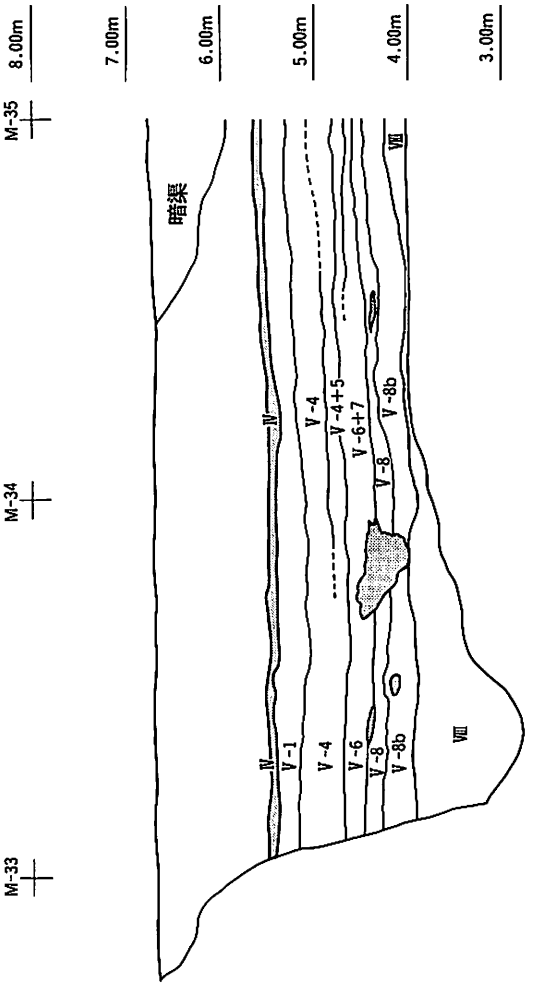


Ⅴ-8c ①暗灰褐色砂レキ(中1.0m以下のEnpを多くまじる。②と違うのは砂を含む点。褐色泥炭が
②褐色泥炭(Enpを微量含む、腐植土が層状に入る。層が大きく波状となる。)
④暗褐色砂レキ(大まかりには①と同じ土層。Enpの大きさは中1.5m以下)
砂レキまじりの暗褐色泥炭

図Ⅳ－8　A地区北壁土層断面図(2)



図Ⅳ－９　Ａ地区Ｍライン土層断面図(1)



図Ⅳ－10　A地区Mライン土層断面図(2)

(3) 河道跡（図Ⅳ－11）

今回の調査では、5条の河道跡が検出された。いずれも降雨時にのみ流れたような小さなものであったり、水溜まりのようなものと考えられたり、「河道跡」という呼称は相応しくないようにも思えるが、調査時の「河道跡」で統一して報告することとする。なお、土層注記で川砂とした層は樽前cパミスと砂が混じった層である。

河道跡1

確認・調査　Ⅲ層の25%調査時、Ⅲ－2・3層の掘り下げ終了後、川砂が確認された。川砂の範囲をとらえるため、周囲のⅢ－2・3層を掘り下げたところ、幅80cm程で蛇行しながら南北に伸びる様子が確認された。川砂中からは流木などが出土したが、遺物の出土はなかった。

土　層　1層は樽前c軽石と砂が混じった層（川砂）に恵庭a軽石が少量混じる。恵庭a軽石は盛土遺構由来のものであろう。2層は下位のⅢ－4層と混じりあい、層境界がやや不明瞭である。

時　期　Ⅲ－4層を開析しながらも、川砂上にⅢ－4層が薄く堆積している部分がみられ、Ⅲ－4層の頃にだけ流れたと考えられる。なお、Ⅲ－4層はB-Tmの薄層がみられるⅢ－2・3層の下位にあるので、河道跡1はB-Tm以前のものと考えられる。

河道跡2

確認・調査　泥炭層であるⅢ層を重機で除去したところ、Ⅳ層が確認されず、川砂が広範囲にみられた。トレンチ調査により土層断面を観察した結果、川床がⅧ層にまで達するものであることが確認されたが、河道跡というよりは、むしろ大きな水溜まりのような状況であったと思われる。調査時には付近で湧水が確認されており、往時もそのような状況だったのであろう。河道跡2からは縄文時代後期の遺物が多量に出土した。

土　層　川砂が主体である。

時　期　流れ始めた時期は不明である。ただ、河道が埋没したのは泥炭の堆積状況からⅢ層の古い頃と考えられる。

河道跡3

確認・調査　河道跡2の調査中、川砂が西方向へ伸びる状況がみられた。小トレンチを掘り土層断面を観察した結果、複数回流れた河道跡であると判断した。川床はⅦ層に達する。河道跡3からは縄文時代後期の遺物が多量に出土した。

土　層　川砂が主体で、泥炭層に覆われる。

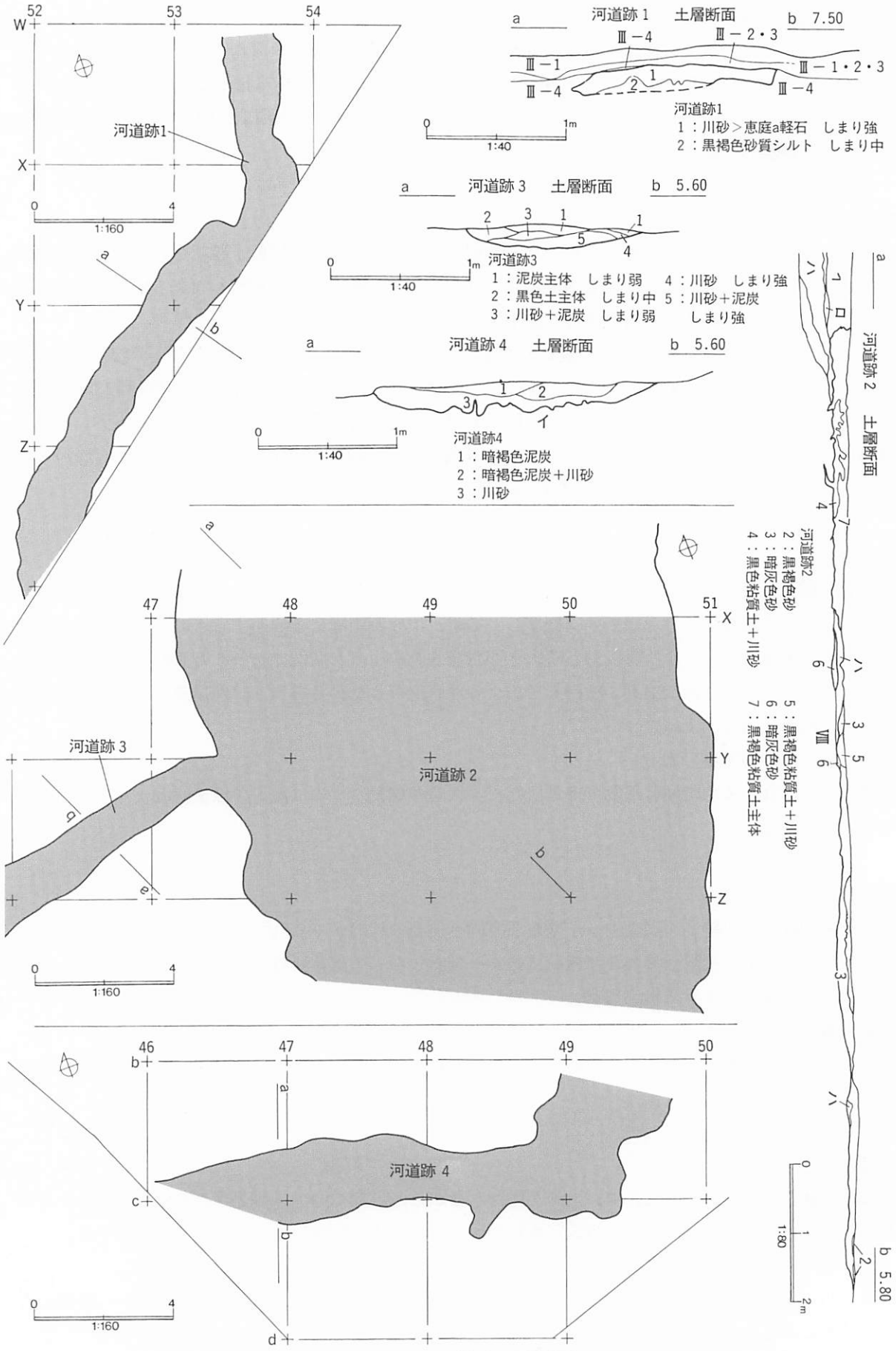
時　期　流れ始めた時期は不明である。ただ、河道が埋没したのは、泥炭の堆積状況からⅢ層の古い頃と考えられる。

河道跡4

確認・調査　河道跡2の調査中、川砂が蛇行しながら西方向へ伸びる状況がみられた。小トレンチを掘り土層断面を観察した結果、複数回流れた河道跡であると判断した。川床はイ層に達する。

土　層　川砂が主体で、泥炭層に覆われる。川床はイ層と入り混じる部分がみられる。

時　期　流れ始めた時期は不明である。ただ、河道が埋没したのは、泥炭の堆積状況からⅢ層の古い頃と考えられる。



図Ⅳ－11　河道跡土層断面

河道跡5

確認・調査　調査区北東部のⅢ層を重機で除去した後、Ⅳ層が確認されず、幅約80cmの川砂が北方向に伸びる様子がみられた。平面で確認された川砂を除去し、その範囲を記録した。

土　層　調査区東壁での土層観察によると、48～50ライン付近の広い範囲でⅤ・Ⅵ・Ⅶ層の抉られている部分がみられた。そこでは砂、樽前ｃ軽石、恵庭ａ軽石、ブロック状のⅤ層などの入り混じった状況が観察され、流路の変遷によるものと思われる。河道跡5は、この流路変遷の最後のものと思われる。遺物は磨耗した土器が3点出土したのみである。

時　期　流れ始めた時期は不明である。ただ、河道が埋没したのは、泥炭の堆積状況からⅢ層の古い頃と考えられる。

2　遺構と遺物

(1)　盛土遺構（図Ⅳ－12～15）

確認・調査・土層　河道跡１の調査後、下位の土層観察用にトレンチを掘ったところ、Ⅳ層とⅤ層の間に暗褐色を呈し、恵庭ａ軽石が少量混じる層を確認した。層厚は10cm程度であったが、Ⅳ群ｃ類土器の破片が多く出土したことなどから盛土遺構と判断した。

盛土は、調査区のX～bライン、51～54ラインの範囲内で検出され、北東－南西方向の土層断面から調査区外へ続くことが確認された。盛土上面は西へ緩やかに傾斜し、その端は盛土の特徴である暗褐色の色調が薄くなり、恵庭ａ軽石の混じる量も減ることから、下位のⅤｂ層との判別が困難であった。このため、図中の盛土遺構の範囲はおおよそのものであることを断っておく。

盛土遺構からは、土器片、石器、土製品などが出土した。土器はⅣ群ｃ類土器がほとんどであるが、１個体がまとまって出土する例はなく、磨耗気味の小さなものが多かった。なお、盛土下のⅤｂ層では遺物の数は極端に減少する。

今回検出された盛土遺構は、位置からみて北側盛土の縁辺部と考えられる。

【盛土中の焼土】　盛土中で５カ所の焼土を検出した（AMF－１～５）。いずれの焼土も盛土の下位に位置する。層の境界は不明瞭で、他の土の混入もみられなかったことから、その場で焼成されたものと考えられる。遺物は出土しなかった。

【Ⅴｂ層上面の焼土】　盛土の掘り下げ終了後、Ⅴｂ層上面で６カ所の焼土がまとまって検出された（ALF－３～８）。ALF－８以外は焼け方が非常に弱いものであった。（ALF－３～８の項参照）

盛土遺構の出土遺物（図Ⅳ－13～15）

１）**土器**（図Ⅳ－14・15）

土器は総計1831点出土した。ほとんどが縄文後期のものであり、Ⅳ群ｃ類と断定できるものは351点認められた。

Ⅳ群ｂ類の土器（６～10）

【刻み目列をもつもの】

６・７は口縁部破片で口唇直下に刻み目をもつもの、８は胴のくびれ部にも刻み目が施されたもの、９は弧状沈線文との組み合わせのもの、10はくびれ部に２段の刻み目列をもつ胴部破片である。20は注口土器の胴部破片で貼り瘤を伴うものである。

Ⅳ群ｃ類の土器（１～５、11～20）

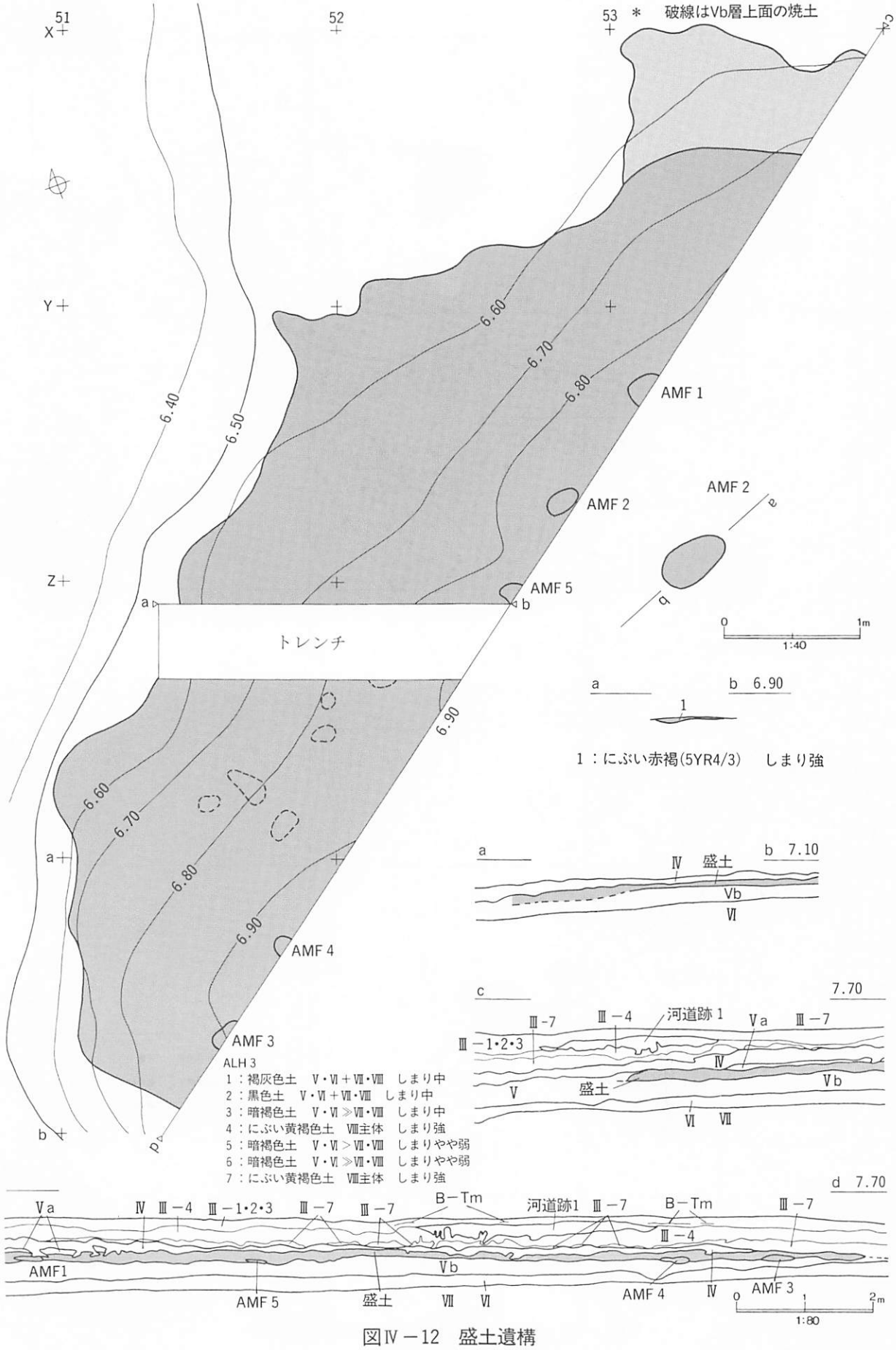
【沈線文が主体のもの】

１は底部を失っているが、弧状の沈線が施された鉢である。５は胴部のみのもので縦位の文様構成である。11は平行沈線と鋸歯状沈線との組み合わせの鉢形土器である。13は口縁部に平行沈線を施したものである。14は胴部破片であるが、沈線で区画された中に円形刺突が並ぶものである。

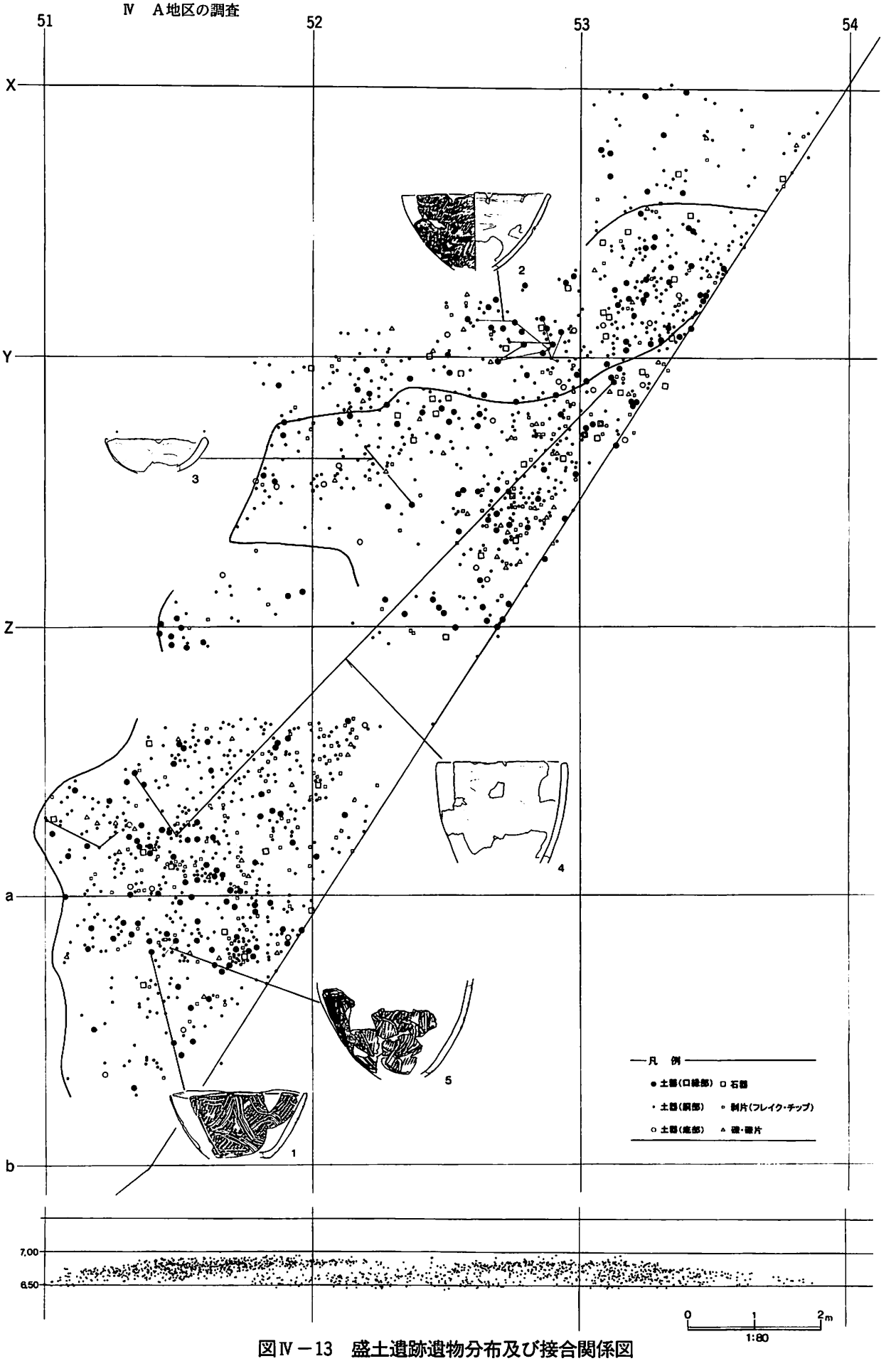
【無文のもの】　３は皿形土器、４は小型の深鉢である。

【突瘤を伴うもの】　12は平行沈線と突瘤との組み合わせで、口唇は肥厚するが、切り出し状を呈さないものである。15・16は縄文との組み合わせで、15は若干切り出し状の口唇を見せるが、16は丸みを帯びている。

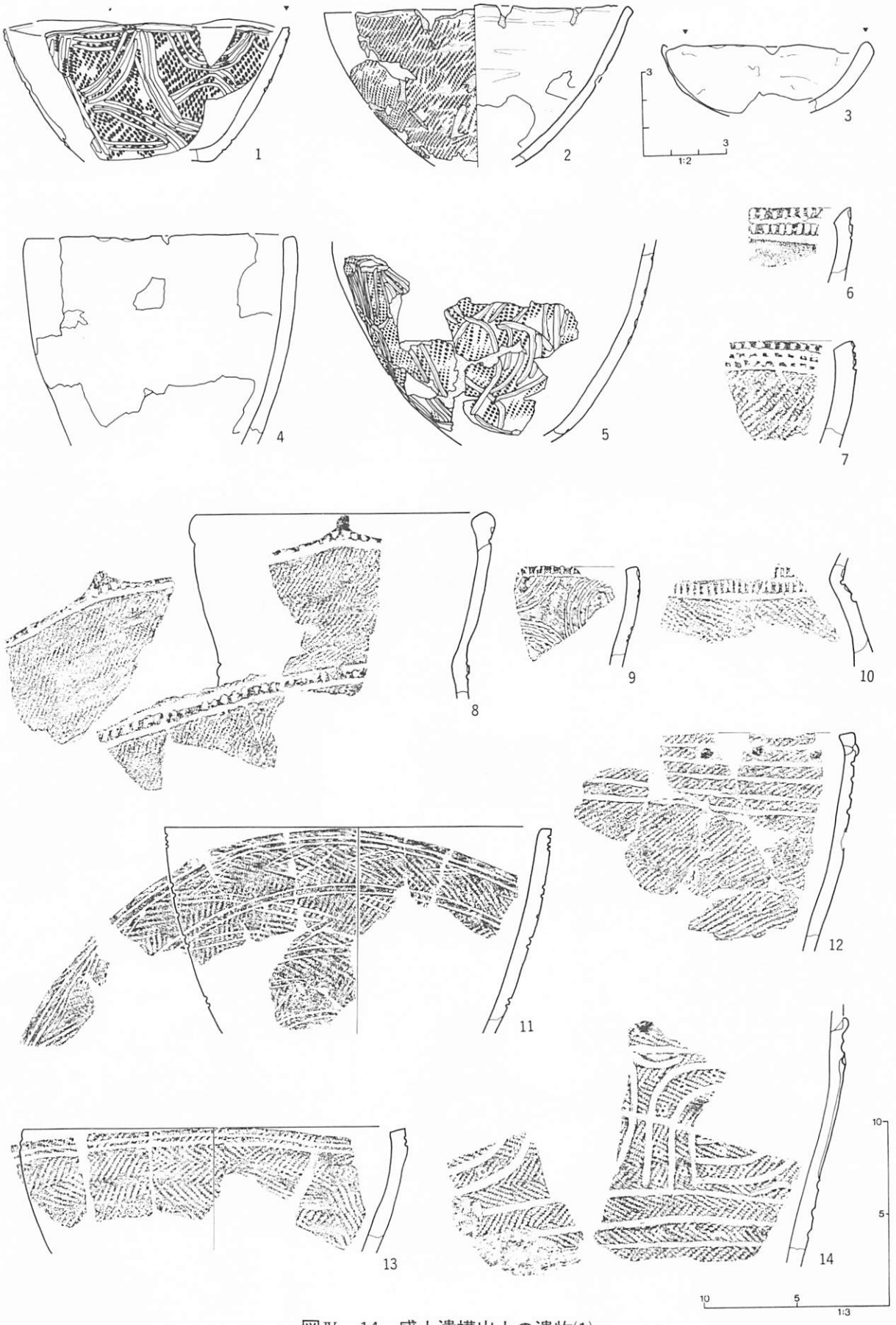
【縄文のみのもの】　18は口唇が肥厚し切り出し状を呈する口縁部破片で、補修行を伴う。19は厚手のものでⅣ群ａ類の混入の可能性が考えられる。


51
52
53
X
Y
Z
＊　破線はVb層上面の焼土
6.40
6.50
6.60
6.70
6.80
6.90
AMF 1
AMF 2
AMF 3
AMF 4
AMF 5
トレンチ
a
b
c
d
0　1m
1:40
a　b 6.90
1
1：にぶい赤褐(5YR4/3)　しまり強
a　b 7.10
Ⅳ　盛土
Vb
Ⅵ
c　7.70
Ⅲ-7　Ⅲ-4　河道跡1　Va　Ⅲ-7
Ⅲ-1・2・3
Ⅳ
Vb
V　盛土
Ⅵ　Ⅶ
ALH 3
1：褐灰色土　V・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまり中
2：黒色土　V・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまり中
3：暗褐色土　V・Ⅵ≫Ⅶ・Ⅷ　しまり中
4：にぶい黄褐色土　Ⅷ主体　しまり強
5：暗褐色土　V・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
6：暗褐色土　V・Ⅵ≫Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
7：にぶい黄褐色土　Ⅷ主体　しまり強
d　7.70
Va　Ⅳ　Ⅲ-4　Ⅲ-1・2・3　Ⅲ-7　Ⅲ-7　B-Tm　河道跡1　Ⅲ-7　B-Tm　Ⅲ-7
Ⅲ-4
AMF1
Vb
AMF 5　盛土　Ⅶ　Ⅵ　AMF 4　Ⅳ　AMF 3
0　1　2m
1:80

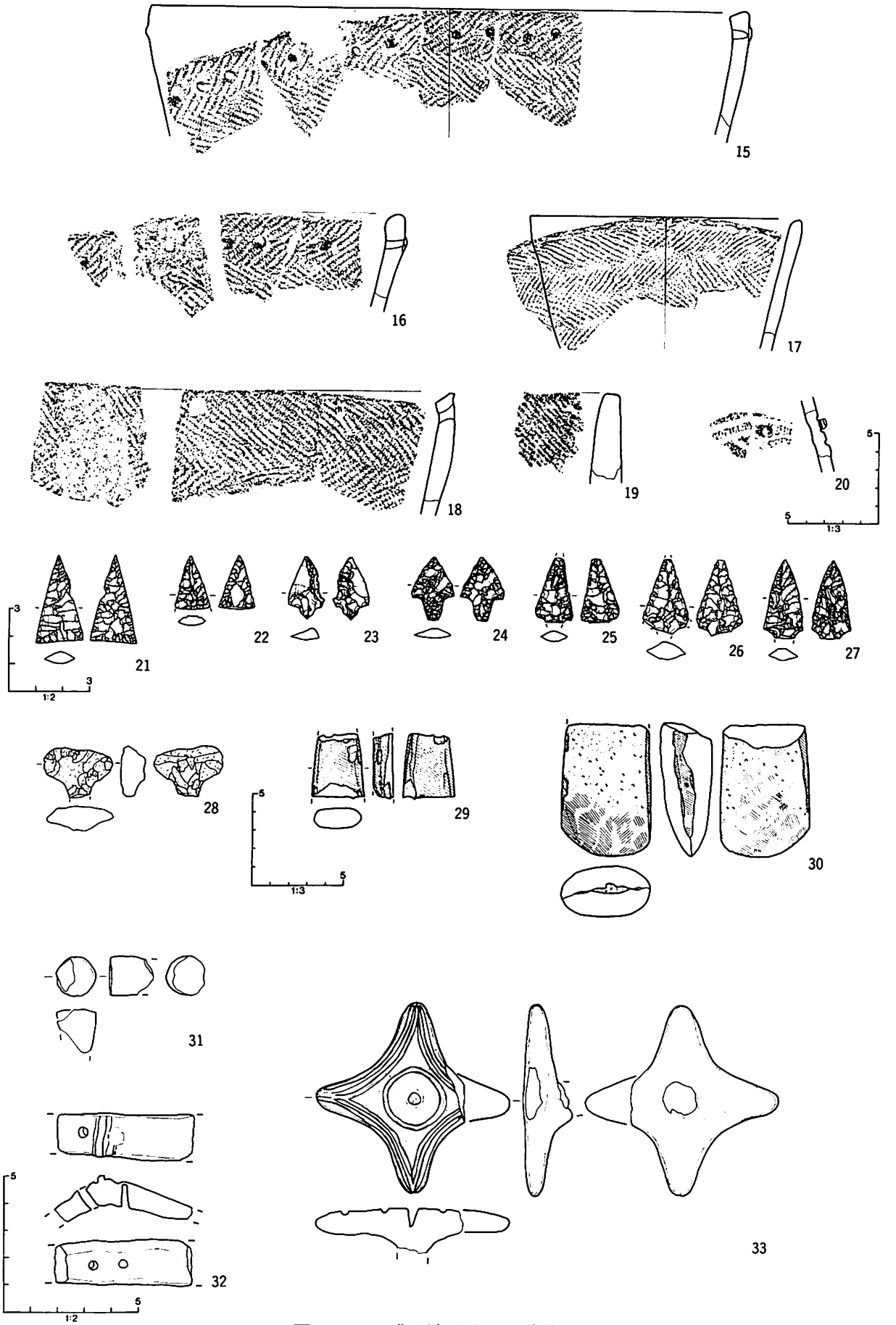
図Ⅳ－12　盛土遺構



図Ⅳ－13　盛土遺跡遺物分布及び接合関係図



図Ⅳ－14　盛土遺構出土の遺物(1)



図Ⅳ－15　盛土遺構出土の遺物(2)

2）石器（21～30）

盛土遺構からは石器は1392点出土した。そのうち10点を掲載した。21から27は石鏃である。21は無茎平基、23から27は有茎凸基のものである。28は石錐のつまみ部分である。黒曜石の被熱発砲したものである。29は石斧の基部破片であり、擦りによって作出されたものである。30は石斧の刃部であり、敲打－擦り調整によって作出されたものである。

3）土製品（31～33）

31は断面が円形で棒状の土製品の一部である。32は垂飾の一部と思われる。33は星形のスタンプ形土製品で裏面の突起部が失われている。表面には外形に沿ったかたちで、円形の沈線が施されている。

(2) 住居跡

ALH－1（図Ⅳ－16）

位　置　X－52（L地区）、W－52

規　模　2.42×2.02／1.96×1.84／0.42m

平面形　楕円形　　**床面積**　2.87㎡

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ層の面でⅤ層が円形に落ち込んでいるのがみられた。土層観察用の土手を残しながら掘り下げたところ、しまりのある平坦な床面と壁の立上りが確認されたことなどから遺構と判断した。

覆　土　3、4層は掘上土の流入と思われる。

壁　立ち上がりはやや急である。

床　面　Ⅶ層中に作られ概して平坦であるが、西から東へやや傾斜する。

炉　検出されなかった。

柱　穴　検出されなかった。

遺　物　遺物の出土はなかった。

時　期　確認された層位などから、縄文時代早期後半と思われる。

ALH－3（図Ⅳ－17・18）

位　置　K・L－44・45

規　模　7.22×3.24／6.00×2.58／0.68m　（掘上土範囲）12.80×12.20／0.17m

平面形　隅丸長方形

長軸方向　北東－南西　　**床面積**　14.92㎡

確認・調査　Ta-c_2層除去後のⅤ層上面で、長径6m、短径3m程の楕円形状の窪みを確認した。窪みの周囲は他よりやや高まり、Ⅶ・Ⅷ層と思われる黄褐色の土が所々にみられた。このため、遺構とその掘上土を想定し、土層観察用の土手を十字に残しながら掘り下げたところ、平坦な床面の広がりと壁の立ち上がりが確認されたため、規模から住居跡と判断した。

覆　土　掘上土の流入、壁の崩落、黒色土の互層となっている。長軸南側には撹乱された層（ア～エ層）が認められた。

壁　立ち上がりはやや急である。東側と西側ではⅧ層の崩落が著しく、オーバーハング状の断面形態となっている。

床　面　Ⅷ層中に作られ平坦である。

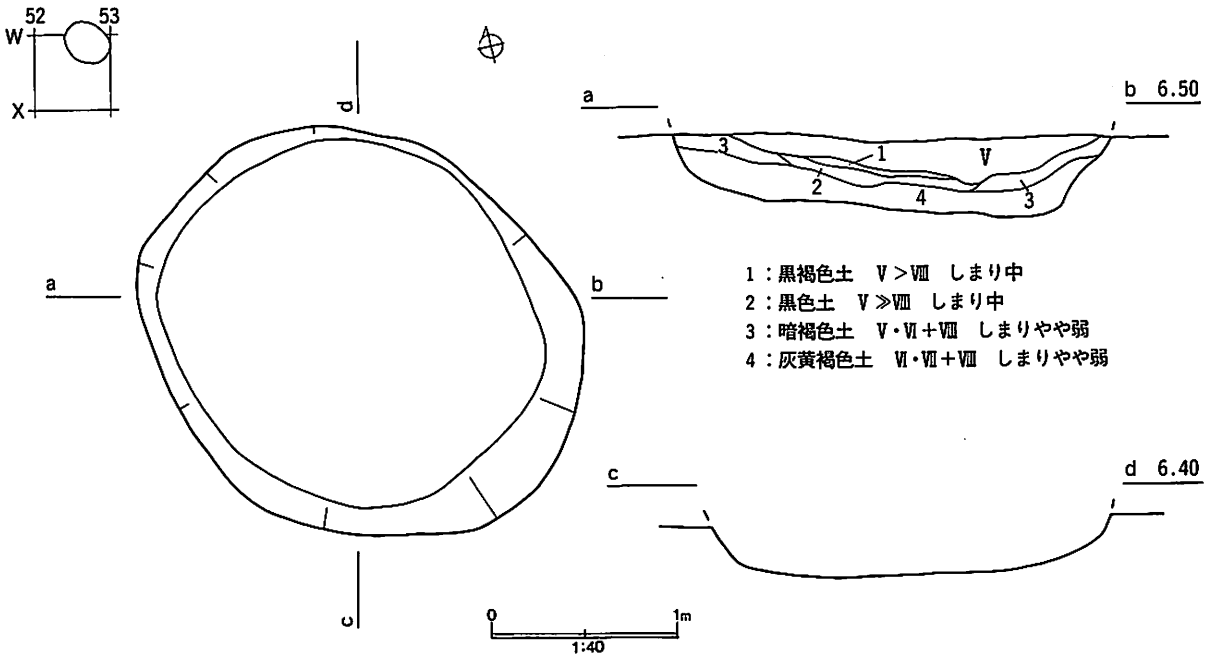
炉　検出されなかった。

付属施設　南壁の上段でやや張り出す部分が検出された。テラス状の施設とも考えられる。

柱　穴　検出されなかった。

遺　物　土器は覆土中から132点、床面から2点、掘上土中から109点が出土した。石器は

土　器　1は覆土出土の破片1点と包含層の土器が接合したものである（表参照）。口縁部～胴部下半の1／4程が復元できた。現存器高28.4cm、推定口径45.1cm。器形は胴部下半から緩やかにたちあがり、口縁部でやや直立気味となる。口唇断面は平坦に仕上げられている。口唇直下には縄端による刺突列がめぐる。その下には、撚りの異なる2つの原体上部を縦に並列させた圧痕を等間隔に施し、さらにその間は原体を横向きに並べた圧痕を施している。胴部は撚りの異なる原体を交互に用いた羽


52
53
W
X
d
a
b
c
a
b 6.50
3
1
V
2
4
3
1：黒褐色土　Ⅴ＞Ⅷ　しまり中
2：黒色土　Ⅴ≫Ⅷ　しまり中
3：暗褐色土　Ⅴ・Ⅵ＋Ⅷ　しまりやや弱
4：灰黄褐色土　Ⅵ・Ⅶ＋Ⅷ　しまりやや弱
c
d 6.40
0
1m
1:40

図Ⅳ－16　ALH－1

状縄文が整然と施文される。口唇と内面は平滑に仕上げられている。胎土には繊維の他、径2、3㎜程の礫が多く含まれている。外面の色調は、口縁部がにぶい黄褐色（10YR4/3)、胴部上半が灰黄褐色（10YR5/2)、胴部下半がにぶい褐色（7.5YR6/3）を呈する。内面は、口縁部が灰黄褐色（10YR5/2）～灰褐色（7.5YR4/2)、胴部は黒色化している。II群a－1類の美沢3式に相当すると思われる。

2は床面出土である。縄文と短縄文が施文される。3、4と同一個体と思われる。3、4、6～10は覆土出土である。3は粘土紐が貼付された後、羽状縄文、短縄文が施文される。粘土紐は縦方向が先に貼付される。羽状縄文間には縄端による刺突列がみられる。4の口縁は波状になると思われる。6は羽状縄文が施文される。7は斜行縄文が施文される。口唇断面は切出形を呈する。8は羽状縄文が菱形状に構成される。内面の一部には炭化物が付着する。9はLR原体による斜行縄文が施文される。10は底部近くの破片である。LR原体による縄文が斜行、縦走する。5は掘上土出土である。RL原体による横走縄文が施文され、節はすり消しがなされる。2～4はI群b－2類、5、6はII群a－1類、7～10はII群a－2類に相当する。

石　器　11、12はスクレイパーである。片面加工によるものである。13はたたき石である。断面三角形の礫を用いたもので、端部の一部を欠損している。

時　期　床面の遺物は本遺構に伴うとは考え難い。周囲の遺物出土状況と住居の形態から、縄文時代前期前半の頃と思われる。

ALH－4（図Ⅳ－19・20)

位　置　J・K・L・M－46・47・48

規　模　7.08×3.95／5.30×2.86／0.70m　（掘上土範囲）13.20×10.50×0.11m

平面形　隅丸長方形

長軸方向　N－20°－W　　床面積　17.40㎡

確認・調査　L－47付近でTa-c層の大きな落ち込みを確認し、Ta-c層及びV層上部を除去した段階で広範囲にわたる掘上土を確認した。東側は流路（AKD－5)、西側は規模が近似する同様の住居（ALH－3）が隣接する。ALH－3との関係は、形状が類似しながらも長軸方向がやや異なっていることに加えて掘上土のレベルを考慮すると、ほぼ同時期でありながらもALH－4の方がやや古いものと思われる。

覆　土　En-aパミスを大量に含む掘上土の流れ込みとみられる自然堆積層と黒色土の互層になっている。掘上土は、西側よりも東側が広範囲になっているが、これは住居構築後に流水等により東寄りに流されたものと考えられる。

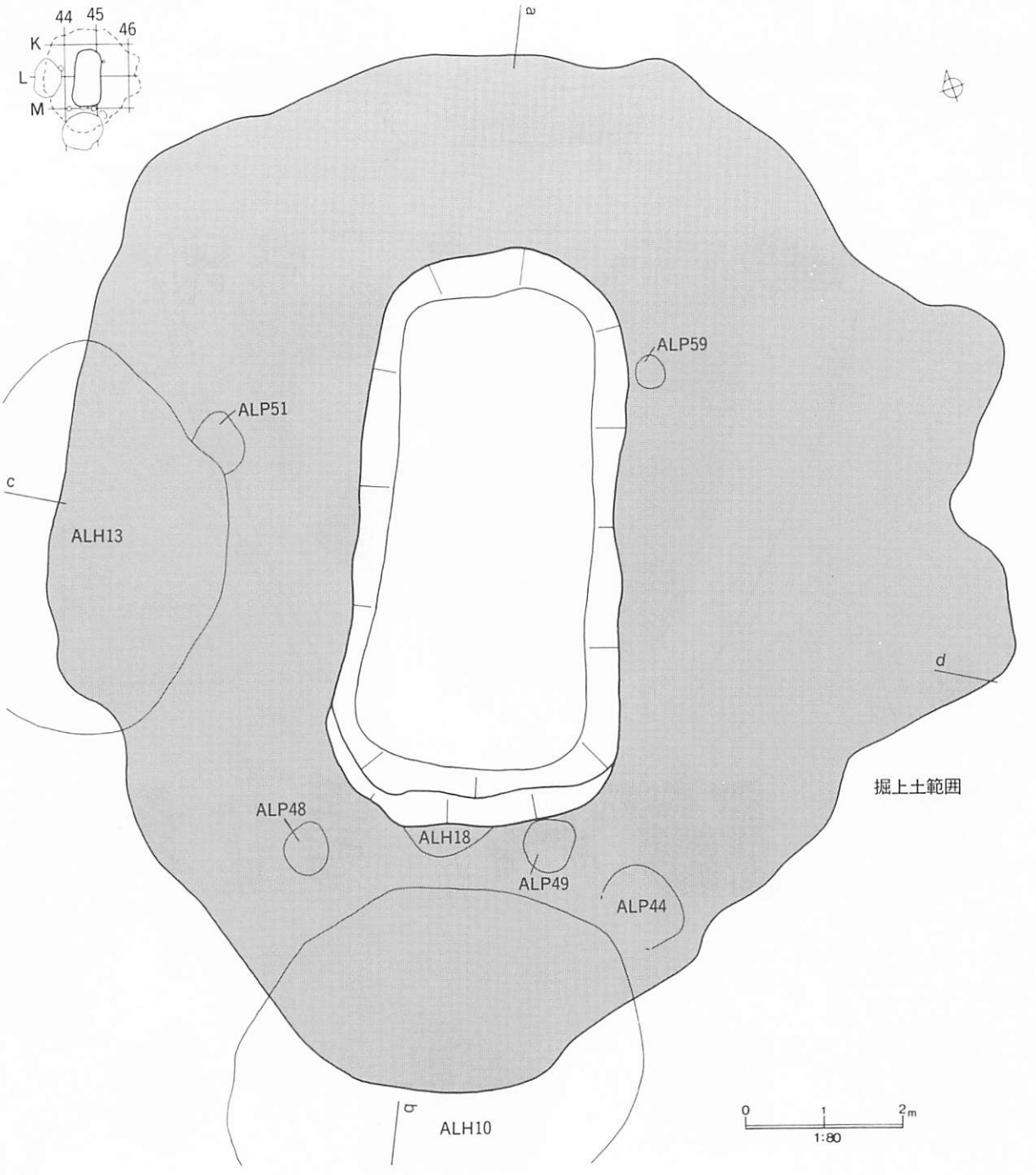
壁　斜方向に立ち上がる。

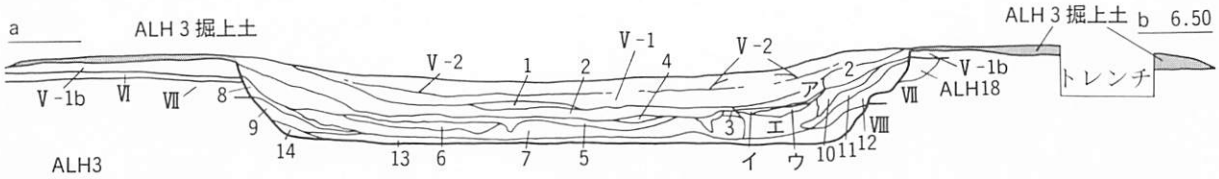
床　Ⅷ層を掘り込んでおり、平坦になっている。

炉　検出されなかった。

付属施設　住居の北西側及び南西側・南東側の壁にテラス状の張り出し部がある。北西側はもっとも明瞭で、テラス上に柱穴状ピットが2基ある（HP－1・HP－2)。南西側・南東側の張り出し部は立ち上がりが不明瞭で、平面形もやや不定形である。なお、テラス状の張り出し部をもつ住居跡の例として、美々5遺跡AH－2およびAH－3（いずれも縄文前期前葉）がある（『美沢川流域の遺跡群III』)。

柱　穴　前述のテラス上に2基、壁面に5基、住居跡の輪郭に沿って4基の計11基を検出した。壁

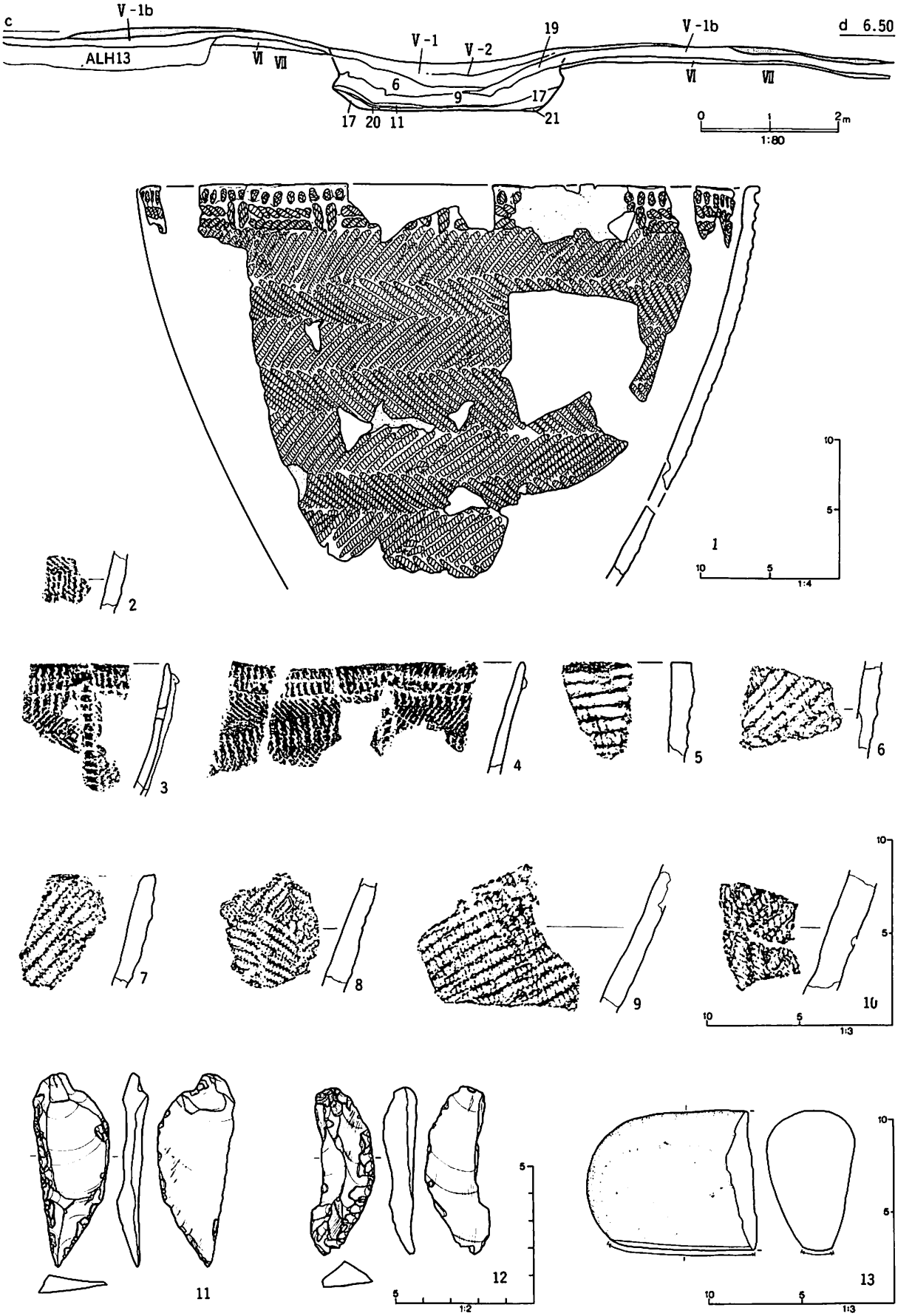




ALH3

1：褐灰色土　Ⅴ・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまり中
2：黒色土　Ⅴ・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまり中
3：暗褐色土　Ⅴ・Ⅵ≫Ⅶ・Ⅷ　しまり中
4：にぶい黄褐色土　Ⅷ主体　しまり強
5：暗褐色土　Ⅴ・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
6：暗褐色土　Ⅴ・Ⅵ≫Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
7：にぶい黄褐色土　Ⅷ主体　しまり強
8：黒色土　Ⅴ主体　しまりやや弱
9：にぶい黄褐色土　Ⅶ＋Ⅷ　しまりやや弱
10：褐灰色土　Ⅴ・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
11：にぶい黄褐色土　Ⅷ主体　しまり強
12：褐灰色土　Ⅴ・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
13：黒褐色土とにぶい黄褐色土の互層
　黒褐色土　Ⅴ・Ⅵ≫Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
　にぶい黄褐色土　Ⅷ主体　しまり強
14：13に同じ
15：黒色土　Ⅴ・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまり中
16：にぶい黄褐色土　Ⅶ主体　しまり中
17：黒色土　Ⅴ・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまり強
ア：にぶい黄褐色土　Ⅶ＋Ⅷ　しまりやや弱
イ：黒色土　Ⅴ・Ⅵ≫Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
ウ：にぶい黄褐色土　Ⅶ＋Ⅷ　しまり強
エ：暗褐色土　Ⅴ・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまり強

図Ⅳ－17　ALH－3(1)


c
V-1b
ALH13
Ⅵ Ⅶ
V-1
V-2
19
6
9
17
17 20 11
21
V-1b
Ⅵ
Ⅶ
d 6.50
0 1 2m
1:80
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13

図Ⅳ－18　ALH－3(2)

柱穴は、垂直方向のものが1基、斜方向に伸びるものが4基あり、HP－3とHP－10が対面している。住居跡の輪郭に沿うものは、壁柱穴と近接しており、すべて垂直方向に立ち上がっている。HP－26は先端が鋭利で、柱または杭が打ち込まれたものと思われる。

遺　物　覆土中から土器20点、石器等13点、炭化材1点、掘上土中から土器34点、石器1点が出土した。炭化材は覆土の下部（4層）から出土し、^{14}C年代測定の結果、5,780±60yB.P.の年代を得た（第Ⅶ章－1）。

土　器　1、3は覆土出土である。1は撚糸文が羽状に施文される。3は粗い羽状縄文が施文される。2、4は掘上土出土である。2は羽状縄文が施文される、節はすり消されている。4はLR原体による横走縄文が施文される。1はⅠ群b－4類、2はⅡ群a－1類、3、4はⅡ群a－2類に相当する。

石　器　5はスクレイパーである。片面全面加工のもので、黒曜石製である。6は石斧片で擦りによって作出された刃部である。

時　期　周囲の遺物出土状況と住居の形態から、縄文時代前期前半の頃と思われる。

ALH－5（図Ⅳ－21）

位　置　H－45・46

規　模　3.12×3.04／2.92×2.90／0.22m

平面形　不整円形　　**床面積**　6.16m²

確認・調査　包含層調査終了後、Ⅶ層の面において円形を呈するⅤ層の落ち込みを確認した。遺構を想定し、土層観察用の土手を十字に残して掘り下げたところ、平坦な床面とゆるやかな壁の立ち上がりを確認したことから、遺構と判断した。

覆　土　1～3層は掘上土の流入と思われる。4層では焼土（ALH-5F1）が検出された。

壁　床面との境が不明瞭な緩やかなものである。

床　面　Ⅶ層中に作られ、概ね平坦である。

炉　1カ所検出された。住居跡のほぼ中央で検出されたが、構築時の床面よりやや高い。住居とは直接関係しない可能性もある。

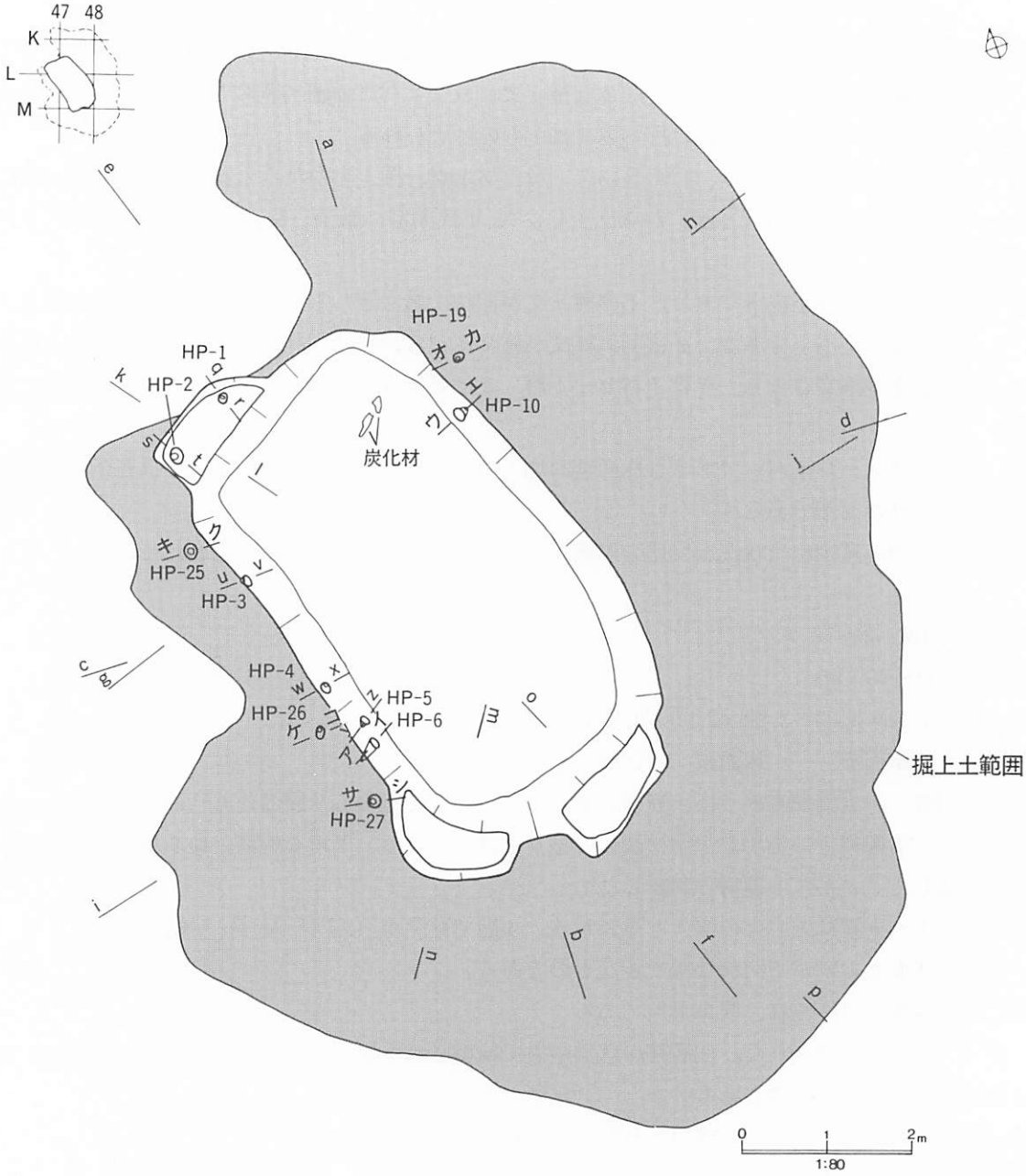
柱　穴　柱穴様のものが2基検出された。いずれも住居側に傾く。

遺　物　床面から土器29点が出土した。

土　器　1は床面から出土したⅠ群b－3類、中茶路式土器の胴部下半～底部である。磨耗のため文様が判然としない部分がある。現存器高8.6cm、底径10.7cm。器厚は5㎜程と薄い。底部から開き気味に胴部へつながる。薄い粘土紐を器面にめぐらせた後、粘土紐間に斜行縄文を施している。外面の色調は灰黄褐色（10YR6/2）を呈し、煤の付着による黒色化が部分的にみられる。外底面は灰黄色（2.5Y6/2）である。内面はにぶい黄橙色（10YR7/3）、内底面はにぶい橙色（7.5YR7/4）と灰黄色（2.5Y6/2）がみられ、中心は黒色化する。

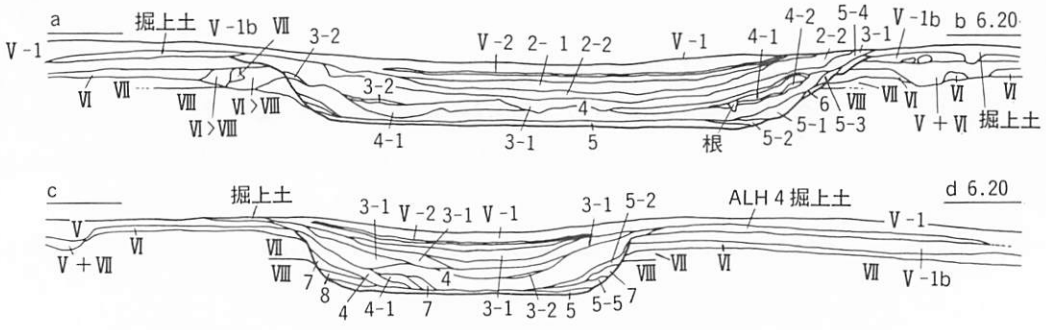
2は口縁部である。包含層の土器と接合した（表参照）。口唇直下に細い粘土紐を貼付した後、絡条体圧痕文を縦、横に施文している。絡条体には非常に細い0段rを巻いている。Ⅰ群b－3類に相当すると思われる。

時　期　床面出土の土器と住居の形態から、縄文時代早期後半中茶路式土器の頃と思われる。

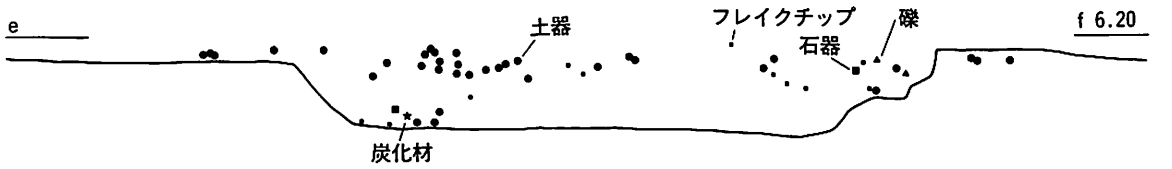


ALH4

2-1：軽石混黒褐色土　Ⅴ≫Ⅷ　軽石径2～5㎜　繊維やや多く含む
2-2：軽石混黒褐色土　Ⅴ≫Ⅷ　軽石径2～10㎜　壁際に多い
3-1：軽石混暗褐色泥炭質粘土　Ⅴ・Ⅵ≪Ⅶ・Ⅷ　軽石径2～10㎜　不均質　繊維多量
3-2：軽石混黒褐色粘質土　Ⅴ≫Ⅶ・Ⅷ　軽石径2～5㎜　繊維少量
4：軽石混黄褐色粘質土　Ⅴ・Ⅵ≪Ⅶ・Ⅷ　軽石径2～10㎜多量で密　繊維多量
4-1：軽石混暗褐色粘質土　Ⅴ・Ⅵ＜Ⅶ・Ⅷ　軽石やや少量
4-2：軽石混暗褐色粘質土　Ⅴ・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　軽石少量
5：軽石混黒色粘質土　Ⅴ≫Ⅷ　軽石径2～5㎜少量　粘性強　繊維少量
5-1：軽石混黒褐色粘質土　Ⅴ≫Ⅷ　軽石径2～5㎜多量
5-2：軽石混黒褐色土　Ⅴ＞Ⅷ　軽石径2～5㎜やや多量
5-3：暗褐色粘質土　Ⅴ＋Ⅵ　しまりやや弱
5-4：黒褐色粘質土　Ⅴ＋Ⅵ　しまりやや弱
5-5：黒色粘質土　5-1に近いが、ロームの薄層をはさむ　繊維少量
6：黒褐色粘質土　不均質　しまりやや弱
7：明黄褐色粘質土　ロームブロック　黒色粘質土の薄層をはさむ
8：4-1に同じ



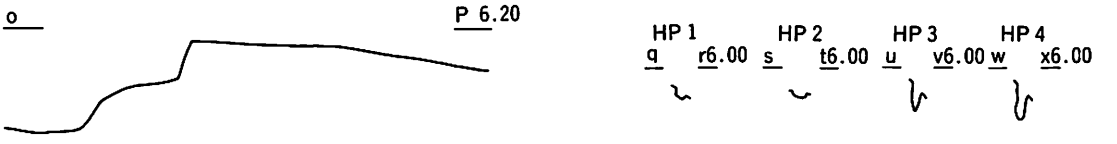
図Ⅳ－19　ALH－4(1)

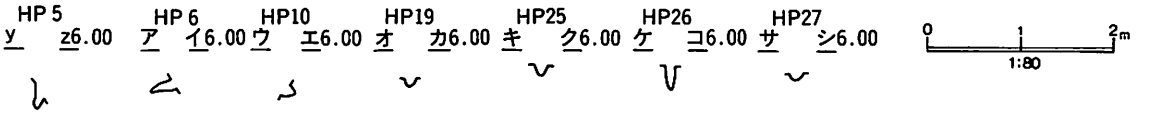

e
土器
フレイクチップ
礫
石器
f 6.20
炭化材


g
h 6.20

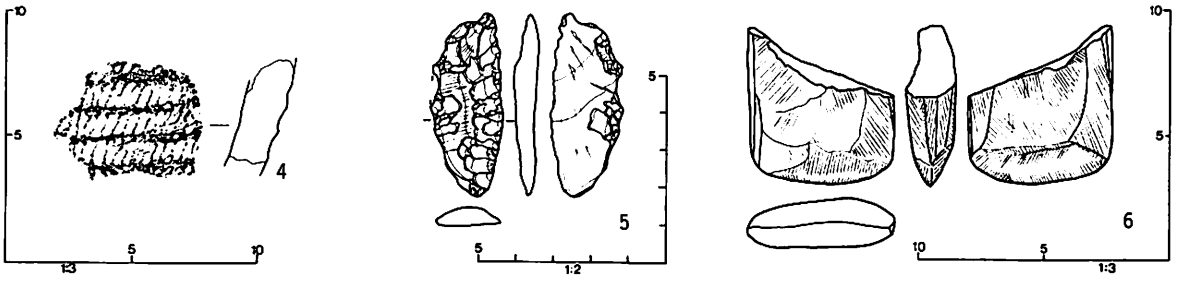

i
j 6.20


k
l 6.20
m
n 6.20

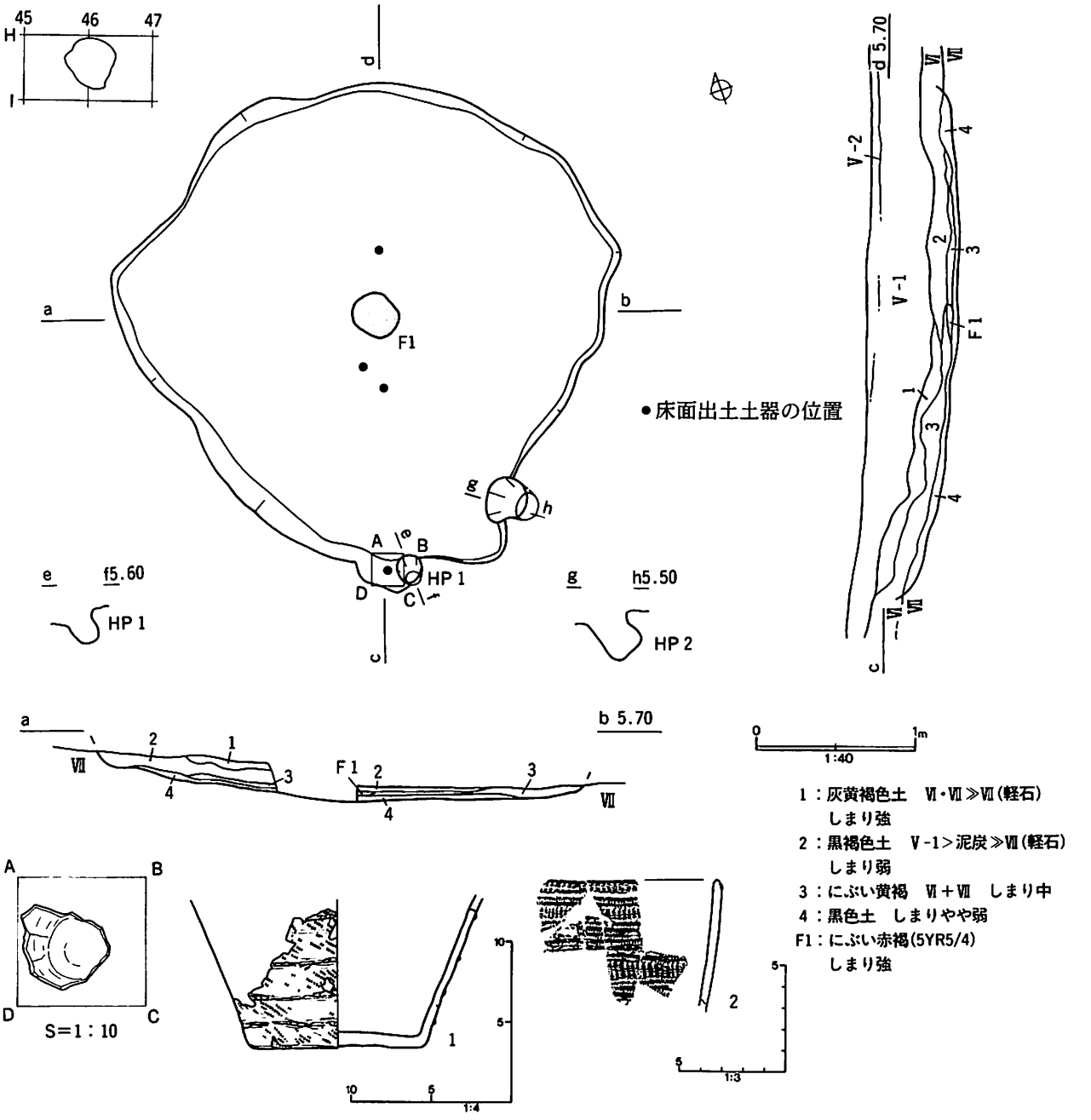

o
P 6.20
HP 1
q r6.00
HP 2
s t6.00
HP 3
u v6.00
HP 4
w x6.00


HP 5
y z6.00
HP 6
ア イ6.00
HP10
ウ エ6.00
HP19
オ カ6.00
HP25
キ ク6.00
HP26
ケ コ6.00
HP27
サ シ6.00
0 1 2m
1:80


1
2
3


4
5
6
1:3
1:2
1:3

図Ⅳ－20　ALH－4(2)


45
46
47
H
I
d
a
b
F1
●床面出土土器の位置
g
h
A
B
C
D
e
f5.60
HP 1
g
h5.50
HP 2
c
d 5.70
V-2
V-1
F1
1
2
3
4
a
b 5.70
F1
S=1：10
1:40
1:4
1:3
1：灰黄褐色土　Ⅵ・Ⅶ≫Ⅶ(軽石)
しまり強
2：黒褐色土　Ⅴ-1＞泥炭≫Ⅶ(軽石)
しまり弱
3：にぶい黄褐　Ⅵ＋Ⅶ　しまり中
4：黒色土　しまりやや弱
F1：にぶい赤褐(5YR5/4)
しまり強

図Ⅳ－21　ALH－5

ALH－6（図Ⅳ－22～24）

位　置　G・H－40

規　模　2.88×2.42／2.04×1.52／0.66m　（掘上土範囲）（4.70）×4.20／0.08m

平面形　楕円形　　**床面積**　2.48㎡

確認・調査　包含層調査中、黒色土が円形に窪んでいるところを確認した。窪みの内部や周囲にはⅦ・Ⅷ層と思われる黄褐色の土が混じっていたことから、遺構とその掘上土を想定し調査した。土層観察用の土手を残しながら掘り下げていくと、平坦な底面と壁の立ち上がりが確認されたことから遺構と判断した。

覆　土　1～4層は自然堆積と思われるが、5層以下は埋土と思われる。

壁　立ち上がりはやや急である。

底　面　概ね平坦である。

付属施設　南側上部において、台石を設置した張り出し部が検出された。

柱　穴　柱穴様のものが7カ所検出された。いずれも内側に傾く。

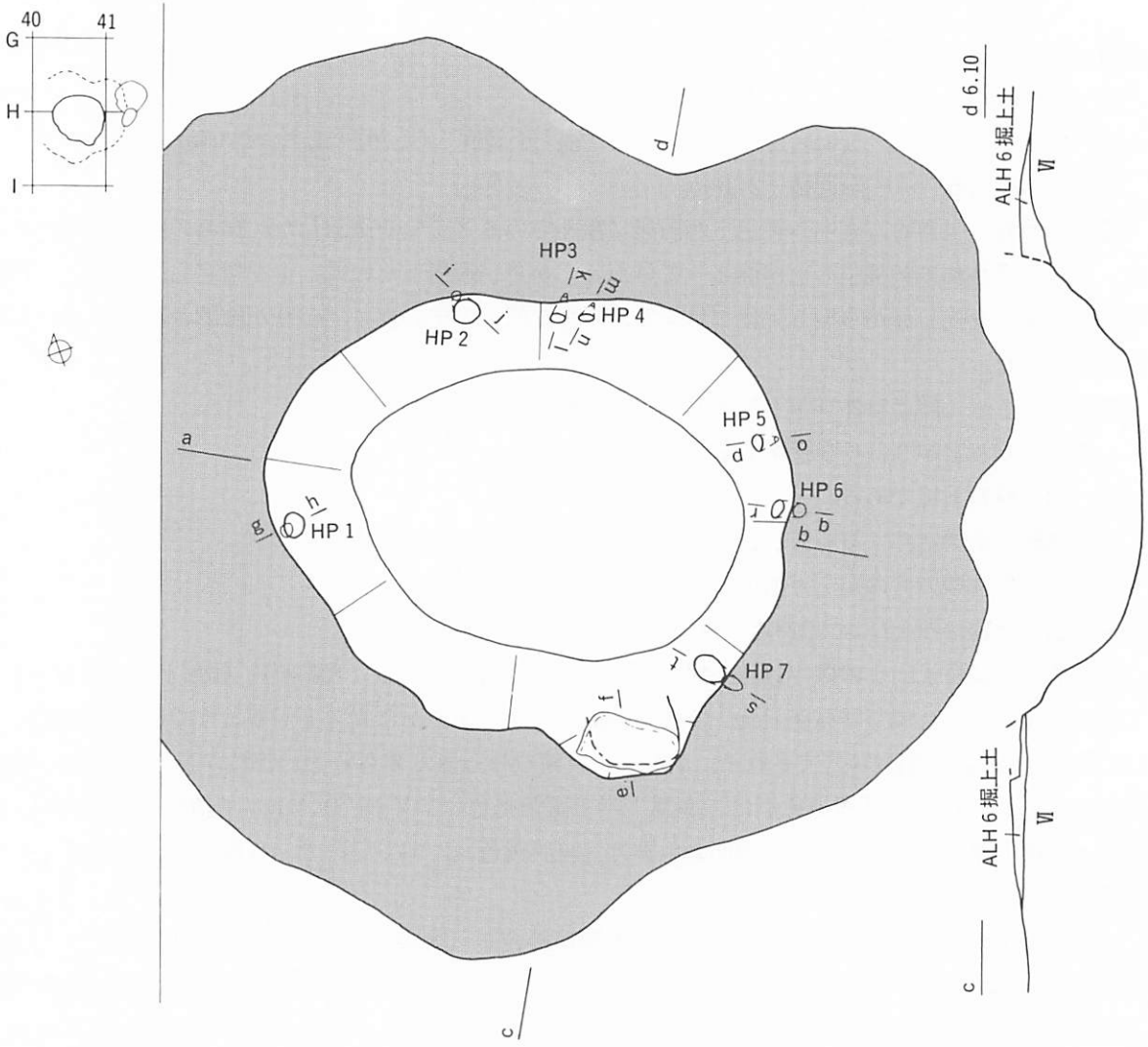
遺　物　土器は覆土中から228点、掘上土から47点出土した。

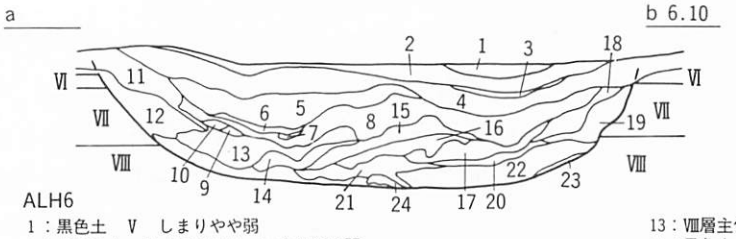
土　器　1は覆土出土の破片14点と周囲の包含層の土器が接合し（表参照）、胴部上半～下半の1／4程が復元できた。現存器高26.4cm。器形は胴部下半から緩やかに立ち上がるようである。器面には、LR原体による斜行縄文が施文される。磨耗により節がはっきりみられない部分がある。胎土には繊維が混入されている。外面の色調は、胴部上半で灰黄褐色（10YR5/2）、下半で橙色（5YR7/6）を呈し、一部で黒色化がみられる。内面の色調は、暗灰黄色（2.5Y5/2）で、Ⅱ群a－2類に相当すると思われる。

2は覆土出土の破片2点と周囲の包含層の土器が接合し（表参照）、胴部の1／2程が復元できた。現存器高14.8cm。器形は緩やかに立ち上がるようである。器面には粗いRL原体による斜行縄文が施文される。胎土には繊維が混入されている。内面は平滑に仕上げられる。外面の色調は上部がにぶい黄橙色（10YR6/4）、下部がにぶい赤褐色（5YR5/3）を呈する。内面は灰黄褐色（10YR6/2）と黒色化する部分がみられる。Ⅱ群a－2類、静内中野式に相当すると思われる。

3、4は同一個体である。3は口唇直下に1条、胴部に2条、細い粘土紐が貼付される。粘土紐間には絡条体圧痕文が縦、斜めに施文される。粘土紐上には角棒状工具による刻み列がみられる。口唇には絡条体原体による押捺列がみられる。4の底部下端はやや張り出す。3は包含層出土であるが、4と同一個体であるためここに掲載した。5～8は斜行縄文が施文される。5の口唇断面は丸みを帯びる。6の口唇断面は庇状に外面へはみ出す。7の口唇断面は庇状にはみ出す部分とそうでない部分がある。8の施文は浅い。口唇断面は切出形である。9は同一個体が掘上土中から出土したため、ここに掲載した。尖底部の破片である。底部下端にはR原体の側面圧痕らしき施文がみられる。他は竹管状の工具による刺突がみられる。胎土には繊維が多量に含まれる。3、4はⅠ群b－2類、5～9はⅡ群a－2類に相当する。

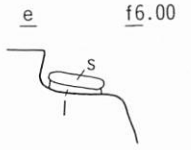
石　器　10～13は石鏃である。10、12は無茎凹基で10は脚部を欠している。11、12は無茎平基で12は先端部を欠している。いずれも黒曜石製である。14、15は石斧で、14は粗割の後、擦りによって作出されている。15は擦りによる調整で基部破片である。16は砥石破片で両面に擦り面が認められる。17はすり石で、断面三角形のものである。両端部には叩き痕が認められ、たたき石兼用と思われる。18、19は台石である。18は表面に擦り面が認められ、部分的に潰打痕が認められる。19は扁平礫を用いたもので、表面一面にのみ潰打痕と擦りが認められる。





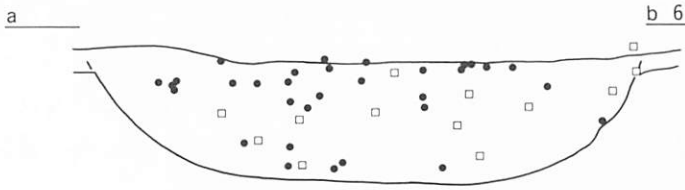
ALH6

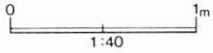
1：黒色土　Ⅴ　しまりやや弱
2：黒褐色土　Ⅴ・Ⅵ≫Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
3：黒色土　Ⅴ・Ⅵ≫Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
4：暗褐色土　Ⅴ・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
5：黒褐色土　Ⅴ・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまり中
6：黒色土　Ⅴ・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
7：にぶい橙(7.5YR6/4)　しまりやや弱　2㎜前後の骨片がやや多量にまじる
8：黒褐色土　Ⅴ・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
9：褐灰色土　Ⅵ　しまり中
10：灰褐色土　Ⅵ　しまりやや強
11：暗褐色土　Ⅴ・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまりやや強
12：褐灰色土　Ⅵ　しまりやや強　微小な炭化材と骨片がやや多量にまじる



1：黒色土　しまりやや弱
石との境に泥炭が皮状に介在

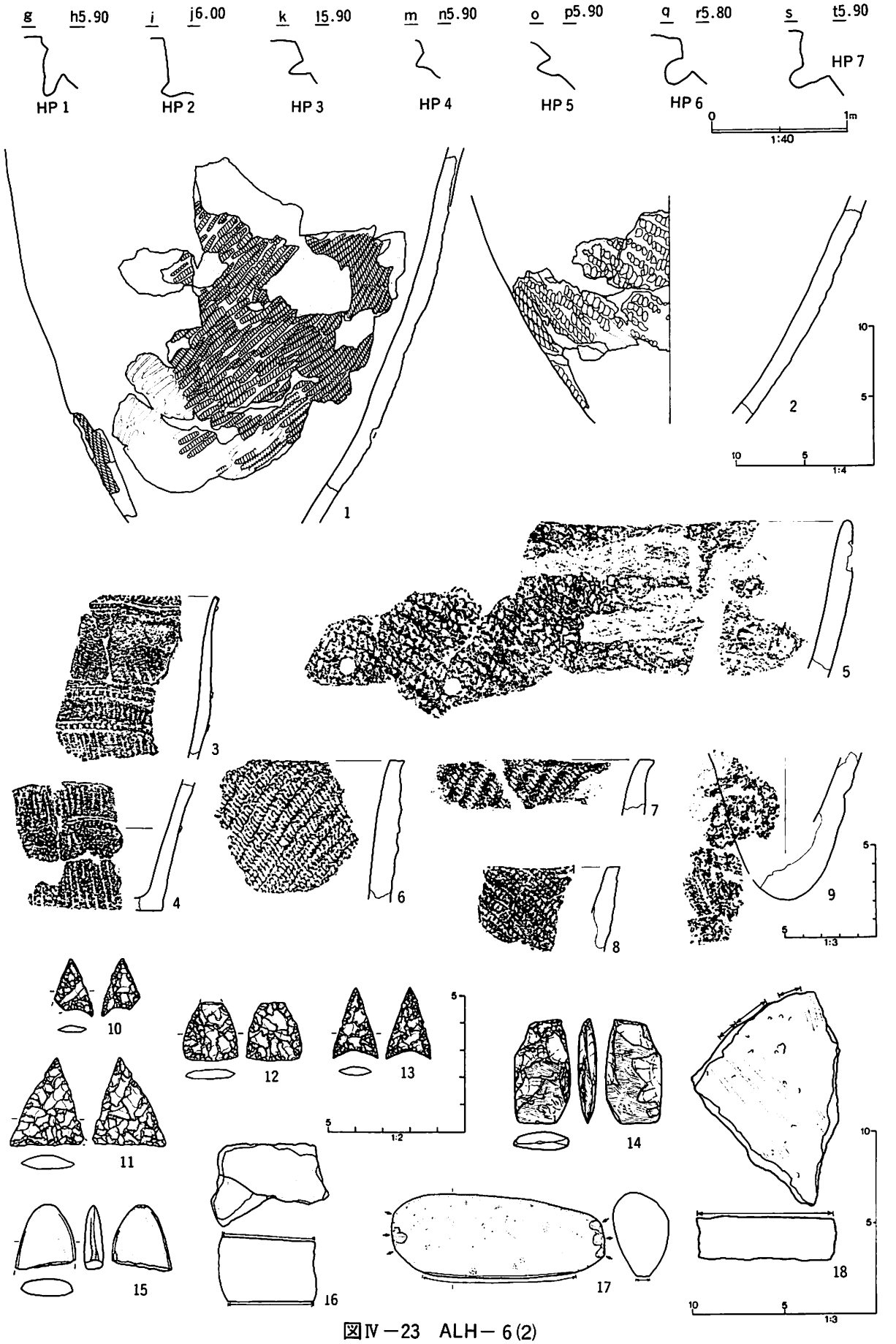
13：Ⅷ層主体　しまり中
14：黒色土　Ⅴ・Ⅵ　しまりやや弱
15：Ⅷ層主体　しまり中
16：黒色土　Ⅴ・Ⅵ　しまりやや弱
17：黒褐色土　Ⅴ・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
18：暗褐色土　Ⅴ・Ⅵ　しまり中
19：褐灰色土　Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまり中
20：暗褐色土　しまりやや弱
21：褐灰色土　Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまり中
22：黒褐色土　Ⅴ・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまり中
23：Ⅶ＋Ⅷ　しまりやや弱
24：黒色土　しまり弱
25：灰黄褐色土　しまり中　5㎜前後の炭化材が少量まじる



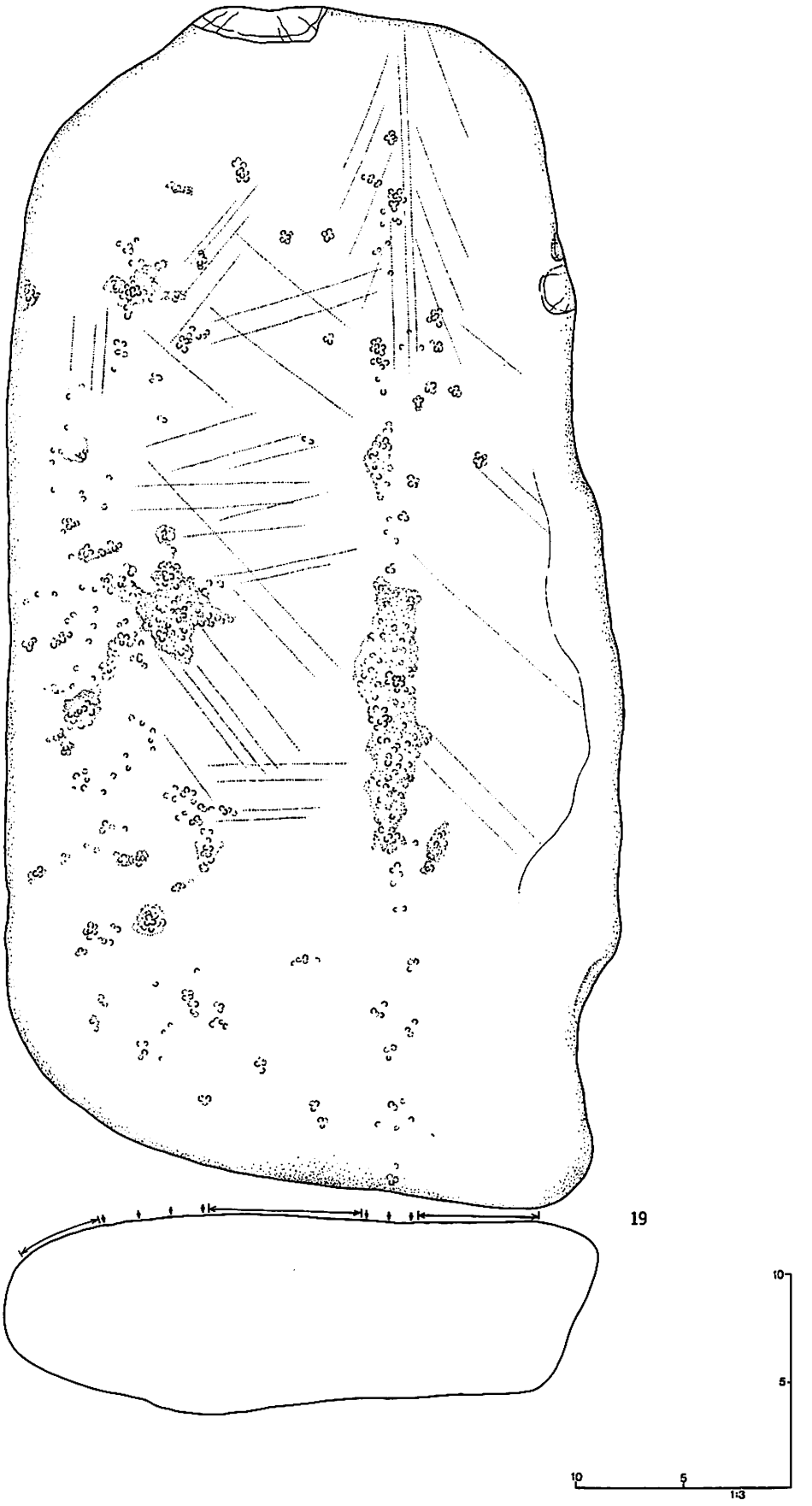


ALH 6 出土遺物の垂直分布
• 土器
□ 石器

図Ⅳ－22　ALH－6(1)


g h5.90
i j6.00
k l5.90
m n5.90
o p5.90
q r5.80
s t5.90
HP 1
HP 2
HP 3
HP 4
HP 5
HP 6
HP 7
0 1m
1:40
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
1:4
1:3
1:2

図Ⅳ－23　ALH－6(2)



図Ⅳ－24　ALH－6出土の石器

時　期　覆土中の遺物から、縄文時代前期前半静内中野式土器の頃と思われる。

ALH－7（図Ⅳ－25）

位　置　Ⅰ－41

規　模　2.24×1.76／1.66×1.32／0.22m

平面形　楕円形　　**床面積**　1.76㎡

確認・調査　包含層調査終了後、Ⅶ層の面において黒色土と黄褐色土の混じる部分がみられた。遺構を想定し、土層観察用の土手を残しながら掘り下げたところ、平坦な床面と壁の立ち上がりが確認され、遺構と判断した。

覆　土　掘上土の流入と思われる。

壁　立ち上がりは緩やかである。

床　面　概して平坦である。

炉　検出されなかった。

柱　穴　検出されなかった。

遺　物　土器は覆土中から19点出土した。

土　器　1は微隆起線間に短縄文が施文される。2は斜行縄文が施文される。口唇断面は切出形である。3は縦の羽状縄文が施文される。1はⅠ群b－3類、2、3はⅡ群a－2類に相当する。

時　期　周囲の遺物出土状況から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALH－8（図Ⅳ－25）

位　置　Ⅰ・Ｊ－41

規　模　(2.08)×1.60／1.48×1.18／0.26m

平面形　楕円形　　**床面積**　1.74㎡

確認・調査　Ｊ－41区の掘上土調査後、しまりのある平坦な面の広がりと立ち上がりを確認し、遺構と判断した。隣接する発掘区の土層断面では、掘上土と覆土の判別ができなかった。

覆　土　1～6層は掘上土、7層以下が覆土に相当すると思われる。11、12、13層はしまりが強く、床面との層境界が明瞭である。

壁　立ち上がりは緩やかである。西側ではやや不明瞭である。

床　面　Ⅶ層中に作られ、概して平坦である。

炉　検出されなかった。

柱　穴　柱穴様のものが3カ所検出された。

遺　物　土器は覆土中から19点が出土した。

土　器　1は細い粘土紐を貼付後、0段r原体を巻き付けた絡条体圧痕文が羽状に施文される。Ⅰ群b－3類に相当する。

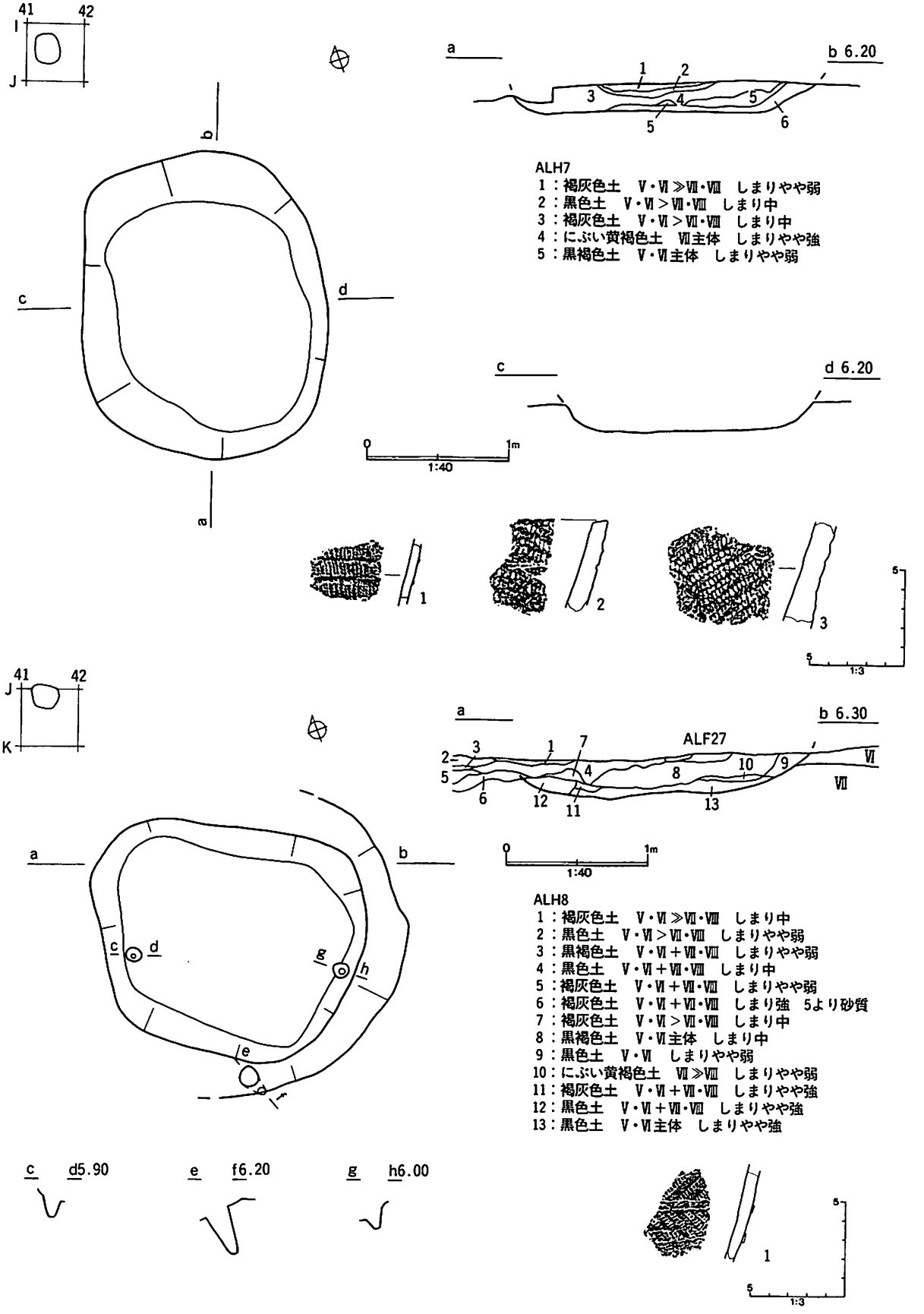
時　期　周囲の遺物出土状況から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALH－9（図Ⅳ－26）

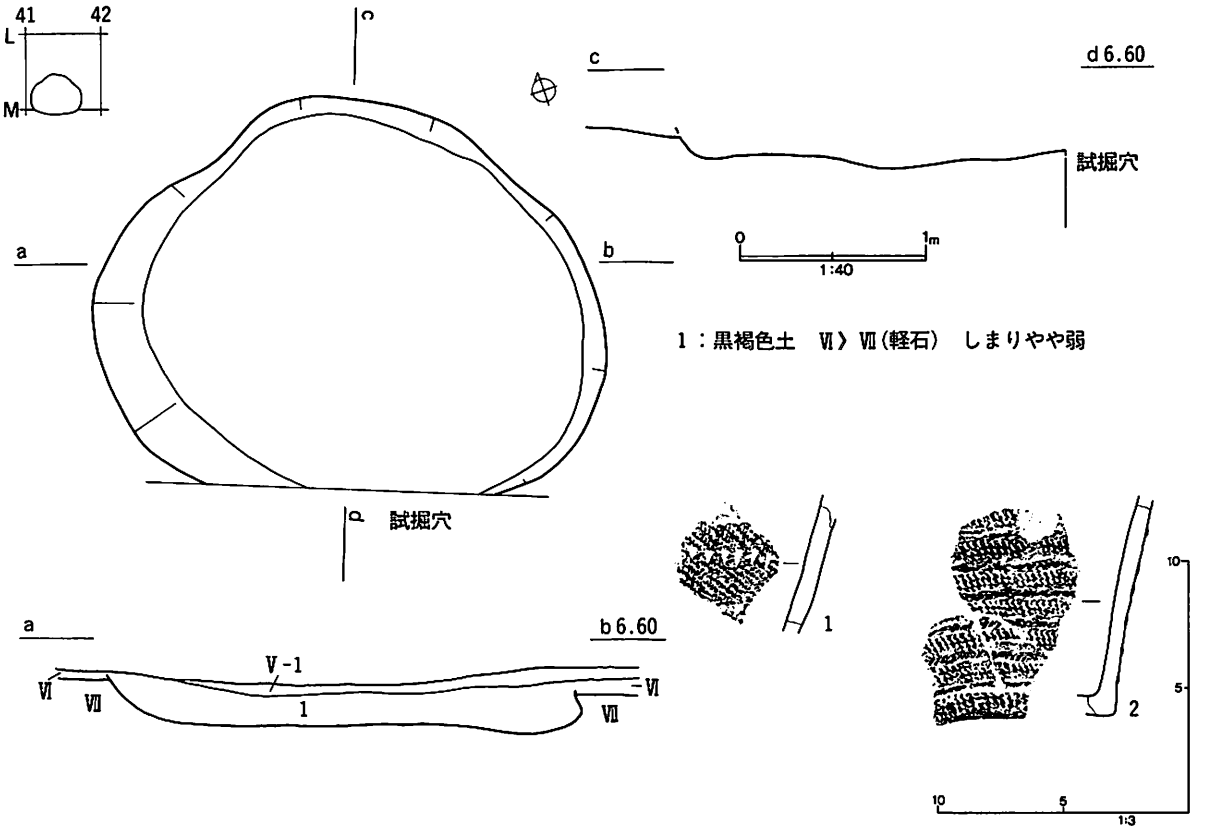
位　置　Ｌ・Ｍ－41

規　模　2.46×(2.16)／2.28×(1.96)／0.18m

平面形　楕円形　　**床面積**　(3.47)㎡


41
42
I
J
a
b 6.20
1
2
3
4
5
6
ALH7
1：褐灰色土　Ⅴ・Ⅵ≫Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
2：黒色土　Ⅴ・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまり中
3：褐灰色土　Ⅴ・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまり中
4：にぶい黄褐色土　Ⅶ主体　しまりやや強
5：黒褐色土　Ⅴ・Ⅵ主体　しまりやや弱
b
c
d
a
c
d 6.20
0
1m
1:40
1
2
3
5
1:3
41
42
J
K
a
b 6.30
ALF27
Ⅵ
Ⅶ
0
1m
1:40
ALH8
1：褐灰色土　Ⅴ・Ⅵ≫Ⅶ・Ⅷ　しまり中
2：黒色土　Ⅴ・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
3：黒褐色土　Ⅴ・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
4：黒色土　Ⅴ・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまり中
5：褐灰色土　Ⅴ・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
6：褐灰色土　Ⅴ・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまり強　5より砂質
7：褐灰色土　Ⅴ・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまり中
8：黒褐色土　Ⅴ・Ⅵ主体　しまり中
9：黒色土　Ⅴ・Ⅵ　しまりやや弱
10：にぶい黄褐色土　Ⅶ≫Ⅷ　しまりやや弱
11：褐灰色土　Ⅴ・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまりやや強
12：黒色土　Ⅴ・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまりやや強
13：黒色土　Ⅴ・Ⅵ主体　しまりやや強
c
d
e
f
g
h
c　d5.90
e　f6.20
g　h6.00
1
5
1:3

図Ⅳ－25　ALH－7・8


41
42
L
M
c
c
d 6.60
試掘穴
a
b
0
1m
1:40
1：黒褐色土　Ⅵ〉Ⅶ(軽石)　しまりやや弱
d
試掘穴
a
b 6.60
Ⅴ-1
Ⅵ
Ⅶ
1
Ⅵ
Ⅶ
1
2
10
5
10
5
1:3

図Ⅳ－26　ALH－9

確認・調査　Ⅵ層中で黒色土の落ち込みを確認した。土層観察用の土手を残し掘り下げたところ、しまりのある床面と壁の立ち上がりを確認したことから、遺構と判断した。

覆　土　Ⅵ層が主体と思われる。

壁　北側と西側の立ち上がりは緩やかである。東側はオーバーハング状を呈し、南側は試掘穴によって確認できなかった。

床　面　Ⅶ層中に作られ、概して平坦である。

炉　検出されなかった。

柱　穴　検出されなかった。

遺　物　土器は覆土中から13点が出土した。

土　器　1は斜行縄文間に角棒状工具による下からの刻み列が施される。2は胴部～底部の破片である。粘土紐間には短縄文が施文される。1はⅠ群b－2類、2はⅠ群b－3類に相当する。

時　期　周囲の遺物出土状況と覆土から、縄文時代早期後半と思われる。

ALH－10（図Ⅳ－27～29）

位　置　M・N－43・44・45

規　模　5.51×4.59／4.87×3.98／0.28m　（掘上土範囲）9.65×3.00m

平面形　楕円形　　**床面積**　16.22㎡

確認・調査　ALH－3の掘上土より南側で、別の掘上土と思われる土の広がりを確認した。また、Mラインの土層断面には、遺構と思われる立上りがみられた。このため、土手を残して掘り下げたところ、平坦な床面の広がりと壁の立上りが確認されたことなどから、遺構と判断した。

覆　土　黒色土にⅦ・Ⅷ層が混じる。床面との層境界は明瞭である。

壁　立ち上がりはやや急である。西側の壁で一部掘りすぎた所がある。

床　面　概して平坦である。

炉　検出されなかった。

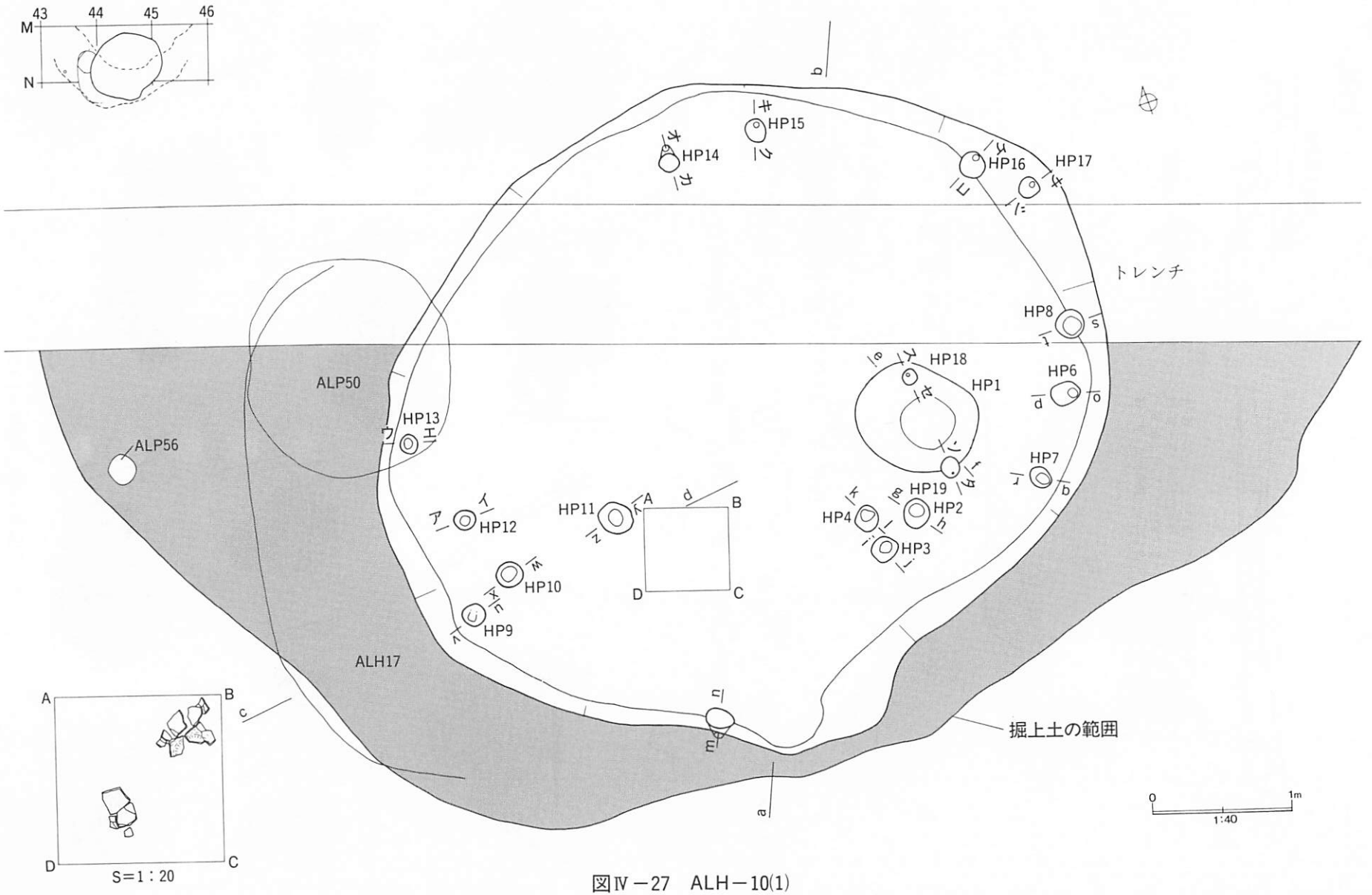
付属施設　平面が円形を呈するものが1基検出された（ALH－10HP1）。性格は不明である。

柱　穴　柱穴様のものが18カ所検出された。ALP－50の覆土中に設けられたもの（HP－13）もある。

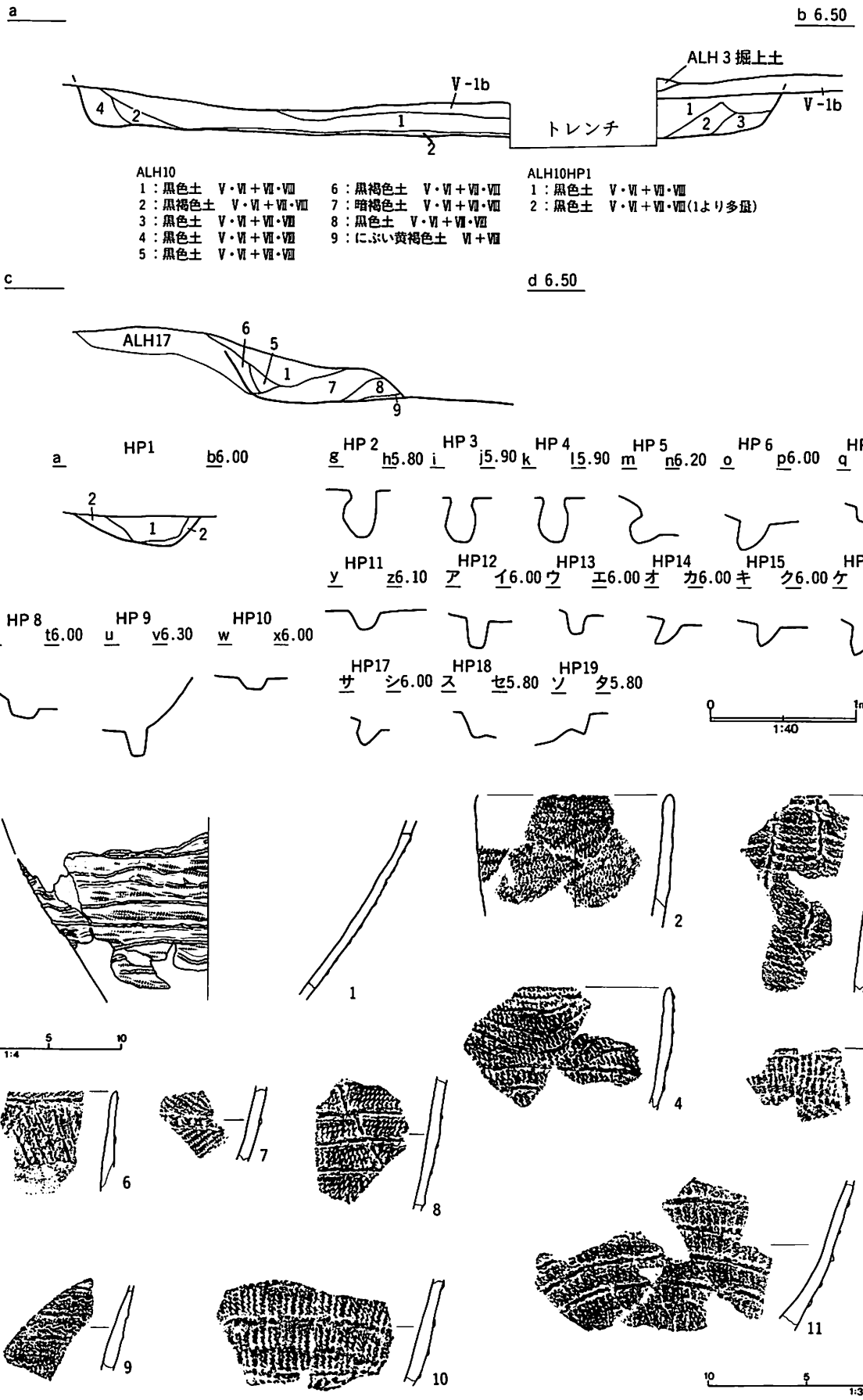
遺　物　土器は覆土中から193点、床面から15点、掘上土から40点が出土した。

土　器　1は包含層の土器と接合し（表参照）、胴部の1／2程が復元できた。現存器高10.6cm。器形は胴部下から上に向かって開きが大きい。微隆起線間にはLR原体による横走縄文が施文される。微隆起線には波打つものもみられる。外面の色調は（5YR6/6）橙色、内面は暗灰黄色（2.5Y5/2）が一部に見られ、他は黒色化している。Ⅰ群b－3類、中茶路式土器に相当する。

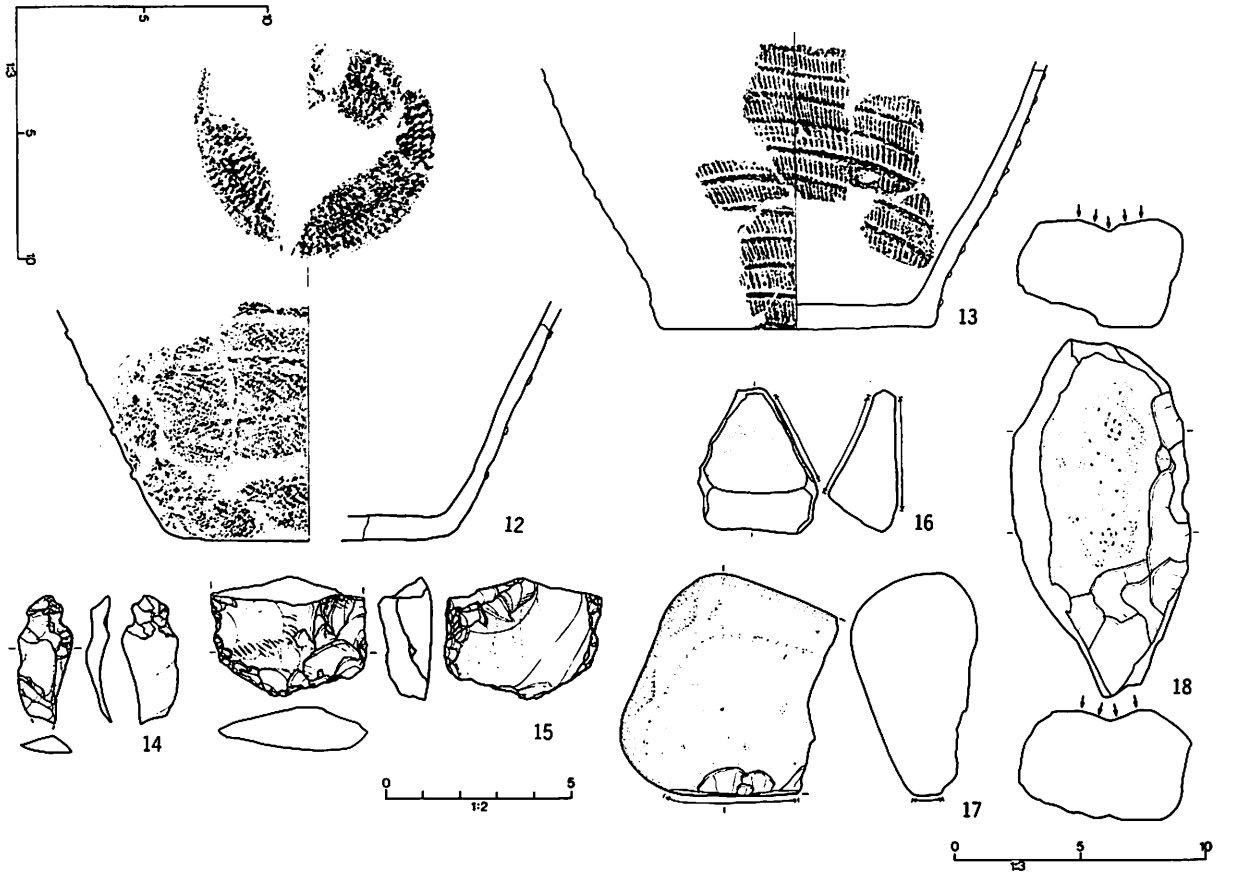
2は推定口径10.2cm。2条を交差させる絡条体圧痕文を扇状に何段も重ねている。3は粘土紐が口唇直下に1条、縦に2条貼付されている。器面にはLR原体による撚糸文が施文される。4は粘土紐間に短縄文が施文される。5は口唇直下5㎜程が無文である。その下には粘土紐が貼付され、間に絡条体圧痕文が縦、斜めに施文される。6の粘土紐は口唇直下の1条以外斜めに貼付される。外面には煤の付着が著しい。7は粘土紐を境とした羽状縄文が施文される。粘土紐上には縄端によると思われる刺突列がみられる。8は横走する粘土紐間に斜めの粘土紐が連続して貼付される。9は微隆起線間に綾絡文と短縄文が施文される。11は床面出土である。底部近くの破片である。粘土紐間には短縄文が施文される。12は出土状況図の土器である。底径11.0cm。粘土紐間に斜行縄文が施文される。内底


43
44
45
46
M
N
HP15
HP14
HP16
HP17
トレンチ
HP8
HP18
HP1
HP6
ALP50
HP13
ALP56
HP7
HP19
HP2
HP4
HP3
HP11
HP12
HP10
HP9
ALH17
掘上土の範囲
A
B
C
D
S=1：20
0
1m
1:40

図Ⅳ－27　ALH－10(1)


a
b 6.50
ALH３掘上土
V-1b
トレンチ
V-1b
ALH10
1：黒色土　V・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ
2：黒褐色土　V・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ
3：黒色土　V・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ
4：黒色土　V・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ
5：黒色土　V・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ
6：黒褐色土　V・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ
7：暗褐色土　V・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ
8：黒色土　V・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ
9：にぶい黄褐色土　Ⅵ＋Ⅷ
ALH10HP1
1：黒色土　V・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ
2：黒色土　V・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ(1より多量)
c
d 6.50
ALH17
a HP1 b6.00
g HP2 h5.80 i HP3 j5.90 k HP4 l5.90 m HP5 n6.20 o HP6 p6.00 q HP7 r5.80
y HP11 z6.10 ア HP12 イ6.00 ウ HP13 エ6.00 オ HP14 カ6.00 キ HP15 ク6.00 ケ HP16 コ6.00
s HP8 t6.00 u HP9 v6.30 w HP10 x6.00
サ HP17 シ6.00 ス HP18 セ5.80 ソ HP19 タ5.80
1:40
1:4
1:3

図Ⅳ－28　ALH－10(2)



図Ⅳ－29　ALH－10(3)

面には短縄文を数段円形にめぐらせている。底部内面以外は黒色化している。13は推定底径9.6cm。粘土紐間に短縄文が施文される。2～6、8～13はⅠ群b－3類、7はⅠ群b－2類に相当する。

石　器　14はつまみ付きナイフで下端部を欠損している。15はスクレイパー片で両面周辺加工のものである。16は砥石で、表裏2面と側面の一部の3面に砥面が認められる。17はすり石で、断面三角形のものである。18は台石で表面に潰打痕が認められる。

時　期　出土土器、周囲の遺物、住居形態などから、縄文時代早期後半中茶路式土器の頃と思われる。

ALH－11（図Ⅳ－30）

位　置　Ⅰ・J－42・43

規　模　2.78×2.26／2.20×1.46／0.44m　（掘上土範囲）1.71×(1.18)／0.06m

平面形　隅丸長方形　　**床面積**　2.92㎡

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ層で円形を呈する黒色土の落ち込みがみられた。すぐ横にはⅦ・Ⅷ層と思われる黄褐色土もみられたことから、遺構とその掘上土を想定し、土層観察用の土手を残し掘り下げたところ、しまりのある平坦な床面と壁の立ち上がりが確認されたことから、遺構と判断した。

覆　土　しまりの弱い黒色土が主体で、掘上土の流入もみられる。

壁　立ち上がりはやや急である。

床　面　平坦である。

炉　検出されなかった。

柱　穴　検出されなかった。

遺　物　土器は覆土中から59点、掘上土から1点が出土した。

土　器　1は粘土紐を縦、横に貼付し、その間は短縄文が縦位、横位に施文される。口唇断面は平らで、小さいため工具は不明であるが、刻み列がみられる。2は2条並列する撚糸文が施文される。3は羽状縄文が施文される。上の縄文の節はすり消しがなされている。4は斜行縄文施文後、沈線が3本引かれている。1はⅠ群b－3類、2はⅠ群b－4類、3はⅡ群a－1類、4はⅡ群a－2類に相当する。

時　期　遺構の形態と周囲の遺物から縄文時代前期前半の頃と思われる。

ALH－12（図Ⅳ－31）

位　置　J－40

規　模　2.66×2.04／2.04×1.26／0.26m

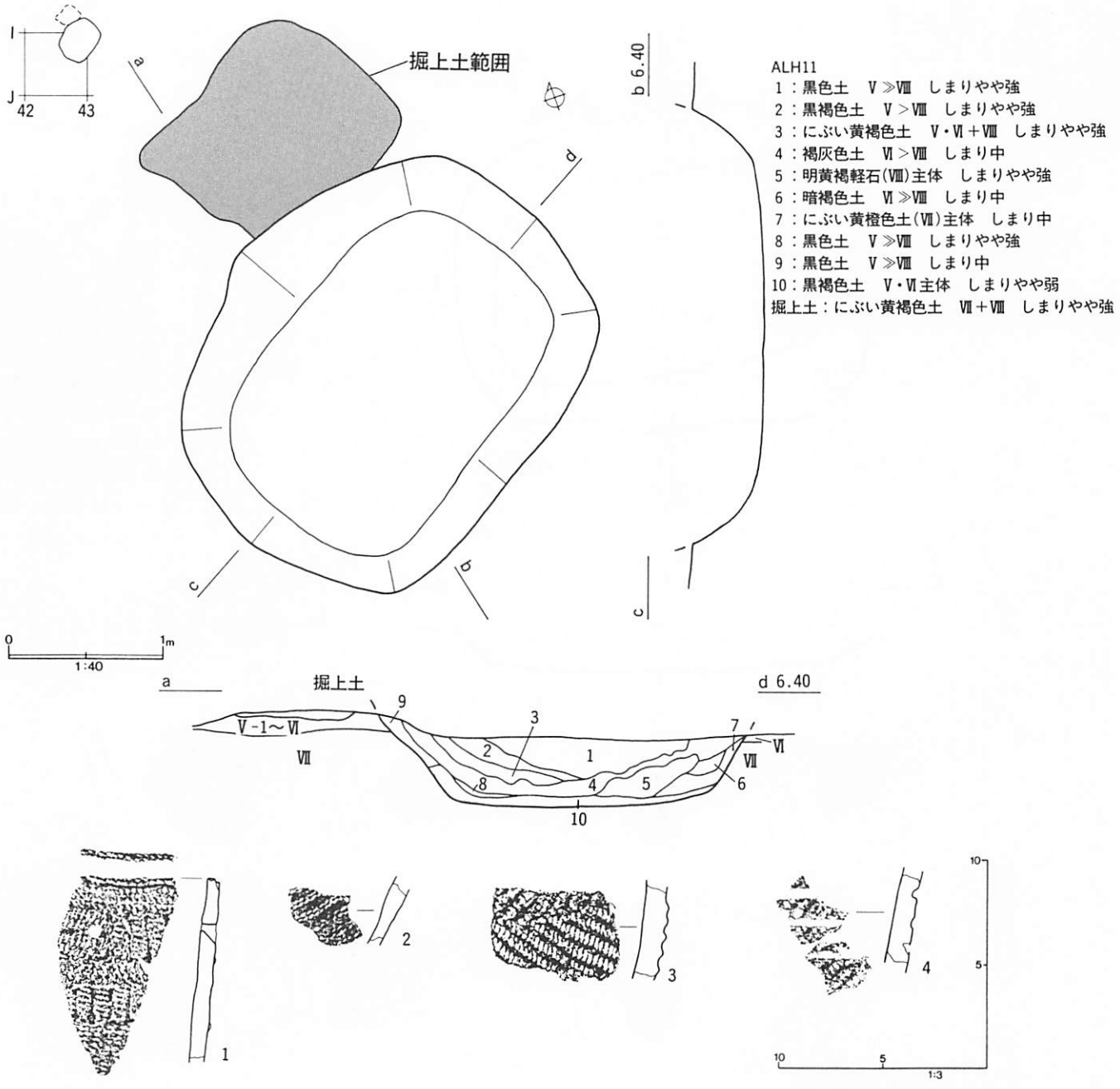
平面形　隅丸長方形　　**床面積**　2.70㎡

確認・調査　包含層調査中、暗色の濃い土が隅丸長方形状に確認された。遺構を想定し、そこから土手を残して掘り下げたところ、しまりのある平坦な床面と壁の立ち上がりが確認され、遺構と判断した。

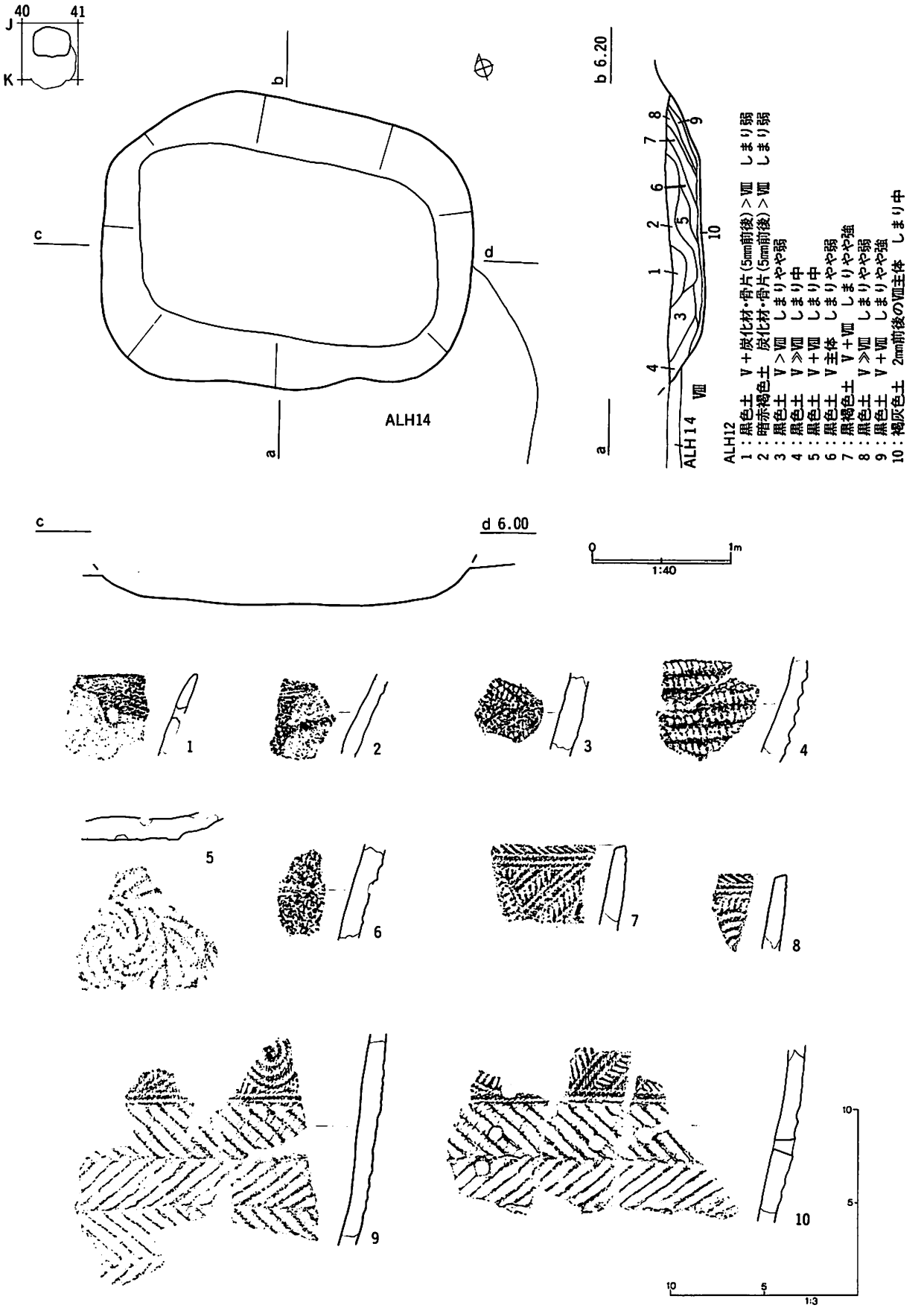
覆　土　1、2層には炭化材、骨片が多く混じる。2層は層境界の明瞭な焼土で、二次堆積と思われる。他は黒色土主体である。

壁　立ち上がりはやや急である。下部はⅧ層中に作られるが、上部はALH－14の覆土中に作られる。

床　面　平坦である。


I
J
42
43
a
掘上土範囲
b 6.40
d
c
ALH11
1：黒色土　Ⅴ≫Ⅷ　しまりやや強
2：黒褐色土　Ⅴ＞Ⅷ　しまりやや強
3：にぶい黄褐色土　Ⅴ・Ⅵ＋Ⅷ　しまりやや強
4：褐灰色土　Ⅵ＞Ⅷ　しまり中
5：明黄褐軽石(Ⅷ)主体　しまりやや強
6：暗褐色土　Ⅵ≫Ⅷ　しまり中
7：にぶい黄橙色土(Ⅶ)主体　しまり中
8：黒色土　Ⅴ≫Ⅷ　しまりやや強
9：黒色土　Ⅴ≫Ⅷ　しまり中
10：黒褐色土　Ⅴ・Ⅵ主体　しまりやや弱
掘上土：にぶい黄褐色土　Ⅶ＋Ⅷ　しまりやや強
0
1m
1:40
a
掘上土
d 6.40
Ⅴ-1～Ⅵ
Ⅶ
Ⅵ
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
1
2
3
4
10
5
10
5
1:3

図Ⅳ－30　ALH－11


40
41
J
K
b
c
d
a
ALH14
b 6.20
a
ALH14
Ⅷ
ALH12
1：黒色土　Ⅴ＋炭化材・骨片(5mm前後)＞Ⅷ　しまり弱
2：暗赤褐色土　炭化材・骨片(5mm前後)＞Ⅷ　しまり弱
3：黒色土　Ⅴ＞Ⅷ　しまりやや弱
4：黒色土　Ⅴ≫Ⅷ　しまり中
5：黒色土　Ⅴ＋Ⅷ　しまり中
6：黒色土　Ⅴ主体　しまりやや弱
7：黒褐色土　Ⅴ＋Ⅷ　しまりやや強
8：黒色土　Ⅴ≫Ⅷ　しまりやや弱
9：黒色土　Ⅴ＋Ⅷ　しまりやや強
10：褐灰色土　2mm前後のⅧ主体　しまり中
c
d 6.00
0
1m
1:40
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
10
5
1:3

図Ⅳ－31　ALH－12

炉　検出されなかった。

柱　穴　検出されなかった。

遺　物　土器は、覆土中から28点、床面から２点が出土した。

土　器　１、４～６、10は覆土出土である。１は撚糸文が施文される。内面は炭化物の付着と黒色化が著しい。４はRL原体による横走縄文が施文される。５は底部破片である。底面には稜がめぐり、その中には渦巻き状の縄文が施される。中心には縄端による刺突がなされる。６は斜行縄文が施文される。２、３は床面出土である。２は節の小さな斜行縄文が僅かに見られるが、剝離、磨耗が著しい。胎土には繊維がやや多量に含まれる。３は羽状縄文が施文される。胎土には繊維の他、径２㎜程の礫が多く含まれる。７、８、９は包含層出土であるが、10と同一個体と思われるためここに掲載した。７は口唇直下に細い丸棒状の工具によって斜めの刻み列が施される。その下には１段R原体の側面圧痕が２条、R原体の側面圧痕と細い丸棒状の工具による刻み列が斜めに交互に施文される。破片の左側には８、９でみられる渦巻き状の文様の一部がみられる。８は渦巻き状の文様の上部がみられる。９は１段Rの原体により、４周する渦巻き状の側面圧痕がみられる。渦巻きの下はR原体による側面圧痕が２条施される。胴部は撚りの異なる原体を交互に用いた羽状縄文が施文される。LR原体を用いた方は、節のすり消しがなされる。10は覆土出土の１点と包含層の土器が接合したものである（表参照）。補修孔が５つ穿たれている。

時　期　出土遺物、周囲の遺物、遺構の形態から、縄文時代前期前半の頃と思われる。

ALH－13（図Ⅳ－32・33）

位　置　K・L－43

規　模　4.94×3.32／4.22×2.78／0.32m

平面形　楕円形　　**床面積**　9.47㎡

確認・調査　ALH－３の掘上土より下位の土層を観察するため、土手を残して深掘りしたところ、Ⅴ－１b層を掘り下げた段階で、Ⅷ層の混じるしまりのない土層が確認された。ALH－３の掘上土を除去し、Ⅴ－１b層を掘り下げた段階で楕円形の輪郭を確認し、土層観察用の土手を十字に残しながら掘り下げた。調査の途中、中央付近で大きく窪む部分が確認されたため、別の遺構かと考えたが（ALH－16）、土層断面を再度観察した結果、本遺構が中央に窪みをもつものであると判断した。平坦な床面の広がりと、やや急な立上りが確認されことなどから、住居跡と判断した。

覆　土　しまりの弱い土である。７、９層は焼土である。南北方向の土手の中央付近でALP－46が検出された。

壁　立上りはやや急である。

床　面　中央に2.08×1.94mの円形の窪みがある。その床面も含めて概して平坦である。

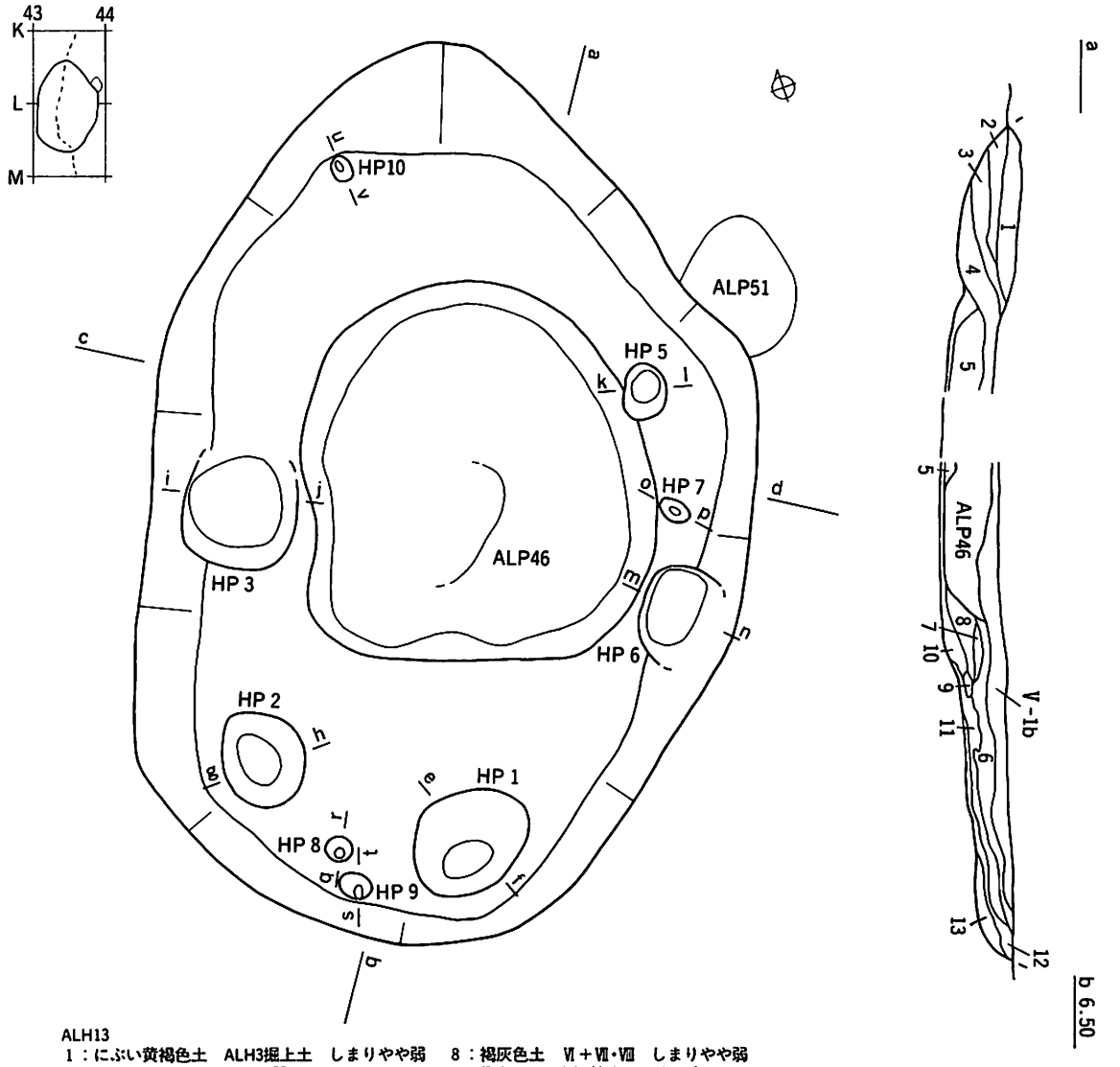
炉　検出されていない。

付属施設　床面でHP－１～３、６の４基が検出された。円形気味で径0.70m前後である。性格は不明である。

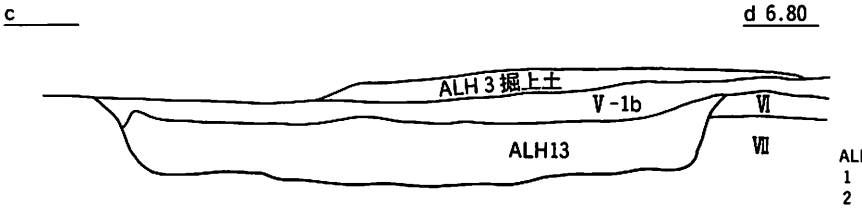
柱　穴　５カ所で検出された。

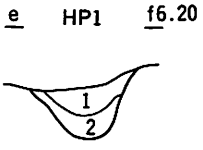
遺　物　土器は覆土中から426点、床面から２点、HP－１の覆土から１点が出土した。

土　器　１は包含層の土器と接合し（表参照）、口縁部から胴部下半の1／3程が復元できた。現存器高20.6㎝、推定口径24.2㎝。器形は口縁部から胴部上半が直立気味で、胴部下半から底部へむかってすぼまる。口唇断面は尖り気味である。微隆起線は横走するが、口縁部では波打つものが２条みら

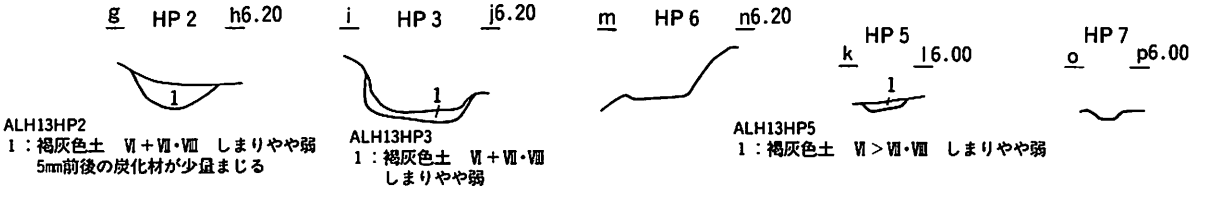


ALH13
1：にぶい黄褐色土　ALH3掘上土　しまりやや弱
2：黒色土　Ⅴ　しまりやや弱
3：にぶい黄褐色土　Ⅵ・Ⅶ＋Ⅷ　しまりやや弱
4：黒色土　Ⅴ・Ⅵ≫Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
5：にぶい黄褐色土　Ⅵ・Ⅶ＋Ⅷ　しまり中
6：褐灰色土　Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
7：橙(7.5YR6/6) 焼土　しまり強
8：褐灰色土　Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
9：橙(7.5YR6/6) 焼土　しまり中
10：黒色土　Ⅴ・Ⅵ≫Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
11：黒色土　Ⅴ・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
12：褐灰色土　Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまり中
13：黒色土　Ⅴ・Ⅵ　しまりやや弱





ALH13HP1
1：褐灰色土　Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまり弱
2：にぶい黄褐色土　Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱



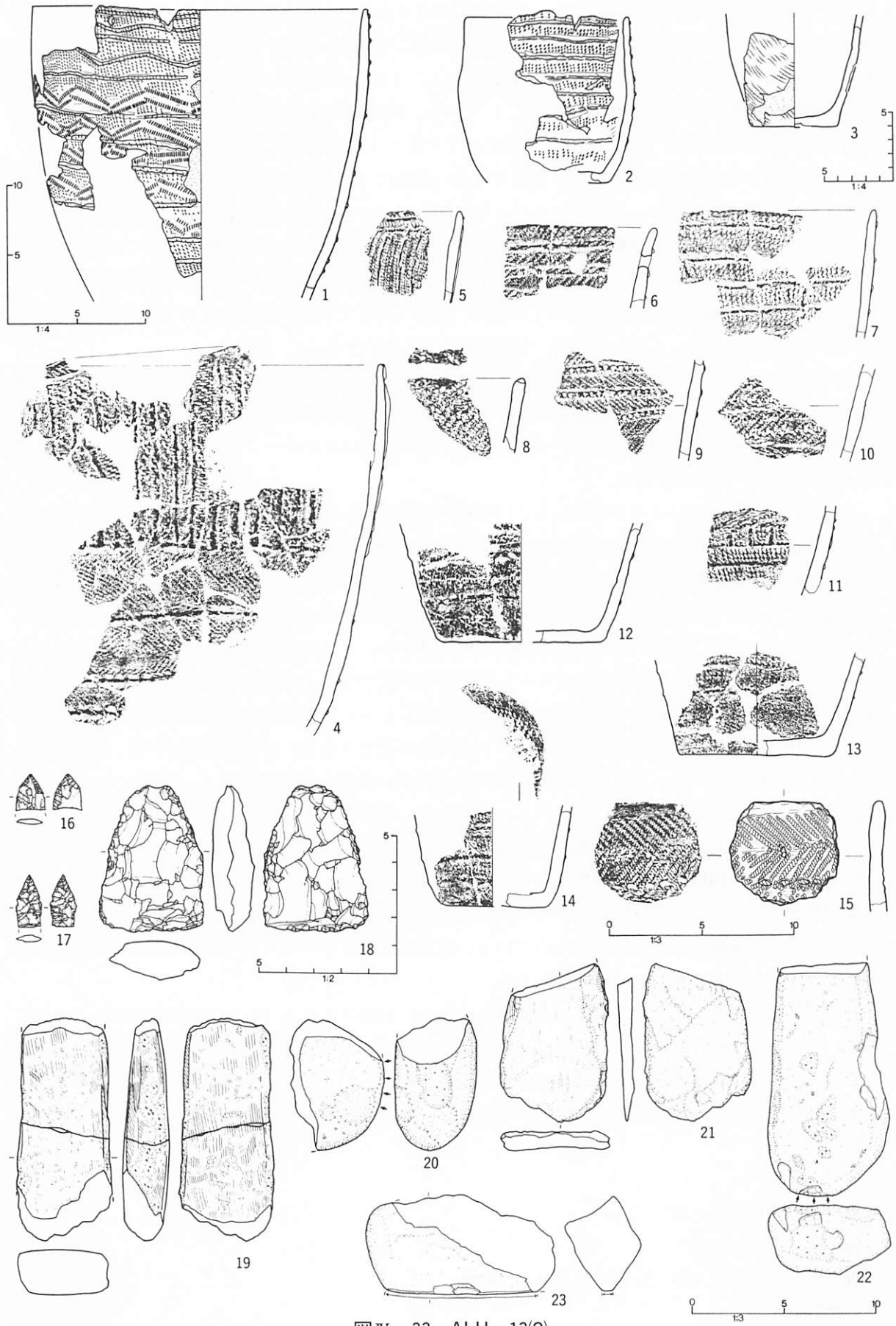
ALH13HP2
1：褐灰色土　Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
5mm前後の炭化材が少量まじる

ALH13HP3
1：褐灰色土　Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ
しまりやや弱

ALH13HP5
1：褐灰色土　Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱



図Ⅳ－32　ALH－13(1)



図Ⅳ－33　ALH－13(2)

れる。微隆起線間は口縁部と胴部下半で短縄文が施文される。胴部上半では絡条体圧痕文が鋸歯状に施文され、その上下に短縄文が加わる。外面の色調は口縁部の一部で（10YR6/2）灰黄色、胴部下半でにぶい褐色（7.5YR6/3）を呈する他は黒色化している。口縁部にはやや多量に炭化物が付着する。口縁部の補修孔は炭化物付着後に穿たれている。内面は口縁部でにぶい黄橙色（10YR6/3）～にぶい赤褐色（5YR4/3）を呈する他は黒色化している。Ⅰ群ｂ－３類、中茶路式土器に相当する。

２は口縁部から底部までの1／4程が復元できた。器高12.4cm、推定口径11.9cm。器形は口縁部が直立気味で、胴部がふくらむ。口縁部は波状になる部分がある。口唇断面はやや丸みを帯びるが、尖り気味である。微隆起線間には短縄文が施文される。外面の色調は、口縁部～胴部上半で灰黄褐色（10YR6/2）、胴部下半～底部でにぶい黄色（2.5Y6/3）。褐灰色（10YR5/1）が口縁部と胴部の一部にみられる。内面は口縁部で灰黄褐色（10YR5/2）、胴部～底部でにぶい黄橙色（10YR6/3）、胴部の一部に黒色化がみられる。Ⅰ群ｂ－３類、中茶路式土器に相当する。

３は底部から胴部下半までの1／2程が復元できた。現存器高7.2cm、底径6.4cm。底部からの立ちあがりはあまり広がらない。底部外面および外底面は剝離が顕著である。器面には斜行縄文が施文される。色調は内外面とも橙色（2.5YR7/6）であるが、外底面は灰オリーブ色（5Y6/2）である。Ⅰ群ｂ－３類に相当すると思われる。

４の口縁部は波状を呈すると思われる。口唇直下の粘土紐と胴部の粘土紐を縦の粘土紐がつなぐ。その間には斜め～横位の短縄文が施文される。無文の部分もある。口唇直下の粘土紐は幅広である。胴部下半の粘土紐間には結束第一種原体による羽状縄文が施文される。５は横の微隆起線間にRL原体の縄端による軽い刺突を施し、縦の微隆起線間にはRL原体による縦走気味の縄文が施文される。６は粘土紐上から粘土紐間にかけて斜行縄文が施文される。７は粘土紐間に短縄文が施文される。８はHP－１の覆土から出土したものである。斜行縄文が施文され、口唇上には同一原体による側面圧痕がみられる。９は羽状縄文を施文後、粘土紐を貼付している。粘土紐上には縄端による刺突列がみられる。10は微隆起線間に結束第一種原体による縄文が施文される。11は微隆起線が縦、横、斜めにみられ、その間に短縄文が施文される。12は微隆起線間に綾絡文が施文される。底径9.6cm。13は微隆起線間に短縄文、斜行縄文が施文される。底部内面には炭化物の付着が顕著である。推定底径10.2cm。14の底部端は丸みを帯びる。微隆起線間には短縄文が施文される。内底面には短縄文がめぐるように施文される。内底面の縁は黒色化している。推定底径8.8cm。15は口縁部破片を打ち欠いた再生土製円盤と思われる。口唇は加工されていない。破片の中央に穿孔しようとした痕跡がみられる。文様は羽状縄文と縄端による刺突が施されている。重量29.0mm。４～７、10～14はⅠ群ｂ－３類、８はⅠ群ｂ類、９、15はⅠ群ｂ－２類に相当する。

石　器　16，17は石鏃で、先端部のみのものである。18はスクレイパーで、両面全面加工のものである。19，21は石斧片である。20は円形の礫を用いたたたき石である。23はすり石で、断面三角形のものである。22はたたき石で側面に潰打痕が認められる。

時　期　出土遺物、周囲の遺物、住居の形態などから、縄文時代早期後半中茶路式土器の頃と思われる。

ALH－14（図Ⅳ－34・35）

位　置　J・K－40

規　模　3.70×(2.30)／3.54×(2.20)/0.10m

平面形　円形？

確認・調査　ALH－12の調査中、円形を呈する黒褐色土の落ち込みが確認された。ALH－12の調査後、土層観察用の土手を残して掘り下げたところ、平坦な床面と緩やかな立上りが確認されたことから、遺構と判断した。

覆　土　黒褐色土が主体で、床面との層境界は明瞭である。

壁　緩やかに立ち上がる。西側はトレンチにより、北側はALH－12により不明である。

床　面　概して平坦である。西側はトレンチにより、北側はALH－12により不明である。

炉　南東側で1カ所確認された。レンズ状の断面を呈し、焼けしまっていた。

柱　穴　柱穴様のものが6カ所検出された。

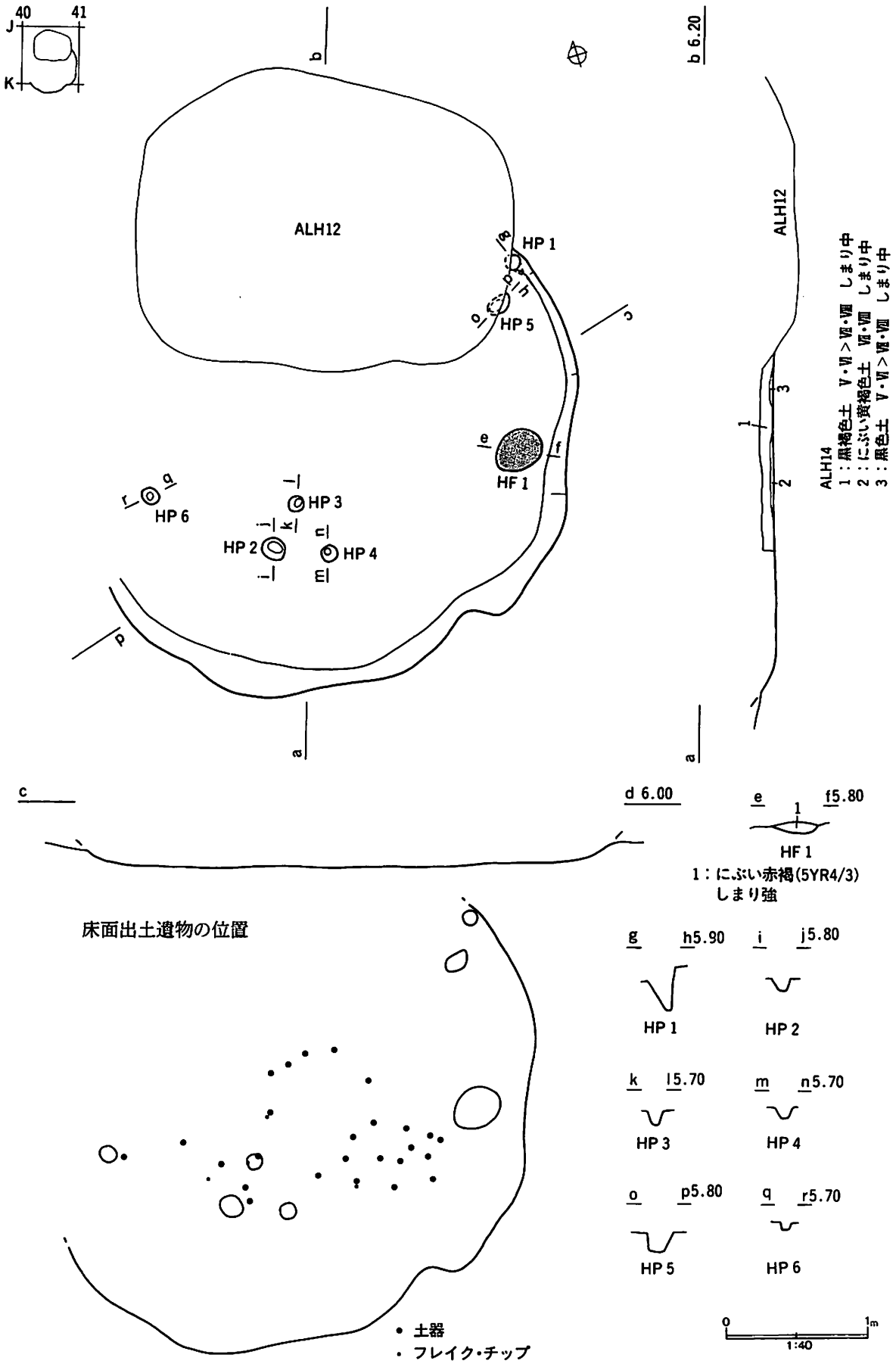
遺　物　土器は覆土から31点、床面から289点が出土した。

土　器　1は床面でまとまって出土した。底部を欠失するが、それ以外はほぼ全体が復元できた。現存器高32.2cm、口径31.7cm。器形は口縁部から胴部まで直立気味で、胴部から底部に向かってすぼまる。口縁は波状口縁で5カ所に波頂部がみられる。口唇断面は尖り気味である。器厚は6㎜程と非常に薄手に作られている。文様は結束第一種原体による羽状縄文が全面に施文され、その後粘土紐が貼付される。粘土紐上にも所々縄文が施文される。外面の色調は全面が灰黄色（2.5Y7/2）で、口縁部～胴部が幅20cm程で黒色化する部分がみられる。胴部下半ではにぶい橙色（7.5YR7/4）を呈する部分が所々みられる。内面はほぼ全面が灰黄色（2.5Y6/1）を呈する。黒色化は胴部の器形が変わる辺りで特に顕著である。Ⅰ群b－3類、中茶路式土器に相当する。

2も床面出土である。胴部から底部の1／4程を復元できた。現存器高12.9cm、底径17.2cm。器形は底部から胴部に向かってあまり広がらずに立ち上がる。微隆起線間には非常に細いLRを用いた短縄文が施文される部分と、縦の粘土紐を連続して貼付した部分がみられる。微隆起線の下側には作出する際についた爪痕とみられる斜めの刻みが顕著にみられる。底部端には、非常に細いLR原体による斜行縄文が部分的に施文されている。色調は内外面とも灰黄色（2.5Y7/2）である。二次焼成の痕跡は見当らない。Ⅰ群b－3類、中茶路式土器に相当する。

3は包含層の土器と接合し、胴部～底部までの一部分を復元できた。現存器高9.8cm、底径7.7cm。器形は底部からやや膨らみながら胴部下半へつながり、胴部下半～上半にかけては急な広がりをみせる。胴部上半からは口縁部に向かって直立気味である。底部端はやや張り出す。文様は粘土紐間に斜行縄文、底部端に短縄文が施文される。粘土紐上には、磨耗のため判然としない部分もあるが、縄文原体による圧痕列がみられる。外面の色調は全面にぶい黄橙色（10YR7/3）を呈し、所々黒色化がみられる。内面は底部がにぶい黄橙色（10YR7/3）と灰白色（10YR7/1）を呈し、他は黒色化している。Ⅰ群b－2類に相当すると思われる。

4は現存器高19.6cm、推定口径19.2cm。器形は口縁部から胴部まで直立気味で、胴部から底部に向かってすぼまる。口唇断面は尖り気味である。微隆起線間は無文の部分と短縄文が施文される部分、2条を交差させる絡条体圧痕文が施文される部分がみられる。縮尺は1／3である。5は斜行縄文が施文される。口唇には同一原体による側面圧痕がみられる。6は粘土紐上にも短縄文が施文される。施文は器面に達する程深い。8、13と同一個体と思われる。7は微隆起線間に短縄文が施文される。8は粘土紐間に短縄文と斜行縄文が施文される。粘土紐上にも短縄文が施文され、器面に達するほど深い。大きめの破片であるが、直径の1／4にも達しておらずかなり大型の土器であったと思われる。9は微隆起線間に短縄文と絡条体圧痕文が施文される。10は微隆起線間に短縄文と結束第一種原体による縄文が施文される。11は微隆起線間に1段Lによる短縄文が施文される。微隆起線の上下には絡条体圧痕文が縦、斜めに施文され、平行四辺形状の部分を作出している。12は微隆起線を逆Ⅴ字と


40
41
J
K
ALH12
HP 1
HP 5
HF 1
HP 3
HP 2
HP 4
HP 6
床面出土遺物の位置
• 土器
・ フレイク・チップ
b 6.20
ALH12
ALH14
1：黒褐色土　V・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまり中
2：にぶい黄褐色土　Ⅶ・Ⅷ　しまり中
3：黒色土　V・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまり中
d 6.00
e　f5.80
1
HF 1
1：にぶい赤褐(5YR4/3)
しまり強
g　h5.90
i　j5.80
HP 1
HP 2
k　l5.70
m　n5.70
HP 3
HP 4
o　p5.80
q　r5.70
HP 5
HP 6
0
1m
1:40

図Ⅳ－34　ALH－14(1)



図Ⅳ－35　ALH－14(2)

横に施す。微隆起線間は無文部分と絡条体圧痕文の部分がみられる。13は底部から胴部へ急に広がる。全面に短縄文が施文される。14の底部端は丸みを帯び、短縄文が施文される。15の底部端は若干張り出し、短縄文が施文される。16の底部端は角張り、磨耗のため拓影図では判然としないが、短縄文が施文される。17の底部端はやや張り出す。底部のくびれには斜行縄文、底部端には短縄文が施文される。

時　期　出土土器、周囲の遺物、住居の形態などから、縄文時代早期後半中茶路式土器の頃と思われる。

ALH－15（図Ⅳ－36）

位　置　J・K－41・42・43

規　模　4.82×(3.60)／4.38×(3.36)／0.20m

平面形　不整円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ層で黒色土が円形に落ち込んでいるのを確認した。土層観察用の土手を十字に残しながら掘り下げたところ、床面と壁の立上りを確認したことから、遺構と判断した。

覆　土　しまりの弱い黒色土が主体である。

壁　やや急である。北西側では付属施設のため、土手付近を除きはっきりしなかった。東～南にかけて柱穴様のものが検出された。

床　面　概ね平坦であるが、北西側で起伏がある。

炉　中央よりやや西側で1カ所検出された（HF－1）。レンズ状の断面を呈し、焼けしまっていた。

付属施設　床面でHP－1～6、8、9の8基を検出した。皿状のものと、やや掘り込みの深いものがある。性格は不明である。遺物は出土していない。

柱　穴　柱穴様のものを壁で4カ所、床面で2カ所検出した。

遺　物　土器は覆土中12点が出土した。

土　器　1は粘土紐の上にも短縄文が施文されている。2は丸棒状の軸に0段rを巻いた絡条体圧痕文が横、斜めに施文される。3は斜行縄文中に縄端の刺突列がみられる。4は粘土紐間に斜行縄文が施文される。1はⅠ群b類、2、4はⅠ群b－3類、3はⅠ群b－2類に相当する。

時　期　出土遺物、周囲の遺物、住居の形態などから、縄文時代早期後半コッタロ式か中茶路式土器の頃と思われる。

ALH－17（図Ⅳ－37～39）

位　置　M－43、N－43・44

規　模　3.78×(0.95)／3.63×0.86／0.18m

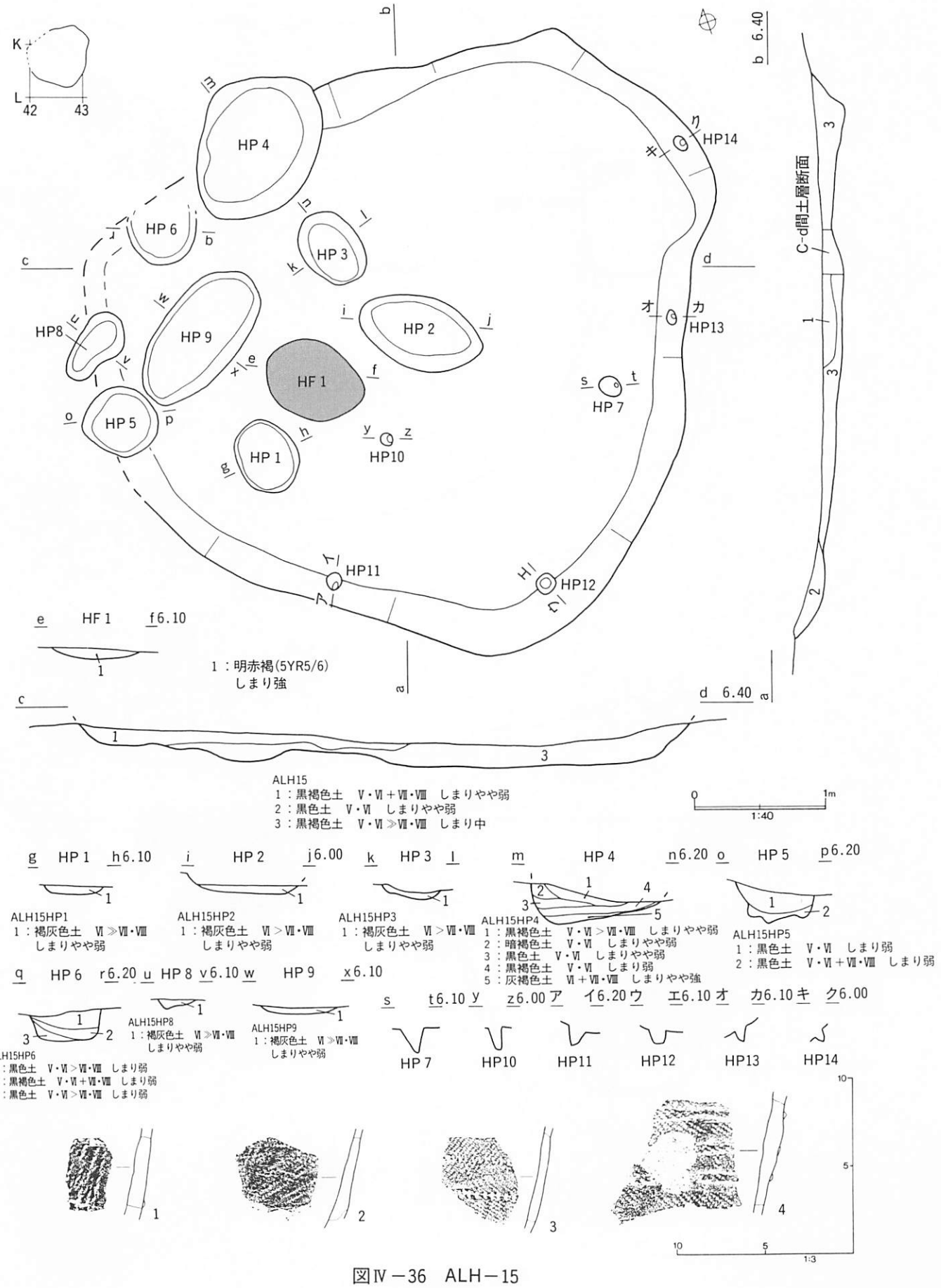
平面形　円形？

確認・調査　ALH－10の範囲を確認するためトレンチを西側へ延長したところ、ALH－10より一段高い平坦面を確認した。ALH－10の調査終了後周囲をやや掘り下げ、上場の輪郭を確認してから掘り下げたところ、平坦な床面の広がりと、壁の立上りを確認したことなどから住居跡と判断した。

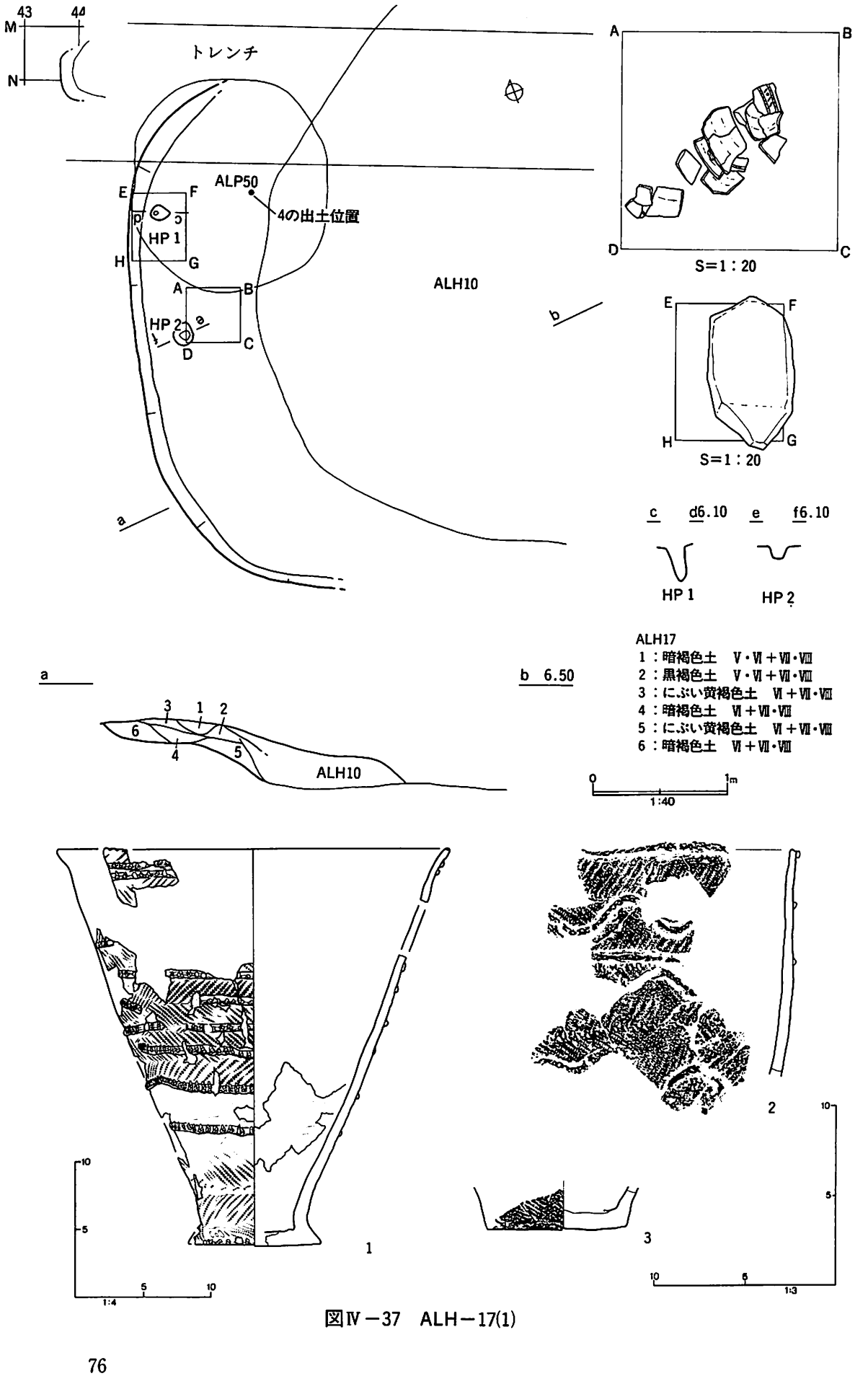
覆　土　Ⅶ・Ⅷ層が混じり、層境界が明瞭である。

壁　やや緩やかである。

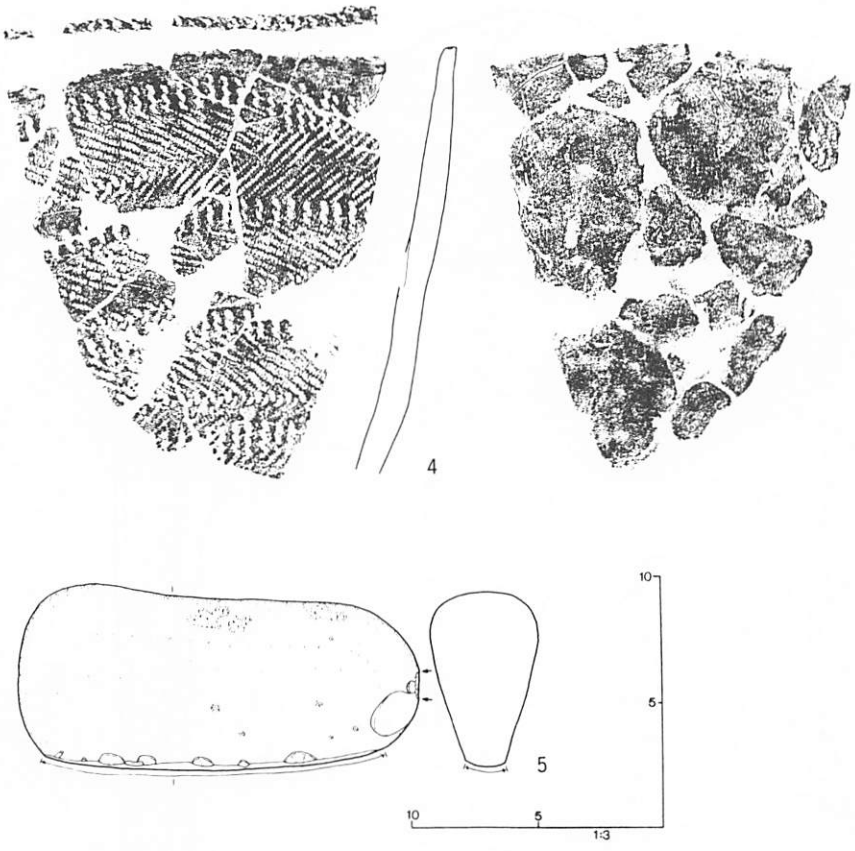
床　面　概して平坦である。


K
L
42
43
HP 4
HP 6
HP 3
HP 9
HP 2
HF 1
HP 5
HP 1
HP 7
HP10
HP11
HP12
HP13
HP14
HP8
b 6.40
C-d間土層断面
e　HF 1　f6.10
1：明赤褐(5YR5/6)
しまり強
d 6.40
ALH15
1：黒褐色土　Ⅴ・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
2：黒色土　Ⅴ・Ⅵ　しまりやや弱
3：黒褐色土　Ⅴ・Ⅵ≫Ⅶ・Ⅷ　しまり中
0　1m
1:40
g　HP 1　h6.10
ALH15HP1
1：褐灰色土　Ⅵ≫Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
i　HP 2　j6.00
ALH15HP2
1：褐灰色土　Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
k　HP 3　l
ALH15HP3
1：褐灰色土　Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
m　HP 4　n6.20
ALH15HP4
1：黒褐色土　Ⅴ・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
2：暗褐色土　Ⅴ・Ⅵ　しまりやや弱
3：黒色土　Ⅴ・Ⅵ　しまりやや弱
4：黒褐色土　Ⅴ・Ⅵ　しまり弱
5：灰褐色土　Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまりやや強
o　HP 5　p6.20
ALH15HP5
1：黒色土　Ⅴ・Ⅵ　しまり弱
2：黒色土　Ⅴ・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまり弱
q　HP 6　r6.20
ALH15HP6
1：黒色土　Ⅴ・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまり弱
2：黒褐色土　Ⅴ・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ　しまり弱
3：黒色土　Ⅴ・Ⅵ＞Ⅶ・Ⅷ　しまり弱
u　HP 8　v6.10
ALH15HP8
1：褐灰色土　Ⅵ≫Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
w　HP 9　x6.10
ALH15HP9
1：褐灰色土　Ⅵ≫Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱
s　t6.10　y　z6.00　ア　イ6.20　ウ　エ6.10　オ　カ6.10　キ　ク6.00
HP 7
HP10
HP11
HP12
HP13
HP14
1
2
3
4
10
5
1:3

図Ⅳ－36　ALH－15


43
44
M
N
トレンチ
ALP50
4の出土位置
E
F
HP 1
H
G
A
B
HP 2
D
C
ALH10
a
b
S=1：20
c
d6.10
e
f6.10
ALH17
1：暗褐色土　Ⅴ・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ
2：黒褐色土　Ⅴ・Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ
3：にぶい黄褐色土　Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ
4：暗褐色土　Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ
5：にぶい黄褐色土　Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ
6：暗褐色土　Ⅵ＋Ⅶ・Ⅷ
b 6.50
1:40
1:4
1:3

図Ⅳ－37　ALH－17(1)



図Ⅳ－38　ALH－17(2)

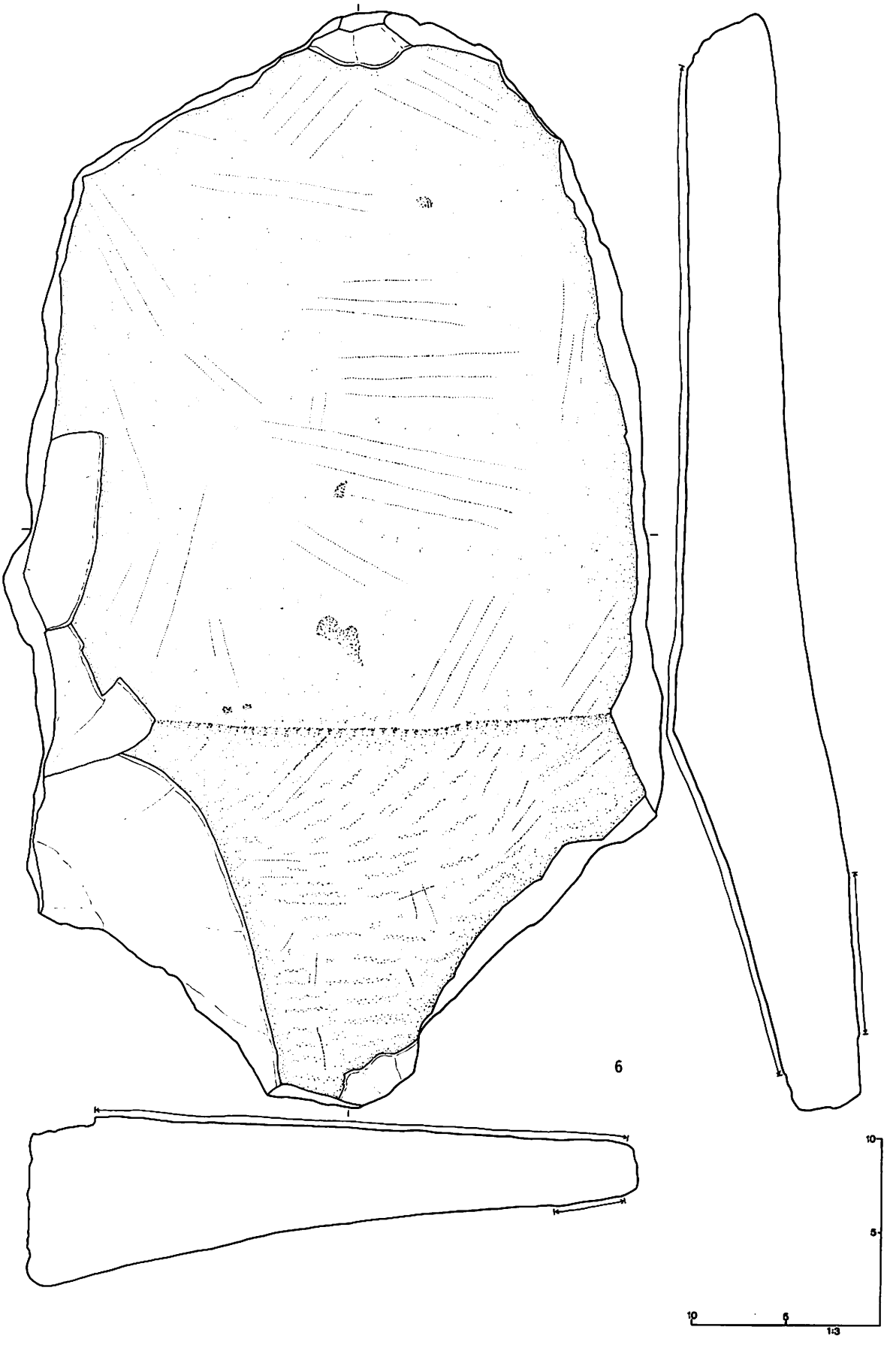
炉　検出されなかった。

柱　穴　柱穴状の小ピットを２カ所検出した。１カ所（ALH－17、HP－１）はALP－50の覆土中に設けられる。

遺　物　土器は覆土中から32点、床面から36点が出土した。

土　器　１は主に覆土中からまとまって出土し（出土状況図、表参照）、口縁部の一部と胴部～底部にかけて復元することができた。推定器高29.3cm、推定口径29.2cm、底径9.8cm。器形は底部の端が大きく張り出すが、口縁部に向かってまっすぐに広がる。口縁部は微妙に外反する。口唇断面は尖り気味で縄文原体によるとみられる刻み列がみられる。地文は羽状縄文が施文されるが、胴部下反と口唇直下は無文となっている。粘土紐は口縁部～胴部下半に貼付され、断面は三角形状である。口縁部では２条が近接する。粘土紐の中には途中で途切れてしまうものもある。粘土紐上にはLR原体による圧痕、または回転圧痕が列をなす。底部端にも縄端による圧痕がめぐる。内底面には亀裂がみられる。外面の色調は胴部の一部でにぶい黄橙色（10YR6/3）を呈するが、大部分は黒色化している。底部はにぶい橙色（7.5YR7/3）、外底面は灰黄色（2.5Y7/2）を呈する。内面は底部付近が灰黄褐色（10YR6/2）の他は黒色化している。Ⅰ群ｂ－２類、コッタロ式に相当する。

２は羽状縄文が施文される。結束第一種原体による部分もみられる。粘土紐は口唇直下に１条、胴部に４条みられる。粘土紐には蛇行するものもある。断面は三角形状で、粘土紐上にも施文がみられ



図Ⅳ－39　ALH－17(3)

る。3の底部端は角張る。斜行縄文が施文されている。推定底径8.6cm。4は床面出土であるが、ALP－50出土のものと同一個体とみられ、本来はALP－50の覆土中に存在したものと思われる。短縄文間に結束第一種原体による羽状縄文が施文される。口唇にはRL原体による刻み列がみられる。内面のごく一部にも結束第一種原体による縄文がみられる。2～4ともⅠ群b－2類に相当すると思われる。

石　器　5はすり石で、断面三角形のものである。6は台石である。大型の扁平礫を粗割により加工したものを用いている。表面には2方向の擦り面が認められ、その境界には稜線が形作られている。表面の一部には潰打痕、裏面の一部に磨り面が認められる。安山岩製である。

時　期　出土遺物、周囲の遺物などから、縄文時代早期後半コッタロ式土器の頃と思われる。

ALH－18（図Ⅳ－40）

位　置　L・M－44

規　模　0.82×0.66／0.24m

平面形　楕円形？

確認・調査　ALH－3の南壁調査中、ALH－3の覆土を掘り下げてもまだ遺構の覆土とみられる層が確認された。別の遺構が存在していると考え南北の土手を残しさらに掘り下げたところ、平坦な床面、壁の立ち上がりなどが確認された。このことから、ALH－3によって壊された遺構と判断した。

覆　土　褐灰色を呈し、しまりが弱い。

壁　やや急である。

床　面　Ⅶ層中に作られ平坦に近い。

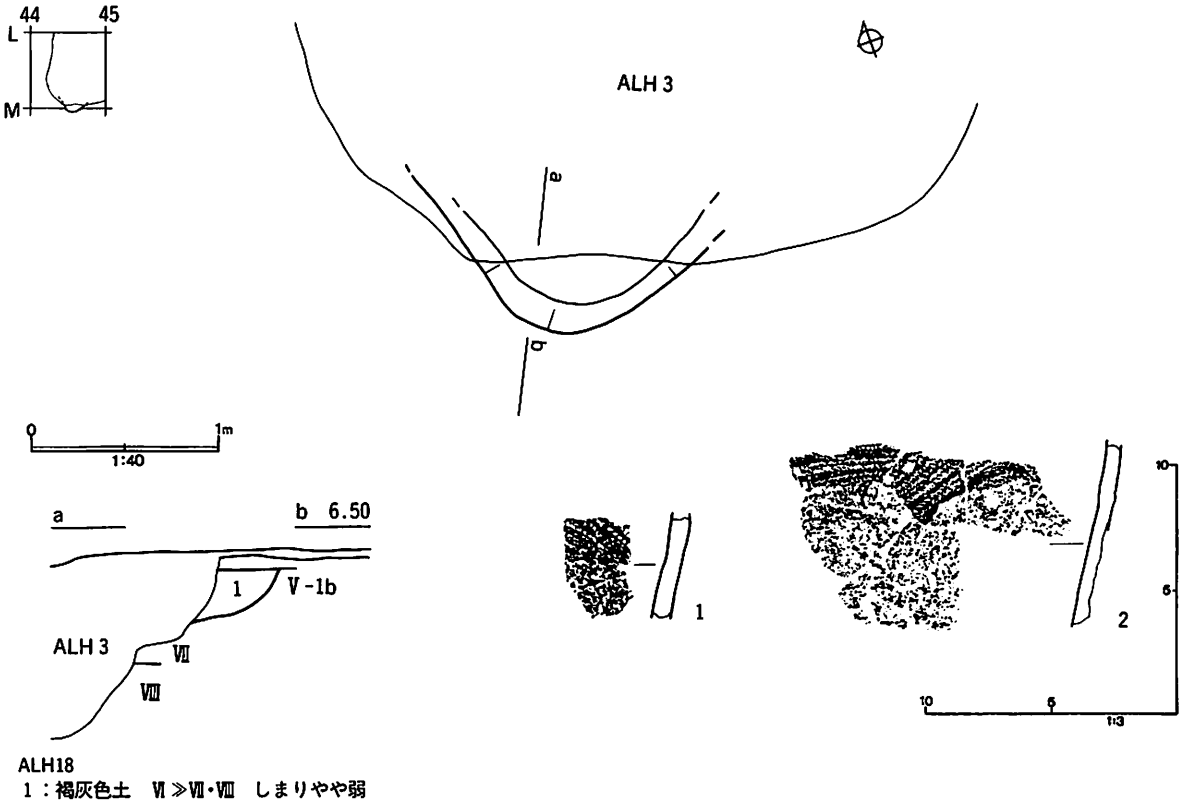
炉　検出されなかった。

柱　穴　検出されなかった。

遺　物　床面から土器62点が出土した。

土　器　1、2とも床面出土である。1は斜行縄文が施文される。2は大部分が剝離している。組紐圧痕文とその原体端部による刺突が施される。1はⅠ群b類、2はⅠ群b－2類に相当する。

時　期　出土土器、周囲の遺物から、縄文時代早期後半コッタロ式の頃と思われる。



ALH18
1：褐灰色土　Ⅵ≫Ⅶ・Ⅷ　しまりやや弱

図Ⅳ－40　ALH－18

(3) 水場遺構（図Ⅳ－41）

水場遺構はALP－1から4の4つの土壙群からなる。いずれの土壙も緩斜面の緩やかな沢地形に沿って一列に並ぶ。それぞれの土壙の平面形はいずれも不整形で、深さ1.2から1.6mを測る。底面には顕著な凹凸がみられ、安定した壙底は見られない。このため自然地形と人為的な掘り込みとの差は明瞭ではなく、壙底付近からの豊富な湧水を考慮すると、本遺構は自然の落ち込みを利用して営まれた可能性が強い。

ALP－1（図Ⅳ－42・43）

位　置　Y、Z－45・46

規　模　3.71×2.45×1.10m

平面形　不整楕円形

確認・調査・土層　Ⅴ層上面にて黒褐色土の落ち込みを確認、プラン検出後、ベルトを残して掘り下げたところ、木製品を中心とした多くの遺物が出土した。壁面、底面の検出は不明瞭で、遺物の出土がなくなる箇所で壙底とした。壙底の形状は複雑で2つのピットで構成された可能性もある。

土　器

ALP－1出土の遺物（図Ⅳ－42・43）

Ⅳ群b類の土器（1・2・4～6）

1は底部破片である。2は沈線と突瘤の組み合わせからなる深鉢である。4、5は口縁部破片で地紋の縄文に突瘤を伴うものである。6は沈線文の施された胴部破片である。

土製品（3）

3は底部破片を転用して作られた土製品と思われる。

石器（7）

7は石斧で、基部のみの破片である。擦りによって作出されたものである。石材は緑色泥岩である。

木製品（8）

8は股木取りをした杵形木製品である。槌状木製品の原材、素材かもしれない。樹種はカエデ属。上下端とも薄く削る加工を施し丸くなっている。正面の上部両側には枝の根元部分が残っている。このままでは手で持つには太すぎるようである。上部が太いこちらがもともと根元に近い方であろうか。

ALP－2（図Ⅳ－44～54）

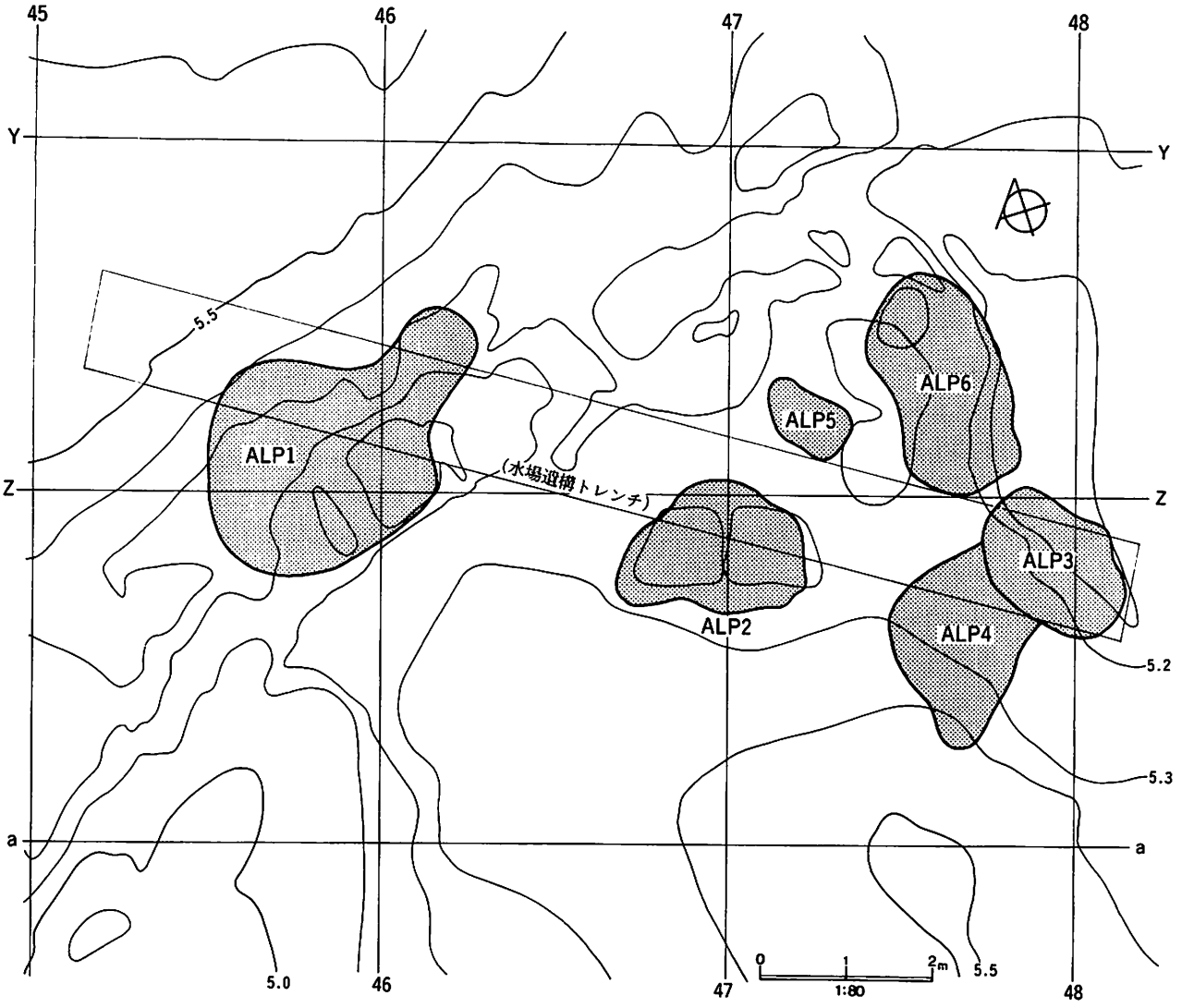
位　置　Y、Z－46・47

規　模　2.15×1.78×2.10m

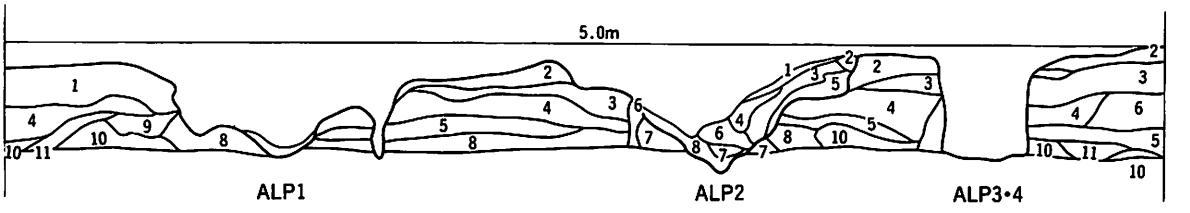
平面形　不整楕円形

確認・調査・土層　Ⅴ層上面にて黒褐色土の落ち込みとこれに伴って遺物の集中的出土を確認した。不整形のプランを検出した後、半裁し、土層を観察しながら掘り下げたところ、覆土上層より木製品、礫を主体とする遺物が多量に出土した。重複する遺物を層位ごとに取り上げた後、壁面の検出、底面の確認を行ったが、確認面より60cm以下で湧水により水没し、詳細な確認は困難であった。掘り込みは人為的なものと流水の影響などによる自然条件が絡み合った複雑な様相を呈するものになった。

遺　物　遺物は総計1278点出土した。土器が1171点、木製品・木片42点、石器34点、礫28点を数え、土器が大半を占めている。接合関係には隣接する河道跡出土土器と接合するものや、隣接するALP－4の覆土下層から出土した土器と接合するものも見られた。また、礫群には直径50cmを超えるもの



水場遺構土壙群周辺の地形（等高線はⅤ層上面を示す）



水場遺構トレンチ土層断面図

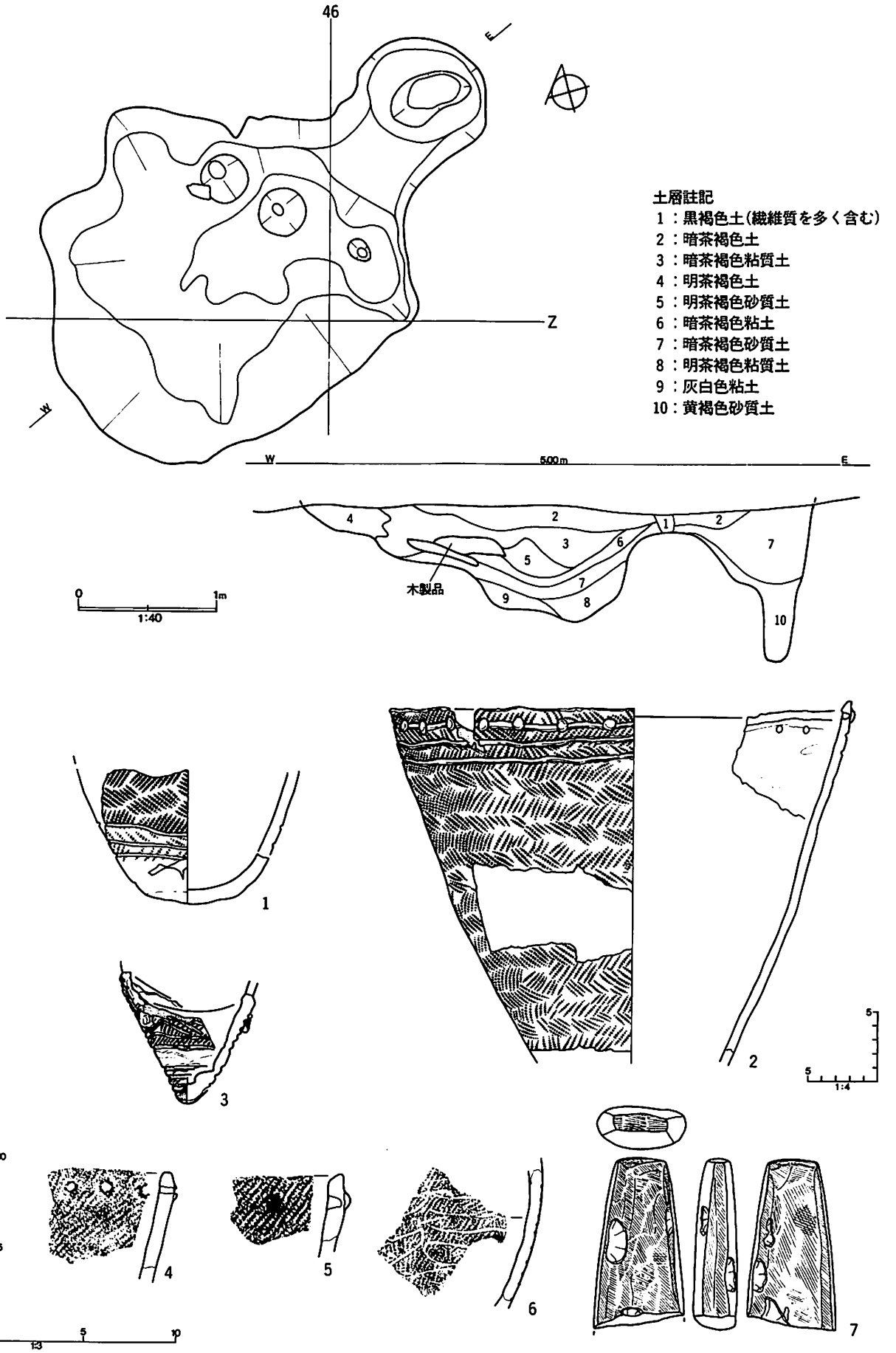
土層註記

1：暗茶褐色腐植質土
2：青灰色粘土
3：灰白色砂質土
4：灰白色砂質土
5：黄白色砂質土
6：暗灰白色砂質土
7：灰白色粘土
8：灰白色砂質土
9：暗黄褐色粘土
10：青灰色粘土

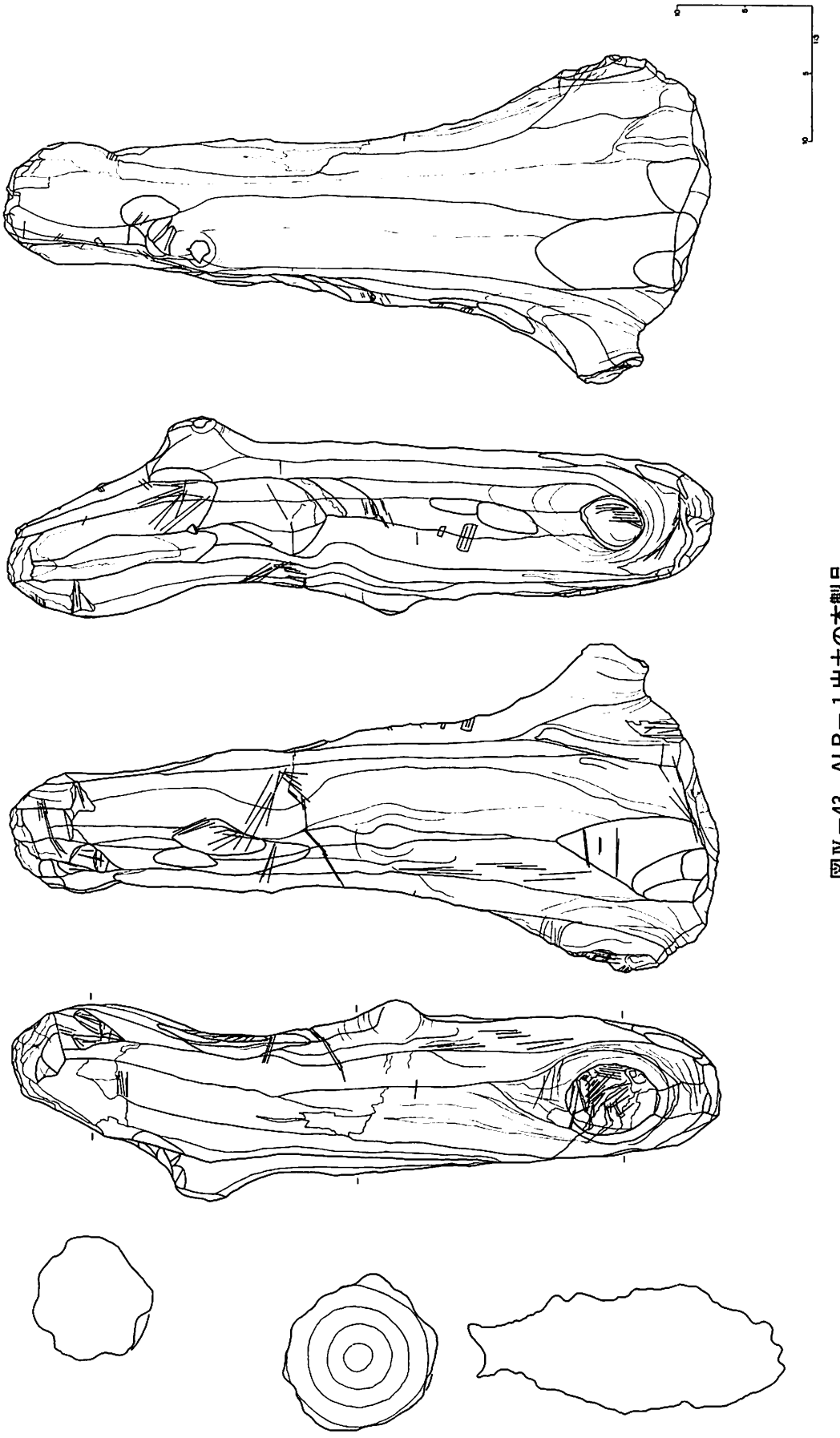
ALP-2

1：緑灰色粘質土
2：灰白色粘質土
3：明灰褐色砂質土
4：灰白色砂質土
5：灰白色砂
6：青灰白色粘土
7：緑灰色粘土
8：黄褐色粘質土

図Ⅳ－41　水揚遺構の位置と地形



図Ⅳ－42　ALP－1と出土遺物



図Ⅳ－43　ALP－1出土の木製品

が10点ほど見られ、写真によって掲載したものがある。

ALP－2出土の遺物（図Ⅳ－49～54）

土器

Ⅳ群b類の土器（1・2・6・10）

【刻み目列をもつもの】（1・2・6・10）

1は口唇直下に3列、2は2列の深鉢である。6は壺形土器の口頸部で、口唇直下と口頸部直下に刻み列が施されている。10は2列の刻み目をもつ大型の深鉢で口縁部には突起が見られた。8は鉢形土器の底部破片である。

【刻み目列と突瘤の組み合わせのもの】（16・17・19）

2段の刻み目列をもち、地文が羽状縄文の深鉢である。

Ⅳ群c類の土器　（11～42）

【突瘤のあるもの】

11・13・14は突瘤と縄文の組み合わせの深鉢で、12は平行沈線と突瘤の組み合わせの深鉢である。21～27は平行沈線と突瘤の組み合わせの口縁部破片である。21は口縁外側と内側に突出する突起をもつ。23は波状口縁に並行する並行沈線のものである。29～33は縄文と突瘤の組み合わせで、34は無文との組み合わせである。38は胴部破片である。

【沈線文のみのもの】

7は曲線を主体とした沈線文の鉢形土器で、4単位の波頂部をもつ。18は曲線主体の沈線文が施され、20はイナズマ形の沈線文が施されたものである。4・5は壺形土器の口頸部で、4は並行沈線と鋸歯状沈線との組み合わせである。5には貼り瘤が施されている。39は注口部の破片である。

【縄文のみのもの】（15）

15は斜行縄文のみの深鉢である。9は平底の底部破片である。立ち上がり部分に径5cmの穿孔が認められる。37は胴部破片で、40は口縁部を欠失する深鉢である。

【無文のもの】（35・36）

35・36は無文の口縁部破片である。

【ミニチュア土器】（42）

42は浅鉢型のミニチュア土器である。沈線文が施され、底面から見ると星形を呈している。ALP－2の掘り込みの最下層から出土したものである。

【赤彩土器】（41）

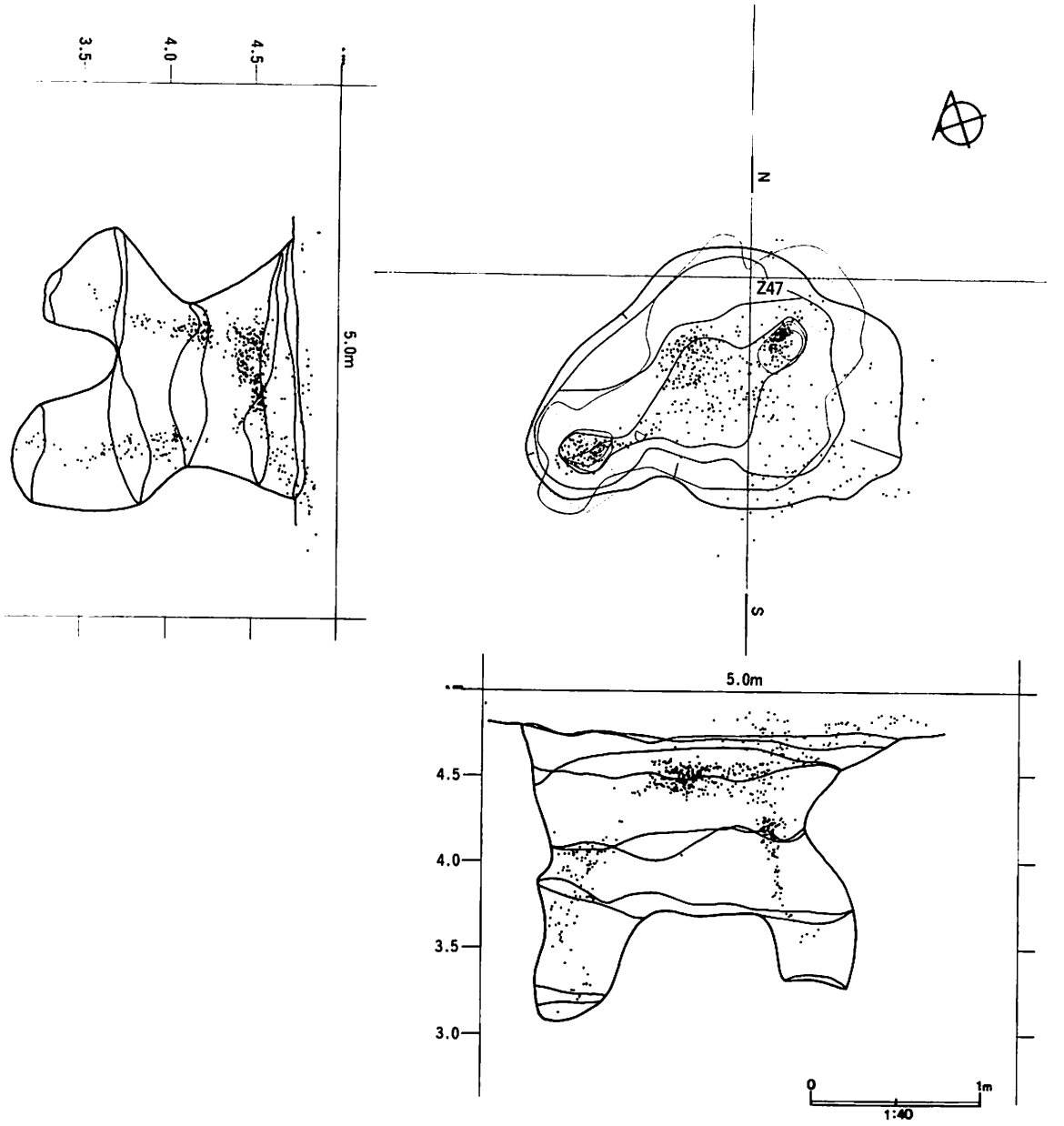
41は微隆線によって弧線文が描かれている。磨り消し部分に赤色顔料が良く残っている。

石器（43・44）

43は石斧で、刃部のみの破片である。敲打・擦りによって作出されたものである。44は石斧転用と思われるたたき石で周縁の3箇所にたたき痕が認められる。石材は緑色泥岩である。

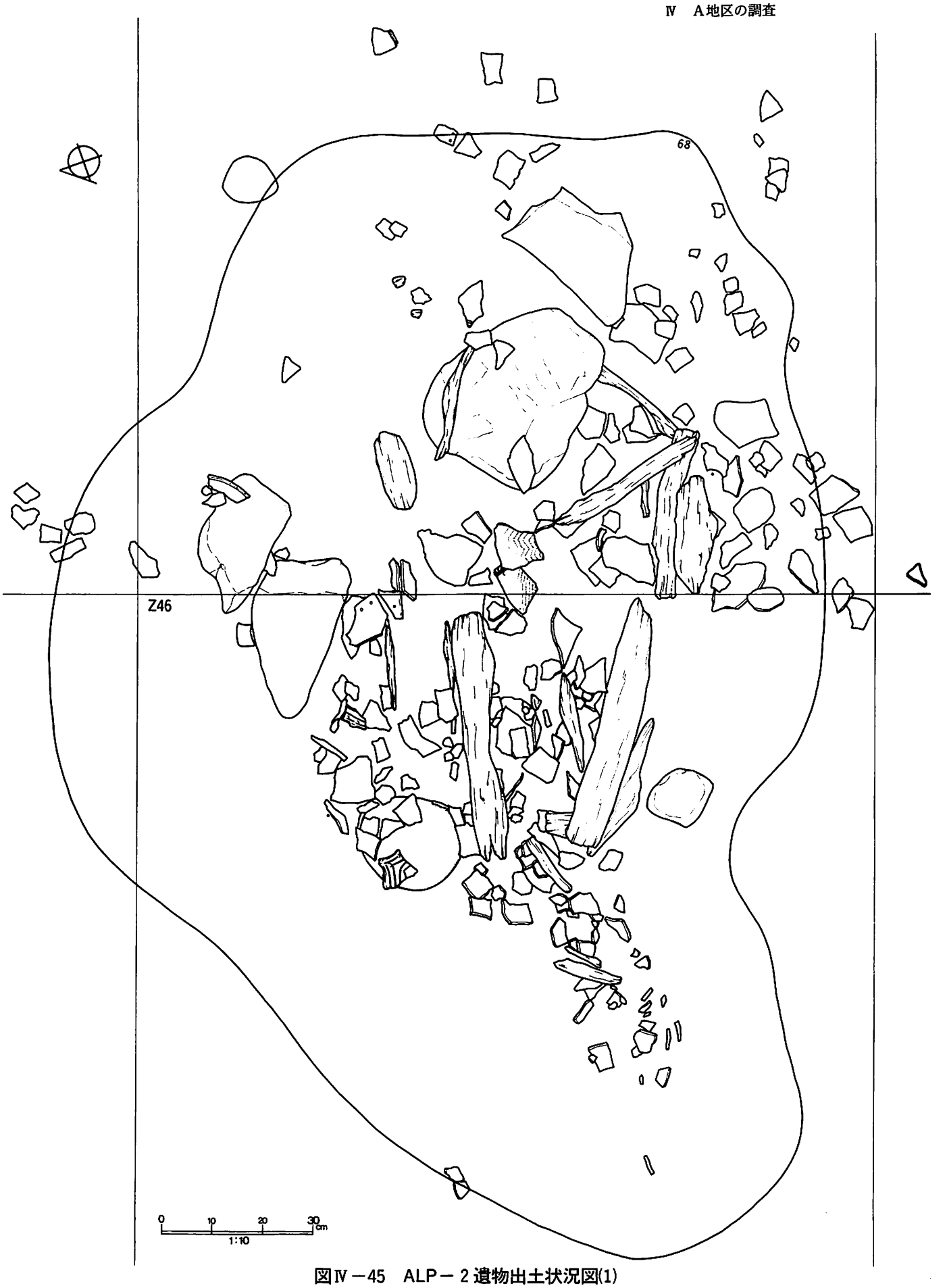
木製品（図Ⅳ－53・54）

8は面取り丸木材片。1は炭化材で、正面と左側面がよく炭化している。正面の上部にも板目に沿って炭化した痕が薄く残っている。7は串状製品片、上部のみ破損している。中央部から下端にかけて少し細くなっているのは加工痕かもしれない。6は加工木片、表面のみよく炭化しているが、裏面は上部右側に炭化の痕がみられる。4は串状製品。下端部は尖り炭化している。上端部は角がとれ丸く、中央部はくびれて細くなっている。5は長さ約9cmの串状製品、上部は少しくびれて薄く、下端部は尖っている。2は板材片、上部の縁辺部は丸くなっている。9は串状製品、全体に白っぽい色を

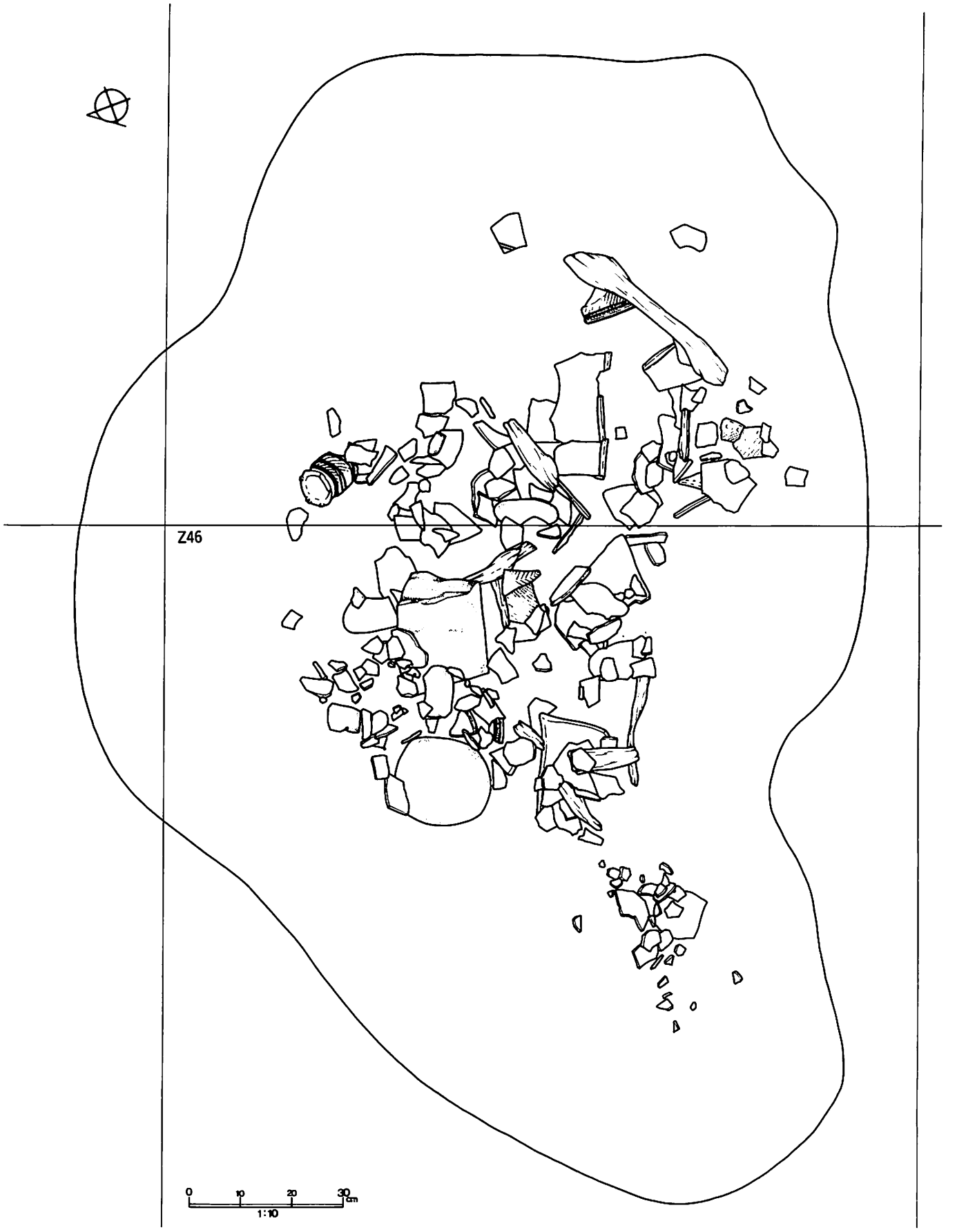


a：暗茶褐色土　1：暗茶褐色土　8：暗茶褐色土
b：明茶褐色土　2：黒褐色土　9：黒褐色土
c：暗茶褐色土　3：灰褐色粘土　10：黒褐色粘土
d：黒褐色土　4：暗茶褐色粘土　11：茶褐色粘質土
e：暗茶褐色土　5：暗茶褐色土
f：明茶褐色土　6：暗茶褐色土
g：灰白色砂質土　7：明茶褐色土

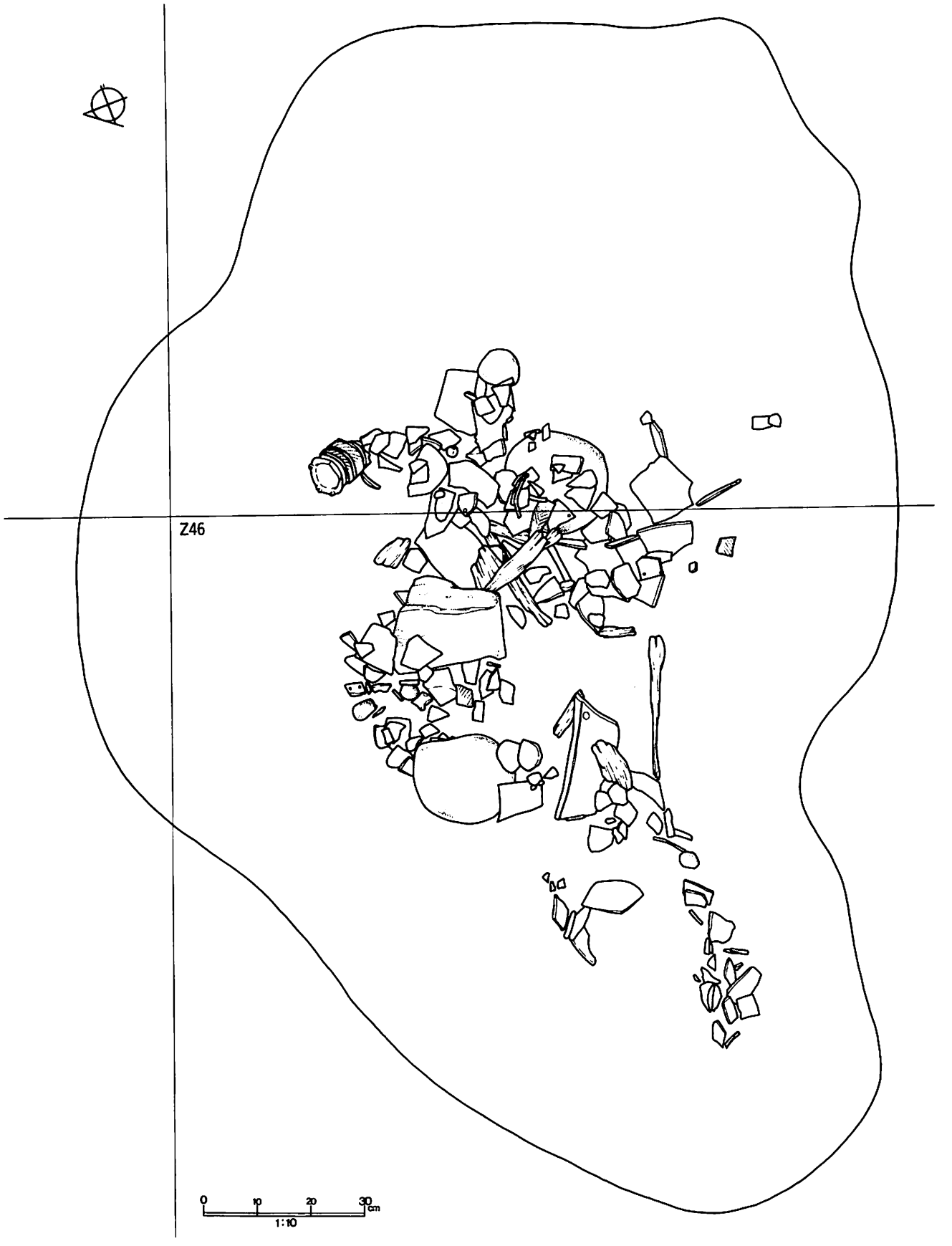
図Ⅳ－44　ALP－2



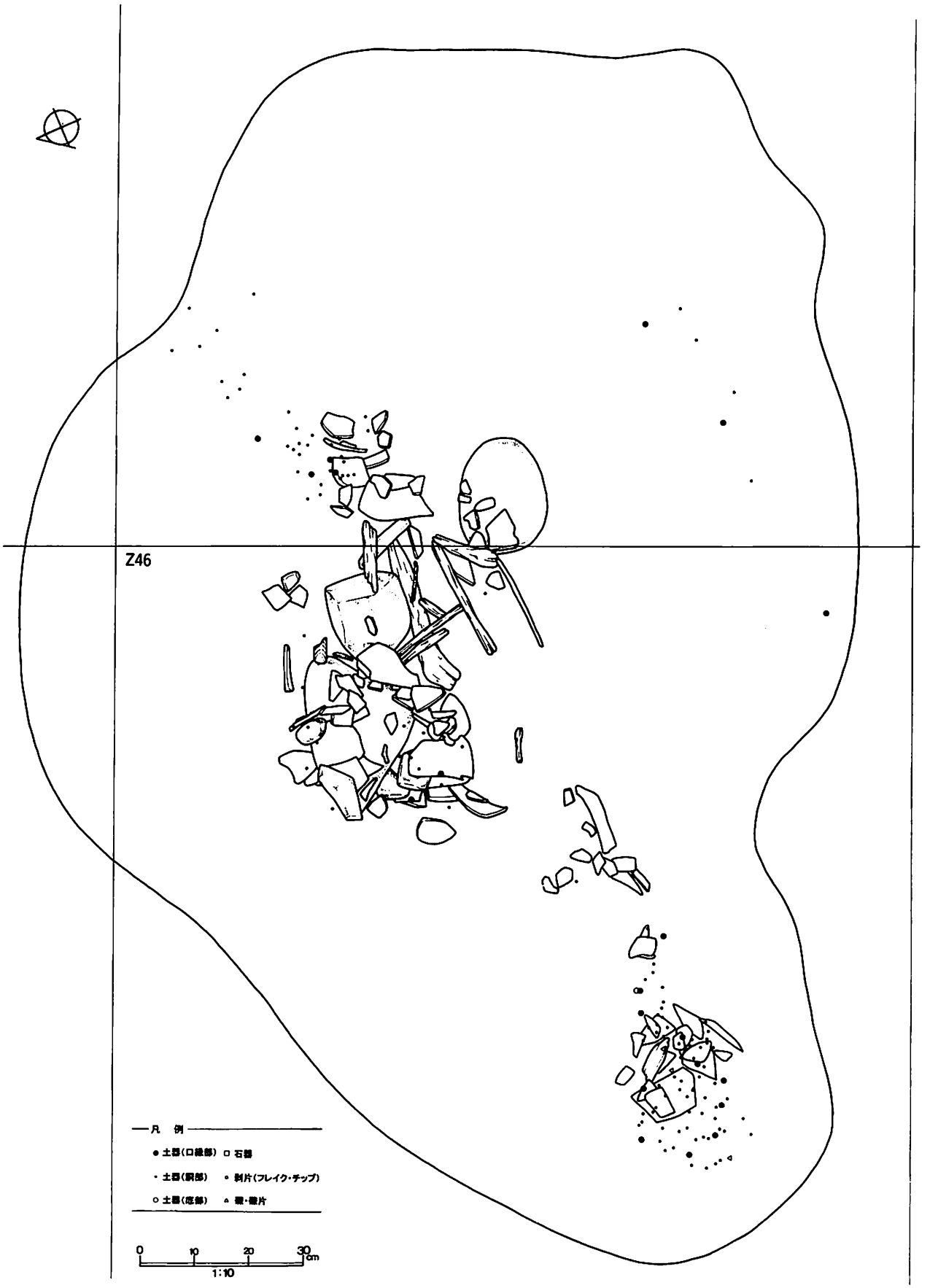
図Ⅳ－45　ALP－2遺物出土状況図(1)



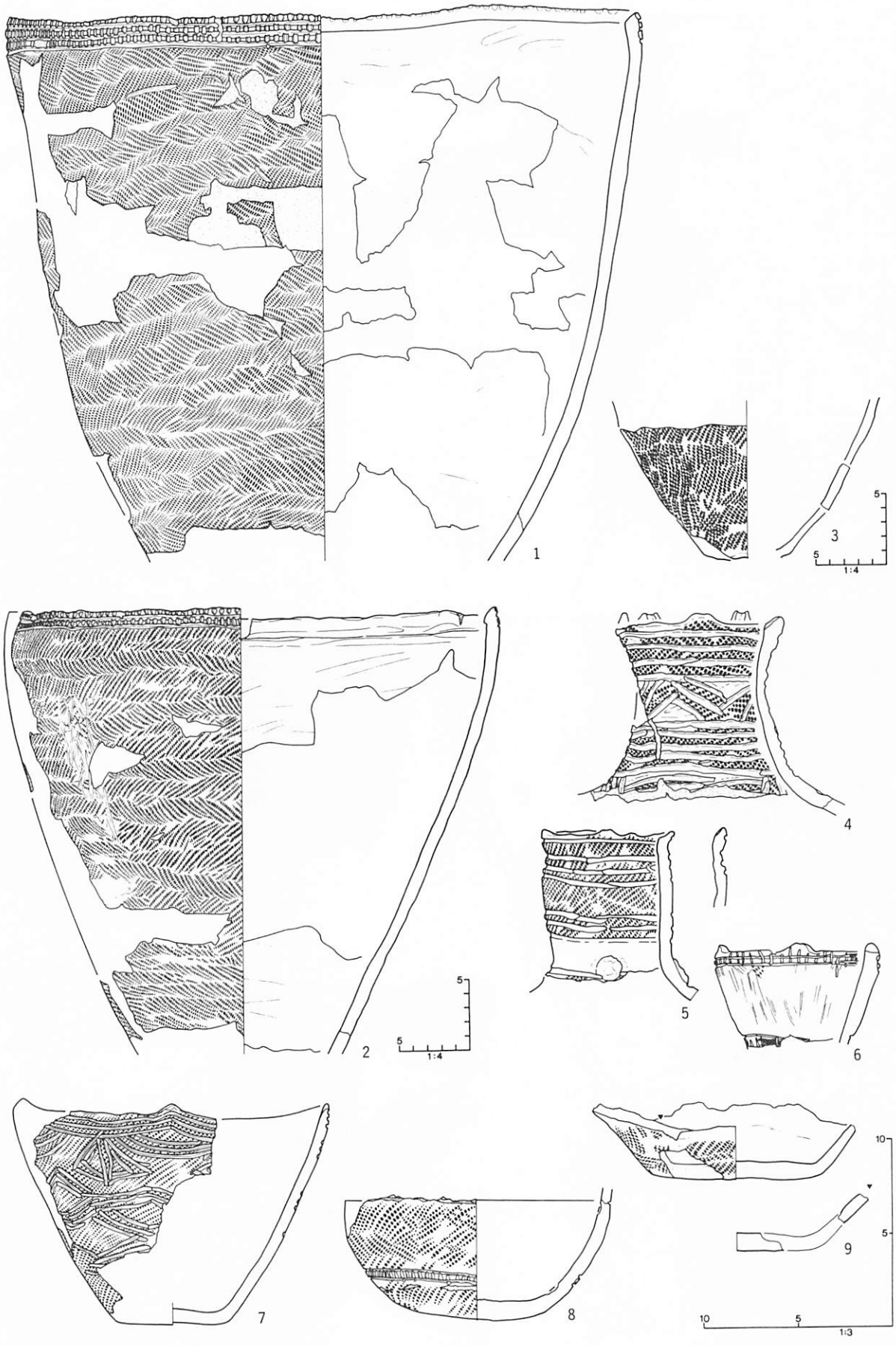
図Ⅳ－46　ALP－2遺物出土状況(2)



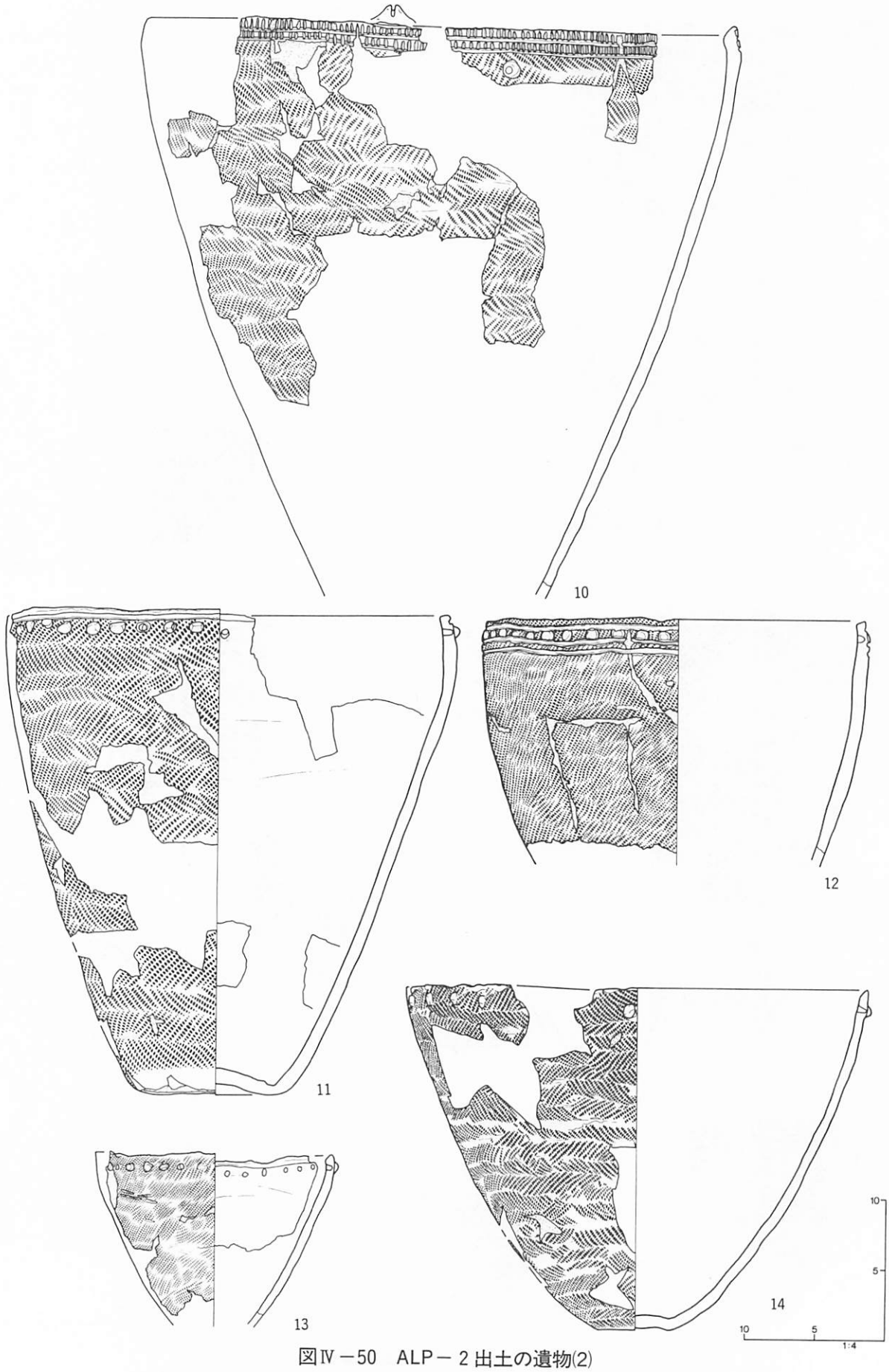
図Ⅳ－47　ALP－2遺物出土状況(3)



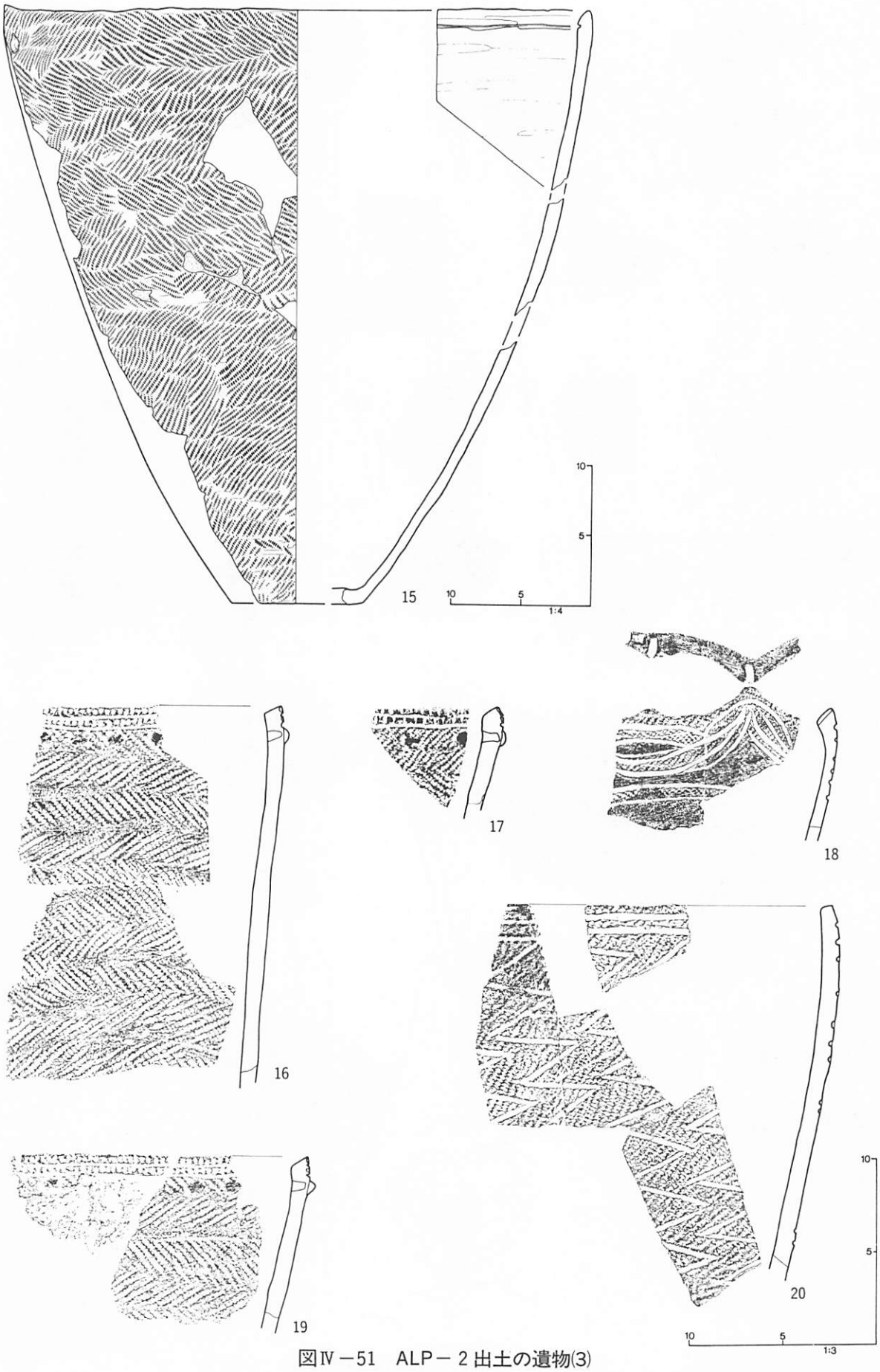
図Ⅳ－48　ALP－2遺物出土状況(4)



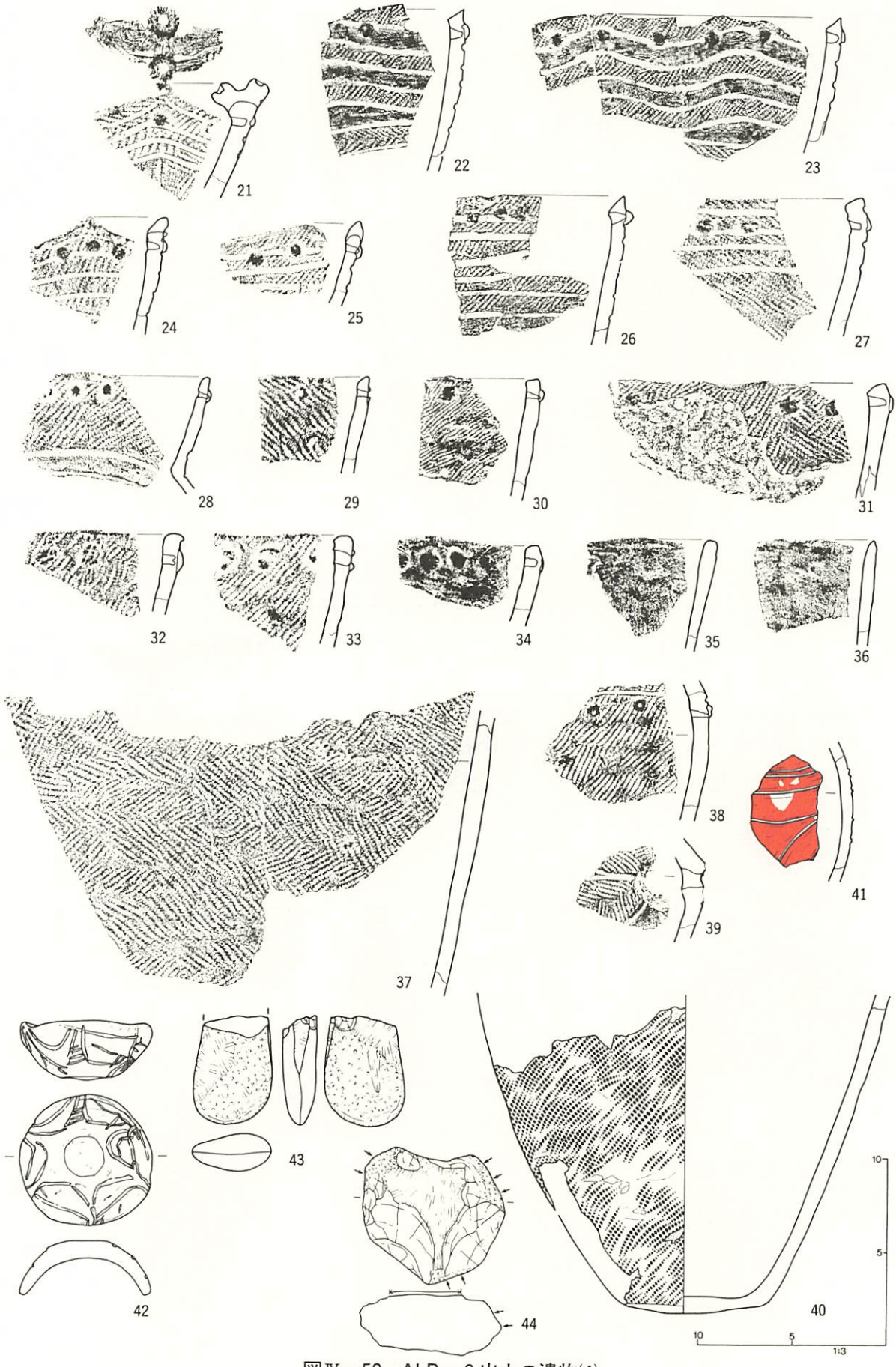
図Ⅳ－49　ALP－2出土の遺物(1)



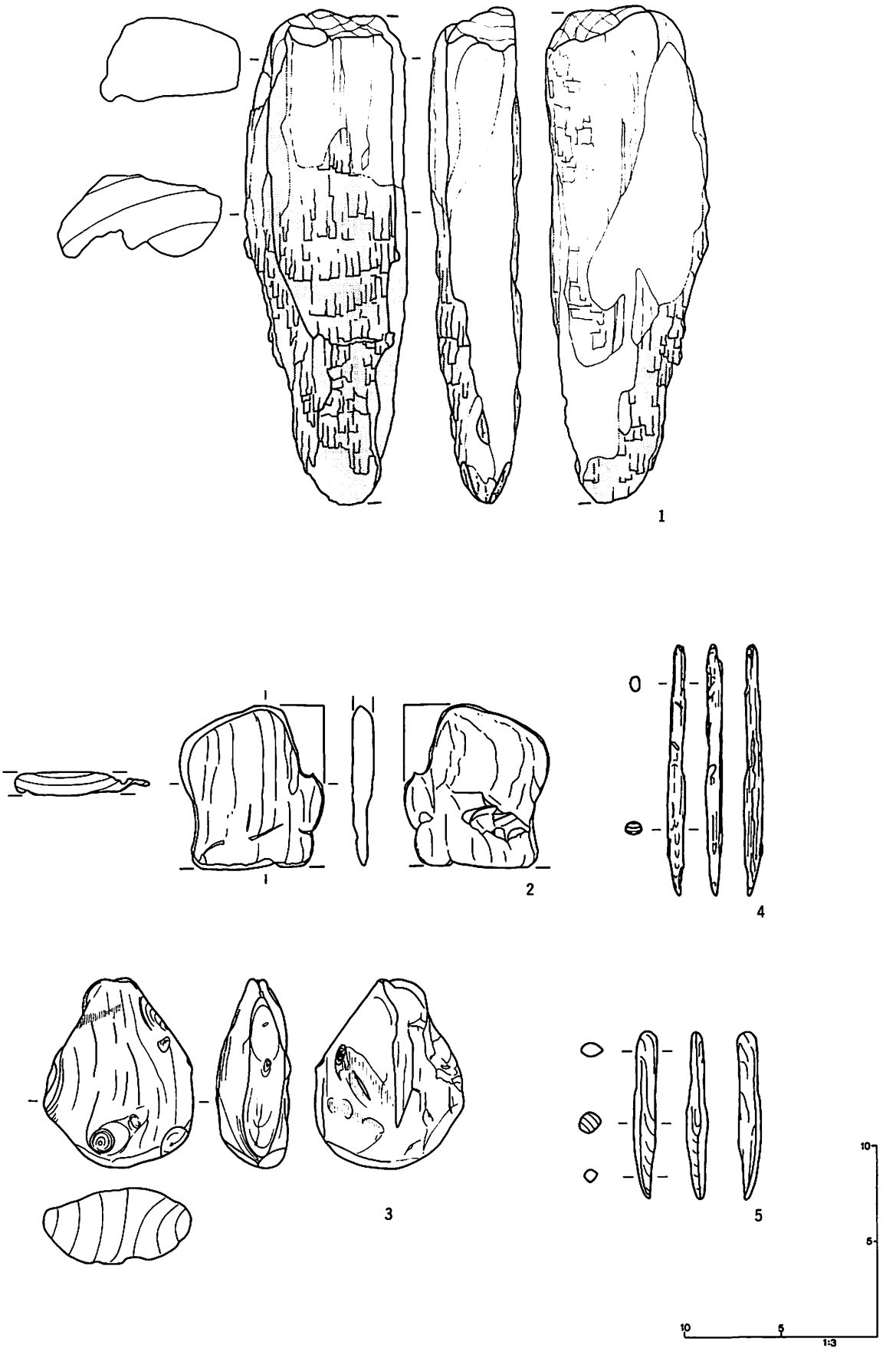
図Ⅳ－50　ALP－2出土の遺物(2)



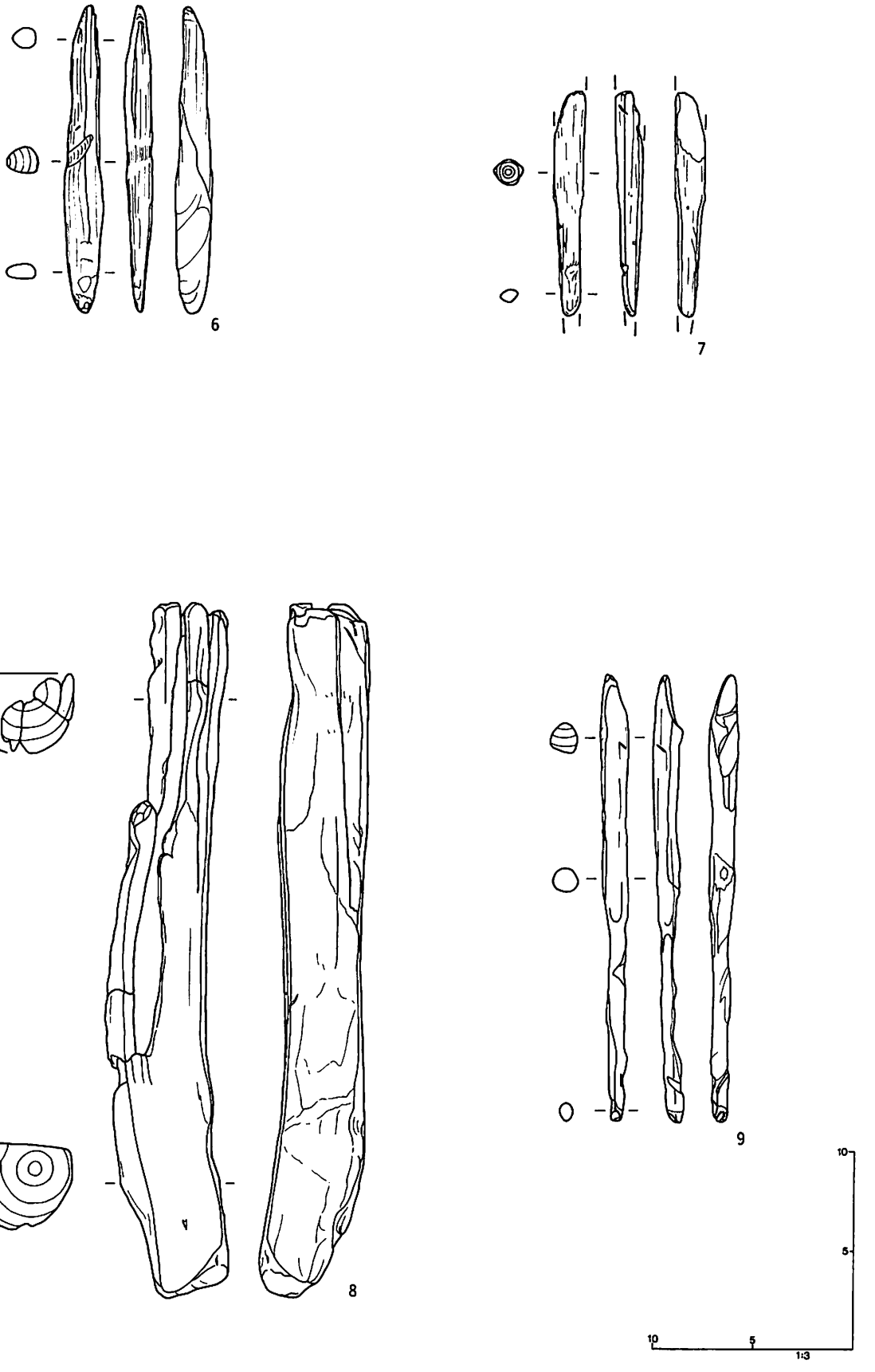
図Ⅳ－51　ALP－2出土の遺物(3)



図Ⅳ－52　ALP－2出土の遺物(4)



図Ⅳ－53　ALP－2出土遺物(5) 木製品



図Ⅳ－54　ALP－2出土遺物(6) 木製品

呈する。中段から下は急に細くなるが、下端部は逆に太くなっている。下端部は炭化し尖ってはいないが、丸くなっている。最大幅は上部にある。3は偏平亜円木、手のひらに収まる程度の大きさである。表面に木目がよく見えるのは、水による磨耗のためかと思われる。

ALP－3・4（図Ⅳ－55～59）

位　置　Z－47

規　模　ALP－3：1.85×1.28×0.35m

ALP－4：1.62×1.44×1.55m

平面形　ALP－3　円形　　ALP－4　楕円形

確認・調査・土層

遺構確認面はⅤ層上面である。黒褐色土の落ち込みに伴って土器の一括個体と礫が集中的に出土した。平面形を検出したところ、楕円形のALP－3と円形のALP－4の2基の土壙を確認した。ALP－3は、土層を確認して掘り下げたところ数cmの掘り込みで、底面と壁面を検出した。ALP－4は同様に浅い掘り込みであったが北側の部分に約1mの掘り込みを検出した。浅い掘り込みの平面形は不明瞭で、最終的にALP－3と重複するかたちになった。深い掘り込みは底部において広がるフラスコ状を呈し、遺物の出土も見られた。

壁面・底面　ALP－3は境の不明瞭な底面と壁面を有し、ALP－4は深い掘り込みの一部はフラスコ状を呈したが、底面は明瞭なものではなかった。

遺　物　遺物は総計ALP－3が271点、ALP－4が677点出土した。ALP－3と4の間では土器の接合が見られた。

ALP－3・4出土遺物（図Ⅳ－56～59）

土器

Ⅳ群b類の土器

1は壺形土器の口頸部である。口唇直下と口頸直下に1列の刻み目列が施され、その間には磨り消しの無文帯が見られる。2の深鉢も体部中位から開く器形のもので口唇直下と胴部中位に刻み目列が施され、その間に無文帯が認められる。3は突瘤を伴うもので体部中位が大きく開くもので、口縁は5つの波頂部をもつ波状口縁である。8・9は口唇直下に2段の刻み目列をもつ口縁部破片である。17は壺形土器である。口縁部と頸部に刻み目列があり、口頸部下半に無文帯が施されている。胴部前半部には沈線で区画された縄文が帯状に巡らされている。23は胴部破片でくびれ部の無文帯を境に刻み列が施されている。26は小型の鉢形土器の底部で鋸歯状沈線と刻み列の組み合わせである。

Ⅳ群c類の土器

【突瘤を伴うもの】

1）沈線文を伴うもの　4は平行沈線と曲沈線からなる鉢である。16は口唇に平行な沈線が施された深鉢である。21・22は口縁部破片である。

2）縄文のみのもの　　5・15は底部から緩やかに開く深鉢で、羽状縄文が施されている。6は胴部中位にくびれ部をもつ深鉢で、口縁部は5単位の突起をもち、内傾する。10・12・20は口縁部破片で、12は口唇が肥厚し切り出し状を呈する。口縁が緩やかに内傾するものである。11は注口土器の胴部破片である。貼り瘤を中心に弧状の沈線が巡らされている。

【赤彩土器】

14は口縁部破片である。微隆線文に沿ってわずかに赤色顔料が残されている。

石器

27は石斧である。刃部破片で、粗割から擦り整形によって作出されたものである。28はたたき石である。円礫の周縁にたたき痕が認められる。29は砥石である。3面の砥面が認められる。30は台石で、表面にすり、一部に潰打痕が認められる。砂岩製である。

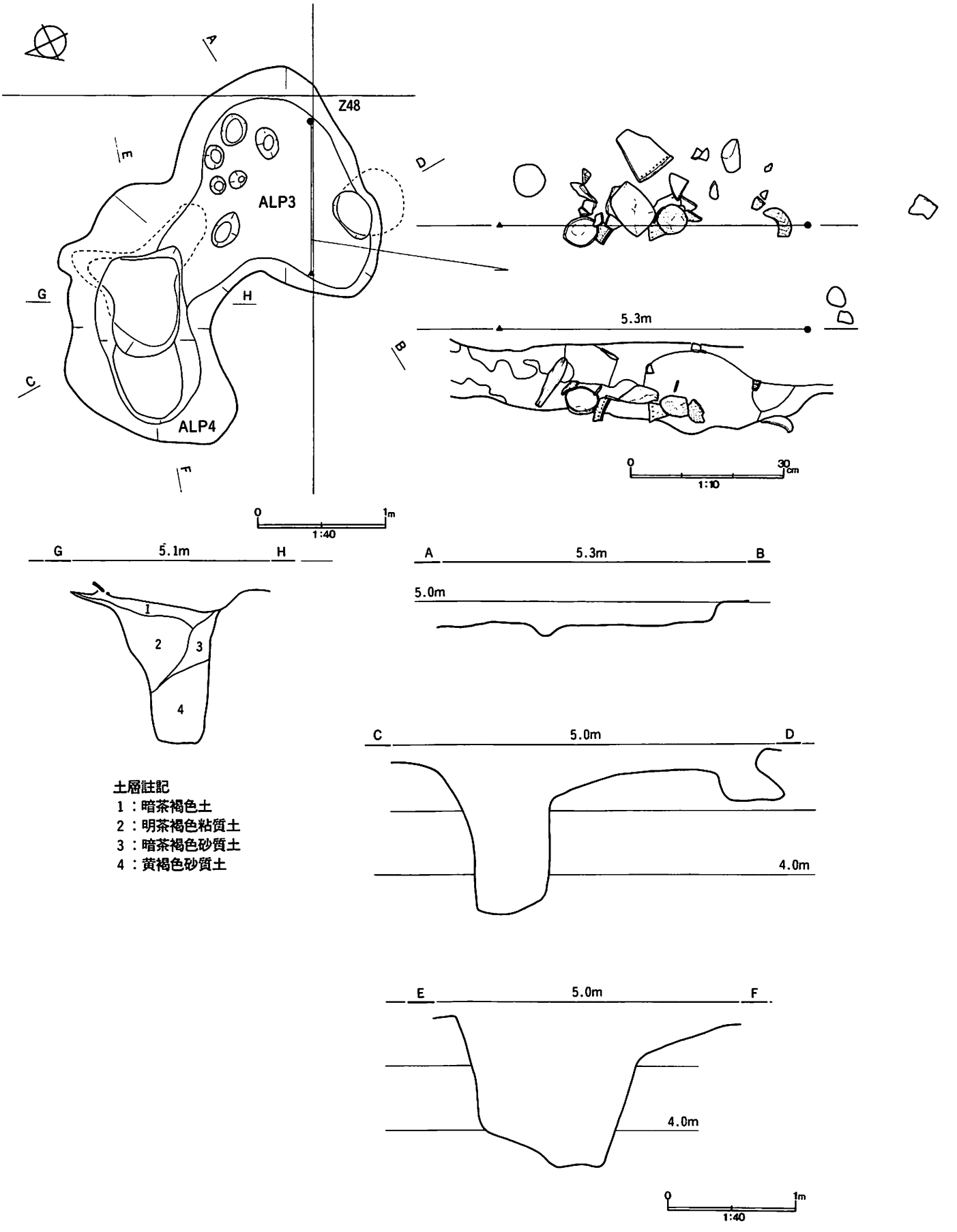
土製品

31は星形の土製品で、5つの頂点部は全て失われている。表面には円形の沈線と外形に沿った沈線文が施されている。

木製品

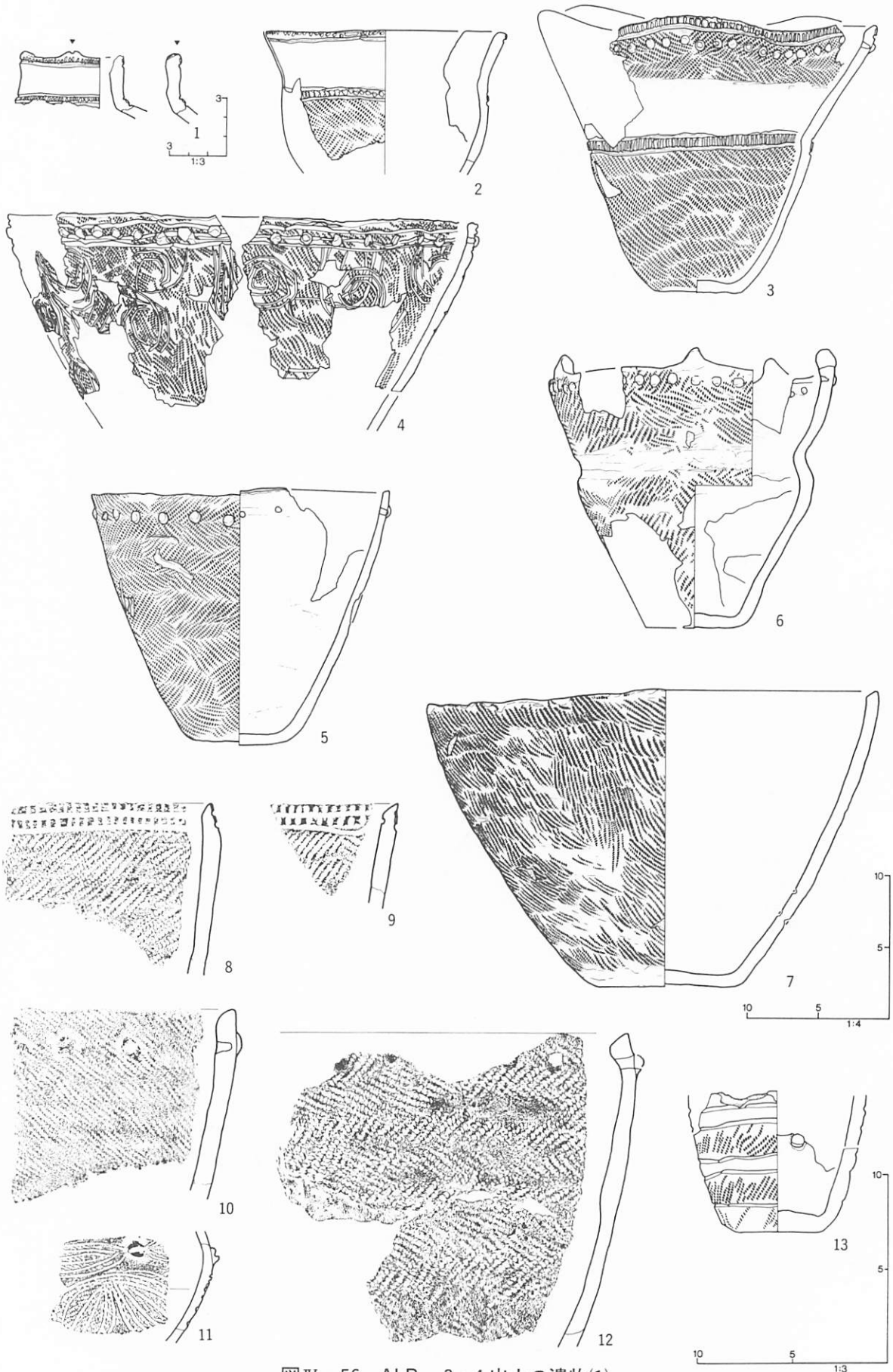
33は槌状製品の未製品と思われる。上部は枝分かれの股部分と思われる。槌状製品の未製品としては使用面の幅が狭いようである。柄部は実際に握ってみると少し太く、未製品のせいかもしれない。樹種はこれもやはり槌状製品の用材として使用されるカエデ属である。

32は匙あるいはスプーン状の容器だが、その凹みは浅くなっている。下端から右側縁にかけては、縁辺部ほど薄くなっている。

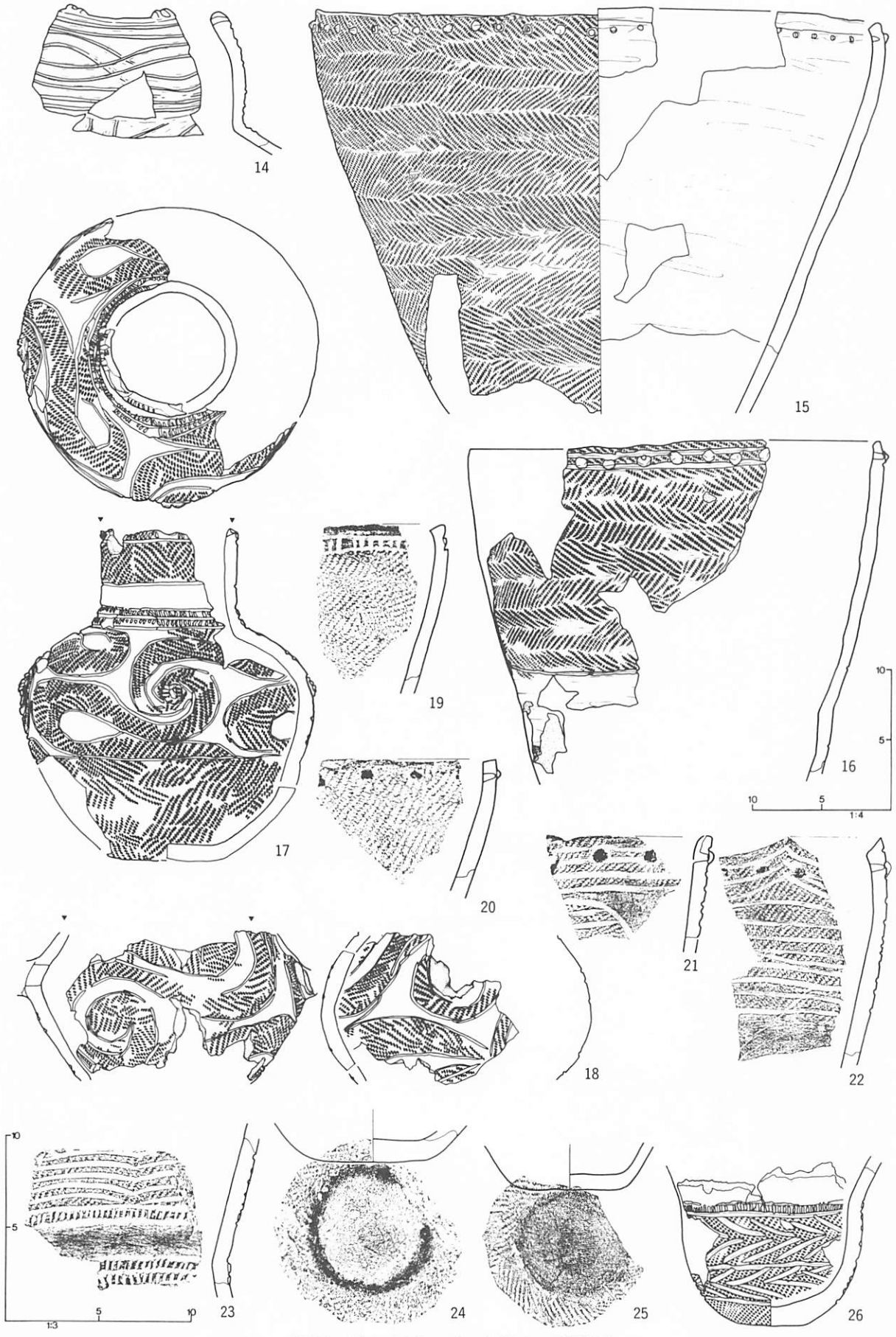


土層註記
1：暗茶褐色土
2：明茶褐色粘質土
3：暗茶褐色砂質土
4：黄褐色砂質土

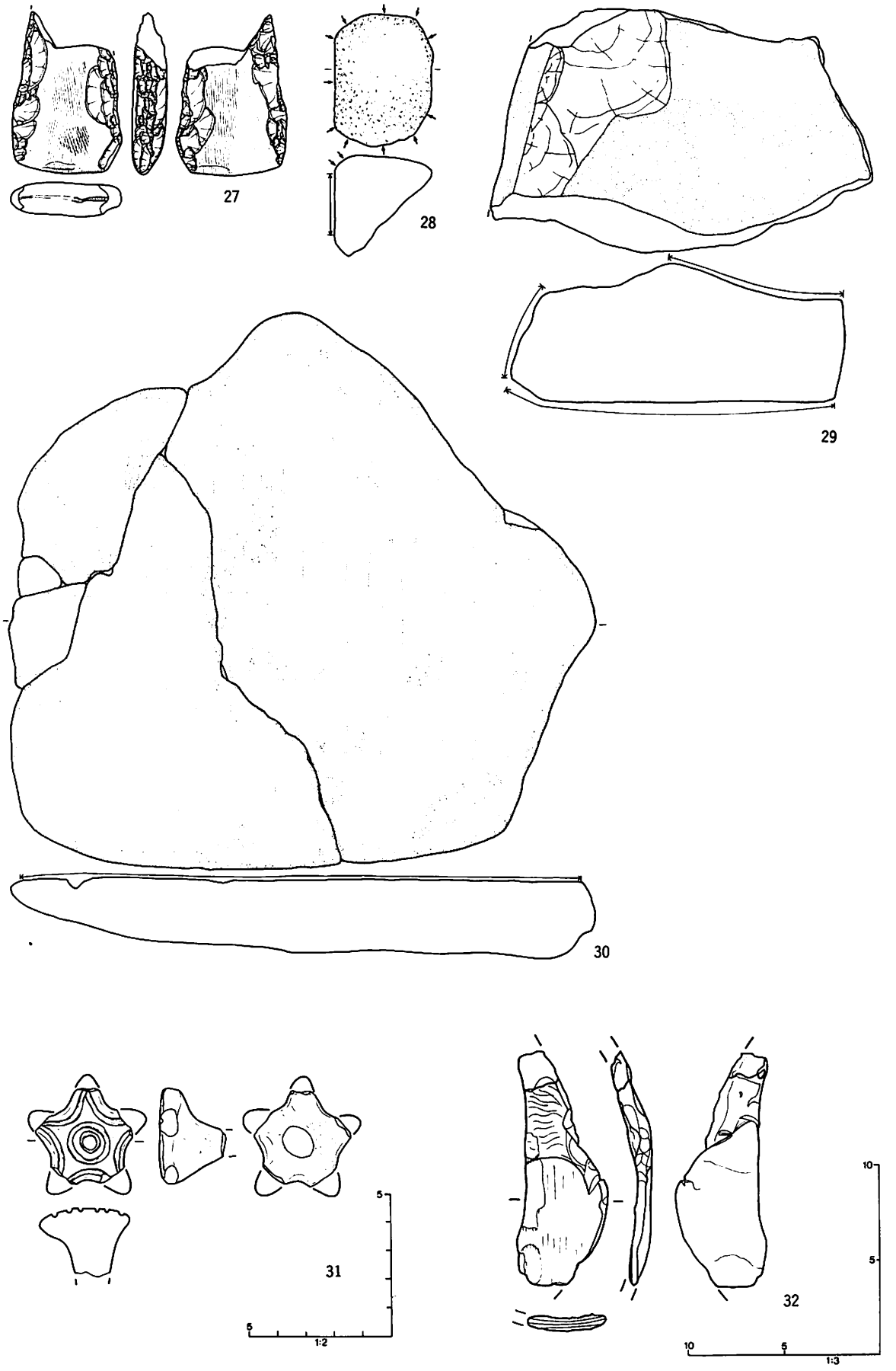
図Ⅳ－55　ALP－3・4



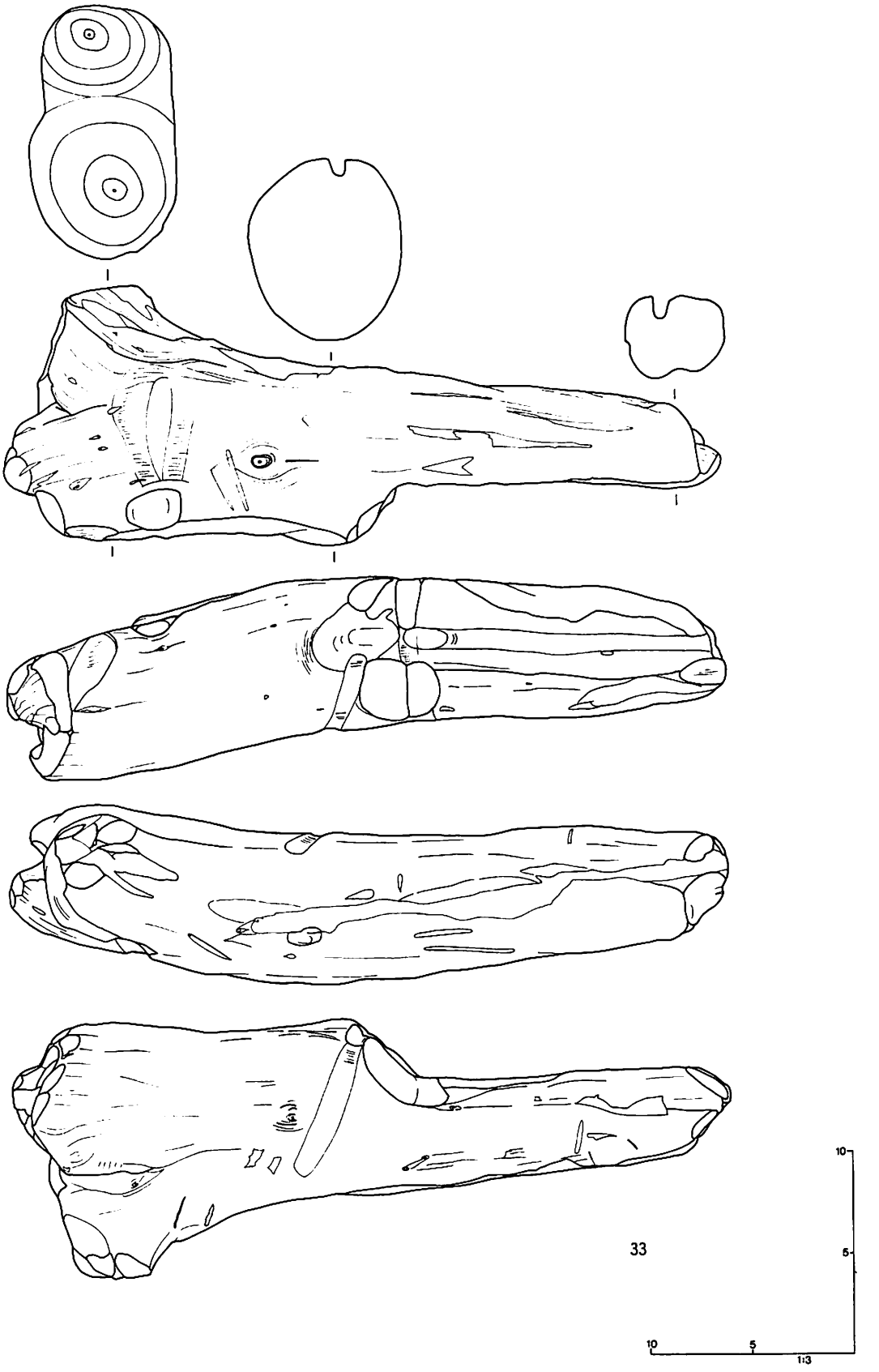
図Ⅳ－56　ALP－3・4出土の遺物(1)



図Ⅳ－57　ALP－3・4出土の遺物(2)



図Ⅳ－58　ALP－3・4出土の遺物(3)



図Ⅳ－59　ALP－3・4出土の遺物(4)

(4) 土壙・ピット群（図Ⅳ－60・61）

小ピット群（ALSP－1～196、ALP－9～19）

A地区の低地部では200基近い柱（杭）穴状小ピットが検出された。これらの分布には大きく2つのまとまりがみられる。1つはWラインの西側、もう1つはH地区への通路部分北側である。前者は163基と長径1m前後のピット5基（ALSP－1～52、85～106、108～196、ALP－15～19）、後者は39基（ALSP－53～84、ALP－9～14、ALKP－2）で構成される。小ピットの大きさは20cm前後のものが多い。

Wライン西側の小ピットは、ALP－15～19とその南にある小ピットのまとまり、V－44杭付近のまとまり、42ラインより西のまとまりの3カ所に主に分布する。これらは3～5基程度で列状に捉えらえられるのかもしれない。また、ALP－15～19などは、小ピットと関連するものと思われる。

H地区への通路部分北側の小ピット群の中には木杭が残っていたもの（ALKP－2）もある。周辺では、土器、石器の他、木製品も多く出土している。これら小ピットの中には、楕円形状に配列されていたように見える部分もある。なお、小ピットと同規模のもの6基をピットとして記録してあるが、これらは木製品などが数多く出土したことから、小ピットとは若干性格が異なるかもしれないという判断によるものである。

これら大きく2つの小ピット群の性格については、不明と言わざるを得ない。

時期については、H地区への通路部分手前のものは周囲の出土遺物からみて、縄文時代後期中葉～後葉と思われる。Wライン西側のものも同時期と思われるが、一部他の時期のものが存在する可能性も残る。

ALP－9・10・11の出土遺物（図Ⅳ－62・65）

Ⅳ群b－1類の土器（図Ⅳ－65）

1は無文の口縁部破片である。緩やかに内傾する。

Ⅳ群b類の土器（図Ⅳ－65）

2・3は刻み列を伴う口縁部破片で、無文帯を伴う。4は胴部破片で、くびれ部に刻み列が認められる。5は刻み列に突瘤を伴う口縁部破片である。

Ⅳ群c類の土器（図Ⅳ－62－18～24、図Ⅳ－65－6～10）

6・7・21・22は縄文に突瘤の伴う口縁部破片で、7は口唇が切り出し状を呈するものである。8・9・10は無文の底部破片である。

木製品（図Ⅳ－65）

9は槌状製品の破片である。使用面は幅の広い平坦面（厚み6.9cm）をもっている。35は切片。木取りは半割で、上部は破損している。炭化しているのは裏面の右上部のみである。

ALKP－1（図Ⅳ－63）

中央部の西側低地R－36区にて、V層（暗褐色泥炭）を掘り下げ中に長さ12cm、径7.5cmの杭先が直立した状態で検出した。

径約7cmの杭先である。現存するのは長さ約12cmである。下端部は6面削って杭先を作出しており、先端部は平坦である。本体から樹皮は取れてしまったが、樹皮の小さな破片が4点現存する。

ALKP－2（図Ⅳ－60・64）

1は長さ70cm、径8.4cmの立杭で、斜めではあるが実際に立った状態で出土した。上端には凹凸があるので破損したとみられるが、下部は破損ではないと思われる。正面はカーブしているが、側面はほぼ垂直である。下部の断面は楕円だが、上部は円形である。

ALP－5（図Ⅳ－60・62）

位　置　Y－47

規　模　1.07×0.75m

平面形　不整形

確認・調査　河道跡2の調査後、形はあまり整わないものの、周囲と土色の異なる部分がみられた。掘り下げたところ、浅い皿状の底面などが確認されたため遺構と判断した。

底面・壁　浅い皿状のものであった。上部を掘り下げてしまった可能性がある。

遺　物　土器が3点出土した。1～3はⅣ群c類の胴部破片である。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代後期中葉～後葉と思われる。

ALP－6（図Ⅳ－60・62）

位　置　Y－47

規　模　2.58×1.50m

平面形　不整楕円形

確認・調査　河道跡2の調査後、形があまり整わないものの、周囲と土色の異なる部分がみられた。掘り下げたところ、浅い皿状の底面などが確認されたため遺構と判断した。

底面・壁　浅い皿状のものであった。上部を掘り下げてしまった可能性がある。

遺　物　4はⅣ群b類、5～15はⅣ群c類の土器である。16は台石、17は石斧片である。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代後期中葉～後葉と思われる。

ALP－7（図Ⅳ－60）

位　置　W・X－46

規　模　1.05×0.97m

平面形　不整円形

確認・調査　河道跡2の調査後、形があまり整わないものの、周囲と土色の異なる部分がみられた。掘り下げたところ、浅い皿状の底面などが確認されたため遺構と判断した。

底面・壁　浅い皿状であった。上部を掘り下げてしまった可能性がある。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代後期中葉～後葉と思われる。

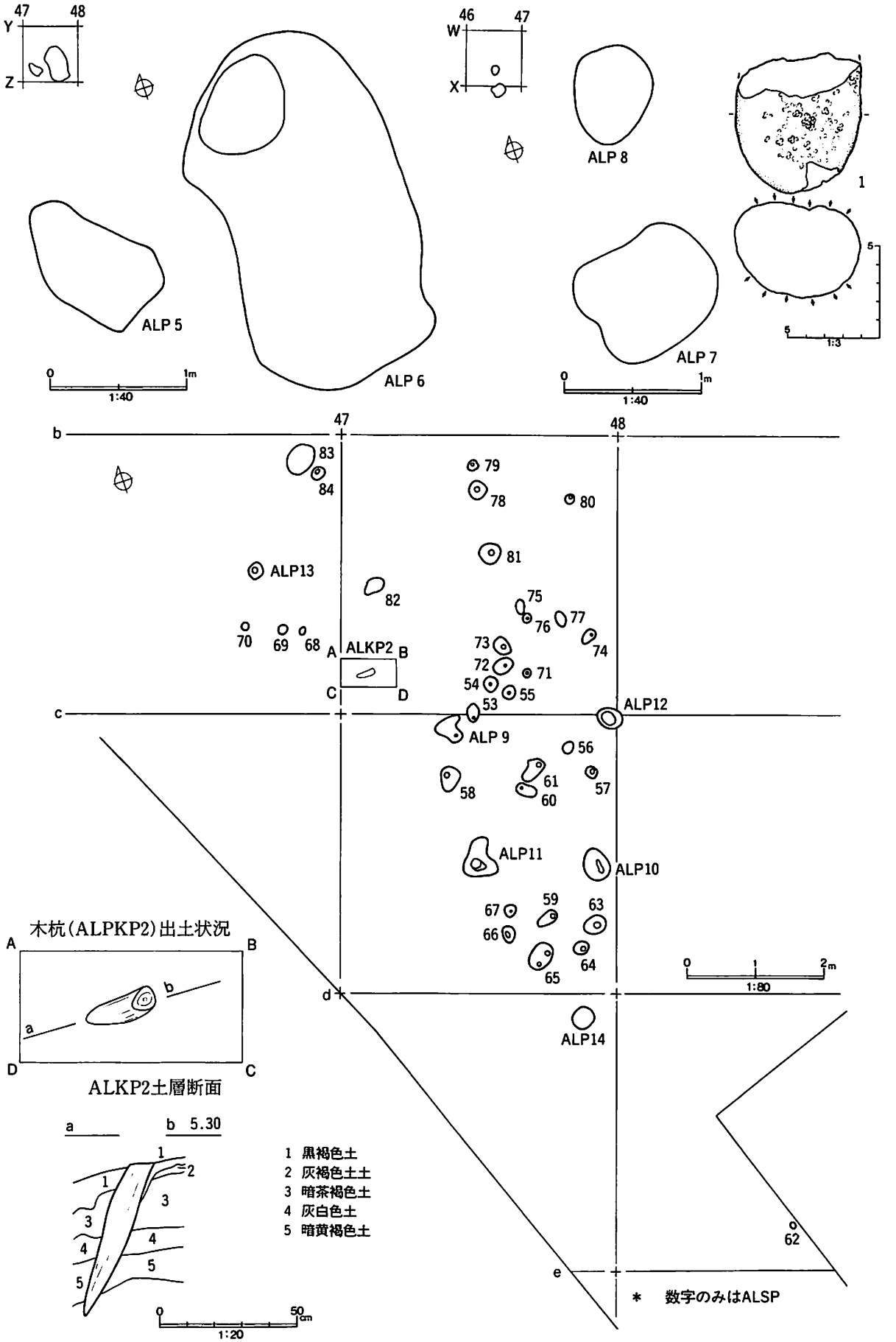
ALP－8（図Ⅳ－60）

位　置　W－46

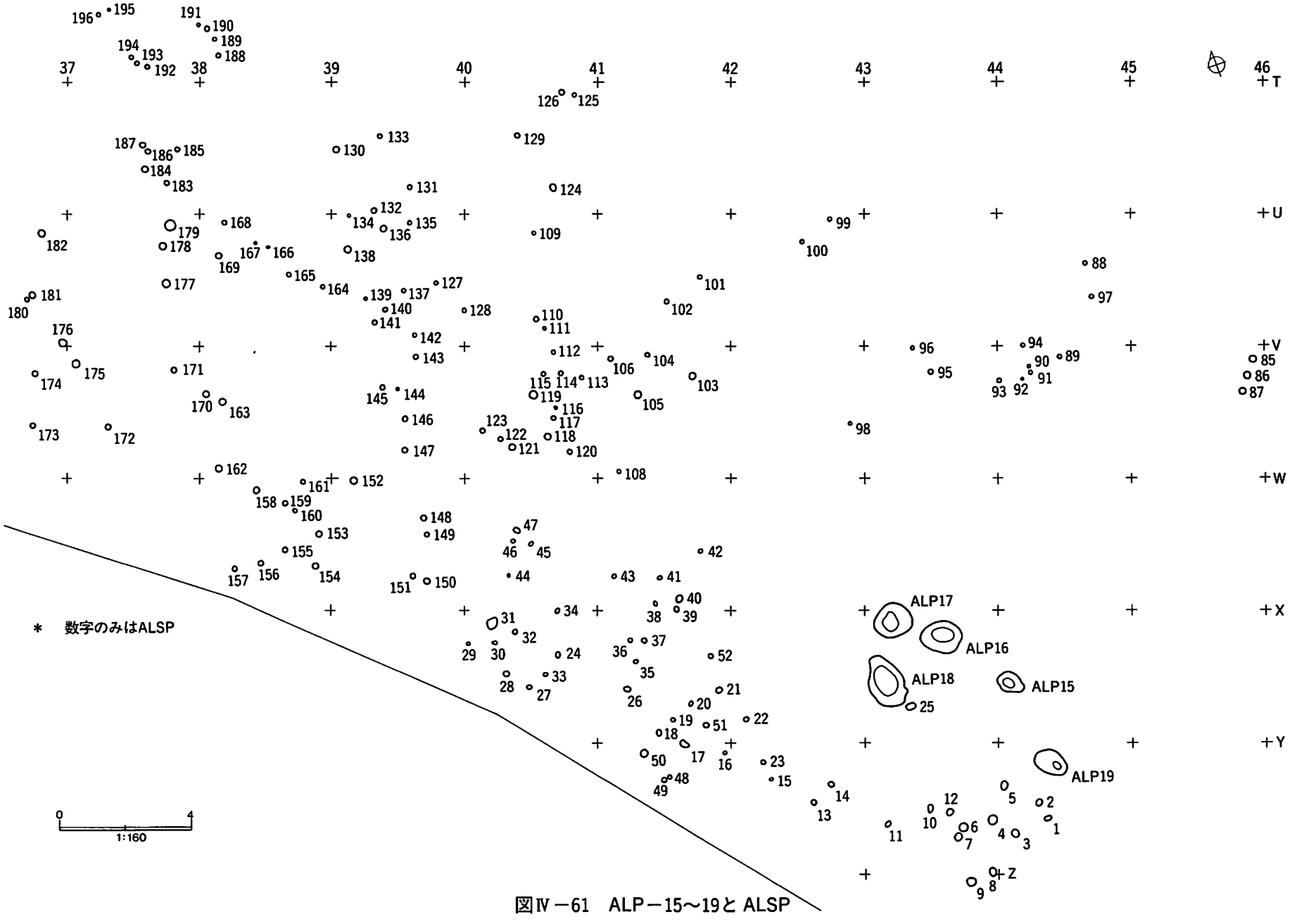
規　模　0.72×0.54m

平面形　楕円形

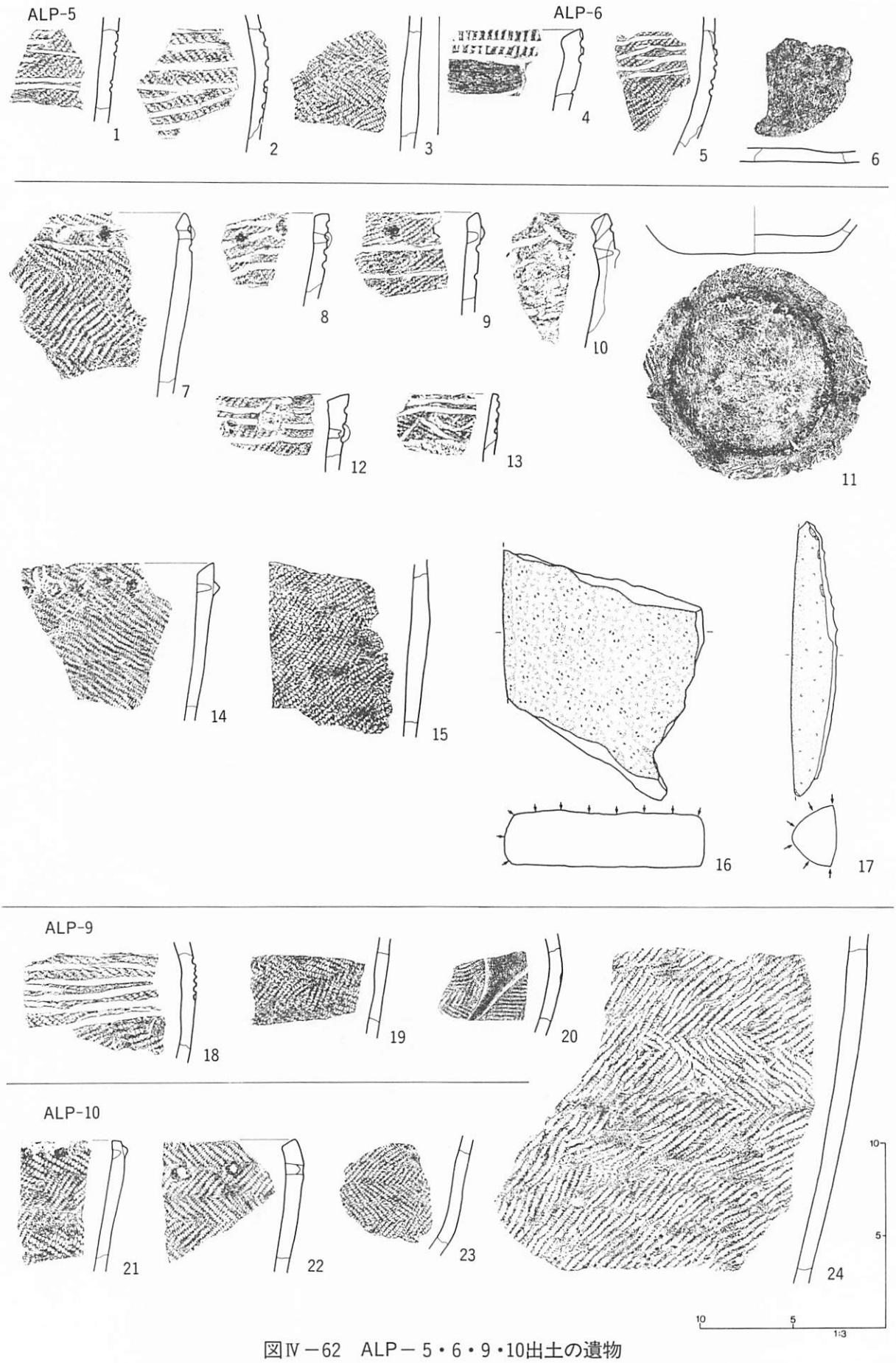
確認・調査　河道跡2の調査後、形があまり整わないものの、周囲と土色の異なる部分がみられた。



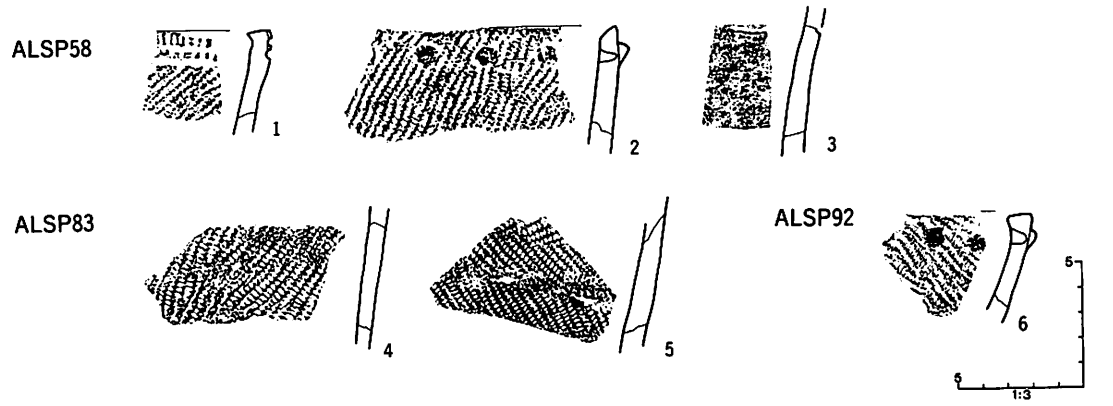
図Ⅳ－60　ALP－5～14とALSP



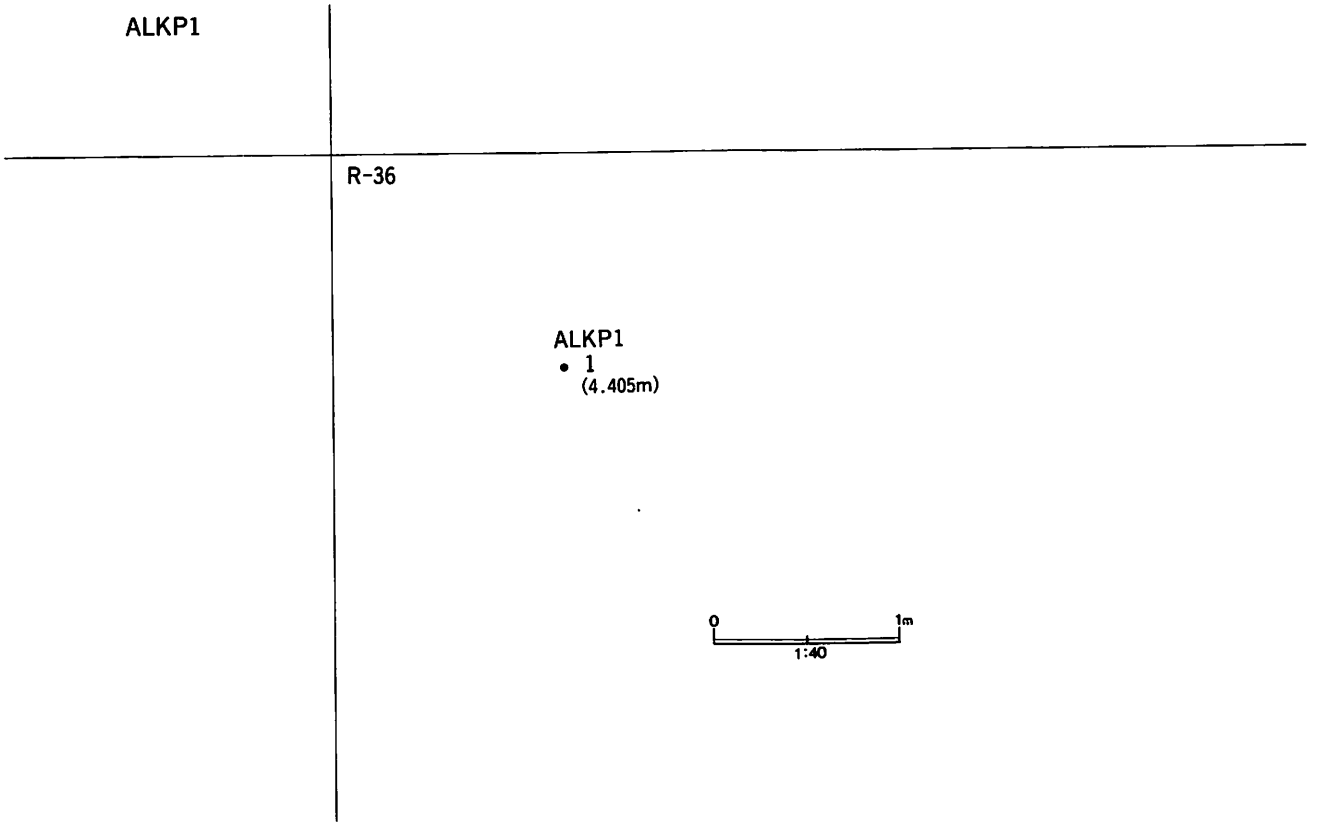
図Ⅳ－61　ALP－15～19と ALSP

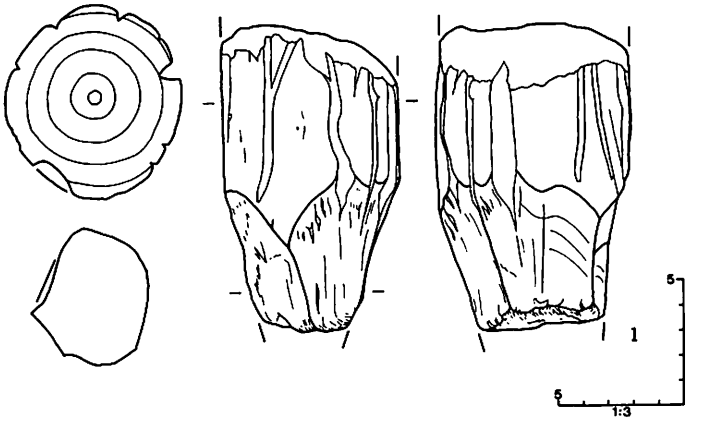


図Ⅳ－62　ALP－5・6・9・10出土の遺物

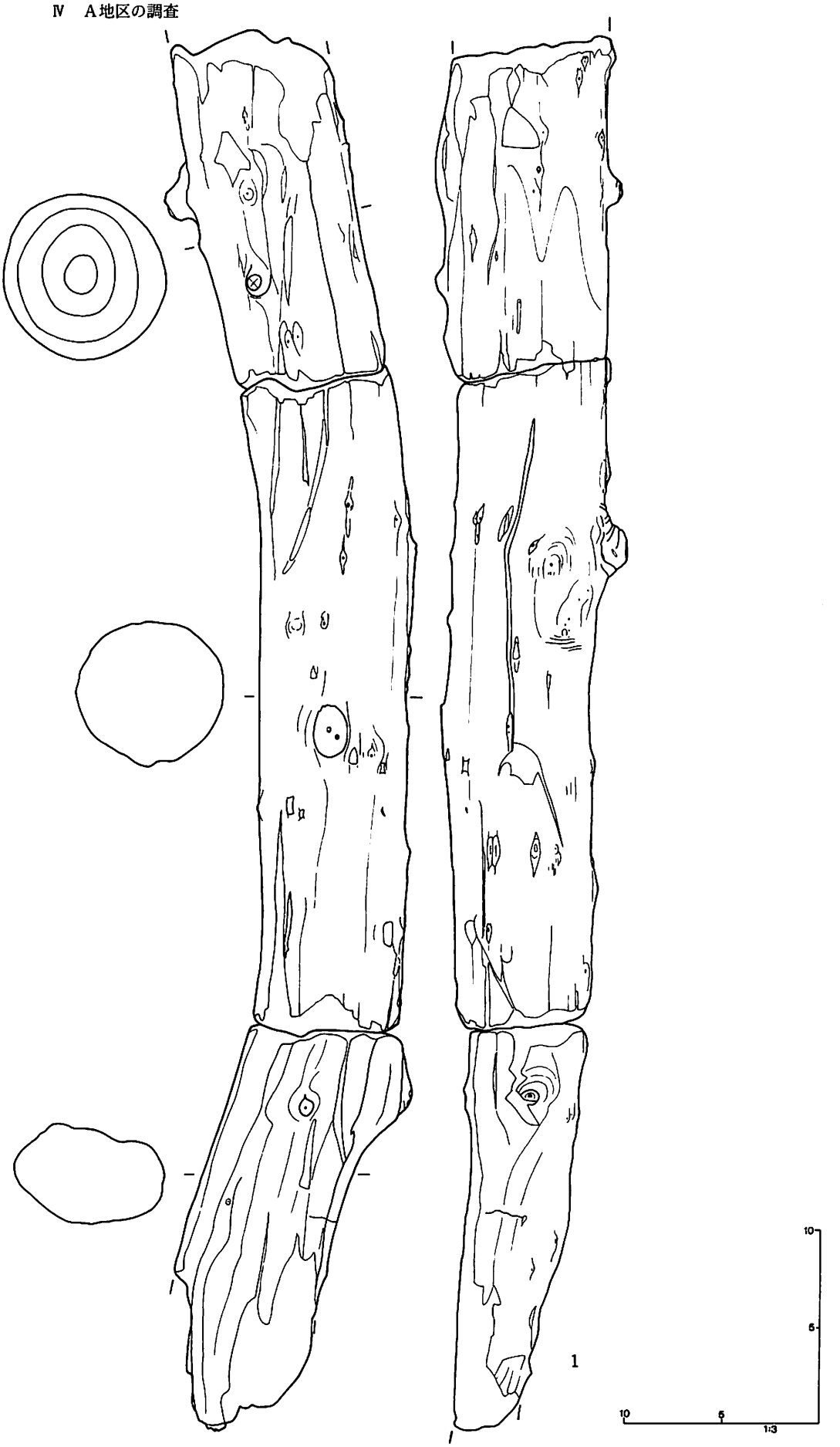


ALSP出土の遺物

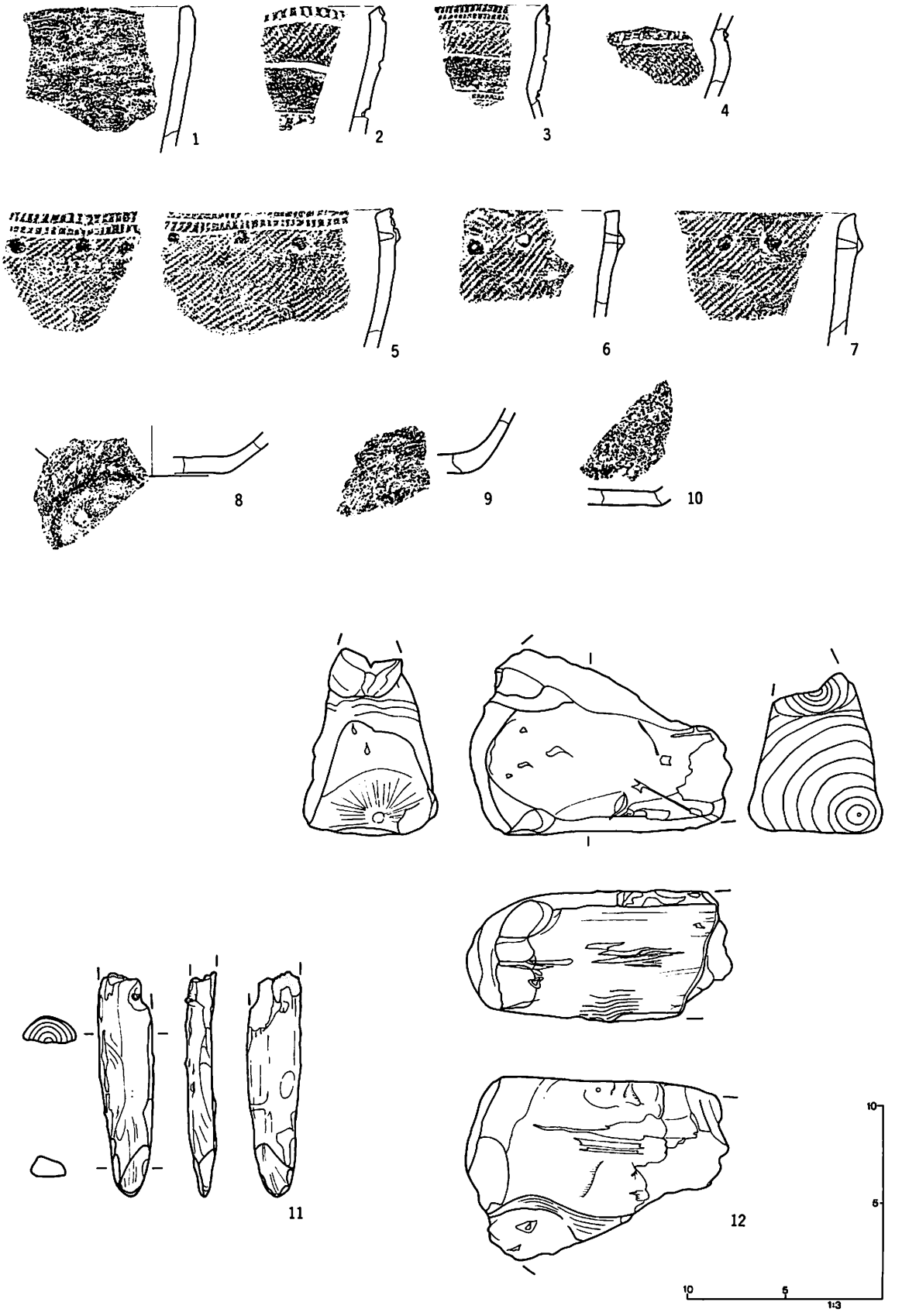




図Ⅳ－63　ALSP 出土の遺物及び ALKP－1 と出土木製品



図Ⅳ－64　ALKP－2出土木製品



図Ⅳ－65　ALP－11出土の遺物

掘り下げたところ、浅い皿状の底面などが確認されたため遺構と判断した。

底面・壁　浅い皿状であった。上部を掘り下げてしまった可能性がある。

遺　物　たたき石が1点出土した。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代後期中葉～後葉と思われる。

ALP－8の出土遺物（図Ⅳ－60）

1はたたき石である。やや扁平な円礫片の表裏両面にたたき痕が認められる。砂岩製である。

ALP－20（図Ⅳ－66）

位　置　M－41

規　模　0.86×0.76／0.68×0.67／0.24m

平面形　円形

確認・調査　標高約6.3mの平坦地の縁辺に近い位置にある。平成8年度の試掘トレンチで半分ほど検出していた。Ⅵ層上面で黒色土の落ち込みを検出して調査した。土壙の性格は不明である。

覆　土　自然堆積と思われる。

底　面　平坦だがややくぼんでいる。

壁　底面付近で丸みを帯びているが、ほぼ垂直に立ち上がる。

遺　物　壙底付近の覆土中（3層）から、縄文時代早期後半の中茶路式土器がまとまって出土した。

土　器　1は包含層の土器と接合し（表参照）、口縁部と胴部の一部、底部の大半を欠失するものの、ほぼ全容を窺い知れる程に復元できた。器高23.8cm、口径20.0cm、底径11.1cm。器形は、底部端が直立し、そこから少し開き気味に胴部へとつながる。胴部から口縁部にかけては、ほぼ直立気味に立ち上がる。口縁は平縁で、口唇断面はやや丸みを帯びるものの、全体として尖り気味である。微隆起線は胴部で7～9条が波状にめぐり、それを挟んで口縁部側で7条、底部側で5条がめぐる三段の構成となる。微隆起線間には1段Lによる短縄文が施文される。短縄文中には他より節の大きいものが認められ、原体が繰り返し用いられたことがわかる。胴部下半1つめの微隆起線間には、磨耗のため判然としないが、短縄文を斜位に施文している部分もみられる。外面の色調は口縁部がにぶい黄橙色（10YR6/4）、胴部がにぶい橙色（7.5YR7/4）、底部が灰黄色（2.5Y6/2）で、口縁部～胴部にかけて煤などによる黒色化がみられる。内面は全面黒色化しており、口縁から胴部にかけては炭化物の付着がやや多量に認められる。口縁部には補修孔が2つ穿たれている。Ⅰ群b－3類、中茶路式土器に相当する。

時　期　出土土器から、縄文時代早期後半中茶路式土器の頃と思われる。

ALP－21（図Ⅳ－66）

位　置　M－42

規　模　0.40×0.38／0.18×0.18／0.16m

平面形　円形

確認・調査・覆土　標高約6.3mの平坦地の縁辺に近い位置にある。平成8年度の試掘トレンチで半分ほど検出していた。Ⅵ層上面で黒色土の落ち込みを検出して調査した。土壙の性格は不明である。

底　面　ややくぼんでいる。

壁　やや外反しているが、ほぼ垂直に立上がっている。

遺　物　出土遺物無し。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－22（図Ⅳ－66）

位　置　P－40

規　模　2.54×2.17／2.23×1.40／0.43m　　**長軸方向**　N－60°－E

平面形　楕円形

確認・調査　Ⅵ層にてⅤ－1層の楕円形の落ち込みを確認した。

壁・床　壁は南西側でやや急に立ち上がり、底面は平坦である。

覆　土　底面近くには覆土7層とした炭化物を少量含む黒色土がみられる。

遺　物　確認面でII群a－1類土器と台石片が出土した。覆土5層で1点、覆土7層で9点、床面でⅠ群b－3類土器が5点出土した。遺物は東半分に散在するような状況で出土した。

時　期　床面からⅠ群b－3類土器が出土しているので、縄文時代早期後半と思われる

ALP－23（図Ⅳ－67）

位　置　N－39，O－39

規　模　2.20×1.70／1.86×1.31／0.17m　　**長軸方向**　N－21°－E

平面形　隅丸長方形

確認・調査　Ⅷ層上面にて長軸2m、短軸1.7m、卵形で暗褐色土の落ち込みを確認した。

壁・床　壁はゆるやかに立ち上がる。底面はほぼ平坦である。

覆　土　Ⅵ層に径2～10㎜のEn-aが少量混じる。

遺　物　覆土中から遺物が　点出土した。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－24（図Ⅳ－67）

位　置　S－45

規　模　2.41×2.00／2.02×1.63／0.18m

平面形　楕円形

確認・調査・覆土　調査区中央よりやや南部、平坦地の縁辺部に位置する。Ⅴ層上面で黒色土の落ち込みを検出して調査した。長軸方向はほぼ南北である。住居跡とは断定しがたく、土壙の性格は不明である。

底　面　平坦で、北寄りに小ピットが2基並んでいる。

壁　緩やかに立ち上がる。

遺　物　出土遺物無し。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

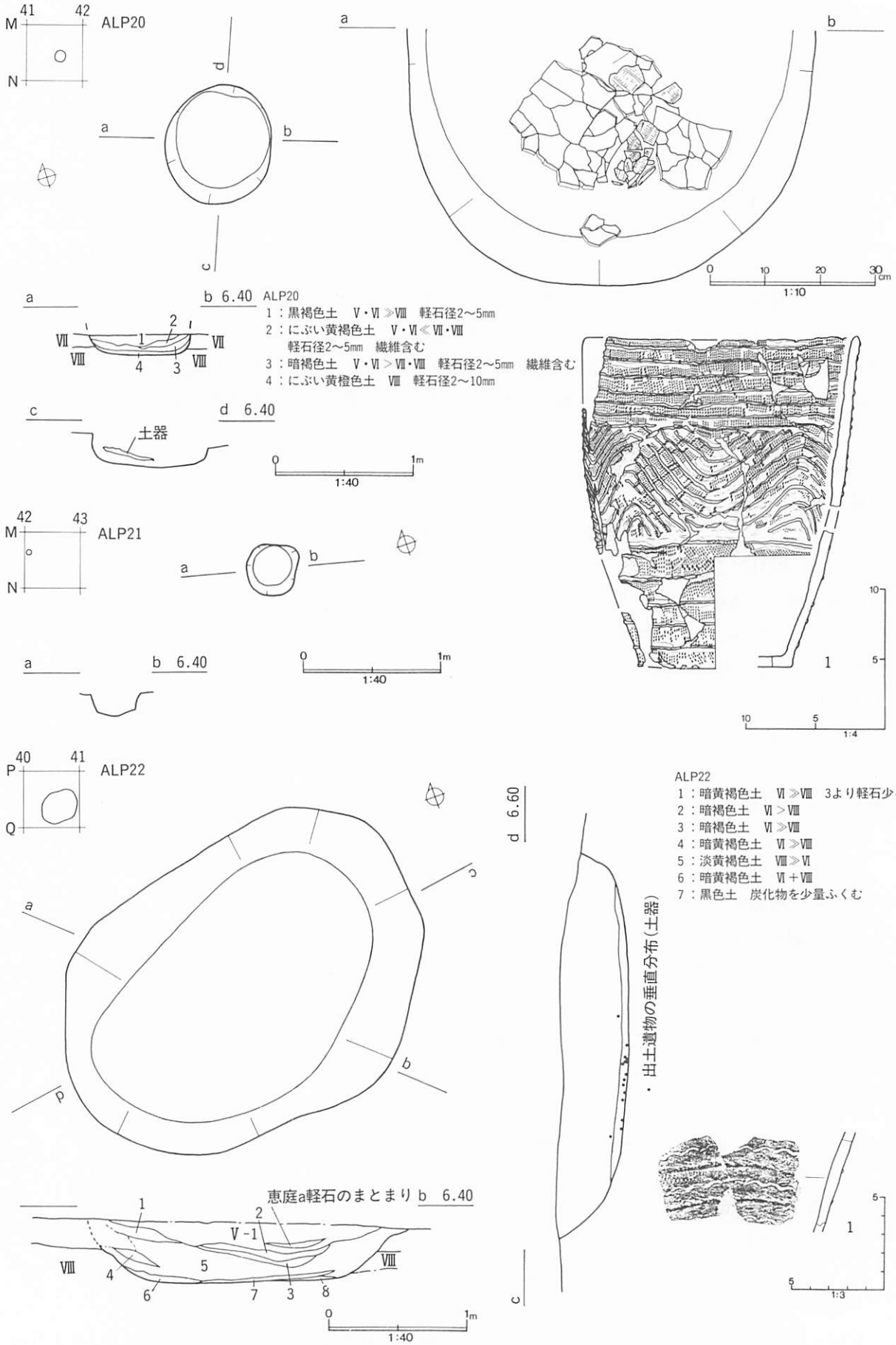
ALP－25（図Ⅳ－67）

位　置　G・H－43

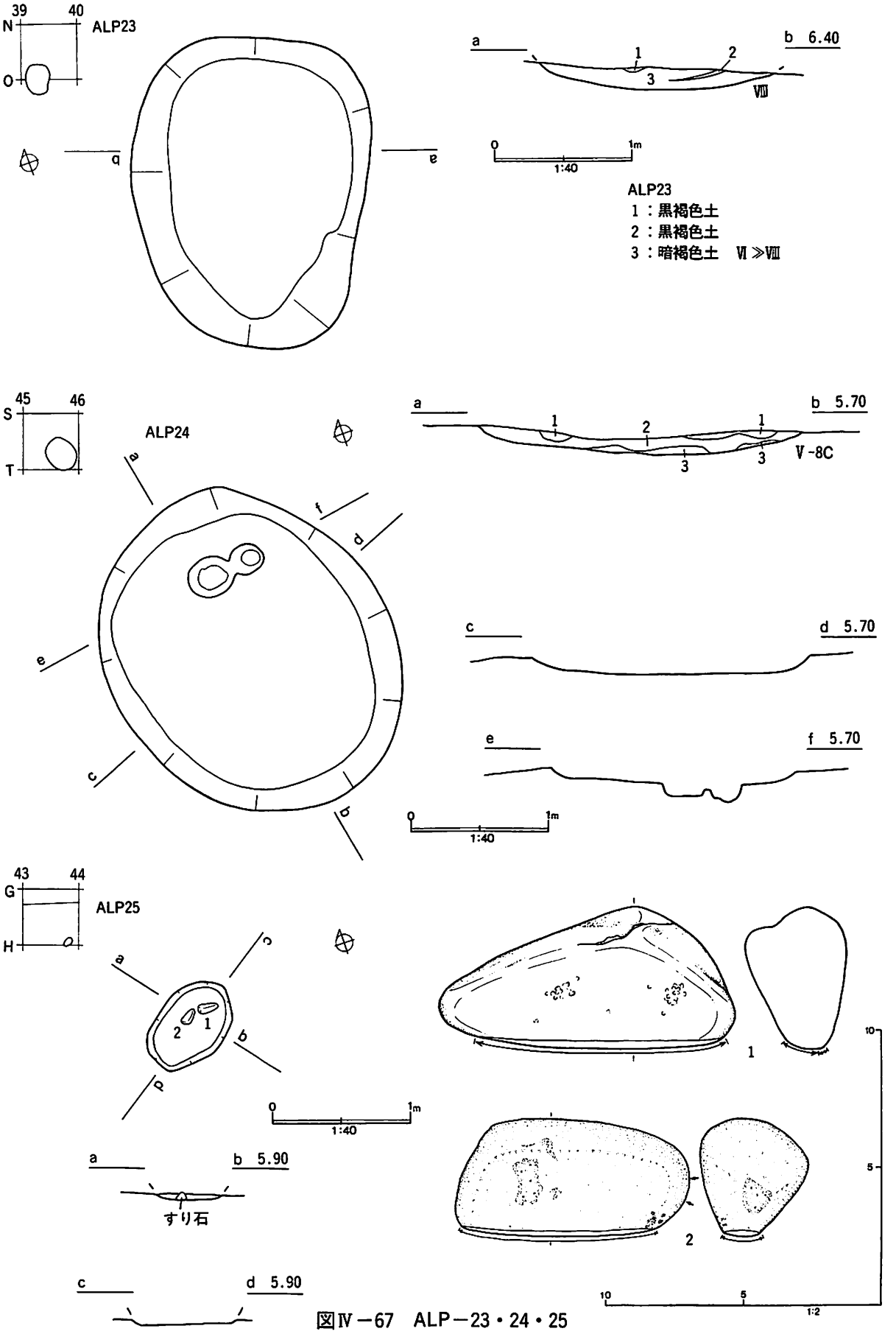
規　模　0.72×0.48／0.64×0.40／0.03m

平面形　楕円形

確認・調査　包含層調査後、Ⅴ層上面で黒色土の落ち込みがみられた。半截したところ、平坦な底



図Ⅳ－66　ALP－20・21・22



図Ⅳ－67　ALP－23・24・25

面と立ち上がりが僅かに確認されたことなどから、遺構と判断した。

覆　土　Ⅴ層が主体のしまりがやや弱い土である。層境界は明瞭である。

底　面　Ⅴ層中に作られ、平坦である。

壁　緩やかな立ち上がりが僅かにみられる。

遺　物　底面からすり石が2点出土した。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－25の出土遺物（図Ⅳ－67）

1・2はすり石である。断面が三角形の礫の稜を擦ってすり石としたもので、側面の一部には潰打痕が認められる。

ALP－27（図Ⅳ－68）

位　置　K・L－41

規　模　1.82×1.78／1.72×1.62／0.06m

平面形　円形

確認・調査　包含層調査後、Ⅶ層上面で暗褐色土の落ち込みがみられた。半截したところ、平坦な壙底面と立ち上がりが確認されたことなどから、遺構と判断した。

覆　土　Ⅵ層が主体と思われる。

底　面　Ⅵ層中に作られ、概して平坦である。

壁　立ち上がりはやや急である。

遺　物　土器は覆土中から3点出土した。

土　器　1の地文はRL原体を斜位・縦位に回転させたものである。粘土紐上にはRL原体の押圧列がみられる。Ⅰ群b－2類に相当すると思われる。

石　器　2はすり石片で、断面三角形の礫を用いたものである。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－28（図Ⅳ－68）

位　置　M－42

規　模　0.67×0.62／0.58×0.50／0.10m

平面形　円形

確認・調査・覆土　標高約6.3mの平坦地の縁辺に近い位置にある。Ⅵ層上面で黒色土の落ち込みを検出し、調査した。土壙の性格は不明である。

底　面　平坦である。

壁　立上りはやや急である。

遺　物　出土遺物無し。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－29（図Ⅳ－68）

位　置　Ⅰ－41・42

規　模　1.34×1.02／1.22×0.90／0.10m

平面形　楕円形

確認・調査　包含層調査後、Ⅶ層上面で黒色土の落ち込みがみられた。半截したところ、しまりのある底面と立ち上がりが確認されたことなどから、遺構と判断した。

覆　土　1層はⅧ層が少量混じる。2層はしまりがやや弱く、底面との層境界が明瞭である。

底　面　Ⅶ層中に作られ、中央付近がやや高まる。

壁　立ち上がりは緩やかなである。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－30（図Ⅳ－68）

位　置　G・H－41

規　模　1.82×1.32／1.40×1.06／0.12m

平面形　隅丸長方形

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ層で黒色土の落ち込みがみられた。半截したところ、平坦な底面と立ち上がりが確認されたことなどから、遺構と判断した。

覆　土　2、3、4層は層境界が明瞭でしまりが弱い。

底　面　Ⅶ層中に作られ、概して平坦である。

壁　立ち上がりは緩やかである。

遺　物　土器は覆土中から37点が出土した。

土　器　1は口縁部であるが口唇が欠けている。LR原体による縄文が施文される。2はRLとLRの原体による縦の羽状縄文が施文される。1、2は同一個体と思われる。II群a－2類に相当する。

時　期　出土遺物と遺構の形態から、縄文時代前期前半と思われる。

ALP－31（図Ⅳ－69）

位　置　I・J－43・44

規　模　2.04×1.90／1.88×1.78／0.12m

平面形　円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ層で黒色土の落ち込みがみられた。半截したところ、平坦な底面と立ち上がりが確認されたことなどから、遺構と判断した。

覆　土　1・2層ともⅤ層が主体である。

底　面　Ⅶ層中に作られ、概して平坦である。

壁　立ち上がりはやや緩やかである。

遺　物　土器は覆土中から12点が出土した。

土　器　1は粘土紐の貼付を境に羽状縄文が施文される。I群b－3類に相当する。

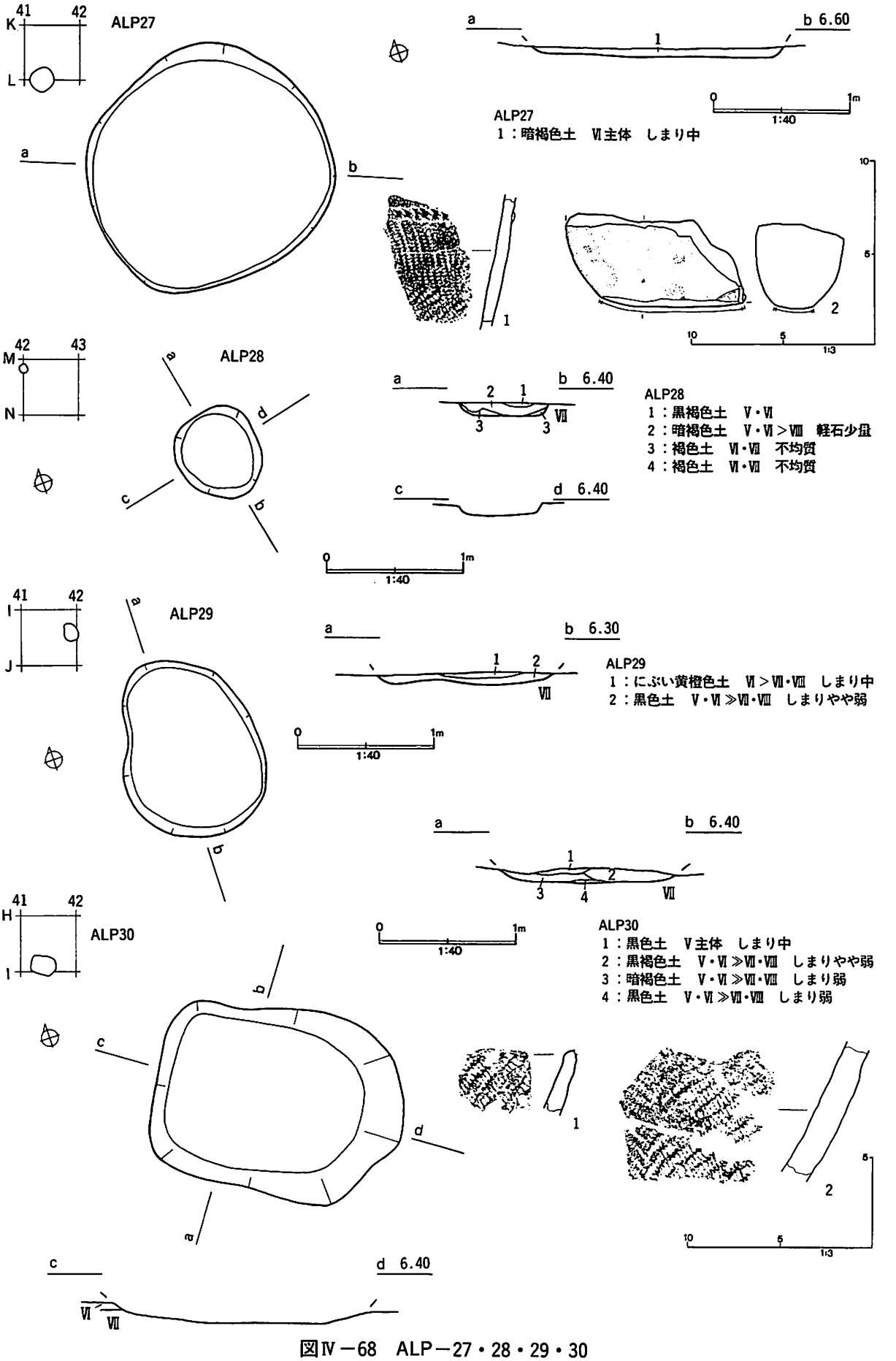
時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－32（図Ⅳ－69）

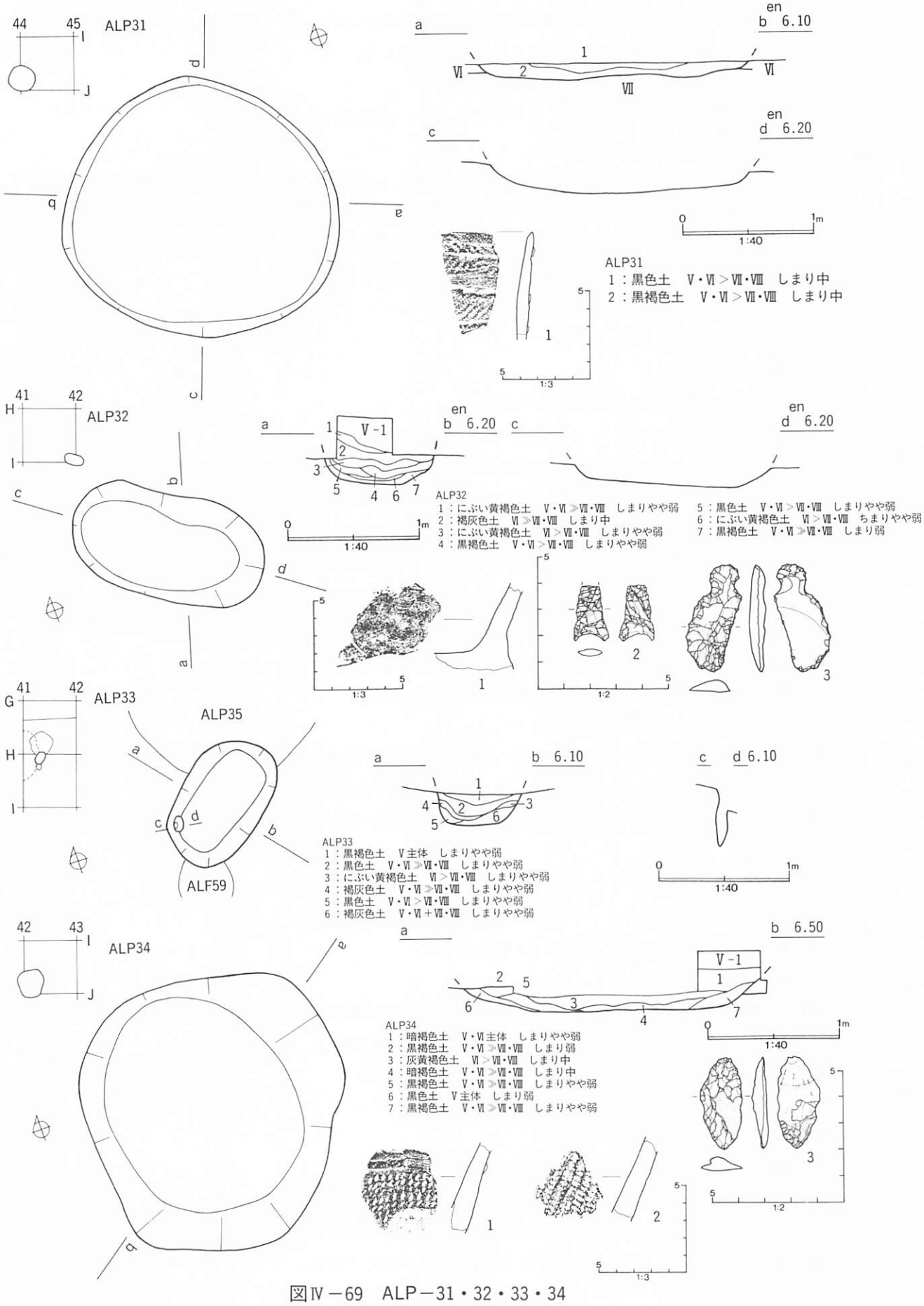
位　置　H・I－41・42

規　模　1.50×0.80／1.22×0.54／0.22m

平面形　楕円形



図Ⅳ－68　ALP－27・28・29・30



図Ⅳ－69　ALP－31・32・33・34

確認・調査　包含層調査後、Ⅶ層で褐灰色土の落ち込みがみられた。半截したところ、平坦な底面と立ち上がりが確認されたことなどから、遺構と判断した。

覆　土　しまりが弱く、層境界は明瞭である。

底　面　Ⅶ層中に作られる。概して平坦であるが、南東側にやや傾斜する。

壁　立ち上がりはやや急である。

遺　物　土器は覆土中から8点が出土した。石器は2点出土し、いずれも図示した。

土　器　1は底部外面がやや外に張り出す。無文である。Ⅰ群b－2類に相当すると思われる。

石　器　2は石鏃で、無茎凹基のものである。3はつまみ付きナイフで黒曜石製である。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－33（図Ⅳ－69）

位　置　G・H－41

規　模　1.02×0.64／0.82×0.40／0.24m

平面形　楕円形

確認・調査　ALH－6の掘上土調査後、Ⅵ層で黒褐色土の落ち込みがみられた。半截したところ、平坦な底面と立ち上がりが確認されたことなどから、遺構と判断した。

重複関係　本遺構はALH－6の掘上土上面から、既に大まかなプランが確認されていたため、ALH－6より新しいと思われる。ただし、ALH－6の調査を優先させたことから後の調査となったことを断っておく。覆土には撹乱の跡が見られなかったことから、切り合うALP－35よりも新しいと思われる。ALF－59とでは、本遺構の方が上位で確認されたことから新しいと思われる。

覆　土　しまりの弱い土が主体で、層境界は明瞭である。

底　面　Ⅶ～Ⅷ層中に作られ、概して平坦である。

壁　立ち上がりは垂直気味である。

杭　穴　杭穴と思われるものが1カ所、壙底面南西側で検出された。覆土は褐灰色でⅧ層が混じる。

遺　物　土器は覆土中から8点が出土した。石器は2点、礫が1点出土した。

時　期　他の遺構との切り合い関係や周囲の遺物から、縄文時代前期前半のものと思われる。

ALP－34（図Ⅳ－69）

位　置　I・J－41・42

規　模　2.12×2.00／1.07×1.36／0.12m

平面形　楕円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ層で灰黄褐色土の落ち込みがみられた。半截したところ、平坦な底面と立ち上がりが確認されたことなどから、遺構と判断した。

覆　土　しまりの弱い土が主体で、層境界は明瞭である。

底　面　Ⅶ層中に作られ、概して平坦である。

壁　面　立ち上がりは緩やかである。

遺　物　土器は覆土中から47点が出土した。

土　器　1は粘土紐が貼付され、LR原体による短縄文が数段施文される。Ⅰ群b－2類土器に相当すると思われる。2は斜行縄文が施文される。Ⅱ群a－2類土器に相当する。

石　器　3はスクレイパーである。片面周辺加工のものである。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－35（図Ⅳ－70）

位　置　G・H－41

規　模　1.76×1.64／1.64×1.36／0.08m

平面形　円形

確認・調査　ALH－6の掘上土調査後、・層で黒色土の落ち込みがみられた。半截したところ、平坦な底面と立ち上がりが確認されたことなどから、遺構と判断した。ALH－6の掘上土より下位で確認されたことから、ALH－6より古いと考えられる。またALP－33の項で述べたように、ALP－33よりも古いと思われる。

覆　土　しまりの弱い土で、層境界は明瞭である。

底　面　Ⅶ層中に作られ、概して平坦である。

壁　立ち上がりは緩やかなものである。

遺　物　土器は覆土中から1点が出土した。

土　器　1は包含層の土器と接合した（表参照）。口縁部にLR原体の斜位回転による横走縄文を施文後、同一原体によって胴部に斜行縄文を施文する。II群a－1類に相当する。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－36（図Ⅳ－70）

位　置　H－41

規　模　0.64×0.44／0.44×0.32／0.10m

平面形　楕円形

確認・調査　包含層調査後、Ⅶ層で黒色土の落ち込みがみられた。半截したところ、Ⅶ層との明瞭な層境界や立ち上がりが確認されたことなどから、遺構と判断した。

覆　土　しまりの弱い土で、層境界は明瞭である。

底　面　Ⅶ層中に作られ、丸みを帯びる。

壁　立ち上がりは緩やかである。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－37（図Ⅳ－70）

位　置　H－41

規　模　0.54×0.40／0.38×0.26／0.06m

平面形　楕円形

確認・調査　包含層調査後、Ⅶ層で黒色土の落ち込みがみられた。半截したところ、Ⅶ層との明瞭な層境界や立ち上がりが確認されたことから、遺構と判断した。

覆　土　しまりの弱い土で、層境界は明瞭である。

底　面　Ⅶ層中に作られ、丸みを帯びる。

壁　立ち上がりは緩やかである。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－38（図Ⅳ－70）

位　置　H－40・41

規　模　0.74×0.58／0.60×0.50／0.04m

平面形　楕円形

確認・調査　包含層調査後、Ⅶ層で黒色土の落ち込みがみられた。半截したところ、平坦な底面や立ち上がりが確認されたことなどから、遺構と判断した。

覆　土　しまりの弱い土で、層境界は明瞭である。

底　面　Ⅶ層中に作られ、概して平坦である。

壁　立ち上がりは緩やかである。

遺　物　つまみ付きナイフが１点出土したのみである。

石　器　１はつまみ付きナイフである。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－39（図Ⅳ－70）

位　置　H－41

規　模　0.82×0.80／0.64×0.60／0.20m

平面形　円形

確認・調査　包含層調査後、Ⅶ層で黒色土の落ち込みがみられた。半截したところ、平坦な底面や立ち上がりが確認されたことなどから、遺構と判断した。

覆　土　しまりの弱い土で、層境界は明瞭である。

底　面　Ⅶ層中に作られ概して平坦であるが、やや南東側に傾斜する。

壁　立ち上がりは垂直に近い。

遺　物　土器は覆土中から１点出土した。

土　器　１はLR原体による横走気味の縄文が施文される。Ⅱ群ａ－２類に相当する。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－40（図Ⅳ－71）

位　置　J－41・42

規　模　(1.96)×(1.70)／1.42×1.32／0.28m

平面形　円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ層で黒褐色土の落ち込みがみられた。半截したところ、平坦な底面や立ち上がりが確認されたことなどから、遺構と判断した。

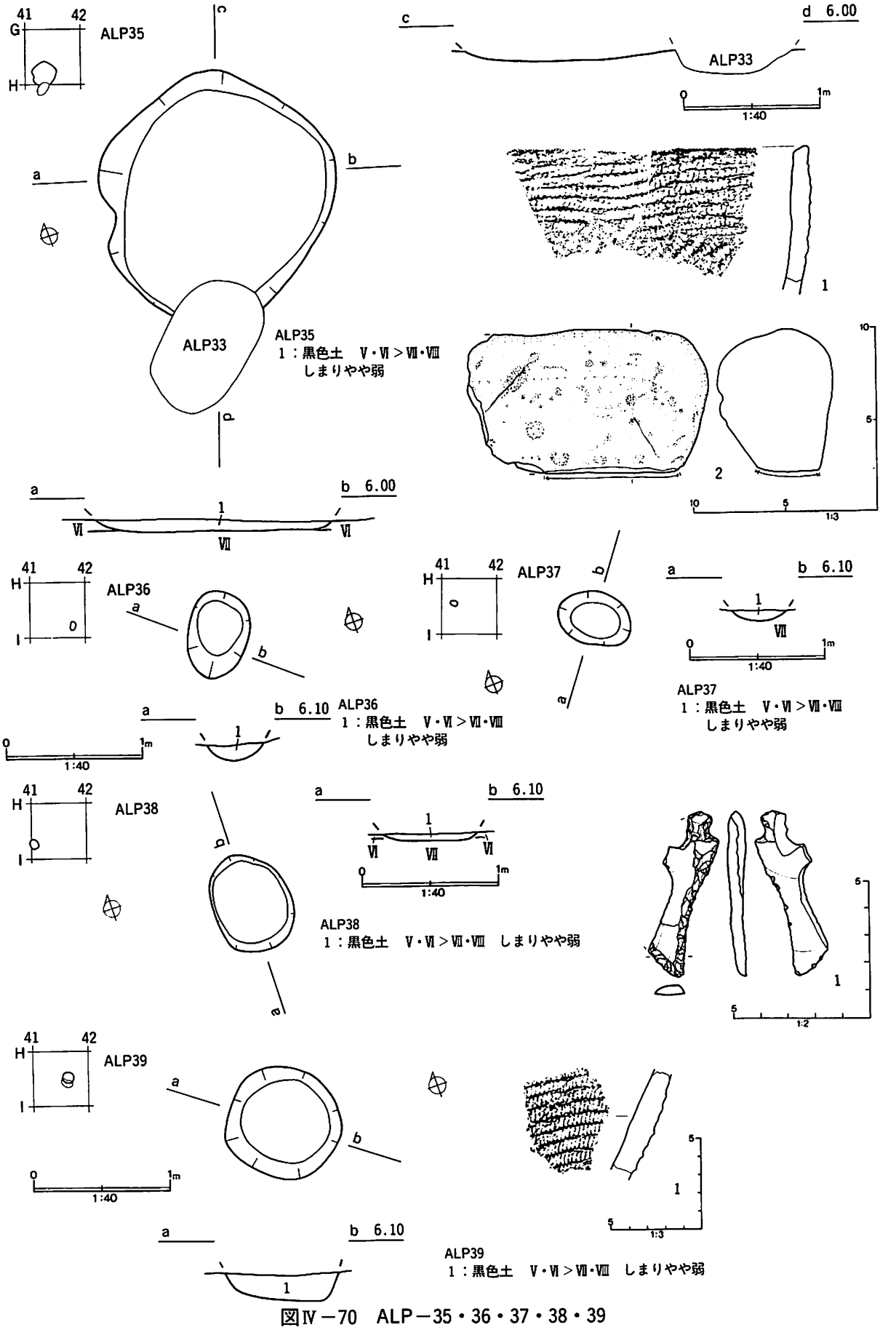
覆　土　しまりの弱い土が主体である。層境界は明瞭である。

底　面　Ⅶ層中に作られ、概して平坦である。

壁　立ち上がりはやや急である。南西側には段状の部分がみられた。

遺　物　土器は覆土中から26点出土した。石器はスクレイパー１点のみである。

石　器　１はスクレイパーである。片面全面加工、片面周辺加工で側縁に刃部を作り出している。頁岩製である。



図Ⅳ－70　ALP－35・36・37・38・39

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－44（図Ⅳ－71）

位　置　M－45

規　模　1.02×(0.68)／0.74×(0.62)／0.24m

平面形　円形

確認・調査　包含層調査後、Ⅶ層で土層が円形に混在する状況がみられた。半截したところ、平坦な底面や立ち上がりが確認されたことなどから、遺構と判断した。

底　面　概して平坦であるが、南側にやや傾斜する。

壁　西側の立ち上がりが判然としなかったが、他ははやや急である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－45（図Ⅳ－71）

位　置　L－41

規　模　1.70×(1.18)／1.60×(1.12)／0.06m

平面形　不整円形

確認・調査　包含層調査後、Ⅶ層で暗褐色土の落ち込みがみられた。半截したところ、平坦な底面や立ち上がりが確認されたことなどから、遺構と判断した。

覆　土　Ⅵ層主体で、ややしまりがある。

底　面　Ⅵ層中に作られ、平坦である。

壁　面　立ち上がりが僅かに検出された。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－46（図Ⅳ－72）

位　置　K・L－43

規　模　0.67×(0.18)／0.58×(0.10)／0.26m

平面形　楕円形

確認・調査　ALH－13の調査中、床面近くでⅡ群a－1類土器の大型破片が出土した。ALH－13の南北方向の土手に近い位置であったため、その土層断面を観察したところ、ALH－13の覆土を掘り込んだ別の遺構であることが判明した。その時点から、底面などの検出を試みたが、既にALH－13の床面近くまで掘り下げていたため、土層観察用の土手部分でしか底面、壁を検出できなかった。

重複関係　時期が前期前半と思われるALH－3との関係では、ALH－3の掘上土より下位のⅤ－1b層が本遺構上を覆っているように観察されたことから、本遺構が古い可能性が考えられる。また、ALH13の覆土を掘り込んでいることから、ALH－13より新しい。

覆　土　しまりのやや弱い土が主体である。ALH－13の覆土も混じる。

底　面　一部しか検出できなかったが、概して平坦である。ALH－13の床面より2cm程上に作られる。

壁　一部しか検出できなかったが、立ち上がりはやや急である。

遺　物　II群a－1類土器の大型破片が出土した。

土　器　1は包含層の土器と接合し（出土状況図、表参照）、底部付近は欠失するが、口縁部～胴部の約3／4程が復元できた。現存器高31.5cm、口径48.9cm。器形は胴部が緩やかに開き、口縁部は直立気味であるがやや内湾する。口唇直下から2cm程の間にはLR原体による横走縄文が2、3条施文される。その下は撚りの異なる原体を交互に用いた羽状縄文が整然と施文される。節は判然としない部分もあるが、幾分すり消しがなされているようである。口唇上にはLR原体による縄文が施文される。胎土には繊維の他、径5㎜以下の礫が多く含まれている。外面の色調は、口縁部～胴部のほとんどが煤などにより黒色化している。胴部は磨耗・剝離により本来の器面を残しているものは少ないが、灰黄色（2.5Y6/2）を呈し、さらにその下がにぶい橙色（7.5YR6/4）となる部分もみられる。胴部上半～口縁部にかけては、炭化物の付着が少量認められる。内面は口縁部の1／4と胴部で黒色化がみられる。残りの口縁部はにぶい黄褐色（10YR5/3）を呈する。炭化物は胴部上半の輪積み痕の盛り上がりに少量認められる。II群a－1類、美々7式土器に相当するものと思われる。

時　期　出土遺物から、縄文時代前期前半美々7式土器の頃と思われる。

ALP－47（図Ⅳ－71）

位　置　N－38・39

規　模　1.30×0.71／0.50×0.43／0.25m　　**長軸方向**　N－21°－W

平面形　楕円形

確認・調査　Ⅷ層上面で検出したALF－46を半截中、この焼土の下に落ち込みを確認した。

壁・床　壁はピットの長軸方向にのみ段をもっている。底面はほぼ平坦である。

覆　土　覆土2層は焼土に・層が少量まじる。

遺　物　覆土中から絡状体圧痕文の施されたI群土器が3点出土している。

時　期　不明。ピットのくぼみに焼土を入れたものであろうか。

ALP－48（図Ⅳ－71）

位　置　L・M－44

規　模　0.66×0.56／0.52×0.48／0.24m

平面形　円形

確認・調査　包含層調査後、Ⅶ層で黒色土の落ち込みがみられた。半截したところ、平坦な底面や立ち上がりが確認されたことなどから、遺構と判断した。

覆　土　V層主体である。層境界は明瞭である。

底　面　東側でやや上向く。

壁　ほぼ垂直に立ち上がる。

遺　物　出土していない。

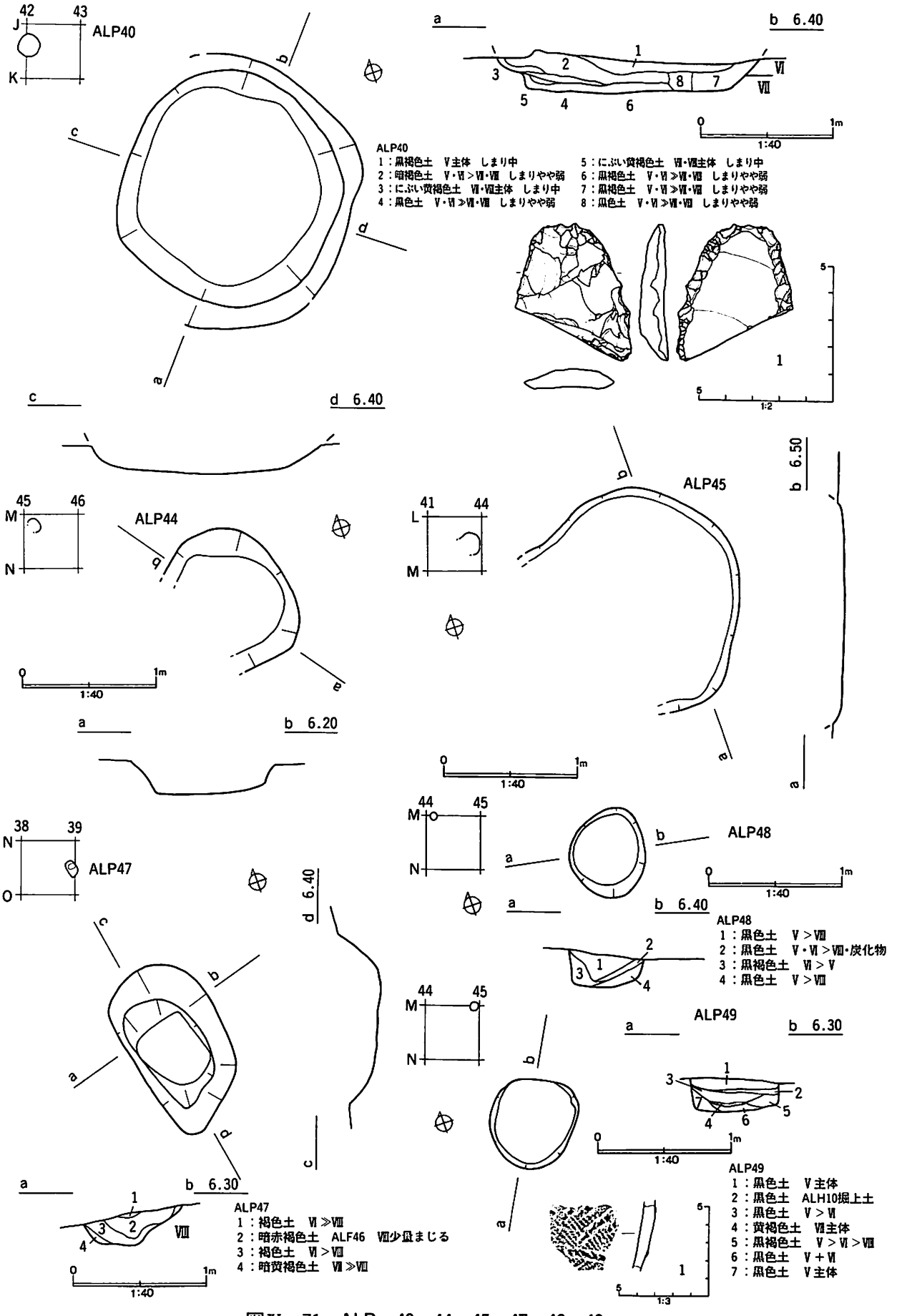
時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－49（図Ⅳ－71）

位　置　L・M－44

規　模　0.66×0.62／0.62×0.56／0.24m

平面形　円形



図Ⅳ－71　ALP－40・44・45・47・48・49

確認・調査　包含層調査後、Ⅶ層で黒色土の落ち込みがみられた。半截したところ、平坦な底面や立ち上がりが確認されたことなどから、遺構と判断した。

覆　土　1、3、5～7はⅤ層主体である。2はALH－10の掘上土かもしれない。4はⅦ層主体である。

底　面　概して平坦である。

壁　ほぼ垂直に立ち上がる。

遺　物　土器は覆土中から4点が出土した。

土　器　1は粘土紐を横位・斜位に貼付する。横位の粘土紐を境として羽状縄文が施文される。Ⅰ群b－2類土器に相当すると思われる。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－50（図Ⅳ－72）

位　置　M－43・44

規　模　1.56×1.42／1.35×1.26／0.37m

平面形　円形

確認・調査　ALH－17の床面を精査中、北西側の壁近くで円形を呈する土層の混在状況がみられた。半截したところ、平坦な底面と壁の立ち上がりなどが確認されたことから遺構と判断した。

重複関係　ALH－17との関係は、本遺構の覆土中に柱穴が設けられていることから、本遺構が古いと考えられる。

底　面　概して平坦である。

壁　立ち上がりは垂直気味である。東側の大半はALH－17を構築する際、壊されたと思われる。

遺　物　土器は覆土中から4点出土した。

土　器　1はALH－17床面出土土器と同一個体と思われる。ALH－10の覆土出土の破片1点と接合した。磨耗のため判然としない部分もあるが、短縄文間に結束第一種の原体による羽状縄文が施文される。

時　期　覆土の遺物と遺構の切り合い関係から、縄文時代早期後半コッタロ式（ALH－17より古い）の頃と思われる。

ALP－51（図Ⅳ－73）

位　置　K－43

規　模　0.78×(0.52)／0.56×(0.42)／0.12m

平面形　楕円形

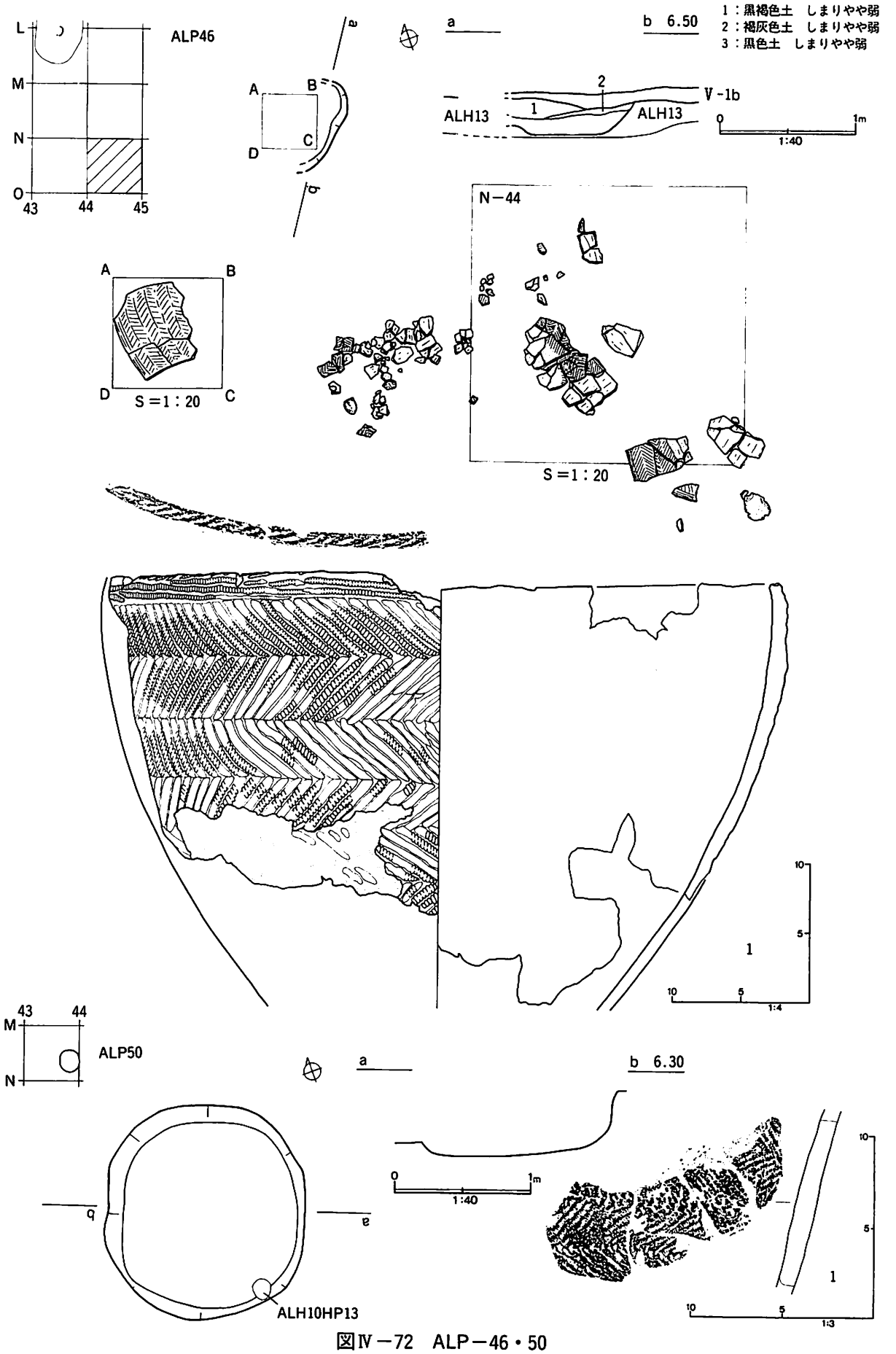
確認・調査　ALH－13の調査中、北東側の壁に隣接して黒色土の落ち込みがみられた。半截して土層断面などを観察したところ、平坦な底面と立ち上がりが確認されたことなどから、遺構と判断した。切り合うALH－13との関係は、本遺構の南東部分を既に掘ってしまっていたため、不明である。

覆　土　Ⅴ層主体である。

底　面　概して平坦である。

壁　立ち上がりは緩やかである。

遺　物　出土していない。



図Ⅳ−72　ALP−46・50

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－52（図Ⅳ－73）

位　置　H－39

規　模　0.50×0.40／0.10m

平面形　楕円形

確認・調査　包含層調査後、Ⅶ層で暗褐色土の落ち込みがみられた。半截して土層断面などを観察したところ、Ⅶ層との層境界が明瞭であったことなどから遺構と判断した。

覆　土　Ⅵ層とⅧ層が混じるものである。

底面・壁　底面と壁の境は不明瞭である。上部は掘り下げてしまった可能性がある。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－54（図Ⅳ－73）

位　置　G－42・43

規　模　0.18×0.73／0.44m

平面形　不整形

確認・調査　包含層調査後、Ⅶ層で黒褐色土の落ち込みがみられた。半截して土層断面などを観察したところ、Ⅶ層との層境界が明瞭であったことなどから遺構と判断した。

覆　土　1～5層と6～11層の2つに大きく分けられ、遺構が重複していた可能性がある。

底　面　3カ所に確認された。いずれも平坦である。

壁　面　東側の立ち上がりはやや急であるが、西側では緩やかである。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－55（図Ⅳ－73）

位　置　O－47・48

規　模　1.84×1.84／1.74×1.66／0.11m

平面形　不整円形

確認・調査　包含層調査後、Ⅶ層で暗褐色土の落ち込みがみられた。半截して土層断面などを観察したところ、平坦な底面と壁の立ち上がりが確認されたことなどから遺構と判断した。

覆　土　1、2はⅥ層主体、3はⅦ層主体である。木根などによる土層の撹乱がみられる。

底　面　概して平坦である。

壁　面　ほぼ垂直に立ち上がる。

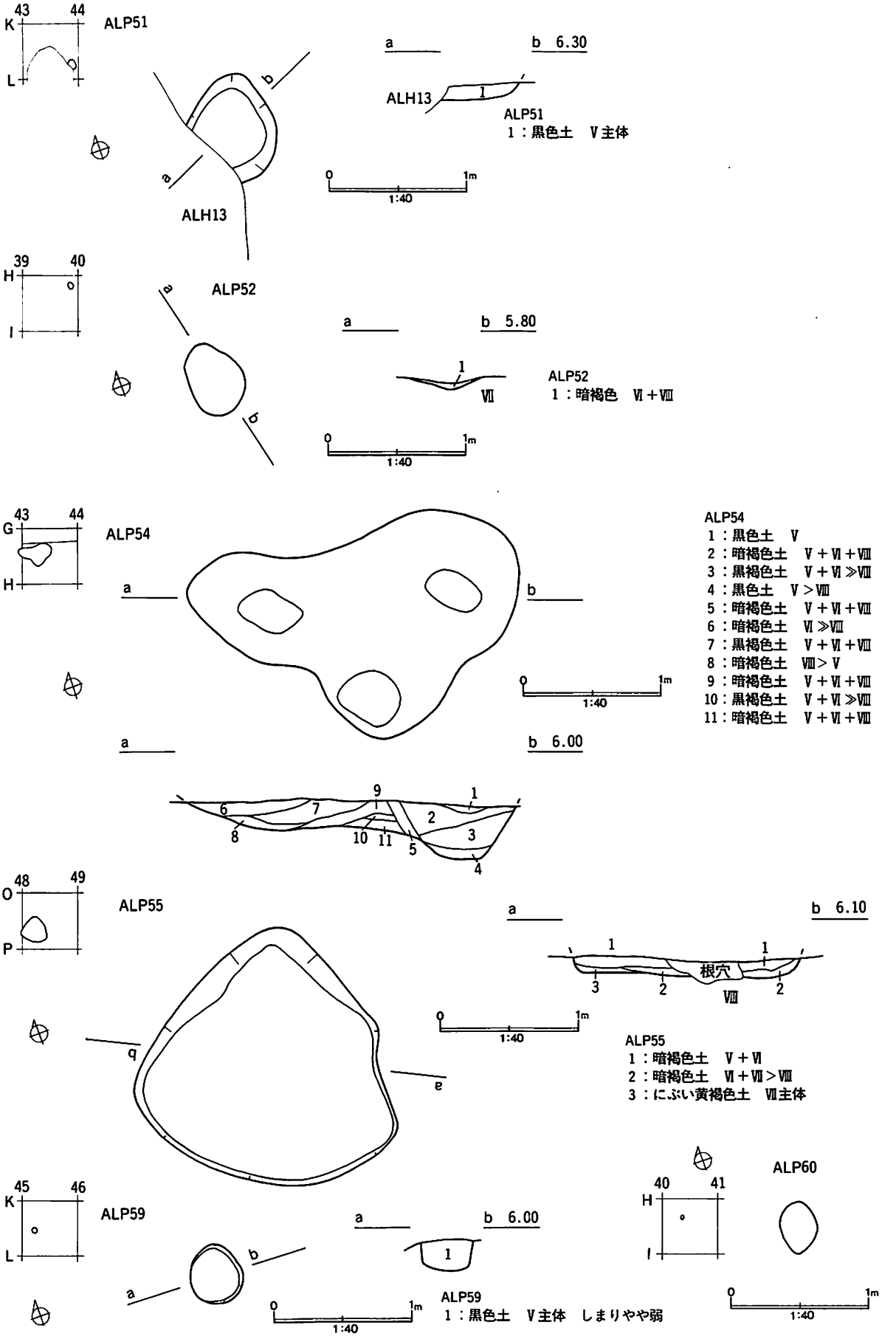
遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－59（図Ⅳ－73）

位　置　K－45

規　模　0.42×0.38／0.37×0.33／0.23m



図Ⅳ－73　ALP－51・52・54・55・59・60

平面形　円形

確認・調査　ALH－3の掘上土調査後、Ⅶ層で黒色土の落ち込みがみられた。半截して土層断面などを観察したところ、底面や立ち上がりが確認されたことなどから遺構と判断した。

底　面　やや丸みを帯びる。

覆　土　しまりの弱い黒色土である。

壁　面　ほぼ垂直に立ち上がる。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALP－60（図Ⅳ－73）

位　置　H－40

規　模　0.38×0.26m

平面形　楕円形

確認・調査　包含層調査後、Ⅶ層で混在する土の堆積がみられた。半截して土層断面などを観察したところ、Ⅶ層との層境界が明瞭であったことなどから遺構と判断した。

底　面　浅い皿状であった。

壁　面　底面との境が不明瞭なものであった。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

(5)　焼　土（図Ⅳ－74・75）

ALF－3（図Ⅳ－74）

位　置　Z－51

規　模　0.46×0.28m

平面形　隅丸長方形

確認・調査　盛土調査終了後、Vb層上面で極暗赤褐色を呈する部分がみられた。半截し、層厚1cm未満の焼土であることを確認した。層境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　類例から盛土遺構形成の頃と思われる。

ALF－4（図Ⅳ－74）

位　置　Z－51

規　模　0.36×0.24m

平面形　楕円形

確認・調査　盛土調査終了後、Vb層上面で極暗赤褐色を呈する部分がみられた。半截し、層厚1cm未満の焼土であることを確認した。層境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　類例から盛土遺構形成の頃と思われる。

ALF－5（図Ⅳ－74）

位　置　Z－51

規　模　0.24×0.22m

平面形　円形

確認・調査　盛土調査終了後、Vb層上面で極暗赤褐色を呈する部分がみられた。半截し、層厚1cm未満の焼土であることを確認した。層境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　類例から盛土遺構形成の頃と思われる。

ALF－6（図Ⅳ－74）

位　置　Z－52

規　模　0.42×(0.22)m

平面形　円形

確認・調査　盛土調査終了後、Vb層上面で極暗赤褐色を呈する部分がみられた。半截し、層厚1cm未満の焼土であることを確認した。層境界は漸移的である

遺　物　出土していない。

時　期　類例から盛土遺構形成の頃と思われる。

ALF－7（図Ⅳ－74）

位　置　Z－51

規　模　0.65×0.33m

平面形　不整長方形

確認・調査　盛土調査終了後、Vb層上面で極暗赤褐色を呈する部分がみられた。半截し、層厚1cm未満の焼土であることを確認した。層境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　類例から盛土遺構形成の頃と思われる。

ALF－8（図Ⅳ－74）

位　置　Z－51

規　模　0.32×0.24／0.06m

平面形　楕円形

確認・調査　盛土調査終了後、Vb層上面で炭化物の集中とにぶい赤褐色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、層厚6cm程度の焼土であることが確認された。層境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　類例から盛土遺構形成の頃と思われる。

ALF－9（図Ⅳ－74）

位　置　f－49

規　模　0.80×(0.70)m

平面形　不整形

確認・調査　包含層調査中、赤みを帯びた土のまとまりがみられた。調査の都合上、平面形のみ記録した。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代後期中葉～後葉と思われる。

ALF－10（図Ⅳ－74）

位　置　f－49

規　模　0.88×0.32／0.06m

平面形　不整長方形

確認・調査　包含層調査中、ニ層で焼土と黒褐色土の入り混じる部分がみられた。半截したところ、断面でも同じ様子が確認された。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代後期中葉～後葉と思われる。

ALF－11（図Ⅳ－74）

位　置　f－49

規　模　0.98×0.61／0.03m

平面形　不整形

確認・調査　包含層調査中、ニ層で焼土と黒褐色土の入り混じる部分がみられた。半截したところ、断面でも同じ様子が確認された。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代後期中葉～後葉と思われる。

ALF－12（図Ⅳ－74）

位　置　e－49

規　模　0.52×0.40／0.04m

平面形　不整形

確認・調査　包含層調査中、ニ層で焼土と暗褐色土の入り混じる部分がみられた。半截したところ、断面でも同じ様子が確認された。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代後期中葉～後葉と思われる。

ALF－13（図Ⅳ－74）

位　置　e・f－48

規　模　1.22×0.59m

平面形　不整形

確認・調査　包含層調査中、赤みを帯びた土のまとまりがみられた。調査の都合上、平面形のみ記録した。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代後期中葉～後葉と思われる。

ALF－14（図Ⅳ－74）

位　置　e－48

規　模　0.18×0.14m

平面形　不整円形

確認・調査　包含層調査中、赤みを帯びた土のまとまりがみられた。調査の都合上、平面形のみ記録した。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代後期中葉～後葉と思われる。

ALF－15（図Ⅳ－74）

位　置　e－48

規　模　0.22×0.14m

平面形　不整形

確認・調査　包含層調査中、赤みを帯びた土のまとまりがみられた。調査の都合上、平面形のみ記録した。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代後期中葉～後葉と思われる。

ALF－16（図Ⅳ－74）

位　置　f－49

規　模　0.64×(0.25)／0.06m

平面形　不整円形

確認・調査　包含層調査中、焼土と黒褐色土の入り混じる部分がみられた。半截したところ、断面でも同じ様子が確認された。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代後期中葉～後葉と思われる。

ALF－17（図Ⅳ－74）

位　置　e・f－48・49

規　模　1.48×0.67m

平面形　不整形

確認・調査　包含層調査中、赤みを帯びた土のまとまりがみられた。調査の都合上、平面形のみ記録した。

遺　物　出土していない。

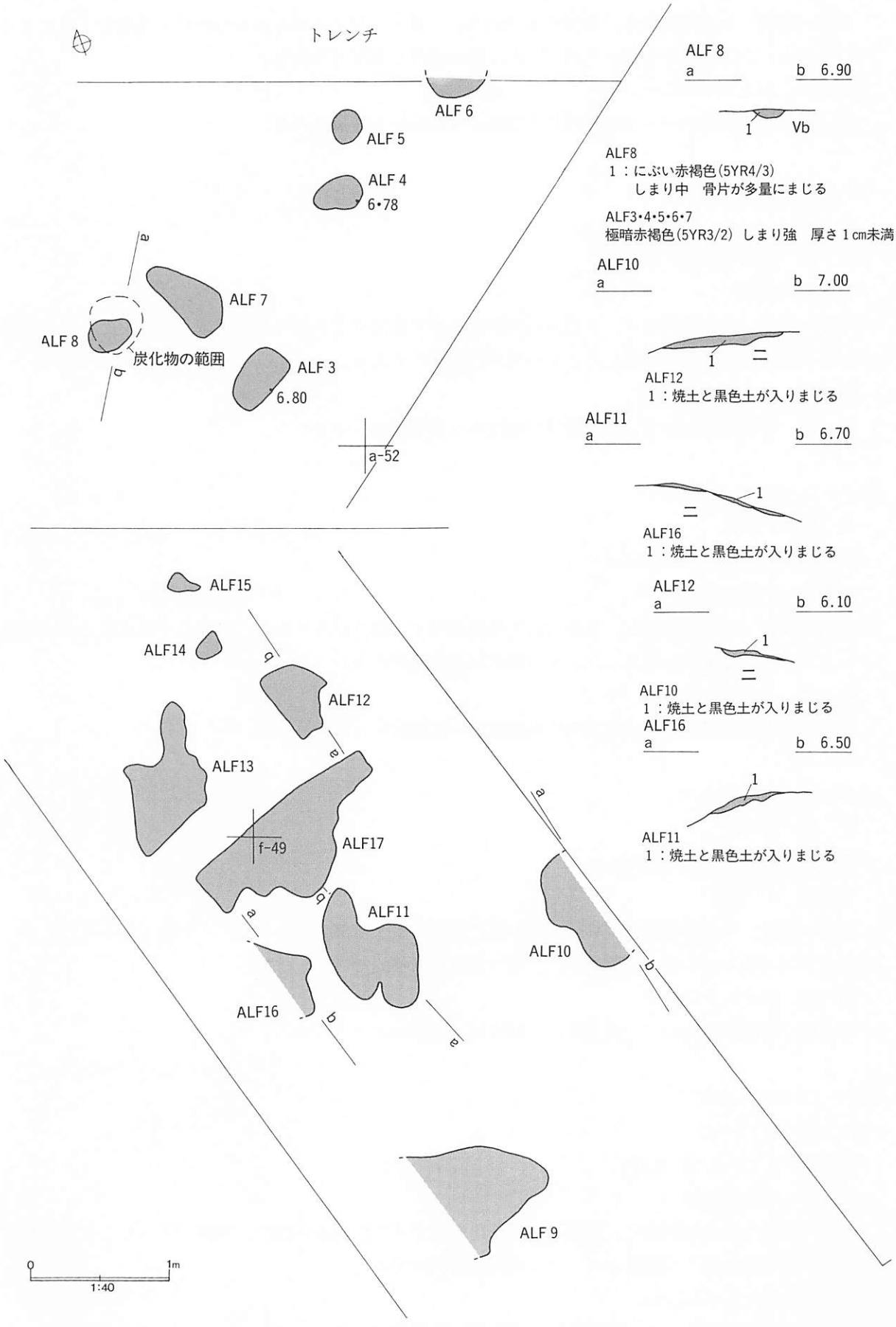
時　期　周囲の遺物から、縄文時代後期中葉～後葉と思われる。

ALF－19（図Ⅳ－75）

位　置　J－42

規　模　0.40×0.20／0.04m

平面形　楕円形


トレンチ
ALF 6
ALF 5
ALF 4
6•78
ALF 7
ALF 8
炭化物の範囲
ALF 3
6.80
a-52
ALF15
ALF14
ALF12
ALF13
f-49
ALF17
ALF11
ALF16
ALF10
ALF 9
0
1m
1:40
ALF 8
a
b 6.90
1
Vb
ALF8
1：にぶい赤褐色(5YR4/3)
しまり中　骨片が多量にまじる
ALF3•4•5•6•7
極暗赤褐色(5YR3/2) しまり強　厚さ1㎝未満
ALF10
a
b 7.00
1
ALF12
1：焼土と黒色土が入りまじる
ALF11
a
b 6.70
1
ALF16
1：焼土と黒色土が入りまじる
ALF12
a
b 6.10
1
ALF10
1：焼土と黒色土が入りまじる
ALF16
a
b 6.50
1
ALF11
1：焼土と黒色土が入りまじる

図Ⅳ－74　ALF－3～17

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ層の面でにぶい赤褐色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－20（図Ⅳ－75）

位　置　J－41

規　模　0.52×0.50／0.08m

平面形　円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ層の面で橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－21（図Ⅳ－75）

位　置　J－41

規　模　0.52×0.26／0.04m

平面形　不整楕円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ層の面で橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－22（図Ⅳ－75）

位　置　H－42

規　模　0.52×0.38／0.04m

平面形　楕円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ～Ⅶ層の面で橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－23（図Ⅳ－75）

位　置　H・I－43

規　模　0.52×0.30／0.08m

平面形　不整楕円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ層の面で橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－24（図Ⅳ－75）

位　置　I－43

規　模　0.32×0.26／0.04m

平面形　不整円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ層の面でにぶい赤褐色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－25（図Ⅳ－75）

位　置　H－40

規　模　0.30×0.22／0.03m

平面形　楕円形

確認・調査　H－40区の掘上土調査中、明赤褐色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－26（図Ⅳ－75）

位　置　G－40

規　模　0.40×(0.32)／0.06m

平面形　楕円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅴ層の下位で橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－27（図Ⅳ－75）

位　置　I・J－41

規　模　0.50×0.34／0.03m

平面形　不整楕円形

確認・調査　J－40区の掘上土調査中、橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。

遺　物　Ⅰ群b－3類土器が1点出土した。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－28（図Ⅳ－75）

位　置　J－41

規　模　0.20×0.18／0.03m

平面形　円形

確認・調査　J－41区の掘上土調査中、にぶい赤褐色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－29（図Ⅳ－75）

位　置　G－41

規　模　0.44×0.24／0.04m

平面形　不整楕円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅴ層の下位で橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－30（図Ⅳ－75）

位　置　G－41

規　模　0.46×0.44／0.06m

平面形　円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅴ層の下位で橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－31（図Ⅳ－75）

位　置　I－43

規　模　0.18×0.16／0.03m

平面形　円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ層の面で橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－32（図Ⅳ－75）

位　置　H－43

規　模　0.40×0.28／0.04m

平面形　楕円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ層の面でにぶい橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－33（図Ⅳ－75）

位　置　I－44

規　模　0.52×0.34／0.06m

平面形　不整楕円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ層の面で橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は漸移的である。

遺　物　II群a－2類土器が3点出土した。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－34（図Ⅳ－75）

位　置　I－44

規　模　0.52×0.50／0.05m

平面形　円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ～Ⅶ層の面で黄橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－35（図Ⅳ－75）

位　置　H－42

規　模　0.48×(0.24)／0.08m

平面形　楕円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ～Ⅶ層の面で橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－36（図Ⅳ－75）

位　置　H－42

規　模　0.44×0.40／0.03m

平面形　円形

確認・調査　H－42の掘上土調査中、橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－37（図Ⅳ－75）

位　置　H－41

規　模　0.90×0.58／0.06m

平面形　不整楕円形

確認・調査　包含層調査中、橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－38（図Ⅳ－75）

位　置　H－41

規　模　0.38×0.38／0.03m

平面形　円形

確認・調査　H－41の掘上土調査中、橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－39（図Ⅳ－75）

位　置　H－41

規　模　0.32×0.26／0.02m

平面形　円形

確認・調査　H－41の掘上土調査中、橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－40（図Ⅳ－75）

位　置　S－47

規　模　0.56×0.51／0.05m

特　徴　平坦地の縁辺部にあり、他の焼土とは独立した位置にある。被熱層はⅤ層で、焼土下のⅤ層がⅥ層中に落ち込んでいる。平面形は円形である。色調は極暗赤褐色だが均質でない。

遺　物　出土遺物無し。

時　期　不明である。

ALF－41（図Ⅳ－75）

位　置　P－46

規　模　0.51×0.50／0.05m

特　徴　標高約6.2m の平坦地にある。平面形は楕円形、被熱層はⅤ層だが、色調が極暗赤褐色で境界が不明瞭である。

遺　物　出土遺物無し。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半のものと思われる。

ALF－42（図Ⅳ－75）

位　置　N－41

規　模　2.02×0.96／0.13m

特　徴　標高約6.3mの平坦地にあり、ALF－43・ALF－44が隣接する。また、周囲には多数の根穴や風倒木痕がある。平面形は不整形、断面は波状になっており、いくつかの焼成スポットが連結したものと思われる。被熱層はⅥ～Ⅶ層、色調は暗赤褐色で、境界はやや明瞭である。

遺　物　出土遺物無し。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半のものと思われる。

ALF－43（図Ⅳ－75）

位　置　N－41

規　模　0.45×0.40／0.03m

特　徴　ALF－42・ALF－44に隣接する。平面形は円形、被熱層はⅥ～Ⅶ層だが、色調が暗赤褐色で境界が不明瞭である。

遺　物　出土遺物無し。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半のものと思われる。

ALF－44（図Ⅳ－75）

位　置　N－41

規　模　0.50×0.41／0.09m

特　徴　ALF－42・ALF－43に隣接する。平面形は円形、被熱層はⅥ～Ⅶ層だが、焼土の下がやや乱れた土層になっている。色調は暗赤褐色で、境界がやや明瞭である。

遺　物　出土遺物無し。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半のものと思われる。

ALF－45（図Ⅳ－75）

位　置　N－39

規　模　0.56×0.48／0.14m

平面形　不整円形

特　徴　Ⅴ層（Enpが凍結破砕により細かくなっている）の上にある焼土。厚みは2㎝。検出面で南西部分はすでに細かなⅤ層が出ている。北東側は比較的焼土の残り良好。遺物は含まない。

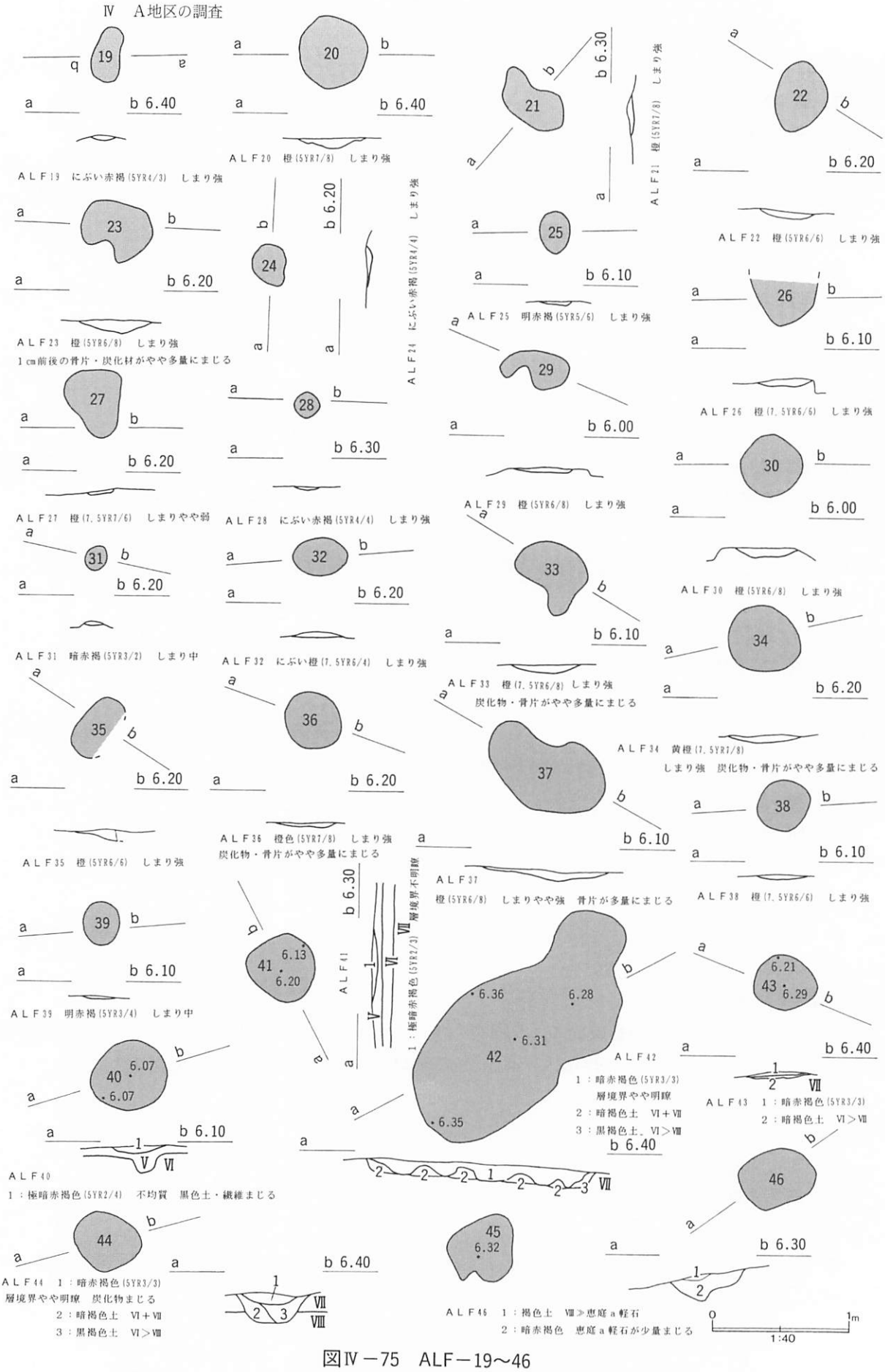
ALF－46（図Ⅳ－75）

位　置　N－38・39

規　模　0.52×0.40／0.16m

平面形　楕円形

特　徴　焼土中には炭化物を少量含む。ピットの凹みに焼土を入れた可能性が強い。北西部分をサンプリングした。



図Ⅳ－75　ALF－19～46

ALF－47（図Ⅳ－76）

位　置　G－39

規　模　0.70×0.58／0.09m

平面形　不整円形

特　徴　骨片は、焼土中に含まれないが付近の褐色土中から出土する。ベンガラかと思われる朱色の粒を微量含む。北半分サンプリングした。焼土を掘り下げると、Ⅶ層中にある大粒のEnpが出土する。

ALF－48（図Ⅳ－76）

位　置　H－39

規　模　0.21×0.17／0.04m

平面形　円形

特　徴　焼土のすぐ北側からは、口唇断面が丸形の静内中野式とみられる無文の破片が1点出土したが、焼土中に遺物は見られなかった。北半分1袋サンプリング。焼土を掘り下げると、Ⅶ層中にある大粒のEnpが出土する。

ALF－49（図Ⅳ－76）

位　置　H－39

規　模　0.47×0.46／0.03m

平面形　不整円形

特　徴　黒褐色土の上に焼土がのっている。焼土は、廃棄されたものと考えられる。その検出面で白い骨片が目立つ。ALF－47・48とは異なる焼土。黒曜石の石鏃片1点出土。西側1.1～1.6mの斜面下には前期の土器の大きな口縁部破片が2点出土し接合した。

ALF－50（図Ⅳ－76）

位　置　H－39

規　模　0.20×0.17／0.02m

平面形　楕円形

特　徴　ALF－49同様に焼土は、黒褐色土の上にのっている。Ⅴ層中の焼土。下の黒褐色土中からは、骨片が出土する。付近にはALF－48・50のような径15cm程度の焼土がほかにも分布する。50cm東側の斜面上には、緑色泥岩製の石斧（長さ9.5cm）が1点出土。その南側には径15cmほどの焼土が斑状に分布する。

ALF－51（図Ⅳ－76）

位　置　H－38

規　模　0.50×0.48／0.06m

平面形　不整円形

特徴・確認・調査　焼土1層には骨片を含むが、焼土2層中には骨片を含まない。この焼土もALF－49・50と同様に黒褐色土（Ⅴ層）中にある。1・2層別に北西半分をサンプリングした。

ALF－52（図Ⅳ－76）

位　置　L－42

規　模　0.60×0.40／0.04m

平面形　不整楕円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ層の面でにぶいを呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半のものと思われる。

ALF－53（図Ⅳ－76）

位　置　N－44・45

規　模　1.34×1.00／0.15m

特　徴　ALH－10の南に位置する。周囲には風倒木痕があり、また焼土よりも上位の遺物包含層からは縄文早期中茶路式の一括土器が出土している。焼土の平面形は不整形で、断面も乱れている。被熱層はⅥ～Ⅶ層だが、根穴などに形成されたものと思われる。色調は赤褐色で境界が不明瞭である。En-a パミスや炭化物を含んでいる。

遺　物　出土遺物無し。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半のものと思われる。

ALF－54（図Ⅳ－76）

位　置　I－40

規　模　0.18×0.12／0.04m

平面形　円形

確認・調査　I－40の掘上土調査中、橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は明瞭である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－55（図Ⅳ－76）

位　置　I－40

規　模　0.42×0.08／0.04m

平面形　不整形

確認・調査　I－40の掘上土調査中、橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は明瞭である。

遺　物　Ⅰ群ｂ類土器が25点出土した。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－56（図Ⅳ－76）

位　置　I－40

規　模　0.46×0.26／0.04m

平面形　楕円形

確認・調査　I－40の掘上土調査中、橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界はやや明瞭である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－57（図Ⅳ－76）

位　置　H－42

規　模　0.38×0.38／0.03m

平面形　円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ～Ⅶ層の面で橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－58（図Ⅳ－76）

位　置　H－41

規　模　0.50×0.42／0.05m

平面形　円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ層の面で橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－59（図Ⅳ－76）

位　置　I－40

規　模　0.18×0.12／0.04m

平面形　円形

確認・調査　包含層調査中、Ⅵ層の面で橙色を呈する部分がみられた。半截してみたところ、断面がレンズ状となる焼土を確認した。層の境界は漸移的である。

遺　物　出土していない。

時　期　周囲の遺物から、縄文時代早期後半～前期前半と思われる。

ALF－61（図Ⅳ－76）

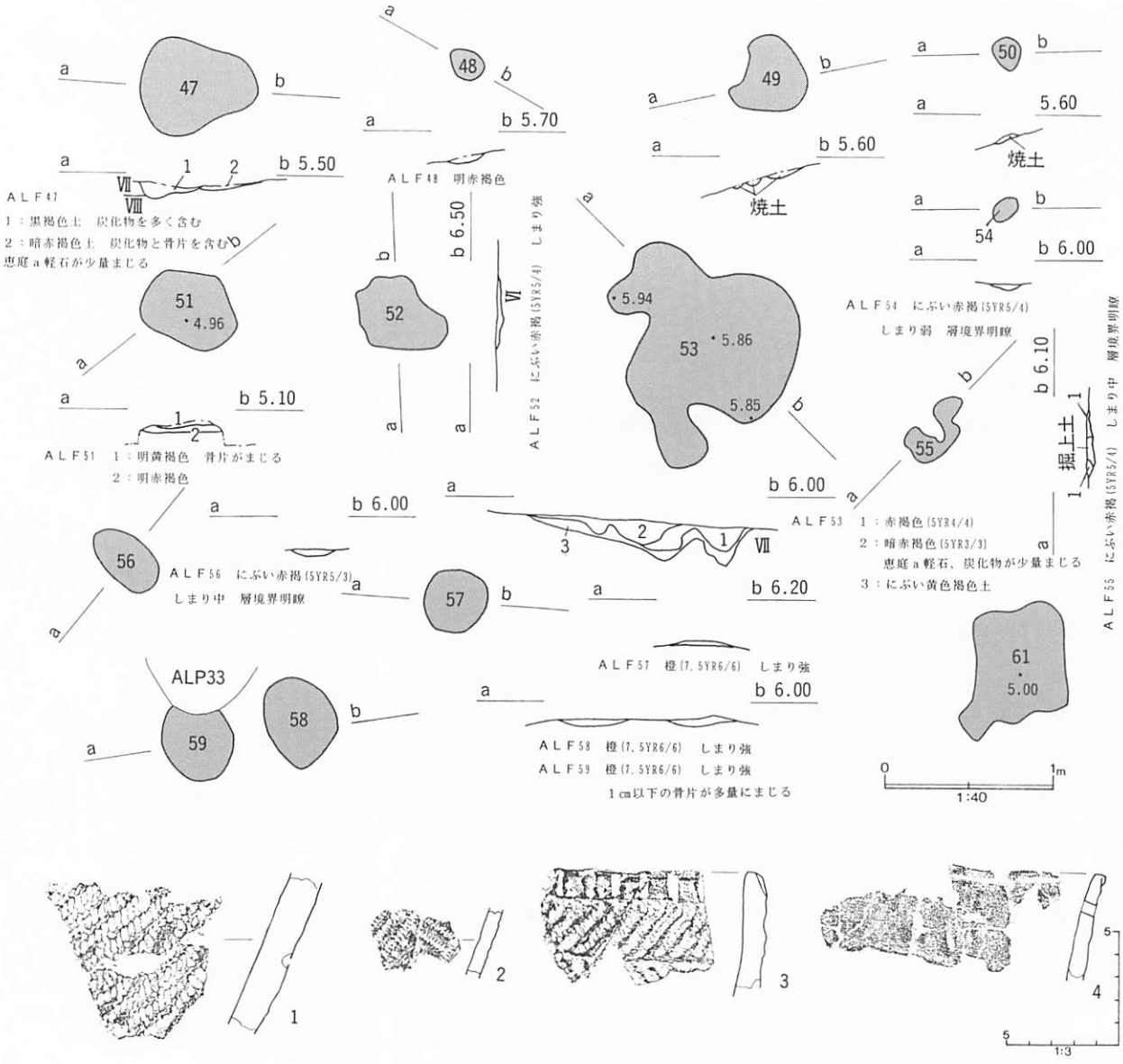
位　置　H－38

規　模　0.89×0.73m

平面形　不整方形

焼土出土の遺物

ALF－33出土の遺物（図Ⅳ－76）



図Ⅳ－76　ALF－47～59・61と焼土出土の遺物

1はLR原体による斜行縄文が施されている。II群a－2類に相当する。

ALF－46出土の遺物（図Ⅳ－76）

2は0段1を用いた絡条体圧痕文が斜めにみられる。Ⅰ群b類に相当する。3は口唇直下の無文帯に、丸棒状の工具によって刻みが施されている。

ALF－55出土の遺物（図Ⅳ－76）

4は口縁部端に粘土紐の貼付がなされる。他は無文。補修孔が穿たれる。Ⅰ群b類に相当する。

(6) **石斧集中**（図Ⅳ－77～80）

位　置　T－42・43

規　模　0.65×0.45m

確認・調査　R～Uライン間のうち北側の早期、前期の遺構集中部分から離れた低地にあたる。T－42区をスコップで掘り下げていたところ、東側のV層中位で石斧のまとまりを検出した。同区の北西隅では、石斧と同じレベルにII群a－1類土器とすり石の破片が、中央部に石斧原石と石斧未製品が各1点出土した。

石斧のまとまりは東隣のT－43区にも広がっていたため50cm東側に拡張した。東側は石斧のほかに、頁岩のフレイクも含み、遺物全体の広がりは、東西0.65m、南北0.45mの楕円形の範囲であった。全体を確認後、出土状況を実測し遺物を取り上げたが、さらにその下にも石斧などの遺物が重なっており、再び出土状況を実測し調査を終了した。

出土遺物は石斧23点、頁岩フレイク48点、黒曜石フレイク3点である。遺物の下には掘り込みがないことからそのまま置かれたものと思われる。

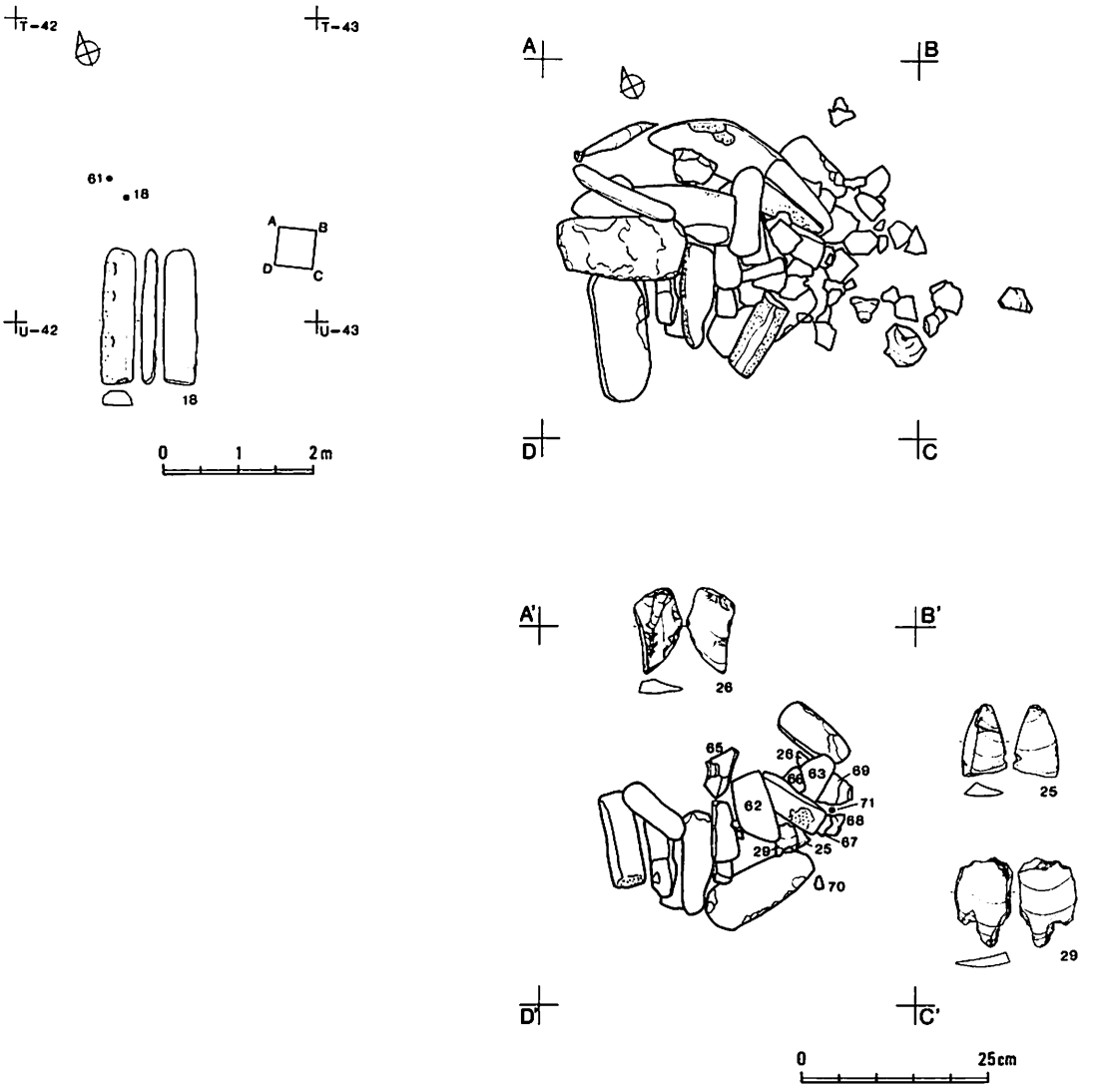
遺　物　出土遺物は全部で79点、内訳は礫石器24点、つまみ付きナイフ1点、フレイク54点である。礫石器には石斧3点、石斧未製品16点、石斧原石4点、たたき石1点。フレイクは石材別に黒曜石3点、メノウ質頁岩3点、頁岩48点である。ここから北西へ約2.5mのところから石斧原石と未製品が1点ずつ出土しており、これについても石斧集中の遺物に含めた。

時　期　時期については、同じ高さからII群a－1類土器が出土しているので、縄文時代前期前半と思われた。しかし、重なって出土し遺物の間に挟まれた泥炭を^{C}14年代測定資料として依頼したところ、4400±60BP.（Beta-126192）と縄文時代中期の測定結果が出ている。

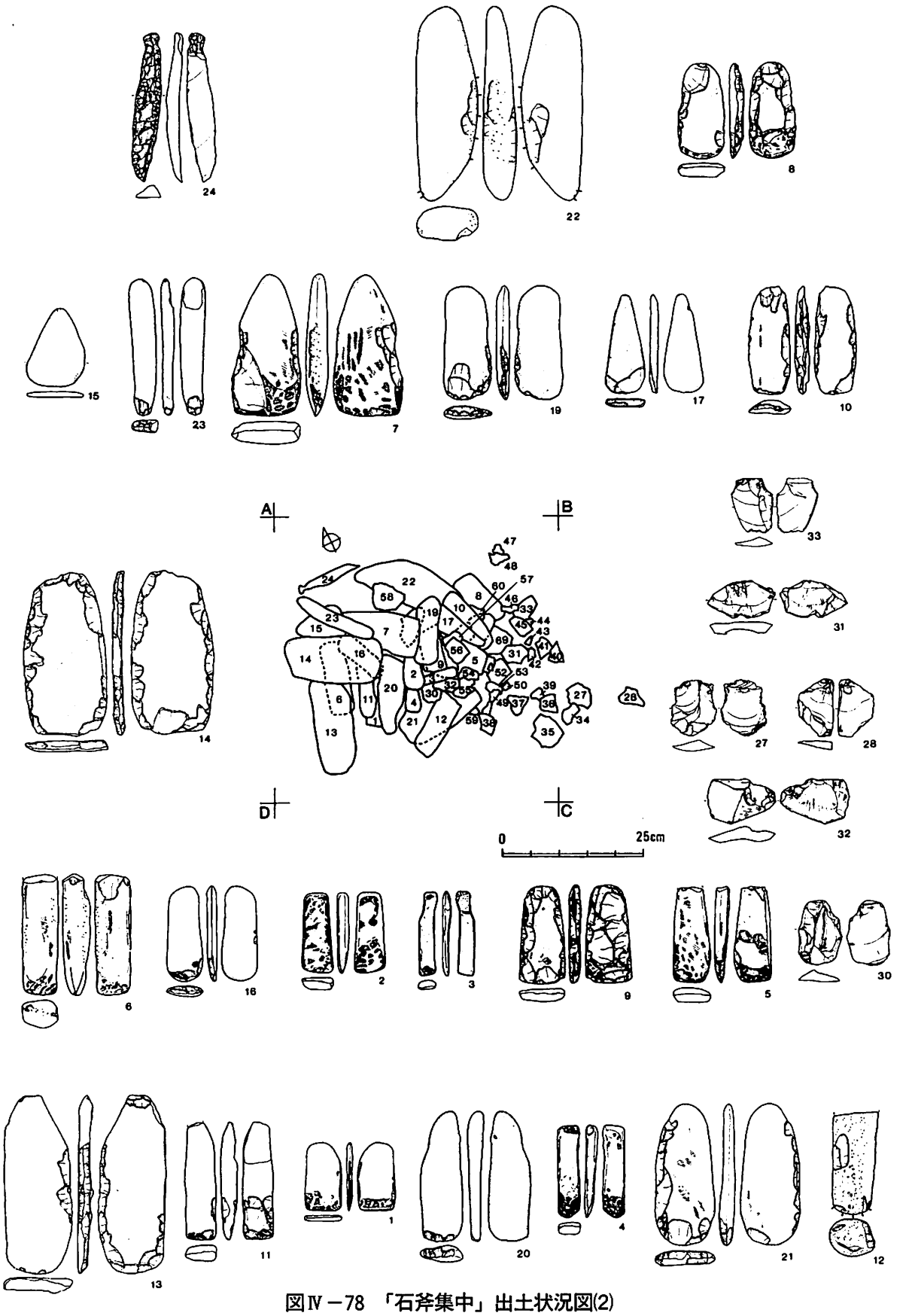
石斧集中の出土遺物（図Ⅳ－79・80）

1から11、13から23は石斧である。1から4は短冊形で刃部を擦りによって作出されたものである。6は棒状の礫から敲打－擦りによって作出されたものである。7・8・9・10は撥形のもので粗割－擦りによって作出されたものである。11は棒状で粗割－擦りによって作られたものである。13から23は素材、未成品の部分を多く残すもので、粗割－擦りの痕跡が認められる。22にはたたき痕も認められる。全て頁岩製ものものである。

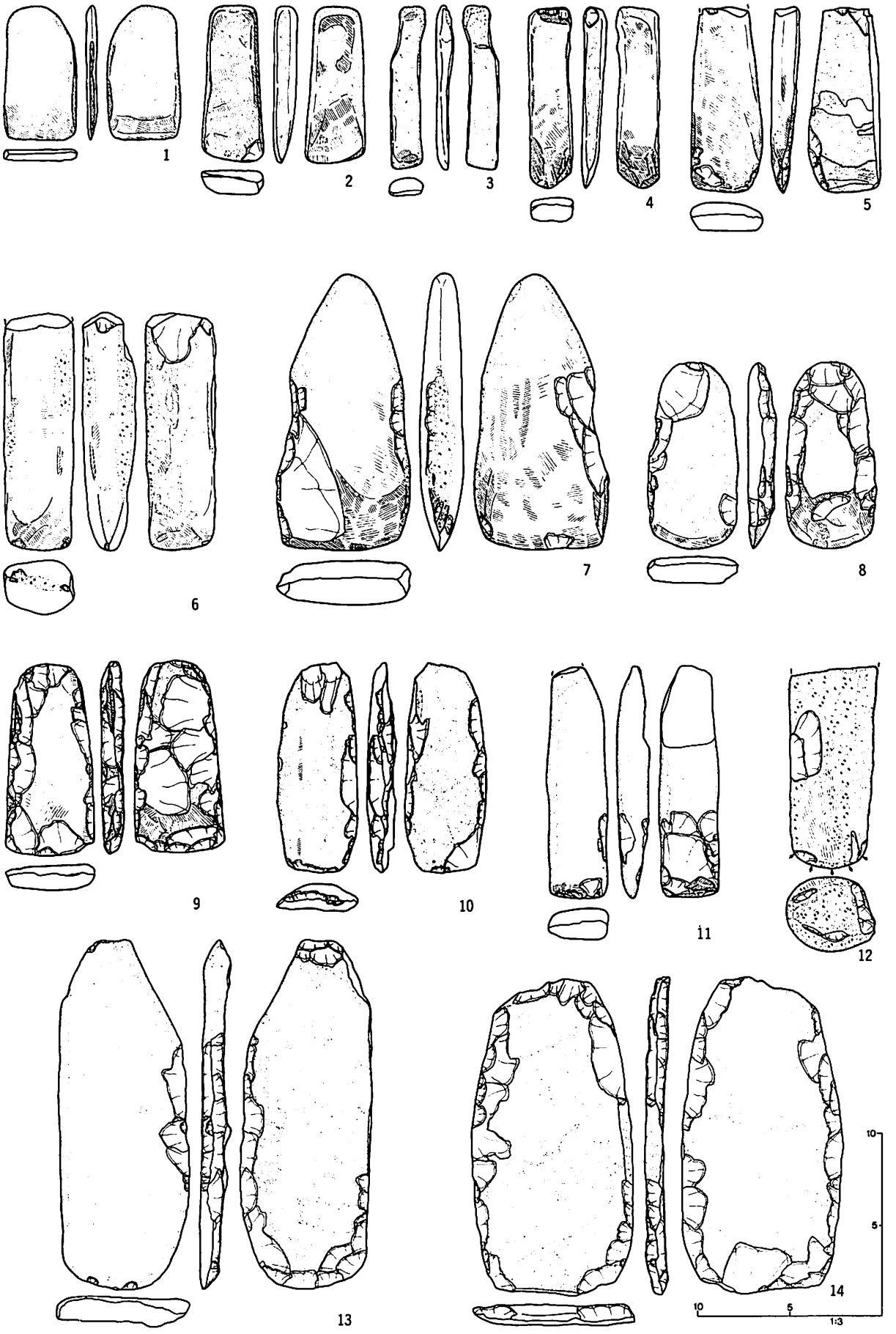
12はたたき石である。敲打－擦りによって作出された棒状礫の下端部に敲打痕が認められるものである。24はつまみ付きナイフである。縦形のもので、片面全面加工により周縁に刃部を作っている。素材は暗茶褐色の頁岩である。フレイクは50点出土し、9点を掲載した。25から30、33は縦形剝片のものである。31・32は横形のものである。



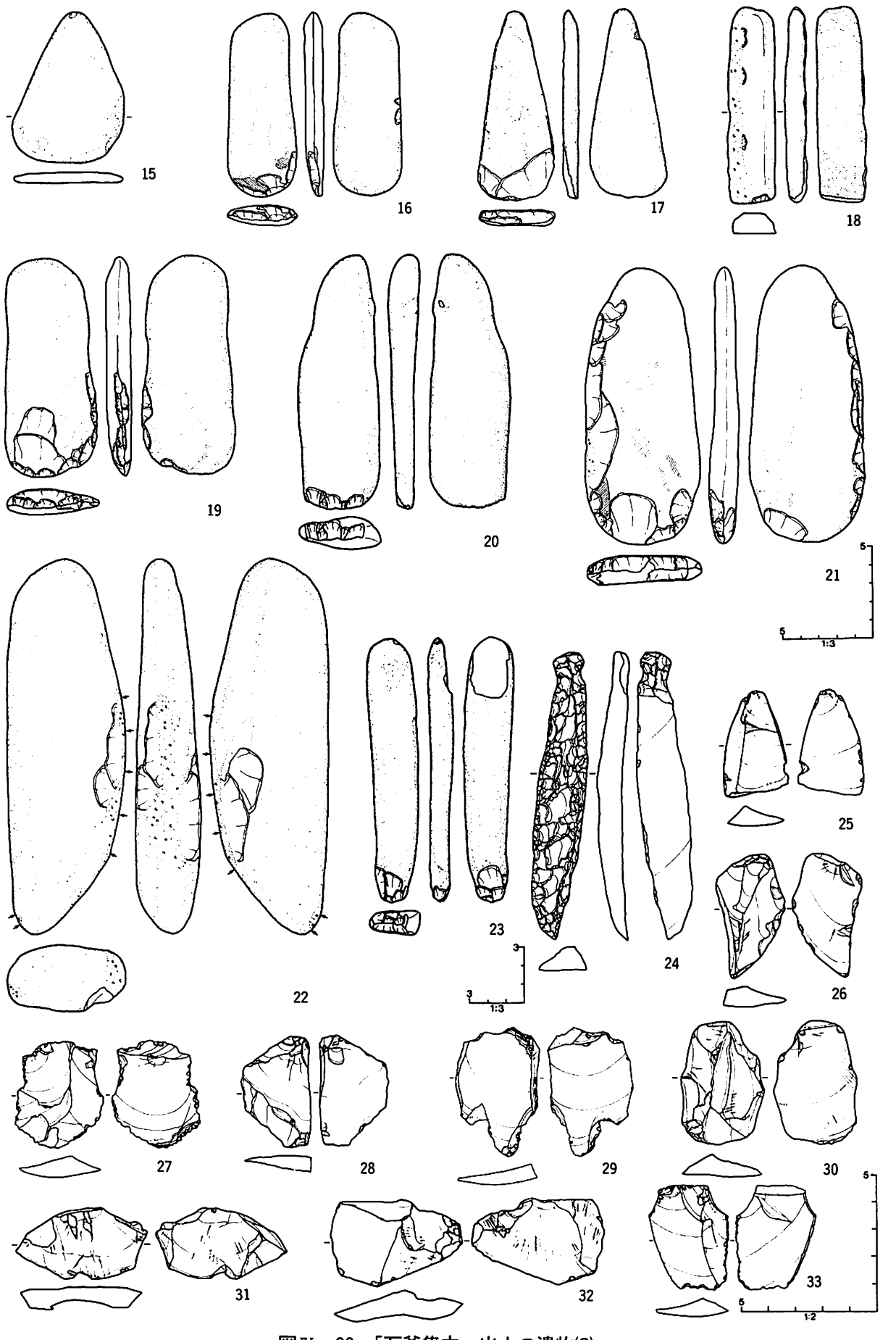
図Ⅳ－77　「石斧集中」出土状況図(1)



図Ⅳ－78 「石斧集中」出土状況図(2)



図Ⅳ－79　「石斧集中」出土の遺物(1)



図Ⅳ－80　「石斧集中」出土の遺物(2)

3　包含層の遺物

(1) 土　器

「縄文早期・前期の土器」

Ⅰ群b－1類土器（図Ⅳ－82・83）

1～3は内面に条痕がみられる同一個体である。1は口縁部がやや外反する。口縁部にはR原体による側面圧痕が3条施される。胴部はLR原体による縄文が斜行、横走気味に施文される。2はR原体による側面圧痕が2条施され、LR原体による縄文が斜行、横走気味に施文される。拓影図では判然としないが、R原体による縦の側面圧痕も2条施されている。条痕は横、斜め方向にみられる。3はLR原体による横走縄文が施文される。条痕は斜め方向にみられる。

4～19は口縁部の破片である。口唇断面はほとんどが外に張り出す。4は組紐圧痕文が縦位に施文される。5は組紐圧痕文が縦横に施文される。20、42と同一個体と思われる。6、7は組紐圧痕文と短縄文が組み合わさって施される。ともに口唇にも縄文原体による施文がみられる。7にはボタン状の貼付があり、その上に短縄文が施文される。8～16は口唇直下に短縄文が施文される。8は組紐圧痕文施文後に短縄文が施される。口唇にも縄文原体による施文がみられる。9には補修孔が穿たれている。10は組紐圧痕文も施されている。11は縄端がループ状となっている。12の口唇には縄文原体による押圧列がみられる。13は縄端部分も用いられた短縄文。32と同一個体と思われる。14の口唇は縄文原体の押圧により凸凹になる。15、16は縄端部分を用いた短縄文が施文される。16の縄端はループ状となっている。17は無文である。18は絡条体圧痕文、斜行縄文、短縄文が組合わさって施文される。19は縄文が縦走気味に施される部分がある。

20～41は胴部の破片である。20は組紐圧痕文が横、斜めに施文される。21、22、23、25は組紐圧痕文と縄端部分を用いた短縄文が施文される。24は組紐圧痕文の向きを変えている。26、27は縄端部分を用いた短縄文のみがみられるものである。ともに縄端部分がループ状となる。28は短縄文、組紐圧痕文、縄文が組み合わさって施文される。組紐圧痕文には向きを変えて施文しているものもある。29は組紐圧痕文と縄文の組み合わせ。組紐圧痕文は向きを変えて施文している。30、31ともに底部付近の破片である。30は底部付近に短縄文、それ以外は縄端部分を用いた短縄文を施している。32は縄文と短縄文が施文される。33はLR原体による横走縄文と短縄文の組み合わせ。34の原体は判然としないが、型押であろうか。35、36は絡条体圧痕文が施される。37はRL原体の側面圧痕と縄端部分を用いた短縄文、縄文が施されている。38はRL原体の側面圧痕と縄文が施文される。39～41は粘土紐が貼される。39は1段RとLを並列させた側面圧痕で矢羽状を呈する。器面から粘土紐にかけては縄端圧痕文が施される。40には縦走、斜行する縄文がみられる。器面から粘土紐にかけて縄文原体の圧痕がみられる。粘土紐の断面は三角である。41は地文となる縄文を施文後、粘土紐を貼付している。粘土紐上には指頭の圧痕がみられる。

42～48は底部の破片である。42の底部端は張り出す。底径10.9cm、現存器高6.5cm。張り出す底部の外面には組紐圧痕文が縦に、胴部下半には横位に施文されている。43の底部端には短縄文、胴部下半にはLR原体による横走気味の縄文が施文される。44、45は底部端に短縄文が施文される。46は地文の縄文を施文後、粘土紐を貼付している。粘土紐上には指頭圧痕がみられる。底部端には短縄文が施文される。47は底部端に短縄文を2段施文している。48は底部端に短縄文が施文され、指頭の圧痕も連続してみられる。外底面には縄のような跡がみられる。推定底径10.8cm。

Ⅰ群b－2類土器（図Ⅳ－81－1・2、図Ⅳ－84・85）

1、2は同一個体である。図面上は別にしてあるが、図上復元による推定器高は27.2cmである。器形は底部端が外に張り出し、あまり広がらずに口縁部へとつながる。推定口径23.0cm、底径11.0cm。口縁部には突起部が1カ所みられ、口唇断面は丸みを帯びた角形である。粘土紐は口唇直下に1条めぐる他、胴部にも貼付される。粘土紐の断面形は半円、または三角形状である。器面から粘土紐にかけては短縄文が施文される。胴部上半にはボタン状の貼付がなされる。ボタン状貼付の上と縁には短縄文が施される。胴部上半には短縄文と2条を交差させた絡条体圧痕文が並列して施文される。胴部下半では2条を交差させた絡条体圧痕文のみ施文される。底部端には短縄文が施文される。

1～11は口縁部の破片である。1、2は同一個体である。ともに粘土紐が貼付され、器面から粘土紐上にかけて縄端の圧痕がみられる。口唇にはR原体による圧痕列がみられる。1の組紐圧痕文の幅は3㎜程でⅠ群b－1類より細くなる。2の垂下する粘土紐は横走するものより先に貼付されている。また、垂下する粘土紐上にもR原体による圧痕が施される。3、4、5は羽状縄文が施されている。4は羽状縄文の間に縄端の圧痕を施している。5は縦の羽状縄文となっている。口唇直下に粘土紐が貼付される。口唇には縄文原体による圧痕列がみられる。6の原体は丸棒状の軸に0段rを巻いた絡条体である。26と同一個体と思われる。7は粘土紐間に短縄文が施文される。粘土紐上には縄文原体による圧痕列がみられる。8は縦の組紐圧痕文を施文後、粘土紐を貼付している。粘土紐上と口唇には縄文原体による圧痕列がみられる。9は粘土紐が縦、横に貼付され、粘土紐上には縄文原体による圧痕列と縄文がみられる。粘土紐間には縄文が施文される。口唇には細い棒状工具によると思われる刻み列がみられる。10は粘土紐上の縄文原体による圧痕が器面まで達する。口唇には細い棒状工具によると思われる刻み列がみられる。11は口唇と内面にも粘土紐が貼付される。内外面、口唇とも縄文原体による圧痕列がみられる。17と同一個体と思われる。

12～34は胴部の破片である。12の破片上部は、拓影図では判然としないが、幅2㎜程の組紐圧痕文が施されている。粘土紐上の縄文原体による圧痕は器面まで達する。粘土紐間には縄文が施文され、羽状縄文をなしている。13は粘土紐の貼付と組紐圧痕文、短縄文が施文され、幾何学的な文様構成となっている。14は粘土紐の貼付と組紐圧痕文、縄文が施文される。組紐圧痕文の端部は器面に強く押し付けられている。15は粘土紐間に短縄文と縄文が施文される。16は胴部下半である。粘土紐間に縄文、短縄文が施文される。17はRL原体による縦走気味と横走気味の縄文を施した後、粘土紐を貼付している。18は粘土紐間に短縄文と縄文が施文される。粘土紐上の刻みは細い棒状工具によるものと思われる。19は粘土紐間に短縄文が2段施文される。20は粘土紐が縦、斜めに貼付される。貼付上の刻みは細い角状の棒状工具によるものと思われる。21は短縄文を施した後、粘土紐が貼付される。粘土紐上にはLR原体による縄文がみられる。22には結束第一種の原体による羽状縄文が施文される。23は縄文が縦走、横走して施される。24、25は羽状縄文を施文後、粘土紐が貼付される。26は粘土紐の貼付と丸棒状の軸に0段rを巻いた絡条体圧痕文がみられる。粘土紐上の刻みは縄文原体によるものである。27の原体は丸棒状の軸に0段rを巻いた絡条体である。粘土紐上にも強く施文される。28は先端が尖り気味の工具による下からの刺突がみられる。29は羽状縄文の間に、竹管状工具による刺突列がみられる。30は整然とした羽状縄文が施文されている。31は羽状縄文が菱形状に構成される部分がある。32、33は羽状縄文の間に縄端による刺突列がみられる。33は胴部下半の破片である。34は斜行縄文中に縄端による刺突列がみられる。

35～50は底部の破片である。35は底部のくびれ部分に結束第一種原体による羽状縄文が施文される。底部端には指頭の圧痕列がみられる。粘土紐上には櫛状工具による刻み列がみられる。底径8.5cm。3

6は短縄文が施文され、間には縄端による刺突列がみられる。37、38は絡条体圧痕文が施文され、絡条体にはともに1段Lが巻かれているとみられる。39は粘土紐が縦、横に貼付される。粘土紐上には縄文原体による押圧列がみられる。地文は2条を交差させた絡条体圧痕文である。40、41はくびれ部分に短縄文が施文される。41の推定底径は5.6cmと小さめである。42は斜行縄文が施文される。43は羽状縄文が施文される。推定底径10.4cm。44は羽状縄文の間に縄端による刺突列がみられる。底部端には細い棒状工具による刻みがめぐる。45は斜行縄文が施文される。張り出しはない。46はやや内湾気味にたちあがる。粘土紐は細いものが貼付されている。推定底径9.8cm。47は内底面にR原体による施文がみられる。推定底径8.2cm。48、49は底部端に短縄文が施文される。張り出しはない。48は内面の指頭圧痕が顕著である。推定底径10.0cm。49は羽状縄文の間に先端が尖り気味の工具による刺突列がみられる。破片上部には粘土紐の細い貼付がみられる。50は結束第一種原体による羽状縄文が施文される。推定底径7.0cm。内面には炭化物の付着が一部みられる。

Ⅰ群b－3類土器（図Ⅳ－81－3・4・8・9、図Ⅳ－86・87）

3は現存器高9.3cm、底径7.2cm。底部から胴部へ緩やかにつながる。微隆起線間にはRL原体による短縄文が施文されるが、底端部は無文である。

4は器高11.6cm、推定口径14.3cm、推定底径5.5cm。底部～口縁部へ開き気味につながる。口唇断面はやや丸みを帯びるが尖り気味である。底部端はやや丸みを帯びる。粘土紐は4条貼付され、その間は絡条体圧痕文が横と斜めに施文される。原体は丸棒状の軸に0段1を巻いたものと思われる。

8、9は小型の異形中茶路式土器である。8は現存器高4.2cm。底部端は丸みを帯び、やや内湾気味に立ち上がる。断面をとった位置に割れ口があり、部分的にまだ上方へ伸びるようである。口唇断面は尖り気味の部分と平らな部分がある。上面観は楕円形状になると思われ、破片の長軸上には口縁が外に張り出す部分もみられる。器厚は5㎜程である。微隆起線間は1段Rによる短縄文が施文される。

9も上面観が楕円形を呈すると思われ、破片の長軸上には口縁部が外に張り出す部分もみられる。その他の口唇断面は尖り気味である。微隆起線間には縄端を用いた短縄文が施文される。

1～27は口縁部の破片である。1は羽状縄文施文後、横走する粘土紐と波打つ粘土紐を貼付している。横走する粘土紐上には細い棒状工具による浅い刻み列がみられる。2は斜行縄文が粘土紐上にも施文される。3は粘土紐上に細い棒状工具による浅い刻み列がみられる。4は口唇と粘土紐上に縄文原体による押圧列がみられる。5、6の粘土紐は薄く、その上にも斜行縄文が施文される。7は羽状縄文が施文される。8の縄文は縦走気味である。9は口唇直下にのみ粘土紐の貼付がみられる。10の口唇には棒状工具による刻み列がみられる。11、12は粘土紐間に短縄文が施文される。13は粘土紐間に短縄文が施文される部分と無文の部分がある。口唇直下の粘土紐以外は波打つ。14は粘土紐が斜めにも貼付される。粘土紐間は短縄文の部分と無文の部分がある。15の口縁は波状である。粘土紐間は短縄文と無文が繰り返される。16の口縁も波状であり、粘土紐も波状に貼付される。17の口唇は平らである。横方向の粘土紐をつなぐように縦にも粘土紐が貼付される。18の口唇には、細い棒状工具によると思われる刻み列がみられる。19の口縁は波状を呈する。口縁直下と破片下部の粘土紐は横走するが、それ以外は縦、斜めに貼付される。口唇直下と破片の下部には短縄文が施文されているが、その中は絡条体圧痕文が施文される。絡条体には原体が並行に巻かれるものと、2条を交差させるものの2種類がある。所々で格子目状に交差する部分もある。20は口唇直下に短縄文、粘土紐より下には丸棒状の軸を用いた絡条体圧痕文が施文される。21は粘土紐間に短縄文と絡条体圧痕文が施文される。

22は粘土紐、微隆起線間に短縄文と絡条体圧痕文が施文される。23、24は横方向の粘土紐間を縦の粘土紐がつなぎ、長方形に囲まれた部分を作出する。25は0段rによる撚糸文が施文される。26は綾絡文が内外面に施文される。口唇には縄文原体による施文がみられる。27は微隆起線間に横走する2条の撚糸文が施文される。

28～59は胴部の破片である。28は焼成前に穿たれた孔がみられる。異形土器の破片と思われる。29、30は結束第一種原体による羽状縄文が施文される。31は斜行縄文が施文される。32、33は羽状縄文が施文される。32は羽状縄文施文後、粘土紐が貼付される。粘土紐上には細い棒状工具による刻み列がみられる。また、粘土紐を貼付する際に生じた爪痕らしきものが顕著である。34は粘土紐を縦にも貼付し、長方形状の部分を作出する。35は短縄文と羽状縄文が施文される。36～42は粘土紐間に短縄文が施文される。36の粘土紐は斜めにも貼付される。41は縄端を用いた短縄文が施されている。43は微隆起線が「V」字状にみられる。44は横走する粘土紐間に短縄文と波打つ粘土紐がみられる。45は縦走気味の微隆起線間に絡条体圧痕文と短縄文が施文される。46は微隆起線間に短縄文が施文される部分と無文の部分がみられる。47は微隆起線が波打つ。その間は無文である。48は縄端を用いた短縄文が施文される。49は粘土紐間に横位の短縄文が施文される。縄文もみられる。50は0段rを巻いた丸棒状の絡条体による圧痕文が交差している。51は絡条体圧痕文を施文後、その上に短い粘土紐を貼付している。52は0段rを丸棒状の軸に巻いた絡条体圧痕文が斜めに施文される。53の原体は2条の原体を交差するよう絡条体に巻き付けたものである。54は微隆起線間に斜めの絡条体圧痕文と短縄文が施文される。55は絡条体圧痕文が縦、横、斜めに施文される。56はr原体による撚糸文が施文される。57、58は横走する2条の撚糸文と縄文が施文される。58には微隆起線もみられる。59は綾絡文が施文される。

60～71は底部の破片である。60は底部端がやや張り出す。粘土紐間には斜行縄文が施文される。底径10.5cm。現存器高10.3cm。61、62の底部端はやや角張る。62は短縄文と斜行縄文が施文される。63の底部端は丸みを帯びる。推定底径12.4cm。64の内底面にはL原体によると思われる圧痕列がみられる。65、66の底部端もやや角張る。65は粘土紐間に短縄文が施文される。推定底径9.0cm。66は底部端に斜行縄文が施文される以外は短縄文が施文される。揚げ底気味である。底径9.4cm。67は短縄文が施文される。推定底径9.0cm。68の原体は0段rを巻いた絡条体圧痕文である。推定底径4.8cm。69の底部端はやや張り出し、揚げ底気味である。絡条体圧痕文が施文される。推定底径8.4cm。70の底部端はやや丸みを帯びる。底部端は短縄文、その他は2条交差する絡条体圧痕文が施文される。71は綾絡文が施文される。

Ⅰ群b－4類土器（図Ⅳ－81－5～7、図Ⅳ－88）

5は現存器高28.3cm、口径38.3cm、口縁部～胴部下半にかけて復元できたものである。器形は底部から胴部にかけてやや緩やかにつながり、胴部から口縁部はやや直立気味である。口唇断面は薄く平らである。縄端圧痕文は口縁部に4条、胴部、胴部下半にも1条ずつ施文される。原体は1段Lが用いられている。縄端圧痕文の間には羽状の撚糸文が大柄な菱形を構成するように施文される。胎土には繊維がやや多量に含まれる。外面は口縁部～胴部にかけて黒色化し、胴部下半は赤色化している。炭化物は外面の口縁部から胴部の一部と内面の一部に付着している。

6は現存器高13.3cm、推定口径23.2cm、口縁部～胴部にかけて復元できたものである。器形は底部の方から口縁部へ緩やかに広がる。口唇断面はやや丸みを帯びる。器面には自縄自巻原体によると思われる撚糸文が施文される。原体は0段l、1段R、1段Lの3種類が確認され、それぞれ横方向に

施文される。外面の胴部下半は赤色化している。内面の口縁部は黒色化し、炭化物が一部に付着している。

7は現存器高30.0cm、口径27.4cm、口縁部～胴部下半にかけて復元できたものである。器形は胴部下半から底部に向かってやや急にすぼまり、胴部～口縁部にかけてはやや直立気味となる。口縁部はやや外反する。上面観は楕円形である。縄端圧痕文は口縁部に3条、胴部では4条みられ、胴部のものは1条ずつ等間隔でめぐる。縄端圧痕文は口唇にも施文されている。縄端圧痕文の間は、口縁部では撚糸文をずらしながら反時計回りに施し、菱形のような形を連続して作出している。胴部の撚糸文は口縁部からの流れに沿って施文されている。口縁部には補修孔が2つ穿たれる。外面の口縁部は黒色化し、胴部下半は赤色化している。炭化物は内外面の口縁部に一部付着している。

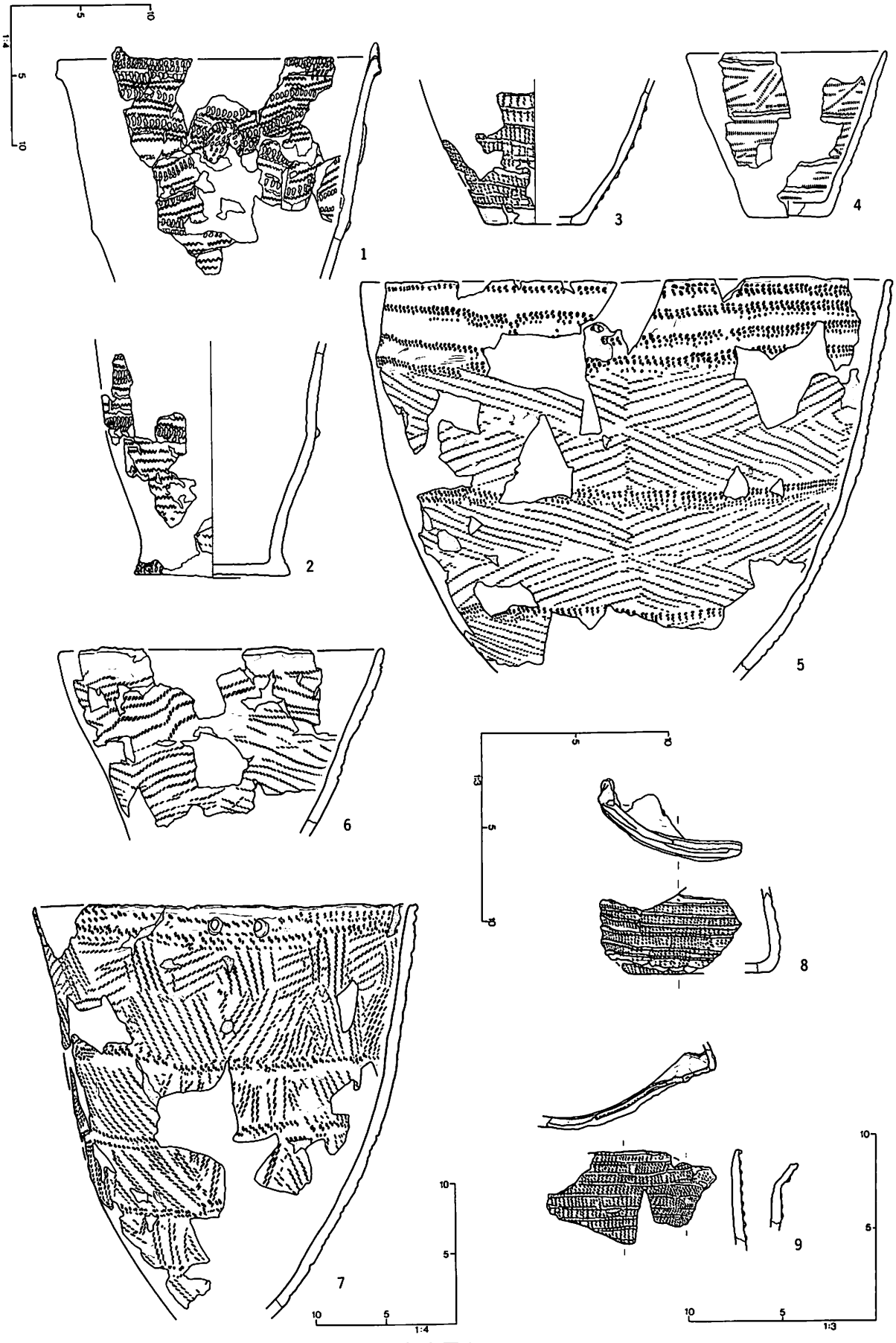
1～12は口縁部の破片である。1～3は綾絡文と2条並列する撚糸文が施文される。2、3の口唇断面は角形を呈する。4、5は撚糸文が施文される。5の原体は1段Rで撚りはゆるい。6は2条並列する撚糸文が施文され、縦の羽状縄文を構成している。7は撚糸文が羽状に施される。口唇断面は切出形を呈する。8は縄端圧痕文が2段みられる。9は縄端圧痕文の下に撚糸文が施文される。10は半截竹管状の工具による連続刺突が3段みられ、その下に撚糸文が施文される。胎土には繊維が少量混入される。11はLR原体による縄線文の間に短縄文が施文される。口唇には縄文原体による押圧列がみられる。胎土には繊維が少量混入される。12はRL原体による縄線文の間に縄端圧痕文が施文される。

13～26、30は胴部の破片である。13～15は撚糸文が交差する部分である。15の1段Rの撚りはゆるい。16～18は撚糸文の下に短縄文が施文されている。16、18は縄端を用いた短縄文が施文されている。19は縄端圧痕文の下に撚糸文が施文される。20は縄端圧痕文が2段施文される。21、22の原体は自縄自巻と思われる。内面の一部には炭化物の付着がみられる。22は縄端圧痕文が2段みられる。23～25は2条並列する撚糸文による羽状縄文を施文している。24は縦の羽状縄文である。25には縄端圧痕文もみられる。26は1段Lによる撚糸文である。30は縄端圧痕文の間に撚糸文が施文される。

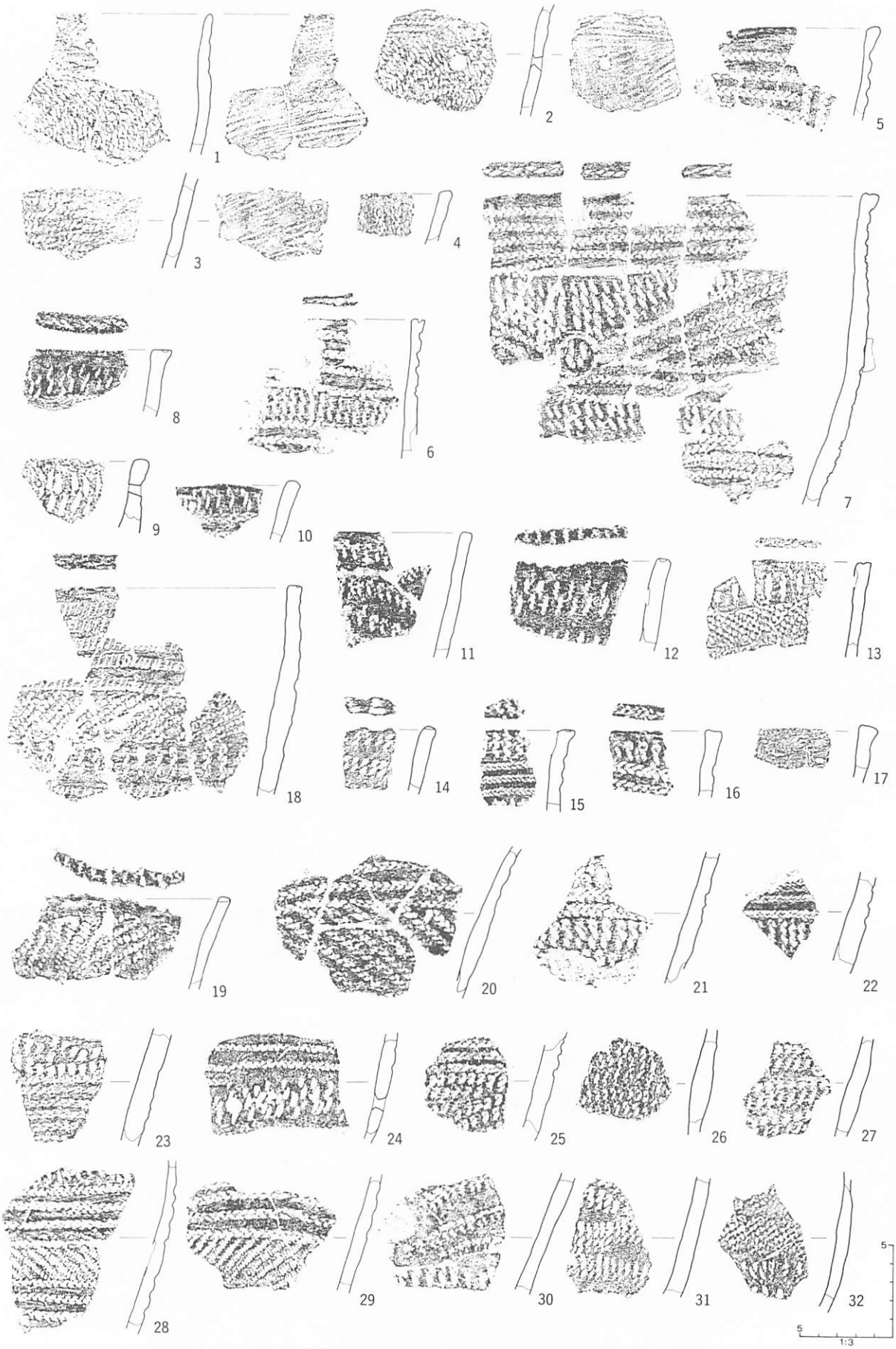
27～29は底部の破片である。27は外底面にも1段Lによる撚糸文が施文される。底部の端と底面の端には縄端圧痕文がめぐる。底径6.0cmである。28は尖底部分である。29も外底面に施文がなされる。30と同一個体である。

Ⅰ群b類土器より細分できなかったもの（図Ⅳ－88）

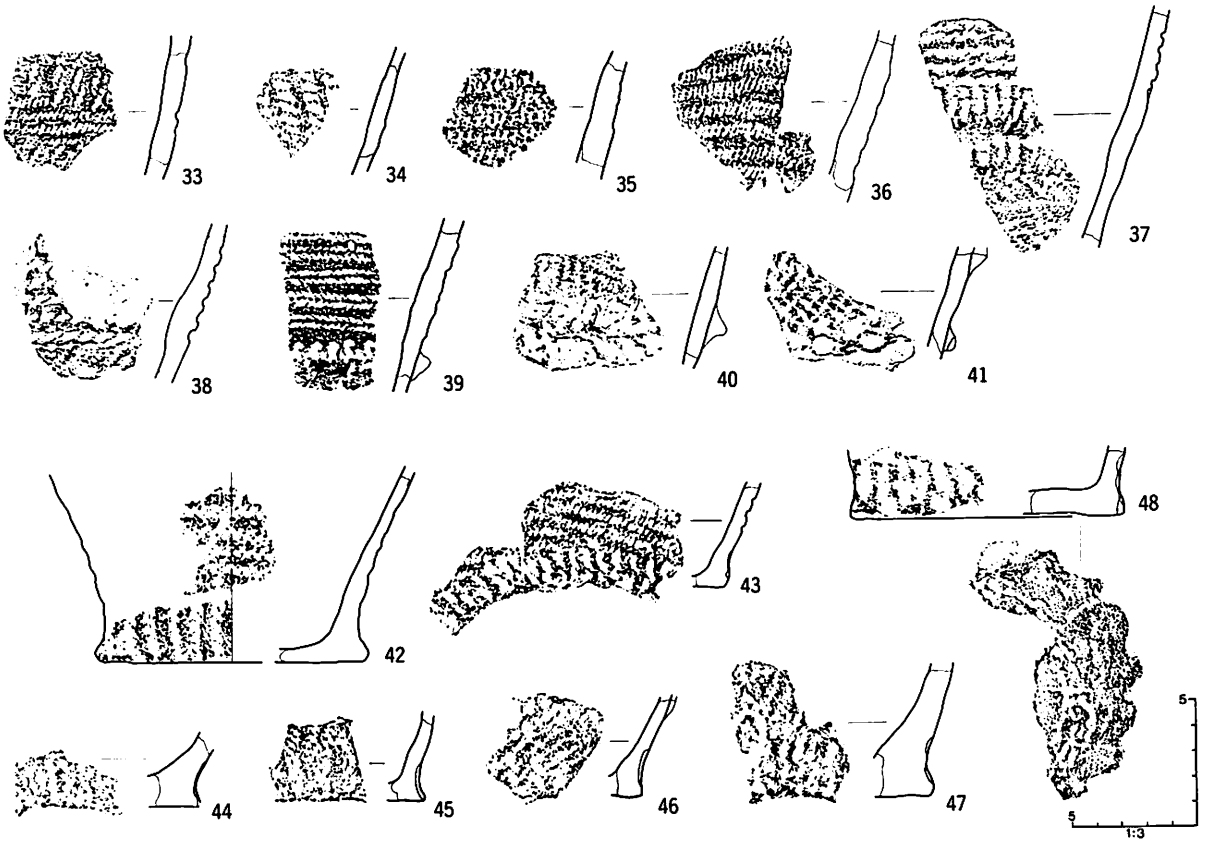
31は1段Lによる撚糸文と思われる。32は口唇直下に粘土紐が貼付される。無文である。33も無文である。胎土、焼成、色調、調整など32と類似する。34、35は同一個体と思われる。半截竹管状の工具による並行沈線が施文される。34の口唇はやや外側に張り出す。口唇には棒状工具による刻み列がみられる。36は口縁部に外側からの連続刺突文が施される。胴部には羽状縄文が施文されるが、節が他のⅠ群土器よりやや丸い。口唇には縄文原体による刻み列がみられる。



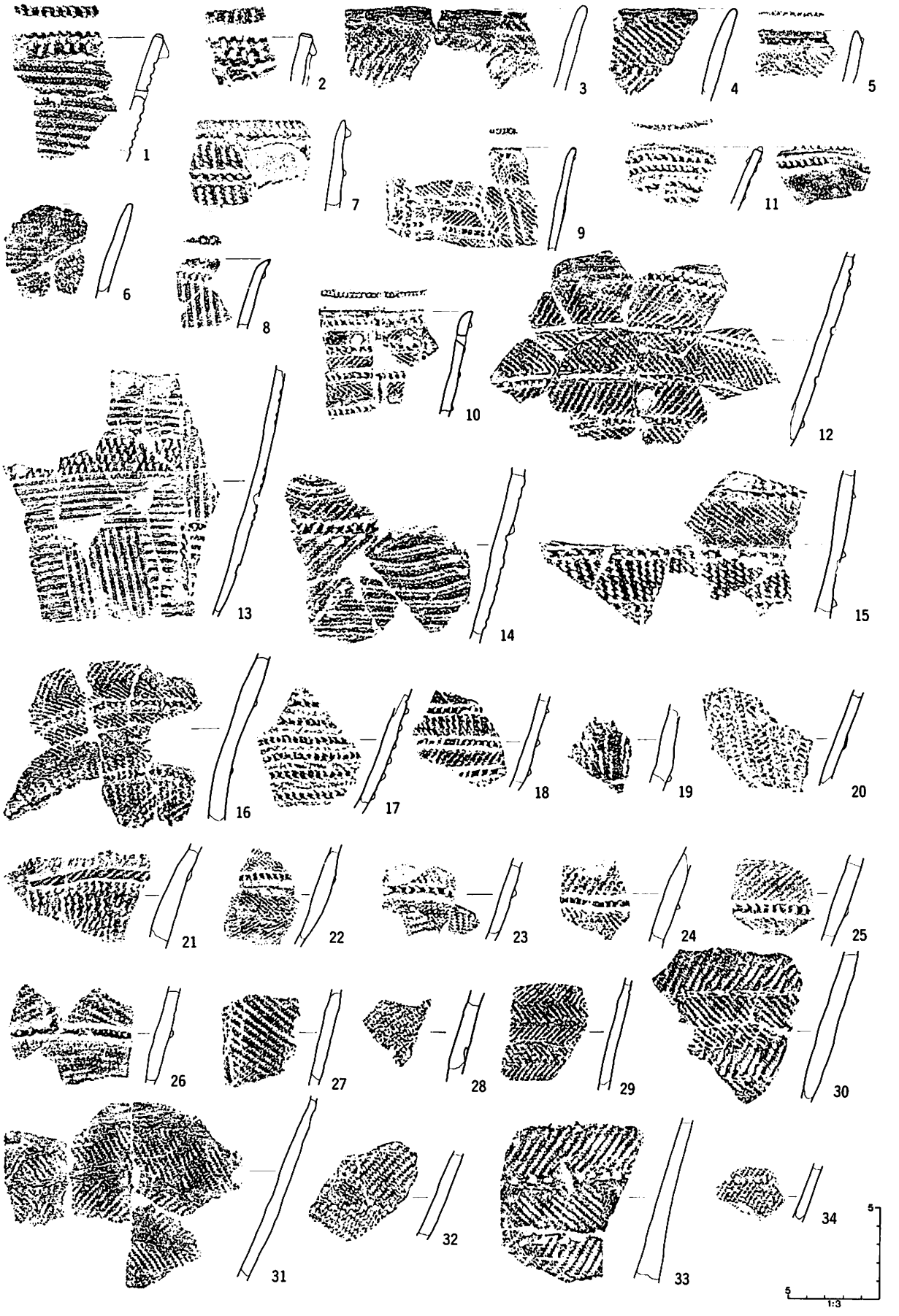
図Ⅳ－81　包含層出土の土器(1)



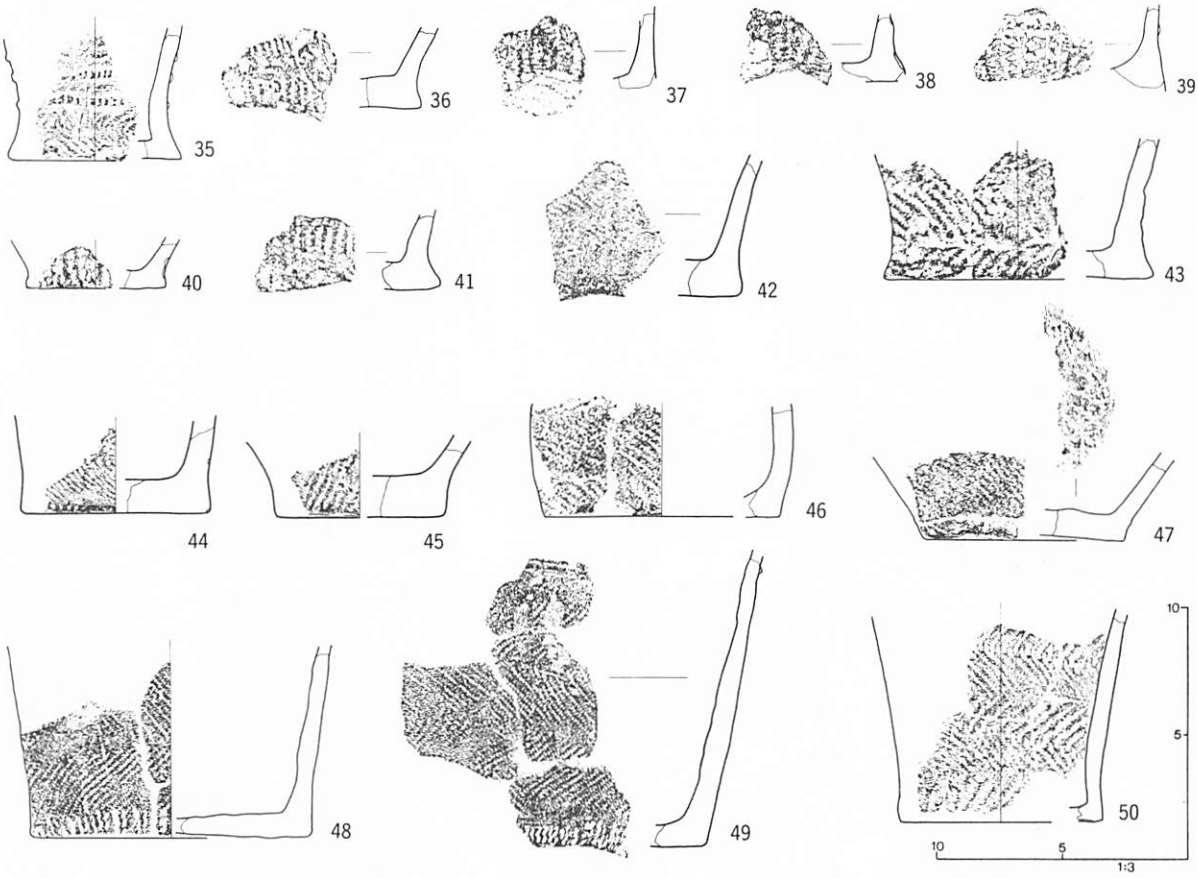
図Ⅳ－82　包含層出土の土器(2)



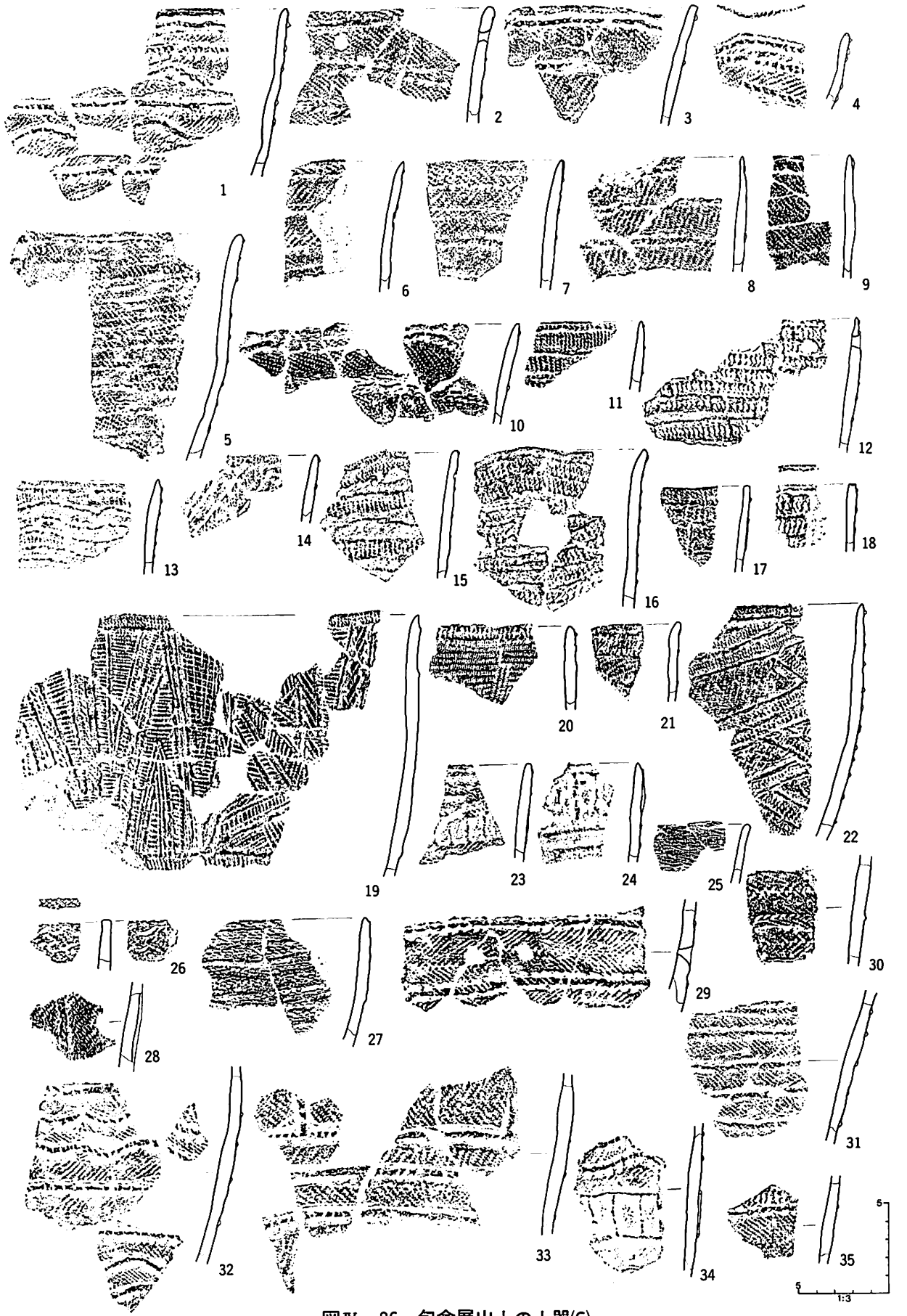
図Ⅳ－83　包含層出土の土器(3)



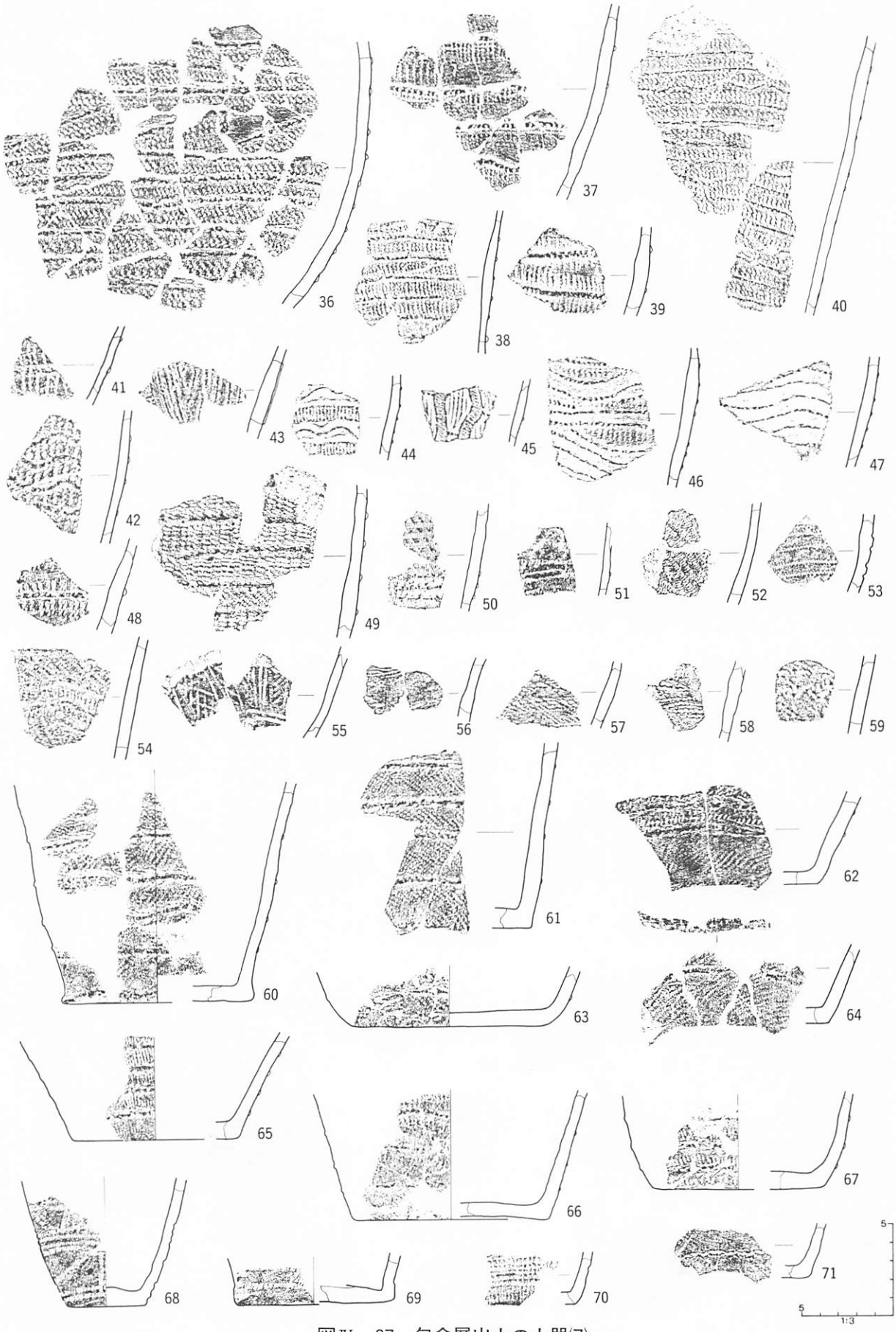
図Ⅳ－84　包含層出土の土器(4)



図Ⅳ－85　包含層出土の土器(5)



図Ⅳ－86　包含層出土の土器(6)



図Ⅳ－87　包含層出土の土器(7)



図Ⅳ－88　包含層出土の土器(8)

II群 a－1類土器（図Ⅳ－89～92）

1は口縁部～胴部までの1／4程復元できたものである。現存器高26.6cm、推定口径62.0cm。器形は胴部下半から緩やかに立上り、口縁部がやや直立気味になる。口唇断面は切出形を呈する。口縁の上部と下部には、縄端による刺突列が施される。刺突列の間には1段Rによる側面圧痕が、下の縄端から派生するように3条施されている。磨耗・剝離のため判然としないが、上の縄端からも派生しているような痕跡がみられる部分もある。口縁部の剝離が著しいため推測ではあるが、文様の構成はおそらく13のような渦巻き状になると思われる。胴部には整然とした羽状縄文が菱形状を構成するように施文される。節のすり消しも所々みられる。胎土には繊維の他、径5㎜以下の礫が多量に混じる。口縁部から胴部は黒色化し、胴部下半は赤色化している。美沢3式に相当すると思われる。

2は口縁部～胴部にかけて復元できたものである。現存器高18.0cm、推定口径46.3cm。器形は口縁部がやや直立気味である。口唇断面は平らに調整されるが、やや外面に傾く部分も所々みられる。口縁の上部と下部には、縄端による刺突列が施される。刺突列の間には縄端から派生する1段Rによる側面圧痕がみられ、渦巻き状に2つが並ぶ部分が等間隔で繰り返されるようである。渦巻きの横には4～6つの刻み列がみられるが、施文原体は不明である。胴部には整然とした羽状縄文が施文され、すり消しも所々なされているようである。胎土には繊維の他、径5㎜以下の礫が多量に混じる。口縁部にはやや多量に炭化物の付着がみられる。美沢3式に相当すると思われる。

3は口縁部～胴部にかけて復元できたものである。現存器高29.4cm、推定口径44.9cm。胴部まではやや緩やかに立ち上がるが、口縁部は直立気味である。口唇断面は平らに調整される。口縁部にはRL原体による横走気味の縄文が施文される。胴部には整然とした羽状縄文が菱形状を構成するように施文されている。節は所々ですり消されている。胎土には繊維の他、径5㎜以下の礫が多量に混じる。外面の口縁部～胴部にかけてやや黒色化し、胴部下半では赤色化がみられる。美々7式に相当すると思われる。

4は口縁部～胴部にかけて復元できたものである。現存器高26.9cm、推定口径42.0cm。胴部までの立上りはやや急で、口縁部は直立気味である。口唇断面はやや丸みを帯びる。口唇直下には縄端によると思われる刺突列がめぐる。口縁～胴部にかけては整然とした羽状縄文が施文される。LR原体による縄文では節のすり消しがみられる。補修孔が口縁部、胴部あわせて6カ所穿たれている。胎土には繊維の他、径5㎜以下の礫が多量に混じる。美沢3式に相当すると思われる。

5は口縁部～胴部にかけて復元できたものである。現存器高26.2cm、推定口径29.5cm。口縁部はやや直立気味で、胴部～底部にかけてやや急にすぼまっていく。口唇断面はやや丸みを帯びる。口唇直下には縄端によると思われる刺突列がめぐる。口縁から胴部には羽状縄文が施文されるが、他のものより細くあまり整然としていない。胴部下半では縄文が縦走気味となり、その下では横走気味となる。胎土には繊維の他、径5㎜以下の礫が多量に混じる。外面の口縁部～胴部にかけてやや黒色化し、胴部下半は赤色化している。

6は胴部～底部付近にかけて復元できたものである。現存器高10.7cm、小型で丸底を呈する。底部から胴部にかけてやや急に立ち上がる。胴部には整然とした羽状縄文が菱形状を構成するように施されている。胴部下半には補修孔が1つ穿たれている。胎土には繊維の他、径5㎜以下の礫が多量に混じる。外面は赤色化している。美沢3式に相当すると思われる。

7は胴部下半～底部にかけて復元できたものである。現存器高9.1cm。底部は尖底で、緩やかに胴部へつながる。胴部下半では羽状縄文が縦に施文され、底部ではRL原体による縄文が渦巻き状に施文される。胎土には繊維の他、径5㎜以下の礫が多量に混じる。

8は胴部下半～底部にかけて復元できたものである。全体的に磨耗している。現存器高17.4cm。底部は尖底で、緩やかに胴部へつながる。器面には羽状縄文が施文される。胎土には繊維の他、径5㎜以下の礫が多量に混じる。胴部下半がやや赤色化する。

9は口縁部～胴部下半にかけて復元できたものである。現存器高13.9cm、推定口径22.7cm。器形は口縁部から底部に向かってすぼまる。口唇断面はほぼ平らに調整されている。文様は羽状縄文が整然と施文されるが、ほとんどの部分で節のすり消しがなされている。胎土には繊維の他、径5㎜以下の礫が多量に混じる。二次焼成の痕跡は見受けられない。

10は口縁部～底部にかけて復元できたものである。器形は平底気味の底部から緩やかに胴部下半へつながり、胴部下半からやや急に立ち上がる。口縁部はやや直立気味に立ち上がる。口唇断面は平らか内側にやや傾く。器面にはRL原体による横走縄文が施文され、所々節のすり消しがみられる。外底面には、原体をずらしながら回転圧痕することにより、円形の施文を施していると思われる。胴部には補修孔が1つと穿孔途中のもの2つが認められた他、剝離の著しい部分も認められる。外面の口縁部は黒色化し、胴部下半～底部は赤色化している。口縁部～胴部には炭化物の付着がやや多量にみられる。内面は胴部の一部に炭化物の付着がみられる。内面の口縁部と底部付近の剝離部分では、角棒状の工具によると思われる刻みが3、4つ確認された。製作時に粘土紐同士を接着させた跡と思われる。胎土には繊維の他、径5㎜以下の礫が多量に混じる。

11は口縁部～胴部にかけて復元できたものである。器形は口縁部がやや直立し、胴部から底部へすぼまるようである。口唇断面は平ら気味である。器面にはRL原体による横走縄文が施文され、節にはすり消しがなされる部分がある。補修孔が3つ穿たれている。

12は口縁部～底部にかけて復元できたものである。現存器高32.5cm、推定口径46.6cm。器形は丸底の底部から胴部下半にかけてやや緩やかに、胴部下半から口縁部下半にかけてやや急につながる。口縁部は直立気味である。口唇断面は切出形に近い。器面にはRL原体による横走縄文が施文される。底部方向からみると、底部の中心から同心円状に広がるようにみえる。外面の口縁部はやや黒色化し、胴部下半～底部にかけて赤色化している。底部の中心付近も黒色化している。内面の胴部下半～底部の一部に炭化物の付着が認められる。胎土には繊維の他、径5㎜以下の礫が多量に混じる。

13～21は口縁部の破片である。13は口縁部の上下に縄端による刺突列が施される。刺突列の間は、R原体による側面圧痕が刺突痕から派生するように4条施され、渦巻き状を呈する部分もみられる。胴部は撚りの異なる原体による羽状縄文が施文される。口唇断面は切出形を呈する。外面の文様内には所々に炭化物の付着がみられる。14はRL原体による横走気味の縄文が口縁部に施文される。胴部は撚りの異なる原体による羽状縄文が施文される。口唇断面は平らであるが、やや丸みを帯びる。15は幅の狭い無文部分に棒状工具による刻み列が施される。その下は羽状縄文が施文されている。条の稜線はなでられて平らになっている。16の口縁部には横走気味の縄文が施文されている。節のすり消しがなされている。17はRL原体による横走気味の縄文が施文される。節はすり消されている。18は横走気味の縄文が全体に施文される。RL原体によるものである。節は所々すり消しがなされている。口唇断面は切出形を呈する。19は口唇直下から羽状縄文となる。RL原体による文様幅は狭い。20はRL原体による横走気味の縄文が施文された後、その上から羽状縄文が施文される。21の口縁部には幅の狭い縄文が施される。

22～25は胴部の破片である。22は羽状縄文が菱形を構成する部分と思われる。丸底の底部の可能性もある。23は比較的細い羽状縄文が施文される。施文も浅い。器形も小型のものと思われる。24は縄文原体による圧痕列がみられる。25は胴部に羽状縄文が施文されるが、胴部下半ではRL原体による

横走気味の縄文が施文される。

26～31は底部の破片である。26はRL原体による縄文が施文される。27は磨耗のため判然としないが、羽状縄文が菱形に構成されており、底部の中心と思われる。28は底部中心付近の破片と思われる。節はすり消されている。中心近くには縄端による刺突が2列施される。29は1段Lを中心から渦巻き状に圧痕したものである。30はRL原体による縄文が施文される。31は28と同一個体と思われる。

II群a－2類土器（図Ⅳ－93～95）

1は口縁部～胴部下半にかけて復元できたものである。現存器高25.3cm、口径28.9cm。器形は口縁部から底部に向かってすぼまる。口唇断面は平らであるが、切出形になったり、外側に傾いたり、庇状に外にはみ出したりと一定しない。器面には縦の羽状縄文が施文される。節にはすり消しがなされている部分がある。補修孔が2つ穿たれている。外面の口縁部～胴部の大半は黒色化している。胴部下半では赤色化する部分もみられる。胎土には繊維が多量に含まれる。

2は胴部～底部付近にかけて復元できたものである。現存器高21.3cm。底部付近～胴部へまっすぐに広がる。上面観は楕円形を呈する。器面には条間が開き気味の羽状縄文が施文され、部分的に菱形状となる。胎土には繊維が多量に含まれる。外面底部付近は黒色化している。

3は口縁部～胴部下半にかけて復元できたものである。器形は胴部下半から口縁部に向かってやや急に立ち上がる。口唇断面は平らであるが、部分的に庇状に外にはみ出す。器面には羽状縄文が施文され、部分的に菱形状になる。胎土には繊維が多量に含まれる。

4は口縁部～胴部下半にかけて復元できたものである。現存器高20.8cm、口径23.8cm。器形は口縁部がやや直立気味で胴部から底部に向かってすぼまる。口唇断面は薄く平らである。文様は羽状縄文が施文され、部分的に菱形状になる。胎土には繊維の他、径2㎜程の礫が混じる。外面の口縁部から胴部の大半が黒色化している。内面の胴部には、炭化物の付着が認められる。補修孔は穿孔途中のものが1つみられる。胎土、器形はII群a－1類土器に似るが、縄文は雑然としている。

5は口縁部～胴部にかけて復元できた。現存器高18.7cm、推定口径32.5cm。器形は口縁部がやや直立気味で胴部から底部に向かってすぼまる。口唇断面は薄く平らである。文様は縦の羽状縄文が施文され、内面の口縁部～胴部にかけても施文される。胎土には繊維が多量に含まれる。内外面とも黒色化し、外面には炭化物の付着が著しい。

6はJ－41区でまとまって出土したが、磨耗・剝離が著しく、口縁部から胴部下半の一部を復元するに留まった。現存器高23.3cm、推定口径26.0cm。器形は口縁部端がやや内湾するものの、口縁部から底部に向かって器厚を増しながらすぼまる。器面には粗い斜行縄文が施文される。胎土には繊維が多量に含まれる。口縁部～胴部にかけて黒色化し、胴部下半は赤色化がみられる。

7は底部から胴部下半である。現存器高13.0cm。尖底である。斜行縄文が底部付近まで施文される。胎土には繊維が多量に含まれる。内底面には亀裂がみられる。

8は底部付近から胴部下半である。現存器高11.7cm。尖底と思われる。斜行縄文が施文されるが、一部横走気味の部分もみられる。内面底部付近には亀裂がみられる。胎土には繊維が多量に含まれる。

9は底部から胴部下半である。現存器高7.0cm。やや丸みを帯びた尖底である。斜行縄文が施文される。胎土には繊維が多量に含まれる。底部付近は赤色化している。

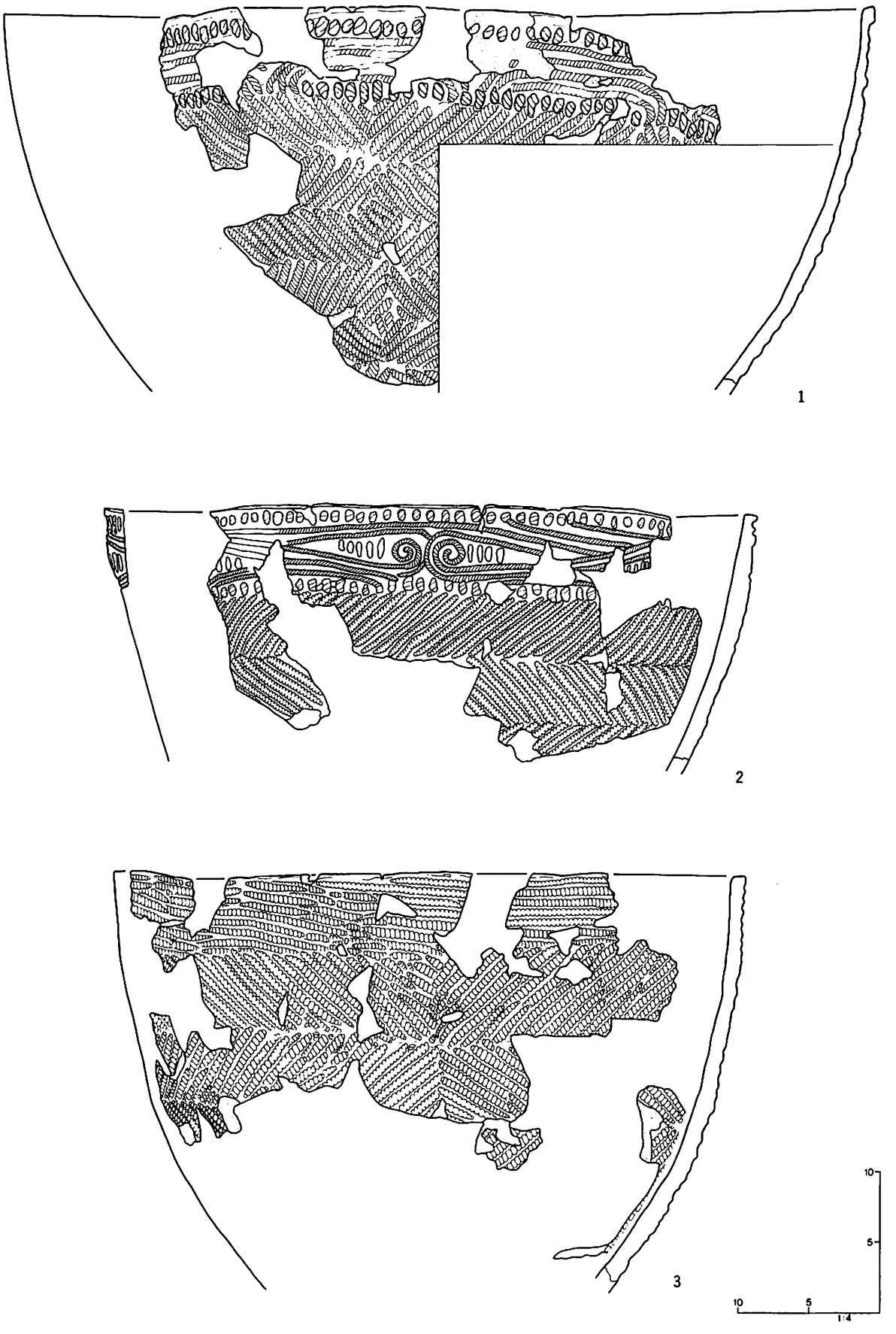
10～44は口縁部の破片である。10～29はLR原体による斜行縄文が施文される。口唇断面形は一定せず、庇状に外へはみ出すもの（10、12、15、16、22）、緩い切出状になるもの（11、29）、平らになるもの（13、18、19、21、24、26）、外に傾くもの（14）、外反するもの（17）、丸みを帯びるもの

(20、23、25、27)、尖り気味になるもの (28) などがみられる。

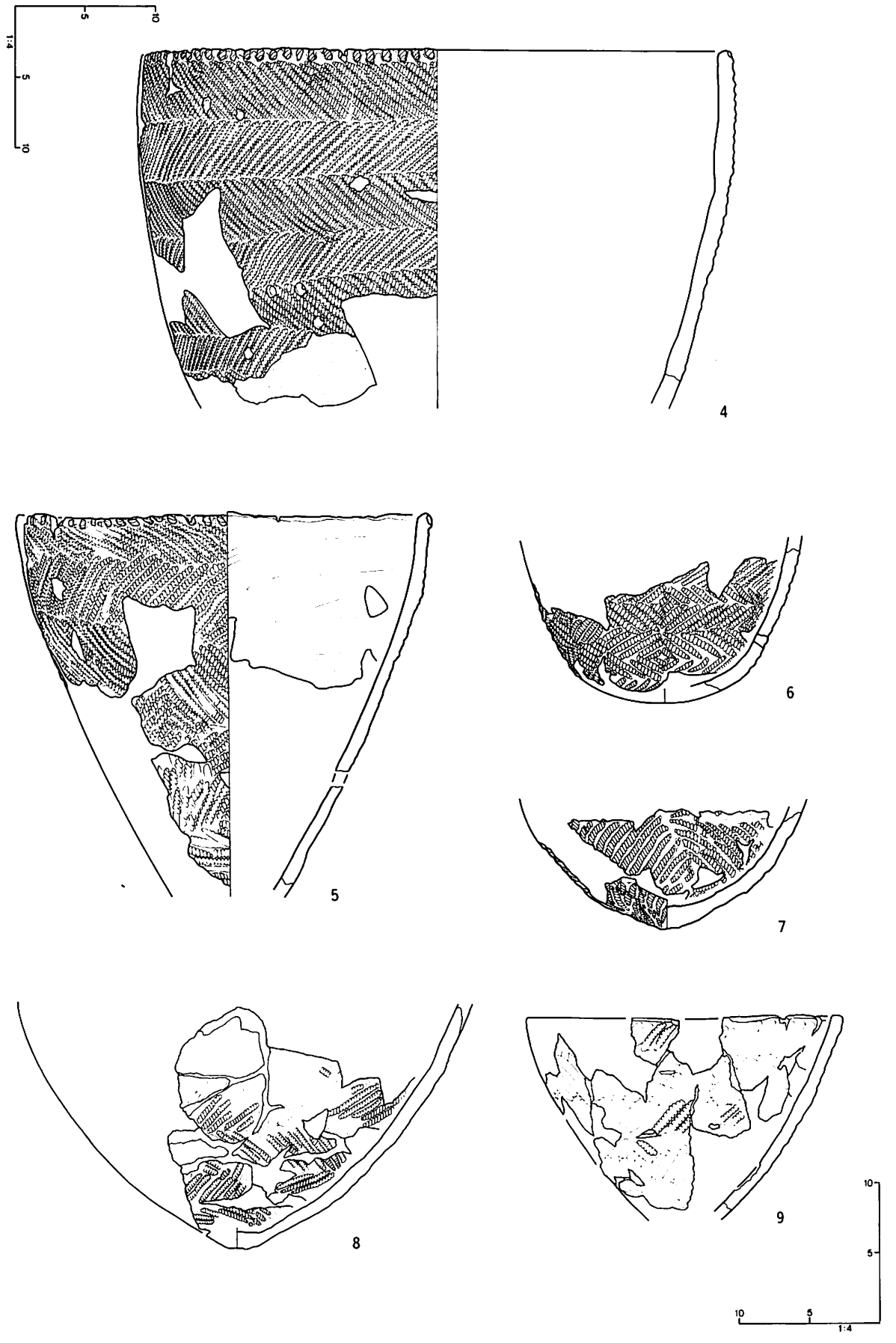
30～35はRL原体による斜行縄文が施文される。これも口唇断面形は一定せず、切出形を呈するもの (30、34)、丸みを帯びるもの (31、32、33)、平らになるもの (35) などがみられる。31は口縁にゆがみが生じている。

36は1段Lによる撚糸文が施文される。口唇断面は平らである。37～39は縦の羽状縄文が施文される。38の口唇は丸みをおびる。39の口唇は平らで庇部分がみられる。40は内面にも縄文が施文される。口唇は平ら気味である。41の口唇直下には縄端によると思われる刺突列がめぐる。縦の羽状縄文も施文される。口唇断面は丸い。42は口唇直下に沈線が2本引かれ、沈線間には縄端による刺突列が施される。胴部は縦の羽状縄文が施文される。口唇断面は切出形を呈する。43は剝離のため判然としないが、沈線間に縄端による刺突が施される。44は口唇を欠失する。斜行縄文施文後、沈線が2本引かれる。

45～62は胴部～底部の破片である。45は器厚が3cm程ある。46はLR原体による斜行縄文が施文される。47は条間がやや開いた縄文が縦位に施文される。48はLR原体による斜行縄文が施文される。49は節が丸いものである。50、51はRL原体による斜行縄文が施文される。51の内面には炭化物の付着が著しい。52は縦走気味の縄文が施文される。53は粗い縄文が施文される。54は縦の羽状縄文が施文される。55は条間がやや開いた縄文が施文される。56、57、58は縦の羽状縄文が施文される。59、60は羽状縄文が菱形状に構成される。61は縄文が横走する。62は結束による縄文と思われるが磨耗のため判然としない。63は丸底気味である。器厚は3cm程である。LR原体による縄文が横走する。64は尖底気味になると思われる。無文である。内外面ともに亀裂がみられる。65はLR原体による斜行縄文が施文される。尖底になると思われる。66は胎土中に施文がみられる土器片である。製作時における粘土紐接合にかかわるものであろうか。

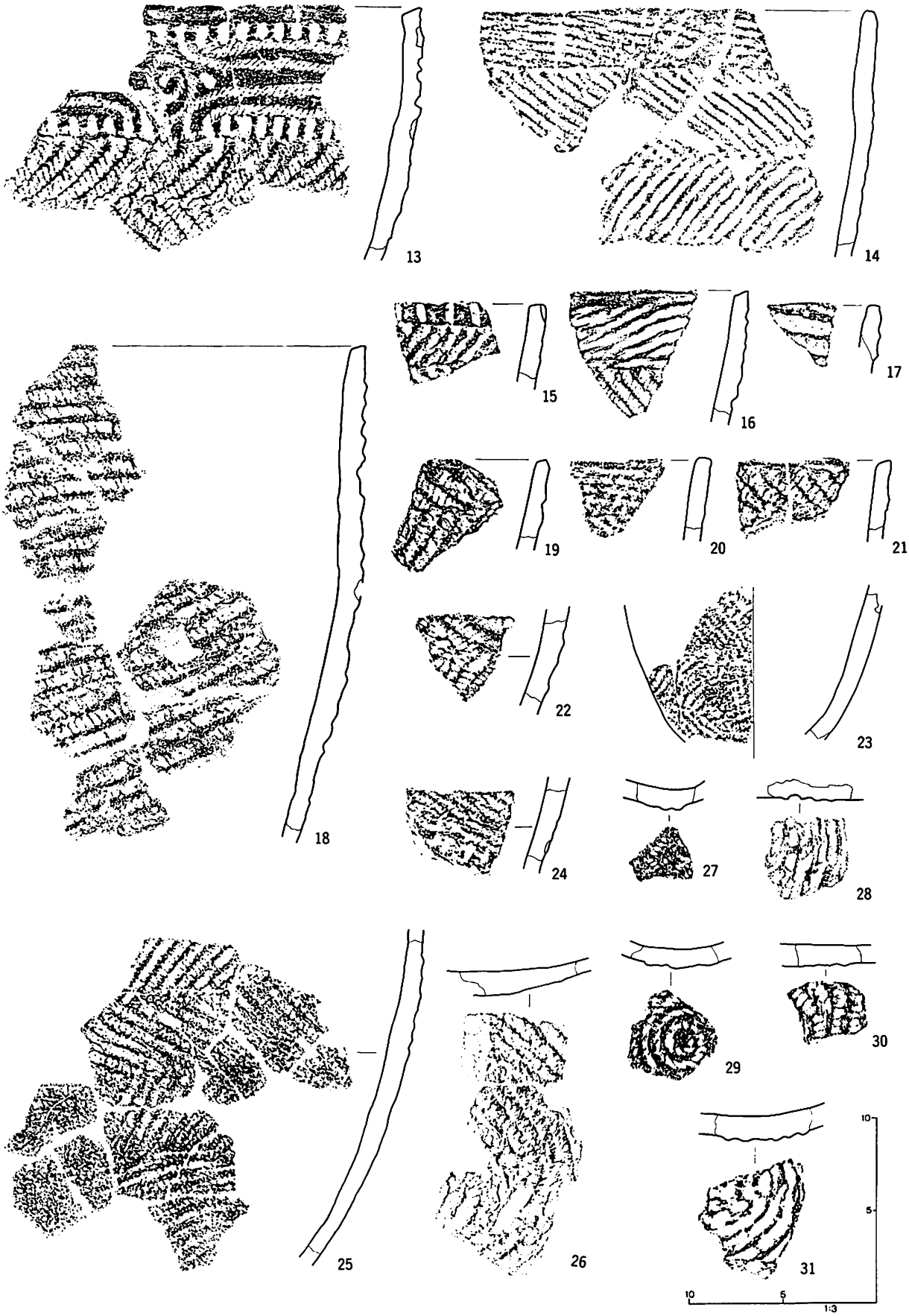


図Ⅳ－89　包含層出土の土器(9)

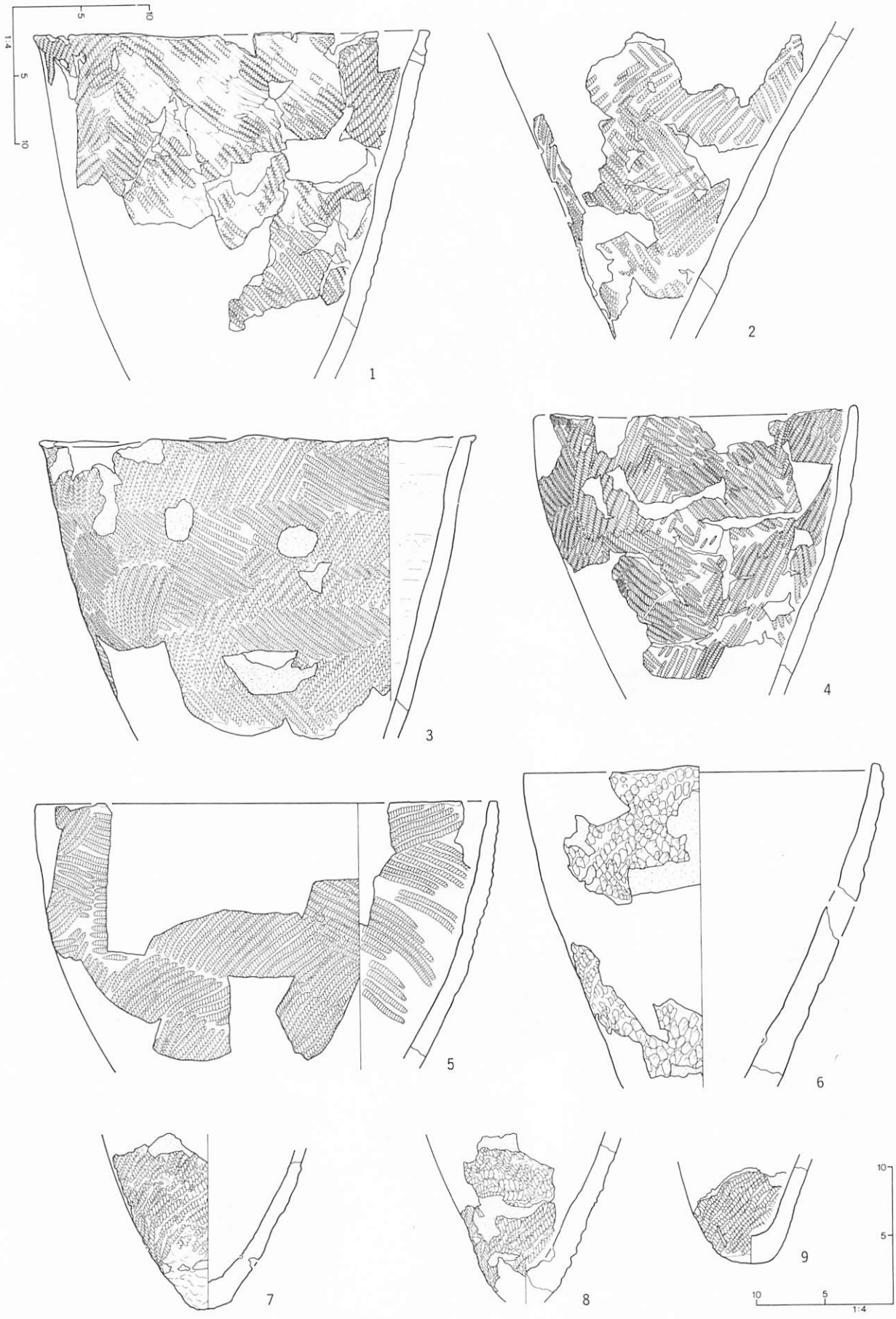


図Ⅳ－90　包含層出土の土器(10)

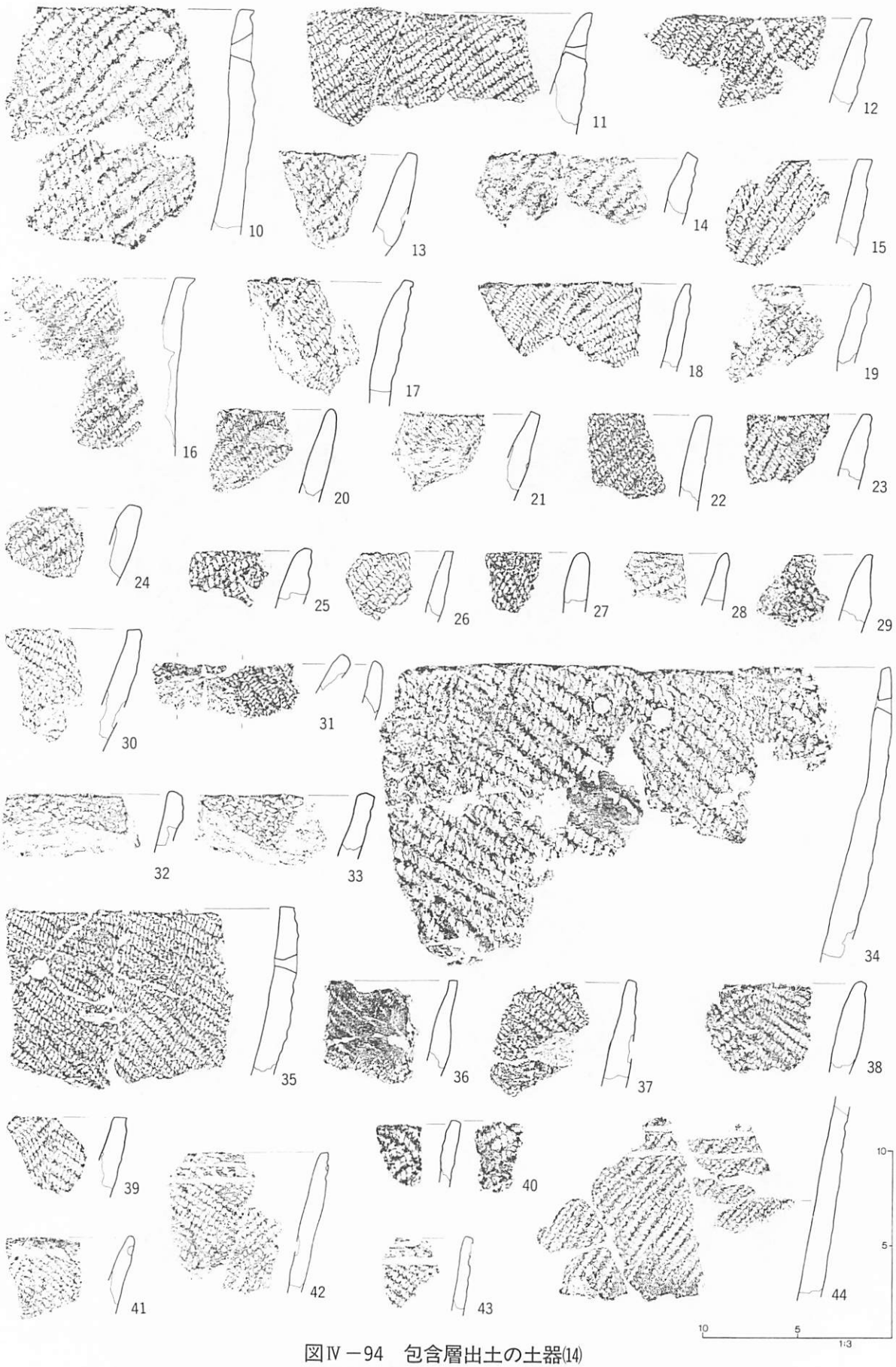
図Ⅳ－91　包含層出土の土器(11)



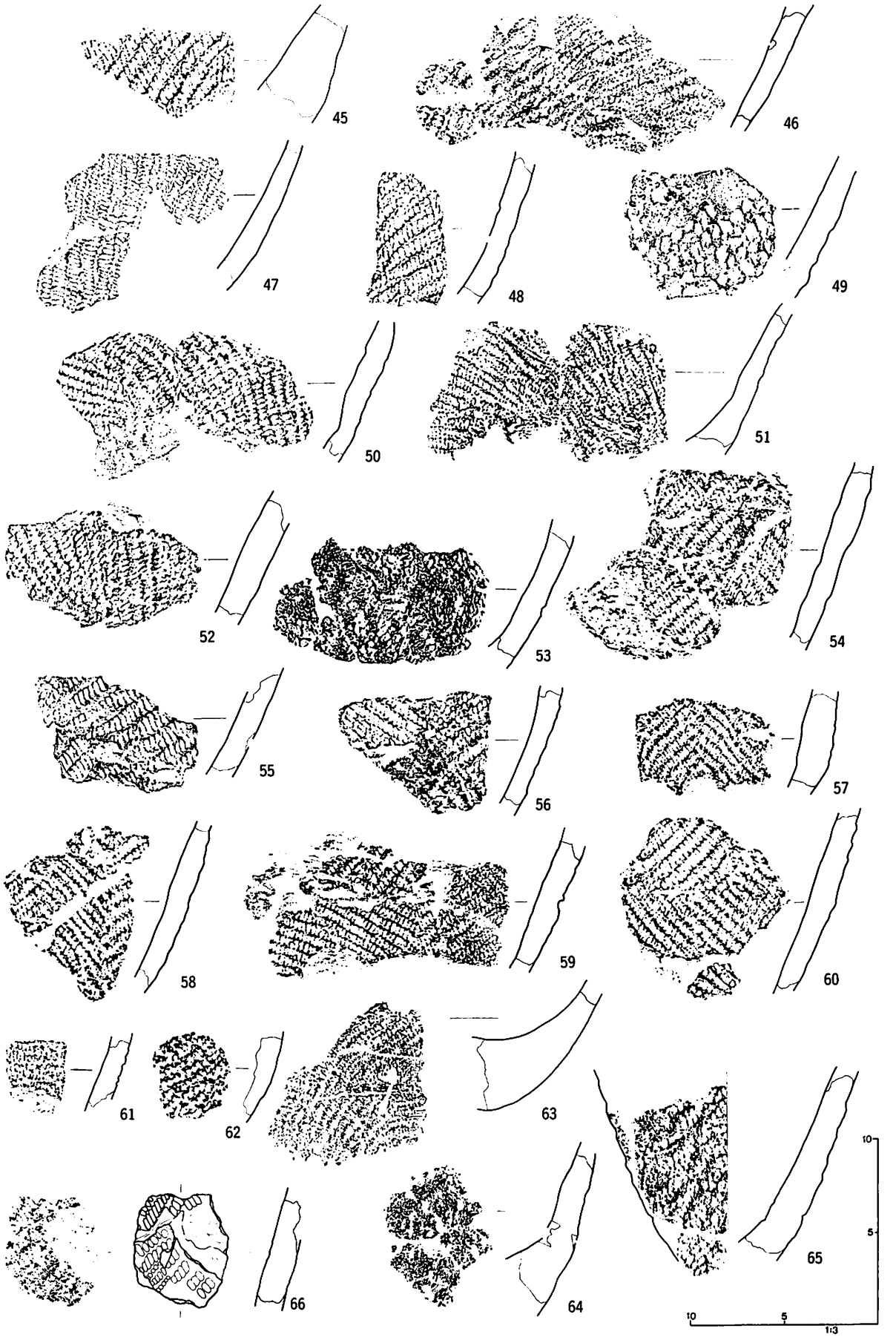
図Ⅳ－92　包含層出土の土器(12)



図Ⅳ－93　包含層出土の土器(13)



図Ⅳ－94　包含層出土の土器(14)



図Ⅳ－95　包含層出土の土器(15)

「縄文後期以降の土器」

Ⅳ群b－1類の土器　手稲式（図Ⅳ－96・108－1・98・99）

1は器形が底部から胴部中位まではほぼまっすぐに立ち上がり、胴部上半で大きく開くものである。口縁部、底部ともに欠失している。体部中位に文様帯を持つ。文様帯には斜行縄文施文後、横環する沈線と斜行する沈線が施され、縦に区切るC字状の沈線文を加えている。98は無文の口縁部破片で波状口縁を呈している。99も無文の口縁部であるが体部にかけて沈線文で区画された磨り消し縄文が認められる。口縁は突起状の波状口縁を呈している。

Ⅳ群b－2類の土器　銚澗式（図Ⅳ－96・97－2～11・図Ⅳ－109・110－100～128）

【文様構成が「刻み列」主体になるもの】

2は5単位の波状口縁をもち、器形は体部上半が開くかたちで、下半以下は失われている。口縁部には、口唇に沿った2列の細かい刻み目列が巡らされ、体部中位には無文帯がある。3は口縁突起を持つもので、幅の太い刻み目が口縁と胴部に施され、その中間には無文帯がある。4は4単位の波状口縁を持ち、器形は体部上位にくびれ部を持つものである。刻み目列は口縁部と胴部に2列見られ、くびれ部分には無文帯が認められる。口頸部にはS字状の沈線が施されている。口唇は内側に肥厚する切り出し形のものである。5は緩やかな波状口縁を呈し、口頸部が「く」の字状に外反する器形である。口唇直下及び口頸部直下には細い無文帯を間に挟んだ2列の刻み目が施されている。また頸部には幅の細い無文帯をもつ。6は口唇直下及び口頸部に刻み目を持ち、体部中位に無文帯を持つ、体部上半と下半には沈線文が施されている。

100～120は口縁部破片であり、口唇直下に刻み目を持つ。無文との組み合わせのもの（100・101・103・104・105・108）、縄文との組み合わせのもの（106・110）、沈線文との組み合わせのもの（107・109・117・118・119）、磨り消し縄文（106・113）との組み合わせのものなどがある。口縁形態には波状口縁のものが多いが、突起のあるものには、刻み目が施されるもの（109）、有孔のもの（111）なども見られる。120～128は刻み目列を伴う胴部破片である。121は沈線を縦に区切るS字状の沈線が認められ、123・124・126・127は縦に垂直の沈線が施されている。125はイナズマ状を呈し、128は弧状沈線による木葉文を呈している。

【文様構成が「刻み列」と突瘤の組み合わせになるもの】　（7～11・129～142）

7は波状口縁のもので、4つの波頂部をもつ。体部下半から底部を欠失しているが、体部上半から緩やかに開くかたちのものと思われる。頸部には無文帯を持つ。8・9は底部を欠失した深鉢で、1列の刻み目直下に突瘤が巡る。10は2列のものである。11は口唇直下と口頸部直下に2段の刻み目列をもち、口頸部が幅の広い無文帯となっている。口唇は肥厚する切り出し形のもので口縁は緩やかな波状を呈する。129～142は口縁部破片である。134は口唇内側に3段の刻み列をもつ。136は縦の沈線が施されている。142は稲妻形の沈線が施されている。

Ⅳ群c類の土器

【沈線文のみからなるもの】　（図Ⅳ－98－12～22・図Ⅳ－110・111－143～186）

12は平行沈線と鋸歯状に近い沈線との組み合わせからなる小型の深鉢で、上面観は楕円形である。4つの波頂部をもつ波状口縁である。13は平行沈線と縄文からなる鉢型土器で、体部上半には無文帯も見られる。底部から大きく開かれたような器形を呈している。14・15・19は小型の鉢形土器で、14・15は平行沈線が、19には鋸歯状の沈線が認められる。14の底部は中心部が凹型のものである。16・17・18・20は口縁に突起をもつ鉢形土器で、16は小波状口縁、17・18は5単位の突起、20は3単

位の突起をもつ。21は高台付きの浅鉢である。平行沈線が施されている。22は口縁部を欠失した深鉢である。胴部中位には無文帯が見られ、その下位には弧状沈線文が連結した曲線帯縄文が施されている。143～157、173は口唇に平行する沈線が主体の口縁部破片である。148には口唇部に刻み目が施され、173は口縁内側にも表同様の沈線が施されている。158～169は平行沈線に曲線主体の沈線が伴う口縁部破片で、164のように木葉を描くものや、170のように円形を呈するものがある。174から185は胴部破片で、曲線主体の沈線文のもの（174・177・181・183・185）、磨り消し縄文が伴うもの（175・176・178・182・184）や鋸歯状沈線、菱形を構成するものなどがある（179・180）。186は同心円上に数条の沈線が施される底部破片である。上げ底になっている。

【突瘤が主体になるもの】　（図Ⅳ－99～104・115・116）

①突瘤と沈線の組み合わせになるもの（24～42）

深鉢　24から27は平行沈線の施された深鉢で、底部から緩やかに広がる器形のものである。27は底部をもち、上げ底である。28から32は口縁に波状などの突起をもち、胴部上半部から中位に無文帯をもつ深鉢で、中位にくびれ部をもつものが多い。33、34は弧状の沈線文を伴い、35は鋸歯状の沈線文と磨り消し縄文を伴う深鉢である。器形は33のみがくびれ部をもつ。36は平行沈線に曲沈線が入り組んだかたちの帯縄文が施された深鉢である。39は胴部上半部には曲沈線の入り組んだ帯縄文が施され、中位には無文帯がある。40は小波状口縁に沿った弧状の沈線文が巡らされたもので、胴部上半には幅広の無文帯をもつ。41は口縁部が緩やかに内傾する器形で胴部下半に無文帯をもつ。平行沈線が文様の主体である。42は胴部中位にくびれ部をもつもので、鋸歯状の沈線文が文様の主体である。

187から212は平行（並行）沈線と突瘤の組み合わせの口縁部破片である。190・200・202には沈線間に無文帯の見られるものがあり、口唇に刻み目が施されたもの（207）や円形刺突の施されたものなどもある。213は無文帯に縦の沈線が施されたものである。214から226は直線の沈線により鋸歯状に施文されたものである。227、228、233から237は曲線主体の沈線文が施されたものである。

鉢　37は鋸歯状の沈線が、38は2本1組の沈線が縦位にS字状に施されている。229から232は幅の広い沈線が弧状に施されている。

②突瘤と縄文の組み合わせになるもの（43～48、238～255）

深鉢　44・48・52・53・54は深鉢で、底部を失っている。55は未接合であるが平底の底部を有する。45は波状口縁を呈し、5つの波頂部をもつものである。46は胴部中位にくびれ部をもち、上半部がさらに開く器形になっている。47は小波状口縁を呈し、口縁部が緩やかに内傾している。

238から241、244から255は口縁部破片である。238の口縁は内傾している。247は無文帯を有し、249には有孔の突起が見られる。253の口唇には刻み目が施されている。

鉢　43は底部を失っている。50は底部から口縁にかけて大きく開く器形である。51は上面観が楕円形で、上げ底の底部をもつ。242・243は底部を失っている。

③突瘤と無文主体の組み合わせ（49・256～261）

49は鉢形土器である。底部を欠失している。256から261は深鉢の口縁部破片である。257・258は口唇直下に帯状に縄文が施されている。

【縄文のみのもの】　（図Ⅳ－105－56～71・図Ⅳ－117－262～280）

鉢　56・57・58・59・61は鉢形土器である。56は上面観が楕円形を呈している。57は切り出し形の口唇上面に斜行縄文が施されている。67は鉢形土器の底部破片である。68から71は高台部分である。264・265・266・274・275は口縁部破片である。

深鉢　60は底部、62・63・64は口縁部を失ったもの深鉢である。62・63・64はともに平底である。

262・263・267～273・276・277は口縁部破片である。278から280は胴部破片である。

【無文のもの】　(図Ⅳ－118－281～290)

281から285は深鉢である。283は口縁部が内傾する。285は補修孔が認められる。286から288は鉢形土器で、288は口縁部が内傾する。289から290は底部破片である。290は高台部分である。

【注口土器】　(図Ⅳ－106・107・120)

72から80は注口土器の復元個体である。いずれも注口部、口縁部を欠失したもので、完形のものは見られなかった。72は沈線文内にハの字状の短刻文が2列に施されるものである。73は並行沈線で帯状に縄文を区画したもので、胴部下半には径3cmほどの人為的な穿孔が認められる。74は沈線で描かれた木葉文から構成されており、貼り瘤を伴う。頸部には無文帯が巡る。75は磨り消しを伴う曲沈線からなり、貼り瘤を伴うものである。76・77は沈線で区画された帯縄文が施されたものである。78は2段の刻み列を有し弧状の沈線文が施されている。Ⅳ群b類の可能性がある。79は弧状の沈線文で木葉文が施されたもので、磨り消し部分や貼り瘤を伴う。80には鋸歯状の沈線文が認められる。82～85、94・96は口頸部であり、84には貼り瘤、96には刻み列が認められる。

326は注口部の一部であり、322～336は胴部破片である。334は底部破片である。

【壺形土器】　(図Ⅳ－107・120)

81・86～93・95、318～321は壺形土器の口頸部である。81は壺形土器の口頸部である。平行あるいは弧状に施された沈線に沿って刺突が巡らされている。86～91は平行沈線、鋸歯状の沈線が施されている。92、93にはくびれ部分が認められる。318・319・320には刻み列が認められ、Ⅳ群b類の可能性がある。

Ⅴ群の土器(図Ⅳ－119－302～317)

302から317は爪形文を伴うもの、三叉文が認められるものである。

【爪形文に突瘤を伴うもの】　(304・305・308)

【爪形文が沈線とともに文様区画帯を構成するもの】

302は深鉢で、口唇直下と胴部中位に爪形文が認められる。308は口唇に縄文が施されている。311は無文の胴部破片である。

【沈線間に爪形文が施されたもの】　(310・316)

胴部破片で、316は鋸歯状の沈線が認められる。

【三叉文が認められるもの】　(314・315)

胴部破片である沈線とともに三叉文が施されている。

Ⅶ群の土器(図Ⅳ－107－97)

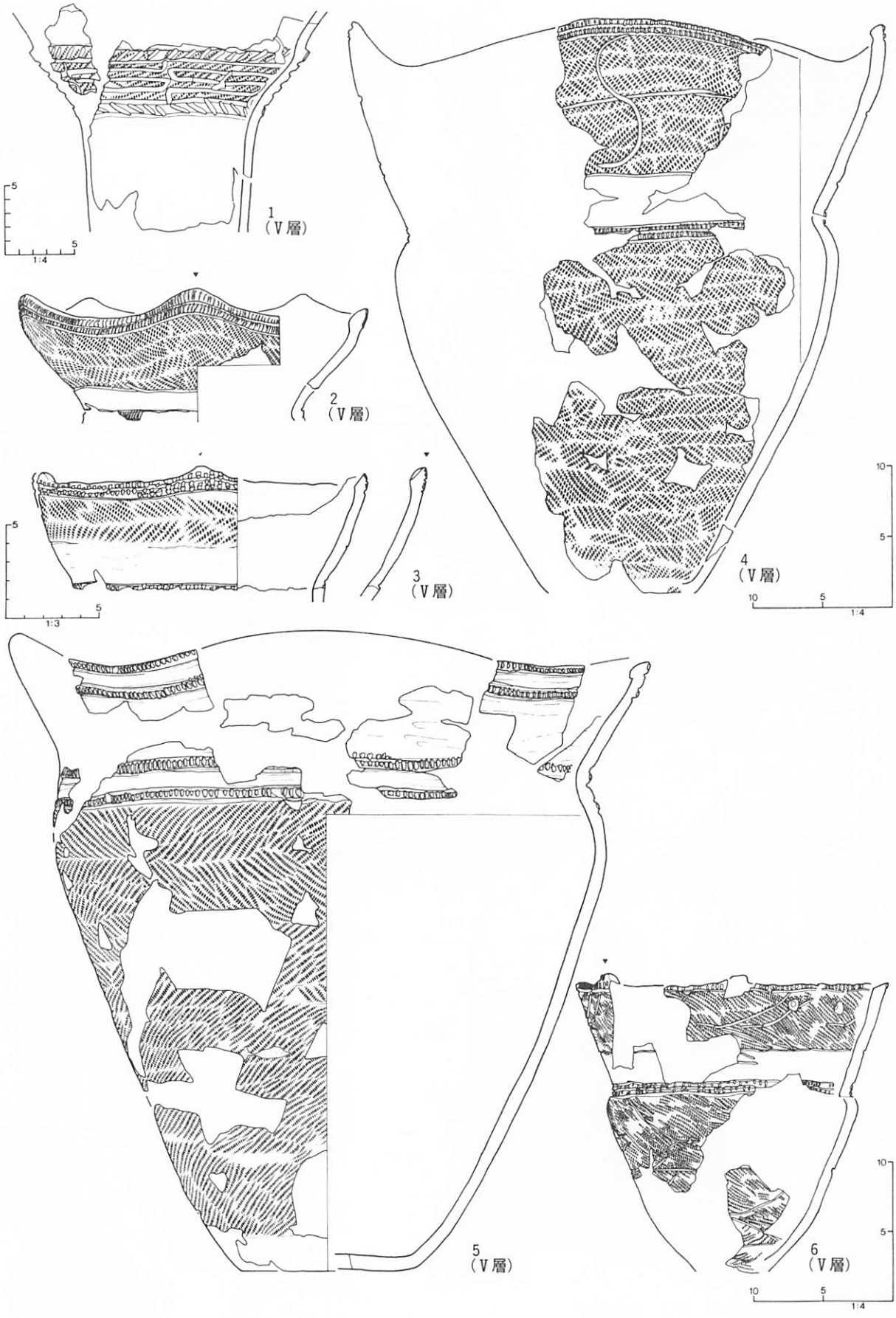
片口土器である。Ⅲ－9b層から出土した。口唇直下には円形の刺突文が巡り、縦、横の沈線文が施されている。

赤彩土器(図Ⅳ－121－340～349)

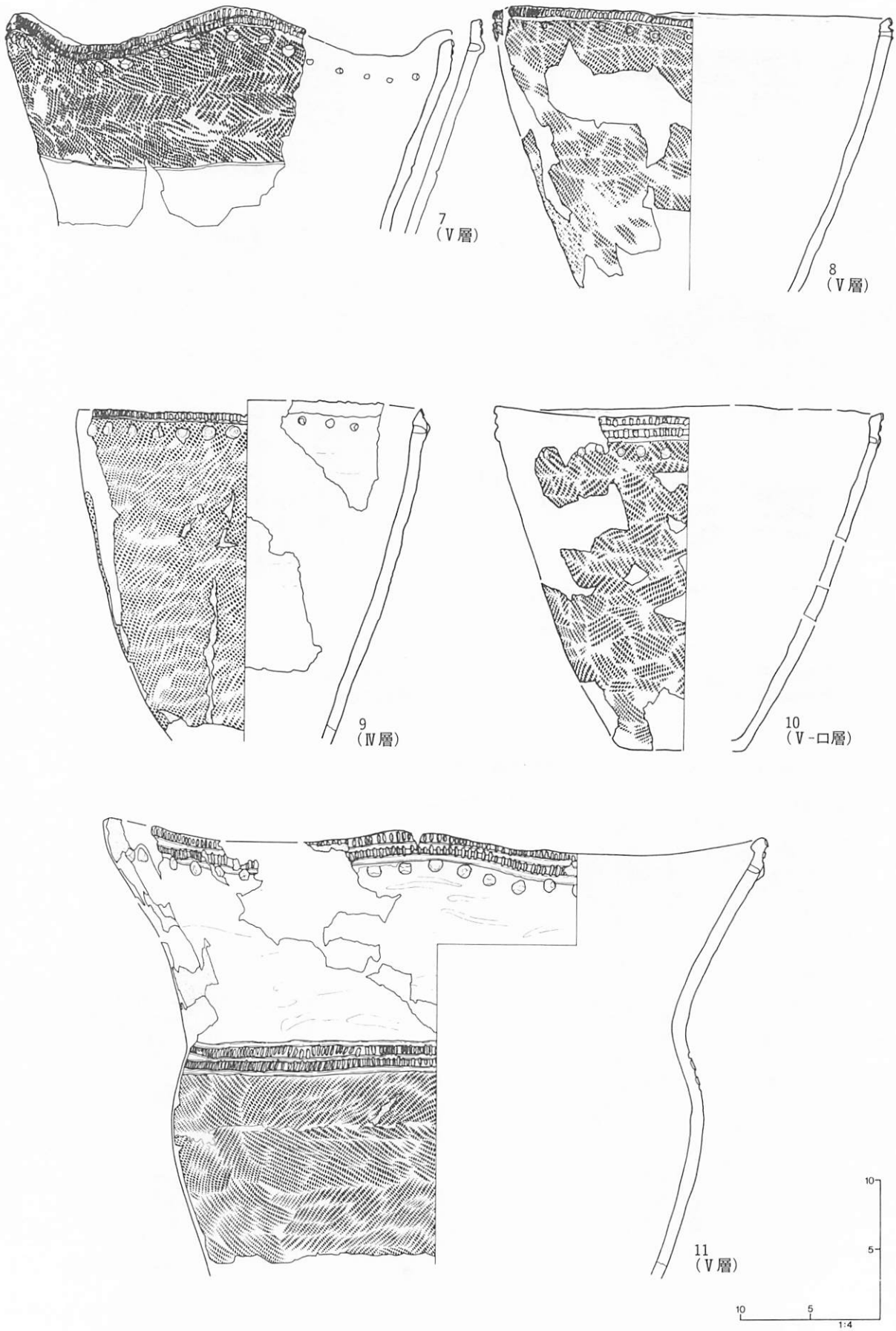
340～342・348は胴部破片で、弧線状の微隆起線文が認められる。磨り消しの部分に赤色顔料が良く残っている。343～345は注口土器片と思われ、貼り瘤を伴い、隆起線に刻みの加えられたものなどがある。隆起線に沿って顔料が残っている。346は注口部分である。磨かれた表面全体に赤色顔料が見られる。347は口縁部破片で、ミニチュア土器と思われる。隆起線文に沿ったところにわずかに赤色顔料を残す。349は底部破片で、丸底である。隆起線文に沿って赤色顔料がわずかに残る。

土製品(図Ⅳ－121－350～355)

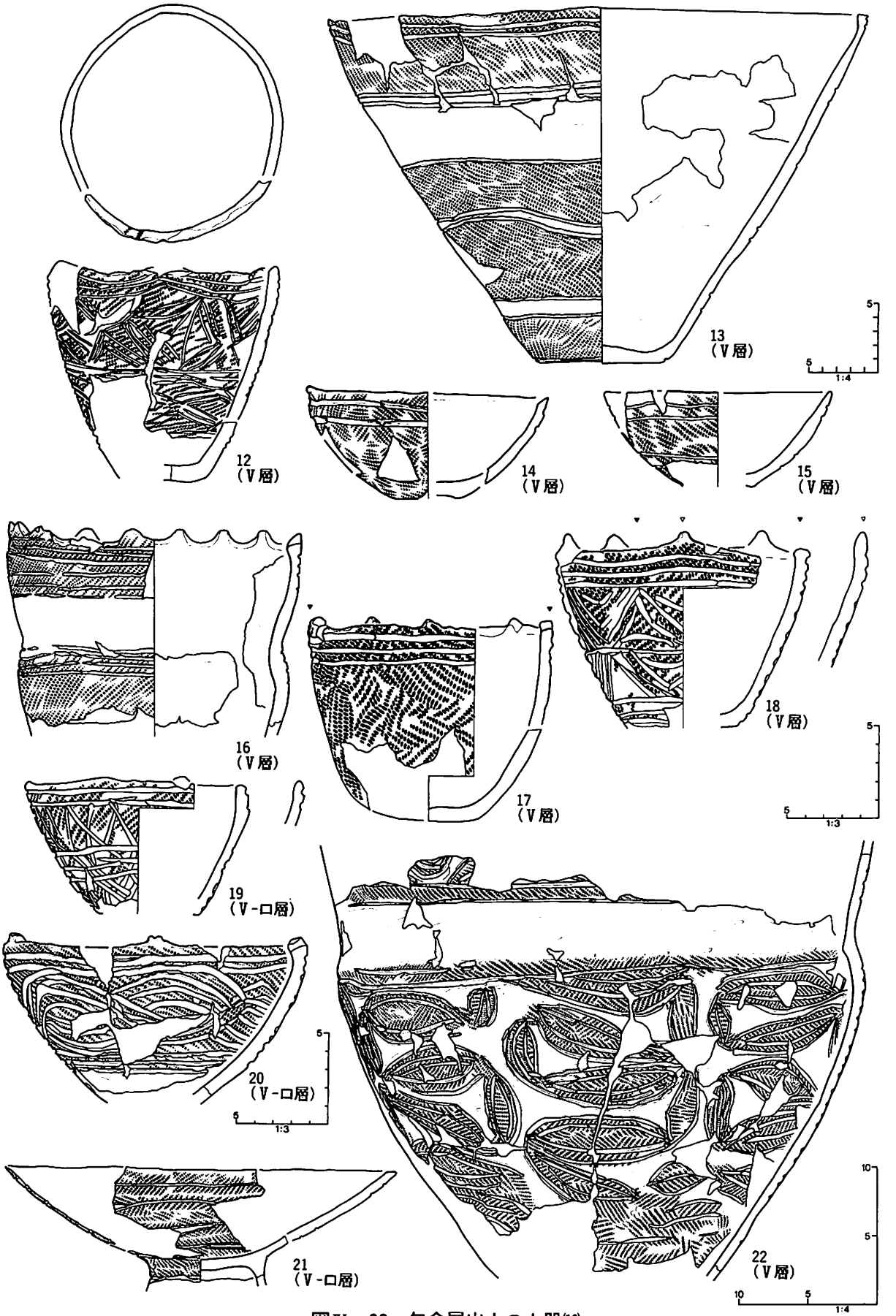
350、351はスタンプ形土製品である。ともに柄部に欠損が見られる。沈線文が施されたものである。



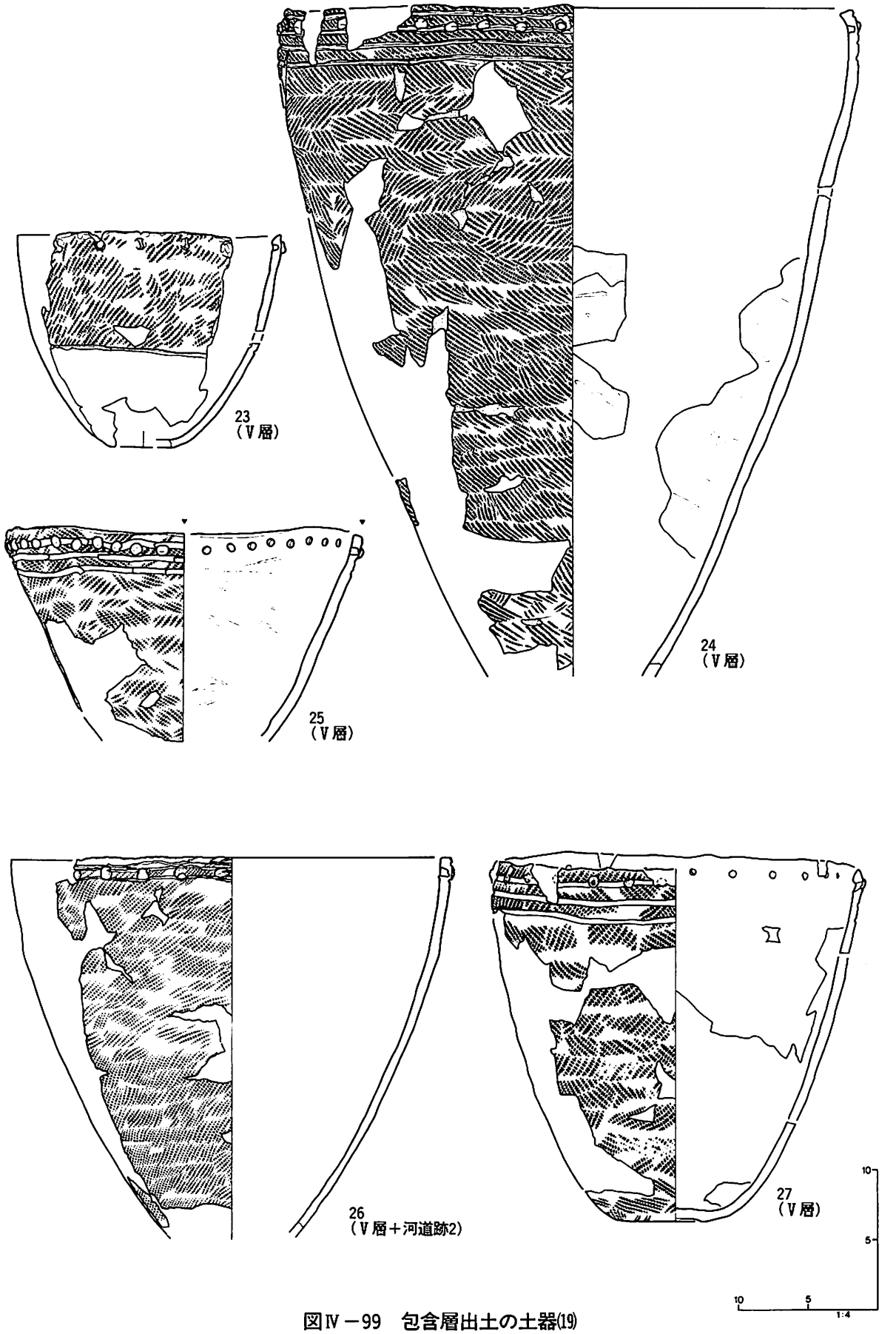
図Ⅳ－96　包含層出土の土器(16)



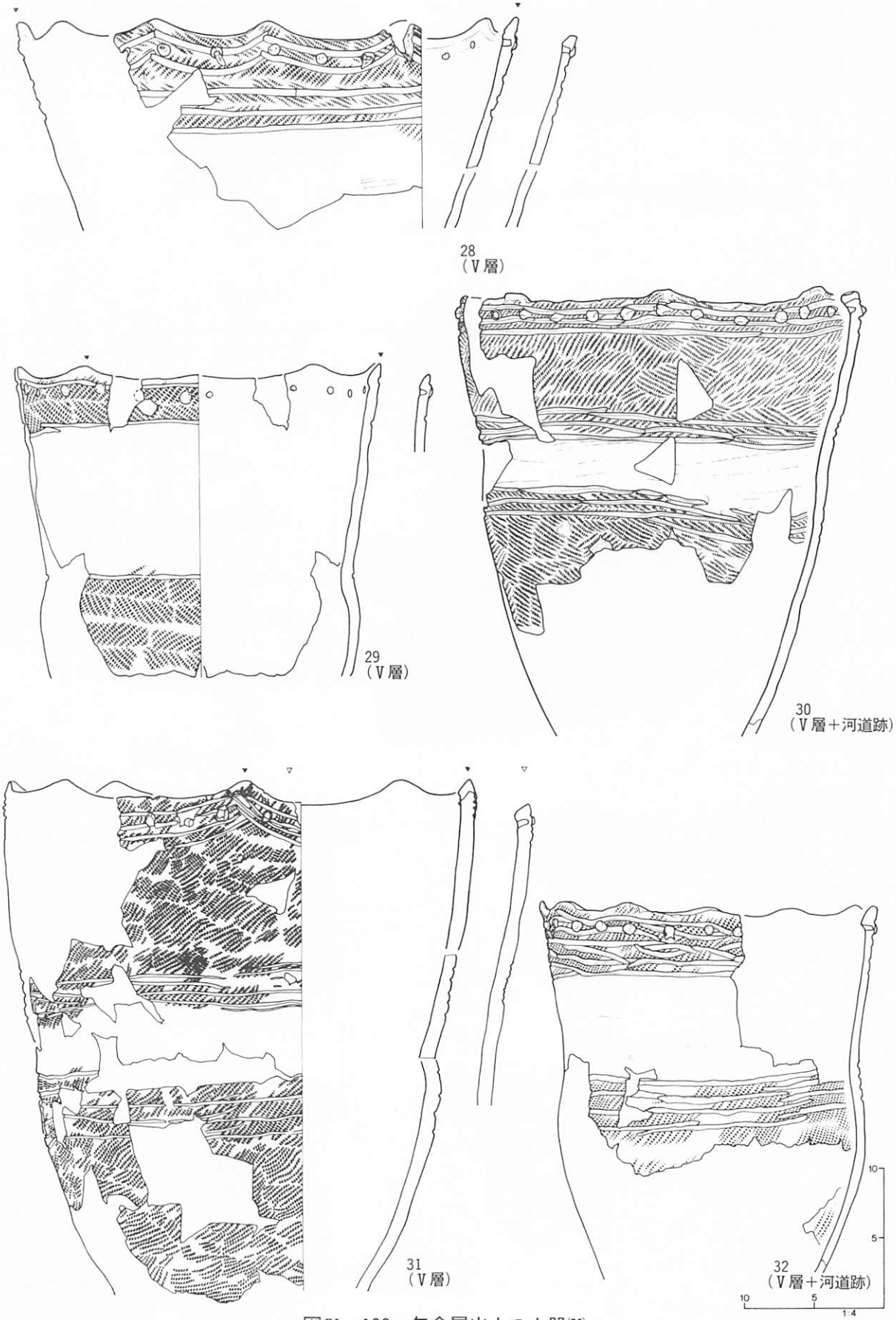
図Ⅳ－97　包含層出土の土器(17)



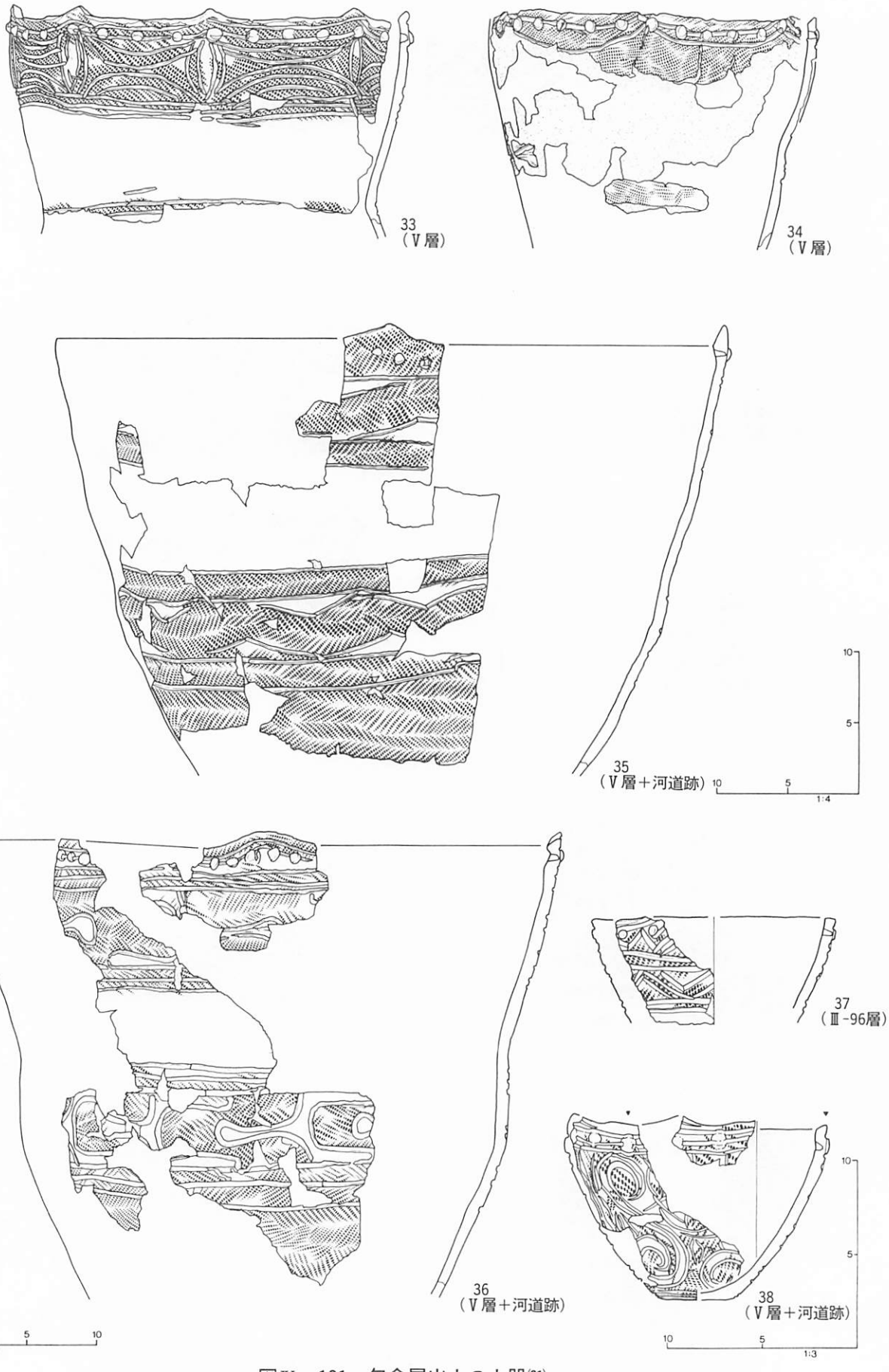
図Ⅳ－98　包含層出土の土器(18)



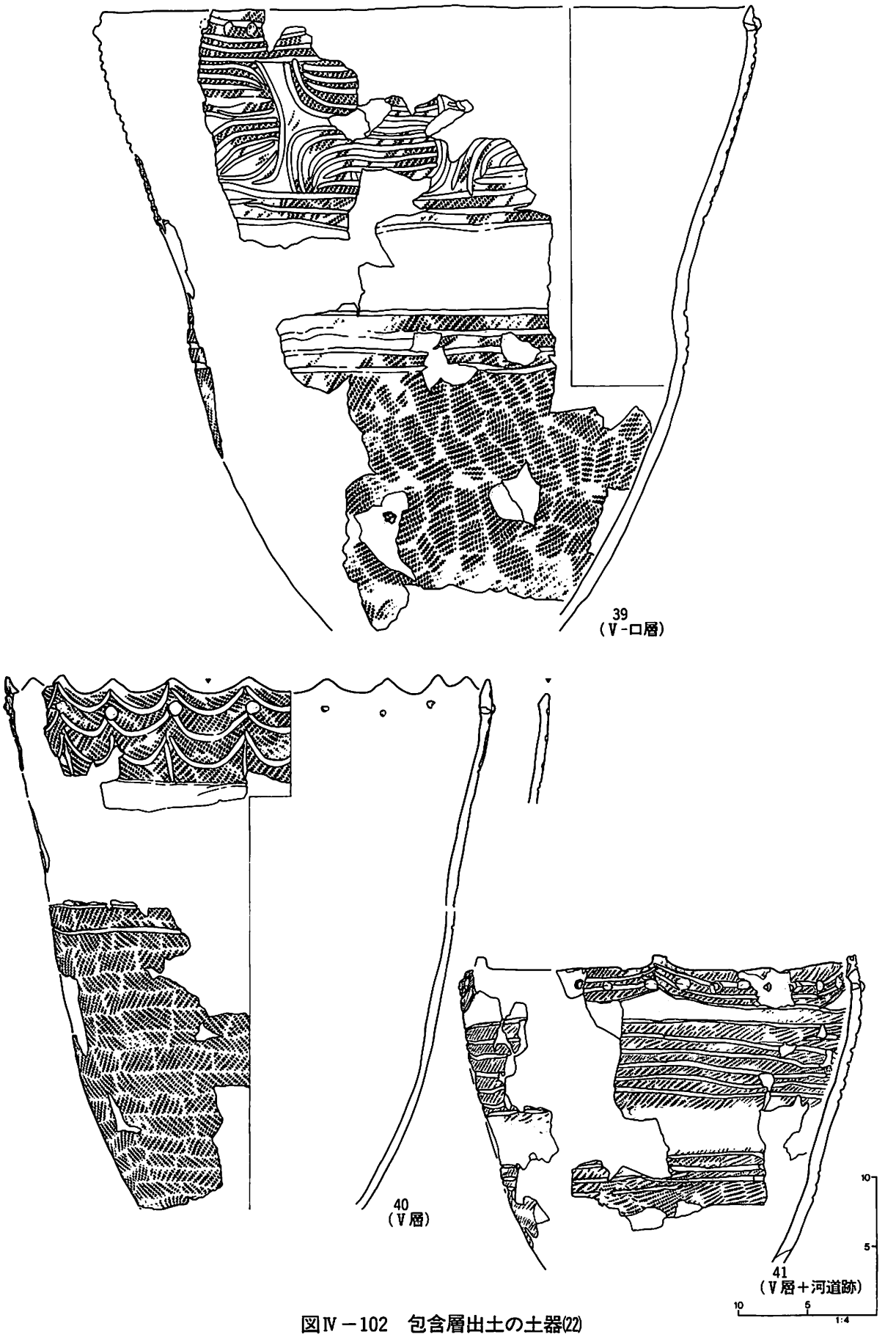
図Ⅳ－99　包含層出土の土器(19)



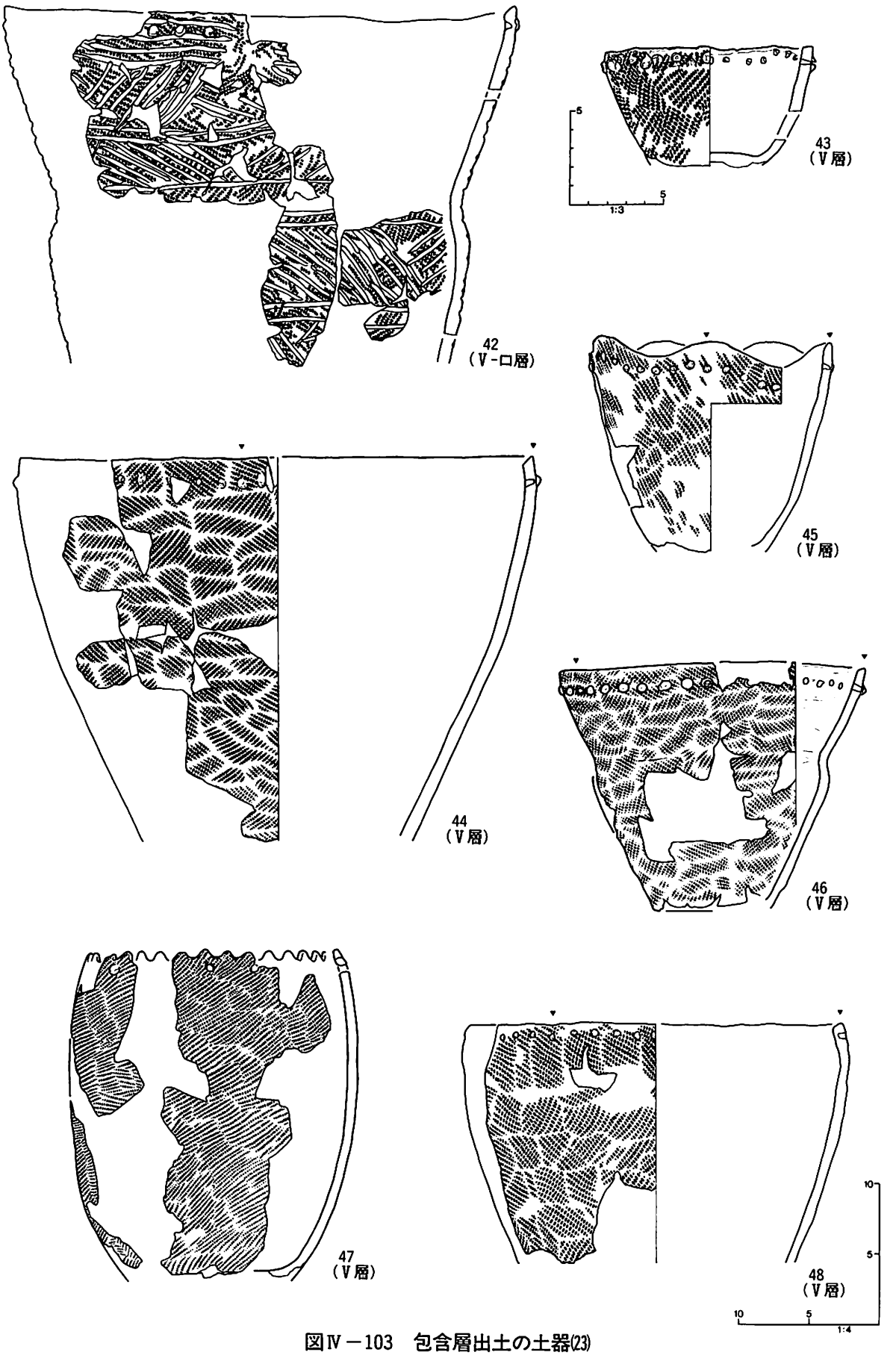
図Ⅳ－100　包含層出土の土器(20)



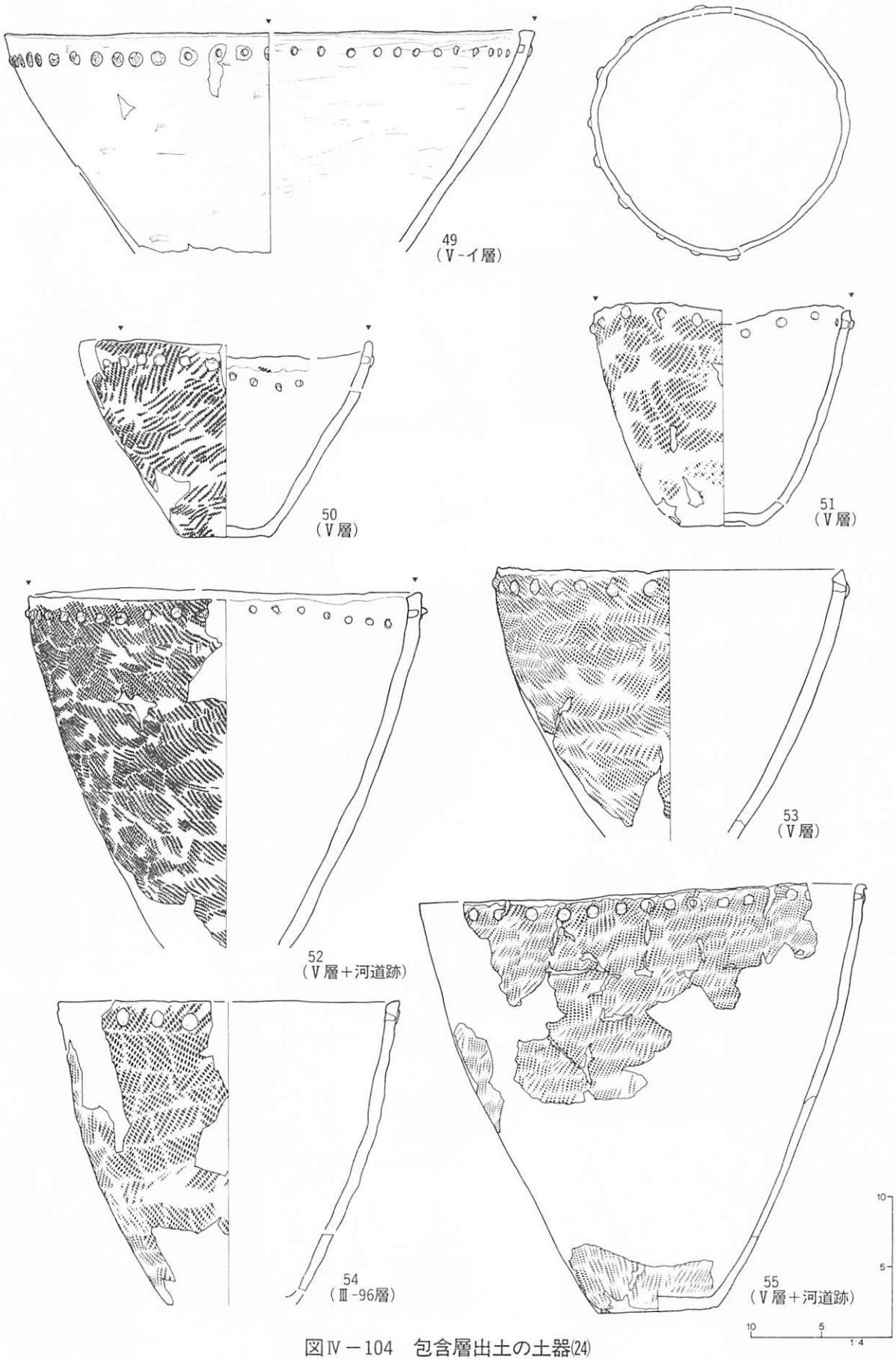
図Ⅳ－101　包含層出土の土器(21)



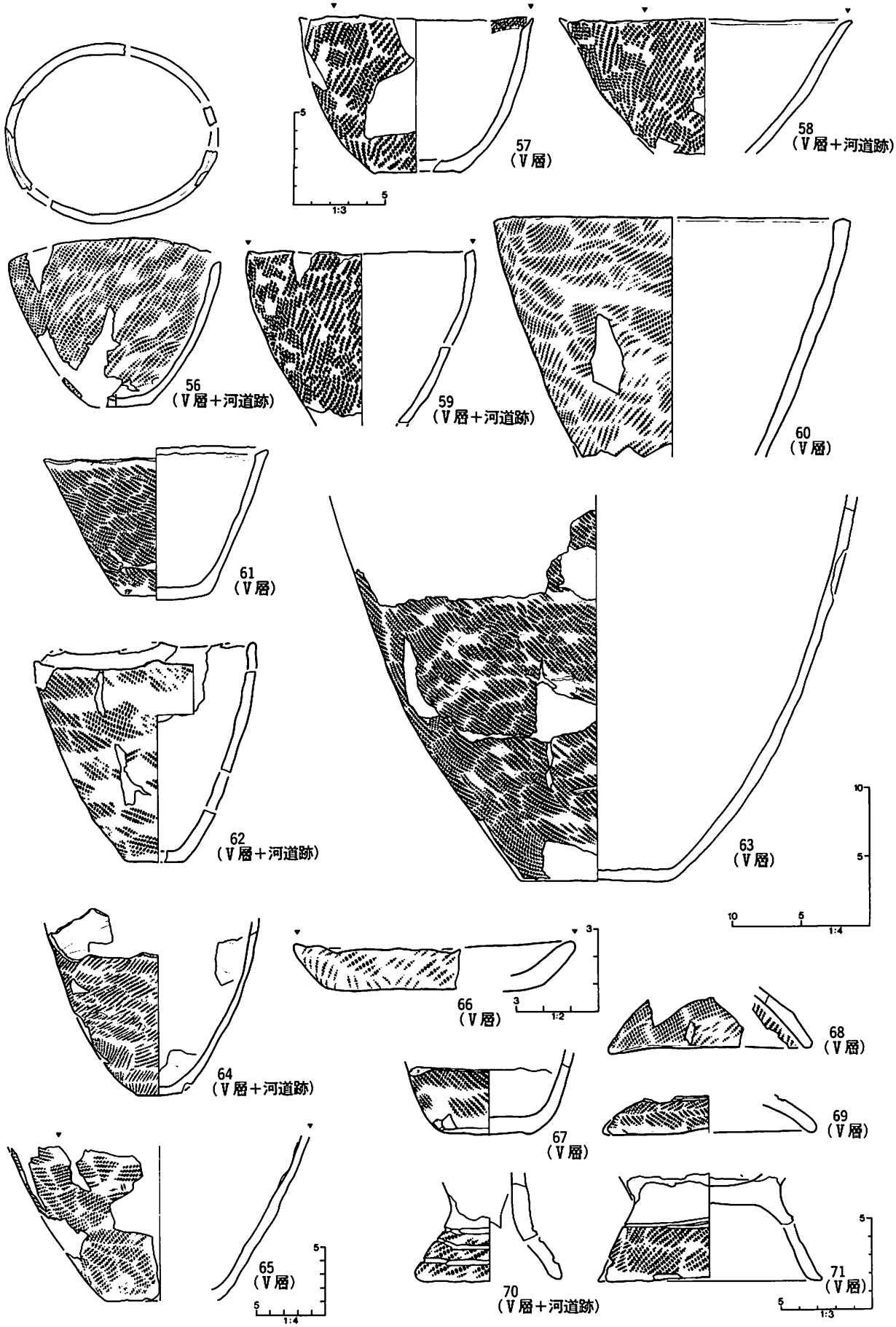
図Ⅳ－102　包含層出土の土器(22)



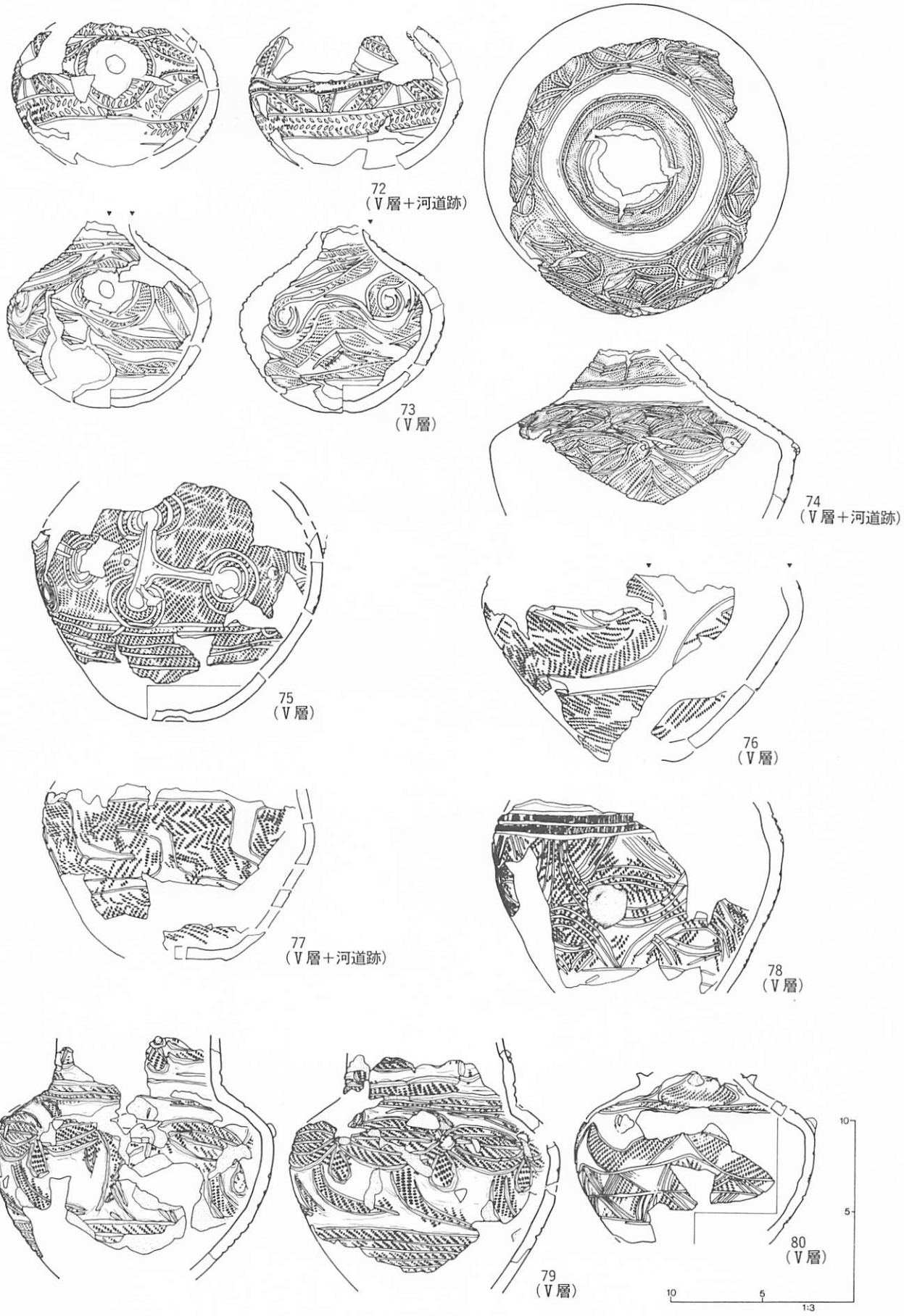
図Ⅳ－103　包含層出土の土器(23)



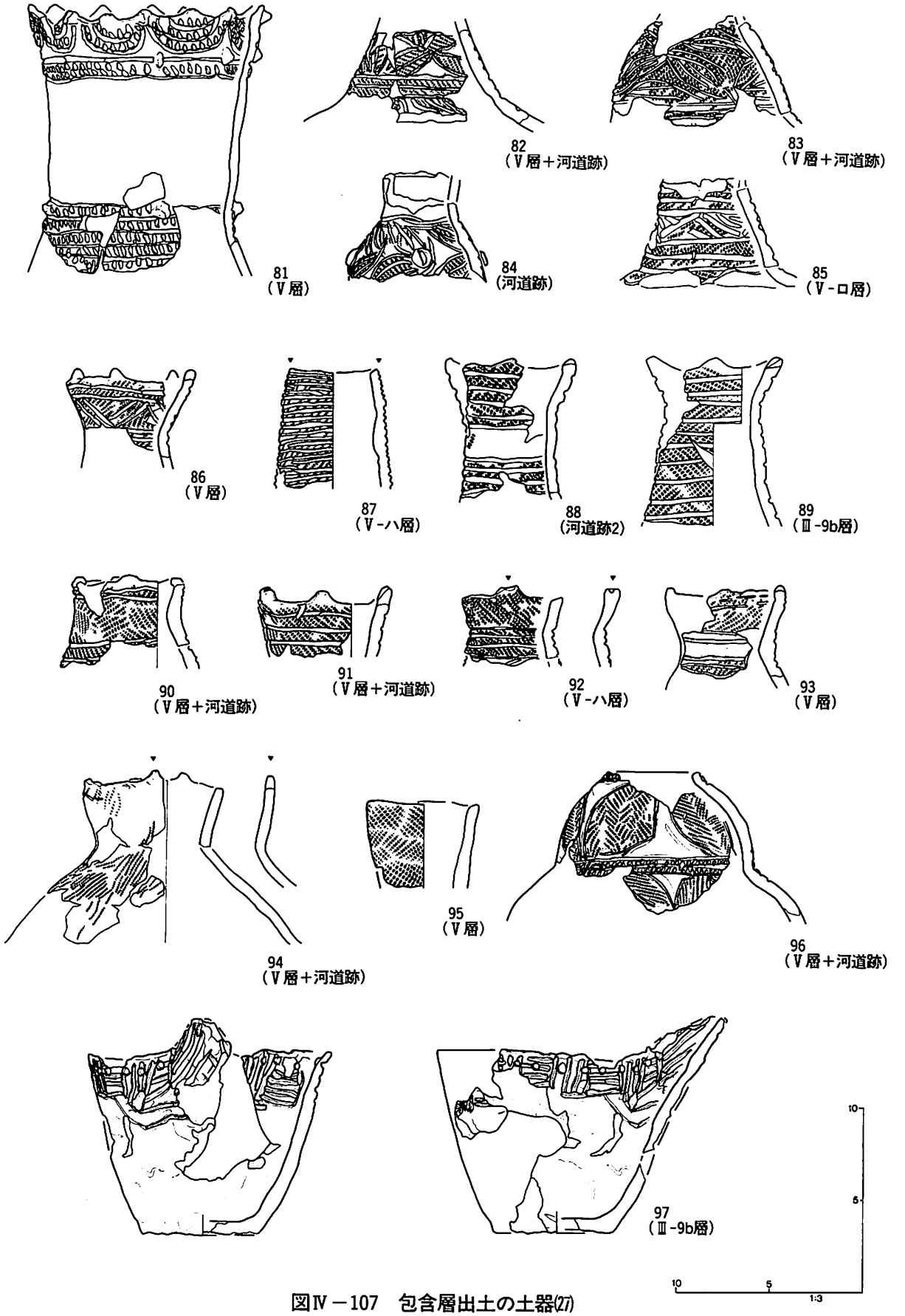
図Ⅳ－104　包含層出土の土器(24)



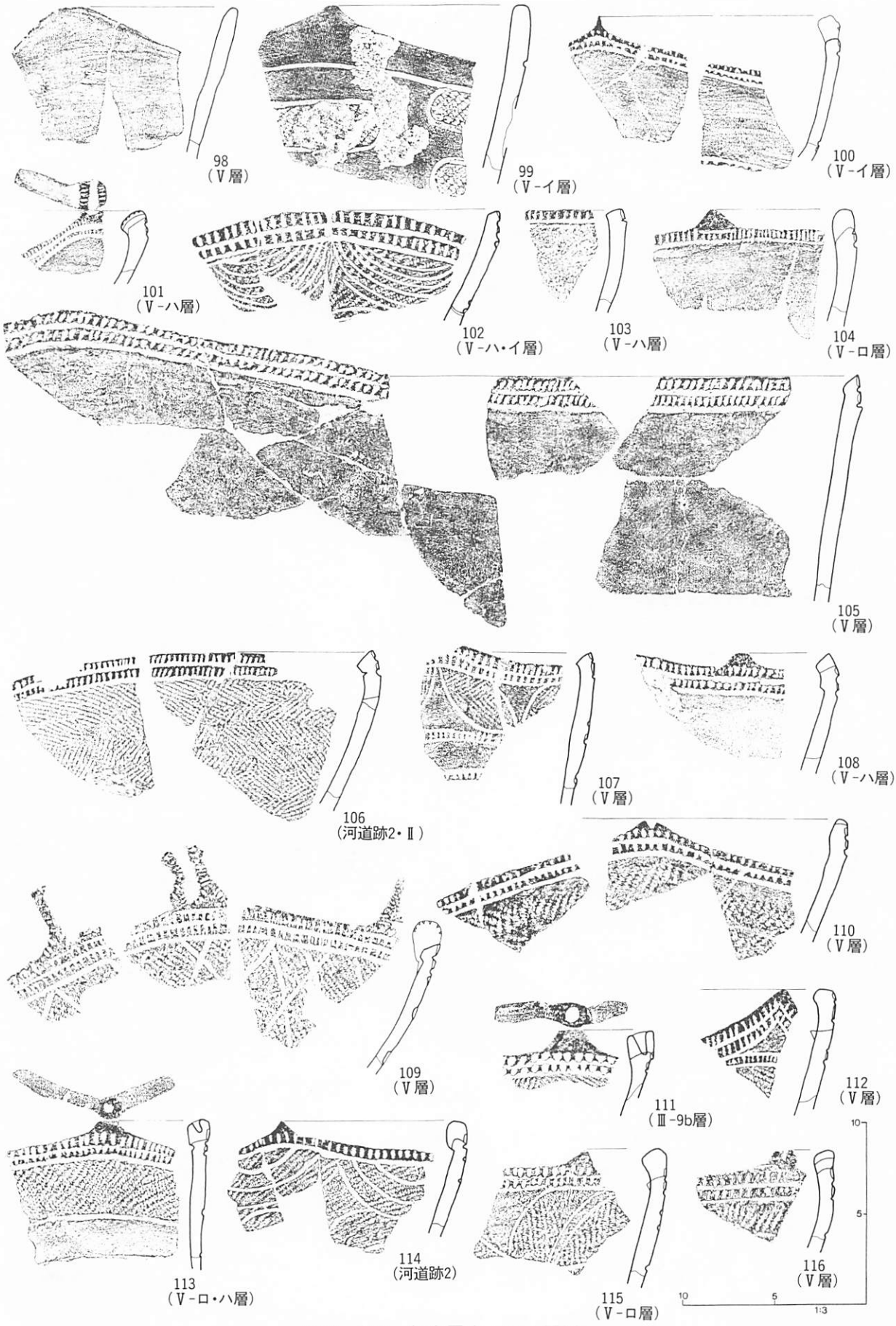
図Ⅳ－105　包含層出土の土器(25)



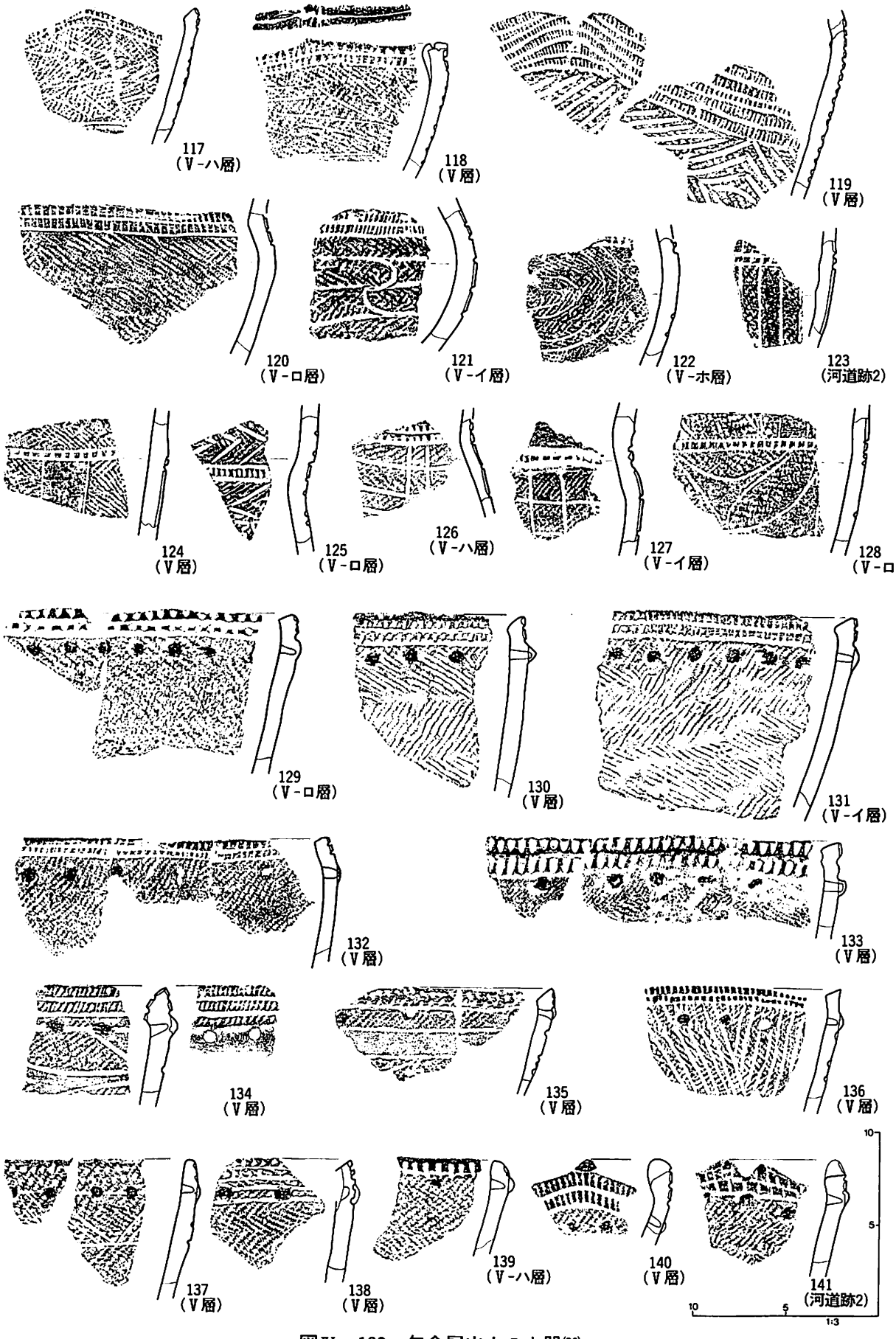
図Ⅳ－106　包含層出土の土器(26)



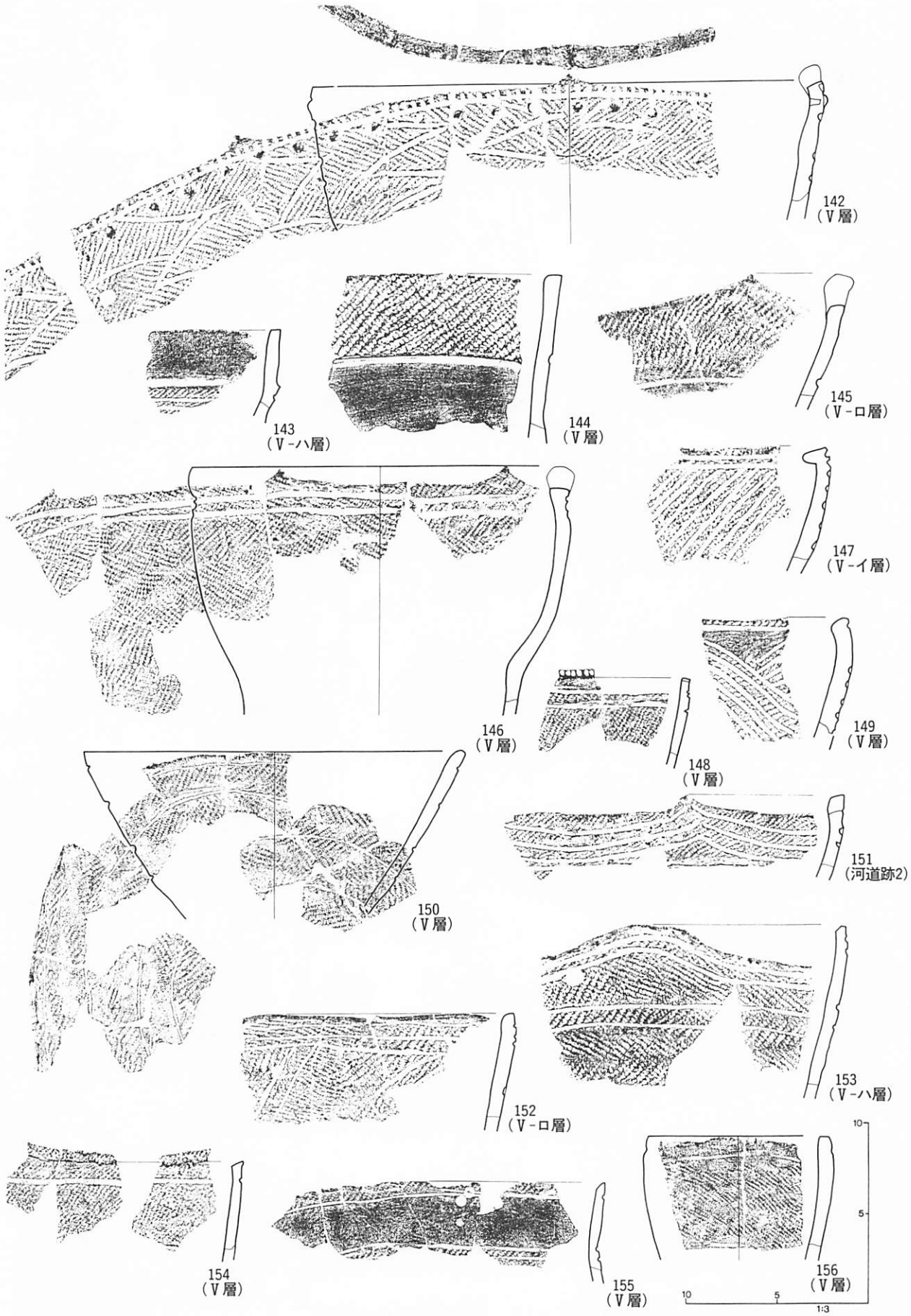
図Ⅳ－107　包含層出土の土器(27)



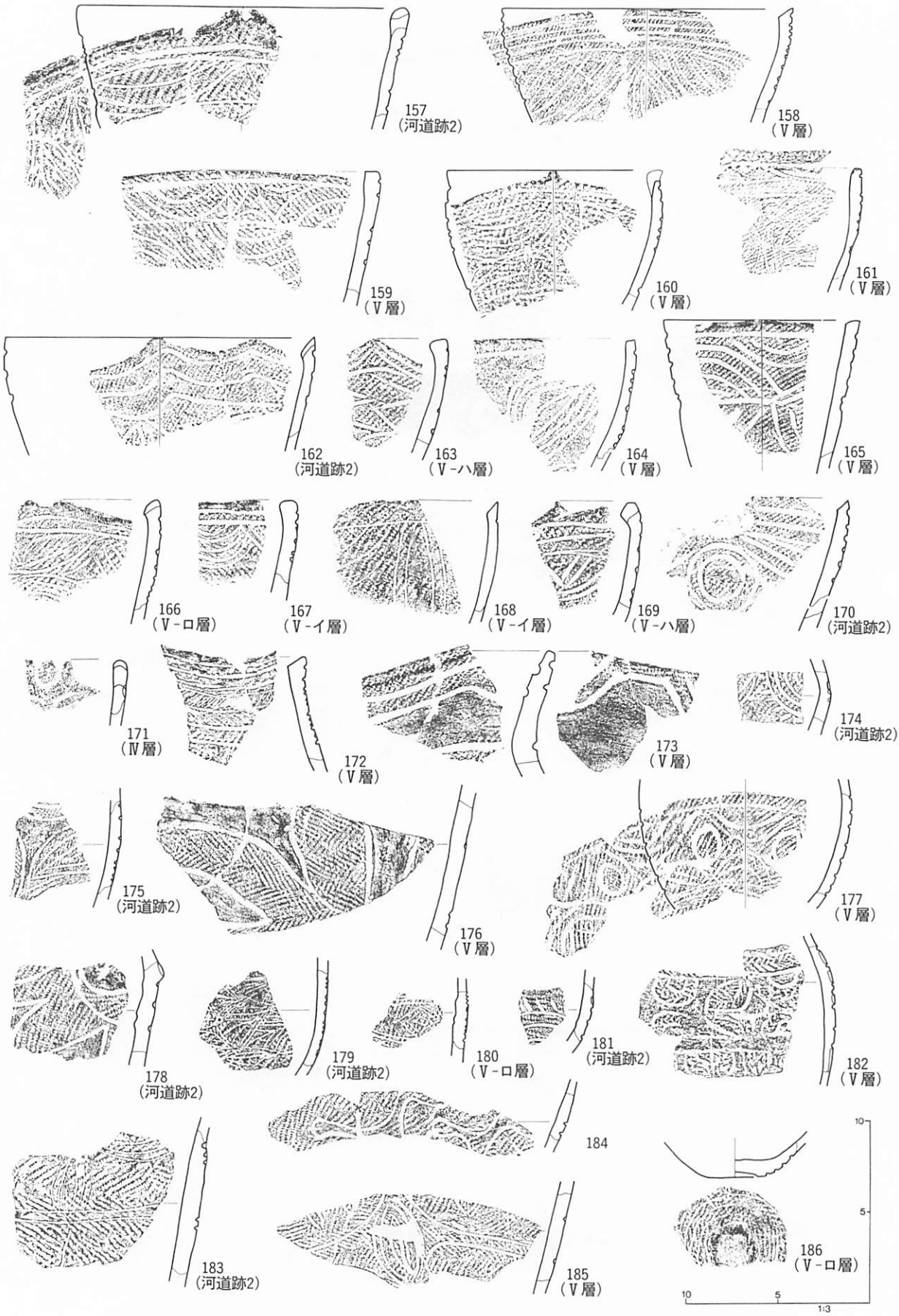
図Ⅳ－108　包含層出土の土器(28)



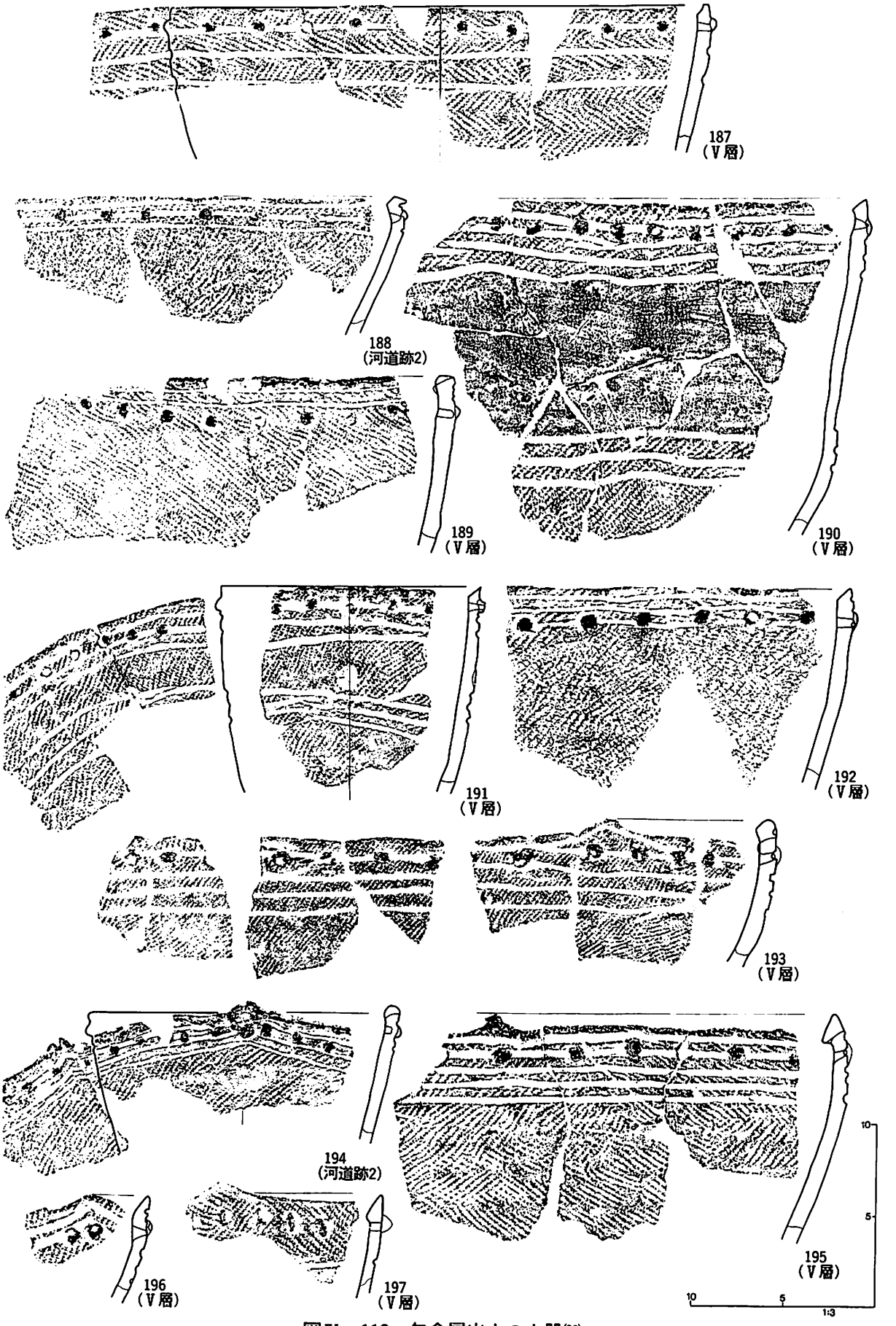
図Ⅳ－109　包含層出土の土器(29)



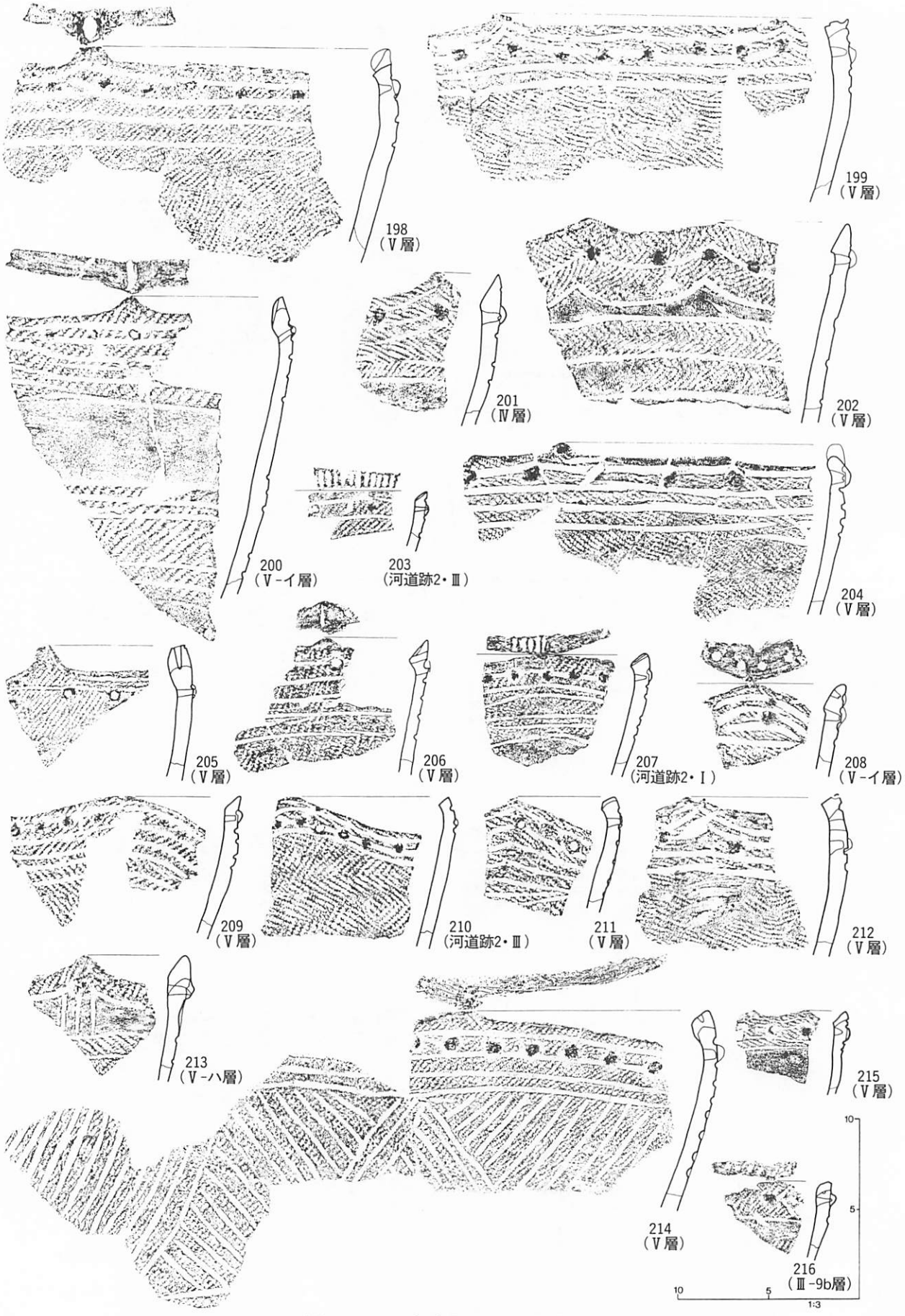
図Ⅳ－110　包含層出土の土器(30)



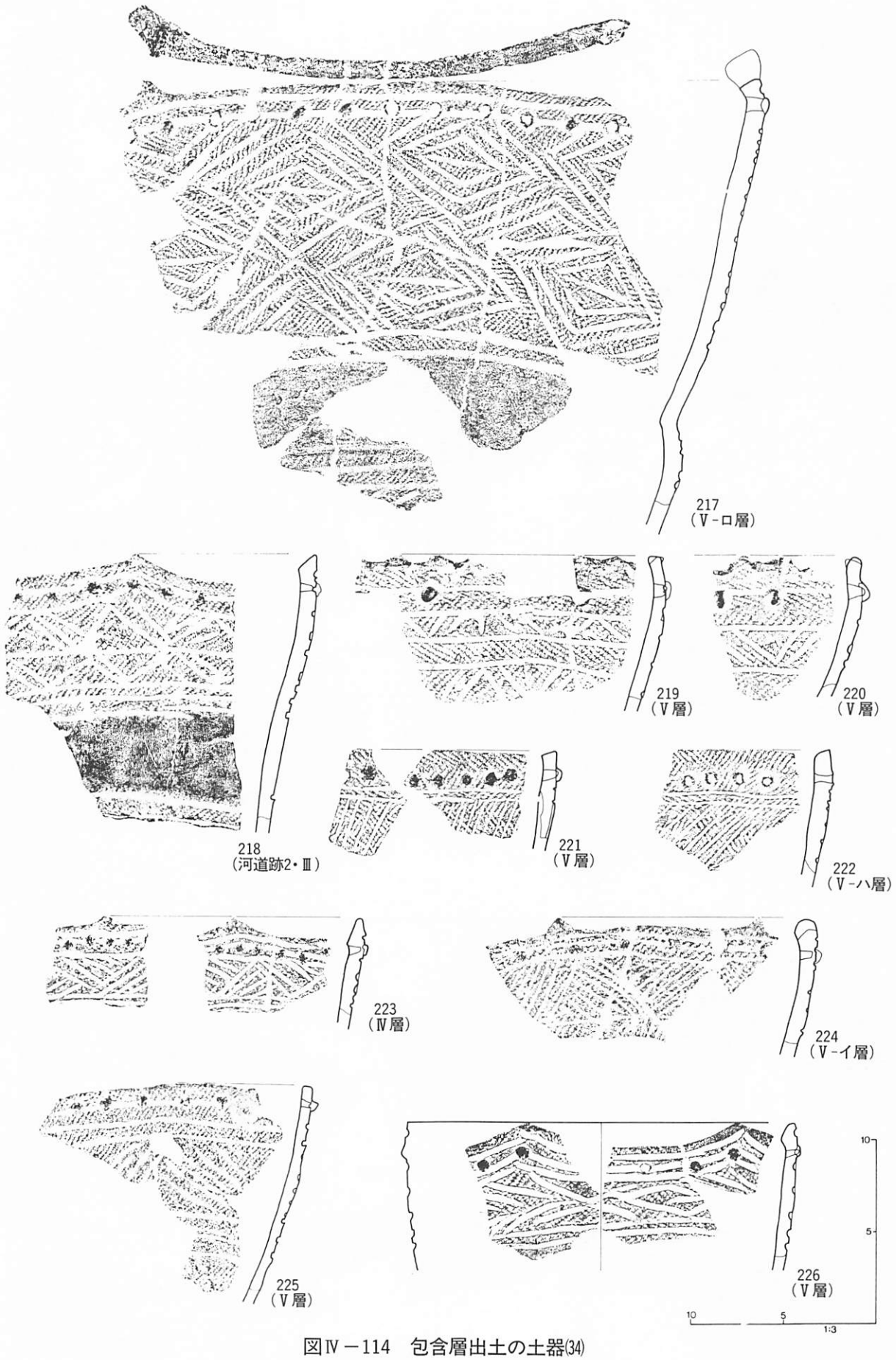
図Ⅳ－111　包含層出土の土器(31)



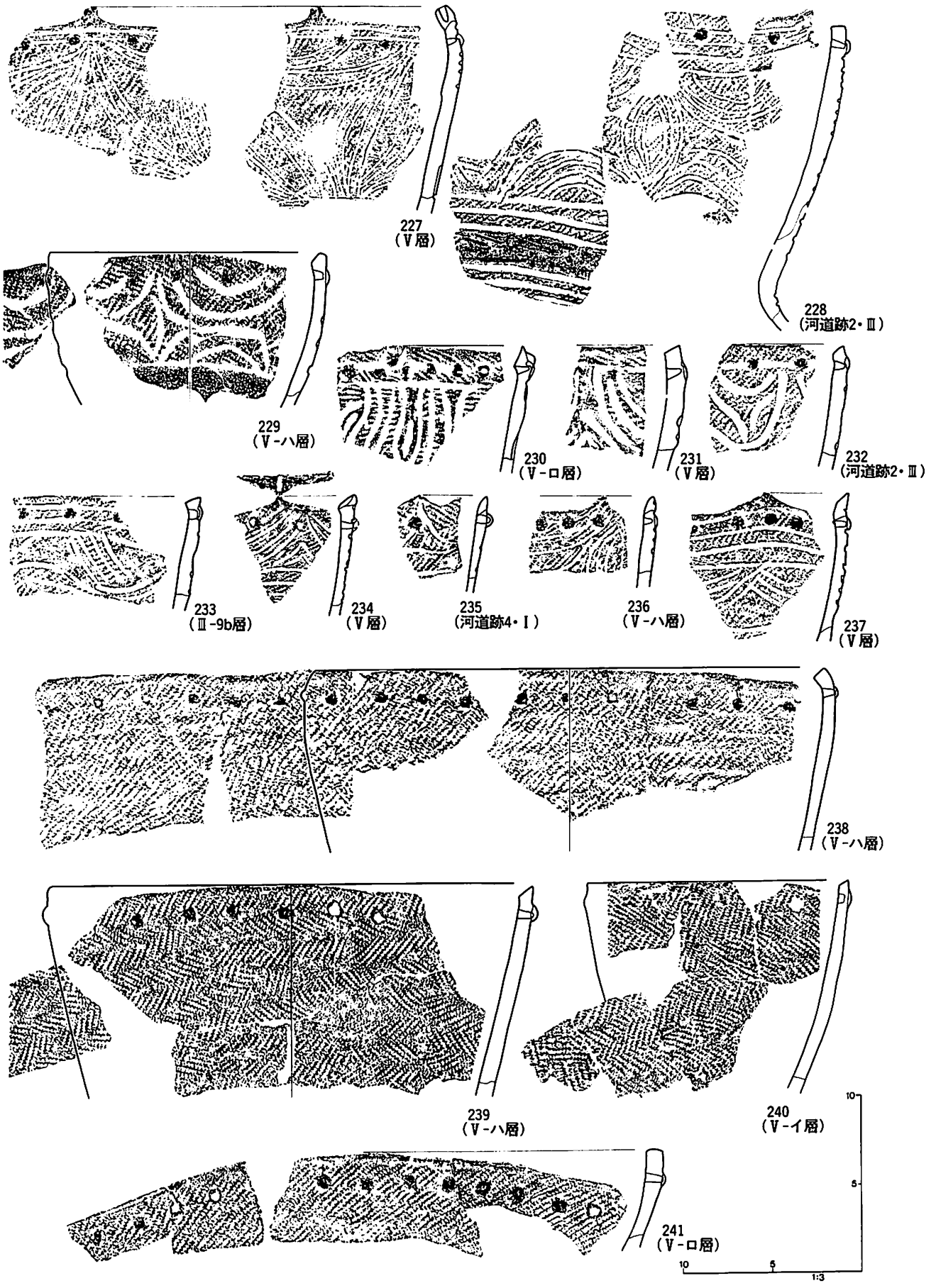
図Ⅳ－112　包含層出土の土器(32)



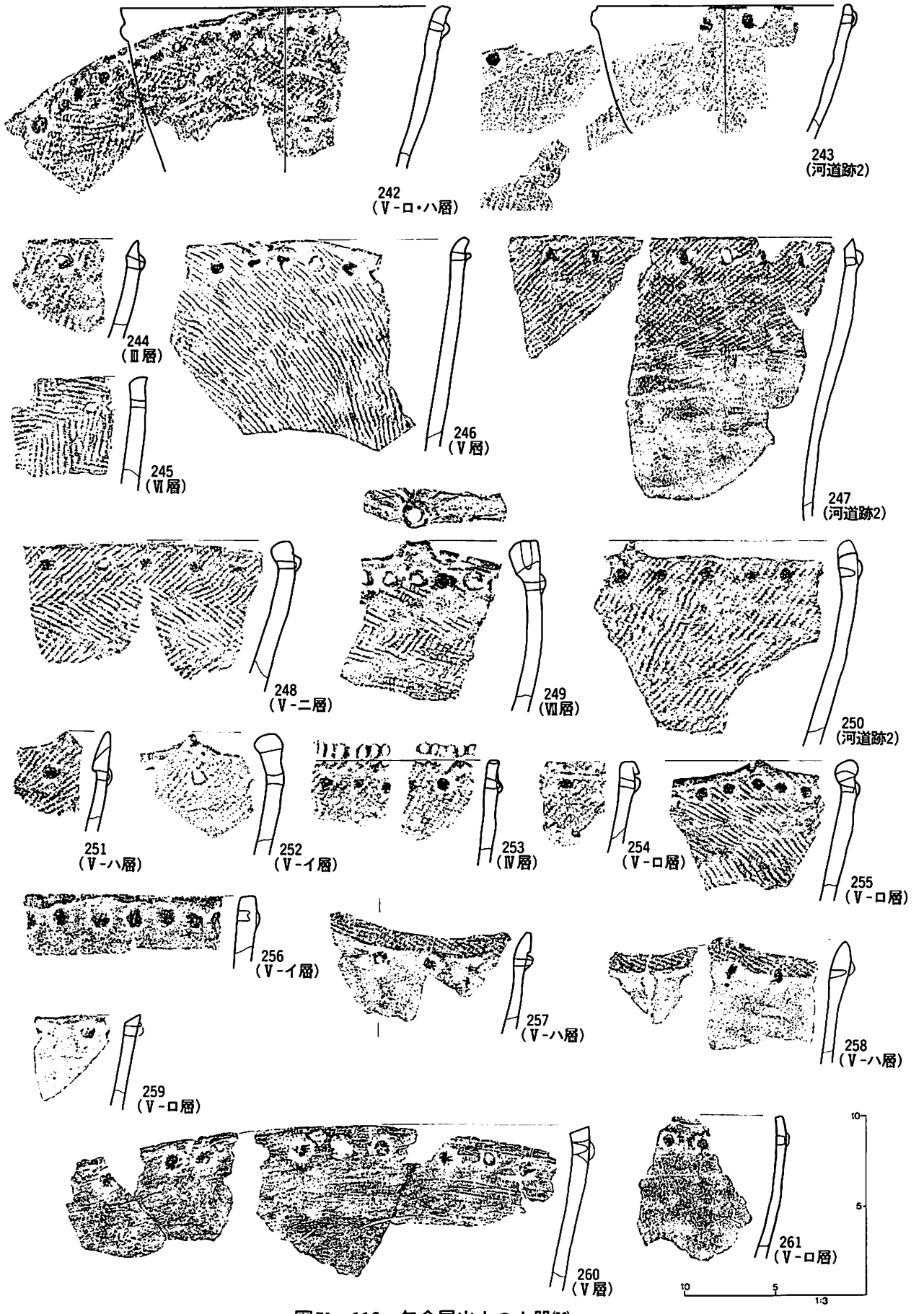
図Ⅳ－113　包含層出土の土器(33)



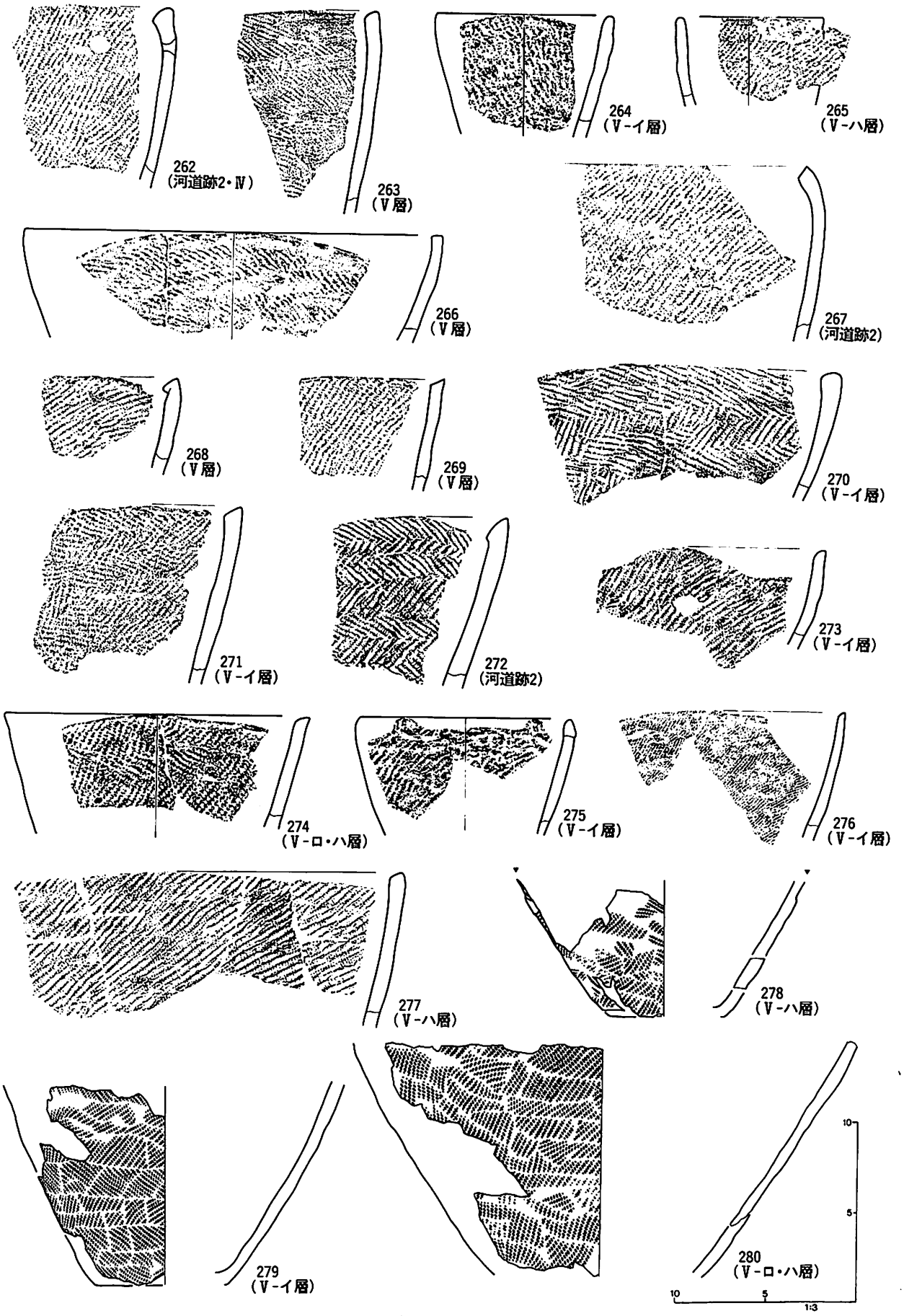
図Ⅳ－114　包含層出土の土器(34)



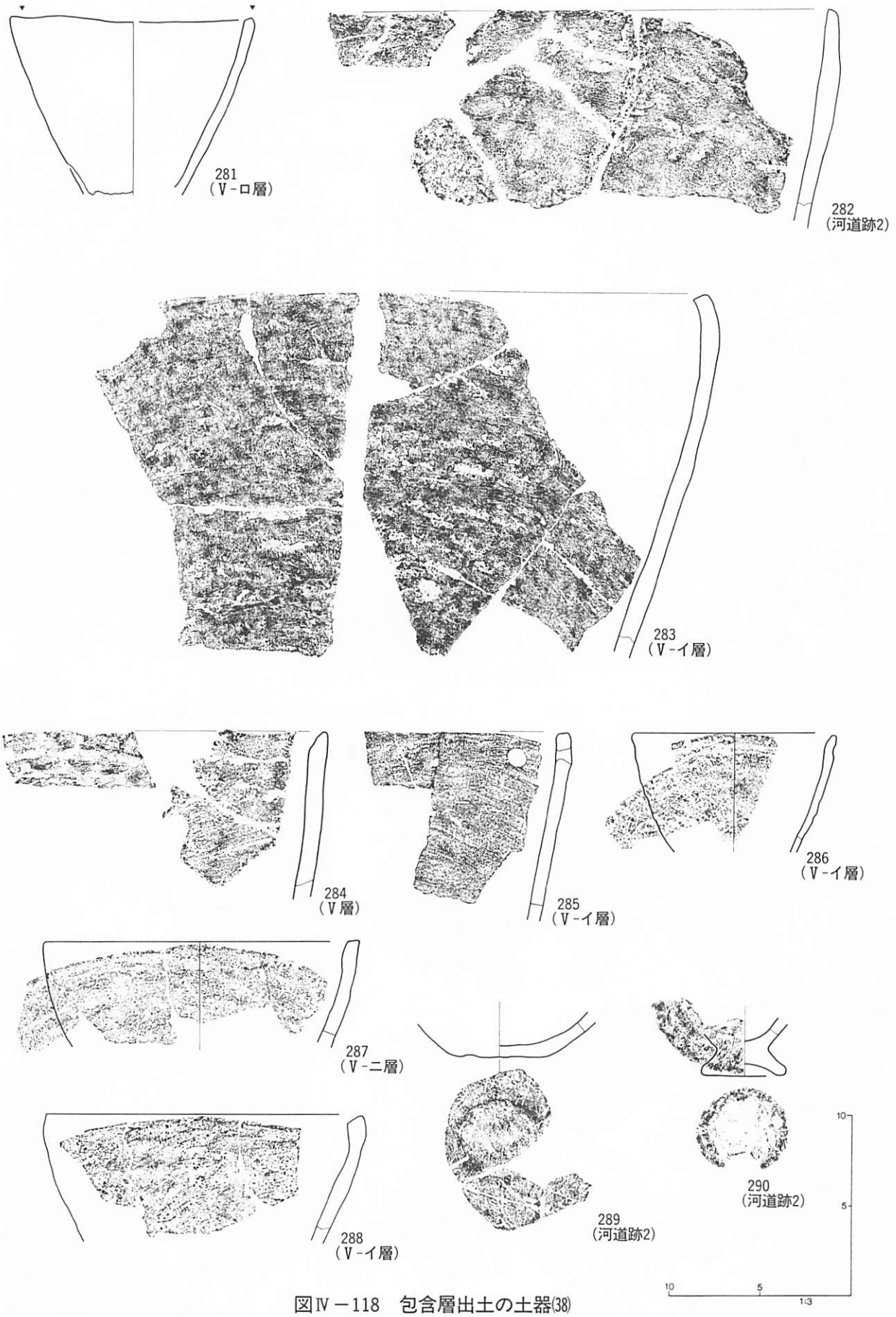
図Ⅳ－115　包含層出土の土器(35)



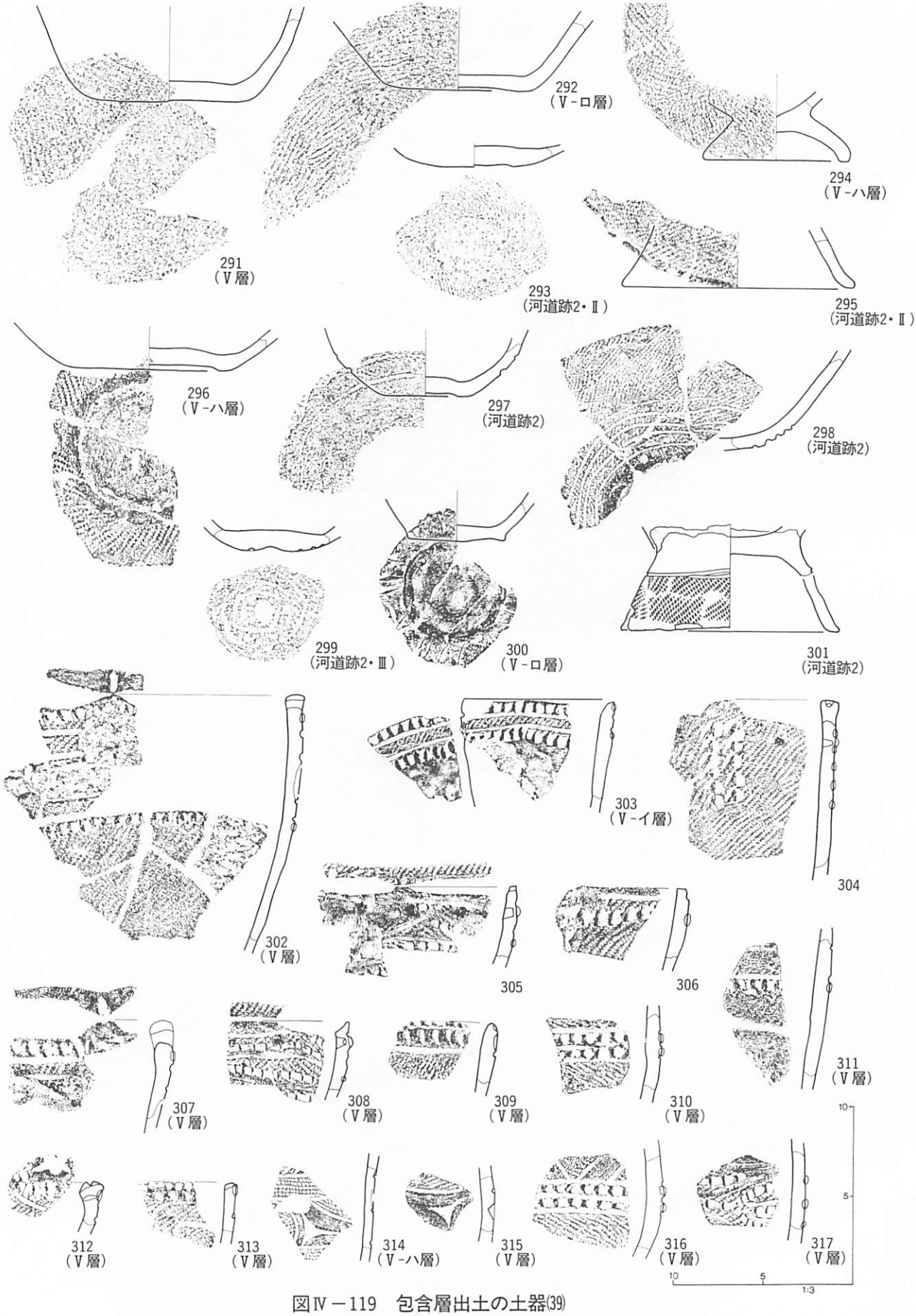
図Ⅳ－116　包含層出土の土器(36)



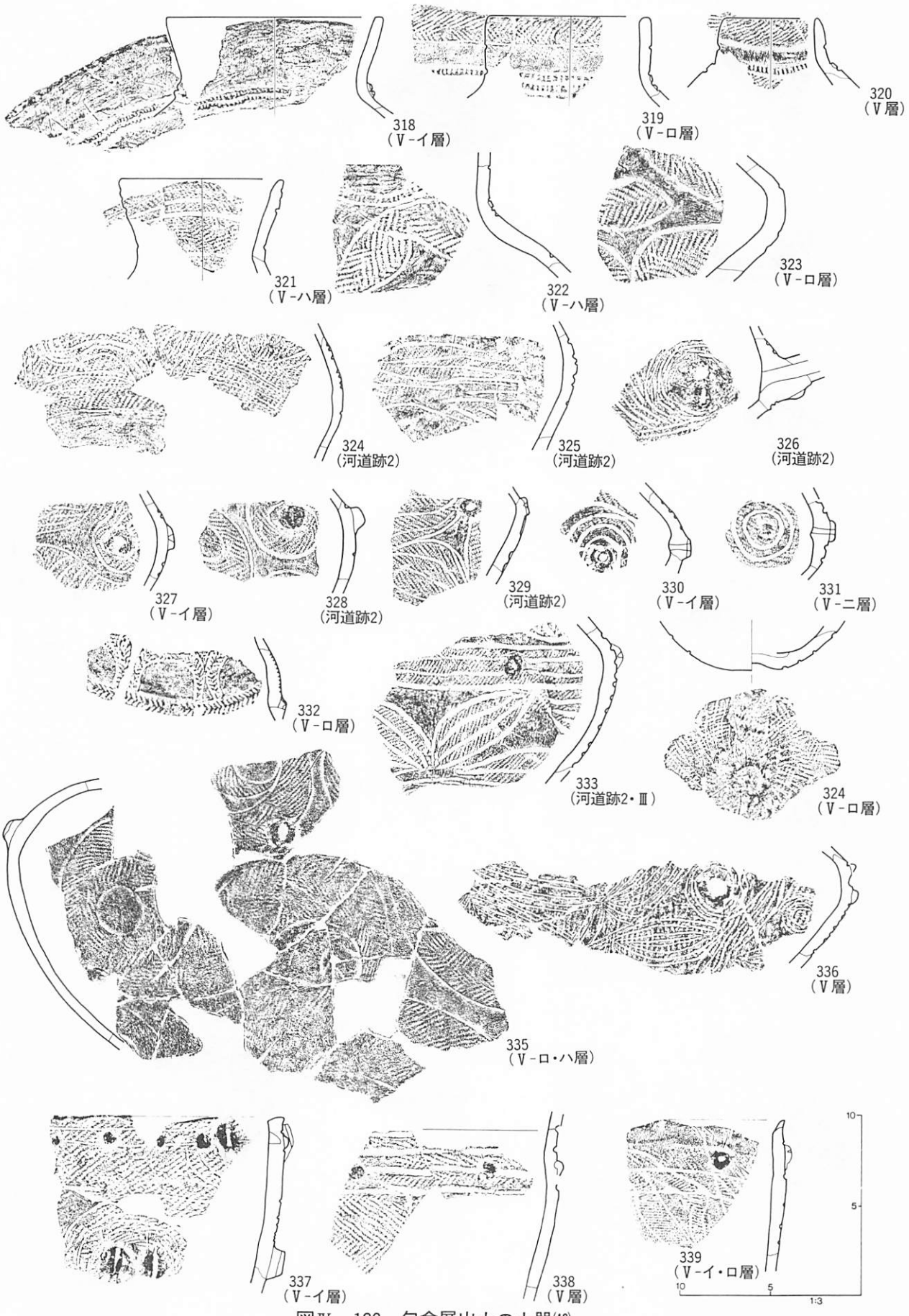
図Ⅳ－117　包含層出土の土器(37)



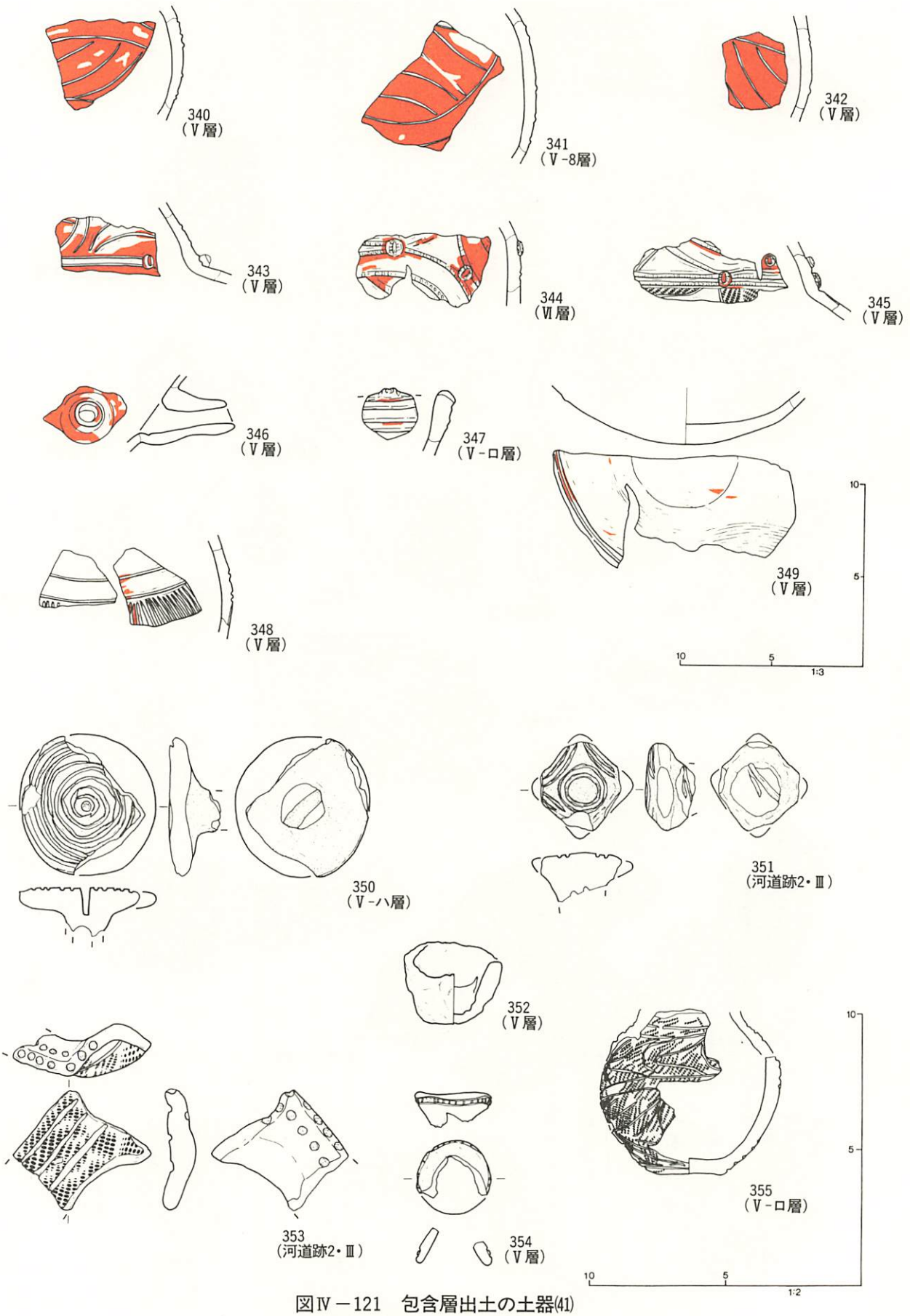
図Ⅳ－118　包含層出土の土器(38)



図Ⅳ－119　包含層出土の土器(39)



図Ⅳ－120　包含層出土の土器(40)



図Ⅳ－121　包含層出土の土器(41)

352・354・355はミニチュア土器である。353は土器の口縁部を加工して作成したものである。口唇に当たる部分に円形の刺突文が認められる。

(2) 石　器

包含層から出土した石器は総計24589点を数えた。礫が2938点を数え、その合計は27527点である。層位別の石器の出土は、Ⅲ層相当で1362点、Ⅳ層相当で3051点、Ⅴ層相当で18747点、Ⅵ層で797点を数えた。

石鏃（図Ⅳ－122－1～47・51～53）

石鏃は総計336点出土した。そのうち47点を掲載した。1から15は無茎平基のものである。7・13のみがⅥ層出土で、他はⅤ層相当の出土である。16は無茎凹基でⅢ層の出土である。17から47は有茎凸基のものである。51から53は木葉形のものである。全てⅤ～Ⅵ層の出土である。

石槍またはナイフ（図Ⅳ－122－48～50・54～56）

石槍またはナイフは総計20点出土した。そのうち、6点を掲載した。48から50は有茎のもので、48が片面周辺加工、49,50は両面全面加工で作られている。54は菱形のもので、55は両面全面加工のものである。56は有茎平基のもので、両面全面加工である。すべて黒曜石製で、Ⅴ層下部～Ⅵ層にて出土したものである。

つまみ付きナイフ（図Ⅳ－123・124－57～80）

つまみ付きナイフは総計78点出土した。そのうち、24点を掲載した。57から76、79は縦形のものである。なかには両面周縁加工のもの（57・79）、片面全面加工のもの（58・59・60・61・62・63・64・69・72・73・74・75・76）、片面全面加工で片面周縁加工のもの（65・67・68・70・71）、両面全面加工のもの（66）がある。77・78・80は横形のものである。77、78は片面全面加工、79は両面周縁加工のものである。

石錐（図Ⅳ－124－81～93）

石錐は総計36点出土した。そのうち13点を掲載した。81から86は棒状のものである。81から84は両端に機能部が認められるものである。87・88・89は剝片の一端に機能部を作出したものと思われる。87・88・89は両面全面加工のものである。90～93はつまみ部をもつ棒状のものである。石錐は全てⅤ層相当からの出土である。

スクレイパー（図Ⅳ－124・125－94～107）

スクレイパーは総計92点出土した。そのうち14点を掲載した。94から99は縦形のものである。95は片面全面加工、96は片面全面加工、片面周縁加工のもので側縁に刃部を作出している。97は片面全面加工で、尖頭状に刃部を作っている。98は片面全面加工で下端部に、99は片面全面、片面周縁加工により側縁に刃部を作っている。100から105は円形に近いもので、片面全面加工により、周縁に刃部を作出したものである。106、107は横形のものである。片面周縁加工により、106は尖頭状の、107は弧状に近い刃部を作り出している。スクレイパーは全てⅤ層相当層より出土し、全て黒曜石製である。

石核（図Ⅳ－125－108～112）

石核は総計11点が出土した。そのうち、5点を掲載した。108から112の素材は黒曜石である。

石斧（図Ⅳ－126－113～128）

石斧は総計203点が出土した。そのうち16点を掲載した。113は完形のもので短冊形を呈している。粗割－擦りによって作出されている。114から119、121は刃部破片で、主に擦りによって作出されたものである。120は破損品で、擦り切りの溝が認められる。121は撥形で、擦りによって作られたもの

である。122は撥形の刃部破片で、敲打－擦りによって作出されている。123は粗割－擦りによって作られたものであるが、擦り切りの溝が表裏両面に残されたものである。124,125は短冊形の刃部破片であるが、敲打と擦りによって整形されており、ともに折れ面野市部に粗割の痕跡が認められる。126は敲打－擦りによって作出された刃部の破片である。127は敲打のみによって作出されたものである。128は完形のもので撥形形を呈している。粗割によってのみ整形されている。石斧は116がⅣ層、122がⅢ層、これ以外は全てⅤ～Ⅵ層相当層出土のものである。

たたき石（図Ⅳ－127・128－129～148）

たたき石は総計73点出土した。そのうち20点を掲載した。129・131は円礫の全面にたたき痕が認められる。130・132は楕円の礫片の端部にたたき痕が認められる。133・135・136・137・138は扁平礫を用いたもので周縁にたたき痕が見られるもの（133・134・136）、頂部にたたき痕が見られるもの（133・135・137・138）がある。138には炭化物と思われる黒色の付着物が見られた。139から142は棒状の礫を用いたもので、下端部にたたき痕が認められるもの（139・140・142）、表裏両面にたたき痕が見られるもの（141・142）がある。143は石斧の転用と考えられる。下端の刃部にたたき痕が認められる。144から148は扁平な円礫の周縁にたたき痕が認められるものである。

すり石（図Ⅳ－128・129－149～173）

すり石は総計221点が出土した。149はたたき石の扁平礫の周縁に擦り面が見られる。150から153は円礫を用いたもの、154から157は棒状の礫の一端を用いたものである。155は石斧の転用である。158から173は断面が三角形の礫の稜を擦ってすり石としたものである。

砥石（図Ⅳ－130・131－174～182）

砥石は総計127点が出土した。そのうち9点を掲載した。174から180は板状のものである。181は扁平の礫に研磨の溝が残るものである。182は角柱礫を利用したもので、手持ちで用いるタイプのものである。

石のみ（図Ⅳ－131－183～185）

石のみは総計4点出土した。そのうち3点を掲載した。183・184・185は擦りによって作出されたものである。

石鋸（図Ⅳ－131－186・187）

石鋸は総計10点が出土した。そのうち3点を掲載した。186・187は扁平礫の側縁部に擦り面が認められる。

石錘（図Ⅳ－131－188～191）

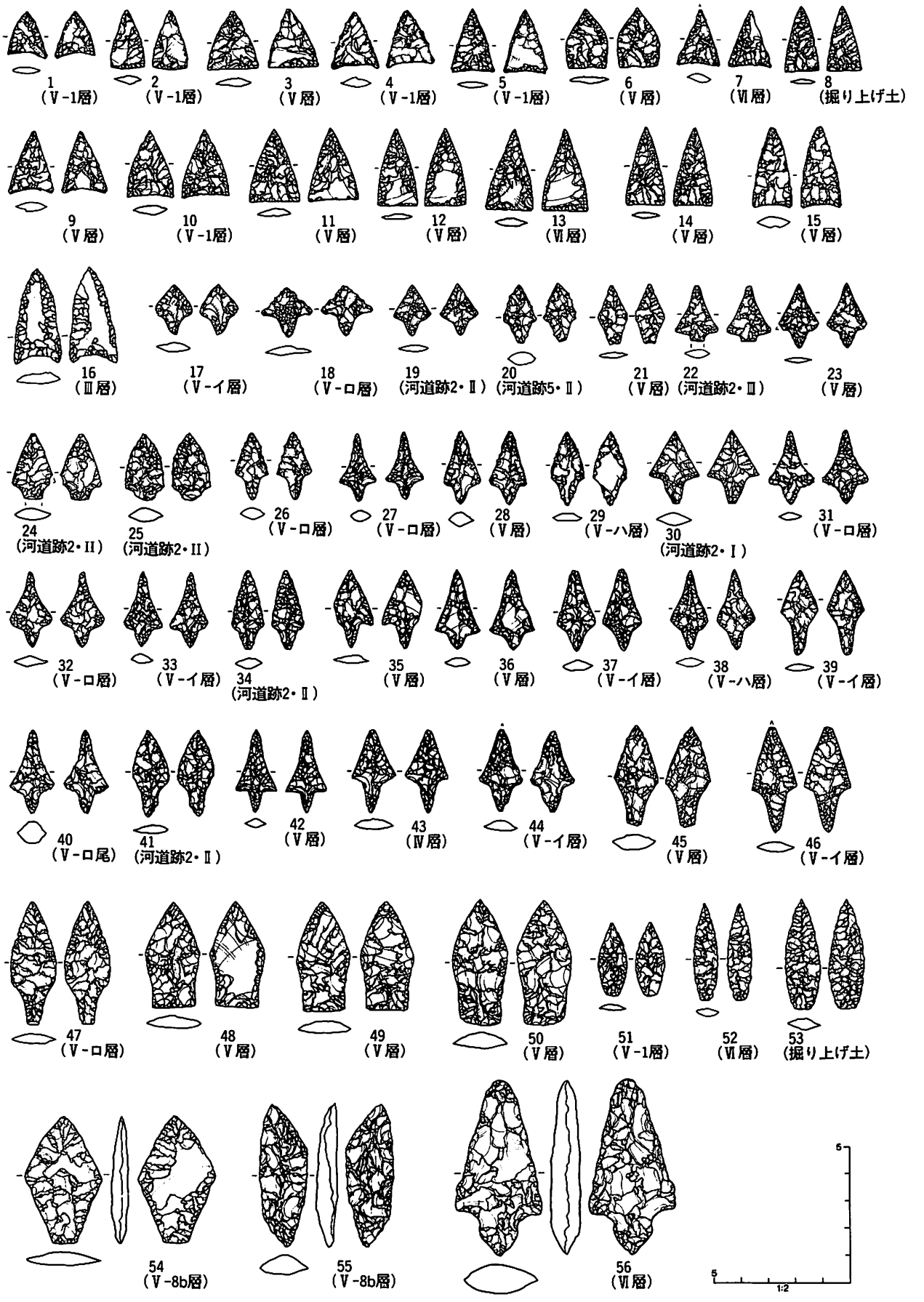
石錘は総計4点出土した。そのうち4点を掲載した。188は4箇所、189から191は2箇所に抉りが見られる。いずれも両面からの剝離によって作り出されている。石錘はⅤ層相当層の出土である。

台石・石皿（図Ⅳ－131～136－192～199）

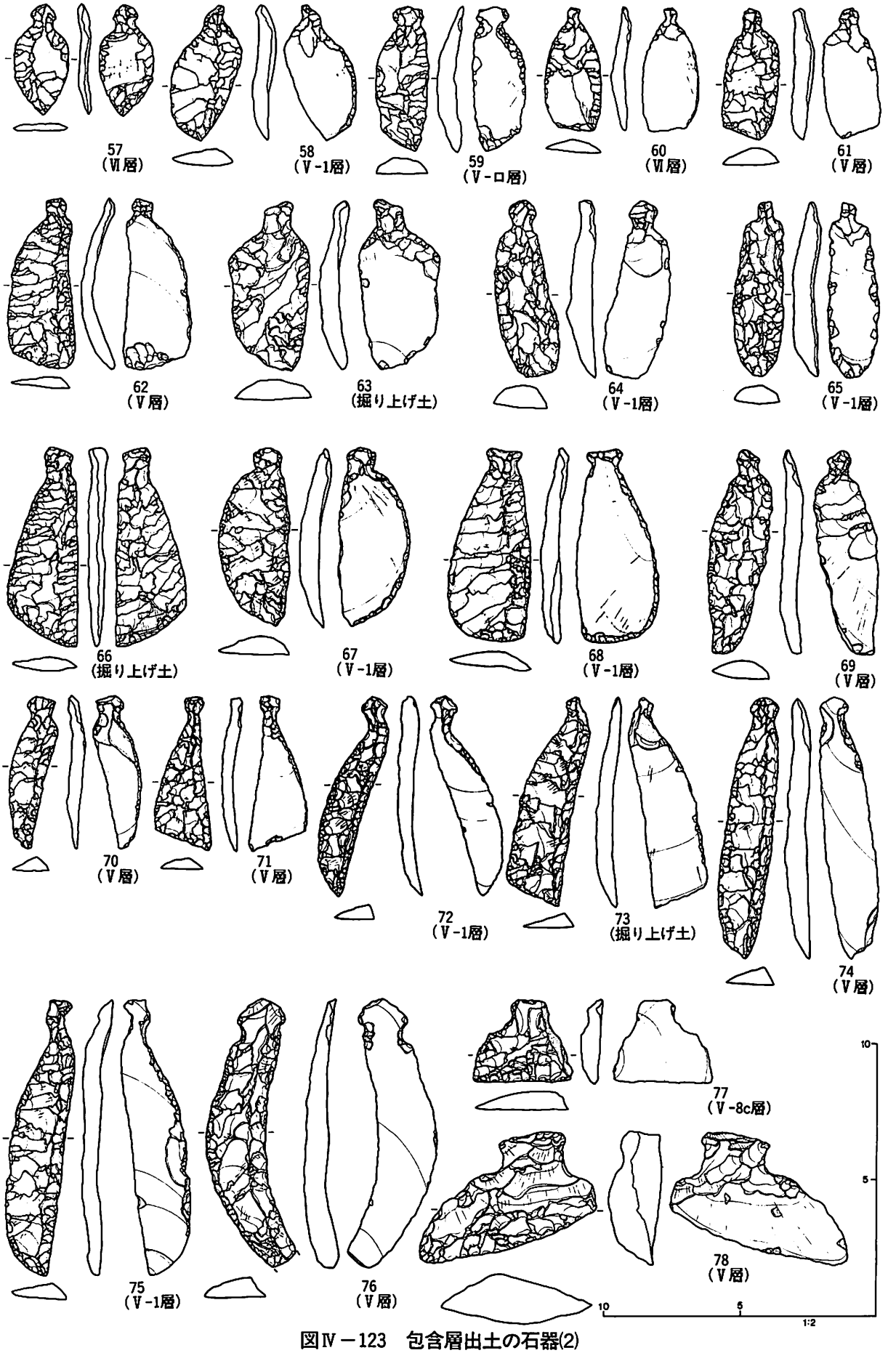
台石・石皿は総計160点出土した。そのうち8点を掲載した。192・193は近接して出土したもので、遺構遺物の可能性もある。表1面に擦り面が見られる。194は周縁をたたきによって整形したもので表裏両面に擦り面が見られる。195も表裏両面に擦り面が見られる。196、198は表面にたたき痕が認められるものである。197・199は残存状況が悪く、保存処理して取り上げたものである。表面に擦り面が見られる。石皿・台石は全てⅤ～Ⅵ層の出土である。

包含層出土の石製品（図Ⅳ－137－1～13）

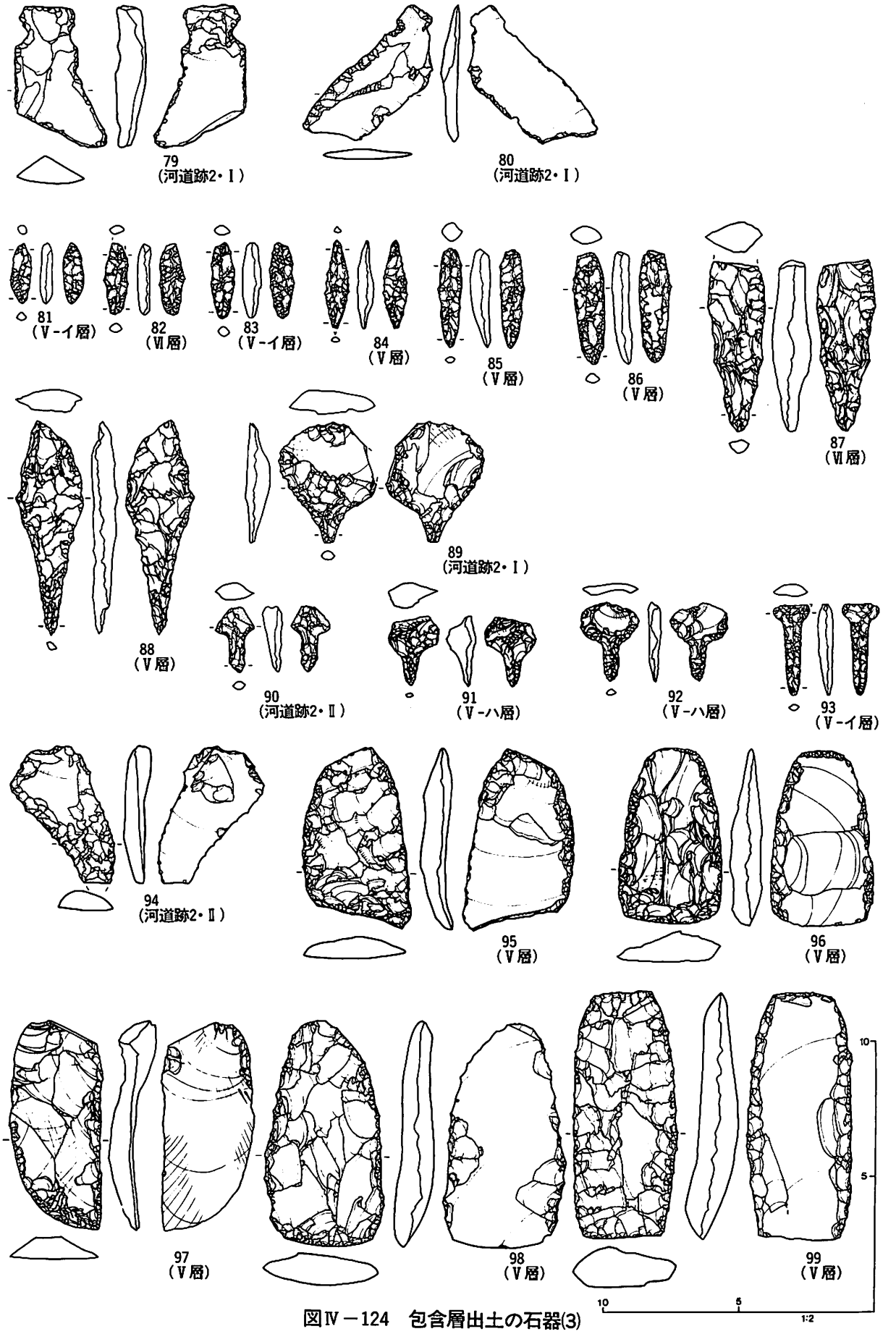
1から5は異形石器である。5は垂飾の一部と思われる。すべてこくようせきせいである。6・7



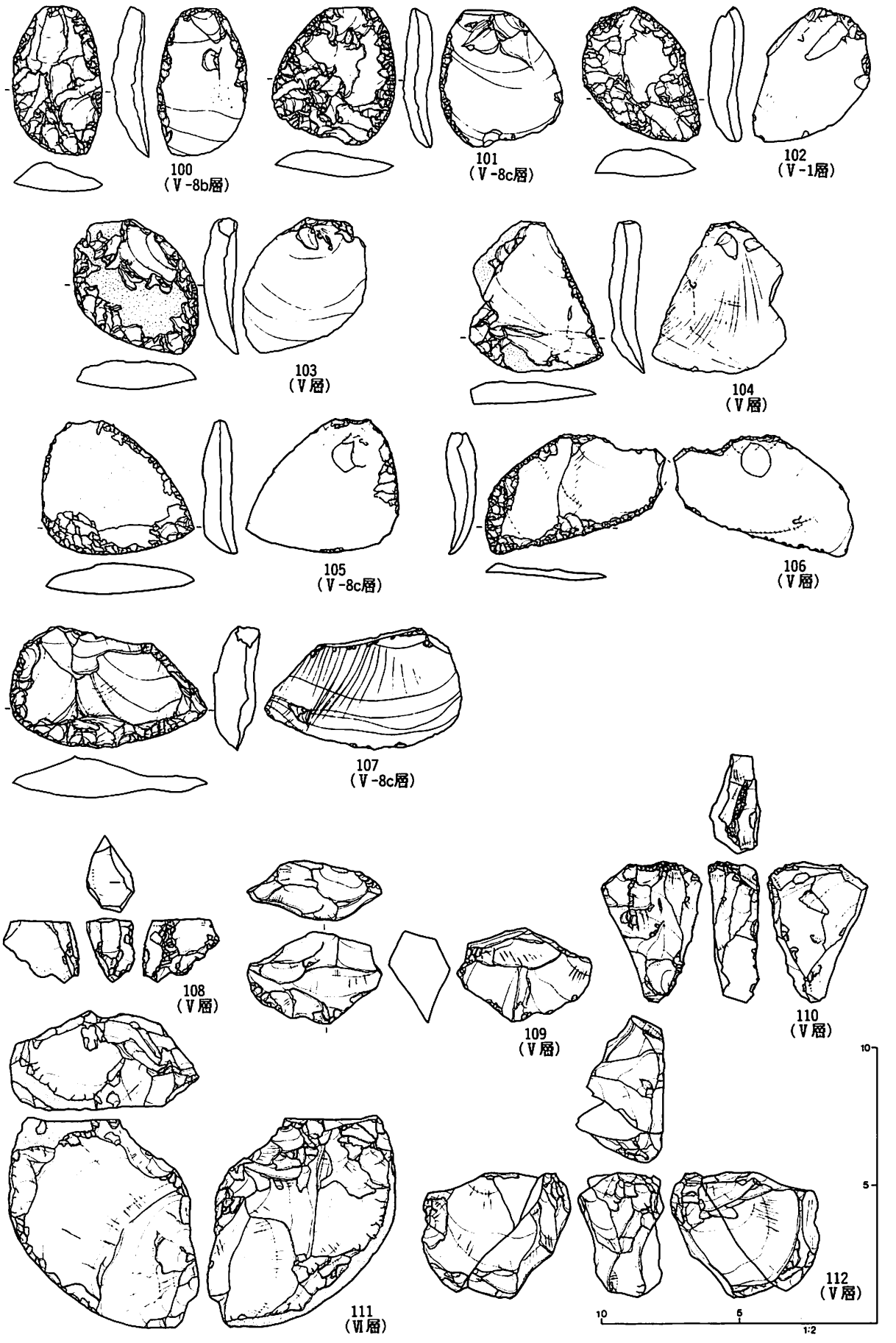
図Ⅳ－122　包含層出土の石器(1)



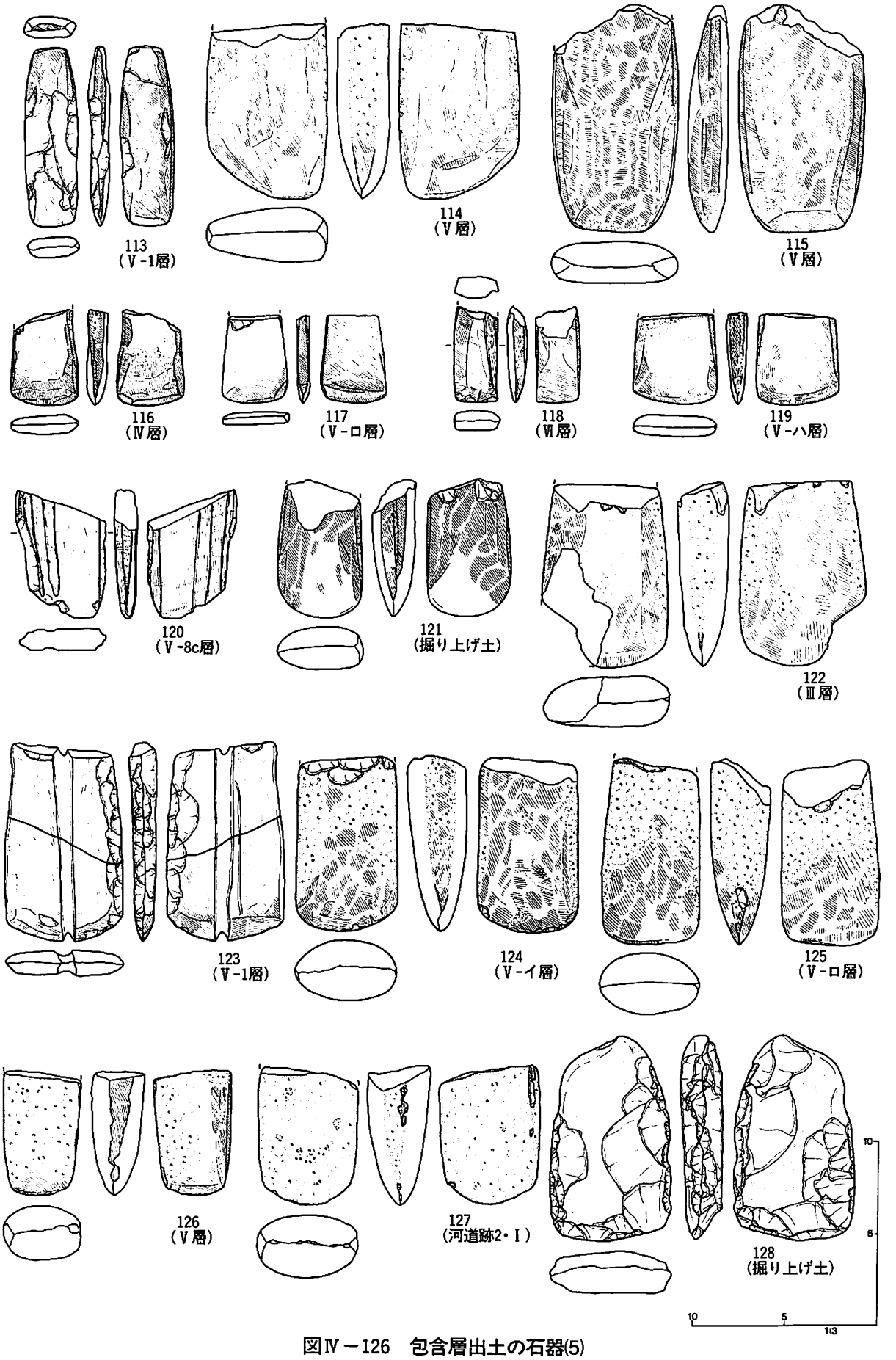
図Ⅳ－123　包含層出土の石器(2)



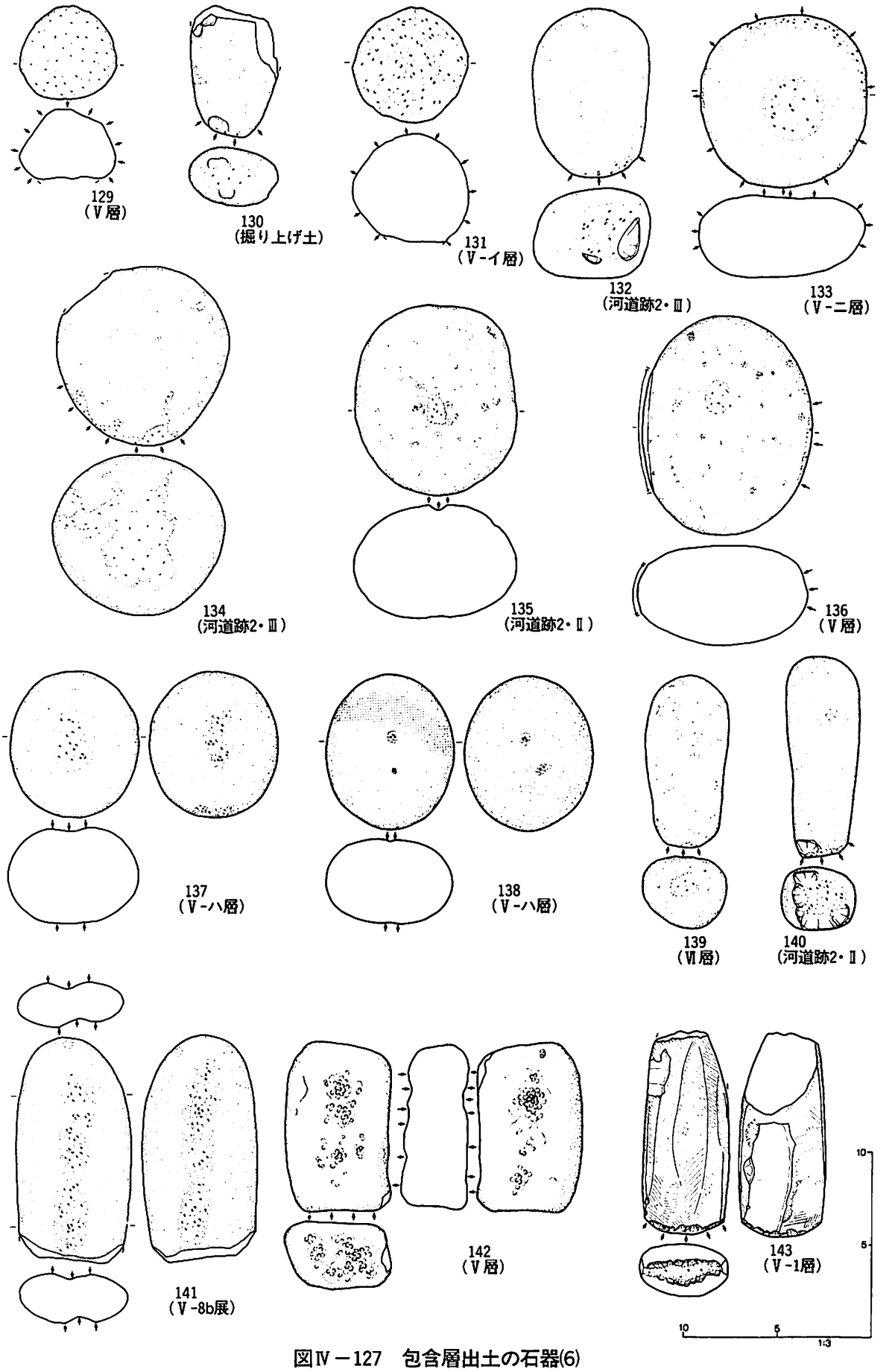
図Ⅳ－124　包含層出土の石器(3)



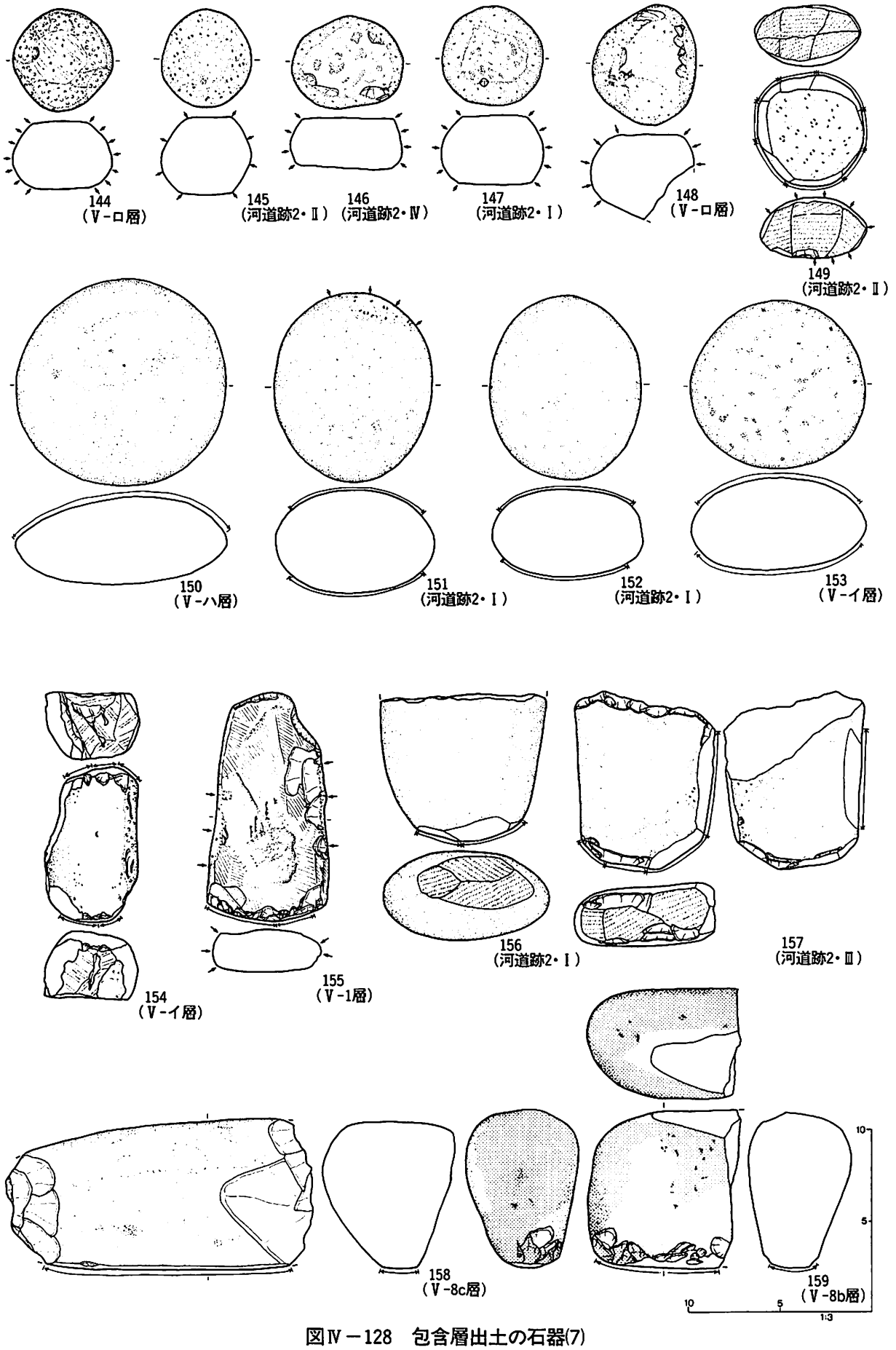
図Ⅳ－125　包含層出土の石器(4)



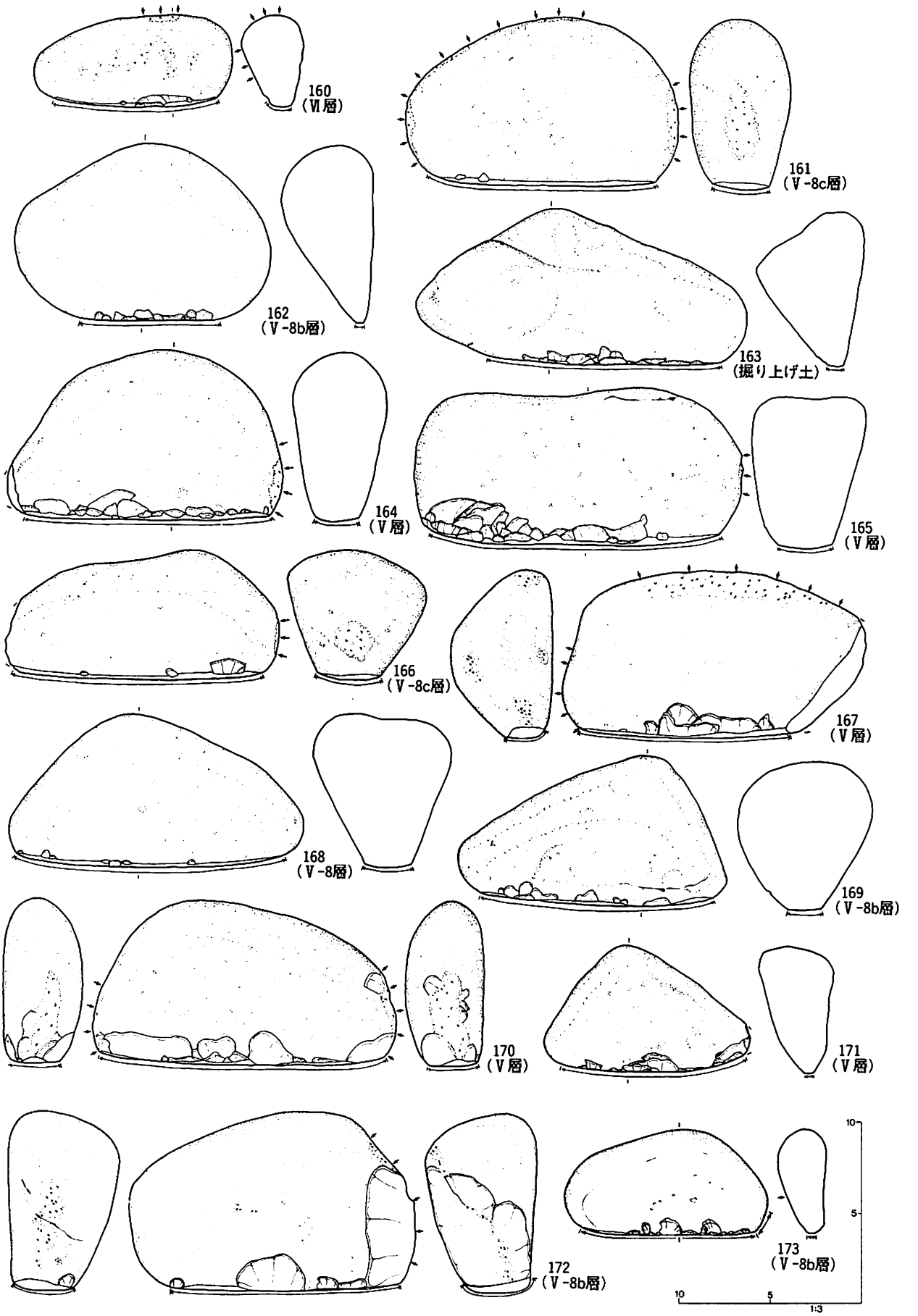
図Ⅳ－126　包含層出土の石器(5)



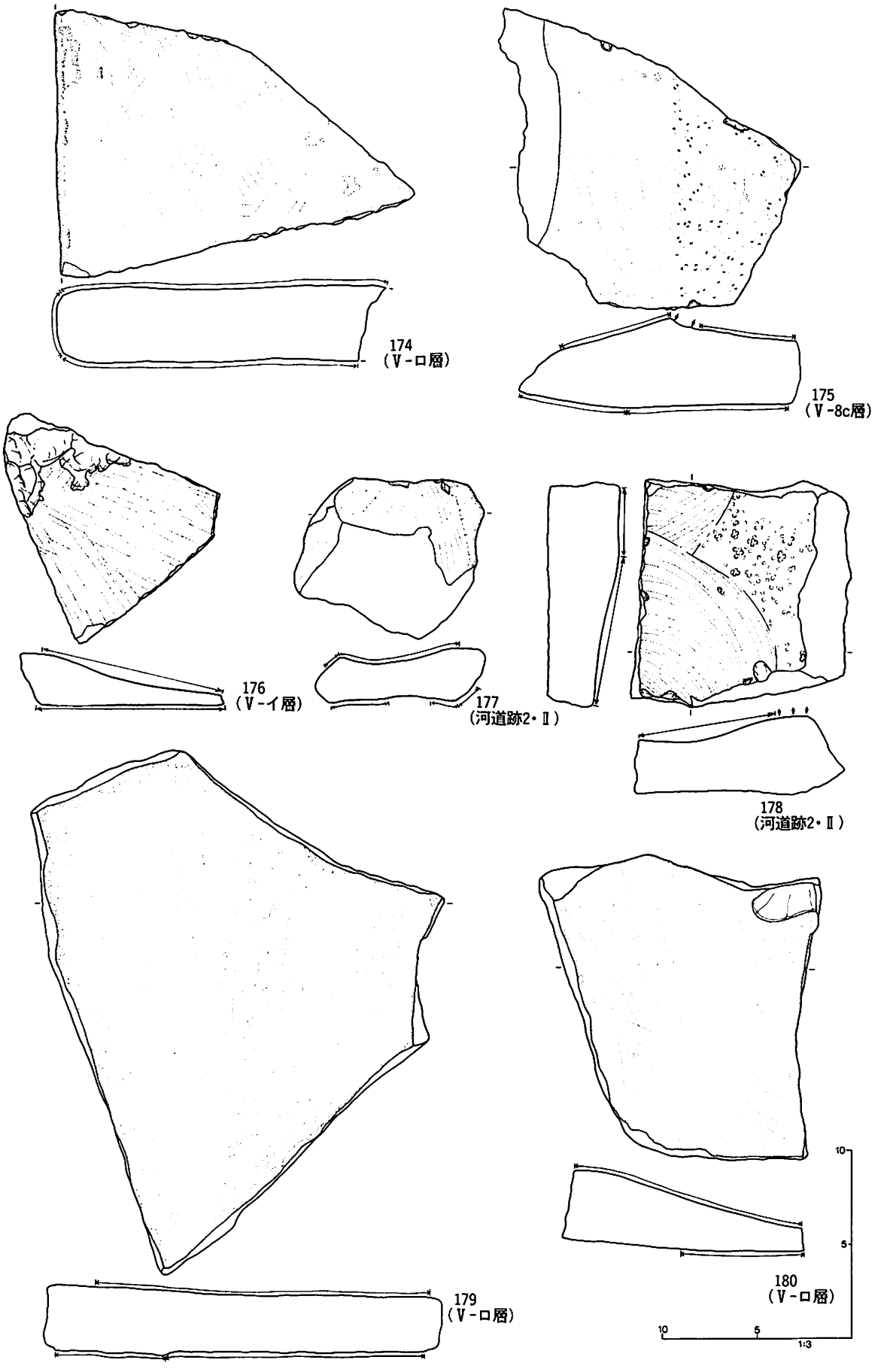
図Ⅳ－127　包含層出土の石器(6)



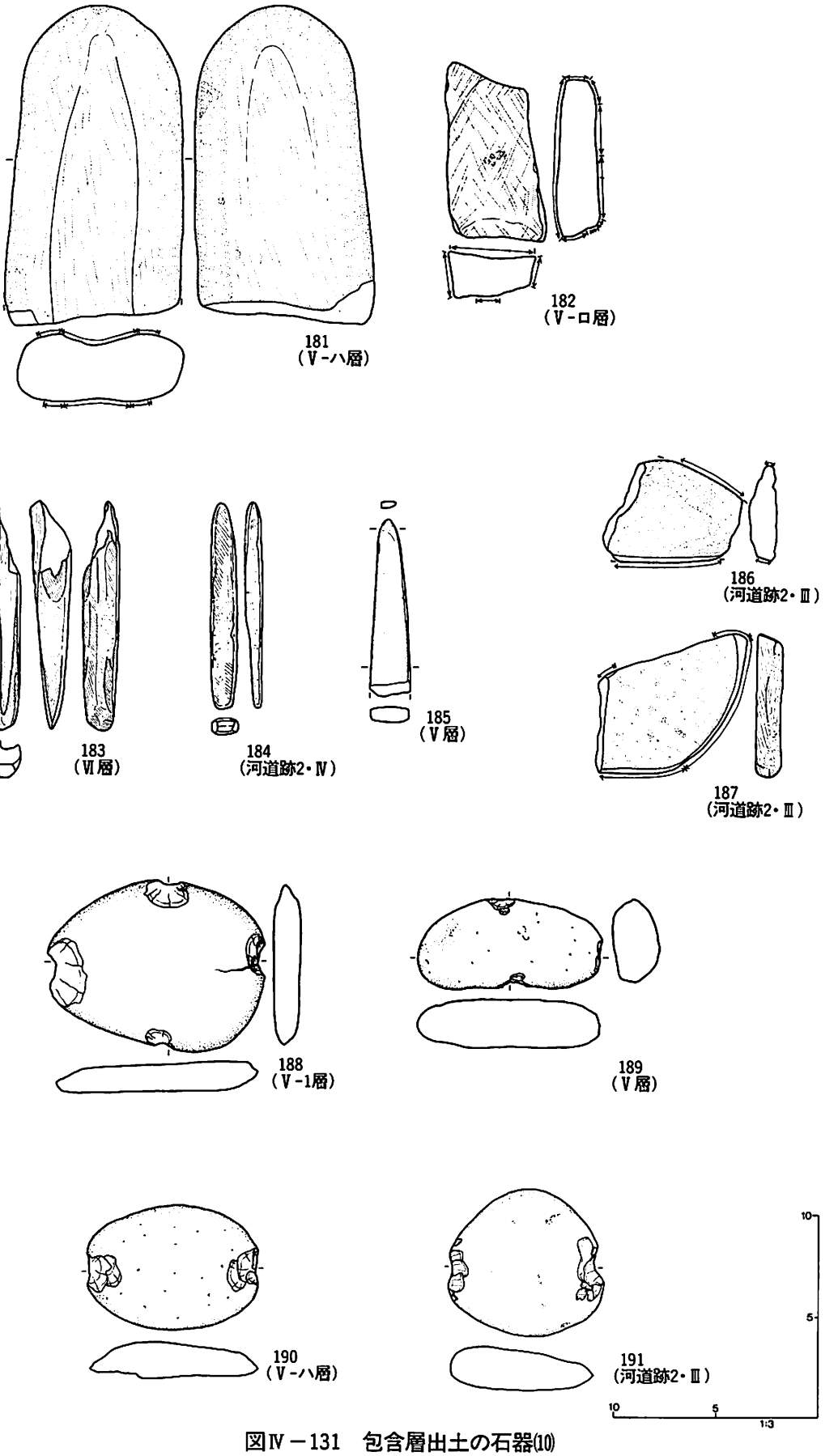
図Ⅳ－128　包含層出土の石器(7)



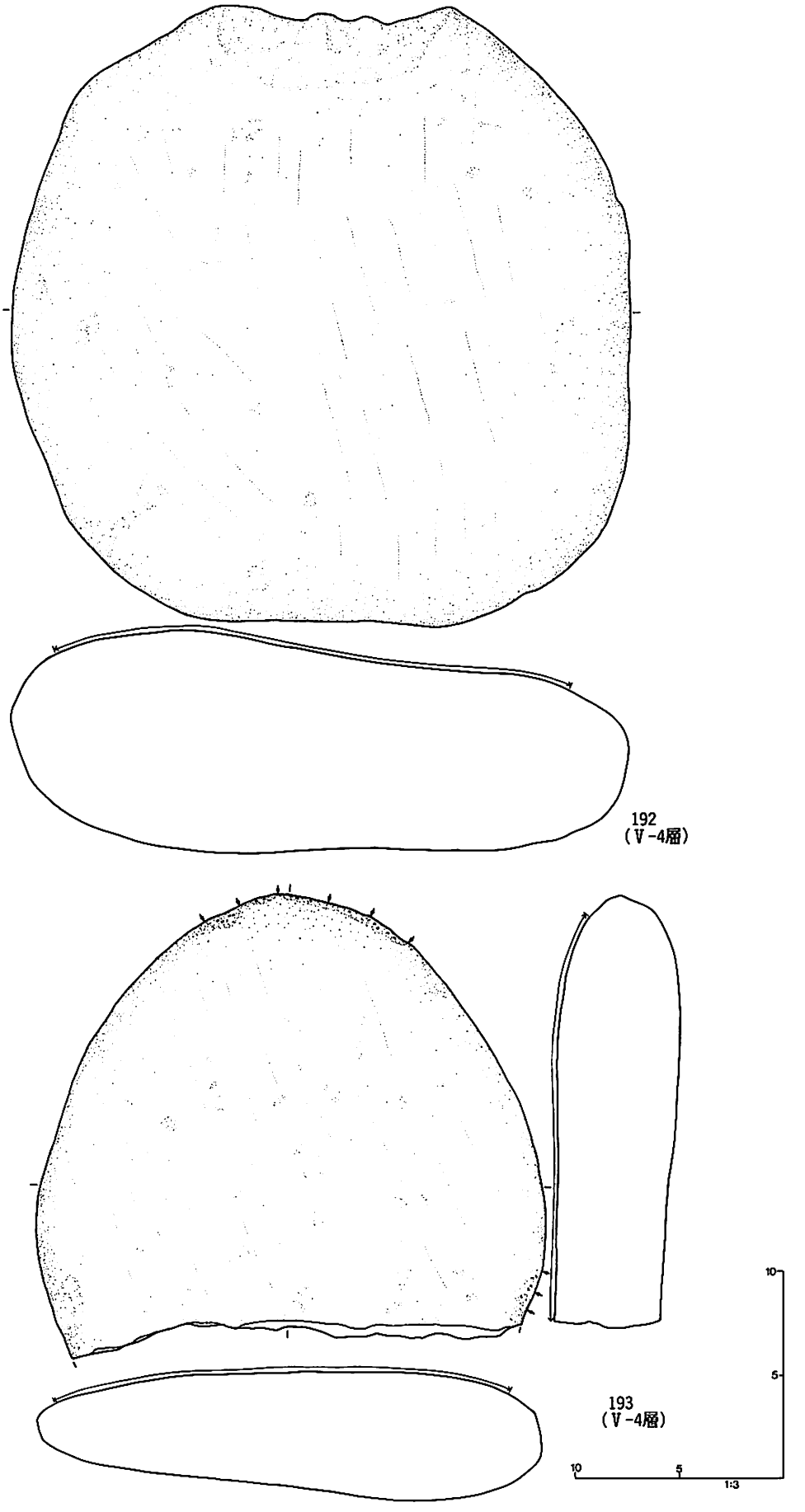
図Ⅳ－129　包含層出土の石器(8)



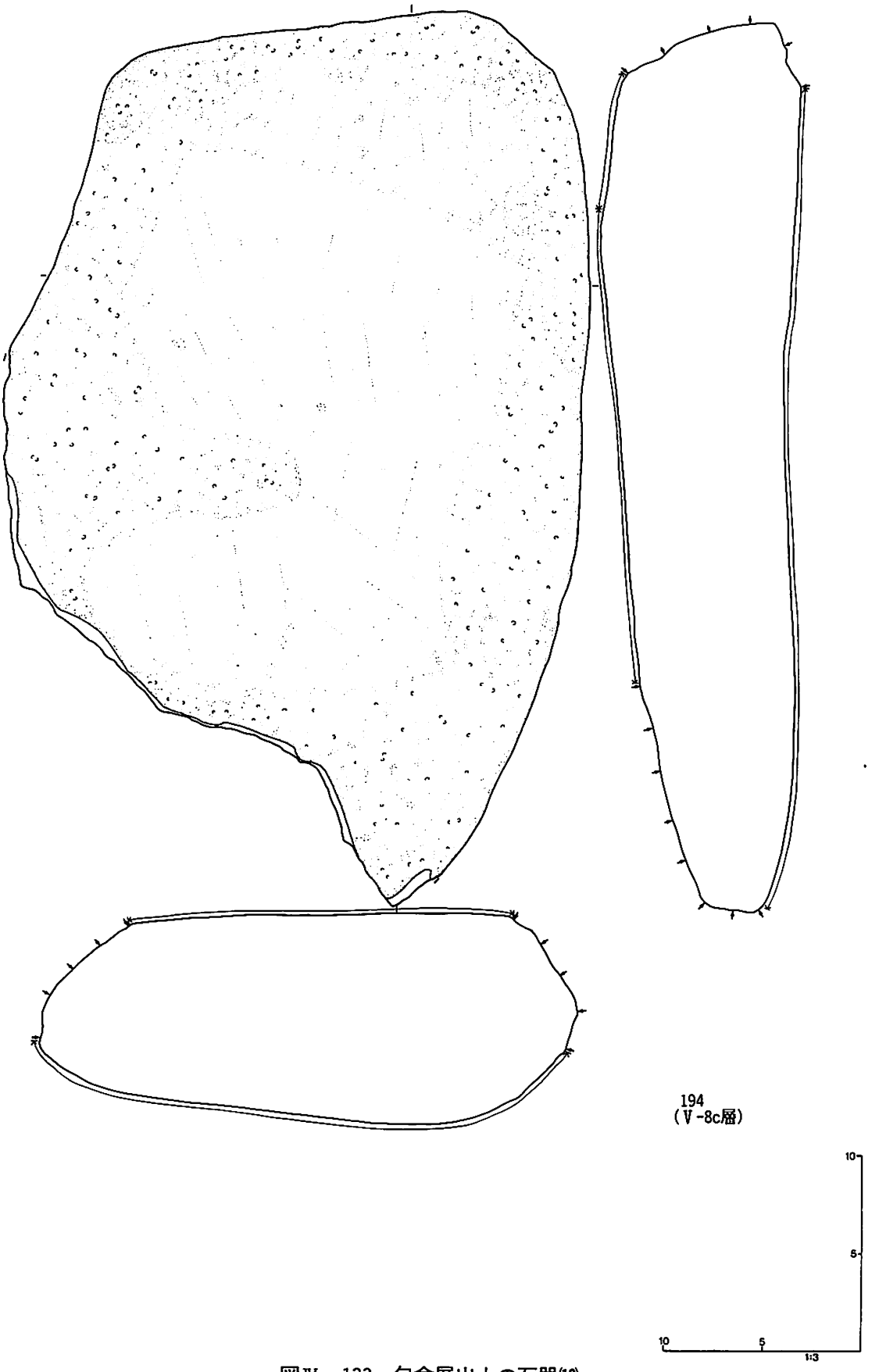
図Ⅳ－130　包含層出土の石器(9)



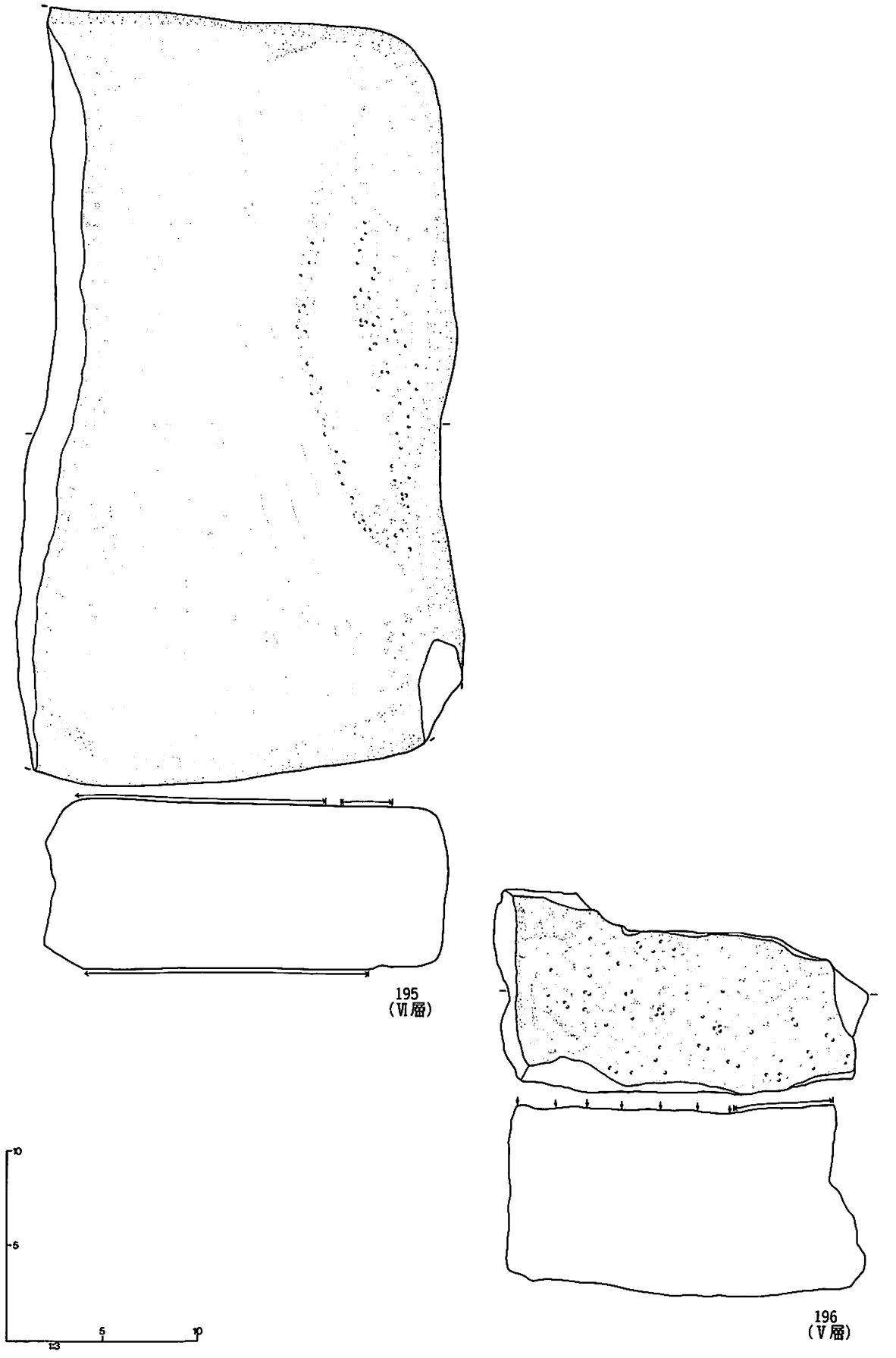
図Ⅳ－131　包含層出土の石器(10)



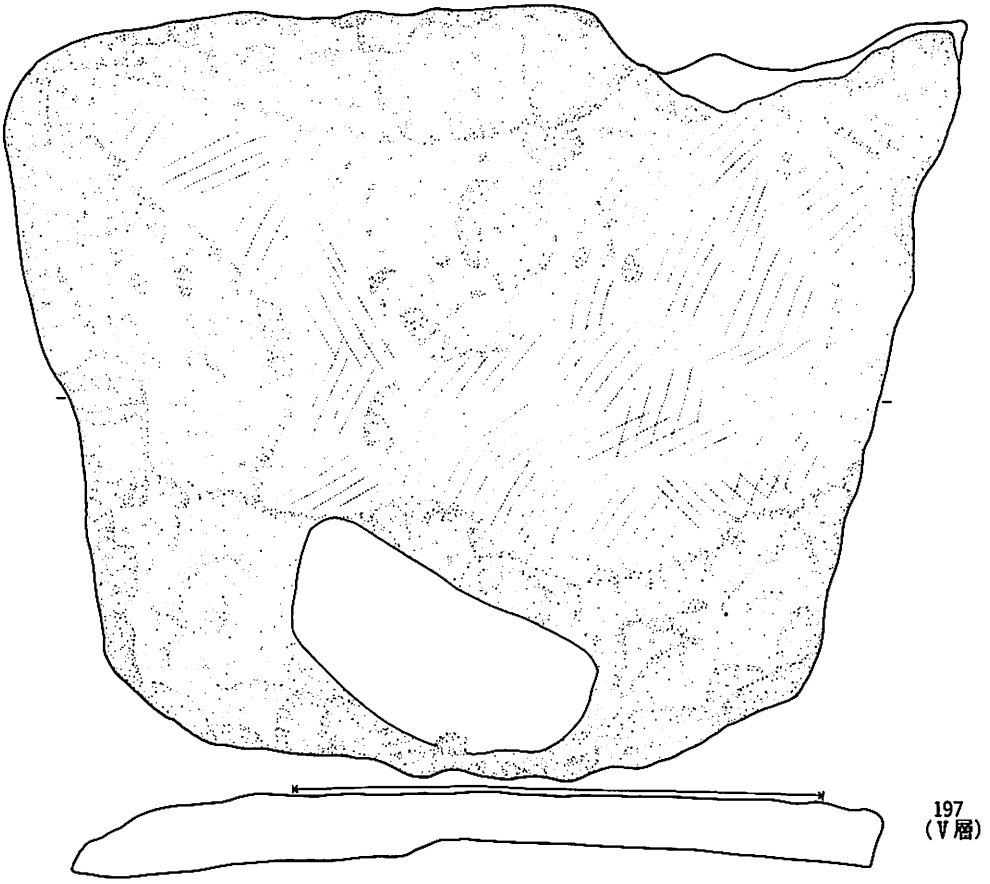
図Ⅳ－132　包含層出土の石器(11)

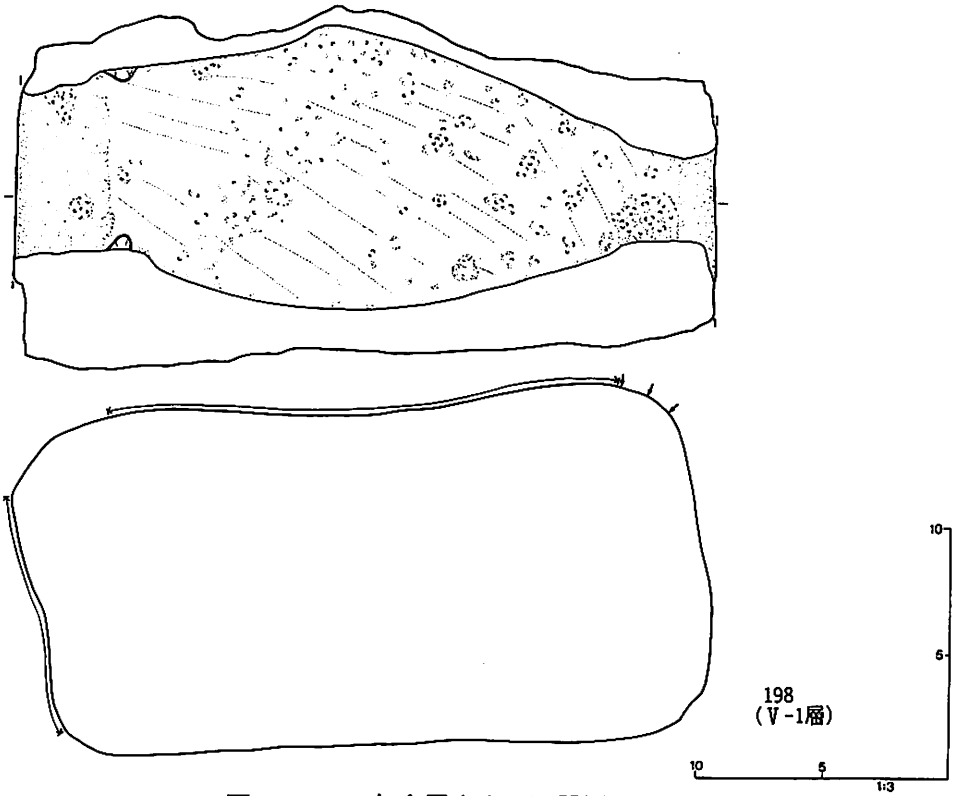


図Ⅳ－133　包含層出土の石器(12)

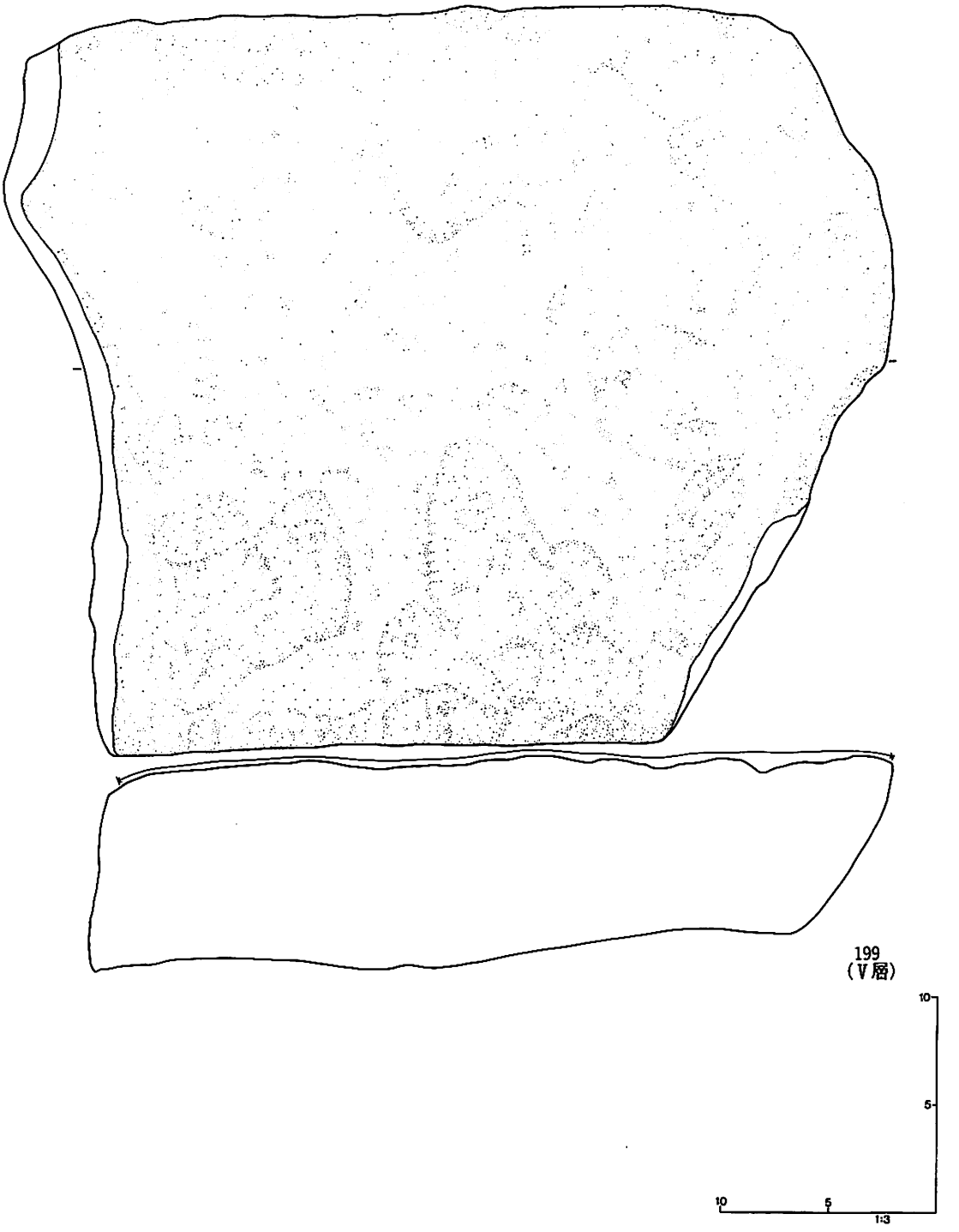


図Ⅳ－134　包含層出土の石器(13)

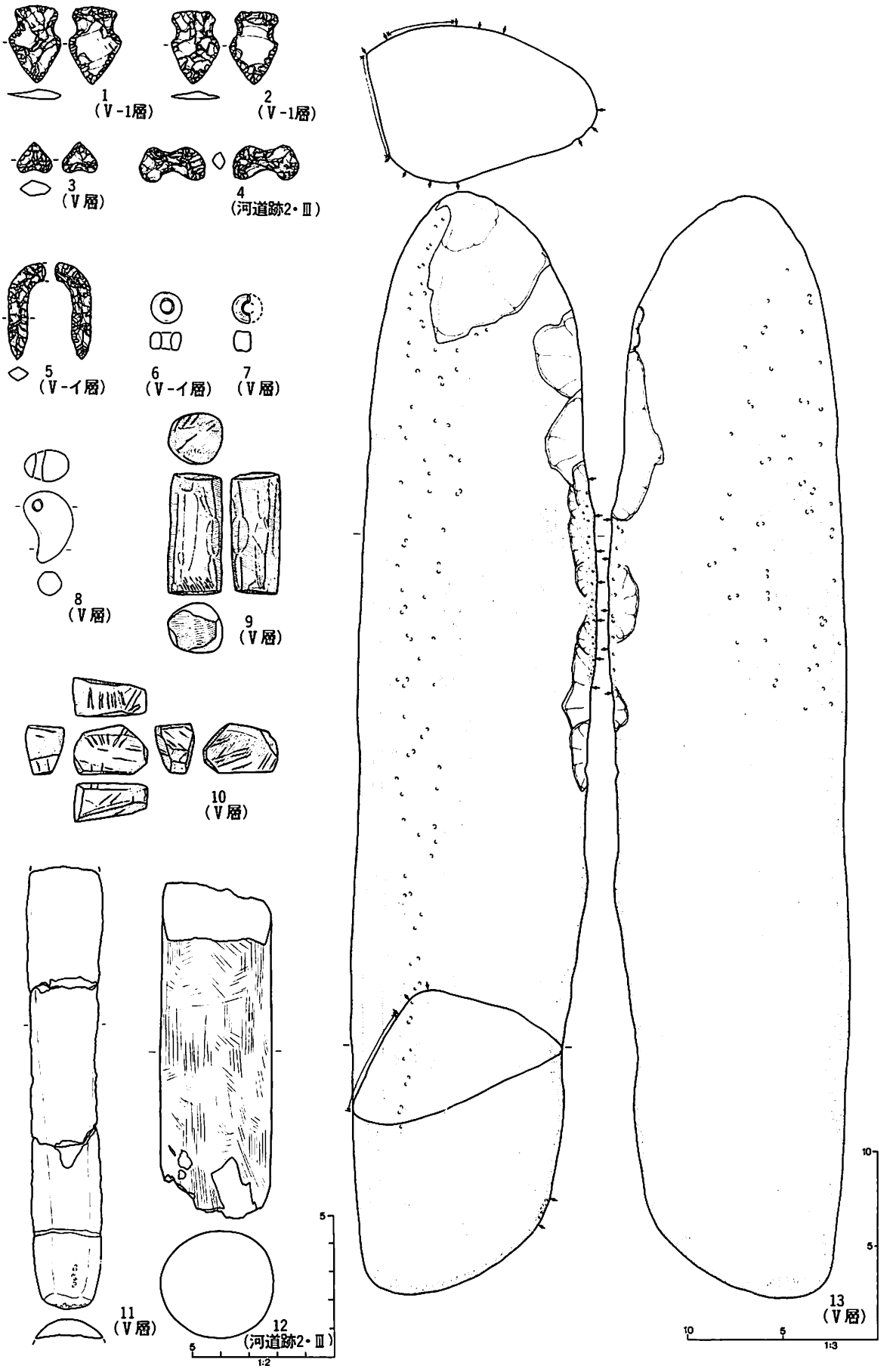




図Ⅳ－135　包含層出土の石器(14)



図Ⅳ－136　包含層出土の石器(15)



図Ⅳ－137　包含層出土の石製品

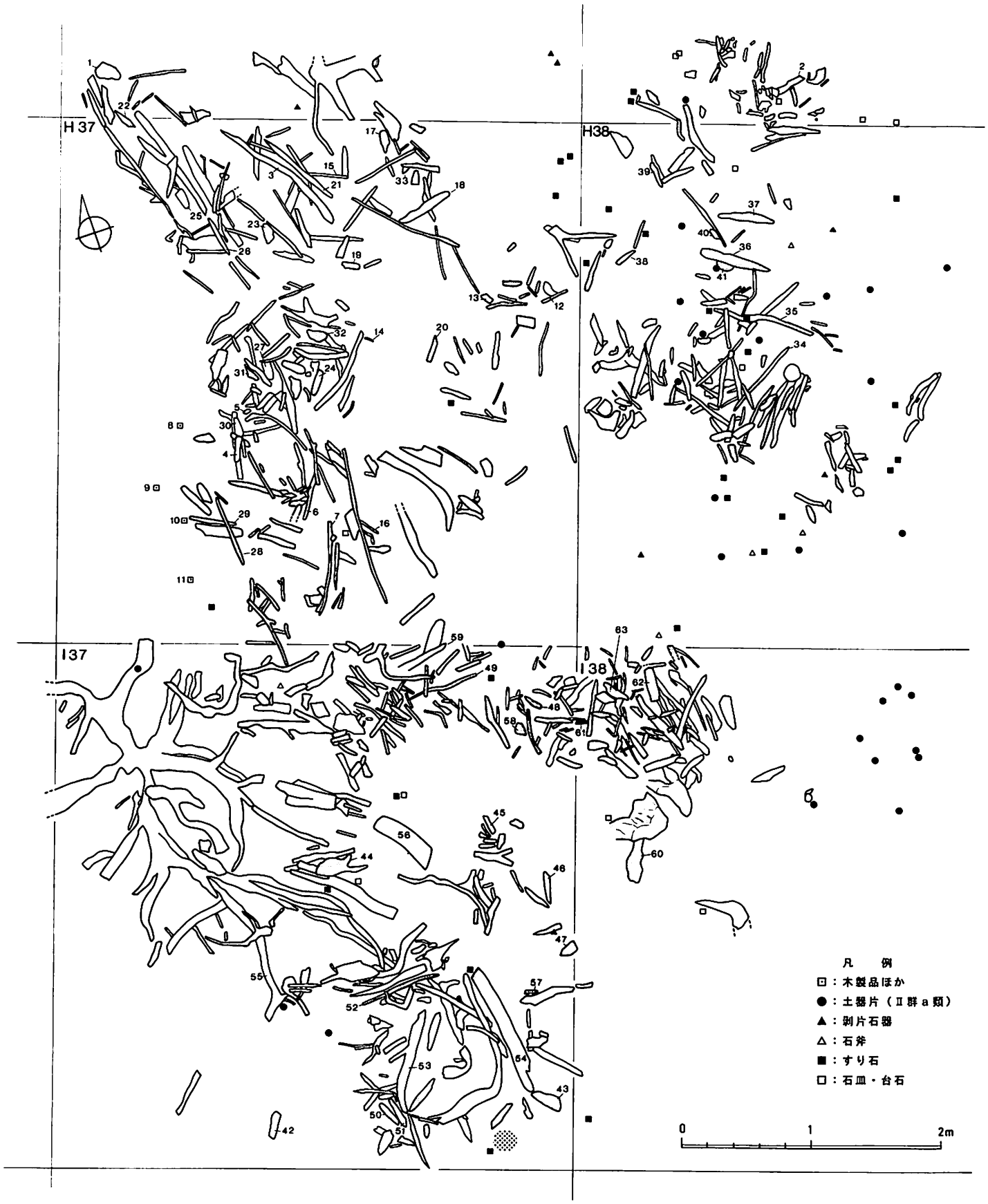
は平玉である。8は翡翠の勾玉である。9・10は玉の素材である。11・12は石棒の一部であると思われる。13は粗割と敲打によって整形された棒状礫で、墓標の可能性が考えられるものである。

(3) 木製品（図Ⅳ－139～151）

Ⅲ層出土の木製品（図Ⅳ－139～141）

1は人力によるTa-a層除去後、K－47区の・層上部から出土した。長さ約2m、幅約10cmの角材で北－南方向に大きく三つに折れて出土した。上下端は剝がれによるものか薄くなっている。4点の破片が接合した。正面中央部にはほぞ穴が1カ所ある。右側面は中央から上部にかけて全面炭化している。2は抉付割材片、上部を破損している。正面中央部には刃物による深い横位の切削痕が1カ所あり両側縁が抉れている。それより下位には刃物による横位の切削痕が7カ所みられる。裏面には刃物によるキズ痕は認められない。3は重機によるⅢ層除去の際に出土した径約14cmの柱である。A地区とH地区を結ぶ通路部分から出土した。上部は破損している。下端は2面削りである。横断面は土圧のためか、楕円形となっている。下端は幅1.5cmの平坦部となっている。4はZラインのトレンチ掘削中に検出した長さ38cmの丸杭である。木口面が端の方まで斜めに切断されていた。杭先は広い範囲の一面を削っている。裏面の右側は大きく破損している。上端はほぼ平坦である。5はZ－52区のⅢ層除去中にⅢ－4層から出土した。5は長さ95cmの杭である。下端は斜めに一面が削られている。ところどころに径1～2.5cmの円形あるいは楕円形の穴が斜めあるいは真っすぐにあいている。最大幅は中央よりやや下にある。6はⅢ層除去中に出土した股木材である。トレンチ調査中に幹、枝とも切断してしまった。左枝の上端部と右枝の中央部には刃物による斜めの切断痕がみられる。また、股木の上部には一部樹皮が残存している。

この他、北西部のG・H－32～34区でⅢ層の包含層調査中、Ⅲ層上面から倒木と思われる木のまとまりを検出した。それぞれ南－北、南東－北西方向に計11点出土した。大きなものでは長さ5m、幅40cm、小さなものでは長さ60cm、幅6cmのものがある。このうち最も大きな木は根元や先端に切断痕の様なものが見られた。種同定の結果、最も大きな木はコナラ属、そのほかはヤナギ属、トネリコ属、アジサイ属と判定された。



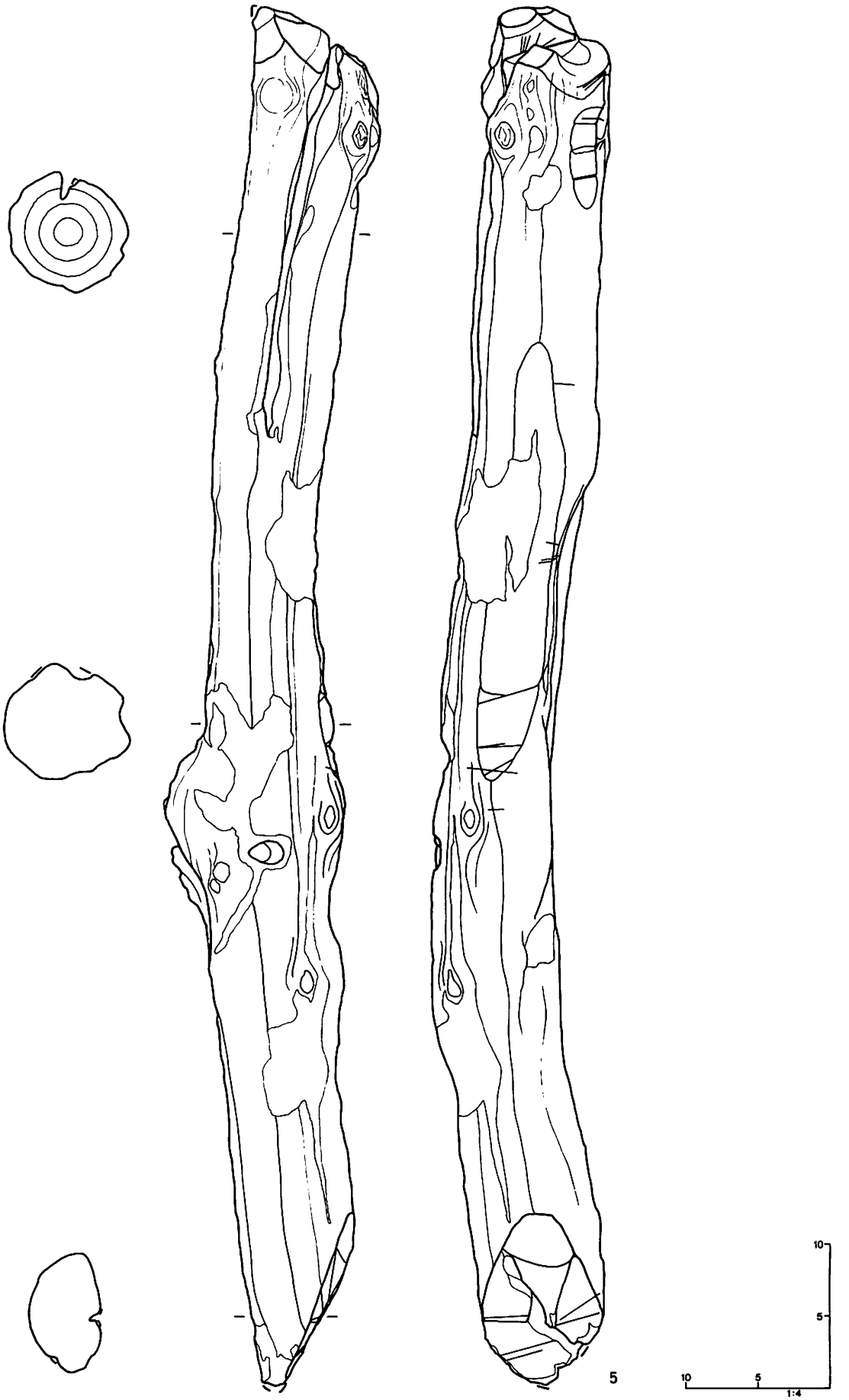
図Ⅳ－138　縄文前期木製品出土状況

表１　縄文時代前期の木製品ほか樹種同定一覧(1)

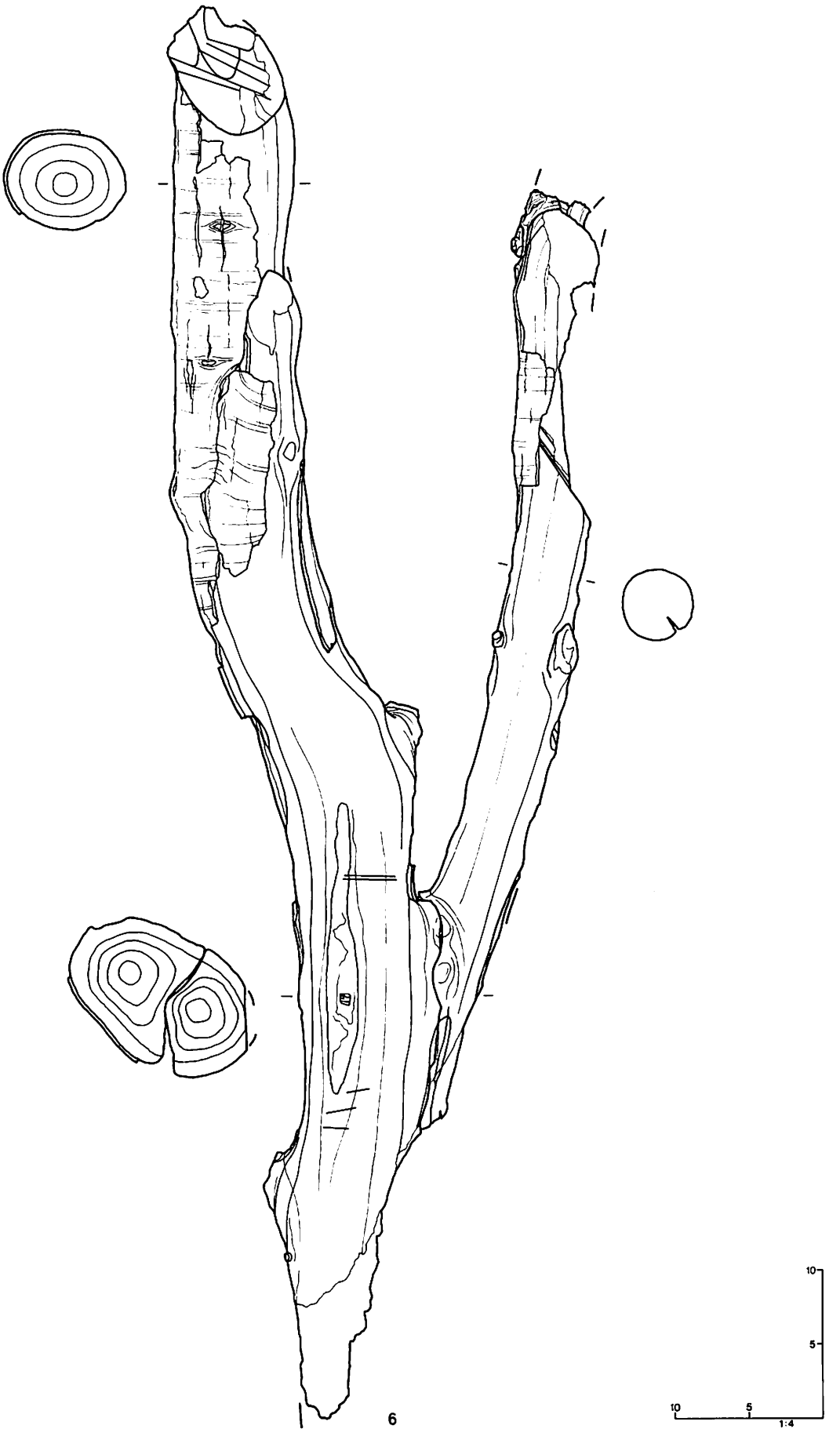
番号	発掘区	遺物番号	層位	樹種					掲載図番号	備考
				トネリコ属	コナラ属	ハンノキ属	キハダ属	アジサイ属		
1	G－37	2778	Ⅴ－8b	○						
2	G－38	2926			○					
3	H－37	1434						○	24	尖頭加工棒
4	H－37	1819		○					30	炭化材片
5	H－37	1820			○					
6	H－37	1821			○					
7	H－37	1822		○						
8	H－37	1824			○					
9	H－37	1825			○					
10	H－37	1826		○						
11	H－37	1827		○						
12	H－37	1828			○					
13	H－37	1829			○					
14	H－37	1830			○					
15	H－37	1831		○						
16	H－37	1832			○					
17	H－37	2781			○					
18	H－37	2782			○				25	炭化割材
19	H－37	2783			○					
20	H－37	2784			○					
21	H－37	2785			○				27	割材（蜜柑割）
22	H－37	2786			○					
23	H－37	2787			○					
24	H－37	2788			○					
25	H－37	2789		○						
26	H－37	2790			○					
27	H－37	2791			○				26	板材片
28	H－37	2792		○					28	炭化丸木材片
29	H－37	2793		○					29	炭化丸木材片
30	H－37	2921			○					
31	H－37	2922			○					
32	H－37	2923		○						
33	H－37	2924			○					
34	H－38	2775		○						
35	H－38	2776		○						
36	H－38	2777		○						

表1　縄文時代前期の木製品ほか樹種同定一覧(2)

番号	発掘区	遺物番号	層位	樹種					掲載図番号	備考
				トネリコ属	コナラ属	ハンノキ属	キハダ属	アジサイ属		
37	H－38	2779				○				
38	H－38	2780			○					
39	H－38	2925			○					
40	H－38	2927			○					
41	H－38	2928					○			
42	I－37	2767		○						
43	I－37	2768			○					
44	I－37	2769			○					
45	I－37	2770			○					
46	I－37	2771			○					
47	I－37	2772			○					
48	I－37	2773			○					
49	I－37	2774			○					
50	I－37	2909			○					
51	I－37	2910		○					23	杭状製品
52	I－37	2911		○						
53	I－37	2912			○					
54	I－37	2913					○			
55	I－37	2914		○						
56	I－37	2915		○						
57	I－37	2916			○					
58	I－37	2919			○					
59	I－37	2920		○						
60	I－38	2917			○					
61	I－37	2918			○				22	杭状製品片
62	I－37	2929				○				
63	I－37	2930		○						
				20	38	2	2	1		63点



図Ⅳ－140　包含層出土の木製品(2)



図Ⅳ－141　包含層出土の木製品(3)

V層出土の木製品（図Ⅳ－142～151）

V層の木製品はA地区の北部と南部の2カ所から出土した。前者は早期、前期の遺構のまとまりが検出され平坦地西側の低地である。出土した範囲はH－37・38、I－37・38区で、南北9m、東7mの広がりである。北壁の土層断面にはV－8層の上位に径0.4mの大きなものをはじめ多数の流木が長さ3m、厚さ1mの範囲に確認され、それらの下層から炭化木片、少量の木製品、立木の株などが出土した。さらにこの下からは縄文時代前期前半の土器片、石器（おもにすり石、石皿片）と焼土2カ所、灰集中1カ所が検出された。この木片のまとまりは平成10年度調査したA2地区でも出土している。

南側の木製品は水場遺構周辺とその南側10mの範囲に出土した。時期は周辺の遺構・遺物から縄文時代後期後葉のものである。水場遺構周辺からは朱塗りの丸木弓片、抉り付建材切断品、槌状製品片が、水場遺構の南側からは朱塗り容器片、環状樹皮製品などが出土した。また、水場遺構のP－2～6からも木製品、木片が出土している。以下、個別に木製品について説明する。

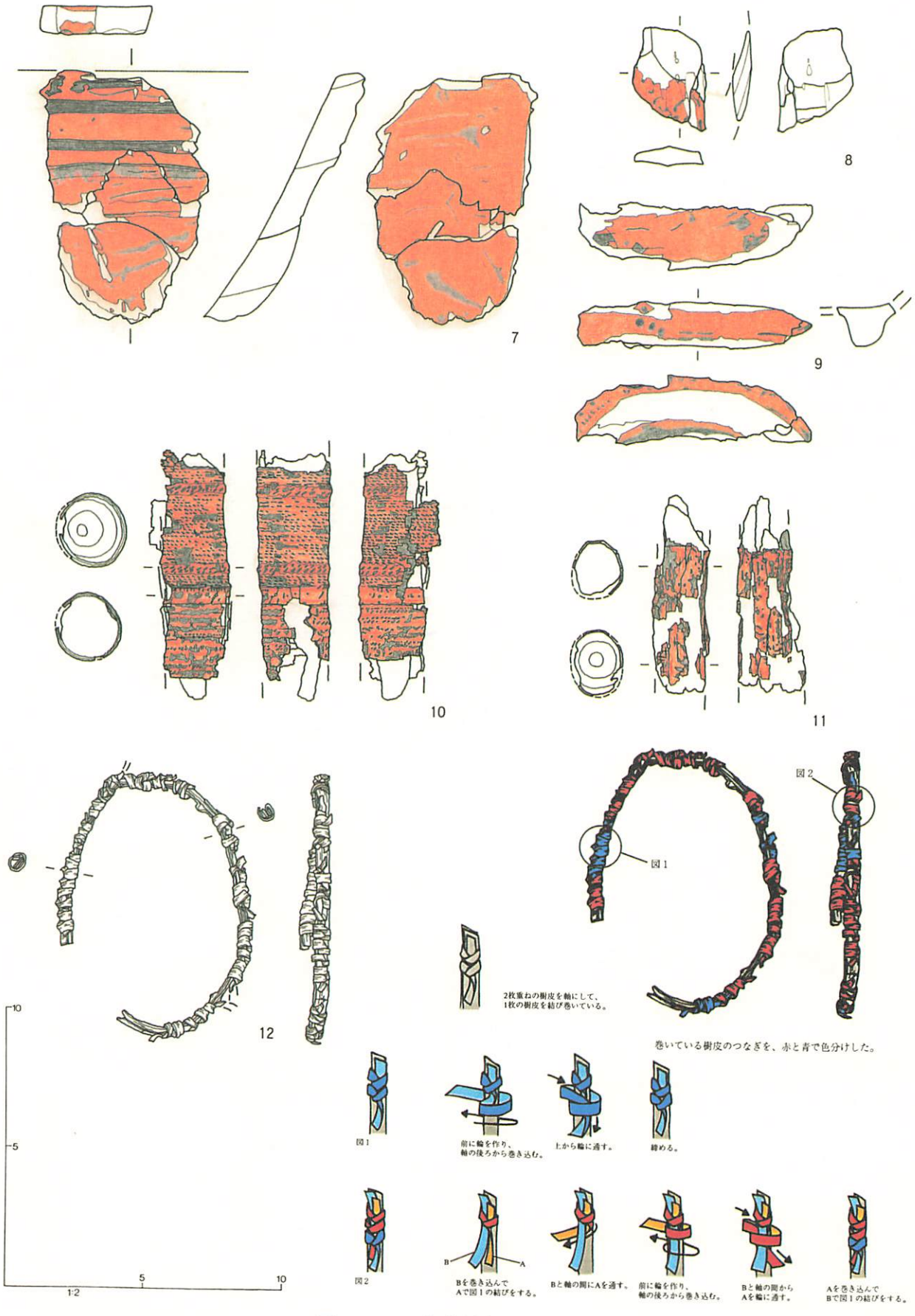
7はベンガラ漆塗容器の口縁部破片である。器厚が7㎜程あり、口径が40cmを越える鉢形の容器と考えられる。口唇部には突起が存在した可能性がある。内外面・口唇部には全面にベンガラ漆が塗られ、下地には黒褐色を呈していることから生漆塗であろうか。外面には幅4～6㎜の平行沈線（沈刻線）文が5条をめぐっている。沈線のくぼみやその下方には黒褐色の塗彩様の付着物が見られる。木取りは横木取りである。8は内面に剝落したベンガラ漆塗容器の胴部破片である。外面にはベンガラ漆が塗られている。9は土圧によりやや潰れた、ベンガラ漆塗容器の高台付底部破片である。内面・側面・底面にベンガラ漆が塗られている。下地は黒褐色を呈していることから生漆塗であろうか。ベンガラ漆面には斑点状に黒褐色の塗彩様の付着物が見られる。木取りは横木取りである。7・8・9の出土地点は近接しており、木取りも同じで樹種もトチノキであることから同一個体の可能性がある。これらの樹種がキウス地区周辺には自生していないトチノキであることから、北海道南部（黒松内）以南で製作された可能性が強い。10は両端部を欠損した朱漆塗丸木弓片である。残存部の最大径は2.3cm、表面には径0.3～0.5㎜程のZ撚りの細い撚糸を全面に隙間無く整然と巻込んだ上に、さらに径2.5～3.0㎜程のS撚りの太い撚糸を上方では間隔を空けて2条、下方では6条以上を間隔無く丹念に巻込んで飾っている。また、この中間には撚糸の無い幅6.0㎜程の帯状にくぼんだ部分がある。これらの撚糸はベンガラ漆で固定した後、さらに朱漆を塗り重ねている。表面の朱漆が磨耗した部分は、撚り糸が黒色破線状の文様効果として生かされている。この下地は黒褐色を呈していることから生漆塗であろうか。木取りは丸木取りである。11は両端部を欠損した朱漆塗丸木弓片である。残存部の最大径は2.1cm程であり、表面は他面的に面取り加工され、朱塗を塗り重ねている。下地は黒褐色を呈していることから生漆塗であろうか。木取りは丸木取りである。10・11は表面の加工や飾りの有無が異なるが、同一個体とも考えられる。樹種はいずれも弓材に適したニシキギ属である。マユミ（(漢）真弓）であろうか。ただし、道内の出土例では、ハイイヌガヤ、イチイ等が一般的である。12は環状樹皮製品である。環は切れているが腕輪状に結び止められていたと考えられる。構造は図1・2に詳細図を示した。図の様に幅5㎜前後、厚さ0.5㎜程の細い帯状の2枚組み樹皮バンドに、同様の1枚の細い帯状の樹皮紐を結び縛る様に連続して編み込んでいる。樹種は不明であるが、肉眼的には光沢のあるサクラ属の樹皮であろうか。

13は槌状製品片、柄部を欠いている。使用面の幅は4.9cm、ALP－11出土のものに比べると薄く、非常にていねいに作っている印象を受ける。柄部上部内側のカーブ部分はきれいに残っているが、反対側は発掘時のスコップにより破損させてしまった。上面、使用面、両側面の一部などは製作時の

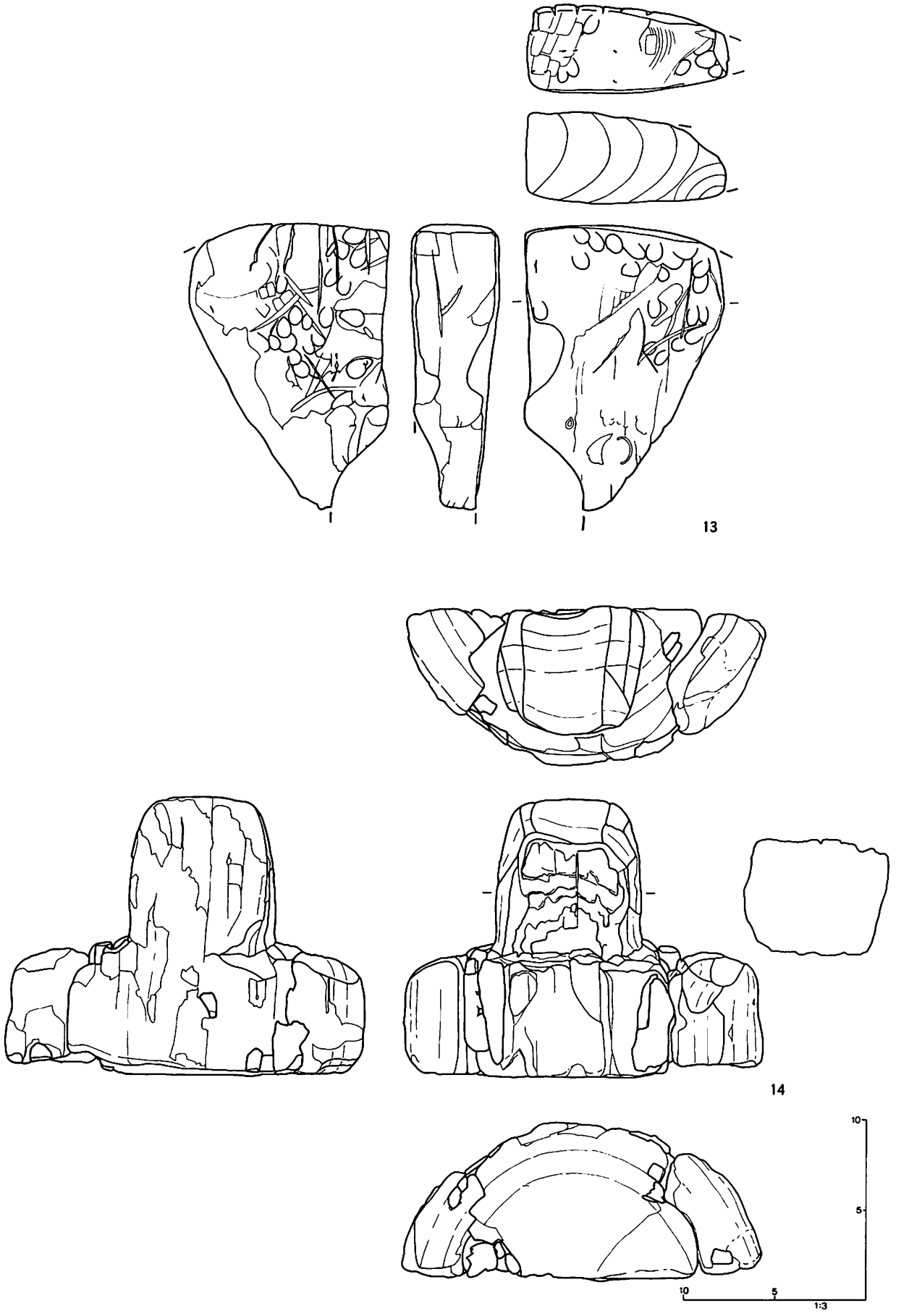
「こがし」によるものか炭化している。14は抉付建材切断品、木取りは半割で上部に突起状のものがある。横断面は隅丸方形で、根元の周囲は細くくびれている。上下端ともに平坦だが、外側に少し傾斜している。15は板材片である。表面には凹凸があるが、裏面は平坦で、縦に木目が入っている。正面の両端は水による磨耗のためか木目が明瞭である。断面はカマボコ形である。16は板材である。縁辺部が丸くなっているが、加工によるものか、磨耗によるものかは不明である。17は加工割棒である。上下両端に加工痕らしきものがある。横断面は左側が右に比べ厚くなっている。裏面はほぼ平坦である。正面中央よりやや下には、刃物による加工痕がみられる。18は突起抉付板材である。長さ94.4cm、幅9.6cm、最大厚は4.2cmである。上部に突起があり本体上部には両側縁に抉りがある。中央から下半分は左側が斜めに破損している。本体の横断面は左が厚く、右は少し薄くなっている。表面では上半分の一部、裏面はほぼ全面炭化している。突起部は表面の一部のみ炭化している。両側の抉りの入り方は左右同一ではなく、右側が左にくらべ深く入っている。実物をみると図や写真よりも突起や抉り部の加工痕が明瞭である。19は加工板材である。厚さ5.7cmで上部が尖端状に尖る。正面が木の芯に近い内側にあたる。正面の上・下部には水による磨耗とみられる木目のはっきりした部分がある。両側縁には加工痕がみられる。20は厚板材である。厚さ7.9cm、下端部と裏面下部は炭化している。裏面上部から中央部にかけては縦に細く、水による磨耗部分がみられる。下端部に炭化した部分が集中しているのは、「こがし」など人為的な加工を強く感じさせる。27は蜜柑割の割材である。炭化部分は表面のみで、裏面はほとんど炭化していない。

21は長さ65cmの細角棒片である。上下端とも破損している。径は1.3～1.8cmである。炭化しているのは正面上部左側縁の一部のみである。中央部の横断面は右側が丸く、左側は角ばっている。22は杭状製品である。正面右側を大きく破損している。23は杭状製品である。最大厚は下部にある。下端部は鋭くないが、削って丸くなっている。杭先にしてはその先端が鈍角である。24は尖頭加工棒である。長さは105cmを計る。4点に破損している。下端部はていねいに尖頭部を作出している。表面をみると縦の筋目が左寄りに捻じれている。上部の破片は左に曲がっており、上端に向かって細くなっている。横断面はほとんど円形だが、上部のみ楕円形となっている。下端の切断面（削り出し）は平坦である。25は炭化割材である。下端のみ少し破損している。表面は全体に炭化しており、とくに中央右側はよく焼けている。裏面で炭化しているのは右側縁上部と左側縁中央部から下端にかけてのみである。裏面の中央部は上下よりも一段低く削られている。表面は凹凸が激しいが、裏面は平坦である。26は薄い板材片である。特徴的な加工痕などはみられない。植物の根による破損が多い。

28は炭化丸木材片である。棒状で上部は細いが、下部は節が多く太くなっている。全面よく焼けて炭化している。29は炭化丸木材片である。よく炭化し樹皮も多く残っている。上下両端ともに破損している。30は炭化材片である。木取りは半割。上部は破損している。表裏面ともに炭化し、下端部もよく焼けている。



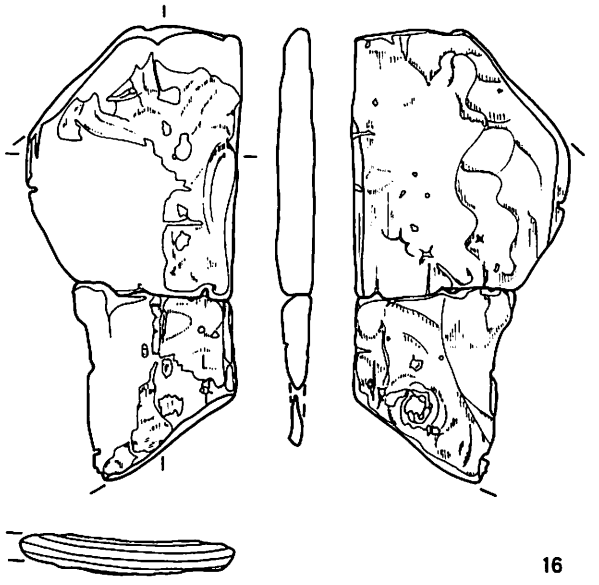
図Ⅳ－142　包含層出土の木製品(4)



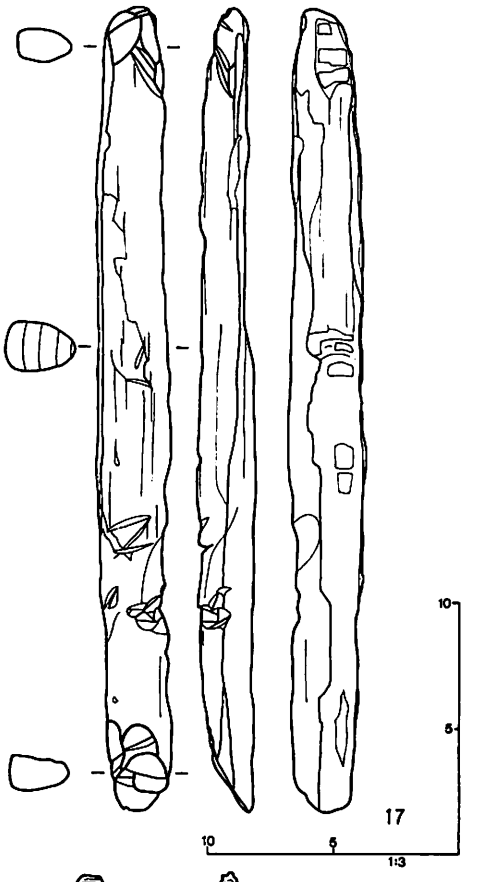
図Ⅳ－143　包含層出土の木製品(5)



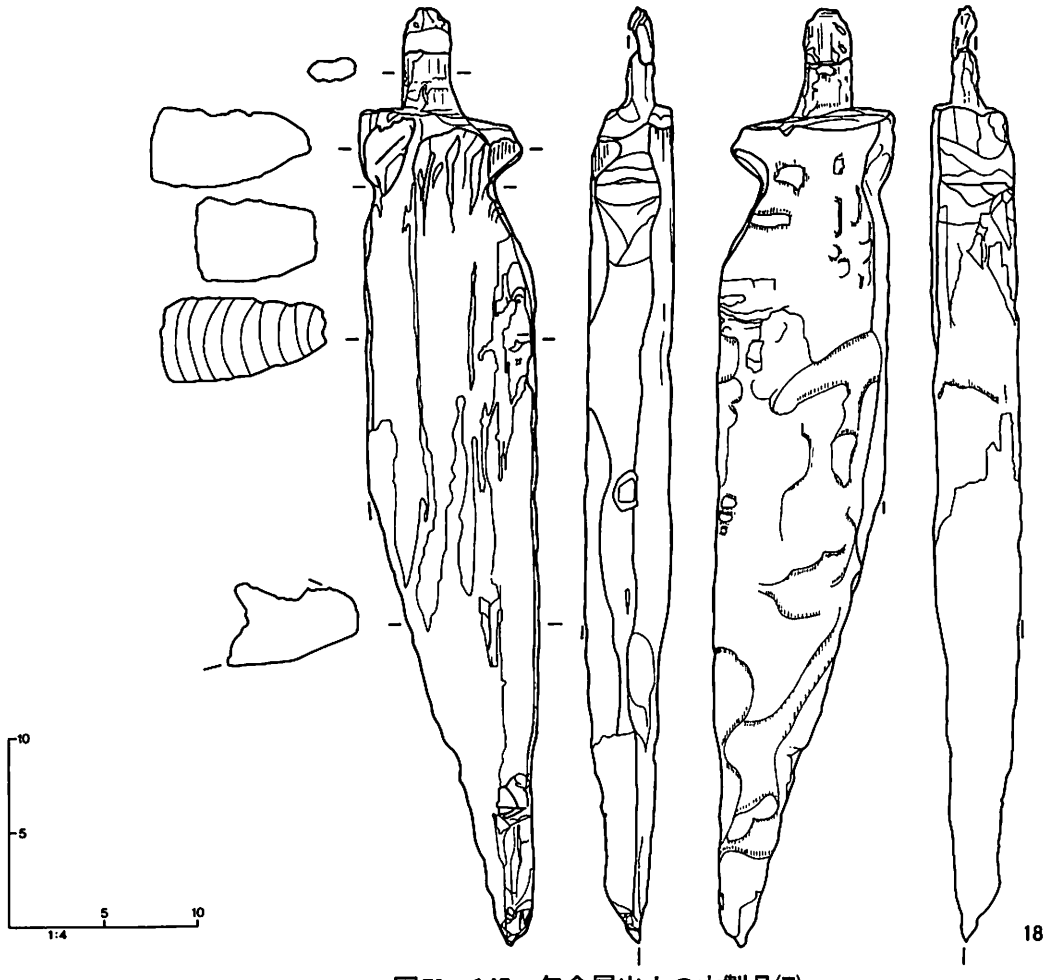
図Ⅳ－144　包含層出土の木製品(6)



16

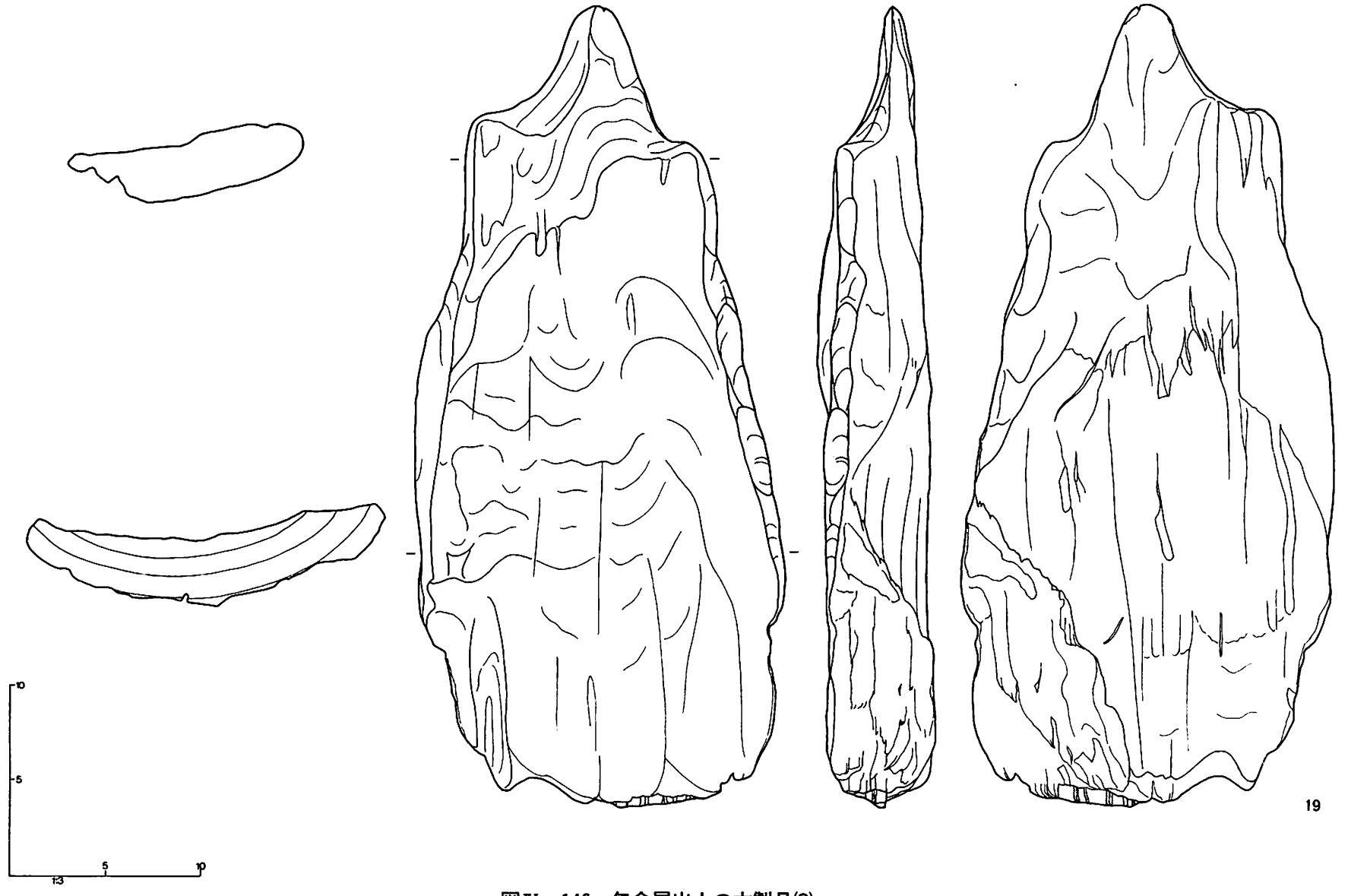


17

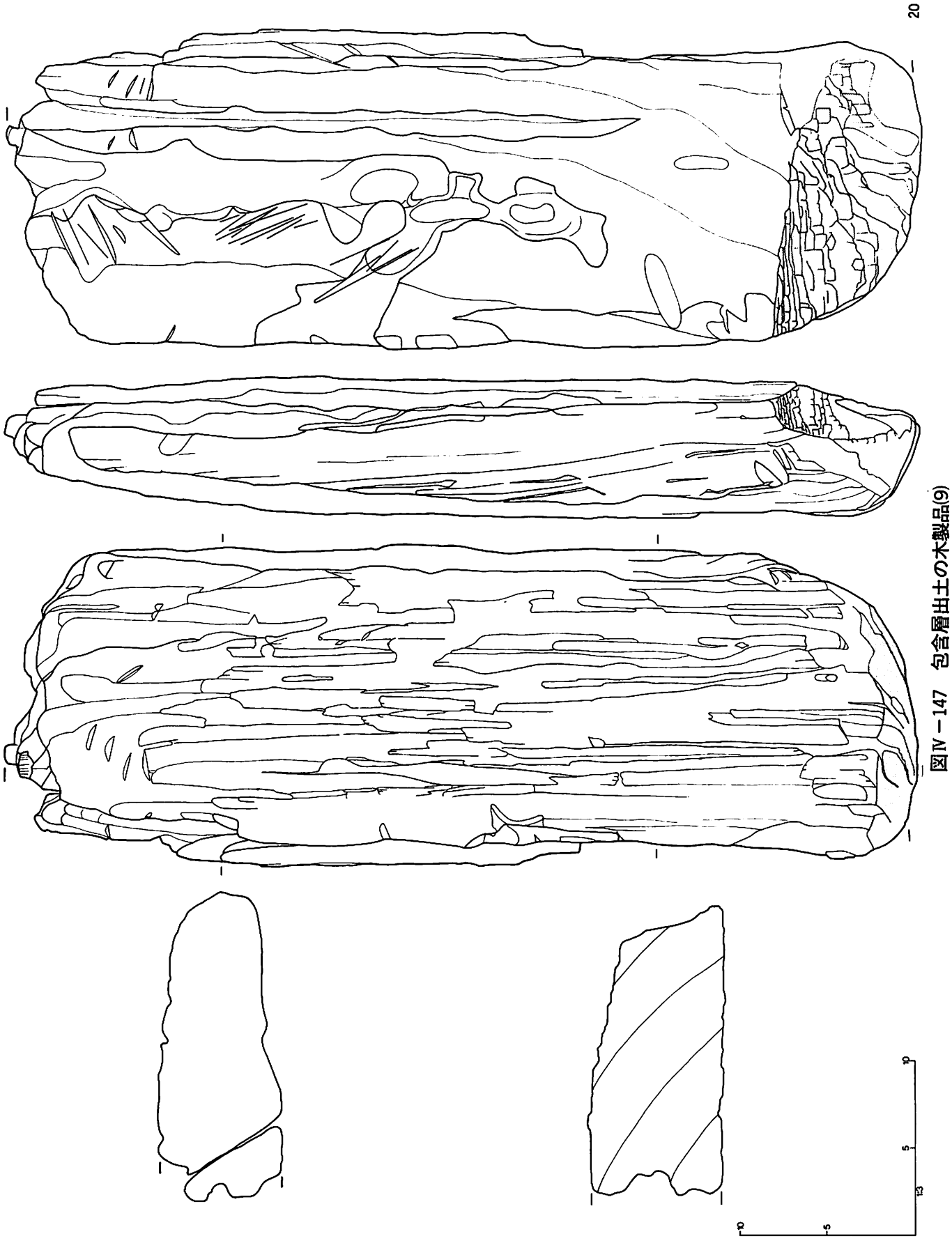


18

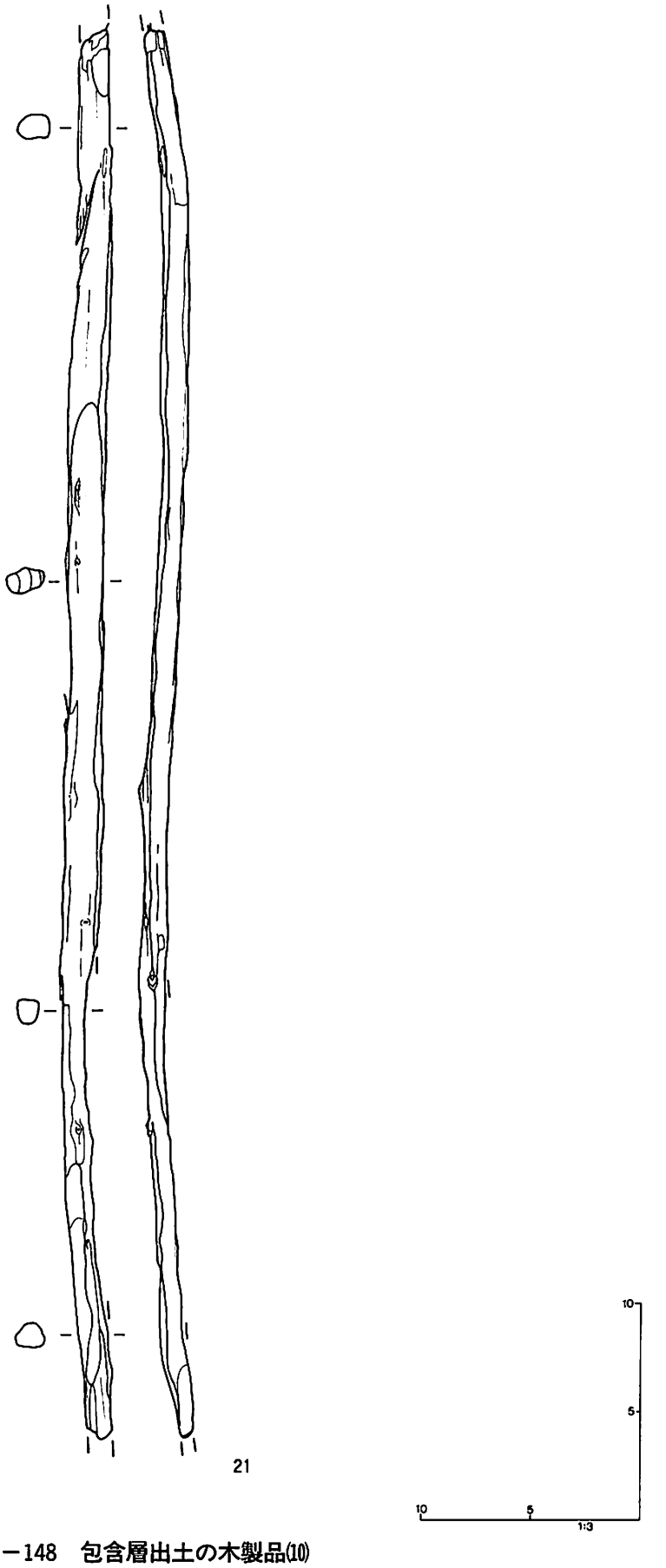
図Ⅳ－145　包含層出土の木製品(7)



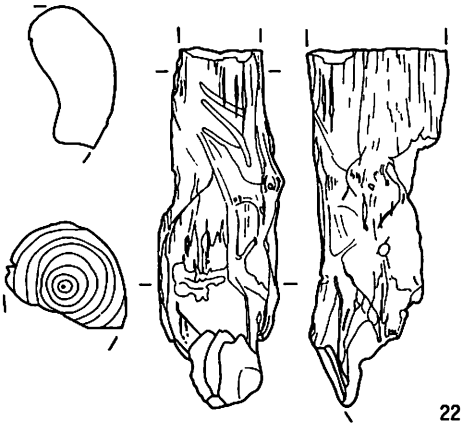
図Ⅳ－146　包含層出土の木製品(8)

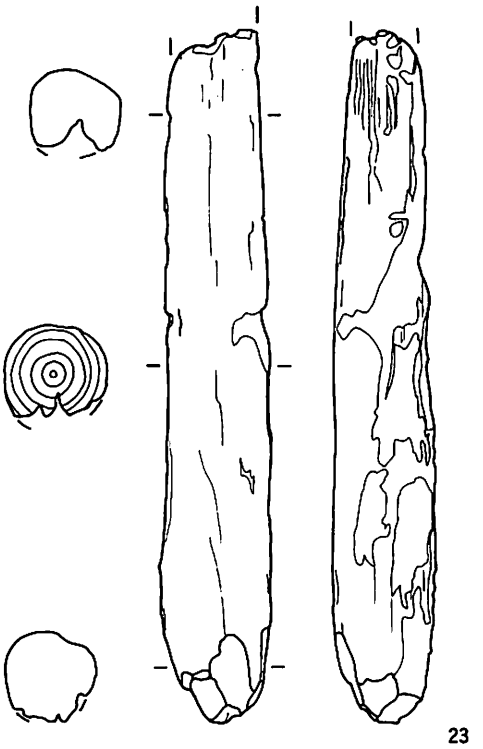


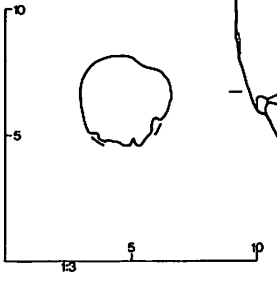
図Ⅳ－147　包含層出土の木製品(9)

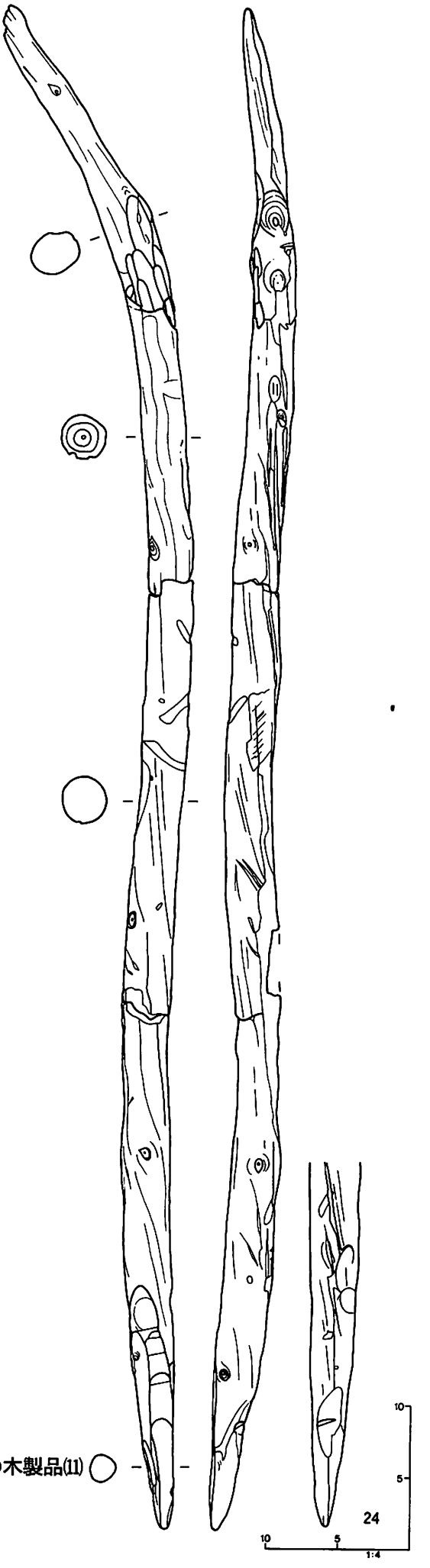


図Ⅳ－148　包含層出土の木製品(10)

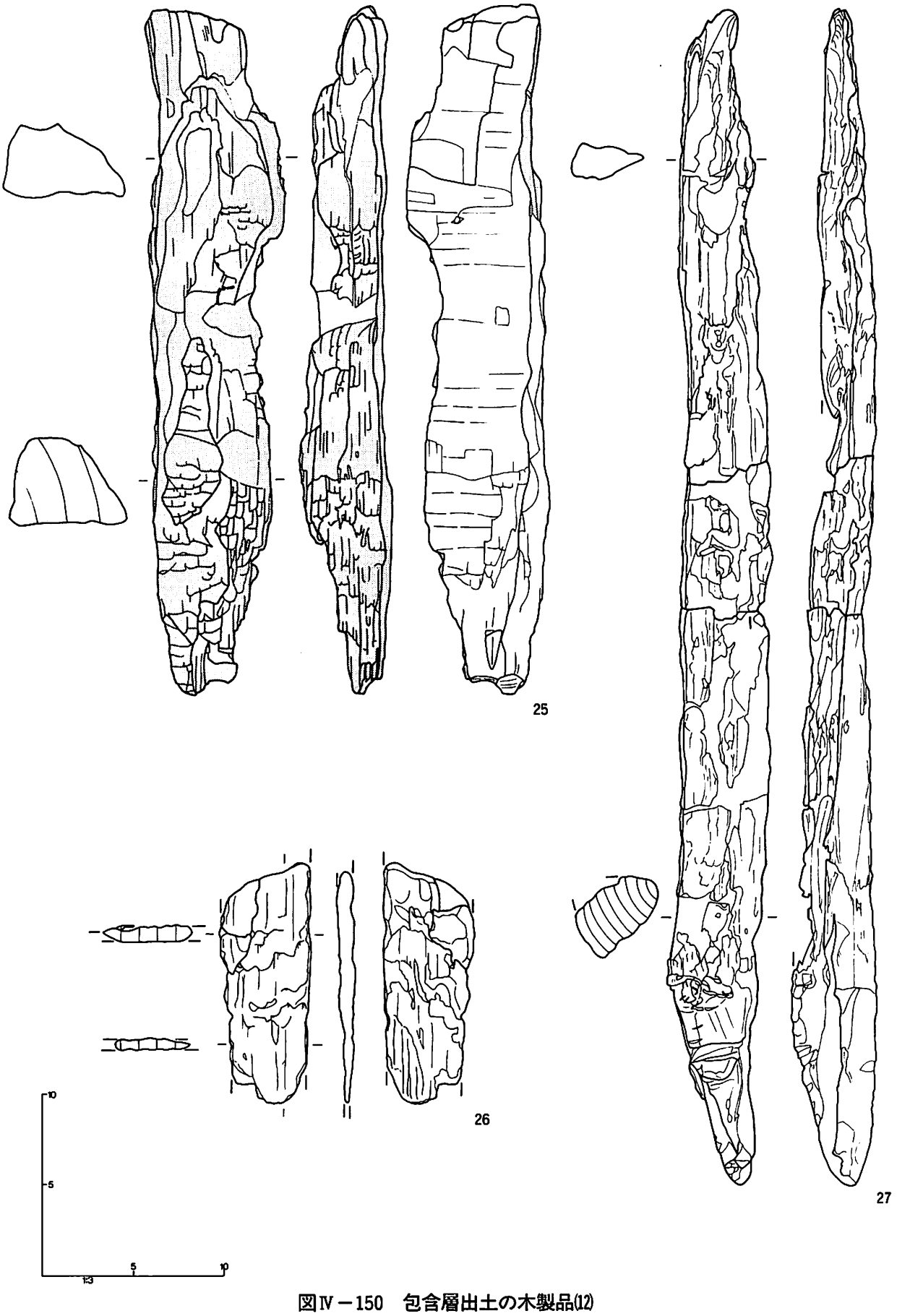




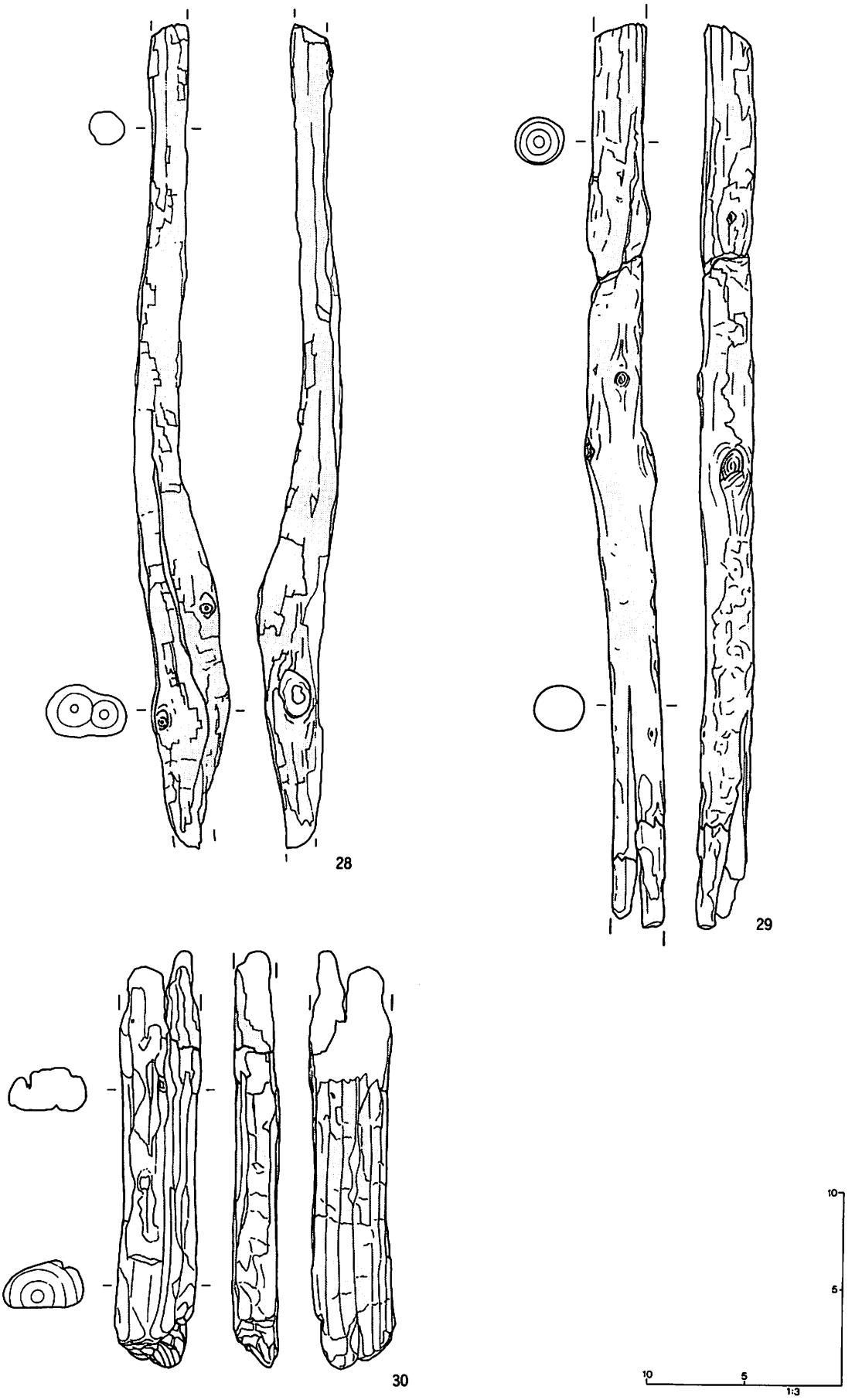




図Ⅳ－149　包含層出土の木製品(11)



図Ⅳ－150　包含層出土の木製品(12)



図Ⅳ－151　包含層出土の木製品(13)

4　小　括

1．縄文時代早期後半～前期前半の遺構

住居跡と判断される遺構はALH－3、4、5、10、13、14、15、17の8軒である。ALH－3、4は前期前半、他の6軒は早期後半と推定される。土壙は性格不明なものがほとんどであり、時期については周囲の遺物から早期後半～前期前半と推定するにとどまった。焼土の時期についても同様である。早期後半の住居跡は、ALH－5が調査区北東部の低地近くに位置するが、その他は台地の中央付近に位置している。住居跡の前後関係については、切り合い関係からALH－10がALH－17より新しいこと以外は不明である。床面、覆土の遺物などからALH－5、10、13、14は中茶路式期、ALH－17はコッタロ式期、ALH－15は住居の形態、周囲の遺物からコッタロ式か中茶路式期のものと思われる。

この他、規模から住居跡か土壙か判断に迷う遺構があった。ALH－1、9、ALP－22、24などは長軸が2.5m程の楕円形を呈し、覆土は自然堆積と思われる。遺構内にはALP－24を除いて柱穴と思われるものは検出されていない。これらは台地北側の遺構集中地点から離れた地点に点在する。時期については早期後半の中におさまると思われるが、ALH－1は、確認面で東釧路Ⅳ式以外の土器の出土がないことから、その頃の可能性が考えられる。

前期前半の住居跡は、ALH－3、4である。最終面の地形図では、これらの長軸がALH－3では6.0m、ALH－4では5.7mの等高線に沿うようにみられる。ALH－4の項でも述べてあるが、この2軒では長軸方向が異なり、そこから時間差について考えた場合、掘上土の広がりとレベルからALH－4の方が古いものと思われる。住居の特徴の1つにテラス状の張り出しがある。テラス状の張り出しが検出された住居跡は美々5遺跡AH－2がある。

この他、住居跡の可能性が高いものとして、ALH－11、12がある。長軸が2.70m程の隅丸長方形を呈し、覆土は自然堆積と思われる。規模がこの程度の前期前半の遺構は、キウス5、7遺跡などでも検出されている。

土壙のうち、概要でも触れたALH－6、ALP－20、ALP－46について簡単に述べる。

ALH－6は台地の縁に位置し、遺構内の上部に台石を設置した張り出しが設けられる。壁面では柱穴かと思われる穴が検出された。覆土は埋め戻したものと思われ、静内中野式に相当する土器片が多数出土した。時期は静内中野式の頃と思われるが、性格は不明である。このような遺構の類例は管見の限り見当らなかった。

ALP－20は土壙内から中茶路式土器がまとまって出土した。このような例は、数カ所の遺跡で報告されており、土壙墓と考えられているものもある。しかし、本遺構の規模では土壙墓の可能性は考えにくい。土壙内からコッタロ式・中茶路式土器がまとまって出土した例は、余市町登町11遺跡の報告で詳述されている。

ALP－46は底面近くからII群a－1類土器の大型破片が出土した土壙である。この土器片は約10m離れたN－44区のV層からまとまって出土した土器と接合した。土器には煤による器面の黒色化や炭化物の付着がみられ、かなり使いこまれたものと思われる。時期は前期初頭の美々7式の頃と思われるが、性格は不明である。

焼土については、台地上に位置し北に向かって列をなすようにみられるもの、台地上に点在するもの、西側の低地に向かう斜面上にあるもの、の3つに大きく分けられる。列をなすものと点在するものの一部は、前期前半の住居跡内で炉が検出されなかったことから、その頃のものも多いと思われる。

斜面上のものは水辺と関連することが考えられ、周囲の遺物出土状況から前期前半の可能性が高い。なお、焼土が列状に検出された例は、釧路市桜ケ岡２遺跡などがある。

以上のことから、A地区で検出された早期・前期の遺構は住居跡、住居跡と推定されるもの12軒、土壙45基、焼土42基である。

２．縄文時代早期後半～前期前半の土器分布

縄文時代早期後半の土器は10,452点、前期前半の土器は5,180点出土した。以下では分布について簡単にまとめる。

Ⅰ群ｂ－１類（包含層出土676点、遺構出土25点）は、量的には少ないが台地全体に分布する。他の早期・前期の土器がほとんど出土していないWライン以南でも出土している。内面に条痕のみられる東釧路　式に相当するものは北西側の低地から出土した。Ⅰ群ｂ－２類（包含層出土987点、遺構出土272点）になると、台地の中央から北にまとまって分布するようになる。Ⅰ群ｂ－３類（包含層出土3,713点、遺構出土1,049点）は早期の中では最も多く出土している。台地の付け根を除く全体と周囲の低地に分布する。Ⅰ群ｂ－４類（包含層出土891点、遺構出土18点）は台地の先端付近から北西側の低地、台地付け根付近のやや低い部分に分布する。低地では１個体分がまとまって出土する例がみられた。Wライン以南でもごく少量出土している。Ⅱ群ａ－１類（包含層出土2,429、遺構出土37点）は台地の中央から西にかけてと、北西側の低地に分布する。低地で１個体分がまとまって出土するものもみられた。Ⅱ群ａ－２類（包含層出土2,421点、遺構出土253点）は、台地の北側とその付近の低地にかけて主に分布する。

以上、各時期の土器分布をみると、Ⅰ群ｂ－１類から徐々に増加し、Ⅰ群ｂ－３類土器期に最盛期となる。Ⅰ群ｂ－４類期には減少するものの、Ⅱ群ａ－１類、ａ－２類期には安定した出土量をみせる。しかし、前期後半以降は遺物が全く出土しなくなり、W以南で数万点出土している堂林期の土器でさえ、磨耗したものが数点出土する程度である。この要因は泥炭の堆積からみて、地区の低湿化と関係すると思われる。

Ⅴ　H・K地区の調査

1　概　要

H地区（640㎡）、K地区（200㎡）はA地区の南東、I地区の北西に位置し、平成9年度調査のF地区に近接する。キウス4遺跡全体においてはほぼ中央部分に位置する。立地は標高約10mの段丘面上（H・K地区）と低湿部へ向かう斜面部分（H地区）である。残存状況は、Ⅴ層・Ⅵ層にまで及ぶ撹乱により、遺物包含層の大半が失われ、多くの遺物が表土上に露出するか、撹乱中に含まれるという状況であった。そのため、ほとんどの遺構確認はⅥ層以下で行われた。

【H地区】

遺構は盛土遺構（北側盛土）が3か所、焼土が23か所、土壙及び柱穴状ピットがあわせて878か所検出された。柱穴状ピットの配列から推定される竪穴住居跡は4軒、大型の柱穴列（4本柱）が1か所ある。柱穴状ピット群は盛土遺構周辺と調査区東半部に集中し、西半部に少なく、斜面部分においてはほとんど見られなかった。

出土遺物は総計41949点で、土器が33706点、石器が6320点を数えた。その分布は盛土範囲を中心に密度が濃く、柱穴状ピット群において薄いという結果になった。遺物の時期は縄文時代後期後葉の堂林式土器に相当するものが主体で、後期中葉の銭澗式が続く。

この他に、Ⅶ層上面においては周氷河環境下で形成されたと考えられる「線状土」が調査区東側で、また、恵庭a軽石の凍結破砕現象が調査区の西側で確認された。

【K地区】

H地区と同様に、土壙及び柱穴状ピットが遺構の主体である。全体で277か所検出され、そのうちの配列から大型柱穴列（4本柱）が1か所、住居跡1軒が確認された。焼土は3か所で確認され、うち1か所は住居跡の炉に相当すると考えられる。遺構分布は調査区全域に平均的であるが、西南隅の大型柱穴列（4本柱）周辺には少ない。

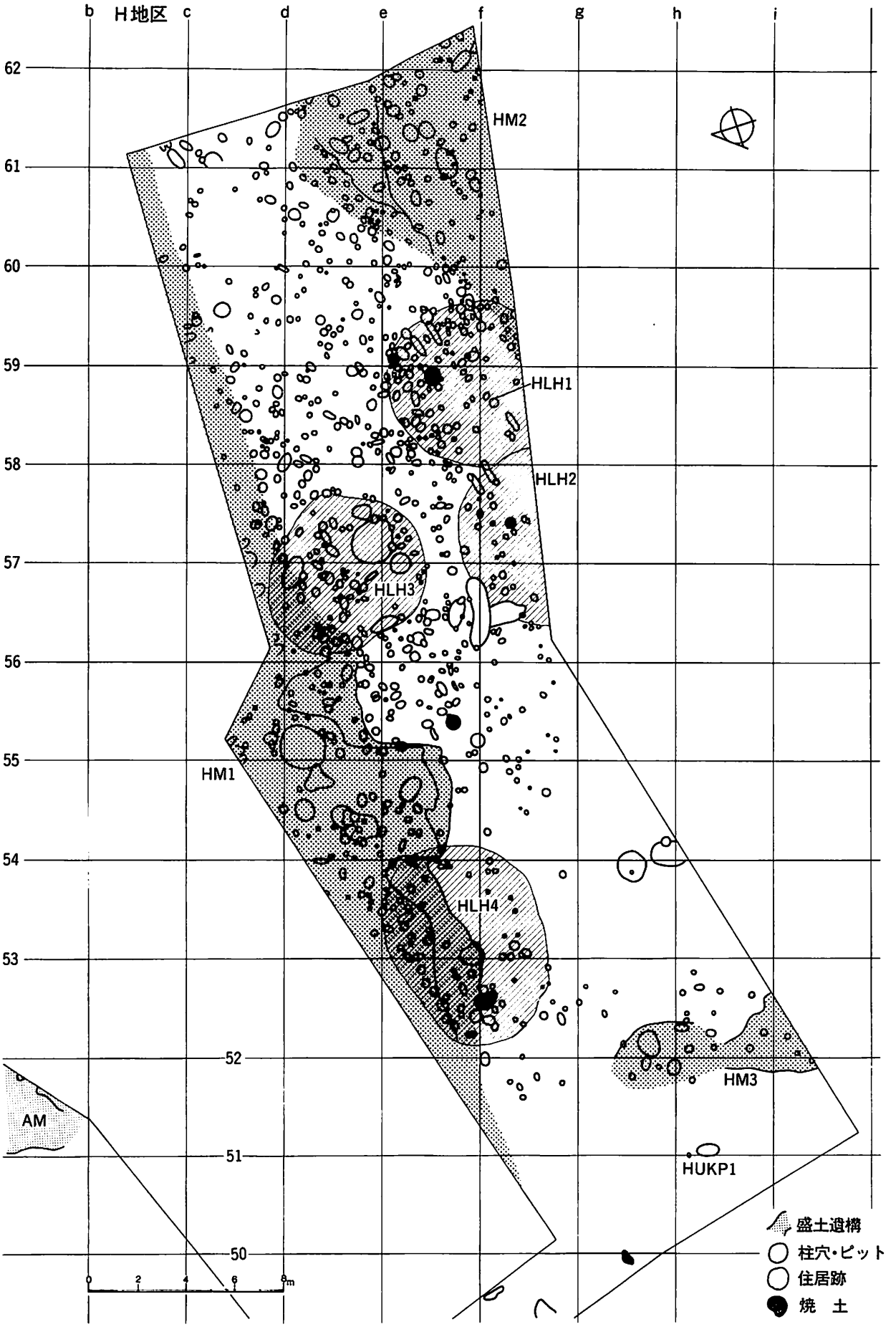
出土遺物は総計11899点で、土器が10952点、石器が871点を数えた。その分布は調査区全域に及び、包含層出土が大半を占める。時期は縄文時代後期後葉の堂林式土器に相当するものが主体である。

【土　層】

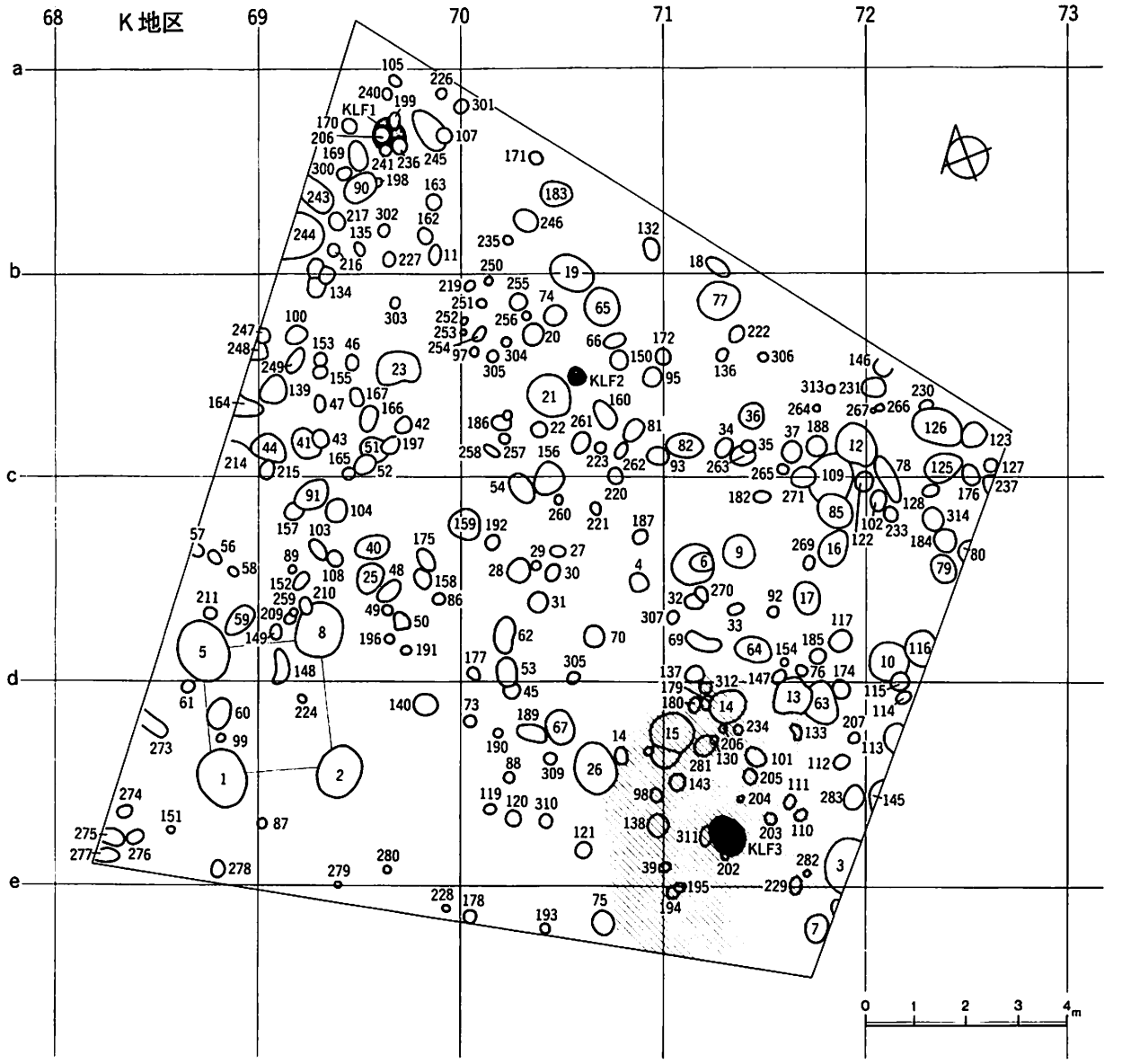
基本層序の標記に従うと、Ⅲ層が第Ⅰ黒色土層相当で縄文時代晩期以降の包含層、Ⅳ層がTa-c火山灰の層、Ⅴ層が第Ⅱ黒色土層相当で、晩期以前の縄文時代の包含層にあたる。H・K地区の調査区内の高い面（平坦面）においては、このⅢ、Ⅳ、Ⅴ層の大半が失われており、Ⅴ層の下層から残存するという状況である。部分的に保存されたⅢ、Ⅳ層においてはその境が明瞭でなく、黒色土の中にTa-cのものと推定されるパミスの含まれた層を一括してⅣ層として扱った。

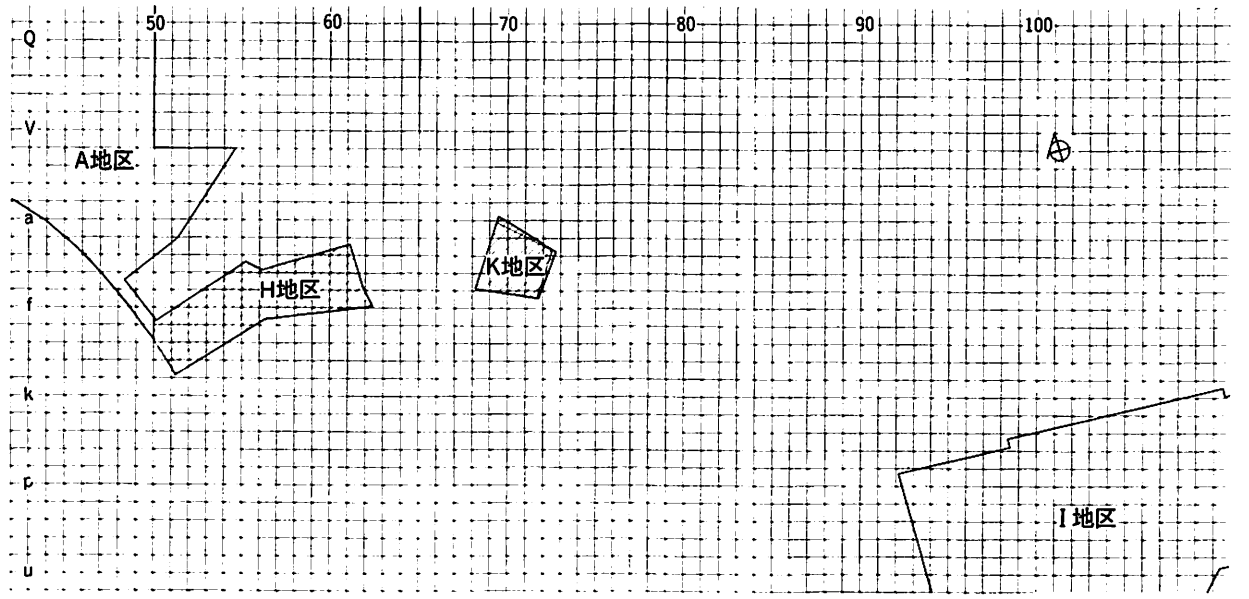
盛土遺構の周辺においては、Va層が不明瞭で、ほとんど捉えられていないが、Vb層は調査区中央部のHM－1、東南隅のHM－2においては約5㎝厚の黒色土の堆積として確認することができた。

H地区の西側斜面部分においては、土層の残存状況も良く、Ⅰ層からⅧ層上面まで約2mの堆積を確認した。Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ層の差は平坦面の場合よりもさらに明瞭でなく、すべてにTa-cと思われるパミスが含まれていた。隣接するA地区の低湿部分の状況を考慮すると、河川などの流水の影響によるものと思われる。

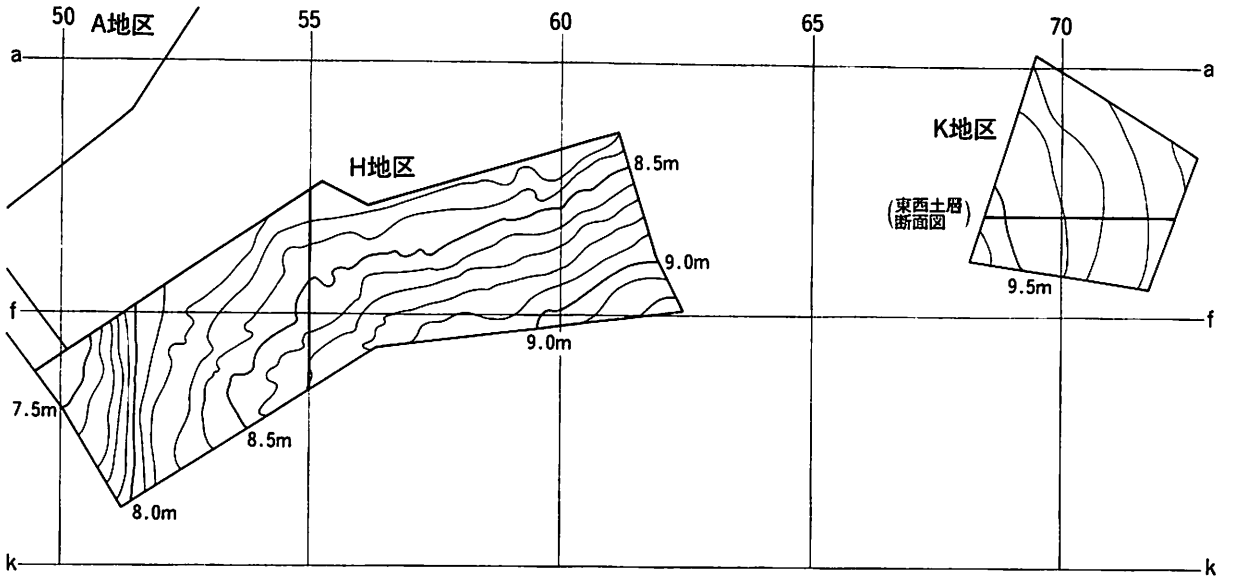


図Ⅴ－1　H地区遺構位置図

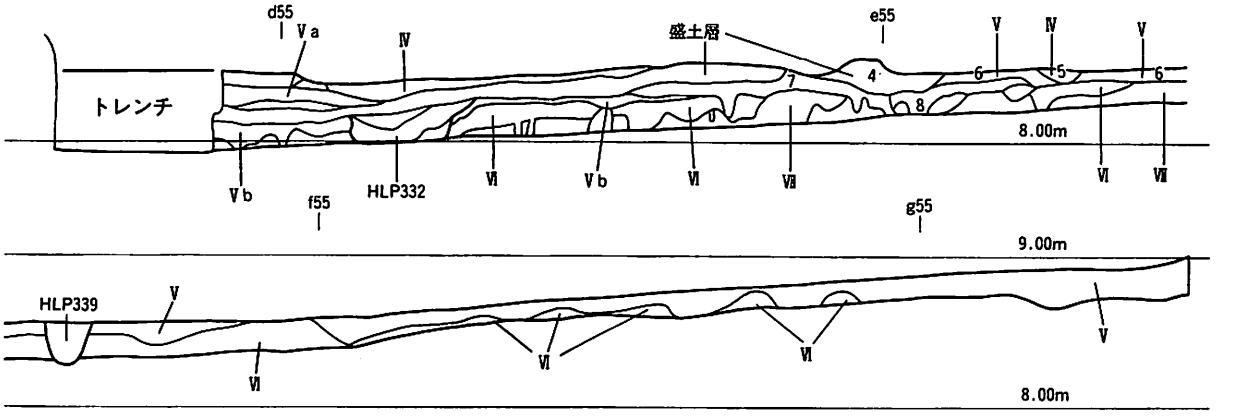




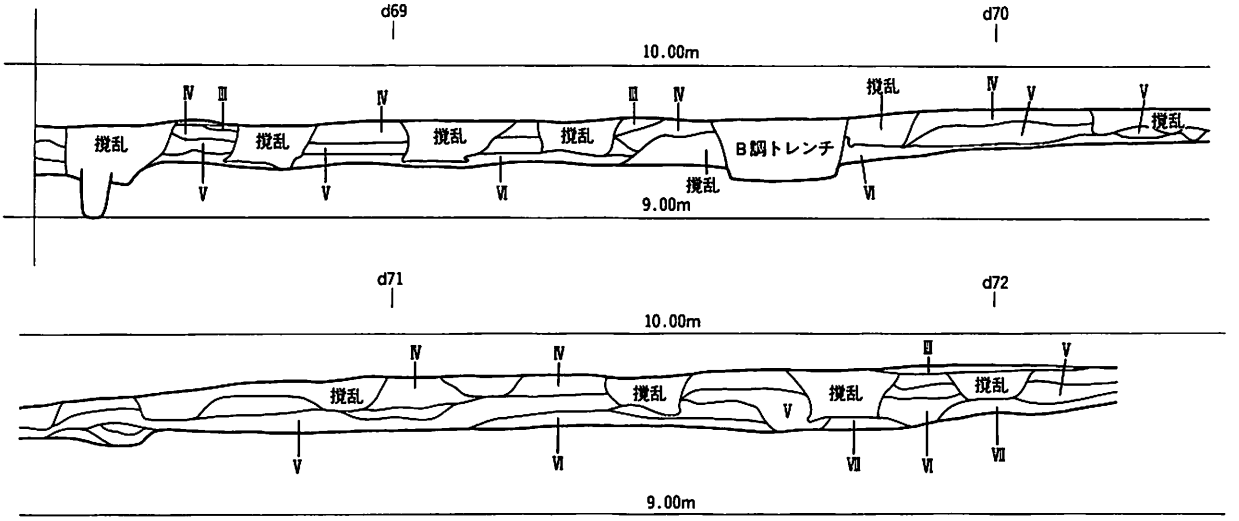
図Ⅴ－2　K地区遺構位置図



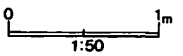
H・K地区Ⅴ層上面地形図



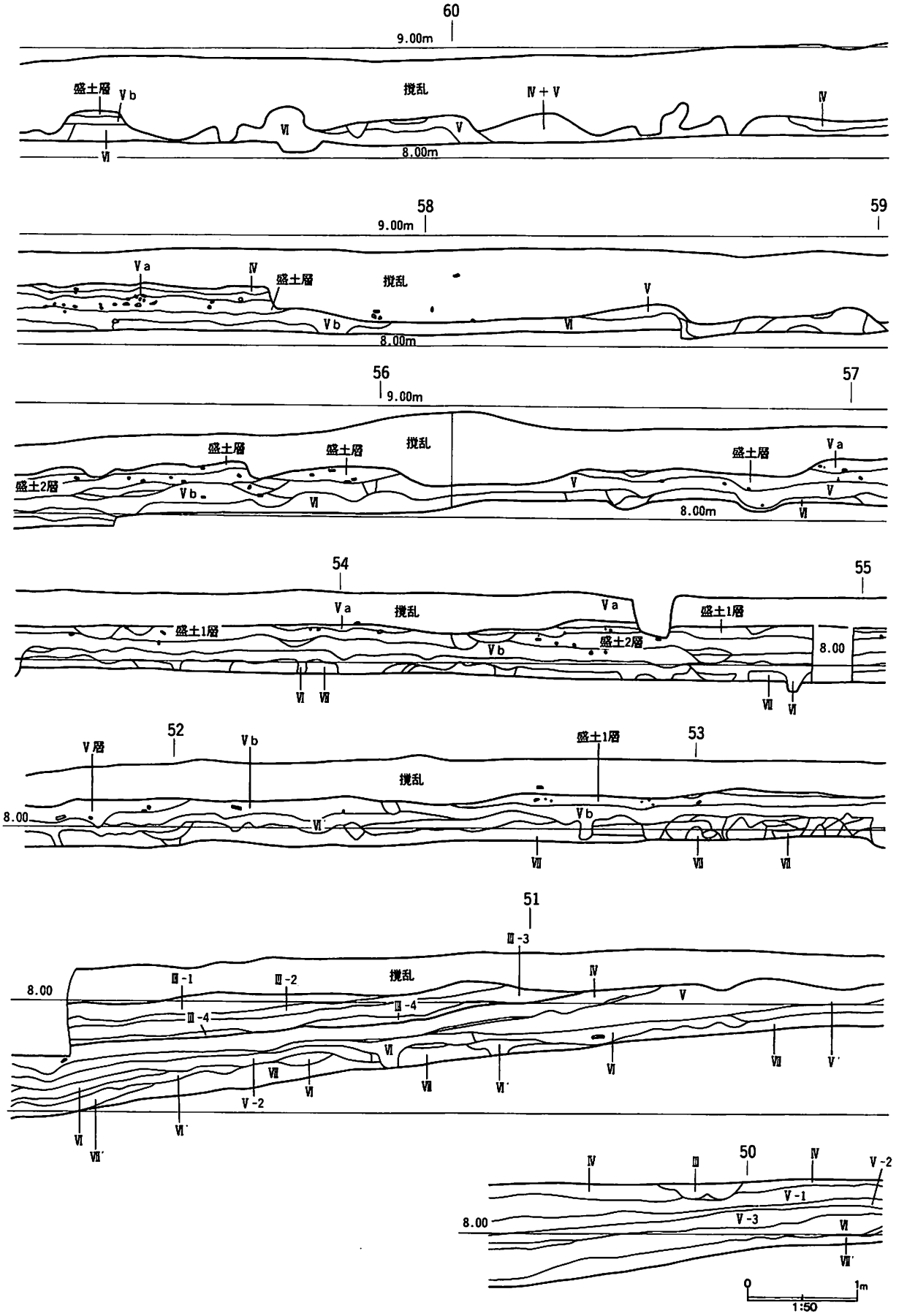
H地区中央トレンチ土層断面図



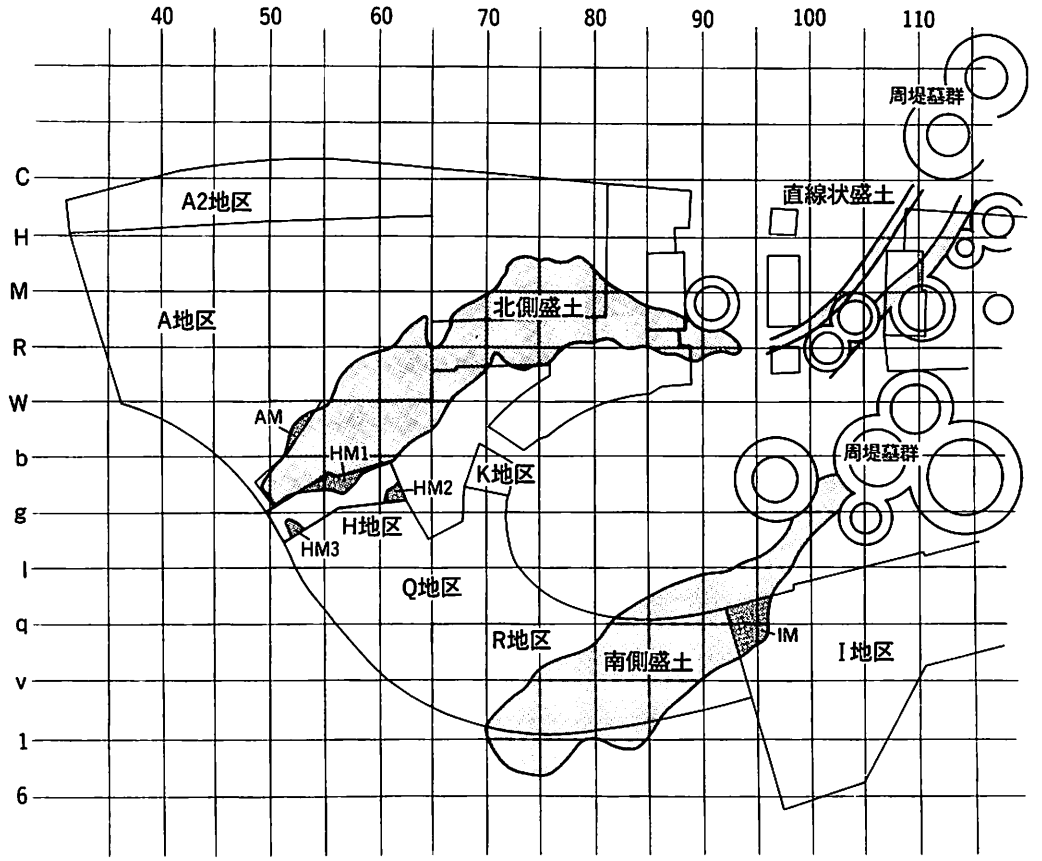
K地区東西土層断面図



図Ⅴ－3　Ⅴ層地形図及び土層断面図(H・K地区)



図Ⅴ－4　土層断面図(H地区北壁)



図Ⅴ－5　盛土遺構位置図

2　H地区の遺構と遺物

(1)　盛土遺構（図Ⅴ－5）

盛土遺構はその大半が撹乱により失われていたため、調査区壁面の土層断面と遺物集中箇所をもとに確認し、その範囲を3か所で設定した。1か所は平成8年度調査で明らかにされた「北側盛土」の延長であり、調査区北壁に沿って検出された。他の2か所は調査区東南隅と西南隅で確認されたが、これまでの盛土遺構とのつながりがなく、新たな盛土の展開の可能性があるのか、連続する部分が撹乱によって失われているのか不明である。

HM－1（図Ⅴ－5）

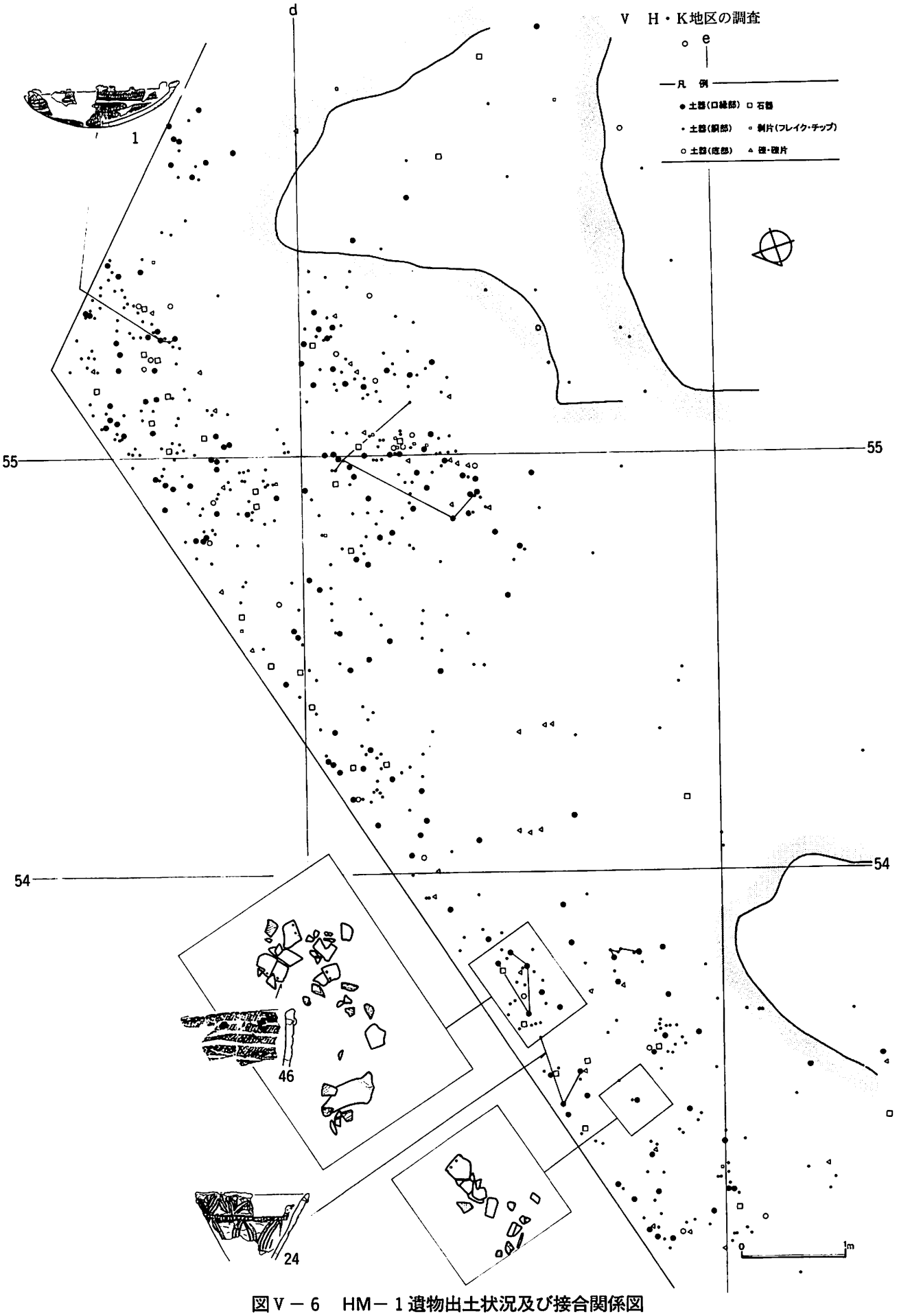
位　置　c、d、e－52，53，54，55，56，57

平面形　調査区北壁に沿って、南西から北東に細長く、55ライン付近で最も広がる不整形。

規　模　全長（東西）約12m、最大幅（南北）8m

確認・調査・土層　平成8年度調査の「北側盛土」の延長部として調査した。調査区北壁に沿って主に土層断面と遺物の集中箇所より確認し、その範囲を設定した。撹乱により盛土本体はほとんど失われていたが、その層位は2層に区分することができた。上層（盛土Ⅰ層）は恵庭aパミスを多く含む黒褐色土層、下層（盛土Ⅱ層）はパミスの少ない暗茶褐土層である。残存状況は調査区中央部55ライン付近が最もよく、層厚も約30cmを測った。（図Ⅴ－5）

焼　土　盛土中の焼土（HMF）は21か所検出された。いずれも盛土下位で被熱しており、持ち込ま



図Ⅴ－6　HM－1遺物出土状況及び接合関係図

れた可能性は少ない。

遺　物　遺物出土の範囲は盛土遺構の範囲設定の有力な手がかりになった。55ラインを中心に分布密度が濃く、また盛土Ⅰ層で濃く、Ⅱ層で薄い。また、復元可能な個体の出土は北壁際の中央部分に限られた。

HM－1の出土遺物

HM－1出土として取り上げた遺物は総計1399点、その内土器は806点、石器は530点を数えた。接合関係や分布状況から考慮すると、撹乱や包含層として取り上げた遺物の多くもHM－1のものである可能性が高い。層位別には盛土Ⅰ層が1201点、盛土Ⅱ層が194点を数え、上層の占める割合が圧倒する。

盛土Ⅰ層出土の土器

Ⅰ群b－1類（2～7）　2・3は口縁部破片で、短縄文と斜縄文の組み合わせ（2）と横位に押捺されたもの（3）である。4・5は胴部破片、6・7は底部破片であり、7は。

Ⅳ群b類（8）　口縁部破片である。口唇断面形は切り出し状であり、文様は2段の刻み列と突瘤の組み合わせからなる。

Ⅳ群c類（1、9～55）

【沈線文のみで構成されるもの】(10～23)

1は曲線主体の沈線文からなる浅鉢で、大小1組の口縁突起が3単位で巡る。大突起の上端には沈線が施され、意匠を凝らしたつくりになっている。9は明瞭な羽状縄文の地文に並行する沈線が施されている。10は平行沈線と弧線状の沈線文との組み合わせからなる。11は平行沈線により区画された体部に無文帯が見られる。12・13は内傾する口縁部に肥厚する口唇を有し、斜行沈線が施されている。18は体部中位に無文帯を有し、横位の沈線間に鋸歯状の沈線が施される。16・17は曲線主体の木葉沈線文が主体である。21、22、23は注口土器片であり、21には貼瘤が貼付され、22には注口部との接合部分が確認できる。文様は細い弧状沈線からなる木葉沈線文が主体である。

【突瘤と沈線で構成されるもの】(24～46)

24は小型土器で、体部中位に沈線で区画された刻み目列があり、その上下には細い弧状の沈線が縦位に施されている。文様には、口縁部に平行、または並行する沈線の施されたもの（25～34、40～42、46)、鋸歯状の沈線（35・39・45)、弧線状の沈線（36・38・44）が施されたものがあり、ほとんどに明瞭な切り出し状の口唇を確認することができる。口縁形態には平縁の他、緩やかな波状を呈するもの（29・36・42～44）や突起を有するものがある（37・41・45)。

【突瘤と縄文のみで構成されるもの】

47は羽状縄文を地文とし、48、49、50は斜行縄文を地文にするが、48には磨り消しによる無文帯が見られる。50は口縁部が内傾する。

【縄文のみで構成されるもの】

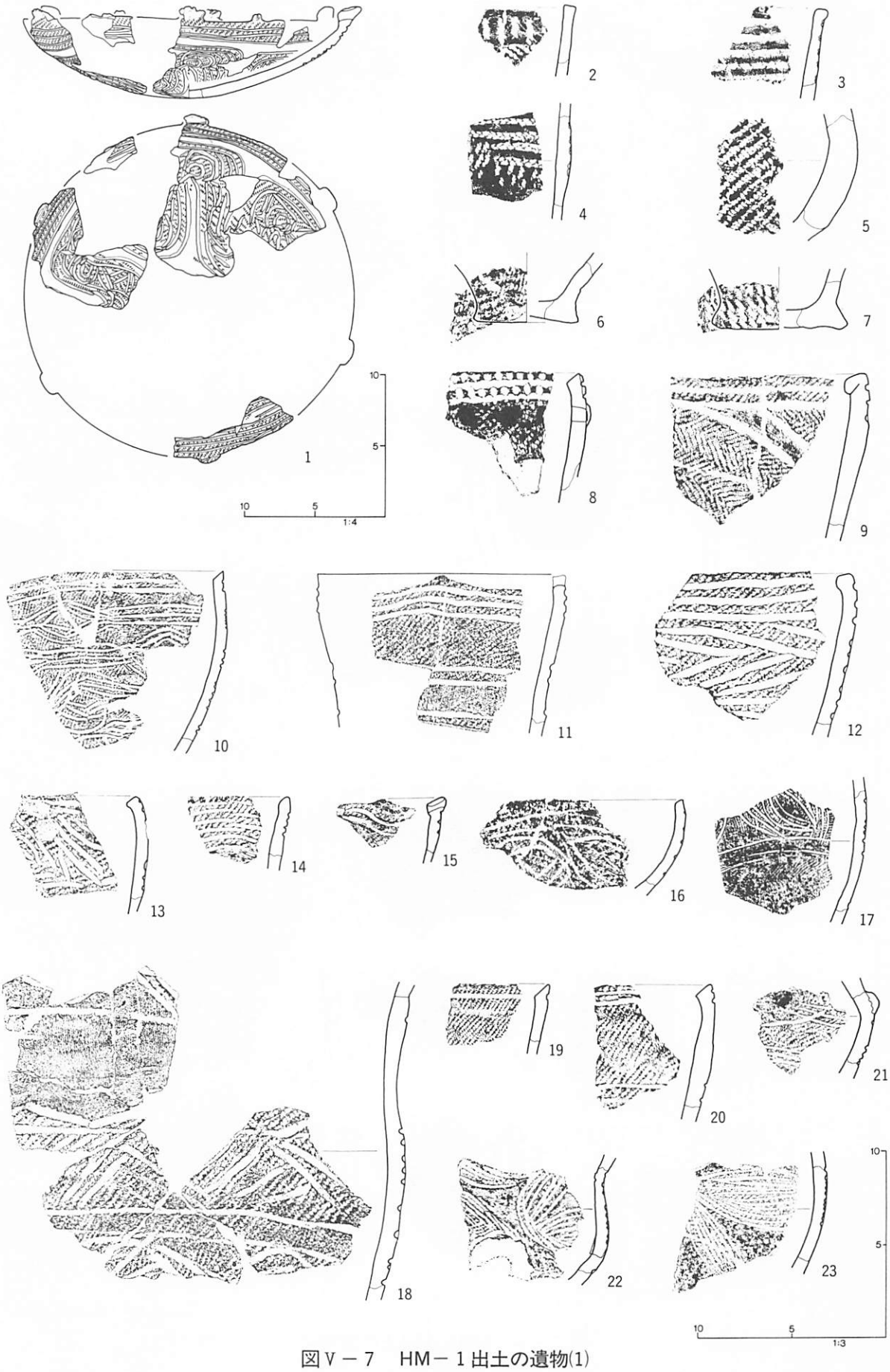
51は斜行縄文のみの口縁部破片で、口唇断面形は丸形を呈する。52は斜行縄文のみの胴部破片であり、53，54，55は底部破片で、平底である。

盛土Ⅱ層出土の土器

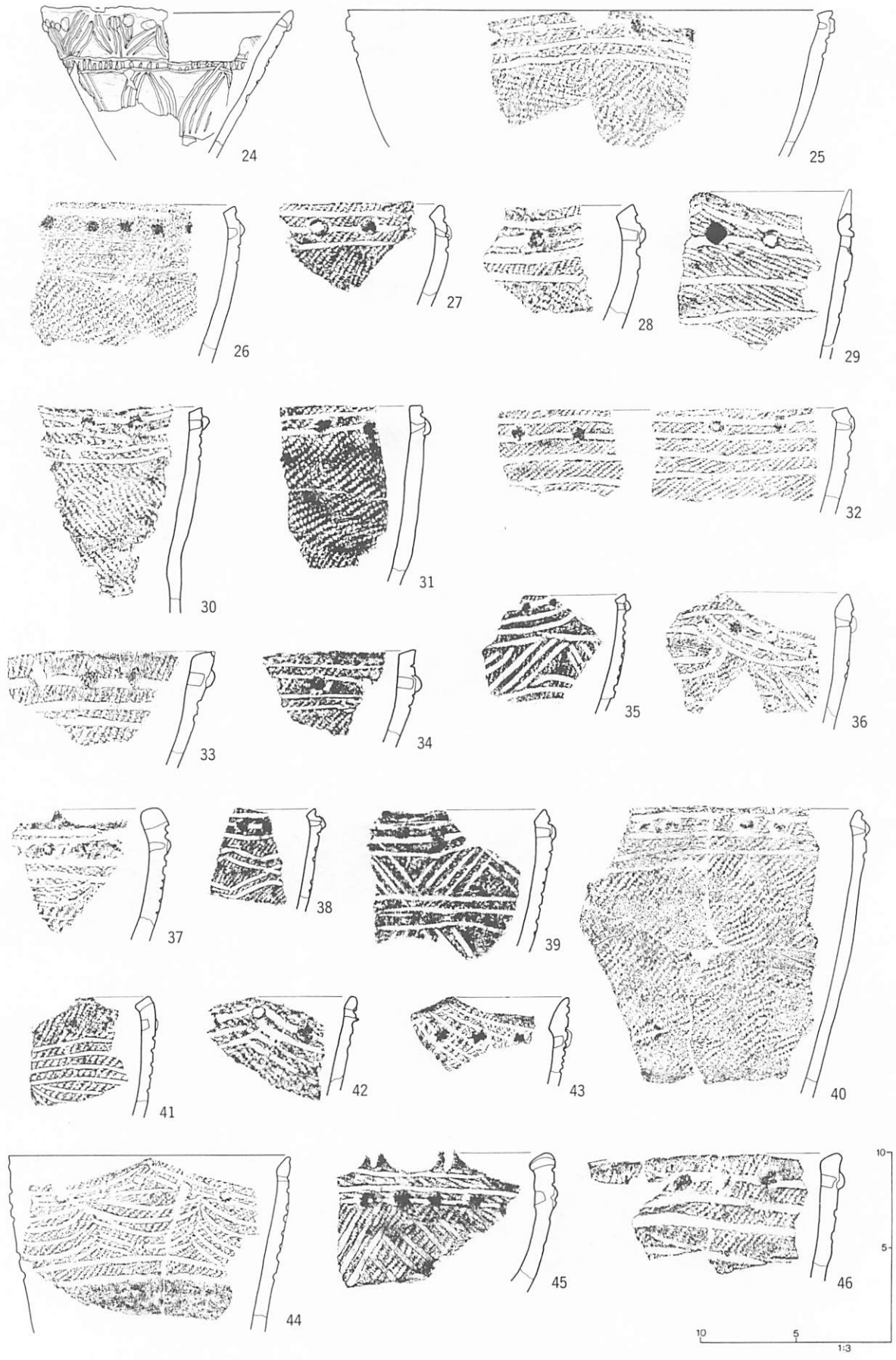
Ⅳ群b類（57）　1列の刻み列を有する口縁部破片である。

Ⅳ群c類（58～62）　口縁部破片には鋸歯状と思われる沈線文からなるもの（58)、平行沈線と突瘤からなるもの（59)、斜行縄文のみ（61)、無文のもの（62）を取り上げた。60は注口土器の胴部破片で弧状の沈線文からなる。

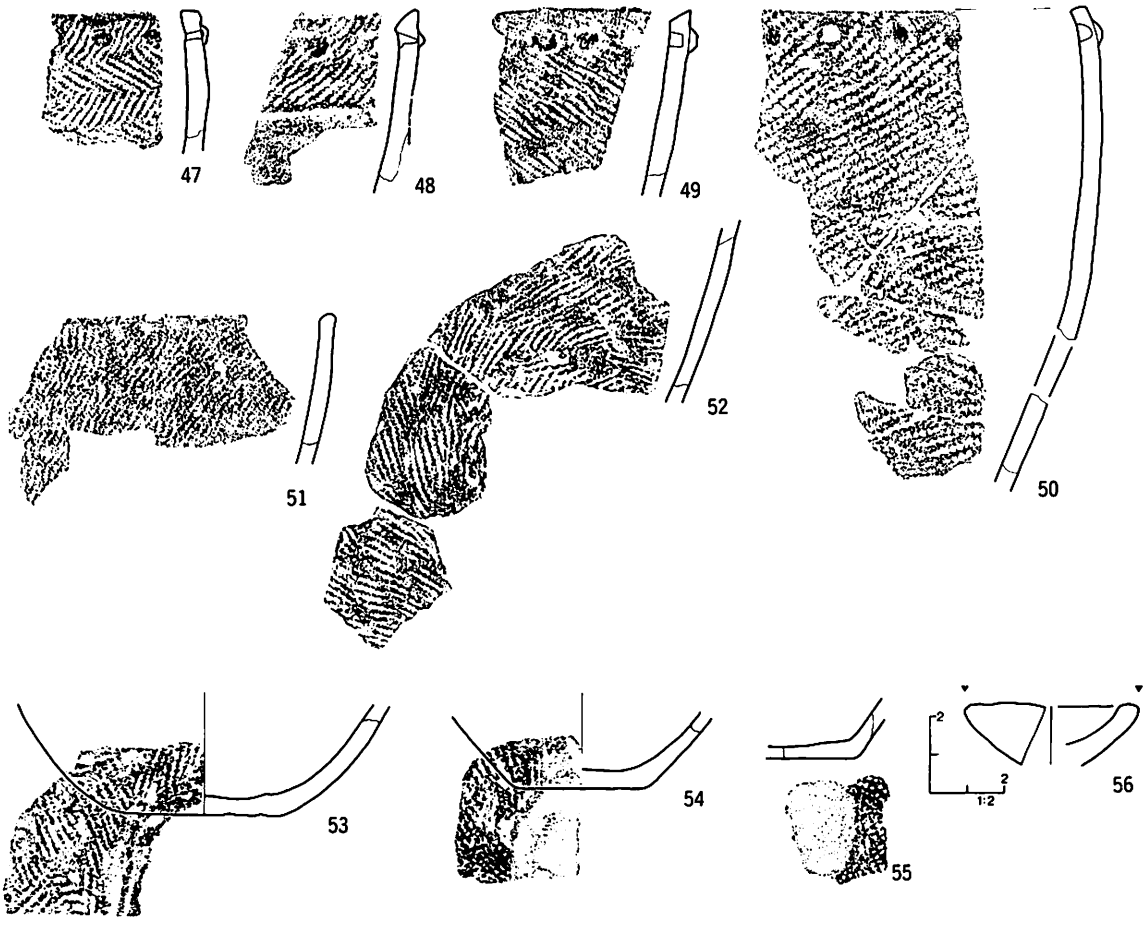
土製品（63）



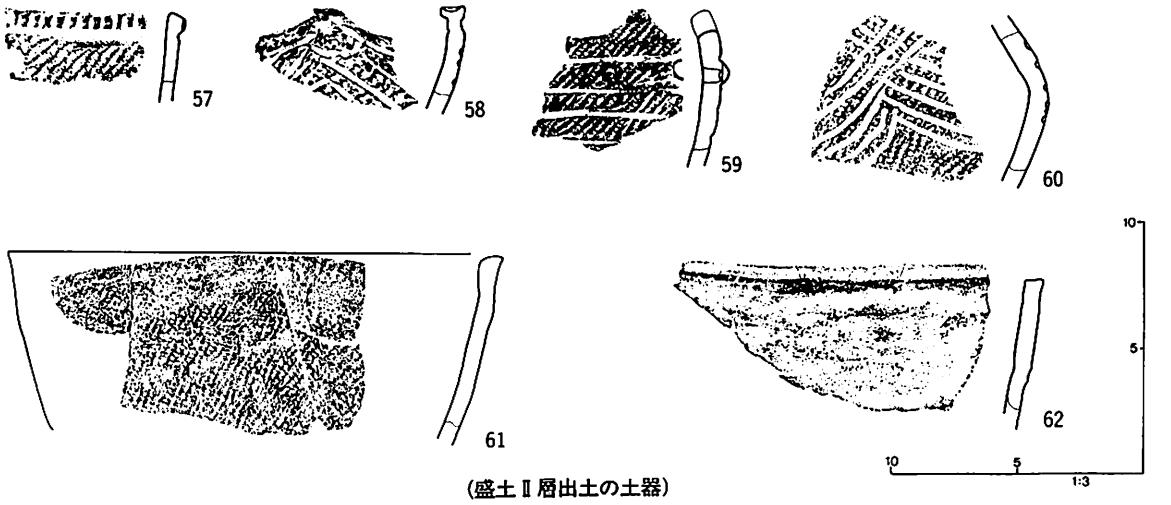
図Ⅴ－7　HM－1出土の遺物(1)



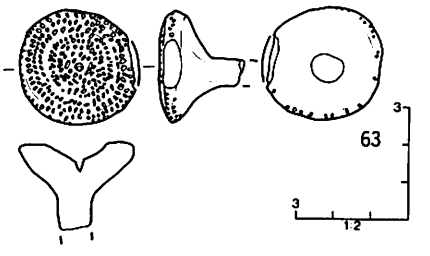
図Ⅴ－8　HM－1出土の遺物(2)



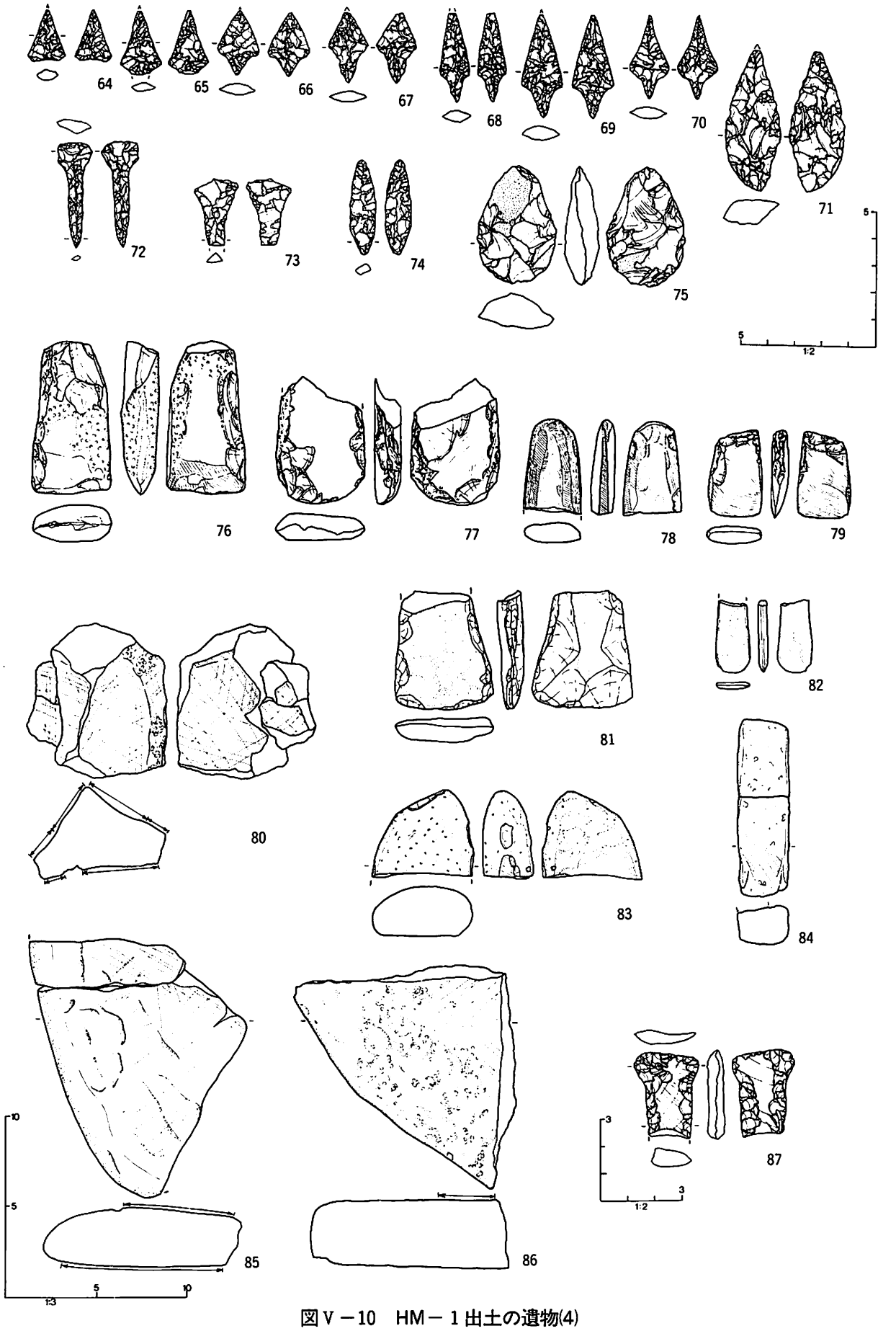
(盛土Ⅰ層出土の土器)



(盛土Ⅱ層出土の土器)



図Ⅴ－9　HM－1出土の遺物(3)



図Ⅴ－10　HM－1出土の遺物(4)

盛土層からの出土である。スタンプ形の土製品で、ハの字状の短刻文からなる。耳栓の可能性もある。

HM－1出土の石器

石鏃（64～70）

石鏃は合計18点出土し、7点を掲示した。64は無茎平基で、65～70は有茎凸基のものである。65は茎部を欠し、67・68は先端部を失っている。70はかえし部に丸みをもたせている。67の基部にはアスファルトの付着が見られた。石材は67のみ頁岩で、そのほかは全て黒曜石である。

石槍またはナイフ（71）

2点中1点の図示である。両面全面加工のもので、黒曜石製である。

石錐（72～74）

3点中全点の図示である。72・73はつまみ部をもつ棒状のもので、73は機能部の先端を欠している。74は棒状のものである。

スクレイパー（75）

6点中1点の図示である。両面全面加工のものである。

石斧（76・77・78・79・81・82・83）

石斧は15点出土し、6点を図示した。76・81は撥形で、76には敲打痕が認められる。81は粗割整形のみのもので未成品と思われる。77・79・82は短冊形で、77は粗割整形・敲打調整・擦りによって作成されている刃部のみのもの、79は完形品で粗割整形・擦りによって作成されている。82はミニチュアと思われる。78・83は基部破片で、78は擦りにより作成されている。

砥石（80・84）

砥石は32点出土し、2点を図示した。80は3面の砥面をもつ断面三角形の砂岩からなる。84は角柱状のもので、明瞭な砥面は1面である。

台石（85・86）

85は表裏に擦りが見られ、86は表に擦りとその周縁に潰打痕が認められる。

HM－1出土の石製品（87）

87は異形石製品とおもわれる。黒曜石製である。

HM－2（図V－11）

位　置　d、e、f－60・61・62

規　模　調査区東南隅を中心とする半径約7mの範囲

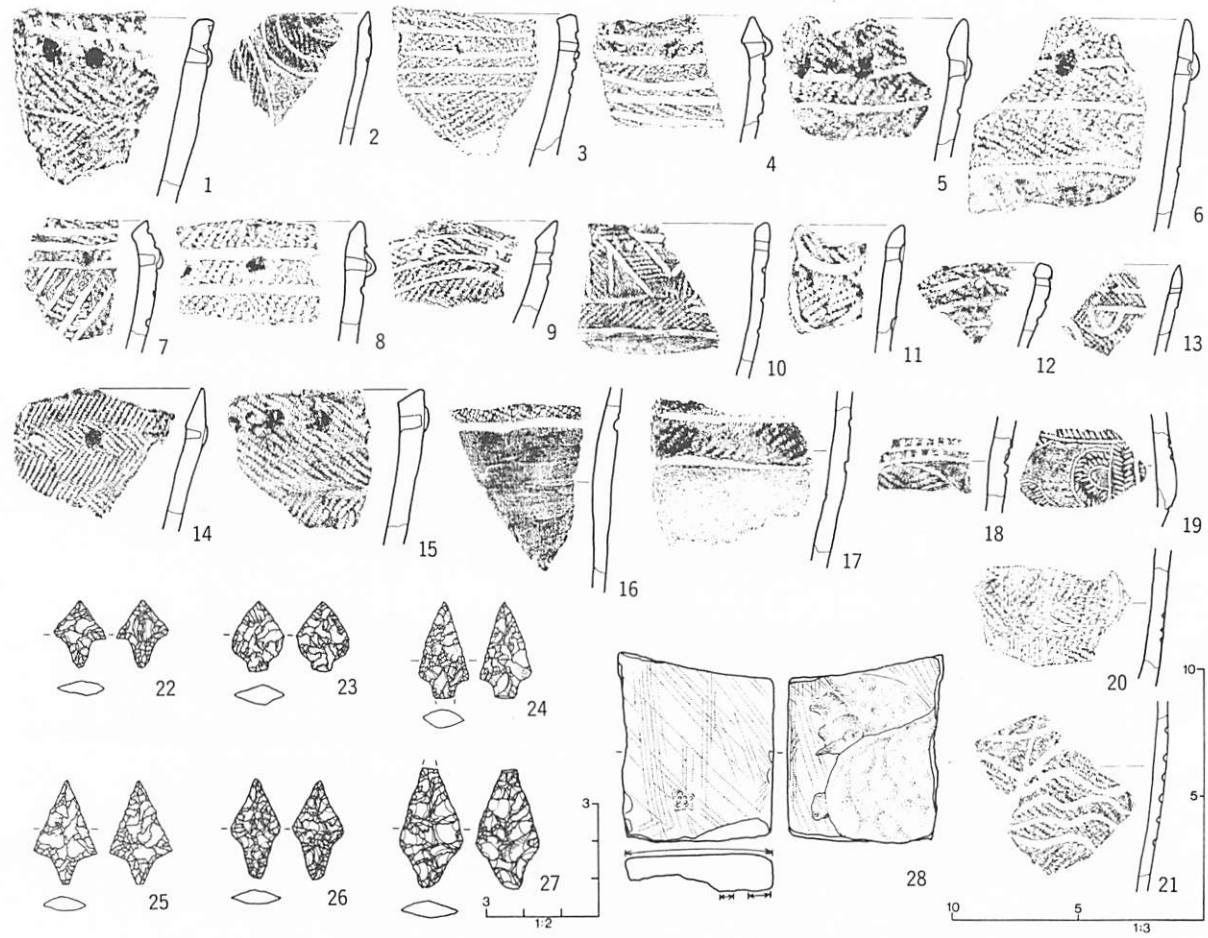
平面形　調査区東南隅を中心とする円形

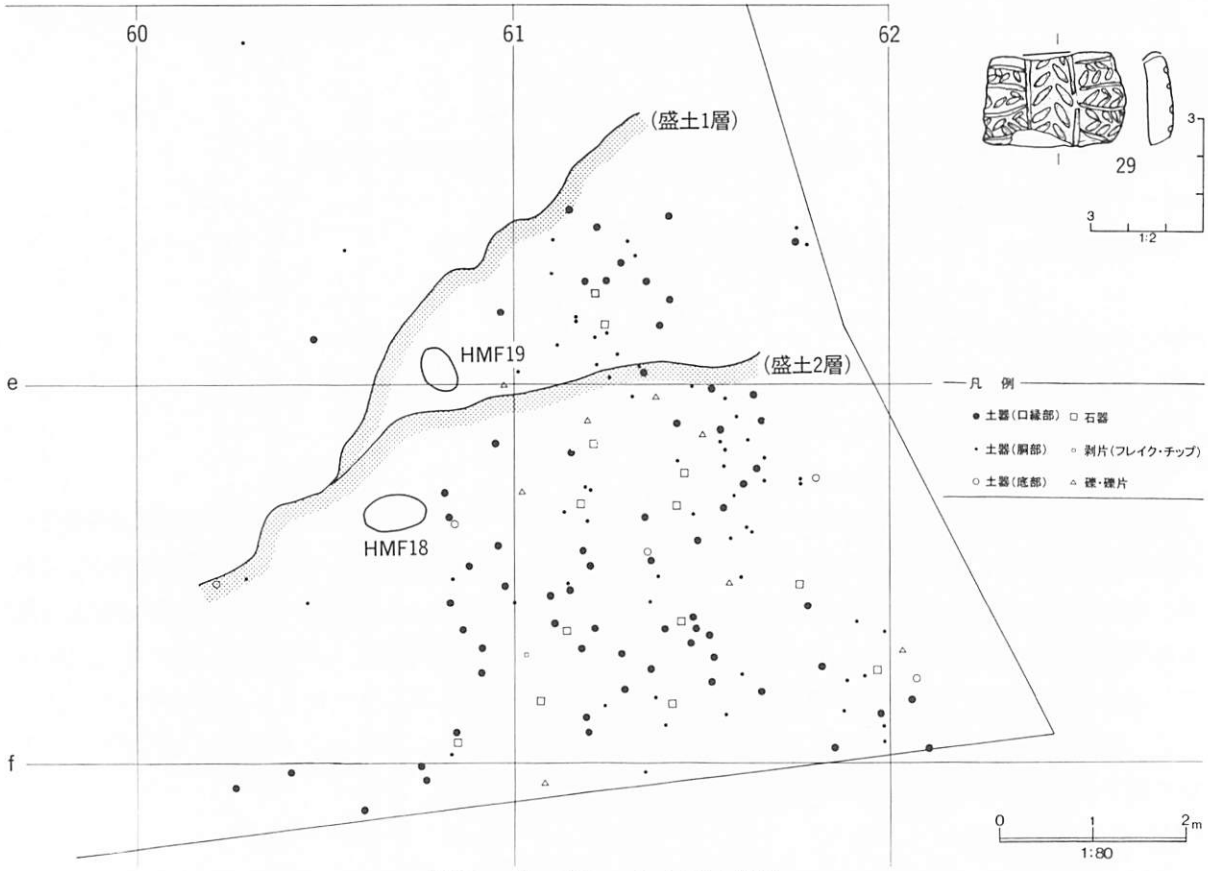
確認・調査・土層　表土除去後にⅥ層上面の確認面において、恵庭aパミスを多量に含む黒褐色土の範囲を確認した。当初、住居跡を想定し調査を行ったところ掘り込みはなく、土層断面の観察により、盛土遺構と確認した。HM－1と同様に遺物を多く含む黒褐色土の上層とパミスの少ない暗茶褐色土の下層とに分層することができた。新たな盛土が展開する可能性も考えられたが、HM－1との間が7～8mほどしかない点から、撹乱により連続した部分が失われてしまったことも考えられる。

遺　物　黒褐色土の範囲全体に疎らに分布している。分布密度はHM－1と同様に上層に濃く、下層に薄い。復元可能な接合のまとまりはほとんど見られなかった。

HM－2の出土遺物

HM－2出土として取り上げた遺物は総計1894点、その内土器が1650点、石器は216点を数えた。接





図Ⅴ－11　HM－2と出土遺物

合関係や分布状況から考慮すると、撹乱や包含層として取り上げた遺物の多くもHM－2のものである可能性が高い。層位別には盛土Ⅰ層が1151点、盛土Ⅱ層が542点を数え、上層の占める割合が圧倒する。

土器（1～22）

Ⅳ群b類（1・18）　1は突瘤と2列の刻み目からなる口縁部破片である。羽状縄文を地文にする。18は胴部破片で沈線間に磨り消し部分が認められる。

Ⅳ群c類（2～21）　弧状の沈線文からなる2には磨り消しが認められる。突瘤を有する口縁部破片には、平行する沈線と突瘤からなるもの（3～9・12)、鋸歯状沈線の見られるもの（10)、曲線主体のもの（11・13)、羽状縄文のみのもの（14・15）がある。16・17は沈線で区画された無文と縄文との組み合わせからなる胴部破片である。19は沈線で区画された中にハの字状の刻み列が施されたもの、20は細い沈線による曲線・直線が組み合った文様が認められる。

石器（22～28)

22～27は石鏃である。全て有茎凸基である。23は返しの部分に丸みを持ち、27は先端を欠している。28は砥石で、表裏両面に擦りが認められる。

土製品（赤彩土器）（29)

29は土製品と思われる。沈線で区画された中にハの字状の刻みが施されている。赤彩は表面全体に施されていたと思われるが、刻み内部にのみ残存している。

HM－3（図Ⅴ－12)

位　置　g、h、i－51・52

規　模　調査区西南隅を中心とする半径約7mの範囲

平面形　西北から南東にのびる線状

確認・調査・土層　斜面上部の肩付近で恵庭aパミスを多量に含む黒褐色土の範囲を確認した。当初住居跡の可能性を想定して掘り下げたところ、掘り込みはなく、土層断面の確認により、盛土遺構の一部と判断した。遺物の集中範囲をもとに範囲を設定し、調査を行った。土層の堆積は明瞭でなく上下層を区分することができなかった。

遺　物　盛土遺構の範囲が不明瞭であったため、遺物の集中部分は盛土遺構の範囲外で扱われた。復元可能な個体の出土もこの範囲で見られた。

HM－3の出土遺物（1～14)

土器（1～12)

Ⅰ群b－1類（1・2）　1・2は組紐が押捺された胴部破片である。

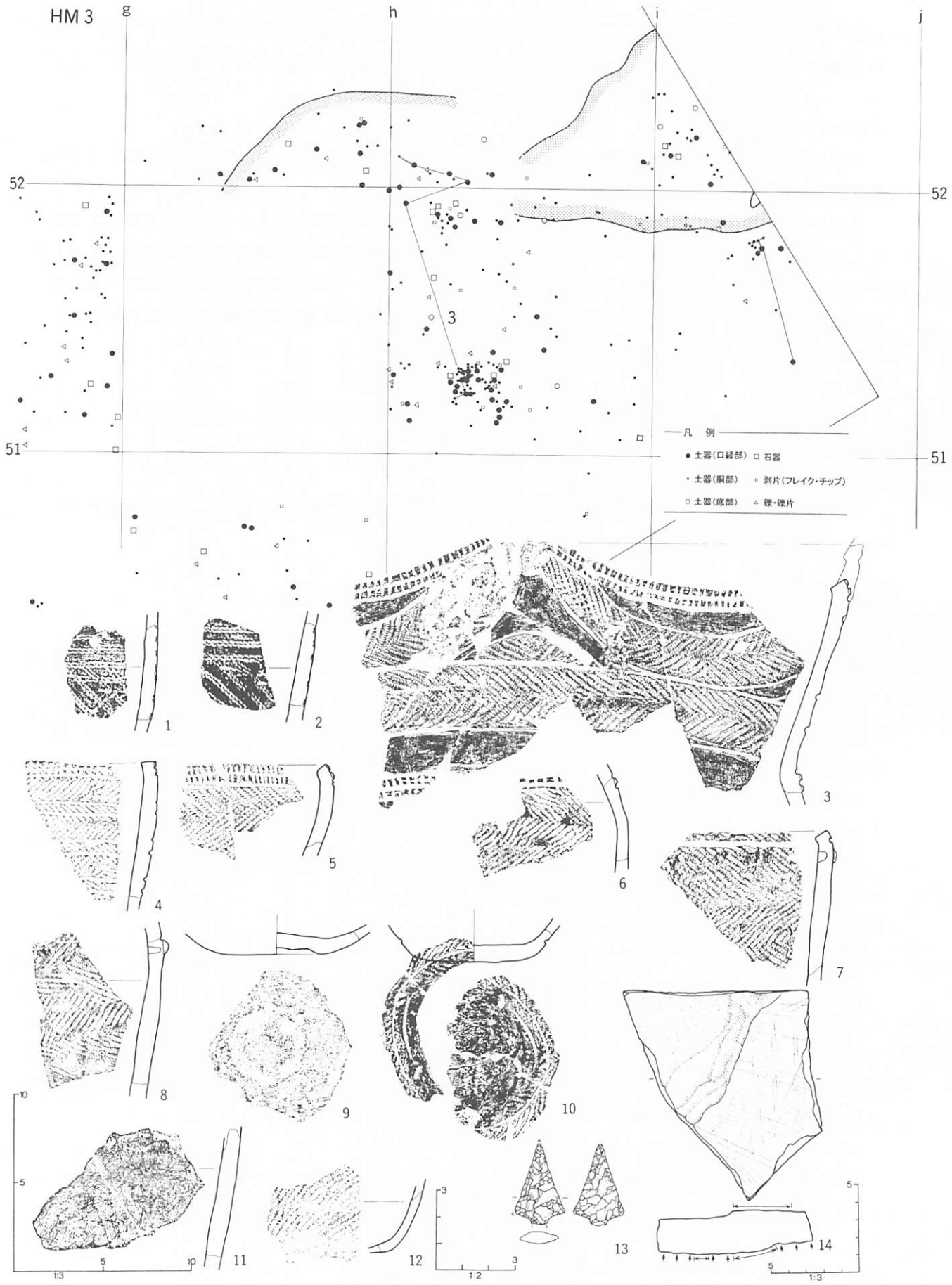
Ⅳ群b類（3・4・5・6）

いずれも刻み列を持つものである。3は緩やかな波状口縁を呈し、胴部がくびれる深鉢である。曲沈線で区画された縄文と磨り消しも認められる。4・5は2列の刻み目を有する口縁部破片で、6は注口土器の胴部破片である。

Ⅳ群c類（7・8・9・10・11・12)

7は口唇に平行な沈線に突瘤が加えられたもので、口縁部分がやや内傾している。8は突瘤と縄文のみの組み合わせである。11は無文の胴部で、9は上げ底、10は平底、12は縄文のみの底部破片である。

石器（13・14)



図Ⅴ－12　HM－3と出土遺物

13は有茎凸基の石鏃で、黒曜石製である。14は砥石で表裏両面に擦り面が認められた。

(2) 土壙状・柱穴状ピット群（図Ⅴ－15～18）

確認・調査　土壙状・柱穴状のピットは875箇所で検出された。包含層の大部分が失われていたため、遺構確認はⅥ層の上面、もしくはそれ以下で行った。調査は平面確認の後半裁し、土層断面の確認後完掘した。その都度の観察は全て記録されている。（表Ⅷ－１）

位置・分布　これらのピット群の分布は盛土遺構周辺と調査区東半部に集中する。盛土遺構周辺ではHM－１とHM－２に集中するが、HM－３の範囲内では集中しない。調査区東半部の集中の中には大型柱穴４本が正方形に並ぶ大型柱穴列（４本柱）や「ハ」の字状の入り口ピットに代表されるような住居跡（HLH）に伴うものが数多く含まれる。直径約１ｍを超える「土壙状」のピットは数も少なく、疎らである。

調査区西半部には集中箇所がなく、調査区西側の斜面部分や恵庭ａ火山灰の凍結破砕部分においてはほとんど見られなかった。

規　模　直径が約１ｍ以下、数十cmほどの柱穴状ピットが大半を占める。掘り込みは最大で約１ｍのものがあるが、数十cmがほとんどである。直径１ｍを超える「土壙状」のピットは数は少なく、８箇所のみである。すべて浅い皿状の約30cmほどのものである。

これらの掘り込みは全て一括してピットとして扱い、住居跡や大型柱穴列などはこれらのピット（HLP）の集合として表現した。

遺　物　遺物を伴うものはHLP－332やHLP－333に代表される「土壙状」のピットに限られる。「柱穴状」のピットで遺物を伴うものは少なく、年代決定できるものも少ない。

(3) 住居跡

HLH－１（図Ⅴ－13）

位　置　ｅ、ｆ－58・59

規　模　長径６ｍ、短径約4.8m　　**平面形**　東西を長軸とする楕円形

確認・調査・土層　「ハ」の字状に開く１対のピット（HLP－９，10とHLP－19，20）を住居の入り口に関連する「入り口ピット」として、これを中心に柱穴と焼土の配列から範囲を設定した。掘り込みは見られず、表土除去の段階で焼土が露出する状況であったため、本住居が本来掘り込みを伴うものかどうかは不明である。

炉　跡　HLF－１をHLH－１に伴う炉跡として検出した。

床　面　Ⅶ層上面に構築されている。硬化面などは見られなかった。

「入り口」ピット　２列の長円形ピット（HLP－９，10とHLP－19，20）が住居の外側に向けて「ハ」の字状に開くかたちのものである。開く方向は北東であり、住居跡の主軸と重複する。掘り込みはいずれも浅く15cm程度のものである。

遺　物　床面から台石が１点出土した。上面に潰打痕、側面には粗割により面取り整形された痕跡が認められた。HLF－１覆土上層から、胴部に刻み列と無文帯をもつⅣ群ｂ類に相当する深鉢が出土した。

時　期　Ⅳ群ｃ類、縄文時代後期後葉、堂林式期のものと思われる。

HLH－2（図Ⅴ－14）

位　置　e、f－56・57

規　模　長径6m、短径約（3m）　　**平面形**　東西を長軸とする楕円形

確認・調査・土層　「ハ」の字状に開く1対のピット（HLP－136とHLP－207，214）を住居の入り口に関連する「入り口ピット」として、これを中心に柱穴と焼土の配列から範囲を設定した。

炉　跡　HLF－3をHLH－2に伴う炉跡として検出した。

「入り口」ピット　2列の長円形ピット（HLP－136とHLP－207，214）が住居の外側に向けて「ハ」の字状に開くかたちのものである。開く方向は北東であり、住居跡の主軸と重複する。掘り込みはいずれも浅く15cm程度のものである。

床　面　Ⅶ層上面に構築されている。硬化面などは見られなかった。

遺　物　床面からの出土は見られなかった。

時　期　Ⅳ群c類、縄文時代後期後葉、堂林式期のものと思われる。

HLH－3（図Ⅴ－1）

位　置　d、e－56・57

規　模　直径約4m　　**平面形**　円形

確認・調査・土層　掘り込みはなく、柱穴状ピットの配列から範囲を設定した。

床　面　Ⅶ層上面に構築されている。わずかな硬化面の残存が見られたが、範囲を捉えるまでには至らなかった。

遺　物　床面からの出土は見られなかった。

時　期　Ⅳ群c類、縄文時代後期後葉、堂林式期のものと思われる。

HLH－4（図Ⅴ－1）

位　置　e、f－52・53

規　模　直径約3m　　**平面形**　円形

確認・調査・土層　掘り込みはなく、柱穴状ピット及び焼土の配列から範囲を設定した。

炉　跡　HLF－11がこの住居に伴う炉跡の可能性がある。

床　面　Ⅶ層上面に構築されている。

遺　物　床面からの出土は見られなかった。

時　期　不明である。

(4) 大型柱穴列（図Ⅴ－15）

位　置　d、e－61

規　模　柱穴間（中心）が約2.3mを測る正方形

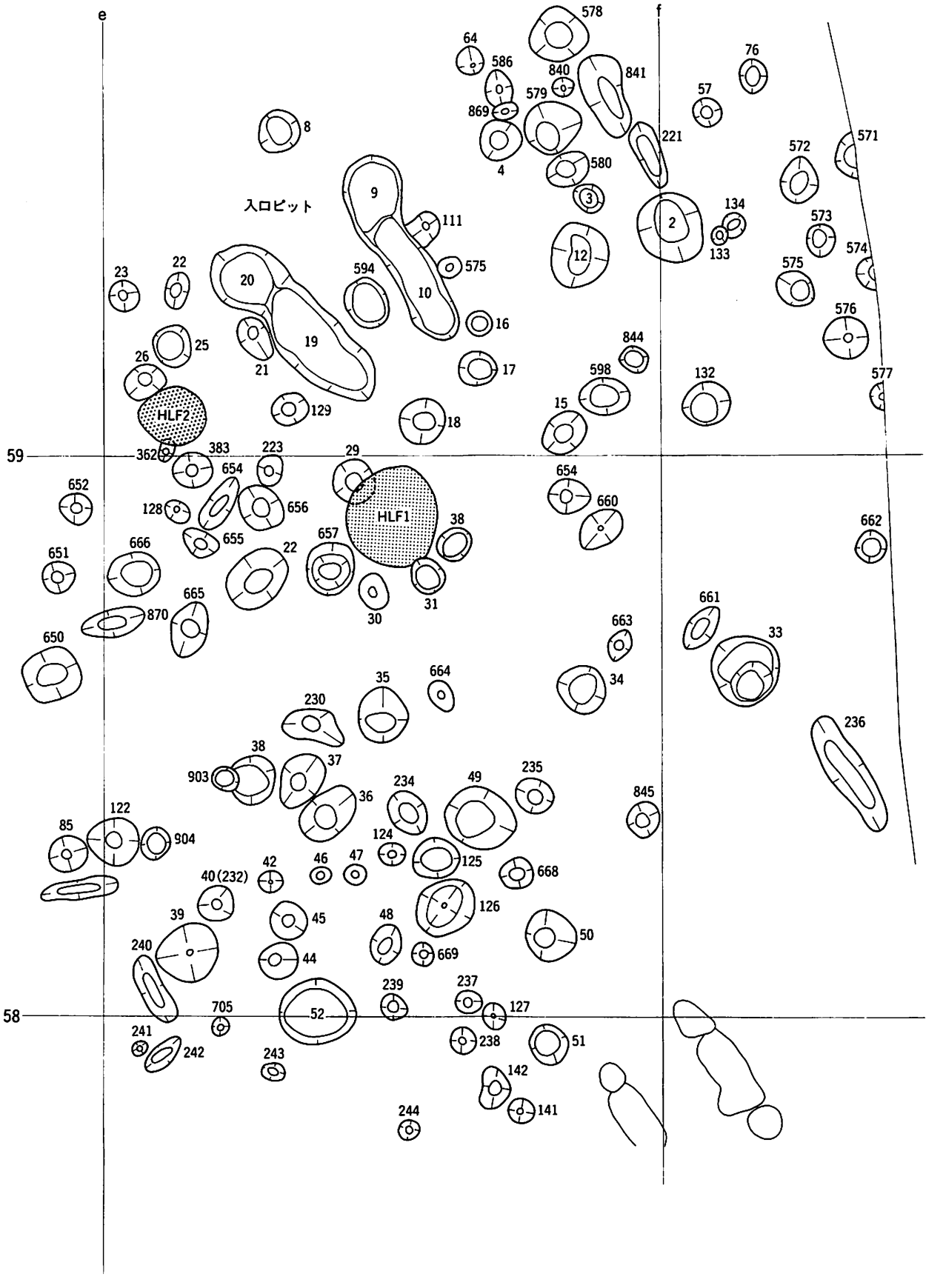
HLP－410　0.61 × 0.63 × 0.93（m）

HLP－412　0.50 × 0.45 × 0.78（m）

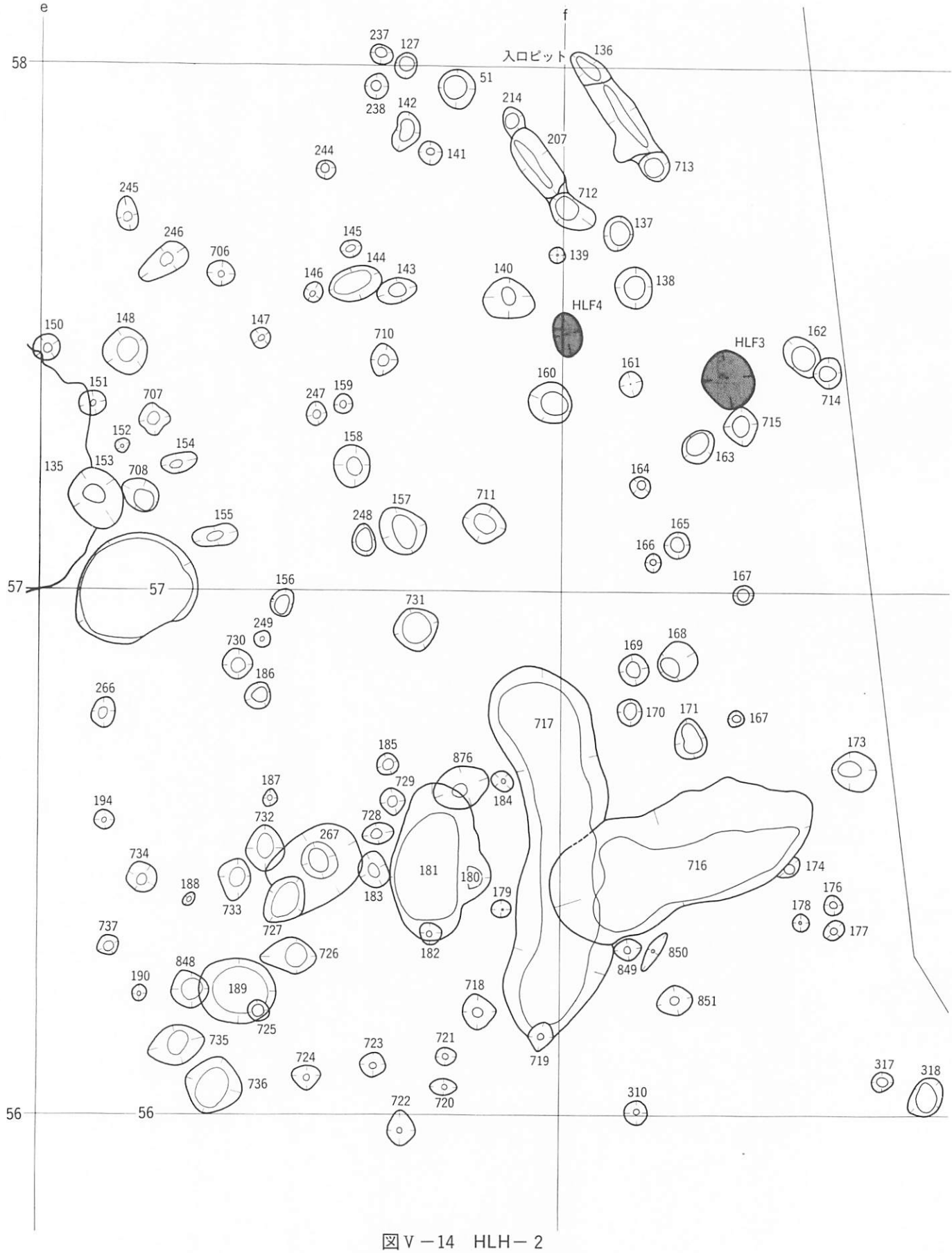
HLP－522　0.42 × 0.52 × 0.78（m）

HLP－537　0.48 × 0.46 × 0.70（m）

確認・調査・土層　Ⅵ層下層にて確認、各ピットの完掘後にほぼ同規模の4基が正方形の柱穴列を構成していることを確認した。


e
f
59
58
入口ピット
HLF1
HLF2
8
9
10
111
575
16
17
18
129
20
19
21
22
23
25
26
362
383
223
29
654
656
655
128
652
651
666
665
870
650
657
22
30
31
38
654
660
598
844
15
132
577
576
575
574
573
572
571
134
133
2
12
580
3
221
841
840
578
64
586
579
869
4
57
76
662
661
33
663
34
664
35
230
903
38
37
36
234
49
235
845
236
122
85
904
124
125
668
42
46
47
40(232)
39
240
45
44
48
126
50
669
705
52
239
237
127
238
51
241
242
243
142
141
244

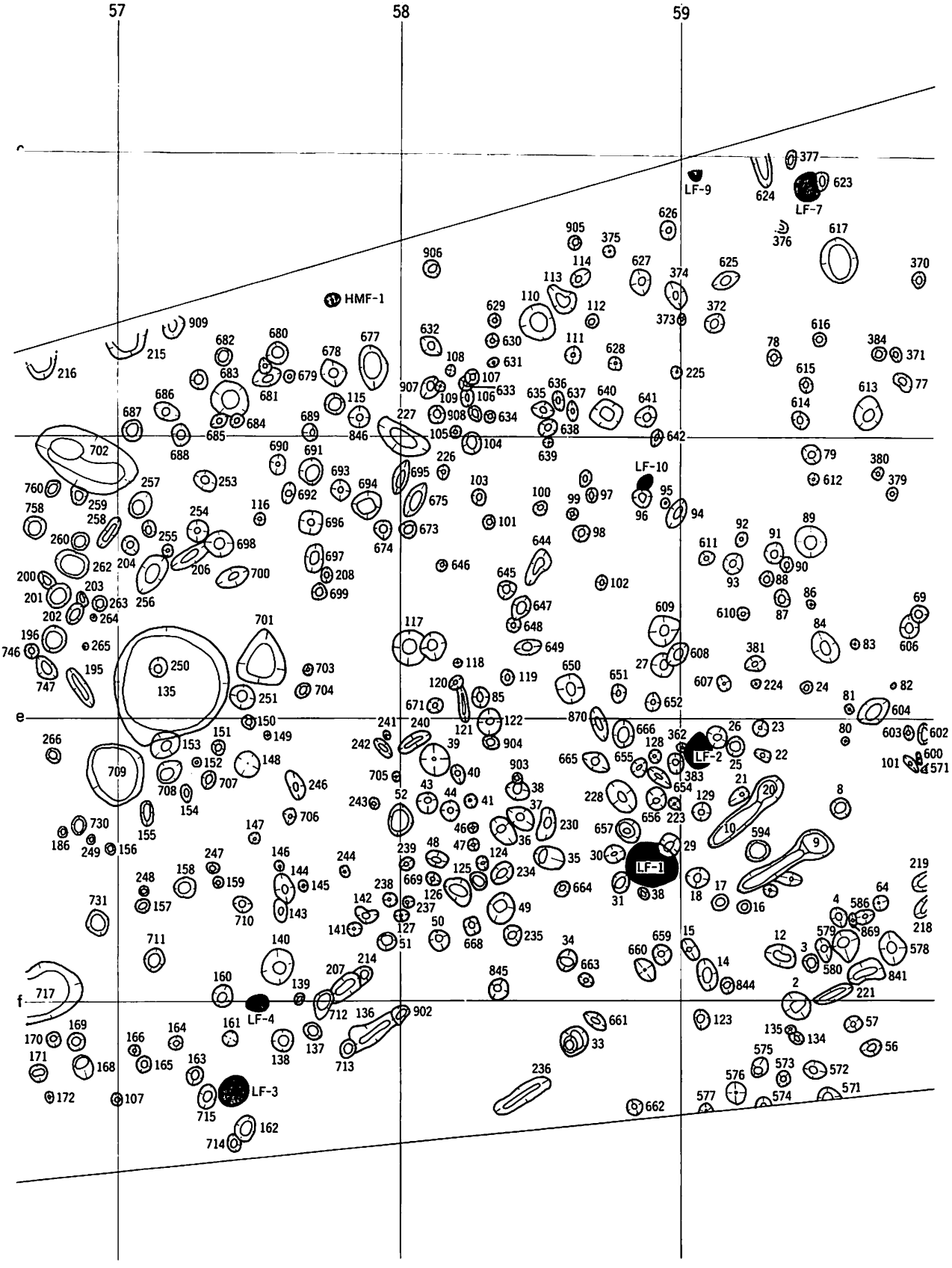
図V－13　HLH－1


e
f
58
57
56
入口ピット
HLF3
HLF4
237
127
51
238
142
141
214
207
136
713
244
245
712
246
706
145
144
143
146
139
137
140
138
147
710
150
148
151
707
247
159
160
161
162
714
715
152
154
158
163
135
153
708
164
157
711
248
155
165
166
167
156
731
249
730
186
168
169
266
170
171
717
185
876
729
184
173
187
194
732
728
267
734
716
174
188
733
181
180
179
176
178
177
737
727
726
183
182
850
849
848
189
190
718
851
725
735
723
721
719
724
317
318
736
722
720
310

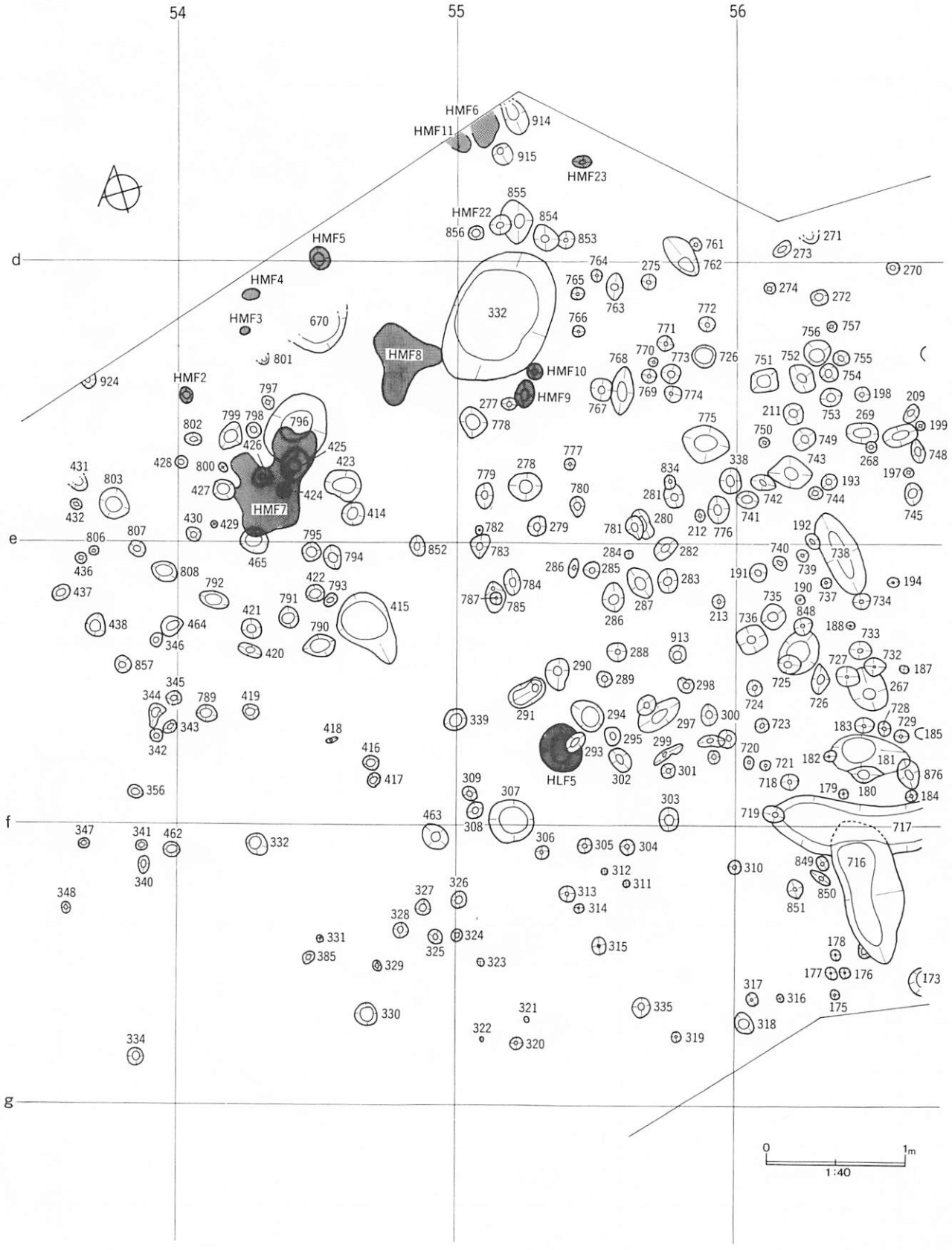
図Ⅴ－14　HLH－2



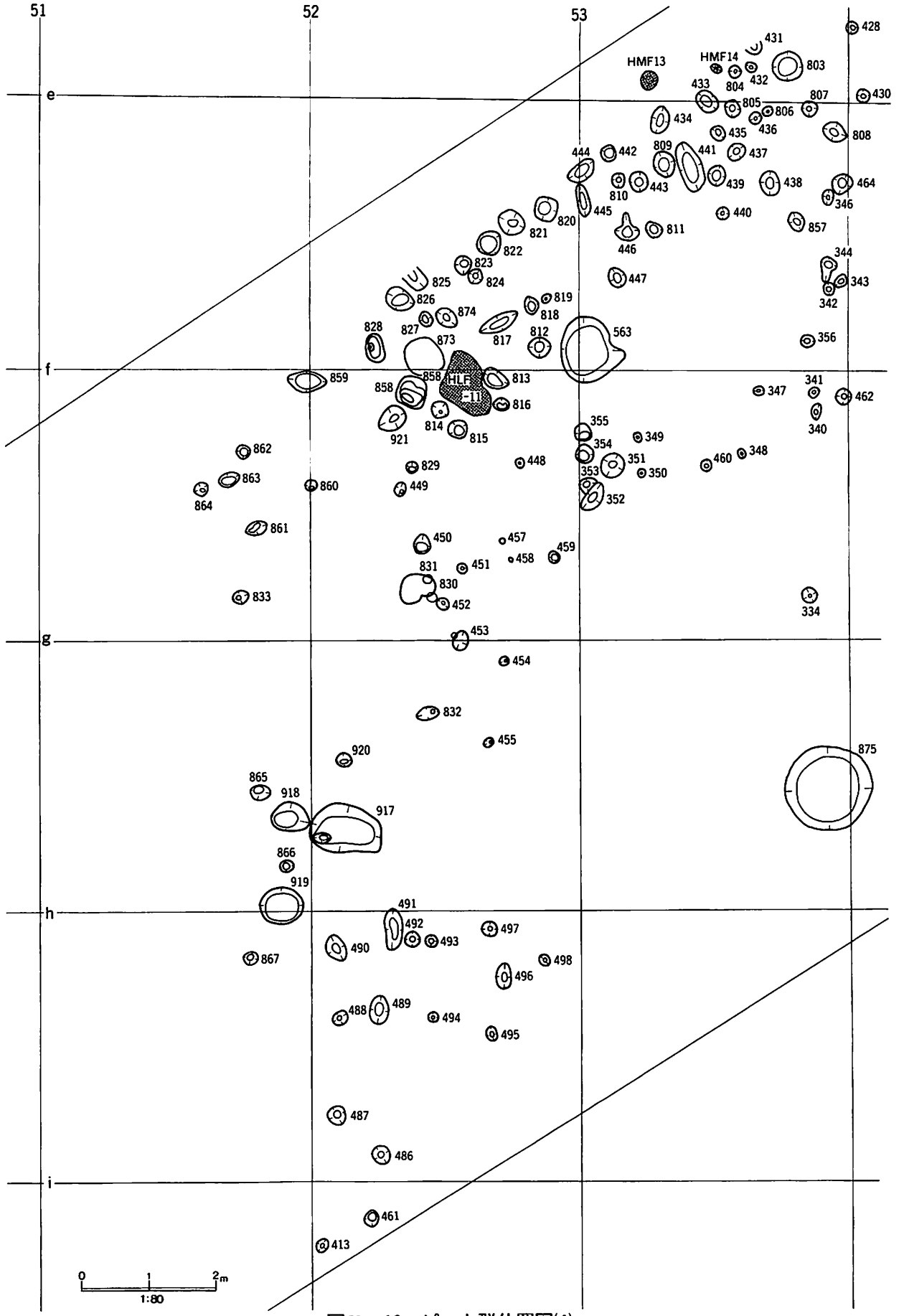
図Ⅴ－15　ピット群位置図(1)及び大型柱穴列



図Ⅴ－16　ピット群位置図(2)



図Ⅴ－17　ピット群位置図(3)



図Ⅴ－18　ピット群位置図(4)

遺　物　柱穴間にての出土は見られなかった。

時　期　Ⅳ群ｃ類、縄文時代後期後葉、堂林式期のものと思われる。

(5) 土　壙

HLP－332（図Ⅴ－17）

位　置　ｄ－54・55

規　模　確認面1.93×1.43　　底面1.37×1.00　　最大深0.32（m）

平面形　北北東－南南西を長軸とする楕円形

確認・調査・土層　Ⅴ層下部にて黒褐色土の落ち込み、及び遺物の出土を確認した。範囲確認の後、土層ベルトを残して掘り下げ、底面及び壁面を検出した。

底面及び壁面　底面はⅦ層中に構築され、壁面との境は不明瞭、壁面の立ち上がりも緩やかである。

遺　物　総計297点出土し、その内土器が283点、石器が３点を数えた。

HLP－332の出土遺物（図Ⅴ－19）

Ⅳ群ｃ類土器（１－19）

【突瘤を有するもの】１は緩やかなくびれをもった深鉢で、体部中央に無文帯を有する。口唇に平行な沈線が施されており、口唇断面は丸みを持っている。盛土遺構（HM－１）出土土器との接合23点から復元された。６・７・８・９・10は平行沈線と突瘤との組み合わせの口縁部破片である。14～16は縄文と突瘤のみからなる口縁部破片である。

【沈線文のみからなるもの】　４・５は平行沈線と斜行、鋸歯状沈線との組み合わせからなるものである。

【縄文のみからなるもの】　２は盛土遺構（HM－１）出土土器との接合10点から復元された鉢形土器である。３はミニチュア土器、17は口縁部破片、18，19は胴部破片である。

【連続刺突文を持つもの】　11は曲沈線で区画された中で刺突が連続するもの、12は曲沈線に沿って円形刺突文が連続するものである。

時　期　Ⅳ群ｃ類、縄文時代後期後葉、堂林式期のものと思われる。

HLP－333（図Ⅴ－15）

位　置　ｅ－60・61

規　模　確認面1.93×1.43　　底面1.37×1.00　　最大深0.32（m）

平面形　北北東－南南西を長軸とする楕円形

確認・調査・土層　Ⅵ層上面にて黒褐色土の落ち込み及び遺物の出土を確認した。範囲確認の後、土層ベルトを残して掘り下げ、底面及び壁面を検出した。

底面及び壁面　底面はⅦ層中に構築され、壁面との境は不明瞭、壁面の立ち上がりも緩やかである。

遺　物　総計153点出土し、その内土器が108点、石器が41点を数えた。

HLP－333の出土遺物（図Ⅴ－20－１～５）

１，３は突瘤と縄文からなるⅣ群ｃ類の深鉢で、２・４はその胴部破片である。５は石錐で、つまみ部を持つ棒状のもの、黒曜石製である。

時　期　Ⅳ群ｃ類、縄文時代後期後葉、堂林式期のものと思われる。

HLP－563（図Ⅴ－20－１～４）

位　置　e、f－52・53

規　模　確認面0.97×0.92　　底面0.63×0.50　　最大深0.24（m）

平面形　南北を主軸とする楕円形

確認・調査・土層　Ⅵ層上面にて暗茶褐色土の落ち込み及び遺物の集中的出土を確認した。範囲確認の後、半裁して掘り下げ、底面及び壁面を検出した。

底面及び壁面　底面はⅦ層中に構築され、壁面との境は不明瞭、壁面の立ち上がりも緩やかである。

遺　物　総計56点出土し、そのうち土器が54点、石器が２点を数えた。

HLP－563の出土遺物（図Ⅴ－20－１～４）

１は突瘤と斜行縄文からなるⅣ群ｃ類の深鉢で、覆土中９点から復元された。２は無文、３は曲沈線からなる口縁部破片で、４は上げ底の底部破片である。

時　期　Ⅳ群ｃ類、縄文時代後期後葉、堂林式期のものと思われる。

(6) HLPの出土遺物（図Ⅴ－20・21）

土壙状ピット

HLP－505

１は羽状縄文のみからなるⅣ群ｃ類土器の口縁部である。口縁が緩やかに内傾する。覆土出土７点の接合である。

HLH－１関連ピット

HLP－12

１は羽状縄文のみのⅣ群ｃ類土器の口縁部破片である。

HLP－33

１は斜行縄文と突瘤からなるⅣ群ｃ類土器の口縁部破片である。

HLP－105

１は２段の刻み列を有するⅣ群ｂ類土器の口縁部破片である。

HLP－126

１は沈線文と突瘤からなるⅣ群ｃ類土器の口縁部破片である。口唇断面が明瞭な切り出し状である。

HLP－573

１は斜行縄文と突瘤からなるⅣ群ｃ類土器の口縁部破片である。口唇を欠している。

HLP－895

１は２段の刻み列を有するⅣ群ｂ類土器の胴部破片である。磨り消しによる無文帯と緩やかなくびれ部が確認できる。

HLP－20

１はスクレイパーである。片面両刃加工のもので、黒曜石製である。

HLP－587

１は石鏃である。有茎凸基のもので、基部を一部失っている。黒曜石製である。

HLP－10

１は組み紐を押捺したⅠ群ｂ類の胴部破片である。２はⅣ群ｃ類の縄文の胴部破片である。

HLP－230

1は石鏃である。有茎凸基のもので、かえし部を一部失っている。黒曜石製である。

HLP－228

1は石錐である。つまみ部を持つ棒状のものであるが、機能部の先端を失っている。黒曜石製である。

HLP－125

1は砥石である。表裏両面に擦り面が認められる。砂岩製である。

HLP－537

1は2段の刻み列を有するⅣ群b類土器の口縁部破片である。2.3は突瘤をもつⅣ群c類土器の口縁部破片、4は胴部破片である。5は土玉である。球形で側面に沈線が施されている。

HLP－410

1は刻み列を持つⅣ群b類土器の胴部破片である。

HLP－304

1は沈線で区画された縄文と磨り消しとの組み合わせの胴部破片である。2は石鏃で、有茎凸基、黒曜石製である。

HLP－135

1は絡条帯圧痕文のⅠ群b類の胴部破片である。

HLP－259

1は刻み列と突瘤を有するⅣ群b類土器の口縁部破片で、突起が見られる。

HLP－513

1、2は沈線と羽状縄文からなる胴部破片である。

HLP－518

1は突瘤と羽状縄文からなるⅣ群c類土器の口縁部破片、2は1列の刻み目を持つⅣ群b類土器の胴部破片である。3は羽状縄文の胴部破片である。

HLP－338

1は沈線で区画された縄文と磨り消しの組み合わされた胴部破片である。

HLP－402

1は縄文のみの胴部破片である。Ⅳ群c類土器のものと思われる。

HLP－481

1は並行する沈線文からなるⅣ群c類土器の口縁部破片で、突起状の口縁先端部が明瞭な切り出し状を呈している。

HLP－670

1はⅠ群b類の底部破片である。

HLP－677

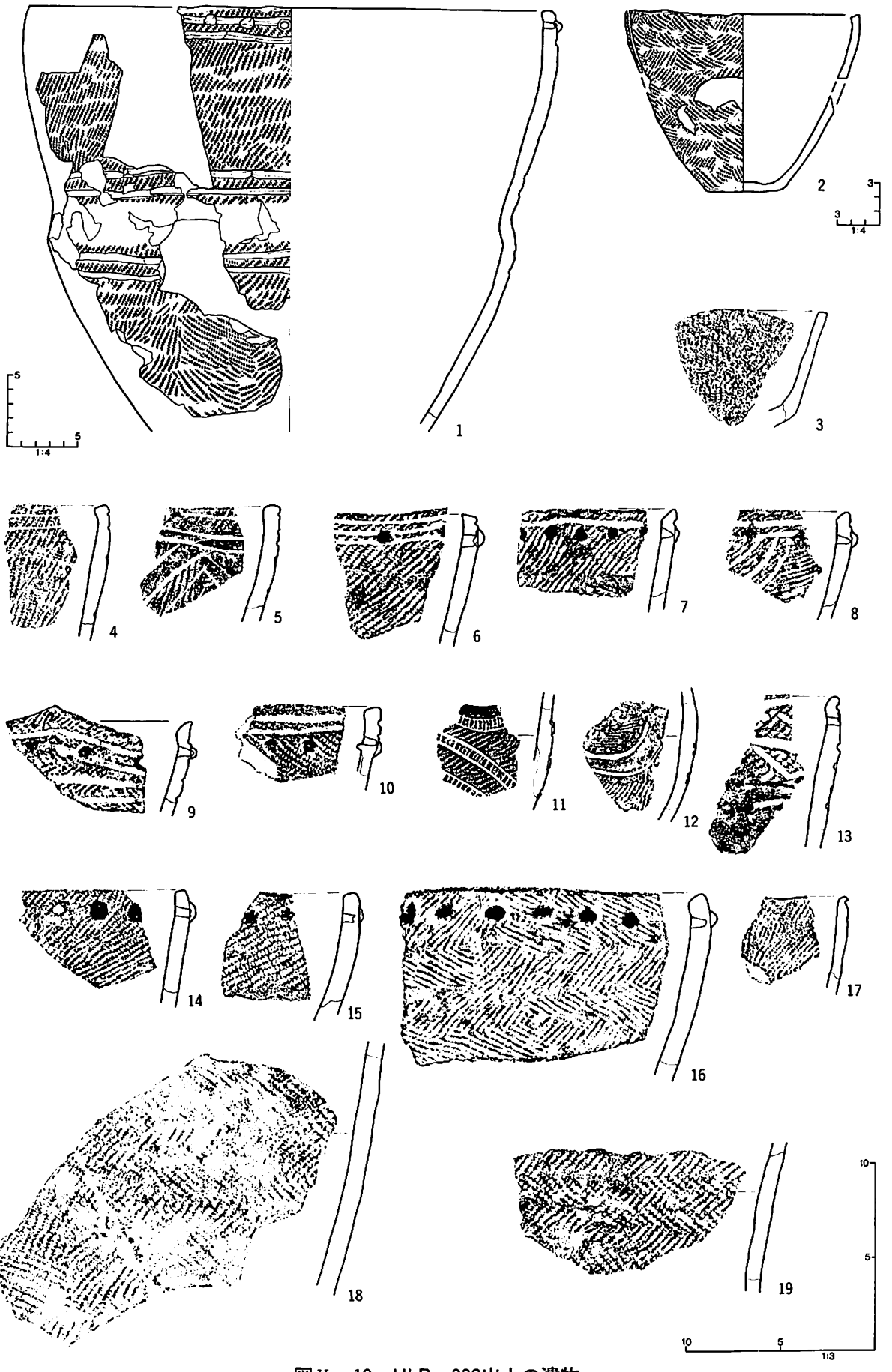
1は突瘤と縄文からなる口縁部破片である。

HLP－691

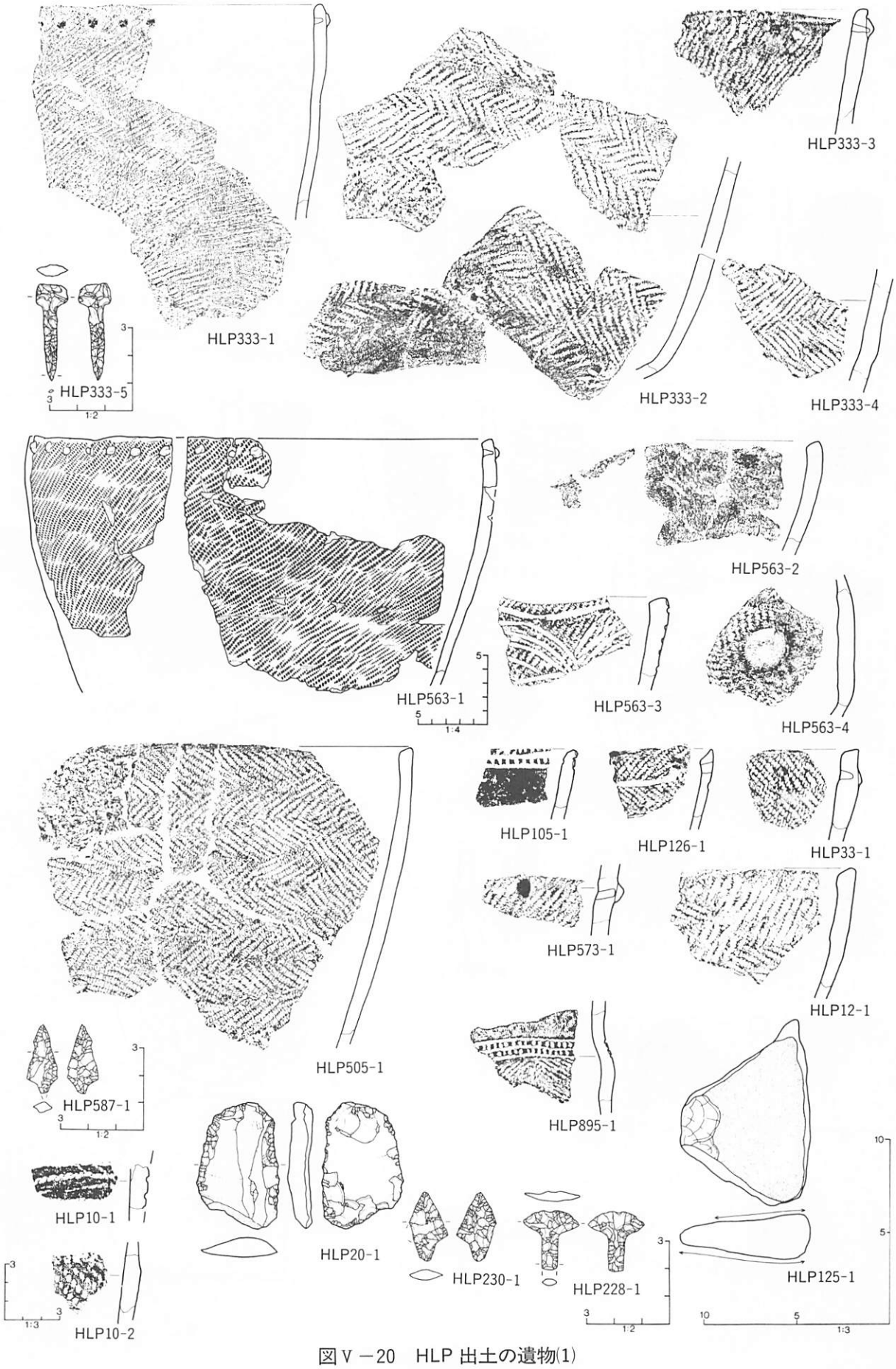
1は突瘤と縄文からなる口縁部破片である。

HLP－717

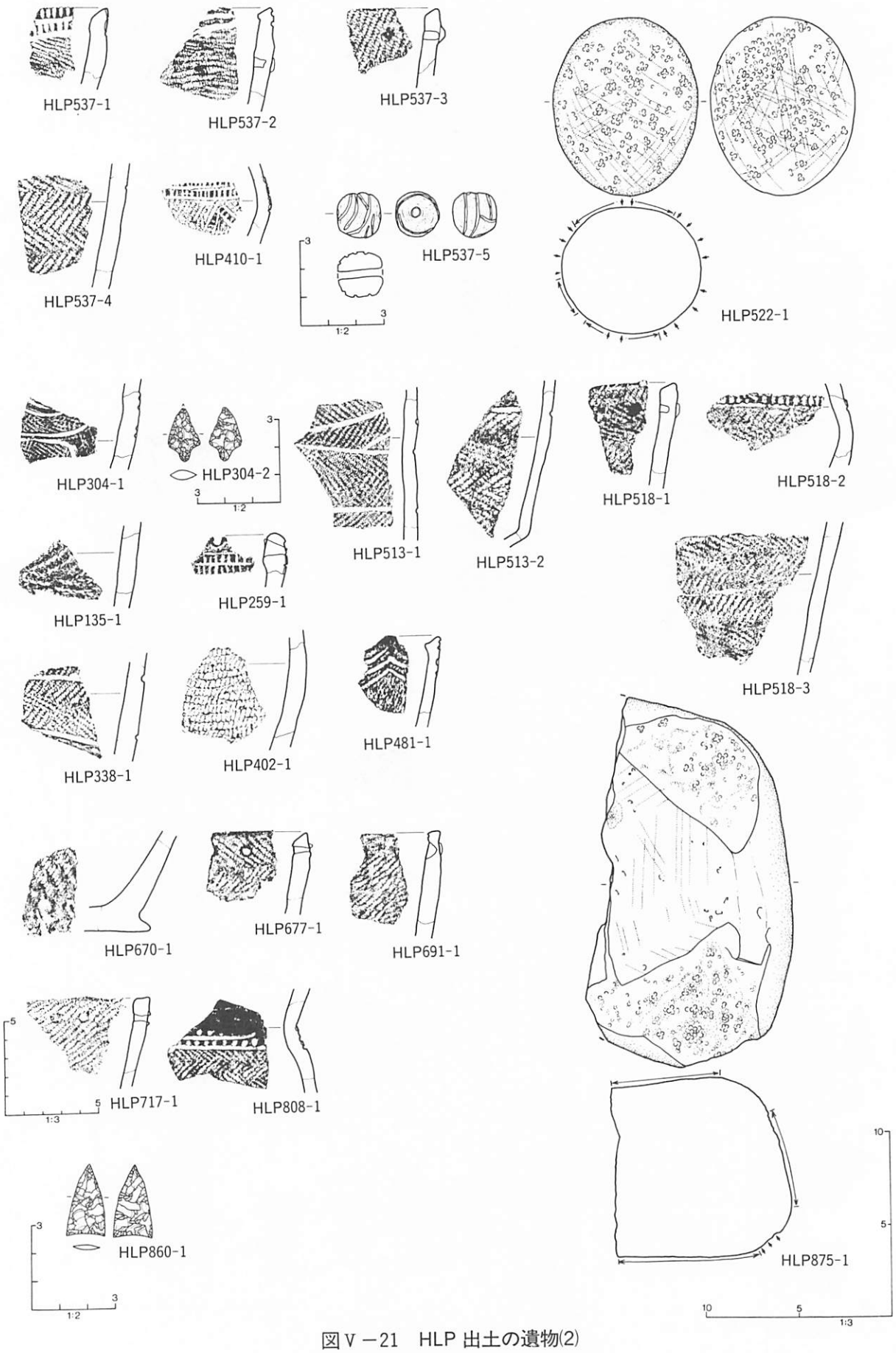
1は突瘤と縄文からなる口縁部破片である。



図Ⅴ－19　HLP－332出土の遺物



図Ⅴ－20　HLP 出土の遺物(1)



図Ⅴ－21　HLP 出土の遺物(2)

HLP－808

1は2段の刻み列を持つⅣ群b類土器の胴部破片である。急なくびれ部を持つ

HLP－860

1は石鏃である。無形平基のもので黒曜石製である。

HLP－875

1は台石である。表裏側面に擦り面が見られ、潰打痕も認められる。

(7) 焼　土（HLF－1～11）

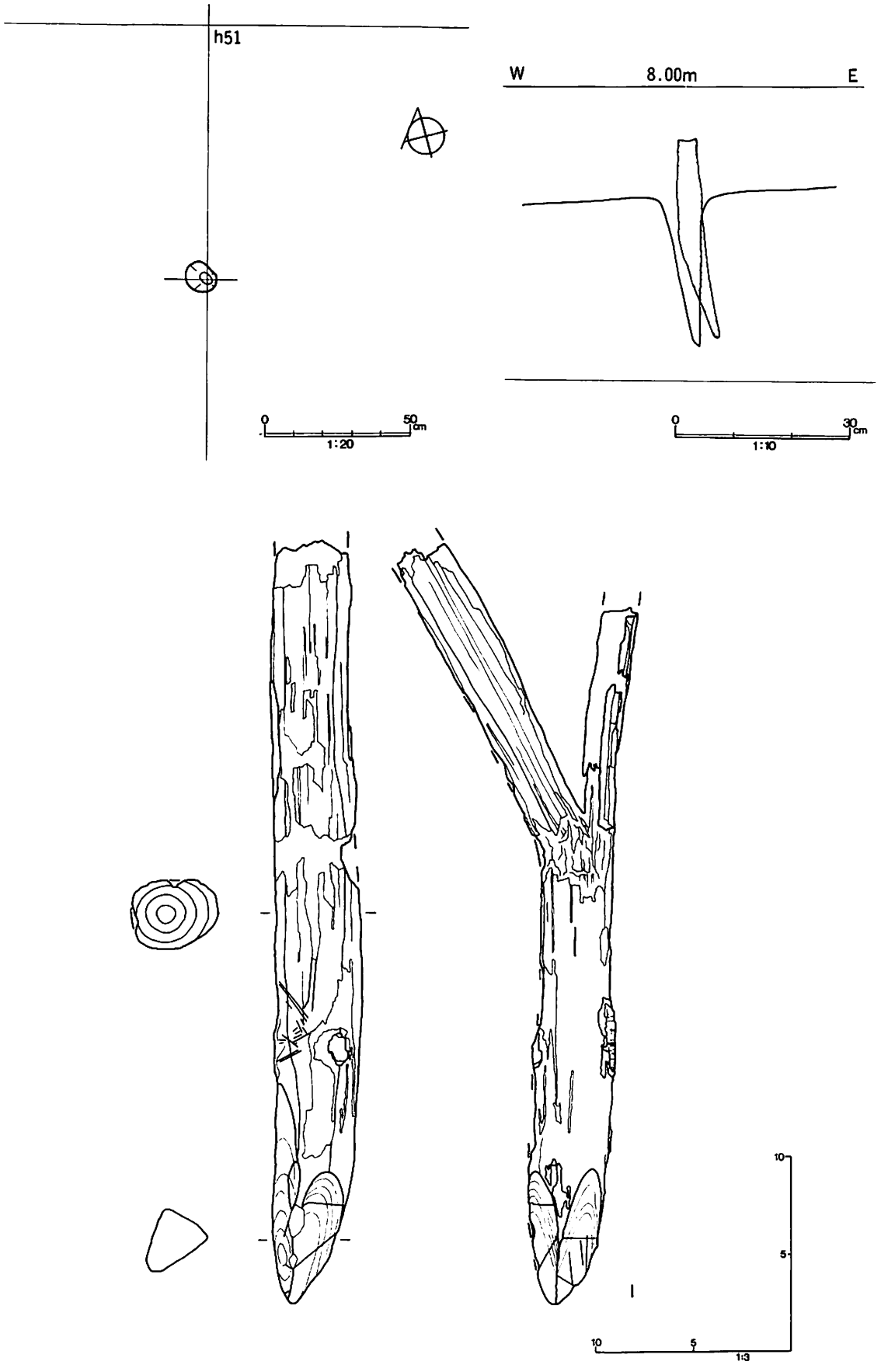
V層中の焼土は11基確認された。そのうちHLF－1はHLH－1の炉跡、HLF－2・4はHLH－2の炉跡、HLF－11がHLH－4の炉跡として調査された。その他はいずれもV層下層からⅥ層上面が被熱しており、外から持ち込まれた痕跡は認められなかった。

(8) HUKP－1

位　置　h－50・51

規　模　直径約10cmの円形

確認・調査・遺物　重機によるⅠ・Ⅱ層除去時に出土した。当初は棒状で図のように上部は広がっていなかった。重機によるⅠ・Ⅱ層除去時、ユンボのバケット先端にこの木製品を引っかけたのでもう少し上部があったのかもしれない。長さ39cm、径4.4～4.7cmである。杭先は3面削りにより、きれいな面が作出されている。裏面の中央部右側は樹皮が残っているのみである。樹種はサクラ属である。



図V－22　HUKP－1と出土遺物

3　K地区の遺構と遺物

(1)　土壙状・柱穴状ピット群（図V－23～26）

確認・調査　土壙状・柱穴状のピットは236箇所で検出された。包含層の大部分が失われていたため、遺構確認はVI層の上面、もしくはそれ以下で行った。調査は平面確認の後半裁し、土層断面の確認後完掘した。その都度の観察は全て記録されている。（表VIII－1）

位置・分布　これらのピット群は調査区全体に分布する。調査区南西隅には大型柱穴4本が正方形に並ぶ大型柱穴列（4本柱）があり、南東隅には住居跡（KLH－1）に伴うものが数多くある。また、H地区に見られた直径約1mを超える「土壙状」のピットを確認することはできなかった。

規　模　直径が約1m以下、数十cmほどの柱穴状ピットが全てである。掘り込みは最大で約1mのものがあるが、数十cmがほとんどである。

遺　物　大型柱穴列、調査区東半部分における同規模の柱穴において遺物の出土が確認された。

H地区と同様に、これらの掘り込みは全て一括してピットとして扱い、住居跡や大型柱穴列などはこれらのピット（KLP）の集合として表現した。

(2)　住居跡

KLH－1（図V－26）

位　置　d、e－70・71

規　模　長軸約4m、短軸約3m　　**平面形**　北西－南東を長軸とする楕円形

確認・調査・土層　掘り込みはなく、柱穴状ピットと焼土の配列から範囲を設定した。

炉　跡　KLF－3をKLH－1の炉跡として調査した。

床　面　VII層上面に構築されている。わずかな硬化面の残存が見られたが、範囲を捉えるまでには至らなかった。

遺　物　床面からの出土は見られなかった。

時　期　IV群c類、縄文時代後期後葉、堂林式期のものと思われる。

(3)　大型柱穴列（図V－23）

位　置　c、d－68・69

規　模　柱穴間（中心）が約2.5mを測る

KLP－1　1.10 × 0.90 × 1.65 (m)
KLP－2　1.00 × 0.83 × 1.48 (m)
KLP－5　1.17 × 0.96 × 1.35 (m)
KLP－8　1.01 × 0.80 × 1.25 (m)

確認・調査・土層　VI層下層にて確認、各ピットの完掘後にほぼ同規模の4基が正方形の柱穴列を構成していることを確認した。

遺　物　柱穴間にての出土は見られなかった。

大型柱穴列の遺物（図V－27）

KLP－1

1はスクレイパーである。縦形で、側縁に片面周辺加工で弧刃に近い刃部を作出している。黒曜石製である。

KLP－5

1は沈線文と突瘤の組み合わせの口縁、2，3は曲線主体の沈線文からなる胴部破片である。4・5は縄文のみの胴部破片、6は底部である。いずれもⅣ群c類のものと思われる。7は石鏃で覆土上層で確認された。黒曜石製の有茎凸基である。

KLP－8

1は平行沈線と突瘤の組み合わせの口縁部、2は沈線のみ、3は縄文のみの胴部破片、4は無文のミニチュア土器と思われる。5・6・7は石鏃で全て黒曜石製の有茎凸基のものである。8はスクレイパーで、縦形のものである。片側縁に片面加工で刃部を作出している。

⑷ 土　壙

KLP－90（図Ⅴ－24）

位　置　a－69

規　模　確認面0.70×0.49　　底面0.49×0.34　　最大深0.24（m）

平面形　北東－南西を主軸とする楕円形

確認・調査・土層　Ⅵ層上面にて黒褐色土の落ち込み及び遺物の集中的出土を確認した。範囲確認の後、半裁して掘り下げ、底面及び壁面を検出した。

底面及び壁面　底面はⅦ層中に構築され、壁面との境は不明瞭、壁面の立ち上がりも緩やかである。

遺　物　注口土器の1個体が完形に近いかたちで出土した。

KLP－90の出土遺物（図Ⅴ－24）

1は注口土器である。注口部分と口縁部が失われている。沈線で区画された中に「ハ」の字状短刻文が施されており、Ⅳ群c類のものと思われる。

時　期　Ⅳ群c類、縄文時代後期後葉、堂林式期のものと思われる。

⑸ 焼　土（図Ⅴ－24～26）

Ⅴ層中の焼土は3基確認された。そのうちKLF－3はKLH－1の炉跡として調査された。その他はいずれもⅤ層下層からⅥ層上面が被熱しており、外から持ち込まれた痕跡は認められなかった。

⑹ KLPの遺物（図Ⅴ－27・28）

KLP－4

1は細い平行沈線と突瘤からなる口縁部で、突起を持つ。2は羽状縄文の胴部で、いずれもⅣ群c類の土器のものと思われる。3はたたき石で、全面に叩き痕が認められる。石斧からの転用が考えられる。

KLP－6

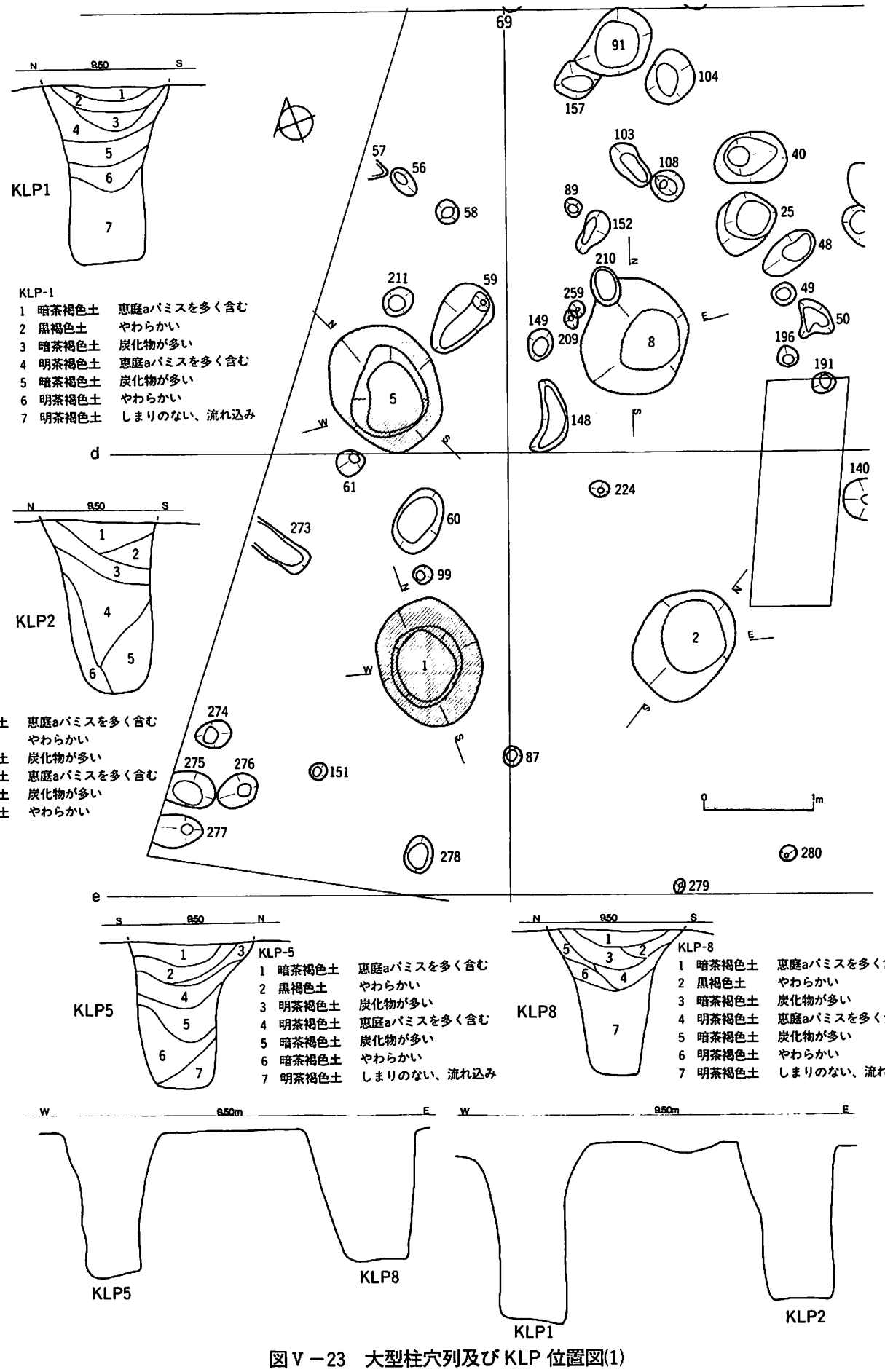
1は石斧である。刃部のみであるが、擦りによって整形されている。

KLP－7

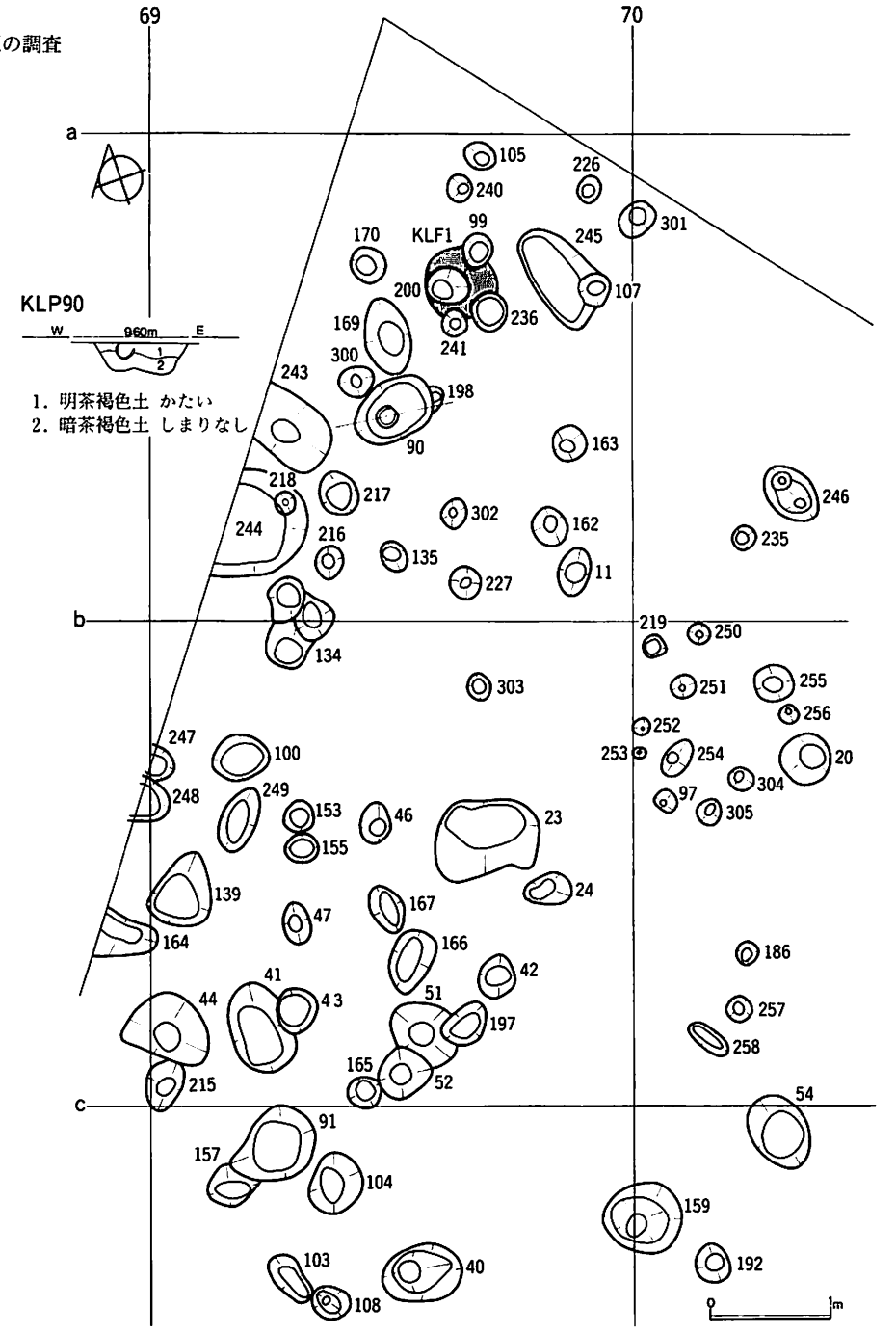
1は羽状縄文の胴部破片である。2・3は石鏃で、有茎凸基である。機能部が長く作られている。

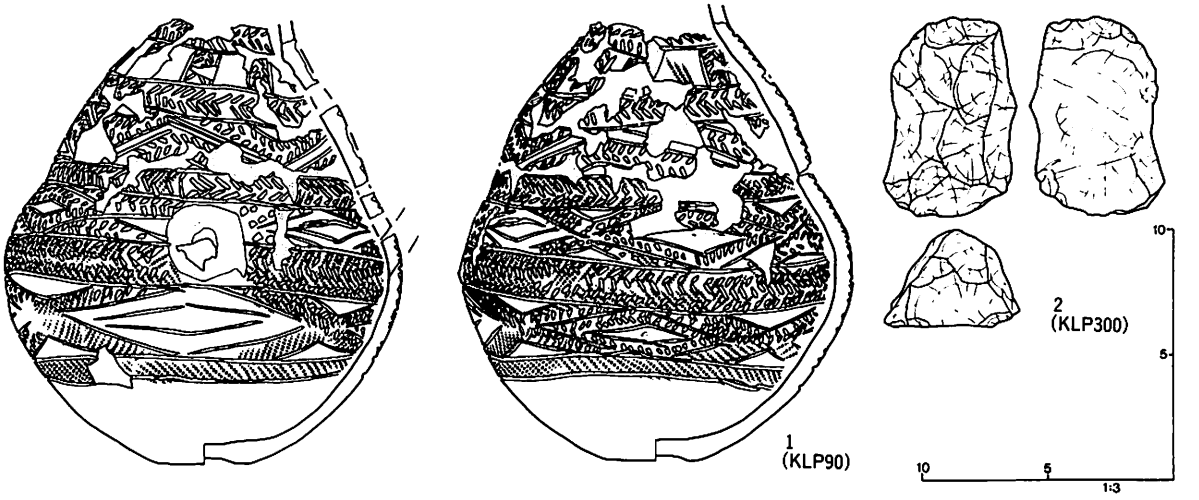
KLP－9

1は2段の刻み目列を持つ胴部破片で、Ⅳ群b類のものと思われる。2は上げ底気味の底部破片の一部と思われる。

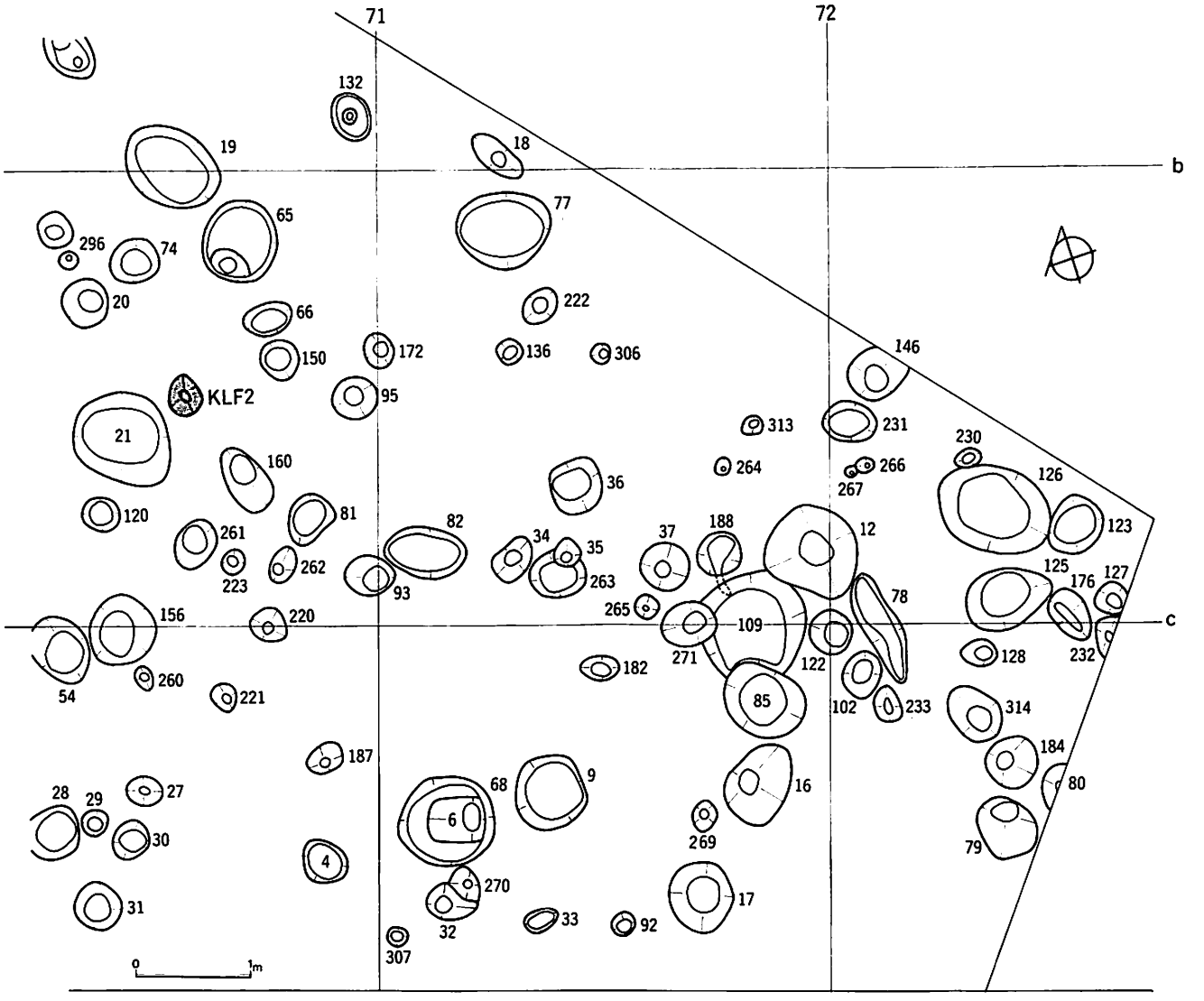


図Ⅴ－23　大型柱穴列及びKLP位置図(1)





図Ⅴ－24　KLP 位置図(2)



図Ⅴ－25　KLP位置図(3)

KLP－12

1・2・3は沈線と突瘤の組み合わせからなる口縁部で、4は沈線のみの胴部破片である。いずれもⅣ群c類のものである。

KLP－16

1は沈線文のみの口縁部で突起部分は穿孔されている。2は縄文のみの口縁部破片である。

KLP－17

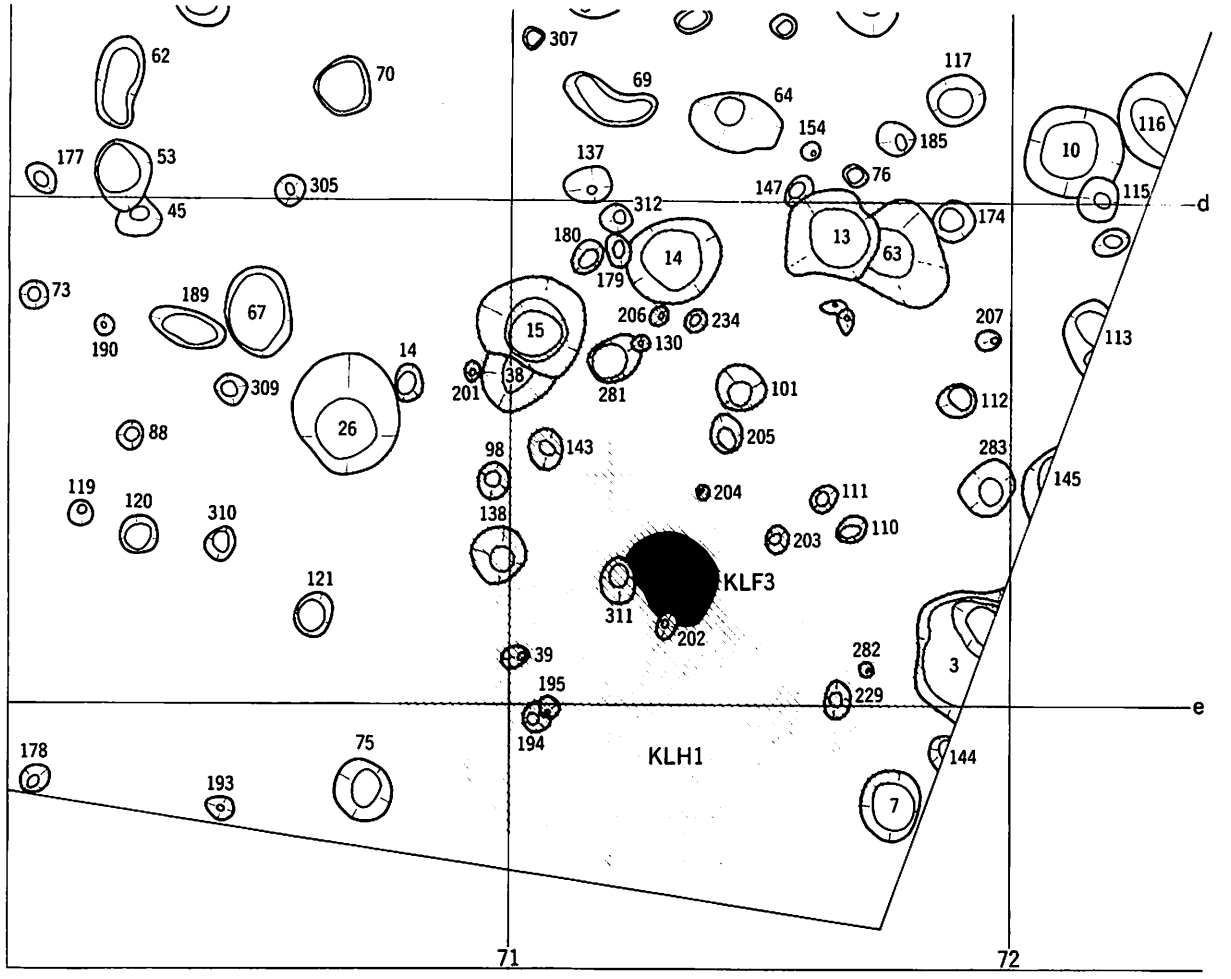
1は刻み列と突瘤からなるⅣ群b類土器の口縁部である。2は沈線文の胴部破片である。

KLP－10

1は羽状縄文の胴部破片である。

KLP－45

1は石斧の基部破片である。全面に叩き痕が残り、敲打整形によって作出されたものである。



図Ⅴ－26　KLP位置図(4)

KLP－13

1は石錐である。

KLP－157

1は叩き石である。棒状で、表裏側面の3面に叩き痕が認められる。

KLP－208

1は叩き石である。円礫の周縁に叩き痕が認められる。

KLP－14

1・2は2列の刻み目をもつⅣ群b類の口縁部破片である。3は磨り消し縄文の口縁部、4はくびれのある沈線と磨り消しからなる胴部である。5は湾曲する胴部、6は羽状縄文の胴部破片である。7は注口土器で「ハ」の字状の短刻文が認められる。8、9はスクレイパーで、8が縦形、9が横形のものである。8は片面の周辺加工、9は片面下端に刃部を作出している。

KLP－15

口縁部破片には突瘤のあるもの（1）、縄文のみのもの（2）があり、胴部破片には貼り瘤のあるもの（3）、沈線文のもの（4・5）がある。

KLP－12

1は胴部破片で斜行縄文のものである。

KLP－20

1は注口土器の胴部破片で刻み列と磨り消し縄文からなる。

KLP－22

1は胴部破片で刻み列が認められる。Ⅳ群b類土器のものと思われる。

KLP－23

1、2は口縁部で、沈線と突瘤からなるもの（1）と沈線のみのもの（2）がある。

KLP－47

1・2は胴部破片である。

KLP－52

1は胴部破片である。

KLP－63

1は縄文と沈線文からなる胴部破片である。

KLP－53

1は縄文のみの胴部破片である。

KLP－77

1は縄文のみの胴部破片である。

KLP－68

1、2は縄文と突瘤からなるⅣ群c類土器の口縁部破片である。

KLP－79

1は沈線文のみの口縁部、2は曲沈線の胴部破片である。3は有茎凸基の石鏃である。

KLP－85

1は縄文のみの胴部破片である。

KLP－102

1は縄文と突瘤からなるⅣ群c類土器の口縁部破片である。

KLP－114

1は鋸歯状の沈線文と突瘤からなるⅣ群c類土器の口縁部破片である。口唇断面が明瞭な切り出し形を呈する。

KLP－115

1・2は縄文のみの胴部破片である。

KLP－116

1は縄文と突瘤からなるⅣ群c類土器の口縁部破片である。

KLP－126

1は平行沈線文のみの口縁部破片である。

KLP－144

1は縄文のみの口縁部破片である。

KLP－152

1は縄文のみの胴部破片である。

KLP－155

1は縄文のみの胴部破片である。

KLP－162

1は緩やかな波状を呈す口縁部破片で2列の刻み目を持つ。Ⅳ群b類土器のものである。

KLP－116

1は縄文と突瘤からなるⅣ群c類土器の口縁部破片である。口唇断面は丸みを持っている。

KLP－126

1は平行沈線の胴部破片である。

KLP－164

1は平行沈線文と突瘤からなるⅣ群c類土器の口縁部破片である。

KLP－169

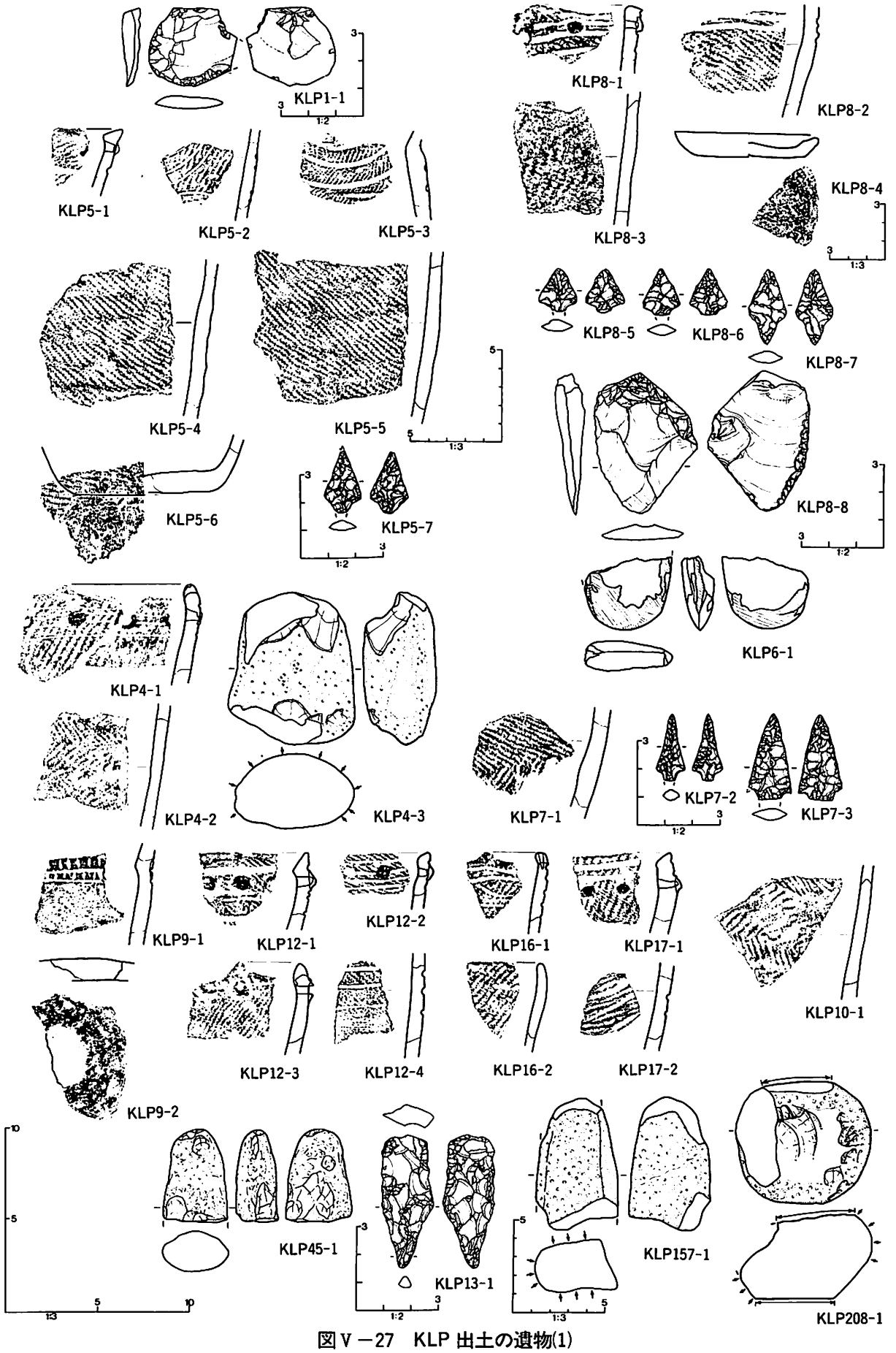
1は縄文のみの底部付近の破片である。

KLP－215

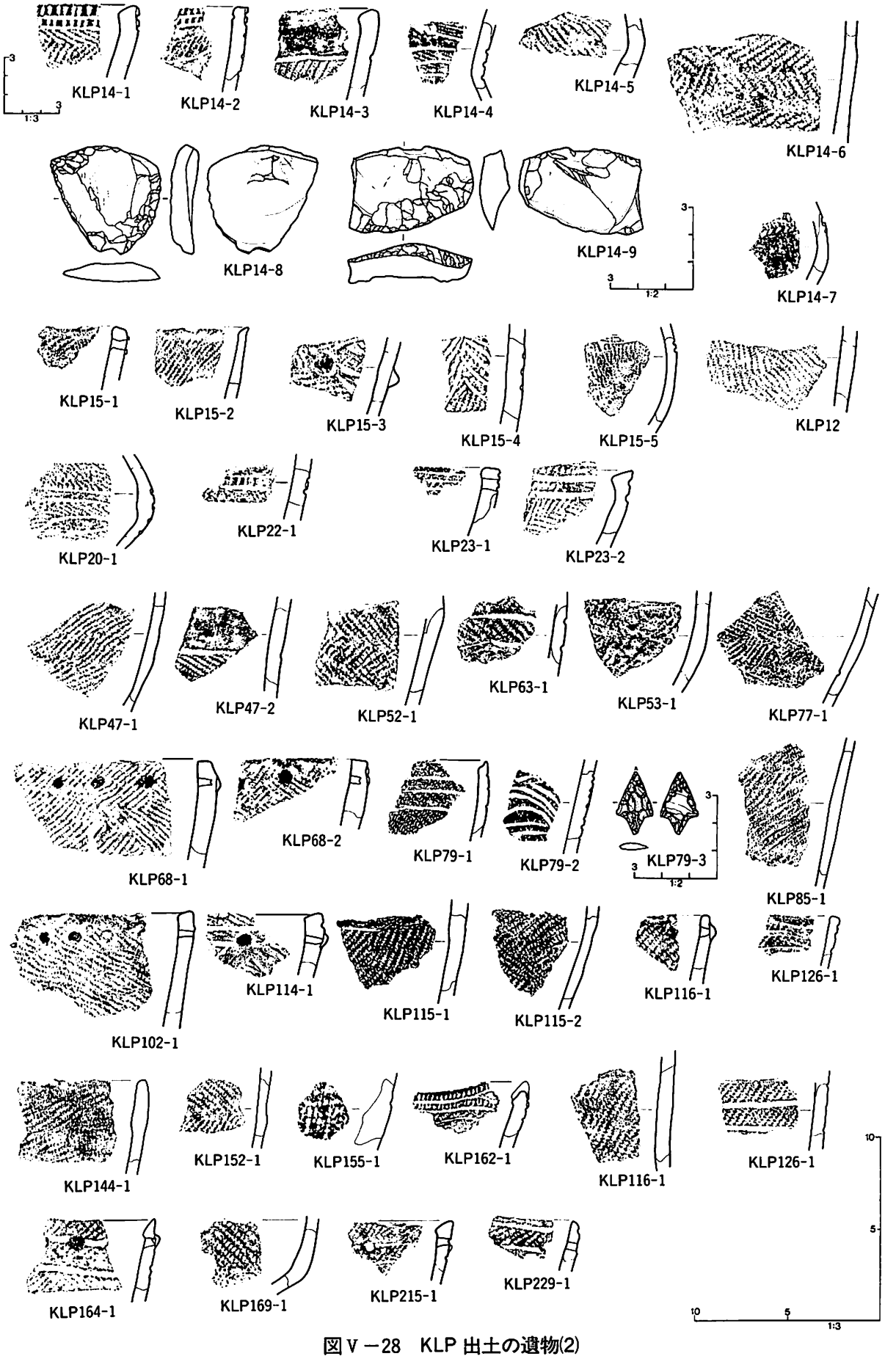
1は沈線文と突瘤からなるⅣ群c類土器の口縁部破片である。

KLP－229

1は沈線文と突瘤からなるⅣ群c類土器の口縁部破片である。



図Ⅴ－27　KLP 出土の遺物(1)



図Ⅴ－28　KLP 出土の遺物(2)

包含層出土の遺物

1）土器

H地区出土の土器（図Ⅴ－29～32）

Ⅰ群（6～9，11～14）

Ⅳ群a類（15）　15は口縁の貼付帯直下には円形刺突文が施されている。体部の貼付帯も確認でき、口唇部にも縄文が施されている。

Ⅳ群b類（16～35）

【Ⅳ群b－1類】

16は無文の口縁部、17・19はS字状の沈線が施されている。18は無文帯のある口縁部である。

【Ⅳ群b－2類】

1）刻み目のあるもの

20・21・24・25・26・27・31・35は縄文に2列の刻み目を持つ口縁部破片である。21は口縁突起にも刻み目を持つ。28・29は並行する沈線文を伴うものである。22・23は無文に刻み目を伴うものである。32から34は胴部破片で、無文帯のあるもの（32）、鋸歯状沈線の見られるもの（33）、縄文のみのもの（34）がある。

2）突瘤があり、刻み目のあるもの

36・38・39は1列の刻み目を持つもの、37・41・43は2列、44は3列の刻み目を持ち、口唇内側に突起を持つ。40はハの字状短刻文が突瘤に伴うものである。42は無文を地文にしたものである。

Ⅳ群c類

【深鉢・鉢・浅鉢】

1）突瘤のあるもの（2・3、45～71、105）

1・3の復元個体は突瘤と縄文の組み合わせからなる。2はd－53を中心に20点の接合から復元された。3は斜面部のⅥ層の17点とⅣ・Ⅴ層の10点との接合から復元された。

沈線文と突瘤の組み合わせからなるもの（45～68）には、平行あるいは並行沈線文の見られるもの、（46・47・49～52・54・58～60・63～68）、鋸歯状の沈線が施されたもの（45，48・53）、曲線主体の沈線が施されたもの（55・56・57・61）などがある。69・70・71は縄文と突瘤の組み合わせである。口縁形態には緩やかな波状口縁を呈するもの（45・48・51・52・53・54・56・57・59・60）が多く、64のような小波状口縁や窪みを持った突起を伴うものがある（49・58・63）。

2）縄文のみのもの

72はやや尖り気味の口縁をもつ。73は胴部破片である。102・103は縄文のみの底部破片で、上げ底である。

3）沈線文からなるもの

口縁部破片には、細い沈線により、曲線主体の文様が施されるもの（74・75）。鋸歯状の沈線文からなるもの（76・77・83・86）、平行沈線からなるもの（78・79・80・81・82）がある。その他には「ハ」の字状短刻文の見られるもの（85）、円形刺突文の見られるもの（87・88）、貼り瘤を伴う注口土器片（89）がある。

胴部破片には曲線主体の沈線に貼り瘤を伴うもの（90・91）、列点文の見られるもの（92）、細い沈線で幾何学紋様が施されたもの（93）、イナズマ沈線の施されたもの（94）、木葉沈線など曲線主体の沈線で構成されるもの（95・97）などがある。100は底部破片で平行沈線が施され、丸底である。

4）無文のもの

101は無文の底部破片で、わずかに上げ底になっている。

【ミニチュア土器】

105は突瘤をもち、口縁に4単位の突起を持つ鉢形土器のミニチュアである。104は無文の皿形土器、106は羽状縄文の施された底部破片である。

Ⅶ群（10）　10は斜面部出土の坏である。

K地区出土の土器（図Ⅴ－33）

Ⅳ群b類

刻み列のみのもの（1）と刻み列に突瘤を伴うもの（2・3）がある。

Ⅳ群c類

1）沈線文からなるもの（4－7）

口縁部破片には、平行沈線のものが少なく、曲線主体で、磨り消しのあるもの（4・7）が多い。胴部破片には曲沈線のみのもの（24.28）、鋸歯状のもの（25・26）、磨り消しのあるもの（27・29）がある。

2）沈線文と突瘤の組み合わせからなるもの（8－17）

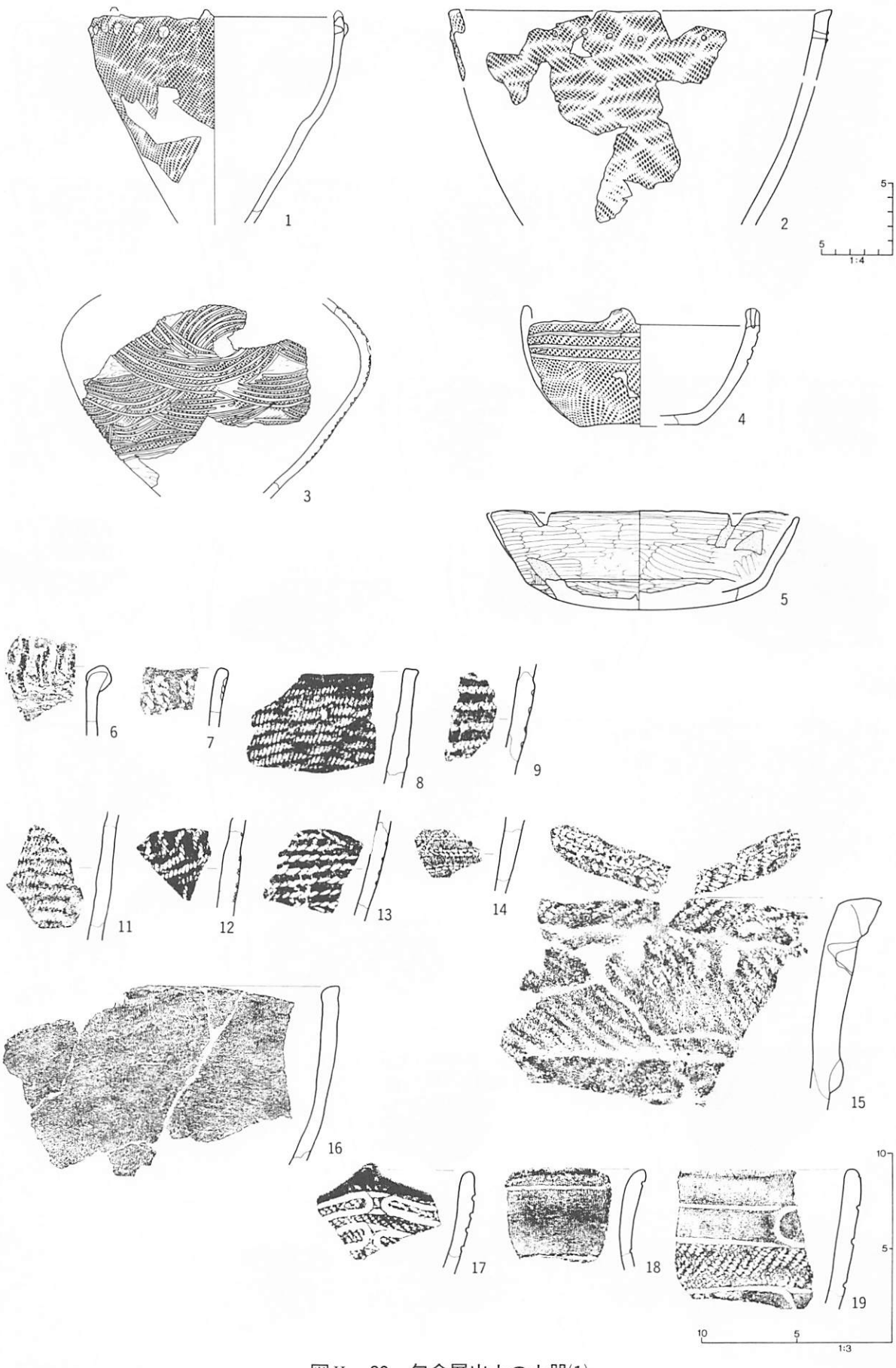
平行沈線と突瘤の組み合わせ（8－10）に縦の沈線を伴うもの（14－16）がある。12は曲沈線のみからなる。

3）縄文と突瘤の組み合わせからなるもの（18－21）

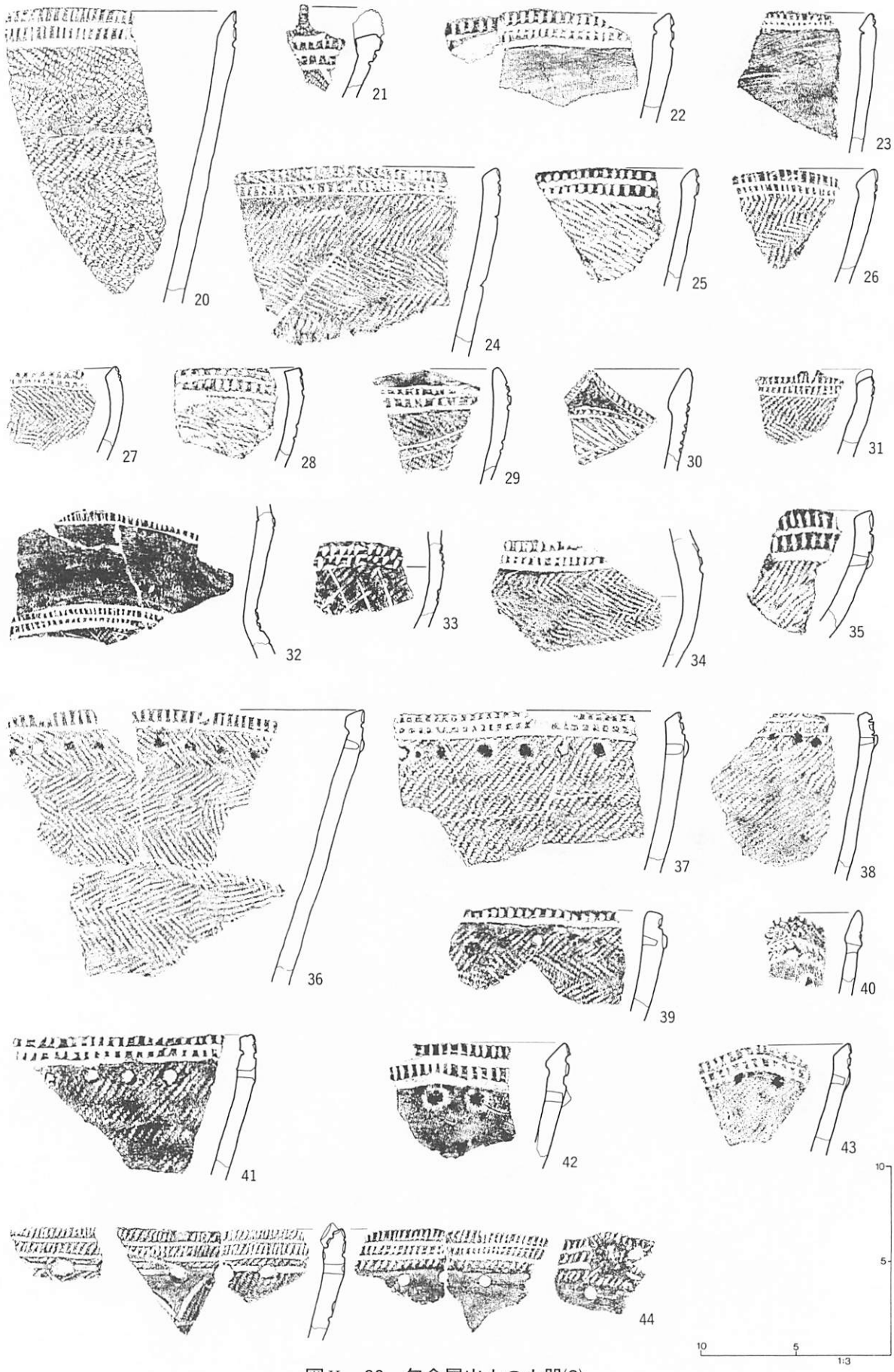
18は小波状口縁のものである。

4）その他

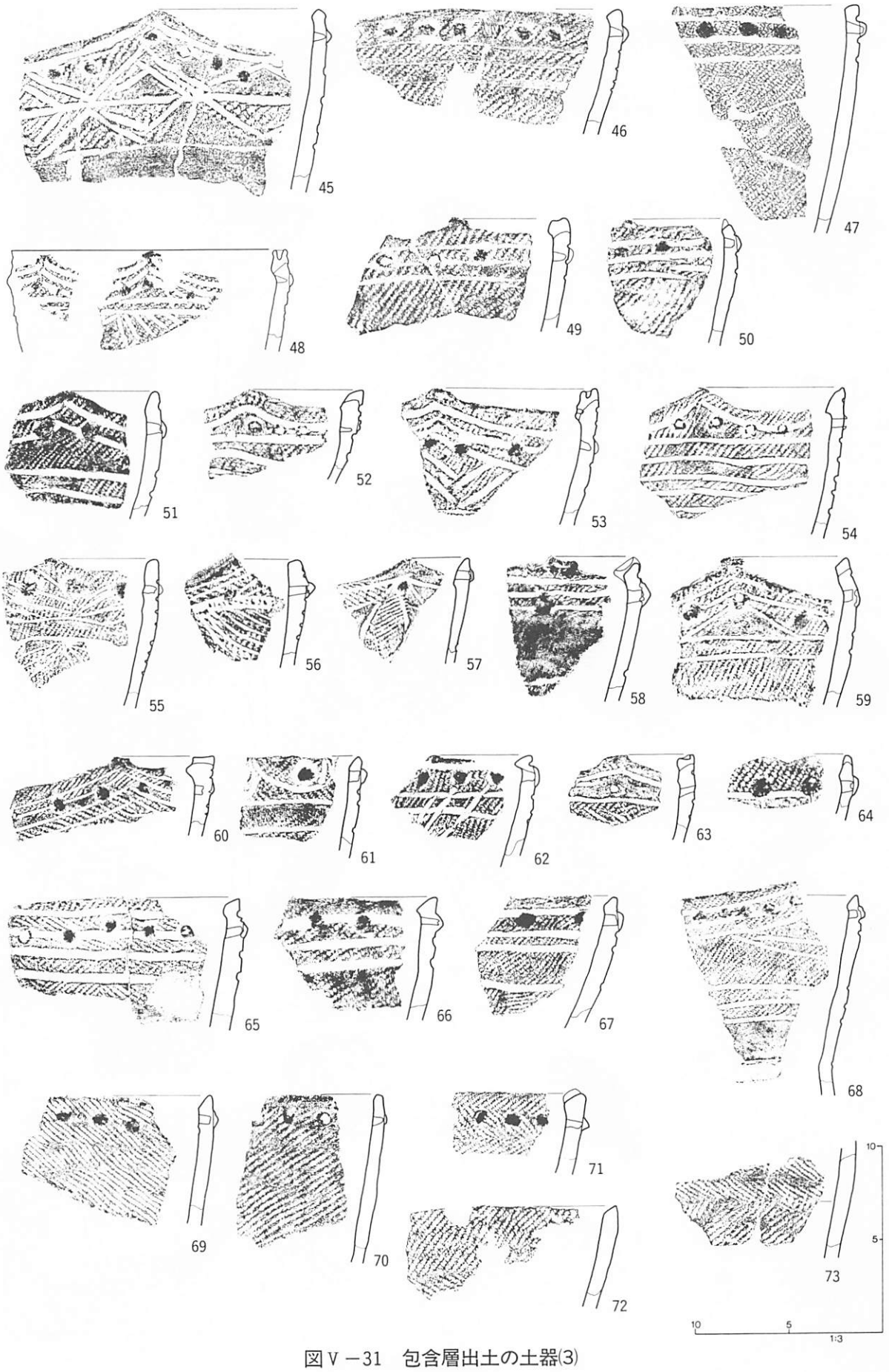
30～34はハの字状短刻文の施されたもので、34はこれに貼り瘤を伴うものである。35は貼り瘤を伴う胴部破片である。36～39は底部破片で36～38は上げ底で、38は有脚である。39は平底である。



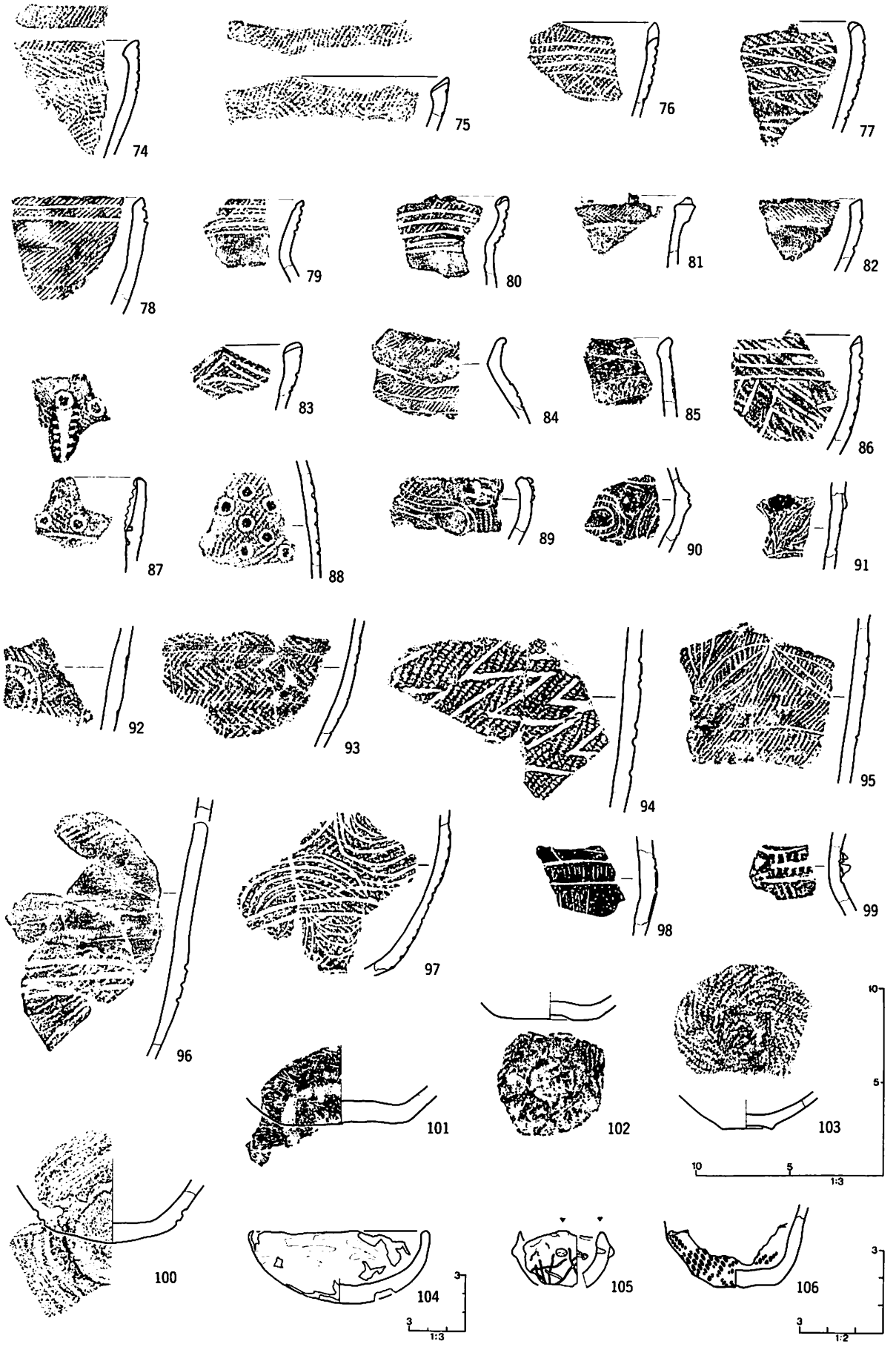
図Ⅴ－29　包含層出土の土器(1)



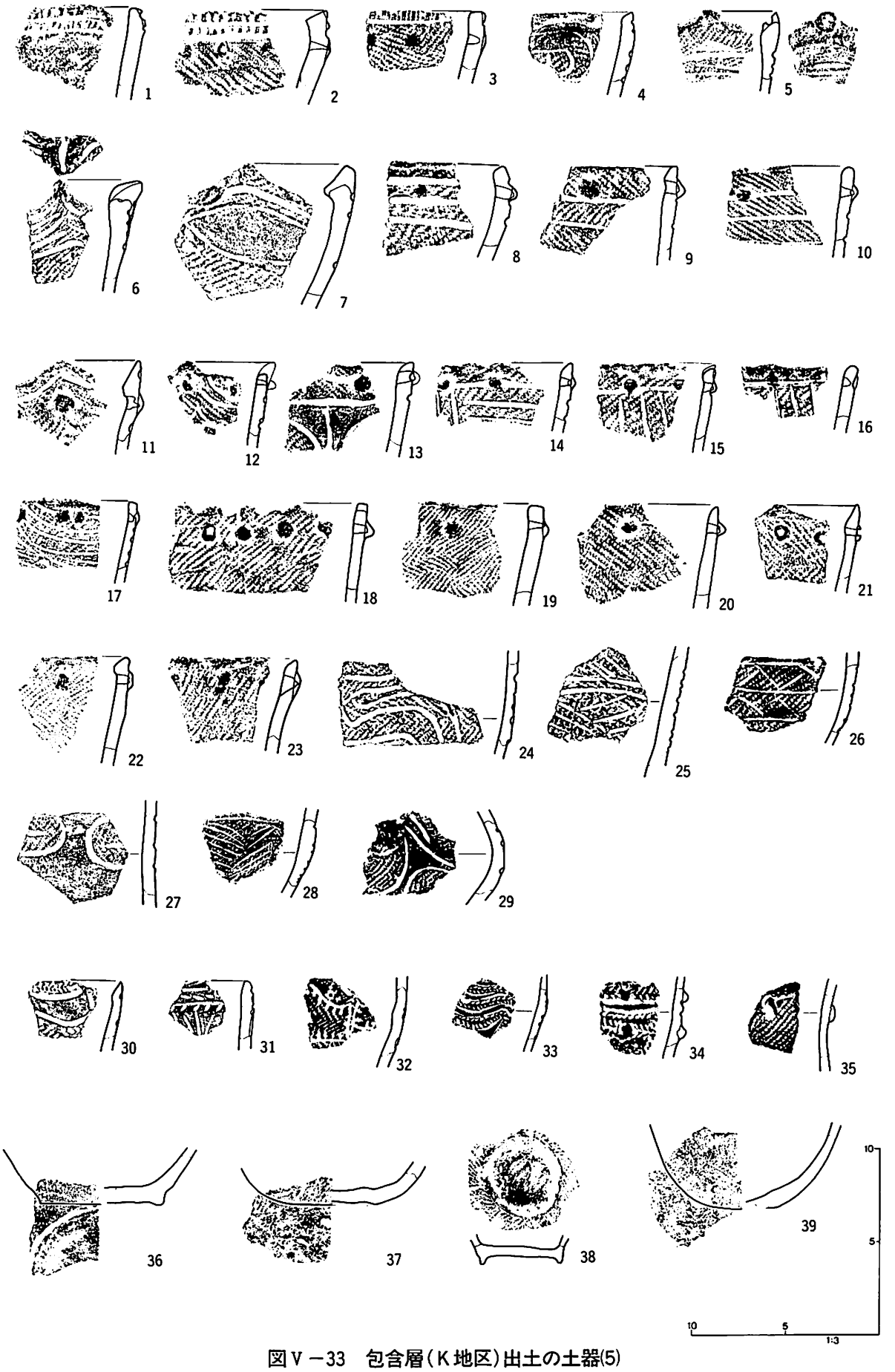
図Ⅴ－30　包含層出土の土器(2)



図Ⅴ－31　包含層出土の土器(3)



図Ⅴ－32　包含層出土の土器(4)



図Ⅴ－33　包含層(K地区)出土の土器(5)

2）石器

H地区出土の石器（図V－34～36）

包含層出土の石器は5544点である。

石鏃（図V－1～49・図版）

石鏃は86点出土し、そのうち49点を掲載した。1・2は無形平基、3～49は有茎のものである。

石槍またはナイフ（50～52）

総計18点出土し、そのうち3点を掲示した。50は木葉形、51は有茎のものである。52は先端部の破片である。全て黒曜石製である。

つまみ付きナイフ（53）

総計5点出土し、そのうち1点を掲載した。53は縦形で両面加工による。黒曜石製である。

石錐（54～64）

総計15点出土し、そのうち10点を掲載した。54から59は棒状の短いもので、60、61・64は素材の剝片の一部に機能部を作出したもの、62・63はつまみ部を持つ棒状のものである。

両面加工石器（65～66）

総計2点出土し、そのうち2点を掲載した。65は木葉形で片面全面加工の施されたもの、66は楕円形で両面加工の施されたものである。

細石刃（68）

1点のみの出土である。

スクレイパー（69－71）

総計12点出土し、そのうち3点を掲載した。67は縦形で片側縁の片面に刃部が作出されている。69は素材の両側縁の片面に刃部を作出したもので、Rフレイクの可能性もある。69は横形で、片面の下端部に弧刃に近い刃部を作っている。71は縦形で片面の側縁に刃部を作っている。すべて黒曜石製である。

石斧（72～85）

総計83点出土し、そのうち14点を掲載した。72・73は完形のもので擦りによって作出されたものである。75は粗割・擦りによって作られたものである。74・76・77・78は刃部のみのもので、粗割・擦りによって作出されたもの（74・76）と敲打調整・擦りによって作出されたもの（77・78）がある。79～85基部のみの破片である。擦りによるもの（79）、敲打整形によるもの（80・81）、折れ面に敲打痕が認められ転用された可能性のあるもの（82）、粗割・擦りによるもの（83）、敲打・擦りによるもの（84・85）がある。

すり石（86）

総計5点出土した。そのうち1点を掲載した。三角断面形のすり石である。

たたき石（87～90）

総計38点出土した。そのうち4点を掲載した。87は扁平な礫の周縁と頂部にたたき痕が認められる。88は円形の礫の平坦面に、89は周縁にたたき痕が認められる。90は棒状礫の表裏側面にたたき痕が認められる。

砥石（91～94）

総計146点出土した。そのうち4点を掲載した。91・92・93は一面の砥面をもち、併せてたたき痕が認められる。94は有溝砥石である。表、両側面の3面の砥面を持つ。

石皿・台石（95）

総計29点出土した。そのうち１点を掲載した。95は側縁に擦りが認められ、頂部には潰打痕が認められる。

３）土製品（96～102）（図Ⅴ－36）

96・97は土玉で、96には沈線が施されている。100は耳栓である。98，99・101・102は垂飾の一部と思われる。101には穿孔が認められる。

４）K地区出土の石器（図Ⅴ－37）

包含層出土の石器は総計664である。

石鏃（１～17）

総計17点出土した。そのうち、17点を掲載した。全て有茎のもので、返しに丸みを持つもの（７）、先端部が錐状に作出されたもの（８）などがある。

石錐（18）

総計６点出土した。そのうち１点を掲載した。18は棒状のものである。

石斧（19・22）

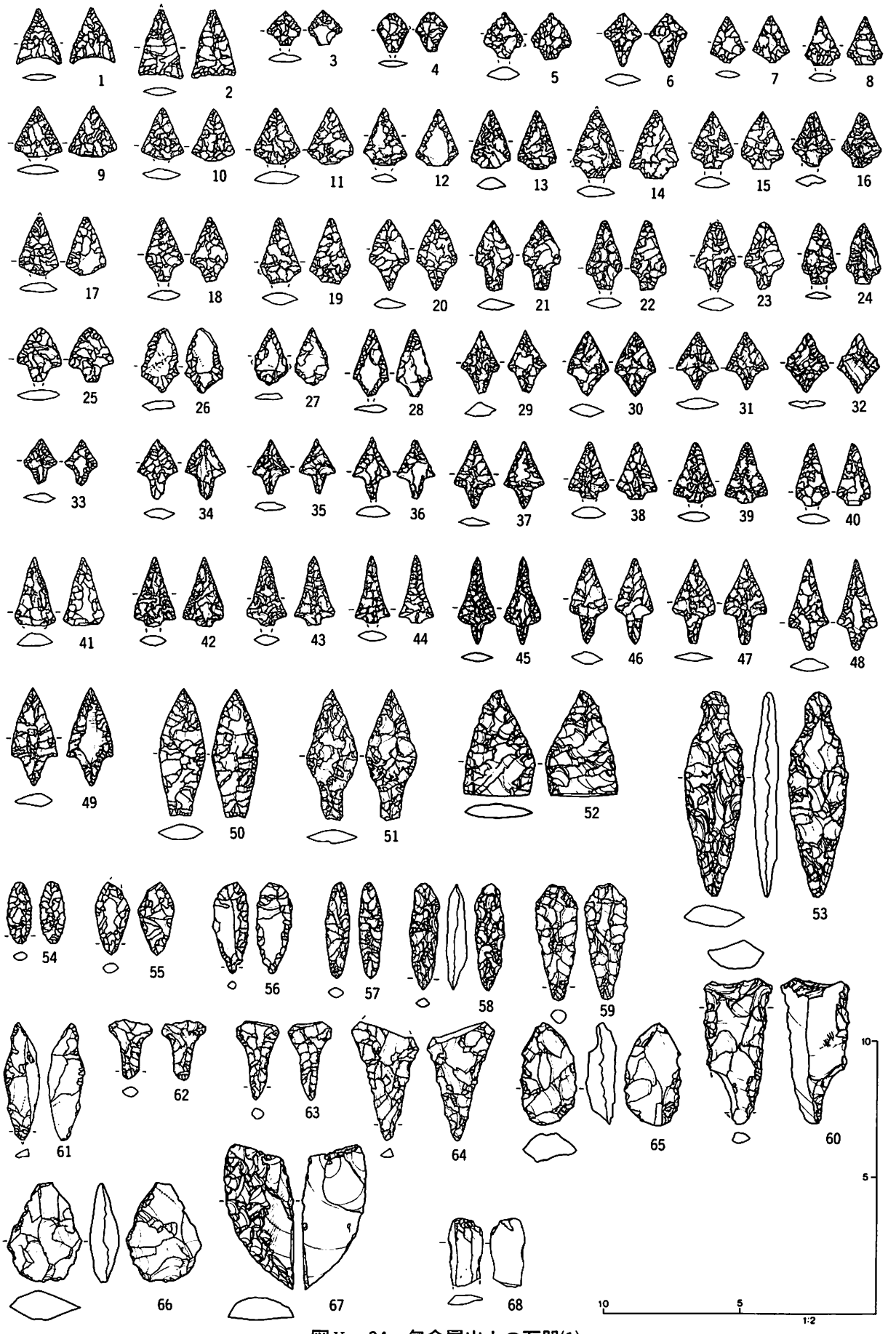
総計６点出土した。そのうち２点を掲載した。19は刃部のみの破片で、敲打整形・擦りによって作出されている。22は石斧素材である。

たたき石（20・23）

総計２点出土した。そのうち２点を掲載した。20は棒状の礫の両端にたたき痕が認められる。23は断面三角形の礫の端部にたたき痕が認められる。

石皿　台石（21・23）

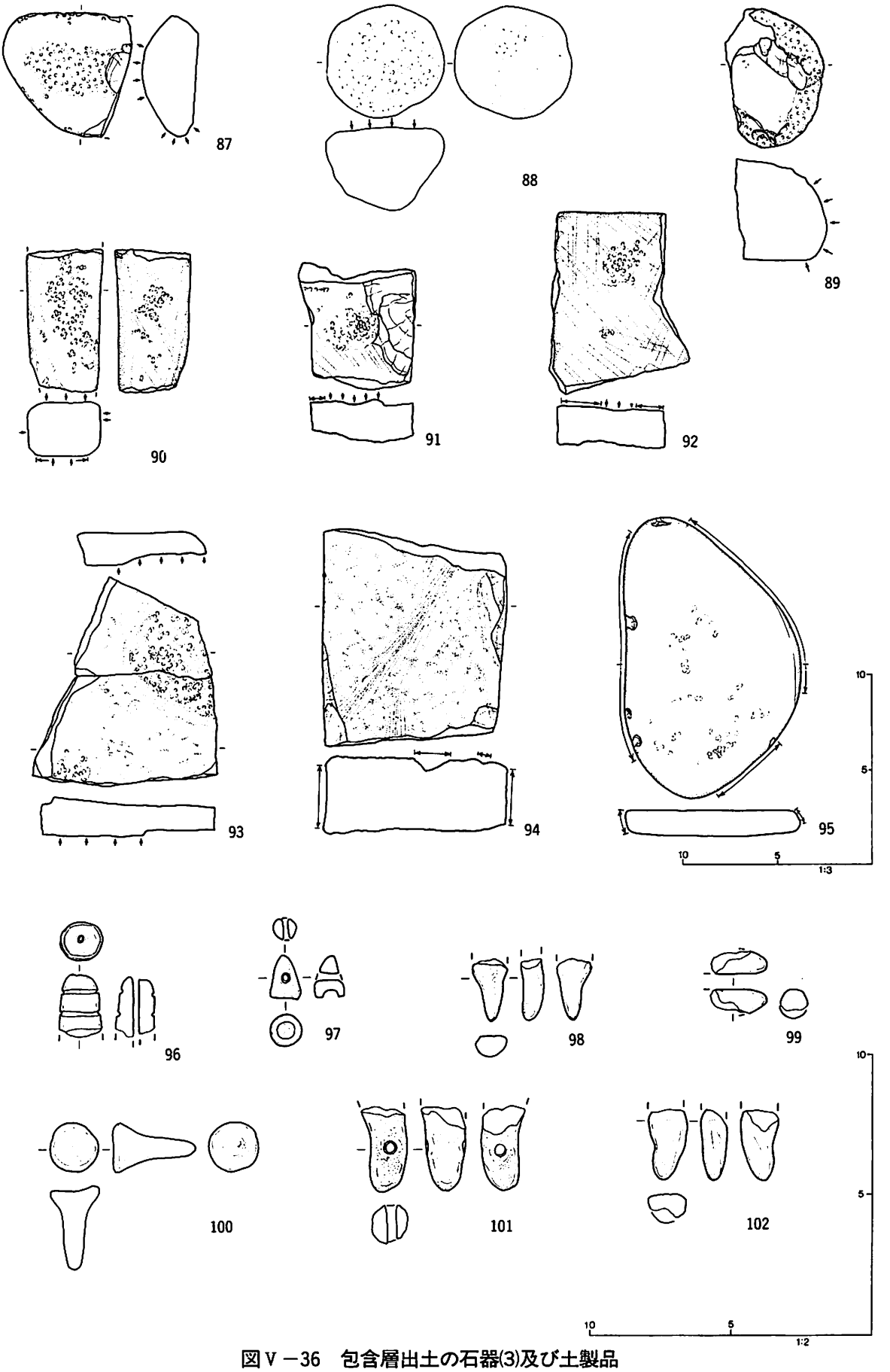
総計１点出土した。そのうち１点を掲載した。21の頂部には潰打痕が認められる。



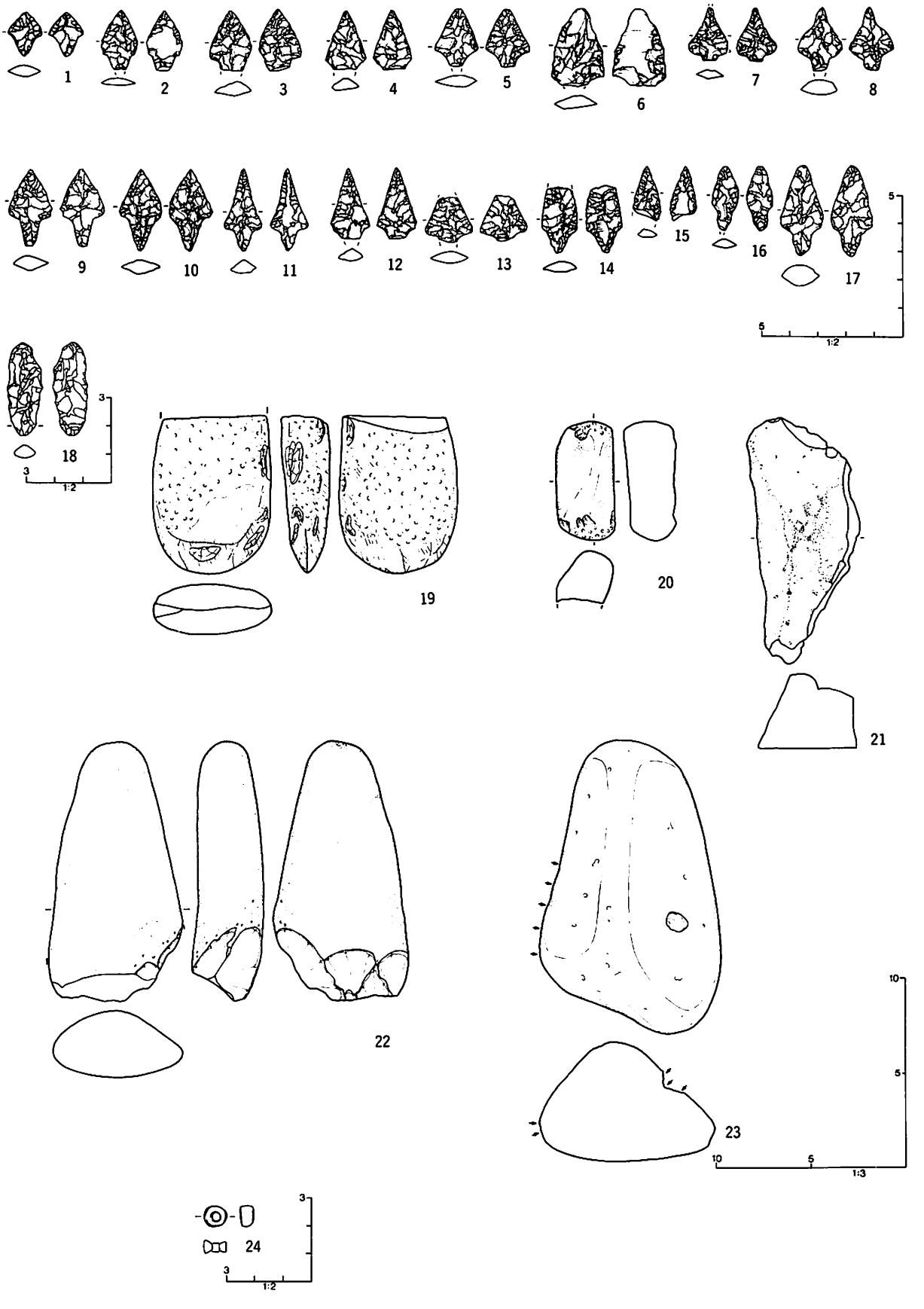
図Ⅴ－34　包含層出土の石器(1)



図Ⅴ－35　包含層出土の石器(2)



図Ⅴ－36　包含層出土の石器(3)及び土製品



図Ⅴ－37　包含層（K地区）出土の石器(4)

Ⅵ　Ⅰ地区の調査

1　概　要

Ⅰ地区は現状保存される周堤墓群の南側に位置し、標高13.00m～15.00m（現地表面）、東から西へ緩やかに傾斜している。現況は、北側が農道と防風林、南側は耕作地である。Ⅰ層は現表土・撹乱・耕作土であるため重機により除去した。105ラインに南北、qラインに東西のメインセクションを設定し、Ⅲ層以下は人力によって層位ごとに調査を行いつつ、Ⅶ層まで掘り下げ、旧石器確認調査も実施した。耕作地はプラウ痕により深く撹乱され、とくに中央部から東側はⅤ層中にまで心土破砕が及んでいた。盛土遺構の検出、過年度調査で確認された盛土遺構構築面に形成されている焼土の検出とその広がりの確認、Ⅴ層の堆積状況と遺構検出などに留意し、調査を進めた。この結果、調査区の北西側、Ⅴ層中で盛土遺構が検出され、さらに盛土遺構の構築面で調査区のほぼ全面に広がる焼土が確認された。またⅤ層の堆積状況を見ると、西側の低地部分で黒色腐植土が確認されたけれども、中央部から東側の平坦地ではⅣ層直下で焼土が広がっており、黒色腐植土はほとんど見られなかった。中央部から西側―平坦地から低地にかけて―のⅤ層中で土壙も発見されている。遺構の大半は縄文時代後期後葉の時期に属するものであるが、調査区東側のⅤ層中からは縄文時代早期の遺物がややまとまって出土しており、Ⅶ層上面付近からは石刃鏃なども出土している。

遺　構

遺構は盛土遺構、土壙、焼土などが発見されている。盛土遺構は盛土遺構A（IMA）、盛土A中検出焼土（IMAF）、盛土B、盛土B中検出焼土（IMBF）の順で記載し、説明している。土壙は土壙、土壙墓、フラスコ状ピット、Tピットに分けられるが、すべてILPの記号を付し、調査順に番号を付け、番号順に記載し、説明している。焼土は調査行程の関係から、105ラインの東と西で呼称記号と番号を変えている。西側は、トレンチ調査中に発見された焼土をILFとし、包含層調査中のⅤb層上面付近で検出された焼土をILFGとし、調査順に番号を付けた。東側は、西側のILFGに相当する焼土をilfgとし、調査順に番号を付している。またⅤb層中で検出された焼土はILFとし、西側のILFの番号に継続して付している。焼土は個々にではなく、全体的な記述にとどめ、主な焼土の土層図とその位置図を図示している。焼土の位置・規模・色調については、盛土中検出焼土は盛土遺構の頃で、Ⅴb層上面付近とⅤb層中検出の焼土はⅤb層の焼土の頃でそれぞれ一覧表にして掲載している。遺構規模一覧は巻末に掲載している。

遺　物

遺物は、盛土遺構周辺ではⅤ層をⅤa層とⅤb層に分け、トータルステーションによって一点ずつ取り上げた。それ以外の包含層は、焼土検出面より上層をⅤ層、下層をⅤb層として各層位でグリッドごとに一括して取り上げた。なお包含層調査中、土器口縁、底部および文様に特徴があるもの、石器では定形的な石器類はトータルステーションによって取り上げている。

報告にあたっては、遺構出土の遺物は遺構ごとに土器、石器の順に掲載し、説明している。包含層出土の遺物は土器と石器に分け、それぞれ層位順（Ⅲ層、Ⅳ層、Ⅴ層、Ⅴa層、Ⅴb層、Ⅵ層、Ⅶ層、Ⅰ層・撹乱等）に掲載し、説明している。なお土製品は土器の項で、石製品は石器の項で取り扱っている。遺物についての一覧表は巻末に一括して掲載している。

土　層

土層の説明（図Ⅵ－1・5～9）

Ⅰ層：現表土、耕作土。

Ⅱ層：樽前ａ降下軽石層（Ta-a）。A. D. 1739年降下。砂質のテラフを主体とする。数枚のフォールユニットからなる。

Ⅲ層：黒色腐植土。新千歳空港の「第一黒色土層（ⅠＢ層）」に相当する。

Ⅰ地区の比較的標高の高いところはⅣ層との境が明瞭であるのに対し、調査区南西側の低地に近い部分ではあまり明瞭ではない。これは1997（平成８）年度に調査したＬ地区にも見られた土の腐植化の過程による現象と思われる。またこの層からは本来包含されていない縄文時代後期の遺物が僅かではあるが出土している。

Ⅳ層：樽前ｃ降下岩石・スコリア（Ta-c）。2,300～2,500年前頃降下。低地に近い部分ではTa-cを主体とする暗褐色土である。

Ⅴ層：黒色腐植土。新千歳空港の「第二黒色土層（ⅡＢ層）」に相当する。水分を含むと粘性に富む。盛土遺構を介してⅤ層はⅤａ層とⅤｂ層に分層できる。

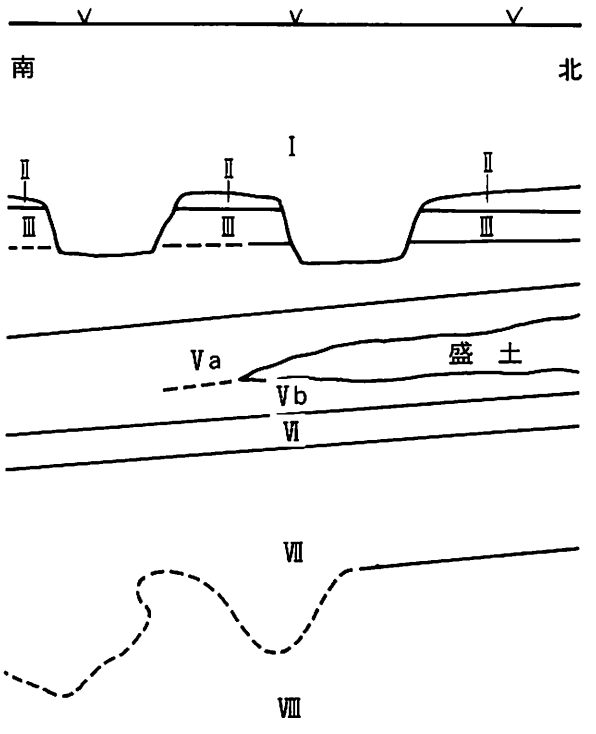
Ⅴａ層は黒色腐植土に恵庭ａ降下軽石層を含む土。盛土遺構上部の二次堆積やその後の腐植土の堆積から由来するものと考えられる。縄文時代後期の遺物が多く含まれる。

Ⅴｂ層は盛土遺構下部を形成する黒色土層。水分を含むと粘性に富む。縄文時代早期、前期、後期の遺物が出土している。

Ⅵ層：暗褐色～褐色土。Ⅴ層とⅦ層の漸移層。調査区内で中央部から東にかけて乾陸部分において明瞭に見られる。

Ⅶ層：ローム層。

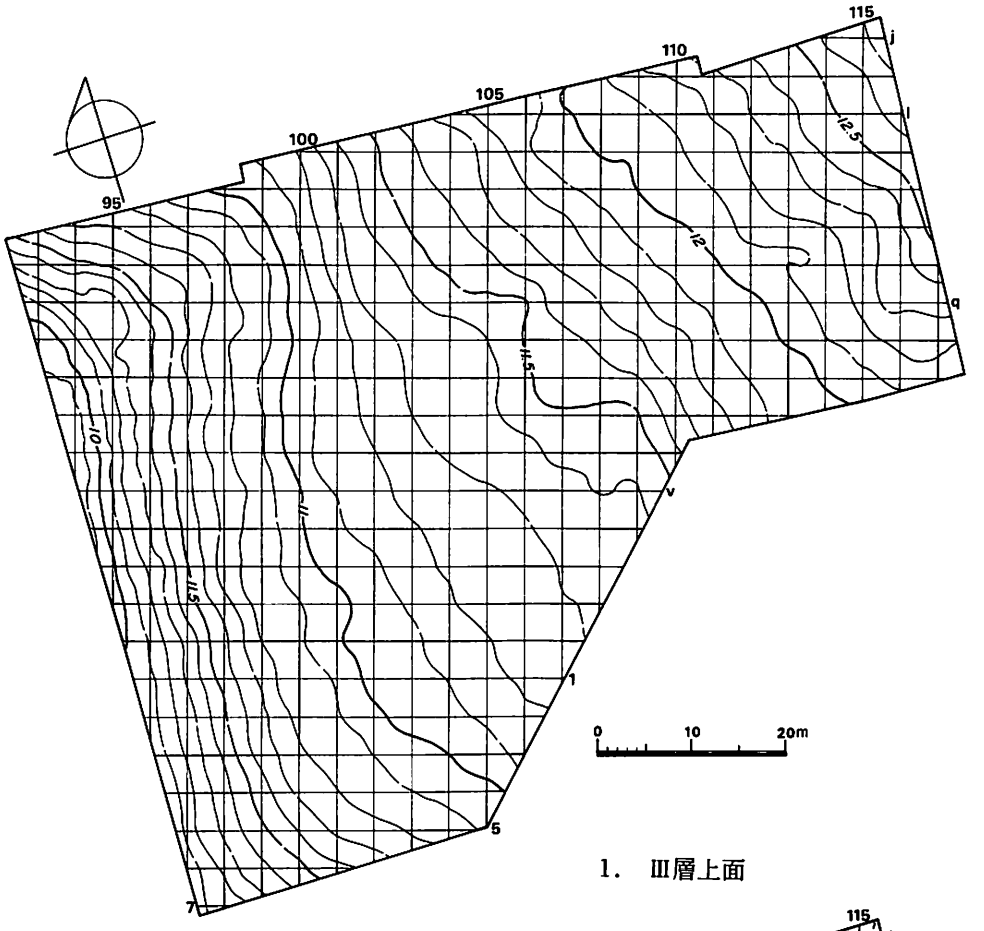
Ⅷ層：恵庭ａ降下軽石層（En-a）。15,000～17,000年前頃降下。



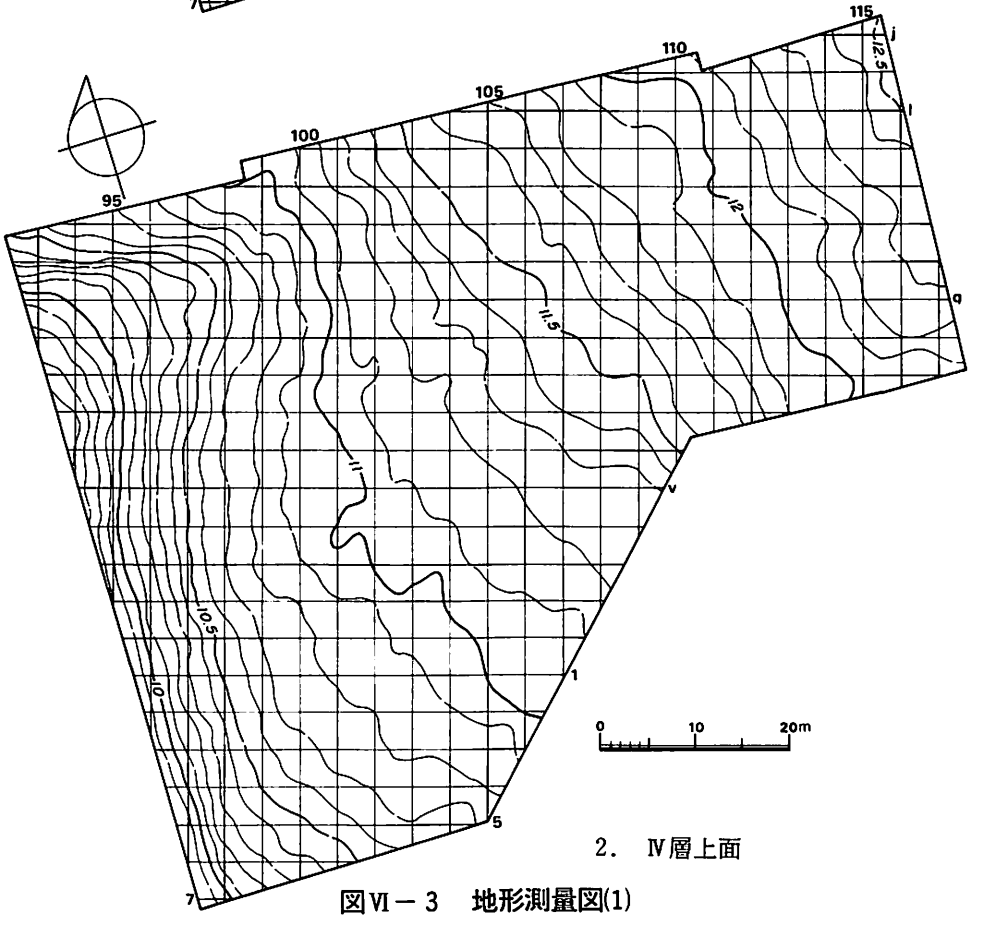
図Ⅵ－１　Ⅰ地区の土層模式図

低地と乾陸地の境のⅥ～Ⅷ層の周氷河現象について

低地と乾陸地の境付近のⅥ層、Ⅶ層、Ⅷ層については周氷河環境下にあったものと考えられる。インボリューションによる土層の撹乱現象によって、土層断面で見ると波状を呈している。Ⅶ層上面まで掘り下げ平面で観察すると、周氷河現象に特有の模様（構造土）が確認される。低地から離れた乾陸地のⅦ層は明黄褐色のローム層として明瞭に確認することができる。これが徐々に低地に向うにつれ、Ⅶ層はⅥ層の漸移層との区別がつかなくなり、やがて色調が暗色（暗灰黄褐色～暗褐灰色）になる。そしてⅧ層のEn-aが凍上によってまじる。このEn-aの凍上によって構造土が形成されてくる。比較的乾陸地に近い部分はEn-aの凍土の列が亀甲模様（亀甲土）となる。この現象は縄文時代後期の包含層を乱すことなくⅧ層の降下後に起きている。これらの現象は最終氷河期と関連してくるのではないかと推測される。（袖岡淳子）

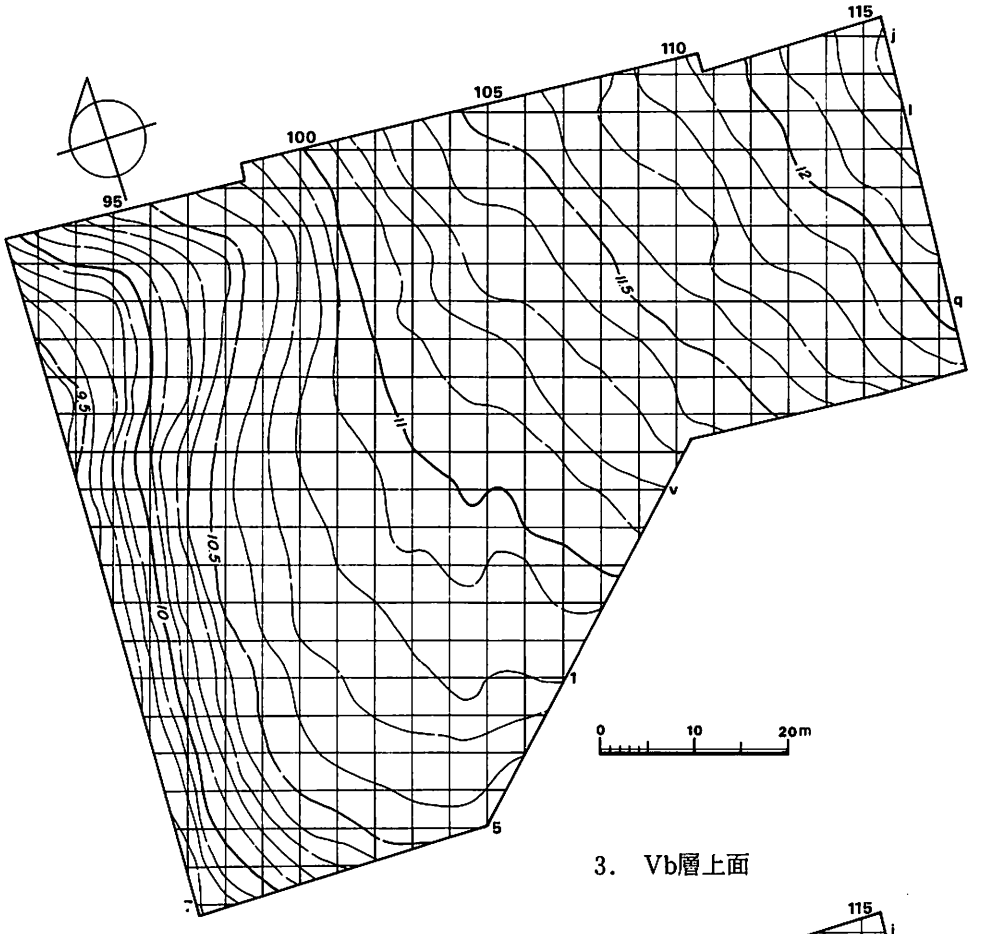


1．　Ⅲ層上面

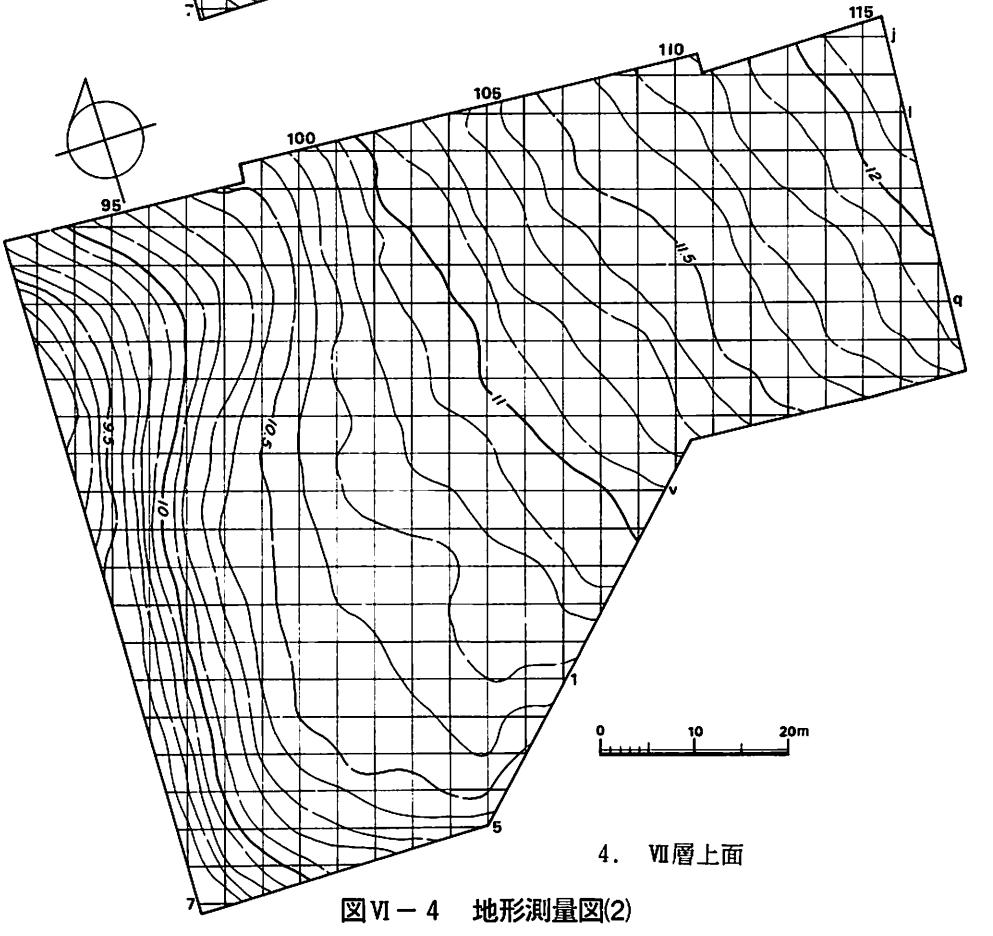


2．　Ⅳ層上面

図Ⅵ－３　地形測量図(1)

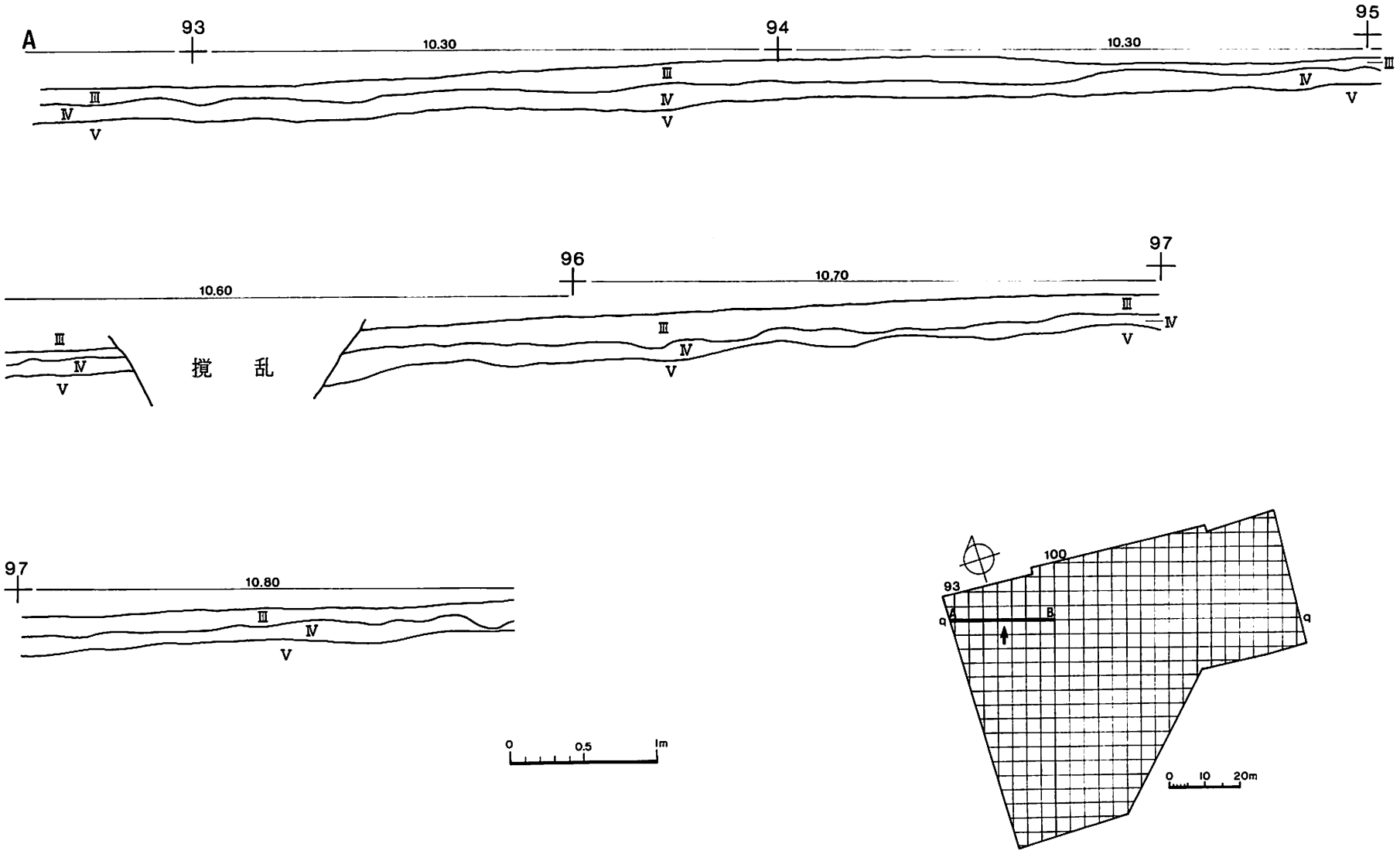


3．Vb層上面

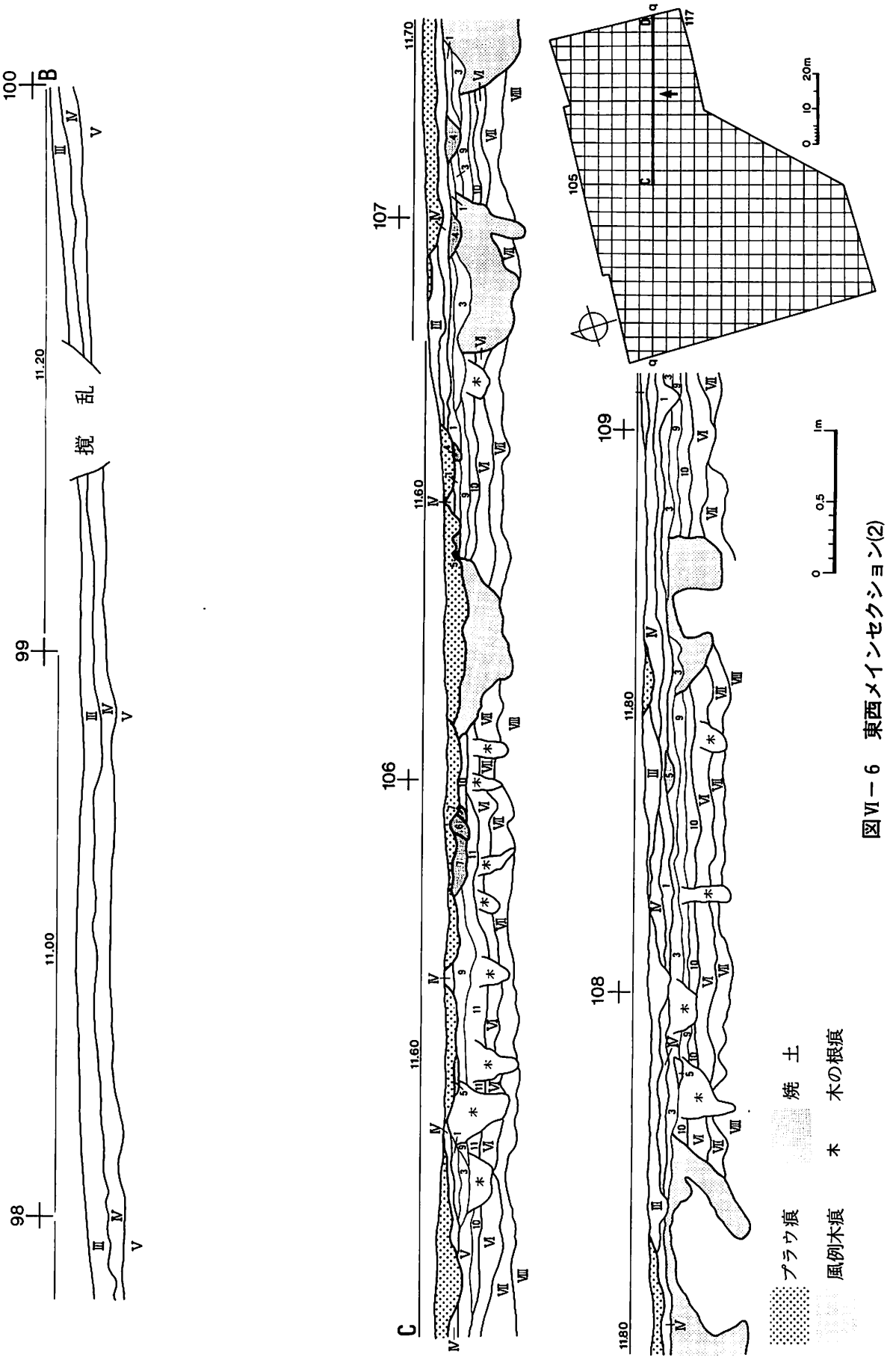


4．Ⅶ層上面

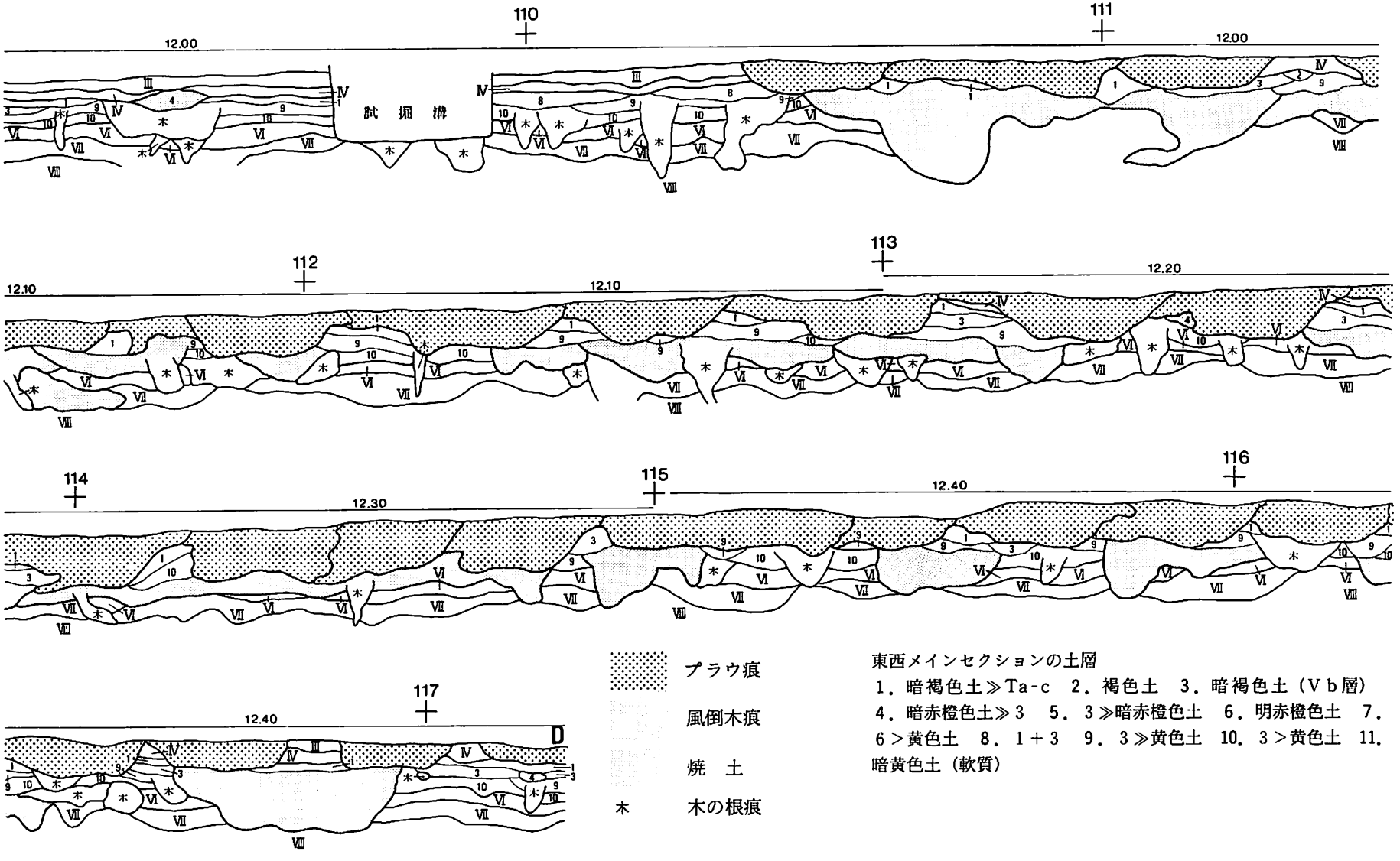
図Ⅵ－4　地形測量図(2)



図Ⅵ－5　東西メインセクション(1)



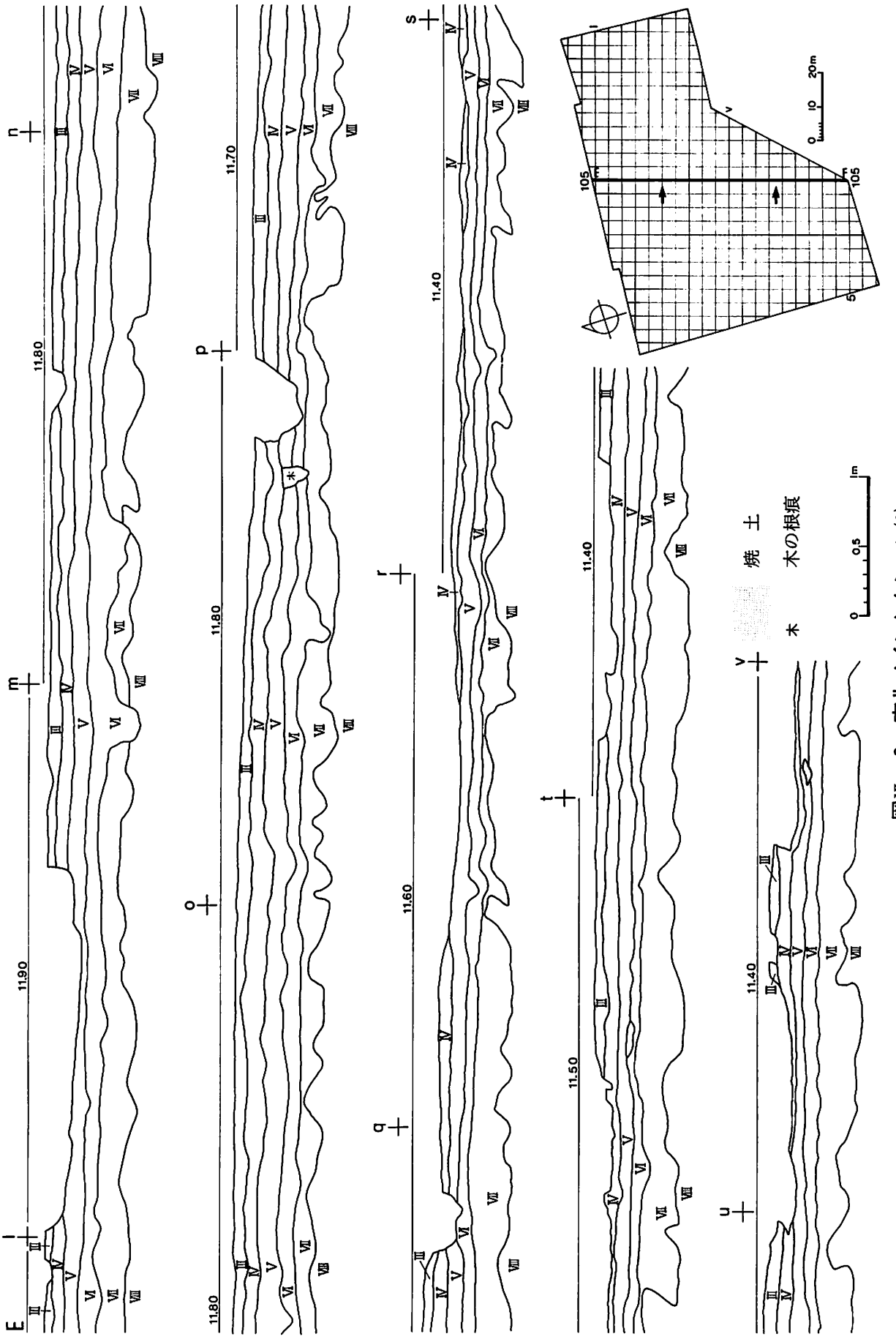
図Ⅵ－6　東西メインセクション(2)



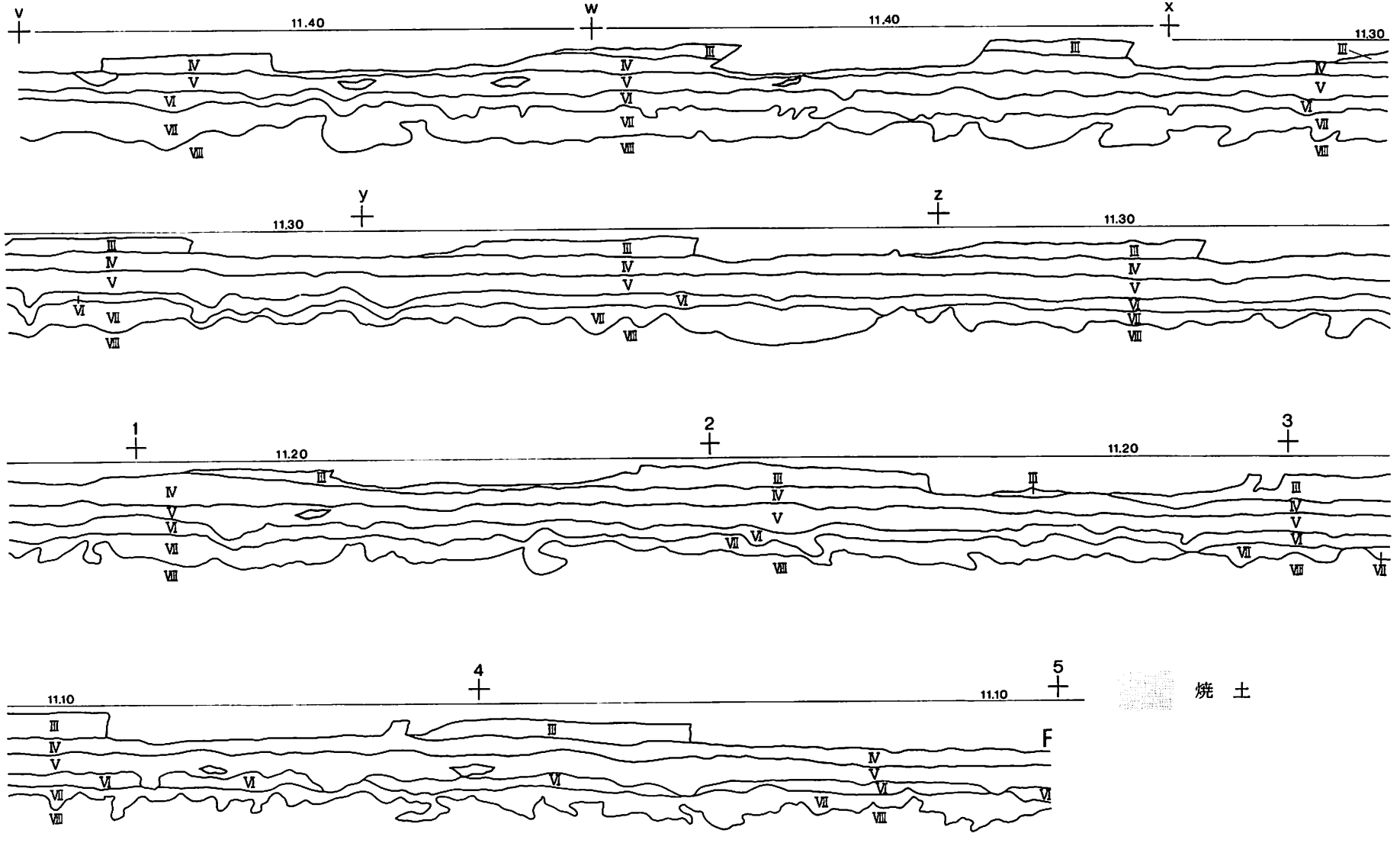
東西メインセクションの土層

1．暗褐色土≫Ta-c　2．褐色土　3．暗褐色土（Ｖｂ層）
4．暗赤橙色土≫3　5．3≫暗赤橙色土　6．明赤橙色土　7．
6＞黄色土　8．1＋3　9．3≫黄色土　10．3＞黄色土　11．
暗黄色土（軟質）

図Ⅵ－7　東西メインセクション(3)



図Ⅵ－8　南北メインセクション(1)



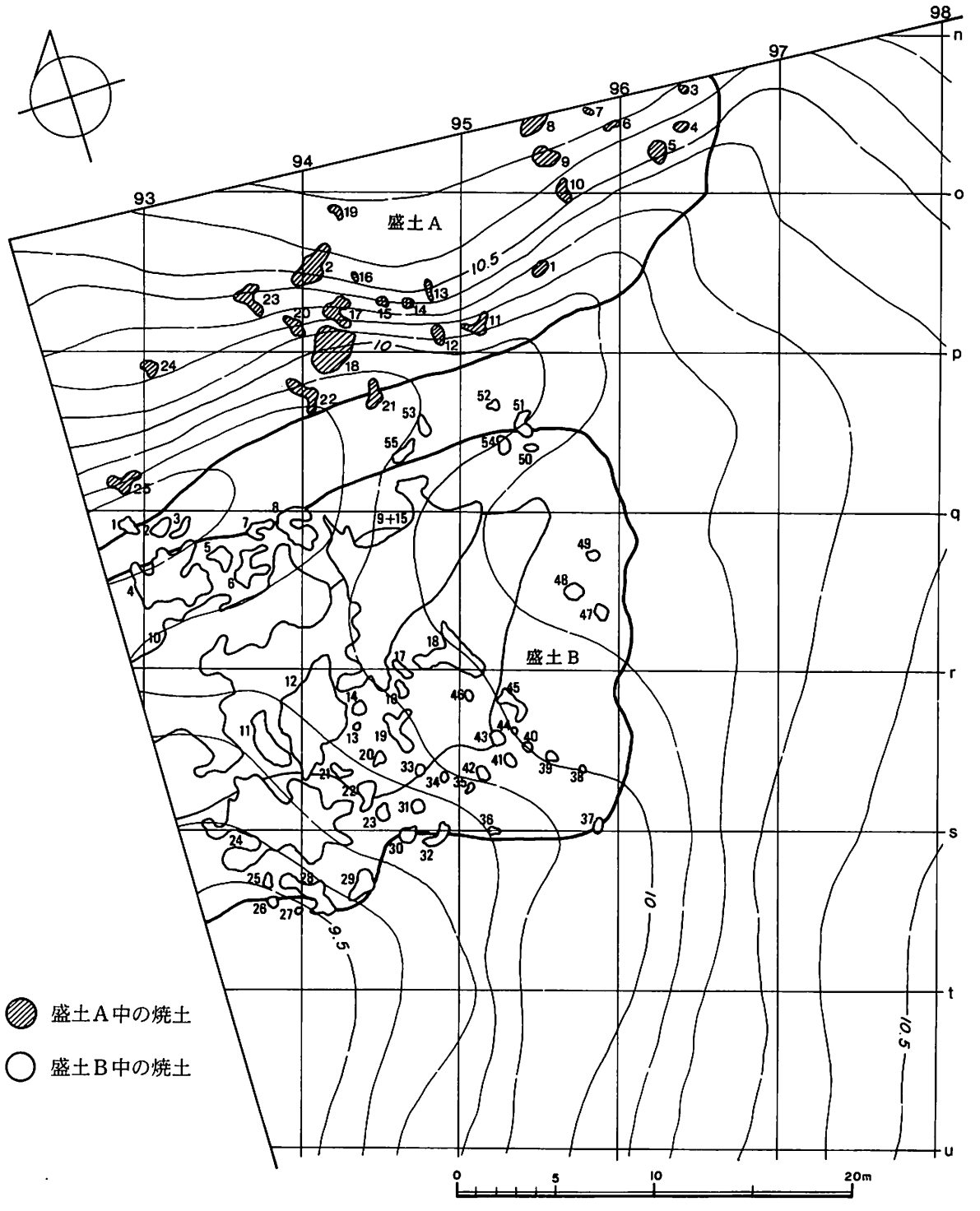
図Ⅵ－9　南北メインセクション(2)

2　遺構と遺物

(1)　盛土遺構（図Ⅵ－10～30　表Ⅵ－1・2　図版Ⅵ－3～5・15～25・27・28）

Ⅰ地区の盛土遺構は、遺跡に大きくまたがる2条の盛土遺構のうちの一つ、南側盛土の東端にあたる。ここから北～南西に広がる低湿部にはその主体部がある。

平成9年度の調査では、この調査区にかかる盛土遺構に2ヵ所のトレンチを設定し、土層断面の観察を行った。その結果、Ⅰ地区の盛土遺構で二つのブロックを確認した。



図Ⅵ－10　盛土A・Bと盛土中焼土の位置図

調査区北西角から東に広がる盛土を盛土Ａとした。それより南に広がるもう一つの部分を盛土Ｂとした。（袖岡淳子）

盛土Ａ（図Ⅵ－10～19　表Ⅵ－１　図版Ⅵ－３～５・15～21・27）

位　置　n－93～96・o－92～96・p－92～95・q－92

規　模　18m×7.40m×0.54m

確認・調査　トレントによって、盛土Ａは最も厚い部分で54cmを測る。Ⅴ層を主体とする土にEn-a・L、En-a・Pが多くまじる、締まりのある土である。炭化物を含む。19枚に分層できるが、これは土壌が投棄された単位であると考えられる。

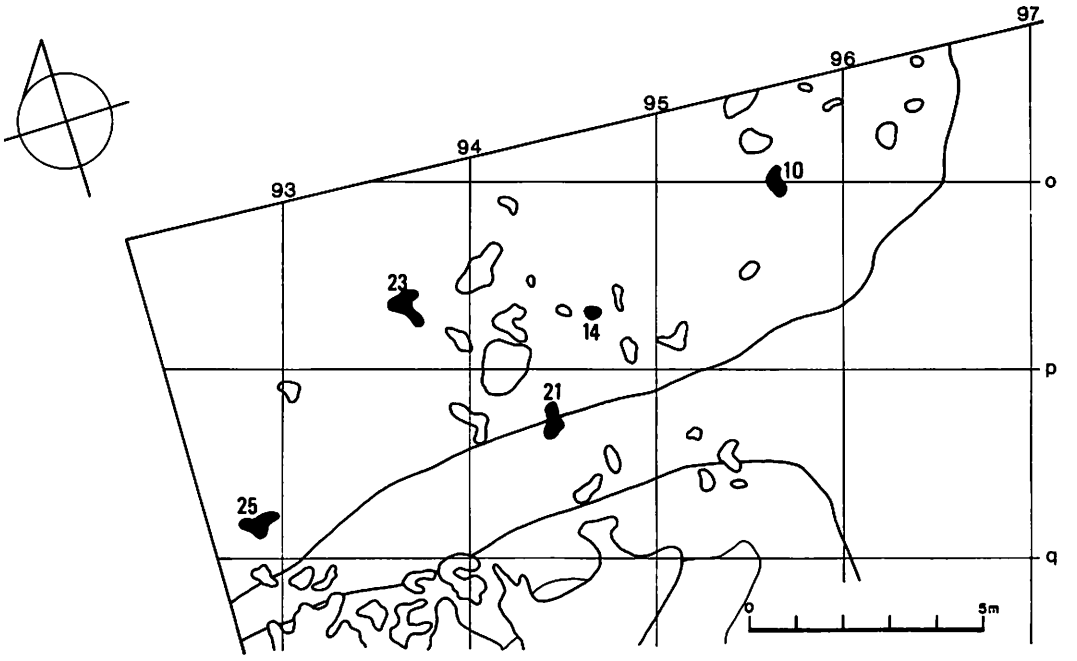
出土遺物は土器10,072点、石器等998点である。

遺物の出土状況は平成８年のＬ地区に比較すると少ない。土器はそのほとんどが破片である。復元できる状況で出土した土器は３個体、復元できた個体は12個体である。動物遺体の量は少なく、炭化種子は出土しなかった（Ⅶ－６・７参照）。

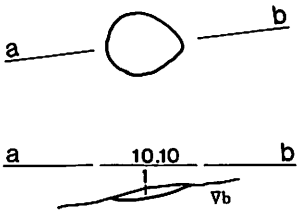
この盛土の主体は調査区の北側に広がりをもつものと考えられる。この盛土のC^{14}年代測定値は2,380±110年 B. P. KSU－2,941である。

表Ⅵ－１　盛土Ａ中の焼土一覧

図番号	焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm) 長軸×短軸×厚さ	色　調	出土遺物	掲載
図Ⅵ－10	IMAF 1	q－95	不整形	(0.34)×(0.25)×――	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
〃	2	o－94	〃	1.37×0.58×――	〃	Ⅳc	
〃	3	u－96	〃	0.27×0.21×0.03	7.5YR3/4暗褐		
〃	4	〃	〃	0.43×0.29×0.10	〃		
〃	5	〃	〃	0.62×0.42×0.08	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
〃	6	n－95	〃	0.47×0.12×0.05	7.5YR3/4暗褐		
〃	7	〃	〃	0.30×0.20×0.02	〃		
〃	8	〃	〃	(0.52)×(0.41)×――	〃		
〃	9	〃	〃	0.69×0.46×0.05	〃		
図Ⅵ－10・12	10	〃	〃	0.68×0.31×0.03	〃		◎
図Ⅵ－10	11	o－95	〃	0.62×0.21×0.05	〃		
〃	12	o－94	〃	0.59×0.27×0.02	〃		
〃	13	〃	〃	0.60×0.13×0.02	〃		
図Ⅵ－10・12	14	〃	〃	0.25×0.31×0.04	〃		◎
図Ⅵ－10	15	〃	〃	0.35×0.25×0.02	〃		
〃	16	〃	〃	0.28×0.15×0.02	〃		
	17	〃	〃	0.90×0.22×0.05	〃		
〃	18	p－94	〃	1.18×1.05×0.07	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
〃	19	o－94	〃	0.46×0.20×0.03	7.5YR3/4暗褐		
〃	20	〃	〃	0.72×0.30×0.03	〃		
図Ⅵ－10・12	21	p－94	〃	0.79×0.34×0.03	〃		◎
図Ⅵ－10	22	〃	〃	0.90×0.19×――	〃		
図Ⅵ－10・12	23	o－93	〃	0.89×0.15×0.07	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		◎
図Ⅵ－10	24	p－93	〃	0.47×0.25×――	7.5YR4/4褐		
図Ⅵ－10・12	25	p－92	〃	0.72×0.28×0.02	7.5YR3/4暗褐	Ⅳc	◎

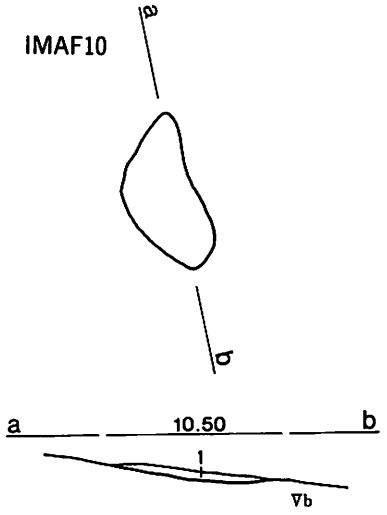


IMAF14



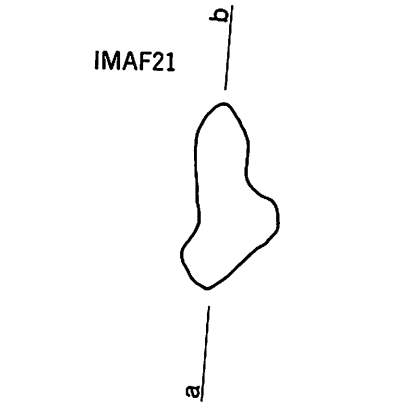
IMAF14の土層：
1．暗褐色土(7.5YR3/4)
V>焼土>En-a
炭化物を微量混入

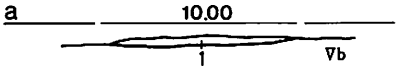
IMAF10



IMAF10の土層：
1．暗褐色土(7.5YR3/4)
V>焼土>En-a
炭化物を微量混入

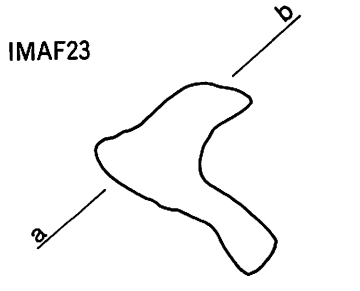
IMAF21

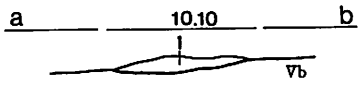




IMAF21の土層：
1．暗褐色土(7.5YR3/4)
V>焼土>En-a
炭化物を微量混入

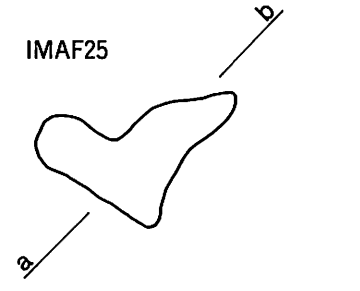
IMAF23

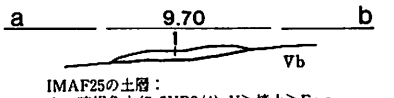




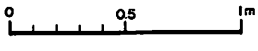
IMAF23の土層：
1．暗褐色土～褐色土(7.5YR3/4～4/4)の斑状
焼土>V>En-a 炭化物を微量混入

IMAF25





IMAF25の土層：
1．暗褐色土(7.5YR3/4) V>焼土>En-a
炭化物を微量混入



図Ⅵ－12　盛土A中の焼土

盛土Ａ出土の遺物

ⅰ）**土器**（図Ⅵ－13～17）

盛土Ａからは総計10075点が出土した。

Ⅳ群ｂ類の土器（９～23）

【刻み目列のあるもの】　（９～16）

９はくびれ部をもつ深鉢で、平行沈線と弧状の沈線の組み合わせにより入れ子状の文様を描き出している。沈線間には磨り消しの部分も認められる。10は壷形土器の口頸部と思われ、口唇直下に２段の刻み列が施されている。11・12は口縁部破片で、11は口唇が肥厚し切り出し状のものである。13・14は胴部破片で、くびれ部が認められる。14～16には鋸歯状の沈線が施されている。

【刻み目列に突瘤を伴うもの】　（19・20・23）

19・20は刻み目列間に無文帯があり、口唇は肥厚し、明瞭な切り出し形を呈する。

Ⅳ群ｃ類の土器（１～８・21・22・24－92）

【突瘤を伴うもの】　（１）

①縄文のみのもの

１・２は深鉢で口縁がわずかに内傾するもので、２は口唇が肥厚する。72から91は口縁部破片である。86には胴部にくびれ部が認められる。77・83・84・85は口縁部が内傾する。

②沈線文を伴うもの

３は深鉢で平行沈線と鋸歯状の沈線との組み合わせで、口唇は切り出し状である。４単位の突起は内傾し、刺突が施されている。40から59は口縁部破片である。43・44・46・52・55・56は平行沈線が施されたものである。52は平行沈線間が磨り消され、無文帯が作られている。45・48は鋸歯状の沈線が施されている。42・47・49・51・54は平行沈線と弧状沈線の組み合わせで、磨り消しによる無文帯が認められる。57から59は無文と沈線の組み合わせである。

【沈線文のみのもの】

鉢・深鉢　６・７は平行沈線と弧状沈線の組み合わせの鉢である。24から32は口縁部破片で、32はくびれ部が認められる。

注口土器　８は弧状の沈線により、木葉文が施されている。木葉文の中心には貼り瘤が施されていたと考えられる。口縁、底部は欠失している。33・36・62～67は胴部破片で、33は弧状沈線が木葉状を呈し、貼り瘤が施されている。63には注口部分が残っている。64はくびれ部分で貼り瘤が見られる。

【縄文のみのもの】

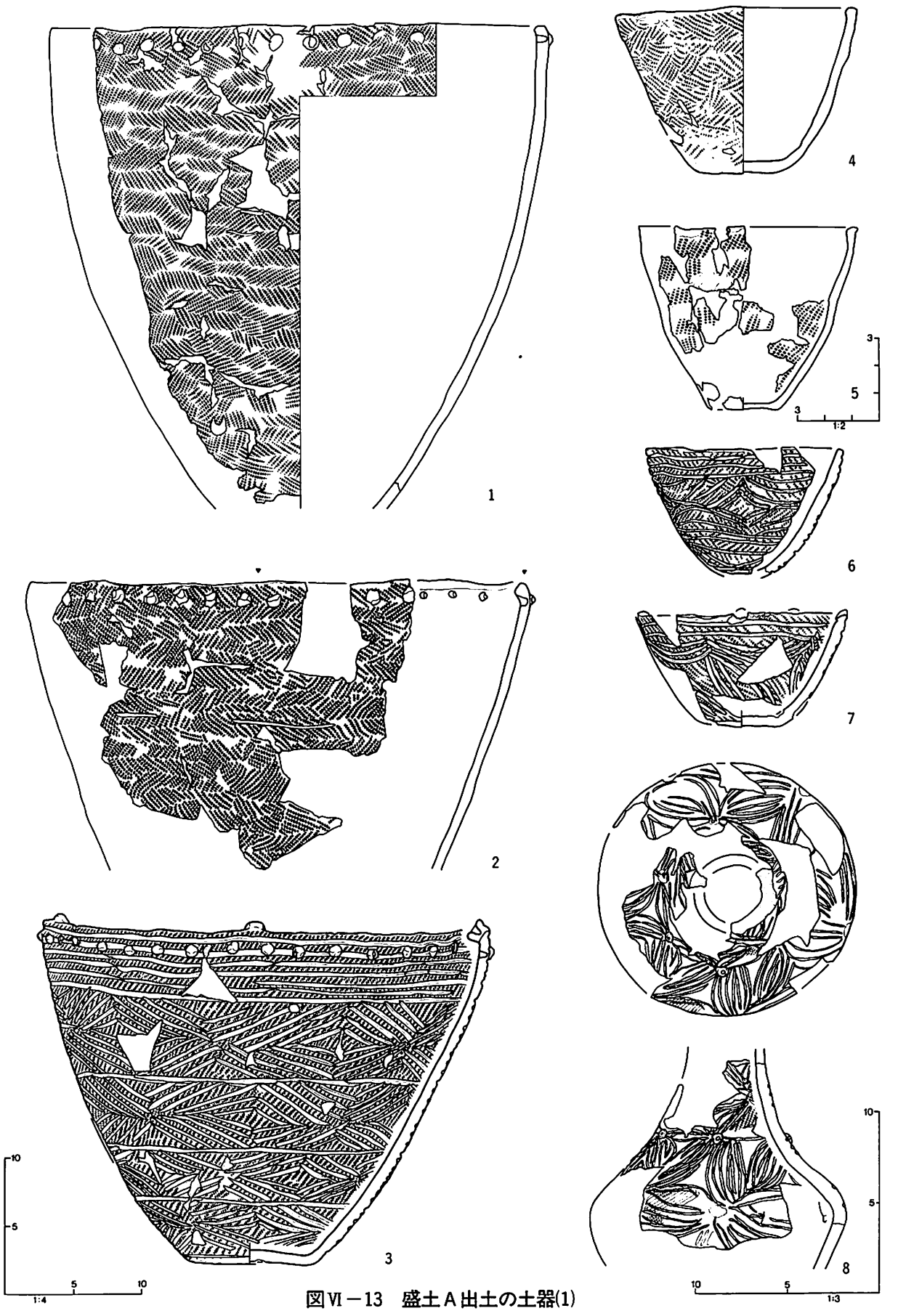
61は口縁部破片である。70・71は底部破片である。

【無文のもの】

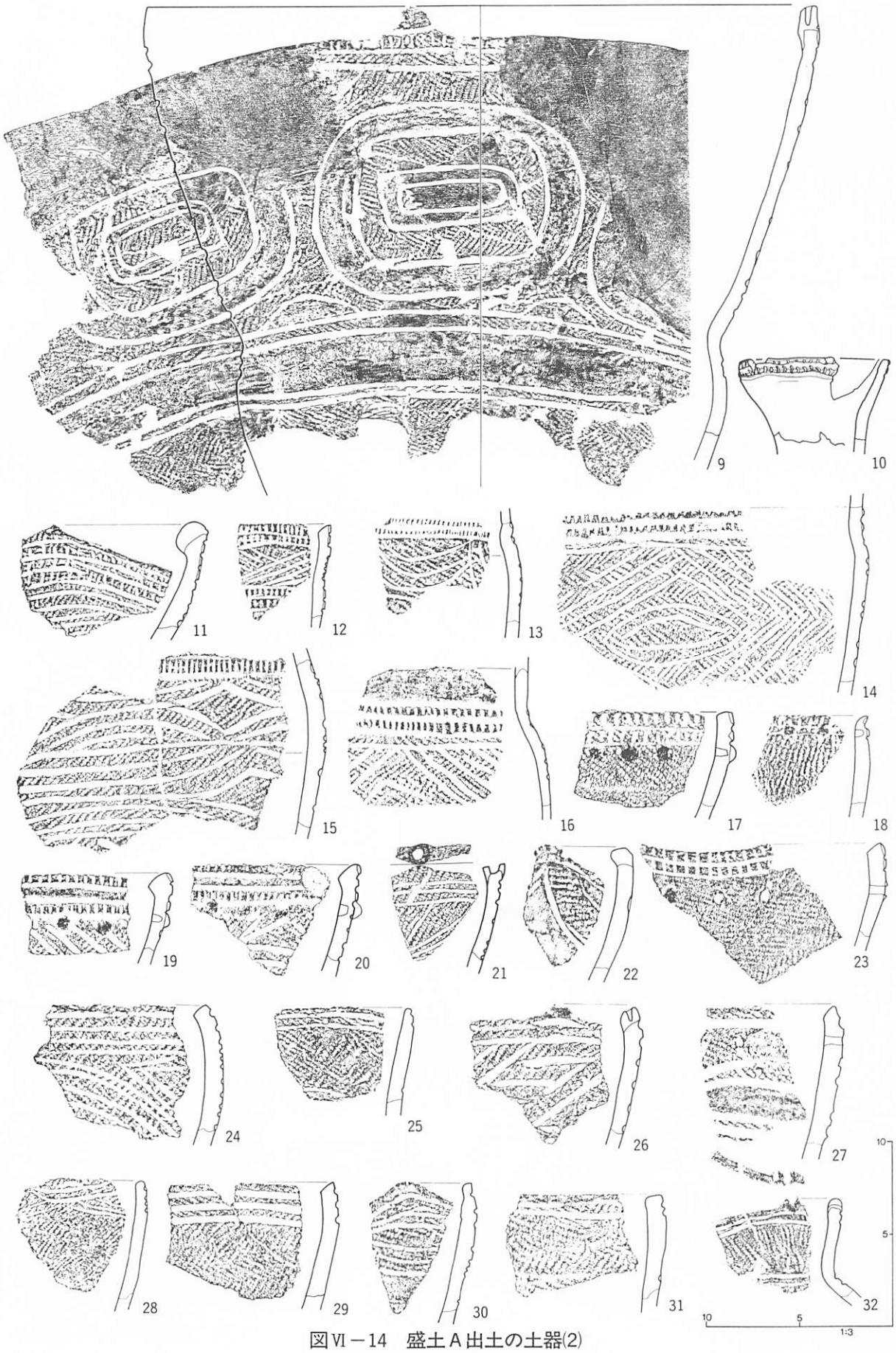
68は底部破片で高台をもつものである。69は小型の浅鉢である。

Ⅳ群以外の土器（93－97）

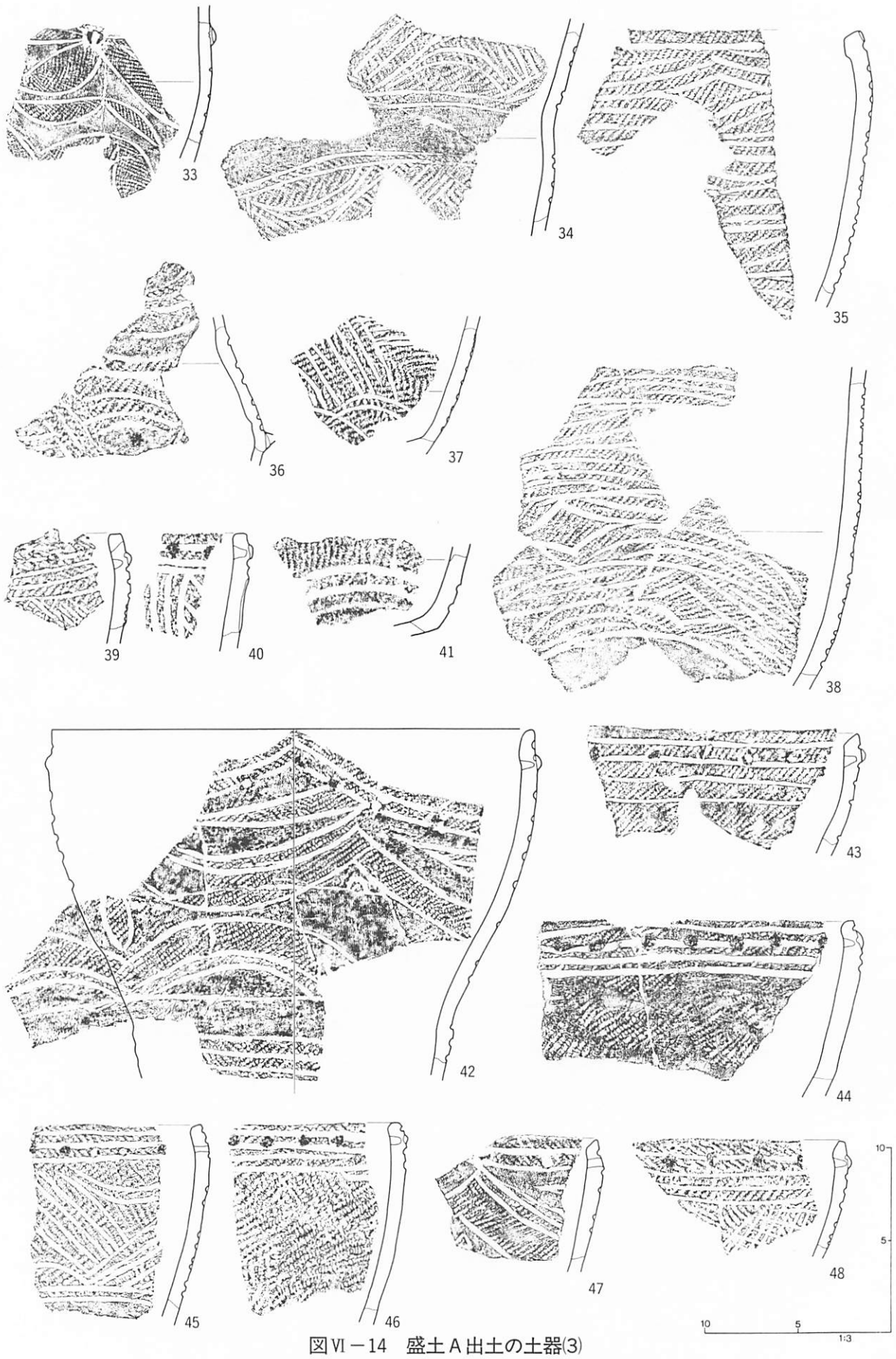
93はⅣ群ｂ－１類、94はⅣ群ａ類、96・97はⅠ群ｂ類のものである。混入の可能性がある。



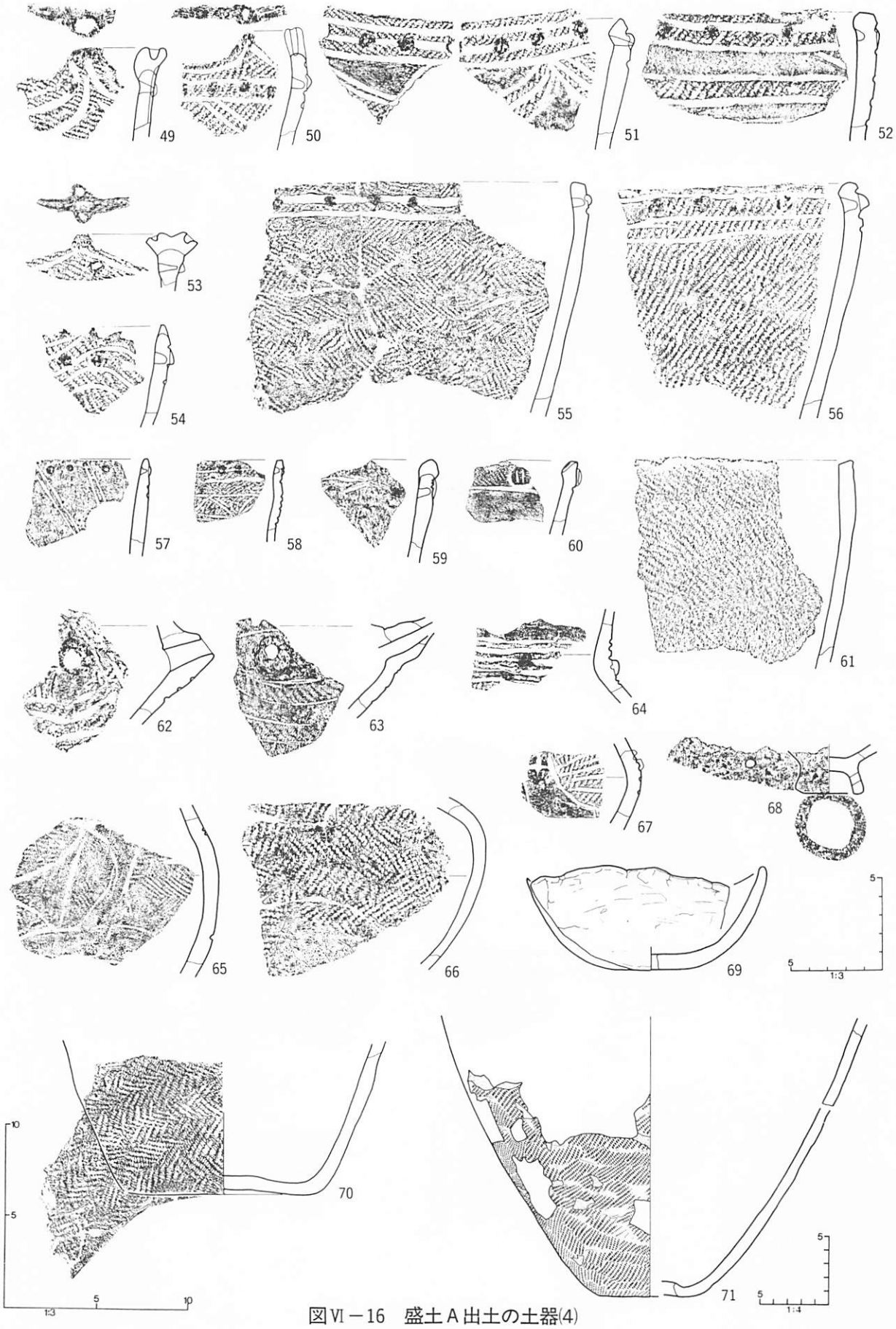
図Ⅵ－13　盛土Ａ出土の土器(1)



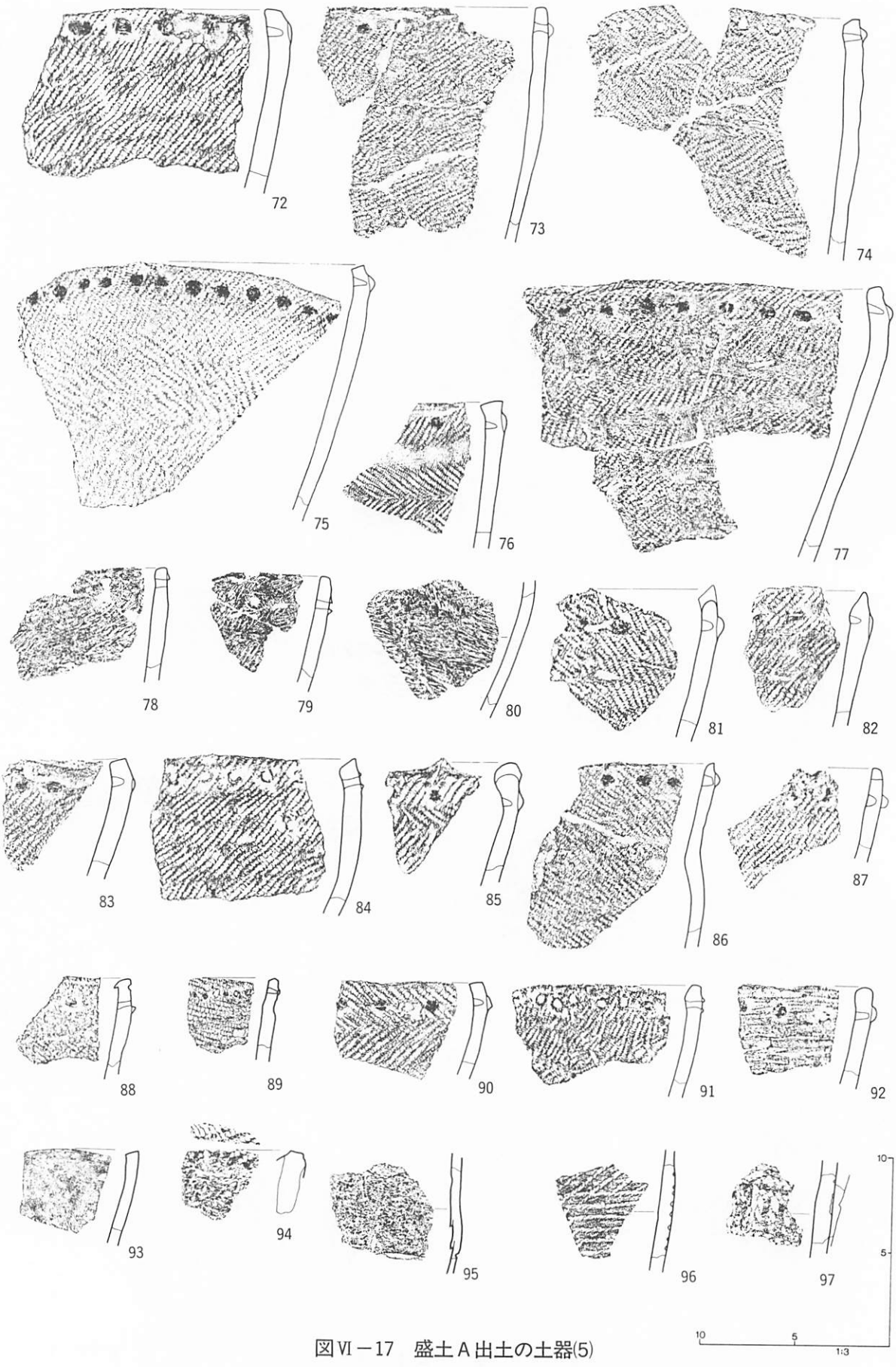
図Ⅵ－14　盛土Ａ出土の土器(2)



図Ⅵ－14　盛土Ａ出土の土器(3)



図Ⅵ－16　盛土Ａ出土の土器(4)



図Ⅵ－17　盛土Ａ出土の土器(5)

ii）**石器・石製品**（図Ⅵ－18・19　図版Ⅵ－27）

盛土Ａから出土した石器の総数は998点である。このうち剝片・破片類は55％、礫類が約26％と全体の約81％を占めている。定形的な石器は石鏃・石槍またはナイフ・石錐・つまみ付ナイフ・石斧・たたき石・すり石・砥石などが出土している。とくに石鏃の出土割合が多く、定形的な石器のうち約53％、全体でも約８％を占めている。なお石槍またはナイフ・たたき石・砥石・石皿も出土しているが、細片のためここでは図示していない。

石鏃（図Ⅵ－18－１～33　図版Ⅵ－27）

石鏃は81点出土した。そのほとんどが有茎鏃である。ここでは31点を図示した。１はⅠAa。２はⅠA６。ともに側縁部が外に張り出し気味で、側面の稜線はジグザグ状である。１の右かえし、２の尖頭部と右側縁部は欠けている。３～８はIA7b。側縁部は、３が外に張り出し、４～８は直線である。側面の稜線は、４～７が直線状、３は緩やかな波状である。５の茎部大半、６・８の茎部下半部は欠損し、３・８の左かえし、５・６・８の右かえし、８の尖頭部は欠けている。３は表裏両面に剝離面を残し、薄手である。４の尖頭部は欠損後再調整加工を施している。５は表裏両面、６は裏面に剝離面を残す。７は右かえしが突出し、左右非対称であるが、つくり・調整とも丁寧である。また茎部にタール状のものの付着痕が認められる。８は表面の一部に礫皮面を残す。９～33はIA7c。側縁部は、13・19・21～23は外に張り出し気味、24・27・29・30は内湾気味、他は直線である。側面の稜線は、17・28・30は緩やかな波状、10・12・14・16・19・24～27は直線状、他はジグザグ状である。９・11・16・26・32の茎部大半、14・20・23・25・29・33の茎部下半部は欠損している。また10・13・18・21・30の尖頭部、15・17・18・32・33の左かえし、10・18・23～25・27・29の右かえし、10・18～20・22・23・27・30の茎部下半部が欠けている。９は尖頭部、左右かえしが丸みをもつ。13・19は左右非対称、14・16・17・19・24・26・28・30・31は裏面に剝離面が残る。30の裏面右側縁部は未調整である。18・21・27・30・32の基部は肉厚で、32は左右のかえしが突出しているようである。25は表面に礫皮面が残る。石質は、７が橙黄色、９が灰白色、11が灰黄色の頁岩である。23はメノウ、他はすべて黒曜石である。

石錐（図Ⅵ１－18－34～37　図版Ⅵ－27）

石錐は９点出土し、このうち４点を図示した。34～37はⅡＡ２。37はⅡＡ３。すべて刺突部先端が欠けている。34は丁寧に調整加工されている。35・36のつまみ部には剝離面が残る。石質は、34が暗赤褐色の頁岩、他は黒曜石である。

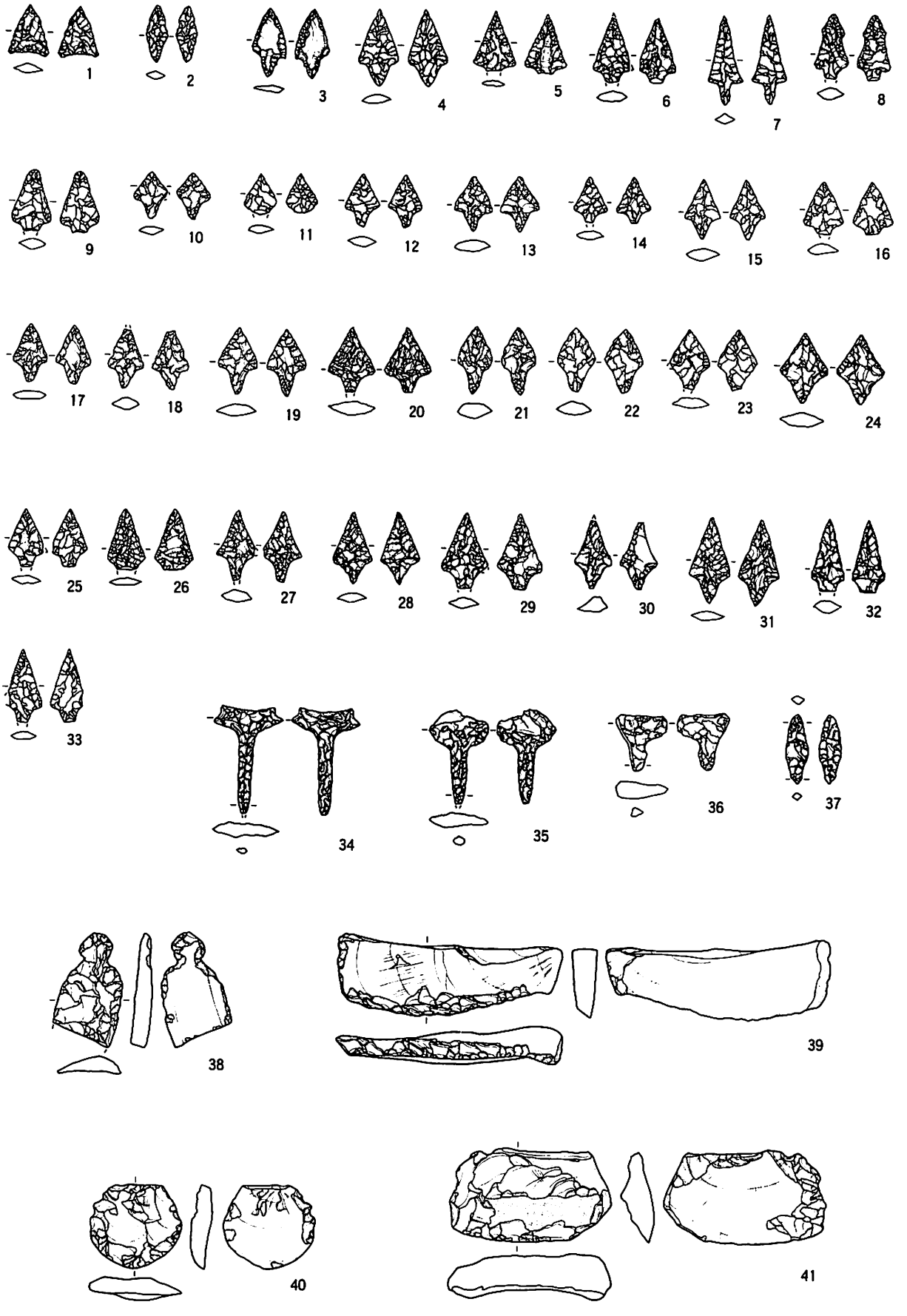
つまみ付ナイフ（図Ⅵ－18－38　図版Ⅵ－27）

つまみ付ナイフは出土した２点のうち１点を図示した。38はⅢＡ１。刃部下半部は欠損している。裏面に剝離面が残る。石質は黒曜石である。

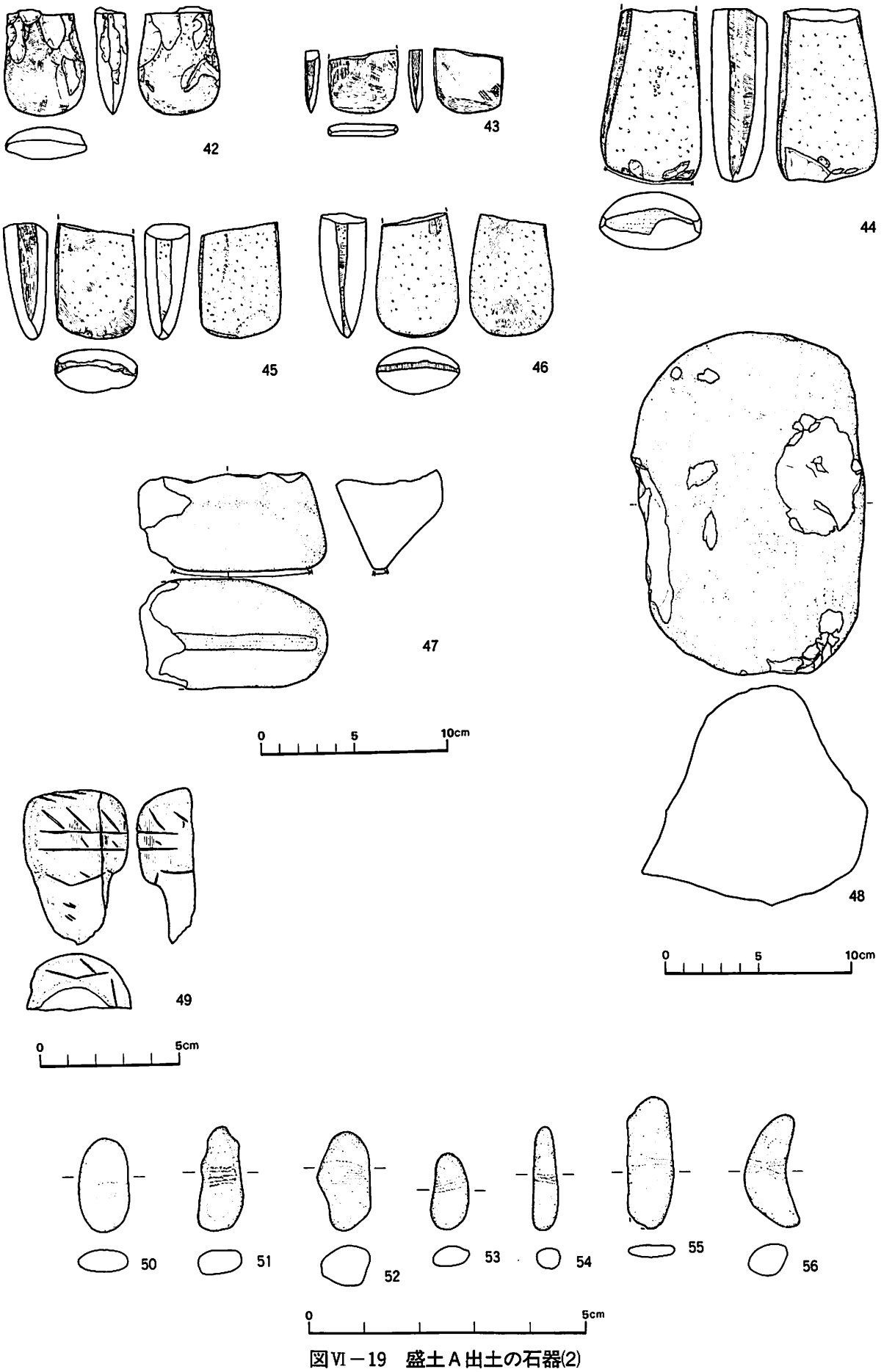
スクレイパー（図Ⅵ－18－39～41　図版Ⅵ－27）

スクレイパーは６点出土し、このうち３点を図示した。39～41はⅢＢ６。39・40は裏表両面、41の表面に剝離面が残り、41の表面には礫皮面が残る。石質はすべて黒曜石である。

石斧（図Ⅵ－19－42～46　図版Ⅵ－27）



図Ⅵ－18　盛土Ａ出土の石器(1)



図Ⅵ－19　盛土Ａ出土の石器(2)

石斧は29点出土し、このうち5点を図示した。42はⅣA4。43はⅣA5。44～46はⅣA8。すべて基部が欠損しているため全体は明瞭でない。42は刃部のみ丁寧に磨いており、43は残存部だけであるが全面丁寧に研磨されている。44～46は未製品で、44は側縁部のみ、45は側縁部と刃部、46は右側縁部と刃部の一部にそれぞれ磨き痕認められる。石質はすべて緑色泥岩である。

すり石（図Ⅵ－19－47　図版Ⅵ－27）

すり石は4点出土し、1点を図示した。47はⅥA1。破損品のため全体は不明であるが、断面三角状のものと思われる。稜上に帯状のすり面が認められる。石質は閃緑岩である。

原石（図Ⅵ－19－48　図版Ⅵ－27）

原石は6点出土している。すべて黒曜石で、ここでは大型で、完成のもの（48）を1点図示した。原産地分析を依頼した。

石製品（図Ⅵ－19－49～56　図版Ⅵ－27）

石製品は9点出土し、すべて図示した。49は石棒の頭部破片。頭部上面、側面などに陰刻が施されている。石質は粘板岩である。50～56は棒状の小礫で、中央部に黒褐色の物質が帯状に付着しているものである。石質は、50が砂岩、52が安山岩、53～56は不明である。

盛土B（図Ⅵ－20～30　表Ⅵ－2　図版Ⅵ－3～5・22～24・28）

位　置　p－54・55・q－92～96・r－92～95・s－93～95

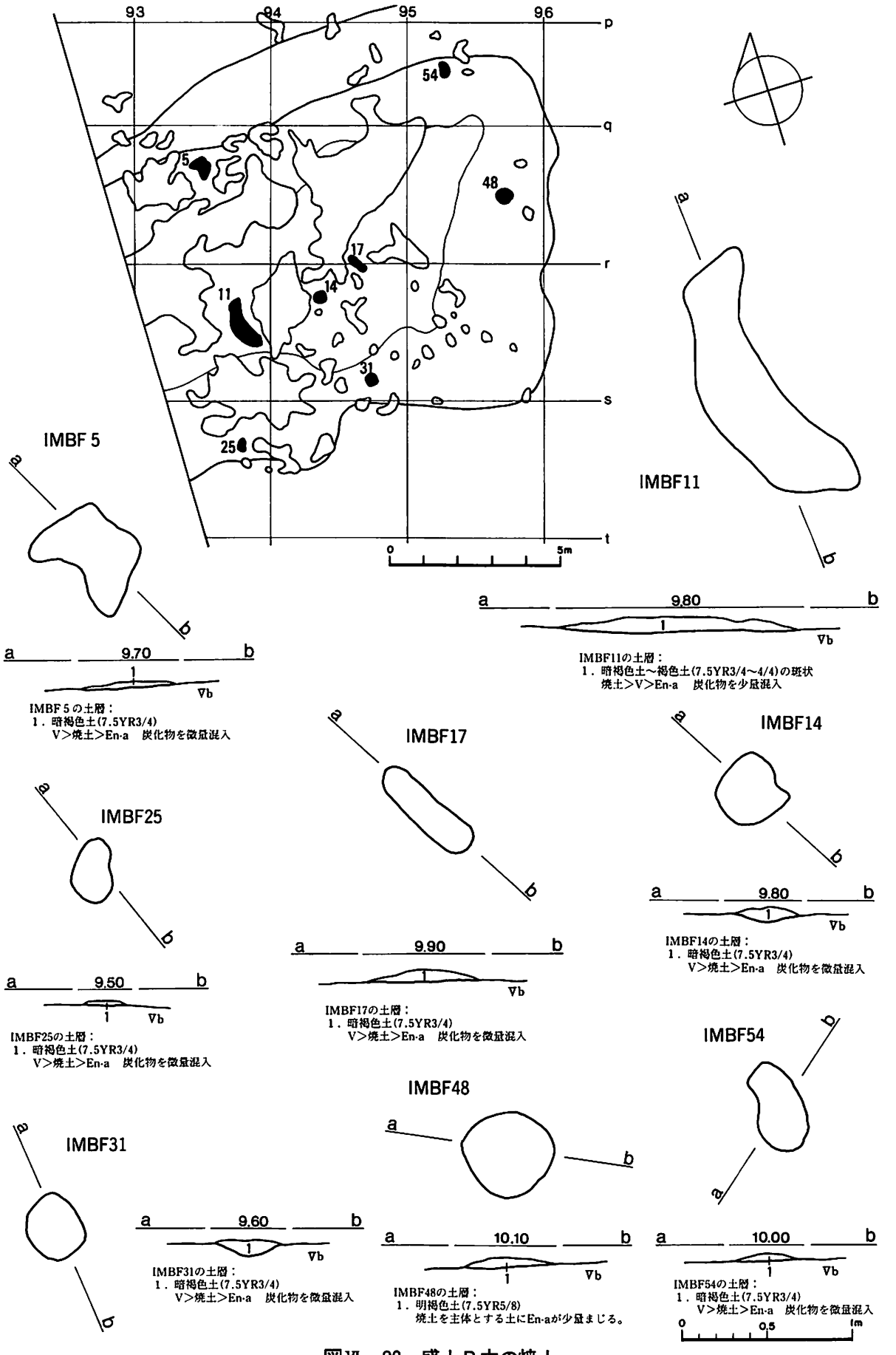
規　模　12.80m×9.80m×0.32m

確認・調査　トレンチ調査により、盛土Aより南に広がる盛土遺構であることが確認された。大きく二層に分層して、掘り下げた。出土遺物は土器6,147点、石器等652点である。盛土Bの色調は盛土Aより暗色を呈している。V層にEn-a・L、En-a・Pを含む量が少ない。盛土1層に比べ、盛土2層に遺物の出土がまとまりをもち、多い。土器はそのほとんどが破片である。復元できる状況で出土した土器は2個体、復元できた個体は12個体である。またこの2層下部からはIBMFとした広範囲に広がる焼土があり、これは盛土形成直前の生活面と考えられる。この盛土は西側にその広がりをもつものと考えられる。（袖岡淳子）

表Ⅵ－2　盛土B中の焼土一覧

図番号	焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm) 長軸×短軸×厚さ	色　調	出土遺物	掲載
図Ⅵ－10	IMBF 1	q－92	不整形	0.61×0.31×0.04	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
〃	2	p－93	〃	0.57×0.32×0.03	7.5YR3/4暗褐		
〃	3	〃	〃	0.62×0.16×0.02	7.5YR4/4褐		
〃	4	〃	〃	1.90×1.12×——	7.5YR3/4暗褐	Ⅲb、フレイク	
図Ⅵ－10・20	5	〃	〃	0.66×0.39×0.03	〃		◎
図Ⅵ－10	6	〃	〃	1.05×0.21×——	〃		
〃	7	〃	〃	0.73×0.15×0.03	〃		
〃	8	〃	〃	(1.20)×0.25×——	〃		
〃	9	p－94 q－94	〃	——×——×——	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐	Nc、石槍・つまみ付ナイフ・石斧片・礫	
〃	10	q－93・94	〃	——×——×——	7.5YR4/4褐	Nc、すり石片・Rフレイク・Uフレイク・礫・フレイク	

図番号	焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm) 長軸×短軸×厚さ	色　　調	出土遺物	掲載
図Ⅵ－10・20	11	r－93	〃	1.54×0.44×0.08	7.5YR3/～4/4褐～暗褐		◎
図Ⅵ－10	12	r－94	〃	3.24×1.51×——	7.5YR4/4褐	Ⅰb・Ⅳc	
〃	13	〃	〃	0.23×0.21×——	〃		
図Ⅵ10・20	14	〃	〃	0.40×0.37×0.08	7.5YR3/4暗褐	Ⅳc	◎
図Ⅵ－10	15	q－94 r－94	〃	——×——×——	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
〃	16	q－94・95	〃	——×——×——	〃		
図Ⅵ－10・20	17	q－94	〃	0.65×0.18×0.05	7.5YR3/4暗褐		◎
図Ⅵ－10	18	r－94	〃	0.52×0.20×0.02	〃		
〃	19	〃	〃	1.09×0.25×0.03	〃	Ⅳc	
〃	20	〃	〃	0.41×0.20×0.10	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
〃	21	〃	〃	0.47×0.18×0.02	7.5YR3/4暗褐		
〃	22	〃	〃	0.80×0.21×0.07	〃		
〃	23	〃	〃	0.47×0.33×0.03	〃		
〃	24	r－93・94 s－93・94	〃	——×——×0.07	〃	Ⅰb・Ⅳc	
図Ⅵ－10・20	25	s－93	〃	——×——×0.02	〃		◎
図Ⅵ－10	26	〃	〃	——×——×0.07	〃		
〃	27	〃	〃	——×——×0.07	〃		
〃	28	s－93・94	〃	——×——×0.07	〃		
〃	29	s－94	〃	——×——×0.06	〃		
〃	30	〃	〃	0.50×0.35×0.07	〃		
図Ⅵ－10・20	31	r－94	〃	0.40×0.32×0.10	〃		◎
図Ⅵ－10	32	s－94	〃	0.75×0.21×0.05	〃		
〃	33	r－94	〃	0.31×0.26×——	〃		
〃	34	〃	〃	0.26×0.21×0.02	〃		
〃	35	r－95	〃	0.32×0.12×——	〃		
〃	36	〃	〃	0.33×0.18×0.03	〃		
〃	37	〃	〃	0.47×0.22×0.04	〃		
〃	38	〃	〃	0.22×0.11×0.02	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
〃	39	〃	〃	0.32×0.24×0.05	7.5YR3/4暗褐		
〃	40	〃	〃	0.27×0.23×0.02	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
〃	41	〃	〃	0.39×0.22×0.04	7.5YR3/4暗褐	Ⅰb	
〃	42	〃	〃	0.43×0.30×0.03	7.5YR4/4褐		
〃	43	〃	〃	0.50×0.34×0.05	7.5YR3/4暗褐	礫	
〃	44	〃	〃	0.21×0.15×0.05	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
〃	45	〃	〃	0.90×0.13×0.05	7.5YR4/4褐	Ⅰb・Ⅳc	
〃	46	〃	〃	0.30×0.20×0.05	7.5YR3/4暗褐		
〃	47	q－95	〃	0.48×0.31×0.03	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
図Ⅵ－10・20	48	〃	〃	0.54×0.50×0.06	7.5YR5/8明褐	Ⅳc	◎
図Ⅵ－10	IMBF 49	q－95	不整形	0.36×0.28×——	7.5YR3/4暗褐		
〃	50	p－95	〃	0.39×0.20×0.11	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
〃	51	〃	〃	0.67×0.27×0.03	7.5YR3/4暗褐		
〃	52	〃	〃	0.36×0.24×0.10	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
〃	53	p－94	〃	0.57×0.27×0.03	7.5YR3/4暗褐		
図Ⅵ－10・20	54	p－95	〃	0.54×0.26×0.03	〃		◎
図Ⅵ－10	55	p－94	〃	0.73×0.22×0.08	7.5YR4/4褐		



図Ⅵ－20　盛土Ｂ中の焼土

盛土Ｂ出土の遺物

ｉ）土器（盛土Ｂ1層）（図Ⅵ－21～25）

Ⅳ群ｂ類の土器

【刻み目列のあるもの】　（１～31）

１・３は口唇直下の胴部中位に刻み目列をもつ深鉢で、胴部中位に無文帯のあるくびれ部をもつ。５つの波頂部をもつ波状口縁である。２は鉢で肥厚する口唇直下に２段の刻み列が認められた。４は小型の鉢で、１・３同様の器形、文様構成を呈している。口縁は３つの波頂部とその間に小さな突起をもつ。11～20、25・26は口縁部破片で、19は弧状の沈線を伴う鉢形土器、22はくびれ部を伴う深鉢のものである。26は突起をもち、入り組んだ帯縄文が認められる。21・27～31はくびれ部を伴う胴部破片で磨り消し部が認められる。75・76は貼り瘤を伴う注口土器片である。

【刻み目列に突瘤を伴うもの】　（32・33・34）

32～34は口縁部破片で、33・34は口唇内側にも沈線が認められる。

Ⅳ群ｃ類

【突瘤を伴うもの】　（５・８・46～66）

①沈線文を伴うもの

５は５つの波頂部をもつ波状口縁の深鉢である。口唇は肥厚し明瞭な切り出し状を呈する。46から55は口縁部破片で平行沈線が施されたものである。53は平行沈線と斜行沈線の組み合わせであり、口唇は明瞭な切り出し状を呈する。

②縄文のみのもの

８は深鉢で、口唇が明瞭な切り出し状を呈する。56から64は口縁部破片で、58・59は明瞭な切り出し状を呈する。

③無文のもの

65・66は口縁部破片で、65は鉢形土器である。

【沈線文のみのもの】

鉢・深鉢・浅鉢　12は浅鉢で５単位の突起をもつ。口唇は切り出し状を呈する。底部が欠失している。35から42は口縁部破片で、ほとんどは平行沈線であるが、40には曲沈線が施されている。43・45は胴～底部破片である。

壺型土器・注口土器　６は５単位の突起をもち、貼り瘤を伴う壺型土器の口顎部である。７は平縁のもので、無文帯がある。11は口頸部に平行沈線、胴部が弧状沈線に磨り消し部が認められる注口土器である。74は貼り瘤を伴う胴部破片、77～80は注口部、貼り瘤を伴い、弧状沈線と平行沈線との組み合わせである。

【縄文のみのもの】　９は小型で浅鉢である。67は口縁から底部に至るまで湾曲した深鉢である。68はやはり口縁部が内湾したもの、69はくびれ部の胴部破片である。82は底部を伴う高台部分である。

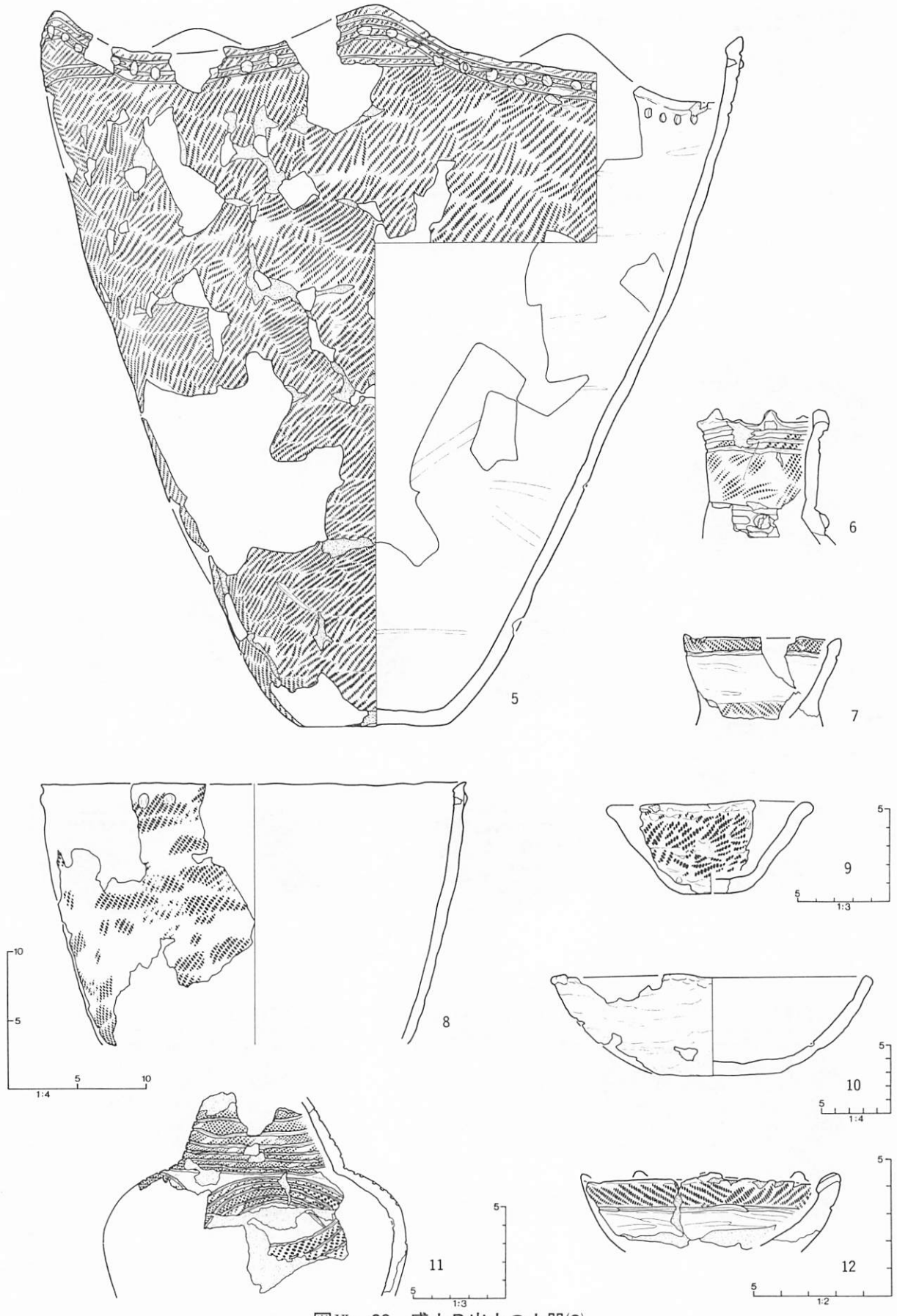
【無文のもの】　10は無文の浅鉢である。平底である。70～73は口縁部破片で、71はⅣ群ｂ類の可能性もある。81は底部破片である。

盛土Ｂ2層出土の土器（図Ⅵ－26）

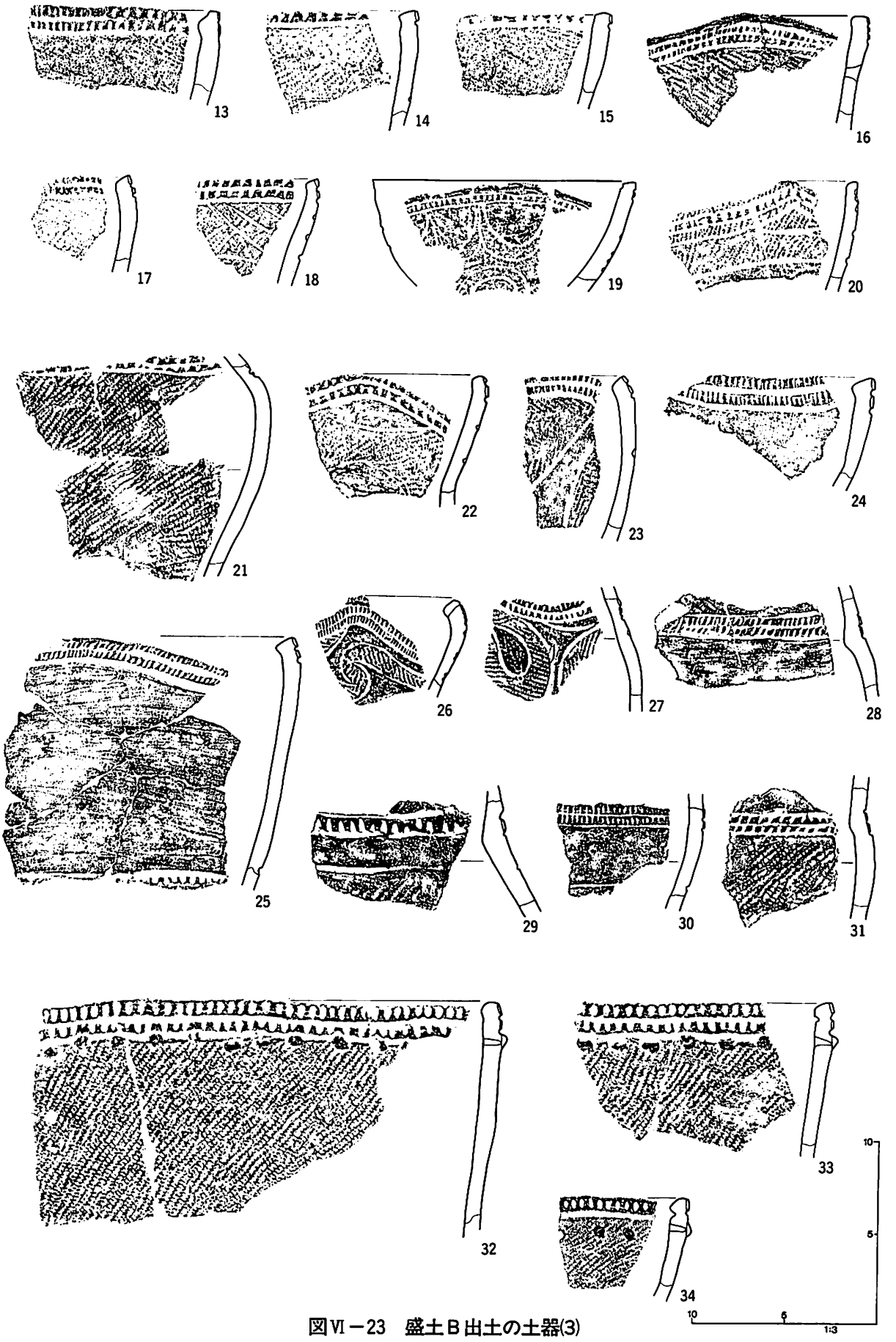
83から91はⅣ群ｂ類のもので刻み目列が認められる。90は突瘤を伴う口縁破片、91は貼り瘤を伴う胴部破片である。92から108はⅣ群ｃ類のもので、94・95・100から102・104は突瘤を伴うものである。



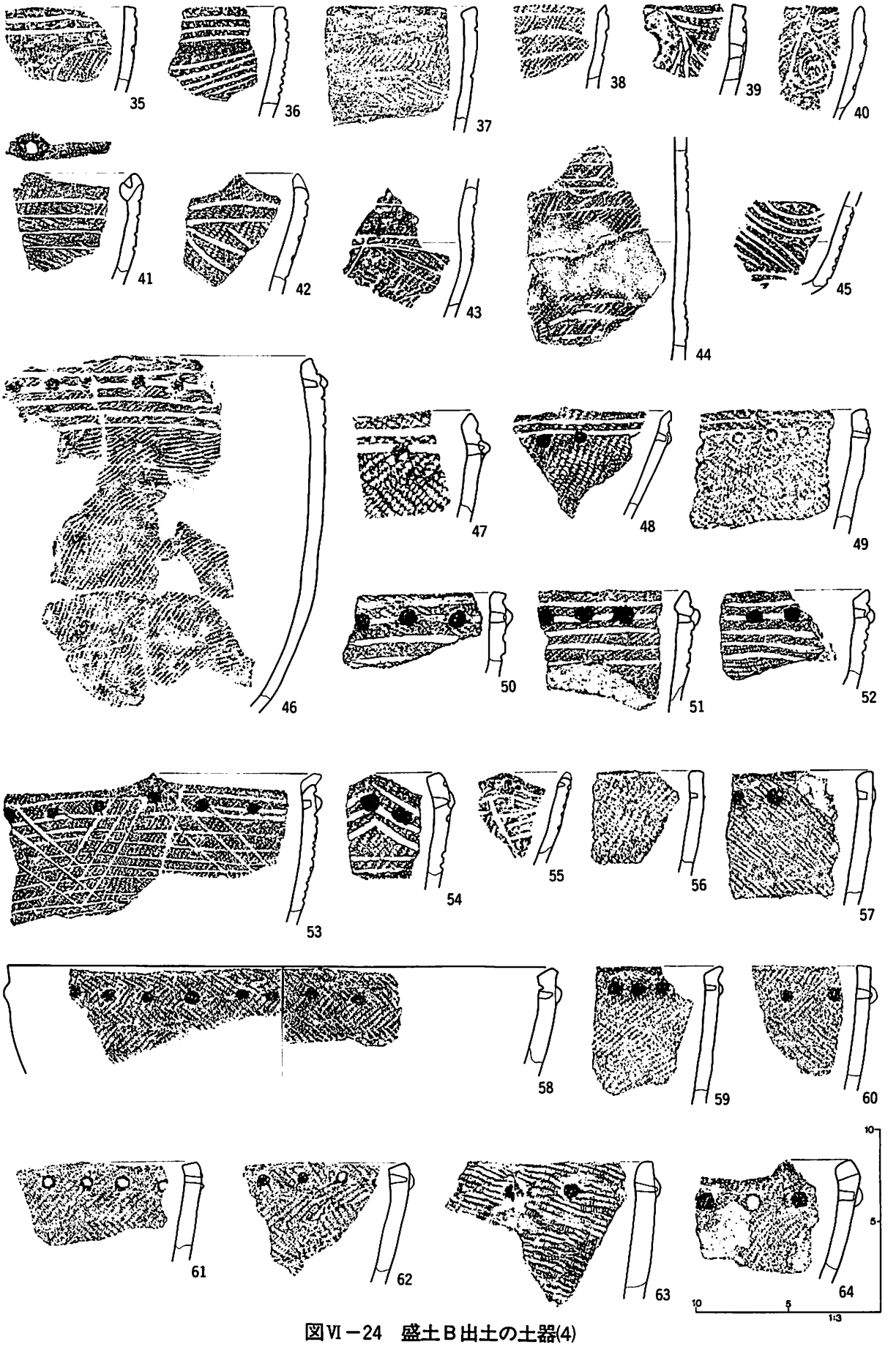
図Ⅵ－21　盛土Ｂ出土の土器(1)



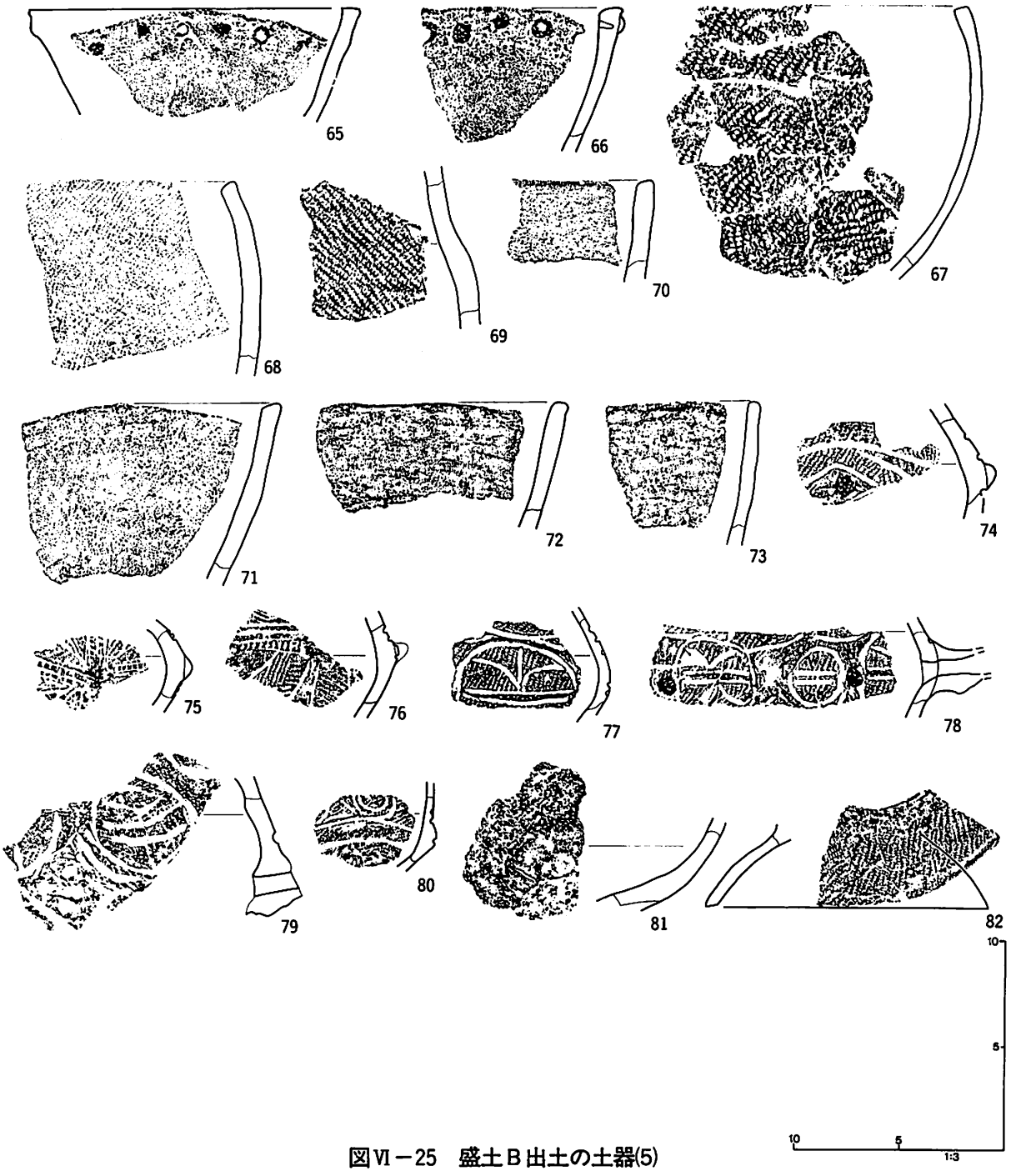
図Ⅵ－22　盛土Ｂ出土の土器(2)



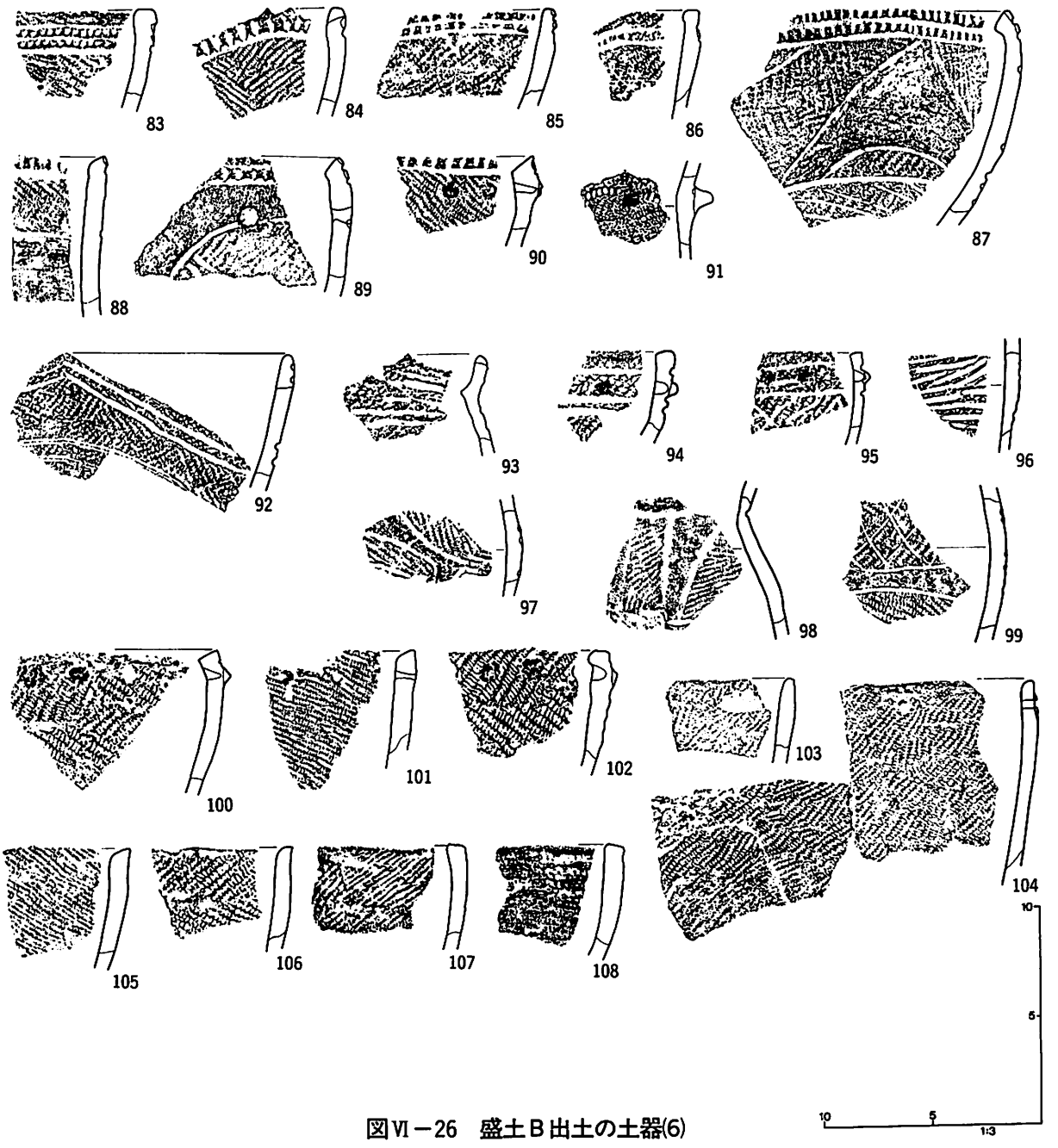
図Ⅵ－23　盛土Ｂ出土の土器(3)



図Ⅵ－24　盛土Ｂ出土の土器(4)



図Ⅵ－25　盛土Ｂ出土の土器(5)



図Ⅵ－26　盛土Ｂ出土の土器(6)

ii）**石器・石製品**（図Ⅵ１－27～30　図版Ⅵ－28）

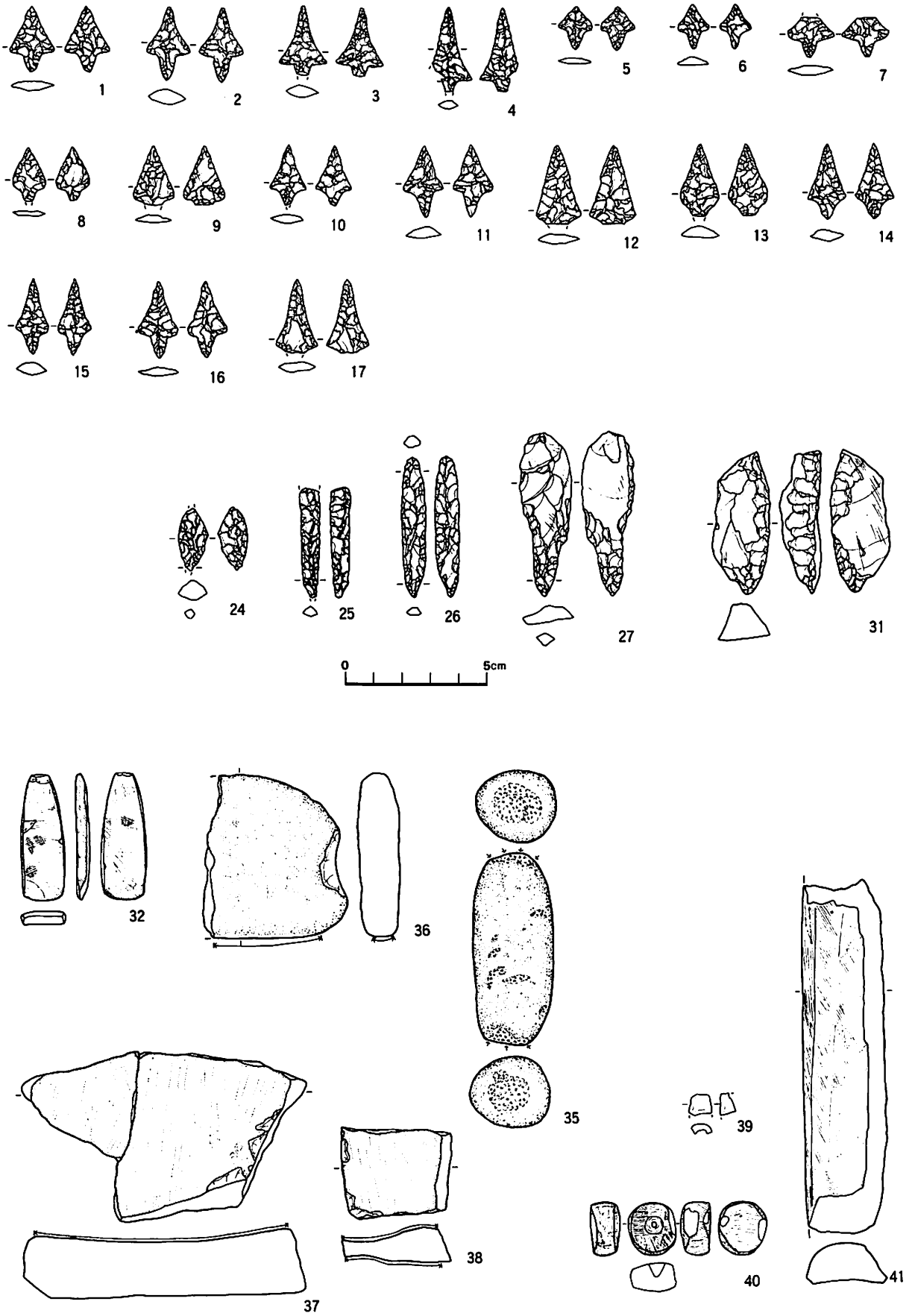
盛土Ｂから出土した石器等の総数は652点である。盛土Ｂは二層に分けて遺物を取り上げており、１層から488点、２層から84点、層位不明で盛土として取り上げた石器等は80点である。652点のうち剝片・破片は約58％、礫類が約26％と全体の84％を占めている。また１層では剝片・破片が約56％、２層が約27％、礫類では１層が約66％、２層が約27％と、ほぼ同じような出土割合を示している。定形的な石器では石鏃・石錐・つまみ付ナイフ・石斧・たたき石・砥石などが出土しており、盛土Ａ同様石鏃の出土割合が多いようである。石鏃の出土割合は、定形的な石器のうち約52％、石器全体でも約８％を占めており、その内訳は１層で約53％、２層で約50％、全体でも約９％という出土傾向を示している。なおつまみ付ナイフは細片のため図示していない。

石鏃（図Ⅵ－27・28－１～23　図版Ⅵ－28）

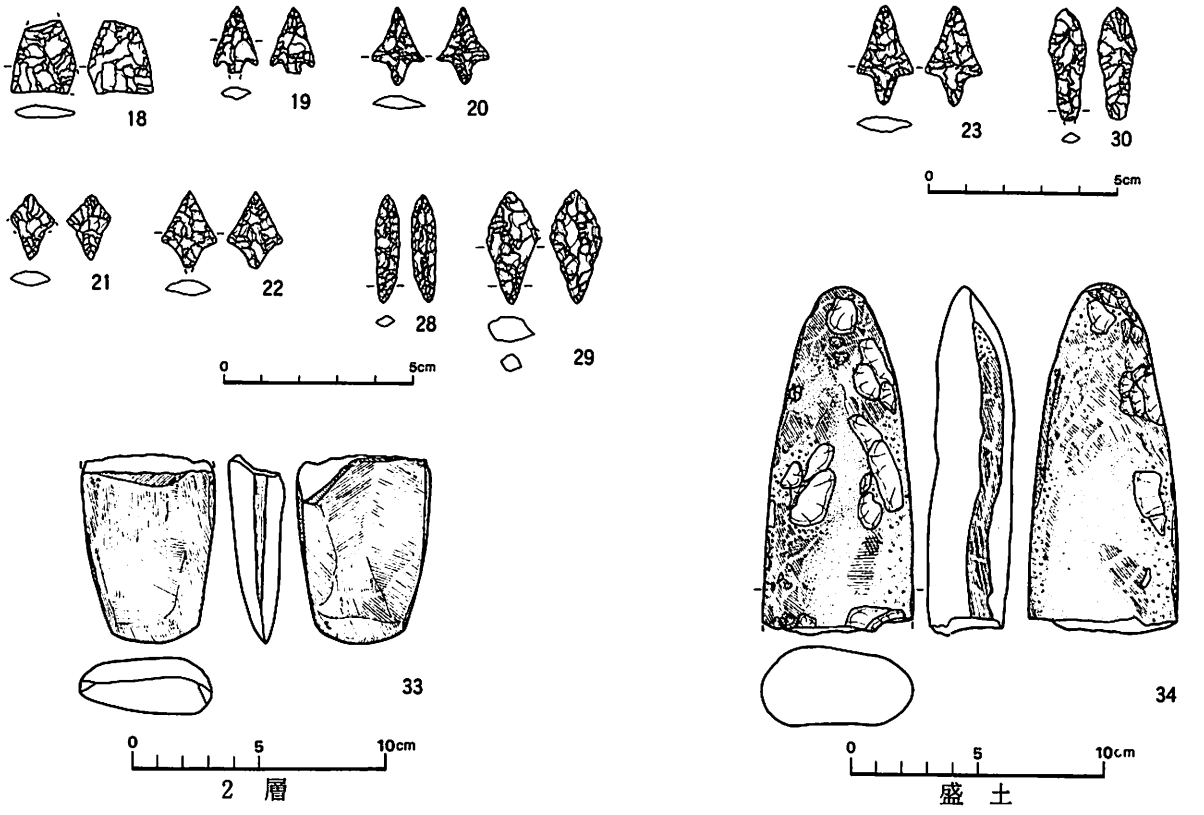
石鏃は、１層で45点、２層で８点、盛土で１点出土した。そのほとんどが有茎鏃である。このうち図示したのは、１層が17点、２層が５点、盛土が１点である。１～17は１層、18～22は２層、23は盛土から出土したものである。１～４はＩＡ４b。側縁部は、１が内湾気味、２～４は明瞭に内湾している。側面の稜線は、３が波状で、他はジグザグ状である。また３・４の茎部下半部、４の右かえしが欠損し、２・３の尖頭部が欠けている。１は裏面に礫皮面が残る。２は全体に、３は基部が肉厚で、４の表面には礫皮面が残る。５～17はＩＡ７c。側縁部は、11・14が内湾気味、６・７・10・15～17は内湾し、他は直線である。側面の稜線は、５・９・10・16が直線状、６・８が波状、他はジグザグ状である。また９・12・13・17は茎部大半、８は茎部下半部、７は基部上半部が欠損し、５・16は尖頭部、６・10は茎部下端、７・15は左かえし、６・７・14・16は右かえしが欠けている。６が裏面に剝離面が残る。８は全体に薄手で、表裏両面に大きく剝離面が残る。９は基部が薄手で、表裏両面に剝離面が残る。11は基部がやや肉厚で、右側縁部に見られる欠損は調整加工中に生じたものであろう。13は左右のかえしを丸く仕上げている。14は表面に剝離面が残り、15は基部が肉厚に作られている。16は薄手で、17は表裏両面に剝離面が残る。18はＩＡ４a。尖頭部、右かえしが欠損している。薄手で、側縁部は外に張り出し、側面の稜線はジグザグ状である。19はＩＡ７a。側縁部は直線で、側面の稜線はジグザグ状である。茎部下半部は欠損している。20はＩＡ７b。側縁部は内湾し、側面の稜線はジグザグ状である。21・22はＩＡ７c。ともに側縁部は直線、側面の稜線は直線状である。21は左右のかえしが欠損し、尖頭部は欠けている。22は茎部下半部が欠損し、右かえしが欠けている。裏面に剝離面が残る。23はＩＡ７b。側縁部は内湾気味で、側面の稜線は直線状である。尖頭部、右かえしが欠けている。石質は。２が暗灰色、17が暗黄赤色、19が茶灰色の頁岩、他はすべて黒曜石である。

石錐（図Ⅵ－27・28－24～30　図版Ⅵ－28）

石錐は、１層で５点、２層で３点、盛土で１点出土している、このうち図示したのは、１層が４点（24～27）、２層が２点（28・29）、盛土が１点（30）である。24～30はⅡＡ３。24～26は刺突部先端を欠く。24はつまみ部が肉厚、25は基部上面に打面が残る。26は基部下半の表裏両面に剝離面が残る。27は基部上端面に打面があり、表裏両面に剝離面が残る。24～26の基部と27の刺突部側面の稜線はジグザグ状である。28・29は刺突部先端を欠き、側面の稜線はジグザグ状である。29は基部の表裏両面に剝離面が残る。30は刺突部先端を欠き、側面の稜線はジグザグ状である。基部表面に礫皮面が残る。石質は、25が暗灰色、26が黒灰色、27・29が暗黄赤色の頁岩、他は黒曜石である。



図Ⅵ－27　盛土Ｂ出土の石器(1)（１層）



図Ⅵ－28　盛土Ｂ出土の石器(2)（２層・盛土）

スクレイパー（図Ⅵ－27－31　図版Ⅵ－28）

スクレイパーは１層で６点出土し、このうち１点を図示した。31はⅢＢ６。肉厚で、表面に礫皮面、裏面に剝離面が残る。両側縁を調整し、とくに右側縁部は丁寧に調整加工し、刃部を作り出している。石質は黒曜石である。

石斧（図Ⅵ－27・28－32～34　図版Ⅵ－28）

石斧は、１層で11点、２層で２点、盛土で１点出土し、各層１点ずつ図示した。32・33はⅣＡ５。34はⅣＡ８。32は基部上端を欠く。表裏両面ともほぼ全面丁寧に研磨されている。33は基部が欠損し、割れ面の角が一部研磨されている。34は刃部が欠損し、素材の凹凸、割れがそのまま残っているが、凸部分は丁寧に研磨されているようである。石質は、すべて緑色泥岩である。

たたき石（図Ⅵ－27－35　図版Ⅵ－28）

たたき石は１層で４点出土しており、このうち１点を図示した。35はⅤＡ１。棒状礫の上・下端にたたき痕が見られる。石質は安山岩である。

すり石（図Ⅵ－27－36　図版Ⅵ－28）

すり石は１層で２点出土しており、このうち１点を図示した。36はⅥＡ２。左半部は欠損している。偏平礫を素材とし、下面に帯状のすり面がある。側縁を打ち欠いている。石質は片麻岩である。

砥石（図Ⅵ－27－37～38　図版Ⅵ－28）

砥石は、1層で3点、盛土で1点出土しており、このうち1層の2点を図示した。37・38はⅦB2。37は表面に研磨面があり、表面の右割れ面に被熱痕が見られる。q－94Ⅴ層出土の破片と接合した。38は大きさは不明であるが、表裏両面に研磨面をもつ。石質は、ともに砂岩である。

石製品（図Ⅵ－27－39～41　図版Ⅵ－28）

石製品は1層で3点出土している。39は管状のものであるが、小破片のため全体は不明である。貫通孔が見られる。石質は不明。40は垂飾である。孔は貫通していない。未製品の可能性がある。左側縁に礫皮面が残り、右側縁は一部欠けている。石質はカンラン岩。41は石棒の破片で、石質は片岩である。

盛土B中焼土の出土遺物

ⅰ）IMBF9の出土の土器（図Ⅵ－29・30）

Ⅳ群B類（11から16）　11から15は口縁部破片で、刻み目列が認められる。いずれも口唇は明瞭な切り出し状を呈する。16は胴部に刻み目列に貼り瘤を伴うものである。

Ⅳ群c類（1～10、17）

【突瘤を伴うもの】　1から5は縄文に突瘤を伴うもので、1は口唇が丸みをもった深鉢である。

【縄文のみのもの】　6から8は口縁部破片で、8は口唇が切り出し状を呈する。18・19は胴部破片である。

【無文のもの】　9は口縁が内傾する。10は胴部破片である。

【沈線文のもの】　17は注口土器の胴部破片である。弧状の沈線と磨り消しの組み合わせである。

Ⅳ群以外のもの　20はⅠ群b類のもので、混入の可能性がある。

IMBF12　22は縄文の口縁部破片であり、やや内傾している。

IMBF24　23・24は突瘤を伴う口縁部破片で、Ⅳ群c類の土器である。23は無文、24は沈線文との組み合わせである。

IMBF2　鋸歯状沈線文が主体のⅣ群c類土器の胴部破片である。

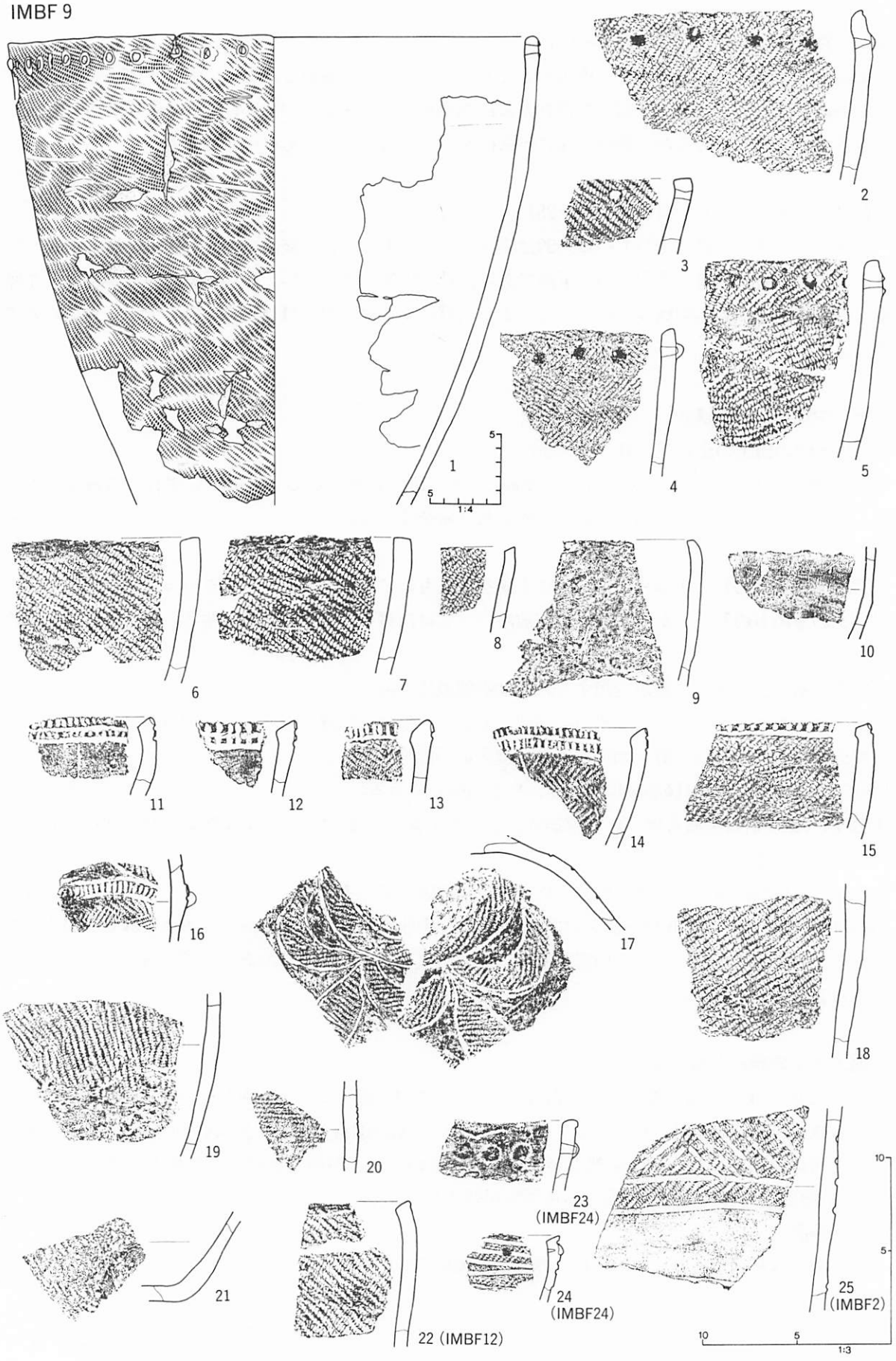
IMBF10　26・27はⅣ群b類土器の口縁部で、刻み目列が認められる。28から36はⅣ群c類の土器で、28から30は突瘤と縄文からなる口縁部破片、31は無文との組み合わせである。32は縄文のみの口縁部、33から36は底部破片である。

盛土出土の赤彩土器（図Ⅵ－90）

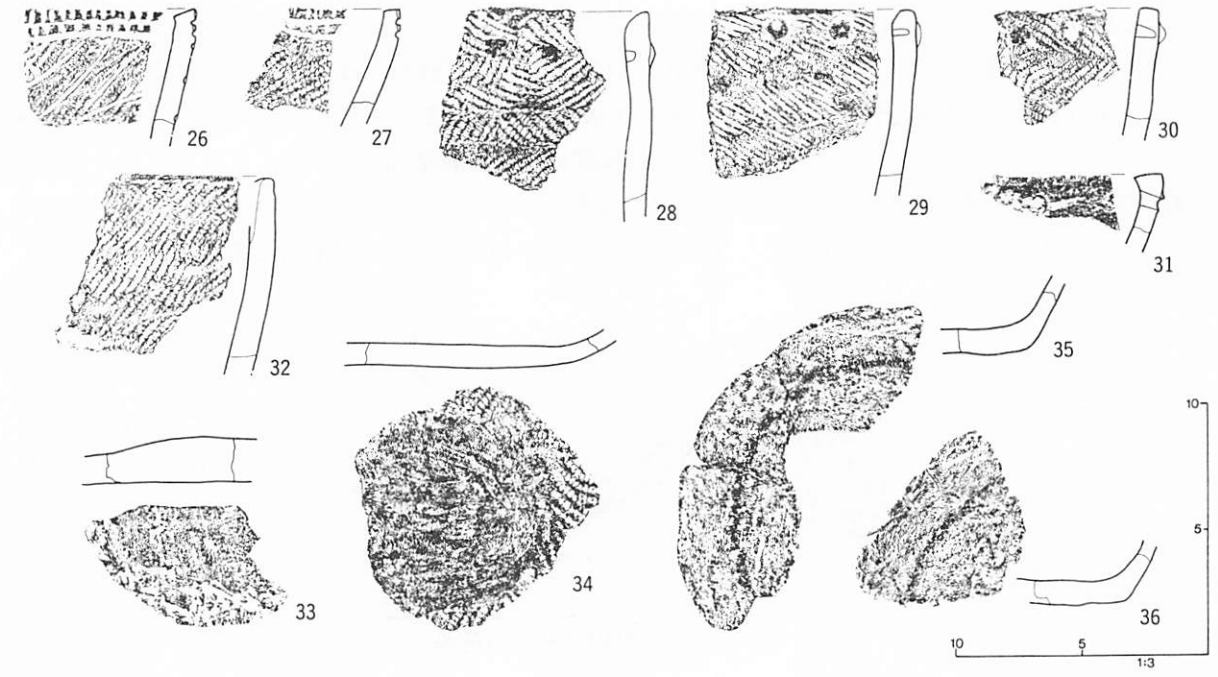
207・208・209はⅣ群c類の赤彩土器である。207は胴部破片で、微隆線とその間にハの字状の刻み列が施され、貼り瘤が付されている。微隆線に沿って赤色顔料が残っている。208はくびれ部をもつ注口土器の一部と思われる。胴部上半には取っ手状の突起、微隆線状には貼り瘤が付されている。209は胴部破片で磨り消しの表面に赤色顔料が残されている。

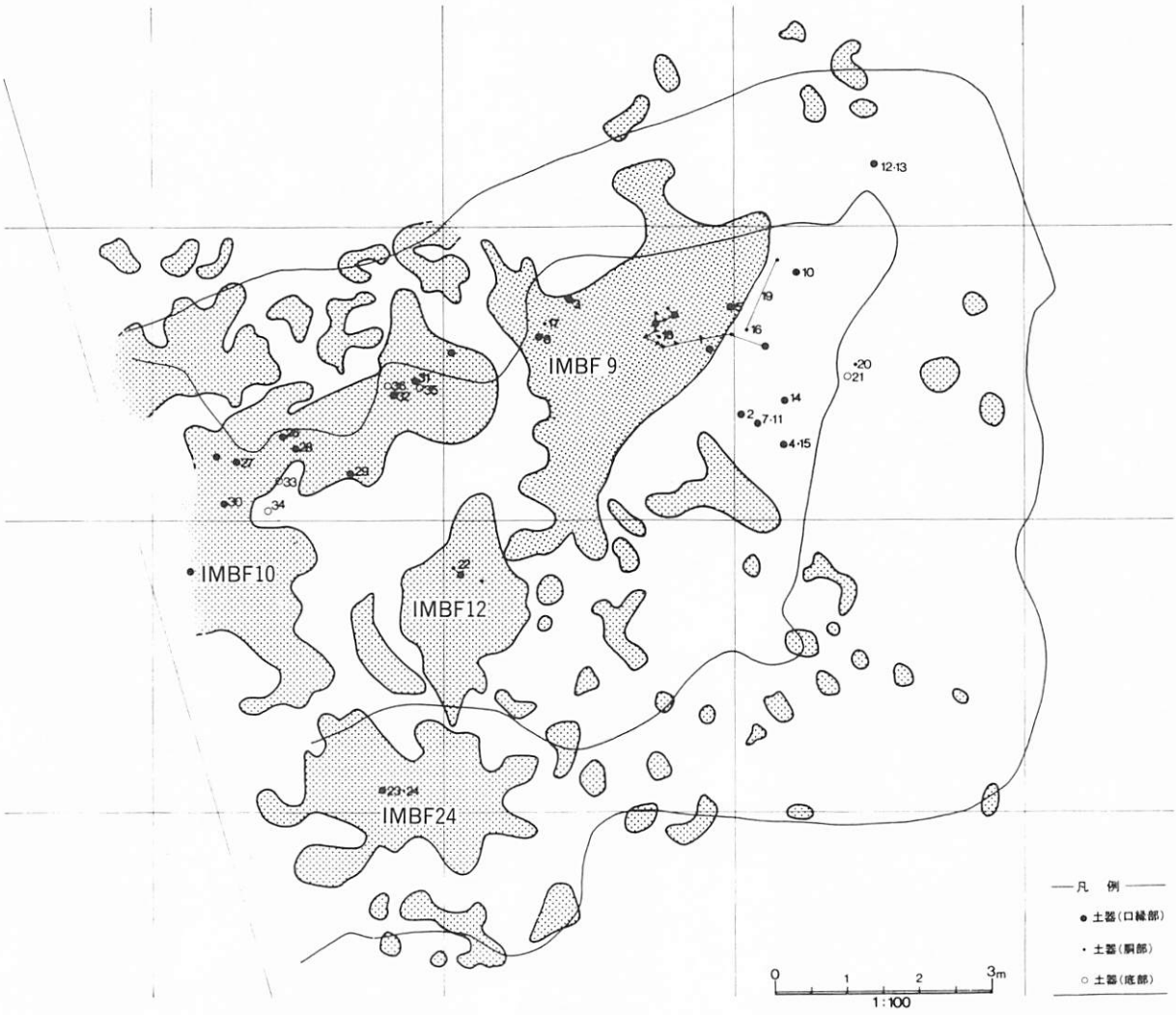
ⅱ）土製品

210、211は耳栓である。213～215は棒状の土製品の一部である。



図Ⅵ－29　盛土Ｂ焼土出土の土器(1)

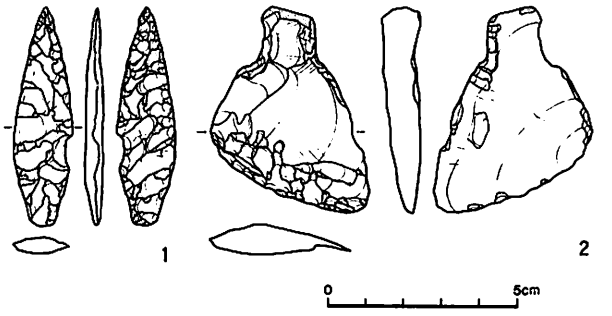




図Ⅵ－30　盛土Ｂ焼土(IMBF10)出土の土器(2)及び接合関係図

iii）**石器**（図Ⅵ－31　図版Ⅵ－29）

盛土Ｂ中の焼土からは、IMBF４・９・10・43の焼土中で石槍またはナイフ・つまみ付ナイフ・石斧・すり石などが17点出土しているが、剝片・破片・礫類が多く、ここではIMBF９の２点を図示した。１は石槍またはナイフで、ＩＢ２。左側縁部の欠けは調整加工中に生じたものと思われる。側面の稜線はジグザグ状で、表裏両面とも丁寧に調整加工されている。石質は黒曜石。２はつまみ付ナイフで、ⅢＡ３。下端を調整加工し、刃部を作り出している。石質は黒曜石である。



図Ⅵ－31　IMBF9出土の石器

(2) 土　壙

ILP1（図Ⅵ－32・33　図Ⅵ－6・7・29）

位　置　v－100・101　標高10.80m付近の平坦面に位置している。

規　模　1.90m／1.40m×1.66m／1.26m×0.66m　**平面形**　隅丸長方形状　**長軸方向**　N-5°-W

確認・調査　v－100・101周辺の包含層調査中、Vb層上面付近で掘り揚げ状の土（En-a＋暗褐色土）がドーナツ状に広がっているのが確認された。遺構が想定されたことから土層観察用の土手を設定し、掘り揚げ状の土に囲まれた暗褐色土≫En-aから順次掘り下げ、調査を行った。

覆　土　覆土は全体にVb層、Ⅶ層、En-aがまじり合った土である。中央部付近では黒褐色土とEn-aがまじり合った土（上層は堅く、下層は軟質）が約30cmほど落ち込んでいる。他はEn-aの多少、堅い部分と軟質の部分という違いは見られるが、ほぼ同質の埋め戻し状の土である。壙底直上には褐色土＋黄色土（En-aを多量に混入）の堅い土が約10cmほど堆積している。

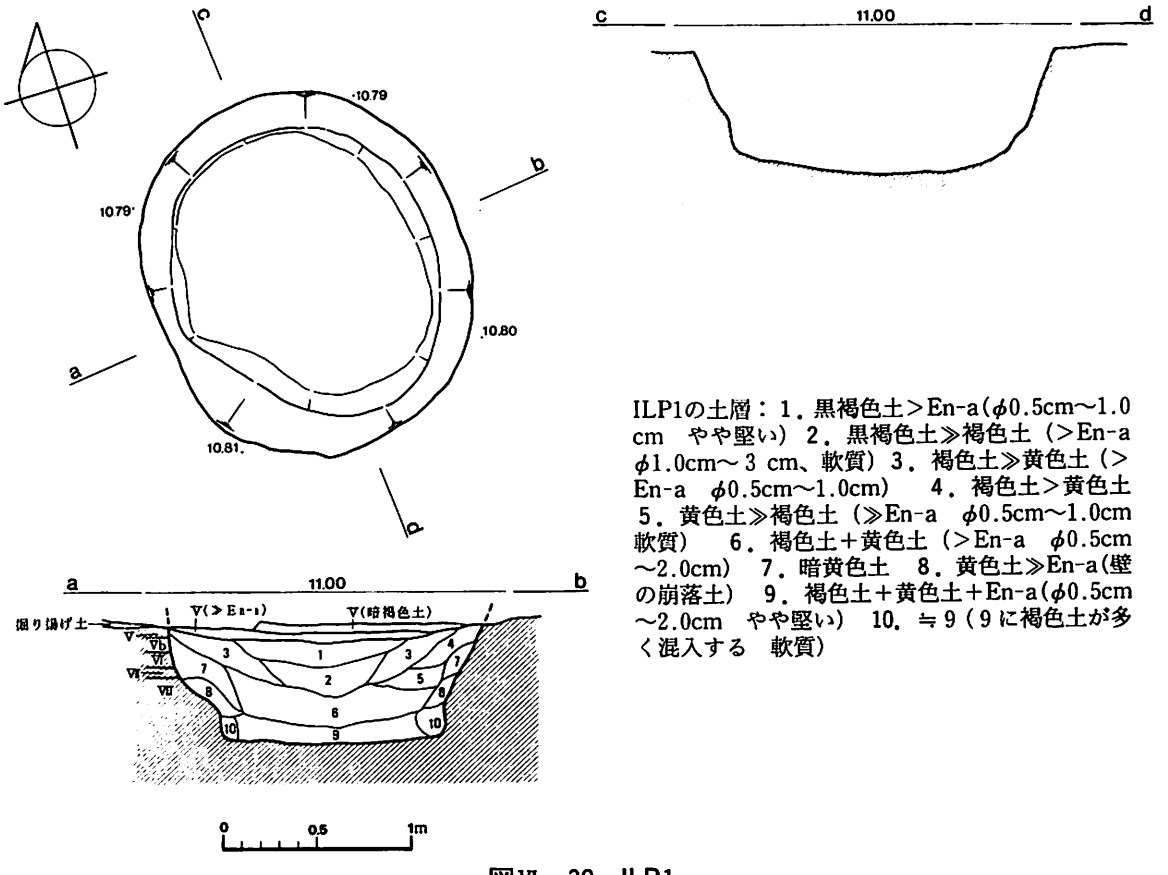
壙　底　Ⅷ層を深く掘り込んで構築している。ほぼ平坦で、堅い。

壁　壙底直上付近でわずかにオーバーハングし、外傾しつつ緩やかに立ち上がっている。

遺物出土状況　壙口付近でフレイク1点、土層図2下層でⅣ群c類の土器片、石斧片が各1点出土しただけで、まとまった出土状態ではない。

性　格　覆土がILP3の堆積状態と酷似していることなどから考えると、貯蔵穴に類するものと思われる。

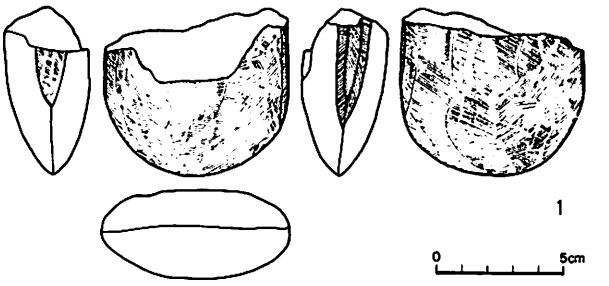
時　期　周辺包含層出土の遺物、掘り込み面（Va層中）などから、Ⅳ群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期のものと思われる。



ILP1の土層：1．黒褐色土＞En-a(φ0.5cm～1.0cm　やや堅い)　2．黒褐色土≫褐色土（＞En-a　φ1.0cm～3 cm、軟質）　3．褐色土≫黄色土（＞En-a　φ0.5cm～1.0cm）　4．褐色土＞黄色土　5．黄色土≫褐色土（≫En-a　φ0.5cm～1.0cm　軟質）　6．褐色土＋黄色土（＞En-a　φ0.5cm～2.0cm）　7．暗黄色土　8．黄色土≫En-a(壁の崩落土)　9．褐色土＋黄色土＋En-a(φ0.5cm～2.0cm　やや堅い)　10．≒9（9に褐色土が多く混入する　軟質）

図Ⅵ－32　ILP1

なお周辺に見られる掘り揚げ状の土がILP3の掘り揚げ状の土の上にのっていることから見て、若干の時間差（ILP3より新しい）がある模様である。



図Ⅵ－33　ILP1出土の石器

遺　物　石器　1はⅣA5。覆土2層出土。基部の大半を欠損する。刃部、残存する基部、側縁部はきわめて丁寧に研磨されている。肉厚のものと思われる。使用痕は見られない。石質は緑色泥岩である。

ILP2（図Ⅵ－34　図版Ⅵ－6・7）

位　置　x－102－a、b　**規　模**　2.73m×1.88m×0.90m　**平面形**　楕円形　**長軸方向**　N-74°-E

確認・調査　事前調査によってILP3の存在やその掘り揚げ土はすでに確認されていた。この遺構を調査するにあたって周囲の調査を行ったところ、ILP1、ILP2が確認された。Ⅴ層の確認面では明瞭に広がる掘り揚げ土と暗色土が落ち込む土壙の様子が確認された。半截を行ったところ、壁面から底部にかけてややオーバーハングする形態を持つ土壙であることが確認された。これはILP3のフラスコ状ピットに近い形状に作られたと考えられる。

覆　土　覆土の堆積状況は自然に埋没したことを示している。

壙　底　壙底面は平坦で締まりがある。

性格・時期　確認面や規模、覆土や掘り揚げ土の状況から、この土壙はILP3とほぼ同じ時期に構築され、同様の性格をもつ遺構と考えられる。

この土壙について性格をより具体的に判明させるため、残存脂肪酸分析を依頼した。（袖岡淳子）

ILP3（図Ⅵ－35～37　図版Ⅵ－6・7）

位　置　w－100　標高10.75m付近の平坦地に位置している。

規　模　3.30m／2.45m×2.80m／1.83m×1.22m　**平面形**　長円形状　**長軸方向**　W-E

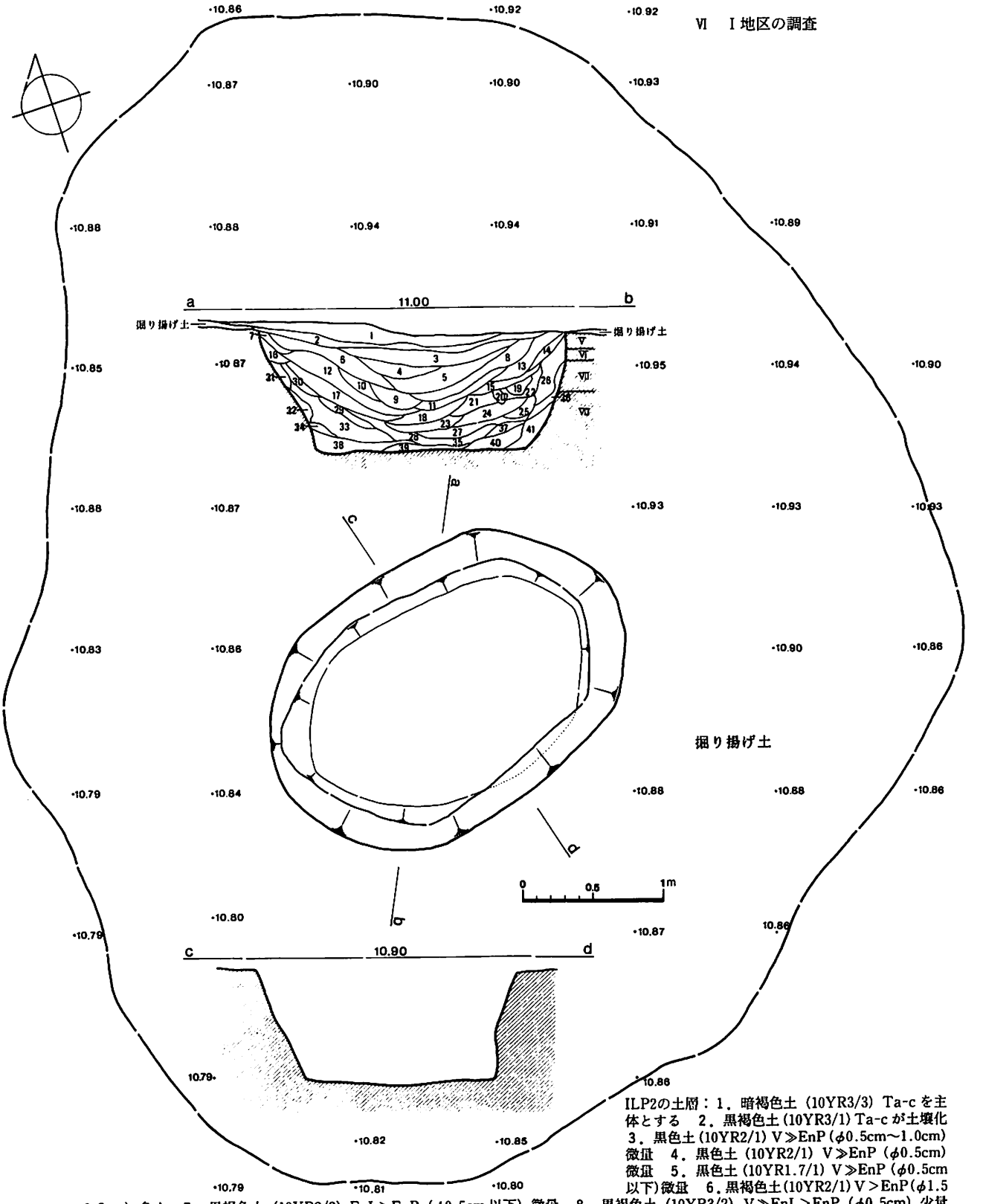
確認・調査　w－100周辺の包含層調査中、Ⅴ層上面付近でコの字状に広がる掘り揚げ状の土が確認された。このため土層観察用の土手を設定し、掘り揚げ状の土に囲まれたTa-c、Ⅴ層から順次掘り下げ、調査を行った。

覆　土　覆土は大きく六層に分けられる。覆土1層（土層図1）はⅤa≫En-a、覆土2層（土層図2・3）は軟質で、En-aのまじるⅤa＞黄色土、覆土3層（土層図6）は黒色土で、En-aが混入している。覆土4層（土層図7・9・14・15）はEn-aが混入する褐色土＋黄色土の混合土である。覆土5層（土層図19）は褐色土、黄色土、En-aがまじり合ったボソボソの土である。焼土まじりの黒褐色土がブロック状に混入している。この焼土はⅤb層上面付近に見られるものである。覆土6層（土層図20）は壙底直上に5cm～10cmほど堆積する淡褐色粘質土である。覆土4・5・6層は埋め戻し状の土で、覆土1・2・3層は流れ込みのものと思われる。

壙　底　Ⅷ層を深く掘り込んで構築している。ほぼ平坦である。

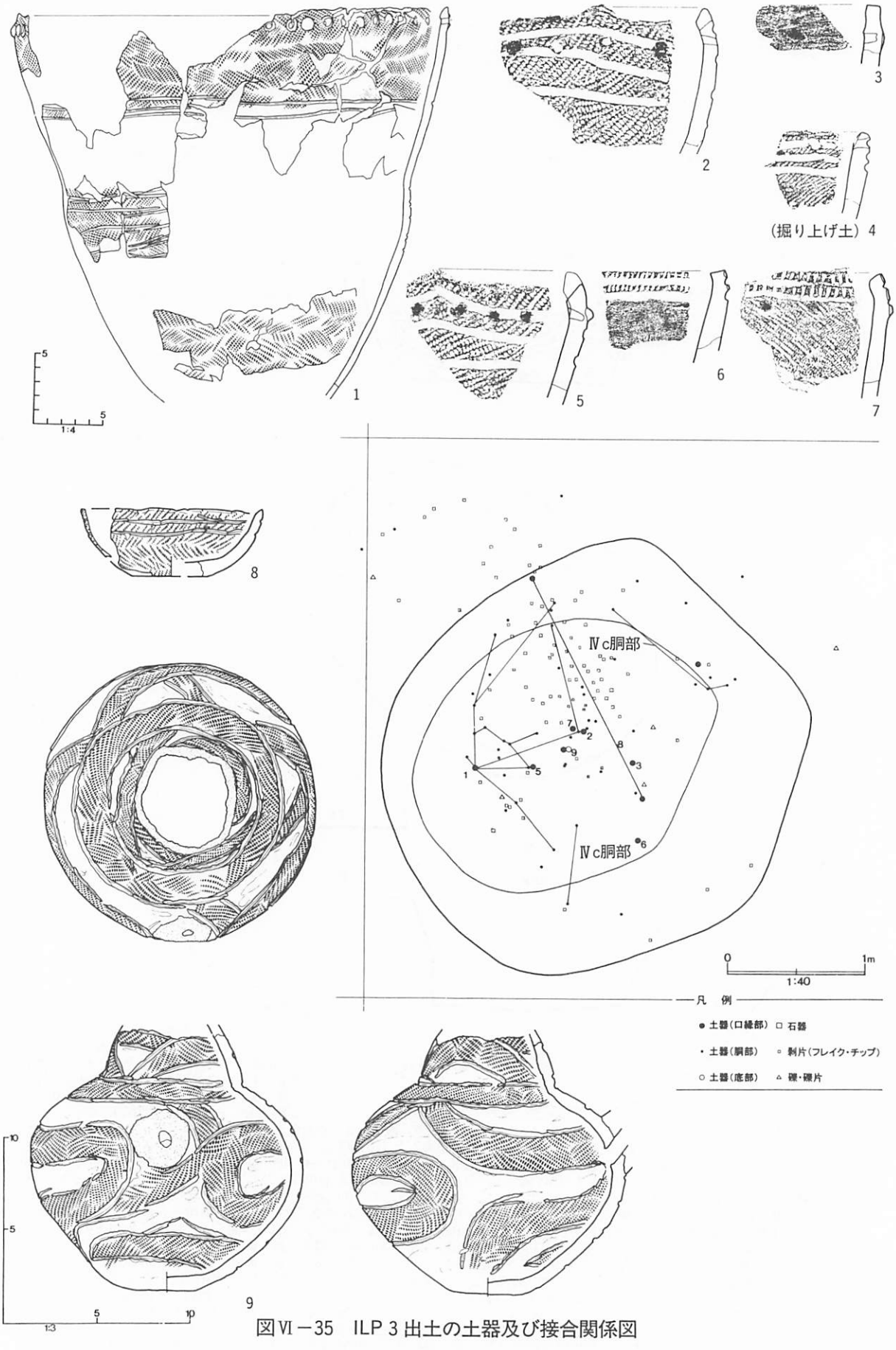
壁　壙底付近から内傾気味に立ち上がり、中程から大きく外傾し、開口している。

遺物出土状況　出土遺物総数は1,075点である。このうち土器は225点、石器などは850点である。土器はⅠ群b類のものが1点、Ⅳ群c類のものが221点、不明土器が3点出土しており、石器は石斧片1点、フレイク844点などが出土している。覆土1～2層中でフレイクが多く出土しているが、まとまった出土状態ではない。西壁際の覆土2層中に流れ込んだ状態で一個体分の土器（図Ⅵ－35・



ILP2の土層：1．暗褐色土（10YR3/3）Ta-cを主体とする　2．黒褐色土（10YR3/1）Ta-cが土壌化　3．黒色土（10YR2/1）V≫EnP（φ0.5cm～1.0cm）微量　4．黒色土（10YR2/1）V≫EnP（φ0.5cm）微量　5．黒色土（10YR1.7/1）V≫EnP（φ0.5cm以下）微量　6．黒褐色土（10YR2/1）V＞EnP（φ1.5cm～0.5cm）多く　7．黒褐色土（10YR2/3）EnL＞EnP（φ0.5cm以下）微量　8．黒褐色土（10YR3/2）V≫EnL＞EnP（φ0.5cm）少量　9．黒褐色土（10YR2/1）V＞EnP（φ1.0cm～0.5cm）多く　10．暗褐色土（10YR3/3）V＞EnL＋EnP（φ0.5cm）多く　11．黒褐色土（10YR2/1）V≫EnP（φ1.0cm～0.5cm）少量　12．暗褐色土（10YR3/4）V＋EnL＞EnP（φ0.5cm以下）少量　13．暗褐色土（10YR3/3）V＞EnL＞EnP（φ0.3cm以下）少量　14．黒褐色土（10YR2/3）V＞EnL　15．暗褐色土（10YR3/3）V＞EnL＞EnP（φ0.3cm）少量　16．暗褐色土（10YR3/4）V＞EnL壁崩落土　17．暗褐色土（10YR3/3）V＞EnL＞EnP（φ0.5cm）少量　18．黒褐色土（10YR2/3）V＞EnL＞EnP（φ0.5cm）少量　19．暗褐色土（7.5YR3/4）焼土ブロック　20．褐色土（7.5YR4/4）焼土ブロック　21．暗褐色土（10YR3/3）V＋EnL＞EnP（φ0.3cm以下）微量　22．黒色土（10YR2/1）23．黒褐色土（10YR2/3）V＞EnL＞EnP（φ1.0cm）少量　24．暗褐色土（10YR3/4）V＋EnL＞EnP（φ1.0cm～0.5cm）多く　25．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnL≫EnP（φ0.5cm）微量　26．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnL≫V＞EnP（φ0.3cm以下）微量　27．褐色土（10YR4/4）EnL≫V＞EnP（φ0.3cm以下）微量　28．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnL＞V＞EnP（φ0.5cm）少量　29．灰黄褐色土（10YR4/2）EnL＞V　30．暗褐色土（10YR3/4）V＋EnL　31．褐色土（10YR4/4）EnLを主体とする　32．褐色土（10YR4/4）EnL≫EnP（φ0.5cm）微量　33．褐色土（10YR4/6）EnL≫EnP（φ0.5cm）少量　34．褐色土（10YR4/4）EnP≫EnL脆い　35．黒褐色土（10YR2/3）V＞EnP（φ1.0cm～0.5cm）多く＞EnL炭化材を含む　36．褐色土（10YR4/4）EnL≫V　37．褐灰色土（10YR4/1）V＋EnL＋EnP（φ0.5cm）多く　38．灰黄褐色土（10YR4/2）V＋EnL＋EnP（φ0.3cm）多く　締りのある土　39．暗褐色土（10YR3/4）V＞EnL＋EnP（φ1.0cm～0.5cm）多く　やや締りのある土　40．褐灰色土（10YR4/1）EnL＞V＋EnP（φ1.0cm）多く　締りのある土　41．褐色土（10YR4/4）EnP≫EnL　脆い

図Ⅵ－34　ILP 2



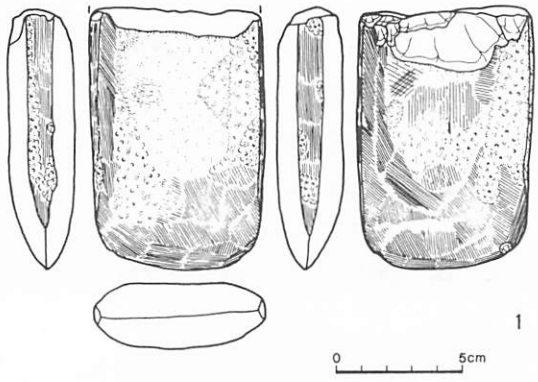
図Ⅵ－35　ILP 3 出土の土器及び接合関係図

36　図版Ⅵ－7・26）が出土している。また中央部の覆土3層直上でほぼ完形の注口土器が横倒しの状態で一個体出土している（図6－35・36　図版Ⅵ－7・26）。ともに本遺構が放棄された後、流れ込んだものであろう。壙底直上付近で土器片（Ⅳc）が1点出土している。

性　格　断面形から見て、フラスコ状ピットと思われ、貯蔵穴と考えられる。

時　期　覆土や周辺包含層出土の遺物、掘り込み面などから見て、Ⅳ群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期のものと思われる。

なお覆土5層中に混入している焼土は本来Vb層上面付近にあるもので、Vb層を切って構築しているが、盛土遺構との新旧関係は明らかでない。また掘り揚げ状の土の堆積状態から、本遺構はILP1より古いものである。



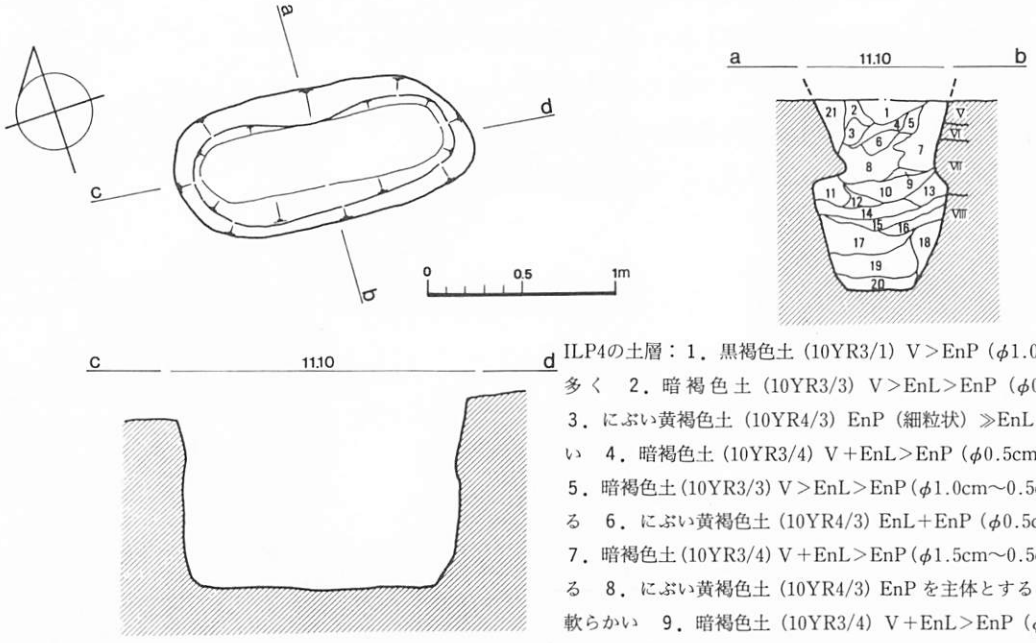
図Ⅵ－37　ILP3出土の石器

遺　物　土器

土器

Ⅳ群b類の土器　6は2列の刻み目、7は刻み目に突瘤を伴う口縁部破片である。

Ⅳ群c類の土器　1は突瘤を伴う深鉢で、胴部中位にはくびれ部と無文帯が見られる。2・3・4・5は口縁部破片で、3は無文、他は平行沈線と突瘤との組み合わせである。8は小型の浅鉢で平行沈線が施されている。9は注口土器で覆土中層より出土した。注口部分と口縁部を欠失している。縄文が沈線によって区画された帯縄文と磨り消しとの組み合わせである。



ILP4の土層：1．黒褐色土（10YR3/1）V＞EnP（φ1.0cm～0.5cm）多く　2．暗褐色土（10YR3/3）V＞EnL＞EnP（φ0.5cm）少量　3．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnP（細粒状）≫EnL＋V　軟らかい　4．暗褐色土（10YR3/4）V＋EnL＞EnP（φ0.5cm）少量　締る　5．暗褐色土（10YR3/3）V＞EnL＞EnP（φ1.0cm～0.5cm）多く　締る　6．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnL＋EnP（φ0.5cm）やや締る　7．暗褐色土（10YR3/4）V＋EnL＞EnP（φ1.5cm～0.5cm）多く　締る　8．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnPを主体とする　締りがなく軟らかい　9．暗褐色土（10YR3/4）V＋EnL＞EnP（φ1.0cm～0.5cm）少量　10．黒褐色土（10YR2/2）V≫EnL＞EnP（φ0.3cm）微量　11．灰黄褐色土（10YR4/2）V＋EnP（φ2.0cm～0.5cm）密＞EnL軟らかい　12．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnPを主体とする　締りがなく軟らかい　13．暗褐色土（10YR4/3）V＋EnL＋EnP（φ0.5cm）少量　締りのある土　14．灰黄褐色土（10YR2/2）EnL≫V＞EnP（φ0.3cm）微量　15．褐灰色土（10YR4/1）EnL＋EnP（φ2.0cm～0.5cm）多く　締る　16．灰黄褐色土（10YR4/2）EnL＞V＞EnP（φ0.5cm）少量　締る　17．灰黄褐色土（10YR4/2）EnL≫V＞EnP（φ0.5cm）微量　軟らかい　18．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnP（細粒化）を主体とする　19．褐色土（10YR4/4）EnL＋EnP軟らかく締りがない　20．黒褐色土（10YR2/3）　21．暗褐色土（10YR3/4）EnL＋V　壙口の崩落土

図Ⅵ－38　ILP4

石　器　1はⅣA4。覆土2層出土。基部上半部を欠損する。表裏両面の中央付近に自然面が残り、刃部は丁寧に研磨されている。刃縁には使用痕が見られる。石質は緑色泥岩である。

ILP4（図Ⅵ－38　図版Ⅵ－8）

位　置　o－100－d　**規　模**　1.56m×0.73m×1.00m　**平面形**　楕円形　**長軸方向**　N-83°-W

確認・調査　Ⅴ層を掘り下げていたところ、En-a・Pを含む暗褐色で長細い楕円形の広がりを確認した。半截し、土層の断面観察の結果、土壙であることを確認した。プランは、覆土で確認した形と同じ楕円形である。

覆　土　覆土は人為的に埋め戻しされたものと考えられる。

壙　底　壙底部は締まりがあり平坦である。

壁　壙口部に近い壁面、Ⅷ層の上部から底部にかけて若干オーバーハングする形態をもつ。

性　格　遺物、遺体の痕跡などは確認されなかったが、覆土の堆積状態などから見て土壙墓かと考えられる。

時　期　縄文時代後期と考えられる。

この土壙についてその性格をより具体的に判明させるため残存脂肪酸分析を依頼した。（袖岡淳子）

ILP5（図Ⅵ－39　図版Ⅵ－8）

位　置　x－106・107　標高11.06m付近の平坦地に位置している。

規　模　1.76m／1.24m×0.74m／0.31m×0.72m　**平面形**　長楕円形状　**長軸方向**　N-57°-W

確認・調査　x－106・107周辺の包含層調査中、Vb層上面付近で黒色土の広がりとEn-aまじりの暗褐色土の落ち込みを検出した。半截し、調査を行った。

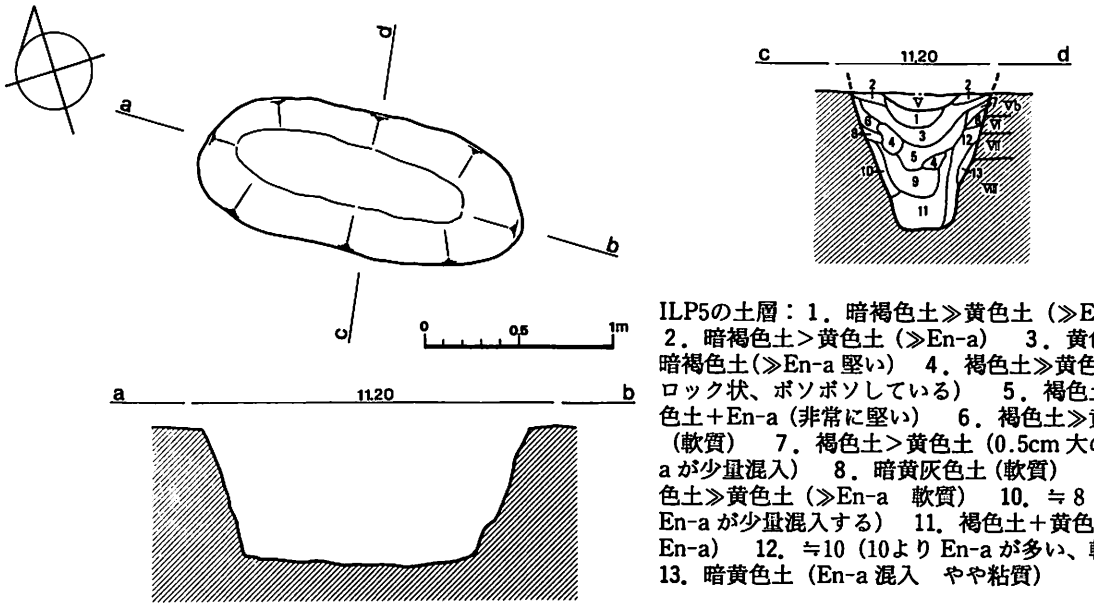
覆　土　覆土は褐色土、黄色土、En-aがまじり合った土で、ほぼ壙底直上付近まで堆積している。土層図1・2・3・7・8・9以外は埋め戻し状の土である。

壙　底　Ⅷ層を深く掘り込んで構築している。ほぼ平坦で、堅い。

壁　壙底から緩やかに外傾しつつ立ち上がっている。

遺物出土状況　覆土、壙底付近から遺物は出土していない。

性　格　覆土の堆積状態から考えると、土壙墓の可能性がある。



ILP5の土層：1．暗褐色土≫黄色土（≫En-a）　2．暗褐色土＞黄色土（≫En-a）　3．黄色土≫暗褐色土（≫En-a 堅い）　4．褐色土≫黄色土（ブロック状、ボソボソしている）　5．褐色土＋黄色土＋En-a（非常に堅い）　6．褐色土≫黄色土（軟質）　7．褐色土＞黄色土（0.5cm大のEn-aが少量混入）　8．暗黄灰色土（軟質）　9．褐色土≫黄色土（≫En-a　軟質）　10．≒8（8にEn-aが少量混入する）　11．褐色土＋黄色土（＞En-a）　12．≒10（10よりEn-aが多い、軟質）　13．暗黄色土（En-a混入　やや粘質）

図Ⅵ－38　ILP5

時　期　覆土上にⅤ層の黒色土が見られ、掘り込み面がⅤb層上面付近と考えられることなどから見て、縄文時代後期後葉の時期のものと思われる。

ILP6（図Ⅵ－40　図版Ⅵ－8）

位　置　v－103・104　w－103・104　標高11.02m付近の平坦地に位置している。

規　模　2.30m／1.68m×1.14m／0.52m×0.73m　**平面形**　不整長楕円形　**長軸方向**　N-45°-W

確認・調査　v－103・104、w－103・104周辺の包含層調査中、Vb層上面付近でⅤ層の黒色土の広がりが見られ、黄色土、En-aまじりの暗褐色土の落ち込みを検出した。半截し、調査を行った。

覆　土　覆土はほぼ1層で、褐色土、黄色土、En-aがまじり合った土である。土層図1・2・3以外は埋め戻し状の土である。

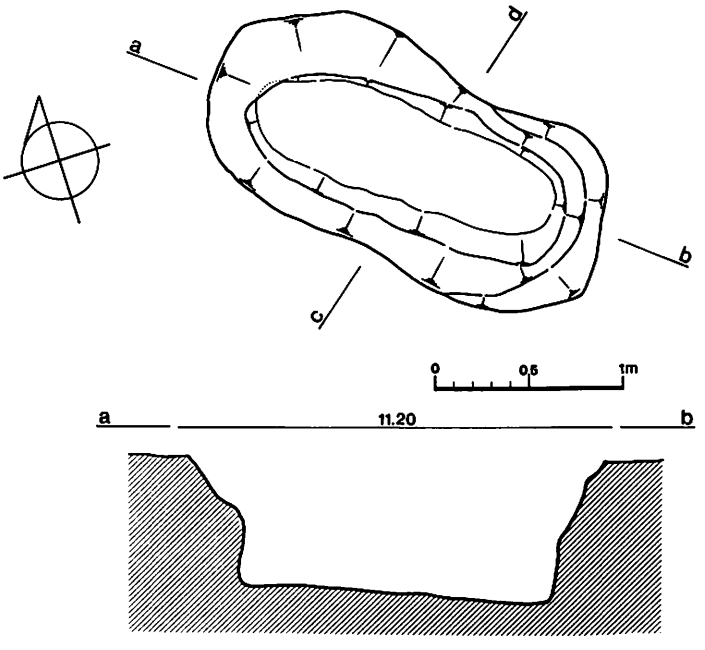
壙　底　Ⅷ層を深く掘り込んで構築している。ほぼ平坦で、堅い。

壁　ほぼ垂直的に立ち上がり、中程からやや外傾する。

遺物出土状況　覆土、壙底付近から遺物は出土していない。

性　格　覆土の堆積状態などから見て、土壙墓の可能性がある。

時　期　覆土上に黒色土が見られ、掘り込み面がⅤb層上面付近と考えられることなどから見て、縄文時代後期後葉の時期のものと思われる。



ILP6の土層：1．暗褐色土≫黄色土（≫En-a）　2．暗褐色土＞黄色土（≫En-a）　3．褐色土＞黄色土（≫En-a）　4．黄色土≫褐色土（＞En-a　非常に堅い）　5．黄色土＞褐色土（≫En-a　軟質、ややボソボソしている）　6．褐色土＞黄色土（En-aが少量混入、やや堅い）　7．褐色土＞黄色土　8．≒7（7より黄色土が多い）　9．褐色土≫黄色土（≫En-a　軟質　6と同質）　10．褐色土＋黄色土＋En-a（軟質）　11．暗黄色土（粘質）　12．灰褐色土（軟質、ボソボソしている）

図Ⅵ－38　ILP6

ILP7（図Ⅵ－41・42　図版Ⅵ－8・29）

位　置　x－100－c　**規　模**　1.70m×0.94m×0.55m　**平面形**　楕円形　**長軸方向**　N-86°-E

確認・調査　Ⅴ層を掘り下げていたところ、En-a・Pを含む暗褐色で長細い楕円形の広がりを確認した。半截し、土層の断面観察の結果、土壙であることが確認された。

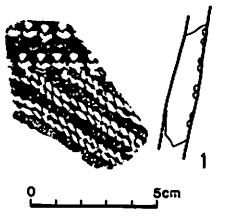
プランは、覆土を確認した形と同じく楕円形である。

覆　土　覆土は人為的に埋め戻しされたものと考えられる。

壙　底　壙底部は締まりがあり平坦である。

性　格　土壙墓と考えられる。

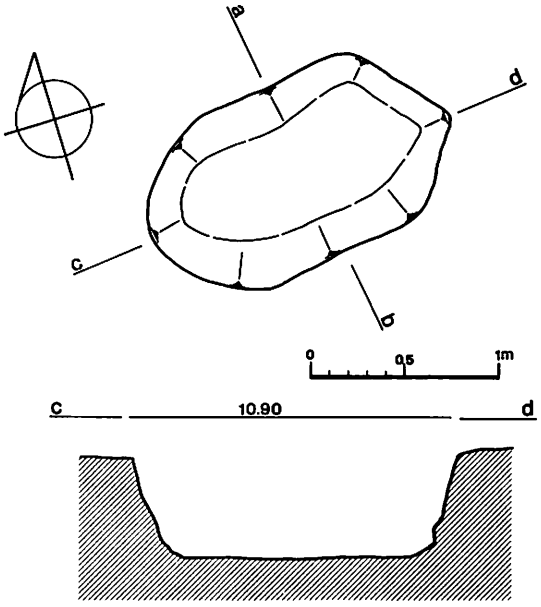
時　期　縄文時代後期と考えられる。

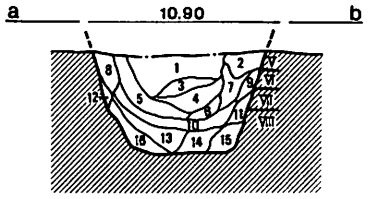


図Ⅵ－41　ILP7出土の土器

この土壌についてその性格をより具体的に判明させるため残存脂肪酸分析を依頼した。(袖岡淳子)

遺　物　1はⅠ群b類の土器の胴部破片である。混入した可能性が強い。





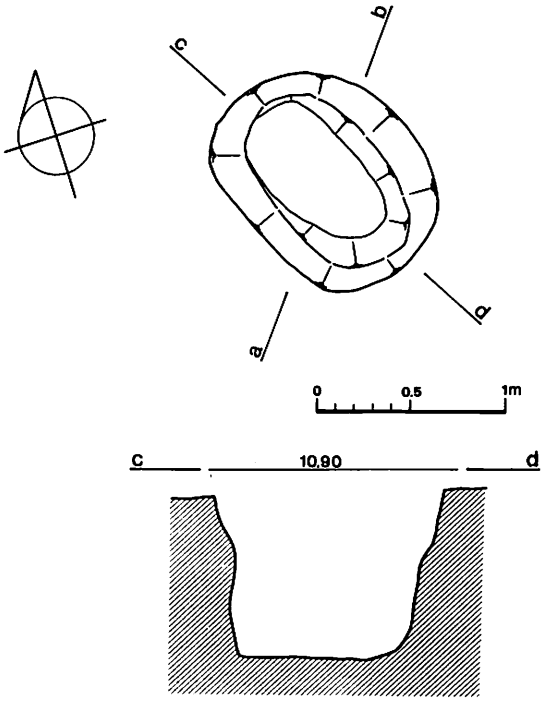
ILP7の土層：1．にぶい黄褐色土(10YR5/4)EnL＞V＞EnP(φ2.0cm～0.5cm) 多く　締る　2．にぶい黄褐色土 (10YR4/3) EnL＞V＋EnP (φ2.0cm～0.5cm) 密　締る　3．暗褐色土 (10YR3/3) V≫EnL＞EnP (φ0.2cm) 微量　締る　4．にぶい黄褐色土 (10YR4/3) EnL＞V＋EnP (φ1.0cm～0.5cm) 多く　炭化材を含む　締る　5．暗褐色土 (10YR3/3) V≫EnL＋EnP (φ2.0cm～0.5cm) 少量　締る　6．黒褐色土 (10YR3/2) V≫EnL＞EnP (φ0.5cm～0.3cm)少量　炭化材を含む　締る　7．暗褐色土(10YR3/3)V＞EnL　締る　8．暗褐色土 (10YR3/4) V＞EnL締る　9．褐色土 (10YR4/4) EnLを主体とする　10．暗褐色土 (10YR3/4) V＞EnL＞EnP(φ1.0cm～0.5cm)少量　締る　11．にぶい黄褐色土(10YR4/3) EnP＋EnL＞V　脆い　12．褐色土 (10YR4/6) EnL＋EnP (φ0.5cm) 少量　締る　13．暗褐色土 (10YR3/3) V≫EnL＞EnP (φ0.5cm以下) 少量　締る　14．暗褐色土 (10YR3/4) V＞EnL＞EnP (φ0.5cm) 微量　締る　15．にぶい黄褐色土 (10YR4/3) V＋EnL＞EnP (φ0.5cm) 多く　密　16．暗褐色土 (10YR3/3) V≫EnL＋EnP (φ2.0cm～0.5cm) 多く　締る

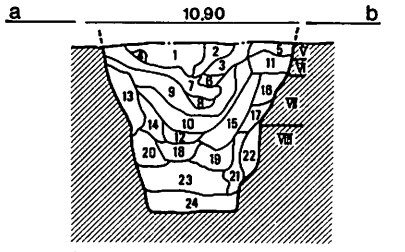
図Ⅵ－42　ILP7

ILP8 (図Ⅵ－43・44　図版Ⅵ－9・29)

位　置　o－100－d　**規　模**　1.24m×0.95m×0.89m　**平面形**　楕円形　**長軸方向**　N-30°-W

確認・調査　V層を掘り下げていたところ、En-a・Pを含む黒褐色で楕円形の広がりを確認した。半截し、土層の断面観察の結果、土壌と確認した。プランは確認した形と同じく楕円形である。





ILP8の土層：1．黒色土 (10YR2/1) V＞EnP (φ0.5cm) 少量　締りのある土　2．黒褐色土 (10YR3/1) V＋EnP (φ0.5cm～1.0cm) 多く　締りのある土　3．黒褐色土 (10YR3/2) V＋EnP (φ0.5cm～1.0cm) 密　締りのある土　4．暗褐色土 (10YR3/3) V＋EnL 締りのある土　5．黒褐色土 (10YR3/1) V≫EnL＞EnP (φ0.3cm) 微量　6．にぶい黄褐色土 (10YR4/3) EnL＋EnP (φ0.5cm) 密　脆い　7．暗褐色土 (10YR3/3) V＞EnL＋EnP (φ0.3cm～0.5cm) 多く　8．にぶい黄褐色土 (10YR5/4) EnP (φ1.0cm) 細粒≫EnL　9．にぶい黄褐色土 (10YR4/3) EnL≫EnP (φ0.5cm～0.3cm) 微量　締る　10．灰黄褐色土 (10YR4/2) EnL≫V＞EnP (φ0.5cm～0.3cm) 微量　締る　11．暗褐色土 (10YR3/3) V＞EnL≫EnP (φ0.3cm以下) 微量　締る　12．暗褐色土 (10YR3/4) V＋EnL＋EnP (φ0.5cm) 密　締る　13．黒褐色土 (10YR3/2) V＋EnP (φ1.0cm～0.5cm) 多く　密　締りがなく脆い　14．暗褐色土 (10YR3/3) V＋EnL＋EnP (φ0.5cm～0.3cm) 多く　やや締る　15．にぶい黄褐色土 (10YR4/3) EnL＞V＞EnP (φ0.5cm) 多く　脆い　16．灰黄褐色土 (10YR4/2) EnL≫V＞EnP (φ0.5cm) 微量　17．暗褐色土 (10YR3/4) V≫EnL＞EnP (φ1.0cm～0.3cm) 微量　締る　18．灰黄褐色土 (10YR4/2) EnP (φ2.0cm) 細粒多く　密≫V　脆い　19．にぶい黄褐色土 (10YR4/3) EnP (細粒) を主体　脆い　20．黒褐色土 (10YR3/2) V≫EnL＞EnP (φ0.5cm) 微量　締る　21．暗褐色土 (10YR3/4) V＋EnL＋EnP (φ0.3cm～0.5cm) 多く　脆い　22．暗褐色土 (10YR3/3) V＋EnL＋EnP (φ0.3)　脆い　23．黒色土(10YR2/1) V≫EnP (φ3.0cm～1.0cm)少量　締りのある土　24．にぶい黄褐色土(10YR4/3) EnL＋EnP (φ2.0cm～1.0cm) 密＞V　締る

図Ⅵ－43　ILP8

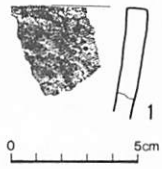
覆　土　覆土は人為的に埋め戻しされたものである。

壁　　壙口部からⅦ層とⅧ層の境にある壁面まで広く外反し、壙底からⅧ層にかけてほぼまっすぐに立ち上がる。

性　格　土壙墓と考えられる。

時　期　縄文時代後期と考えられる。　（袖岡淳子）

遺　物　1はⅣ群b類土器の口縁部破片である。



図Ⅵ－44
ILP8出土の土器

ILP9（図Ⅵ－45・46　図版Ⅵ－9・29）

位　置　w－101－d　**規　模**　1.86m×0.73m×1.08m　**平面形**　楕円形　**長軸方向**　N-37°-W

確認・調査　Ⅴ層を掘り下げていたところ、En-a・Pを含む黒褐色で楕円形の広がりを確認した。半截し、土層の断面観察の結果、土壙であることが確認された。プランは確認した形と同じく楕円形である。

覆　土　覆土は人為的に埋め戻しされたものと考えられる。

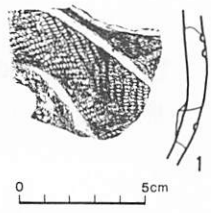
壙　底　壙底は締まりがあり平坦である。

壁　　壁面は、底部から僅かにオーバーハングして壙口部に向かって立ち上がる。

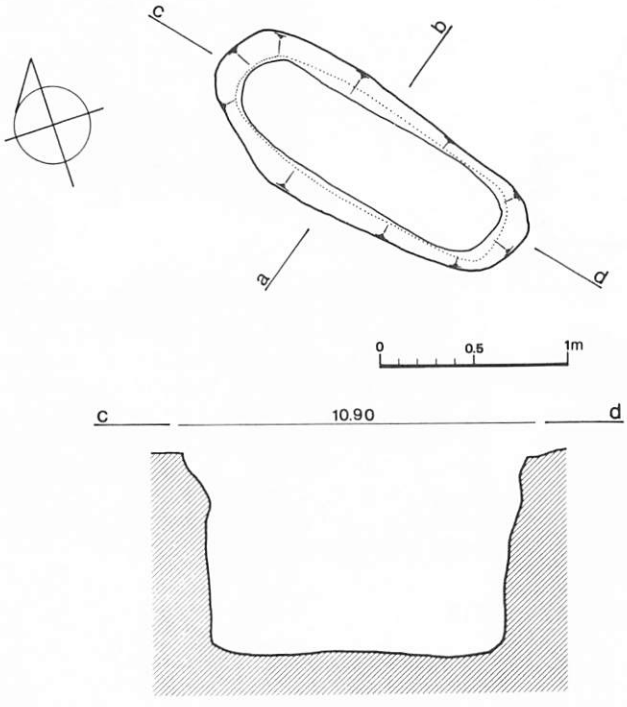
性　格　土壙墓と考えられる。

時　期　縄文時代後期と考えられる。　（袖岡淳子）

遺　物　1はⅣ群c類土器の注口部破片である。



図Ⅵ－45
ILP9出土の土器



ILP9の土層：1．黒褐色土（10YR2/1）Ⅴ≫EnP（φ0.5cm）多く　締る　2．黒褐色土（10YR3/2）Ⅴ＞EnL＋EnP（φ0.5cm～1.0cm）多く　締る　3．黄褐色土（10YR5/6）EnL≫EnP（φ2.0cm～0.5cm）多く　締る　4．灰黄褐色土（10YR4/2）EnL＞Ⅴ＞EnP（φ0.5cm）多く　締る　5．黒褐色土（10YR2/1）Ⅴ層を主体とする　締る　6．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnLを主体とする　締る　7．黒褐色土（10YR2/1）Ⅴ層を主体とする　締る　8．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnLを主体とする　締る　9．黄褐色土（10YR4/3）EnL≫EnP（φ2.0cm～0.5cm）密＞Ⅴ　締る　10．灰黄褐色土（10YR4/2）EnL＞Ⅴ＞EnP（φ1.0cm～0.5cm）密　締る　11．暗褐色土（10YR3/4）Ⅴ＞EnL＞EnP（φ0.5cm）少量　軟らかい　12．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnP（φ0.5cm～1.0cm）密＞Ⅴ　締る　13．暗褐色土（10YR3/4）EnP（φ2.0cm～1.0cm）多く　締る　14．暗褐色土（10YR3/3）Ⅴ＋EnL＋EnP（φ2.0cm～1.0cm）密　締る　15．黒色土（10YR1.7/1）Ⅴ層を主体とする粘性のある土　16．暗褐色土（10YR3/4）Ⅴ＋EnL＋EnP（φ1.0cm）多く　やや締る　17．黒色土（10YR2/1）Ⅴ≫EnP（φ0.3cm～0.5cm）微量　締る　18．暗褐色土（10YR3/4）Ⅴ＋EnP（φ0.5cm微量～1.0cm）密　締る　19．黒褐色土（10YR2/2）Ⅴ≫EnP（φ0.3cm）微量　炭化物を含む　締る　20．灰黄褐色土（10YR4/2）EnP（φ0.3cm）＋Ⅴ　脆い　21．黒褐色土（10YR2/1）Ⅴ層を主体とする　炭化物を僅かに含む　締る　22．暗褐色土（7.5YR3/4）投棄された焼土　締る　23．黒褐色土（10YR2/1）Ⅴ＋EnP（φ0.5cm）締る　24．黄褐色土（10YR5/8）EnPを主体とする　25．黄褐色土（10YR5/6）EnPを主体とする　26．黒色土（10YR1.7/1）Ⅴ層を主体とする粘性のある土　やや締る　27．灰褐色土（10YR4/2）EnL＋EnP≫Ⅴ　脆い　28．褐灰色土（10YR4/1）EnP＋EnL＞Ⅴ砂状　締りのないサラサラした土　29．褐色土（10YR4/4）EnP≫EnL　砂状　締りのない土　30．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnP≫EnL＞Ⅴ　締りのない軟らかい土　31．褐灰色土（10YR4/1）EnP＋EnL＞Ⅴ　砂状　締りのないサラサラした土

図Ⅵ－46　ILP9

ILP10（図Ⅵ－47　図版Ⅵ－9）

位　置　v－105　標高11.00m付近の平坦地に位置している。

規　模　1.55m／1.01m×0.84m／0.50m×1.15m　　**平面形**　長楕円形状

長軸方向　N－31°－W

確認・調査　v－105周辺の包含層調査中、Vb層中で黒色土、Vb≫En-aの落ち込みを検出した。半截し、調査を行った。

覆　土　覆土は褐色土、黄色土、En-aがまじり合った土であるが、それらの多少、硬軟などで大きく四層に分けることができる。覆土1層（土層図1・2）はVb＋En-a、覆土2層（土層図3・4・5・6）は褐色土、黄色土、En-aがまじり合ったボソボソの土である。覆土3層（土層図7・8・9）は淡褐色土≫黄色土でEn-aがやや多く混入し、ボソボソしている。覆土4層（土層図11・12・13）は淡黄色土＋En-aでボソボソしている。全体に埋め戻し状の土である。

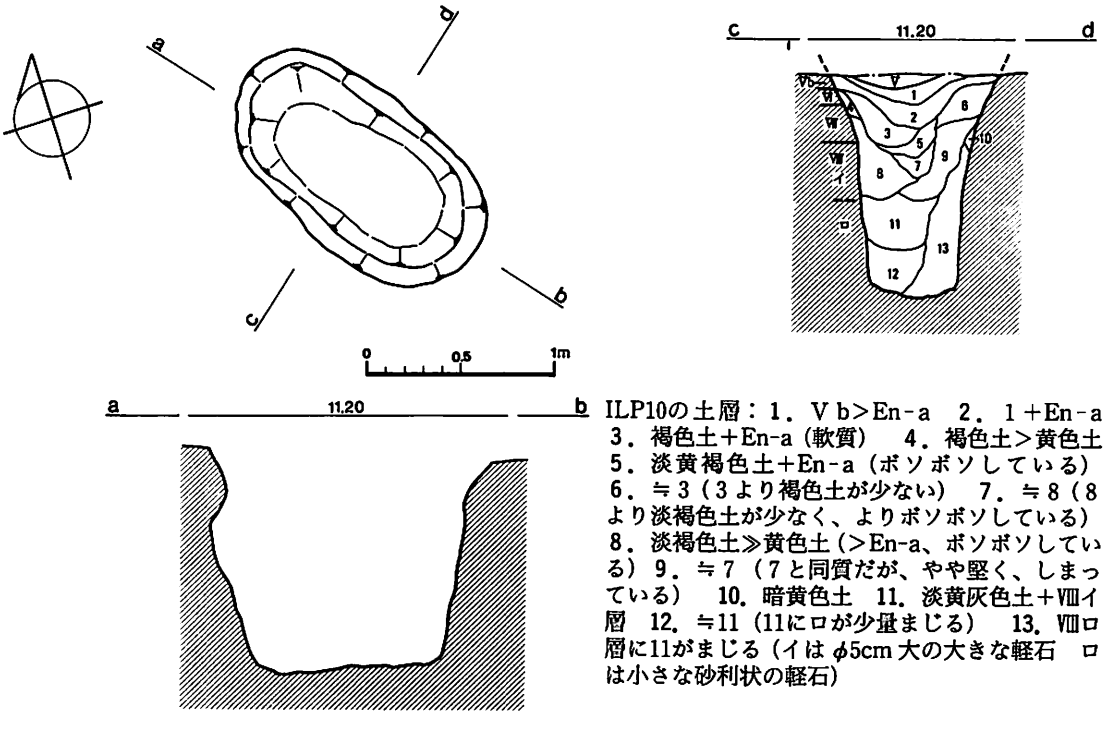
壙　底　Ⅷ層を深く掘り込んで構築している。ほぼ平坦で、堅い。

壁　壙底付近から緩やかに外傾しつつ立ち上がっている。

遺物出土状況　覆土、壙底付近から遺物は出土していない。

性　格　覆土の堆積状態から見て、土壙墓の可能性がある。

時　期　周辺包含層出土の遺物や掘り込み面などから見て、縄文時代後期後葉の時期のものと思われる。



ILP10の土層：1．Vb>En-a　2．1＋En-a　3．褐色土＋En-a（軟質）　4．褐色土>黄色土　5．淡黄褐色土＋En-a（ボソボソしている）　6．≒3（3より褐色土が少ない）　7．≒8（8より淡褐色土が少なく、よりボソボソしている）　8．淡褐色土≫黄色土（>En-a、ボソボソしている）　9．≒7（7と同質だが、やや堅く、しまっている）　10．暗黄色土　11．淡黄灰色土＋Ⅷイ層　12．≒11（11にロが少量まじる）　13．Ⅷロ層に11がまじる（イはφ5cm大の大きな軽石　ロは小さな砂利状の軽石）

図Ⅵ－47　ILP10

ILP11（図Ⅵ－48・49　図版Ⅵ－9・29）

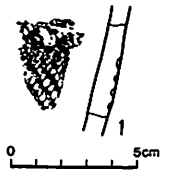
位　置　l－107　m－107・108　標高11.66m付近の平坦地に位置している。

規　模　1.36m／1.11m×1.10m／0.84m×0.37m　　**平面形**　長円形状

長軸方向　N－82°－W

確認・調査　l－107、m－107・108の包含層調査中、Vb層中でVa層、Ta-cまじりの暗褐色土の

落ち込みを検出した。半截し、調査を行った。



図Ⅵ－48
ILP11出土の土器

覆　土　覆土は黒褐色土、暗褐色土に黄色土がまじり合った土であるが、ほぼ三層に分けることができる。覆土１層（土層図１・２・３）は黒褐色土と黄色土がまじり合った軟質土である。厚く堆積している。覆土２層（土層図４・５）は壁際に見られる土で、暗褐色土に黄色土が混入する。覆土３層（土層図６・７・８）は壙底直上の土である。暗褐色土にEn-aが混入し、炭化物が多量に含まれている。全体に埋め戻し状の土である。

壙　底　Ⅷ層を少し掘り込んで構築している。平坦で、堅い。

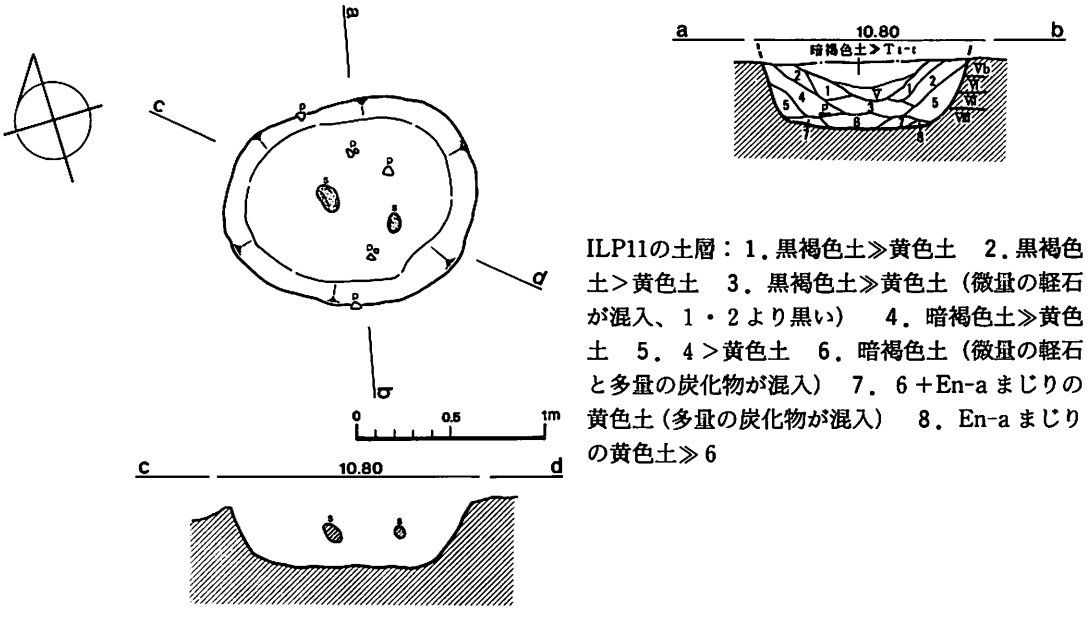
壁　ほぼ垂直的に立ち上がっている。

遺物出土状況　覆土中からⅠ群ｂ類の土器片が３点、Ⅳ群ｃ類の土器片が３点、礫２点、フレイク１点が出土しているが、まとまった出土状態ではない。

性　格　他の土壙とは形態などで異っているが、覆土の堆積状態などから見ると、土壙墓の可能性がある。

時　期　周辺包含層出土の遺物などから見て、Ⅳ群ｃ類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期のものと思われる。

遺　物　１はⅠ群ｂ類土器の胴部破片である。混入した可能性が強い。



ILP11の土層：１．黒褐色土≫黄色土　２．黒褐色土＞黄色土　３．黒褐色土≫黄色土（微量の軽石が混入、１・２より黒い）　４．暗褐色土≫黄色土　５．４＞黄色土　６．暗褐色土（微量の軽石と多量の炭化物が混入）　７．６＋En-aまじりの黄色土（多量の炭化物が混入）　８．En-aまじりの黄色土≫６

図Ⅵ－49　ILP11

ILP12（図Ⅵ－50　図版Ⅵ－10）

位　置　u－102－d　**規　模**　1.57m×0.70m×1.11m　**平面形**　楕円形　**長軸方向**　N-55°-W

確認・調査　Ⅴ層の掘り下げ中、En-a・Pを含む黒褐色で楕円形の広がりを確認した。半截し、土層の断面観察の結果、土壙であることが確認された。プランは確認した形と同じく楕円形である。

覆　土　覆土は人為的に埋め戻しされたものと考えられる。

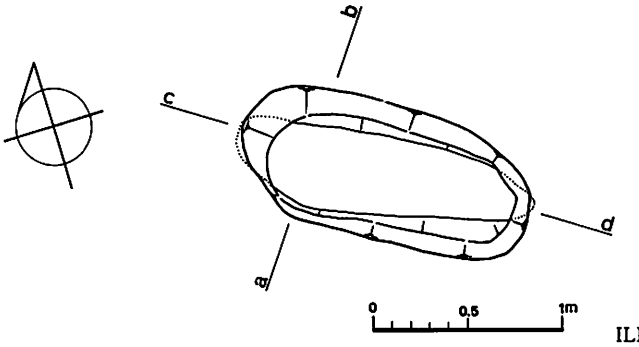
壙　底　壙底は締まりがあり平坦である。

壁　壁面は、底部から僅かにオーバーハングして壙口部に向かって立ち上がる。

遺物出土状況　遺物は検出されなかった。

性　格　土壙墓と考えられる。

時　期　縄文時代後期と考えられる。　（袖岡淳子）



ILP12の土層：1．黒色土（10YR2/1）V≫EnP（φ1.0cm～0.5cm）多く　やや締る　2．黒褐色土（10YR2/2）V≫EnL＞EnP（φ0.5cm）微量　締る　3．黒色土（10YR2/1）V≫EnP（φ0.5cm）微量　締る　4．暗褐色土（10YR3/4）EnL＋EnP（φ2.0cm～0.5cm）密　脆い　5．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnL≫EnP（φ2.0cm～0.5cm）微量　締る　6．黒褐色土（10YR2/3）V＞EnP（φ1.0cm～0.5cm）やや多く＞EnL　締る　7．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnL＋EnP（φ2.0cm～0.5cm）密＞V　締りがなく脆い　8．暗褐色土（10YR3/4）V＞EnL＞EnP（φ2.0cm～0.3cm）少量　締りのある土　9．暗褐色土（10YR3/4）V＞EnL＞EnP（φ0.5cm）微量　締る　10．褐色土と黒色土の混合土（10YR4/4）EnL とV層の斑状混＞EnP（φ1.0cm）微量　締る　11．黒褐色土（10YR2/2）V＞EnP（φ0.5cm）微量　締る　12．暗褐色土（10YR3/4）V＞EnL＞EnP（φ3.0cm～0.3cm）やや多く　13．暗褐色土（10YR3/4）V＞EnL＞EnP（φ0.5cm）少量　脆い　14．灰黄褐色（10YR4/2）V＋EnL＞EnP（φ2.0cm～0.5cm）少量　脆い　15．黒色土（10YR2/1）V＞EnP（φ3.0cm～0.5cm）やや多く　脆く軟らかい土　16．黒褐色土（10YR2/2）V＞EnL の混合　砂状で軟らかい土　17．暗褐色土（10YR3/4）V＋EnL＋EnP（φ3.0cm～0.5cm）少量　軟らかい土　18．灰黄褐色土（10YR4/2）V＋EnL＋EnP（φ2.0cm）少量　砂状で軟らかい土　19．灰黄褐色土（10YR4/2）EnL＋V＋EnP（φ3.0cm）やや多く　20．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnP を主体とする　脆く軟らかい土　21．暗褐色土（10YR3/4）V＞EnL＞EnP（φ0.5cm）微量　やや締る土　22．灰黄褐色土（10YR4/2）EnP（φ3.0cm～0.5cm）密≫EnL　軟らかい　23．暗褐色土（10YR3/3）V≫EnL＞EnP（φ3.0cm～0.5cm）少量　やや締る土　24．暗褐色土（10YR4/2）V＞EnL とVの混合砂状土　締りのない軟らかい土　25．暗褐色土（10YR3/3）V≫EnL＞EnP（φ3.0cm～0.5cm）少量　やや粘性のある土

図Ⅵ－50　ILP12

ILP13（図Ⅵ－51　図版Ⅵ－10）

位　置　s－103－c　　**規　模**　1.79m×0.82m×1.07m　　**平面形**　楕円形

確認・調査　Ⅴ層を掘り下げ中、En-a・P を含む黒褐色土で楕円形の広がりを確認した。半截し、土層の断面観察の結果、土壙であることが確認された。プランは確認した形と同じく楕円形である。

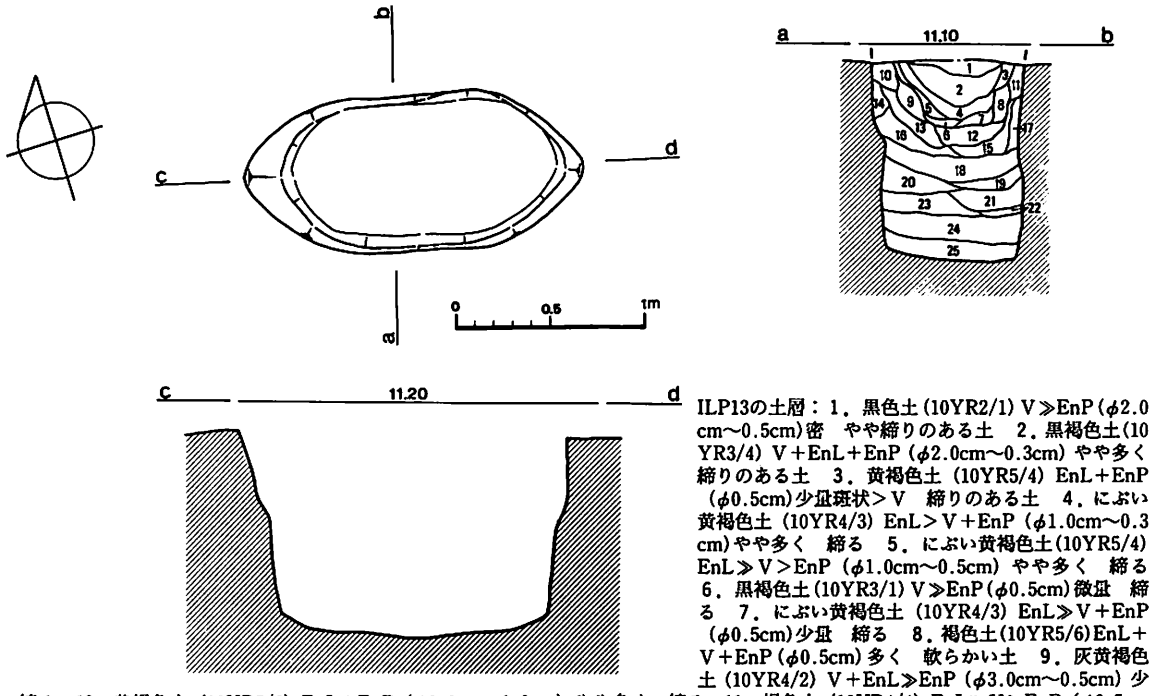
覆　土　覆土は人為的に埋め戻されたものと考えられる。

壁　壁面は底部から僅かにオーバーハングし壙口部に向かって立ち上がる。

壙　底　しまりがあり平坦である。

遺物出土状況　遺物は検出されなかった。

時　期　縄文時代後期と考えられる。　（袖岡淳子）



ILP13の土層：1．黒色土(10YR2/1) V≫EnP(φ2.0cm～0.5cm)密　やや締りのある土　2．黒褐色土(10YR3/4) V＋EnL＋EnP (φ2.0cm～0.3cm) やや多く締りのある土　3．黄褐色土 (10YR5/4) EnL＋EnP (φ0.5cm)少量斑状＞V　締りのある土　4．にぶい黄褐色土 (10YR4/3) EnL＞V＋EnP (φ1.0cm～0.3cm)やや多く　締る　5．にぶい黄褐色土(10YR5/4) EnL≫V＞EnP (φ1.0cm～0.5cm) やや多く　締る　6．黒褐色土(10YR3/1) V≫EnP(φ0.5cm)微量　締る　7．にぶい黄褐色土 (10YR4/3) EnL≫V＋EnP (φ0.5cm)少量　締る　8．褐色土(10YR5/6)EnL＋V＋EnP(φ0.5cm)多く　軟らかい土　9．灰黄褐色土 (10YR4/2) V＋EnL≫EnP (φ3.0cm～0.5cm) 少量　締る　10．黄褐色土 (10YR5/6) EnL＋EnP (φ1.0cm～0.3cm) やや多く　締る　11．褐色土 (10YR4/4) EnL≫V＞EnP (φ0.5cm以下) やや締る　12．褐色土 (10YR5/8) EnL≫EnP (φ1.0cm～0.3cm) やや多く　やや締る　13．にぶい黄褐色土 (10YR4/3)　EnL≫V＞EnP (φ0.5cm) やや多く　やや軟らかい土　14．褐色土 (10YR4/4) EnL を主体とする　15．灰黄褐色土 (10YR4/4) EnL≫EnP (φ1.0cm～0.5cm) 少量　締りのある土　16．にぶい黄褐色土 (10YR4/3) EnL≫V＞EnP (φ0.5cm) 密　やや締る　17．黄褐色土 (10YR5/6) EnL≫EnP (φ0.5cm) 密　やや軟らかい土　18．黄褐色土(10YR5/6)　EnP (φ1.0cm～1.5cm)＞EnL　軟らかい土　19．褐色土(10YR4/4) EnP (φ2.0cm～0.5cm) を主体とする脆く軟らかい土　20．にぶい黄褐色土 (10YR5/4) EnP (φ1.0cm～0.5cm) を主体とする　砂状　21．黄褐色土 (10YR5/8) EnP (φ2.0cm～0.5cm 密) を主体とする　やや締りのある土　22．暗褐色土 (7.5YR3/4) やや粘性のある焼土ブロック　23．にぶい黄褐色土 (10YR4/3) EnP (φ1.0cm～0.5cm) を主体とする　砂状　24．褐色土 (10YR4/4) EnP (φ0.5cm) を主体とする　細かい軟らかい土　25．灰黄褐色土 (10YR4/2) EnL＞V　粘性のある土

図Ⅵ－51　ILP13

ILP14（図Ⅵ－52　図版Ⅵ－10）

位　置　4－98－b　　**規　模**　2.19m×2.19m×1.12m　　**平面形**　円形

確認・調査　V層を掘り下げ中、En-a・Pを含む黒褐色の落ち込みを確認した。半截し、土層の断面観察の結果、フラスコ状ピットであることが確認された。この土壙は遺跡が立地する緩斜面の南端で低地と台地の境に掘り込まれている。湧き水が著しいため水中ポンプで水を汲み上げながら調査を行った。

覆　土　覆土は自然堆積によるものと思われる。

壁　オーバーハング部分はⅧ層上部から底部に向かって明瞭に掘り込まれている。Ⅷ層上部から壙口部に向けては外反し立ち上がる。

性　格　貯蔵穴と考えられる。

時　期　縄文時代後期と考えられる。　（袖岡淳子）

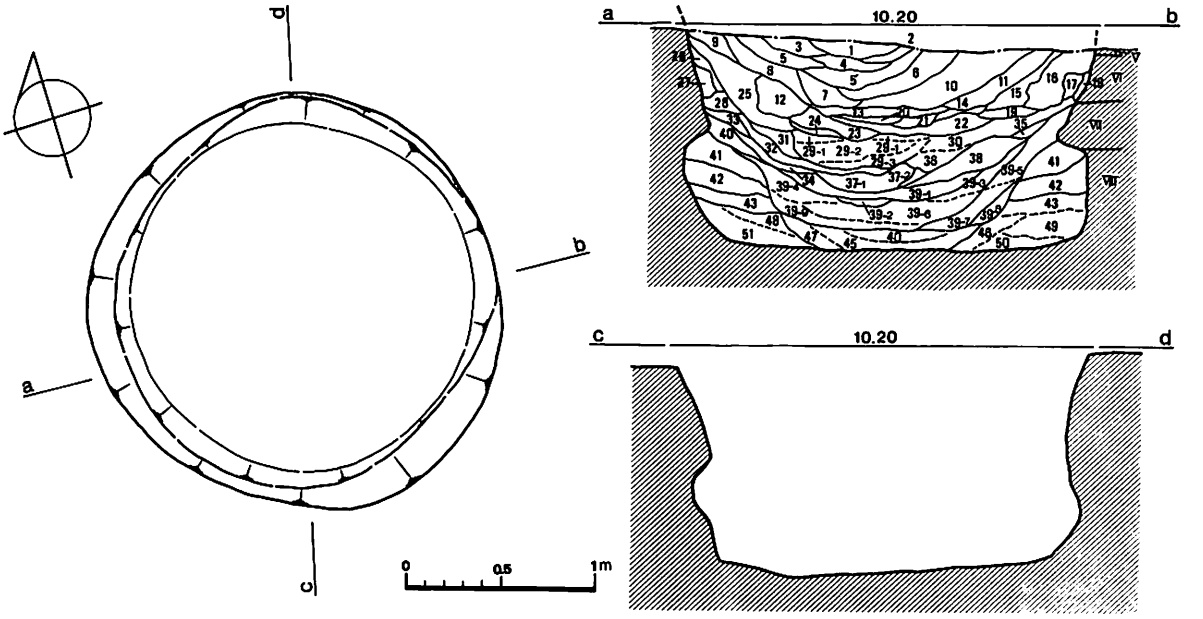
ILP15（図Ⅵ－53　図版Ⅵ－10）

位　置　u－105・v－105　標高11.03m付近の平坦地に位置している。

規　模　1.40m／1.27m×0.65m／0.45m×0.73m　　**平面形**　隅丸長方形状

長軸方向　N－82°－E

確認・調査　u－105、v－105の包含層調査中、Ⅵ層上面付近でEn-aまじりのVa≫黄色土、黄色土＞褐色土の落ち込みを検出した。半截し、調査を行った。



ILP14の土層：1．黒色土（10YR2/1）V＋灰黄褐色化したEnP（φ1.0cm～0.5cm）多く　やや締りのある土　2．黒色土（10YR2/1）V＋EnP（φ2.0cm～0.3cm）密　締る　3．暗褐色土（10YR3/3）V＞EnL＋灰黄褐色化したEnP（φ1.0cm～0.3cm）多く　締る　4．黒色土（10YR1.7/1）V＋EnP（φ0.3cm～0.5cm）細粒多く　締りのある土　5．黒色土（10YR2/1）V＋EnP（φ2.0cm～0.5cm）密　締りのある土　5′．黒色土（10YR2/1）V≫EnP（φ1.0cm～1.3cm）微量　締る　6　黒色土（10YR1.7/1）V＞EnP（φ1.0cm～0.3cm）やや多く、締る　7．黒色土（10YR1.7/1）V＞EnP（φ2.0cm）少量　締る　8．黒褐色土（10YR2/3）V≫EnL＋EnP（φ1.0cm～0.5cm）やや多く　9．黒色土（10YR2/1）V＞EnP（φ0.3cm）やや多く　締る　10．黒褐色土（10YR2/2）V≫EnL＋EnP（φ1.0cm～0.2cm）多く　締る　11．暗褐色土（10YR3/3）V＞EnL＋EnP（φ0.3cm～0.5cm）細粒密　締る土　12．黒褐色土（10YR2/2）V＞EnP（φ0.5cm～0.2cm）密　締る　13．黒色土（10YR2/1）V＞EnP（φ2.0cm）多く　やや軟らかい土　14．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnP（φ0.3cm）を主体とする　15．黒褐色土（10YR3/1）V≫EnP（φ0.2cm）微量　締る　16．黒褐色土（10YR2/2）V≫EnL＞EnP（φ0.3cm）微量　締る　17．黒色土（10YR2/1）V≫EnP（φ0.5cm～0.2cm）微量　締る　18．黒褐色土（10YR2/2）V≫EnL締る　19．黒色土（10YR2/1）V≫EnP（φ0.5cm）微量　締る　20．黒褐色土（10YR2/2）V≫EnP（φ0.5cm）少量　やや軟らかい土　21．褐色土（10YR4/4）EnP（φ0.3cm）砂状を主体とする　22．黒褐色土（10YR3/1）V≫EnP（φ0.3cm）少量　締りのある土　23．黒色土（10YR2/1）V≫EnP（φ0.5cm）少量　やや締る土　24．黒色土（10YR2/1）V≫EnP（φ0.5cm～0.3cm）密　やや締る土　25．黒褐色土（10YR3/1）V≫EnP（φ0.3cm）微量　締る土　26．黒色土（10YR2/1）V層を主体とする　27．暗褐色土（10YR3/4）V＞EnL＞EnP（φ1.0cm～0.5cm）多く　締りのある土　28．黒褐色土（10YR2/3）V＞EnL　締る　29①．明褐色土（7.5YR5/8）EnP（φ0.3cm～0.5cm）29②．暗赤褐色土（5YR3/2）EnP（φ0.5cm～1.0cm）鉄分による酸化　29③．極暗赤褐色土（5YR2/4）EnP（φ0.5cm～1.0cm）鉄分による酸化　30．黒褐色土（10YR3/2）V＞EnL＞EnP（φ0.5cm）少量　締りのある土　31．黒褐色土（10YR3/1）V≫EnP（φ1.0cm～0.3cm）微量　締る　32．暗褐色土（10YR3/4）V＞EnL＞EnP（φ0.5cm）少量　締る　33．褐色土（10YR4/6）EnLを主体とする　砕け易い脆い土　34．灰黄褐色土（10YR4/2）V＋EnL＞EnP（φ0.5cm）少量　締る　35．暗褐色土（10YR3/4）V＞EnL＞EnP（φ0.5cm）少量　締る　36．暗褐色土（7.5YR3/4）EnP（φ0.5cm～1.0cm）≫V　鉄分による酸化　37①．褐色土（7.5YR4/4）EnP（φ0.5cm）を主体とする　37②．黒褐色土（10YR3/1）V≫EnP（φ0.3cm）少量　締る　38．暗褐色土（10YR3/4）V＋EnL＞EnP（φ1.0cm～0.5cm）少量　締る　39①．灰黄褐色土（10YR4/2）EnL＞V＞EnP（φ0.5cm）多く　締る　39②．黒褐色土（10YR2/3）V≫EnP（φ0.5cm）少量　締る　39③．黄褐色土（10YR5/6）EnL＋EnP（φ0.5cm）密＞V　締る　39④．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnL≫EnP（φ2.0cm～1.0cm）多く＞V　締る　39⑤．灰黄褐色土（10YR5/2）EnL＞EnP（φ1.0cm～0.5cm）＞V　締る　39⑥．褐色土（10YR4/4）EnP（φ1.0cm～0.5cm）を主体とする　39⑦．褐灰色土（10YR4/1）EnL＞V＞EnP（φ0.5cm）少量　締る　39⑧．黒褐色土（10YR3/1）V≫EnP（φ0.3cm）微量　締る　39⑨．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnP（φ2.0cm～1.0cm）を主体とする　40．暗赤褐色土（2.5YR3/3）EnP（φ0.3cm以下）細粒化したものが赤褐化したもの（水分による遊離鉄の沈着）　41．極暗赤褐色土（2.5YR3/3）鉄分による酸化　42．暗赤褐色土（5YR3/6）鉄分による酸化　43．極暗赤褐色土（2.5YR2/4）鉄分による酸化　44．灰黄褐色土（10YR4/2）EnP（φ1.0cm～2.0cm）を主体とする　45．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnP（φ1.0cm～2.0cm）を主体とする　46．暗赤褐色土（10YR3/4）EnP（φ1.0cm～0.5cm細粒）密＞V＋EnL　47．暗褐色土（10YR3/3）EnP（φ0.5cm細粒）密≫EnL＋V　48．黄褐色土（10YR5/6）EnP（φ0.5cm程度　細粒）密　脆い　49．褐色土（10YR4/4）EnP（φ0.5cm～1.0cm）を主体とする　50．暗褐色土（10YR3/4）EnP（φ0.5cm）＞V　脆い　51．暗赤褐色土（5YR3/4）EnP（φ0.5cm～1.0cm）水分による酸化　52．褐灰色土（10YR4/1）V＋EnL＞EnP（φ0.5cm）少量　やや粘性がある

図Ⅵ－52　ILP14

覆　土　覆土はほぼ四層に分けられる。覆土1層（土層図3）はEn-aまじりの黄色土＞褐色土、覆土2層（土層図4～17）はEn-aに黄色土、褐色土が混入する土である。覆土3層（土層図8）は黒褐色土に微少のEn-aが混入するものである。また壁際には壙底直上まで5cm～10cmの厚さのボソボソした褐色土＞黄色土が貼り付いた様に見られた。1～3は流れ込み、4～11は埋め戻し状の堆積

状態を示している。

壙　底　Ⅷ層を深く掘り込んで構築している。ほぼ平坦で、堅い。

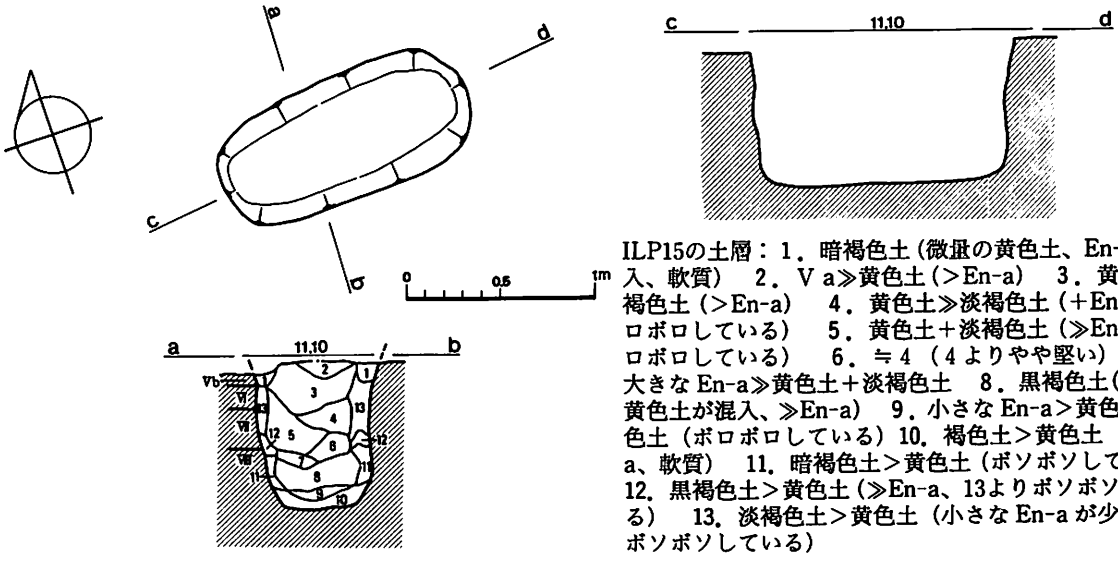
壁　ほぼ垂直に立ち上がっている。

遺物出土状況　覆土、壙底付近から遺物は出土していない。

性　格　他の類似遺構同様、土壙墓と思われる。

時　期　周辺包含層出土の遺物などから見て、縄文時代後期後葉の時期のものと思われる。

なお、覆土上にはⅤb層上面付近に広がる焼土が見られた。



ILP15の土層：1．暗褐色土（微量の黄色土、En-aが混入、軟質）　2．Ⅴa≫黄色土（>En-a）　3．黄色土>褐色土（>En-a）　4．黄色土≫淡褐色土（+En-a　ボロボロしている）　5．黄色土+淡褐色土（≫En-a　ボロボロしている）　6．≒4（4よりやや堅い）　7．大きなEn-a≫黄色土+淡褐色土　8．黒褐色土(微量の黄色土が混入、≫En-a)　9．小さなEn-a>黄色土+褐色土（ボロボロしている）10．褐色土>黄色土（>En-a、軟質）　11．暗褐色土>黄色土（ボソボソしている）12．黒褐色土>黄色土（≫En-a、13よりボソボソしている）　13．淡褐色土>黄色土（小さなEn-aが少量混入、ボソボソしている）

図Ⅵ－53　ILP15

ILP16（図Ⅵ－54　図版Ⅵ－11）

位　置　t－104－c　**規　模**　2.31m×0.76m×0.96m　**平面形**　不整形　**長軸方向**　N-41°-E

確認・調査　Ⅴ層を掘り下げていたところ、暗色の落ち込みを確認した。半截し、土層の断面観察の結果、Tピットであることが確認された。プランは不整で細長い楕円の形をしている

壙　底　壙底面は平坦である。壙底部の形態は不整形である。

壁　土壙の西側と北端で若干オーバーハングしている。

性　格　Tピットである。

時　期　縄文時代早期と推測される。　（袖岡淳子）

ILP17（図Ⅵ－55　図版Ⅵ－11）

位　置　g－102－d　**規　模**　1.38m×1.17m×1.38m　**平面形**　楕円形　**長軸方向**　N-25°-W

確認・調査　Ⅴ層を掘り下げていたところ、暗色の落ち込みを確認した。半截し、土層の断面観察の結果、土壙であることが確認された。

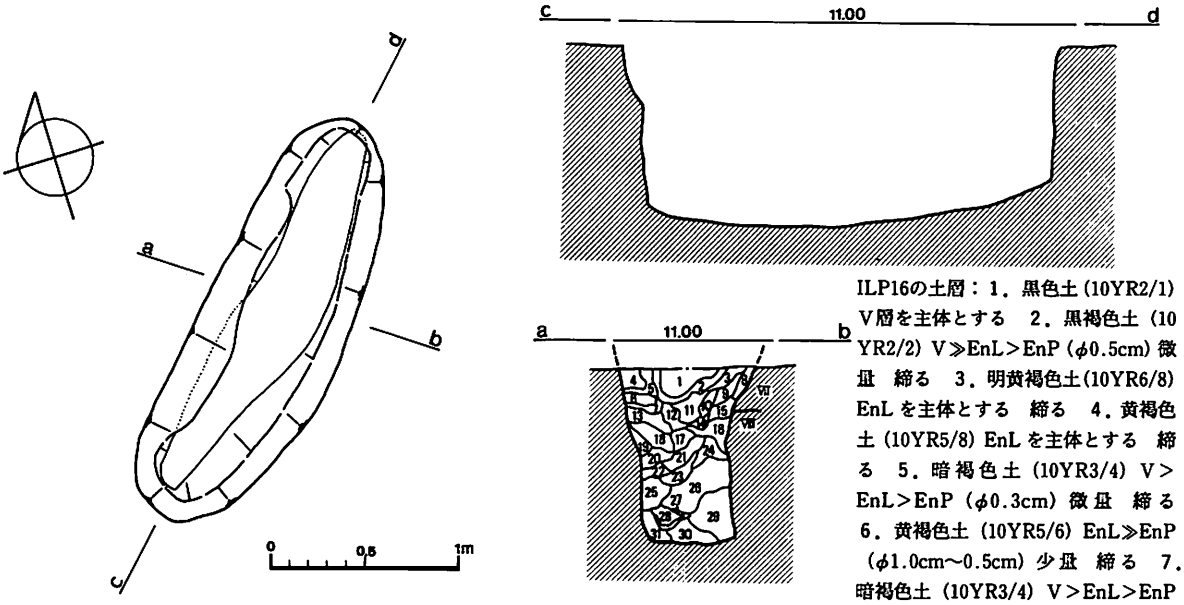
覆　土　覆土は埋め戻しによるものと考えられる。

壙　底　壙底面は平坦である。

壁　壙口部からⅧ層上部までは外反し立ち上がっているが、Ⅷ層上部から壙底部までは短軸方向に強くオーバーハングする。

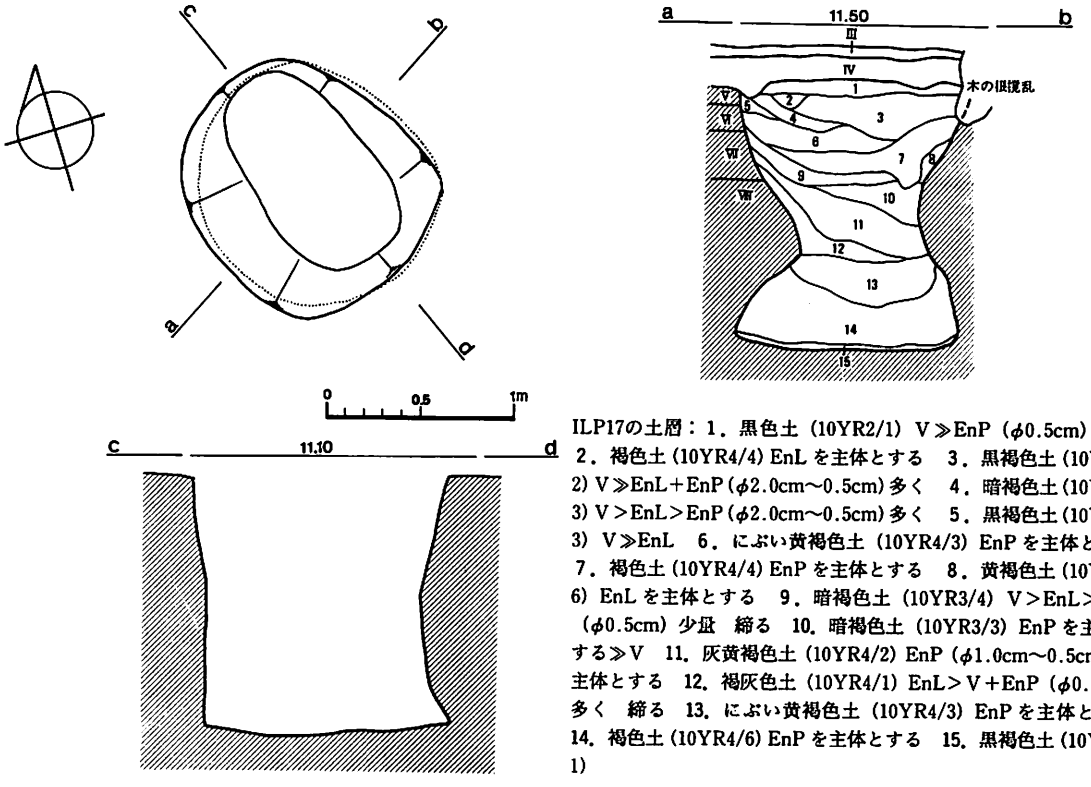
性　格　不明。

時　期　縄文時代後期と考えられる。　（袖岡淳子）



ILP16の土層：1．黒色土（10YR2/1）Ⅴ層を主体とする　2．黒褐色土（10YR2/2）V≫EnL>EnP（φ0.5cm）微量　締る　3．明黄褐色土(10YR6/8) EnLを主体とする　締る　4．黄褐色土（10YR5/8）EnLを主体とする　締る　5．暗褐色土（10YR3/4）V>EnL>EnP（φ0.3cm）微量　締る　6．黄褐色土（10YR5/6）EnL≫EnP（φ1.0cm～0.5cm）少量　締る　7．暗褐色土（10YR3/4）V>EnL>EnP（φ0.3cm)微量　締る　8．黄褐色土（10YR5/6）EnL≫EnP（φ1.0cm～0.5cm）多く　9．暗褐色土（10YR3/4）V>EnL>EnP（φ1.0cm～0.5cm）少量　10．暗褐色土（10YR3/4）V>EnL>EnP（φ1.0cm～0.5cm）少量　9よりやや明るい　11．黒褐色土（10YR2/3）V≫EnL>EnP（φ0.3cm）微量　締る　12．暗褐色土（10YR3/3）V≫EnL>EnP（φ1.0cm～0.5cm）少量　締る　13．褐色土（10YR4/4）EnL≫EnP（φ0.5cm）少量　締る　14．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnLとVの斑状混　15．暗褐色土（10YR3/4）V>EnL>EnP（φ0.3cm）微量　16．黒褐色土（10YR3/2）V>EnL>EnP（φ1.0cm～0.5cm）多く　締る　17．暗褐色土（10YR3/3）V>EnL>EnP（φ0.5cm）微量　18．暗褐色土（10YR3/4）V>EnL>EnP（φ1.0cm）多く　19．灰黄褐色土（10YR4/2）EnP（φ1.0cm）≫V　20．暗褐色土（10YR3/4）V>EnL>EnP（φ1.0cm）多く　21．暗褐色土（10YR3/3）V>EnL>EnP（φ1.0cm）少量　22．にぶい黄褐色土（10YR5/4）EnL≫V　23．暗褐色土（10YR3/3）V>EnL>EnP（φ0.5cm）少量　24．灰黄褐色土（10YR4/2）EnP（φ2.0cm～0.5cm　密）を主体とする　25．褐灰色土（10YR4/1）EnL+EnP（φ0.5cm）≫V　軟らかい　26．褐色土（10YR4/6）EnP（φ1.0cm～0.5cm）　を主体とする　27．黒色土（10YR1.7/1）　28．褐色土（10YR4/4）EnP（φ0.5cm）　29．黄褐色土（10YR4/6）EnP（φ0.2cm～0.3cm）細かい　30．黄褐色土（10YR4/6）EnP（φ0.5cm以上）　31．黄褐色土（10YR4/6）EnP（φ0.2cm～0.3cm）細かい

図Ⅵ－54　ILP16



ILP17の土層：1．黒色土（10YR2/1）V≫EnP（φ0.5cm）微量　2．褐色土（10YR4/4）EnLを主体とする　3．黒褐色土（10YR2/2）V≫EnL+EnP（φ2.0cm～0.5cm）多く　4．暗褐色土（10YR3/3）V>EnL>EnP（φ2.0cm～0.5cm）多く　5．黒褐色土（10YR2/3）V≫EnL　6．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnPを主体とする　7．褐色土（10YR4/4）EnPを主体とする　8．黄褐色土（10YR5/6）EnLを主体とする　9．暗褐色土（10YR3/4）V>EnL>EnP（φ0.5cm）少量　締る　10．暗褐色土（10YR3/3）EnPを主体とする≫V　11．灰黄褐色土（10YR4/2）EnP（φ1.0cm～0.5cm）を主体とする　12．褐灰色土（10YR4/1）EnL>V+EnP（φ0.5cm）多く　締る　13．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnPを主体とする　14．褐色土（10YR4/6）EnPを主体とする　15．黒褐色土（10YR3/1）

図Ⅵ－55　ILP17

ILP18（図Ⅵ－56　図版Ⅵ－11）

位　置　g－104－d　　**規　模**　1.92m×0.65m×0.94m　　**平面形**　楕円形

長軸方向　N－47°－W

確認・調査　Ⅴ層の掘り下げ中、En-a・Pを含む黒褐色で楕円形の広がりを確認した。半截し、土層の断面観察の結果、土壙であることが確認された。プランは確認した形と同じく楕円形である。

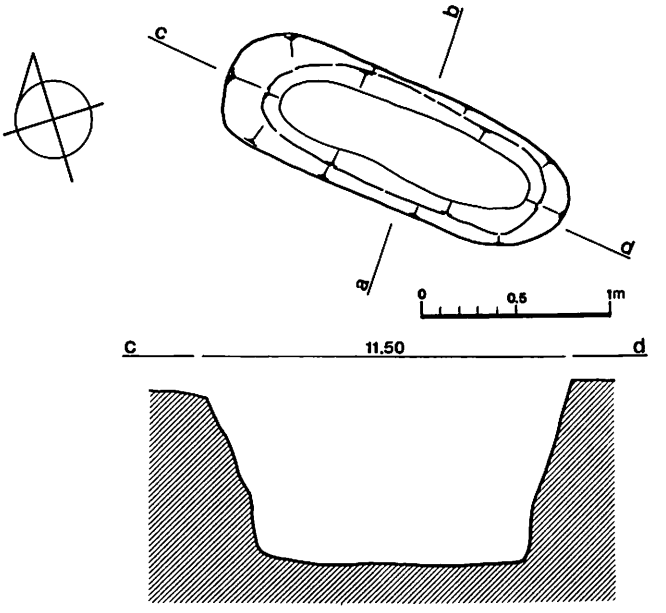
覆　土　覆土は人為的に埋め戻しされものと考えられる。

壙　底　壙底は締まりがあり平坦である。

壁　壁面は、底部から僅かにオーバーハングして壙口部に向かって立ち上がる。

性　格　土壙墓と考えられる。

時　期　縄文時代後期と考えられる。　（袖岡淳子）



ILP18の土層：1．黒色土と褐色土の斑状混　Ⅴ＋EnP（φ0.5cm）2．にぶい黄褐色土（10YR4/3）Ⅴ＋EnL＋EnP（φ1.0cm～0.5cm）少量　3．褐色土（10YR4/6）　EnL＋EnP（φ0.5cm）密　脆い　4．暗褐色土（10YR3/4）Ⅴ＞EnL＋EnP（φ1.0cm～0.3cm）密　脆い　5．暗褐色土（10YR3/3）Ⅴ≫EnL＞EnP（φ0.5cm）微量　締る　6．黒色土（10YR2/1）Ⅴ≫EnP（φ0.5cm）少量　締る　7．暗褐色土（10YR3/3）Ⅴ＞EnL やや脆い　8．黒褐色土（10YR2/2）Ⅴ＋EnP（φ0.5cm）密　脆い　9．褐色土（10YR4/4）EnL を主体とする　10．黄褐色土（10YR5/6）EnL を主体とする　11．褐色土（10YR4/6）EnL を主体とする　12．暗褐色土（10YR3/4）Ⅴ＞EnL＋EnP（φ0.5cm）多く　13．暗褐色土（10YR3/3）Ⅴ＞EnL＞EnP（φ0.5cm）少量　14．暗褐色土（10YR3/4）Ⅴ＞EnL＋EnP（φ0.3cm）少量　15．暗褐色土（10YR3/3）Ⅴ＞EnL＞EnP（φ0.3cm）微量　16．黒褐色土（10YR3/2）Ⅴ≫EnL　軟らかい

図Ⅵ－56　ILP18

ILP19（図Ⅵ－57・58　図版Ⅵ－11・29）

位　置　5－100－d　　**規　模**　2.38m×1.96m×0.28m　　**平面形**　卵形

長軸方向　N－42°－E

調査・確認　Ⅴ層を掘り下げていたところ、黒色土の落ち込みを確認した。南北と東西方向にトレンチを設定し掘り下げたところ、立ち上がりを確認した。プランは円形に近い卵型を呈している。土壙の深さは20cm程度であるが立ち上がりは明瞭である。

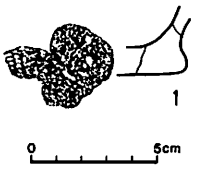
覆　土　覆土7層からは炭化材が多く検出された。

壙　底　壙底面は平坦である。

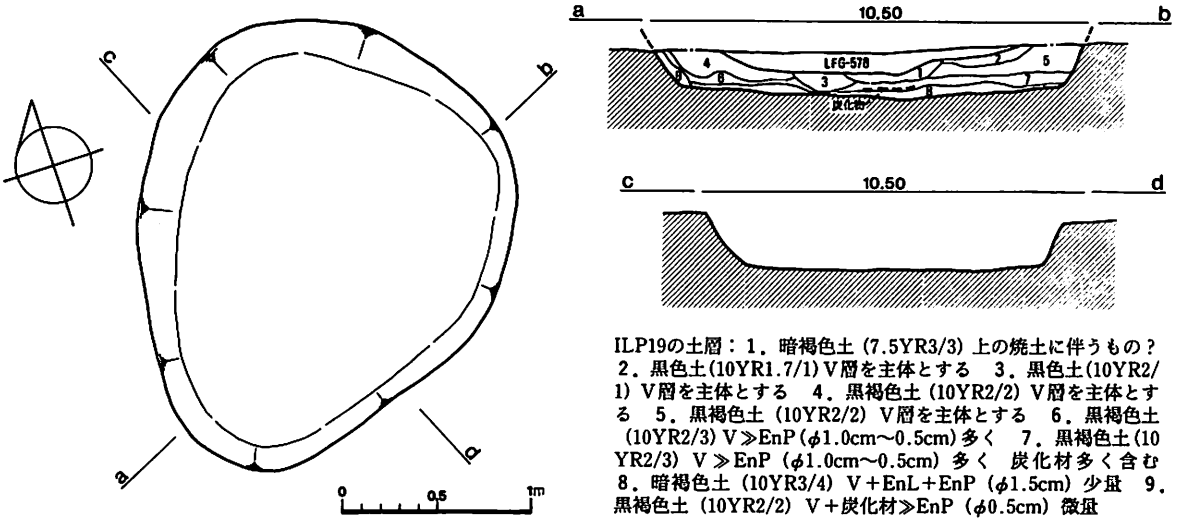
性　格　不明。

時　期　縄文時代と考えられる。　（袖岡淳子）

遺　物　1はⅣ群c類土器の底部破片である。



図Ⅵ－57
ILP19出土の土器



ILP19の土層：1．暗褐色土（7.5YR3/3）上の焼土に伴うもの？　2．黒色土(10YR1.7/1)Ⅴ層を主体とする　3．黒色土(10YR2/1) Ⅴ層を主体とする　4．黒褐色土（10YR2/2）Ⅴ層を主体とする　5．黒褐色土（10YR2/2）Ⅴ層を主体とする　6．黒褐色土（10YR2/3）Ⅴ≫EnP（φ1.0cm～0.5cm）多く　7．黒褐色土(10YR2/3) Ⅴ≫EnP（φ1.0cm～0.5cm）多く　炭化材多く含む　8．暗褐色土（10YR3/4）Ⅴ＋EnL＋EnP（φ1.5cm）少量　9．黒褐色土（10YR2/2）Ⅴ＋炭化材≫EnP（φ0.5cm）微量

図Ⅵ－58　ILP19

ILP20（図Ⅵ－59　図版Ⅵ－12）

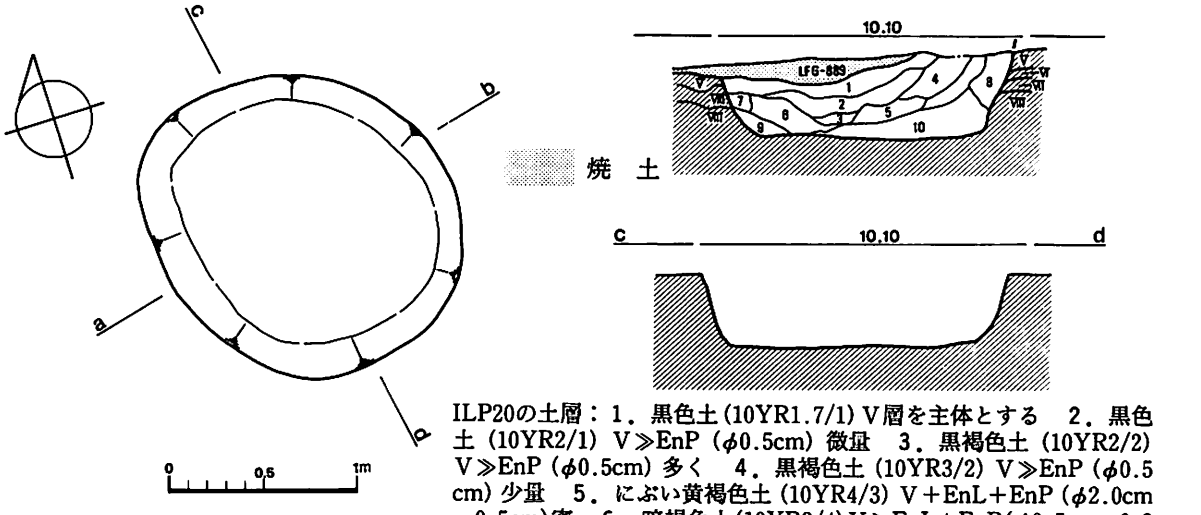
位　置　v－95－c　　**規　模**　1.79m×1.53m×0.40m　　**平面形**　円形

確認・調査　Ⅴ層を掘り下げたところ、立黒色土の落ち込みを確認した。東西方向にトレンチを設定し掘り下げたところ、立ち上がりを確認した。プランは円形を呈している。立ち上がりは明瞭である。

壙　底　壙底面は平坦である。

性　格　不明。

時　期　縄文時代と考えられる。　　（袖岡淳子）



ILP20の土層：1．黒色土(10YR1.7/1)Ⅴ層を主体とする　2．黒色土（10YR2/1）Ⅴ≫EnP（φ0.5cm）微量　3．黒褐色土（10YR2/2）Ⅴ≫EnP（φ0.5cm）多く　4．黒褐色土（10YR3/2）Ⅴ≫EnP（φ0.5cm）少量　5．にぶい黄褐色土（10YR4/3）Ⅴ＋EnL＋EnP（φ2.0cm～0.5cm）密　6．暗褐色土(10YR3/4)Ⅴ＞EnL＋EnP(φ0.5cm～0.3cm）少量　7．褐色土（10YR4/4）EnLを主体とする　8．暗褐色土（10YR3/4）EnL＋EnP（φ0.5cm）少量　9．暗褐色土（10YR3/4）Ⅴ＋EnL＋EnP（φ0.5cm）密　10．暗褐色土（10YR3/3）Ⅴ＞EnL＋EnP（φ0.5cm）密

図Ⅵ－59　ILP20

ILP21（図Ⅵ－60・61　図版Ⅵ－12・29）

位　置　o－93－c　　**規　模**　1.57m×1.49m×0.75m　　**平面形**　円形

長軸方向　N-33°-W

確認・調査　盛土遺構のトレンチ調査の際、盛土遺構の下に黒褐色土の明瞭な落ち込みと焼土および掘り揚げ土を確認した。焼土は埋土上面にあることから土壙の埋め戻し後、すぐに形成されたものと考えられる。土壙のプランは円形である。

覆　土　覆土は埋め戻しによるものと考えられる。

壙　底　壙底は円形で平坦、締まりがある。

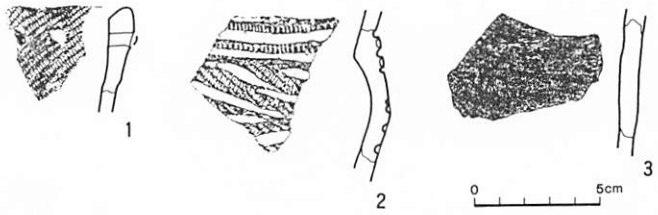
壁　壙底から上20cmまでほぼ垂直に立ち上がり、そこから壙口までは外反する。

性　格　土壙墓と考えられる。

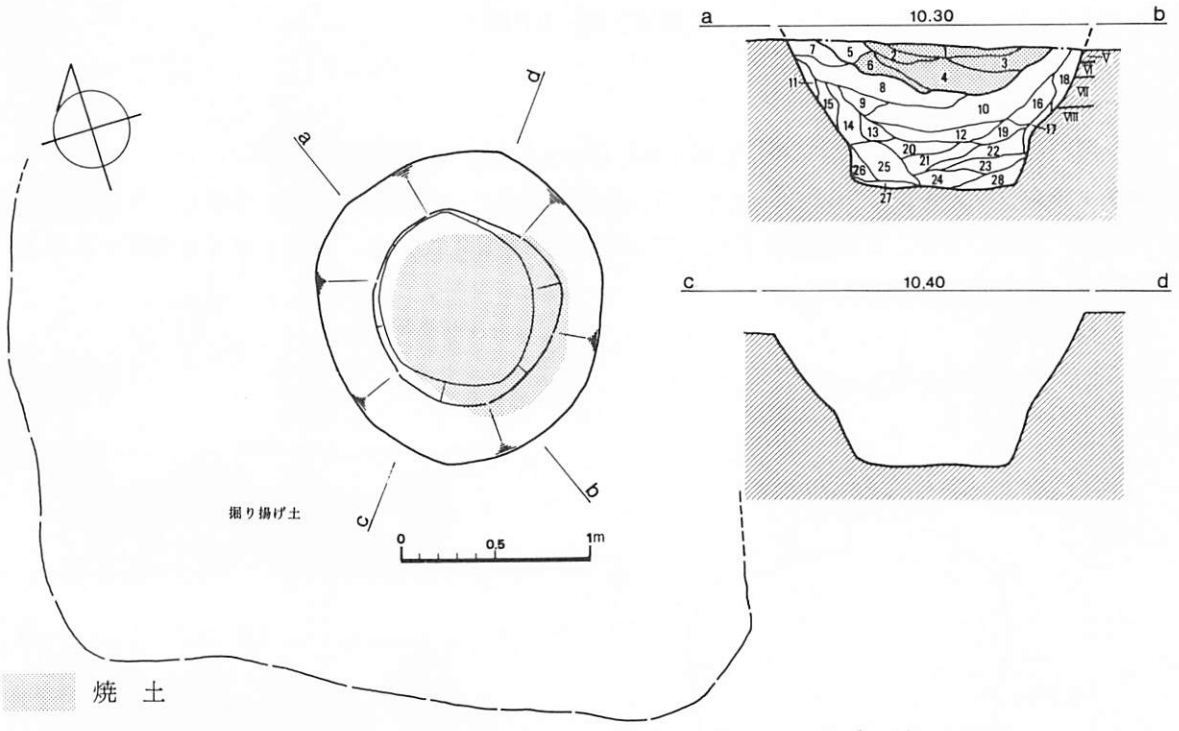
時　期　縄文時代と考えられる。

この土壙についてその性格をより具体的に判明させるため残存脂肪酸分析を依頼した。（袖岡淳子）

遺　物　1はⅣ群c類土器の口縁部破片、2・3はⅣ群b類土器の胴部破片である。



図Ⅵ－60　ILP21出土器



ILP21の土層：1．極暗赤褐色土（5YR2/3）EnP（φ2.0cm～0.5cm）焼土　2．暗赤褐色土（5YR3/6）焼成を受けた土＋EnP（φ0.5cm）少量　3．赤褐色土（5YR4/6）EnP（φ0.5cm程度）少量　4．明赤褐色土（5YR5/8）焼成を受けた土＋EnP（φ2.0cm～0.5cm）多く　焼け締る 5．暗赤褐色土（5YR3/2）焼成を受けた土＋EnP（φ0.5cm）多く　6．暗赤褐色土（5YR3/6）　焼成を受けた土＋V＋EnP（φ0.5cm）多く　7．黒褐色土（10YR3/2）V≫EnL＞EnP（φ0.5cm～0.3cm）少量　8．黒褐色土（10YR2/2）V≫EnL＋EnP（φ0.5cm）多く　9．黒色土（10YR2/1）V≫EnL＞EnP（φ0.5cm）少量　10．黒色土（10YR1.7/1）V＞EnP（φ1.0cm～0.5cm）多く　11．にぶい黄褐色土（10YR4/3）V＋EnL＋EnP（φ0.3cm）少量　12．暗褐色土（10YR3/3）V≫EnL＞EnP（φ0.5cm）少量　13．褐色土（10YR4/4）VとEnL、EnP（φ0.5cm～0.3cm）多く　の斑状混　14．暗褐色土（10YR3/4）V＞EnL＞EnP（φ0.5cm）少量　15．にぶい黄褐色土（10YR4/3）V＋EnL＞EnP（φ0.5cm～0.3cm）少量　16．黒褐色土（10YR3/2）V≫EnL＞EnP（φ1.0cm～0.5cm）多く　17．にぶい黄褐色土（10YR5/4）EnL、EnP（φ1.0cm～0.5cm）を主体とする　18．暗褐色土（10YR3/4）V＞　EnL　19．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnL＞V＞EnP（φ0.5cm）少量　20．黒褐色土（10YR3/1）V≫EnP（φ0.5cm）少量　21．灰黄褐色土（10YR5/2）V＋EnP（φ1.0cm）密＋EnL　22．灰黄褐色土（10YR4/2）V＞EnP（φ0.5cm）多く＋EnL　23．褐色土（10YR4/4）EnL＞EnP（φ0.5cm）密　24．黒褐色土（10YR2/3）V≫EnL　軟らかい　25．暗褐色土（10YR3/4）V＞EnL＞EnP（φ0.5cm）多く　26．黄褐色土（10YR5/8）EnPを主体とする　27．暗褐色土（10YR3/4）V＋EnP（φ0.5cm）密　締る　28．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnP＋V　締る

図Ⅵ－61　ILP21

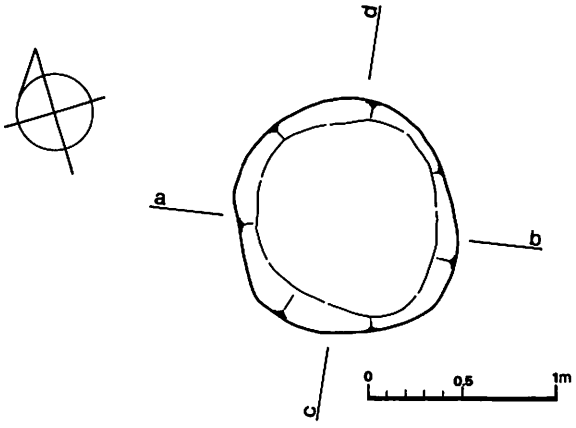
ILP22（図Ⅵ－62　図版Ⅵ－12）

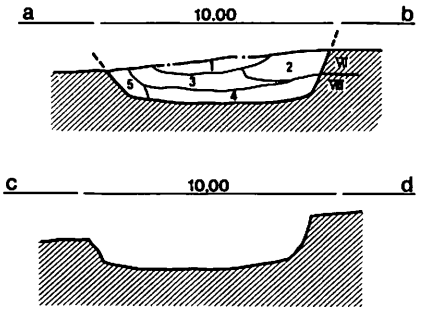
位　置　v－95－d　　**規　模**　1.24m×1.13m×0.24m　　**平面形**　円形

確認・調査　Ⅴ層を掘り下げていたところ、黒色土の落ち込みを確認した。半截し、土層の断面観察の結果、土壙であることが確認された。プランは円形を呈している。立ち上がりは明瞭である。

壙　底　壙底面は平坦である。

性格・時期　不明。　　（袖岡淳子）





ILP22の土層：1．黒色土（10YR2/1）Ⅴ≫EnP（φ1.0cm～0.5cm）少量　締る　2．暗褐色土（10YR3/3）Ⅴ≫EnL＞EnP（φ0.5cm）少量　締る　3．黒褐色土（10YR3/2）Ⅴ≫EnL＞EnP（φ2.0cm～0.5cm）多く　締る　4．黒褐色土（10YR3/2）Ⅴ≫EnL＞EnP（φ1.0cm～0.5cm）やや多く　締る　5．黒褐色土（10YR3/1）Ⅴ≫EnP（φ0.5cm）少量　締る

図Ⅵ－62　ILP22

ILP23（図Ⅵ－63　図版Ⅵ－12）

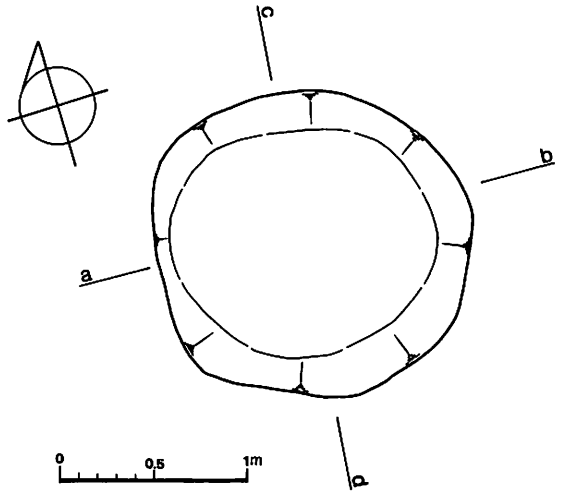
位　置　v－95－a、b　　**規　模**　1.67m×1.62m×0.3m　　**平面形**　円形

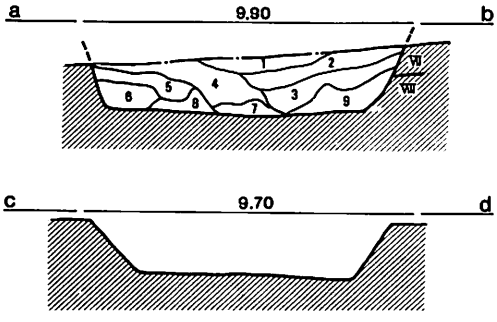
確認・調査　Ⅴ層を掘り下げていたところ、黒色土の落ち込みを確認した。半截し、土層の断面観察の結果、土壙であることが確認された。プランは円形を呈している。立ち上がりは明瞭である。

壙　底　壙底面は平坦である。

性　格　不明。

時　期　縄文時代と考えられる。　　（袖岡淳子）





ILP23の土層：1．黒色土（10YR2/1）Ⅴ≫EnP（φ0.5cm）微量　2．黒褐色土（10YR2/3）Ⅴ≫EnL＞EnP（φ1.0cm～0.3cm）少量　3．黒色土（10YR2/1）Ⅴ≫EnP（φ0.5cm）微量　4．黒褐色土（10YR3/2）Ⅴ≫EnL＋EnP（φ1.0cm～0.3cm）多く　5．暗褐色土（10YR3/3）Ⅴ＞EnL＋EnP（φ0.5cm）多く　6．暗褐色土（10YR3/3）Ⅴ＞EnL＋EnP（φ0.3cm）多く　7．黒色土（10YR2/1）Ⅴ＞EnP（φ1.0cm）多く　締る　8．暗褐色土（10YR3/4）Ⅴ＋EnP（φ1.0cm）多く　締る　9．暗褐色土（10YR3/4）Ⅴ＋EnL＋EnP（φ1.0cm～0.5cm）密

図Ⅵ－63　ILP23

ILP24（図Ⅵ－64　図版Ⅵ－13）

位　置　o－95－c　　**規　模**　1.48m×1.13m×0.28m　　**平面形**　楕円形

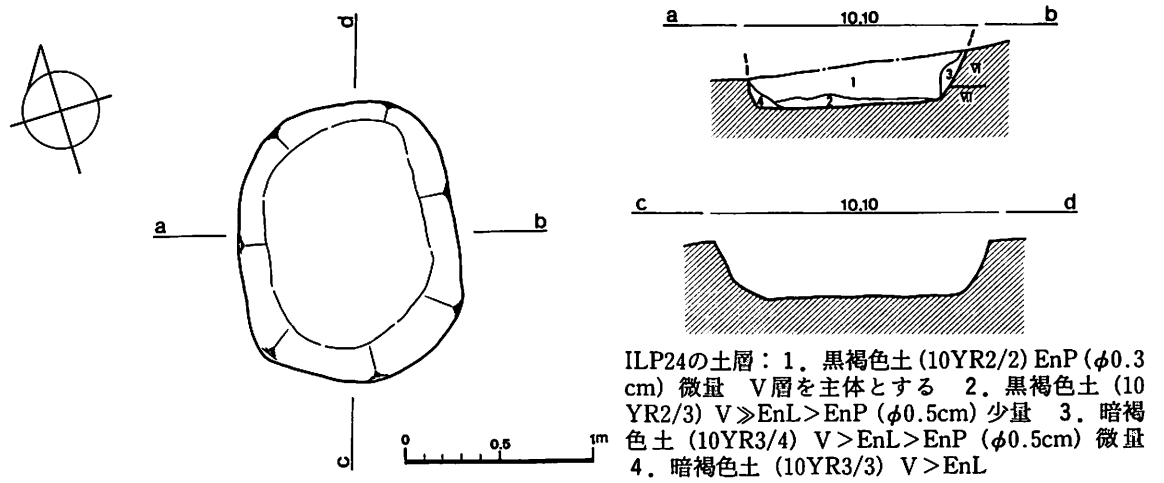
長軸方向　N－15°－E

確認・調査　Ⅴ層を掘り下げていたところ、黒色土の落ち込みを確認した。半截し、土層の断面観察の結果、土壙であることが確認された。プランは円形を呈している。立ち上がりは明瞭である。

壙　底　壙底面は平坦である。

性　格　土壙墓と考えられる。

時　期　縄文時代と考えられる。　　（袖岡淳子）



ILP24の土層：1．黒褐色土（10YR2/2）EnP（φ0.3cm）微量　Ⅴ層を主体とする　2．黒褐色土（10YR2/3）Ⅴ≫EnL＞EnP（φ0.5cm）少量　3．暗褐色土（10YR3/4）Ⅴ＞EnL＞EnP（φ0.5cm）微量　4．暗褐色土（10YR3/3）Ⅴ＞EnL

図Ⅵ－64　ILP24

ILP25（図Ⅵ－65　図版Ⅵ－13）

位　置　o－95－d　　**規　模**　1.23m×0.88m×0.24m　　**平面形**　楕円形

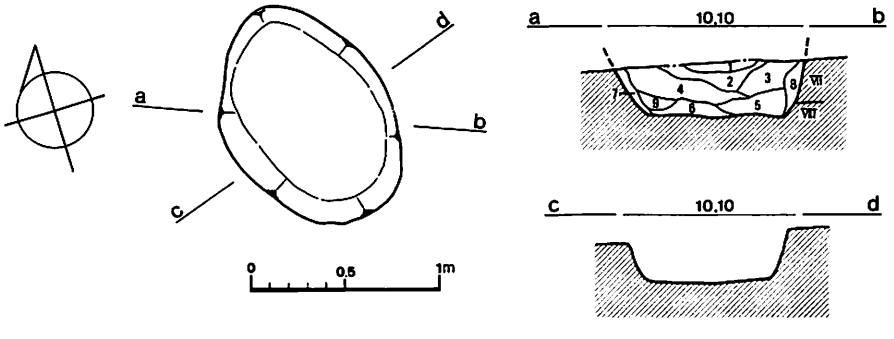
長軸方向　N－10°－W

確認・調査　Ⅴ層を掘り下げていたところ、黒色土の落ち込みを確認した。半截し、土層の断面観察の結果、土壙であることが確認された。プランは円形を呈している。立ち上がりは明瞭である。

壙　底　壙底面は平坦である。

性　格　不明。

時　期　縄文時代と考えられる。　　（袖岡淳子）



ILP25の土層：1．黒色土（10YR2/1）Ⅴ≫EnP（φ0.5cm）微量　2．黒褐色土（10YR3/1）Ⅴ≫EnP（φ0.5cm）少量　3．黒褐色土（10YR2/2）Ⅴ≫EnL＞EnP（φ1.0cm～0.5cm）微量　4．黒褐色土（10YR3/1）Ⅴ≫EnP（φ1.0cm～0.5cm）やや多く　5．暗褐色土（10YR3/3）Ⅴ＞EnL＞EnP（φ2.0cm～0.5cm）多く　6．暗褐色土（10YR3/4）Ⅴ＞EnL＞EnP（φ1.0cm～0.5cm）密　7．暗褐色土（10YR3/4）EnL　8．暗褐色土（10YR3/4）Ⅴ＞EnL＞EnP（φ0.5cm）微量　9．黒褐色土（10YR3/1）Ⅴ≫EnL＞EnP（φ2.0cm～0.3cm）少量

図Ⅵ－65　ILP25

ILP26（図Ⅵ－66・67　図版Ⅵ－13・29）

位　置　o－95－a

規　模　1.18m×1.04m×0.29m

平面形　円形

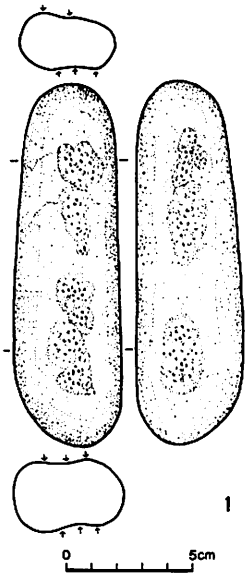
確認・調査　Ⅴ層を掘り下げていたところ、黒色土の落ち込みを確認した。半截し、土層の断面観察の結果、土壙であることが確認された。プランは円形を呈している。立ち上がりは明瞭である。

壙　底　壙底面は平坦である。

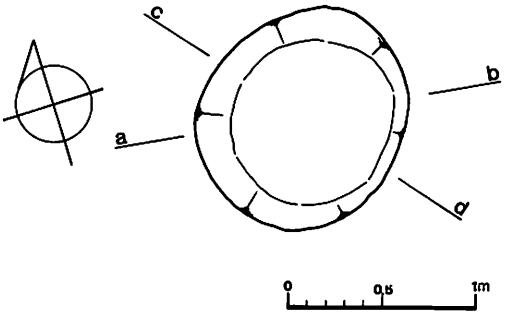
性　格　不明。

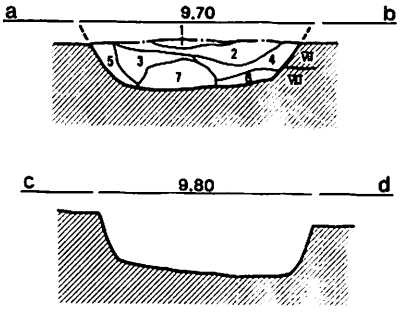
時　期　縄文時代と考えられる。　（袖岡淳子）

遺　物　石器　1はＶＡ４。覆土１層出土。表裏両面にたたき痕が見られる。石質は砂岩である。



図Ⅵ－66　ILP26出土の石器





ILP26の土層：1．黒褐色土（10YR2/2）Ⅴ層を主体とする　2．黒色土（10YR2/1）Ⅴ≫EnP（φ1.0cm～0.5cm）少量　3．黒褐色土（10YR2/3）Ⅴ≫EnL＞EnP（φ0.5cm）少量　4．暗褐色土（10YR3/3）Ⅴ＞EnL＞EnP（φ0.5cm～0.3cm）少量　5．暗褐色土（10YR3/4）Ⅴ＞EnL＞EnP（φ0.5cm）多く　6．黒褐色土（10YR3/2）Ⅴ＞EnL＞EnP（φ1.0cm～0.5cm）多く　7．暗褐色土（10YR3/4）Ⅴ＞EnL＞EnP

図Ⅵ－67　ILP26

ILP27（図Ⅵ－68　図版Ⅵ－13）

位　置　o－97－c、p－98－a　　**規　模**　2.63m×0.61m×1.01m　　**平面形**　長楕円形

長軸方向　N－36°－W

確認・調査　Ⅶ層を精査していたところ、暗褐色土の落ち込みを確認した。半截し、土層の断面観察の結果、Ｔピットであることが確認された。プランはやや形の整わない長楕円形である。壙底から40cm上までは幅20cm程度で狭隘である。

覆　土　覆土は自然に堆積していったものと考えられる。

壙　底　壙底面は形のやや整わない楕円形で、杭跡などは確認されていない。

性　格　Ｔピットである。

時　期　縄文時代相期と推測される。　（袖岡淳子）

ILP28（図Ⅵ－69　図版Ⅵ－14）

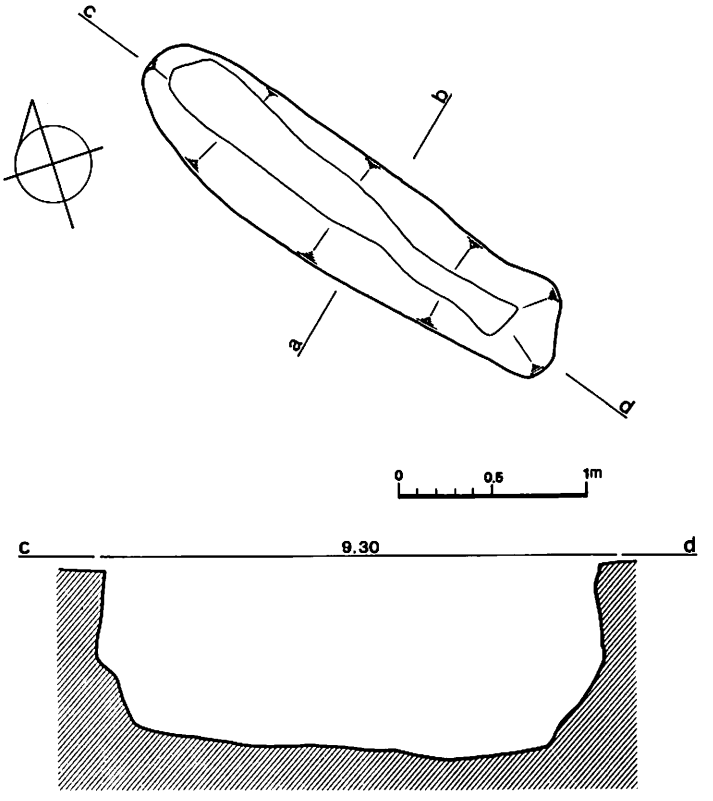
位　置　r－94－a　　**規　模**　0.92m×0.88m×0.31m　　**平面形**　円形

確認・調査　Ⅴ層を掘り下げていたところ、黒色土の落ち込みを確認した。半截し、土層の断面観察の結果、土壙であることが確認された。プランは円形を呈している。立ち上がりは明瞭である。

壙　底　壙底面は平坦である。

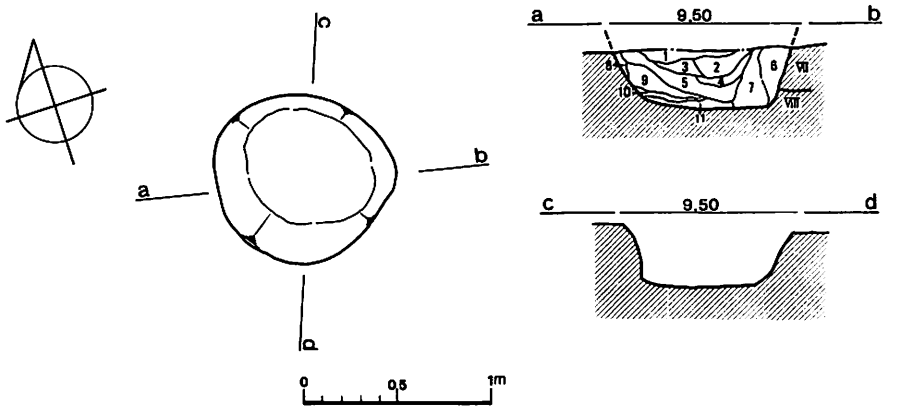
性　格　不明。

時　期　縄文時代と考えられる。　（袖岡淳子）



ILP27の土層：1．黒色土（10YR2/1）V≫EnP（φ0.5cm～0.3cm）微量　2．黒褐色土（10YR3/2）V≫EnL　3．暗褐色土（10YR3/3）V＞EnL　4．暗褐色土（10YR3/4）V＞EnP（φ1.0cm）少量＞EnL　5．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnL≫V＞EnP（φ1.0cm）微量　6．灰黄褐色土（10YR4/2）EnL≫V＞EnP（φ0.5cm）少量　7．褐色土（10YR4/4）EnL≫V＞EnP（φ1.0cm）やや多く　8．黄褐色土（10YR5/6）EnL＋EnP（φ1.0cm）多く　9．褐色土（10YR4/4）EnL≫V＞EnP（φ1.0cm）やや多く　10．黒褐色土（10YR2/2）V≫EnL　軟らかい　11．黄褐色土（10YR5/6）EnPを主体とする　12．明黄褐色土（10YR6/8）EnPを主体とする　軟らかく脆い　13．明黄褐色土（10YR6/8）EnPを主体とする　軟らかく脆い　14．にぶい黄褐色土（10YR5/3）EnL＋EnP　軟らかい　15．黒色土（10YR1.7/1）やや締りがあり粘性がある

図Ⅵ－68　ILP27



ILP28の土層：1．黒褐色土（10YR3/1）V層を主体とする　2．にぶい黄褐色土（10YR4/3）V＋EnL　3．暗褐色土（10YR3/3）V＞EnL＋EnP（φ1.0cm）多く　4．暗褐色土（10YR3/4）V＞EnL＋EnP（φ0.5cm～0.3cm）多く　Ta-dを微量に含む　5．にぶい黄褐色土（10YR4/3）EnL＋EnP（φ1.0cm～0.3cm）多く　6．暗褐色土（10YR3/4）V＋EnL　7．黒褐色土（10YR2/3）V＞EnL　8．暗褐色土（10YR3/3）V＋EnL　9．黒褐色土（10YR2/3）V≫EnL　10．褐色土（10YR4/4）EnL＋EnP（φ1.5cm）密　11．黄褐色土（10YR5/6）EnLを主体とする

図Ⅵ－69　ILP28

ILP29（図Ⅵ－70　図版Ⅵ－14）

位　置　y－104　標高10.70付近のほぼ平坦地に位置している。

規　模　(0.51m)／――×(0.51m)／――×1.20m　　**平面形**　円形状

確認・調査　南北メインセクション西側トレンチ内のⅧ層上面で淡黄橙色土の落ち込みを検出した。半截し、調査を行う。

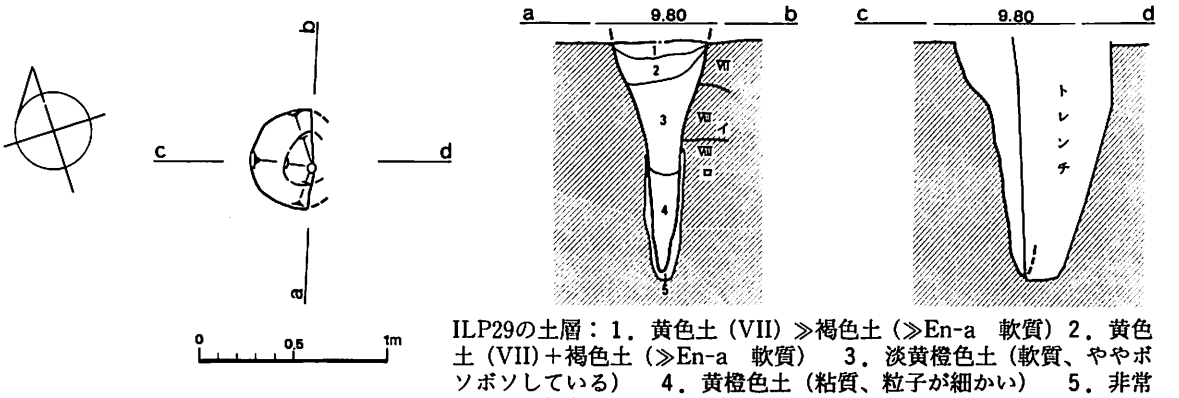
覆　土　覆土1層は微量のEn-aを混入するⅦ≫Ⅵ、覆土2層は微量のEn-dを混入するⅦ＋Ⅵで、ともに軟質である。覆土3層はややボソボソした軟質の淡黄橙色土である。覆土4層は粒子の細かい粘質土で、黄橙色土である。覆土3層下層付近から壙底にかけての覆土周辺には、非常に堅い黄橙色土が薄く見られた。覆土は全体的に綺麗な堆積土である。

壙底・壁　Ⅷ層を深く掘り込んで構築されており、断面形は杭状である。

遺物出土状況　覆土中から遺物は出土していない。

性　格　不明。

時　期　掘り込み面はⅤb層下層～Ⅵ層にかけてと思われることから、縄文時代早期に属する遺構と思われるが、明確ではない。



ILP29の土層：1．黄色土（Ⅶ）≫褐色土（≫En-a　軟質）2．黄色土（Ⅶ）＋褐色土（≫En-a　軟質）　3．淡黄橙色土（軟質、ややボソボソしている）　4．黄橙色土（粘質、粒子が細かい）　5．非常に堅い黄橙色土、（イ：非常に堅いEn-a　ロ：ガラガしたEn-a）

図Ⅵ－70　ILP29

(3) 焼　土（図Ⅵ－71～82　表Ⅵ－3　図版Ⅵ－14・29）

ここで取り上げた焼土は、Ⅴb層上面付近およびⅤb層中で検出されたものである。検出された焼土の総数は1,455ヵ所である。このうち明らかにⅤb層中の焼土と思われるものはILF49～74・100・102の28ヵ所で、大半がⅤb層上面付近で検出された焼土である。ただ東南部付近の焼土はⅣ層に近い面で検出されており、また検出面周辺包含層出土の遺物（縄文時代早期）との関係から見ると、Ⅴb層中の焼土と考えて良いかも知れない。報告にあたっては、全体の状況・傾向について記載し、――一部の焼土については土層図を図示しているが（図Ⅵ－76・78・80・82）――個々の位置・規模・色調については一覧表にして掲載した。

分　布

Ⅴb層上面は標高12.30m～9.40mで、東から西へ緩やかに傾斜し、西側（標高10.50m付近から西側）はやや傾斜を強めている。焼土のほとんどがこのⅤb層上面付近で検出されており、調査区のほぼ全面に広がっている。ただ図Ⅵ－1～3で一見するとあきらかなように、グルーピングできるほどのまとまりは見られない。それでも分布に濃淡がうかがえる。中央部、西壁側そして東南部付近などは濃密で、北東部、中央部と西壁側との間周辺の分布はやや希薄になっている。

構　造

平面形は、円形・楕円形・台形・三角形・ひょうたん形・棒状・不定形・不整形など千差万別で、輪郭も不分明なものが多い。そのため規模などを明確に把握しがたい状態である。

規模は、おおよそ径2.00m～0.10mまで種々あるが、0.50m前後のものが多いようである。

断面形は、大半がレンズ状で、中には波状のものも見られる。層厚は最大0.18mで、0.03m～0.10mのものが多い。0.01mほどのものもあり、全体的に薄いものが多い。

色調は、大きく二つに分けることができる。一つは暗赤褐色の焼土で、混在物がなく、しっとりして鮮やかな色調である（イ）。いま一つは暗赤橙色焼土に暗褐色土あるいは褐色土が混入するもの（ロ）で、明度が低い。また暗褐色土あるいは褐色土に暗橙色焼土が混入するもの（ロ′）で、暗褐色～極暗褐色を呈するものも見受けられる。この色調による分布のちがいなどは見られないが、ロが全体の80%近くを占め、イ・ロ′は各10%前後である。ロ・ロ′で全体の90%前後を占めている。イは原位置を保っているもの、ロ・ロ′は動いているかあるいは強度の火熱を受けていないものと見ることができよう。

遺構との関係

遺構と焼土の分布域にちがいはなく、ほぼ重なり合っている。Ⅴb層上面付近で検出された焼土はあきらかに盛土遺構下に広がっている。またILP3の覆土下層には焼土がブロック状に混入しており、ILP7・10・15の覆土上には流れ込み状の焼土が見られた。このように焼土が形成される前後に遺構が構築されており、焼土と遺構の間におたがいに避け合うという意識が存在しなかったようである。

遺物出土状況

焼土中あるいは焼土直上付近から遺物は出土しているが、まとまった出土状態ではない。土器は、Ⅰ群b類、Ⅳ群c類のものが出土しており、東南部付近検出の焼土からはⅠ群b類の土器片が多く出土している。石器では石鏃、石槍またはナイフ、つまみ付ナイフ、すり石片、砥石片などが出土しているが、ほとんどが剝片・礫類などである。

時　期

Ⅴb層上面付近で検出された焼土は、周辺包含層出土の遺物などから見て縄文時代後期後葉に形成されたものと思われる。ただ個々の焼土の時期を明確にするのは困難であるが、ほぼ同一面で検出さ

れていることから考えると形成時期に大きな時間差はないと思われる。また東南部付近で検出された焼土は、検出面周辺包含層や焼土直上付近でⅠ群ｂ類の土器が多く出土していることから考えると、Ⅴｂ層中検出の焼土と同様縄文時代早期に形成された焼土であろうと思われる。

性　格

Ⅴｂ層中検出の焼土は中央部から東側に多く見られるが、散在しており、東南部周辺検出焼土と同様に暗赤褐色のしっかりした焼土が多い。これらは焚き火跡としてよいであろう。ところがⅤｂ層上面付近に広がる焼土については分布状態・焼土の堆積状態などからは簡単にその性格を云々することは出来ない。自然発生的な森林火災か、単なる焚き火跡か、大規模な野焼きかあるいは盛土遺構に伴う何らかの営為によるものか、はたまた私たちにはうかがい知ることができないような出来事によるものなのか、定かではない。

焼土出土の土器

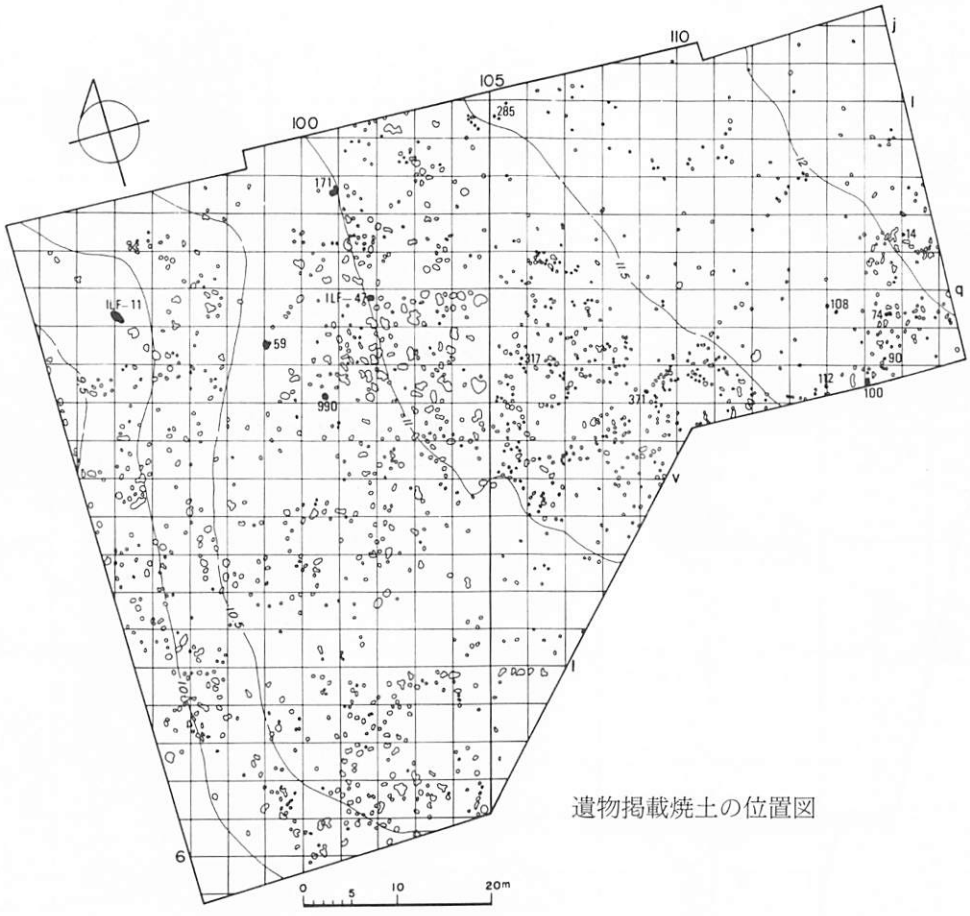
ｉ）**土器**（図Ⅵ－74）

1はⅣ群ｃ類のもので、突瘤を伴う口縁部破片である。2は底部破片である。3はⅣ群ｂ類のもので、刻み目と突瘤の組み合わせのものである。4は突瘤を伴うⅣ群ｃ類の口縁部である。5から11はⅠ群ｂ類のもので6・11は口縁部破片である。

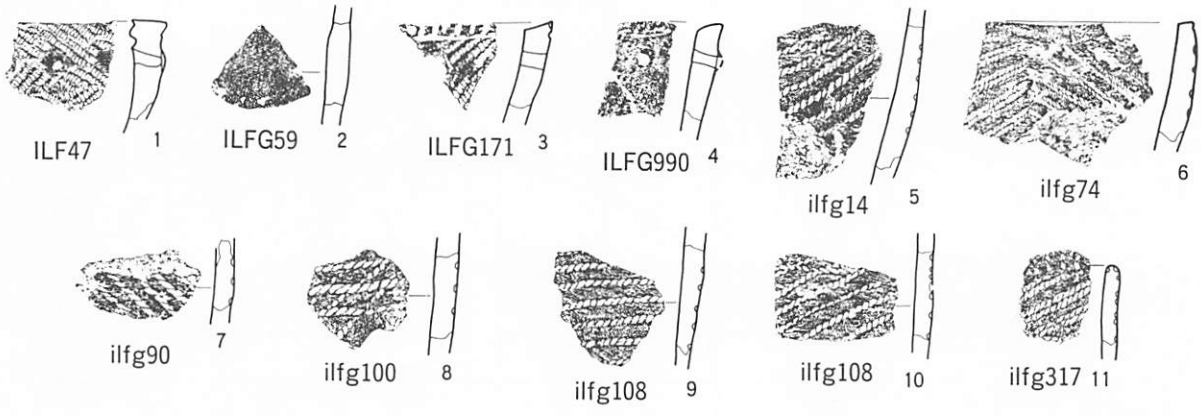
ii）**石器**（図Ⅵ－74　図版Ⅵ－29）

Ⅴｂ層上面付近およびⅤｂ層中の焼土から（ILF11・22、ILFG75・120・143・184・189・221・290・984・985、ilfg68・71・72・74・78・89・90・92・93・96・97・100・103・106・108・109・112・125・160・183・233・245・272・285・370・371・444）は石鏃・つまみ付ナイフ・スクレイパーなど73点が出土している。これらを含む石器類の大半は剝片・礫などであり、ここではILF11の石鏃、ilfg112のスクレイパー、ilfg285・371のつまみ付ナイフを図示した。

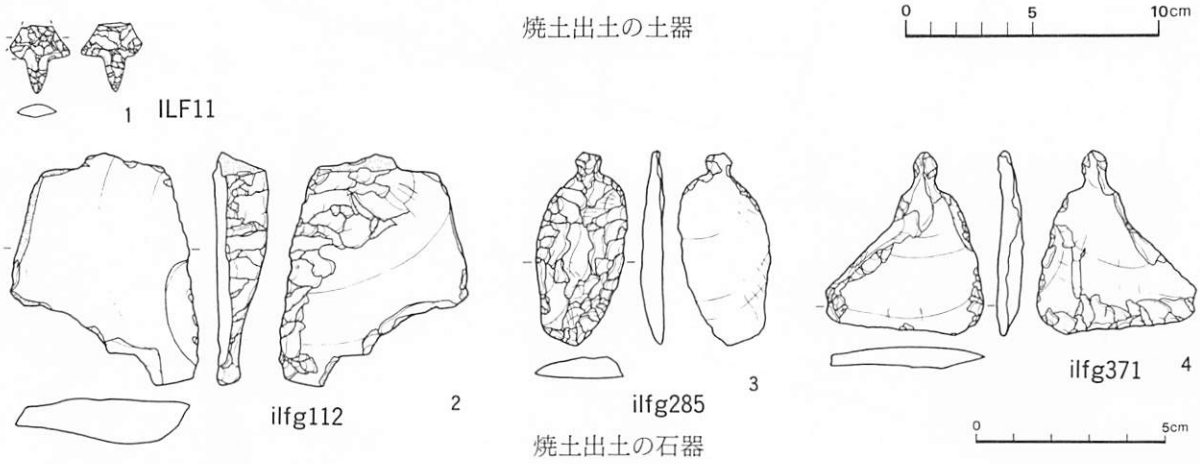
1は石鏃で、ＩＡ7ｃ。基部上半部、左かえしが欠損している。側縁部は内湾し、側面の稜線はジグザグ上のものと推測される。石質は黒曜石。2はスクレイパーで、ⅢＢ6。上端、左側縁部に礫皮面が残る。右側縁部を調整加工し、刃部を作り出している。石質は黒曜石。3・4はつまみ付ナイフで、ともにⅢＡ3。3は表面の周縁を調整加工し、刃部を作り出している。石質は濃紫色の珪質頁岩である。4は下端を調整加工し、刃部を作り出している。石質は黒曜石。



遺物掲載焼土の位置図

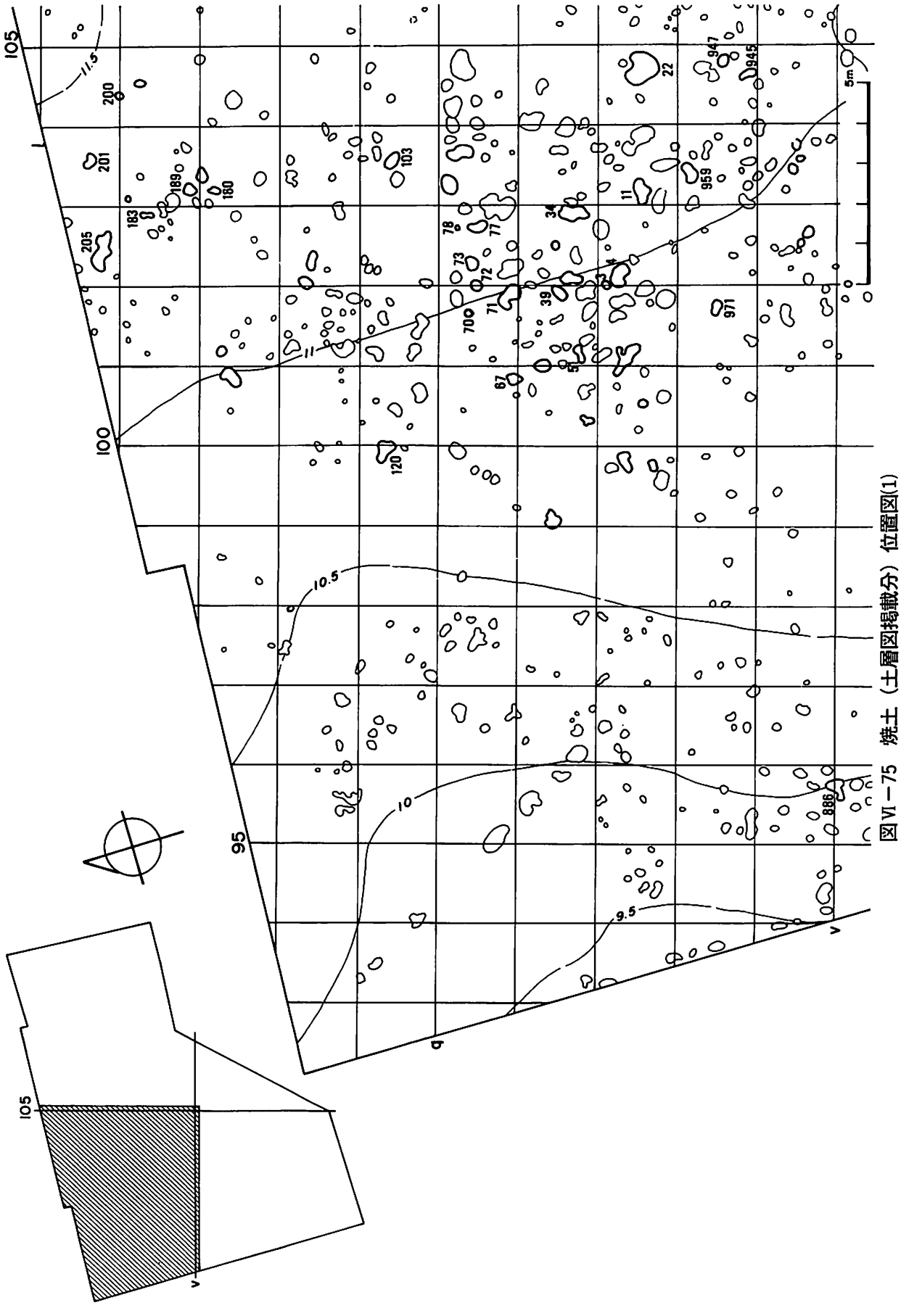


焼土出土の土器

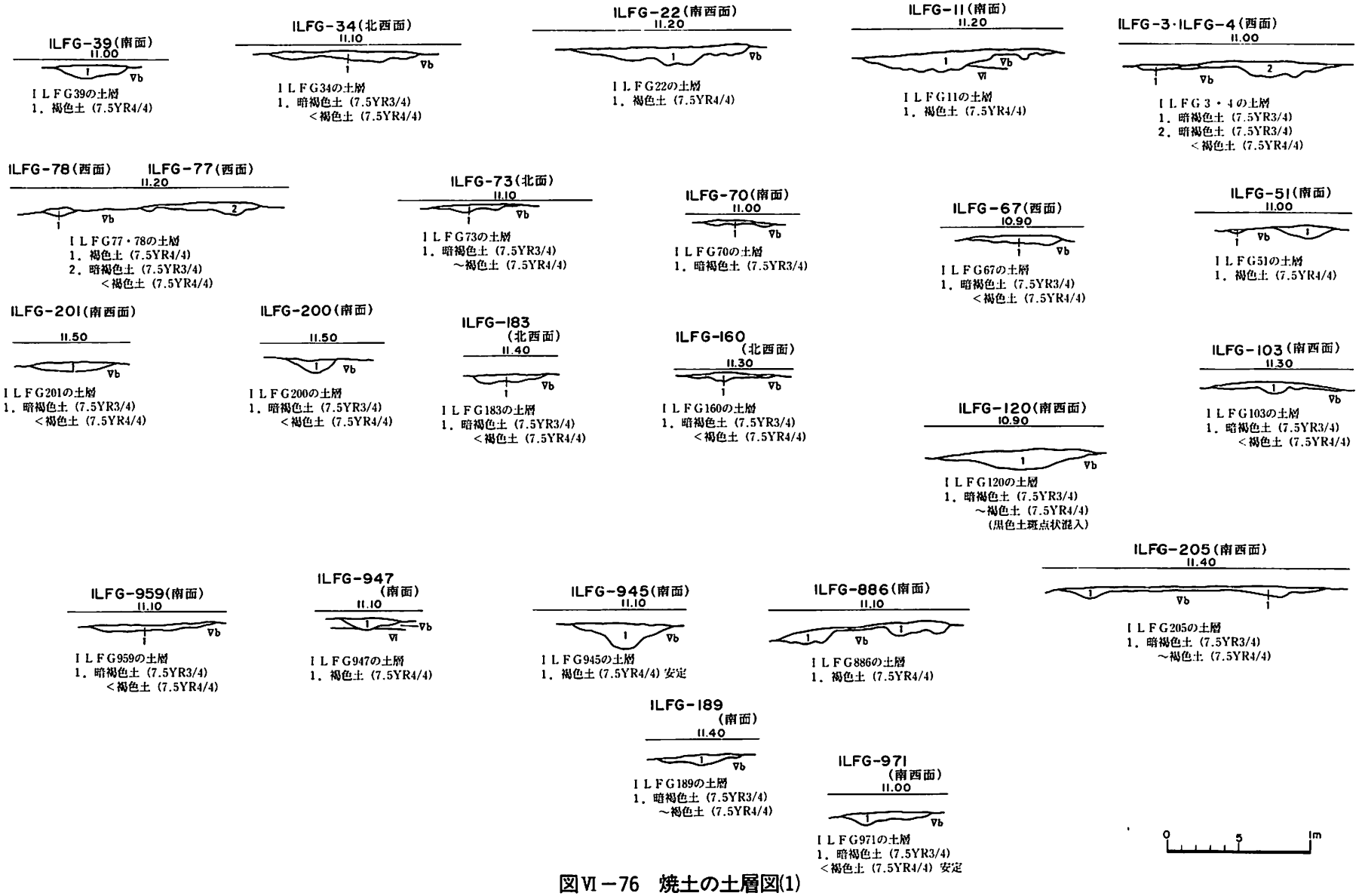


焼土出土の石器

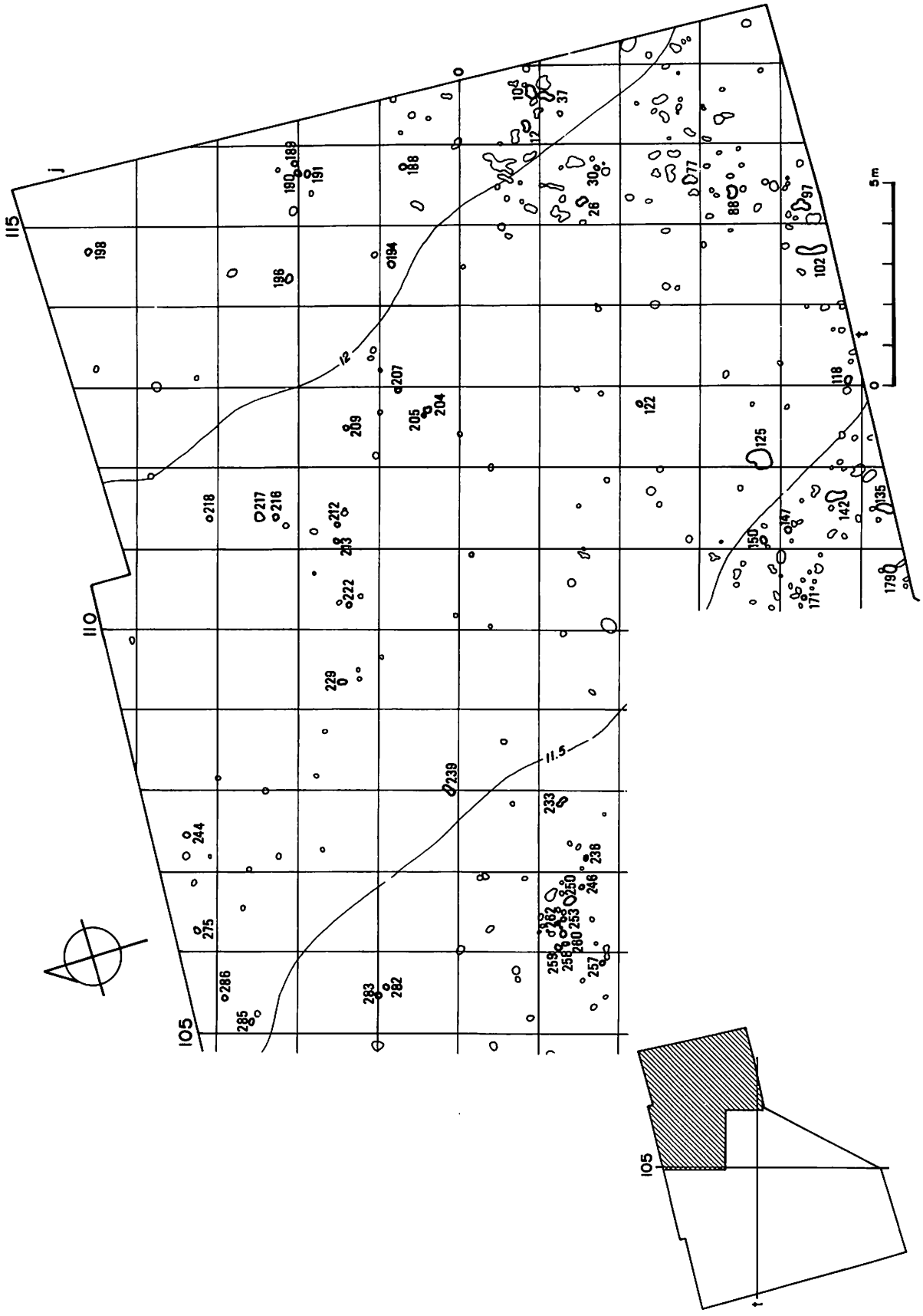
図Ⅵ－74　焼土の位置図と出土遺物



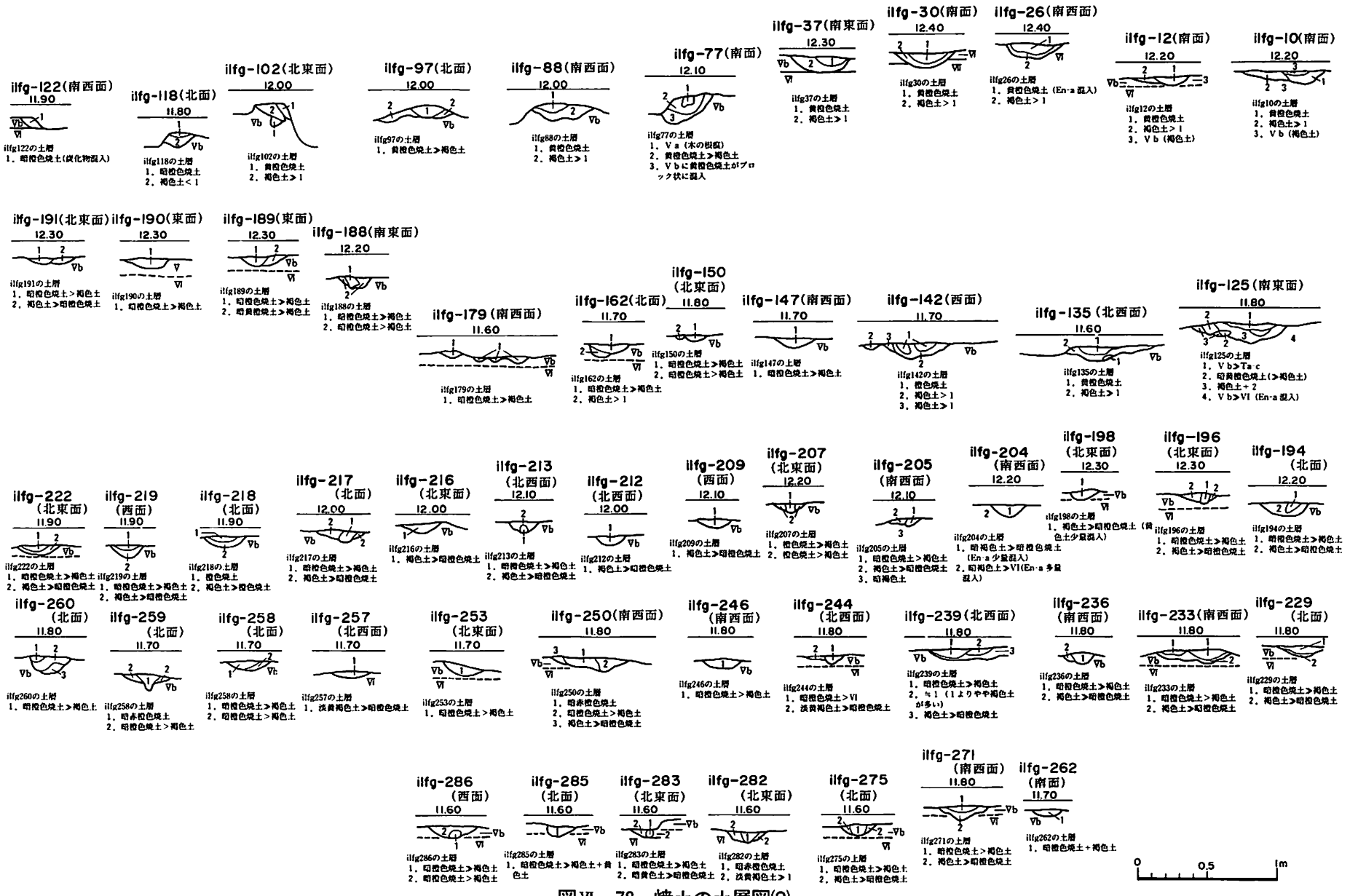
図VI－75　焼土（土層図掲載分）位置図(1)



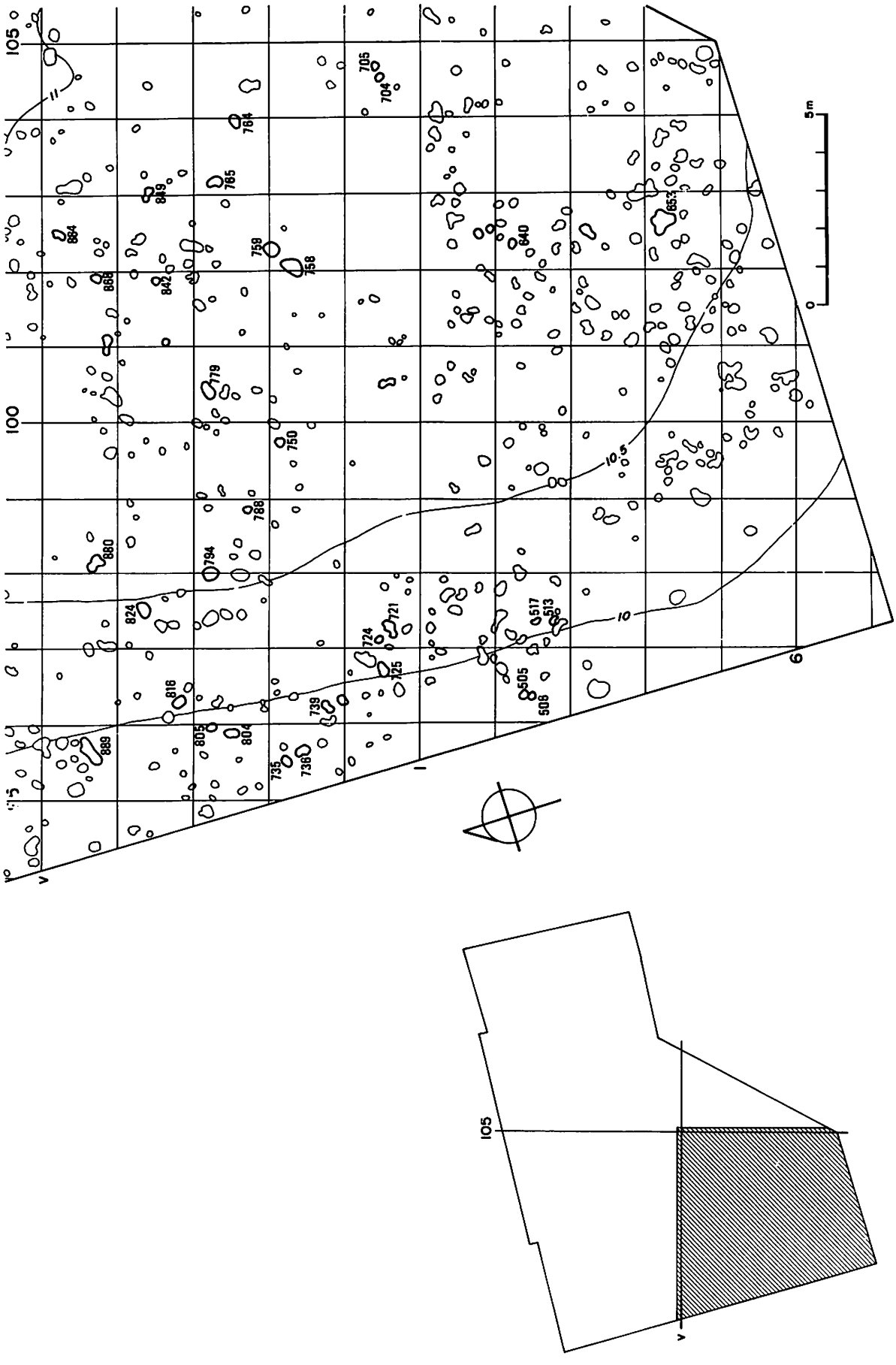
図Ⅵ－76　焼土の土層図(1)



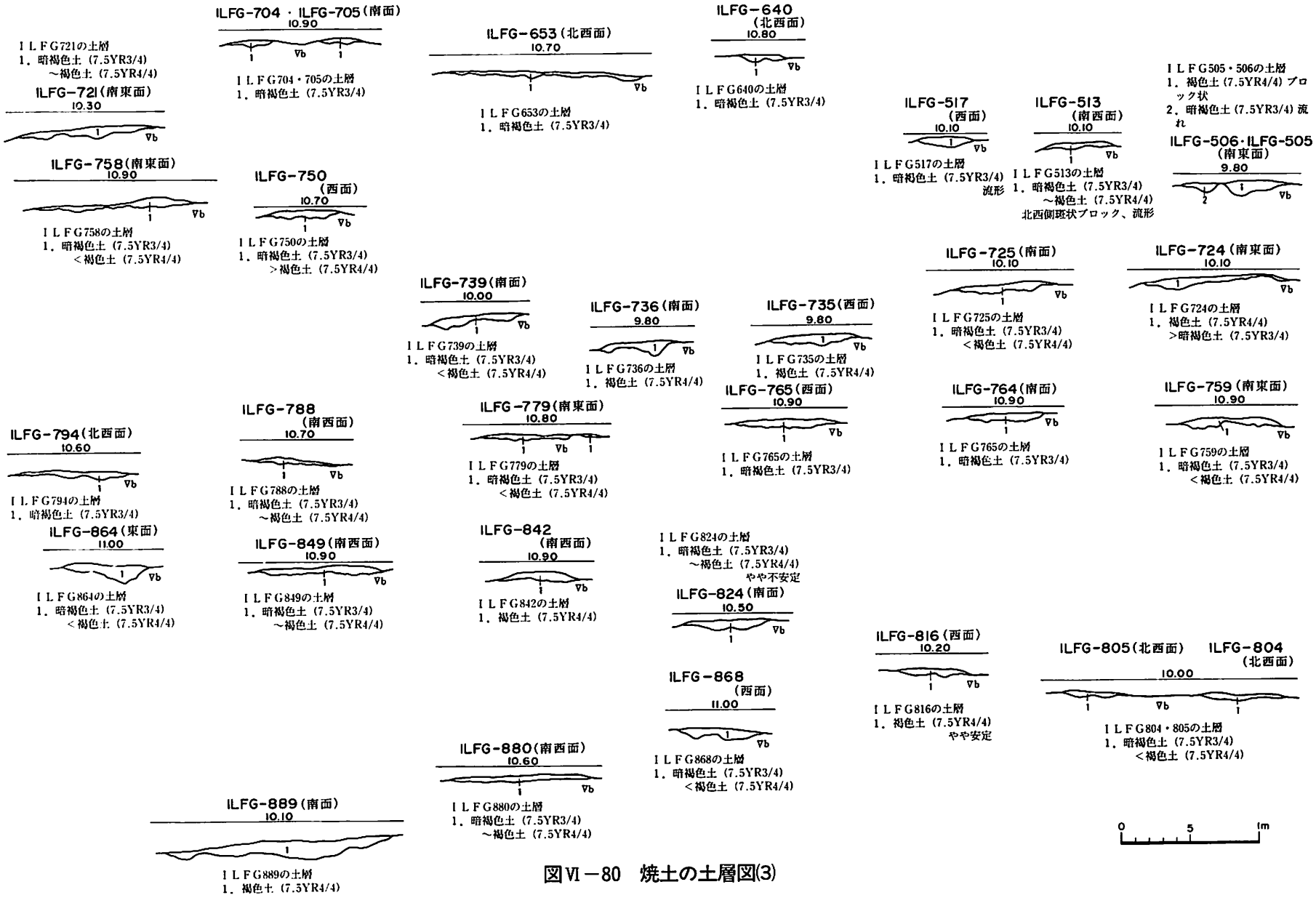
図Ⅵ－77　焼土（土層図掲載分）位置図(2)



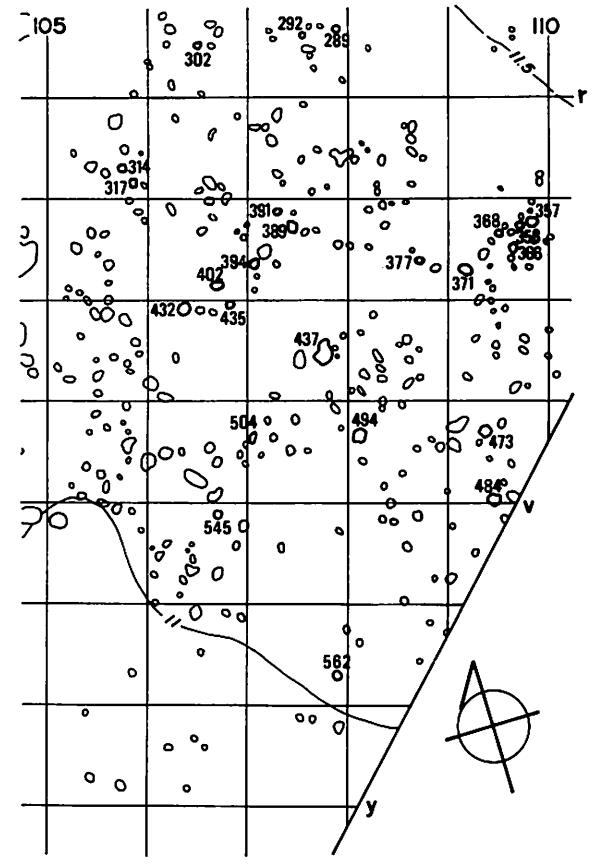
図Ⅵ－78　焼土の土層図(2)



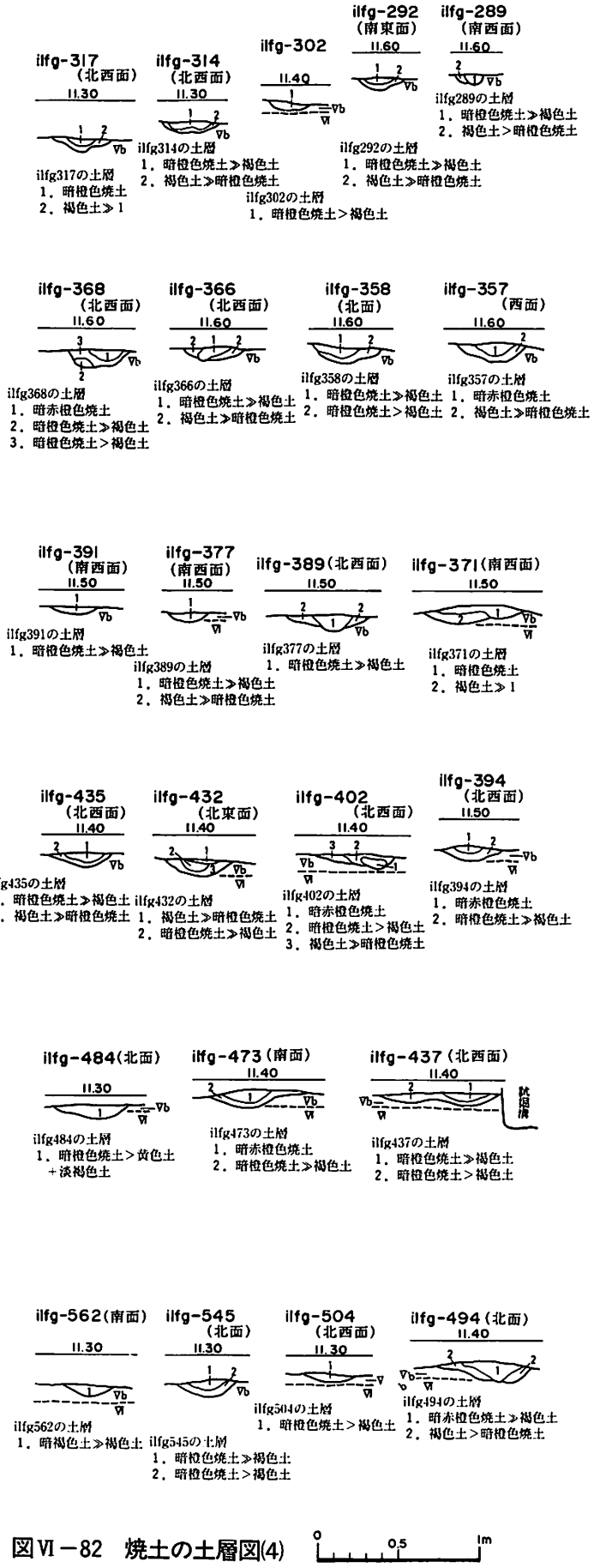
図Ⅵ－79　焼土（土層図掲載分）位置図(3)



図Ⅵ－80　焼土の土層図(3)



図Ⅵ－81　焼土（土層図掲載分）位置図(4)



図Ⅵ－82　焼土の土層図(4)

表Ⅵ－3　Ⅴ層中の焼土一覧

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm) 長軸×短軸×厚さ	色　　調	出土遺物	掲載
ILF　1		不整形		7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
2		〃		〃		
3		〃		7.5YR4/4褐		
4		〃		7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
5		〃		〃		
6		〃		〃		
7		〃		7.5YR3/4暗褐		
8		〃		〃		
9		〃		7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
10		〃		7.5YR4/4褐	Ⅳc	
11		〃		7.5YR3/4～4/4褐～暗褐	Ⅰb	
12		〃		7.5YR4/4褐		
13		〃		〃		
14		〃		〃		
15		〃		7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
16		〃		〃		
17		〃		〃		
18		〃		〃		
19		〃		〃		
20		〃		7.5YR4/4褐		
21		〃		7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
22		〃		7.5YR3/4暗褐	礫	
23		〃		7.5YR4/4褐		
24		〃		〃		
25		〃		〃		
26		〃		7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
27		〃		〃		
28		〃		〃		
29		〃		〃		
30		〃		〃		
31		〃		〃		
32		〃		7.5YR3/4暗褐		
33		〃		〃		
34		〃		〃		
35		〃		〃		
36		〃		7.5YR3/4～4/4褐～～暗褐		
37		〃		〃		
38		〃		7.5YR3/4暗褐		
39		〃		〃		
40		〃		7.5YR3/4～4/4褐～～暗褐		
41		〃		〃		
42		〃		7.5YR3/4暗褐		
43		〃		〃		
44		〃		〃		
45		〃		〃		
46		〃		〃		
47		〃		7.5YR3/4～4/4褐～～暗褐	Ⅳc	
48		〃		7.5YR3/4暗褐		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm) 長軸×短軸×厚さ	色　調	出土遺物	掲載
ILF　49	n－115	円形	0.14×0.14×0.01	暗赤橙色		
50	〃	台形状	0.40×0.40×0.05	〃		
51	k－112、k－113	〃	0.50×0.40×0.10	〃		
52	k－113	長円形	0.21×0.19×0.08	〃		
53	j－113	長楕円形	0.30×0.22×0.07	〃		
54	j－114	台形状	0.24×0.21×0.06	〃		
55	m－112、n－112	楕円形	0.33×0.28×0.10	〃		
56	m－111	長楕円形	0.20×0.14×0.01	〃		
57	〃	〃	0.34×0.26×0.02	〃		
58	j－109	〃	0.28×0.16×0.05	〃		
59	k－108、l－108	長円形	0.18×0.14×0.01	〃		
60	m－108	楕円形	0.15×0.14×0.01	〃		
61	m－107	円形	0.15×0.15×0.02	〃		
62	n－105	長楕円形	0.34×0.26×0.05	〃		
63	m－105、n－105	楕円形	0.28×0.24×0.05	〃		
64	o－108	〃	0.25×0.22×0.06	〃		
65	q－109	長円形	0.15×0.14×0.05	〃		
66	〃	〃	0.17×0.14×0.06	〃		
67	q－106	〃	0.21×0.20×0.05	〃		
68	t－106	長楕円形	0.45×0.28×——	〃		
69	t－105	楕円形	0.26×0.26×0.05	〃		
70	〃	長円形	0.16×0.13×0.05	〃		
71	u－105	長楕円形	0.24×0.21×0.08	〃		
72	v－105	円形	0.20×0.20×0.04	〃		
73	x－105、y－105	楕円形	0.26×0.20×0.05	〃		
74	z－107	〃	0.21×0.20×0.01	〃		
100						
101						
ILFG　1	s－101	不整形	0.79×0.68×0.07	7.5YR3/4～4/4強 褐～暗褐	Ⅳc	
2	〃	〃	1.23×0.68×0.07	〃		
3	s－102	〃	0.44×0.31×0.03	〃		◎
4	〃	〃	1.22×0.78×0.11	〃		◎
5	〃	〃	0.60×0.39×0.03	〃		
6	〃	〃	0.59×0.28×0.03	〃		
7	〃	〃	0.37×0.18×0.02	〃		
8	〃	〃	0.32×0.25×0.04	〃		
9	〃	〃	1.11×0.68×0.07	〃		
10	s－103	〃	1.29×0.55×0.04	〃		
11	〃	〃	1.35×0.75×0.15	〃		◎
12	〃	〃	0.63×0.44×0.03	〃		
13	〃	〃	0.67×0.22×0.02	〃		
14	〃	〃	0.64×0.35×0.04	〃		
15	〃	〃	0.83×0.38×0.05	〃		
16	〃	〃	0.34×0.25×0.05	〃		
17	〃	〃	1.91×0.80×0.09	〃		
18	〃	〃	1.52×(0.56)×——	7.5YR4/4褐 ★		
19	〃	〃	0.51×0.44×——	〃		
20	s－104	〃	0.55×0.32×0.02	7.5YR3/4～4/4 褐～暗褐		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm)	色　　調	出土遺物	掲載
			長軸×短軸×厚さ			
ILFG　21	s－104	不整形	0.35×0.23×0.03	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
22	〃	〃	1.67×(1.58)×0.11	7.5YR4/4強～3/4褐～暗褐		◎
23	〃	〃	0.50×0.44×0.03	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
24	r－104	〃	0.81×0.39×0.03	〃	土器	
25	〃	〃	1.35×0.80×0.05	7.5YR3/4～4/4強 褐～暗褐		
26	〃	〃	1.11×0.82×0.02	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
27	〃	〃	0.67×0.05×0.03	〃		
28	r－103	〃	(0.47)×0.38×0.01	〃		
29	〃	〃	0.95×0.43×0.06	7.5YR4/4強～3/4褐～暗褐		
30	〃	〃	0.39×0.29×0.03	7.5YR3/4～4/4強 褐～暗褐		
31	〃	〃	0.44×0.31×0.04	〃		
32	〃	〃	0.48×0.36×0.03	7.5YR3/4暗褐		
33	〃	〃	0.64×0.33×0.02	〃		
34	r－102	〃	1.54×0.67×0.06	7.5YR4/4強 褐～暗褐		◎
35	〃	〃	0.41×0.36×0.10	7.5YR4/4強 褐		
36	〃	〃	0.45×0.32×0.11	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
37	〃	〃	(0.60)×0.29×0.02	7.5YR3/4暗褐		
38	〃	〃	0.62×0.34×0.05	〃		
39	〃	〃	0.94×0.54×0.08	7.5YR4/4強 褐		◎
40	〃	〃	0.94×0.54×0.02	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
41	r－101	〃	(1.14)×0.92×0.03	〃	Ⅳc	
42	〃	〃	1.19×0.59×0.07	7.5YR4/4強 褐		
43	〃	〃	0.73×0.25×0.04	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
44	〃	〃	0.30×0.19×0.02	〃		
45	〃	〃	0.35×0.28×0.02	〃		
46	〃	〃	0.70×0.28×0.04	〃		
47	〃	〃	0.32×0.19×0.02	〃		
48	〃	〃	0.29×0.23×0.04	〃		
49	〃	〃	0.58×0.44×0.02	7.5YR3/4暗褐		
50	〃	〃	0.55×0.45×0.06	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
51	〃	〃	0.93×0.19×0.09	7.5YR4/4強 褐		◎
52	〃	〃	0.84×0.39×0.06	〃		
53	〃	〃	0.48×0.42×0.03	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
54	〃	〃	0.84×0.62×0.06	7.5YR4/4強 褐	Ⅳc	
55	r－100	〃	0.79×0.34×0.04	7.5YR3/4暗褐		
56	〃	〃	0.24×0.24×0.05	7.5YR4/4褐		
57	〃	〃	0.94×0.65×0.05	7.5YR3/4～4/4強 褐～暗褐		
58	〃	〃	0.67×0.28×0.05	〃	土器	
59	r－99	〃	0.89×0.69×0.12	7.5YR3/4暗褐	Ⅳc	
60	〃	〃	0.46×0.35×0.03	7.5YR4/4褐		
61	q－99	〃	0.57×0.38×0.01	7.5YR3/4暗褐		
62	〃	〃	0.57×0.38×0.05	〃		
63	〃	〃	0.48×0.39×0.05	〃		
64	〃	〃	0.91×0.61×0.12	7.5YR4/4褐		
65	q－100	〃	0.23×0.23×0.04	7.5YR3/4暗褐		
66	〃	〃	0.32×0.29×0.02	〃		
67	〃	〃	0.85×0.51×0.06	7.5YR4/4褐		◎
68	q－101	〃	(0.35)×0.25×0.01	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm) 長軸×短軸×厚さ	色　調	出土遺物	掲載
ILFG　69	q－101	不整形	0.31×0.23×0.03	7.5YR3/4暗褐		
70	〃	〃	0.57×0.47×0.04	〃		◎
71	〃	〃	1.17×0.60×0.04	7.5YR3/4～4/4強 褐～暗褐	Ⅳc	
72	q－102	〃	0.50×0.46×0.06	7.5YR4/4強～3/4 マダラ褐～暗褐	Ⅳc	
73	〃	〃	0.66×0.50×0.05	〃		◎
74	〃	〃	0.37×0.22×0.04	〃		
75	〃	〃	1.47×0.88×0.08	〃	Ⅳc、礫	
76	〃	〃	0.53×0.51×0.07	〃		
77	〃	〃	1.03×0.54×0.09	〃		◎
78	〃	〃	0.37×0.24×0.06	〃		◎
79	〃	〃	0.62×0.54×0.05	〃		
80	q－103	〃	(0.37)×0.21×0.03	7.5YR3/4～4/4 褐～暗褐		
81	〃	〃	1.60×1.26×0.09	7.5YR4/4強 褐～暗褐		
82	〃	〃	0.53×0.48×0.04	7.5YR4/4褐		
83	〃	〃	(0.90)×(0.50)×0.08	〃		
84	〃	〃	1.25×0.77×0.11	〃	Ⅳc	
85	〃	〃	0.43×0.43×0.04	〃		
86	〃	〃	0.27×0.24×0.01	7.5YR3/4暗褐		
87	〃	〃	0.27×0.24×0.01	〃		
88	〃	〃	0.23×0.23×0.01	〃		
89	〃	〃	0.74×0.32×0.02	7.5YR4/4褐		
90	〃	〃	(0.40)×(0.38)×0.01	7.5YR3/4暗褐		
91	q－104	〃	(0.85)×(0.50)×0.05	7.5YR4/4褐		
92	〃	〃	0.63×0.59×0.03	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
93	〃	〃	0.38×0.35×0.01	〃		
94	〃	〃	0.47×0.34×0.03	〃		
95	〃	〃	(1.40)×1.08×0.08	7.5YR4/4褐	Ⅳc	
96	〃	〃	(0.59)×(0.25)×0.04	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
97	p－104	〃	0.60×0.36×0.04	〃		
98	〃	〃	0.52×0.31×0.04	〃		
99	〃	〃	0.46×0.39×0.03	〃		
100	p－103	〃	0.62×0.37×0.04	〃		
101	〃	〃	0.76×0.40×0.06	〃		
102	〃	〃	0.53×0.25×0.03	〃		
103	〃	〃	0.98×0.48×0.07	〃		◎
104	〃	〃	0.73×0.72×0.02	〃		
105	p－102	〃	(0.39)×0.36×0.07	7.5YR4/4褐		
106	〃	〃	(0.43)×0.44×0.03	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
107	p－101	〃	0.47×0.34×0.01	7.5YR3/4暗褐		
108	〃	〃	0.34×0.24×0.02	〃		
109	〃	〃	0.39×0.28×0.08	7.5YR3/4～4/4強 褐～暗褐		
110	〃	〃	0.85×0.39×0.06	〃		
111	〃	〃	1.20×(0.39)×0.03	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
112	〃	〃	0.94×0.52×0.02	〃		
113	〃	〃	0.92×0.46×0.02	〃		
114	p－100	〃	0.99×0.63×0.02	〃		
115	〃	〃	0.73×0.50×0.05	〃		
116	〃	〃	0.28×0.28×0.01	〃		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm)	色　　調	出土遺物	掲載
			長軸 × 短軸 × 厚さ			
ILFG 117	p－100	不整形	0.26×0.23×0.03	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
118	〃	〃	0.34×0.25×0.02	〃		
119	〃	〃	0.40×0.27×0.02	〃		
120	〃	〃	1.20×0.66×0.14	〃	Ⅰb、礫	◎
121	o－99	〃	0.27×0.25×0.02	7.5YR3/4暗褐		
122	〃	〃	0.28×0.27×0.01	〃		
123	o－100	〃	0.55×0.38×0.05	7.5YR3/4～4/4強 褐～暗褐		
124	〃	〃	0.23×0.20×0.03	7.5YR3/4暗褐		
125	〃	〃	0.28×0.15×0.02	7.5YR3/4～4/4強 褐～暗褐		
126	〃	〃	0.18×0.13×0.02	〃		
127	〃	〃	0.23×0.16×0.03	〃		
128	o－101	〃	1.03×0.55×0.02	7.5YR3/4暗褐		
129	〃	〃	0.23×0.22×0.03	〃		
130	〃	〃	0.30×0.28×0.04	〃		
131	〃	〃	0.40×0.32×0.03	〃		
132	〃	〃	0.83×0.48×0.02	〃		
133	〃	〃	0.36×0.38×0.03	〃		
134	〃	〃	0.30×0.26×0.02	〃		
135	〃	〃	0.43×0.33×0.05	〃		
136	〃	〃	0.51×0.33×0.03	〃		
137	〃	〃	0.47×0.50×0.61	〃		
138	〃	〃	0.30×0.28×0.01	〃		
139	〃	〃	0.30×0.26×0.01	〃		
140	〃	〃	0.80×0.54×0.04	〃		
141	〃	〃	0.75×0.30×0.03	〃		
142	o－102	〃	0.60×0.46×0.01	〃		
143	〃	〃	0.73×0.45×0.05	〃	礫	
144	〃	〃	0.37×0.24×0.02	〃		
145	〃	〃	(0.80)×(0.31)×0.04	〃	Ⅰb	
146	〃	〃	0.34×0.28×0.02	〃		
147	〃	〃	0.98×0.43×0.01	〃		
148	〃	〃	0.87×0.62×0.02	〃		
149	o－103	〃	0.61×0.33×0.03	〃		
150	〃	〃	0.48×0.37×0.02	〃		
151	〃	〃	0.71×0.41×0.01	〃		
152	〃	〃	0.57×0.31×0.01	〃		
153	〃	〃	0.73×0.71×——	〃		
154	〃	〃	(0.33)×(0.23)×0.01	〃		
155	n－104	〃	1.03×0.90×0.01	〃		
156	〃	〃	0.49×0.34×0.02	〃		
157	〃	〃	0.43×0.31×0.03	〃		
158	n－103	〃	0.77×0.62×0.04	〃		
159	〃	〃	0.90×0.54×0.04	〃	Ⅰb	
160	〃	〃	0.62×0.39×0.04	〃		◎
161	〃	〃	0.39×0.35×0.03	〃		
162	n－102	〃	0.53×0.44×0.02	〃		
163	〃	〃	0.37×0.28×0.02	〃		
164	〃	〃	0.56×0.38×0.02	〃		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm)	色　　調	出土遺物	掲載
			長軸 × 短軸 × 厚さ			
ILFG 165	n−101	不整形	0.25×0.22×0.02	7.5YR3/4暗褐		
166	〃	〃	0.31×0.27×0.01	〃		
167	〃	〃	0.47×0.35×0.02	〃		
168	〃	〃	0.60×0.40×——	7.5YR3/4〜4/4強 褐〜暗褐		
169	〃	〃	0.30×0.28×0.01	7.5YR3/4暗褐		
170	〃	〃	0.47×0.34×0.03	〃		
171	n−100	〃	1.22×0.58×——	7.5YR3/4〜4/4強 褐〜暗褐	Ⅳc	
172	〃	〃	0.28×0.26×0.03	〃		
173	m−101	〃	0.22×0.18×0.03	7.5YR3/4暗褐		
174	〃	〃	0.28×0.20×0.02	〃		
175	〃	〃	0.36×0.27×0.06	〃		
176	〃	〃	0.32×0.25×0.06	〃		
177	〃	〃	0.38×0.30×0.05	〃		
178	〃	〃	0.28×0.23×0.05	〃		
179	m−102	〃	0.25×0.23×0.03	7.5YR3/4〜4/4褐〜暗褐		
180	〃	〃	0.53×0.43×0.03	〃		
181	〃	〃	0.37×0.26×0.09	〃		
182	〃	〃	0.37×0.23×0.04	〃		
183	〃	〃	0.58×0.20×0.05	〃		◎
184	m−103	〃	0.23×0.21×0.02	7.5YR3/4暗褐	フレイク	
185	〃	〃	0.44×0.31×0.02	〃		
186	〃	〃	(0.62)×(0.42)×0.05	〃		
187	〃	〃	0.95×(0.60)×0.02	〃		
188	〃	〃	(0.38)×(0.35)×0.06	7.5YR3/4〜4/4褐〜暗褐		
189	〃	〃	0.67×0.56×0.06	〃	フレイク	
190	〃	〃	0.44×0.37×0.04	7.5YR3/4暗褐		
191	〃	〃	0.18×0.17×0.03	〃		
192	〃	〃	0.72×0.41×0.02	〃		
193	m−104	〃	0.50×0.33×0.09	7.5YR3/4〜4/4強 褐〜暗褐		
194	l−104	〃	0.36×0.24×0.03	7.5YR3/4暗褐		
195	〃	〃	0.23×0.25×0.03	〃		
196	〃	〃	0.30×0.24×0.03	〃		
197	〃	〃	0.58×0.28×0.05	〃		
198	〃	〃	0.19×0.18×0.03	〃		
199	〃	〃	0.27×0.17×0.05	〃		
200	m−104	〃	0.41×0.39×0.09	7.5YR3/4〜4/4褐〜暗褐	Ⅰb	◎
201	l−103	〃	0.66×0.42×0.06	7.5YR3/4〜4/4強 褐〜暗褐		◎
202	l−102	〃	0.43×0.36×0.04	7.5YR3/4暗褐		
203	〃	〃	0.25×0.12×0.03	〃		
204	〃	〃	0.51×0.42×0.02	〃	Ⅰb	
205	〃	〃	2.00×0.68×0.08	7.5YR3/4〜4/4褐〜暗褐		◎
206	〃	〃	0.38×0.24×0.06	7.5YR3/4暗褐		
207	〃	〃	0.32×0.20×0.03	〃		
208	L−101	〃	0.30×0.21×0.01	〃		
209	〃	〃	0.31×0.28×0.04	〃		
210	〃	〃	0.30×0.23×0.04	〃		
211	〃	〃	0.50×0.26×0.04	〃		
212	o−102	〃	0.36×0.25×——	〃		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm) 長軸×短軸×厚さ	色　　調	出土遺物	掲載
ILFG 213	l−101	不整形		7.5YR3/4暗褐		
214	〃	〃		〃	Ⅳc	
215	〃	〃		〃		
216	n−96	〃	0.58×0.30×0.05	〃		
217	n−97	〃	0.27×0.22×0.04	7.5YR3/4暗褐斑状		
218	o−97	〃	0.34×0.30×0.04	7.5YR3/4暗褐		
219	〃	〃	0.81×0.38×0.03	〃		
220	〃	〃	0.42×0.25×0.03	〃		
221	o−96	〃	0.72×0.45×0.04	〃	Ⅳc、フレイク	
222	〃	〃	0.48×0.32×0.06	〃		
223	〃	〃	0.66×0.34×0.04	〃		
224	p−97	〃	0.83×0.33×0.04	〃		
225	〃	〃	0.41×0.25×0.05	〃		
226	〃	〃	0.28×0.19×0.05	〃		
227	〃	〃	0.50×0.30×0.03	〃		
228	p−96	〃	0.30×0.24×0.03	〃		
229	q−97	〃	0.72×0.38×0.04	〃		
230	〃	〃	0.65×0.35×0.05	〃		
231	〃	〃	0.40×0.29×0.02	〃		
232	〃	〃	0.45×0.36×0.03	〃		
233	q−96	〃	0.97×0.72×0.11	7.5YR3/4暗褐〜4/4褐		
234	〃	〃	0.53×0.41×0.05	7.5YR3/4暗褐		
235	〃	〃	0.75×0.46×0.02	〃		
236	r−96	〃	0.44×0.27×0.04	〃		
237	〃	〃	0.21×0.19×0.01	〃		
238	〃	〃	0.38×0.34×0.02	〃		
239	〃	〃	0.25×0.16×0.02	〃		
240	〃	〃	0.55×0.33×0.04	〃		
241	s−95	〃	0.52×0.23×0.02	〃		
242	〃	〃	0.24×0.19×0.03	〃		
243	〃	〃	0.23×0.16×0.02	〃		
244	s−94	〃	0.23×0.21×0.02	〃		
245	〃	〃	0.49×0.32×0.07	〃		
246	〃	〃	0.31×0.25×0.06	〃		
247	〃	〃	0.62×0.31×0.06	〃		
248	〃	〃	0.88×0.31×0.04	〃		
249	〃	〃	0.30×0.28×0.07	〃		
250	〃	〃	0.34×0.31×0.03	〃		
251	s−95	〃	0.41×0.23×0.06	7.5YR3/4暗褐〜4/4褐		
252	〃	〃	0.40×0.32×0.06	7.5YR3/4暗褐		
253	S−96	〃	0.62×0.48×0.04	7.5YR3/4暗褐〜4/4褐		
254	〃	〃	0.56×0.40×0.06	7.5YR3/4暗褐		
255	〃	〃	0.39×0.32×0.05	7.5YR3/4暗褐〜4/4褐		
256	s−97	〃	0.18×0.10×0.03	7.5YR3/4暗褐		
257	〃	〃	0.57×0.34×0.15	〃		
258	〃	〃	0.63×0.27×0.07	〃		
259	〃	〃	0.15×0.07×0.06	7.5YR3/4暗褐〜4/4褐		
260	〃	〃	0.29×0.21×0.07	7.5YR3/4暗褐		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm)	色　　調	出土遺物	掲載
			長軸×短軸×厚さ			
ILFG 261	s－97	不整形	0.32×0.22×0.03	7.5YR3/4暗褐		
262	〃	〃	0.25×0.22×0.05	〃		
263	〃	〃	0.34×0.20×0.04	〃		
264	〃	〃	0.31×0.24×0.06	〃		
265	〃	〃	0.62×0.21×0.11	〃		
266	i－98	〃	0.44×0.34×0.03	〃		
267	〃	〃	0.43×0.29×0.09	〃		
268	〃	〃	0.39×0.19×0.05	〃		
269	t－97	〃	0.46×0.40×0.08	〃		
270	〃	〃	0.36×0.26×0.03	〃		
271	〃	〃	0.42×0.27×0.03	〃		
272	t－96	〃	(0.56)×(0.31)×0.03	〃		
273	〃	〃	0.55×0.28×0.05	〃		
274	〃	〃	0.27×0.19×0.03	〃		
275	〃	〃	0.50×0.36×0.04	〃		
276	〃	〃	0.33×0.32×0.05	〃		
277	t－95	〃	0.37×0.32×0.05	〃		
278	〃	〃	0.23×0.21×0.03	〃		
279	〃	〃	0.22×0.20×0.03	〃		
280	〃	〃	0.50×0.40×0.10	7.5YR3/4暗褐～4/4褐		
281	〃	〃	0.42×0.35×0.10	7.5YR3/4暗褐		
282	u－95	〃	1.73×0.50×0.07	〃		
283	q－98	〃	0.60×0.42×0.05	〃		
284	u－95	〃	0.37×0.24×——	〃		
285	〃	〃	0.41×0.26×0.07	7.5YR3/4暗褐～4/4褐		
286	r－97	〃	0.78×0.59×0.03	7.5YR3/4暗褐		
287	〃	〃	0.26×0.23×0.07	7.5YR3/4暗褐～4/4褐		
288	〃	〃	0.43×0.21×0.05	7.5YR3/4暗褐		
289	q－97	〃	0.35×0.20×0.08	7.5YR3/4暗褐～4/4褐		
290	p－97	〃	(0.40)×(0.53)×0.05	7.5YR3/4暗褐	礫	
291	o－95	〃	1.20×0.29×0.05	〃		
292	〃	〃	0.92×0.54×0.07	7.5YR3/4暗褐～4/4褐		
293	〃	〃	0.23×0.18×0.03	7.5YR3/4暗褐		
294	〃	〃	0.26×0.20×0.06	〃		
295	〃	〃	0.52×0.35×0.03	〃		
296	r－96	〃	(0.48)×(0.28)×0.05	〃		
ILFG 501	1－97	〃	0.47×0.49×0.10	7.5YR4/3褐		
502	1－96	〃	0.57×0.39×0.06	7.5YR3/4暗褐		
503	2－96	〃	1.03×0.48×0.10	7.5YR5/4にぶい褐		
504	〃	〃	0.40×0.31×0.06	7.5YR3/4暗褐		
505	〃	〃	0.57×0.39×0.10	7.5YR5/4にぶい褐		◎
506	〃	〃	0.50×0.32×0.06	7.5YR3/4暗褐		◎
507	〃	〃	0.45×0.31×0.06	〃		
508	欠番					
509	〃					
510		不整形	0.83×0.71×0.10			
511	3－97	〃	0.33×0.30×0.05	7.5YR3/4暗褐		
512	2－97	〃	0.33×0.26×0.05	〃		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm) 長軸×短軸×厚さ	色　　調	出土遺物	掲載
ILFG 513	2－97	不整形	0.53×0.23×0.04	7.5YR5/4にぶい褐		◎
514	〃	〃	1.02×0.29×0.03	7.5YR 暗褐		
515	〃	〃	0.39×0.35×0.10	7.5YR4/4褐		
516	〃	〃	0.70×0.56×0.08	7.5YR3/4暗褐		
517	〃	〃	0.50×0.34×0.08	〃		◎
518	〃	〃	0.51×0.42×0.10	〃		
519	〃	〃	0.85×0.57×0.03	〃		
520	〃	〃	0.94×0.44×0.05	〃		
521	〃	〃	0.53×0.24×0.02	〃		
522	〃	〃	0.60×0.42×0.07	〃		
523	〃	〃	1.38×0.38×0.04	7.5YR4/4褐		
524	1－97	〃	0.52×0.33×0.05	7.5YR3/4暗褐		
525	〃	〃	0.57×0.40×0.08	〃		
526	〃	〃	0.68×0.45×0.09	〃		
527	〃	〃	0.91×0.43×0.05	〃		
528	〃	〃	0.44×0.36×0.06	〃		
529	1－98	〃	0.89×0.35×0.04	7.5YR4/3褐		
530	2－98	〃	0.40×0.26×0.02	7.5YR3/4暗褐		
531	3－98	〃	0.67×0.35×0.06	〃		
532	〃	〃	0.92×0.42×0.05	〃		
533	〃	〃	0.60×0.50×0.05	〃		
534	5－98	〃	0.64×0.53×0.03	〃		
535	5－99	〃	0.57×0.33×0.05	7.5YR3/3暗褐		
536	〃	〃	0.69×0.27×0.03	〃		
537	〃	〃	0.38×0.37×0.02	〃		
538	〃	〃	0.35×0.34×0.07	7.5YR3/4暗褐		
539	4－99	〃	0.44×0.35×0.04	7.5YR3/3暗褐		
540	〃	〃	1.01×0.48×0.05	7.5YR3/4暗褐～4/4褐		
541	〃	〃	0.50×0.34×0.03	7.5YR3/4暗褐		
542	〃	〃	0.35×0.18×0.04	〃		
543	〃	〃	0.85×0.28×0.06	〃		
544	〃	〃	0.52×0.48×0.05	〃		
545	〃	〃	1.18×0.61×0.06	7.5YR5/8明褐		
546	〃	〃	0.44×0.29×0.02	7.5YR3/4暗褐		
547	〃	〃	0.45×0.36×0.03	〃		
548	〃	〃	0.38×0.35×0.08	〃		
549	〃	〃	1.29×0.39×0.09	〃		
550	〃	〃	0.30×0.27×0.06	〃		
551	3－98	〃	0.33×0.29×0.05	〃		
552	3－99	〃	0.35×0.25×0.04	〃		
553	〃	〃	0.44×0.38×0.10	〃		
554	〃	〃	0.36×0.32×0.03	〃		
555	2－99	〃	0.45×0.37×0.02	〃		
556	〃	〃	0.64×0.39×0.01	7.5YR3/3暗褐		
557	〃	〃	0.78×0.71×0.04	〃		
558	〃	〃	0.34×0.34×0.08	〃		
559	〃	〃	0.35×0.30×0.06	7.5YR3/4暗褐		
560	〃	〃	0.34×0.30×0.04	〃		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm) 長軸×短軸×厚さ	色　　調	出土遺物	掲載
ILFG 561	2－99	不整形	0.55×0.53×0.07	7.5YR3/4暗褐		
562	〃	〃	0.27×0.24×0.04	7.5YR3/3暗褐		
563	〃	〃	0.33×0.27×0.04	7.5YR4/3褐		
564	1－99	〃	0.68×0.52×0.05	7.5YR3/4暗褐		
565	〃	〃	0.57×0.30×0.04	〃		
566	1－100	〃	(0.50)×(0.32)×0.03	7.5YR4/3褐		
567	〃	〃	0.44×0.37×0.04	〃		
568	〃	〃	0.67×0.38×0.04	7.5YR3/4暗褐		
569	〃	〃	0.28×0.25×0.03	〃		
570	2－100	〃	0.41×0.34×0.03	〃		
571	〃	〃	0.57×0.45×0.03	〃		
572	〃	〃	0.46×0.44×0.03	〃		
573	3－100	〃	0.47×0.39×0.02	〃		
574	4－100	〃	0.25×0.22×0.05	7.5YR4/4暗褐		
575	〃	〃	0.43×0.39×0.03	7.5YR3/4暗褐		
576	〃	〃	0.69×0.43×0.05	〃		
577	5－100	〃	0.22×0.17×0.03	〃		
578	〃	〃	1.87×1.36×0.11	7.5YR3/4暗褐～4/4暗褐～褐		
579	4－101	〃	0.57×0.38×0.02	7.5YR3/4暗褐		
580	5－100	〃	0.27×0.26×0.02	〃		
581	〃	〃	0.41×0.39×0.03	〃		
582	〃	〃	0.38×0.37×0.04	7.5YR4/3褐		
583	〃	〃	1.35×0.70×0.04	7.5YR3/4褐		
584	6－100	〃	0.72×0.60×0.06	〃		
585	〃	〃	0.35×0.30×0.04	〃		
586	5－101	〃	0.98×0.48×0.04	〃		
587	〃	〃	0.30×0.30×0.03	〃		
588	〃	〃	0.45×0.40×0.02	〃		
589	〃	〃	0.58×0.50×0.02	7.5YR4/4褐		
590	〃	〃	0.31×0.27×0.02	7.5YR3/4暗褐		
591	〃	〃	0.47×0.38×0.02	〃		
592	〃	〃	0.37×0.32×0.02	〃		
593	4－101	〃	0.64×0.47×0.02	〃		
594	〃	〃	0.30×0.24×0.03	〃		
595	〃	〃	0.39×0.29×0.02	〃		
596	〃	〃	0.58×0.44×0.03	〃		
597	〃	〃	0.76×0.40×0.02	7.5YR4/4～3/4褐～暗褐		
598	〃	〃	0.57×0.56×0.04	7.5YR3/4暗褐		
599	〃	〃	0.61×0.52×0.04	〃		
600	〃	〃	0.41×0.36×0.06	〃		
601	〃	〃	0.61×0.50×0.02	〃		
602	〃	〃	0.48×0.36×0.02	〃		
603	〃	〃	0.57×0.33×0.05	〃		
604	3－101	〃	0.46×0.40×0.02	〃		
605	〃	〃	0.82×0.48×0.03	7.5YR4/4～3/4褐～暗褐		
606	〃	〃	0.45×0.40×0.03	7.5YR3/4暗褐		
607	〃	〃	0.50×0.48×0.02	〃		
608	〃	〃	0.83×0.38×0.04	〃		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm) 長軸×短軸×厚さ	色　　調	出土遺物	掲載
ILFG 609	3－101	不整形	0.92×0.52×0.02	7.5YR3/4暗褐		
610	〃	〃	0.57×0.40×0.07	7.5YR4/4暗褐		
611	〃	〃	0.34×0.30×0.01	7.5YR3/3暗褐		
612	〃	〃	0.50×0.38×0.01	7.5YR3/4暗褐		
613	2－101	〃	0.64×0.50×0.04	〃		
614	〃	〃	0.31×0.24×0.02	〃		
615	〃	〃	0.66×0.34×0.03	〃		
616	〃	〃	0.64×0.20×0.04	〃		
617	〃	〃	0.47×0.44×0.03	7.5YR4/4褐		
618	〃	〃	0.50×0.48×0.02	7.5YR3/4暗褐		
619	〃	〃	0.60×0.51×0.03	〃		
620	〃	〃	0.30×0.28×0.02	〃		
621	〃	〃	0.38×0.29×0.02	〃		
622	〃	〃	0.37×0.35×0.01	〃		
623	1－101	〃	0.50×0.39×0.05	〃		
624	〃	〃	0.57×0.53×0.05	〃		
625	〃	〃	0.46×0.35×0.02	〃		
626	〃	〃	0.37×0.34×0.03	〃		
627	〃	〃	0.40×0.36×0.03	〃		
628	〃	〃	0.61×0.27×0.02	7.5YR4/4褐		
629	1－102	〃	0.43×0.38×0.02	7.5YR3/4暗褐		
630	〃	〃	0.55×0.51×0.02	〃		
631	〃	〃	0.93×0.91×0.08	7.5YR4/4褐		
632	〃	〃	0.75×0.50×0.02	7.5YR3/4暗褐		
633	〃	〃	0.46×0.43×0.02	〃		
634	〃	〃	0.53×0.42×0.07	7.5YR4/4褐		
635	〃	〃	0.49×0.41×0.02	7.5YR3/4暗褐		
636	2－102	〃	0.54×0.43×0.03	〃		
637	〃	〃	0.63×0.50×0.03	〃		
638	〃	〃	0.56×0.43×0.03	〃		
639	〃	〃	0.37×0.35×0.03	〃		
640	〃	〃	0.59×0.40×0.05	〃		◎
641	〃	〃	0.40×0.37×0.03	〃		
642	〃	〃	0.43×0.35×0.02	〃		
643	〃	〃	0.68×0.35×0.02	〃		
644	〃	〃	0.80×0.45×0.03	〃		
645	〃	〃	0.61×0.42×0.03	〃		
646	3－102	〃	0.95×0.49×0.07	〃		
647	〃	〃	0.59×0.30×0.03	〃		
648	〃	〃	0.41×0.35×0.03	〃		
649	〃	〃	0.48×0.36×0.03	7.5YR4/4褐		
650	〃	〃	0.44×0.42×0.03	7.5YR3/4暗褐		
651	〃	〃	0.62×0.53×0.03	〃		
652	4－102	〃	0.71×0.33×0.03	〃		
653	〃	〃	1.36×1.22×0.03	〃		◎
654	〃	〃	0.57×0.47×0.02	〃		
655	〃	〃	0.43×0.40×0.03	〃		
656	〃	〃	0.47×0.37×0.03	〃		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm)	色　調	出土遺物	掲載
			長軸×短軸×厚さ			
ILFG 657	4－102	不整形	1.22×0.45×0.01	7.5YR3/4暗褐		
658	〃	〃	0.38×0.30×0.02	〃		
659	5－102	〃	0.63×0.41×0.03	〃		
660	〃	〃	——×——×0.02	〃		
661	〃	〃	0.55×0.45×0.02	〃		
662	〃	〃	0.55×0.53×0.01	〃		
663	〃	〃	(1.00)×0.61×0.03	〃		
664	5－103	〃	0.54×0.38×0.02	〃		
665	4－103	〃	0.62×0.35×0.03	〃		
666	〃	〃	0.55×0.28×0.02	〃		
667	〃	〃	0.57×0.30×0.04	〃		
668	〃	〃	0.69×0.51×0.03	〃		
669	〃	〃	0.40×0.37×0.05	〃		
670	〃	〃	0.75×0.47×0.08	〃		
671	〃	〃	0.80×0.43×0.02	〃		
672	〃	〃	0.96×0.41×0.06	〃		
673	〃	〃	0.44×0.34×0.06	〃		
674	〃	〃	1.57×0.70×0.09	〃		
675	3－103	〃	0.64×0.37×0.02	〃		
676	1－103	〃	0.73×0.52×0.05	7.5YR4/4褐		
677	〃	〃	0.32×0.30×0.04	7.5YR3/4褐		
678	〃	〃	0.34×0.30×0.02	〃		
679	〃	〃	0.35×0.25×0.01	〃		
680	〃	〃	0.31×0.25×0.02	〃		
681	1－104	〃	0.37×0.34×0.03	〃		
682	〃	〃	0.84×0.40×0.06	〃		
683	〃	〃	0.50×0.45×0.02	〃		
684	〃	〃	0.29×0.25×0.02	〃		
685	〃	〃	0.44×0.20×0.02	7.5YR3/4暗褐		
686	2－104	〃	0.30×0.26×0.02	〃		
687	〃	〃	0.34×0.29×0.02	〃		
688	3－104	〃	0.38×0.35×0.02	〃		
689	〃	〃	0.56×0.33×0.02	〃		
690	〃	〃	0.32×0.24×0.01	〃		
691	〃	〃	0.25×0.22×0.02	〃		
692	〃	〃	0.38×0.42×0.01	〃		
693	〃	〃	0.50×0.40×0.02	〃		
694	4－104	〃	0.38×0.34×0.01	〃		
695	〃	〃	0.32×0.30×0.02	〃		
696	〃	〃	0.46×0.33×0.02	〃		
697	〃	〃	0.54×0.41×0.03	〃		
698	〃	〃	0.35×0.30×0.03	〃		
699	〃	〃	0.95×0.38×0.02	〃		
700	〃	〃	(0.84)×(0.45)×0.01	〃		
701	〃	〃	0.49×0.46×0.02	〃		
702	〃	〃	0.33×0.29×0.02	〃		
703	z－104	〃	0.30×0.30×0.04	〃		
704	〃	〃	0.46×0.38×0.04	〃		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm)	色　　調	出土遺物	掲載
			長軸×短軸×厚さ			
ILFG 705	z－104	不整形	0.42×0.34×0.03	7.5YR3/4暗褐		
706	〃	〃	0.45×0.39×0.05	7.5YR4/4褐		
707	〃	〃	0.35×0.31×0.04	7.5YR3/4暗褐		
708	z－101	〃	0.58×0.39×0.07	〃		
709	〃	〃	0.29×0.27×0.04	〃		
710	〃	〃	0.23×0.18×0.03	〃		
711	〃	〃	0.33×0.25×0.05	〃		
712	〃	〃	0.39×0.27×0.02	〃		
713	z－100	〃	0.93×0.44×0.05	〃		
714	〃	〃	0.26×0.25×0.04	〃		
715	z－99	〃	0.37×0.25×0.04	〃		
716	z－97	〃	0.30×0.26×0.04	〃		
717	〃	〃	0.32×0.25×0.02	〃		
718	〃	〃	0.37×0.33×0.05	〃		
719	〃	〃	0.43×0.32×0.02	〃		
720	〃	〃	0.69×0.40×0.04	〃		
721	〃	〃	(1.10)×0.58×0.10	〃		◎
722	〃	〃	0.44×0.41×0.03	〃		
723	〃	〃	0.41×0.26×0.02	〃		
724	z－96	〃	1.28×0.59×0.08	7.5YR4/4褐		◎
725	〃	〃	0.75×0.47×0.05	〃		◎
726	〃	〃	0.76×0.54×0.06	〃		
727	〃	〃	0.33×0.30×0.02	7.5YR3/4暗褐		
728	〃	〃	0.35×0.30×0.02	〃		
729	〃	〃	0.35×0.32×0.04	7.5YR4/4褐		
730	〃	〃	0.68×0.47×0.05	7.5YR3/4暗褐		
731	〃	〃	0.25×0.24×0.02	〃		
732	z－95	〃	0.48×0.28×0.01	〃		
733	〃	〃	0.38×0.21×0.02	〃		
734	y－95	〃	0.54×0.42×0.08	7.5YR4/4褐		
735	〃	〃	0.73×0.51×0.08	〃		◎
736	〃	〃	0.68×0.40×0.10	〃		◎
737	〃	〃	(0.38)×(0.31)×0.07	〃		
738	x－96	〃	0.95×0.39×0.05	7.5YR3/4暗褐		
739	〃	〃	0.75×0.38×0.08	〃		◎
740	y－96	〃	0.54×0.44×0.02	〃		
741	〃	〃	0.30×0.21×0.02	〃		
742	〃	〃	0.32×0.23×0.04	〃		
743	y－97	〃	0.35×0.22×0.02	〃		
744	x－97	〃	0.26×0.25×0.03	7.5YR4/4褐		
745	y－98	〃	0.38×0.29×0.03	7.5YR3/4暗褐		
746	〃	〃	0.45×0.33×0.03	〃		
747	〃	〃	0.35×0.31×0.02	〃		
748	y－99	〃	0.44×0.28×0.03	〃		
749	〃	〃	0.34×0.26×0.03	〃		
750	〃	〃	0.51×0.51×0.05	7.5YR4/4暗褐		◎
751	〃	〃	(0.45)×(0.42)×0.02	〃		
752	〃	〃	0.51×0.39×0.03	〃		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm)	色　　調	出土遺物	掲載
			長軸×短軸×厚さ			
ILFG 753	y－100	不整形	0.45×0.37×0.03	7.5YR4/4暗褐		
754	〃	〃	0.35×0.32×0.04	〃		
755	〃	〃	0.35×0.25×0.03	〃		
756	y－101	〃	0.21×0.21×0.02	〃		
757	〃	〃	0.26×0.19×0.02	〃		
758	y－102	〃	1.30×0.72×0.07	〃		◎
759	〃	〃	0.88×0.72×0.07	〃		◎
760	〃	〃	0.27×0.23×0.01	〃		
761	y－104	〃	0.43×0.45×0.04	〃		
762	〃	〃	0.37×0.37×0.03	7.5YR3/4暗褐		
763	x－104	〃	1.06×0.61×0.03	〃		
764	x－103	〃	0.77×0.53×0.05	〃		◎
765	〃	〃	0.76×0.46×0.05	〃		◎
766	x－102	〃	0.38×0.38×0.02	〃		
767	〃	〃	0.32×0.25×0.02	〃		
768	〃	〃	1.29×0.57×0.07	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
769	〃	〃	0.46×0.26×0.02	7.5YR3/4暗褐		
770	〃	〃	0.34×0.31×0.02	〃		
771	x－101	〃	0.47×0.32×0.03	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
772	〃	〃	0.31×0.29×0.02	7.5YR3/4暗褐		
773	〃	〃	0.65×0.46×0.02	7.5YR4/4～3/4褐～暗褐		
774	〃	〃	0.29×0.26×0.02	7.5YR3/4暗褐		
775	x－100	〃	(0.29)×(0.16)×0.02	〃		
776	〃	〃	0.79×0.36×0.02	7.5YR4/4～3/4褐～暗褐		
777	〃	〃	0.42×0.30×0.02	7.5YR3/4暗褐		
778	〃	〃	0.54×0.37×0.04	〃		
779	〃	〃	0.97×0.53×0.03	7.5YR4/4褐		◎
780	〃	〃	0.43×0.32×0.03	〃		
781	〃	〃	0.43×0.32×0.04	〃		
782	x－99	〃	(0.34)×(0.42)×0.02	7.5YR3/4暗褐		
783	〃	〃	0.35×0.27×0.02	〃		
784	〃	〃	0.34×0.30×0.02	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
785	〃	〃	0.50×0.18×0.02	〃		
786	〃	〃	(0.30)×(0.29)×0.02	7.5YR3/4暗褐		
787	〃	〃	0.32×0.30×0.02	〃		
788	x－98	〃	0.45×0.44×0.03	7.5YR4/4～3/4褐～暗褐		◎
789	〃	〃	0.42×0.38×0.02	7.5YR3/4暗褐		
790	〃	〃	0.64×0.46×0.04	7.5YR4/4～3/4褐～暗褐		
791	〃	〃	0.44×0.35×0.03	〃		
792	〃	〃	0.69×0.50×0.02	7.5YR3/4暗褐		
793	〃	〃	0.97×0.65×0.02	〃　(暗色強い)		
794	〃	〃	0.88×0.78×0.05	〃		◎
795	x－97	〃	0.72×0.28×0.05	7.5YR4/4強～3/4褐～暗褐		
796	〃	〃	0.54×0.48×0.01	7.5YR3/4暗褐		
797	〃	〃	0.63×0.44×0.03	〃		
798	〃	〃	0.94×0.57×0.02	〃		
799	〃	〃	0.52×0.42×0.07	〃		
800	x－96	〃	0.40×0.32×0.03	7.5YR4/4～3/4褐～暗褐		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm)	色　　調	出土遺物	掲載
			長軸×短軸×厚さ			
ILFG 801	x－96	不整形	0.75×0.32×0.03	7.5YR4/4～3/4褐～暗褐		
802	〃	〃	0.35×0.24×0.02	7.5YR3/4暗褐		
803	〃	〃	0.63×0.19×0.03	〃		
804	x－95	〃	0.81×0.48×0.03	〃		◎
805	〃	〃	0.61×0.47×0.02	〃		
806	〃	〃	0.47×0.29×0.05	〃		
807	〃	〃	0.35×0.25×0.03	〃		
808	〃	〃	0.41×0.35×0.02	〃		
809	〃	〃	0.38×0.27×0.02	〃		
810	w－95	〃	0.45×0.26×0.04	7.5YR4/4褐		
811	〃	〃	(0.37)×(0.27)×0.02	7.5YR3/3～3/4褐～暗褐		
812	〃	〃	0.36×0.33×0.02	〃		
813	〃	〃	0.52×0.42×0.03	7.5YR4/4褐		
814	〃	〃	0.27×0.26×0.02	7.5YR～3/4暗褐		
815	w－96	〃	0.68×0.61×0.03	〃		
816	〃	〃	0.64×0.05×0.05	7.5YR4/4～3/4褐～暗褐		◎
817	〃	〃	0.54×0.41×0.02	7.5YR3/4暗褐		
818	〃	〃	0.43×0.40×0.02	〃		
819	〃	〃	0.33×0.28×0.03	〃		
820	〃	〃	0.44×0.40×0.03	〃		
821	w－97	〃	0.37×0.33×0.02	〃		
822	〃	〃	0.69×0.46×0.03	〃		
823	〃	〃	0.60×0.50×0.07	〃		
824	〃	〃	0.88×0.57×0.07	〃		◎
825	〃	〃	0.35×0.31×0.03	〃		
826	〃	〃	0.45×0.46×0.07	7.5YR4/4褐～暗褐		
827	w－98	〃	0.57×0.40×0.05	7.5YR3/4暗褐		
828	〃	〃	0.35×0.30×0.02	〃		
829	〃	〃	0.38×0.32×0.05	〃		
830	w－99	〃	0.37×0.33×0.01	〃		
831	〃	〃	0.37×0.34×0.03	7.5YR4/4～3/4褐～暗褐		
832	〃	〃	0.35×0.33×0.02	7.5YR3/4暗褐		
833	〃	〃	0.36×0.32×0.04	〃		
834	〃	〃	(0.67)×(0.40)×0.03	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
835	w－100	〃	1.22×0.59×0.05	〃		
836	〃	〃	0.26×0.23×0.02	7.5YR3/4暗褐		
837	w－101	〃	0.42×0.38×0.07	7.5YR4/4褐		
838	〃	〃	0.27×0.24×0.02	7.5YR3/4暗褐		
839	〃	〃	0.26×0.23×0.02	〃		
840	〃	〃	0.53×0.40×0.02	〃		
841	〃	〃	0.51×0.38×0.03	〃		
842	〃	〃	0.46×0.43×0.06	7.5YR4/4～3/4褐～暗褐		◎
843	w－102	〃	(0.50)×(0.48)×0.03	〃		
844	w－101	〃	(0.75)×(0.30)×0.05	7.5YR3/4暗褐		
845	w－102	〃	0.48×0.42×0.03	〃		
846	〃	〃	0.57×0.39×0.05	〃		
847	〃	〃	0.54×0.47×0.03	〃		
848	〃	〃	0.72×0.46×0.06	〃		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm)	色　調	出土遺物	掲載
			長軸×短軸×厚さ			
ILFG 849	w－102	不整形	0.94×0.42×0.07	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		◎
850	w－103	〃	0.24×0.20×0.02	7.5YR3/4暗褐		
851	〃	〃	0.45×0.33×0.05	〃		
852	〃	〃	0.35×0.31×0.02	〃		
853	〃	〃	(0.32)×(0.29)×0.02	〃		
854	w－104	〃	0.44×0.35×0.05	〃		
855	v－104	〃	0.32×0.31×0.02	〃		
856	〃	〃	0.47×0.35×0.08	7.5YR4/4褐		
857	〃	〃	0.30×0.29×0.03	7.5YR3/4暗褐		
858	v－103	〃	0.34×0.23×0.03	〃		
859	〃	〃	0.37×0.25×0.05	〃		
860	〃	〃	0.37×0.34×0.02	〃		
861	〃	〃	0.48×0.43×0.02	〃		
862	〃	〃	1.39×0.55×0.05	〃		
863	v－102	〃	0.30×0.27×0.03	〃		
864	〃	〃	0.69×0.31×0.12	7.5YR4/4～3/4褐～暗褐		◎
865	〃	〃	0.36×0.36×0.03	7.5YR3/4暗褐		
866	〃	〃	0.35×0.26×0.02	〃		
867	〃	〃	0.45×0.36×0.03	〃		
868	v－101	〃	0.59×0.40×0.08	〃		◎
869	〃	〃	0.69×0.39×0.04	〃		
870	〃	〃	0.30×0.26×0.02	〃		
871	〃	〃	1.15×0.31×0.06	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
872	v－100	〃	(0.32)×(0.38)×0.04	〃		
873	〃	〃	0.57×0.38×0.03	〃		
874	〃	〃	0.33×0.20×0.03	7.5YR3/4暗褐		
875	〃	〃	0.31×0.19×0.04	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
876	〃	〃	0.31×0.22×0.04	7.5YR3/4暗褐		
877	v－99	〃	0.38×0.31×0.02	〃		
878	〃	〃	0.60×0.52×0.05	〃		
879	v－98	〃	0.43×0.32×0.02	〃		
880	〃	〃	1.00×0.52×0.04	〃		◎
881	〃	〃	0.26×0.16×0.07	7.5YR4/4褐		
882	v－97	〃	0.35×0.34×0.03	7.5YR3/4暗褐		
883	〃	〃	0.77×0.49×0.04	〃		
884	〃	〃	0.72×0.50×0.07	〃		
885	v－96	〃	0.31×0.27×0.03	〃		
886	〃	〃	1.17×0.98×0.10	〃		◎
887	〃	〃	0.67×0.65×0.08	〃		
888	〃	〃	0.45×0.39×0.02	〃		
889	〃	〃	1.79×0.55×0.14	7.5YR4/4～3/4褐～暗褐		◎
890	〃	〃	0.43×0.35×0.05	7.5YR3/4暗褐		
891	v－95	〃	0.49×0.44×0.08	〃		
892	〃	〃	0.57×0.50×0.06	〃		
893	〃	〃	0.36×0.21×0.06	7.5YR4/4褐		
894	〃	〃	0.78×0.72×0.06	7.5YR3/4暗褐		
895	v－94	〃	0.37×0.31×0.04	〃		
896	〃	〃	1.01×0.55×0.04	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm)	色　　調	出土遺物	掲載
			長軸×短軸×厚さ			
ILFG 897	u−94	不整形	0.42×0.32×0.09	7.5YR3/4〜4/4褐〜暗褐		
898	u−95	〃	0.36×0.31×0.03	7.5YR3/4暗褐		
899	〃	〃	0.46×0.34×0.03	〃		
900	〃	〃	0.72×0.43×0.02	〃		
901	〃	〃	0.59×0.49×0.01	〃		
902	〃	〃	0.60×0.44×0.04	7.5YR4/4褐		
903	〃	〃	0.56×0.32×0.08	7.5YR3/4暗褐		
904	〃	〃	0.53×0.48×0.04	〃		
905	〃	〃	0.70×0.50×0.05	〃		
906	〃	〃	0.52×0.47×0.04	〃		
907	〃	〃	0.50×0.39×0.05	7.5YR3/4〜4/4褐〜暗褐		
908	〃	〃	0.65×0.40×0.01	7.5YR3/4暗褐		
909	〃	〃	0.31×0.26×0.01	〃		
910	u−97	〃	0.33×0.20×0.04	7.5YR4/4暗褐		
911	〃	〃	0.45×0.39×0.01	7.5YR3/4暗褐		
912	u−98	〃	0.30×0.21×0.01	7.5YR3/4〜4/4褐〜暗褐		
913	〃	〃	0.51×0.45×0.01	7.5YR3/4暗褐		
914	t−99	〃	0.42×0.30×0.03	7.5YR3/4〜4/4褐〜暗褐		
915	u−99	〃	0.52×0.32×0.02	7.5YR3/4暗褐		
916	u−101	〃	0.40×0.40×0.10	〃		
917	〃	〃	0.26×0.23×0.05	〃		
918	〃	〃	0.27×0.23×0.01	〃		
919	〃	〃	0.46×0.37×0.02	〃		
920	〃	〃	0.82×0.35×0.04	7.5YR4/4〜3/4褐〜暗褐		
921	〃	〃	0.33×0.25×0.06	〃		
922	〃	〃	1.02×0.44×0.05	7.5YR3/4暗褐		
923	〃	〃	0.52×0.34×0.01	〃		
924	〃	〃	0.35×0.24×0.01	〃		
925	u−102	〃	0.65×0.49×0.01	7.5YR3/4〜4/4褐〜暗褐		
926	〃	〃	(0.37)×0.25×0.04	7.5YR4/4褐		
927	〃	〃	0.37×0.35×0.03	〃		
928	〃	〃	0.31×0.26×0.05	〃		
929	〃	〃	0.41×0.38×0.01	7.5YR3/4暗褐		
930	〃	〃	0.85×0.30×0.02	〃		
931	〃	〃	0.27×0.24×0.06	〃		
932	〃	〃	0.45×0.34×0.06	〃		
933	〃	〃	0.77×0.47×0.06	〃		
934	u−103	〃	0.14×0.13×0.02	7.5YR3/4〜4/4暗褐		
935	〃	〃	0.49×0.40×0.01	7.5YR3/4〜4/4褐〜暗褐		
936	〃	〃	0.76×0.44×0.03	〃		
937	〃	〃	0.56×0.46×0.12	〃		
938	〃	〃	0.42×0.40×0.07	7.5YR4/4褐		
939	〃	〃	0.67×0.41×0.08	7.5YR3/4〜4/4褐〜暗褐		
940	〃	〃	0.56×0.40×——	〃		
941	〃	〃	0.45×0.43×0.01	〃		
942	u−104	〃	0.24×0.19×0.01	7.5YR3/4暗褐		
943	〃	〃	0.35×0.31×0.01	〃		
944	〃	〃	0.30×0.25×0.04	7.5YR3/4〜4/4褐〜暗褐		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm) 長軸×短軸×厚さ	色　　調	出土遺物	掲載
ILFG 945	t−104	不整形	0.85×0.35×0.18	7.5YR4/4褐～暗褐		
946	〃	〃	(0.40)×(0.19)×——	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐　★		
947	〃	〃	(0.44)×(0.45)×0.08	7.5YR4/4褐		◎
948	〃	〃	1.29×0.66×0.06	〃		
949	〃	〃	0.37×0.36×0.08	〃		
950	〃	〃	0.51×0.41×0.03	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
951	〃	〃	0.53×0.33×0.03	〃		
952	〃	〃	0.25×0.21×0.05	〃		
953	〃	〃	0.95×0.63×——	〃　★		
954	t−103	〃	0.41×0.36×0.04	〃		
955	〃	〃	0.41×0.39×0.04	7.5YR4/4褐		
956	〃	〃	0.35×0.34×0.03	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
957	〃	〃	0.93×0.36×0.04	7.5YR3/4暗褐		
958	〃	〃	0.48×0.32×0.06	7.5YR4/4褐		
959	〃	〃	1.04×0.51×0.05	〃		◎
960	〃	〃	0.45×0.35×0.06	〃		
961	〃	〃	0.39×0.25×0.03	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
962	〃	〃	0.83×0.32×0.05	〃		
963	〃	〃	0.55×0.38×0.06	〃		
964	〃	〃	0.49×0.48×0.06	〃		
965	〃	〃	0.60×0.43×0.07	〃		
966	〃	〃	0.95×0.48×0.05	〃		
967	t−102	〃	0.38×0.27×0.03	7.5YR3/4暗褐		
968	〃	〃	0.55×0.37×0.02	〃		
969	〃	〃	0.39×0.34×0.03	〃		
970	〃	〃	0.32×0.32×0.04	〃		
971	t−101	〃	0.77×0.43×0.08	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		◎
972	〃	〃	0.60×0.38×0.08	〃		
973	〃	〃	0.24×0.21×0.03	7.5YR3/4暗褐		
974	〃	〃	0.34×0.29×0.04	〃		
975	t−100	〃	0.32×0.31×——	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
976	〃	〃	0.47×0.47×0.03	〃		
977	t−99	〃	0.52×0.44×0.04	7.5YR3/4暗褐		
978	〃	〃	0.41×0.33×0.04	〃		
979	〃	〃	0.46×0.40×0.03	〃		
980	〃	〃	0.58×0.49×0.05	〃		
981	s−99	〃	0.39×0.39×0.02	〃		
982	〃	〃	0.91×0.69×0.07	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐		
983	〃	〃	0.29×0.25×0.03	7.5YR3/4暗褐		
984	〃	〃	0.52×0.33×0.02	〃	礫	
985	〃	〃	1.05×0.46×0.04	7.5YR3/4～4/4褐～暗褐	Ⅳc、礫	
986	〃	〃	0.65×0.52×0.08	〃	Ⅳc	
987	s−100	〃	0.45×0.42×0.03	〃		
988	〃	〃	0.48×0.26×0.03	〃		
989	〃	〃	0.47×0.39×0.06	7.5YR3/4暗褐	Ⅳc	
990	〃	〃	0.74×0.67×0.10	7.5YR4/4暗褐	Ⅳc	
991	〃	〃	0.61×0.42×0.09	〃		
992	〃	〃	0.38×0.31×0.04	7.5YR3/4暗褐		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm)	色　　調	出土遺物	掲載
			長軸×短軸×厚さ			
ILFG 993	S－101	不整形	1.99×0.53×0.05	7.5YR3/4～4/4強 褐～暗褐	Ⅳc	
994	〃	〃	(1.16)×0.40×0.08	〃		
995	〃	〃	0.32×0.28×0.03	〃		
996	〃	〃	0.36×0.26×0.04	〃		
997	〃	〃	0.99×0.90×0.04	〃		
998	〃	〃	0.39×0.35×0.03	〃		
999	〃	〃	1.15×0.74×0.05	〃		
ilfg 1	n－116	楕円形	0.24×0.18×——	暗赤橙色		
2	〃	——	——×0.22×——	〃		
3	〃	楕円形	0.40×0.30×——	〃		
4	〃	〃	0.24×0.21×——	暗橙色		
5	〃	ひょうたん形	0.47×0.20×——	暗赤橙色		
6	n-115・116、o-115・116	不定形	(0.64)×0.30×——	暗橙色		
7	o－116	〃	0.52×0.35×——	暗赤橙色		
8	〃	——	——×0.22×——	〃		
9	〃	楕円形	0.30×0.18×——	〃		
10	〃	不定形	0.70×0.44×0.11	暗赤褐色		◎
11	〃	楕円形	0.50×0.30×——	暗赤橙色		
12	〃	ひょうたん形	0.60×0.37×0.06	暗橙色		◎
13	〃	不定形	0.65×0.40×——	〃		
14	〃	長円形状	0.13×0.10×——	暗赤橙色		
15	o－115	不定形	1.75×0.70×——	暗橙色		
16	〃	ひょうたん形	0.85×0.45×——	暗赤橙色		
17	〃	不定形	0.80×0.16×——	〃		
18	〃	長円形	0.22×0.20×——	〃		
19	〃	楕円形	0.32×0.28×——	暗橙色		
20	〃	〃	0.39×0.24×——	暗赤橙色		
21	〃	略円形	0.19×0.19×——	〃		
22	〃	棒状	0.73×0.38×——	暗赤褐色		
23	p－115	不定形	0.94×0.60×——	暗橙色		
24	〃	楕円形	0.42×0.31×——	暗赤橙色		
25	〃	〃	0.30×0.28×——	〃		
26	〃	不定形	0.56×0.34×0.10	〃		◎
27	〃	棒状	1.30×0.20×——	暗赤褐色		
28	〃	長円形	0.26×0.23×——	暗赤橙色		
29	〃	台形状	0.82×0.53×——	暗橙色		
30	〃	不定形	0.40×0.27×0.10	〃		◎
31	〃	楕円形	0.30×0.24×——	暗赤橙色		
32	〃	隅丸長方形状	(0.44)×0.38×——	〃		
33	〃	楕円形	0.17×0.14×——	〃		
34	〃	略円形	0.26×0.26×——	〃		
35	p－116	不定形	0.26×0.23×——	〃		
36	o－116、p－116	〃	0.57×0.30×——	暗橙色		
37	p－116	棒状	0.80×0.16×0.11	暗赤橙色		◎
38	o－116、p－116	不定形	0.80×0.65×——	〃		
39	o－114、o－115	略円形	0.40×0.40×——	〃		
40	o－114	不定形	0.36×0.20×——	暗橙色		
41	p－113・114	ひょうたん形	0.33×0.18×——	暗赤橙色		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm) 長軸×短軸×厚さ	色　調	出土遺物	掲載
ilfg　42	p－112	長円形	0.24×0.23×——	暗赤橙色		
43	p－112・113	隅丸方形状	0.23×0.21×——	〃		
44	p－111	楕円形	0.32×0.27×——	〃		
45	〃	〃	0.22×0.18×——	〃		
46	p－110・111	菱形	0.24×0.16×——	〃		
47	p－110	棒状	0.60×0.21×——	暗橙色		
48	r－117	楕円形	0.50×0.31×——	暗赤橙色	Ⅰb	
49	q－117	〃	0.19×0.14×——	〃		
50	〃	不整楕円形	0.24×0.18×——	〃		
51	〃	ひょうたん形	0.55×0.30×——	暗橙色		
52	q－116・117	楕円形	0.34×0.30×——	〃		
53	q－117	〃	0.38×0.30×——	暗赤橙色		
54	〃	——	——×(0.70)×——	〃		
55	q－116	楕円形	0.30×0.20×——	〃		
56	〃	長楕円形	0.78×0.40×——	暗赤褐色		
57	〃	楕円形	0.32×0.26×——	暗赤橙色		
58	〃	棒状	0.68×0.22×——	〃		
59	〃	菱形	0.19×0.14×——	〃		
60	〃	楕円形	0.34×0.26×——	暗橙色		
61	〃	台形状	0.20×0.18×——	暗赤橙色		
62	〃	長円形状	0.20×0.18×——	暗橙色		
63	r－116	菱形	0.26×0.15×——	暗赤橙色		
64	〃	長円形	0.14×0.12×——	〃		
65	〃	楕円形	0.24×0.22×——	〃		
66	〃	円形	0.26×0.26×——	〃		
67	〃	菱形	0.75×0.30×——	〃		
68	〃	台形状	(0.47)×0.40×——	暗赤褐色	Ⅰb、フレイク	
69	q－116	不定形	0.56×0.27×——	暗赤橙色		
70	〃	長円形	0.18×0.16×——	〃		
71	q－115	不定形	0.60×0.36×——	〃	Ⅰb、フレイク	
72	〃	楕円形	0.60×0.40×——	〃	Ⅰb、フレイク・礫	
73	〃	不定形	0.43×0.43×——	〃	Ⅰb	
74	〃	〃	0.84×0.33×——	〃	Ⅰb、フレイク	
75	〃	隅丸長方形状	(0.40)×0.22×——	〃		
76	〃	長楕円形	0.40×0.24×——	〃		
77	〃	不定形	0.62×0.46×0.18	暗赤褐色	Ⅰb	◎
78	〃	〃	0.48×0.37×——	暗赤橙色	Ⅰb、フレイク	
79	r－115	楕円形	0.34×0.26×——	〃		
80	〃	〃	0.30×0.20×——	〃		
81	〃	〃	0.30×0.28×——	〃		
82	〃	〃	0.38×0.32×——	〃		
83	r－116	菱形	(0.48)×0.36×——	〃		
84	r－115	楕円形	0.28×0.22×——	〃		
85	〃	〃	0.24×0.17×——	〃		
86	〃	長楕円形	0.28×0.16×——	〃		
87	〃	〃	0.34×0.22×——	〃		
88	〃	不定形	0.56×0.40×0.11	暗橙色		◎
89	〃	台形状	0.30×0.30×——	暗赤橙色	Ⅰb、フレイク	

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm)	色　調	出土遺物	掲載
			長軸×短軸×厚さ			
ILFG　90	r－115	楕円形	0.36×0.24×——	暗赤橙色	Ⅰb、フレイク	
91	〃	三角形状	0.48×0.34×——	〃		
92	〃	隅丸長方形状	0.45×0.36×——	〃	Ⅰb、礫	
93	s－115	台形状	0.26×0.26×——	〃	フレイク	
94	〃	楕円形	0.24×0.19×——	〃		
95	〃	台形状	0.22×0.18×——	〃		
96	〃	楕円形	0.30×0.20×——	〃	フレイク	
97	〃	不定形	0.80×0.50×0.08	暗赤褐色	フレイク	◎
98	〃	略円形	0.30×0.26×——	暗赤橙色		
99	〃	長楕円形	0.30×0.18×——	〃		
100	〃	不定形	0.60×0.52×——	暗赤褐色	Ⅰb、フレイク・礫	
101	s－114、s－115	〃	0.38×0.22×——	暗橙色		
102	s－114	棒状	1.60×0.40×0.12	暗赤褐色		◎
103	〃	長楕円形	0.34×0.28×——	暗赤橙色	フレイク	
104	〃	ひょうたん形	0.50×0.26×——	〃		
105	r－114	長楕円形	0.25×0.20×——	〃		
106	〃	台形状	0.24×0.24×——		フレイク	
107	q－114	不定形	0.46×0.22×——	暗橙色		
108	〃	隅丸長方形状	0.36×0.26×——	暗赤橙色	Ⅰb、フレイク	
109	〃	台形状	0.26×0.26×——	〃	フレイク・礫	
110	〃	——	(0.50)×(0.36)×——	〃		
111	s－113・114	楕円形	0.24×0.20×——	〃		
112	〃	不定形	0.41×0.32×——	〃	スクレイパー・フレイク	
113	〃	——	(0.35)×——×——	暗橙色		
114	s－113	菱形	0.32×0.30×——	暗赤橙色	Ⅳc	
115	〃	台形状	0.16×0.14×——	暗橙色		
116	〃	——	——×(0.24)×——	暗赤橙色		
117	〃	長楕円形	0.32×0.22×——	暗橙色		
118	〃	——	——×0.26×0.10	〃		◎
119	s－112	——	——×0.36×——	暗赤橙色		
120	s－113	長楕円形	0.32×0.22×——	〃		
121	r－113	——	——×0.30×——	暗橙色		
122	q－112	——	0.30×——×0.08	暗赤橙色		◎
123	q－111・112	長円形	0.34×0.30×——	〃		
124	r－112	——	——×0.22×——	〃		
125	〃	不定形	1.24×0.90×0.10	暗赤褐色	Ⅰb、フレイク・礫	◎
126	s－112	——	——×0.22×——	暗赤橙色		
127	〃	不定形	0.30×0.26×——	〃		
128	〃	円形	0.26×0.26×——	〃		
129	t－112	——	——×0.22×——	〃		
130	s－111・112、t－111・112	不定形	(0.78)×0.60×——	〃		
131	s－111・112	円形	0.25×0.24×——	〃		
132	s－112	長円形	0.40×0.36×——	〃		
133	s－111・112	隅丸長方形状	0.20×0.17×——	暗橙色		
134	t－111	棒状	0.72×0.38×——	暗赤橙色		
135	〃	——	——×0.42×0.10	暗赤褐色		◎
136	〃	長楕円形	0.32×0.22×——	暗赤橙色		
137	〃	楕円形	0.28×0.20×——	〃		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm) 長軸×短軸×厚さ	色　調	出土遺物	掲載
ilfg　138	s－111、t－111	長楕円形	0.40×0.26×——	暗赤橙色		
139	s－111	〃	0.34×0.24×——	暗橙色		
140	〃	棒状	0.50×0.23×——	〃		
141	〃	長楕円形	0.45×0.22×——	暗赤橙色		
142	〃	不定形	1.00×0.52×0.10	暗赤褐色		◎
143	〃	〃	0.58×0.33×——	暗赤橙色		
144	〃	楕円形	0.22×0.19×——	〃		
145	〃	長楕円形	0.37×0.20×——	〃		
146	〃	〃	0.40×0.22×——	〃		
147	〃	略円形	0.30×0.30×0.05	〃		◎
148	〃	楕円形	0.22×0.18×——	〃		
149	r－111	長楕円形	0.28×0.18×——	〃		
150	〃	台形状	0.20×0.17×——	暗赤褐色		◎
151	〃	楕円形	0.30×0.25×——	暗赤橙色		
152	〃	〃	0.38×0.30×——	〃		
153	〃	台形状	0.20×0.17×——	〃		
154	q－111	隅丸長方形状	0.32×0.27×——	〃		
155	〃	楕円形	0.32×0.28×——	〃		
156	〃	——	——×0.34×——	〃		
157	r－110	不定形	0.56×0.32×——	暗橙色		
158	〃	三角形状	0.32×0.24×——	暗赤橙色		
159	〃	ひょうたん形	0.50×0.33×——	暗橙色		
160	〃	楕円形	0.32×0.24×——	〃	フレイク	
161	〃	長楕円形	0.34×0.20×——	暗赤橙色		
162	〃	楕円形	0.28×0.22×0.10	暗赤褐色		◎
163	r－110、s－110	隅丸長方形状	0.40×0.23×——	暗赤橙色		
164	〃	台形状	0.18×0.18×——	〃		
165	r－110	不定形	0.50×0.25×——	〃		
166	r－110、s－110	——	——×0.34×——	〃		
167	s－110	台形状	0.24×0.20×——	〃		
168	〃	楕円形	0.36×0.30×——	〃		
169	〃	〃	0.40×0.34×——	暗橙色		
170	〃	——	——×0.20×——	暗赤橙色		
171	〃	円形	0.20×0.20×——	〃		
172	〃	楕円形	0.20×0.16×——	〃		
173	〃	〃	0.26×0.20×——	〃		
174	〃	長円形	0.22×0.18×——	〃		
175	〃	楕円形	0.20×0.20×——	〃		
176	〃	不定形	0.47×0.34×——	〃		
177	〃	円形	0.20×0.19×——	〃		
178	t－110	楕円形	0.28×0.28×——	〃		
179	〃	隅丸長方形状	0.60×0.30×0.05	〃		◎
180	〃	——	——×0.24×——	〃		
181	〃	——	——×0.24×——	〃		
182	〃	菱形	0.35×0.30×——	〃		
183	p－109・110	楕円形	0.80×0.65×——	〃	Ib、フレイク	
184	〃	〃	0.38×0.36×——	〃		
185	p－110	——	——×0.30×——	〃		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm)	色　　調	出土遺物	掲載
			長軸×短軸×厚さ			
ilf　186	n－115	棒状	0.65×0.30×——	暗赤橙色		
187	〃	円形	0.40×0.39×——	〃		
188	〃	〃	0.24×0.22×0.08	〃		◎
189	l－115	楕円形	0.36×0.30×0.06	〃		◎
190	l－115、m－115	〃	0.44×0.34×0.07	暗橙色		◎
191	m－115	〃	0.38×0.32×0.04	暗赤橙色		◎
192	〃	〃	0.32×0.26×——	〃		
193	o－114	台形状	0.20×0.17×——	暗橙色		
194	n－114	不定形	0.34×0.22×0.10	暗赤橙色		◎
195	m－114	楕円形	0.34×0.26×——	〃		
196	l－114	菱形	0.52×0.30×0.05	暗橙色		◎
197	〃	長楕円形	0.53×0.32×——	〃		
198	j－114	円形	0.24×0.24×0.06	暗赤橙色		◎
199	n－113	楕円形	0.23×0.18×——	〃		
200	m－113、n－113	円形	0.32×0.32×——	〃		
201	m－113	楕円形	0.26×0.22×——	〃		
202	n－113	〃	0.25×0.20×——	〃		
203	n－112、o－112	円形	0.28×0.26×——	〃		
204	n－112	楕円形	0.40×0.36×0.08	〃		◎
205	〃	〃	0.30×0.22×0.04	〃		◎
206	〃	円形	0.28×0.28×——	〃		
207	n－112・113	〃	0.30×0.30×0.06	〃		◎
208	n－112	楕円形	0.22×0.22×——	〃		
209	m－112	円形	0.24×0.24×0.06	〃		◎
210	o－111・112	楕円形	0.36×0.30×——	〃		
211	m－111	円形	0.16×0.16×——	〃		
212	〃	長円形	0.25×0.22×0.06	〃		◎
213	〃	〃	0.30×0.28×0.08	暗橙色		◎
214	〃	長楕円形	0.28×0.22×——	暗赤橙色		
215	l－111	楕円形	0.30×0.28×——	〃		
216	〃	長楕円形	0.36×0.26×0.07	〃		◎
217	〃	楕円形	0.42×0.38×0.08	暗橙色		◎
218	k－111	円形	0.26×0.26×0.07	〃		◎
219	o－110	長円形	0.25×0.22×0.10	〃		◎
220	n－110	楕円形	0.24×0.19×——	暗赤橙色		
221	m－110	円形	0.31×0.30×——	〃		
222	〃	〃	0.32×0.30×0.07	〃		◎
223	〃	長円形	0.34×0.30×——	〃		
224	〃	〃	0.22×0.17×——	〃		
225	o－110	〃	0.20×0.16×——	〃		
226	n－109	楕円形	0.25×0.19×——	〃		
227	m－109	円形	0.22×0.20×——	〃		
228	〃	楕円形	0.28×0.22×——	〃		
229	〃	長楕円形	0.40×0.26×0.08	〃		◎
230	m－108	〃	0.36×0.19×——	〃		
231	p－109	〃	0.30×0.20×——	〃		
232	p－107	略円形	0.15×0.15×——	〃		
233	〃	不定形	0.54×0.30×0.10	暗赤褐色	フレイク	

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm)	色　調	出土遺物	掲載
			長軸×短軸×厚さ			
iltg　234	p－107	台形状	0.22×0.20×——	暗赤橙色		
235	〃	楕円形	0.45×0.27×——	〃		
236	〃	長楕円形	0.26×0.18×0.07	〃		◎
237	〃	円形	0.18×0.18×——	〃		
238	o－107	長楕円形	0.22×0.14×——	〃		
239	〃	不定形	0.62×0.38×0.08	暗赤褐色		◎
240	l－107・108	台形状	0.31×0.30×——	暗赤橙色		
241	l－107	楕円形	0.28×0.21×——	〃		
242	〃	〃	0.22×0.18×——	〃		
243	k－107	円形	0.18×0.18×——	〃		
244	〃	楕円形	0.30×0.22×0.06	〃		◎
245	〃	〃	0.32×0.30×——	〃	礫	
246	p－106	〃	0.32×0.25×0.06	暗橙色		◎
247	〃	円形	0.18×0.18×——	暗赤橙色		
248	〃	楕円形	0.22×0.20×——	〃		
249	〃	不定形	0.80×0.45×——	〃		
250	〃	楕円形	0.70×0.47×0.11	暗赤褐色		◎
251	〃	長円形	0.24×0.22×——	暗赤橙色		
252	〃	〃	0.28×0.24×——	〃		
253	〃	円形	0.28×0.28×0.09	〃		◎
254	〃	——	——×0.24×——	〃		
255	〃	楕円形	0.22×0.22×——	〃		
256	p－105・106	不定形	0.80×0.26×——	〃		
257	p－105	楕円形	0.30×0.27×0.04	〃		◎
258	p－106	不定形	0.34×0.18×0.07	〃		◎
259	〃	楕円形	0.38×0.26×0.10	暗橙色		◎
260	〃	〃	0.40×0.32×0.13	暗赤橙色		◎
261	〃	長円形	0.23×0.18×——	〃		
262	〃	楕円形	0.26×0.18×0.04	〃		◎
263	〃	〃	0.35×0.30×——	暗橙色		
264	〃	長円形	0.20×0.18×——	暗赤橙色		
265	o－106、p－106	——	——×0.14×——	〃	Ⅳc	
266	p－106	長楕円形	0.27×0.16×——	〃		
267	o－106、p－106	楕円形	0.39×0.29×——	〃		
268	o－106	長楕円形	0.23×0.15×——	〃		
269	o－106・107	楕円形	0.42×0.26×——	暗橙色		
270	o－106	〃	0.28×0.26×0.10	暗赤橙色		◎
271	〃	長楕円形	0.36×0.22×——	〃		
272	〃	——	——×0.28×——	〃	フレイク	
273	l－106	長楕円形	0.24×0.18×——	〃		
274	k－106	〃	0.37×0.20×——	〃		
275	〃	不定形	0.40×0.30×0.08	〃		◎
276	p－105	円形	0.18×0.18×——	〃		
277	〃	楕円形	0.34×0.30×——	〃		
278	〃	長楕円形	0.26×0.19×——	暗橙色		
279	o－105	〃	0.42×0.32×——	暗赤橙色		
280	〃	〃	0.38×0.23×——	暗橙色		
281	〃	長円形	0.36×0.32×——	暗赤橙色		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm)	色　　調	出土遺物	掲載
			長軸×短軸×厚さ			
ilfg　282	n－105	長楕円形	0.30×0.22×0.07	暗赤橙色		◎
283	m－105、n－105	楕円形	0.20×0.16×0.06	〃		◎
284	l－105	長楕円形	0.24×0.15×——	〃		
285	〃	〃	0.25×0.13×0.07	つまみ付ナイフ		◎
286	〃	〃	0.30×0.20×0.09	〃		◎
287	q－109	楕円形	0.22×0.22×——	暗橙色		
288	q－108	〃	0.22×0.20×——	暗赤橙色		
289	q－107	〃	0.32×0.28×0.06	暗橙色		◎
209	〃	長楕円形	0.30×0.20×——	〃		
291	〃	〃	0.28×0.22×——	〃		
292	〃	〃	0.30×0.22×0.09	暗赤褐色		◎
293	〃	〃	0.60×0.30×——	暗赤橙色		
294	〃	円形	0.22×0.22×——	〃		
295	〃	長円形	0.30×0.27×——	暗橙色		
296	〃	円形	0.30×0.29×——	〃		
297	〃	楕円形	0.24×0.20×——	暗赤橙色		
298	〃	〃	0.24×0.22×——	〃		
299	q－106	長楕円形	0.38×0.24×——	〃		
300	〃	〃	0.50×0.30×——	〃		
301	〃	菱形	0.42×0.30×——	〃		
302	〃	円形	0.20×0.20×0.06	〃		◎
303	〃	長楕円形	0.42×0.25×——	〃		
304	〃	楕円形	0.50×0.40×——	〃		
305	〃	〃	0.25×0.21×——	〃		
306	q－105･106	長円形	0.25×0.23×——	〃		
307	〃	楕円形	0.21×0.21×——	〃		
308	q－106	長楕円形	0.50×0.30×——	〃		
309	q－105	円形	0.26×0.26×——	〃		
310	r－105	楕円形	0.70×0.50×——	〃		
311	〃	長円形	0.32×0.27×——	〃		
312	〃	楕円形	0.64×0.40×——	〃		
313	〃	〃	0.44×0.31×——	暗橙色		
314	〃	長円形	0.30×0.26×0.06	暗赤褐色		◎
315	〃	楕円形	0.40×0.36×——	暗赤橙色		
316	〃	〃	0.22×0.18×——	〃		
317	〃	〃	0.38×0.32×0.04	〃	Ⅰb	◎
318	〃	長楕円形	0.32×0.16×——	〃		
319	r－106	〃	0.44×0.28×——	〃		
320	〃	不定形	0.50×0.23×——	〃		
321	〃	円形	0.21×0.20×——	〃		
322	〃	長楕円形	0.70×0.48×0.07	暗赤褐色		
323	〃	〃	0.35×0.23×——	暗赤橙色		
324	r－106、s－106	〃	0.45×0.28×——	〃		
325	〃	楕円形	0.52×0.40×——	〃		
326	r－106	長楕円形	0.46×0.28×——	〃		
327	r－107	〃	0.60×0.25×——	〃		
328	〃	楕円形	0.33×0.26×——	暗橙色		
329	〃	長楕円形	0.52×0.42×——	暗赤橙色		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm) 長軸×短軸×厚さ	色　調	出土遺物	掲載
ilfg　330	r－107	長楕円形	0.55×0.33×——	暗赤褐色		
331	〃	〃	0.35×0.24×——	暗橙色		
332	〃	〃	0.43×0.26×——	暗赤橙色		
333	〃	楕円形	0.30×0.25×——	〃		
334	〃	長楕円形	0.55×0.32×——	〃		
335	〃	円形	0.24×0.24×——	〃		
336	〃	楕円形	0.28×0.24×——	〃		
337	〃	〃	0.30×0.20×——	〃		
338	r－107・108	不定形	0.75×0.65×——	〃		
339	r－108	楕円形	0.34×0.32×0.06	暗赤褐色		
340	〃	長楕円形	0.30×0.20×——	暗赤橙色		
341	〃	円形	0.20×0.20×——	〃		
342	〃	楕円形	0.50×0.36×——	〃		
343	〃	〃	0.30×0.24×——	〃		
344	〃	〃	0.38×0.30×——	〃		
345	〃	長楕円形	0.40×0.21×——	〃		
346	〃	〃	0.36×0.18×——	〃		
347	〃	〃	0.50×0.26×0.07	暗赤褐色		
348	〃	楕円形	0.40×0.32×——	暗赤橙色		
349	〃	長楕円形	0.47×0.30×——	〃		
350	〃	長円形	0.28×0.24×——	〃		
351	r－109	楕円形	0.22×0.22×——	〃	Ⅰb	
352	〃	長円形	0.24×0.18×——	〃		
353	〃	〃	0.30×0.28×——	〃		
354	r－109、s－109	円形	0.26×0.26×——	〃		
355	s－109	隅丸長方形状	0.24×0.22×——	〃		
356	〃	楕円形	0.30×0.30×——	〃		
357	〃	〃	0.50×0.40×0.12	〃		◎
358	〃	長楕円形	0.46×0.32×0.10	暗赤褐色		◎
359	〃	楕円形	0.34×0.34×——	暗橙色		
360	〃	円形	0.28×0.28×——	暗赤褐色		
361	〃	楕円形	0.20×0.16×——	暗赤橙色		
362	s－109・110	〃	0.24×0.17×——	〃		
363	s－109	〃	0.28×0.24×——	〃		
364	〃	——	——×0.18×——	〃		
365	〃	楕円形	0.32×0.24×——	〃		
366	〃	長楕円形	0.45×0.35×0.07	暗橙色		◎
367	〃	楕円形	0.26×0.24×——	暗赤橙色		
368	〃	長円形	0.34×0.30×0.10	暗赤褐色		◎
369	〃	楕円形	0.33×0.30×——	暗赤橙色		
370	〃	長楕円形	0.48×0.32×——	暗橙色	フレイク	
371	〃	〃	0.64×0.37×0.11	暗赤橙色	つまみ付ナイフ	◎
372	〃	楕円形	0.23×0.22×——	〃		
373	〃	〃	0.28×0.26×——	〃		
374	s－109、t－109	〃	0.34×0.26×——	〃	Ⅳc	
375	〃	〃	0.50×0.40×——	〃		
376	s－108	長楕円形	0.48×0.30×——	〃		
377	〃	円形	0.30×0.30×0.06	〃		◎

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm) 長軸×短軸×厚さ	色　　調	出土遺物	掲載
ilfg　378	s－108	楕円形	0.30×0.20×——	暗赤橙色		
379	〃	円形	0.22×0.22×——	〃		
380	〃	〃	0.22×0.22×——	〃		
381	〃	楕円形	0.38×0.34×——	〃		
382	〃	〃	0.40×0.30×——	〃		
383	〃	〃	0.42×0.37×——	〃		
384	〃	〃	0.29×0.24×——	〃		
385	s－107・108	略円形	0.32×0.30×——	〃		
386	s－107	楕円形	0.46×0.36×——	暗橙色		
387	〃	〃	0.34×0.28×——	暗赤橙色		
388	〃	長楕円形	0.45×0.30×0.10	〃		◎
389	〃	円形	0.46×0.46×——	暗橙色		
390	〃	〃	0.23×0.23×——	暗赤橙色		
391	〃	楕円形	0.30×0.25×0.04	〃		◎
392	〃	〃	0.38×0.30×——	〃		
393	〃	〃	0.70×0.52×——	〃		
394	〃	〃	0.43×0.32×0.10	暗赤褐色		◎
395	〃	長楕円形	0.26×0.16×——	暗赤橙色		
396	〃	円形	0.24×0.23×——	〃		
397	s－106・107	〃	0.33×0.33×——	暗赤褐色		
398	s－106	楕円形	0.24×0.20×——	暗赤橙色		
399	s－106・107	〃	0.27×0.24×——	〃		
400	s－106	〃	0.29×0.25×——	〃		
401	〃	長楕円形	0.50×0.30×——	〃		
402	〃	〃	0.60×0.32×0.08	暗橙色		◎
403	〃	〃	0.64×0.28×——	暗赤橙色		
404	s－105	——	0.22×——×——	〃		
405	〃	長楕円形	0.42×0.26×——	〃	Ⅳc	
406	r－105・s－105	円形	0.26×0.26×——	暗橙色		
407	s－105	長楕円形	0.42×0.32×——	暗赤橙色		
408	〃	〃	0.43×0.32×——	〃		
409	〃	〃	0.60×0.49×——	〃		
410	〃	円形	0.27×0.27×——	〃		
411	〃	楕円形	0.49×0.40×——	〃		
412	〃	〃	0.23×0.20×——	〃		
413	〃	円形	0.22×0.22×——	〃		
414	〃	長楕円形	0.24×0.19×——	〃		
415	〃	楕円形	0.22×0.18×——	〃		
416	s－105、t－105	長楕円形	0.46×0.30×——	〃		
417	〃	楕円形	0.45×0.40×——	〃		
418	t－105	長円形	0.50×0.44×——	〃		
419	〃	三角形状	0.63×0.50×——	〃		
420	〃	楕円形	0.40×0.36×——	〃		
421	〃	長楕円形	0.45×0.30×——	〃		
422	〃	〃	0.55×0.26×——	〃		
423	〃	〃	0.56×0.46×——	暗橙色		
424	〃	楕円形	0.34×0.30×——	〃		
425	〃	〃	0.37×0.28×——	暗赤橙色		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm)	色　調	出土遺物	掲載
			長軸×短軸×厚さ			
ilfg　426	t－105	長楕円形	0.43×0.30×——	暗赤橙色		
427	〃	円形	0.28×0.28×——	〃		
428	〃	長円形	0.52×0.48×——	〃		
429	〃	長楕円形	0.64×0.47×——	〃		
430	t－105・106	〃	0.70×0.56×——	〃		
431	t－106	〃	0.75×0.32×——	〃		
432	〃	台形状	0.56×0.56×0.10	暗赤褐色		◎
433	〃	楕円形	0.40×0.34×——	暗赤橙色		
434	〃	長円形	0.33×0.30×——	〃		
435	s－106、t－106	〃	0.40×0.26×0.08	暗赤褐色		◎
436	t－107	——	——×0.46×——	暗橙色		
437	〃	——	——×0.70×0.08	暗赤褐色		◎
438	〃	——	——×0.24×——	暗赤橙色		
439	〃	円形	0.24×0.24×——	〃		
440	t－107・108	長円形	0.30×0.26×——	〃		
441	t－108	楕円形	0.30×0.25×——	〃	土器	
442	〃	円形	0.32×0.32×——	〃		
443	〃	長楕円形	0.66×0.28×——	暗橙色		
444	〃	〃	0.42×0.26×——	暗赤褐色	礫	
445	〃	楕円形	0.39×0.37×——	暗橙色		
446	〃	〃	0.40×0.31×——	暗赤褐		
447	〃	長楕円形	0.53×0.18×——	暗赤橙色		
448	〃	楕円形	0.34×0.26×——	〃		
449	t－108、u－108	〃	0.40×0.32×——	暗赤褐色		
450	u－108	〃	0.26×0.22×——	暗橙色		
451	〃	長円形	0.33×0.30×——	〃		
452	t－108	長楕円形	0.55×0.24×——	〃		
453	〃	円形	0.25×0.23×——	〃		
454	〃	〃	0.30×0.27×——	〃		
455	〃	〃	0.23×0.23×——	暗赤橙色		
456	〃	楕円形	0.40×0.36×——	〃		
457	〃	〃	0.32×0.24×——	〃		
458	t－109	長楕円形	0.45×0.28×——	暗赤褐色		
459	〃	〃	0.40×0.20×——	暗橙色		
460	〃	長円形	0.20×0.18×——	〃		
461	〃	楕円形	0.29×0.21×——	暗赤橙色		
462	〃	長楕円形	0.33×0.24×——	〃		
463	〃	〃	0.40×0.28×——	暗橙色		
464	〃	円形	0.24×0.23×——	暗赤橙色		
465	〃	長楕円形	0.46×0.27×——	〃		
466	〃	楕円形	0.42×0.34×——	〃		
467	t－109・110	長円形	0.28×0.24×——	〃		
468	〃	長楕円形	0.40×0.26×——	暗橙色		
469	t－110	円形	0.30×0.27×——	暗赤橙色		
470	t－109	楕円形	0.26×0.24×——	〃		
471	〃	長楕円形	0.60×0.30×——	〃		
472	u－109	楕円形	0.44×0.32×——	暗赤褐色		
473	〃	〃	0.60×0.48×——	〃		◎

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm) 長軸×短軸×厚さ	色　調	出土遺物	掲載
ilfg　474	u－109	円形	0.26×0.23×——	暗赤橙色		
475	〃	〃	0.20×0.19×——	〃		
476	〃	長楕円形	0.35×0.23×——	〃		
477	〃	——	——×0.18×——	〃		
478	〃	楕円形	0.62×0.45×——	〃		
479	u－108・109	二等辺三角形	1.10×0.40×——	暗赤褐色		
480	u－108	楕円形	0.43×0.38×——	〃		
481	〃	〃	0.34×0.24×——	暗赤橙色		
482	〃	〃	0.38×0.26×——	〃		
483	u－108・109	〃	0.25×0.23×——	〃		
484	u－109	〃	0.60×0.40×0.07	〃		◎
485	〃	——	——×0.28×——	〃		
486	v－109	——	——×0.34×——	〃		
487	〃	楕円形	0.35×0.30×——	〃		
488	〃	長円形	0.20×0.18×——	〃		
489	v－108	楕円形	0.40×0.32×——	〃		
490	u－108、v－108	台形状	0.33×0.19×——	〃		
491	u－108	楕円形	0.31×0.26×——	〃		
492	〃	〃	0.26×0.26×——	〃		
493	〃	——	——×0.23×——	〃		
494	〃	楕円形	0.62×0.56×0.12	暗橙色		◎
495	u－107	円形	0.20×0.18×——	暗赤橙色		
496	t－107、u－107	長楕円形	0.43×0.26×——	〃		
497	t－107	〃	0.42×0.25×——	〃		
498	〃	〃	0.40×0.20×——	〃		
499	u－107	楕円形	0.34×0.31×——	〃		
500	〃	〃	0.30×0.23×——	暗橙色		
501	〃	〃	0.34×0.32×——	〃		
502	〃	長円形	0.30×0.26×——	暗赤橙色		
503	〃	楕円形	0.26×0.20×——	〃		
504	u－106・107	長楕円形	0.50×0.37×0.05	〃		◎
505	u－107	円形	0.21×0.20×——	〃		
506	u－106	長楕円形	0.37×0.24×——	〃		
507	〃	〃	——×0.20×——	〃		
508	〃	楕円形	0.35×0.28××——	〃		
509	〃	長楕円形	0.55×0.40×——	〃		
510	〃	台形状	0.38×0.37×——	〃		
511	〃	不定形	0.70×0.40×——	暗橙色		
512	〃	菱形	1.30×0.56×——	暗赤橙色		
513	〃	円形	0.28×0.28×——	〃		
514	〃	長楕円形	0.65×0.42×——	暗赤褐色		
515	u－105・106	楕円形	0.77×0.60×——	〃		
516	u－105	長円形	0.25×0.20×——	暗赤橙色		
517	〃	二等辺三角形	0.76×0.62×——	〃		
518	〃	楕円形	0.24×0.19×——	〃		
519	〃	円形	0.20×0.20×——	〃		
520	t－105・u－105	長楕円形	0.50×0.28×——	〃		
512	u－105	〃	0.47×0.34×——	〃		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm)	色　　調	出土遺物	掲載
			長軸×短軸×厚さ			
ilfg　522	u－105	長楕円形	0.30×0.26×——	暗赤橙色		
523	〃	〃	0.28×0.24×——	〃		
524	〃	〃	0.42×0.40×——	〃		
525	〃	〃	0.40×0.35×——	〃		
526	〃	長楕円形	0.56×0.37×——	〃		
527	〃	〃	0.58×0.27×——	〃		
528	〃	円形	0.18×0.18×——	〃		
529	u－105・v－105	長楕円形	0.60×0.30×——	〃		
530	〃	〃	0.50×0.32×——	暗橙色		
531	v－105	長円形	0.30×0.26×——	暗赤橙色		
532	〃	——	——×0.53×——	〃		
533	〃	楕円形	0.24×0.24×——	〃		
534	v－106	長円形	0.18×0.16×——	〃		
535	〃	長楕円形	0.46×0.29×——	〃		
536	〃	〃	0.50×0.35×——	〃		
537	〃	楕円形	0.30×0.24×——	〃		
538	〃	長楕円形	0.30×0.18×——	〃		
539	〃	楕円形	0.27×0.20×——	〃		
540	〃	〃	0.46×0.36×——	〃		
541	〃	不定形	0.48×0.45×——	〃		
542	〃	長楕円形	0.38×0.26×——	〃		
543	〃	楕円形	0.22×0.18×——	〃		
544	〃	長円形	0.18×0.16×——	〃		
545	〃	円形	0.36×0.36×0.10	暗橙色		◎
546	〃	楕円形	0.46×0.40×——	暗赤橙色		
547	〃	〃	0.37×0.28×——	〃		
548	〃	〃	0.60×0.44×——	暗橙色		
549	v－107	長楕円形	0.42×0.30×——	暗赤橙色		
550	〃	〃	0.38×0.26×——	〃		
551	〃	楕円形	0.34×0.31×——	〃		
552	〃	〃	0.34×0.28×——	〃		
553	〃	長楕円形	0.46×0.31×——	〃		
554	〃	楕円形	0.30×0.26×——	〃		
555	〃	長円形	0.32×0.24×——	〃		
556	v－108・109	長楕円形	0.50×0.37×——	〃		
557	w－108・109	——	——×0.28×——	〃		
558	w－108	長円形	0.24×0.19×——	〃		
559	〃	台形状	0.20×0.19×——	〃		
560	〃	〃	0.26×0.22×——	〃		
561	w－107・108	楕円形	0.36×0.26×——	〃		
562	w－107	〃	0.46×0.42×0.06	〃		◎
563	w－106	〃	0.34×0.27×——	〃		
564	〃	〃	0.34×0.26×——	〃		
565	v－106・w－106	〃	0.60×0.50×——	〃		
566	w－106	円形	0.28×0.28×——	〃		
567	w－105	〃	0.30×0.28×——	〃		
568	x－105	長楕円形	0.30×0.20×——	〃		
569	〃	長円形	0.35×0.32×——	〃		

焼土番号	発掘区	平面形	規　模(cm) 長軸×短軸×厚さ	色　　調	出土遺物	掲載
ilfg　570	x－105	長円形	0.40×0.34×——	暗赤橙色		
571	x－106	円形	0.32×0.30×——	〃		
572	〃	楕円形	0.23×0.23×——	〃		
573	〃	台形状	0.22×0.19×——	〃		
574	〃	楕円形	0.26×0.22×——	〃		
575	x－107	〃	0.32×0.28×——	〃		
576	〃	〃	0.24×0.24×——	〃		
577	〃	長楕円形	0.46×0.34×——	〃		
578	z－106	円形	0.32×0.30×——	〃		
579	〃	長楕円形	0.60×0.30×——	〃		
580	〃	円形	0.30×0.30×——	〃		
581	y－106、z－106	長楕円形	0.30×0.28×——	〃		
582	z－105	〃	0.50×0.30×——	〃		
583	〃	楕円形	0.40×0.30×——	〃		
584	1－105	〃	0.30×0.26×——	〃		
585	〃	——	——×0.21×——	〃		
586	2－105	不定形	0.43×0.40×——	〃		
587	3－105	——	——×0.15×——			

3　包含層の遺物

(1)　土器・土製品（図Ⅵ－83～90）

Ⅲ．Ⅳ層出土の土器（1～45）

Ⅰ群ｂ類（1・2）　1・2は口縁部破片で、口唇に連続した刺突文が施されている。

Ⅳ群ｂ類（3～20）　3から17は刻み目列のみのもので、3から9は口縁部破片、10から17は胴部破片である。4は口縁が内湾するもの、11・13・15～17は胴部のくびれ部分である。18から20は刻み目列に突瘤を伴うもので口縁部破片である。

Ⅳ群ｃ類（21～45）

【沈線文のみのもの】（21～26）

21から24は口縁部破片で、22は鋸歯状の沈線文、24は弧状の沈線文が認められる。25・26は胴部破片で、25はイナズマ状の沈線文である。

【突瘤を伴うもの】（27～41）

27から36は平行沈線との組み合わせで、32から35は口唇が切り出し状を呈する。37から41は縄文との組み合わせである。

【縄文、無文のみのもの】（42～45）

42～44は縄文主体の口縁であり、45は無文の口縁部破片で、突起を有する。

Ⅴ層出土の土器（46～72）

Ⅰ群ｂ類の土器（48～50）　48～50は胴部破片で、羽状縄文が施されている。48は短縄文との組み合わせである。

Ⅳ群ｂ類の土器（51～56・69・70）　51から54は刻み目列のもので、51から53は口縁部、54はくびれのある胴部破片である。55・56は刻み列と突瘤との組み合わせで、56は地文が無文になっている。69・70は注口土器の破片で、貼り瘤を伴う。

Ⅳ群ｃ類の土器（57～68、71・72）

【沈線文主体のもの】（57～60）　57・58は口縁部破片で、平行沈線が施されている。59は注口土器、60は深鉢の胴部破片で、無文帯が見られる。

【突瘤を伴うもの】

61～63は平行沈線との組み合わせである。64～67は縄文との組み合わせ、68は無文との組み合わせの口縁部破片である。65は波状口縁を呈する。

【縄文のみのもの】

71は口縁部破片、72は底部破片である。71は口唇部が尖ったかたちになっている。72は高台をもつ底部である。

Ⅴａ層出土の土器

Ⅰ群ｂ類の土器　83・84は口縁部破片である。85から89は貼付文の施された胴部破片である。

Ⅳ群ｂ類の土器

【刻み目列のあるもの】

73は注口土器と思われる。口唇直下と頸部に刻み目列が施され、その間の口顎部は無文帯になっている。頸部に付された貼り瘤にも刻みが施されている。口縁の突起は4箇所認められた。90から101は口縁部破片で、100は口縁突起にも刻み目が認められている。102は胴部片でくびれ部分である。

【刻み目列に突瘤を伴うもの】　103は口縁部破片で、口唇が肥厚し切り出し状を呈する。

Ⅳ群ｃ類の土器

【沈線文のみのもの】

74は壷形土器の口頸部で磨り消し縄文と沈線で区画された縄文との組み合わせである。75は注口土器で曲沈線と平行沈線との組み合わせである。口頸部と注口部分を失っている。79は浅鉢で弧状に施された沈線が木葉状を呈している。104から108は口縁部、109・110は胴部破片である。

【突瘤を伴うもの】

①沈線文を伴うもの　76は鉢で、平行沈線を伴う。口唇は切り出し状を呈している。77は平行沈線と弧状の沈線の組み合わせの深鉢で、胴部下位に無文帯とくびれ部分が見られる。111・112・114は平行沈線との組み合わせである。

②縄文を伴うもの　80は胴部中位にくびれをもつ深鉢で、口唇は肥厚せずやや尖っている。115・116は口縁部破片である。117～119は無文の口縁部である。

【縄文のみのもの】　78は胴部中位に無文帯とくびれ部分をもつ深鉢である。81は鉢形土器で、口唇が肥厚する切り出し状を呈する。82は胴～底部である。羽状縄文を呈している。120・121は口縁部破片である。

【無文のもの】　123・124は無文の口縁部破片である。

Ⅴｂ層出土の土器（125～180）

Ⅰ群ｂ類の土器（125～148）　125から138は口縁部破片である。

Ⅳ群ｂ類の土器（149～152、154～162）　149は壷形土器の口顎部で、貼り瘤を伴う。150～158は口縁部破片で切り出し状の口唇が多い。159から162は刻み目に突瘤を伴う口縁部である。

Ⅳ群ｃ類の土器

【沈線文のみのもの】　163・164が口縁部破片、165は注口土器の胴部の貼り瘤を伴う。

【突瘤を伴うもの】　166から170は平行沈線との組み合わせ、171から178は縄文との組み合わせの口縁部である。

【無文のもの】　179・180は口縁部破片である。

Ⅵ・Ⅶ・撹乱出土の土器

Ⅰ群ｂ類の土器　181から190は口縁部破片で、191から202は胴部破片である。

Ⅳ群ｃ類の土器　203は無文の鉢形土器で、混入したものと考えられる。204はⅠ群ｂ類のもので、205・206はⅣ群ａ類のものと思われる。

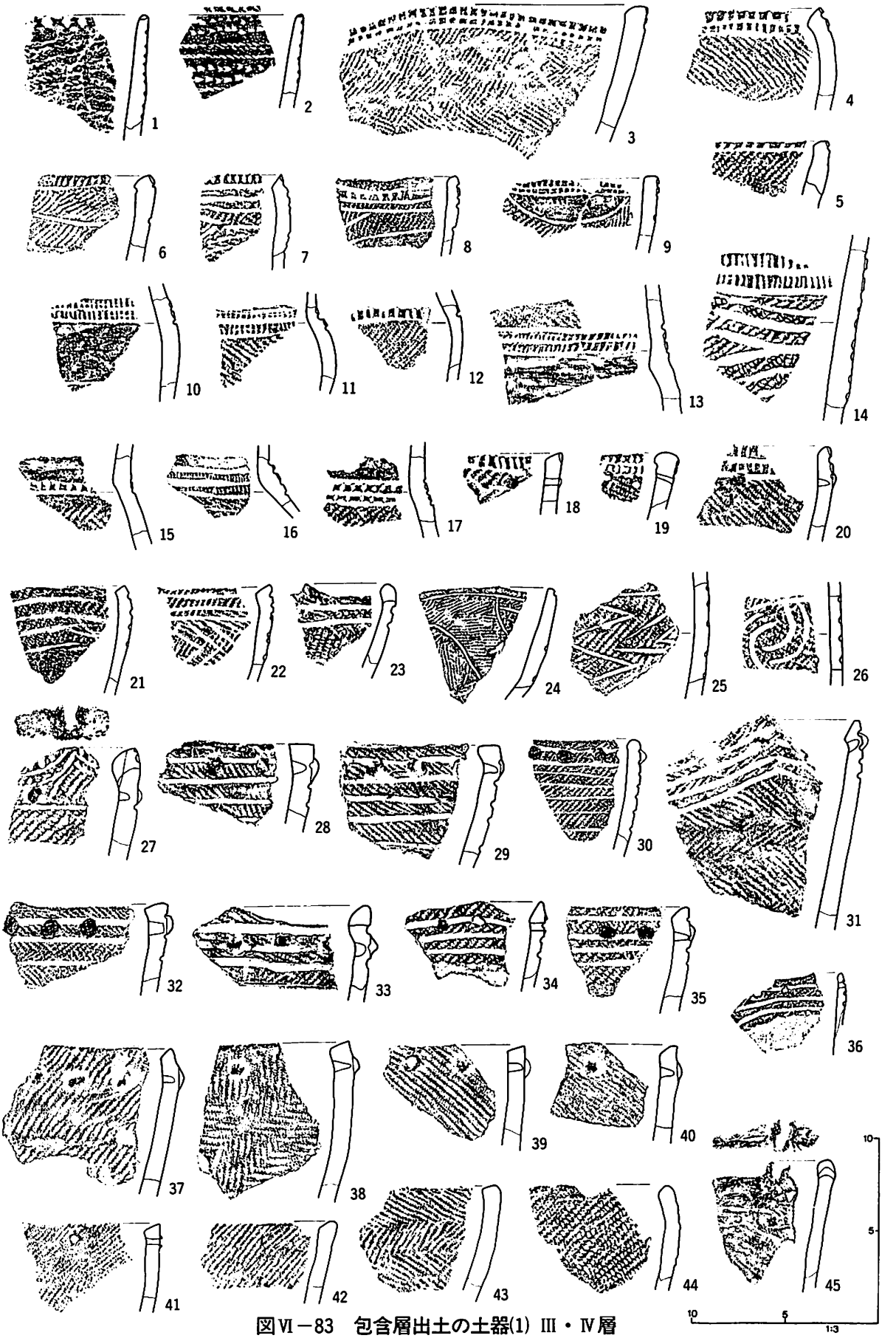
包含層の土製品

【赤彩土器】（216・217）

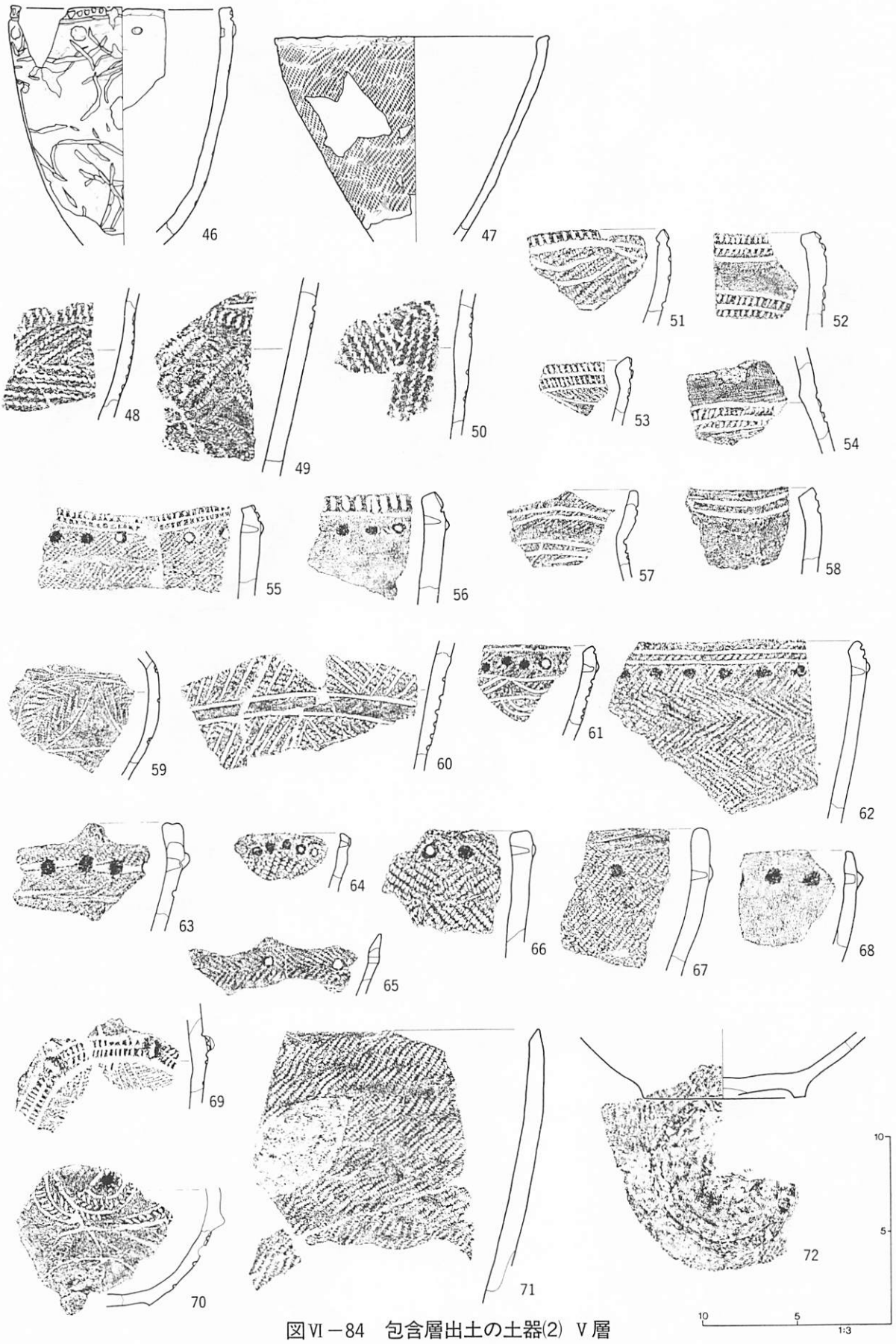
216・217は注口土器の胴部破片である。弧線状の微隆線文が木葉状に構成されていて、連絡部には貼り瘤が施されている。216には注口部と思われる部分が認められる。赤色顔料は微隆線文に沿ったところに残されている。

【土製品】（218・219・220）

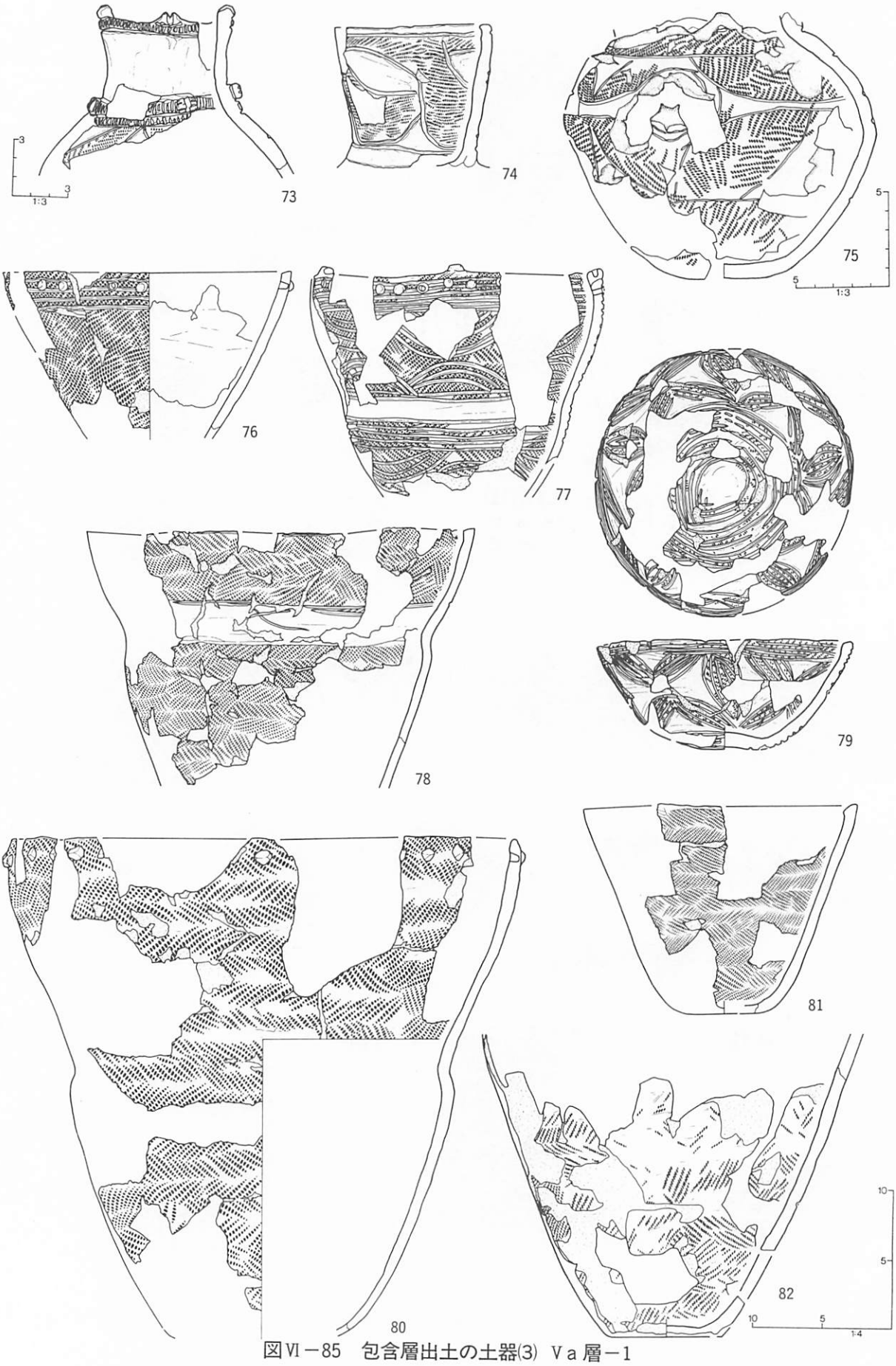
218はスタンプ形土製品である。表面は三角形を呈し、一角は欠損している。裏面の突起部は全て残り、貫通孔が認められた。表面は沈線文が主体である。219・220は棒状の土製品の一部である。



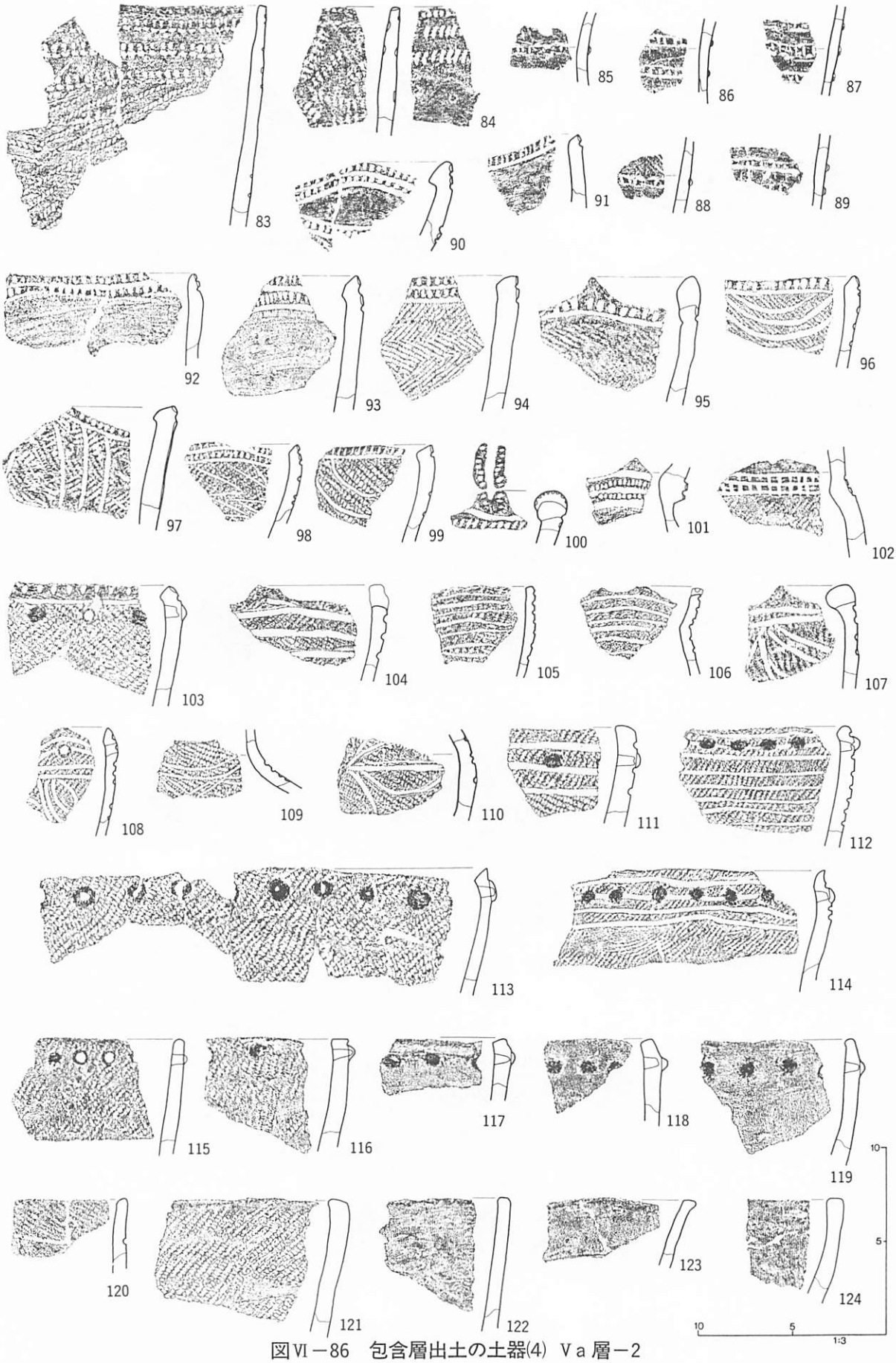
図Ⅵ－83　包含層出土の土器(1) Ⅲ・Ⅳ層



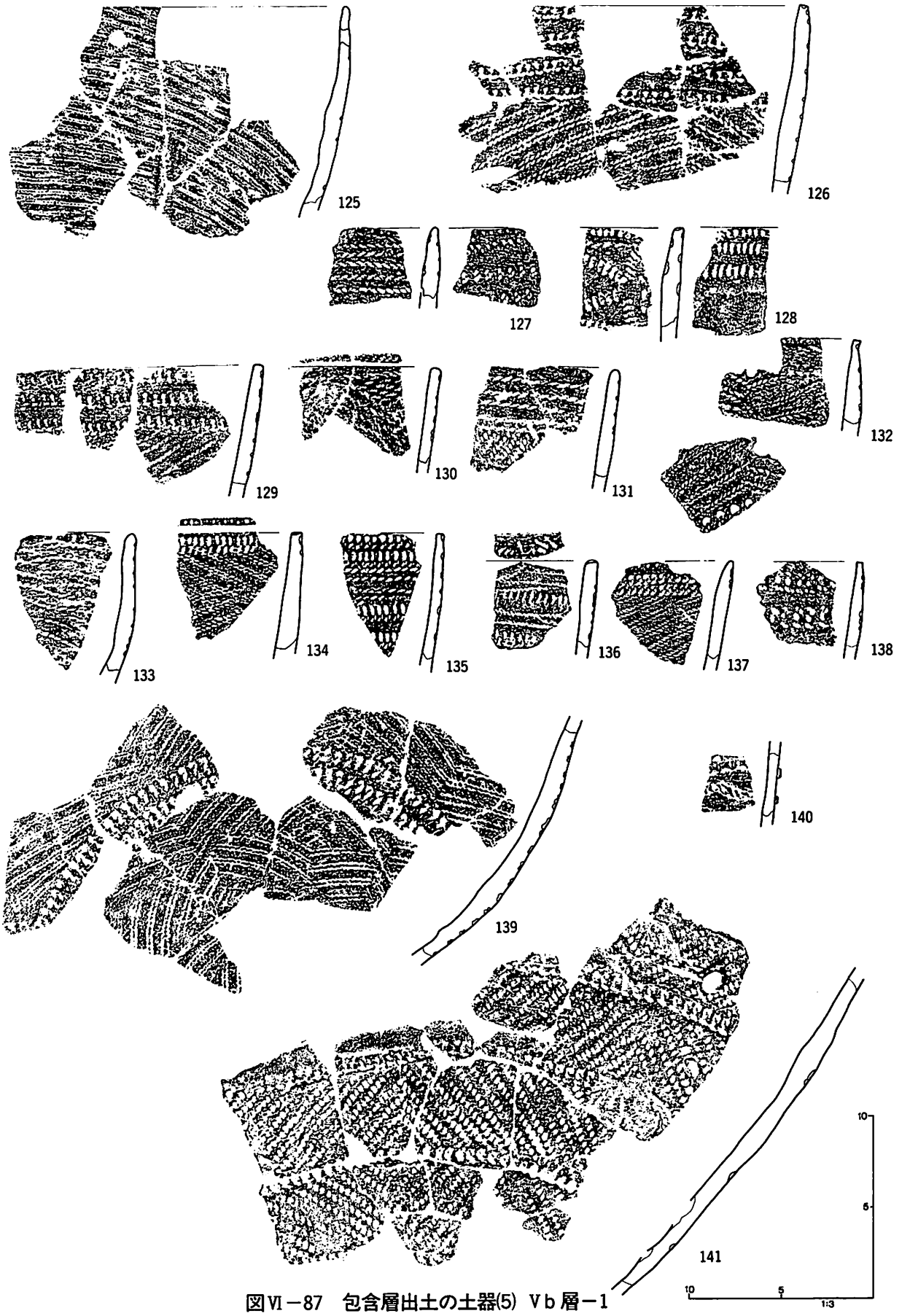
図Ⅵ－84　包含層出土の土器(2)　Ⅴ層



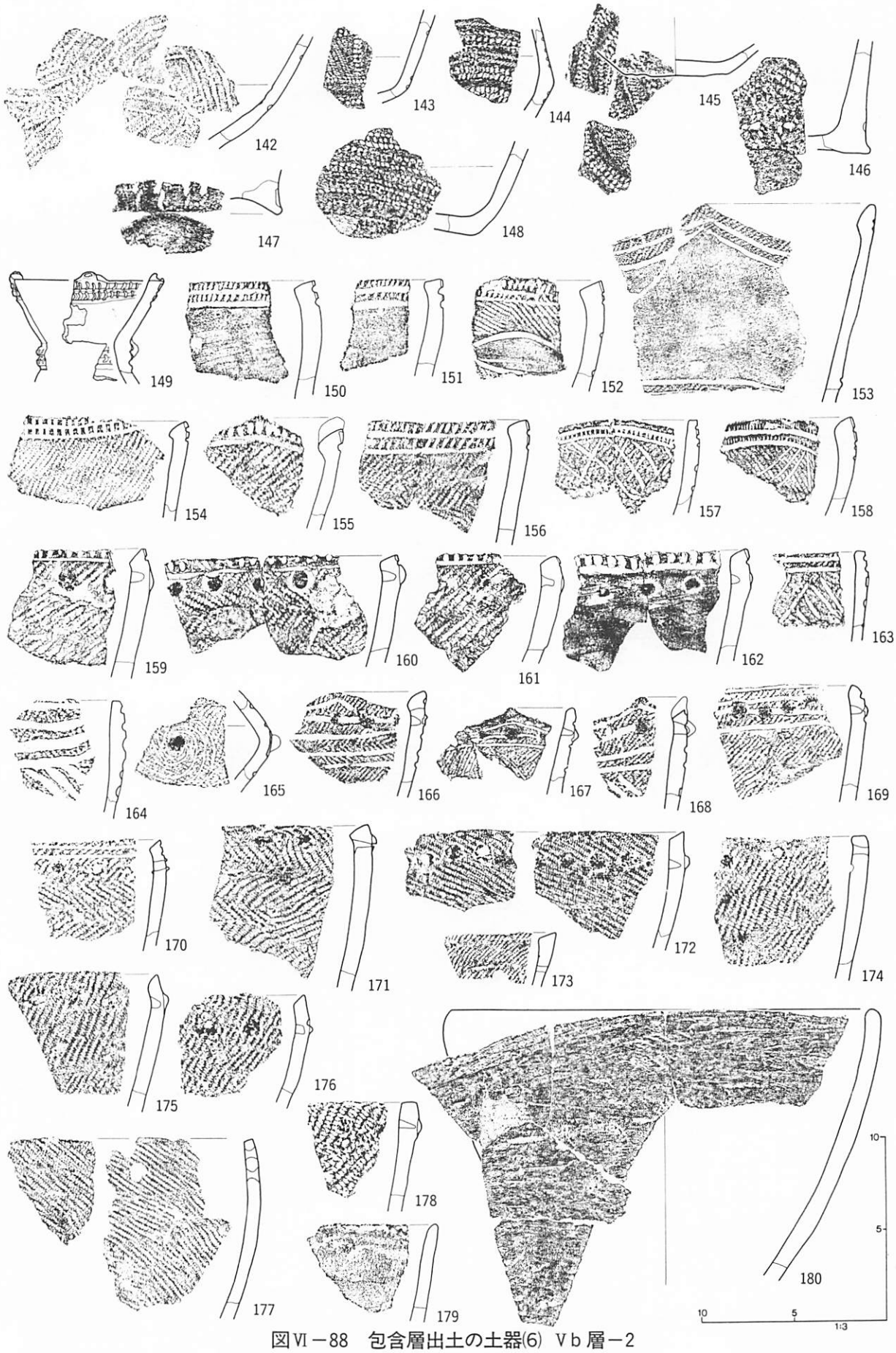
図Ⅵ－85　包含層出土の土器(3)　Ⅴa層－1



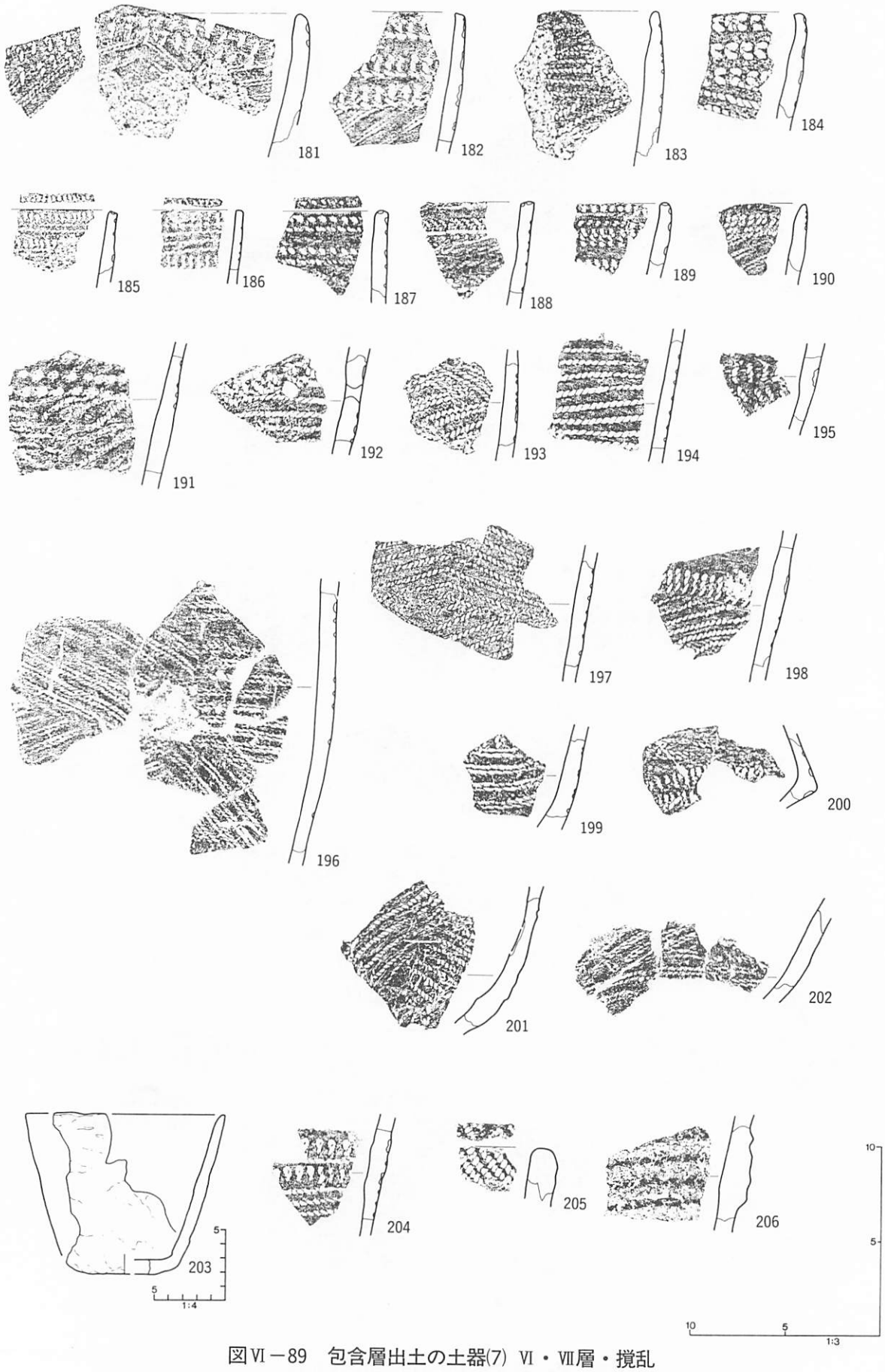
図Ⅵ－86　包含層出土の土器(4)　Ⅴa層－2



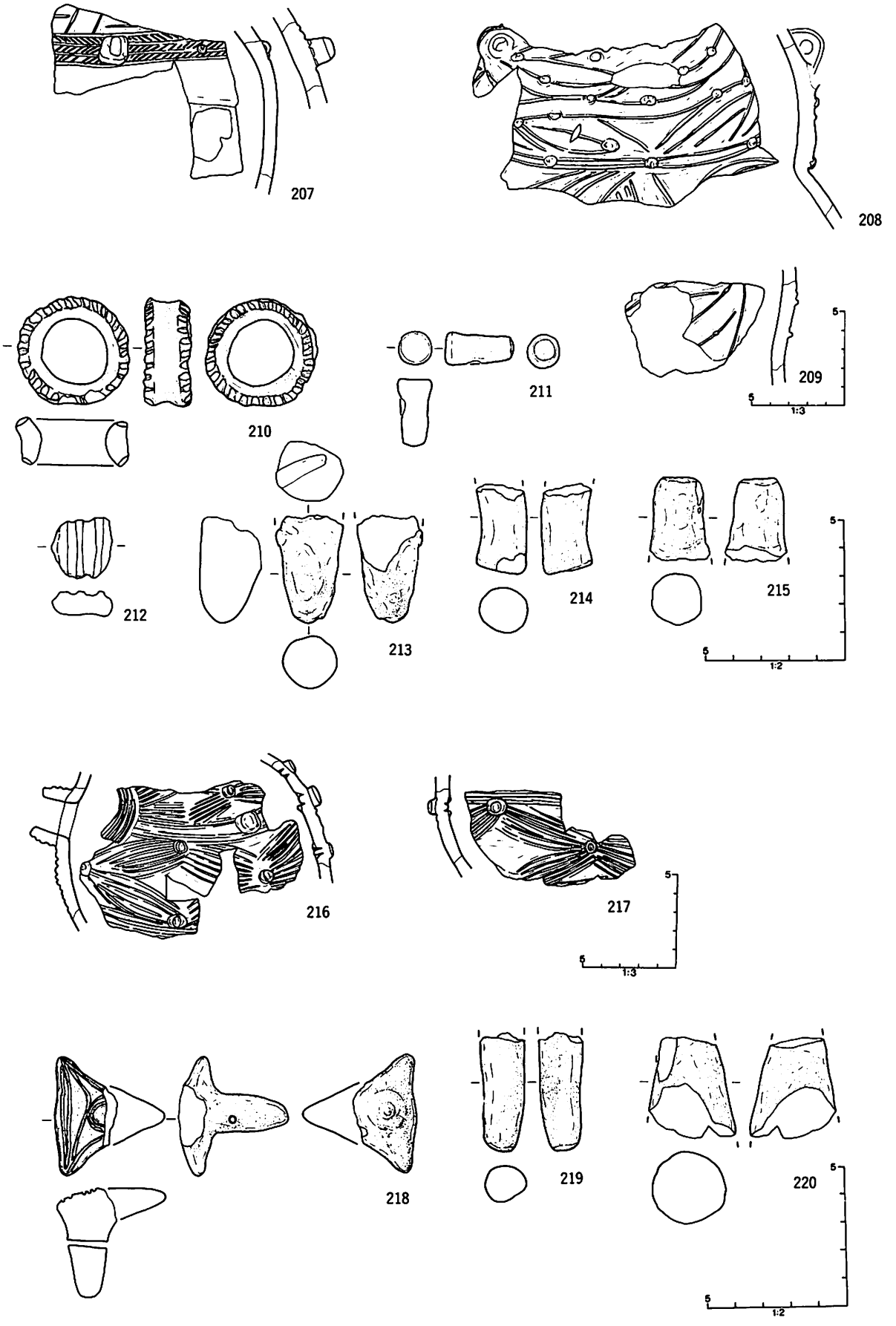
図Ⅵ－87　包含層出土の土器(5)　Ⅴb層－1



図Ⅵ－88　包含層出土の土器(6)　Ⅴb 層－2



図Ⅵ－89　包含層出土の土器(7) Ⅵ・Ⅶ層・撹乱



図Ⅵ－90　包含層出土の土器(8)及び盛土出土の赤彩土器・土製品

(2) 石器・石製品（図Ⅵ－91～104　図版Ⅵ－39～43）

包含層から出土した石器・石製品などの総点数は22,721点である。このうち剝片・破片類が全体の約94％（21,479点）を占め、なかでもｋ－109　Ⅵ層中風倒木痕から出土したフレイクおよびフレイクチップは約71％（15,316点）、全出土点数でも約67％を占めている。定形的な石器は460点で、このうち156点を図示した。盛土遺構と同様に石鏃の出土割合が多く、定形的な石器のうち約25％を占めていて、そのほとんどが有茎鏃である。また石器の出土傾向を見ると、図Ⅵ－98～101に示した発掘区別・器種別出土点数によると、大きく二つのまとまりが認められる。一つは調査区北西部即ち盛土遺構周辺、もう一つは調査区の東側、ｏ－108・109を中心としたほぼ南北方向に帯状に伸びる一帯である。この出土傾向は石器全体に見られるし、器種別の石器についても明瞭にうかがえる。以下各層位ごと（Ⅰ層は耕作土であるので「撹乱・排土」のところで記述する）に、Ⅲ層から図示し、説明する。

Ⅲ層出土の石器（図Ⅵ－95　図版Ⅵ－39）

Ⅲ層では137点の石器などが出土している。このうち定形的な石器は石鏃・石斧・砥石など10点で、剝片・破片・礫類などが約93％を占めている。ここでは石鏃と砥石を図示した。

石鏃（図Ⅵ－95－１・２　図版Ⅵ－39）

石鏃は３点出土し、２点を図示した。１はＩＡ４ａ。左脚部が欠損する。側縁部は外へ張り出し、側面の稜線は直線状である。裏面に剝離面を残す。２はＩＡ７ｃ。側縁部は直線で、側面の稜線はジグザグ状である。茎部下半部は欠損し、尖頭部は欠けている。１・２ともに丁寧に調整加工されている。石質は１・２とも黒曜石である。

石斧（図Ⅵ－95－３　図版Ⅵ－39）

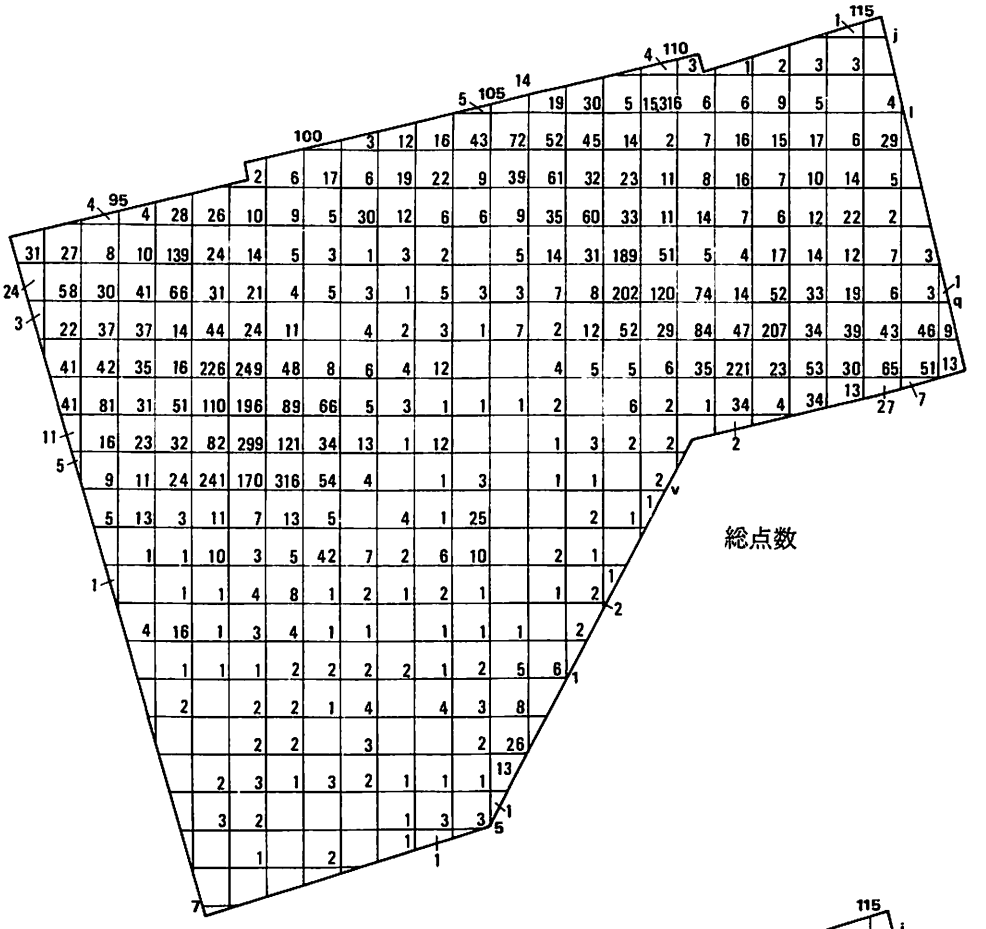
石斧は３点出土し、１点を図示した。３はⅣＡ５。基部を欠損する。石質は緑色泥岩である。

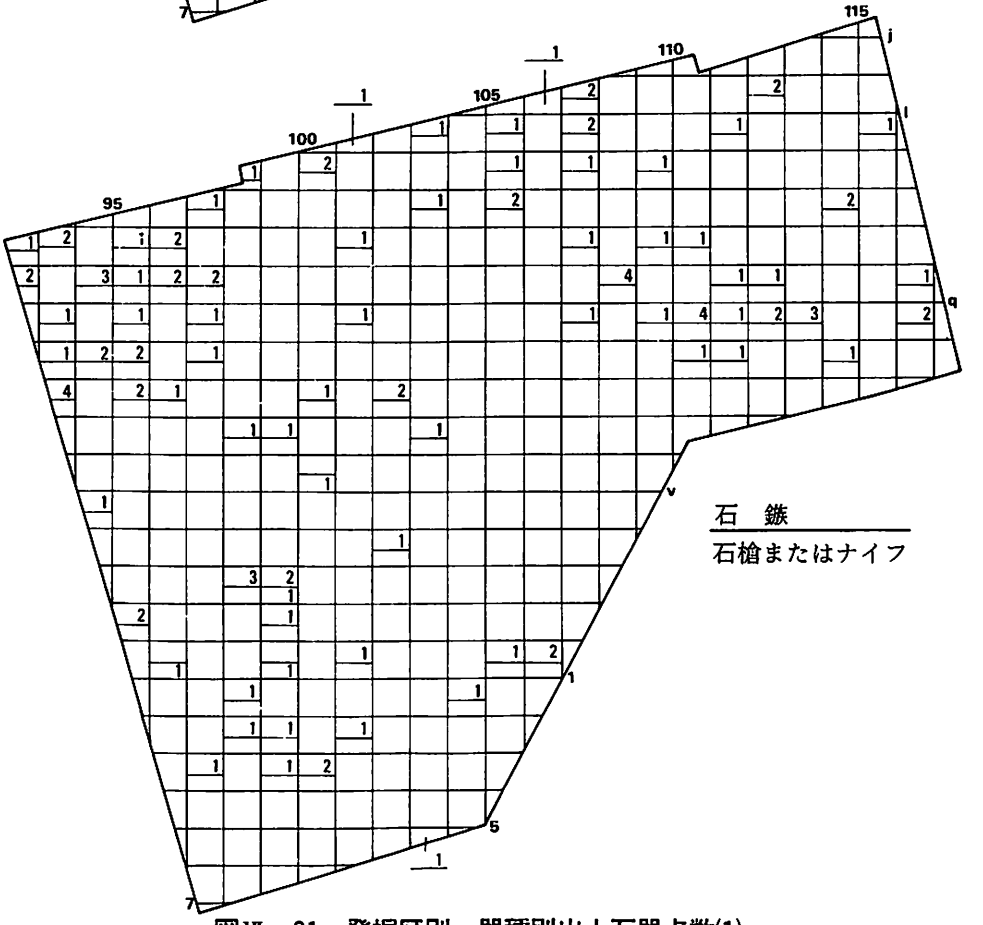
Ⅳ層出土の石器（図Ⅵ－96　図版Ⅵ－39）

Ⅳ層では428点の石器などが出土している。このうち定形的な石器は石鏃・つまみ付ナイフ・石斧・たたき石・すり石・砥石など37点で、剝片・破片・礫類などが約91％を占めている。ここでは石鏃・スクレイパー・石斧・たたき石・すり石を図示した。

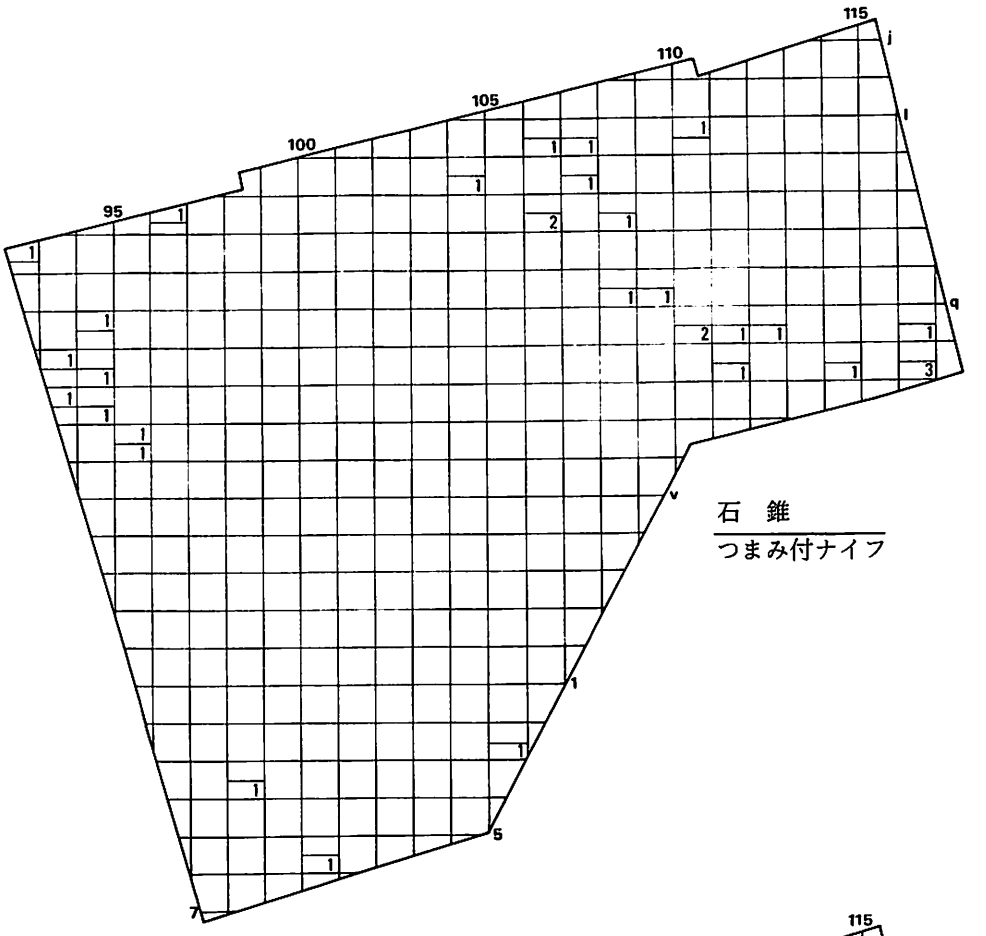
石鏃（図Ⅵ－96－１～９　図版Ⅵ－39）

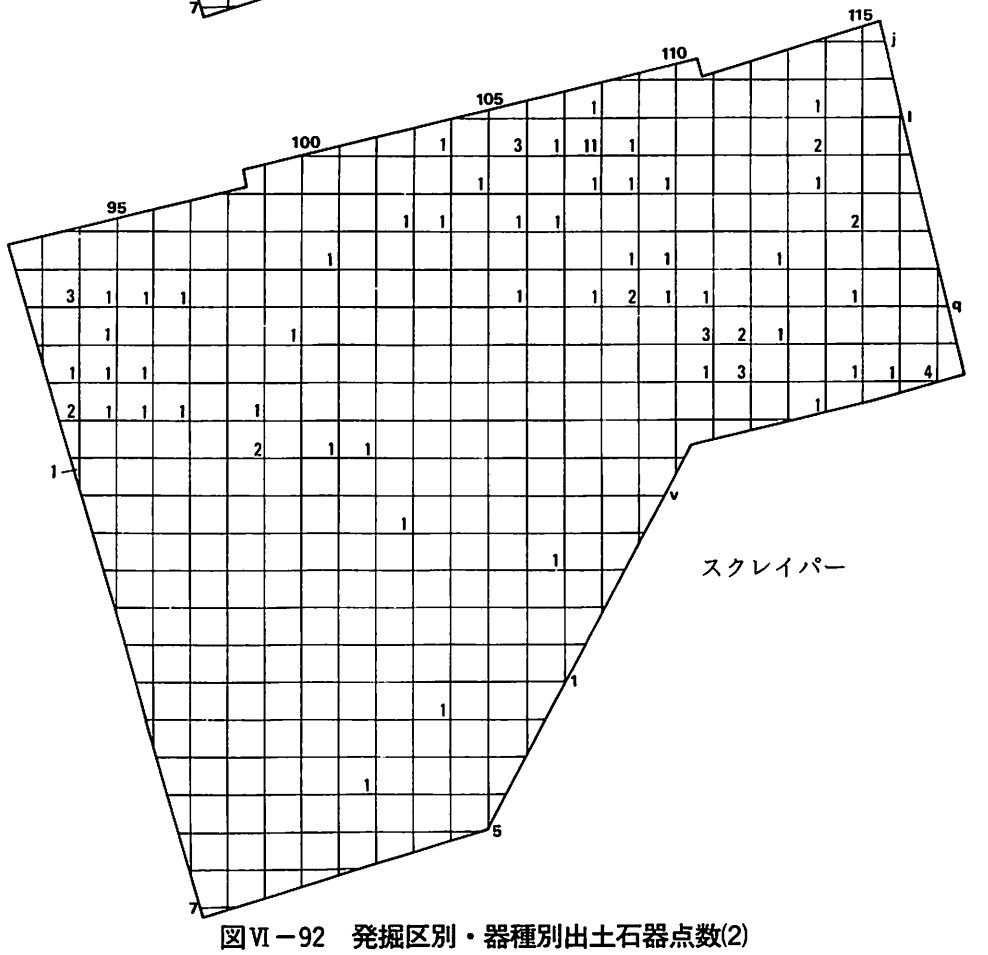
石鏃は13点出土しており、このうち９点を図示した。１はＩＡ４ａ。側縁部は外に張り出し、側面の稜線は直線状である。薄手で、丁寧に調整加工されている。２はＩＡ４ｂ。側縁部は外に張り出し、側面の稜線は緩やかな波状を呈する。尖頭部と右かえしが欠けている。薄手。３はＩＡ６。側縁部は直線で、側面の稜線は直線状である。尖頭部が欠損し、右かえしが欠けている。４はＩＡ７ｂ。茎部下端部が欠ける。側縁部は内湾し、側面の稜線は直線状である。裏面に剝離面が残るが、調整加工は丁寧である。左右のかえしは丸味をもつ。５～９はＩＡ７ｃ。側縁部は、６が内湾し、他は直線である。側面の稜線は、６・７が直線状、他はジグザグ状である。５は小型で、右かえしが突出気味である。かたち・調整とも粗雑である。７は左かえしが突出し、左右非対称である。裏面に剝離面が残る。８は調整が粗く。９は基部が肉厚で、丁寧に調整加工している。石質はすべて黒曜石である。



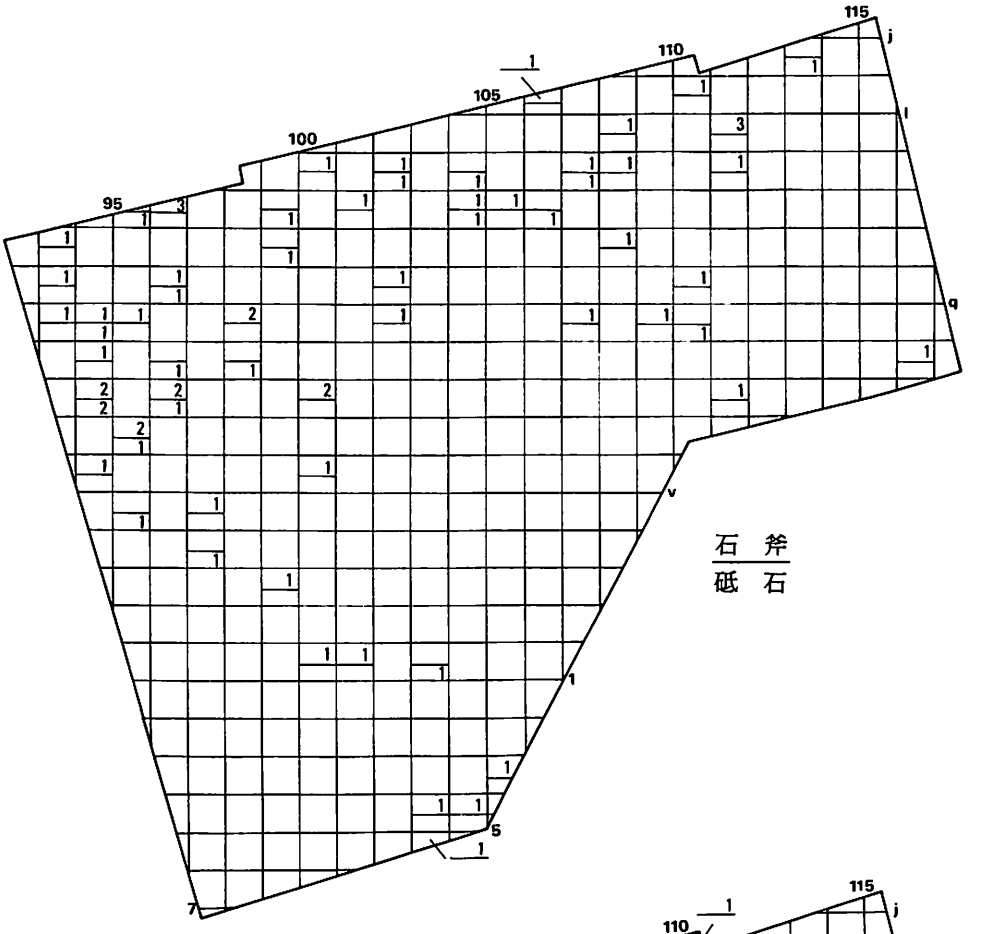


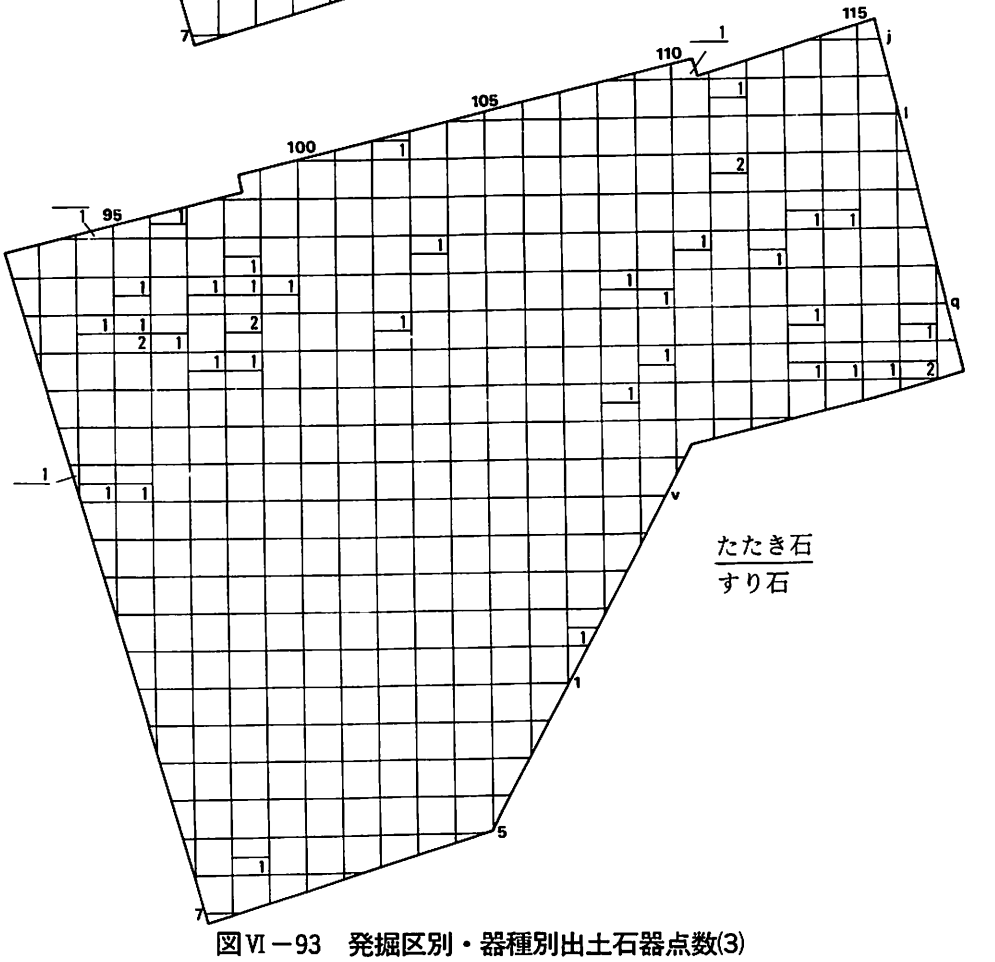
図Ⅵ－91　発掘区別・器種別出土石器点数(1)



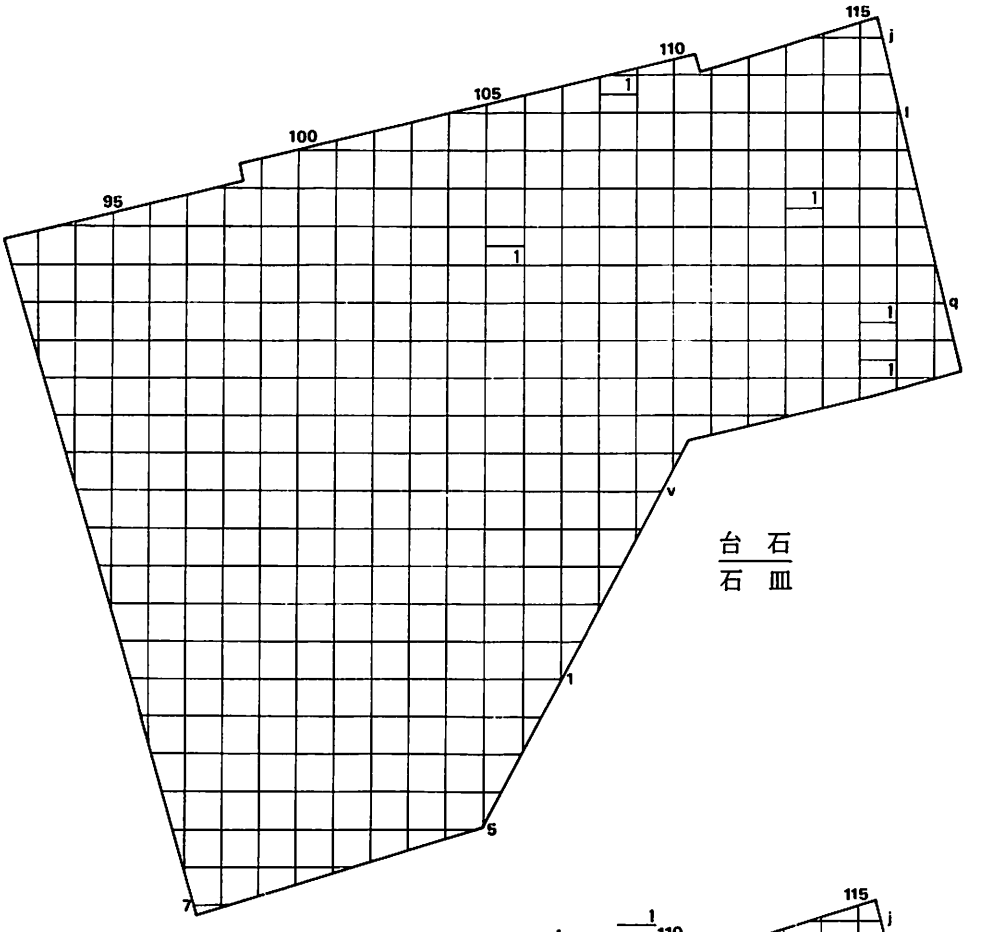


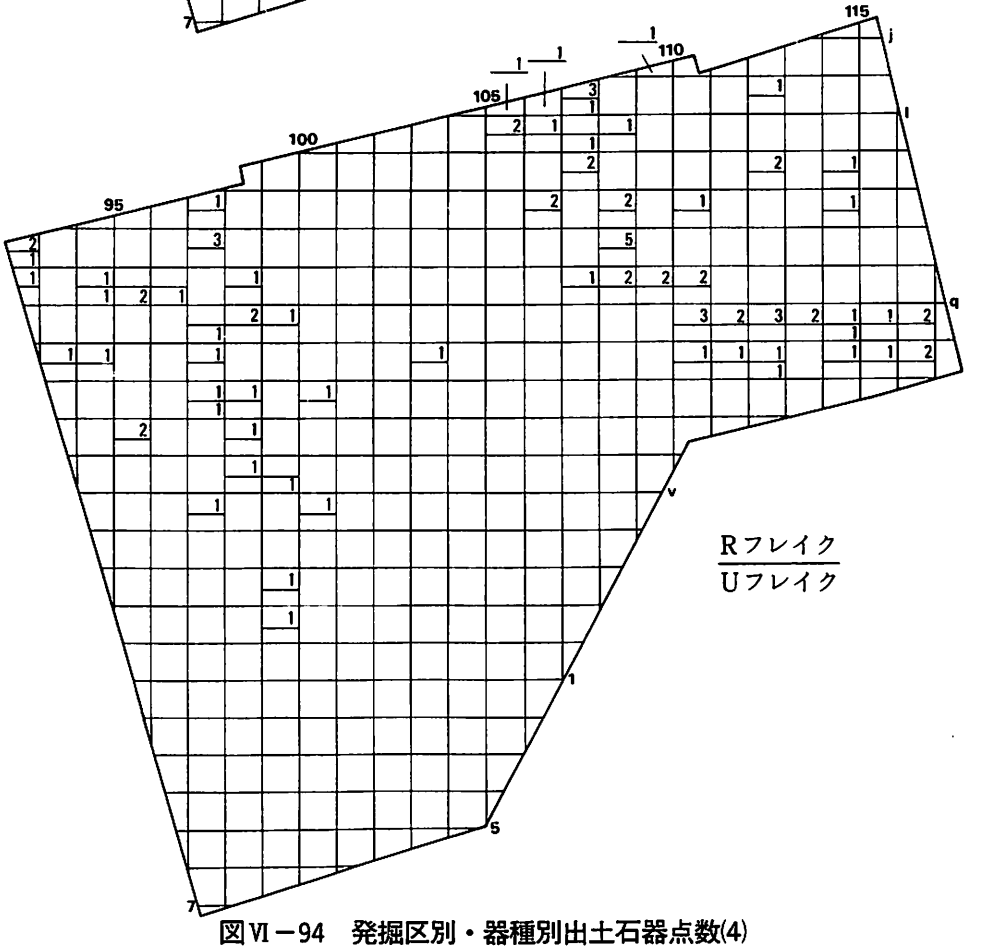
図Ⅵ－92　発掘区別・器種別出土石器点数(2)



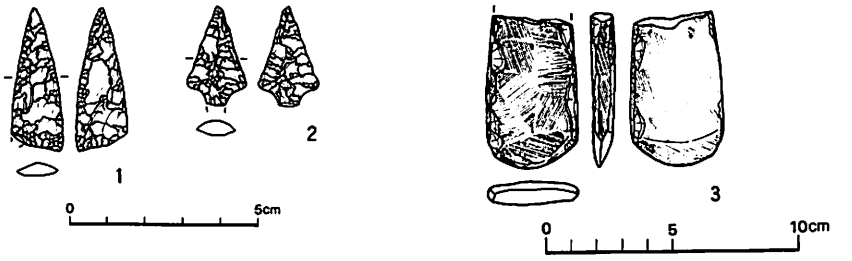


図Ⅵ－93　発掘区別・器種別出土石器点数(3)





図Ⅵ－94　発掘区別・器種別出土石器点数(4)



図Ⅵ－95　包含層出土の石器(1) Ⅲ層

スクレイパー（図Ⅵ－96－10　図版６－39）

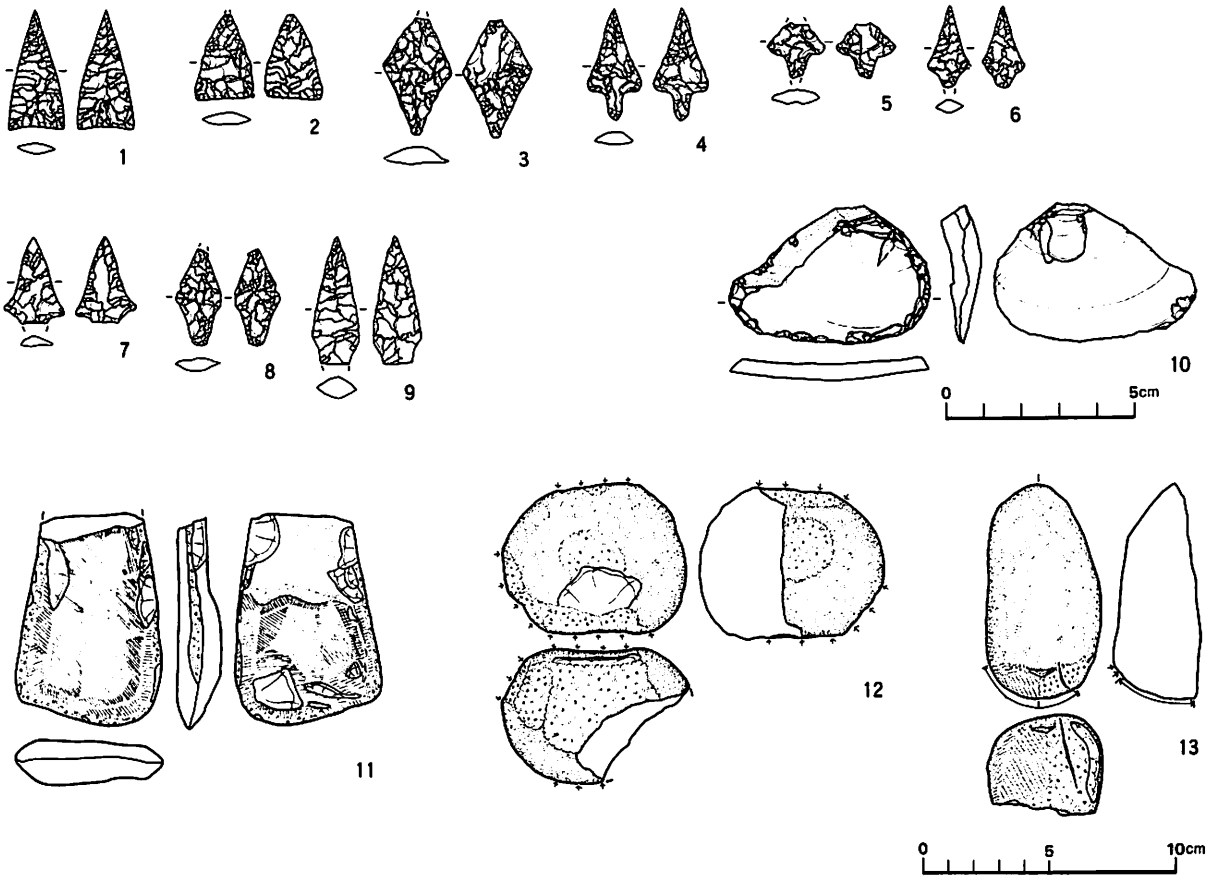
スクレイパーは４点出土し、１点を図示した。10はⅢＢ６。上端に打面が残り、表面には礫皮面、剝離面が残る。周縁部を調整加工し、刃部を作り出している。石質は黒曜石である。

石斧（図Ⅵ－96－11　図版Ⅵ－39）

石斧は６点出土しており、１点を図示した。11はⅣＡ８。基部上端付近が欠損している。基部の表裏両面を研磨しているが、側縁・刃部が未研磨の未製品である。石質は緑色泥岩である。

たたき石（図Ⅵ－96－12　図版Ⅵ－39）

たたき石は５点出土しており、１点を図示した。12はＶＡ４。破損品である。表裏両面にたたき石痕がある。上・下端と側縁の欠けは使用痕かどうかは判然としない。石質は安山岩である。



図Ⅵ－96　包含層出土の石器(2) Ⅳ層

すり石（図Ⅵ－96－13　図版Ⅵ－39）

すり石は図示した1点のみが出土した。13はⅥA8。破損品である。下端にすり痕がある。たたき痕によって欠けた部分を利用しているものと思われる。石質はカンラン岩である。

Ⅴ層出土の石器・石製品（図Ⅵ－97・98　図版Ⅵ－39）

Ⅴ層では1,564点の石器・石製品などが出土している。このうち定形的な石器は石鏃・石槍またはナイフ・つまみ付ナイフ・石斧・たたき石・すり石・砥石・台石など100点で、剝片・破片・礫類などが約94%を占めている。また石製品が4点出土している。ここでは石鏃・石槍またはナイフ・つまみ付ナイフ・スクレイパー・石斧・たたき石・砥石・台石・石製品を図示した。

石鏃（図Ⅵ－97－1～22　図版Ⅵ－39）

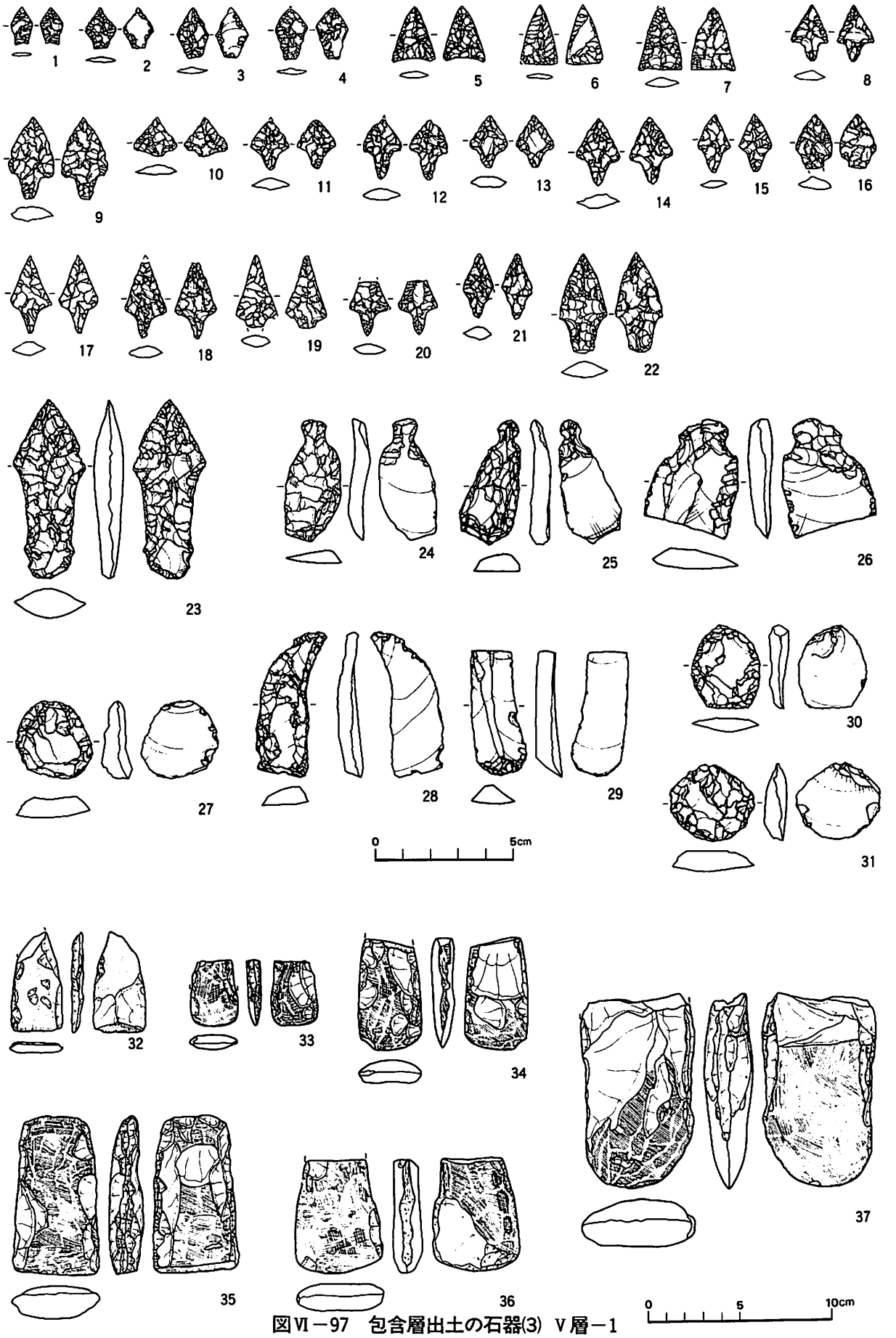
石鏃は36点出土し、22点を図示した。1～4はⅠA3b。1・2・4は下端が凹基、3は平基である。側縁部は4が外に張り出し、他は直線である。側面の稜線は、1・4が直線状、2・3が緩やかな波状を呈する。1・4の左脚部、3・4の尖頭部が欠けている。2・3・4の裏面には剝離面が残り、4は左右非対称である。5はⅠA4a。側縁部は外に張り出し、側面の稜線はジグザグ状である。左右の脚部が欠けているが、調整加工は丁寧で、かたちは優美である。6・7はⅠA4b。ともに側縁部は外に張り出し気味で、側面の稜線は直線状である。6は左右脚部、7は尖頭部と左かえしが欠けている。6は裏面に剝離面が残るが、調整加工は丁寧である。7は左右非対称で、かえしが下方に突出している。8・9はⅠA7b。側縁部は、8が直線、9が外に張り出している。側面の稜線は、ともにジグザグ状である。8は裏面に剝離面が残る。9は基部下半部が欠損するが、全体に肉厚である。10～22はⅠA7c。側縁部は、10・19・20は内湾、12・15・16・21・22は外へ張り出し、他は直線である。側面の稜線は、12・20が直線状、14は緩やかな波状、他はジグザグ状である。また10・19は茎部大半、16・22の茎部下半部、18の尖頭部、20の基部上半部、21の右かえしがそれぞれ欠損し、12・19の尖頭部、13・15の茎部下端、16・17・19・20の右かえしが欠けている。10は左右のかえし、11は尖頭部が丸味をもつ。12は裏面に剝離面が残り、左右非対称である。13・16は表裏両面に剝離面が残る。14は基部が肉厚で、15は左右非対称である。17は右かえしが突出している。18は裏面に剝離面が残り、19は左右のかえしを丸く仕上げている。20はつくり・調整ともに丁寧で、美しい。21は左右非対称で、かえしは丸味をもつ。22は茎部の巾が広く、肉厚である。石質は、すべて黒曜石である。

石槍またはナイフ（図Ⅵ－97－23　図版Ⅵ－39）

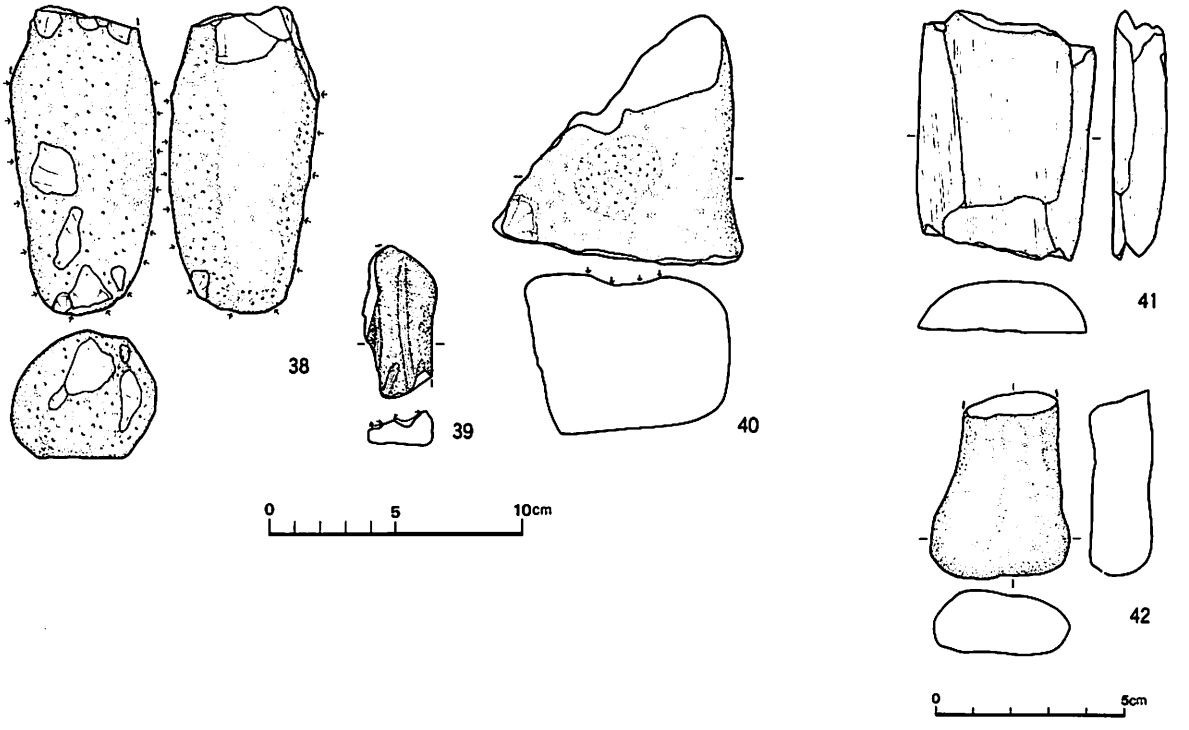
石槍またはナイフは2点出土し、1点を図示した。23はⅠB1。基部表面下端に礫皮面、基部裏面に剝離面が残る。石質は黒曜石である。

つまみナイフ（図Ⅵ－97－24～26　図版Ⅵ－39）

つまみ付ナイフは7点出土し、3点を図示した。24・25はⅢA2。26はⅢA3。24は裏面に剝離面、つまみ部上端面に礫皮面が残る。周縁部を調整加工し、刃部を作り出している。25は表面に剝離面が残り、側縁部を調整加工し、刃部を作り出している。26は刃部下半を欠損する。つまみ部上端面に礫皮面が残る。右側縁部を調整加工し、刃部を作り出している。石質は、24が濃紫色の珪質頁岩、25・26は黒曜石である。



図Ⅵ－97　包含層出土の石器(3)　Ⅴ層－1



図Ⅵ－98　包含層出土の石器(4)　Ⅴ層－2

スクレイパー（図Ⅵ－97－27～31　図版Ⅵ－39）

スクレイパーは27点出土しており、このうち５点を図示した。27はⅢＢ２。28はⅢＢ５。29～31はⅢＢ６。27は表面に礫皮面、先端に打面が残る。28は縦長で、上端面に礫皮面が残る。29は縦長で、下端部を調整加工し、刃部を作り出している。30・31は上端部に打面が残り、周縁部を調整加工し、刃部を作り出している。石質は、30が濃紫色の珪質頁岩で、他は黒曜石である。

石斧（図Ⅵ－97－32～37　図版Ⅵ－39）

石斧は18点出土し、６点を図示した。32はⅣＡ４。33～37はⅣＡ５。32～34・36・37は基部が欠損する。32は刃部に研磨痕が認められる。33・34は全体に丁寧に研磨されている。35・37は使用痕が見られる。36は未製品。石質は、32・34・37が片岩、33・35・36は緑色泥岩である。

たたき石（図Ⅵ－98－38　図版Ⅵ－39）

たたき石は４点出土し、１点を図示した。38はⅤＡ１。棒状礫を素材とし、下端にたたき痕が見られる。上端は欠損している。石質はカンラン岩である。

砥石（図Ⅵ－98－39　図版Ⅵ－39）

砥石は４点出土し、１点を図示している。39はⅦＢ１。破損品のためもともとのかたちは不明である。表面の研磨面に二条の浅い溝状のくぼみが見られる。石質は砂岩である。

台石（図Ⅵ－98－40　図版Ⅵ－39）

台石は出土した１点を図示した。40はⅧＡ８。破損品である。石質は砂岩。

石製品（図Ⅵ－98－41・42　図版Ⅵ－39）

石製品は4点出土している。41は石棒の破片で、3点が接合した。丁寧に研磨されている。石質は粘板岩である。42は破損品で、かたちなどは不明である。自然礫の可能性もあるが、ここでは石製品として図示した。石質は砂岩である。

Ⅴａ層出土の石器（図Ⅵ－99　図版Ⅵ－40）

Ⅴａ層では、2,171点の石器などが出土している。このうち定形的な石器は石鏃・石槍またはナイフ・石錐・つまみナイフ・石斧・たたき石・すり石・砥石など59点で、剝片・破片・礫類などが約97％を占めている。ここでは石鏃・石錐・つまみ付ナイフ・スクレイパー・石斧・たたき石を図示した。

石鏃（図Ⅵ－99－1～6　図版Ⅵ－40）

石鏃は17点出土し、このうち6点を図示した。1はⅠＡ3ａ。茎部下半部を尖頭部を欠損する。側面の稜線はジグザグ状で、茎が太い。2はⅠＡ4ａ。側縁部は直線、側面の稜線は緩やかな波状を呈する。薄手。3～6はⅠＡ7ｃ。側縁部はｄ、3が内湾、4が外へ張り出し、5・6は直線である。側面の稜線は、3・5が直線状、4・6がジグザグ状である。3は尖頭部、5は茎部下半部が欠損し、3・4・6の茎部下端、6の尖頭部、5の右かえしが欠けている。4は裏面に剝離面が残り、基部が肉厚である。5はつくり・調整ともに丁寧で、全体に肉厚である。6は表裏両面に剝離面が残る。石質はすべて黒曜石である。

石錐（図Ⅵ－99－7・8　図版Ⅵ－40）

石錐は3点出土し、2点を図示した。7・8はⅡＡ3。ともにつまみ部上端、刺突部先端が欠損する。石質は、7が黒曜石、8は灰白色のメノウである。

つまみ付ナイフ（図Ⅵ－99－9・10　図版Ⅵ－40）

つまみ付ナイフは3点出土し、2点を図示した。9・10はⅢＡ3。9は裏面に剝離面が残り、周縁部を調整加工し、刃部を作り出している。10はつまみ部上端面に礫皮面、右側縁部に打面、裏面に剝離面が残る。下端を調整加工し、刃部を作り出している。石質はともに黒曜石である。

スクレイパー（図Ⅵ－99－11・12　図版Ⅵ－40）

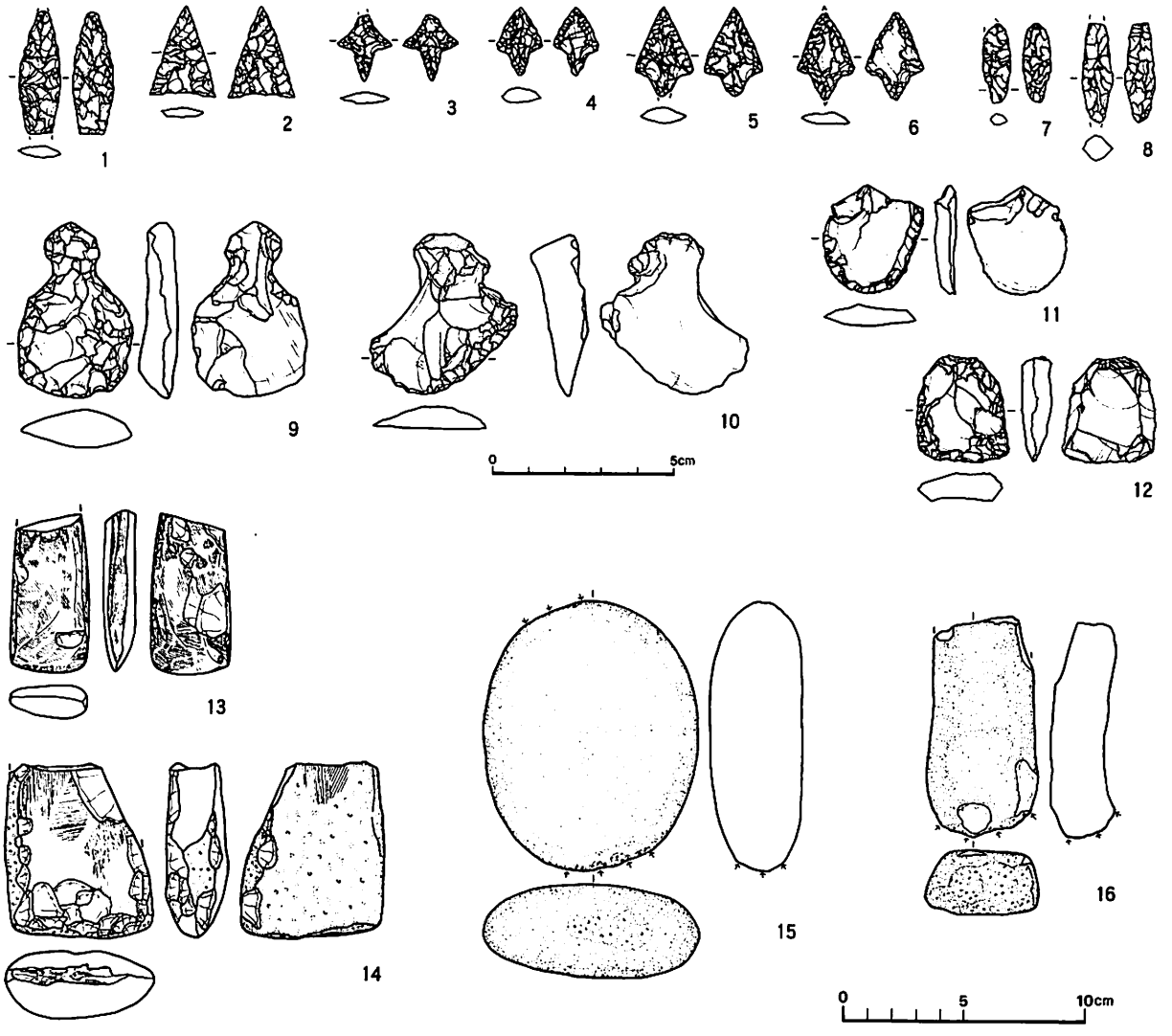
スクレイパーは4点出土し、2点を図示した。11・12はⅢＢ6。ともに上端部に打面が残る。11は周縁部、12は下端をそれぞれ調整加工し、刃部を作り出している。石質はともに黒曜石である。

石斧（図Ⅵ－99－13・14　図版Ⅵ－40）

石斧は10点出土しており、このうち2点を図示した。14はⅣＡ4、13はⅣＡ5。ともに基部を欠損する。14は未製品で、基部裏面が研磨されている。石質はともに緑色泥岩である。

たたき石（図Ⅵ－99－15・16　図版Ⅵ－40）

たたき石は3点出土し、2点を図示した。15・16はⅤＡ2。15は上端と下端にたたき痕が見られる。16は上端を欠損し、下端にたたき痕が見られる。石質は、15が片麻岩、16は砂岩である。



図Ⅵ－99　包含層出土の石器(5)　Ⅴａ層

Ⅴｂ層出土の石器（図Ⅵ－100・101　図版Ⅵ－40・41）

Ⅴｂ層からは2,009点の石器などが出土している。このうち定形的な石器は石鏃・石槍またはナイフ・石錐・つまみ付ナイフ・石斧・たたき石・すり石・石鋸・石皿など144点で、剝片・破片・礫類などが約93%を占めている。ここでは石鏃・石槍またはナイフ・石錐・つまみ付ナイフ・スクレイパー・石斧・たたき石・すり石・石鋸・石皿を図示した。

石鏃（図Ⅵ－100－１～17　図版Ⅵ－40）

石鏃は32点出土し、このうち17点を図示した。１はＩＡ２。基部状半部を欠損する。残存部の側面の稜線は緩やかな波状を呈し、丁寧な調整加工がなされている。２～７はＩＡ３ｂ。３～７の下端は凹基である。側面の稜線はすべて直線状である。２は基部下半部を欠損し、裏面に剝離面が残る。３は表面に剝離面が残る。５・７は尖頭部が欠損する。６はつくり・調整加工とも丁寧で、繊細優美である。８・９はＩＡ４ａ．側縁部は、８が直線、９が外へ張り出す。側面の稜線はともにジグザグ状である。８は左脚部が欠け、裏面に剝離面が残る。９は右脚部が欠け、裏面に剝離面が残る。ともにつくり・調整加工は丁寧である。10はＩＡ４ｂ。尖頭部が欠損し、側面の稜線は直線状である。11～17

はⅠＡ7c。側縁部は、12が外へ張り出し、他は直線である。側面の稜線はすべてジグザグ状である。14の尖頭部、11～13・16の茎部下半部、15の左かえいしが欠損し、12・13・15・17の尖頭部、14～17の茎部下端部、11の左かえしが欠けている。11は裏面に礫皮面が残り、12は基部がやや肉厚である。13は薄手、14は裏面に剝離面が残る。15は左右のかえしが突出気味で、基部が肉厚である。16・17はつくりが粗雑で、17は基部が肉厚である。石質は、9が灰色の頁岩、他は黒曜石である。

石槍またはナイフ（図Ⅵ－100－18　図版Ⅵ－40）

石槍は出土した1点を図示した。18はⅠＢ1。尖頭部を欠損する。石質は黒曜石である。

石錐（図Ⅵ－100－19　図版Ⅵ－40）

石錐は3点出土し、1点を図示した。19はⅡＡ2。刺突部先端を欠損する。つまみ上端に礫皮面が残る。石質は頁岩である。

つまみナイフ（図Ⅵ 9 －100－20～23　図版Ⅵ－40）

つまみ付ナイフは8点出土し、4点を図示した。20はⅢＡ2。側縁部を調整加工し、刃部を作り出している。21～23はⅢＡ3。21・23は周縁部、22は下辺部をそれぞれ調整加工し、刃部を作り出している。22は側縁部からつまみ部にかけて礫皮面が残る。石質は、20・21が頁岩、22・23が黒曜石。

スクレイパー（図Ⅵ－100－24～37・101－38～40　図版Ⅵ－40）

スクレオパーは35点出土しており、このうち17点を図示した。24～27はⅢＢ2。24は上端部に打面と礫皮面が、27は上端部に打面が残る。ともに周縁部を調整加工し、刃部を作り出している。28～30はⅢＢ5。29は上端部に打面と礫皮面が残る。30は上端が欠損し、右側縁部に礫皮面が残る。31・32～39はⅢＢ6。31・35・37は周縁部、32・34・36は左側縁から下端にかけて、38は右側縁から下端部にかけて、33は左側縁部をそれぞれ調整加工し、刃部を作り出している。31・32・37は上端面に打面を残す。33は上端部に打面が、上端部から右側縁にかけて礫皮面が残る。34は上端面に打面が、表面と右側縁部に礫皮面が残る。38は上端を欠損し、39は上端面に打面が、右側縁部に礫皮面が残る。40はⅢＢ8。下端を欠損する。両側縁に刃部を作り出している。石質は、30が珪質頁岩、他は黒曜石である。

石斧（図Ⅵ－101－41～44　図版Ⅵ－41）

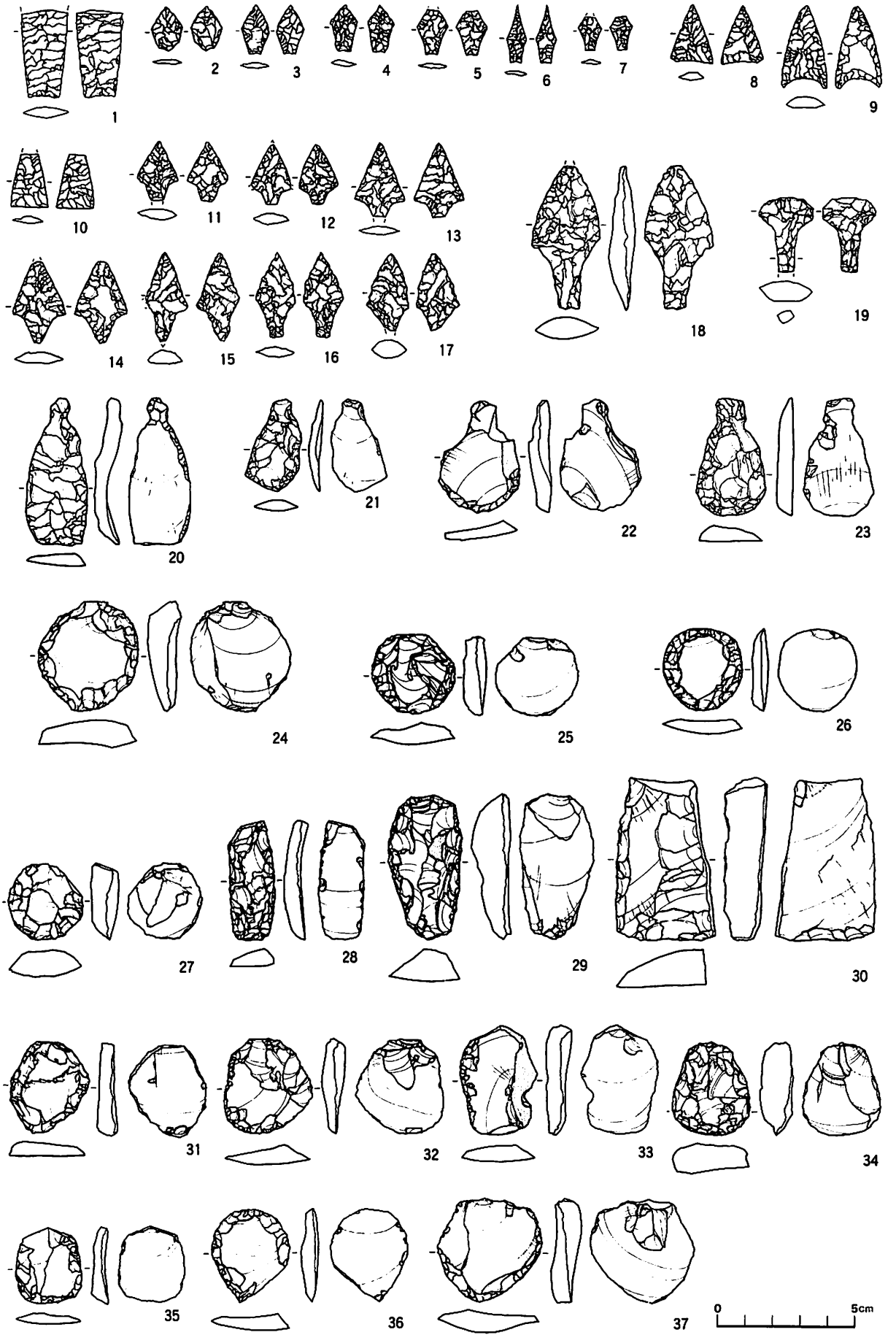
石斧は13点出土し、このうち4点を図示した。41はⅣＡ1。基部が欠損する。擦り切り痕が残る。42～44はⅣＡ5。42は基部、44は基部と側縁部の一部が欠損する。42は刃部未研磨の未製品。石質は、41～43が緑色泥岩、44は片岩である。

たたき石（図Ⅵ－101－45　図版Ⅵ－41）

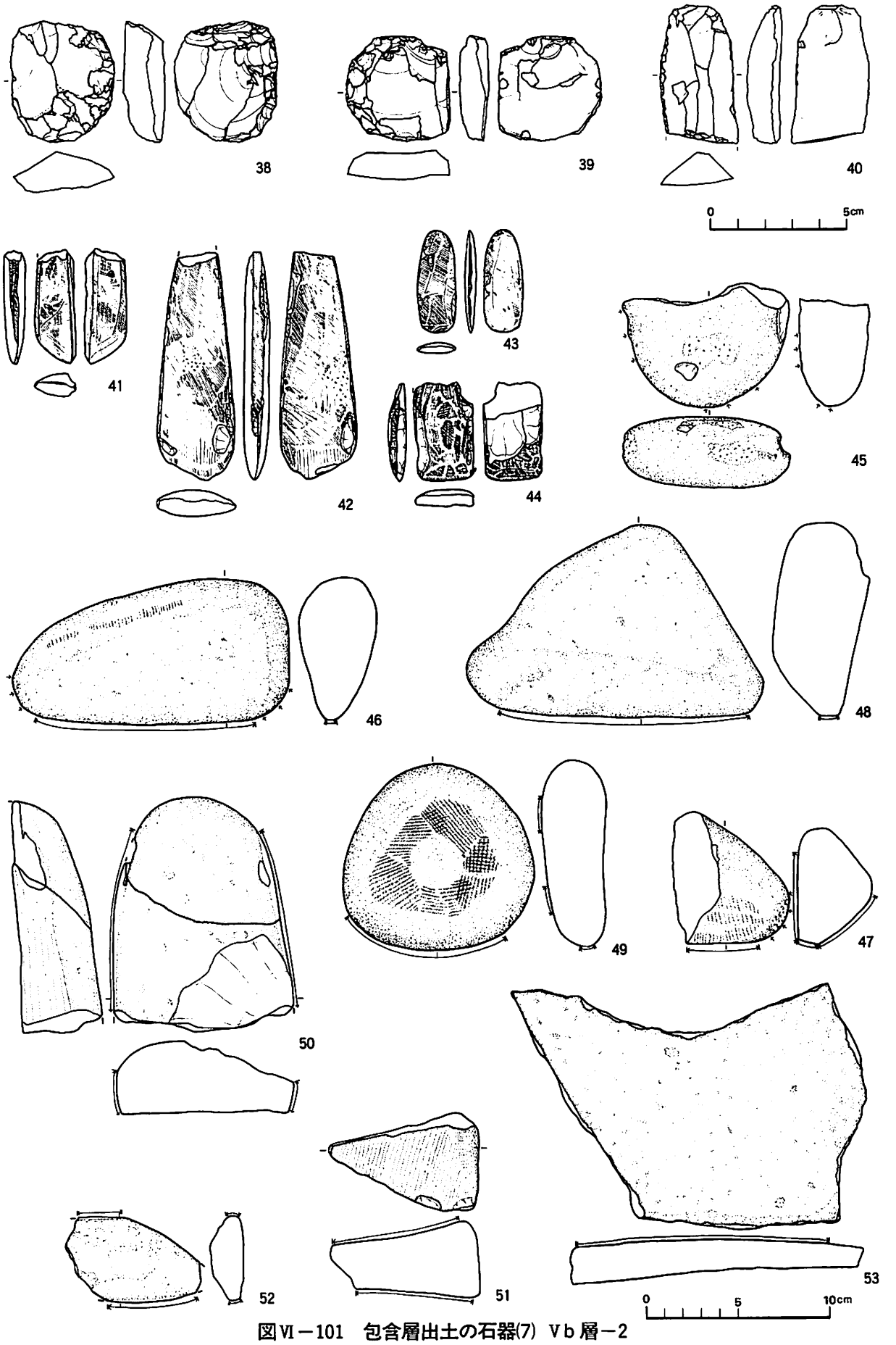
たたき石は8点出土し、1点を図示した。45はⅤＡ2。破損品。側縁部・下端部に、また表面にたたき痕が見られる。石質は安山岩である。

すり石（図Ⅵ－101－46～50　図版Ⅵ－41）

すり石は12点出土し、5点を図示した。46・47はⅥＡ1。ともに下端部に帯状のすり面が見られ、



図Ⅵ－100　包含層出土の石器(6)　Ⅴb層－1



図Ⅵ－101　包含層出土の石器(7)　Ⅴb層－2

また側縁端部にたたき痕が認められる。47は破損品。48・49はⅥA２。48は稜上に帯状のすり面が見られる。上端は被熱により一部が割れている。49は下端面に帯状、表面にはドーナツ状にすり面が見られる。50はⅥA８。破損品。両側面にすり面が見られる。q－96出土の破片と盛土Ｂ（q－95）出土の破片が接合したものである。石質は、47が閃緑岩、他は砂岩である。

砥石（図Ⅵ－102－51　図版Ⅵ－41）

砥石は４点出土し、１点を図示している。51はⅦB８。破損品。表裏両面に研磨面をもつ。石質は砂岩である。

石鋸（図Ⅵ－102－52　図版Ⅵ－41）

石鋸は出土した１点を図示した。52はⅦA８。破損品。石質は砂岩である。

石皿（図Ⅵ－102－53　図版Ⅵ－41）

石皿は出土した１点を図示した。53はⅧA１。破損品。表面にすり面が見られる。石質は安山岩。

Ⅵ層出土の石器（図Ⅵ－102　図版Ⅵ－42）

Ⅵ層からは15,732点の石器などが出土している。ただｎ－114出土の剝片17点、ｓ－95出土の砥石片１点以外はⅥ層調査中に木の根痕や風倒木痕から出土したものである。定形的な石器は石鏃・つまみ付ナイフ・石斧・たたき石・すり石・砥石・石皿など36点で、剝片・破片・礫類１などが約99.7％を占めている。ｋ－109の風倒木痕からは15,316点のフレイク・フレイクチップが出土している。ここでは石鏃・つまみ付ナイフ・スクレイパー・たたき石・砥石・石皿を図示した。図示した９点のうち砥石以外は木の根痕・風倒木痕から出土したものである。

石鏃（図Ⅵ－102－１～３　図版Ⅵ－42）

石鏃は７点出土し、３点を図示した。１はＩＡ１。上端に打面が残る。２はＩＡ２。側面の稜線は直線状で、右側縁が一部欠けている。つくり・調整は丁寧である。３はＩＡ３b。側面の稜線はジグザグ状で、下端は凹基である。石質はすべて黒曜石である。

つまみ付ナイフ（図Ⅵ－102－４　図版Ⅵ－42）

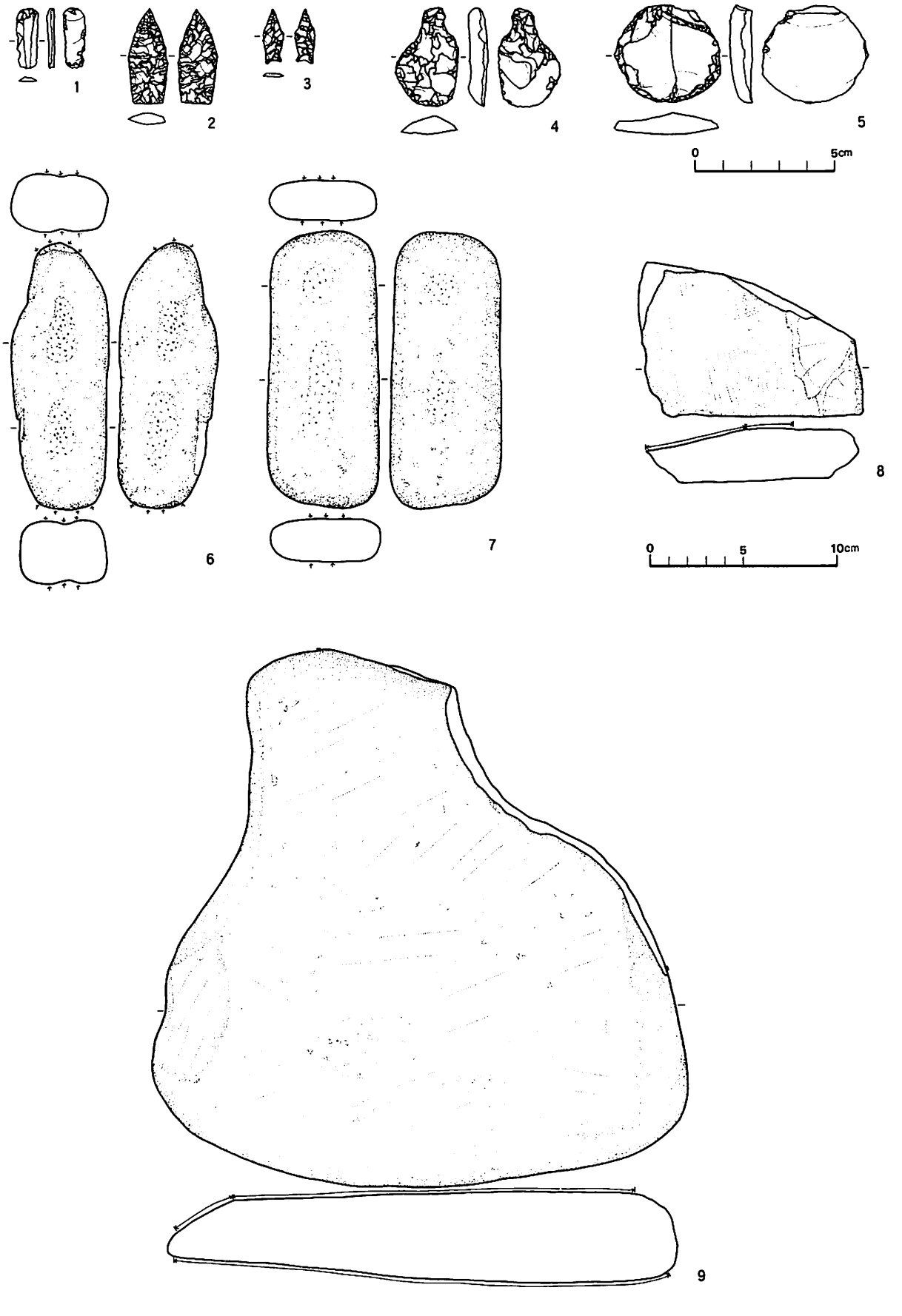
つまみ付ナイフは３点出土し、１点を図示した。４はⅢA２。つまみ部上端が欠け、裏面に礫皮面が残る。周縁を調整加工し、刃部を作り出している。石質は黒曜石である。

スクレイパー（図Ⅵ－102－５　図版Ⅵ－42）

スクレイパーは出土した１点を図示した。５はⅢB６。周縁を調整加工し、刃部を作り出している。石質は黒曜石である。

たたき石（図Ⅵ－102－６・７　図版Ⅵ－42）

たたき石は３点出土し、２点を図示した。６・７はＶＡ４。表裏両面にたたき痕が見られる。６は上・下端、７は下端にたたき痕が認められる。石質は砂岩である。



図Ⅵ－102　包含層出土の石器(8) Ⅵ層と木の根痕

砥石（図Ⅵ－102－８　図版Ⅵ－42）

砥石は２点を出土し、１点を図示した。８はⅦＢ２。上面に研磨面が見られる。破損品。石質は砂岩である。

石皿（図Ⅵ－102－９　図版Ⅵ－42）

石皿は出土した１点を図示した。９はⅧＡ１。一部欠損している。石質は砂岩である。

Ⅶ層出土の石器（図Ⅵ－103　図版Ⅵ－42）

Ⅶ層からは299点の石器などが出土している。ただｎ－112出土の石鏃１点、ｎ－114出土のスクレイパー２点、ｏ－108出土のフレイク４点、ｏ－112・ｒ－110出土のスクレイパー各１点以外はⅦ層の調査中に木の根痕や風倒木痕から出土したものである。定形的な石器は石鏃・つまみ付ナイフ・すり石など15点である。ここでは石鏃・スクレイパー・すり石を図示した。

石鏃（図Ⅵ－103－１～３　図版Ⅵ－42）

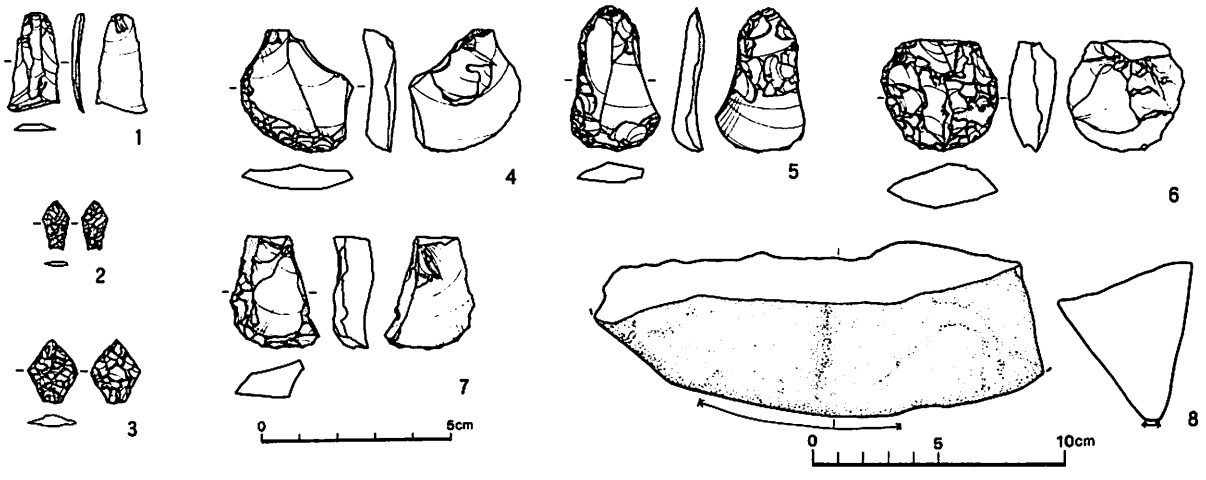
石鏃は４点出土し、このうち３点を図示した。１はＩＡ１。上端に打面が残る。２・３はＩＡ３ｂ。側面の稜線はともに波状で、２は尖頭部が欠けている。下端は２が凹基、３が平基である。石質はともに黒曜石である。１・２は木の根痕出土。

スクレイパー（図Ⅵ－103－４～７　図版Ⅵ－42）

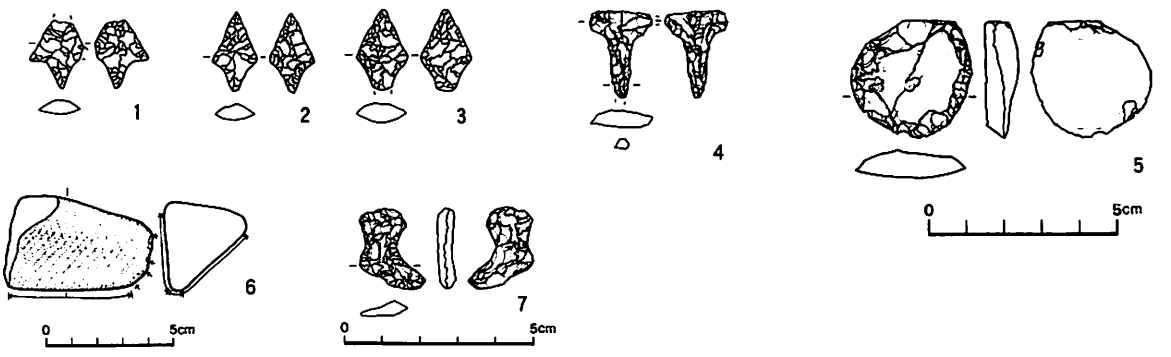
スクレイパーは６点出土し、４点を図示した。６はⅢＢ２。裏面に打面が残り、周縁を調整加工し、刃部を作り出している。４・５・７はⅢＢ６。７は表面、４は上端面に礫皮面が残る。７は左側縁から下端、４は左側縁、５は下端をそれぞれ調整加工し、刃部を作り出している。石質はすべて黒曜石である。

すり石（図Ⅵ－103－８　図版Ⅵ－42）

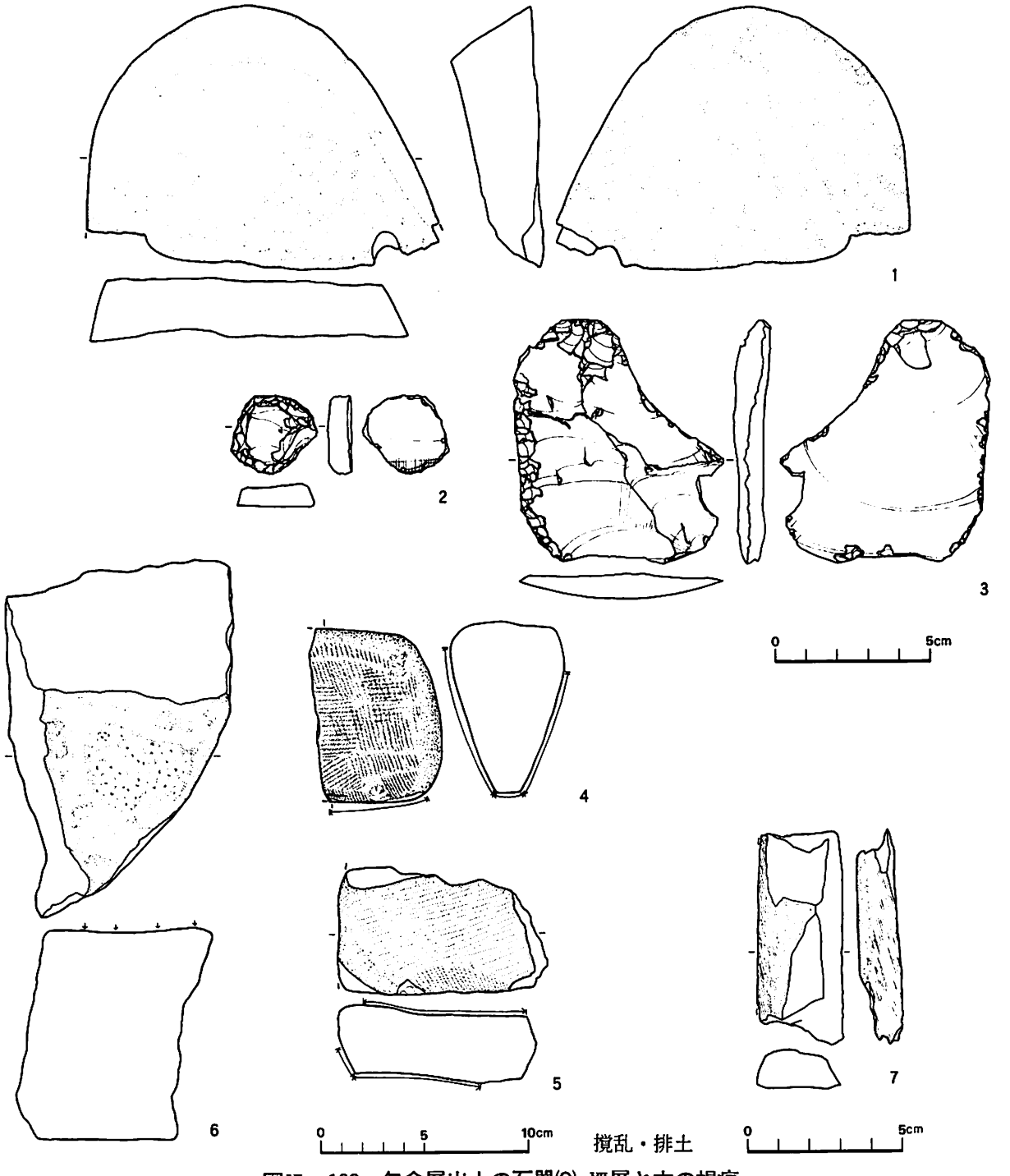
すり石は出土した１点を図示した。８はⅧＡ１。上半部が欠損している。断面三角形状のものか。下端稜線上に帯状のすり面が見られる。石質は砂岩。風倒木痕出土。



図Ⅵ－103　包含層出土の石器(9) Ⅶ層と木の根痕



Ⅰ　層



撹乱・排土

図Ⅵ－103　包含層出土の石器(9) Ⅶ層と木の根痕

Ⅰ層出土の石器・石製品（図Ⅵ－104　図版Ⅵ－43）

Ⅰ層からは137点の石器などが出土している。このうち定形的な石器は石鏃・石錐・すり石・砥石など16点である。ここでは石鏃・石錐・スクレイパー・すり石・石製品を図示した。

石鏃（図Ⅵ－104－1～3　図版Ⅵ－43）

石鏃は4点出土し、3点を図示した。1はⅠA7b。基部上半部、右かえしを欠損する。2・3はⅠA7c。側縁部は、2が直線、3が直線状であるが、左側縁部は外に張り出し気味である。側面の稜線は、2が直線状、3が波状である。3の茎部下半部は欠損し、2の茎部下部と右かえしが欠けている。2は裏面に斑点状の礫皮面が残り、3は基部が肉厚である。石質はすべて黒曜石である。

石錐（図Ⅵ－104－4　図版Ⅵ－43）

石錐は出土した1点を図示した。4はⅡA2。つまみ部の左右両端、刺突部先端を欠く。石質は黒曜石である。

スクレイパー（図Ⅵ－104－5　図版Ⅵ－43）

スクレイパーは2点出土し、1点を図示した。5はⅢB6。上端に打面と礫皮面、表面に剝離面と礫皮面、裏面に剝離面を残す。表面の周縁部を調整加工し、刃部を作り出している。石質は黒曜石。

すり石（図Ⅵ－104－6　図版Ⅵ－43）

すり石は2点出土し、1点を図示した。6はⅥA1。破損品。断面三角状のものである。稜上にすり面をもち、側端部にたたき痕が認められる。石質は片麻岩である。

石製品（図Ⅵ－104－7　図版Ⅵ－43）

石製品は出土した1点を図示した。7は異形石器とされるものであるが、破損品である。中央部にえぐりをもち、裏面に剝離面を残す。石質は黒曜石である。

撹乱等出土の石器・石製品（図Ⅵ－104　図版Ⅵ－43）

撹乱や排土などからは244点の石器・石製品などが出土している。定形的な石器は石鏃・つまみ付ナイフ・石斧・すり石・砥石・台石・石製品など14点である。ここではスクレイパー・すり石・砥石・台石・石製品を図示した。

スクレイパー（図Ⅵ－104－1～3　図版Ⅵ－43）

スクレイパーは6点出土し、3点を図示した。1～3はⅢB6。1は下端に刃部状の鋭角面が見られたためスクレイパーとした。すり石の転用品か。2は周縁、3は側縁部を調整加工し、刃部を作り出している。3の上端には打面が残る。石質は、1が砂岩、2・3が黒曜石である。

すり石（図Ⅵ－104－4　図版Ⅵ－43）

すり石は出土した1点を図示した。4はⅥA1。破損品。稜上に帯状のすり面が見られる。石質は砂岩である。

砥石（図Ⅵ－104－5　図版Ⅵ－43）

砥石は2点出土し、1点を図示した。5はⅧB8。表裏両面に研磨面が見られる。石質は砂岩。

台石（図Ⅵ－104－6　図版Ⅵ－43）

台石は出土した1点を図示した。6はⅧA1。破損品。上面にたたき痕が見られる。石質は砂岩。

石製品（図Ⅵ－104－7　図版Ⅵ－43）

7は石棒の破片。表面は丁寧に研磨されている。石質は泥岩である。

4　小　括

Ⅰ地区で発見された遺構は、盛土遺構２ヵ所、盛土中焼土80ヵ所、土壙29基、焼土1,455ヵ所である。また出土遺物総数は約64,000点で、このうち土器39,261点、石器等25,435点である。この中には土製品、石製品、現代遺物なども含まれている。以下、遺構、遺物について、自然科学的手法による分析結果をまじえて整理し、Ⅰ地区の小括とする。

(1)　遺　構

調査区は東から西へ緩やかに傾斜する地形であるが、西壁付近はやや傾斜を強めている。遺構のほとんどは中央部から西側に分布しているが、Ⅴb層上面付近およびⅤb層中検出の焼土はほぼ調査区全体に広がっている。

盛土遺構は調査区北西隅で２ヵ所（北側を「盛土Ａ」、南側を「盛土Ｂ」としている）で発見されている。この盛土遺構は、キウス４遺跡内の北側と南側に一列ずつ東西方向に帯状にのびる盛土遺構のうち南側盛土遺構の一部に当たるもので、その中でも盛土本体の南側裾部付近のごく一部分にしかすぎない。盛土Ａはやや高いところに作られているため、北壁付近は耕作による削平を受けていたが、盛土Ｂは低いところに位置しているため保存状態は良好であった。盛土Ａ・ＢともにⅤ層中（Ⅴb層上面上）に形成されている。今回調査したのは盛土Ａが約72㎡（最大層厚54cm）、盛土Ｂが約120㎡（最大層厚約34cm）の範囲である。盛土中からはたくさんの焼土が検出されている。盛土Ａからは25ヵ所、盛土Ｂ中からは55ヵ所である。これらの焼土には投棄されたと推察されるもの、あるいは原位置を保っていると見られるもの等々、平成８年度Ｌ地区で発見・調査された焼土と同じような出現・堆積状態を示している。出土遺物は、盛土Ａが11,070点、内訳は土器10,072点、石器998点である。盛土Ｂが6,799点、内訳は土器6,147点、石器652点である。盛土中およびその上下包含層から出土した土器は、ほとんどが縄文時代後期後葉の堂林式土器である。本盛土遺構は短時間に形成されたものであろう。ところで盛土Ａと盛土Ｂとの新旧関係について見ると、明瞭な重複関係はなく、出土土器にはっきりした時間差も見られない。土器接合関係では盛土Ａ１層と盛土Ｂ１・２層出土の土器片が接合するというように明確な新旧関係は見られない。ただ両遺構から出土する石鏃を見ると、側縁部のかたちにやや古さが見られるものが盛土Ｂの方が多いという傾向がうかがえる。盛土Ｂが盛土Ａより若干前に形成され始めたことも考えられる。

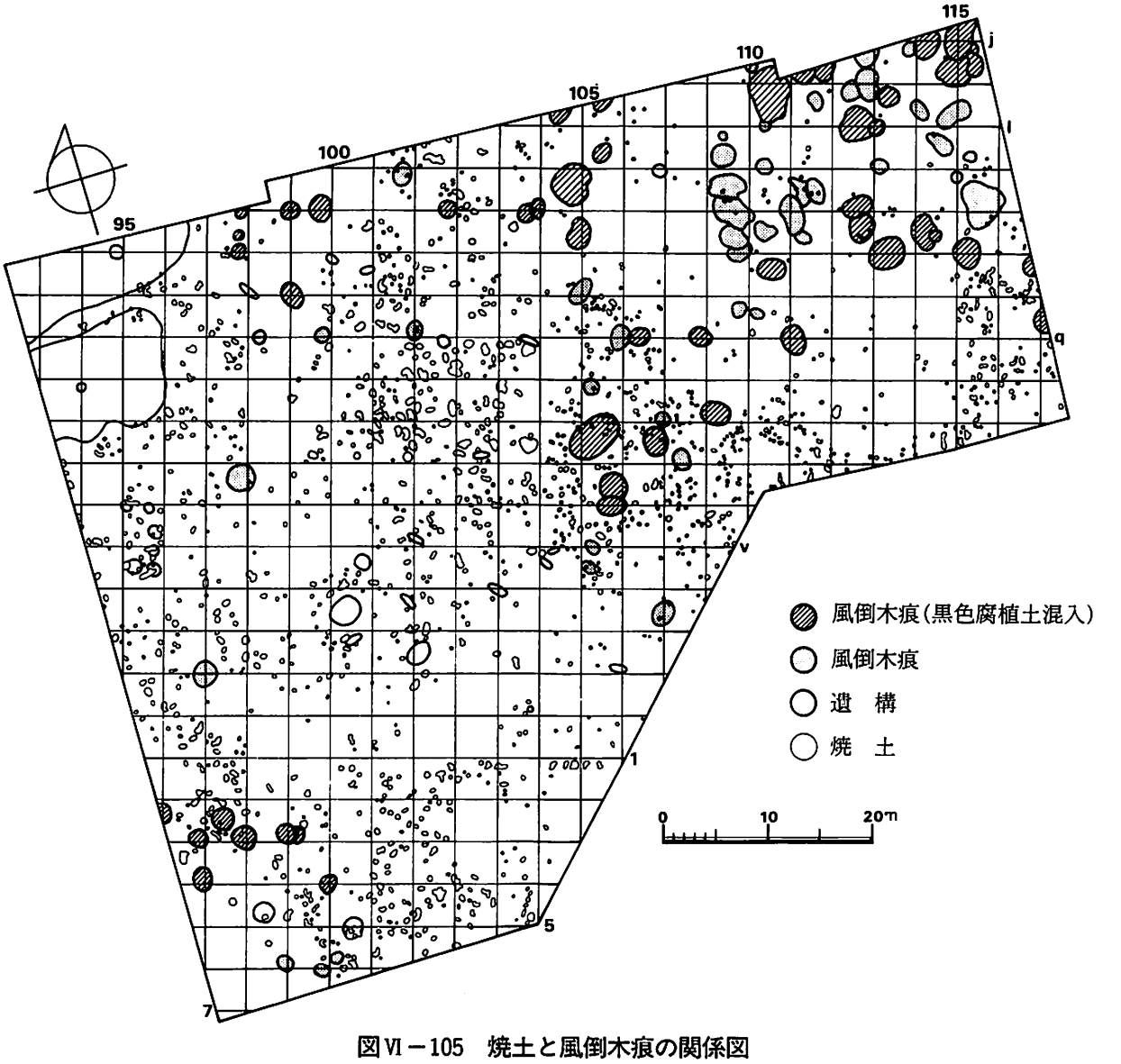
盛土遺構の性格、形成された期間などについては小範囲の調査であったため充分に把握し、認識することは困難であった。平成８年度発掘調査報告の「盛土遺構について」（埋文調報124「キウス４遺跡(2)」Ⅷ　成果と問題点　１　まとめ）での記述以上に追求することができなかった。

土壙は、土壙墓、フラスコ状ピット、Ｔピット、性格不明ピットが検出されている。形態・覆土の堆積状態などから土壙墓と考えられるものは、ILP４・５・６・７・８・９・10・11・12・13・15・18・21・24の14基、構造などから見てフラスコ状ピットと考えられるものは、ILP１・２・３・14の４基である。ＴピットはILP16・27の２基、ILP17・20・22・23・25・26・28・29の９基は性格不明のピットである。これら土壙の構築時期は、掘り込み面、周辺包含層出土の遺物などから見て、ILP１・２・３・４・５・６・７・８・９・10・11・12・13・14・15・17・18・24は縄文時代後期後葉の時期、ILP16・27・29は縄文時代早期の時期が属するものと思われる。その他は縄文時代のものと思われるが細かな時期は決定はできなかった。

土壙墓は、平面形が長楕円形状、長軸が1.80m 前後、短軸が0.80m 前後、深さが0.90m 前後のものが多く、長軸方向ではほぼ東西方向と北西－南東方向のものがあるが、ほとんどは北西－南東方向

のものである。ただILP11・21・24は平面形（ほぼ円形状）、深さ（ILP11・24は浅く、ILP21は非常に深い）、覆土（ILP11は黒褐色土）において他とは異質な様子が見られる。Ⅴb層上面付近で検出されている焼土との関係を見ると、焼土を切って土壙墓が構築されているもの（ILP13）と、土壙墓の覆土上に焼土がかぶっているもの（ILP７・15）とが確認されている。ILP13の長軸方向はほぼ北西－南東方向であり、ILP７・15は東西方向である。焼土形成の前後に土壙墓が構築されており、土壙墓には大きく二時期のものがあったことがうかがえる。

構造上からフラスコ状ピットとしたILP１・２・３・14のうち、断面形が明瞭にフラスコ状のものはILP３と14であるが、規模・覆土の堆積状態などからILP１・２も同様のものとした。壙底や覆土などからはっきりした根拠を示すものは発見されていないが、貯蔵穴と考えてよいだろう。ILP３の覆土中からほぼ完形の堂林式の注口土器が出土している。またILP３がⅤb層上面付近検出の焼土を切って構築されていることから、検出面がほぼ同一面であるILP１・２・14も含めて焼土形成後に構築されたものと推定される。なおILP１の掘り揚げ土がILP３の掘り揚げ土の上にのっていたことから見て、フラスコ状ピット間に若干の時間差があるようである。



図Ⅵ－105　焼土と風倒木痕の関係図

Tピットは2基発見されている。ともに平面形は溝状で、深く、壙底直上に粘質の黒褐色土が見られる。長軸方向は南北（ILP27）、北東－南西（ILP16）方向と一致していない。

Vb層上面付近およびVb層中検出の焼土は、本文（3、焼土の項）でやや詳しく説明しているので、ここでは焼土と風倒木痕の関係について若干触れておく。

焼土は調査区のほぼ全体に分布しているが、北東部と西側の一部に希薄なところがある。その希薄部分とくに北東部には大きな風倒木痕が顕著に見られる（図Ⅵ－105）。さてこの風倒木痕であるが、風倒木痕中にV層の黒色腐植土が厚く、深く混入するものと、まったく混入していないものとがある。これらはⅣ層を除去したあとで発見されたものである。ところでVb層上面付近（盛土下面付近を除く）に黒色腐植土は見られないことから、焼土形成後に黒色腐植が形成されていったものと考えられる。黒色腐植土が混入する風倒木痕は混入しないものより新しいということが、重複関係によって確認されている。これは黒色腐植土の混入する風倒木痕が焼土形成後、黒色腐植土が形成されてのち倒れた木々の存在を示しているのだろう。風倒木痕の大きさから見るとかなり太く、大きな木々であったことが想像される。焼土形成時にこのように大きな木々が樹立していたことは、焼土が自然発生的な野火などによって形成されたものではなく、人々による何らかの意図を見ることができるのではなかろうか。焼土の形成を考える時、焼土と風倒木痕の関係は一つの示唆を与えてくれているようである。

なおILP2・4・7・21の壙底、覆土、その周辺の土壙を採取し、脂肪酸分析を依頼した。この結果によると、「すべて土壙に残存する脂肪」は「高等動物の骨部分を含む脂肪全般に由来」し、その中でもILP21は「成人女性が埋葬されていた可能性も考えられる」という分析結果が得られている。（「Ⅶ－9」参照）ILP2については明確な分析結果は得られていない。試料採取の困難さが指摘されている

Ⅰ地区の遺構はILP16・27・29を除きほとんどが縄文時代後期後葉の時期に属するものである。またVb層上面付近検出の焼土をはさんで大きな新旧関係も見られる。ところがこの焼土形成後に構築された盛土遺構と土壙墓、フラスコ状ピットとの間の新旧関係については、出土遺物の接合関係、掘り込み面などからもはっきりとした結果を得ることができなかった。キウス4遺跡全体でも遺構分布や各遺構の形態、構造、覆土、出土遺物の接合関係、掘り込み面の検討などを踏まえて議論されなければならないだろう。

(2) 遺　物

約65,000点の遺物が出土した。この内訳は盛土遺構からは土器16,219点、石器等1,650点である。遺物は盛土遺構とその周辺包含層から多く出土していて、盛土遺構出土遺物は全体の約30％である。ただk－109Ⅵ層（木の根痕）出土の剝片類が15,316点あり、これを除くと約40％になる。

出土した土器は39,261点で、そのほとんどが縄文時代後期後葉の堂林式土器である。そのほかには擦文土器、縄文時代早期の東釧路Ⅳ式土器なども出土している。縄文時代後期後葉の土器は調査区全体から出土した。また平成8年度L地区から出土した赤彩土器と同様のものも少量ではあるが包含層で発見された。縄文時代早期の土器は調査区の東南部付近Vb層中からややまとまって出土している。同時期の焼土もその周辺から発見されていることから見て、同時期の生活領域は調査区の東側に広がっていたものと思われる。

出土土器の接合関係は、同一遺構内、同一グリッド内で接合したものを除くと38個体分に接合関係が見られた。このうち遺構間では、ILP2覆土2層＋盛土B、盛土A＋盛土B1層＋盛土B2層とい

う接合関係がある。グリッド間では（t－96）＋（1－106）、（v－96）＋（q－99）＋（u－104）というように約30cm以上離れたものどうしが接合している。各層位間でも接合している。Ⅲ層＋Ⅴ＋Ⅴa、Ⅴ＋Ⅴa、Ⅳ＋Ⅴ、Ⅴ＋Ⅴa＋Ⅴb、Ⅳ＋Ⅴ＋Ⅴaというように多様である。中にはⅢ＋Ⅳ＋Ⅴa＋Ⅴbというような接合関係まで見られる。

石器は25,435点出土しているが、k－109出土の剝片類を除くと10,119点となる。盛土遺構出土の石器は約26.8％で、土器と同様に盛土遺構とその周辺から多く出土している。以下に器種別出土状況、石鏃の破損状況、石質について若干整理しておく。

出土石器のうち剝片類は23,432点（約92.1％）、礫類は1,237点（約4.9％）で、これを合わせると全出土点数の約97％を占めている。定形的な石器は747点で全体の約2.9％である。層位ごとに見るとⅥ層が15.732点と約62％を占めているが、これはk－109の剝片類（15,316点）によるものである。これを除くとⅤ層が1,564点、Ⅴa層が2,171点、Ⅴb層が2,009点で、5,744点、全体の約22.5％（Ⅵ層の剝片類を除くと約56.7％）である。盛土A、盛土B、包含層の各項で個別に触れているが、全体的に見ても石鏃の出土割合が多い。定形的な石器の中で各器種ごとの出土割合を見ると、石鏃約34％、スクレイパーと石斧が約31％、たたき石が約4.4％、つまみ付ナイフが約4.2％、すり石と砥石が約3.9％、というように石鏃の出土割合はきわだっている。

石鏃は出土点数254点のうち完形、ほぼ完形のものは46点（約18％）で、他の208点は破損品である。石鏃の痕跡を僅かに残している細破片以外の178点の破損部位を基部（尖頭部）、茎部、尖頭部と茎部の三つに分けて見ると、基部（尖頭部）のみ破損のもの37点、茎部のみ破損しているもの95点、尖頭部と茎部ともに破損しているもの46点で、それぞれ約20.8％、約53.4％、約25.8％となる。茎部の欠損率が高くなっている。石鏃の出土割合の高さ、破損率の高さなどから考えるとこの地域が当時の生活空間の中でどのような領域を占めていたのかと考えるヒントを与えてくれそうである。

石質をおもな器種ごとに見ると、石鏃・石槍またはナイフでは黒曜石と頁岩（約2％）、石錐では黒曜石と頁岩（約24％）とメノウ（約4％）というように黒曜石が圧倒的に多い。つまみ付ナイフでは黒曜石（約48.5％）、頁岩（約39.3％）、メノウ（約12.1％）である。石斧は緑色泥岩、片岩（約8％）、蛇紋岩（約5％）などで、緑色泥岩が多い。たたき石は砂岩（約50％）、安山岩（約30％）、カンラン岩（約11％）、片麻岩（約3.7％）などである。すり石は砂岩（約65.5％）、安山岩（約13.7％）、片麻岩（約13.7％）などで、砥石はすべて砂岩である。礫では石質が判明した約800点ほどのうち、砂岩が379点（約47.3％）、安山岩が152点（約19％）、泥岩が114点（約14.2％）、ほかに珪岩、片麻岩、チャート、珪質頁岩、メノウ、流紋岩、頁岩、緑色泥岩などがある。定形的な石器では黒曜石（石鏃、石槍またはナイフ、石錐、つまみ付ナイフ）、砂岩（砥石、すり石）、安山岩（たたき石、石皿）、緑色泥岩（石斧）が多く使用されており、器種ごとに使用する石材が選択されていた様子がうかがえる。

出土石器の接合関係は、同一遺構内、同一グリッド内で接合したものを除くと、石斧、石皿、砥石、礫など13点に見られる。ほとんどが隣接するグリッド間で接合していたが、なかには（m－98）＋（r－115）＋（r－116）というように約60cmも離れた破片が接合しているものもある。層位間では、盛土A＋Ⅴa・Ⅴb、盛土B＋Ⅴ・Ⅴa・Ⅴb、Ⅴ＋Ⅴa、Ⅴ＋Ⅴa＋Ⅴbの関係が見られるが、土器の接合関係と同様にごく近く、狭い範囲に限定されているようである。

なお盛土A中で、黒曜石の原石が一個体（図Ⅵ－19－48）出土し、蛍光X線分析法による原材産地分析を依頼した。これによると、「置戸原産地から遠くない河川から採取された可能性が推測された。」という分析結果が得られている（「Ⅶ－5」参照）。原石のまま当地に持ち込まれた事実は石器

がここで生産されたことを示している。出土した黒曜石製の石器には、肉眼観察によっても赤井川産、十勝地域産などのものも多く見られ、分析結果も含めて交流域の広さを改めて示している。

以上、盛土遺構、土壙、焼土および土器、石器についての事実関係と得られた成果を簡単に整理した。自然科学的な手法による分析結果を充分に咀嚼し、それを踏まえた検討がされなければならなかったのであるが、果たすことができなかった。また今回の調査区で検出された盛土遺構は盛土本体から見ればそのほんの僅かな部分にしかすぎず、充分な資料が得られたとは言いがたい。周辺地区の調査結果を補完する一部分であるのかも知れない。次年度以降の調査結果も含めた中での再検討が必要なのではないだろうか。

Ⅶ　自然科学的手法による分析・鑑定

1　キウス４遺跡放射性炭素年代測定結果

株式会社　地球科学研究所　放射性炭素年代測定結果報告書　　平成10年度

試料名	測定法	採取日	試料の種類	乾燥重量(g)	状態	予想年代(yBP)	産出層序	発掘区または遺構名	遺物番号	備考	14C年代(B.P.)	補正C14年代(B.P.)
KS4A1	Standard-AMS	19970725	炭化物	0.13	乾	3000	HLP-207覆土	HLP-207		HLP-136と対になっている(入りロピット)	3570±50	3540±50
KS4A2	Standard-AMS	19970726	炭化物	0.02	乾	3000	HLP136覆土	HLP-136		HLP-207と対になっている(入りロピット)	3420±50	3410±50
KS4A3	Standard-AMS	19970728	木片	32	湿	3000	ALP-1覆土1	ALP-1		ALP-2とともに水場を構成している	3320±50	3280±50
KS4A4	Standard-AMS	19970930	炭化物	0.34	乾	3000	KLP-5覆土	KLP-5		KLP-8覆土と対になっている	3440±50	3390±50
KS4A5	Standard-AMS	19971019	炭化物	0.31	乾	3000	KLP-8覆土	KLP-8		KLP-5覆土と対になっている	3310±50	3300±50
KS4A6	Standard-AMS	19970830	炭化物	0.52	乾	3000	ALP-2覆土下層	ALP-2		ALP-1とともに水場を構成している	3340±50	3340±50
KS4A7	Standard-AMS	19970722	泥炭	190	湿	6000～8000	V-7層最下部	U-39		炭化材を含む泥炭	6190±60	6180±60
KS4A8	Standard-AMS	19970808	泥炭	174	湿	6000	V層	T-42		石斧集中の土壌サンプル	4400±60	4400±60
KS4A9	Standard-AMS	19970901	泥炭	180	湿	2300	Ⅲ-9層	W-43		Ta-c1とTa-c2の間、試料番号24	2550±50	2550±50
KS4A10	Standard-AMS	19970901	泥炭	166	湿	2400	V-1層	W-43		Ta-c2直下、試料番号26	2890±50	2930±50
KS4A11	Standard-AMS	19971006	炭化物	37	乾	6000	覆土4層	ALH-4	34		5780±60	5770±60
KS4A12	Standard-AMS	19971022	炭化物	188	湿	6000	V-8c層	M-36	3070	炭化物集中	6100±60	6080±60
KS4A13	Standard-AMS	19971013	木片	110	湿	6000	V-8b層	I-37	2769	取り上げ後、水漬け状態、一部炭化	5690±80	5650±80
KS4A14	Standard-AMS	19971013	木片	94	湿	6000	V-8b層	I-37	2772	取り上げ後、水漬け状態、一部炭化	5770±60	5780±60
KS4A15	Standard-AMS	19971013	木片	158	湿	6000	V8-b層	G-37	2778	取り上げ後、水漬け状態、一部炭化	5590±60	5590±60
KS4A16	Standard-AMS	19971013	木片	60	湿	6000	V-8b層	H-38	2779	取り上げ後、水漬け状態、一部炭化	5570±40	5530±40
KS4A17	Standard-AMS	19971013	木片	62	湿	6000	V-8b層	H-37	2921	取り上げ後、水漬け状態、一部炭化	5560±40	5520±40
KS4A18	Standard-AMS	19971013	木片	62	湿	6000	V-8b層	I-38	2930	取り上げ後、水漬け状態、一部炭化	5480±40	5470±40
KS4A19	Standard-AMS	19971105	泥炭	163	湿	1600	Ⅲ層	G-45		G-45北壁、花粉分析試料14	1490±40	1450±40
KS4A20	Standard-AMS	19971105	泥炭	191	湿	6000	V層	G-36		G-45北壁、花粉分析試料18	5190±40	5150±40
KS4A21	Standard-AMS	19971105	泥炭	194	湿	18000	Ⅷ層より下位	G-36		G-45北壁、花粉分析試料24	18800±70	18720±70

キウス４遺跡の液体シンチレーション14年代測定結果　京都産業大学理学部　山田　治　　平成９年度

KSU-2940	シンチレーション	19960601	木製品(桶あるいは樽の側板)		湿	1000	旧河道	P-45		平成８年度調査	460±50	
KSU-2941	シンチレーション	19971025	炭化木片		乾	3000	盛土遺構(南側)	IM		I地区	2380±110	
KSU-2942	シンチレーション	19970602	炭化木片		乾	3000	H地区盛土遺構(北側)上	HM-1		H地区	2110±200	
KSU-2943	シンチレーション	19970630	炭化木片		乾	3000	HLP-333覆土	HLP-333		H地区土壌	4050±200	
KSU-2944	シンチレーション	19971006	炭化木片		乾	3000	KLP-5層土下層	KLP-5		K地区大型柱穴列	7980±1000	

2　キウス４Ａ遺跡の自然科学分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

日本海側の石狩町から太平洋側の苫小牧市にかけて広がる石狩低地帯は、千歳川・夕張川など大小の河川が流れ、戦前までオサツトー・マオイトーなどの沼沢が存在していた。この石狩低地帯の東には、南北に走る馬追丘陵の西斜面に丘陵を刻む小河川のひとつにキウス川がある。縄文時代早期～晩期にかけての遺構や遺物が検出されるキウス遺跡群は、キウス川の両岸に広がる段丘上に立地する。

キウス４Ａ遺跡では、縄文時代後期の土器・石器の他に、盛土遺構・住居跡・水場遺構などが多数検出されている。今回の自然科学分析調査では、遺跡周辺の堆積環境や周辺植生など古環境解析を目的として、珪藻分析・花粉分析・植物挂酸体分析をそれぞれ実施する。

１．試料

今回の自然科学分析は、Ａ地区Ｇ45北壁・Ｇ36北壁の２地点、Ｈ地区のＨ－１の１地点の合計３地点が調査対象とした。Ａ地区は段丘面から低地部へと移行する緩斜面上にあり、縄文時代早期の住居跡、後期の盛土遺構・住居跡、また低地部で縄文時代後期の水場遺構などが検出されている。Ｈ地区は段丘上にあたり、縄文時代後期の盛土遺構や住居跡が検出されている。

本遺跡の層序は、上位からⅠ層～Ⅷ層に分層されている。各層は、Ⅰ層が耕作土、ⅡI層が樽前ａテフラ（Ta-a）、Ⅲ層が樽前ｃテフラ（Ta-c_1）を挟む腐植質土壌、Ⅳ層が樽前ｃテフラ（Ta-c_2）、Ⅴ層が黒色腐植質土壌、Ⅵ層が暗褐色～褐色土壌、Ⅶ層が明褐色ローム、Ⅷ層が恵庭ａテフラ（En-a）とされている。また、Ⅴ層は、緩斜面部でⅤａ層・Ⅴｂ層の２層に分層されている。各テフラの噴出年代は曽屋・佐藤（1980）に詳しく述べられており、それによるとTa-aが元文元年（1739年）、Ta-cが約3000年前とされている。また、En-aの降下年代は、1.5～1.7万年前（町田・新井、1992）または1.7万年前（加藤、1994）とされている。これまでの発掘調査により、Ⅴｂ層あるいはⅤ層下部で縄文時代早期・前期・後期の遺構・遺物が検出され、緩斜面部でⅤｂ層とでⅤａ層の間に盛土遺構が確認されている。

Ｇ45北壁ではⅠ～Ⅶ層が確認され、Ⅲ層～Ⅶ層を対象に、34試料が採取された。また、Ｇ36北壁では、Ⅴ層が厚く堆積しており、その下にEn-aを含む腐食質土、En-aの再堆積土（Ⅷ層）砂層、シルト層があり、最下部には腐植質土が認められ、24試料が採取された。一方、Ｈ－１では、下位よりⅦ層～Ⅴｂ層、盛土２・１、Ⅴａ層・Ⅳ層が確認された。Ⅴａ層の上位は、撹乱の影響を受けて削剝されており、耕作土となる。本地点では、Ⅶ層～Ⅵ層を対象として、10試料が採取された。図１に試料採取地点の位置を、図２に試料採取地点の模式柱状図および分析層位を示す。

なお、地球科学研究所により放射性炭素年代測定が実施され、Ｇ45北壁試料番号14で約1450年前、Ｇ36北壁試料番号18で約5150年前、Ｇ36北壁試料番号24で約18700年前の測定値が得られている。

２．分析方法

(1)　珪藻分析

試料を湿重で７ｇ前後に秤量し、過酸化水素水、塩酸処理、自然沈降法の順に物理化学処理を施し

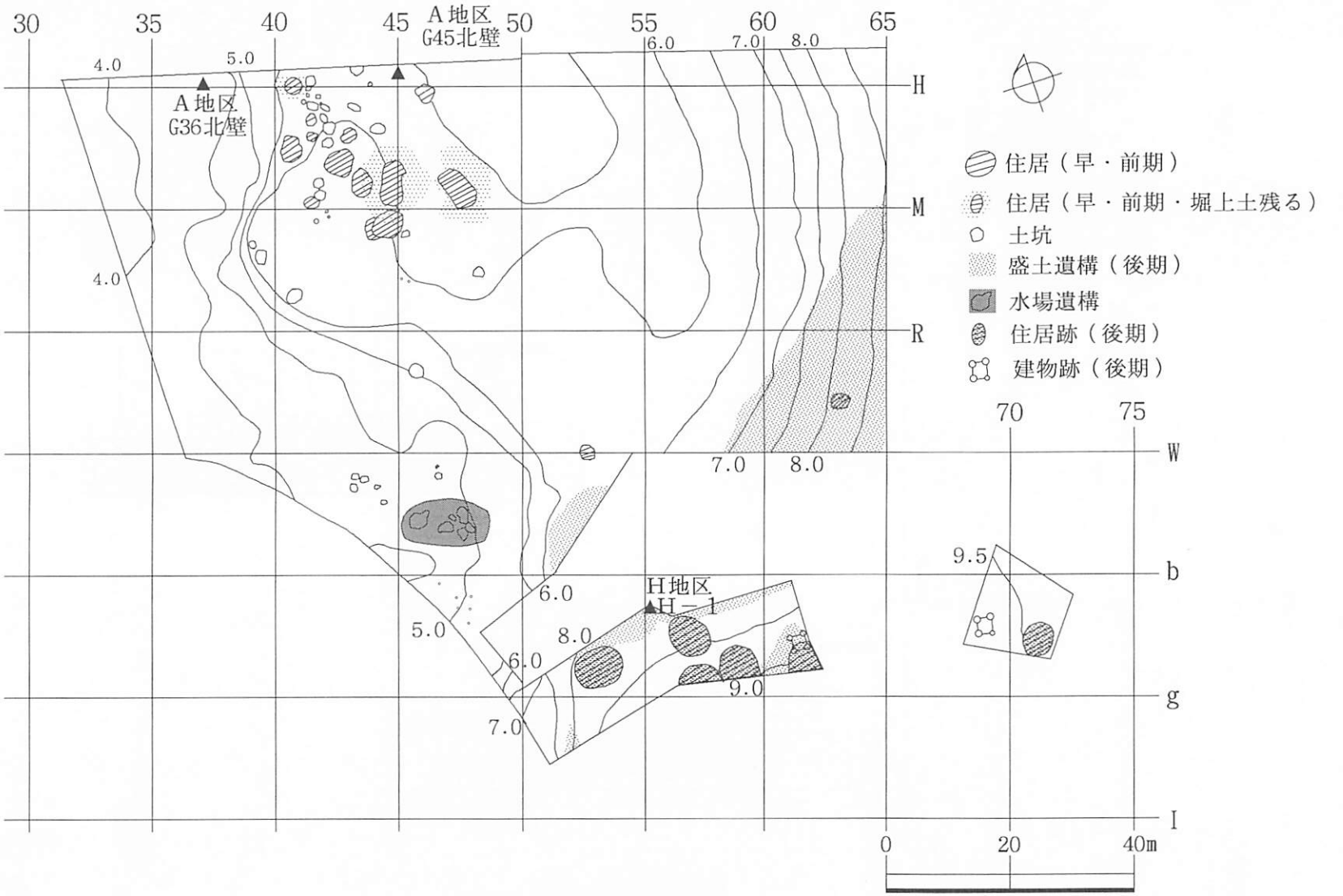


図1　試料採取地点の位置

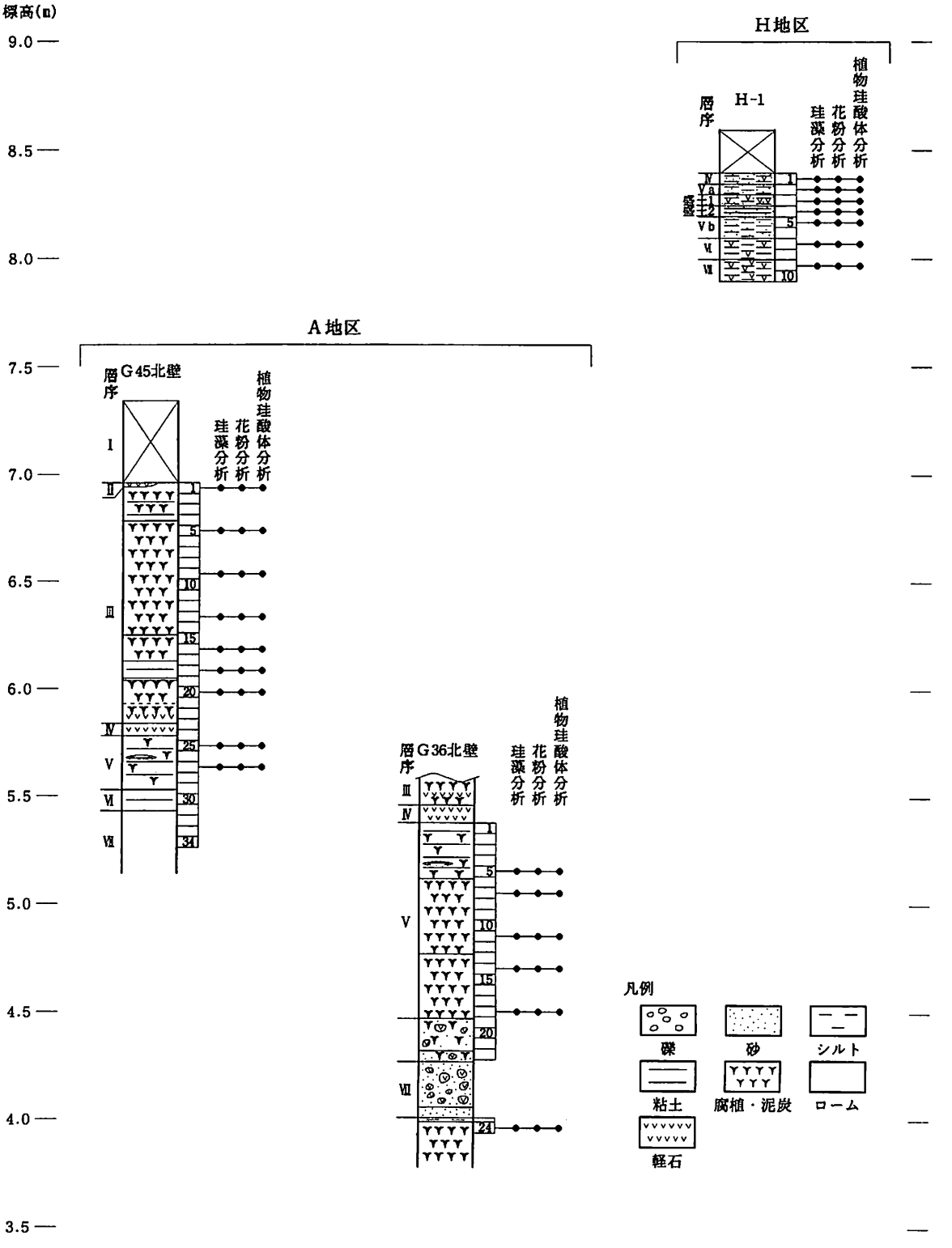


図２　試料採取地点の模式柱状図および分析層位

て、珪藻化石を濃集する。検鏡に適する濃度まで希釈した後、カバーガラス上に滴下し乾燥させる。乾燥後、プリュウラックスで封入して、永久プレパラートを作製する。検鏡は、光学顕微鏡で油浸600倍あるいは1000倍で行い、メカニカルステージで任意の測線に沿って走査し、珪藻殻が半分以上残存するものを対象に、200個以上同定・計数する。種の同定は、K.Krammer (1992)、K.Krammer and H. Lange-Bertalot (1986, 1988, 1991a, 1991b) などを用いる。

同定結果は、海水～汽水生種、淡水～汽水生種、淡水生種の順に並べ、その中の各種類はアルファベット順に並べた一覧表で示す。なお、淡水生種についてはさらに細かく生態区分し、塩分・水素イオン濃度 (pH)・流水に対する適応能についても示す。また、環境指標種についてはその内容を示す。堆積環境の解析にあたって、淡水生種については安藤 (1990)、陸生珪藻については伊藤・堀内 (1991)、汚濁耐性については K.Asahi & T.Watanabe (1995) の環境指標種を参考とする。

(2) 花粉分析

試料を湿重で約3～10g秤量し、水酸化カリウム処理、篩別 (250㎛)、重液分離 (臭化亜鉛、比重2.3)、フッ化水素酸処理、アセトリシス処理 (無水酢酸：濃硫酸＝9：1) の順に物理・化学的な処理を施して、花粉・胞子化石を分離・濃集する。処理後の残渣をグリセンリンで封入してプレパラートを作成した後、光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し、出現する全ての種類について、同定・計数を行う。

結果は、同定・計数結果の一覧表および主要花粉化石群集の層位分布図として表示する。図中の各種類の出現率は、木本花粉が木本花粉総数を、草本花粉・胞子が総数より不明花粉を除いた数をそれぞれ基数とした、百分率で算出する。なお、図表中で複数の種類をハイフォン (-) で結んだものは、種類間の区別が困難なものを示す。

(3) 植物珪酸体分析

試料を湿量約5g秤量し、過酸化水素水・塩酸処理、超音波処理 (70W, 250KHz, 1分間)、沈定法、重液分離法 (ポリタングステン酸ナトリウム, 比重2.2) の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。これを検鏡し易い濃度に希釈し、カバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後、プリュウラックスで封入しプレパラートを作製する。400倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部 (葉身と葉鞘) の葉部短細胞に由来した植物珪酸体 (以下、短細胞珪酸体と呼ぶ) を、近藤・佐瀬 (1986) の分類に基づいて同定・計数する。

結果は、検出された種類とその個数の一覧表で示す。また、植物珪酸体の出現傾向から古植生について検討するために、植物珪酸体群集の層位的分布図を作成する。各種類の出現率は、短細胞珪酸体と機動細胞珪酸体の各珪酸体毎に、それぞれの総数を基数とする百分率で求める。

3．結果

(1) 珪藻分析

結果を表1～3、図3・4に示す。以下に、各地点毎に産状を述べる。

〈A地区G45北壁〉

全ての試料から、水生珪藻が豊富に産出する。完形殻の出現率は試料によって差があり、試料番号20～9が80～100%、試料番号27・5・1が50～60%、試料番号25が30%である。産出分類群数は、31族174種類である。珪藻化石群集は試料番号27、試料番号25、試料番号20～16、試料番号13・9、試料番号5、試料番号1で異なる。

試料番号27は、陸上の好気的環境にある陸性珪藻が約85%と優占する。この内、陸生珪藻の中でも

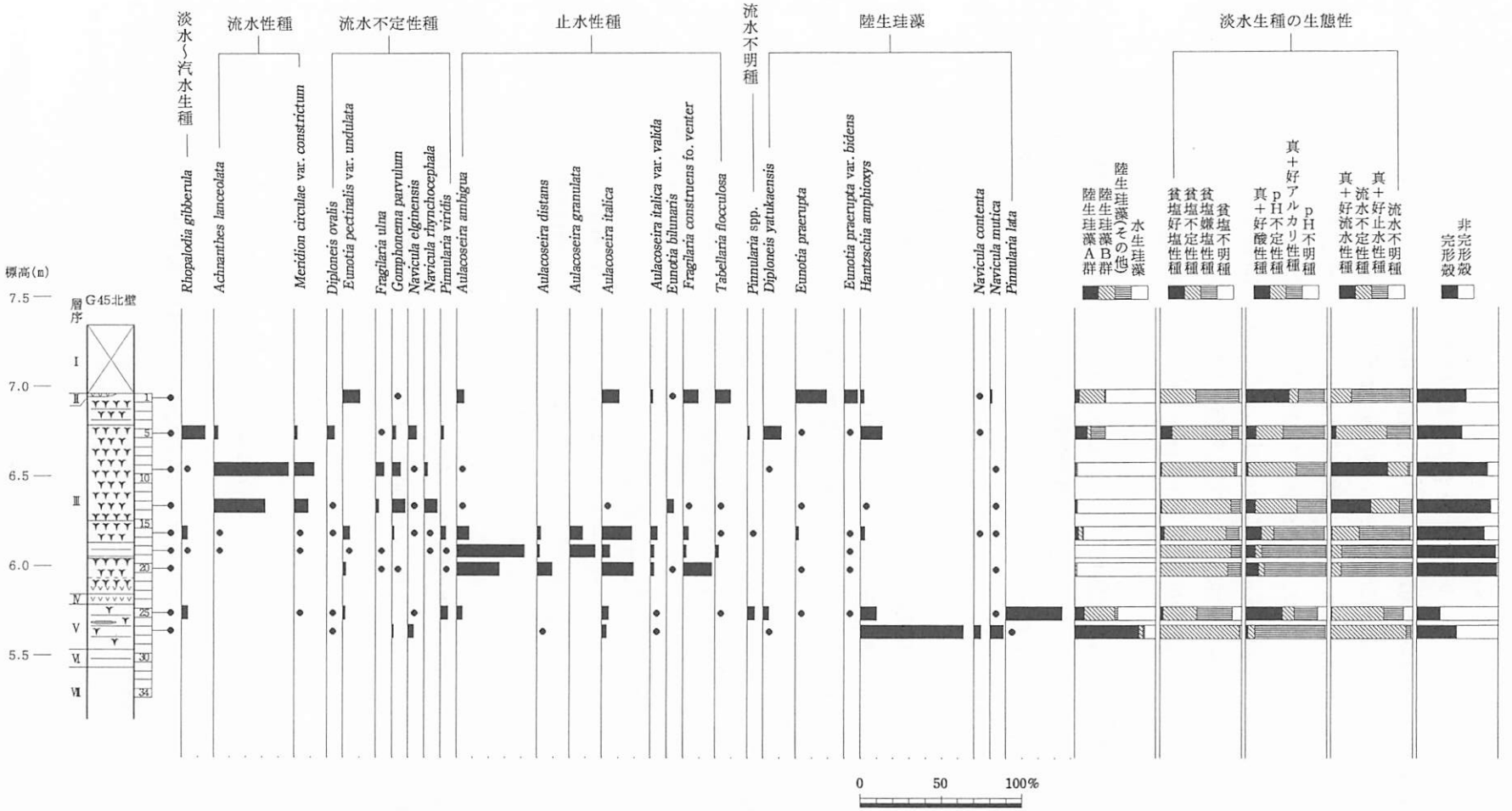


図３　Ａ地区Ｇ45北壁の主要珪藻化石群集の層位分布

海水-汽水-淡水生種産出率・各種産出率・完形殻産出率は全体基数、淡水生種の生態性の比率は淡水生種の合計を基数として百分率で算出した。いずれも200個体以上検出された試料について示す。なお、●は１％未満の試料について検出した種類を示す。

表1　A地区G45北壁の珪藻分析結果(1)

種類	生態性 塩分	pH	流水	環境指標種	1	5	9	13	16	18	20	25	27
Nitzschia marginulata var. subconstricta Grun.	Euh				-	-	1	1	-	-	-	-	-
Nitzschia sigma (Kuetz.) W. Smith	Euh-Meh			E2	-	-	1	2	-	-	-	-	-
Navicula peregrina (Ehr.) Kuetzing	Meh				-	-	-	-	-	1	-	-	-
Nitzschia dubia W. Smith	Meh				-	-	-	1	-	-	-	-	-
Thalassiosira lacustris (Grun.) Hasle	Meh				-	-	-	-	1	1	-	-	-
Cyclotella meneghiniana Kuetzing	Ogh-Meh	al-il	l-ph	L, S	-	-	-	-	1	1	1	-	-
Fragilaria brevistriata Grunow	Ogh-Meh	al-il	l-ph	U	1	-	-	-	2	-	-	-	-
Navicula cincta (Ehr.) Kuetzing	Ogh-Meh	al-il	ind		-	-	1	-	-	-	-	-	-
Navicula integra (W. Smith) Ralfs	Ogh-Meh	al-il	unk		-	-	1	-	-	-	-	-	-
Nitzschia frustulum (Kuetz.) Grunow	Ogh-Meh	al-bi	ind		-	-	-	-	1	-	-	-	-
Nitzschia obtusa var. scalpelliformis Grunow	Ogh-Meh	al-il	ind	S	-	-	-	-	-	-	-	-	1
Rhopalodia gibberula (Ehr.) O. Muller	Ogh-Meh	al-il	ind		-	30	2	-	8	1	-	8	-
Achnanthes hungarica Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	U	-	-	1	-	-	-	-	-	-
Achnanthes lanceolata (Breb.) Grunow	Ogh-ind	ind	r-ph	K, T	-	6	101	67	2	1	-	-	-
Achnanthes minutissima Kuetzing	Ogh-ind	al-il	ind	U	-	-	1	1	-	1	-	-	-
Achnanthes rostrata Oestrup	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	-	-	1	-	-	-	-	-	-
Achnanthes suchlandtii Hustedt	Ogh-ind	ind	ind	T	-	1	-	-	-	-	-	-	-
Amphora affinis Kuetzing	Ogh-ind	al-il	ind	U	-	-	-	-	1	-	1	-	-
Amphora pediculus (Kuetz.) Grunow	Ogh-ind	al-bi	ind	T	-	-	1	-	-	1	-	-	-
Aulacoseira alpigena (Grun.) Krammer	Ogh-hob	ac-il	l-bi	N, U	-	-	-	-	1	4	2	-	-
Aulacoseira ambigua (Grun.) Simonsen	Ogh-ind	al-il	l-bi	N	10	-	2	2	17	95	60	8	-
Aulacoseira crassipunctata Krammer	Ogh-ind	ac-il	l-ph		-	-	-	-	3	-	1	-	-
Aulacoseira crenulata (Ehr.) Krammer	Ogh-ind	ind	l-ph		-	-	-	-	3	-	-	-	-
Aulacoseira distans (Ehr.) Simonsen	Ogh-hob	ac-il	l-bi	N, U	-	-	-	-	5	4	21	-	1
Aulacoseira granulata (Ehr.) Simonsen	Ogh-ind	al-il	l-bi	M, U	-	-	-	-	18	36	-	-	-
Aulacoseira granulata var. angustissima (Mull.) Sim.	Ogh-ind	al-il	l-bi	M, U	-	-	-	-	-	1	-	-	-
Aulacoseira italica (Ehr.) Simonsen	Ogh-ind	al-il	l-ph	U	22	-	-	1	40	11	44	9	6
Aulacoseira italica var. tenuissima (Grun.) Sim.	Ogh-ind	ind	l-ph	U	3	-	-	-	-	2	1	-	-
Aulacoseira italica var. valida (Grun.) Simonsen	Ogh-ind	al-il	l-ph		3	-	-	-	9	5	5	2	1
Aulacoseira pfaffiana (Reinsch) Krammer	Ogh-hob	ac-il	l-ph		-	-	-	-	1	4	2	1	-
Aulacoseira spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	2	1	1	-
Caloneis angustivalva Petit	Ogh-unk	unk	unk	RI	-	-	2	1	-	-	-	1	3
Caloneis leptosoma Krammer & Lange-Bertalot	Ogh-ind	ind	l-ph	RB	-	-	-	-	1	-	-	1	1
Caloneis silicula (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind		-	-	-	1	1	-	-	-	-
Caloneis silicula var. minuta (Grun.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind		-	-	-	-	1	-	-	-	-
Caloneis tenuis (Greg.) Krammer	Ogh-ind	al-il	ind		-	2	-	-	-	1	-	-	-
Cocconeis placentula (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	U	-	-	-	-	-	-	1	-	-
Cyclostephanos dubius (Fricke) Round	Ogh-ind	al-bi	l-bi		-	-	-	-	1	1	-	-	-
Cyclotella comta (Ehr.) Kuetzing	Ogh-ind	al-il	l-bi	M, U	-	-	-	-	1	2	-	-	-
Cymbella amphioxys (Kuetz.) Grunow	Ogh-ind	ac-il	l-ph		-	1	-	-	-	-	-	-	-
Cymbella aspera (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	O, T	-	1	-	-	-	-	-	1	-
Cymbella cistula (Ehr.) Kirchner	Ogh-ind	al-il	l-ph	O, T	-	-	-	-	-	1	-	-	-
Cymbella gracilis (Ehr.) Kuetzing	Ogh-ind	ind	l-ph	T	-	1	-	-	-	1	1	-	-
Cymbella naviculiformis Auerswald	Ogh-ind	ind	ind	O	-	-	-	1	1	-	-	-	-
Cymbella silesiaca Bleisch	Ogh-ind	ind	ind	T	4	1	1	-	2	1	1	-	-
Cymbella subaequalis Grunow	Ogh-ind	al-il	l-ph	O, T	-	-	-	-	-	-	-	1	-
Cymbella tumida (Breb. ex Kuetz.) V. Heurck	Ogh-ind	al-il	ind	T	-	-	-	-	-	1	-	-	-
Diatoma tenuis Agardh	Ogh-ind	al-il	r-ph	T	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Diploneis elliptica (Kuetz.) Cleve	Ogh-ind	al-il	l-ph	RA, T	-	1	-	-	-	-	-	-	-
Diploneis ovalis (Hilse) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind		-	10	-	1	2	-	-	2	1
Diploneis parma Cleve	Ogh-ind	ind	ind		-	-	-	-	1	-	-	2	-
Diploneis yatukaensis Horikawa et Okuno	Ogh-ind	ind	l-ph	RI	-	23	1	-	-	-	-	7	1
Diploneis spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	3	-
Epithemia adnata (Kuetz.) Brebisson	Ogh-ind	al-bi	ind		-	-	-	-	-	1	1	-	-
Epithemia turgida (Ehr.) Kuetzing	Ogh-ind	al-il	l-ph	T	-	-	-	-	1	-	-	-	-
Eunotia arcus Ehrenberg	Ogh-hob	ac-il	l-ph		1	-	-	-	-	-	-	-	-
Eunotia bilunaris (Ehr.) Mills	Ogh-hob	ac-il	l-ph		1	-	-	9	-	-	2	-	-

表1　A地区G45北壁の珪藻分析結果(2)

種類	生態性 塩分	pH	流水	環境指標種	1	5	9	13	16	18	20	25	27
Eunotia diodon Ehrenberg	Ogh-hob	ac-bi	ind		1	-	-	-	-	-	-	-	-
Eunotia exigua (Breb.) Grunow	Ogh-hob	ac-bi	l-ph	P	-	1	1	-	-	-	-	-	-
Eunotia fallax A. Cleve	Ogh-hob	ac-bi	ind	RA	1	-	-	-	2	-	-	-	-
Eunotia flexuosa (Breb.) Kuetzing	Ogh-hob	ac-i	l-ph	O	1	1	-	-	-	-	-	-	-
Eunotia gracialis Meister	Ogh-hob	ind	l-bi		3	8	-	1	1	-	1	-	-
Eunotia incisa W. Smith ex Gregory	Ogh-hob	ac-i	ind	O	-	-	-	-	-	1	-	-	-
Eunotia monodon var. asiatica Skvortzow	Ogh-hob	ac-i	ind		-	-	-	-	1	1	-	-	-
Eunotia pectinalis (Kuetz.) Rabenhorst	Ogh-hob	ac-i	ind	O, T	-	1	-	-	-	-	-	-	-
Eunotia pectinalis var. minor (Kuetz.) Rabenhorst	Ogh-hob	ac-i	ind	O	1	-	3	6	1	-	-	2	-
Eunotia pectinalis var. undulata (Ralfs) Rabenhorst	Ogh-hob	ac-i	ind	O	22	-	-	-	9	1	4	3	-
Eunotia praerupta Ehrenberg	Ogh-hob	ac-i	l-ph	RB, O, T	39	1	-	1	4	-	1	2	-
Eunotia praerupta var. bidens Grunow	Ogh-hob	ac-i	l-ph	RB, O	17	1	-	-	2	1	1	1	-
Eunotia praerupta var. inflata Grunow	Ogh-hob	ac-i	l-ph	RI	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Eunotia spp.	Ogh-unk	unk	unk		3	-	-	-	-	-	-	-	-
Fragilaria bicapitata A. Mayer	Ogh-hob	ind	l-bi		1	-	-	2	1	2	-	-	-
Fragilaria capucina var. gracilis (Oestr.) Hustedt	Ogh-ind	al-i	l-ph	T	-	-	1	1	-	1	1	1	-
Fragilaria construens (Ehr.) Grunow	Ogh-ind	al-i	l-ph	U	-	-	-	-	-	1	4	-	-
Fragilaria construens fo. binodis (Ehr.) Hustedt	Ogh-ind	al-i	l-ph	U	-	-	-	-	1	-	1	-	-
Fragilaria construens fo. venter (Ehr.) Hustedt	Ogh-ind	al-i	l-ph	S	19	-	-	1	7	5	40	-	-
Fragilaria construens var. triundulata Reichelt	Ogh-ind	al-i	l-ph		-	-	-	-	-	-	1	-	-
Fragilaria exigua Grunow	Ogh-ind	ind	l-ph		-	-	-	-	-	1	1	-	-
Fragilaria parasitica (W. Smith) Grunow	Ogh-ind	al-i	ind	U	-	-	-	-	1	-	-	-	-
Fragilaria pinnata Ehrenberg	Ogh-ind	al-i	l-ph	S	-	-	-	-	1	-	1	-	-
Fragilaria pinnata var. lancettula (Schum.) Hustedt	Ogh-ind	al-i	ind	S	-	-	-	-	-	-	1	-	-
Fragilaria ulna (Nitzsch) Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-i	ind		-	1	12	4	-	1	1	-	-
Fragilaria vaucheriae (Kuetz.) Petersen	Ogh-ind	al-i	r-ph	K, T	-	2	4	1	-	-	1	-	-
Fragilaria virescens Ralfs	Ogh-ind	ac-i	l-ph	U	-	3	-	-	3	-	-	1	1
Frustulia rhomboides var. saxonica (Rabh.) De Toni	Ogh-hob	ac-i	l-ph	O	-	-	-	-	-	1	-	-	-
Frustulia vulgaris (Thwait.) De Toni	Ogh-ind	al-i	ind	U	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Gomphonema acuminatum Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	O	1	2	-	2	1	1	1	4	-
Gomphonema angustatum (Kuetz.) Rabenhorst	Ogh-ind	al-i	ind	U	-	-	-	-	-	-	-	1	2
Gomphonema gracile Ehrenberg	Ogh-ind	al-i	l-ph	O, U	1	5	1	4	1	-	1	-	-
Gomphonema grovei var. lingulatum (Hust.) Lange-B.	Ogh-ind	al-i	l-ph		-	-	-	-	-	1	-	-	-
Gomphonema helveticum Brun	Ogh-unk	ind	r-ph	T	-	-	7	2	-	-	-	-	-
Gomphonema olivaceum var. olivaceoides (Hust.) Lange-B.	Ogh-ind	al-i	ind	T	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Gomphonema parvulum Kuetzing	Ogh-ind	ind	ind	U	1	5	12	17	3	-	1	-	2
Gomphonema pumilum (Grun.) Reichardt & Lange-B.	Ogh-ind	al-i	ind		-	2	-	2	-	-	-	1	-
Gomphonema sarcophagus Gregory	Ogh-ind	al-i	ind		-	-	1	1	-	-	-	-	-
Gomphonema sphaerophorum Ehrenberg	Ogh-ind	al-i	ind	T	-	-	-	-	1	-	-	-	-
Gomphonema truncatum Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	T	1	-	-	1	1	1	-	-	-
Gyrosigma spencerii (W. Smith) Cleve	Ogh-ind	al-i	l-ph	U	-	-	-	-	-	1	-	-	-
Hantzschia amphioxys (Ehr.) Grunow	Ogh-ind	al-i	ind	RA, U	5	28	-	2	6	-	-	21	127
Melosira varians Agardh	Ogh-hil	al-bi	r-ph	K, U	-	-	1	3	-	-	-	-	-
Meridion circulae Agardh	Ogh-ind	al-i	r-bi	K, T	-	-	6	7	-	-	-	-	-
Meridion circulae var. constrictum (Ralfs) V. Heurck	Ogh-ind	al-i	r-bi	K, T	-	4	27	18	1	1	-	2	-
Navicula ariiensis Okuno	Ogh-unk	unk	unk		1	4	-	-	6	-	1	8	-
Navicula contenta Grunow	Ogh-ind	al-i	ind	RA, T	2	1	-	-	1	-	-	-	9
Navicula elginensis (Greg.) Ralfs	Ogh-ind	al-i	ind	O, U	-	11	1	1	2	-	-	1	7
Navicula elginensis var. cuneata H. Kobayasi	Ogh-ind	al-i	ind		-	-	-	-	1	-	-	-	-
Navicula elginensis var. neglecta (Krass.) Patrick	Ogh-ind	al-i	r-ph	U	-	1	-	-	-	-	-	-	-
Navicula hambergii Hustedt	Ogh-ind	ind	ind	RI	-	1	-	-	-	-	-	-	-
Navicula hassiaca Krasske	Ogh-hob	ac-i	ind		-	-	-	1	-	-	1	-	-
Navicula hasta var. gracilis Skvortzow	Ogh-ind	al-i	l-ph		-	-	-	-	-	1	-	-	-
Navicula ignota Krasske	Ogh-ind	ind	ind	RB	1	2	-	-	-	-	-	-	4
Navicula ignota var. palustris (Hust.) Lund	Ogh-ind	ind	ind	RB	-	-	-	-	-	-	-	1	-
Navicula mutica Kuetzing	Ogh-ind	al-i	ind	RA, S	3	-	2	1	1	-	1	2	17
Navicula paramutica Bock	Ogh-ind	ind	ind	RB	2	-	-	-	-	-	-	-	-

表1　A地区G45北壁の珪藻分析結果(3)

種類	生態性 塩分	pH	流水	環境指標種	1	5	9	13	16	18	20	25	27
Navicula placenta Ehrenberg	Ogh-ind	al-il	ind	RI	-	4	-	-	-	-	-	-	-
Navicula plausibilis Hustedt	Ogh-ind	ind	ind		-	-	-	-	1	-	1	-	-
Navicula pseudolanceolata Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-il	ind	U	-	-	-	-	-	1	-	-	-
Navicula radiosa Kuetzing	Ogh-ind	ind	ind	U	-	-	1	3	-	2	1	-	-
Navicula radiosa fo. nipponica Skvortzow	Ogh-ind	al-il	ind	T	-	-	-	-	-	1	-	-	-
Navicula rhynchocephala Kuetzing	Ogh-ind	al-il	ind	U	-	-	5	17	2	2	-	-	-
Navicula subnympharum Hustedt	Ogh-ind	ind	ind		-	-	-	2	-	-	-	-	-
Neidium ampliatum (Ehr.) Krammer	Ogh-ind	ind	l-ph		-	-	-	1	1	-	-	-	-
Neidium bisulcatum (Lagerst.) Cleve	Ogh-ind	ac-il	ind	RI	-	1	-	-	-	-	-	-	-
Neidium iridis (Ehr.) Cleve	Ogh-hob	ac-il	l-bi	O	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Nitzschia amphibia Grunow	Ogh-ind	al-bi	ind	S	-	-	-	-	1	-	-	-	1
Nitzschia angustata (W. Smith) Cleve	Ogh-ind	al-il	l-bi		-	-	-	1	1	-	-	-	-
Nitzschia brevissima Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RB, U	1	-	-	-	1	-	1	-	-
Nitzschia linearis W. Smith	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Nitzschia nana Grunow	Ogh-ind	ind	ind	RB, S	-	-	-	-	-	-	1	-	-
Nitzschia terrestris (Pet.) Hustedt	Ogh-ind	ind	ind	RI	-	7	1	1	2	-	-	-	-
Nitzschia tubicola Grunow	Ogh-unk	unk	unk		-	-	4	-	-	1	-	-	-
Nitzschia spp.	Ogh-unk	unk	unk		1	-	-	-	-	-	-	-	-
Orthoseira roeseana (Rabh.) O'Meara	Ogh-ind	ind	ind	RA	-	1	-	-	-	-	-	-	-
Pinnularia acrosphaeria W. Smith	Ogh-ind	al-il	l-ph	O	-	1	-	-	1	1	1	-	2
Pinnularia appendiculata (Ag.) Cleve	Ogh-hob	ind	ind	RB	-	1	1	-	-	-	-	-	-
Pinnularia borealis Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	RA	1	-	-	-	1	-	1	2	6
Pinnularia brebissonii (Kuetz.) Rabenhorst	Ogh-ind	ind	ind	U	-	-	-	-	-	-	1	-	-
Pinnularia brevicostata Cleve	Ogh-ind	ac-il	ind		-	4	-	-	1	-	-	-	-
Pinnularia divergens var. decrescens (Grun.) Krammer	Ogh-hob	ac-il	ind		-	-	-	1	-	-	-	-	-
Pinnularia divergentissima (Grun.) Cleve	Ogh-ind	ac-il	ind		-	-	-	-	-	-	-	-	1
Pinnularia esoxiformis Fusey	Ogh-hob	ac-il	ind		-	1	1	-	1	-	-	1	-
Pinnularia gentilis (Donkin) Cleve	Ogh-ind	ac-il	l-bi		-	1	-	-	-	-	-	-	-
Pinnularia gibba Ehrenberg	Ogh-ind	ac-il	ind	O	-	-	1	1	-	1	1	-	1
Pinnularia gibba var. linearis Hustedt	Ogh-hob	ac-il	ind		-	-	-	-	-	1	1	-	-
Pinnularia graciloides Hustedt	Ogh-hob	ac-il	ind		-	-	-	-	1	-	-	-	-
Pinnularia imperatrix Mills	Ogh-hob	ac-il	l-ph		-	-	-	-	-	-	-	6	-
Pinnularia krookii (Grun.) Cleve	Ogh-ind	ind	ind	RI	-	-	1	-	-	-	-	-	-
Pinnularia lagerstedtii (Cleve) Cleve-Euler	Ogh-ind	ind	ind	RI	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Pinnularia lata (Breb.) Rabenhorst	Ogh-hob	ac-il	ind	RB	-	-	-	-	-	-	-	72	1
Pinnularia lignitica Cleve	Ogh-hob	ac-il	ind		-	-	-	-	-	1	-	-	-
Pinnularia mesolepta (Ehr.) W. Smith	Ogh-ind	ind	ind	S	-	-	1	-	-	-	-	-	-
Pinnularia nodosa Ehrenberg	Ogh-hob	ac-il	l-ph	O	-	1	-	1	1	1	-	2	-
Pinnularia obscura Krasske	Ogh-ind	ind	ind	RA	1	1	-	-	-	-	-	-	-
Pinnularia rupestris Hantzsch	Ogh-hob	ac-il	ind		-	-	1	-	-	-	-	-	-
Pinnularia schoenfelderi Krammer	Ogh-ind	ind	ind	RI	-	-	-	-	-	-	-	-	1
Pinnularia schroederii (Hust.) Krammer	Ogh-ind	ind	ind	RI	-	1	-	-	1	-	-	-	-
Pinnularia schwabei Krasske	Ogh-ind	ind	ind		-	-	-	-	-	1	-	-	-
Pinnularia stomatophora (Grun.) Cleve	Ogh-ind	ac-il	l-ph		-	5	-	1	1	-	-	3	-
Pinnularia streptoraphe Cleve	Ogh-hob	ac-il	l-ph		-	-	-	-	1	-	-	-	-
Pinnularia subcapitata Gregory	Ogh-ind	ac-il	ind	RB, S	3	3	-	1	2	-	-	-	2
Pinnularia subrupestris Krammer	Ogh-hob	ac-il	ind		-	-	-	-	1	-	-	-	-
Pinnularia viridis (Nitz.) Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	O	-	4	-	-	7	2	1	10	-
Pinnularia spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	3	-	-	1	-	-	10	-
Rhoicosphenia abbreviata (Ag.) Lange-B.	Ogh-hil	al-il	r-ph	K, T	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Rhopalodia gibba (Ehr.) O. Muller	Ogh-ind	al-il	ind		-	-	-	-	-	1	4	-	-
Rhopalodia gibba var. ventricosa (Kuetz.) H. &M. Peray	Ogh-ind	al-il	ind		-	-	-	-	1	-	-	-	-
Sellaphora laevissima (Kuetz.) Mann	Ogh-ind	ind	ind		-	-	-	-	-	-	-	2	-
Sellaphora pseudopupula (Krasske) Lange-B.	Ogh-ind	ind	ind		-	1	-	-	1	-	-	-	-
Sellaphora pupula (Kuetz.) Mereschkowsky	Ogh-ind	ind	ind	S	-	-	-	3	-	1	1	-	-
Stauroneis kriegeri Patrick	Ogh-ind	ind	unk	T	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Stauroneis lauenburgiana Hustedt	Ogh-ind	al-il	ind		-	1	-	-	-	-	-	-	-

表1　A地区G45北壁の珪藻分析結果(4)

種類	生態性 塩分	pH	流水	環境指標種	1	5	9	13	16	18	20	25	27
Stauroneis obtusa Lagerstedt	Ogh-ind	ind	ind	RB	-	-	-	-	-	-	-	-	1
Stenopterobia delicatissima (Lewis) V. Heurck	Ogh-hob	ac-bi	l-bi	P	-	1	-	-	-	-	-	-	-
Surirella angusta Kuetzing	Ogh-ind	al-il	r-bi	U	-	-	1	-	-	-	-	-	-
Surirella linearis W. Smith	Ogh-ind	ind	ind		-	-	1	-	-	1	-	-	-
Surirella ovata var. pinnata (W. Smith) Hustedt	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	-	-	2	-	-	-	-	-	-
Surirella robusta Ehrenberg	Ogh-hob	ind	l-bi		-	1	-	-	-	-	-	-	-
Tabellaria fenestrata (Lyngb.) Kuetzing	Ogh-ind	ac-il	l-bi	O, T	2	-	-	1	-	1	-	-	-
Tabellaria flocculosa (Roth) Kuetzing	Ogh-hob	ac-il	l-bi	T	20	-	-	1	1	5	-	1	-
Tabellaria spp.	Ogh-unk	unk	unk		1	-	-	-	-	-	-	-	-
海水生種合計					0	0	1	1	0	0	0	0	0
海水－汽水生種合計					0	0	1	2	0	0	0	0	0
汽水生種合計					0	0	0	1	1	2	0	0	0
淡水－汽水生種合計					1	30	4	0	12	2	1	8	1
淡水生種合計					203	175	211	205	203	222	224	199	199
珪藻化石総数					204	205	217	209	216	226	225	207	200

凡例

H. R. :塩分濃度に対する適応性
- Euh　:海水生種
- Euh-Meh:海水生種－汽水生種
- Meh　:汽水生種
- Ogh-Meh:淡水生種－汽水生種
- Ogh-hil:貧塩好塩性種
- Ogh-ind:貧塩不定性種
- Ogh-hob:貧塩嫌塩性種
- Ogh-unk:貧塩不明種

pH:水素イオン濃度に対する適応性
- al-bi:真アルカリ性種
- al-il:好アルカリ性種
- ind　:pH不定性種
- ac-il:好酸性種
- ac-bi:真酸性種
- unk　:pH不明種

C. R. :流水に対する適応性
- l-bi:真止水性種
- l-ph:好止水性種
- ind :流水不定性種
- r-ph:好流水性種
- r-bi:真流水性種
- unk :流水不明種

環境指標種群

E2:汽水泥質干潟指標種（以上は小杉，1988）
K:中～下流性河川指標種, L:最下流性河川指標種, M:湖沼浮遊性種,
N:湖沼沼沢湿地指標種, O:沼沢湿地付着生種, P:高層湿原指標種（以上は安藤，1990）
S:好汚濁性種, U:広域適応性種, T:好清水性種（以上はAsai, K. & Watanabe, T., 1995）
R:陸生珪藻（RA:A群, RB:B群, RI:未区分陸生珪藻、伊藤・堀内，1991）

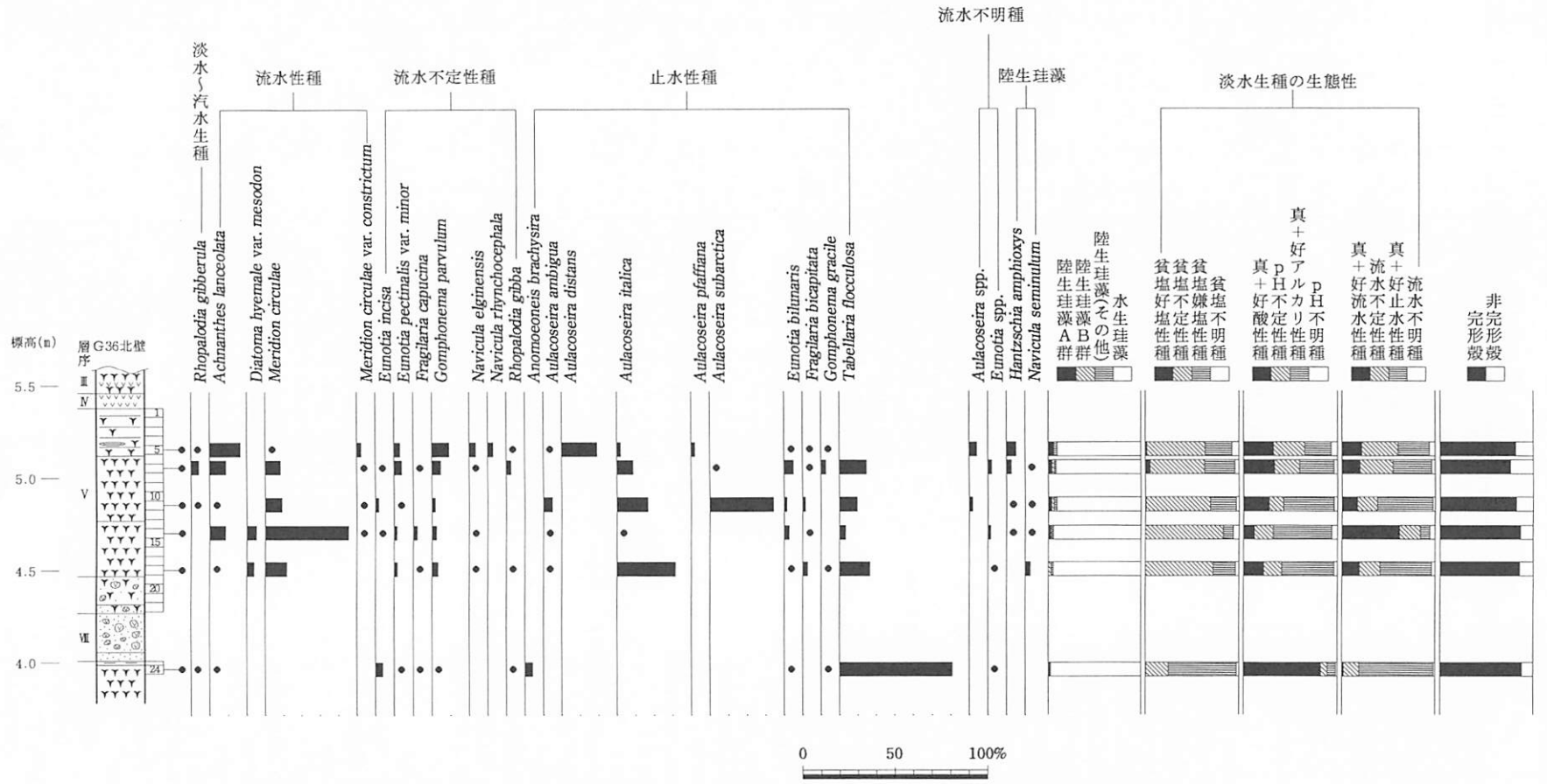


図４　Ａ地区Ｇ36北壁の主要珪藻化石群集の層位分布

海水-汽水-淡水生種産出率・各種産出率・完形殻産出率は全体基数、淡水生種の生態性の比率は淡水生種の合計を基数として百分率で算出した。いずれも100個体以上検出された試料について示す。なお、●は１％未満の試料について検出した種類を示す。

表2　A地区G36北壁の珪藻分析結果(1)

種類	生態性 塩分	pH	流水	環境指標種	5	7	11	14	18	24
Fragilaria brevistriata Grunow	Ogh-Meh	al-il	l-ph	U	1	-	-	-	-	-
Gomphonema pseudoaugur Lange-Bertalot	Ogh-Meh	al-il	ind	S	-	1	-	-	-	-
Nitzschia palea (Kuetz.) W. Smith	Ogh-Meh	ind	ind	S	-	1	-	-	-	-
Rhopalodia gibberula (Ehr.) O. Muller	Ogh-Meh	al-il	ind		2	9	1	-	-	1
Achnanthes lanceolata (Breb.) Grunow	Ogh-ind	ind	r-ph	K, T	37	19	2	19	1	1
Achnanthes laterostrata Hustedt	Ogh-ind	al-il	ind	T	-	-	-	1	-	-
Achnanthes rechtensis Leclercq	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	2	-	-
Achnanthes rostrata Oestrup	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	-	-	-	1	-	-
Achnanthes spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	2	-
Amphora affinis Kuetzing	Ogh-ind	al-il	ind	U	-	-	-	1	-	-
Anomoeoneis brachysira (Breb.) Grunow	Ogh-ind	ac-il	l-ph	O, T	-	-	-	-	-	9
Anomoeoneis styriaca (Grun.) Hustedt	Ogh-ind	ac-il	l-ph		-	-	-	-	-	1
Aulacoseira alpigena (Grun.) Krammer	Ogh-hob	ac-il	l-bi	N, U	3	1	3	-	-	-
Aulacoseira ambigua (Grun.) Simonsen	Ogh-ind	al-il	l-bi	N	1	-	11	1	1	-
Aulacoseira crassipunctata Krammer	Ogh-ind	ac-il	l-ph		4	-	-	-	-	-
Aulacoseira distans (Ehr.) Simonsen	Ogh-hob	ac-il	l-bi	N, U	43	-	-	-	-	-
Aulacoseira italica (Ehr.) Simonsen	Ogh-ind	al-il	l-ph	U	5	19	37	1	70	-
Aulacoseira italica var. valida (Grun.) Sim.	Ogh-ind	al-il	l-ph		-	1	1	-	-	-
Aulacoseira pfaffiana (Reinsch) Krammer	Ogh-hob	ac-il	l-ph		5	-	-	-	-	-
Aulacoseira subarctica (O. Muller) Haworth	Ogh-hob	ac-il	l-ph		-	1	76	-	-	-
Aulacoseira spp.	Ogh-unk	unk	unk		10	-	4	-	-	-
Caloneis largerstedtii (Lagerst.) Cholnoky	Ogh-ind	al-il	ind	S	1	-	-	-	-	-
Caloneis silicula (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind		-	-	-	1	-	-
Caloneis tenuis (Greg.) Krammer	Ogh-ind	al-il	ind		-	-	1	1	1	4
Cocconeis placentula var. lineata (Ehr.) Cl.	Ogh-ind	al-il	r-ph	T	-	-	-	1	-	-
Cymbella amphioxys (Kuetz.) Grunow	Ogh-ind	ac-il	l-ph		-	-	-	-	-	3
Cymbella aspera (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	O, T	1	-	-	-	-	1
Cymbella cuspidata Kuetzing	Ogh-ind	ind	ind		-	-	-	-	1	1
Cymbella gracilis (Ehr.) Kuetzing	Ogh-ind	ind	l-ph	T	-	3	1	-	-	3
Cymbella mesiana Cholnoky	Ogh-ind	al-bi	l-bi	O	-	-	-	-	-	1
Cymbella naviculiformis Auerswald	Ogh-ind	ind	ind	O	-	1	1	1	1	-
Cymbella silesiaca Bleisch	Ogh-ind	ind	ind	T	1	4	-	-	-	1
Cymbella sinuata Gregory	Ogh-ind	ind	r-ph	K, T	-	-	-	2	1	-
Diatoma hyemale var. mesodon (Ehr.) Kirchener	Ogh-ind	al-il	r-bi	K, T	-	-	-	11	9	-
Diatoma moniliformis Kuetzing	Ogh-ind	unk	r-bi		-	-	1	-	-	-
Diploneis elliptica (Kuetz.) Cleve	Ogh-ind	al-il	l-ph	RA, T	-	-	-	1	-	-
Diploneis ovalis (Hilse) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind		2	-	-	-	-	1
Diploneis yatukaensis Horikawa et Okuno	Ogh-ind	ind	l-ph	RI	1	-	-	-	-	-
Epithemia adnata (Kuetz.) Brebisson	Ogh-ind	al-bi	ind		-	1	-	-	-	-
Eunotia arcus Ehrenberg	Ogh-hob	ac-il	l-ph		-	1	-	-	-	-
Eunotia bigibba Kuetzing	Ogh-hob	ac-bi	ind	RA	-	-	-	-	-	1
Eunotia bilunaris (Ehr.) Mills	Ogh-hob	ac-il	l-ph		1	11	3	6	1	1
Eunotia exigua (Breb.) Grunow	Ogh-hob	ac-bi	l-ph	P	-	1	2	-	-	-
Eunotia faba (Ehr.) Grunow	Ogh-hob	ac-il	l-ph		-	-	-	-	-	1
Eunotia fallax A. Cleve	Ogh-hob	ac-bi	ind	RA	-	3	1	1	-	-
Eunotia flexuosa (Breb.) Kuetzing	Ogh-hob	ac-il	l-ph	O	-	1	-	-	-	1
Eunotia formica Ehrenberg	Ogh-hob	ac-il	l-bi		-	-	-	-	-	1
Eunotia gracialis Meister	Ogh-hob	ind	l-bi		1	1	-	-	-	1
Eunotia implicata Noepel & Lange-Bertalot	Ogh-hob	ac-il	ind	O	-	1	-	3	1	-
Eunotia incisa W. Smith ex Gregory	Ogh-hob	ac-il	ind	O	-	1	4	2	-	8
Eunotia lunaris var. subarcuata (Naeg.) Grun.	Ogh-hob	ac-il	l-ph		-	1	-	-	-	-
Eunotia pectinalis (Kuetz.) Rabenhorst	Ogh-hob	ac-il	ind	O, T	-	-	-	-	-	1
Eunotia pectinalis var. minor (Kuetz.) Rabh.	Ogh-hob	ac-il	ind	O	7	9	2	3	4	1
Eunotia pectinalis var. undulata (Ralfs) Rabh.	Ogh-hob	ac-il	ind	O	1	-	-	-	-	1
Eunotia praerupta Ehrenberg	Ogh-hob	ac-il	l-ph	RB, O, T	-	-	-	-	-	2
Eunotia praerupta var. bidens Grunow	Ogh-hob	ac-il	l-ph	RB, O	-	1	-	-	-	-
Eunotia subarcuatoides Noerpel & Lange-B.	Ogh-hob	ac-il	ind		-	1	-	1	-	-

表2　A地区G36北壁の珪藻分析結果(2)

種類	生態性 塩分	pH	流水	環境指標種	5	7	11	14	18	24
Eunotia spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	5	-	4	1	1
Fragilaria bicapitata A. Mayer	Ogh-hob	ind	l-bi		1	2	3	1	6	-
Fragilaria capucina Desmazieres	Ogh-ind	al-il	ind	T	-	1	-	5	2	1
Fragilaria construens fo. venter (Ehr.) Hust.	Ogh-ind	al-il	l-ph	S	-	-	1	-	-	1
Fragilaria exigua Grunow	Ogh-ind	ind	l-ph		-	-	-	-	-	1
Fragilaria leptostauron (Ehr.) Hustedt	Ogh-ind	al-il	l-ph		-	-	-	-	-	2
Fragilaria ulna (Nitzsch) Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-il	ind		4	1	1	3	4	2
Fragilaria vaucheriae (Kuetz.) Petersen	Ogh-ind	al-il	r-ph	K, T	-	-	-	-	3	2
Fragilaria virescens Ralfs	Ogh-ind	ac-il	l-ph	U	2	-	-	1	-	-
Frustulia rhomboides (Ehr.) De Toni	Ogh-hob	ac-il	l-ph	P	-	-	-	-	2	3
Gomphonema acuminatum Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	O	-	1	1	1	1	1
Gomphonema angustatum (Kuetz.) Rabenhorst	Ogh-ind	al-il	ind	U	-	-	-	-	1	-
Gomphonema angustum Agardh	Ogh-ind	al-il	ind		1	-	-	1	-	-
Gomphonema clavatum Ehrenberg	Ogh-ind	al-il	ind		-	-	-	1	1	-
Gomphonema gracile Ehrenberg	Ogh-ind	al-il	l-ph	O, U	1	6	-	-	2	1
Gomphonema helveticum Brun	Ogh-unk	ind	r-ph	T	1	1	-	-	-	-
Gomphonema largerheimii A. Cleve	Ogh-hob	ac-il	ind		-	-	-	-	-	1
Gomphonema parvulum Kuetzing	Ogh-ind	ind	ind	U	21	11	4	6	8	1
Gomphonema pumilum (Grun.) Reichardt & Lange-B.	Ogh-ind	al-il	ind		-	1	-	-	-	-
Gomphonema sarcophagus Gregory	Ogh-ind	al-il	ind		1	-	-	-	-	-
Gomphonema truncatum Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	T	1	4	1	1	2	2
Gomphonema spp.	Ogh-unk	unk	unk		1	2	-	1	1	-
Hantzschia amphioxys (Ehr.) Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA, U	12	6	1	1	-	-
Meridion circulae Agardh	Ogh-ind	al-il	r-bi	K, T	2	18	20	101	26	-
Meridion circulae var. constrictum (Ralfs) V. H.	Ogh-ind	al-il	r-bi	K, T	5	2	1	1	-	-
Navicula angusta Grunow	Ogh-ind	ac-il	ind	T	-	1	-	-	1	-
Navicula ariiensis Okuno	Ogh-unk	unk	unk		1	-	-	-	-	-
Navicula cryptocephala Kuetzing	Ogh-ind	al-il	ind	U	-	-	-	1	1	-
Navicula elginensis (Greg.) Ralfs	Ogh-ind	al-il	ind	O, U	8	1	-	1	1	-
Navicula elginensis var. cuneata H. Kobayasi	Ogh-ind	al-il	ind		2	1	-	-	-	-
Navicula elginensis var. neglecta (Krass.) Pat.	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	-	-	-	1	1	-
Navicula gallica var. perpusilla (Grun.) Lange-B.	Ogh-ind	ind	ind	RI	-	-	2	-	1	-
Navicula hambergii Hustedt	Ogh-ind	ind	ind	RI	-	1	-	-	-	-
Navicula ignota Krasske	Ogh-ind	ind	ind	RB	-	-	1	-	-	-
Navicula ignota var. palustris (Hust.) Lund	Ogh-ind	ind	ind	RB	-	-	-	2	1	-
Navicula mobiliensis var. minor Patrick	Ogh-ind	al-il	ind		-	-	-	1	1	-
Navicula mutica Kuetzing	Ogh-ind	al-il	ind	RA, S	2	-	2	1	-	-
Navicula placenta Ehrenberg	Ogh-ind	al-il	ind	RI	1	1	-	-	-	-
Navicula pseudolanceolata Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-il	ind	U	-	-	1	1	-	-
Navicula radiosa Kuetzing	Ogh-ind	ind	ind	U	-	1	1	-	1	-
Navicula rhynchocephala Kuetzing	Ogh-ind	al-il	ind	U	7	-	-	-	-	-
Navicula seminulum Grunow	Ogh-ind	ind	ind	RB, S	-	1	2	1	6	-
Navicula senjoensis H. Kobayasi	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	1	-	-
Navicula slesvicensis Grunow	Ogh-ind	al-il	r-ph	T	-	1	-	-	-	-
Navicula subnympharum Hustedt	Ogh-ind	ind	ind		1	-	-	-	-	-
Navicula spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	1	-	3	3	-
Neidium ampliatum (Ehr.) Krammer	Ogh-ind	ind	l-ph		1	1	-	1	1	-
Neidium bisulcatum (Lagerst.) Cleve	Ogh-ind	ac-il	ind	RI	1	-	-	-	-	1
Neidium iridis (Ehr.) Cleve	Ogh-hob	ac-il	l-bi	O	-	1	1	-	-	-
Nitzschia amphibia Grunow	Ogh-ind	al-bi	ind	S	1	-	-	-	-	-
Nitzschia brevissima Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RB, U	-	1	-	-	-	-
Nitzschia linearis W. Smith	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	2	-	-	-	-	-
Nitzschia terrestris (Pet.) Hustedt	Ogh-ind	ind	ind	RI	3	2	2	1	-	-
Nitzschia spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	2	1	1
Pinnularia acrosphaeria W. Smith	Ogh-ind	al-il	l-ph	O	1	2	-	-	-	-
Pinnularia brevicostata Cleve	Ogh-ind	ac-il	ind		-	-	-	-	-	1
Pinnularia divergens W. Smith	Ogh-hob	ac-il	l-ph		-	-	-	1	1	1

表2　A地区G36北壁の珪藻分析結果(3)

種類	生態性 塩分	pH	流水	環境指標種	5	7	11	14	18	24
Pinnularia divergens var. decrescens (Grun.)Krammer	Ogh-hob	ac-il	ind		-	-	-	-	1	1
Pinnularia esoxiformis Fusey	Ogh-hob	ac-il	ind		1	-	-	-	-	-
Pinnularia esoxiformis var. eifeliana Krammer	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	1
Pinnularia gibba Ehrenberg	Ogh-ind	ac-il	ind	O	-	2	-	1	1	1
Pinnularia imperatrix Mills	Ogh-hob	ac-il	l-ph		-	-	-	-	-	1
Pinnularia karelica Cleve	Ogh-ind	ind	l-ph		-	-	-	-	-	1
Pinnularia krookii (Grun.)Cleve	Ogh-ind	ind	ind	RI	-	-	-	-	-	1
Pinnularia microstauron (Ehr.)Cleve	Ogh-ind	ac-il	ind	S	-	-	1	-	-	1
Pinnularia nodosa Ehrenberg	Ogh-hob	ac-il	l-ph	O	1	-	-	-	-	-
Pinnularia obscura Krasske	Ogh-ind	ind	ind	RA	-	-	1	1	-	-
Pinnularia schoenfelderi Krammer	Ogh-ind	ind	ind	RI	1	-	-	-	1	-
Pinnularia stomatophora (Grun.)Cleve	Ogh-ind	ac-il	l-ph		-	-	-	-	-	2
Pinnularia subcapitata Gregory	Ogh-ind	ac-il	ind	RB, S	-	2	1	-	-	-
Pinnularia subrupestris Krammer	Ogh-hob	ac-il	ind		-	1	-	-	-	-
Pinnularia substomatophora Hustedt	Ogh-hob	ac-il	l-ph		1	-	1	-	-	-
Pinnularia viridis (Nitz.)Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	O	-	2	-	-	1	1
Pinnularia spp.	Ogh-unk	unk	unk		2	-	-	-	-	-
Rhopalodia gibba (Ehr.)O.Muller	Ogh-ind	al-il	ind		1	6	-	-	1	1
Sellaphora bacillum (Ehr.)Mann	Ogh-ind	al-il	ind	U	-	-	1	-	-	-
Sellaphora laevissima (Kuetz.)Mann	Ogh-ind	ind	ind		2	-	-	1	-	-
Sellaphora pupula (Kuetz.)Mereschkowsky	Ogh-ind	ind	ind	S	1	-	-	1	3	-
Stauroneis agrestris var. inflata H.Kobayasi	Ogh-ind	ind	ind	RI	-	-	-	3	3	-
Stauroneis javanica (Grun.)Cleve	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	1
Stauroneis phoenicenteron (Nitz.)Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	O	-	-	-	-	1	-
Surirella angusta Kuetzing	Ogh-ind	al-il	r-bi	U	-	-	-	1	-	-
Surirella linearis W.Smith	Ogh-ind	ind	ind		-	-	-	2	1	-
Tabellaria fenestrata (Lyngb.)Kuetzing	Ogh-ind	ac-il	l-bi	O, T	1	-	-	-	-	-
Tabellaria flocculosa (Roth)Kuetzing	Ogh-hob	ac-il	l-bi	T	-	32	21	7	37	127
海水生種合計					0	0	0	0	0	0
海水－汽水生種合計					0	0	0	0	0	0
汽水生種合計					0	0	0	0	0	0
淡水－汽水生種合計					3	11	1	0	0	1
淡水生種合計					219	203	145	223	223	207
珪藻化石総数					222	215	222	223	223	208

凡例

H.R.:塩分濃度に対する適応性
- Ogh-Meh:淡水生種－汽水生種
- Ogh-ind:貧塩不定性種
- Ogh-hob:貧塩嫌塩性種
- Ogh-unk:貧塩不明種

pH:水素イオン濃度に対する適応性
- al-bi:真アルカリ性種
- al-il:好アルカリ性種
- ind :pH不定性種
- ac-il:好酸性種
- ac-bi:真酸性種
- unk :pH不明種

C.R.:流水に対する適応性
- l-bi:真止水性種
- l-ph:好止水性種
- ind :流水不定性種
- r-ph:好流水性種
- r-bi:真流水性種
- unk :流水不明種

環境指標種群

K:中～下流性河川指標種, N:湖沼沼沢湿地指標種, O:沼沢湿地付着生種,
P:高層湿原指標種（以上は安藤, 1990）
S:好汚濁性種, U:広域適応性種, T:好清水性種（以上はAsai, K. & Watanabe, T., 1995）
R:陸生珪藻（RA:A群, RB:B群, RI:未区分陸生珪藻、伊藤・堀内, 1991）

表3　H地区H－1の珪藻分析結果

種類	生態性 塩分	pH	流水	環境指標種	1	2	3	4	5	7	9
Aulacoseira crenulata (Ehr.)Krammer	Ogh-ind	ind	l-ph		-	-	1	-	1	-	-
Aulacoseira italica var. valida (Grun.)Sim.	Ogh-ind	al-il	l-ph		-	2	-	-	-	-	-
Aulacoseira spp.	Ogh-unk	unk	unk		1	-	-	3	3	-	-
Caloneis spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	1	-	-	-	-	-
Cocconeis placentula (Ehr.)Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	U	-	-	-	-	-	1	-
Cocconeis spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	1	-	-	-
Cymbella subaequalis Grunow	Ogh-ind	al-il	l-ph	O, T	1	-	-	-	-	-	-
Eunotia praerupta var. bidens Grunow	Ogh-hob	ac-il	l-ph	RB, O	-	-	-	1	1	-	-
Eunotia spp.	Ogh-unk	unk	unk		1	-	1	1	-	-	-
Fragilaria capucina Desmazieres	Ogh-ind	al-il	ind	T	-	1	-	-	-	-	-
Fragilaria construens fo. venter (Ehr.)Hust.	Ogh-ind	al-il	l-ph	S	-	-	-	1	1	-	-
Fragilaria pinnata Ehrenberg	Ogh-ind	al-il	l-ph	S	-	-	1	-	-	-	-
Fragilaria ulna (Nitzsch)Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-il	ind		1	-	-	-	-	-	-
Gomphonema pumilum (Grun.)Reichardt & Lange-B.	Ogh-ind	al-il	ind		1	-	-	-	-	-	-
Hantzschia amphioxys (Ehr.)Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA, U	11	9	2	8	1	2	1
Navicula contenta Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA, T	1	-	-	-	-	-	-
Navicula gallica var. perpusilla (Grun.)Lange-B.	Ogh-ind	ind	ind	RI	1	-	-	-	-	-	-
Navicula hambergii Hustedt	Ogh-ind	ind	ind	RI	1	-	-	-	-	-	-
Navicula ignota Krasske	Ogh-ind	ind	ind	RB	-	1	-	-	-	-	-
Navicula ignota var. palustris (Hust.)Lund	Ogh-ind	ind	ind	RB	2	-	-	-	-	-	-
Navicula mutica Kuetzing	Ogh-ind	al-il	ind	RA, S	5	1	5	4	1	-	1
Navicula tantula Hustedt	Ogh-ind	ind	ind	RI, U	2	-	-	-	-	1	-
Pinnularia borealis Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	RA	-	4	-	-	-	-	-
Pinnularia spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	1	-	-	-
Stauroneis obtusa Lagerstedt	Ogh-ind	ind	ind	RB	-	-	-	1	-	-	-
海水生種合計					0	0	0	0	0	0	0
海水－汽水生種合計					0	0	0	0	0	0	0
汽水生種合計					0	0	0	0	0	0	0
淡水－汽水生種合計					0	0	0	0	0	0	0
淡水生種合計					28	19	10	21	8	4	2
珪藻化石総数					28	19	10	21	8	4	2

凡例

H.R.:塩分濃度に対する適応性
- Ogh-ind:貧塩不定性種
- Ogh-hob:貧塩嫌塩性種
- Ogh-unk:貧塩不明種

pH:水素イオン濃度に対する適応性
- al-il:好アルカリ性種
- ind　:pH不定性種
- ac-il:好酸性種
- unk　:pH不明種

C.R.:流水に対する適応性
- l-ph:好止水性種
- ind :流水不定性種
- unk :流水不明種

環境指標種群

O:沼沢湿地付着生種（安藤，1990）

S:好汚濁性種，U:広域適応性種，T:好清水性種（以上はAsai, K. & Watanabe, T., 1995）

R:陸生珪藻（RA:A群，RB:B群，RI:未区分陸生珪藻、伊藤・堀内，1991）

耐乾性の強い群種であるA群（伊藤・堀内，1991）の *Hantzschia amphioxys* が65%と優占し、同じくA群の *Navicula mutica* を伴う。

試料番号25は、陸生珪藻と水生珪藻とが半々づつ産出する。陸域にも水域にも生育する陸生珪藻B群（伊藤・堀内，1991）の *Pinnularia lata* が35%と優占し、A群の *Hantzschia amphioxys* を伴う。優占数種の *Pinnularia lata* は、北アルプス地方に一般的な種で冷水や好気的な場所を好み、とりわけ山地の水域など電解質含量の少ない所に分布する。また、急流の中に生えたコケやさらさらと一面に水が流れる岸壁に大量に多産する種でもある（K.Krammer and H.Lange-Bertalot, 1986)。水生珪藻は特に多産するものがないが、沼沢湿地付着生種群（安藤,1990）の *Pinnularia viridis*、好止水性の *Aulacoseira ambigua*、*A. Italica* などを伴う。

試料番号20～16は、貧塩不定性種（少量の塩分であれば耐えられる種)、真＋好アルカリ性種（アルカリ性水域に生育する種)、真＋好止水性種（止水域に生育する種）が優占する。好止水性で湖沼沼沢湿地指標種群（安藤，1990）の一種の *Aulacoseira ambigua*、湖沼浮遊性種群（安藤，1990）の一種の *Aulacoseira granulata*、好止水性の *Aulacoseira italic*a などが10～40%と多産する。

試料番号13・9は、pH 不定性種（中性水域に生育する種)、真＋好流水性種（流水粋に生育する種）が優占する。中～下流性河川指標種群（安藤，1990）の一種の *Achnanthes lanceolata* が30～50%と優占し、同じく中～下流性河川指標種群の一種の *Meridion circulae* var. *constrictum*、流水不定性の *Gomphoeme parvulum* を伴う。

試料番号5は、水生珪藻が優占するが、陸生珪藻も約40%産出する。水生珪藻では塩分耐性の広い広域塩性種の *Phopalodia gibberula*、陸生珪藻では未区分陸生珪藻（伊藤・堀内，1991）の *Diploneis yatukaensis*、A群の *Hantzschia amphioxys* が約20%産出する。

試料番号1も水生珪藻と陸生珪藻の比率は、前試料と同じであるが産出種が異なる。水生珪藻は、沼沢湿地付着生種群の一種の *Eunotia pectinalis* var. *undulata*、好止水性の *Aulacoseira italica*、*Fragilaria construens* fo. *venter*、*Tabellaria flocculasa* が約10%産出する。陸生珪藻は、陸生珪藻のB群の *Eunotia praerupta*、*E. praerupta* var. *bidens* が10～20%産出する。これらのB群は、沼沢湿地付着生種群でもある。なお、耐乾性の高い陸生珪藻A群は少ない。

〈A区G36北壁〉

全ての試料から、水域に生育する水生の珪藻化石が豊富に産出する。完形殻の出現率は、いずれも80%前後と高い。産出分類群数は、25属135種類である。珪藻化石群集は、試料ごとに違いがみられる。

試料番号24は、貧塩嫌塩種（少量の塩分にも耐えられない種)、真＋好酸性種（酸性水域に生育する種)、真＋好止水性種が優占する。好酸性で真止水性（生育が止水域に限られる種）の *Tabellaria flocculosa* が、60%と優占することを特徴とする。

試料番号18は、貧塩不定性種、真＋好アルカリ性種、真＋好止水性種が優占する。好アルカリ性で好止水性の *Aulacoseira italica* が30%と優占し、真流水性で中～下流性河川指標種群の一種の *Meridion circulae*、好酸性で真止水性の *Tabellaria flocculasa* が15～20%と多産する。

試料番号14は、真＋好流水性種が優占する。中～下流性河川指標種群の *Meridion circulae* が約45%と優占し、同じく中～下流性河川指標種群の一種の *Achnanthes lanceolata*、*Diatoma hyemale* var. *mesodon* を伴う。

試料番号11になると、再び真＋好止水性種が優占する。好酸性で好止水性の *Aulacoseira subarctica* が35%と優占し、好アルカリ性で好止水性の *Aulacoseira italica*、好酸性で真止水性の *Tabel-*

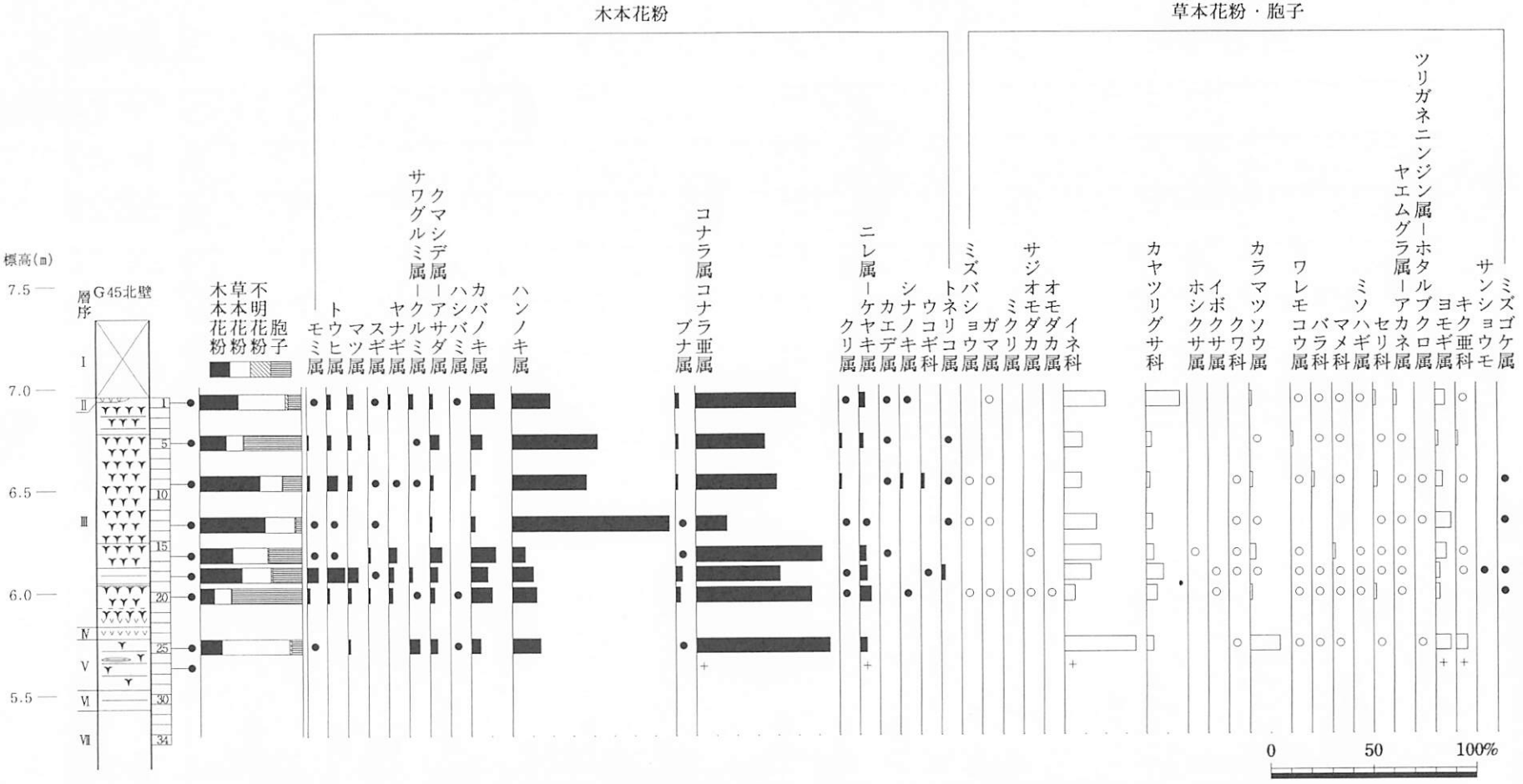


図5　A地区G45北壁の主要花粉化石群集の層位分布

出現率は、木本花粉は木本花粉化石総数、草本花粉・胞子は総数より不明花粉を除く数を基数として百分率で算出した。なお、○●は1％未満、＋は木本花粉100個体未満の試料について検出した種類を示す。

表4　A地区G45北壁の花粉分析結果

種類 / 試料番号	1	5	9	13	16	18	20	25	27
木本花粉									
モミ属	1	2	3	1	2	13	4	1	−
トウヒ属	5	4	11	1	2	20	3	−	−
マツ属単維管束亜属	1	−	−	−	−	2	−	−	−
マツ属（不明）	6	4	5	−	−	10	5	3	−
スギ属	1	2	2	2	3	1	3	−	−
ヤナギ属	3	−	1	−	9	6	5	−	−
サワグルミ属－クルミ属	5	1	2	−	−	4	1	11	−
クマシデ属－アサダ属	4	9	4	4	13	9	6	8	−
ハシバミ属	1	−	−	−	−	−	1	1	−
カバノキ属	26	11	5	6	26	19	27	10	−
ハンノキ属	42	80	77	204	14	24	31	30	−
ブナ属	5	3	3	1	2	8	6	2	−
コナラ属コナラ亜属	107	64	83	40	131	93	146	139	2
クリ属	1	3	3	2	−	1	1	−	−
ニレ属－ケヤキ属	7	4	−	2	7	9	15	8	1
カツラ属	−	−	−	−	−	−	1	−	−
キハダ属	−	1	−	−	2	−	−	−	−
ウルシ属	−	−	−	−	−	−	1	−	−
カエデ属	2	1	2	−	1	−	−	−	−
トチノキ属	−	−	−	−	−	1	−	−	−
ブドウ属	−	−	−	−	−	−	1	−	−
シナノキ属	1	−	3	−	−	−	1	−	−
ウコギ科	−	−	4	−	−	1	−	−	−
トネリコ属	−	1	2	1	−	5	−	−	−
草本花粉									
ミズバショウ属	−	−	3	1	−	−	1	−	−
ガマ属	1	−	1	1	−	−	4	−	−
クリ属	−	−	−	−	−	−	5	−	−
サジオモダカ属	−	−	−	−	1	−	3	−	−
オモダカ属	−	−	−	−	−	−	2	−	−
イネ科	114	64	29	64	116	70	91	338	3
カヤツリグサ科	91	18	6	12	23	45	91	31	−
ホシクサ属	−	−	−	−	1	−	−	−	−
イボクサ属	−	−	−	−	−	1	1	−	−
ユリ科	−	−	−	−	−	−	−	4	−
クワ科	−	−	2	1	1	2	−	1	−
ギシギシ属	−	1	2	−	−	−	−	−	−
サナエタデ節－ウナギツカミ節	−	−	−	−	−	1	3	−	−
タデ属	−	−	−	−	1	1	−	−	−
アカザ科	−	−	−	1	1	−	−	−	−
ナデシコ科	−	−	−	−	−	−	−	2	−
カラマツソウ属	7	6	5	3	19	2	20	141	−
キンポウゲ科	−	−	1	−	1	−	−	1	−
ユキノシタ科	−	−	1	−	−	1	−	1	−
ワレモコウ属	1	8	1	−	1	1	1	3	−
バラ科	1	2	4	−	−	3	1	2	−
マメ科	2	1	1	−	10	4	1	1	−
ミソハギ属	1	−	−	−	5	1	2	−	−
アリノトウグサ属	−	−	−	−	−	1	1	−	−
セリ科	7	2	6	1	3	5	23	1	−
シソ科	−	−	−	−	−	−	1	1	−
ヤエムグラ属－アカネ属	8	1	1	1	5	1	2	−	−
オミナエシ属	−	1	−	−	1	−	−	−	−
ツリガネニンジン属－ホタルブクロ属	−	−	1	1	−	−	−	4	−
ツルニンジン属	−	−	−	−	−	−	3	−	−
ヨモギ属	26	10	12	31	34	12	36	71	3
キク亜科	4	8	2	−	1	3	−	53	1
不明花粉	15	3	2	5	8	7	11	19	−
シダ類・コケ類胞子									
サンショウモ	−	−	−	−	−	1	−	−	−
ミズゴケ属	−	−	1	1	−	3	1	−	−
他の胞子	78	422	67	24	213	156	1265	108	8
合計									
木本花粉	218	190	210	264	212	226	258	213	3
草本花粉	263	122	78	117	224	154	292	655	7
不明花粉	15	3	2	5	8	7	11	19	0
シダ類・コケ類胞子	78	422	68	25	213	160	1266	108	8
総計（不明を除く）	559	734	356	406	649	540	1816	976	18

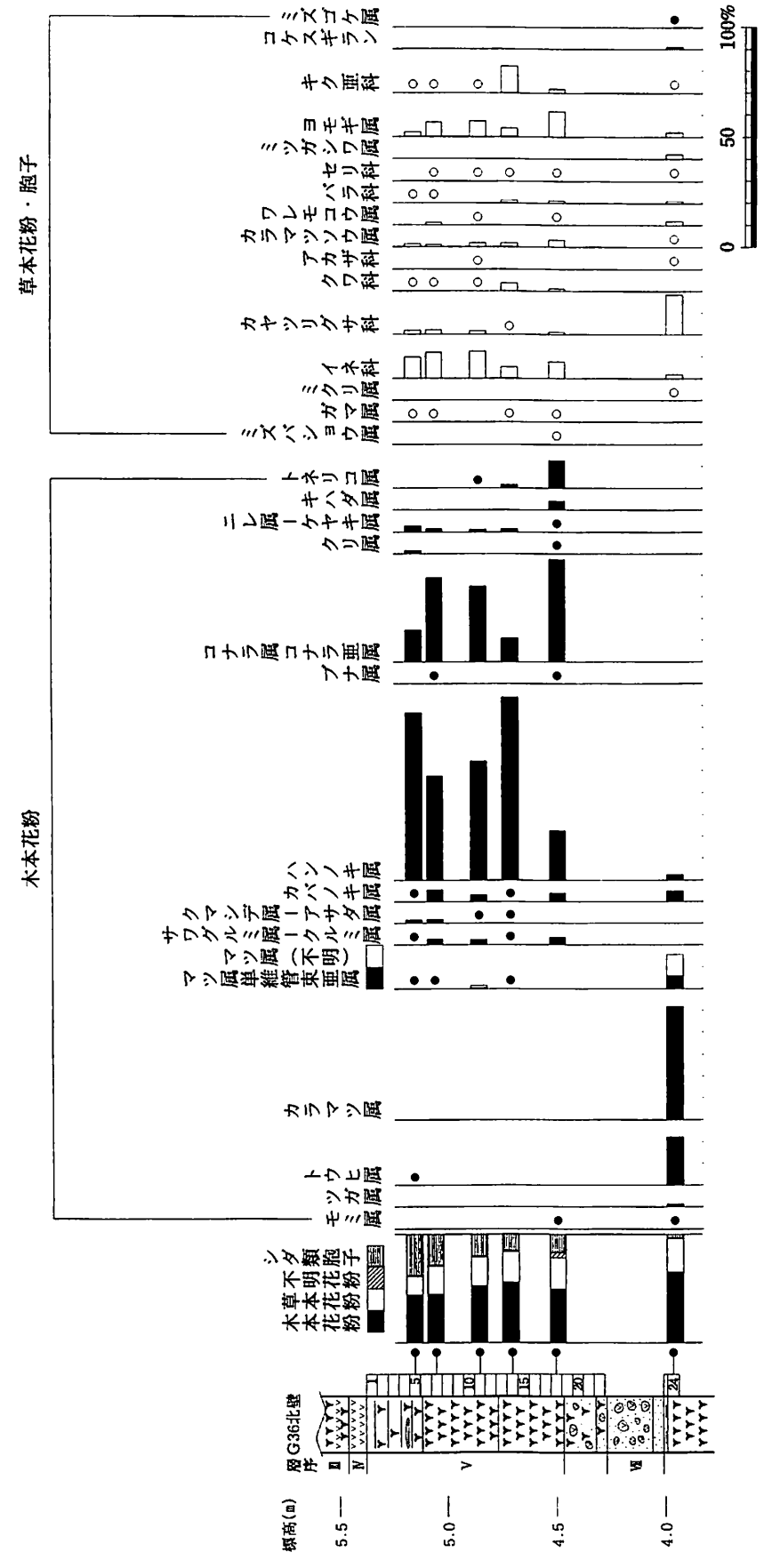


図6　A地区G36北壁の主要花粉化石群集の層位分布
出現率は、木本花粉は木本花粉化石総数、草本花粉・シダ類胞子は総数より不明花粉を除く数を基数として百分率で算出した。なお、○●は1％未満を示す。

表5　A地区G36北壁の花粉分析結果

種類 ＼ 試料番号	5	7	11	14	18	24
木本花粉						
モミ属	－	－	－	－	1	3
ツガ属	－	－	－	－	－	4
トウヒ属	1	－	－	－	－	68
カラマツ属	－	－	－	－	－	159
マツ属単維管束亜属	－	1	1	－	－	18
マツ属（不明）	2	1	3	1	－	30
スギ属	－	－	1	－	1	－
ヤナギ属	－	－	－	－	1	1
サワグルミ属－クルミ属	1	6	6	2	7	－
クマシデ属－アサダ属	4	4	1	2	－	－
ハシバミ属	1	1	－	－	－	－
カバノキ属	1	12	8	1	8	15
ハンノキ属	188	103	140	186	47	8
ブナ属	－	1	－	－	2	－
コナラ属コナラ亜属	36	84	90	24	98	－
クリ属	4	－	－	－	1	－
ニレ属－ケヤキ属	7	3	3	3	2	－
エノキ属－ムクノキ属	－	－	－	－	1	－
キハダ属	－	－	－	－	8	－
ウルシ属	－	－	－	－	1	－
カエデ属	－	－	－	－	－	1
ツタ属	－	－	－	－	2	－
シナノキ属	－	－	1	－	－	－
ウコギ科	－	－	1	－	1	－
トネリコ属	－	－	2	3	26	－
草本花粉						
ミズバショウ属	－	－	－	－	2	－
ガマ属	1	1	－	1	2	－
ミクリ属	－	－	－	－	－	2
イネ科	54	56	59	20	30	8
カヤツリグサ科	10	11	8	1	5	86
アヤメ科近似種	－	－	－	－	1	1
クワ科	1	4	1	14	4	－
ギシギシ属	－	－	－	－	－	1
サナエタデ節－ウナギツカミ節	1	－	－	－	－	－
タデ属	－	－	－	1	－	－
アカザ科	－	－	1	－	－	3
ナデシコ科	－	－	－	－	－	1
カラマツソウ属	8	6	9	7	13	2
キンポウゲ科	－	－	1	－	－	4
ワレモコウ属	－	5	1	－	1	9
バラ科	3	1	－	4	4	5
マメ科	－	1	3	－	3	－
ツリフネソウ属	－	－	－	1	－	－
ミソハギ属	1	－	－	－	－	－
アカバナ属－ミズユキノシタ属	－	1	－	－	－	－
セリ科	－	1	2	1	1	3
ミツガシワ属	－	－	－	－	－	10
ヤエムグラ属－アカネ属	－	2	5	－	－	－
オミナエシ属	－	1	－	－	－	－
ゴキヅル属	－	1	－	－	－	－
ヨモギ属	12	31	35	15	46	10
キク亜科	2	2	4	48	7	2
タンポポ亜科	－	－	－	－	1	－
不明花粉	1	1	2	1	20	2
シダ類・コケ類胞子						
コケスギラン	－	－	－	－	－	5
ミズゴケ属	－	－	－	－	－	2
他の胞子	215	140	101	65	71	8
合　計						
木本花粉	245	216	257	222	207	307
草本花粉	93	124	129	113	120	147
不明花粉	1	1	2	1	20	2
シダ類・コケ類胞子	215	140	101	65	71	15
総計（不明を除く）	553	480	487	400	398	469

laria flocculosa、中～下流性河川指標種群の一種の *Meridion circulae* が10～20%と多産する。

試料番号7は、貧塩不定種が優占するが、酸性～アルカリ性種、流水～止水性種が高い割合で混在する。好酸性で真止水性の *Tabellaria flocculosa*、中～下流性河川指標種群の一種の *Meridion circulae*、*Achnanthes lanceolata* が10～15%産出する。

試料番号5の生態的特徴も、前試料と同様である。中～下流性河川指標種群の一種と *Achnanthes lanceolata*、湖沼沼沢湿地指標種群の一種の *Aulacoseria distans* が約20%と産出し、流水不定性の *Gomphonema parvulum* を伴う。

〈H地区H－1〉

試料番号1～9は、珪藻化石の産出は非常に少なく、数個体～数十個体産出しただけである。少ないながらも産出した種は、*Hantzschia amphioxys*、*Navicula mutica* など陸生珪藻が多く占める傾向がある。

(2)　花粉化石

結果を表4～6、図5・6に示す。以下に、各地点毎に産状を述べる。

〈A地区G45北壁〉

試料番号27では、花粉化石がほとんど検出されない。それ以外の試料番では、比較的良好に花粉化石が検出される。木本花粉では、ハンノキ属・コナラ属コナラ亜属が多産し、トウヒ属・マツ属・ヤナギ属・クマシデ属－アサダ属・カバノキ属・ニレ属－ケヤキ属などを伴う。これらの種類の中でハンノキ属は試料番号13～5で多産し、特に試料番号13で優占する。

草本花粉・胞子では、イネ科が比較的多く検出される傾向にあり、ミズバショウ属・ガマ属・カヤツリグサ科・クワ科・カラマツソウ属・ワレモコウ属・セリ科・ヨモギ属・ミズゴケ属などが検出される。

〈A地区G36北壁〉

花粉化石群集は、試料番号24と試料番号18～5で異なる。試料番号24では、カラマツ属が最も高率に出現し、次いでトウヒ属・マツ属（単維管束亜属を含む）が多産する。その他の種類は、出現率が極めて低率である。試料番号18～5になると、カラマツ属・トウヒ属・マツ属などがほとんど検出されなくなり、ハンノキ属・コナラ亜属が多産する。この内、ハンノキ属は、試料番号14～5で著し

表6　H地区H－1の花粉分析結果

種類 ＼ 試料番号	1	2	3	4	5	7	9
木本花粉							
マツ属	－	－	2	－	－	－	－
ハンノキ属	－	－	－	－	－	－	1
草本花粉							
イネ科	－	－	－	－	－	1	－
カラマツソウ属	－	－	－	－	－	1	1
セリ科	－	1	1	－	－	－	－
ヨモギ属	－	－	3	－	1	1	3
キク亜科	－	－	－	－	－	1	－
タンポポ亜科	－	－	－	－	－	1	－
不明花粉	－	－	－	－	－	1	－
シダ類胞子							
シダ類胞子	2	－	2	2	1	4	11
合計							
木本花粉	0	0	2	0	0	0	1
草本花粉	0	1	4	0	1	5	4
不明花粉	0	0	0	0	0	1	0
シダ類胞子	2	0	2	2	1	4	11
総計（不明を除く）	2	1	8	2	2	9	16

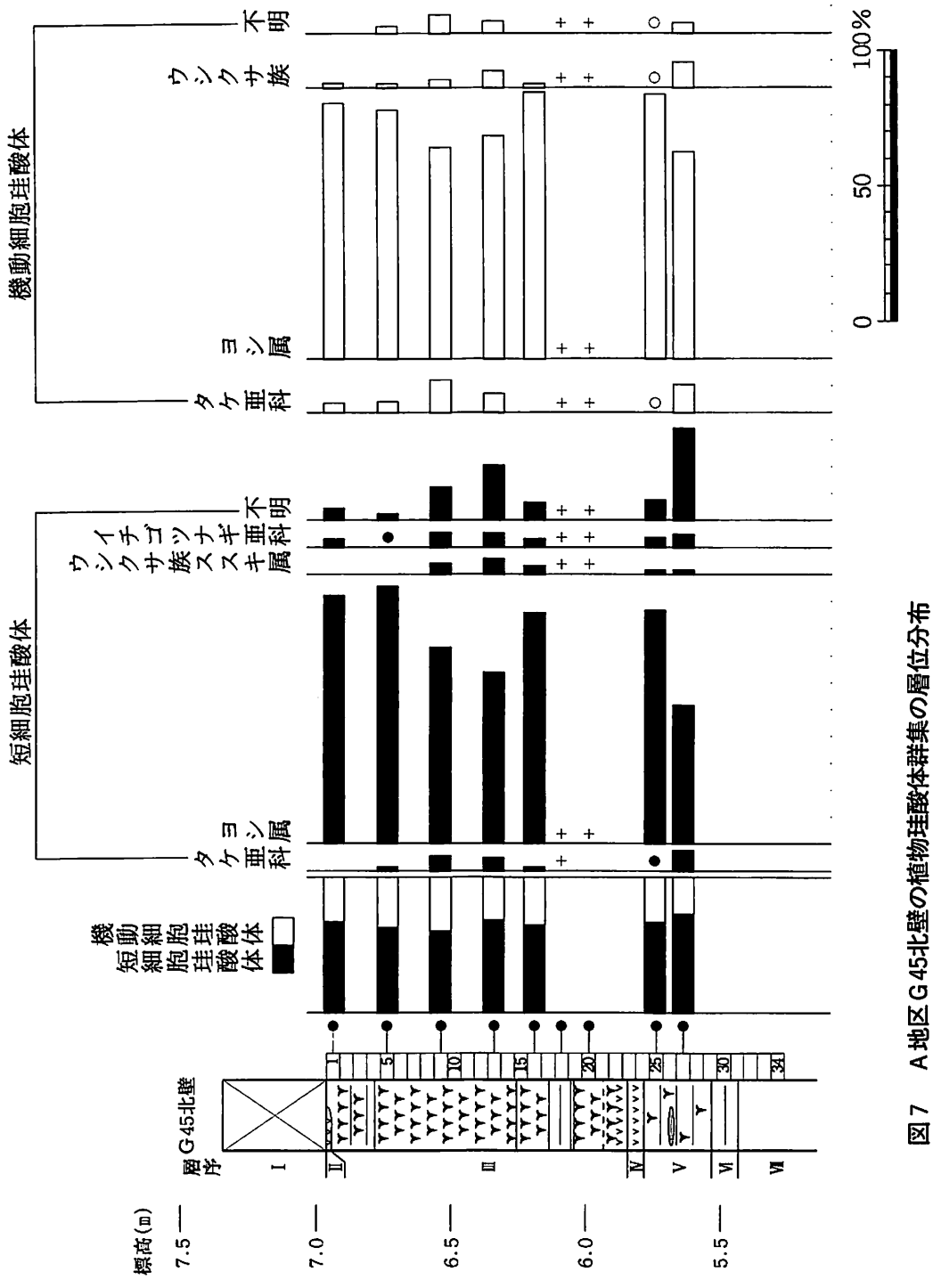


図7　A地区G45北壁の植物珪酸体群集の層位分布

出現率は、イネ科葉部短細胞珪酸体、イネ科葉身機動細胞珪酸体の総数を基数として百分率で算出した。なお、●○は1％未満の種類、＋はイネ科葉部短細胞珪酸体で200個未満、イネ科葉身機動細胞珪酸体で100個未満の試料で検出された種類を示す。

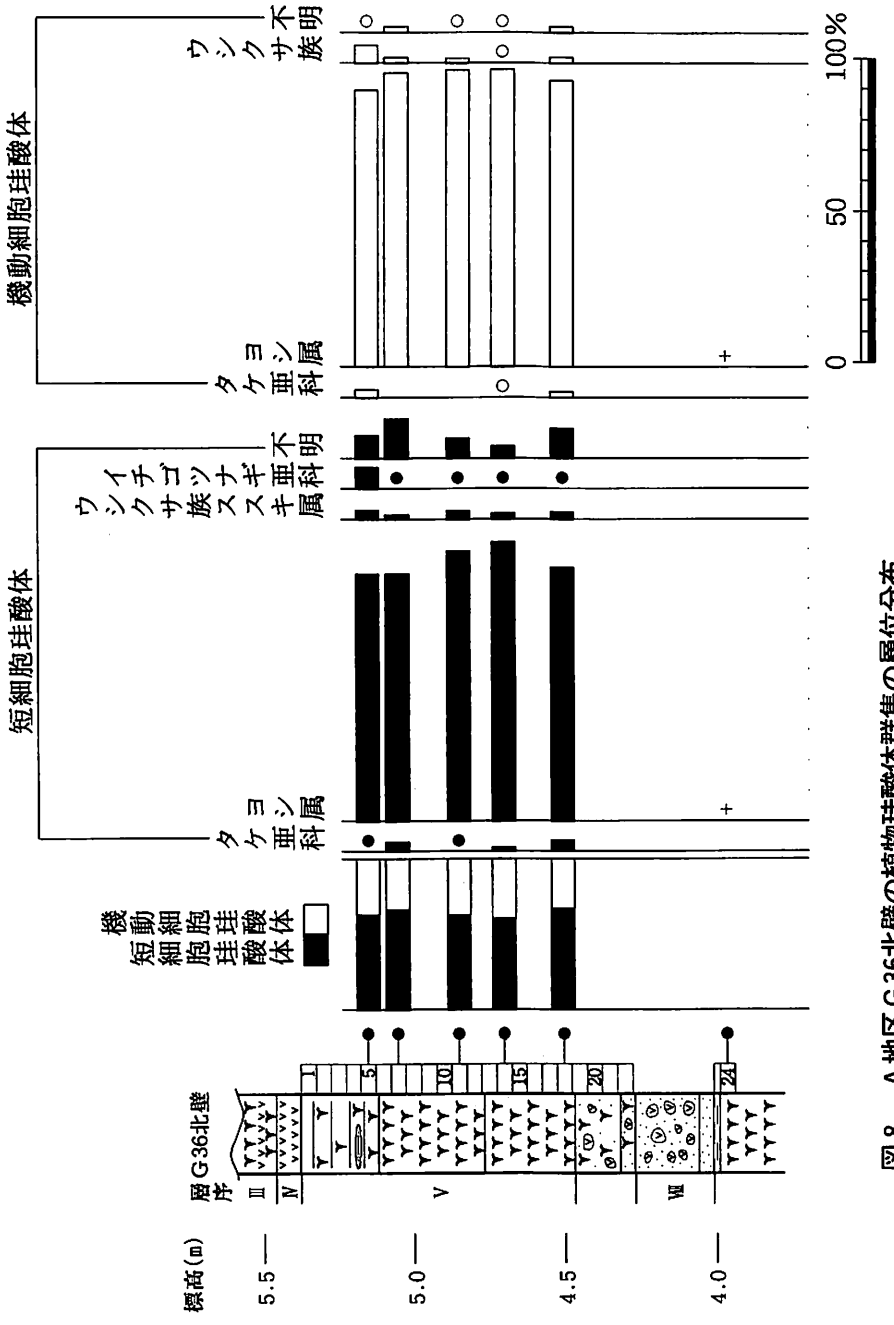


図8　A地区G36北壁の植物珪酸体群集の層位分布
出現率は、イネ科葉部短細胞珪酸体、イネ科葉身機動細胞珪酸体の総数を基数として百分率で算出した。なお、●○は1％未満の種類、＋はイネ科葉部短細胞珪酸体で200個未満、イネ科葉身機動細胞珪酸体で100個未満の試料で検出された種類を示す。

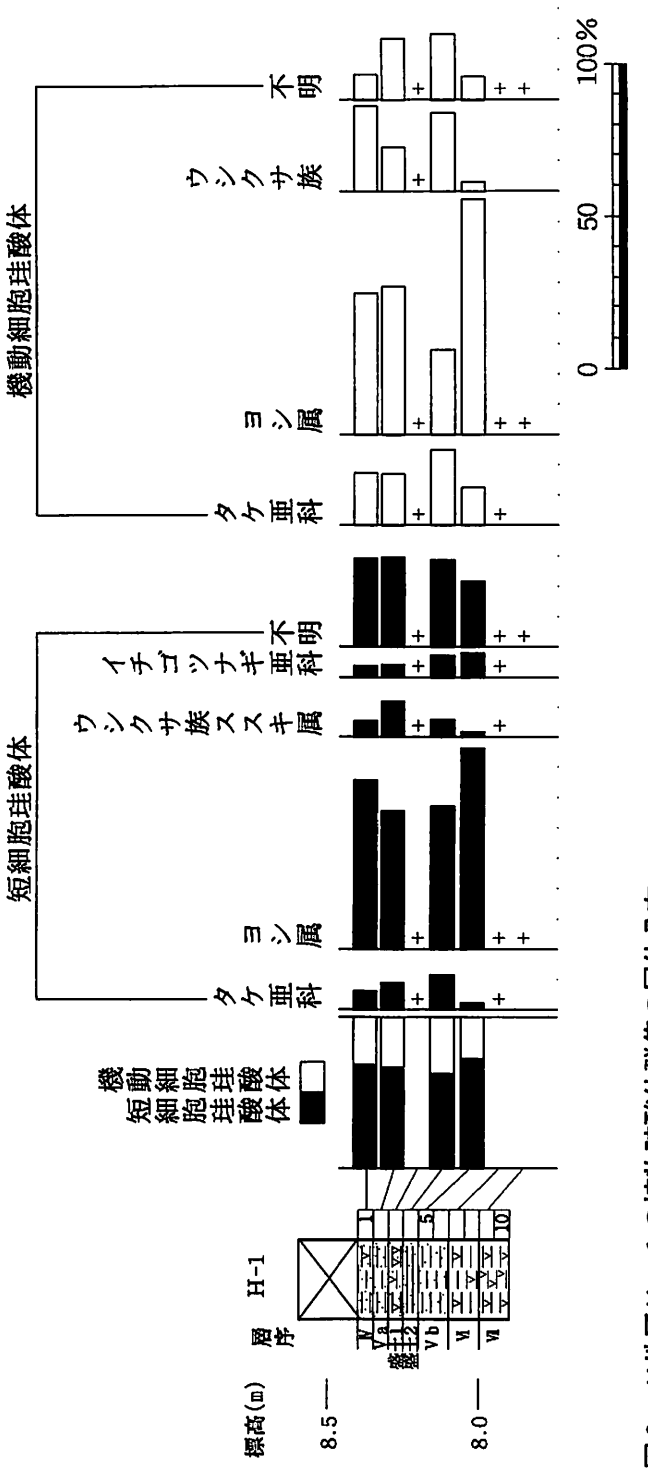


図9　H地区H－1の植物珪酸体群集の層位分布

出現率は、イネ科葉部短細胞珪酸体、イネ科葉身機動細胞珪酸体の総数を基数として百分率で算出した。
なお、＋はイネ科葉部短細胞珪酸体で200個未満、イネ科葉身機動細胞珪酸体で100個未満の試料で検出された種類を示す。

表7　A地区G45北壁の植物珪酸体分析結果

種類 / 試料番号	1	5	9	13	16	18	20	25	27
イネ科葉部短細胞珪酸体									
タケ亜科	-	3	11	12	3	2	-	2	22
ヨシ属	203	196	148	156	194	47	17	220	148
ウシクサ族ススキ属	-	-	8	14	7	2	4	4	5
イチゴツナギ亜科	7	1	11	13	7	2	4	9	14
不明キビ型	7	1	10	28	12	4	8	15	55
不明ヒゲシバ型	2	4	7	12	2	-	2	3	26
不明ダンチク型	1	-	8	10	1	1	-	1	17
イネ科葉身機動細胞珪酸体									
タケ亜科	4	5	16	8	-	2	1	1	11
ヨシ属	101	111	103	93	119	14	15	123	81
ウシクサ族	2	2	4	7	2	1	1	1	10
不明	-	3	9	5	-	1	3	1	4
合計									
イネ科葉部短細胞珪酸体	220	205	203	245	226	58	35	254	287
イネ科葉身機動細胞珪酸体	107	121	132	113	121	18	20	126	106
総計	327	326	335	358	347	76	55	380	393

表8　A地区G36北壁の植物珪酸体分析結果

種類 / 試料番号	5	7	11	14	18	24
イネ科葉部短細胞珪酸体						
タケ亜科	2	7	1	3	8	-
ヨシ属	173	182	193	202	181	1
ウシクサ族ススキ属	6	3	6	4	5	-
イチゴツナギ亜科	15	2	2	1	1	-
不明キビ型	10	18	9	4	11	-
不明ヒゲシバ型	6	10	3	3	7	-
不明ダンチク型	-	1	2	2	3	-
イネ科葉身機動細胞珪酸体						
タケ亜科	3	-	-	1	2	-
ヨシ属	113	111	126	141	100	1
ウシクサ族	7	2	2	1	2	-
不明	1	2	1	1	2	-
合計						
イネ科葉部短細胞珪酸体	212	223	216	219	216	1
イネ科葉身機動細胞珪酸体	124	115	129	144	106	1
総計	336	338	345	363	322	2

表9　H地区H－1の植物珪酸体分析結果

種類 / 試料番号	1	2	3	4	5	7	9
イネ科葉部短細胞珪酸体							
タケ亜科	18	21	5	24	6	11	-
ヨシ属	159	108	10	98	181	25	2
ウシクサ族ススキ属	15	28	4	12	5	1	-
イチゴツナギ亜科	11	10	4	15	22	8	-
不明キビ型	50	33	4	34	41	8	3
不明ヒゲシバ型	19	22	3	11	16	3	-
不明ダンチク型	14	15	4	15	2	2	1
イネ科葉身機動細胞珪酸体							
タケ亜科	23	20	1	31	13	5	-
ヨシ属	62	58	2	35	81	3	2
ウシクサ族	37	17	4	32	3	-	-
不明	11	24	3	27	8	4	3
合計							
イネ科葉部短細胞珪酸体	286	237	34	209	273	58	6
イネ科葉身機動細胞珪酸体	133	119	10	125	105	12	5
総計	419	356	44	334	378	70	11

く高率に出現する。この他に、サワグルミ属ークルミ属・カバノキ属・ニレ属ーケヤキ属などが検出される。また、試料番号18では、キハダ属・トネリコ属が特徴的に検出される。

草本花粉・胞子の出現傾向も、試料番号24と試料番号18～5で異なる。

試料番号24では、カヤツリグサ科が多く検出され、イネ科・ワレモコウ属・ミツガシワ属・ヨモギ属・コケスギラン・ミズゴケ属を伴う。これに対して、試料番号18～5では、イネ科・ヨモギ属が比較的多く検出され、この他に、ガマ属・カラマツソウ属・キク亜科などを伴う。

〈H地区H－1〉

花粉化石は、7試料とも検出個体数・種類数ともに少ない。また、わずかに検出される化石も保存状態が悪く、外膜が溶けて薄くなっていたり、壊れている。

(3)　植物珪酸体分析

結果を表7～9、図7～9に示す。以下に、各地点毎に産状を述べる。

〈A地区G45北壁〉

各試料から植物珪酸体が産出するが、試料番号20・18では検出個数が少ない。植物珪酸体群集はヨシ属が優占し、タケ亜科・ウシクサ族・イチゴツナギ亜科をわずかに伴う。

〈A地区G36北壁〉

試料番号24では、ヨシ属がわずかに認められるに過ぎない。試料番号18～5の植物珪酸体群集はヨシ属が優占し、タケ亜科・ウシクサ族・イチゴツナギ亜科などをわずかに伴う。

〈H地区H－1〉

試料番号9・7・3では、植物珪酸体の検出個体数が少ない。植物珪酸体の検出状況は、試料番号5と試料番号4～1で若干異なる。試料番号5ではヨシ属が優占し、この他にタケ亜科・ウシクサ族・イチゴツナギ亜科なども認められる。試料番号4～1になると、引き続きヨシ属が多産するものの出現率が低下する。これにかわり、タケ亜科・ウシクサ族の出現率がやや増加する。

4．考察

(1)　森林植生

主な木本花粉の出現傾向から、大きく2つの群集組成に分けることができる。

1つは、G36北壁Ⅷ層の下位に認められる泥炭層がこれに相当し、カラマツ属を中心としてトウヒ属・マツ属など針葉樹に由来する花粉が多産することが特徴である。本層準では、約18700年前の放射性炭素年代値が得られている。この時期は、一般に言われる最終氷河期最盛期を過ぎているが、まだ縄文海進にみられる急速な温暖化が始まる前の時期にあたる。

もう1つは、Ⅴ層～Ⅲ層がこれに相当し、ハンノキ属・コナラ亜属など落葉広葉樹に由来する花粉が多産する群集である。本層準は、縄文時代早・前期の遺物包含層とTa-aに挟まれる。このような花粉化石の出現傾向に基づいて、本遺跡周辺の森林植生の変遷について検討を加える。

今からおおよそ18700年前、本遺跡の周辺は、カラマツ属を主体としトウヒ属やマツ属単維管束亜属などが分布するような、亜高山帯性の針葉樹から構成される植生であったと考えられる。石狩低地で行われた調査によると、約40000年前以降になると針葉樹からなる森林が存在しており、特に25000～12000年間にカラマツ属を中心としてトウヒ属・マツ属などが非常に優勢な時期であったことが明らかにされている（五十嵐・熊野，1981；星野ほか、1985；矢野・星野，1990など）。また、星野ほか（1985）や山田（1998）は、最終氷期末期の低地の堆積物中からグイマツの遺体が検出されると報告している。また、ユカンボシC15遺跡で実施した自然科学分析の結果でも、ほぼ同時期にカラマツ

属が低地に生育していたことが推定された（パリノ・サーブヴェイ株式会社，1999)。本遺跡の付近も、これらの地域と同様な植生が存在しており、現在の千島列島などにみられるグイマツからなる湿地林と類似した景観が広がっていたと推定される。

Ⅴ層より上位になると花粉化石群集は、針葉樹に由来する花粉がほとんど検出されなくなり、落葉広葉樹に由来する花粉が多産する。これより、縄文時代早期以降になると、周辺の森林植生は大きく変化していたとみられる。花粉化石群集の中で多産するハンノキ属は、しばしば塊状で検出される。このような検出状況は、堆積域付近あるいはその近隣に生育していたことを示唆する。よって、調査地の付近には、ハンノキ湿地林が成立していたと思われる。この他にも、クマシデ属－アサダ属、カバノキ属、ニレ属－ケヤキ属、キハダ属、トネリコ属なども、河畔や湿地などに生育する種類を含む分類群であることから、これらの種類も河道周辺の植生を反映しているのであろう。一方、後背山地などは、コナラ亜属を中心とした落葉広葉樹林が成立していたと思われる。これまでに行われた植生史研究によると、北海道低地帯では最終氷期最盛期以前から発達していた亜寒帯性針葉樹林が衰退した後、一時的にカバノキ属林が成立しその後コナラ亜属を中心とする冷温帯性の落葉広葉樹林が成立することが明らかにされている（例えば、塚田・中村，1986；星野，1998)。本遺跡周辺で成立していたコナラ亜属を中心とする落葉広葉樹林も、このような地域的な植生変化に連動したものと考えられる。

(2)　緩斜面部から低地部の環境変化

最終氷期最盛期頃は、寒冷・乾燥化により浸食基準面が低下し、河川による浸食作用が活発化した時期に相当しており、各地で谷地形が形成された。Ⅷ層の下位に認められる泥炭層は、このような地形に堆積した最終氷期最盛期以降の堆積物と推定される。本層準では、貧塩嫌塩種、真＋好酸性種、真＋好止水性種が優占する。これより、低地部は水質が貧栄養で弱酸性を呈した、池沼のような比較的安定した水域であったと推定され、このような堆積環境下で泥炭が形成されたと考えられる。また、周辺にはカヤツリグサ科を中心として、ミクリ属・ワレモコウ属・バラ科・ミツガシワ属・ヨモギ属などの草本類が生育していたのであろう。また、この他にもコケ植物のミズゴケ類や周氷河地域の岩礁地など、植生が被覆する限界の場所に生育するシダ類であるコエケスギランも分布していたとみられる。

温暖化が進むと、河川の活動が活発になったとみられる。En-a を含む砂礫層（Ⅷ層）は、このような不安定な環境下で堆積したのであろう。やがて、縄文時代早・前期以降になると、標高の低い場所では腐植質の堆積物（Ⅴ層の下位層およびⅤ層）が堆積する。本層準の珪藻化石群集は、下位から流水性種が多産する群集、止水性種が多産する群集、複数の環境を指標する種類が混在する群集に変化する。これより、河川等の流水の影響を強く受けていたことが、次第に流水の影響が弱まり、約5150年前前後頃になると、池沼のような安定した水域となったと思われる。このような周辺には、ヨシ属などのイネ科、ヨモギ属などをはじめとして、ガマ属・カヤツリグサ科・ワレモコウ属・キク亜科などの草本類が生育していたと思われる。一方、G45北壁のように河川の削剝作用から免れていた場所は、陸性珪藻が多産することから離水しており、しばしば乾燥するような好気的な環境となっていたと考えられる。このような条件であったため、花粉化石は、分解・消失したのであろう。

ところで、G45北壁付近では縄文時代早・前期の住居跡が検出されるのは、このように乾いた環境にあったことと関連しているとみられる。また水場にも近いという、立地条件があったと思われる。

やがて縄文時代後期頃になると、G45北壁付近およびG36北壁とも泥炭質土壌あるいは泥炭（Ⅴ層上部）が堆積する。本層準では、G45北壁で珪藻化石の保存状態が悪くなること、G36北壁で止水性

種や流水性種など様々な環境を示唆する珪藻化石が混在して検出される。よって、当時は、様々な場所から土壌が流れ込む、不安定な環境と変化したと推定される。

Ta-c 降灰時以降になると、G45北壁付近でも泥炭（Ⅲ層）が堆積する。本層準の下部では、真＋好アルカリ性が優占し、湖沼沼沢湿地指標種群や湖沼浮遊性種群が多産する。よって、Ta-c 降灰以降、付近は弱アルカリ性を呈した、池沼のような安定した止水域となっていたと考えられる。やがて、中・上部になると、中～下流性河川指標種群を含む流水性種が優占する群集から、広域塩性種や陸生珪藻などが多産する群集に変化する。これより、約1450年前以降になると、流水の流れ込みのある不安定な環境であったが、その後しばしば乾燥する塩類が集積しやすい環境に変化したことが推定される。この時期、周辺にはミズバショウ属、ヨシ属などのイネ科、カヤツリグサ科、セリ科、ヨモギ属、サンショウモ、ミズゴケ類などが生育しており、これらの種類が母材となって泥炭が形成されたとみられる。

Ta-a 降灰直前になると、沼沢湿地指標種群が多産することから、沼沢地～湿地のような湿潤な環境となったと考えられる。また、周辺には、ヨシ属などのイネ科、カヤツリグサ科、ヨモギ属などの草本類が生育していたのであろう。特に、総花粉・胞子数に対して草本花粉の占める割合が高いことから、周辺は開けた草地のような環境であったと思われる。

(3) 段丘上の環境

本地点における珪藻化石の産状は、検出個体数が少ないが、わずかに産出する珪藻化石に着目してみると陸生珪藻が多い傾向にある。一方、植物珪酸体はヨシ属が多く検出されるが、盛土２より上位になると、A地区に比べてタケ亜科・ウシクサ族のが特徴的に検出される。以上のことから、段丘上は比較的乾いた状態であったことが示唆される。周辺には、タケ・ササ類やススキ属を含むウシクサ族などのイネ科草本類が生育しており、乾燥状態にあった台地を構成する堆積物を掘削して遺構が構築されたと推定される。

引用文献

安藤一男（1990）淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用．東北地理，42，p.73-88.

K.Asai & T.Watanabe (1995) Statistic Classification of Epilithic Dioatom Species into Three Ecolgical Groups relating to Organic Water Pollution(2)Saprophilous andsaproxenoustaxa. Diatom, 10, p.35-47.

星野フサ（1998）北海道の植生史(2)—南北海道．「図説日本列島植生史」，p. 51-61，朝倉書店.

星野フサ・伊藤浩司・矢野牧夫（1985）北海道石狩低地帯における最終氷末期の古環境．北海道開拓記念館研究年報，13，p.23-30.

五十嵐八枝子・熊野純男（1981）北海道における最終氷期の植生変化．第四紀研究20，p.129-141.

伊藤良永・堀内誠示（1991）陸生珪藻の現在に於ける分布と古環境解析への応用．珪藻学会誌，6，p.23-45.

加藤茂弘（1994）恵庭ａ降下軽石層の降下年代とその降下前後の古気候．地理学評論，67，p.45-54.

近藤錬三・佐瀬　隆（1986）植物珪酸体分析，その特性と応用．第四紀研究，25，p.31-64.

K.Krammer (1992) PINNULARIA, eine Monographie der europaiscchen Taxa. BIBLIOTHECA DIATOMOLOGICA BAND, 26. p.1-353., BERLIN・STUTTGART.

K.Krammer & H.Lange-Bertalot (1986) Bacillariophycese, Teil 1, Naviculaceae, Band 2/1 von: Die Suesswasserflora von Mitteleuropa, 876p., Gustav Fischer Verlag.

K.Krammer & H.Lange-Bertalot (1988) Bacillariophycese, Teil 2, Epithemiaceae, Bacillariophycese, Surirellaceae, Band 2/2 von: Die Suesswasserflora von Mitteleuropa, 536p., Gustav Fischer Verlag.

K.Krammer & H.Lange-Bertalot (1981a) Bacillariophycese, Teil 3, Centrales, Fragilariaceae, Eunotiacese, Band 2/3 von: Die Suesswasserflora von Mitteleuropa, 230p., Gustav Fischer Verlag.

K.Krammer & H.Lange-Bertalot (1991b) Bacillariophycese, Teil 4, Achnanthaceae, Kritsche Ergaenzungen zu Navicula (Lineolatae) und Gomphonema, Band 2/4 von: Die Suesswasserflora von Mitteleuropa, 248 p., Gustav Fischer Verlag.

町田　洋・新井房夫）（1992）火山灰アトラス．276p.，東京大学出版会．

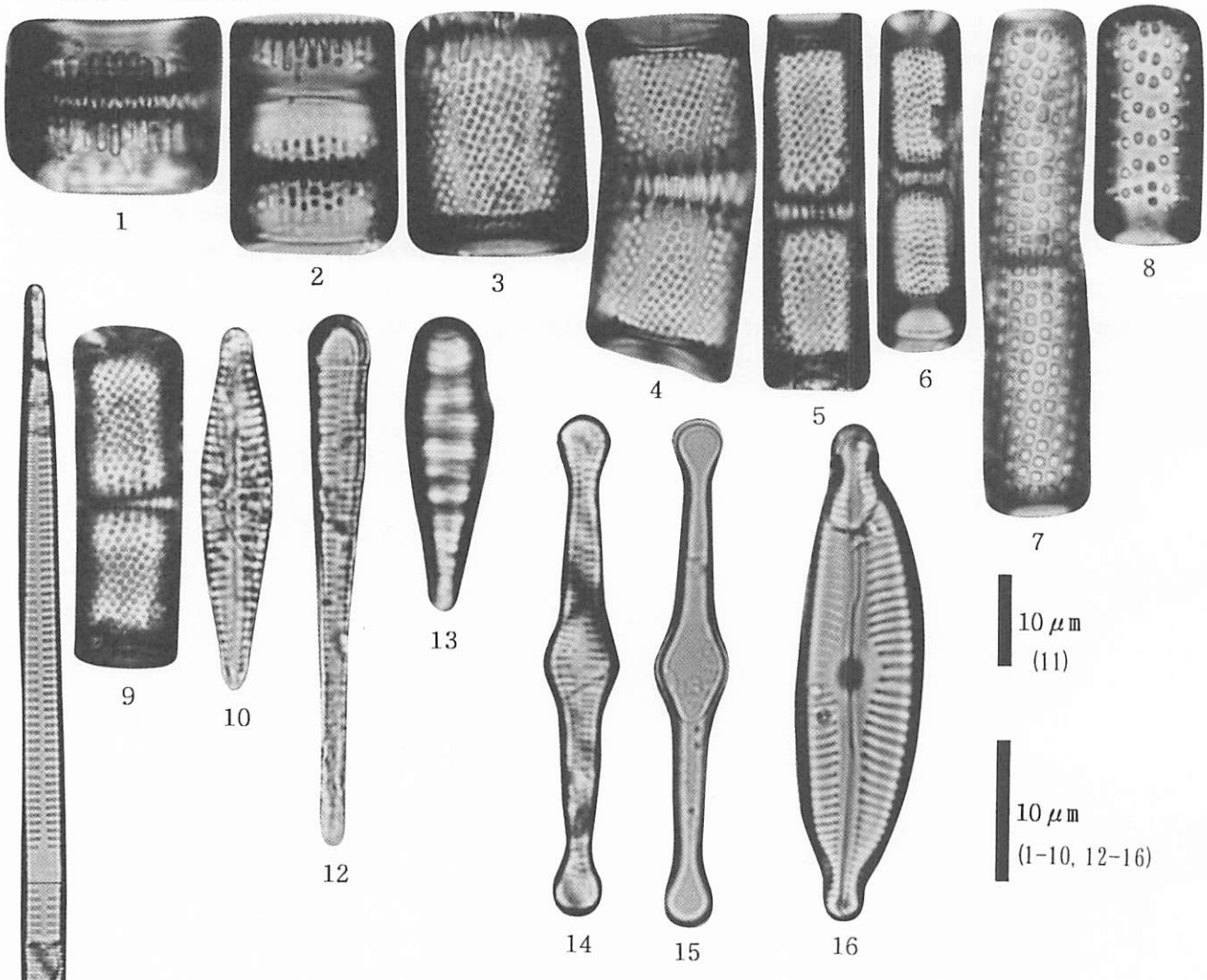
曽屋龍典・佐藤博之（1980）千歳地域の地質．地域地質研究報告（5万分の1図幅），92.，地質調査所．

塚田松雄・中村　純（1986）第四紀末の植生史，「日本植生誌　北海道」，p.96-129，至文堂．

山田悟郎（1998）化石林ころの古植生について．財団法人北海道埋蔵文化財センター調査報告書第128集「千歳市ユカンボシC15遺跡(1)—北海道横断自動車道（千歳—夕張）埋蔵文化財発掘調査報告書—」，p.291-295，財団法人北海道埋蔵文化財センター．

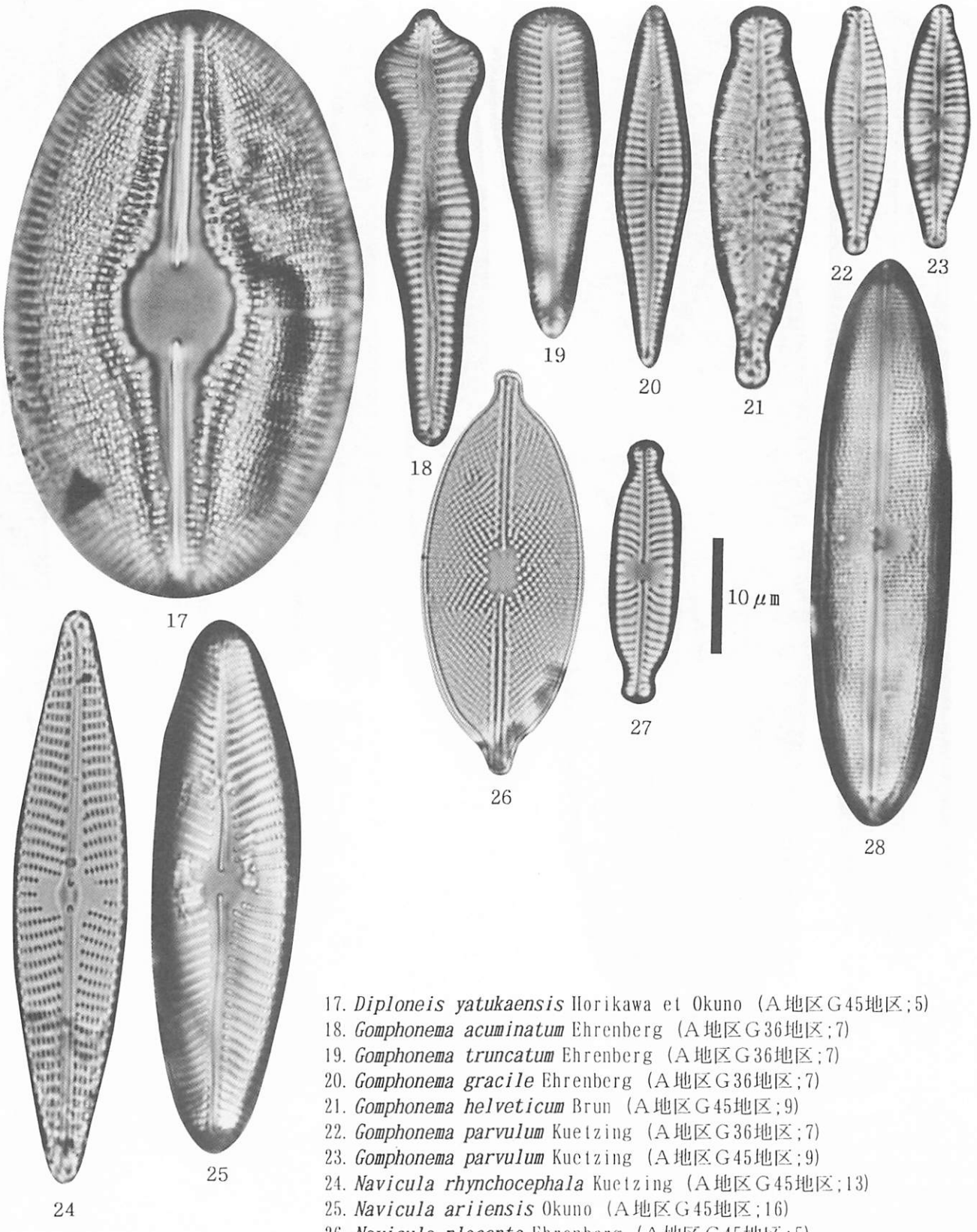
矢野牧夫・星野フサ（1990）石狩低地帯における最終氷期の気候変化．北海道開拓記念館研究年報，18，p.57-70．

図版１　珪藻化石(1)



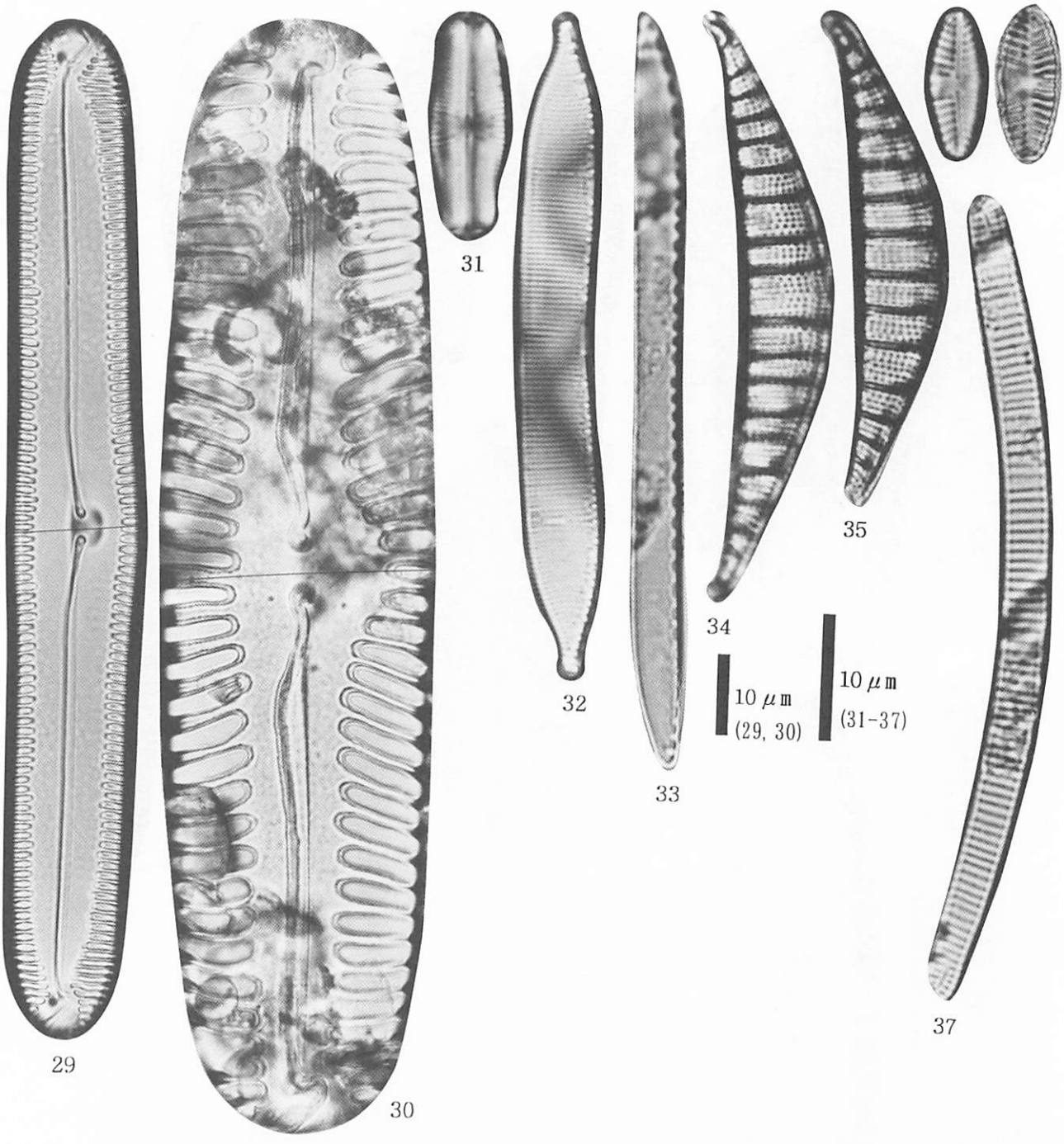
1. *Aulacoseira pfaffiana* (Reinsch) Krammer （A地区G36地区;5)
2. *Aulacoseira pfaffiana* (Reinsch) Krammer （A地区G45地区;18)
3. *Aulacoseira italica* var. *valida* (Grun.) Simonsen （A地区G45地区;16)
4. *Aulacoseira italica* var. *valida* (Grun.) Simonsen （A地区G36地区;7)
5. *Aulacoseira italica* (Ehr.) Simonsen （A地区G45地区;16)
6. *Aulacoseira italica* (Ehr.) Simonsen （A地区G36地区;7)
7. *Aulacoseira granulata* (Ehr.) Simonsen （A地区G45地区;16)
8. *Aulacoseira crassipunctata* Krammer （A地区G36地区;5)
9. *Aulacoseira ambigua* (Grun.) Simonsen （A地区G45地区;16)
10. *Aulacoseira alpigena* (Grun.) Krammer （A地区G36地区;7)
11. *Fragilaria ulna* (Nitzsch) Lange-Bertalot （A地区G45地区;9)
12. *Meridion circulae* Agardh （A地区G45地区;13)
13. *Meridion circulae* var. *constrictum* (Ralfs) V. Heurck （A地区G45地区;9)
14. *Tabellaria flocculosa* (Roth) Kuetzing （A地区G36地区;7)
15. *Tabellaria flocculosa* (Roth) Kuetzing （A地区G36地区;7)
16. *Cymbella naviculiformis* Auerswald （A地区G36地区;7)

図版２　珪藻化石(2)



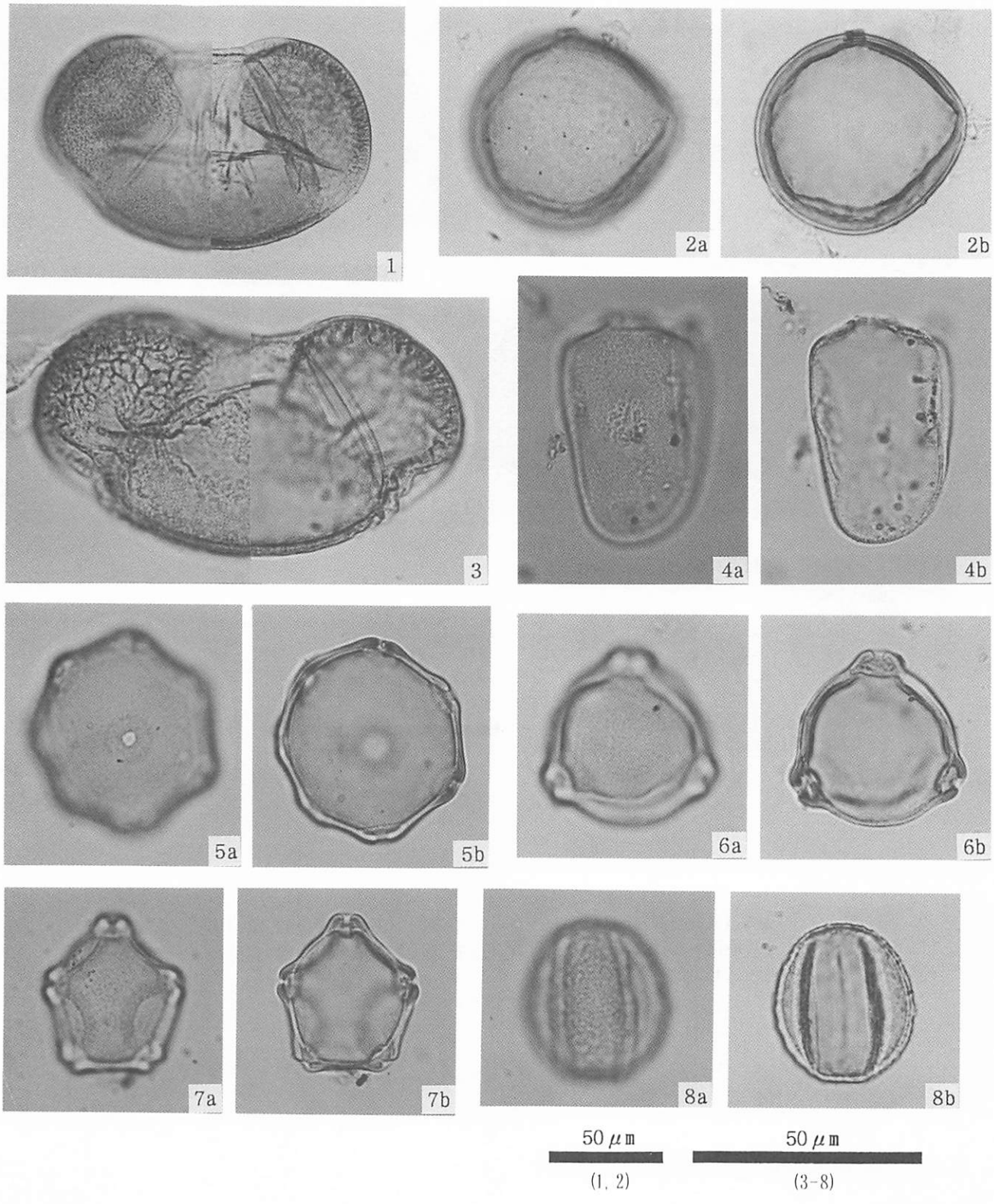
17. *Diploneis yatukaensis* Horikawa et Okuno （A地区G45地区；5)
18. *Gomphonema acuminatum* Ehrenberg （A地区G36地区；7)
19. *Gomphonema truncatum* Ehrenberg （A地区G36地区；7)
20. *Gomphonema gracile* Ehrenberg （A地区G36地区；7)
21. *Gomphonema helveticum* Brun （A地区G45地区；9)
22. *Gomphonema parvulum* Kuetzing （A地区G36地区；7)
23. *Gomphonema parvulum* Kuetzing （A地区G45地区；9)
24. *Navicula rhynchocephala* Kuetzing （A地区G45地区；13)
25. *Navicula ariiensis* Okuno （A地区G45地区；16)
26. *Navicula placenta* Ehrenberg （A地区G45地区；5)
27. *Navicula elginensis* (Greg.) Ralfs （A地区G36地区；7)
28. *Neidium ampliatum* (Ehr.) Krammer （A地区G36地区；7)

図版３　珪藻化石(3)



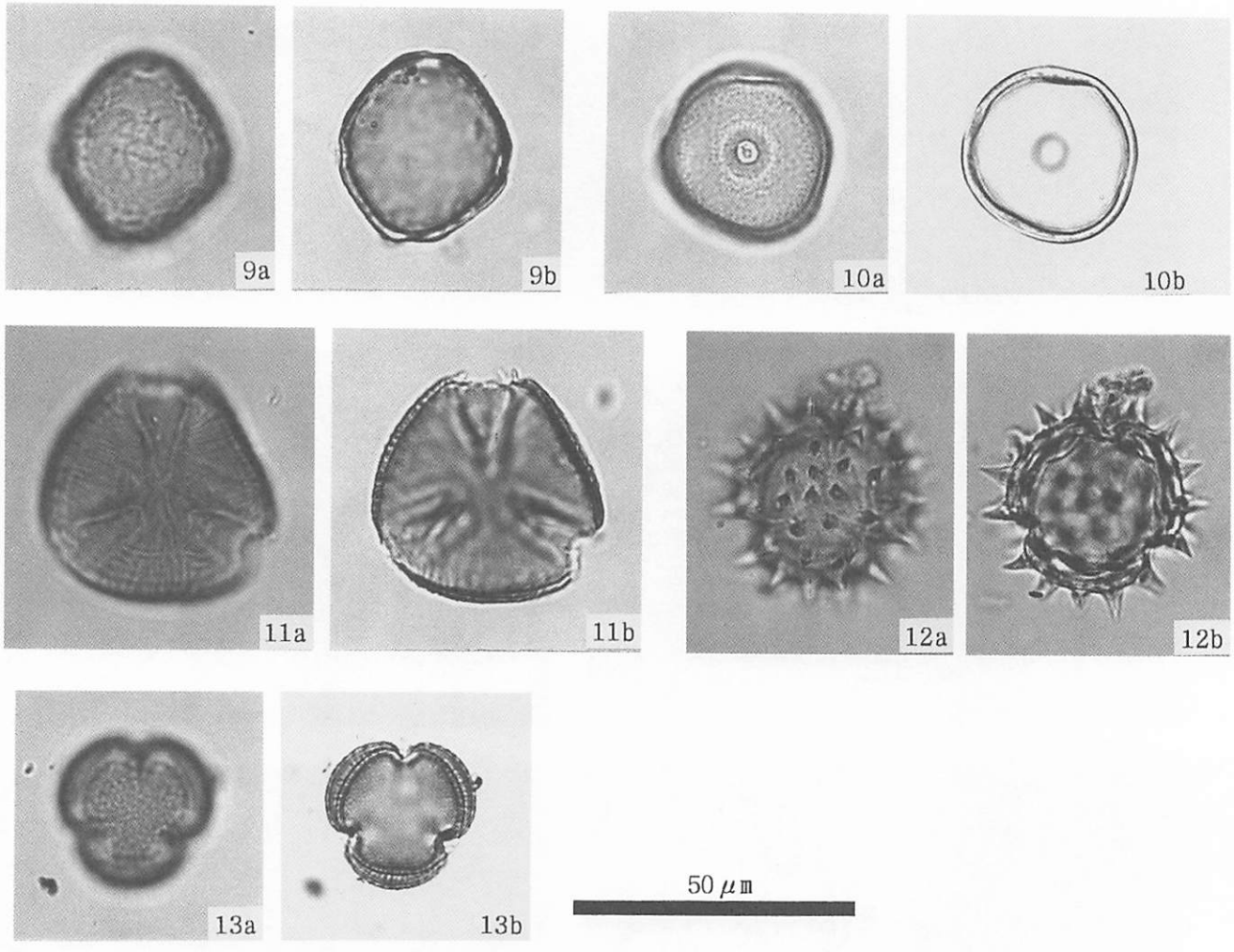
29. *Pinnularia brevicostata* Cleve （A地区G36地区；7）
30. *Pinnularia lata* (Breb.) Rabenhorst （A地区G45地区；25）
31. *Sellaphora pupula* (Kuetz.) Mereschkowsky （A地区G36地区；7）
32. *Hantzschia amphioxys* (Ehr.) Grunow （A地区G45地区；5）
33. *Nitzschia terrestris* (Pet.) Hustedt （A地区G36地区；7）
34. *Rhopalodia gibberula* (Ehr.) O. Muller （A地区G36地区；7）
35. *Rhopalodia gibberula* (Ehr.) O. Muller （A地区G45地区；16）
36. *Achnanthes lanceolata* (Breb.) Grunow （A地区G45地区；9）
37. *Eunotia bilunaris* (Ehr.) Mills （A地区G36地区；7）

図版4　花粉化石(1)



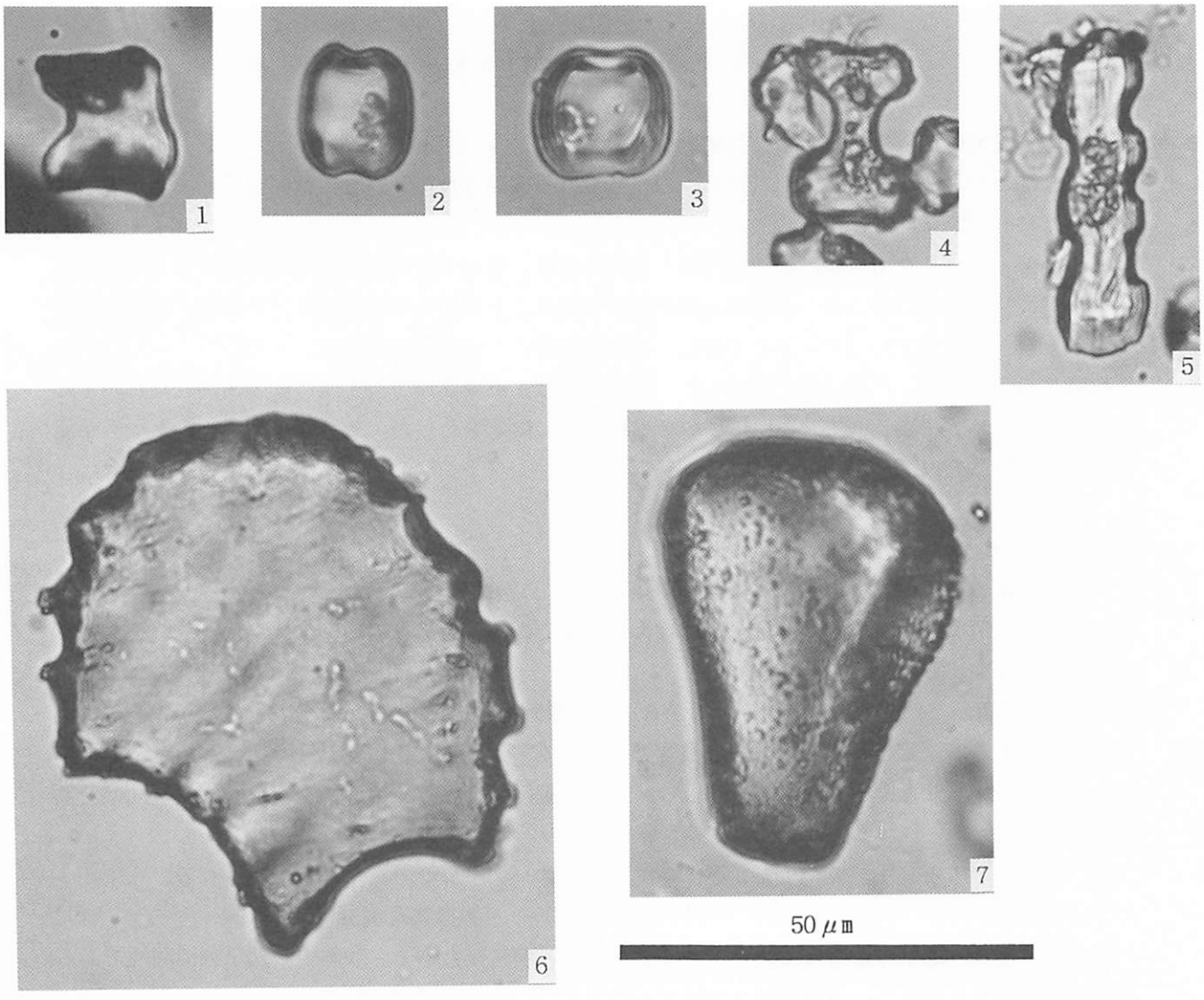
1. トウヒ属（A地区G36北壁;24）
2. カラマツ属（A地区G36北壁;24）
3. マツ属単維管束亜属（A地区G36北壁;24）
4. カヤツリグサ科（A地区G45北壁;18）
5. クルミ属（A地区G45北壁;18）
6. カバノキ属（A地区G45北壁;18）
7. ハンノキ属（A地区G45北壁;18）
8. コナラ属コナラ亜属（A地区G45北壁;18）

図版５　花粉化石(2)



9. ニレ属－ケヤキ属（Ａ地区Ｇ45北壁;18）
10. イネ科（Ａ地区Ｇ45北壁;18）
11. ミツガシワ属（Ａ地区Ｇ36北壁;24）
12. キク亜科（Ａ地区Ｇ45北壁;18）
13. ヨモギ属（Ａ地区Ｇ45北壁;18）

図版６　植物珪酸体



1. タケ亜科短細胞珪酸体（H地区H－１;4）
2. ヨシ属短細胞珪酸体（A地区G45北壁;5）
3. イチゴツナギ亜科短細胞珪酸体（H地区H－１;4）
4. ススキ属短細胞珪酸体（H地区H－１;4）
5. ススキ属短細胞珪酸体（A地区G45北壁;16）
6. ヨシ属機動細胞珪酸体（A地区G45北壁;5）
7. ウシクサ族機動細胞珪酸体（H地区H－１;4）

3　千歳市キウス4遺跡出土木製遺物の樹種同定結果について

㈶北海道埋蔵文化財センター 資料調査課　岡　本　育　子

A地区、H地区から出土した木製遺物の樹種の識別を行った。遺物はコンテナ及びシール容器に水漬けされていた。そのうち、木部（材部）の残っている実測された50点と樹種同定用サンプルとして選ばれた116点について行った。

まず両刃カミソリを用いて、木製品の加工された部分、腐れなどで劣化の進んだ部分などはさけて、木口面、板目面、柾目面の各々の細胞組織が観察できるように切片を採取した。その後、3断面の切片を1セットとしてプレパラートを作製し、生物顕微鏡による観察を行った。

樹種の識別の結果、13科14属を同定した。樹種構成は、針葉樹が1科1属、広葉樹が12科13属であり、そのうちイチイ属、トチノキ属については種までの同定を行った。それらの同定根拠となった組織構造的な特徴を以下に記す。

イチイ　*Taxus cuspidata* Sieb. et. Zucc.

（イチイ属　Taxus）（いちい科　TAXACEAE）　[顕微鏡写真1a, b, c]

仮道管と放射柔細胞からなり、分野壁孔はヒノキ型である。仮道管の内壁には、はっきりとしたらせん肥厚が存在する。

ヤナギ属　*Salix*　（やなぎ科　SALICAEAA）　[顕微鏡写真2a, b, c]

散孔材である。道管は時折2～3個の複合管孔を形成する。放射組織は異性である。道管要素は単せん孔をもつ。らせん肥厚は単せん孔をもつ。らせん肥厚は存在しない。また、道管相互壁孔は交互壁孔である。

エゾノカワヤナギ、オノエヤナギ、バッコヤナギ、エゾノバッコヤナギ等が推定される。

ハンノキ属　*Alnus*　（かばのき科　BETULACEAE）　[顕微鏡写真3a, b, c]

散孔材である。道管のほとんどは、2～4個が放射方向に複合する。放射組織は単列で同性である。集合放射組織を形成する。道管要素は階段せん孔をもつ。らせん肥厚は存在しない。

ハンノキ、ケヤマハンノキ等が推定される。

コナラ属　*Quercus*　（ぶな科　FAGACEAE）　[顕微鏡写真4a, b, c・5a, b, c]

散孔材である。孔圏部の大道管にはチロースが認められ、付近には周囲仮道管が存在する。孔圏外の道管は、やや放射状に配列することがある。放射組織は単列と広放射組織からなり、同性である。道管要素は単せん孔をもつ。

ミズナラ、コナラ、カシワ等が推定される。

ニレ属　*Ulmus*　（にれ科　ULMACEAE）　[顕微鏡写真6a, b, c]

環孔材である。孔圏部の道管は2～3列になり、孔圏外では多数の小道管が接合して集団管孔を形成し、接線方向にかなり規則的に配列する。放射組織は1～6細胞幅、3～70細胞高で、同性である。道管要素は単せん孔をもち、内壁にはらせん肥厚が認められる。

ハルニレまたはオヒョウが推定される。

クワ属　*Morus*　（くわ科　MORUS）　[顕微鏡写真7a, b, c]

環孔材である。孔圏部の道管は単独または2～3個が複合し、チロースで認められる。孔圏外では小道管が複合して団塊状をなす。放射組織は1～6細胞幅。5～60細胞高で異性である。道管要素は

単せん孔をもち、らせん肥厚が存在する。

ヤマグワが推定される。

アジサイ属　*Hydrangea*　（ゆきのした科　SAXIFRAGACEAE）　［顕微鏡写真8a, b, c］

散孔材である。道管は単独または2～3個複合し、年輪内に平等に分布する。軸方向柔細胞が放射方向に連続して認められる。放射組織は1～2細胞幅、3～5細胞高で、上下方向で軸方向柔細胞と接しており、異性である。道管要素は階段せん孔をもつ。らせん肥厚は認められない。

用途適性から類推してノリウツギと考えられるが同属の他樹種の可能性もある。

サクラ属　*Prunus*　（ばら科　ROSACEAE）　［顕微鏡写真9a, b, c］

散孔材である。道管は単独または2～3個が複合し、平等に分布する。放射組織は1～4細胞幅で、20細胞高以上になる場合が多い。異性である。道管要素は単せん孔をもつ。らせん肥厚が存在する。

エゾヤマザクラ、ミヤマザクラ、シウリザクラ、ウワミズザクラ等が推定される。

キハダ属　*Phellodendron*　（みかん科　RUTACEAE）　［顕微鏡写真10a, b, c］

環孔材である。孔圏部では大道管が2～3個複合する。放射組織は1～4細胞幅で5～35細胞高で、同性である。道管要素は単せん孔をもつ。小道管には顕著ならせん肥厚が認められる。

キハダ、ヒロハノキハダ等が推定される。

ニシキギ属　*Euonymus*　（にしきぎ科　CELASTRACEAE）　［顕微鏡写真11a, b, c］

散孔材である。道管の径はきわめて小さく、年輪内に平等に分布する。放射組織は単列のみで同性である。道管要素は単せん孔をもつ。道管と木繊維にらせん肥厚が存在する。

ニシキギ、マユミ、ツリバナ等が推定される。

カエデ属　*Acer*　（かえで科　ACERACEAE）　［顕微鏡写真12a, b, c］

散孔材である。道管は、単独または数個が複合して均等に分布するが数は少ない。放射組織は1～8細胞幅で5～30細胞高で、同性である。道管要素は単せん孔をもち、らせん肥厚が存在する。

イタヤカエデ、ヤマモミジ、ハウチワカエデ等が推定される。

トチノキ　*Aesculis turbinata* Blime.

（トチノキ属　*Aesculus*）（とちのき科　HIPPOCASTANACAE）　［顕微鏡写真13a, b, c］

散孔材である。道管は単独または2～4個の複合管孔を形成する。放射組織は単列のみ、2～10細胞高で、高さがそろっており、層階状に規則正しく配列するのが特徴である。道管要素は単せん孔をもち、らせん肥厚が存在する。

トネリコ属　*Fraxinus*　（もくせい科　OLEACEAE）　［顕微鏡写真14a, b, c］

環孔材である。道管は孔圏部で大きく、孔圏外では急激に小さくなり、単独のものと2～3個が放射方向に複合するものがある。道管の周りには周囲柔組織が存在する。放射組織は1～4細胞幅、10細胞高ほどで比較的均一であり、同性である。道管にらせん肥厚は存在しない。

ヤチダモ、アオダモ等が推定される。

ハシドイ属　*Syringa*　（もくせい科　OLEACEAE）　［顕微鏡写真15a, b, c］

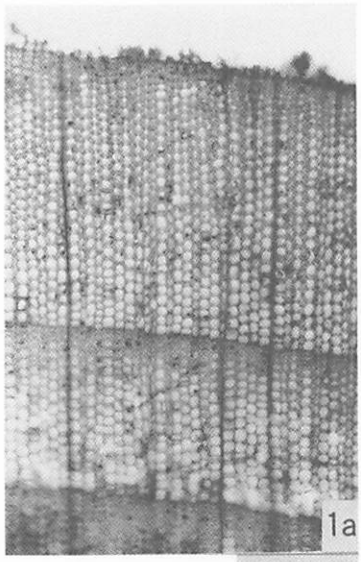
散孔材である。道管は、単独または数個が複合して均等に分布する。放射組織は1～2細胞幅で、異性であるが、大部分は平状細胞である。道管要素は単せん孔をもち、2本の対をなす特徴的ならせん肥厚をもつ。

ハシドイと推定される。

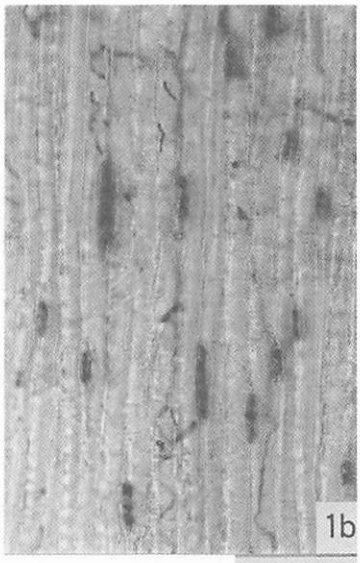
参考文献

岡本省吾・北村四郎（1981）『原色日本樹木図鑑』，保育社

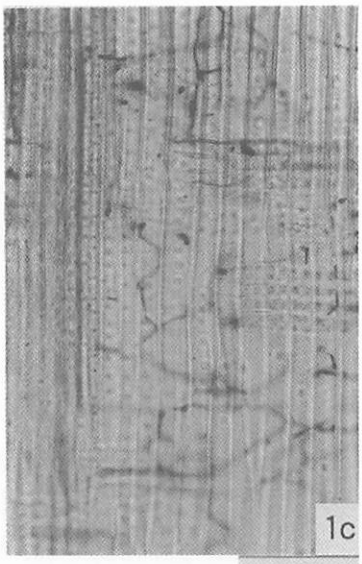
島地　謙・伊藤隆夫（1992）『図説木材組織』，地球社



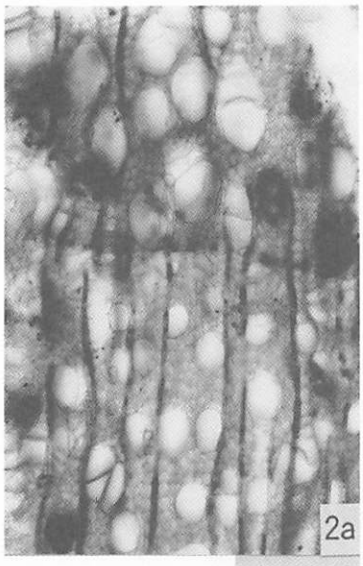
(×62.5)



(×125)



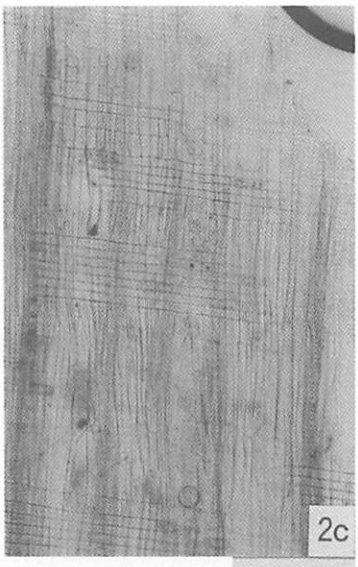
(×125)



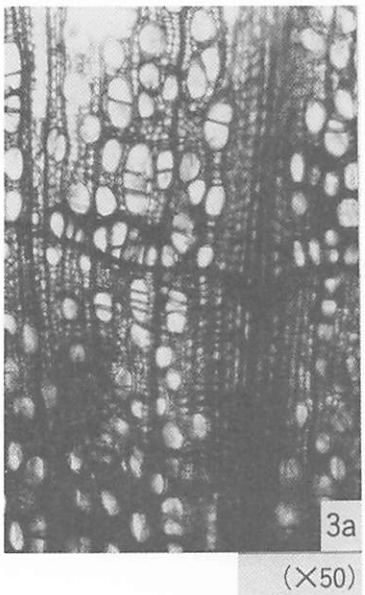
(×62.5)



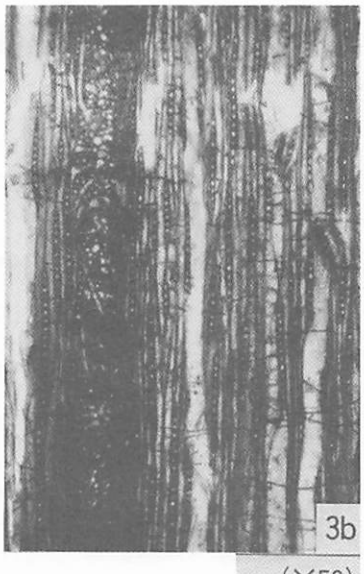
(×62.5)



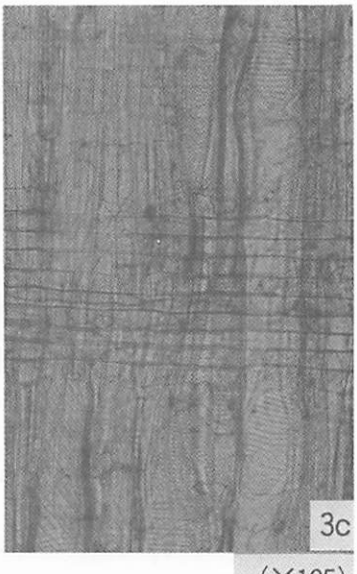
(×62.5)



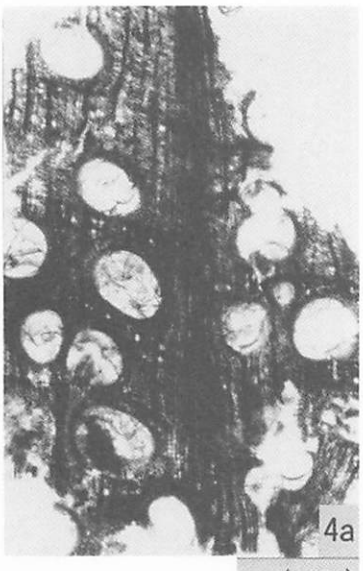
(×50)



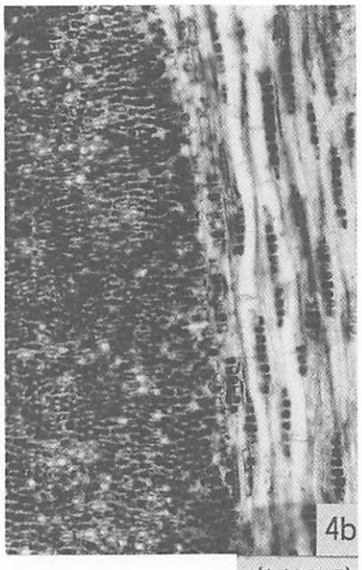
(×50)



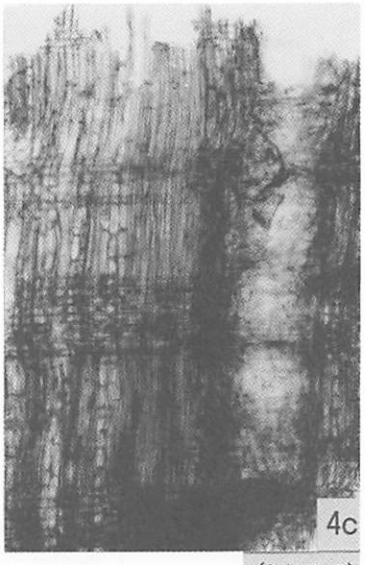
(×125)



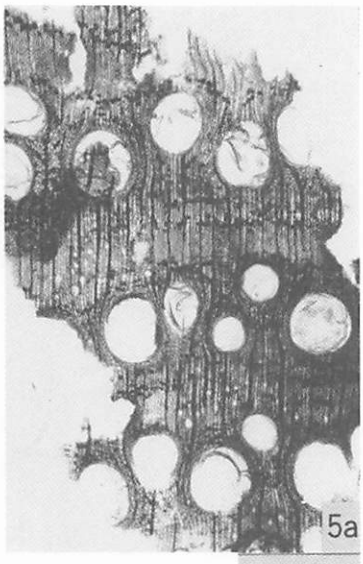
(×25)



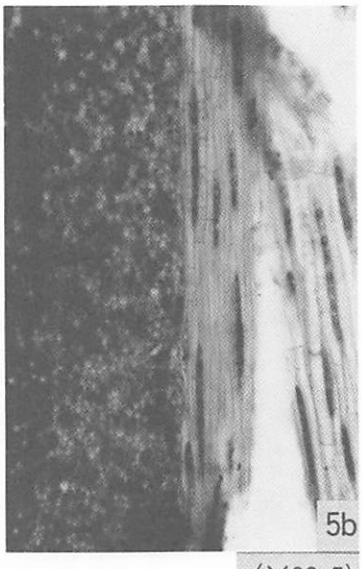
(×62.5)



(×62.5)



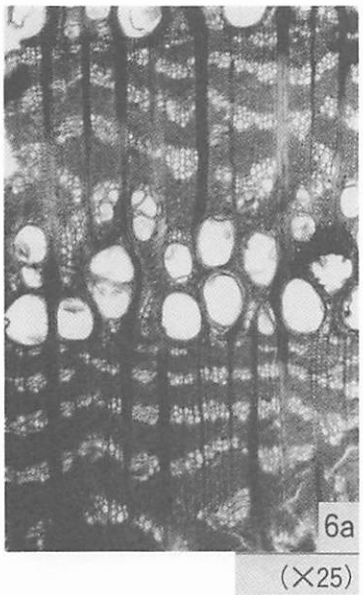
(×25)



(×62.5)



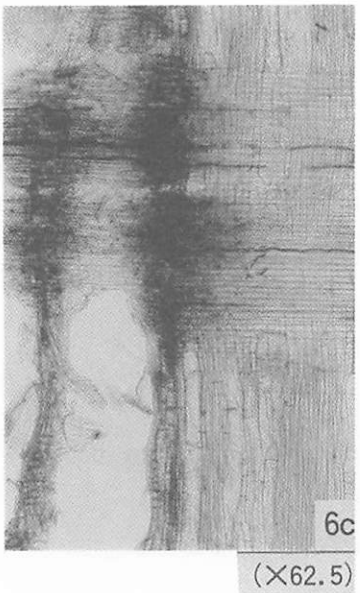
(×62.5)



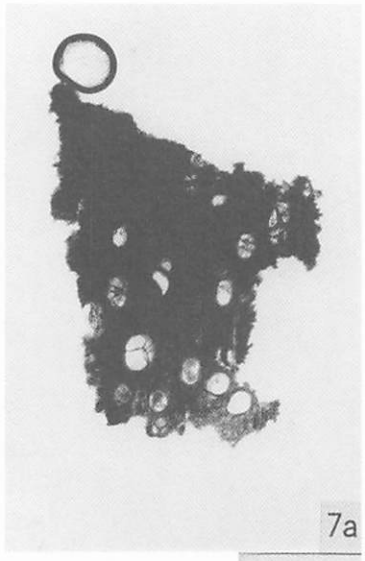
(×25)

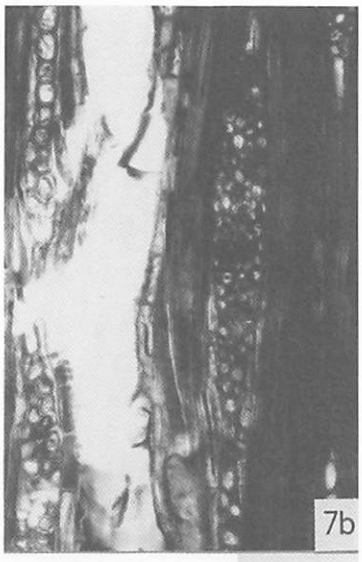


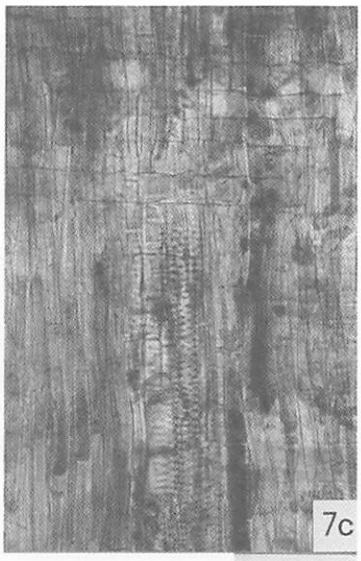
(×62.5)

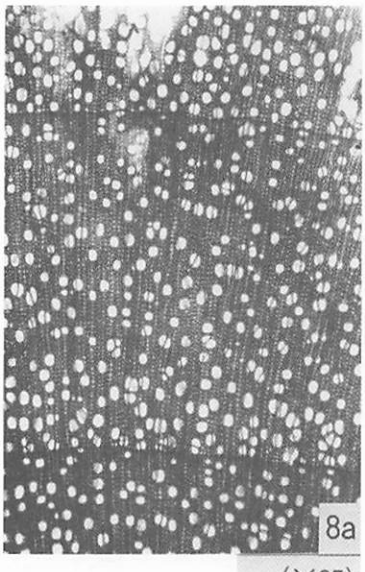


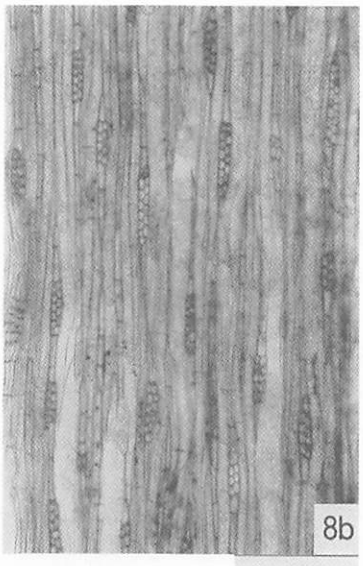
(×62.5)

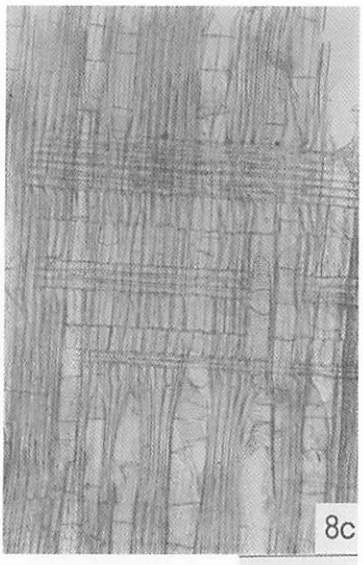

7a
(×25)

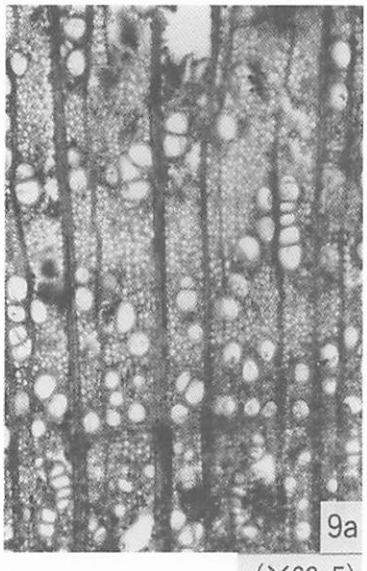

7b
(×125)

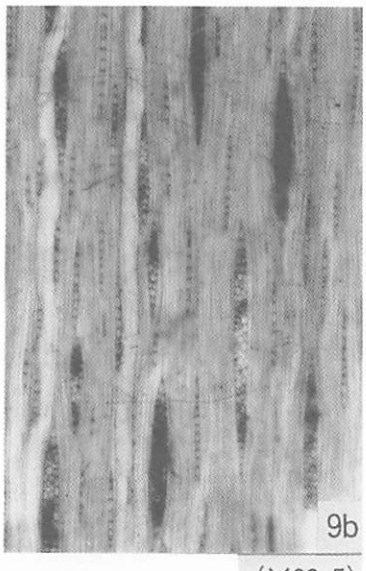

7c
(×125)

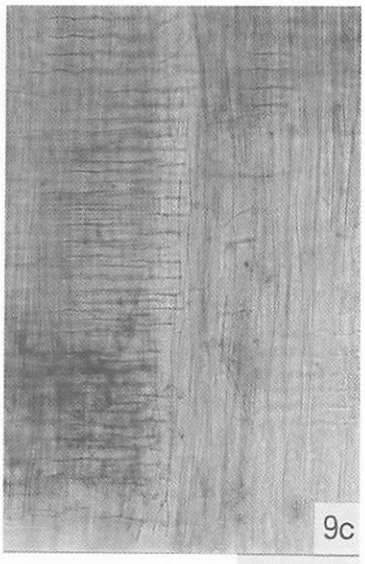

8a
(×25)

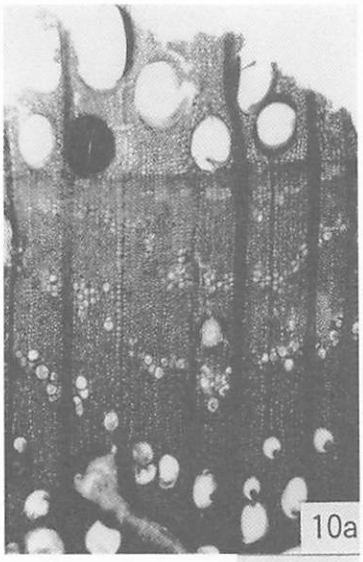

8b
(×62.5)

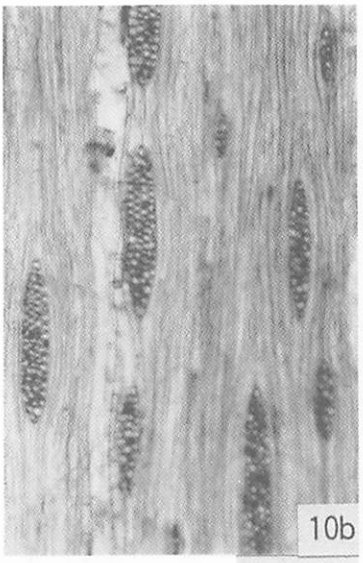

8c
(×62.5)

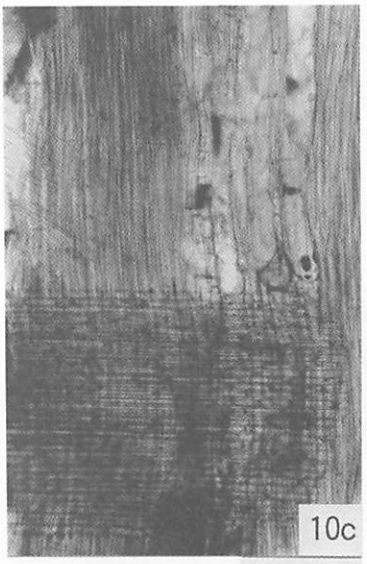

9a
(×62.5)

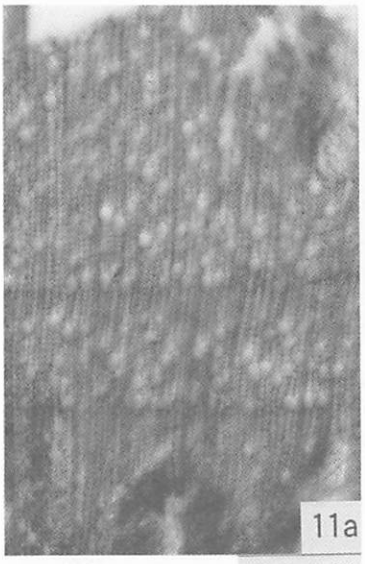

9b
(×62.5)


9c
(×125)

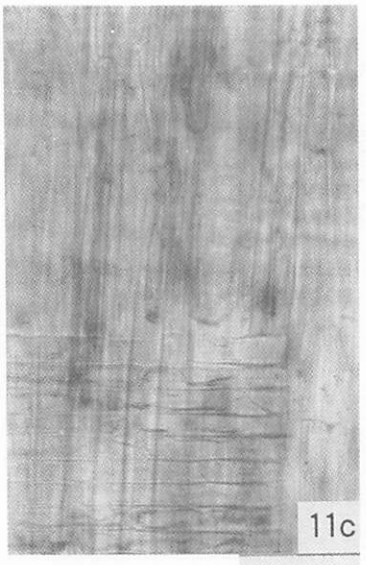

10a
(×25)

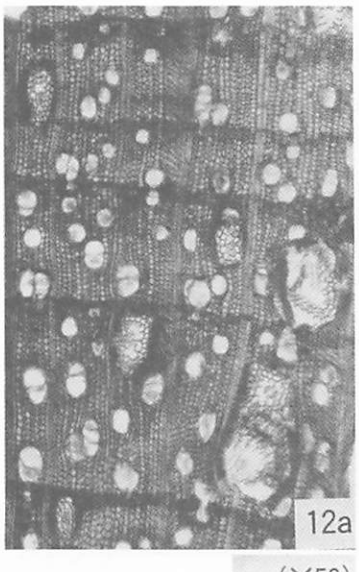

10b
(×62.5)

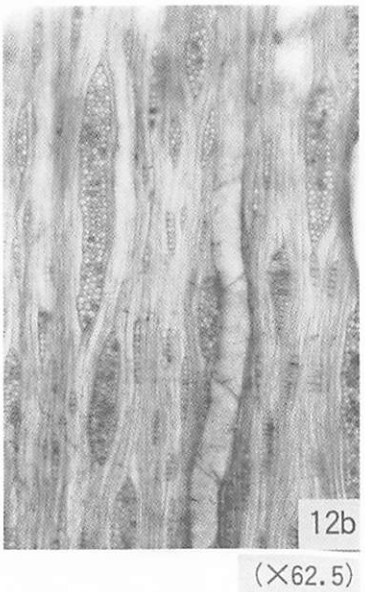

10c
(×62.5)


11a
(×62.5)

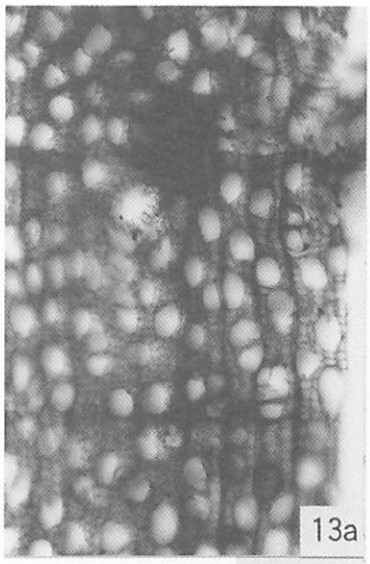

11b
(×125)


11c
(×250)

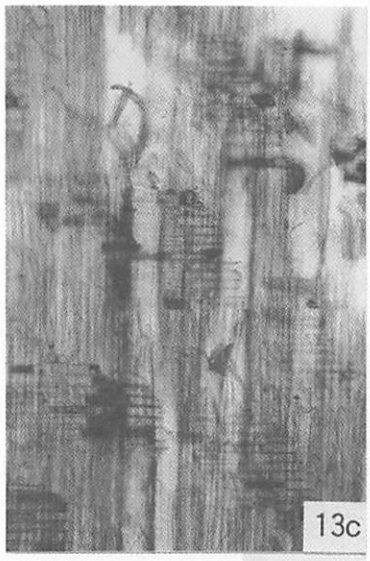

12a
(×50)

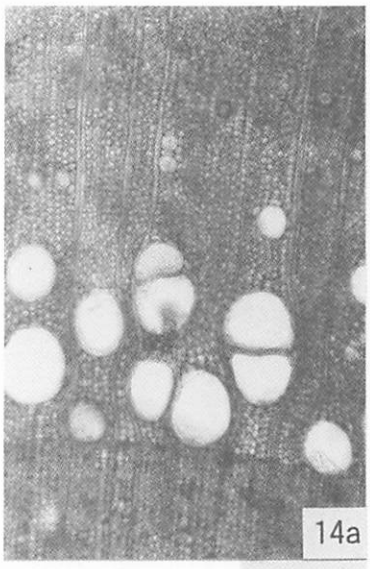

12b
(×62.5)

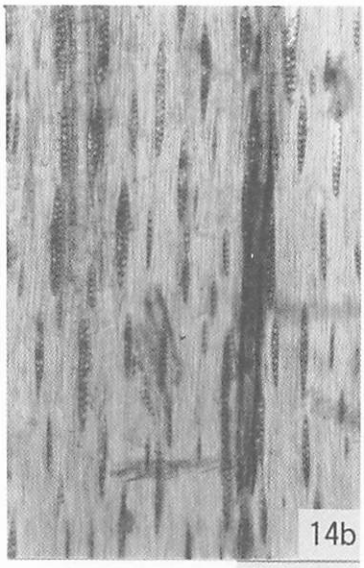

12c
(×125)

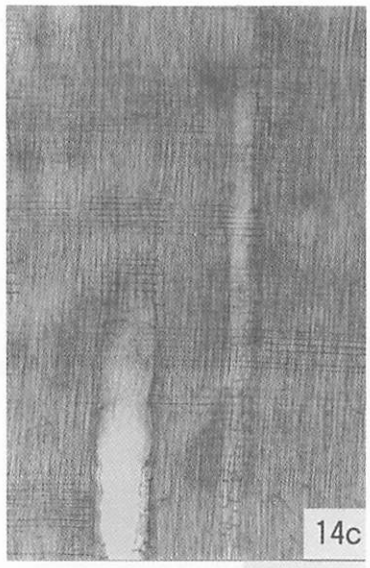

13a
(×62.5)

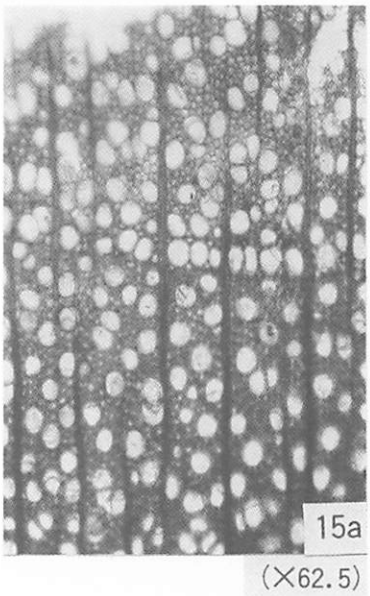

13b
(×62.5)


13c
(×62.5)

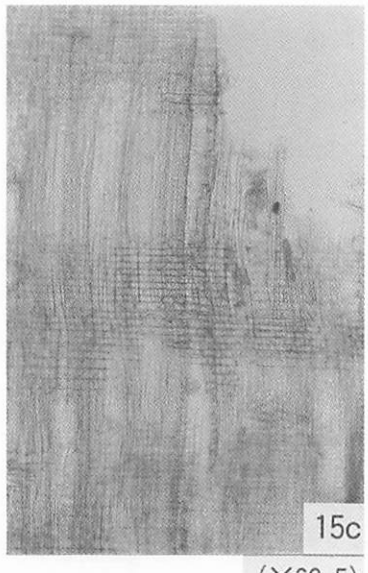

14a
(×62.5)


14b
(×62.5)


14c
(×62.5)


15a
(×62.5)


15b
(×250)


15c
(×62.5)

4　キウス4遺跡出土の黒曜石製遺物の原材産地分析

藁　科　哲　男
（京都大学原子炉実験所）

はじめに

石器石材の産地を自然科学的な手法を用いて、客観的に、かつ定量的に推定し、古代の交流、交易および文化圏、交易圏を探ると言う目的で、蛍光X線分析法によりサヌカイトおよび黒曜石遺物の石材産地推定を行なっている[1, 2, 3]。

黒曜石、サヌカイトなどの主成分組成は、原産地ごとに大きな差は見られないが、不純物として含有される微量成分組成には異同があると考えられるため、無量成分を中心に元素分析を行ない、これを産地を特定する指標とした。分類の指標とする元素組成を遺物について求め、あらかじめ、各原産地ごとに数十個の原石を分析して求めておいた各原石群の元素組成の平均値、分散などと遺物のそれを対比して産地を推定する。この際多変量解析の手法を用いて、各産地に帰属される確率を求めて産地を同定する。

蛍光X線分析法は試料を破壊せずに分析することができて、かつ、試料調整が単純、測定の操作も簡単である。石器のような古代人の日用品で多数の試料を分析しなければ遺跡の正しい性格が分からないという場合にはことさら有利な分析法である。今回分析を行なった試料は、千歳市に位置するキウス4遺跡から出土した黒曜石製遺物17個の産地分析の結果が得られたので報告する。

黒曜石原石の分析

黒曜石原石の風化面を打ち欠き、新鮮面を出し、塊状の試料を作り、エネルギー分散型蛍光X分析装置によって元素分析を行なう。主に分析した元素はK、Ca、Ti、Mn、Fe、Rb、Sr、Y、Zr、Nbの各元素である。塊試料の形状差による分析値への影響を打ち消すために元素量の比を取り、それでもって産地を特定する指標とした。黒曜石は、Ca/K、Ti/K、Mn/Zr、Fe/Zr、Rb/Zr、Sr/Zr、Y/Zr、Nb/Zrの比量をそれぞれ用いる。黒曜石の原産地は北海道、東北、北陸、東関東、中信高原、伊豆箱根、伊豆七島の神津島、山陰、九州の各地に黒曜石の原産地は分布する。調査を終えた原産地を図1に示す。黒曜石原産地のほとんどがすべてがつくされている。元素組成によってこれら原石を分類し表1に示す。この原石群に原石産地は不明の遺物で作った遺物群を加えると163個の原石群になる。ここでは北海道地域および一部の東北地域の産地について記述すると、白滝地域の原産地は北海道紋別郡白滝村に位置し、鹿砦北方2㎞の採石場の赤石山の露頭、鹿砦東方約2㎞の幌加沢地点、また白土沢、八号沢などより転礫として黒曜石が採取できる。赤石山の大産地の黒曜石は、色に関係無く赤石山群（旧白滝第1群）にまとまる。また、あじさいの滝の露頭からは赤石山と肉眼観察では区別できない原石が採取でき、あじさい群を作った（旧白滝第2群）、また、八号沢の黒曜石原石と白土沢の転礫は梨肌の黒曜石で組成はあじさい滝群に似るが石肌で区別できる。幌加沢よりの転礫の中で70％は幌加沢群になりあじさい滝群と元素組成から両群を区別できず、残りの30％は赤石山群に一致する。置戸産原石は、北海道常呂郡置戸町の清水の沢林道より採取され、この原石の元素組成は置戸群にまとまる。この原産地は、常呂川に通じる流域にあり、この常呂川流域で黒曜石の円礫が採取されるが現在まだ調査していない。十勝三股産原石は、北海道河東郡上士幌町の十勝三股の十三の

沢の谷筋および沢の中より原石が採取され、この原石の元素組成は十勝三股群にまとまる。この十勝三股産原石は十三ノ沢から音更川さらに十勝川に流れた可能性があり、十勝川から採取される黒曜石円礫の組成は、十勝三股産の原石の組成と相互に近似している。また、上士幌町のサンケオルベ川より採取される黒曜石円礫の組成も十勝三股産原石の組成と相互に近似している。これら組成の近似した原石の原産地は区別できず、遺物石材の産地分析でたとえ、この遺物の原石産地が十勝三股群に同定されたとしても、これら十勝三股、音更川、十勝川、サンケオルベ川の複数の地点を考えなければならない。しかし、この複数の産地をまとまて、十勝地域としても、古代の地域間の交流を考察する場合、問題はないと考えられる。また、清水町、新得町、鹿追町にかけて広がる美蔓台地から産出する黒曜石から２個の美蔓原石群が作られた。この原石は産地近傍の遺跡で使用されている。名寄市の智南地域、智恵文川および忠烈布貯水池から上名寄にかけて黒曜石の円礫が採集される。これらを組成で分類すると88％は名寄第一群に、また12％は名寄第二群にそれぞれなる。旭川市の近文台、嵐山遺跡付近および雨文台北部などから採集される黒曜石の円礫は、20％が近文台第一群、69％が近文台第二群、11％が近文台第三群それぞれ分類された。また、滝川市江別乙で採集される親指大の黒曜石の礫は、組成で分類すると約79％が滝川群にまとまり、21％が近文台第二、三群に組成が一致する。滝川群に一致する組成の原石は、北竜市恵袋別川培本社からも採取される。秩父別町の雨竜川に開析された平野を見下す丘陵中腹の緩斜面から小円礫の黒曜石原石が採取される。産出状況とか礫状は滝川産黒曜石と同じで、秩父別第一群は滝川第一群に組成が一致し、第二群も滝川第二群に一致しさらに近文台第二群にも一致する。赤井川産原石は、北海道余市群赤井川村の土木沢上流域およびこの付近の山腹より採取できる。ここの原石には、少球果の列が何層にも重なり石器の原材として良質とはいえない原石で赤井川第１群を、また、球果の非常に少ない握り拳半分大の良質な原石などで赤井川第２群を作った。これら第１、２群の２群の元素組成は非常に似ていて、遺物を分析したときしばしば、赤井川両群に同定される。豊泉産原石は豊浦町から産出し、組成によって豊泉第１、２群の２群に区別され、豊泉第２群の原石は斑晶が少なく良質な黒曜石である。豊泉産原石の使用圏は道南地方に広がり、一部は青森県に伝播している。出来島群は青森県西津軽郡木造町七里長浜の海岸部より採取された円礫の原石で作られた群で、この出来島群と相互に似た組成の原石は、岩木山の西側を流れ鯵ヶ沢地区に流入する中村川の上流で１点採取され、また、青森市の鶴ヶ坂および西津軽郡森田村鶴ばみ地区より採取されている。青森県西津軽郡深浦町の海岸とか同町の六角沢およびこの沢筋に位置する露頭より採取された原石で六角沢群をまた、八森山産出の原石で八森山群をそれぞれ作った。深浦の両群と相互に似た群は青森市戸門地区より産出する黒曜石で作られた戸門第二群である。戸門第一群、成田群、浪岡町県民の森地区より産出の大釈迦群（旧浪岡群）は赤井川産原石の第１、２群と弁別は可能であるが原石の組成は比較的似ている。戸門、大釈迦産黒曜石の産出量は非常に少なく、希に石鏃が作れる大きさがみられる程度であるが、鷹森群は鷹森山麓の成田地区産出の黒曜石で中には５cm大のものもみられる。また、考古学者の話題になる下湯川産黒曜石についても原石群を作った。

結果と考察

遺跡から出土した石器、石片は風化しているが、黒曜石製のものは風化に対して安定で、表面に薄い水和層が形成されているにすぎないため、表面の泥を水洗するだけで完全な非破壊分析が可能であると考えられる。産地分析で水和層の影響は、軽い元素の分析ほど大きいと考えれらるが、影響はほとんど見られない。Ca/K、Ti/K の両軽元素比量を除いて産地分析を行なった場合、また除かずに産地分析を行った場合同定される原産地に差はない。他の元素比量についても風化の影響を完全に否

定することができないので、得られた確率の数値にはやゝ不確実さを伴うが、遺物の石材産地の判定を誤るようなことはない。

今回分析したキウス4遺跡の黒曜石製石器の分析結果を表2に示した。石器の分析結果から石材産地を同定するためには数理統計の手法を用いて原石群との比較をする。説明を簡単にするためRb/Zrの一変量だけを考えると、表2の試料番号60229番の遺物ではRb/Zrの値は0.936で、赤井川第1群の〔平均値〕±〔標準偏差値〕は、0.969±0.060である。遺物と原石群の差を標準偏差値（σ）を基準にして考えると遺物は原石群から0.6σ離れている。ところで赤井川第1群原産地から100ヶの原石を採ってきて分析すると、平均値から±0.6σのずれより大きいものが54個ある。すなわち、この遺物が、赤井川第1群の原石から作られていたと仮定しても、0.6σ以上離れる確率は54％であると言える。だから、赤井川第1群の平均値から0.6σしか離れていないときには、この遺物が赤井川第1群の原石から作られたものでないとは、到底言い切れない。ところがこの遺物を赤石山群（旧白滝第1群）に比較すると、赤石山群の平均値からの隔たりは、約7σである。これを確率の言葉で表現すると、赤石山群の原石を採ってきて分析したとき、平均値から6σ以上離れている確率は、千万分の一であると言える。このように、千万個に一個しかないような原石をたまたま採取して、この遺物が作られたとは考えられないから、この遺物は、赤石山滝群の原石から作られたものではないと断定できる。これらのことを簡単にまとめて言うと、「この遺物は赤井川第1群に54％の確率で帰属され、信頼限界の0.1％を満たしていることから赤井川産原石が使用されていると同定され、さらに赤石山群に十万分の一％の低い確率で帰属され、信頼限界の0.1％に満たないことから赤石山産原石でないと同定される」。遺物が一ヶ所の産地（赤井川産地）と一致したからと言って、例え赤井川第1群と赤石山群の原石は成分が異なっていても、分析している試料は原石でなく遺物で、さらに分析誤差が大きくなる不定形（非破壊分析）であることから、他の産地に一致しないとは言えない、同種岩石の中での分類である以上、他の産地にも一致する可能性は推測される。即ちある産地（赤井川）に一致したと言っても一致した産地の原石とは限らないために、帰属確率による判断を表1の163個すべての原石群について行ない、低い確率で帰属された原石群を消していくことにより、はじめて赤井川産地の石材のみが使用されていると判定される。実際はRb/Zrといった唯1ヶの変量だけでなく、前述した8ヶの変量で取り扱うので変量間の相関を考慮しなければならない。例えばA原産地のA群で、Ca元素とRb元素との間に相関があり、Caの量を計ればRbの量は分析しなくても分かるようなときは、A群の石材で作られた遺物であれば、A群と比較したとき、Ca量が一致すれば当然Rb量も一致するはずである。したがって、もしRb量だけが少しずれている場合には、この試料はA群に属していないと言わなければならない。このことを数量的に導き出せるようにしたのが相関を考慮した多変量統計の手法であるマハラノビスの距離を求めて行なうホテリングのT^2検定である。これによって、それぞれの群に帰属する確率を求めて産地を同定する[1,5]。産地の同定結果は1個の遺物に対して、黒曜石製では163個の推定確率結果が得られている。今回産地分析を行った遺物の産地推定結果については低い確率で帰属された原産地の推定確率は紙面の都合上記入を省略しているが、本研究ではこれら産地の可能性が非常に低いことを確認したという非常に重要な意味を含んでいる、すなわち、赤井川産原石と判定された遺物について、カムチャッカ産原石とかロシア、北朝鮮の遺跡で使用されている原石および信州和田峠産の原石の可能性を考える必要がない結果で、高い確率で同定された産地のみの結果を表3に記入した。原石群を作った原石試料は直径3cm以上であるが、多数の試料を処理するために、小さな遺物試料の分析に多くの時間をかけられない事情があり、短時間で測定を打ち切る。このため、得られた遺物の測定値には、大きな誤差範囲が含まれ、ときなは原石群

の元素組成のバラツキの範囲を越て大きくなる。したがって、小さな遺物の産地推定を行なったときに、判定の信頼限界としている0.1%に達しない確率を示す場合が比較的多くみられる。この場合には、原石産地（確率）の欄の確率値に替えて、マハラノビスの距離D^2の値を記した。この遺物については、記入されたD^2の値が原石群の中で最も小さなD^2値で、この値が小さい程、遺物の元素組成はその原石群の組成と似ていると言えるため、推定確率は低いが、そこの原石産地と考えてほゞ間違いないと判断されたものである。赤井川および十勝産原石を使用した遺物の判定は複雑である。これは青森市戸門、鷹森山地区、浪岡町大釈迦より産出する黒曜石で作られた戸門第一、鷹森山、大釈迦の各群の組成が赤井川第一、二群、十勝三股群に比較的似ているために、遺物の産地を同定したときに、戸門原産地と赤井川または十勝産地、または、これら3ヶ所の原産地に同時に同定される場合がしばしば見られる。戸門産地の原石が使用されたか否かは、一遺跡で多数の遺物を分析し戸門第1群と第2群に同定される頻度を求め、これを戸門産地おける第1群（50%）と第2群（50%）の産出頻度と比較し戸門産地の原石である可能性を推定する。今回分析した遺物のなかに全く戸門第2群に帰属される遺物が見られないことから戸門産地からの原石は使用されなかったと推測できる。また浪岡町大釈迦産原石は非常に小さく分析した遺物よりも小さな原石で本遺跡で使用された可能性は低いと推測された。鷹森山産地の原石、赤井川産原石と十勝産原石を使用した遺物の産地分析では、これら産地に固定された遺物の帰属確率の差が十分の一～百分の一がほとんどで、遺物の中には、赤井川、十勝、鷹森山の各群の帰属確率の差がほとんどない遺物があり原石産地の特定に苦慮するが、この場合は、客観的な産地分析法により赤井川産、十勝産、鷹森産と限定したうえで、肉眼観察により遺物と似た原石が赤井川産地、十勝産地、鷹森山産地のいずれに多かを考慮して原石産地を判定した遺物も一部ある。今回分析を行なったキウス4地区A地点の黒曜石遺物の中で赤井川産地に同定された黒曜石遺物は9個と最も多くこの内、分析番号60236番の遺物は河川などから採取された可能性のある円礫の自然をもち、他の8個は角礫で赤井川の露頭から採取された可能性が推測された。次いで多いのが白滝産地の原石で、あじさい滝産が4個と赤石山2個は全て円礫で、あじさい滝と赤石山の原石が2対1の割合で採取できる河川から採取された可能性も推測され、八号沢産1個は梨肌で自然面は観察できなかった。置戸産が1個使用され、重量が3.2キログラムの角礫に近い円礫で、置戸原産地から遠くない河川から採取された可能性が推測された。石器原材の採取地が推測できる礫面と原材産地の組み合わせを各地の遺跡ごとに、比較することにより遺跡間の関係を知る一つの情報が得られることが推測できる。

参考文献

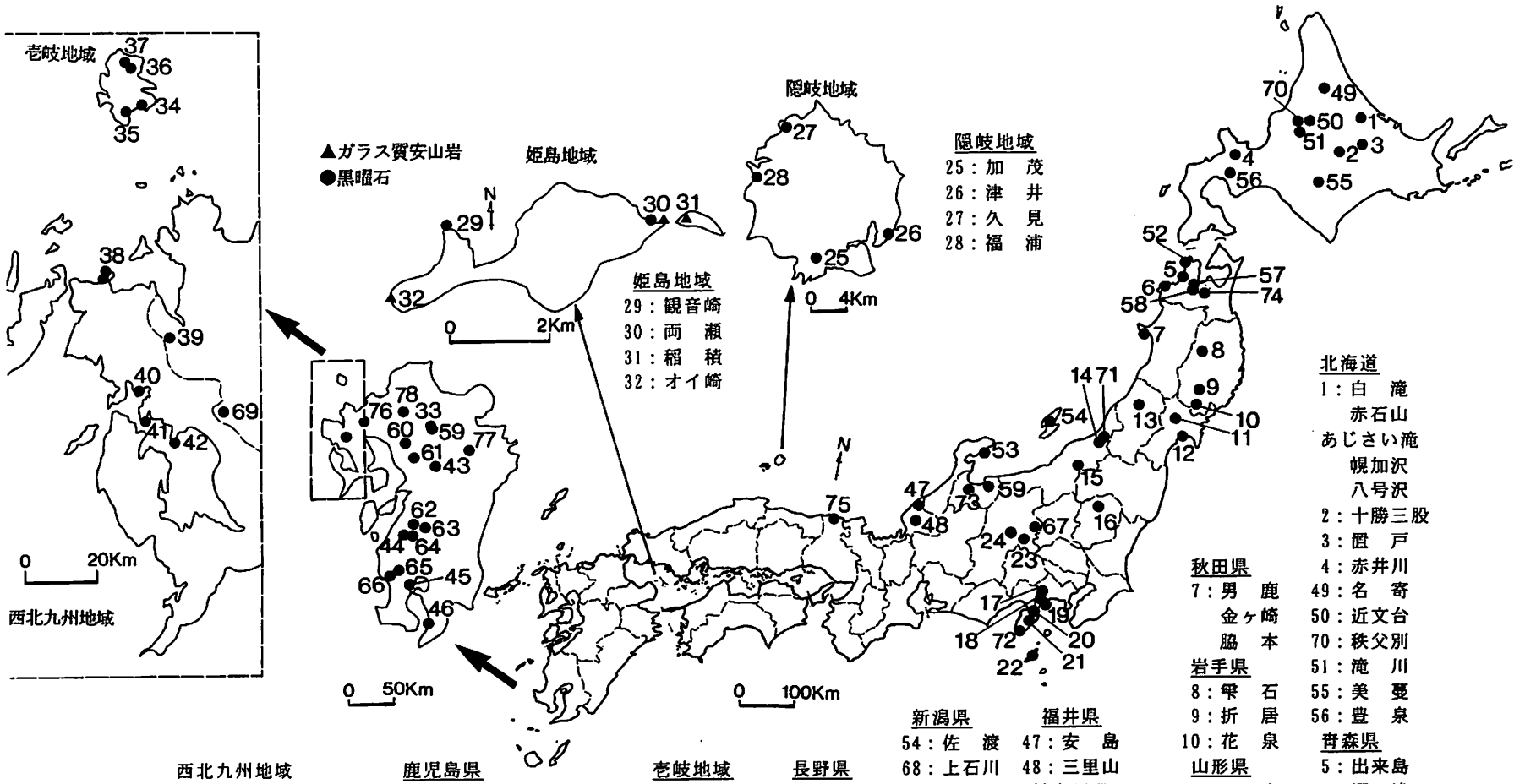
1）藁科哲男・東村武信（1975），蛍光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定(II)。考古学と自然科学，8:61-9.

2）藁科哲男・東村武信・鎌木義昌（1977），(1978)，蛍光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定(III)。(IV)。考古学と自然科学，10，11:53-81:33-47.

3）藁科哲男・東村武信（1983），石器原材の産地分析。考古学と自然科学，16:59-89.

4）東村武信（1976），産地推定における統計的手法。考古学と自然科学，9:77-90.

5）東村武信（1990），考古学と自然科学。学生社.



隠岐地域
25：加　茂
26：津　井
27：久　見
28：福　浦

姫島地域
29：観音崎
30：両　瀬
31：稲　積
32：オイ崎

西北九州地域
宮崎県
63：桑ノ木津留
長崎県
38：松　浦
40：淀　姫
41：中町、古里
42：大　崎
松　岳
佐賀県
39：腰　岳
69：椎葉川
松　尾
77：梅　野
中　野
福岡県
78：八女昭和池

鹿児島県
63：問根平
44：出　水
（日　東）
64：五女木
65：上牛鼻
66：平木場
45：竜ケ水
46：長　谷
62：白　浜

熊本県
59：小　国
60：南　関
61：　轟
43：冠ケ岳

壱岐地域
34：久喜ノ辻
35：君ケ浦
36：角　川
37：貝　畑

大分県
33：塚　瀬
77：荻台地
緒方下尾平

長野県
23：麦草峠
双子池
24：鍔ケ峰
男女倉
和田峠
67：大窪沢

兵庫県
75：香　住

新潟県
54：佐　渡
68：上石川
14：板　山
15：大白川
71：金　津

富山県
59：魚　津
73：二上山

石川県
53：比　那

福井県
47：安　島
48：三里山

神奈川県
17：箱根・笛塚
18：〃・畑宿
19：鍛冶屋

静岡県
20：上多賀
21：柏峠西
72：小豆峠

秋田県
7：男　鹿
金ヶ崎
脇　本

岩手県
8：畢　石
9：折　居
10：花　泉

山形県
13：月　山

宮城県
11：湯　倉
12：塩　釜

栃木県
16：高原山

東京都
22：神津島

北海道
1：白　滝
赤石山
あじさい滝
幌加沢
八号沢
2：十勝三股
3：置　戸
4：赤井川
49：名　寄
50：近文台
70：秩父別
51：滝　川
55：美　蔓
56：豊　泉

青森県
5：出来島
6：深　浦
八森山
52：折腰内
57：戸　門
58：鶴ケ坂
鷹森山
大釈迦
74：下湯川

図1　黒曜石原産地

表１－１　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原産地	原石群名	分析個数	Ca／K	Ti／K	Mn／Zr	Fe／Zr	Rb／Zr	Sr／Zr	Y／Zr	Nb／Zr	Al／K	Si／K
			元素比									
北海道	名寄第一	114	0.478±0.011	0.121±0.005	0.035±0.007	2.011±0.063	0.614±0.032	0.574±0.022	0.120±0.017	0.024±0.016	0.033±0.002	0.451±0.010
	〃第二	35	0.309±0.015	0.103±0.005	0.021±0.006	1.774±0.055	0.696±0.044	0.265±0.011	0.301±0.022	0.026±0.020	0.028±0.007	0.394±0.010
	白滝地区 赤石山	130	0.173±0.014	0.061±0.003	0.079±0.013	2.714±0.142	1.340±0.059	0.283±0.019	0.341±0.030	0.073±0.026	0.028±0.002	0.374±0.010
	白滝地区 八号沢	30	0.138±0.010	0.022±0.002	0.105±0.017	3.123±0.127	1.846±0.065	0.105±0.019	0.475±0.045	0.076±0.046	0.027±0.008	0.359±0.042
	白滝地区 幌加沢	23	0.139±0.009	0.023±0.001	0.099±0.015	2.975±0.102	1.794±0.077	0.104±0.010	0.470±0.037	0.103±0.027	0.027±0.002	0.369±0.007
	白滝地区 あじさい滝	29	0.142±0.010	0.023±0.001	0.101±0.014	3.038±0.125	1.787±0.076	0.115±0.015	0.457±0.035	0.076±0.044	0.027±0.005	0.365±0.011
	近文台第一	30	0.819±0.013	0.165±0.006	0.081±0.010	3.266±0.117	0.604±0.031	0.941±0.030	0.165±0.020	0.039±0.016	0.039±0.002	0.457±0.008
	〃第二	107	0.517±0.011	0.099±0.005	0.067±0.090	2.773±0.097	0.812±0.037	0.818±0.034	0.197±0.024	0.041±0.019	0.035±0.002	0.442±0.009
	〃第三	17	0.514±0.012	0.098±0.005	0.066±0.014	2.765±0.125	0.814±0.068	0.815±0.042	0.199±0.039	0.078±0.008	0.034±0.002	0.443±0.011
	秩父別第一	51	0.249±0.017	0.122±0.006	0.078±0.011	1.614±0.068	0.995±0.037	0.458±0.023	0.235±0.024	0.023±0.021	0.022±0.004	0.334±0.013
	〃第二	25	0.506±0.016	0.098±0.005	0.070±0.011	2.750±0.099	0.805±0.042	0.808±0.032	0.197±0.026	0.027±0.016	0.027±0.003	0.371±0.010
	滝川第一	31	0.253±0.018	0.122±0.006	0.077±0.009	1.613±0.090	1.017±0.045	0.459±0.025	0.233±0.029	0.038±0.018	0.025±0.003	0.370±0.023
	〃第二	15	0.510±0.015	0.098±0.005	0.068±0.009	2.740±0.072	0.802±0.019	0.812±0.019	0.192±0.026	0.032±0.023	0.030±0.004	0.393±0.031
	置戸	65	0.326±0.008	0.128±0.005	0.045±0.008	1.813±0.062	0.824±0.034	0.454±0.020	0.179±0.023	0.044±0.020	0.030±0.002	0.412±0.010
	十勝 十勝三股	60	0.256±0.018	0.074±0.005	0.068±0.010	2.281±0.087	1.097±0.055	0.434±0.023	0.334±0.029	0.064±0.025	0.029±0.002	0.396±0.013
	十勝 美蔓第一	41	0.499±0.020	0.124±0.007	0.052±0.010	2.635±0.181	0.802±0.061	0.707±0.044	0.199±0.029	0.039±0.023	0.033±0.002	0.442±0.015
	十勝 〃第二	28	0.593±0.036	0.144±0.012	0.056±0.010	3.028±0.251	0.762±0.040	0.764±0.051	0.197±0.026	0.038±0.022	0.034±0.002	0.449±0.009
	赤井川第一	50	0.254±0.029	0.070±0.004	0.086±0.010	2.213±0.104	0.969±0.060	0.428±0.021	0.249±0.024	0.058±0.023	0.027±0.002	0.371±0.009
	〃第二	30	0.258±0.065	0.072±0.002	0.080±0.010	2.207±0.083	0.970±0.045	0.436±0.026	0.245±0.021	0.021±0.029	0.025±0.007	0.371±0.007
	登泉第一	75	0.473±0.019	0.148±0.007	0.060±0.015	1.764±0.072	0.438±0.027	0.607±0.028	0.157±0.020	0.025±0.017	0.032±0.002	0.469±0.013
	〃第二	40	0.377±0.009	0.133±0.006	0.055±0.008	1.723±0.066	0.516±0.019	0.513±0.018	0.177±0.016	0.007±0.015	0.030±0.005	0.431±0.010
青森県	折腰内	35	0.190±0.015	0.075±0.003	0.040±0.008	1.575±0.066	1.241±0.046	0.318±0.014	0.141±0.033	0.076±0.021	0.024±0.002	0.348±0.010
	出来島	27	0.346±0.022	0.132±0.007	0.231±0.019	2.268±0.085	0.865±0.044	1.106±0.056	0.399±0.038	0.179±0.031	0.038±0.003	0.499±0.013
	深浦 六角沢	36	0.080±0.008	0.097±0.011	0.013±0.002	0.697±0.021	0.128±0.008	0.002±0.002	0.064±0.007	0.035±0.004	0.026±0.002	0.379±0.010
	深浦 八森山	41	0.077±0.005	0.098±0.003	0.013±0.002	0.701±0.018	0.134±0.005	0.002±0.002	0.070±0.005	0.034±0.006	0.027±0.005	0.384±0.009
	青森市 戸門第一	28	0.250±0.024	0.069±0.003	0.068±0.012	2.358±0.257	1.168±0.062	0.521±0.063	0.277±0.065	0.076±0.025	0.026±0.002	0.362±0.015
	青森市 〃第二	28	0.084±0.006	0.104±0.004	0.013±0.002	0.691±0.021	0.123±0.006	0.002±0.002	0.069±0.010	0.033±0.005	0.025±0.002	0.369±0.007
	青森市 鶴ケ坂	33	0.344±0.017	0.132±0.007	0.232±0.023	2.261±0.143	0.861±0.052	1.081±0.060	0.390±0.039	0.186±0.037	0.037±0.002	0.496±0.018
	青森市 鷹森山	47	0.252±0.017	0.068±0.009	0.079±0.033	2.548±0.131	1.149±0.069	0.568±0.108	0.288±0.037	0.049±0.036	0.028±0.005	0.383±0.018
	青森市 下湯川	36	9.673±0.479	2.703±0.149	3.267±0.217	21.648±1.500	0.090±0.021	1.708±0.102	0.155±0.015	0.169±0.031	0.053±0.042	0.858±0.088
	大釈迦	67	0.253±0.016	0.067±0.008	0.077±0.029	2.519±0.148	1.147±0.065	0.558±0.087	0.286±0.035	0.047±0.040	0.028±0.003	0.385±0.018
秋田県	男鹿 金ケ崎	43	0.294±0.009	0.087±0.004	0.220±0.018	1.644±0.081	1.493±0.081	0.930±0.043	0.287±0.039	0.098±0.040	0.029±0.002	0.368±0.008
	男鹿 脇本	45	0.295±0.008	0.087±0.004	0.219±0.017	1.671±0.077	1.503±0.072	0.939±0.054	0.286±0.045	0.108±0.034	0.028±0.006	0.367±0.009
山形県	月山	44	0.285±0.021	0.123±0.007	0.182±0.016	1.906±0.096	0.966±0.069	1.022±0.071	0.276±0.036	0.119±0.033	0.033±0.002	0.443±0.014

表1－2　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原産地	原石群名	分析個数	Ca／K	Ti／K	Mn／Zr	Fe／Zr	Rb／Zr	Sr／Zr	Y／Zr	Nb／Zr	Al／K	Si／K
			元素比									
岩手県	畚石	25	0.636±0.033	0.187±0.012	0.052±0.007	1.764±0.061	0.305±0.016	0.431±0.021	0.209±0.016	0.045±0.014	0.041±0.003	0.594±0.014
	折居	22	0.615±0.055	0.180±0.016	0.058±0.007	1.751±0.062	0.306±0.033	0.421±0.051	0.228±0.079	0.045±0.011	0.041±0.005	0.594±0.055
	花泉	30	0.596±0.046	0.177±0.018	0.056±0.008	1.742±0.072	0.314±0.019	0.420±0.025	0.220±0.016	0.044±0.013	0.041±0.003	0.586±0.030
宮城県	湯倉	21	2.174±0.068	0.349±0.017	0.057±0.005	2.544±0.149	0.116±0.009	0.658±0.024	0.138±0.015	0.020±0.013	0.073±0.003	0.956±0.040
	塩釜	37	4.828±0.395	1.630±0.104	0.178±0.017	11.362±1.150	0.168±0.018	1.298±0.063	0.155±0.016	0.037±0.018	0.077±0.002	0.720±0.032
新潟県	佐渡 第一	34	0.228±0.013	0.078±0.006	0.020±0.005	1.492±0.079	0.821±0.047	0.288±0.018	0.142±0.018	0.049±0.017	0.024±0.004	0.338±0.013
	〃 第二	12	0.263±0.032	0.097±0.018	0.020±0.006	1.501±0.053	0.717±0.106	0.326±0.029	0.091±0.022	0.046±0.015	0.026±0.002	0.338±0.009
	上石川	45	0.321±0.007	0.070±0.003	0.069±0.011	2.051±0.070	0.981±0.042	0.773±0.034	0.182±0.023	0.038±0.027	0.026±0.007	0.359±0.009
	板山	44	0.232±0.011	0.068±0.003	0.169±0.017	2.178±0.110	1.772±0.098	0.772±0.046	0.374±0.047	0.154±0.034	0.027±0.002	0.359±0.009
	大白川	22	0.569±0.012	0.142±0.007	0.033±0.005	1.608±0.049	0.261±0.012	0.332±0.011	0.150±0.015	0.033±0.011	0.036±0.003	0.491±0.014
	金津	46	0.331±0.011	0.097±0.037	0.030±0.007	1.711±0.066	0.618±0.027	0.283±0.012	0.181±0.016	0.035±0.018	0.027±0.009	0.402±0.012
栃木県	高原山	40	0.738±0.067	0.200±0.010	0.044±0.007	2.016±0.110	0.381±0.025	0.502±0.028	0.190±0.017	0.023±0.014	0.036±0.002	0.516±0.012
東京都	神津島 第一津	56	0.381±0.014	0.136±0.005	0.102±0.011	1.729±0.079	0.471±0.027	0.689±0.037	0.247±0.021	0.090±0.026	0.036±0.003	0.504±0.012
	〃 第二島	23	0.317±0.016	0.120±0.008	0.114±0.014	1.833±0.069	0.615±0.039	0.656±0.050	0.303±0.034	0.107±0.026	0.033±0.002	0.471±0.009
	長根	40	0.318±0.020	0.120±0.005	0.118±0.014	1.805±0.096	0.614±0.036	0.664±0.045	0.291±0.029	0.093±0.039	0.034±0.006	0.476±0.012
神奈川県	箱根・笛塚	30	6.765±0.254	2.219±0.057	0.228±0.019	9.282±0.622	0.048±0.017	1.757±0.061	0.252±0.017	0.025±0.019	0.140±0.008	1.528±0.046
	〃・畑宿	41	2.056±0.064	0.669±0.019	0.076±0.007	2.912±0.104	0.062±0.007	0.680±0.029	0.202±0.011	0.011±0.010	0.080±0.005	1.126±0.031
	鍛冶屋	31	1.663±0.071	0.381±0.019	0.056±0.007	2.139±0.097	0.073±0.008	0.629±0.025	0.154±0.009	0.011±0.009	0.067±0.005	0.904±0.020
静岡県	上多賀	31	1.329±0.078	0.294±0.018	0.041±0.006	1.697±0.068	0.087±0.009	0.551±0.023	0.138±0.011	0.010±0.009	0.059±0.004	0.856±0.018
	柏峠西	35	1.213±0.164	0.314±0.028	0.031±0.004	1.699±0.167	0.113±0.007	0.391±0.022	0.143±0.007	0.009±0.009	0.047±0.004	0.663±0.020
	小豆峠	40	0.110±0.008	0.052±0.004	0.297±0.038	3.211±0.319	0.829±0.089	0.154±0.030	0.547±0.054	0.087±0.057	0.025±0.014	0.429±0.016
富山県	魚津	12	0.278±0.013	0.065±0.004	0.064±0.008	2.084±0.095	0.906±0.057	0.641±0.046	0.194±0.014	0.102±0.021	0.027±0.002	0.372±0.009
	高岡市 二上山第一	36	0.319±0.017	0.113±0.006	0.040±0.008	1.720±0.080	0.740±0.052	0.665±0.029	0.121±0.026	0.047±0.031	0.015±0.014	0.392±0.018
	〃 第二	40	0.710±0.017	0.202±0.008	0.054±0.011	1.994±0.152	0.413±0.028	0.840±0.050	0.118±0.025	0.051±0.031	0.020±0.020	0.599±0.024
	〃 第三	45	0.441±0.052	0.108±0.014	0.079±0.021	2.251±0.138	0.794±0.155	1.222±0.088	0.127±0.041	0.067±0.053	0.015±0.014	0.412±0.025
長野県	霧ケ峰	171	0.138±0.009	0.066±0.003	0.104±0.011	1.339±0.057	1.076±0.047	0.360±0.023	0.275±0.030	0.112±0.023	0.026±0.002	0.361±0.013
	和田峠第一	143	0.167±0.028	0.049±0.008	0.117±0.011	1.346±0.085	1.853±0.124	0.112±0.056	0.409±0.048	0.139±0.026	0.025±0.002	0.355±0.016
	〃 第二	17	0.146±0.003	0.032±0.003	0.151±0.010	1.461±0.039	2.449±0.135	0.036±0.012	0.517±0.044	0.186±0.025	0.027±0.002	0.368±0.007
	〃 第三	62	0.248±0.048	0.064±0.012	0.114±0.011	1.520±0.182	1.673±0.140	0.274±0.104	0.374±0.048	0.122±0.024	0.025±0.003	0.348±0.017
	〃 第四	37	0.144±0.017	0.063±0.004	0.094±0.009	1.373±0.085	1.311±0.037	0.206±0.030	0.263±0.038	0.090±0.022	0.023±0.002	0.331±0.019
	〃 第五	47	0.176±0.019	0.075±0.010	0.073±0.011	1.282±0.086	1.053±0.196	0.275±0.058	0.184±0.042	0.066±0.023	0.021±0.002	0.306±0.013
	〃 第六	53	0.156±0.011	0.055±0.005	0.095±0.012	1.333±0.064	1.523±0.093	0.134±0.031	0.279±0.039	0.010±0.017	0.021±0.002	0.313±0.012
	鷹山・和田	53	0.138±0.004	0.042±0.002	0.123±0.010	1.259±0.041	1.978±0.067	0.045±0.010	0.442±0.039	0.142±0.022	0.026±0.002	0.360±0.010
	男女倉	119	0.223±0.026	0.102±0.010	0.059±0.008	1.169±0.081	0.701±0.109	0.409±0.052	0.128±0.024	0.053±0.017	0.026±0.002	0.354±0.008
	麦草峠	68	0.263±0.020	0.138±0.011	0.049±0.008	1.403±0.069	0.532±0.048	0.764±0.031	0.101±0.018	0.056±0.016	0.029±0.002	0.401±0.017
	双子池	83	0.252±0.027	0.129±0.007	0.059±0.010	1.630±0.179	0.669±0.052	0.802±0.058	0.111±0.024	0.037±0.032	0.027±0.007	0.401±0.011
	大窪沢	42	1.481±0.117	0.466±0.021	0.042±0.006	2.005±0.135	0.182±0.011	0.841±0.044	0.105±0.010	0.009±0.008	0.033±0.005	0.459±0.012

表1－3　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原産地	原石群名	分析個数	Ca／K	Ti／K	Mn／Zr	Fe／Zr	Rb／Zr	Sr／Zr	Y／Zr	Nb／Zr	Al／K	Si／K
			元素比									
石川県	比那	17	0.370±0.014	0.087±0.004	0.060±0.009	2.699±0.167	0.639±0.028	0.534±0.023	0.172±0.028	0.052±0.018	0.032±0.002	0.396±0.017
福井県	安島	21	0.407±0.007	0.123±0.005	0.038±0.006	1.628±0.051	0.643±0.041	0.675±0.030	0.113±0.020	0.061±0.016	0.032±0.002	0.450±0.010
	三里山	21	0.350±0.018	0.123±0.008	0.036±0.006	1.561±0.081	0.608±0.031	0.798±0.039	0.069±0.020	0.062±0.013	0.028±0.002	0.381±0.008
島根県	加茂	20	0.154±0.008	0.092±0.009	0.018±0.003	0.943±0.029	0.289±0.016	0.006±0.003	0.047±0.010	0.144±0.019	0.022±0.001	0.269±0.017
	津井	30	0.150±0.008	0.100±0.003	0.015±0.002	0.919±0.033	0.305±0.010	0.013±0.003	0.046±0.013	0.132±0.007	0.022±0.001	0.258±0.006
	久見	31	0.142±0.004	0.061±0.002	0.020±0.003	0.981±0.048	0.398±0.013	0.001±0.002	0.093±0.015	0.229±0.010	0.023±0.002	0.317±0.006
福岡県	八女昭和溜池	68	0.261±0.010	0.211±0.007	0.033±0.003	0.798±0.027	0.326±0.013	0.283±0.015	0.071±0.009	0.034±0.008	0.024±0.006	0.279±0.009
佐賀県	中野第一群	39	0.267±0.007	0.087±0.003	0.027±0.005	1.619±0.083	0.628±0.028	0.348±0.015	0.103±0.018	0.075±0.018	0.023±0.007	0.321±0.011
	〃第二群	40	0.345±0.007	0.104±0.003	0.027±0.005	1.535±0.039	0.455±0.017	0.397±0.014	0.069±0.016	0.059±0.014	0.026±0.008	0.328±0.008
	梅野	39	0.657±0.014	0.202±0.006	0.071±0.013	4.239±0.205	1.046±0.065	1.269±0.058	0.104±0.032	0.380±0.047	0.028±0.005	0.345±0.009
	腰岳	26	0.214±0.015	0.029±0.001	0.076±0.012	2.694±0.110	1.686±0.085	0.441±0.030	0.293±0.039	0.257±0.029	0.027±0.002	0.356±0.008
	椎葉川	59	0.414±0.009	0.071±0.003	0.101±0.017	2.947±0.142	1.253±0.081	2.015±0.099	0.147±0.035	0.255±0.040	0.030±0.007	0.388±0.009
	松尾第一群	40	0.600±0.067	0.153±0.029	0.125±0.018	4.692±0.369	1.170±0.114	2.023±0.122	0.171±0.032	0.255±0.037	0.032±0.003	0.376±0.008
	〃第二群	40	0.953±0.027	0.307±0.010	0.126±0.013	6.666±0.342	0.856±0.070	1.907±0.119	0.147±0.029	0.194±0.028	0.033±0.008	0.383±0.010
長崎県	壱岐島 久喜ノ辻	37	0.165±0.012	0.066±0.002	0.034±0.003	1.197±0.030	0.403±0.012	0.005±0.004	0.114±0.012	0.326±0.008	0.024±0.002	0.294±0.008
	壱岐島 君ケ浦	28	0.161±0.011	0.064±0.002	0.034±0.003	1.209±0.032	0.405±0.008	0.005±0.004	0.119±0.016	0.322±0.010	0.025±0.002	0.294±0.006
	壱岐島 角川	29	0.138±0.010	0.037±0.002	0.056±0.007	1.741±0.083	1.880±0.076	0.012±0.012	0.303±0.038	0.652±0.036	0.026±0.002	0.358±0.010
	壱岐島 貝畑	49	0.135±0.010	0.037±0.002	0.056±0.009	1.746±0.073	1.834±0.064	0.022±0.013	0.334±0.046	0.714±0.040	0.021±0.009	0.339±0.015
	松浦第一	23	0.218±0.010	0.029±0.002	0.085±0.013	2.692±0.125	1.674±0.064	0.439±0.027	0.284±0.047	0.266±0.028	0.027±0.002	0.359±0.012
	〃第二	17	0.176±0.016	0.030±0.004	0.062±0.022	2.364±0.389	1.607±0.245	0.308±0.074	0.277±0.056	0.210±0.050	0.026±0.002	0.361±0.010
	〃第三	16	0.245±0.019	0.060±0.006	0.045±0.012	1.975±0.240	0.878±0.099	0.421±0.081	0.130±0.030	0.145±0.023	0.026±0.002	0.358±0.013
	〃第四	22	0.287±0.019	0.067±0.004	0.044±0.007	1.906±0.106	0.765±0.074	0.484±0.034	0.115±0.023	0.117±0.018	0.028±0.001	0.367±0.007
	淀姫	44	0.329±0.014	0.080±0.005	0.042±0.007	1.804±0.065	0.539±0.022	0.504±0.035	0.077±0.018	0.117±0.014	0.029±0.002	0.374±0.009
	中町第一	25	0.248±0.017	0.058±0.008	0.057±0.007	1.884±0.085	0.832±0.092	0.403±0.026	0.112±0.021	0.152±0.017	0.026±0.002	0.363±0.007
	〃第二	17	0.327±0.030	0.080±0.017	0.045±0.007	1.832±0.074	0.653±0.088	0.488±0.030	0.090±0.030	0.093±0.023	0.027±0.002	0.358±0.012
	古里第一	40	0.192±0.020	0.027±0.003	0.080±0.016	2.699±0.215	1.780±0.164	0.413±0.065	0.312±0.056	0.259±0.040	0.027±0.002	0.358±0.008
	〃第二	22	0.414±0.012	0.073±0.006	0.102±0.015	2.898±0.204	1.221±0.094	1.951±0.124	0.133±0.047	0.261±0.034	0.031±0.002	0.383±0.010
	〃第三	19	0.257±0.035	0.062±0.009	0.054±0.009	1.939±0.131	0.812±0.113	0.436±0.052	0.101±0.029	0.145±0.037	0.028±0.002	0.364±0.011
	松岳	43	0.941±0.009	0.054±0.005	0.040±0.008	1.686±0.114	0.833±0.058	0.251±0.025	0.192±0.032	0.124±0.039	0.018±0.011	0.331±0.017
	大崎	25	0.161±0.011	0.051±0.002	0.037±0.006	1.718±0.056	0.948±0.030	0.179±0.018	0.191±0.026	0.137±0.019	0.024±0.002	0.340±0.006

表１－４　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原産地	原石群名	分析個数	Ca／K	Ti／K	Mn／Zr	Fe／Zr	Rb／Zr	Sr／Zr	Y／Zr	Nb／Zr	Al／K	Si／K
			元素比									
大分県	姫島地域 観音崎	41	0.216±0.017	0.045±0.003	0.428±0.057	6.897±0.806	1.829±0.220	1.572±0.180	0.325±0.088	0.622±0.099	0.035±0.002	0.418±0.011
	姫島地域 両瀬第一	33	0.221±0.021	0.045±0.003	0.450±0.061	7.248±0.668	1.917±0.194	1.660±0.173	0.355±0.057	0.669±0.105	0.035±0.002	0.419±0.009
	姫島地域 ＊〃第二	32	0.634±0.047	0.140±0.013	0.194±0.026	4.399±0.322	0.614±0.077	3.162±0.189	0.144±0.031	0.240±0.041	0.038±0.002	0.451±0.011
	姫島地域 ＊〃第三	10	1.013±0.140	0.211±0.026	0.126±0.016	3.491±0.231	0.305±0.067	4.002±0.174	0.109±0.021	0.137±0.028	0.040±0.004	0.471±0.017
	姫島地域 ＊オイ崎	29	1.074±0.110	0.224±0.024	0.122±0.012	3.460±0.301	0.286±0.048	4.010±0.197	0.101±0.022	0.133±0.025	0.040±0.003	0.469±0.014
	姫島地域 ＊稲積	25	0.653±0.066	0.141±0.016	0.189±0.030	4.398±0.425	0.605±0.096	3.234±0.264	0.151±0.033	0.245±0.050	0.037±0.002	0.448±0.015
	塚瀬	30	0.313±0.023	0.127±0.009	0.065±0.010	1.489±0.124	0.600±0.051	0.686±0.082	0.175±0.018	0.102±0.020	0.028±0.002	0.371±0.009
	荻台地	50	1.615±0.042	0.670±0.013	0.096±0.008	5.509±0.269	0.284±0.031	1.526±0.053	0.097±0.016	0.032±0.018	0.032±0.005	0.310±0.011
	緒方下尾平	64	0.482±0.036	0.286±0.015	0.051±0.008	1.361±0.095	0.303±0.019	0.712±0.043	0.089±0.018	0.055±0.021	0.012±0.010	0.288±0.016
熊本県	小国	30	0.317±0.023	0.127±0.005	0.063±0.007	1.441±0.070	0.611±0.032	0.703±0.044	0.175±0.233	0.097±0.017	0.023±0.002	0.320±0.007
	南関	30	0.261±0.016	0.214±0.007	0.034±0.003	0.788±0.033	0.326±0.012	0.278±0.015	0.069±0.012	0.031±0.009	0.021±0.002	0.243±0.008
	轟	44	0.258±0.009	0.214±0.006	0.033±0.005	0.794±0.078	0.329±0.017	0.275±0.010	0.066±0.011	0.033±0.009	0.020±0.003	0.243±0.008
	冠ケ岳	21	0.261±0.012	0.211±0.008	0.032±0.003	0.780±0.038	0.324±0.011	0.279±0.017	0.064±0.011	0.037±0.006	0.025±0.002	0.277±0.009
	一ノ宮滝室	32	1.381±0.013	0.641±0.009	0.100±0.006	6.845±0.178	0.316±0.022	1.319±0.039	0.099±0.013	0.038±0.014	0.021±0.008	0.227±0.006
	一ノ宮坂梨	63	1.597±0.098	0.732±0.046	0.097±0.008	6.690±0.314	0.282±0.022	1.316±0.051	0.102±0.013	0.037±0.015	0.024±0.011	0.257±0.021
	箱石峠	84	0.791±0.082	0.279±0.009	0.045±0.005	1.208±0.023	0.279±0.018	0.811±0.046	0.046±0.012	0.029±0.014	0.031±0.009	0.366±0.033
	大柿	53	1.542±0.125	0.670±0.033	0.089±0.010	4.894±0.474	0.279±0.028	1.432±0.089	0.094±0.013	0.027±0.016	0.031±0.008	0.312±0.011
	白浜	78	0.208±0.021	0.101±0.009	0.024±0.006	1.382±0.086	1.021±0.099	0.351±0.037	0.162±0.027	0.027±0.022	0.022±0.007	0.317±0.009
宮崎県	桑ノ木津留											
	〃第一群	47	0.207±0.015	0.094±0.006	0.070±0.009	1.521±0.075	1.080±0.048	0.418±0.020	0.266±0.034	0.063±0.024	0.020±0.003	0.314±0.011
	〃第二群	33	0.261±0.015	0.094±0.006	0.066±0.010	1.743±0.095	1.242±0.060	0.753±0.039	0.205±0.029	0.047±0.036	0.022±0.002	0.323±0.019
	霧島	36	35.158±1.118	5.001±0.175	0.041±0.002	0.038±0.002	0.009±0.004	0.155±0.005	0.035±0.019	0.000±0.000	0.035±0.019	0.446±0.022
鹿児島県	間根ケ平											
	〃第一群	45	0.186±0.010	0.083±0.005	0.047±0.008	1.611±0.079	0.948±0.055	0.340±0.032	0.281±0.031	0.041±0.032	0.022±0.008	0.358±0.014
	〃第二群	45	0.247±0.018	0.106±0.006	0.047±0.008	1.488±0.074	0.768±0.034	0.428±0.049	0.235±0.020	0.039±0.027	0.024±0.008	0.378±0.013
	〃第三群	42	0.584±0.012	0.176±0.005	0.037±0.007	1.484±0.097	0.449±0.031	0.675±0.049	0.143±0.023	0.036±0.022	0.023±0.014	0.390±0.019
	日東	42	0.262±0.018	0.143±0.006	0.022±0.004	1.178±0.040	0.712±0.028	0.408±0.025	0.100±0.018	0.029±0.013	0.019±0.001	0.275±0.006
	五女木	37	0.266±0.021	0.140±0.006	0.019±0.003	1.170±0.064	0.705±0.027	0.405±0.021	0.108±0.015	0.028±0.013	0.019±0.001	0.275±0.006
	上牛鼻	41	1.629±0.098	0.804±0.037	0.053±0.006	3.342±0.215	0.188±0.013	1.105±0.056	0.087±0.009	0.022±0.009	0.036±0.002	0.391±0.011
	平木場	34	1.944±0.054	0.912±0.028	0.062±0.005	3.975±0.182	0.184±0.011	1.266±0.049	0.093±0.010	0.021±0.010	0.038±0.003	0.408±0.010
	竜ケ水	28	0.514±0.032	0.167±0.008	0.063±0.009	1.524±0.079	0.619±0.038	0.719±0.054	0.115±0.019	0.082±0.016	0.037±0.003	0.523±0.009
	長谷	30	0.553±0.032	0.137±0.006	0.065±0.010	1.815±0.062	0.644±0.028	0.553±0.029	0.146±0.021	0.066±0.020	0.037±0.003	0.524±0.012
台湾	台東山脈	37	0.510±0.010	0.198±0.007	0.038±0.007	1.862±0.079	0.353±0.019	0.519±0.017	0.123±0.012	0.024±0.017	0.029±0.007	0.407±0.010
ロシア	カムチャッカ	72	0.473±0.012	0.166±0.007	0.046±0.007	1.572±0.059	0.199±0.011	0.497±0.016	0.126±0.011	0.009±0.014	0.039±0.010	0.460±0.030

表１－５　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原産地	原石群名	分析個数	元素比 Ca／K	Ti／K	Mn／Zr	Fe／Zr	Rb／Zr	Sr／Zr	Y／Zr	Nb／Zr	Al／K	Si／K
北海道	ＨＳ１遺物群	67	0.241±0.021	0.107±0.005	0.018±0.006	1.296±0.077	0.430±0.016	0.153±0.009	0.140±0.015	0.008±0.013	0.018±0.012	0.325±0.042
	ＨＳ２遺物群	60	0.453±0.011	0.135±0.008	0.041±0.008	1.765±0.075	0.448±0.021	0.419±0.019	0.130±0.015	0.015±0.019	0.034±0.010	0.500±0.015
	ＦＲ１遺物群	51	0.643±0.012	0.124±0.008	0.052±0.007	2.547±0.143	0.530±0.032	0.689±0.032	0.156±0.015	0.004±0.008	0.029±0.011	0.407±0.047
	ＦＲ２遺物群	59	0.535±0.061	0.106±0.012	0.053±0.009	2.545±0.138	0.557±0.051	0.685±0.029	0.165±0.021	0.016±0.022	0.027±0.009	0.373±0.043
	ＦＲ３遺物群	37	0.380±0.037	0.084±0.007	0.052±0.009	2.548±0.145	0.586±0.056	0.681±0.033	0.164±0.021	0.017±0.023	0.023±0.006	0.292±0.037
	ＦＲ４遺物群	44	0.261±0.043	0.074±0.010	0.051±0.008	2.500±0.117	0.639±0.057	0.679±0.032	0.155±0.021	0.009±0.017	0.018±0.008	0.258±0.036
	ＦＨ１遺物群	32	0.898±0.032	0.221±0.007	0.054±0.006	2.540±0.101	0.426±0.018	0.802±0.023	0.109±0.013	0.017±0.021	0.037±0.003	0.447±0.011
	ＫＴ１遺物群	56	1.103±0.050	0.146±0.007	0.081±0.008	2.942±0.133	0.314±0.053	0.775±0.082	0.133±0.016	0.019±0.021	0.043±0.007	0.516±0.015
	ＫＴ２遺物群	38	0.959±0.027	0.154±0.005	0.085±0.010	2.882±0.092	0.542±0.028	1.111±0.040	0.107±0.015	0.012±0.016	0.042±0.008	0.519±0.010
秋田県	ＫＮ遺物群	107	0.351±0.011	0.121±0.006	0.053±0.007	1.581±0.071	0.347±0.020	0.219±0.014	0.216±0.015	0.054±0.017	0.029±0.011	0.475±0.040
岩手県	ＡＩ１遺物群	41	1.519±0.026	0.277±0.010	0.078±0.006	2.849±0.073	0.167±0.010	0.526±0.017	0.251±0.013	0.009±0.012	0.058±0.017	0.929±0.024
	ＡＩ２遺物群	61	3.141±0.074	0.552±0.021	0.080±0.008	2.752±0.062	0.094±0.009	0.716±0.019	0.242±0.011	0.008±0.014	0.083±0.029	1.353±0.049
	ＡＩ３遺物群	61	0.950±0.013	0.215±0.004	0.117±0.009	4.306±0.100	0.114±0.008	0.909±0.028	0.248±0.012	0.014±0.016	0.028±0.006	0.360±0.009
	ＡＩ４遺物群	122	1.850±0.059	0.474±0.025	0.067±0.007	2.055±0.077	0.083±0.006	0.531±0.030	0.177±0.010	0.011±0.013	0.064±0.025	1.061±0.105
	ＡＩ５遺物群	122	3.167±0.092	0.696±0.027	0.101±0.009	3.787±0.108	0.114±0.010	0.892±0.026	0.241±0.012	0.006±0.012	0.091±0.020	1.234±0.052
長野県	ＮＫ遺物群	57	0.566±0.019	0.163±0.007	0.086±0.011	1.822±0.084	0.467±0.031	1.691±0.064	0.102±0.021	0.041±0.028	0.038±0.003	0.500±0.014
青森県	ＨＹ遺物群	31	0.238±0.011	0.131±0.006	0.048±0.008	1.636±0.066	0.418±0.028	1.441±0.015	0.482±0.024	0.029±0.028	0.020±0.015	0.481±0.068
	ＳＮ１遺物群	33	0.287±0.006	0.087±0.004	0.033±0.005	1.597±0.037	0.244±0.011	0.258±0.011	0.281±0.012	0.009±0.012	0.021±0.006	0.329±0.006
	ＳＮ２遺物群	29	0.209±0.006	0.116±0.006	0.076±0.008	1.571±0.082	0.716±0.035	0.292±0.017	0.264±0.029	0.028±0.030	0.023±0.009	0.383±0.015
鹿児島県	ＫＩ遺物群	40	0.363±0.010	0.098±0.004	0.056±0.011	1.937±0.060	1.028±0.041	0.538±0.026	0.189±0.025	0.032±0.032	0.029±0.010	0.451±0.010
	ＵＴ遺物群	46	0.297±0.013	0.107±0.005	0.053±0.010	1.638±0.104	1.012±0.056	0.736±0.039	0.168±0.027	0.034±0.028	0.024±0.011	0.390±0.014
北朝鮮	会寧城外遺跡遺物群	70	0.135±0.012	0.062±0.006	0.017±0.003	1.118±0.051	0.585±0.036	0.068±0.019	0.150±0.022	0.372±0.035	0.025±0.004	0.319±0.012
ロシア	イリスタヤ遺跡遺物群	26	18.888±2.100	6.088±0.868	0.293±0.032	27.963±2.608	0.055±0.017	2.716±0.162	0.163±0.019	0.036±0.030	0.173±0.029	1.674±0.240
標準試料	ＪＧ－１*)	127	0.755±0.010	0.202±0.005	0.076±0.011	3.759±0.111	0.993±0.036	1.331±0.046	0.251±0.027	0.105±0.017	0.028±0.002	0.342±0.004

平均値±標準偏差値、　＊：ガラス質安山岩　　ＮＫ遺物群：中ッ原遺跡、ＨＹ遺物群：日和山遺跡、ＳＮ遺物群：三内丸山遺跡出土、ＫＮ遺物群：此掛沢遺跡、ＨＳ遺物群：北進遺跡、ＫＩ遺物群：桐木遺跡、　ＵＴ遺物群：内屋敷遺跡、ＡＩ遺物群：相ノ沢遺跡、ＦＲ遺物群：東麓郷１，２遺跡、ＦＨ遺物群：東Ｈ９線８遺跡、ＫＴ遺物群：北区１遺跡出土などの産地不明の原石群

a) : Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T. & Takeda, E. (1974). 1974 compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geochemical Journal Vol. 8, 175-192.

表2　千歳市キウス4遺跡A地区出土黒曜石製遺物の元素比分析結果

分析番号	元素比									
	Ca/ K	Ti/ K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/ K	Si/ K
60229	0.262	0.070	0.098	2.071	0.936	0.405	0.228	0.000	0.024	0.357
60230	0.167	0.053	0.064	2.855	1.378	0.278	0.355	0.076	0.026	0.351
60231	0.119	0.018	0.108	2.780	1.684	0.088	0.431	0.000	0.024	0.301
60232	0.141	0.026	0.092	2.968	1.795	0.124	0.537	0.000	0.027	0.348
60233	0.137	0.024	0.070	3.046	1.858	0.129	0.480	0.048	0.024	0.357
60234	0.187	0.063	0.093	2.765	1.424	0.327	0.343	0.000	0.026	0.357
60235	0.264	0.069	0.073	2.192	1.065	0.485	0.255	0.048	0.026	0.357
60236	0.246	0.073	0.062	1.953	0.957	0.445	0.223	0.023	0.025	0.345
60237	0.251	0.068	0.085	2.041	0.921	0.410	0.269	0.000	0.027	0.373
60238	0.264	0.071	0.082	2.225	1.051	0.438	0.217	0.000	0.030	0.375
60239	0.261	0.069	0.084	2.153	0.946	0.435	0.266	0.000	0.024	0.359
60240	0.236	0.070	0.077	2.357	1.045	0.471	0.207	0.000	0.025	0.363
60241	0.249	0.067	0.085	2.160	0.902	0.390	0.292	0.065	0.000	0.345
60242	0.149	0.026	0.100	2.985	1.799	0.101	0.479	0.133	0.029	0.358
60243	0.139	0.021	0.097	2.888	1.809	0.108	0.433	0.134	0.028	0.354
60244	0.254	0.070	0.078	2.154	0.854	0.437	0.225	0.000	0.000	0.342
60245	0.322	0.130	0.043	1.785	0.785	0.493	0.193	0.000	0.025	0.389
JG-1	0.761	0.211	0.077	3.953	1.006	1.319	0.294	0.066	0.029	0.325

JG-1：標準試料-Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T. & Takeda, E. 1974 compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. *Geochemical Journal*, Vol.8 175-192 (1974)

表3　千歳市キウス4遺跡A地区出土の黒曜石石器の原材産地推定結果

分析番号	遺物番号, 遺物出土区, 層	原石産地（確率）	判定	遺物品名分類	原石面
60229	1-34 ,H,e53-HM1 ,盛土2	赤井川第1群(13%),赤井川第2群(16%)	赤井川	フレイク	角礫
60230	2-2 ,H, -HLP876,覆土	赤石山(53%)	赤石山	フレイク	円礫
60231	3- ,H,e54 ,Ⅵ	八号沢(11%)	八号沢	フレイク	梨肌
60232	4- ,H,e54 ,Ⅵ	あじさい滝(36%),八号沢(9%)	あじさい滝	フレイク	円礫
60233	5-309 ,H,h51 ,Ⅵ	あじさい滝(78%),八号沢(58%)	あじさい滝	フレイク	円礫
60234	6- ,H,e54 ,Ⅵ	赤石山(5%)	赤石山	フレイク	円礫
60235	7- ,H,e56-HM1 ,盛土1	大釈迦(27%),赤井川第2群(37%),戸門第1群(37%)	赤井川	フレイク	角礫
60236	8- ,H,e60-HM2 ,盛土1	大釈迦(3%),赤井川第2群(3%)	赤井川	フレイク	円礫
60237	9-2 ,H, -HLP333,覆土	赤井川第1群(32%),赤井川第2群(13%)	赤井川	フレイク	角礫
60238	10- ,H,e54- ,Ⅵ	赤井川第2群(60%),赤井川第1群(6%)	赤井川	フレイク	角礫
60239	11-83 ,H,e61-HM2 ,盛土2	赤井川第1群(32%),赤井川第2群(13%),大釈迦(1%)	赤井川	フレイク	角礫
60240	12-779 ,H,i52-HM3 ,盛土1	大釈迦(8%),鷹森山(9%),赤井川第2群(5%)	赤井川	フレイク	角礫
60241	13- ,H,e61-HM2 ,盛土1	赤井川第1群(14%),赤井川第2群(13%)	赤井川	フレイク	角礫
60242	14-201 ,I,Y48-AKD2 ,3	あじさい滝(36%),八号沢(26%)	あじさい滝	原石	円礫
60243	15-303 ,A,Z49-AKD2 ,2	あじさい滝(61%),八号沢(51%)	あじさい滝	原石	円礫
60244	16-2539,A,I40- ,掘り上げ土	赤井川第1群(3%),赤井川第2群(5%)	赤井川	フレイク	角礫
58645	17-239 ,I,o93-IMA ,盛土	置戸(2%)	置戸	原石	円礫

注意：近年産地分析を行う所が多くなりましたが、判定根拠が曖昧にも関わらず結果のみを報告される場合があます。
本報告では日本における各遺跡の産地分析の判定基準を一定にして、産地分析を行っていますが、判定基準の異なる研究方法（土器様式の基準も研究方法で異なるように）にも関わらず、似た産地名のために同じ結果のように思われるが、全く関係（相互チェックなし）ありません。本研究結果に連続させるには本研究法で再分析が必要です。
本報告の分析結果を考古学資料とする場合には常に同じ基準で判定されている結果で古代交流圏などを考察をする必要があります。

5　千歳市キウス4遺跡A・H・K地区出土動物遺存体

高橋　理／千歳サケのふるさと館

遺跡名	キウス4遺跡A・H・K地区
所在地	北海道千歳市中央1190－3ほか
調査原因	北海道横断自動車道建設事業
調査期間	平成9年5月6日～10月30日
調査面積	5,570㎡
調査主体	財団法人　北海道埋蔵文化財センター
調査担当者	佐川俊一・和泉田毅
遺跡の性格	集落
検出遺構	盛土遺構・住居跡・土壙（墓ほか）
遺跡の年代	縄文時代早期後半～前期前半（A地区）
	縄文時代後期後葉（A・H・K地区）

はじめに

平成9年度のキウス4遺跡A・H・K地区の発掘調査によって、縄文時代早期から後期にわたる多くの遺構・遺物が検出された。動物遺存体の出土も多く、ここにその同定結果を報告する。

遺物はハンドピックによる直接採取と、フローテーションによる種実回収作業にともなって回収されたものである。メッシュの大きさは1㎜である。

出土動物遺存体

回収された動物遺存体は以下のとおりである。また、表　～　に時期毎の遺構・包含層における出土状況を示した。

出土した動物遺存体は次の5綱である。

二枚貝綱　Pelecypoda
　バカガイ科　Mactridae
　　ウバガイ *Spisula (pseudocardium) sachalinensis*

軟骨魚綱　Chondrichthyes
　アオザメ科　Isuridae
　　ホホジロザメ　*Carcharodon carchrias*

硬骨魚綱　Osteichthyes
　サケ科　Salmonidae
　　サケ　*Oncoryhnchus keta*
　　サクラマス　*Oncorhynchus masou masou*
　　イトウ　*Hucho perryi*

イトヨ科　Gasterosteidae　sp.
コイ科　Cyprinidae
ウグイ属　*Tribolodon*　sp.
ほか不明

鳥綱　Aves

哺乳綱　Mammalia
イノシシ科　Suidae
イノシシ　*Sus scrofa leucomystax*
シカ科　Cervidae
ニホンジカ　*Cervus nippon*
クマ科　Ursidae
ヒグマ　*Ursus arctos*
ほか不明

若干の考察

縄文時代早期後半から前期前半の遺物は多くない。ほとんどが焼土からの出土である。この地区に隣接するＡ２地区の同時期の焼土から出土した動物遺存体を分析する機会が与えられたが、同様の状況である（高橋：1999印刷中)。サケ科魚類がやや多く、歯や椎骨がともにみられる。

後期後葉では盛土遺構および盛土内焼土からの採取遺物が多い。しかし、多くは細片化しており、同定にいたった例は少ない。キウス４遺跡の盛土出土の動物遺存体の分析はかつて行ったことがある（高橋・太子：1998)。比較的多いサケ科魚類では椎骨のみが出土し、歯の検出がほとんどみられなかった。やはり保存などの処理がほどこされたものが、この場において消費されているのであろう。これに対して、前回目についたイノシシは盛土遺構からは検出されなかった。

包含層からは多くの種類の動物遺存体がみられた。ホホジロザメの歯は、本来赤色顔料が全体に塗布されていたらしい。ヒグマ、イノシシは包含層からのみの出土であった。

謝辞

400箇所近くから動物遺存体が回収されたわけであるが、保存状況がよくないことから同定にいたった例は多くなかった。盛土遺構内の焼土が多くなかったことが要因の一つであろう。イノシシが盛土遺構からまったく見つからなかった。盛土遺構の形成過程などに違いがあるのだろうか。課題としたい。

多くの微細な骨片の回収に努められ、筆者に分析の機会を与えられた財団法人北海道埋蔵文化財センター　佐川俊一氏およびスタッフの方々に感謝いたします。

引用文献

高橋　理・太子　夕佳
(1998)「千歳市キウス４遺跡出土動物遺存体」『千歳市キウス４遺跡(2)』　pp.345-356
高橋　理（1999)「キウス４遺跡Ａ２地区出土動物遺存体」(印刷中)

平成９年度キウス４遺跡Ａ・Ｈ・Ｋ地区出土動物遺存体

縄文早期・前期焼土出土動物遺存体

No	地区名	遺構名	グリッド	遺物No	層位	時期	重量(g)	フローテーション番号	動物遺存体	部位	残存部位	数量	備考
11	A	ALF-022	H-42		焼土	早期後半～前期前半	0.1	548	不明			4	
12	A	ALF-023	I-43		焼土	早期後半～前期前半	0.1	550	不明			8	
13	A	ALF-026	G-40		焼土	早期後半～前期前半	0.1	551	不明			5	
14	A	ALF-030	G-41		焼土	早期後半～前期前半	2	553	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		17	他に微細片
15	A	ALF-033	I-44		焼土	早期後半～前期前半	0.6	554	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		16	他に微細片
16	A	ALF-034	I-44		焼土	早期後半～前期前半	0.1	555	不明			3	他に微細片
17	A	ALF-039	H-41		焼土	早期後半～前期前半	0.1	560	不明			9	
20	A	ALF-047	遺構		焼土	早期後半～前期前半	0.8	568	サケ科 Salmonidae	椎骨	破片	6	
										鰓耙？	基部	1	
									硬骨魚綱 Osteichthyes non det.	部位不明		4	
									ニホンジカ *Cervus nippon*	距骨	脛骨関節面	1	内側 or 外側？
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		4	
									不明			7	他に微細片
21	A	ALF-047	遺構		焼土	早期後半～前期前半	0.1	569	サケ科 Salmonidae	歯		1	
										椎骨	破片	6	
									サケ科 Salmonidae?	部位不明		3	
									哺乳綱 Mammalia?	部位不明		1	
22	A	ALF-048	遺構		焼土	早期後半～前期前半	0.1	570	不明			7	1点哺乳綱か？
23	A	ALF-048	遺構		焼土	早期後半～前期前半	0.1	571	哺乳綱 Mammalia non det.		部位不明	4	
									不明			4	
24	A	ALF-049	H-39		焼土	早期後半～前期前半	0.4	572	サケ科 Salmonidae	椎骨	破片	3	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		5	他に微細片
25	A	ALF-049	H-39		焼土	早期後半～前期前半	0.1	573	不明			6	
26	A	ALF-049	H-39		焼土	早期後半～前期前半	0.1	574	サケ科 Salmonidae	歯		1	
										椎骨	破片	15	
									硬骨魚綱 Osteichthyes non det.	部位不明		31	
27	A	ALF-049	H-39		焼土	早期後半～前期前半	0.6	575	サケ科 Salmonidae	歯		1	
										椎骨	破片	26	
										担鰓骨		1	
									不明			21	他に微細片
28	A	ALF-051	遺構		焼土	早期後半～前期前半	0.1	579	サケ科 Salmonidae	椎骨	破片	2	
									硬骨魚綱 Osteichthyes non det.	部位不明		3	他に微細片
29	A	ALF-051	遺構		焼土	早期後半～前期前半	0.1	752	サケ科 Salmonidae	椎骨	破片	1	
									不明			7	
30	A	ALF-059	遺構		焼土	早期後半～前期前半	3.8	581	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		40	他に微細片多数
18	A	ALF-040	遺構		焼土	時期不明	0.1	561	不明			7	
19	A	ALF-044	遺構		焼土	時期不明	0.1	565	不明			1	

縄文早期・前期住居出土動物遺存体

No	地区名	遺構名	グリッド	遺物No	層位	時期	重量(g)	フローテーション番号	動物遺存体	部位	残存部位	数量	備考
31	A	ALH-012	遺構		覆土	前期前半	0.1	590	不明	部位不明		1	
33	A	ALH-014	遺構		覆土	早期後半	0.1	593	不明	部位不明		1	

縄文早期・前期包含層出土動物遺存体

No	地区名	遺構名	グリッド	遺物No	層位	時期	重量(g)	フローテーション番号	動物遺存体	部位	残存部位	数量	備考
76	A	包含層	G-39		Ⅴ	早期後半～前期前半	0.1	750	不明			3	
77	A	包含層	H-39	15	Ⅵ	早期後半～前期前半	1.6	直接採取	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
									不明			5	
388	A	包含層	H-39		Ⅴ-8b	早期後半～前期前半	1.83	539	サケ科 Salmonidae	椎骨		11	
									ニホンジカ *Cervus nippon*	第２・５指趾骨	末節骨	1	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		7	他に微細片

縄文後期後葉遺構出土動物遺存体

No	地区名	遺構名	グリッド	遺物No	層位	時期	重量(g)	フローテーション番号	動物遺存体	部位	残存部位	数量	備考
A区焼土													
1	A	ALF-001	a-51		焼土	後期後葉	0.1	540	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		10	
2	A	ALF-002	遺構		覆土	後期後葉	0.1	430	不明			1	
3	A	ALF-003	Z-51		焼土	後期後葉	0.1	541	哺乳綱 Mammalia?			2	
4	A	ALF-008	Z-51		焼土	後期後葉	0.1	544	サケ科 Salmonidae	椎骨	破片	1	
									不明			1	
5	A	ALF-010	遺構		Ⅴ-1	後期後葉	0.3	436	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		4	
6	A	ALF-011	遺構		Ⅴ-1	後期後葉	0.1	437	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		3	
7	A	ALF-012	遺構		覆土	後期後葉	0.1	438	不明			3	
8	A	ALF-013	e-48		焼土	後期後葉	1	545	サケ科 Salmonidae	椎骨	破片	4	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		33	他に微細片
9	A	ALF-017	遺構		Ⅴ-1	後期後葉	0.4	442	サケ科 Salmonidae	椎骨	破片	5	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		5	他に微細片
10	A	ALF-018	遺構		焼土	後期後葉	0.1	546	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
									不明			4	
A区土坑													
36	A	ALP-002	遺構		覆土下	後期後葉	0.1	462	硬骨魚綱 Osteichthyes?	耳石 Otolith?		1	
									不明			6	
38	A	ALP-002	遺構		覆土下	後期後葉	0.1	466	不明			1	
39	A	ALP-002	遺構		覆土最下	後期後葉	0.1	467	硬骨魚綱 Osteichthyes sp.	部位不明		1	
40	A	ALP-002	遺構		覆土最下	後期後葉	0.1	469	不明			1	
41	A	ALP-002	遺構		覆土上	後期後葉	0.1	473	不明			1	
42	A	ALP-002	遺構		覆土中	後期後葉	0.1	478	不明			1	
43	A	ALP-002	遺構		覆土	後期後葉	0.1	601	不明			1	
46	A	AM	X-53	28	盛土	後期後葉	6.9	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	指趾骨？	近位端？	1	
										部位不明		43	
389	A	AM	y-52	1435	盛土３層	後期後葉	0.81	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		1	
390	A	AM	y-52	1566	盛土３層	後期後葉	0.96	直接採取	ニホンジカ *Cervus nippon*	距骨	足根骨関節面	1	

No	地区名	遺構名	グリッド	遺物No	層位	時期	重量(g)	フローテーション番号	動物遺存体	部位	残存部位	数量	備考
A区盛土													
391	A	AM	y-52	1567	盛土3層	後期後葉	0.37	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		1	
392	A	AM	y-52	1625	盛土1層	後期後葉	3.25	直接採取	ニホンジカ *Cervus nippon*	角		4	
44	A	AMF-001	遺構		焼土	後期後葉	0.2	609	サケ科 Salmonidae	椎骨	破片	5	
									硬骨魚綱 Osteichthyes non det.	部位不明		3	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		6	
									不明			21	他に微細片
45	A	AMF-002	遺構		覆土	後期後葉	0.1	483	不明			1	
H区焼土													
79	H	HLF-001	遺構		焼土	後期後葉	0.1	332	不明			2	
80	H	HLF-006	遺構		焼土	後期後葉	0.1	338	不明			1	
81	H	HLF-007	遺構		焼土	後期後葉	0.1	340	不明			2	
82	H	HLF-009	遺構		焼土	後期後葉	0.1	342	不明			1	
H区土坑													
83	H	HLP-010	遺構		覆土	後期後葉	0.1	393	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
84	H	HLP-010	遺構		覆土	後期後葉	0.1	394	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		2	
85	H	HLP-010	遺構		覆土	後期後葉	0.1	395	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		5	
86	H	HLP-010	遺構		覆土	後期後葉	0.1	399	不明			1	
87	H	HLP-019	遺構		覆土	後期後葉	0.1	349	サケ科 Salmonidae	椎骨		2	
88	H	HLP-019	遺構		覆土	後期後葉	0.1	350	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		3	
89	H	HLP-019	遺構		覆土	後期後葉	0.1	353	不明			3	
90	H	HLP-019	遺構		覆土	後期後葉	0.1	355	不明			4	
91	H	HLP-136	遺構		覆土	後期後葉	0.1	168	不明			3	
92	H	HLP-207	遺構		覆土	後期後葉	0.1	382	不明			3	
93	H	HLP-207	遺構		覆土	後期後葉	0.1	384	不明			3	
94	H	HLP-332	遺構		覆土	後期後葉	0.1	386	サケ科 Salmonidae	椎骨		2	
									不明			1	
95	H	HLP-332	遺構		覆土	後期後葉	0.1	387	不明			7	
96	H	HLP-332	遺構		覆土	後期後葉	1.1	388	サケ科 Salmonidae	椎骨		10	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		5	
									不明			15	
97	H	HLP-332	遺構		覆土	後期後葉	0.9	389	サケ科 Salmonidae	椎骨		5	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		5	
									不明			10	
98	H	HLP-332	遺構		覆土	後期後葉	0.5	390	サケ科 Salmonidae	椎骨		7	
									硬骨魚綱 Osteichthyes non det.	部位不明		2	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		5	
									不明			16	
99	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	8.7	直接採取	ニホンジカ *Cervus nippon*	中節骨	遠位端	1	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		68	
100	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.3	400	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		3	
									不明			23	
101	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.1	401	不明			9	
102	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.4	402	サケ科 Salmonidae sp.	椎骨		1	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		3	
									不明			3	
103	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.1	403	不明			78	
104	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.1	404	硬骨魚綱 Osteichthyes non det.	肋骨		1	
									哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
									不明			23	
105	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.1	405	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
									不明			5	
106	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.3	407	不明			6	
107	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.1	408	不明			11	
108	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.1	409	不明			4	
109	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.1	410	不明			4	
110	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.1	411	不明			11	
111	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.1	412	不明			3	
112	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.1	413	不明			5	
113	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.2	414	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		2	他に微細片
114	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.3	415	不明			56	
115	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.1	416	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		2	
116	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.1	417	不明			1	
117	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.2	418	不明			15	
118	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.9	419	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
119	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.1	420	不明			3	
120	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.3	421	不明			6	
121	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.5	422	サケ科 Salmonidae sp.	椎骨		1	
									不明			5	
122	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.5	423	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		3	
									不明			16	
123	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.1	424	不明			3	
124	H	HLP-333	遺構		覆土	後期後葉	0.1	425	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
									不明			3	
125	H	HLP-412	遺構		覆土下	後期後葉	0.1	427	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
H区盛土													
126	H	HM-1	c-54		盛土	後期後葉	2.3	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		15	
127	H	HM-1	c-54		盛土	後期後葉	1.6	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		14	
128	H	HM-1	c-55		盛土2	後期後葉	0.1	16	不明			2	
129	H	HM-1	c-55		盛土2	後期後葉	0.6	17	ニホンジカ *Cervus nippon*	基節骨	近位端	1	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		3	
130	H	HM-1	c-55		盛土2	後期後葉	0.4	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		7	
131	H	HM-1	c-55		盛土2	後期後葉	0.7	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		2	
132	H	HM-1	c-55		盛土2	後期後葉	2.5	直接採取	ニホンジカ *Cervus nippon*	左 膝蓋骨		1	
									哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
133	H	HM-1	c-55		盛土	後期後葉	2	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		9	
134	H	HM-1	c-57		盛土1	後期後葉	0.5	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		2	

No.	地区名	遺構名	グリッド	遺物No.	層位	時期	重量(g)	フローテーション番号	動物遺存体	部位	残存部位	数量	備考
135	H	HM-1	d-53		盛土2	後期後葉	0.4	直接採取	ニホンジカ *Cervus nippon?*	中足骨	遠位端	1	
136	H	HM-1	d-54		盛土2	後期後葉	0.1	直接採取	不明			4	
137	H	HM-1	d-54		盛土1	後期後葉	1.7	直接採取	ニホンジカ *Cervus nippon*	第2・5指趾骨	末節骨	1	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		6	
138	H	HM-1	d-54		盛土1	後期後葉	0.3	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		2	
139	H	HM-1	d-54		盛土2	後期後葉	0.5	直接採取	ニホンジカ *Cervus nippon?*	中手・中足骨？	遠位滑車？	1	
140	H	HM-1	d-55		盛土	後期後葉	0.1	143	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
									不明			10	
141	H	HM-1	d-55		盛土	後期後葉	0.5	144	サケ科 Salmonidae	椎骨		9	
									硬骨魚綱 Osteichthyes non det.	部位不明		5	
									ネズミ科 Muridae sp.	脛・腓骨		1	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		2	
142	H	HM-1	d-55		盛土	後期後葉	0.3	146	サケ科 Salmonidae	椎骨		3	
									硬骨魚綱 Osteichthyes non det.	部位不明		5	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		3	
143	H	HM-1	d-55		盛土	後期後葉	1.4	147	サケ科 Salmonidae	歯		1	
										椎骨		10	
									硬骨魚綱 Osteichthyes non det.	部位不明		5	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		4	
144	H	HM-1	d-55		盛土	後期後葉	0.1	148	不明			2	
145	H	HM-1	d-55		盛土	後期後葉	1.4	149	サケ科 Salmonidae	椎骨		5	
									硬骨魚綱 Osteichthyes non det.	部位不明		11	
									ニホンジカ *Cervus nippon?*	第2・3手根骨		1	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		3	
									不明			5	
146	H	HM-1	d-55		盛土	後期後葉	0.1	150	不明			1	
147	H	HM-1	d-55		盛土	後期後葉	0.1	152	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
									不明			5	
148	H	HM-1	d-55		盛土	後期後葉	0.1	153	不明			3	
149	H	HM-1	d-55		盛土2	後期後葉	0.1	154	不明			5	
150	H	HM-1	d-55		盛土2	後期後葉	0.1	155	サケ科 Salmonidae	椎骨		3	
									不明			3	
151	H	HM-1	d-55		盛土2	後期後葉	0.1	157	不明			8	
152	H	HM-1	d-55		盛土2	後期後葉	0.1	158	不明			6	
153	H	HM-1	d-55		盛土	後期後葉	3.4	直接採取	ニホンジカ *Cervus nippon*	基節骨	近位端	1	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		8	
154	H	HM-1	e-53		盛土2	後期後葉	0.5	直接採取	ヒグマ *Ursus arctos*	中節骨	近位端	1	
155	H	HM-1	e-53		盛土1	後期後葉	0.7	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		5	
156	H	HM-1	e-53		盛土1	後期後葉	1.4	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		8	
157	H	HM-1	e-54		盛土1	後期後葉	0.1	直接採取	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
158	H	HM-1	e-56		盛土1	後期後葉	0.5	直接採取	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
276	H	HMF-003	遺構		焼土	後期後葉	0.1	263	不明			1	
277	H	HMF-004	遺構		焼土	後期後葉	0.1	264	サケ科 Salmonidae sp.	椎骨		1	
									哺乳綱 Mammalia?			1	
278	H	HMF-006	遺構		焼土	後期後葉	0.2	266	サケ科 Salmonidae sp.	椎骨		1	
									硬骨魚綱 Osteichthyes non det.	部位不明		5	他に微細片
279	H	HMF-007	遺構		焼土	後期後葉	0.1	267-1	不明			1	
280	H	HMF-007	遺構		焼土	後期後葉	0.1	267-3	不明			2	
281	H	HMF-007	遺構		焼土	後期後葉	0.1	267-4	不明			1	
282	H	HMF-007	遺構		焼土	後期後葉	0.1	267-6	不明			3	
283	H	HMF-007	遺構		焼土	後期後葉	0.1	267-9	不明			1	
284	H	HMF-007	遺構		焼土	後期後葉	0.1	267-10	不明			5	
285	H	HMF-008	遺構		焼土	後期後葉	0.1	268-1	不明			4	
286	H	HMF-008	遺構		焼土	後期後葉	0.1	268-2	不明			2	
287	H	HMF-008	遺構		焼土	後期後葉	0.1	268-3	サケ科 Salmonidae sp.	椎骨		1	
									不明			21	
288	H	HMF-008	遺構		焼土	後期後葉	0.1	268-4	不明			1	
289	H	HMF-008	遺構		焼土	後期後葉	0.1	268-5	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
290	H	HMF-009	遺構		焼土	後期後葉	0.1	269	哺乳綱 Mammalia?			1	
291	H	HMF-011	遺構		焼土	後期後葉	0.1	271	不明			2	
292	H	HMF-012	遺構		焼土	後期後葉	0.1	272	硬骨魚綱 Osteichthyes non det.	軟条ほか		20	
293	H	HMF-013	遺構		焼土	後期後葉	0.1	273	不明			1	
294	H	HMF-017	遺構		焼土	後期後葉	0.1	277	不明			1	
295	H	HMF-023	遺構		焼土	後期後葉	0.1	280	不明			1	
159	H	HM-2	d-61		盛土1	後期後葉	1	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		2	
160	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	83	不明			2	
161	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	84	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
162	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	85	不明			1	
163	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	88	不明			1	
164	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	89	不明			1	
165	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	90	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		3	
166	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	91	不明			5	
167	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	92	不明			2	
168	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	93	不明			3	
169	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	94	不明			3	
170	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	95	不明			2	
171	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	96	不明			1	
172	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	97	不明			4	
173	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	98	不明			1	
174	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	100	不明			4	
175	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	104	不明			1	
176	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	106	不明			2	
177	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	107	不明			1	
178	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	108	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
179	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	110	不明			4	
180	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	111	硬骨魚綱 Osteichthyes sp.	軟条？		1	
181	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	113	不明			7	

No.	地区名	遺構名	グリッド	遺物No.	層位	時期	重量(g)	フローテーション番号	動物遺存体	部位	残存部位	数量	備考
182	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	114	不明			1	
183	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	117	不明			5	
184	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	118	不明			1	
185	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	120	不明			6	
186	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	121	不明			4	
187	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	122	不明			8	
188	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	126	不明			2	
189	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.1	127	不明			2	
192	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.5	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		3	
193	H	HM-2	e-60		盛土1	後期後葉	0.2	直接採取	不明			2	
194	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	27	不明			1	
195	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	29	不明			1	
196	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	38	不明			1	
197	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	39	不明			3	
198	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	40	不明			4	
199	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	43	不明			2	
200	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	44	不明			8	
201	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	47	不明			4	
202	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	49	不明			2	
203	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	50	不明			1	
204	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	60	不明			4	
231	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	303	不明			3	
232	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	304	不明			3	
233	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	305	哺乳綱 Mammalia?			1	
234	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	306	不明			1	
235	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	309	不明			7	
236	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	310	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
									不明			1	
237	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	312	不明			2	
238	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	314	不明			5	他に微細片
239	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	315	不明			3	
240	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	318	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
241	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	320	不明			5	
242	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	321	不明			5	
243	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	323	不明			1	
244	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	324	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
245	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	325	不明			2	
246	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	329	不明			1	
247	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	331	不明			4	
248	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	2.3	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		6	
249	H	HM-2	f-60		盛土1	後期後葉	0.1	183	不明			1	
250	H	HM-2	f-60		盛土1	後期後葉	0.1	202	不明			2	
251	H	HM-2	f-61		盛土1	後期後葉	0.1	206	不明			1	
252	H	HM-2	f-61		盛土1	後期後葉	1.1	直接採取	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
372	H	HM-2	e-61		盛土1	後期後葉	0.1	直接採取	ニホンジカ *Cervus nippon*?	第一足根骨？		1	
368	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.3	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		2	
									不明			1	
369	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.9	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		4	他に微細片
370	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	直接採取	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
371	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	直接採取	不明			3	
190	H	HM-2	e-60		盛土2	後期後葉	0.2	129	哺乳綱 Mammalia?			2	
									不明			3	
191	H	HM-2	e-60		盛土2	後期後葉	0.1	130	哺乳綱 Mammalia?			2	
205	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	241	不明			2	
206	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	242	不明			1	
207	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.2	245	不明			1	
208	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	250	不明			1	
209	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	251	不明			2	
210	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	252	不明			1	
211	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	253	不明			1	
212	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	254	不明			1	
213	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	255	不明			3	
214	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.6	258	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		11	他に微細片
215	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	259	不明			1	
216	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	260	不明			1	
217	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	282	不明			2	
218	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	283	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
									不明			2	
219	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	284	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		7	
									不明			5	
220	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	285	哺乳綱 Mammalia?			1	
221	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	287	硬骨魚綱 Osteichthyes?	軟条？		1	
222	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	288	不明			8	
223	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	290	不明			2	
224	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	293	不明			2	
225	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	294	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		2	
									不明			2	
226	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	295	不明			1	
227	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	297	哺乳綱 Mammalia?			3	
228	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	298	哺乳綱 Mammalia?			3	
229	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	299	不明			2	
230	H	HM-2	e-61		盛土2	後期後葉	0.1	301	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
253	H	HM-2	遺構		盛土	後期後葉	0.1	208	不明			1	
254	H	HM-2	遺構		盛土	後期後葉	0.1	211	不明			1	
255	H	HM-2	遺構		盛土	後期後葉	0.1	212	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
256	H	HM-2	遺構		盛土	後期後葉	0.1	213	不明			3	
257	H	HM-2	遺構		盛土	後期後葉	0.1	216	不明			2	

No	地区名	遺構名	グリッド	遺物No	層位	時期	重量(g)	フローテーション番号	動物遺存体	部位	残存部位	数量	備考
258	H	HM-2	遺構		盛土	後期後葉	0.1	218	不明			2	
259	H	HM-2	遺構		盛土	後期後葉	0.1	220	不明			2	
260	H	HM-2	遺構		盛土	後期後葉	0.1	221	不明			2	
261	H	HM-2	遺構		盛土	後期後葉	0.1	222	不明			9	
262	H	HM-2	遺構		盛土	後期後葉	0.1	228	不明			5	
263	H	HM-2	遺構		盛土	後期後葉	0.1	229	不明			1	
264	H	HM-2	遺構		盛土	後期後葉	0.1	231	不明			2	
265	H	HM-2	遺構		盛土	後期後葉	0.1	233	不明			1	
269	H	HM-3	i-52		盛土1	後期後葉	0.1	367	不明			1	
270	H	HM-3	i-52		盛土1	後期後葉	0.1	368	不明			1	
271	H	HM-3	i-52		盛土2	後期後葉	0.1	369	不明			7	
272	H	HM-3	i-52		盛土2	後期後葉	0.1	371	不明			1	
273	H	HM-3	i-52		盛土2	後期後葉	0.1	373	不明			2	
274	H	HM-3	i-52		盛土2	後期後葉	0.1	375	不明			2	
275	H	HM-3	i-52		盛土2	後期後葉	0.1	376	不明			1	
266	H	HM-3	h-52		盛土	後期後葉	0.1	67	不明			2	
267	H	HM-3	i-52		盛土	後期後葉	0.1	361	不明			1	
268	H	HM-3	i-52		盛土	後期後葉	0.1	365	哺乳綱　Mammalia　sp.	部位不明		1	
K区土坑													
381	K	KLP-005	遺構		覆土	後期後葉	0.1	489	硬骨魚綱　Osteichthyes?			5	
382	K	KLP-005	遺構		覆土	後期後葉	0.1	493	不明			4	
383	K	KLP-005	遺構		覆土	後期後葉	0.1	505	不明			1	
384	K	KLP-005	遺構		覆土下層	後期後葉	0.1	510	不明			3	
385	K	KLP-005	遺構		覆土	後期後葉	0.1	522	不明			2	
386	K	KLP-005	遺構		覆土下層	後期後葉	0.1	531	サケ科　Salmonidae　sp.	椎骨		1	
387	K	KLP-015	遺構		覆土	後期後葉	0.1	537	哺乳綱　Mammalia?			1	

後期後葉包含層出土動物遺存体

No	地区名	層	グリッド	遺物No	層位	時期	重量(g)	フローテーション番号	動物遺存体	部位	残存部位	数量	備考
A区													
47	A	包含層	d-47	30	Ⅴ	後期後葉	1.4	直接採取	哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		2	
48	A	包含層	d-48		ロ	後期後葉	1.1	直接採取	哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		8	
49	A	包含層	d-48		ハ	後期後葉	4.8	直接採取	哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		32	
50	A	包含層	e-48		イ	後期後葉	58.1	直接採取	サケ科　Salmonidae	担鰓骨		2	
										椎骨		1	黒化
									ウグイ属　*Tribolodon*　sp.	椎骨		2	
									ニホンジカ　*Cervus nippon*	下顎骨	歯槽一部	1	
										下顎骨	下顎連合部	1	
										臼歯	歯冠破片	4	
										中足骨	骨関	1	
										尾椎	椎頭	1	
									ニホンジカ　*Cervus nippon*?	尺側手根骨？		1	
										距骨	種骨関節面一部	1	
										橈骨	手根関節面一部	1	
									イノシシ　*Sus scrofa leucomystax*	第4後臼歯	歯冠一部	1	
										中節骨	遠位端一部	1	
									イノシシ　*Sus scrofa leucomystax*?	距骨		1	
									ヒグマ　*Ursus arctos*	中手・中足骨	滑車一部	1	
									哺乳綱　Mammalia　non det.	椎骨	椎頭	1	
										部位不明		169	
51	A	包含層	e-48		イ	後期後葉	0.1	直接採取	ホホジロザメ　*Carcharodon carchrias*	歯		1	
52	A	包含層	e-48		ロ	後期後葉	32.6	直接採取	イトウ　*Hucho perryi*	椎骨		1	
									ウグイ属　*Tribolodon*　sp.	椎骨		1	
									ニホンジカ　*Cervus nippon*	左？尺骨	滑車切痕	1	
									ニホンジカ　*Cervus nippon*?	指趾骨	近位端破片	3	
									哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		59	
53	A	包含層	e-48		ロ	後期後葉	0.1	直接採取	ホホジロザメ　*Carcharodon carchrias*	歯		3	
54	A	包含層	e-48		ハ	後期後葉	21.8	直接採取	ウバガイ　*Spisula (pseudocardium) sachalinensis*	殻縁部		1	
									ニホンジカ　*Cervus nippon*	基節骨	近位端	1	
										距骨	中足骨関節面	1	
									哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		73	
55	A	包含層	e-48	27	Ⅴ	後期後葉	7.9	直接採取	ニホンジカ　*Cervus nippon*	基節骨	近位端	1	
									ニホンジカ　Cervus nippon?	寛骨	寛骨臼周辺	2	
									哺乳綱　Mammalia　non det.	頭骨一部？		1	青色着色
										部位不明		6	
56	A	包含層	e-48	32	Ⅴ	後期後葉	17.2	直接採取					
									ニホンジカ　*Cervus nippon*	基節骨	近位端	1	
										末節骨	近位端	2	
										距骨	足根骨関節面	1	
										中手・中足骨	背側　近位端	1	
									ヒグマ　*Ursus arctos*?	中節骨？	近位端	1	
									哺乳綱　Mammalia　non det.	種子骨		1	
										部位不明		36	
57	A	包含層	e-48	50	イ	後期後葉	22.9	直接採取	サケ科　Salmonidae　sp.	椎骨		1	
									ニホンジカ　*Cervus nippon*	距骨	足根骨関節面	1	
									哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		57	
58	A	包含層	e-48	54	イ	後期後葉	1.4	直接採取	ヒグマ　*Ursus arctos*	中節骨		1	
59	A	包含層	e-48	76	Ⅴ-1	後期後葉	21.2	直接採取	ニホンジカ　*Cervus nippon*	種子骨		1	
										距骨	中足骨関節面	1	
										基節骨	遠位端	1	
									ニホンジカ　*Cervus nippon*?	中節骨	遠位端	1	
									哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		54	
60	A	包含層	e-48	101	イ	後期後葉	96.4	直接採取	ニシン科　Clupeidae　sp.	耳包骨		1	
									ウグイ属　*Tribolodon*　sp.	第一頸椎		1	
									コイ科　Cyprinidae　sp.	椎骨		1	
									ニホンジカ　*Cervus nippon*	基節骨	近位端	1	
									ヒグマ　*Ursus arctos*	中節骨	近位端	1	

No	地区名	層	グリッド	遺物No	層位	時期	重量(g)	フローテーション番号	動物遺存体	部位	残存部位	数量	備考
									ヒグマ *Ursus arctos?*	基節骨 or 中節骨	遠位端	1	
									哺乳綱 Mammalia non det.	肋骨		1	
										部位不明		443	
61	A	包含層	e-48	115	イ	後期後葉	52.7	直接採取	コイ科 Cyprinidae sp.	椎骨		2	
									ニホンジカ *Cervus nippon*	中節骨	遠位端	2	
									イノシシ *Sus scrofa leucomystax*	距骨	足根骨関節面	1	
									哺乳綱 Mammalia non det.	種子骨		1	
										部位不明		159	
									鳥綱 Aves?	末節骨		1	
62	A	包含層	e-49	7	イ	後期後葉	25.1	直接採取	サケ科 Salmonidae sp.	椎骨		1	
									ニホンジカ *Cervus nippon*	第2・5指趾骨	末節骨	1	
										中足骨	近位端	1	
										種子骨		1	
										寛骨臼周辺		1	
										基節骨		1	
										中手・中足骨	遠位滑車	1	
									ニホンジカ *Cervus nippon* or イノシシ *Sus scrofa leucomystax*?	距骨	足根骨関節面	1	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		67	
63	A	包含層	e-49	29	イ	後期後葉	2.9	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		4	
64	A	包含層	e-49	38	イ	後期後葉	62.9	直接採取	サケ科 Salmonidae sp.	椎骨		1	
									ニホンジカ *Cervus nippon*	種子骨		1	
										基節骨	遠位端	1	
										中節骨	遠位端	1	
										末節骨	近位端	1	
										左　経骨	遠位とうめ起腹下部	1	
										中足骨	近位端	1	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		103	
65	A	包含層	e-49	39	イ	後期後葉	9.5	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		7	
66	A	包含層	e-49	44	イ	後期後葉	29.3	直接採取	コイ科 Cyprinidae sp.	椎骨		1	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		64	
67	A	包含層	e-49		ロ	後期後葉	15.3	直接採取	サケ科 Salmonidae sp.	椎骨		1	
									コイ科 Cyprinidae sp.	椎骨		1	
									ニホンジカ *Cervus nippon*	左　中手骨	近位端	1	
										末節骨		1	
									哺乳綱 Mammalia sp. (小型)	大腿骨	骨頭	1	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		51	
68	A	包含層	f-48		イ	後期後葉	2.1	直接採取	哺乳綱 Mammalia sp.	前関節突起		1	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		1	他に微細片
69	A	包含層	f-49	5	Ⅳ	後期後葉	1.4	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		3	
70	A	包含層	f-49	12	Ⅳ	後期後葉	5.1	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		9	
71	A	包含層	f-49	19	Ⅴ	後期後葉	7.6	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		18	
72	A	包含層	f-49	27	イ	後期後葉	50.6	直接採取	ニホンジカ *Cervus nippon*	第2・5指趾骨	末節骨	2	
										中節骨	遠位端	1	
										中節骨	近位端	1	
										右　第2・3足根骨		1	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		104	
73	A	包含層	f-49	23	Ⅴ	後期後葉	11.9	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		25	
74	A	包含層	f-49		イ	後期後葉	3.6	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		21	
75	A	包含層	f-49		ロ	後期後葉	4.7	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		29	
78	A	包含層	Z-51	30	Ⅲ-9b	後期後葉	6.8	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		10	
H区													
296	H	包含層	a-47		Ⅴ-1	後期後葉	0.6	直接採取	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
297	H	包含層	b-60		Ⅲ層上面	後期後葉	0.1	直接採取	不明			1	
298	H	包含層	b-60		Ⅲ	後期後葉	0.3	直接採取	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
299	H	包含層	b-60		撹乱	後期後葉	0.3	直接採取	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
300	H	包含層	b-60		Ⅴ	後期後葉	0.7	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		3	
									不明			1	
301	H	包含層	c-54		撹乱	後期後葉	0.1	直接採取	哺乳綱 Mammalia?			1	
302	H	包含層	c-55		撹乱	後期後葉	0.4	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		3	
303	H	包含層	c-55		Ⅴb	後期後葉	0.2	11	不明			2	
304	H	包含層	c-55		Ⅴb	後期後葉	0.1	12	不明			1	
305	H	包含層	c-55		Ⅴb	後期後葉	0.1	13	不明			2	
306	H	包含層	c-55		Ⅴb	後期後葉	0.1	14	不明			2	
307	H	包含層	c-55		Ⅴb	後期後葉	0.1	15	不明			3	
308	H	包含層	c-57		Ⅲ層上面	後期後葉	3.7	直接採取	ヒグマ *Ursus arctos*	中節骨	近位端	1	
									哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		6	
309	H	包含層	c-57		Ⅴ層上面	後期後葉	3.9	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		17	
310	H	包含層	c-57		Ⅴ層上面	後期後葉	0.4	直接採取	不明			10	
311	H	包含層	c-57		Ⅴ層上面	後期後葉	0.2	直接採取	不明			2	
312	H	包含層	c-57		Ⅴ層上面	後期後葉	0.5	直接採取	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
313	H	包含層	c-57		Ⅴ	後期後葉	0.5	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		2	
									不明			11	
314	H	包含層	c-58		Ⅴ層上面	後期後葉	0.1	直接採取	不明			2	
315	H	包含層	c-60		撹乱	後期後葉	0.1	直接採取	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
316	H	包含層	c-60		撹乱	後期後葉	1	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		5	
317	H	包含層	c-60		Ⅴ層上面	後期後葉	0.9	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		6	
318	H	包含層	c-60		Ⅴ	後期後葉	0.1	直接採取	不明			5	
319	H	包含層	c-60		Ⅴ	後期後葉	0.5	直接採取	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
320	H	包含層	c-61		撹乱	後期後葉	1.1	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		7	
321	H	包含層	d-53		Ⅴ	後期後葉	1.6	直接採取	哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
322	H	包含層	d-54		Ⅴ層上面	後期後葉	1	直接採取	哺乳綱 Mammalia non det.	部位不明		4	
323	H	包含層	d-55		Ⅴ	後期後葉	2.6	直接採取	ニホンジカ *Cervus nippon*	末節骨		1	
324	H	包含層	d-55		Ⅴ	後期後葉	2.1	直接採取	イノシシ *Sus scrofa leucomystax*	基節骨	近位端	1	
									ニホンジカ *Cervus nippon*	右　第2・3手根骨		1	
									哺乳綱 Mammalia sp.	部位不明		1	
325	H	包含層	d-55		Ⅴb	後期後葉	0.2	131	サケ科 Salmonidae	椎骨		11	
									硬骨魚綱 Osteichthyes non det.	部位不明		2	

No.	地区名	層	グリッド	遺物No.	層位	時期	重量(g)	フローテーション番号	動物遺存体	部位	残存部位	数量	備考
									哺乳綱　Mammalia　sp.	部位不明		1	
326	H	包含層	d-55		Vb	後期後葉	0.1	132	不明			1	
327	H	包含層	d-55		Vb	後期後葉	0.1	133	サケ科　Salmonidae　sp.	椎骨		1	
									硬骨魚綱　Osteichthyes　non det.	部位不明		2	
									哺乳綱　Mammalia?			2	
328	H	包含層	d-55		Vb	後期後葉	0.3	134	サケ科　Salmonidae	椎骨		9	
									硬骨魚綱　Osteichthyes　non det.	肋骨ほか		12	
									哺乳綱　Mammalia　sp.	部位不明		1	
									不明			5	
329	H	包含層	d-55		Vb	後期後葉	0.1	136	不明			1	
330	H	包含層	d-55		Vb	後期後葉	0.1	137	不明			15	
331	H	包含層	d-55		Vb	後期後葉	0.1	138	不明			3	
332	H	包含層	d-55		Vb	後期後葉	0.7	139	サケ科　Salmonidae	歯		1	
										椎骨		24	
									イトヨ科　Gasterosteidae	背鰭棘	近位端	1	
										胸鰭棘		1	
									硬骨魚綱　Osteichthyes　non det.	部位不明		5	
									哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		3	
									不明			10	他に微細片
333	H	包含層	d-55		Vb	後期後葉	0.1	140	不明			19	
334	H	包含層	d-55		Vb	後期後葉	0.8	141	ニホンジカ　*Cervus nippon*	中足骨	骨体	1	
									哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		3	
335	H	包含層	d-55		Vb	後期後葉	0.1	142	不明			1	
336	H	包含層	d-56		V層上面	後期後葉	0.3	直接採取	哺乳綱　Mammalia　sp.	部位不明		1	
337	H	包含層	d-57		V	後期後葉	2	直接採取	哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		5	
338	H	包含層	d-57		III層上面	後期後葉	0.8	直接採取	哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		3	
339	H	包含層	d-60		III	後期後葉	2.1	直接採取	哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		11	
340	H	包含層	d-60		V	後期後葉	1.1	直接採取	哺乳綱　Mammalia　sp.	部位不明		1	
									不明			19	
341	H	包含層	d-61		III層上面	後期後葉	0.2	直接採取	不明			3	
342	H	包含層	d-61		V	後期後葉	0.7	直接採取	不明			6	
343	H	包含層	d-61		V	後期後葉	1.1	直接採取	哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		3	
									不明			6	
344	H	包含層	d-61		V	後期後葉	3.5	直接採取	哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		8	
345	H	包含層	d-61		V	後期後葉	1.4	直接採取	不明			18	
346	H	包含層	d-61		IV	後期後葉	0.2	直接採取	不明			3	
347	H	包含層	d-61		V層上面	後期後葉	1.1	直接採取	ニホンジカ　*Cervus nippon*	果骨		1	
									哺乳綱　Mammalia　sp.	部位不明		1	
348	H	包含層	d-61		V層上面	後期後葉	0.1	直接採取	不明			2	
349	H	包含層	d-61		V	後期後葉	0.7	直接採取	不明			4	
350	H	包含層	e-51		V	後期後葉	1.3	直接採取	哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		5	
351	H	包含層	e-53		V	後期後葉	2	直接採取	哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		2	
352	H	包含層	e-57		III	後期後葉	0.1	直接採取	不明			1	
353	H	包含層	e-57		V	後期後葉	0.1	直接採取	不明			1	
354	H	包含層	e-58		VI	後期後葉	0.1	直接採取	不明			2	
355	H	包含層	e-59		攪乱	後期後葉	0.6	直接採取	哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		4	
356	H	包含層	e-60		III層上面	後期後葉	0.1	直接採取	不明			1	
357	H	包含層	e-60		III	後期後葉	0.3	直接採取	哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		3	
									不明			1	
358	H	包含層	e-60		IV	後期後葉	0.6	直接採取	哺乳綱　Mammalia　sp.	部位不明		1	
									不明			7	
359	H	包含層	e-60		IV	後期後葉	1.4	直接採取	不明			10	
360	H	包含層	e-60		IV	後期後葉	1	直接採取	哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		2	
									不明			7	
361	H	包含層	e-61		III層上面	後期後葉	0.7	直接採取	哺乳綱　Mammalia　sp.	部位不明		1	
362	H	包含層	e-61		III	後期後葉	0.9	直接採取	哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		2	
363	H	包含層	e-61		III	後期後葉	0.8	直接採取	イノシシ　*Sus scrofa leucomystax*	末節骨？	近位端？	1	
									哺乳綱　Mammalia　sp.	部位不明		1	
364	H	包含層	e-61		IV	後期後葉	1.8	直接採取	哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		2	
									不明			3	
365	H	包含層	e-61		V	後期後葉	0.6	直接採取	哺乳綱　Mammalia　sp.	種子骨		1	
									不明			3	
366	H	包含層	e-61		VI	後期後葉	0.4	直接採取	哺乳綱　Mammalia?			2	
367	H	包含層	e-61		VI	後期後葉	0.6	直接採取	哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		2	
373	H	包含層	e-62		IV	後期後葉	1.3	直接採取	哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		4	
374	H	包含層	f-50		V	後期後葉	4.9	直接採取	哺乳綱　Mammalia　sp.	部位不明		1	
375	H	包含層	f-50		IV	後期後葉	3	直接採取	ヒグマ　*Ursus arctos*	基節骨	遠位端	1	
									哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		7	
376	H	包含層	f-50		IV	後期後葉	3.7	直接採取	ニホンジカ　*Cervus nippon*	種子骨		1	
									哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		7	
377	H	包含層	f-50		IV	後期後葉	4	直接採取	ニホンジカ　*Cervus nippon*	基節骨	遠位端	1	
									哺乳綱　Mammalia　non det.	部位不明		17	
378	H	包含層	f-53		V	後期後葉	0.4	直接採取	哺乳綱　Mammalia　sp.	部位不明		1	
379	H	包含層	f-57		III層上面	後期後葉	0.3	直接採取	哺乳綱　Mammalia　sp.	部位不明		1	
380	H	包含層	f-60		IV	後期後葉	0.3	直接採取	哺乳綱　Mammalia　sp.	部位不明		1	

6　北海道キウス4遺跡A・H・I・K地区から出土した縄文時代の植物種子

吉崎昌一・椿坂恭代

1）遺跡と調査の概要

遺跡の名称：キウス4遺跡A・H・I・K地区（A-03-92）

遺跡の所在：北海道千歳市中央1190-3ほか。

調査の機関：財団法人北海道埋蔵文化財センター

調査担当者：佐川俊一ほか

調 査 期 間：平成9年（1997年）5月6日～10月30日

遺跡の立地：千歳市の北東約8㎞、馬追丘陵の西側に広がる西側緩斜面、標高4～19mに位置している。この緩斜面は、キウス川によって縦断され、また、その末端はオルイカ川に接している。

遺跡の年代・検出遺構：

A地区；縄文時代早期後半、縄文時代早期～前期前半、縄文時代後期後葉　竪穴住居跡17軒、土壙60基、柱穴状ピット198ヶ所、盛土遺構1ヶ所、焼土61ヶ所

H地区；縄文時代後期後葉の堂林式土器の時期に相当するものが主体である。盛土遺構3ヶ所、焼土23ヶ所、土壙及び柱状ピット878ヶ所、柱状の配列から推定される竪穴住居跡5軒、大型柱穴列1ヶ所

K地区；縄文時代後期後葉の堂林式土器の時期に相当するものが主体竪穴住居跡1軒、焼土3ヶ所、土壙及び柱穴状のピット277ヶ所、大型柱穴列1ヶ所

I地区；縄文時代後期後葉の堂林式土器の時期に相当するものが主体。その他、わずか縄文時代早期後半の東釧路式系土器、縄文時代中期の天神山式土器が出土している。盛土遺構1ヶ所、土壙28基、柱穴状ピット1ヶ所、焼土1301ヶ所

2）扱った資料

分析資料として扱った炭化植物は、調査区のA地区、H地区、I地区、K地区の各遺構から土壌を採取しフォローテーション法で処理後、第一次選別を経て送付されてきた。これらの資料について実体顕微鏡と走査型電子顕微鏡で観察並びに撮影を行った。検出された植物種子の出土表は第＊＊表に示しておいた。

3）各地区から検出された種子

ヒエ属　*Echinochloa　Beauv.*　（図版1－1：I地区縄文時代後期後葉層準のVb上面焼土IMF－002から出土）

A、H、I各地区の縄文時代後期後葉の層準から僅かずつ出土した。

A地区の包含層から1粒。H地区の遺物と焼土を伴うピットHLP－332から2粒と盛土遺構HM－1から3粒。I地区のVb上面焼土IMF－002から1粒。いずれも穎果の状態で出土している。種子はイヌビエ*Echinochloa crus-galli*の形態に類するやや狭長な粒形をみせる。図示した資料は、長さ1.4㎜、幅1.0㎜、厚さ0.45㎜。

アサ　*Cannabis sativa L.*　（図版１－２：A地区縄文時代後期後葉の水場遺構ピット ALP－002から出土）

A地区縄文時代後期後葉の水場遺構ピット ALP－002から１粒検出されたのみである。図示した資料は、長さ3.2㎜、幅2.2㎜、厚さ1.85㎜。

タデ属　*Polygonum L.*　（図版１－３、４：３はA地区縄文時代早期後半の包含層から出土、４は同縄文時代後期後葉斜面焼土 ALF－013から出土）

A地区の縄文時代早期後半～前期前半の包含層から４粒、焼土 ALF－049から１粒。A地区の縄文時代後期後葉の斜面焼土 ALF－013から５粒、水場遺構ピット ALP－002からも１粒出土した。

H地区縄文時代後期後葉の盛土遺構 HM－1からは４粒、盛土遺構中の焼土 HMF－007からも１粒出土した。さらに、Ⅰ地区縄文時代後期後半の層準のⅤb上面の焼土 IIfq－097と IIfq－0102から３粒、フラスコ状ピット ILP－002の覆土から３粒の合計11粒が出土している。

検出されたタデ属の種子は、ほとんどが三稜の形態を持つが、扁平の形態を示すものも若干あり、形態からだけでは種を特定するのは困難である。また、縄文時代早期後半、後期後半の両出土層準の時間差による形態の相違は認められなかった。図示した資料は、３：長さ1.9㎜、幅1.4㎜、厚さ1.0㎜。４：長さ2.0㎜、幅1.25㎜。

ナス科　SOLANACEAE　（図版１－５：A地区縄文時代前期前半 ALH－006住居床面出土）

A地区縄文時代前期前半の住居跡 ALH－006床面直上から１粒出土している。種子の保存状態が悪いため属レベルまでの分類は出来なかった。図示した資料は、長さ1.6㎜、幅1.3㎜、厚さ0.75㎜。

キク科　COMPOSITAE　（図版１－６：A地区縄文時代後期後葉の斜面焼土 ALF－013から出土）

A地区縄文時代後期後葉層準の斜面焼土 ALF－013から重量で3.86g（0.1gで約1050粒相当）と纏まって出土している。さらにH地区の住居跡柱穴？HLP－136、遺物と焼土を伴うピット HLP－332、盛土遺構 HM－1からも合計32粒出土した。また、Ⅰ地区のⅤb上面焼土からは0.7g（同上）出土している。これらはすべて炭化していた。資料は、いずれも縄文時代後期後葉の層準のものである。

キク科の種子は、種類が多く詳細な分類は困難である。出土した種子を観察すると、ヨモギ属 *Artemisia L.* に類似している。ヨモギ痩果の場合、加熱されると表面の薄い果皮が破れて種子がでてくる。出土した資料は、おそらく加熱により薄い果皮が焼けて消失し、種子だけが残ったものであろう。図示した資料は計測値：長さ1.45㎜、幅0.5㎜。

ケシ科　*Papaver somniferum L.*　（図版１－７：H地区縄文時代後期後葉の盛土遺構 HM－３から出土）

H地区縄文時代後期後葉の盛土遺構 HM－3から１粒出土した。種子の形態はゆがんだ半楕円形で、表面組織は特有の痘痕状を呈している。この性状は、ヒナゲシ *Papaver rhoeas L.* によく似ているが、科レベルの分類にとどめておきたい。図示した資料は長さ1.85㎜、幅1.0㎜、厚さ0.95㎜。

マメ科　LEGUMINOSAE　（図版１－８：Ⅰ地区縄文時代後期後葉労b上面の焼土 IIfq－097から出土）

Ⅰ地区縄文後期後葉のⅤb上面焼土 IIfq－097から1粒出土している。ヘソの位置と形態の特徴からハギ属 *Lespedeza　Michx.* と思われるが、資料の保存状態が悪い。同様のヘソの形態を持つ種子は他にも見られるので、特定をさけておきたい。図示した資料は長さ2.55㎜、幅1.6㎜。

ユリ科　LILIACEAE　（図版1－9：Ⅰ地区縄文時代後期後葉労b上面の焼土 IMF－002出土）

Ⅰ地区縄文後期後葉のⅤb上面焼土 IMF－002から1粒出土している。形態的にはネギ属 Allium L.に類似する。しかし、資料の保存状態が悪いため詳細は不明である。図示した資料は長さ6.5㎜、幅6.2㎜。

マタタビ属　*Actinidia Lindl.*　（図版2－10：A地区の縄文時代早期後半～前期前半の焼土 ALF－049から出土）

A地区縄文時代早期後半から前期前半層準の焼土 ALF－049からは3粒出土した。また、同地区の縄文時代後期後葉の水場遺構ピット ALP－002の覆土上から2粒、H地区縄文時代後期後葉層準の大型柱穴 KLP－005の覆土下層からも1粒出土している。地区や時代による種子形態の変化は認められない。偏楕円形の種子の形態と痘痕状の表面構造からサルナシ *Actinidia arguta* (Sieb. et Zucc.) と考える。図示した資料は：長さ1.9㎜、幅1.0㎜、厚さ0.75㎜。

キハダ属　*Phellodendron　Rupr.*　（図版2－9・10：9はA地区縄文時代早期後半～前期前半の焼土 ALF－049、10は同層準の包含層から出土）

A地区縄文時代早期後半の住居跡 HP－2（詳細な出土地点不明）、縄文時代早期後半～前期前半の層準の包含層（詳細な出土地点不明）と焼土 ALF－049から、炭化した果肉を残す果実、種子片が出土している。そのほかにK地区縄文時代後期後葉の大型柱穴 KLP－005からも種子破片が1片出土した。図示した資料9は、長さ5.6㎜、幅6.9㎜、.10：長さ3.7㎜、幅2.2㎜、厚さ1.1㎜。

ブドウ科　VITIDACEAE　（図版2－11a、11b：A地区縄文時代早期後半～前期前半層準の焼土 ALF－049から出土）

A地区縄文時代早期後半～前期前半層準の焼土 ALF－049から1粒、同地区の縄文時代後期後葉の斜面焼土 ALF－013、水場遺構ピット ALP－002からも破片が少量ずつ出土した。また、H地区縄文時代後期後葉の層準では、遺物と焼土を伴うピット HLP－333の覆土から1片、盛土遺構 HM－1から2片。その他にⅠ地区縄文後期後葉のⅤb上面焼土 ILFG－578から1粒出土している。どの資料も保存状態が悪いため、属レベルまでの分類は出来ないが、おそらくヤマブドウ *Vitis　coignetiae* Pulliat ではないか。図示した資料は長さ2.7㎜、幅1.3㎜。

コナラ属　*Quercus L.*　（図版2－12a、12b：K地区縄文時代後期後葉の大型柱穴 KLP－005から出土）

A地区縄文時代早期後半～前期前半層準の焼土 ALF－049から、子葉破片が出土している。小破片のため種類の特定は出来ない。その他に、K地区縄文時代後期後葉の大型柱穴 KLP－005覆土下層から子葉破片が1片出土している。後者の資料は、潰れた円形の形態と大きさからカシワ *Quercus dentata* Thunb.と考えたい。図示した資料は、長さ11.6㎜、幅12.9㎜。

クルミ属　*Juglans　L.*　（図版２－13a、13b：Ａ地区縄文時代早期の住居跡ＡＬＨ－013～016から出土）

各地区、各層準の遺構のほとんどから砕片で出土している。資料のいくつかに残存している表面構造組織の特徴から、オニグルミ *Juglans ailanthifolia Carr.* であろう。

不明種子　図版２－14a、14b：縄文時代早期後半～前期前半の焼土ＡＬＦ－049出土、図版２－15：Ｉ地区労ｂ上面の焼土ＩＬＦＧ－120出土）

各地区遺構から出土している。Ａ地区縄文時代早期後半～前期前半の焼土ＡＬＦ－049出土のものは球形で表面で組織構造は持つが、その一部分に奇妙な穴があいている例が見られる。形態から見て、これがはたして植物種子と言えるのかどうか判断しかねる。この種のものについて情報があれば御教示願いたい。図示した資料は長さ1.45㎜、幅1.05㎜。

Ｉ地区縄文時代後期後葉のＶｂ上面焼土ＩＬＦＧ－120からは図２－15に示した不明種子が１粒出土しているが、資料の保存状態が悪いため同定出来なかった。図示した資料は長さ12.9㎜、幅8.38㎜。

４）若干のコメント

キク科COMPOSITAE種子（おそらくヨモギ）の出土状況は興味深い。平成８年度に調査されたキウス４遺跡においては、炭化したこの種類の種子が周堤墓の一部を構成していたと見られる盛土遺構中の焼土の中から検出されているので、これが儀礼的に利用された可能性があることを指摘しておいた（吉崎・椿坂：1998）。今回の発掘調査者によると、このヨモギ種子がまとまって出土したのは、縄文時代後期後半の層準でしかも周堤墓末端の一部に位置する焼土であるという。ヨモギはアイヌ民族例でも特別に儀礼的な意味をもっているので（知里：1993、萱野：1996）、今回の出土状況でも前回発掘の例と同様に儀礼に関係する遺物と考えた方が良いと考える。

キハダ Phellodendron amurense Rupr.の種子は、殆ど全ての遺跡で例外なく検出される。我々の調査では縄文時代早期からアイヌ民族例に至るまで、利用の痕跡が認められるのである。アイヌ民族の例では生食のほか、果実を乾燥して保存、各種の煮込み料理にスパイスとして使用する。したがって、このキハダ利用の伝統は、縄文時代以来今日まで継続していた可能性が高いと思う。

考古学的な時期区分の指標を見ると、キウス４遺跡Ａ・Ｈ・Ｉ地区は複数の性質や時期の異なる遺跡からなっているように思われる。こうした性状の遺跡から検出された植物遺体の分析は、本来、地域別、層準別に扱うことが望ましいのであろう。また、時期区分についても、土器型式がもうすこし判明している方が後の作業がやりやすいと思う。考古人為遺物の整理分析作業が一段落して考古学的な結論が得られ、それにに基づいて植物遺体などの自然科学的分析作業が実施できれば、考古植物学的な見通しが得やすいのであるが、全てが年度単位の平行作業のため、あまり調査者の御期待そう報告が作成できなかった。出土種子については可能な限り時期区分と遺構が分かるようにraw dataを付け加えておいた。その結果、全体が煩雑になってしまった事をお詫びしておきたい。

もう一つ気付いたことだが、考古学的調査の進行の中で実施される層準区分は、どの様な基準でなされるのか良く理解できかねる部分がある。発掘の際に区分される層準は、土器型式の持つ時間内に見られる自然あるいは人為現象と絡む場合と、土器型式の存続をこえた自然の堆積現象としてとらえられる場合があると思う。土器編年の場合には、一型式として認識可能な層準群の決定が重要であった。おそらく、植物遺体もどの土器型式に共伴するのかが重要である。今後、考古学調査者と我々のような分析研究を実施する作業者の間で、こうしたコンセンサスを確立しながらデータの集積を計る

ことが急務なのであろう。

また、各時代の土壌の中には自然の状態で埋没される植物種子が非常に多い事にも留意したい。とくに新しい土壌の中には腐朽せずに残存する種子がきわめて多い。これらが土壌の崩壊などで古い文化層に混ざることは日常的に発生する。こうした視点で言えば、包含層土壌の採取はあまり長時間の暴露を経たものは避ける方が賢明と思われる。

引用文献

萱野　茂

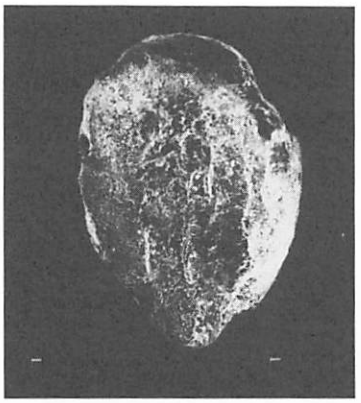
1996：　萱野茂のアイヌ語辞典　三省堂　東京

知里真志保

1993：　知里真志保著作集　別巻１　分類アイヌ語辞典　動物編・植物編　平凡社　東京

吉崎昌一・椿坂恭代

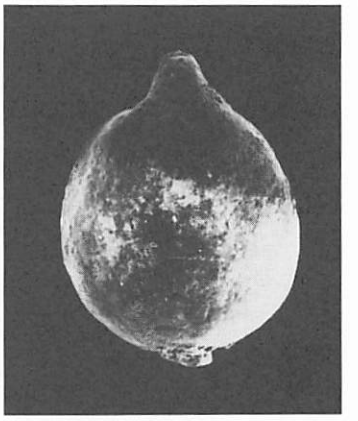
1998：　キウス４遺跡から出土した炭化植物種子について　(財)北海道埋蔵文化財センター編
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書　第124集　「千歳市　キウス４遺跡　(2)」
509p．357-367　　(財)北海道埋蔵文化財センター発行，札幌



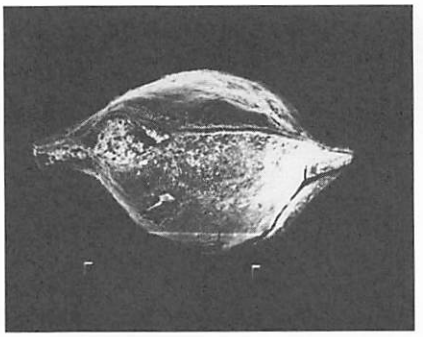
1．ヒエ属



2．アサ



3．タデ属



4．タデ属



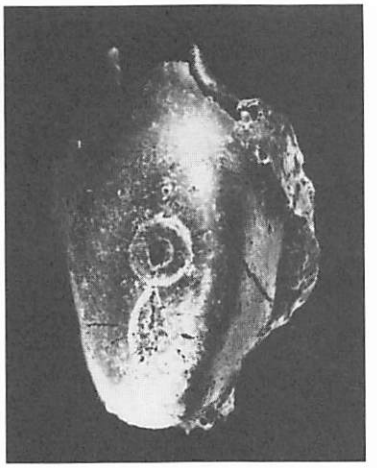
5．ナス科



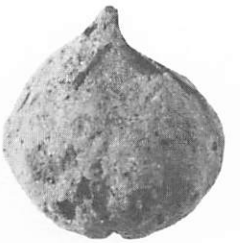
6．キク科



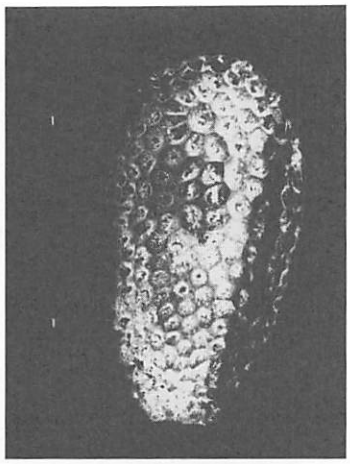
7．ケシ科



8．マメ科



9．ユリ科



10．マタタビ属



11．キハダ属果実



12．キハダ属種子



13a．ブドウ属背面



13b．ブドウ属腹面



14a．コナラ属表面



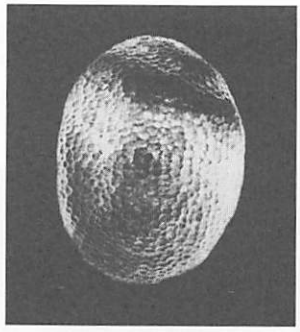
14b．内面



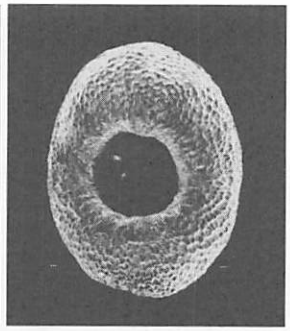
15a．クルミ属表面



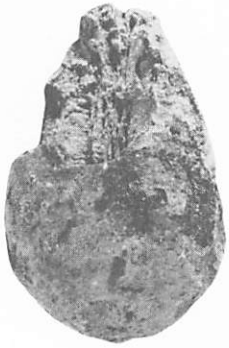
15b．表面



16a．不明



16b．



17．不明

遺跡名　キウス4遺跡出土炭化種子表

キク科種子：0.1ｇ約1050粒

資料NO.	遺構名		層位	時期	ヒエ属（粒）	アサ（粒）	タデ属（粒）	ナス科（粒）	キク科（粒）	キク科（ｇ）	ケシ科（粒）	マメ科（粒）	ユリ科（粒）	マタタビ属（粒）	キハダ属 果実（片）	キハダ属 種子（粒）	キハダ属（片）	ブドウ科（粒）	ブドウ科（片）	コナラ属（ｇ）	クルミ属（ｇ）	不明（粒）
	A地区																					
8	ALH013	住居跡	ＨＰ2覆土	縄文時代早期後半													1				0.71	
9	ALH014	住居跡	床面直上	〃													1				0.52	
10	ALH016	住居跡	床面直上	〃													1				0.24	
13	ALP022	ピット，住居跡？	覆土6	〃													4				0.12	
40	包含層		Ⅴ8b	縄文時代早期後半～前期前半			4								1	4	5				0.62	5
3	ALF049	焼土	焼土	〃			1							3	2		3	1		0.03	0.15	11
4	ALF045	焼土	焼土	〃																	0.86	
5	ALH006	住居跡	床面直上	縄文時代前期前半				1														
6	ALH011	住居跡	床面直上	〃																	0.36	
7	ALH012	住居跡	床面直上	〃																	0.57	
26	包含層		Ⅴb	縄文時代後期後葉	1												1				0.25	1
1	ALF001	盛土中	焼土	〃																	0.13	
2	ALF013	斜面焼土	焼土	〃			5			3.86							1		32		0.06	7
11	ALP002	水場遺構，ピット	覆土下	〃			1														0.13	
12	ALP002	水場遺構，ピット	覆土上	〃		1								2					15		0.12	
	H地区																					
14	HLF006	焼土	焼土	縄文時代後期後葉													1				＜0.01	
15	HLP010	住居跡の柱穴？	覆土	〃																	0.24	3
16	HLP019	住居跡の柱穴？	覆土	〃																	0.09	6
17	HLP136	住居跡の柱穴？	覆土	〃					5												＜0.01	3
18	HLP207	住居跡の柱穴？	覆土	〃													1				0.03	
19	HLP332	遺物と焼土を伴うピット	覆土	〃	2				5												1.42	
20	HLP333	遺物と焼土を伴うピット	覆土	〃															1		0.94	1
21	HM1	盛土遺構	盛土	〃	3		4		22										2		2.67	2
22	HM2	盛土遺構	盛土1	〃																	0.70	
23	HM3	盛土遺構	盛土	〃							1										0.05	
24	HMF007	盛土遺構中の焼土	焼土	〃			1														0.01	
25	HMF008	盛土遺構中の焼土	焼土	〃																	0.05	
	I地区																					
27	Iffg097	Ⅴb上面の焼土	焼土	縄文時代後期後葉			2					1				1	4					
28	Iffg0102	Ⅴb上面の焼土	焼土	〃			1															
29	ILFG120	Ⅴb上面の焼土	焼土	〃																		1
30	Iffg125	Ⅴb上面の焼土	焼土	〃																	0.01	
31	ILFG578	Ⅴb上面の焼土	焼土	〃															1			
32	ILFG759	Ⅴb上面の焼土	焼土	〃																	0.03	
38	IMF002	Ⅴb上面の焼土	焼土	〃	1					0.70			1								0.14	
33	ILP002	フラスコ状ピット	覆土	〃			3															
35	ILP009	墓？	覆土	〃																		
37	ILP021	盛土遺構，ピット	覆土	〃																	0.07	
	K地区																					
39	KLP005	大型柱穴	覆土下層	縄文時代後期後葉	1									1			1			0.36	0.04	2
合計					8	1	22	1	32	4.6	1	1	1	6	3	5	17	1	51	0.39	9.74	42

7　キウス4遺跡Ⅰ地区から出土した遺構に残存する脂肪の分析

帯広畜産大学生物資源科学科　中野益男
㈱ズコーシャ総合科学研究所　中野寛子、星山賢一

動植物を構成している主要な生体成分にタンパク質、核酸、糖質（炭水化物）および脂質（脂肪・油脂）がある。これらの生体成分は環境の変化に対して不安定で、圧力、水分などの物理的作用を受けて崩壊してゆくだけでなく、土の中に棲んでいる微生物による生物的作用によっても分解して行く。これまで生体成分を構成している有機質が完全な状態で遺存するのは、地下水位の高い低地遺跡、貝塚などごく限られた場所にすぎないと考えられてきた。

最近、ドイツ新石器時代後期にバター脂肪が存在していたこと[1]、古代遺跡から出土した約2千年前のトウモロコシ種子[2]、約5千年前のハーゼルナッツの種子[3]に差残存する脂肪の脂肪酸は安定した状態に保持されていることがわかった。このように脂肪は微量ながら比較的安定した状態で千年・万年という長い年月を経過しても変化しないで遺存することが判明した[4]。

脂質は有機溶媒に溶けて、水に溶けない成分を有している。資質はさらに構造的な違いによって誘導脂質、単純脂質および複合脂質に大別される。これらの脂質を構成している主要なクラス（種）が脂肪酸であり、その種類、含量ともに脂質中では最も多い。その脂肪酸には炭素の鎖がまっすぐに延びた飽和型と鎖の途中に二重結合をもつ不飽和型がある。動物は炭素数の多い飽和型の脂肪酸、植物は不飽和型の脂肪酸を多く持つというように、動植物は種ごとに固有の脂肪酸を持っている。ステロールについても、動物性のものはコレステロール、植物性のものはシトステロール、微生物はエルゴステロールというように動植物に固有の特徴がある。従って、出土遺物の脂質の種類およびそれらを構成している脂肪酸組成と現生動植物のそれとを比較することによって、目に見える形では遺存しない原始古代の動植物を判定することが可能となる。

このような出土遺構・遺物に残存する脂肪を分析する方法を「残存脂肪分析法」という。この「残存脂肪分析法」を用いてキウス4遺跡Ⅰ地区から出土した土壙の性格を解明しようとした。

1．土壌試料

北海道千歳市に所在するキウス4遺跡Ⅰ地区から出土した、縄文時代後期のものと推定されている遺構内外の土壌試料を分析した。遺跡内の各遺構の配置状況および遺構内外での試料採取地点を図1－1～1－に示す。試料No.1～No.4は貯蔵穴と考えられている遺構LP－2のもので、No.1～No.3を遺構内、No.4を遺構外から、試料、No.5～No.9は墓壙と考えられている遺構LP－4のもので、No.1～No.8を遺構内、No.9を遺構外から、試料、No.10～No.12も墓壙と考えられている遺構LP－7のもので、No.10とNo.11を遺構内、No.12を遺構外から、試料No.13～No.17も墓壙と考えられている焼土を伴う遺構LP－21のもので、No.13～No.16を遺構内、No.17を遺構外から、それぞれ採取した。

2．残存脂肪の抽出

土壌試料271～868gに3倍量のクロロホルム－メタノール(2:1)混液を加え、超音波浴槽中で30分間処理し残存脂肪を抽出した。処理液を濾過後、残渣に再度クロロホルム－メタノール混液を加え、再び30分間超音波処理をする。この操作をさらに2回繰り返して残存脂肪を抽出した。得られた全抽

出溶媒に１％塩化バリウムを全抽出溶媒の４分の１容量加え、クロロホルム層と水層に分配し、下層のクロロホルム層を濃縮して残存脂肪を分離した。

残存脂肪の抽出量を表１に示す。抽出率は0.0016％から0.0346％、平均0.0094％であった。この値は全国各地の遺跡から出土した土壌、石器、土器等の試料の平均抽出率0.0010～0.0100％の範囲内のものであった。

残存脂肪をケイ酸薄層クロマイトグラフィーで分析した結果、脂肪は単純脂肪で構成されていた。このうち遊離脂肪酸が最も多く、次いでグリセロールと脂肪酸の結合したトリアシルグリセロール（トリグリセリド）、ステロールエステル、ステロールの順に多く、微量の長鎖炭化水素も存在していた。

３．残存脂肪の脂肪酸組成

分離した残存脂肪の遊離脂肪酸とトリアシルグリセロールに５％メタノール性塩酸を加え、125℃封管内で２時間分解し、メタノール分解によって生成した脂肪酸メチルエステルを含む画分をクロロホルムで分離し、さらにジアゾメタンで遊離脂肪酸を完全にメチルエステル化してから、ヘキサン－エチルエーテル－酢酸(80:30:1)またはヘキサン－エーテル(85:15)を展開溶媒とするケイ酸薄層クロマイトグラフィーで精製後、ガスクロマトグラフィーで分析した[5]。

残存脂肪の脂肪酸組成を図2-1と2-2に示す。残存脂肪から10種類の脂肪酸を検出した。このうちパルミチン酸(C16:0)、ステアリン酸(C18:0)、オレイン酸(C18:1)、リノール酸(C18:2)、アラキジン酸(C20:0)、エイコサモノエン酸(C20:1)、ベヘン酸(C22:0)、リグノセリン酸(C24:0)の８種類の脂肪酸をガスクロマトグラフィー－質量分析により同定した。

各試料中での炭素数18までの中級脂肪酸の組成パターンを見ると、主要な脂肪酸がパルミチン酸のもの、オレイン酸のもの、パルミチン酸とオレイン酸が同程度分布しているものの３つに分かれた。このうちLP－２の試料はすべて主要な脂肪酸がパルチミン酸で、LP－４の試料はパルチミン酸とオレイン酸が同程度分布しているか、もしくは主要な脂肪酸がオレイン酸で、LP－７とLP－21の試料は３つのパー短をすべて含むものであった。一般に考古遺物にはパルチミン酸が多く含まれている。これは長い年月の間にオレイン酸、リノール酸といった不飽和脂肪酸の一部が分解し、パルチミン酸を生成するためで、主として植物遺体の土壌化に伴う腐植物から来ていると推定される。オレイン酸の分布割合の高いものとしては、動物性脂肪と植物性脂肪の両方が考えられる。植物性脂肪は特に根、茎、種子に多く分布するが、動物性脂肪の方が分布割合は高い。ステアリン酸は動物体脂肪や植物の根に比較的多く分布している。リノール酸は主として植物種子・葉に多く分布する。

一方、高等植物、特に高等植物の臓器、脳、神経組織、血液、胎盤に特徴的にみられる炭素数20以上のアラキジン酸、ベヘン酸、リグノセリン酸などの高級脂肪酸は、それら３つの合計含有率が試料№１、№５、№６、№９、№12で約31～40％、№２～№４、№７、№８、№10、№13、№15～№17で約12～28％、№11と№14で約５～６％であった。通常の遺跡出土土壌中でのアラキジン酸、ベヘン酸、リグノセリン酸の高級脂肪酸３つの合計含有率は約４～10％であるから、試料№11と№14の高級脂肪酸含有率は通常の遺跡出土土壌中の植物腐植土並みで、他のすべての試料中でのそれは多く、特に試料№１、№５、№６、№９、№12では非常に多かった。高級脂肪酸含有率が多い場合としては試料中に高等動物の血液、脳、神経組織、臓器等の特殊な部分が含まれている場合と、植物の種子・葉などの植物体の表面を覆うワックスの構成分が含まれている場合とがある。高級脂肪酸が動物、植物のどちらに由来するかはコレステロールの分布割合によって決めることができる。概して、動物に由来す

る場合はコレステロール含有量が多く、植物に由来する場合はコレステロール含有量が少ない。

以上、キウス４遺跡Ｉ地区の試料中の脂肪酸組成パターンには３つの種類があり、LP－２の試料はすべて主要な脂肪酸がパルチミン酸であるタイプで、LP－４の試料はパルチミン酸とオレイン酸が同程度分布しているタイプと主要な脂肪酸がオレイン酸であるタイプのものが入り混じっており、LP－７とLP－21の試料はこの３つのタイプをすべて含むものであることがわかった。高級脂肪酸はLP－７の試料№11とLP－21の試料№14で通常の遺跡出土土壌中の植物腐植土並みの含有量であったが、他のすべての試料中では多めで、特にLP－２の試料№１、LP－４の試料№５、№６、№９、LP－７の試料№12では非常に多かった。

４．残存脂肪のコレステロール組成

残存脂肪ノコレステロールをヘキサンーエチルエーテルー酢酸(80:30:1)を展開溶媒するケイ酸薄層クロマトグラフィーで分離・精製後、ピリジンー無水酢酸(1:1)を窒素気流下で反応させてアセテート誘導体にする。得られた誘導体をもう一度同じ展開溶媒で精製してから、ガスクロマトグラフィーにより分析した。残存脂肪の主なステルーロ組成を図3-1と3-2に示す。残存脂肪から14～22種類のステロールを検出した。このうちコプロスタノール、コレステロール、エルゴステロール、カンペステロール、スチグマステロール、シトステロールなど８種類のステロールをガスクロマトグラフィーー質量分析により固定した。

試料中のステロール組成をみると、動物由来のコレステロールはすべての試料中に約２～６％分布していた。通常一般的な植物腐植土中にはコレステロールは２～６％分布している。従って、コレステロール含有量はすべての試料中で通常の遺跡出土土壌中の植物腐植土並みであった。

植物由来のシトステロールはすべての試料中に約29～57％分布していた。通常の遺跡出土土壌中にはシトステロールは30～40％、もしくはそれ以上に分布している。従って、シトステロール含有量はすべての試料中で通常の遺跡出土土壌中の植物腐植土並みか多めであった。

クリ、クルミ等の堅果植物由来のカンペステロール、スチグマステロールは、カンペステロールが試料№４と№７に約11～12％、№８に約17％、他のすべての試料中に約６～10％、スチグマステロールがすべての試料中に約３～10％分布していた。通常の遺跡出土土壌中にはカンペステロール、スチグマステロールは１～10％分布している。従って、カンペステロール含有量は試料№８でかなり多く、№４と№７でごくわずかに多く、他のすべての試料中で通常の遺跡出土土壌中の植物腐植土並みで、スチグマステロール含有量はすべての試料中で通常の遺跡出土土壌中の植物腐植土並みであった。

微生物由来のエルゴステロールは検出されないが、検出されても痕跡程度しか分布していないものもあったが、検出されるものには約0.3～2.7％分布していた。この程度の量は土壌微生物の存在による結果と考えられる。

哺乳動物の腸および糞尿中に特異的に分布するコプロスタノールは、試料№17に痕跡程度、№４と№15に約１％、№16に約９％、他のすべての試料中に約２～５％分布していた。コプロスタノールは通常の植物腐植土壌中には分布していないが、１％程度の量は検出されることがある。また、コプロスタノールの分布により試量中での哺乳動物の存在を確認することができる他に、コプロスタノールが10％以上含まれていると、コプロスタノールとコレステロールの分布割合から試料中に残存している脂肪の動物種や性別、また遺体の配置状況などが特定できる場合がある[6]。今回はコプロスタノール含有率が10％以上である試料はなかったが、試料№16は10％に近い値で、№４と№15を除くすべての試料中でも２％以上の値を示し、試料中には微量ながら哺乳動物由来の脂肪が存在している可能性

がある。

一般に動物遺体の存在を示唆するコレステロールとシトステロールの分布比の指標値は土壙で0.6以上[7]、土器・石器・石製品で0.8～23.5をとる[8、9]。また、コプロスタノールとコレステロールの分布比からは動物種が判定でき、ヒトの場合コプロスタノールはコレステロールの分布比は成人男性が4.25、成人女性が2.75である。試料中のコレステロールとシトステロールの分布比を表2に示す。表からわかるように、分布比はすべての試料が0.1前後で、遺構の内外で特に差があるということはなかった。コレステロールとシトステロールの分布比を見る限り、すべての試料中に動物遺体または動物由来の脂肪がほとんど残存していないことを示唆している。この成績はすべての土壙にコプロスタノールが2％以上含まれている試料があり、微量でも哺乳動物由来の脂肪が残存している可能性があるということと一致しない。コプロスタノルがかなり多く含まれていた試料№16のコプロスタノールとコレステロールの分布比を算出すると、その値は2.20であった。この値は若干低くはあるが女性の値にかなり近いものである。試料は腸・糞便に相当する部分だけを採取したわけではなく、動物遺体そのものも採取している可能性があるので、その体脂肪のコレステロールも混ざってきて、コレステロール分布量が増えることも考えられる。その分コプロスタノールの分布量が比率的に若干下がると想定すれば、成人女性の値とみなすことができる。

以上、キウス4遺跡Ⅰ地区の試料中に含まれている各種ステロール類は、哺乳動物の腸もしくは糞便由来のコプロスタノールがLP－21の試料№16にかなり多く、LP－2の試料№4とLP－21の試料№15以外のすべての試料にやや多く、堅果植物由来のカンペステロールがLP－4の試料№8にかなり多く、LP－2の試料№4とLP－4の試料№7にごくわずかに多く、植物由来のシトステロールが全般的に多めに含まれていた他は、すべてほぼ通常の遺跡出土土壌中の植物腐植土並みにしか含まれていないことがわかった。コレステロールとシトステロールの分布比もすべて0.6以下で、分布比から見る限り試料中には動物遺体または動物由来の脂肪がほとんど残存していないことになる。しかし、このことはすべての土壌にコプロスタノールが2％以上含まれている試料があり、微量ながら哺乳動物由来の脂肪が残存している可能性があるということと一致しない。コプロスタノールがかなり多く含まれていたLP－21の試料№16について、コプロスタノールとコレステロールの分布比を算出すると、その値は2.20で成人女性の値にかなり近かった。従って、LP－21には成人女性が埋葬されていた可能性も考えられる。また、試料中に分布していた高級脂肪酸は、コレステロールノ分布割合から植物の種子・葉などの植物体の腐植物に含まれるワックスの構成分に由来していると考えられる。従って、動物脂肪が残存していたとしても、それは植物腐植土中に微量しか含まれていないと考えられる。

5．脂肪酸組成の数理解析

残存脂肪の脂肪酸組成をパターン化し、重回帰分析により各試料間の相関係数を求め、この相関係数を基礎にしてクラスター分析を行って各試料の類似度を調べた。同時に同じ北海道内のもので、出土土壙にヒト遺体を直接埋葬した場合と類似の脂肪が残存していると判定した美沢3遺跡[10]、納内3遺跡[11]、滝札幌38遺跡[12]、出土土壙を土壙墓と判定した兵庫県寺田遺跡[13]、出土土器を幼児埋葬用甕棺と判定した静岡県原川遺跡[14]、ヒトの体脂肪、出土土壙や出土土器にヒトの骨のみを埋納した場合と類似の脂肪が残存していると判定した北海道栄町5遺跡[15]、出土土壙を再葬墓と判定した宮城県摺荻遺跡[16]、ヒトの骨油、出土した土壙に残存する脂肪はヒト遺体を直接埋葬したことに関わる遺跡やヒト遺体を火葬にしたことに関わる遺跡の試料の脂肪と類似していると判定した北海道ユカンボシE

7遺跡[17]、出土した墓、火葬場と推定されている遺構はヒト遺体を直接焼いた火葬墓や火葬場であろうと推定した滋賀県上田上牧遺跡[18]、出土した焼土面およびその周辺で動物遺体を焼いたと判定した兵庫県神出古窯址群[19]、土坑内でヒト遺体を焼いたと判定した兵庫県行原遺跡[20]、火葬土壙と推定された土壙にはヒトの骨油と植物腐植土中の脂肪が入り混じっていると判定した兵庫県梶原遺跡[21]、出土した火葬土壙は焼土面やその周辺で動物遺体を焼いたと判定した遺跡の試料と類似しており、抗原抗体反応からヒトの存在も確認された福岡県上町木下遺跡[22]、加熱したヒトの体脂肪、加熱した人骨、エゾシカ、タヌキ、イヌのような動物、オットセイ、イルカのような海産動物、モズ、ツグミのような野鳥、ニシン、アサリのような魚介類、クリ、クルミ、ハイイヌガヤのような木の実試料など、各種遺跡試料や現生動植物試料との脂肪酸の類似度も比較した。予めデータベースの脂肪酸組成と試料中のそれとでクラスタ分析を行い、その中から類似度の高い試料を選び出し、再びクラスター分析によりパターン間距離にして表したのが図4である。

図からわかるように、キウス4遺跡Ⅰ地区の試料№1～№7、№9、№10、№12、№15～№17は上田上牧遺跡の資料と共に相関行列距離0.15以内でA群を形成し、類似していた。キウス4遺跡Ⅰ地区の試料№8、№11、№13、№14は栄町5遺跡、梶原遺跡、神出古窯址群、ヒトの骨油試料と共に相関行列距離0.15以内でC群を形成し、類似していた。他の対照試料はB群、D～H群を形成した。これの群のうちA群とB群は相関行列距離0.2以内の所にあり、互いに類似しており、C群もA、B群とは相関行列距離で0.25以内の所にあり、やや類似しているといえる。

以上、キウス4遺跡Ⅰ地区から出土した土壙に残存する脂肪は、ヒトの骨のみを埋葬したことに関わる遺跡、ヒトの骨油、ヒト遺体を直接焼いたことに関わる遺跡、イヌ、エゾシカ、タヌキのような動物、オットセイ、イルカのような海産動物、モズ、ツグミのような野鳥試料の脂肪と類似していることがわかった。また、貯蔵穴と推定されているLP－2だけが特別な群を形成するということもなく、他の土壙とほぼ同一の傾向を示すことがわかった。今回の試料中では遺構による違いや遺構内外による違いがほとんど見られなかった。

6．脂肪酸組成による種特異性相関

残存脂肪の脂肪酸組成から種を特定するために、中級脂肪酸（炭素数16のパルミチン酸から炭素数18のステアリン酸、オレイン酸、リノール酸、リノレン酸まで）と高級脂肪酸（炭素数20のアラキジン酸以上）との比をX軸に、飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸との比をY軸にとり種特異性相関を求めた。この比例配分により第1象限の原点から離れた位置に高等動物の血液、脳、神経組織、臓器等に由来する脂肪、第1象限から第2象限の原点から離れた位置にヒト胎盤、第2象限の原点から離れた位置に高等動物の体脂肪、骨油に由来する脂肪がそれぞれ分布する。第2象限から第3象限にかけての原点付近に植物と微生物、原点から離れた位置に植物腐植、第3象限から第4象限にかけての原点から離れた位置に海産動物に由来する脂肪が分布する。

土壙試料の残存脂肪から求めた相関図を図5に示す。図からわかるように、キウス4遺跡Ⅰ地区の試料№1～№7、№9、№10、№12、№15～№17は第1象限から第2象限にかけての位置に広く分布し、A群を形成した。試料№8、№11、№13、№14は第3象限内に分布し、C群を形成した。A群の分布位置は試料中に残存する脂肪が高等動物の脂肪全般に由来し、C群の分布位置は試料中に残存する脂肪が植物腐植土に由来することを示俊している。

以上、キウス4遺跡Ⅰ地区から出土したLP－2の全試料、LP－4の試料№8を除く全試料、LP－7の試料№10、LP－21の試料№15～№17に残存する脂肪は高等動物の脂肪全般に由来し、LP－4

の試料№8、LP－7の試料№11、LP－21の試料№13、№14に残存する脂肪は植物腐植土に由来することがわかった。脂肪酸の数理解析と脂肪酸組成の種特異性相関およびコプロスタノールの分布を見る限り、貯蔵穴は墓壙に転用された可能性が考えられる。しかし、コレステロールの含有量が少ないことから、貯蔵穴の転用については精確に判定できなかった。

7．総括

キウス4遺跡Ⅰ地区から出土した土壙の性格を判定するために、土壙内外の土壙試料の残存脂肪分析を行った。残存する脂肪の脂肪酸分析、ステロール分析、脂肪酸組成の分布に基づく数理解析の結果、すべての土壙に残存する脂肪はその土壙外の対照試料も含めて、高等動物の骨部分も含む脂肪全般に由来することがわかった。しかし、コレステロール含有量が少なく、コレステロールとシトステロールの分布比もすべて0.6以下であることと、コプロスタノールが2％以上含まれている試料があることは一致しない。コプロスタノールがかなり多く含まれていた土壙LP－21の試料№16のコプロスタノールとコレステロールの分布比は成人女性の値にかなり近く、LP－21には成人女性が埋葬されていた可能性も考えられる。今かにの試料中のステロール含有量にはあまり特徴がなく、各遺構による違いや遺構内外による違いもほとんど見られず、貯蔵穴と墓壙の区別も困難であった。コプロスタノールの分布から貯蔵穴が墓壙に転用された可能性も考えられるが、コレステロール含有量が少ないことから、貯蔵穴の転用については精確に判定できなかった。貯蔵穴は貯蔵品を取り出せば内部には何も残らず、貯蔵品の判定やその土壙の性格判定は困難となる。たとえ遺構内土壙を分析してもその土壙は埋土である可能性が高い。また、一般に油脂種子植物を除く植物性脂肪は動物性脂肪に比べ残存する脂肪の絶対量が少ないために、動物性脂肪が優先的に多く検出されることになる。従って、例えば木の実類を貯蔵した場合には、その木の実類が全部穴に残れば木の実類に特有な脂肪が検出されるかもしれない。

参考文献

(1) R.C.A.Rottlander and H.Schlichtherle:「Food indentification of samples fromarchaeological sites」,『Archaeo Physika』, 10巻, 1979, pp260.

(2) D.A.Priestley, W.C.Galinat and A.C.Leopold:「Preservation of polyunsaturated fatty acid in ancient Anasazi maize seed」,『Nature』, 292巻, 1981, pp146.

(3) R.C.A.Rottlander and H.Schlichtherle:「Analyse fruhgeschichtlicher Gefaβ-inhalte」,『Naturwissenschaften』, 70巻, pp33.

(4) 中野益男：「残留脂肪分析の現状」,『歴史公論』, 第10巻(6), 1984, pp124.

(5) M.Nakano and W.Fischer:「The Glycolipids of Lactobacillus casei DSM20021」,『Hoppe-Seyler's Z. Physiol.Chem.』, 358巻, 1977, pp1439.

(6) 中野益男：「残留脂肪酸による古代復元」,『新しい研究法は考古学になにをもたらしたか』, 田中琢, 佐原眞編, クバプロ, 1995, pp148.

(7) 中野益男, 伊賀啓, 根岸孝, 安本教傳, 畑宏明, 矢吹俊男, 佐原眞, 田中琢：「古代遺跡に残存する脂質の分解」,『脂質生化学研究』, 第26巻, 1984. pp40.

(8) 中野益男：「真脇遺跡出土土器に残存する動物油脂」,『真脇遺跡－農村基盤総合整備事業能都東地区真脇工区に係わる発掘調査報告書』, 能都町教育委員会・真脇遺跡発掘調査団, 1986, pp401.

(9) 中野益男, 根岸孝, 長田正宏, 福島道広, 中野寛子：「ヘロカルウス遺跡の石器製品に残存する脂肪の分析」,『ヘロカルウス遺跡』, 北海道文化財研究所調査報告書, 第3集, 1987, pp191.

(10) 中野益男，福島道広，中野寛子，長田正広：「美沢３遺跡の土壌に残存する脂肪の分析」，『美沢川流域の遺跡群Ⅻ－新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書』，北海道埋蔵文化財センター調査報告第58集，1988，pp237．

(11) 中野益男，福島道広，中野寛子，長田正宏：「納内３遺跡の遺構群に残存する脂肪の分析」，『納内３遺跡』，北海道埋蔵文化財センター調査報告書，第60集，1988．pp141．

(12) 中野寛子，明瀬雅子，長田正宏，中野益男：「滝里38遺跡の土壌に残存する脂肪の分析」，『滝里遺跡群Ⅱ』，北海道埋蔵文化財センター調査報告書，第74集，1990，1991，pp93．

(13) 中野益男，中野寛子，福島道広，長田正宏：「寺田遺跡土壙墓状遺構に残存する脂肪の分析」，『未発表』，兵庫県芦屋市教育委員会．

(14) 中野益男，幅口剛，福島道広，中野寛子，長田正宏：「原川遺跡の土器棺に残存する脂肪の分析」，『原川遺跡Ⅰ－昭和62年度袋井バイパス（掛川地区）埋蔵文化財発掘調査報告書』，第17集，(財)静岡県埋蔵文化財調査研究所，1988，pp79．

(15) 中野寛子，明瀬雅子，長田正宏，中野益男，福島道広：「栄町５遺跡の土壌に残存する脂肪の分析」，『余市町フゴッペ貝塚』，北海道埋蔵文化財センター調査報告書，第66集，1991，pp578．

(16) 中野益男，福島道広，中野寛子，長田正宏：「摺萩遺跡の遺構に残存する脂肪の分析」，『摺萩遺跡』宮城県文化財調査報告書，第132集．

(17) 中野益男，中野寛子，長田正宏：「ユカンボシＥ７遺跡から出土した土壌に残存する脂肪の分析」，『未発表』，(財)北海道埋蔵文化財センター．

(18) 中野益男，中野寛子，長田正宏：「上田上牧遺跡から出土した遺構に残存する脂肪の分析」，『未発表』，(財)滋賀県文化財保護協会．

(19) 中野益男，中野寛子，福島道広，長田正宏：「神出古窯址群遺構の焼土に残存する脂肪の分析」，『未発表』，兵庫県高多可郡妙見山麓遺跡調査会．

(20) 中野寛子，明瀬雅子，長田道宏，中野益男：「行原遺構から出土した土杭に残存する脂肪の分析」，『見発表』，兵庫県神戸市教育委員会．

(21) 中野益男，中野寛子，菅原利佳，長田正宏：「梶原遺跡から出土した遺構に残存する脂肪の分析」，『未発表』，兵庫県兵庫考古学研究会．

(22) 中野寛子，明瀬雅子，長正正宏，中野益男：「上町木下遺跡から出土した土壌に残存する脂肪の分析」，『未発表』，福島県前原市教育部．

表１　土壌試料の残存脂肪抽出量

試料No.	採　取　地　点	湿重量(g)	全脂質(mg)	抽出率(%)
1	ＬＰ－２　覆土３層	355.5	23.7	0.0071
2	〃　〃 39層	363.9	6.7	0.0018
3	〃　遺構外①	289.7	23.1	0.0080
4	〃　〃 ②	429.3	103.4	0.0241
5	ＬＰ－４　覆土１層	378.3	130.8	0.0346
6	〃　〃 10層	868.1	58.2	0.0067
7	〃　〃 8層	682.4	33.1	0.0049
8	〃　〃 20層	747.0	27.5	0.0037
9	〃　遺構外Ⅴ層	433.4	92.2	0.0213
10	ＬＰ－７　覆土１層	356.5	13.6	0.0038
11	〃　〃 14層	576.9	12.9	0.0022
12	〃　遺構外Ⅴ層	368.4	104.0	0.0282
13	ＬＰ－21　覆土焼土①	481.2	11.7	0.0024
14	〃　〃 焼土④	288.2	4.5	0.0016
15	〃　〃 10層	312.8	10.4	0.0033
16	〃　〃 24層	286.4	5.5	0.0019
17	〃　遺構外Ⅴ層	270.5	9.2	0.0034

表２　試料中に分布するコレステロールとシトステロールの割合

試料No.	コレステロール(%)	シトステロール(%)	コレステロール／シトステロール
1	4.42	39.10	0.11
2	3.15	52.66	0.06
3	3.33	40.42	0.08
4	2.93	46.86	0.06
5	3.24	40.66	0.08
6	3.12	41.85	0.07
7	2.49	45.98	0.05
8	2.93	57.21	0.05
9	2.93	42.80	0.07
10	3.37	48.62	0.07
11	3.24	54.42	0.06
12	3.01	43.70	0.07
13	3.18	46.06	0.07
14	5.61	30.17	0.19
15	3.45	32.63	0.11
16	3.93	29.05	0.14
17	4.00	49.37	0.08

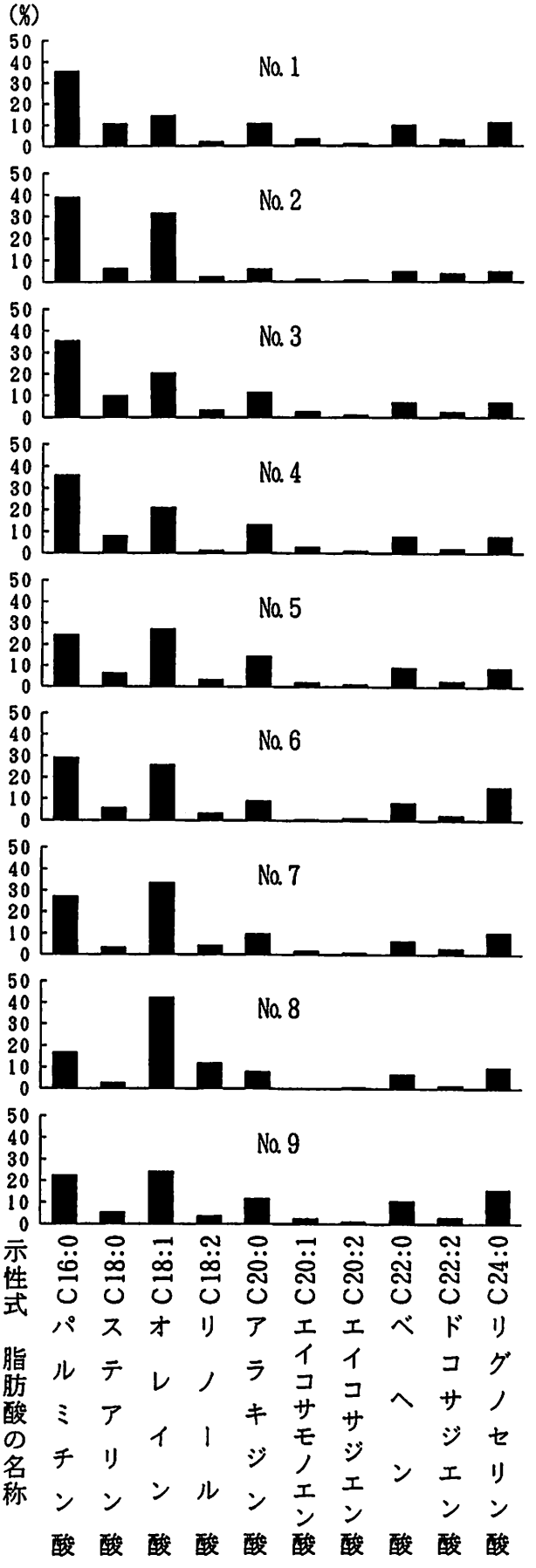


図２－１　試料中に残存する脂肪の脂肪酸組成

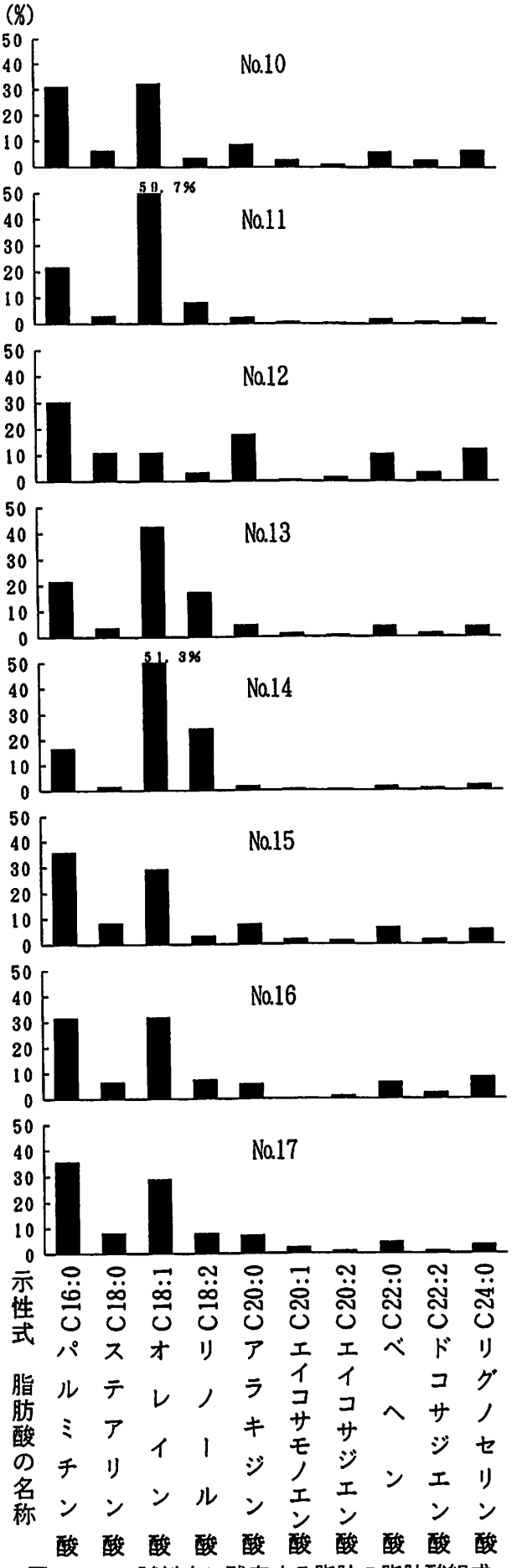


図２－２　試料中に残存する脂肪の脂肪酸組成

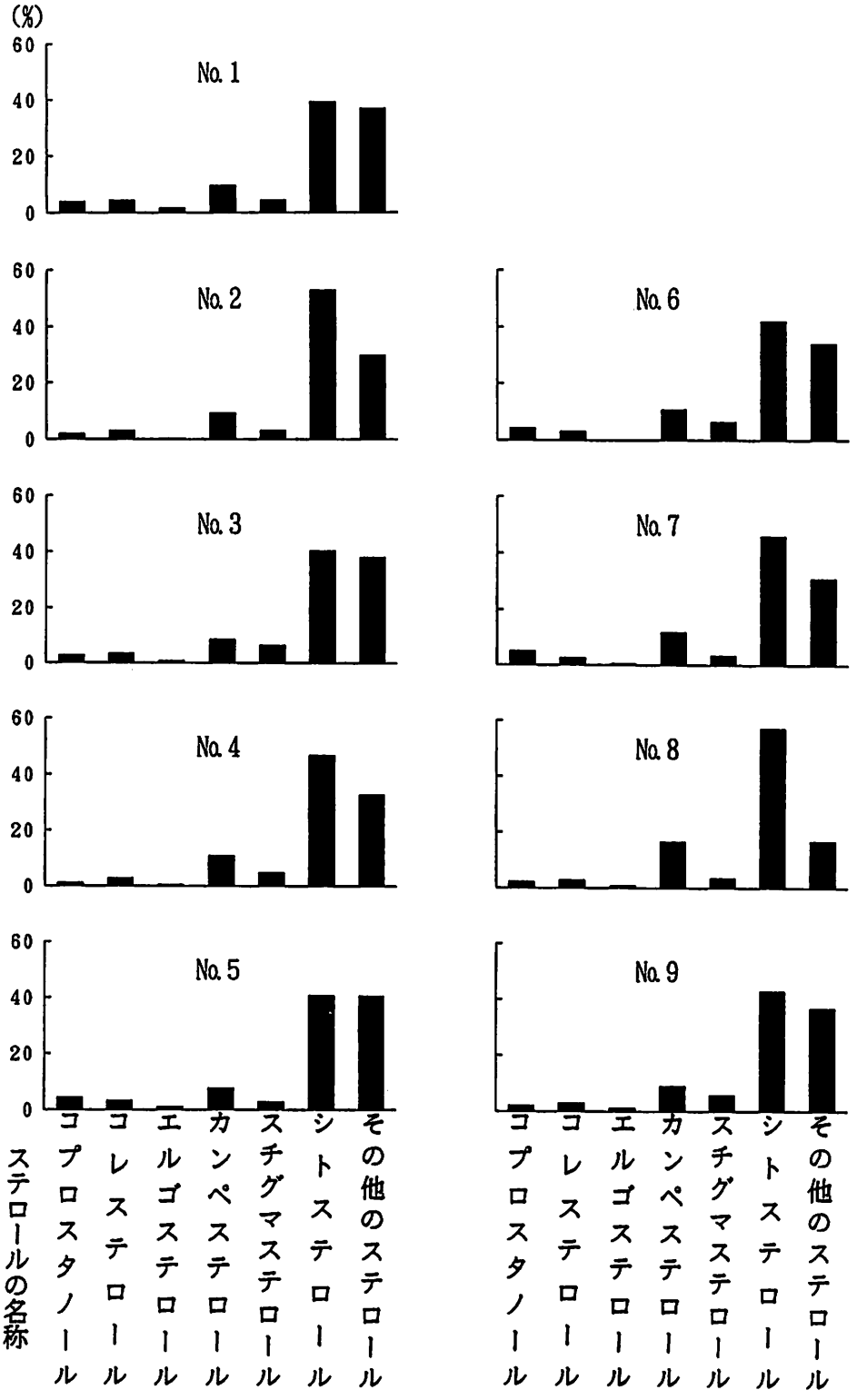


図３－１　試料中に残存する脂肪のステロール組成

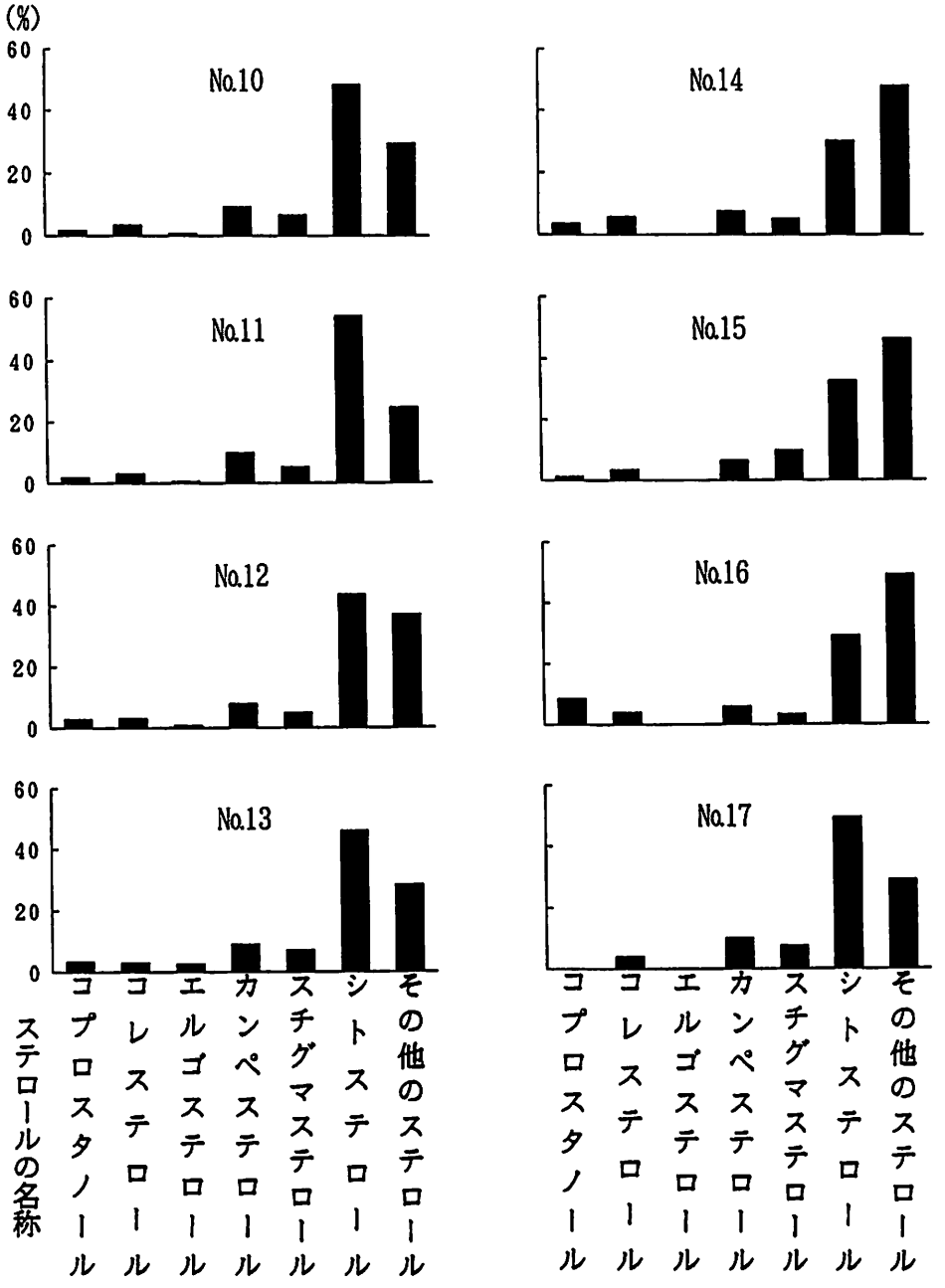


図３－２　試料中に残存する脂肪のステロール組成

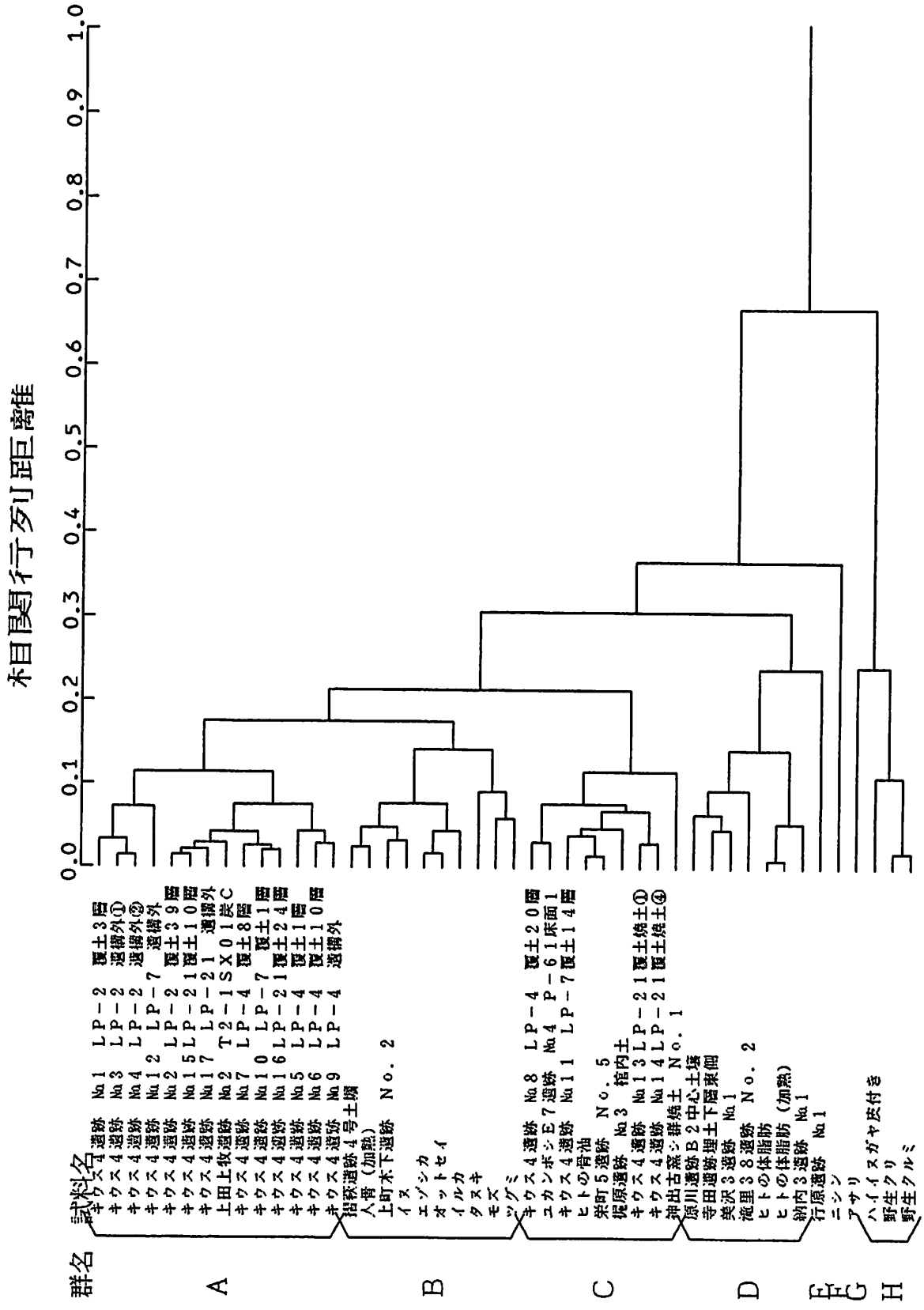


図4　試料中に残存する脂肪の脂肪酸組成樹状構造図

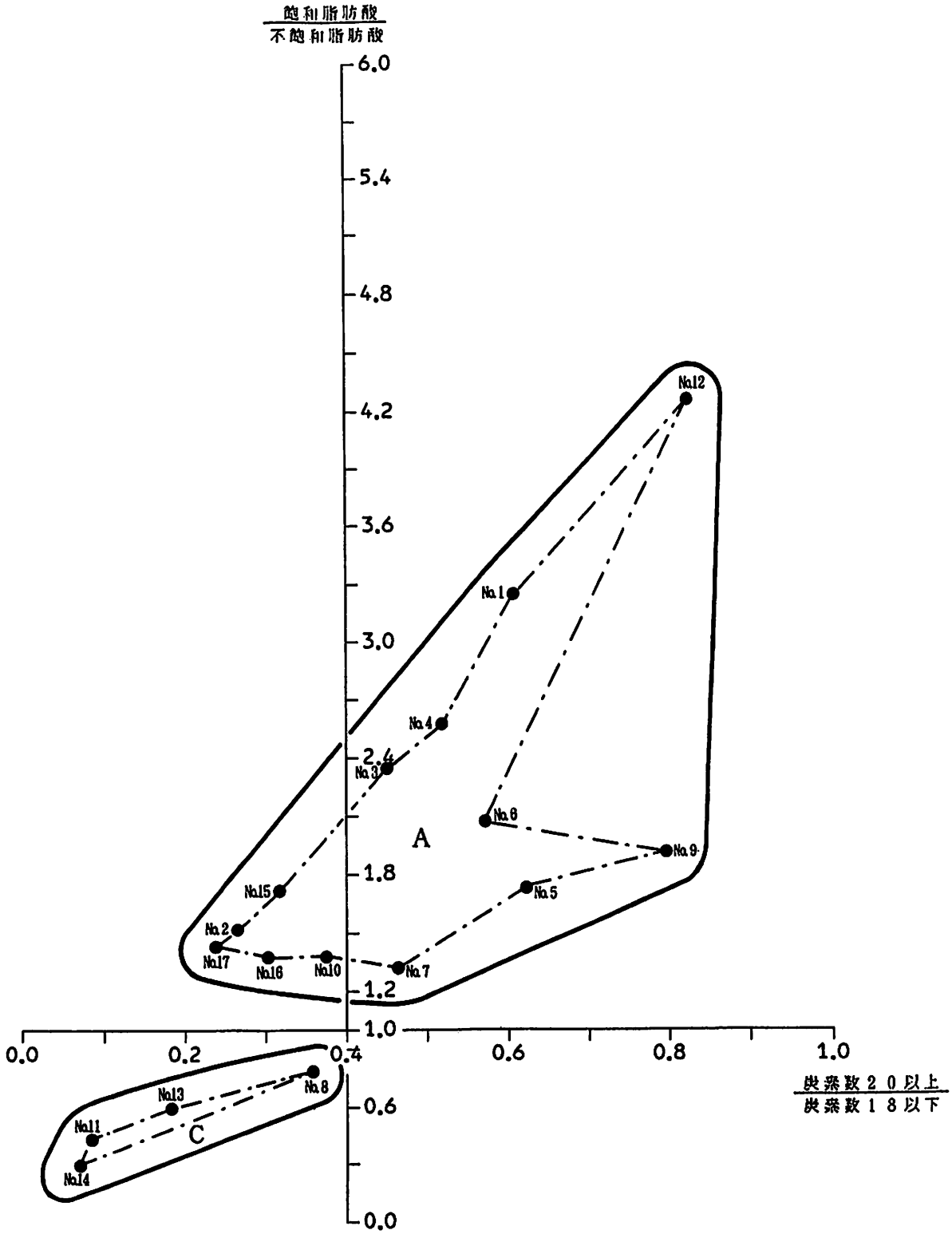


図５　試料中に残存する脂肪の脂肪酸組成による種特異性相関

8　キウス4遺跡の完新世テフラについて

㈶北海道埋蔵文化財センター 資料調査課　花　岡　正　光

キウス4遺跡で認められた完新世テフラについて記載し、既知のテフラとの対比を行なった。また、一部の土壌層について成因を考えた。乾陸上のフラスコ状ピットLP－3と泥炭堆積地区のグリッドW－44で地質柱状図を作成し、採取したテフラ、土壌について検鏡した。また、テフラ、土壌の鉱物化学組成を分析した。

テフラ試料は、水洗、乾燥、篩い分け後、粒径1/8-1/16㎜について、偏光顕微鏡で検鏡し鉱物組成を半定量的に表現した。鉱物化学組成の分析は、ジオサイエンス株式会社に依頼した。

1．テフラ・土壌の特徴

地質柱状図を図1、鉱物組成を表1、鉱物化学組成を表2～12と図2～12に示す。本遺跡で鍵層として発達の良いテフラは、樽前山起源のTa-cの降下岩片（北海道火山灰命名委員会（1979）のTa-c_2、曽屋・佐藤（1980）のTa-c_1）である。このテフラは暗灰褐色の岩片を主体とし、千歳地域一帯で肉眼的に容易に追跡することができる。本遺跡では細礫サイズで、乾陸上でも泥炭堆積地区でも、層厚5～6㎝の連続性の良い地層として堆積している。

現表土直下には樽前山起源の降下軽石Ta-a（A.D.1739）が堆積しているが、耕作により撹乱されているのでここでは取り上げない。

a．フラスコ状ピットLP－3：ピットの覆土中にTa-c岩片（試料K4-3）が堆積している。このTa-cの直下の腐植土中には、岩片を多く含む層準がある（試料K4-4）。この岩片はTa-cより粒径がやや小さい。試料K4-5以下の腐植土中には恵庭岳起源の降下軽石En-aの二次堆積物が含まれる。Ta-cの上位は腐植土に漸移する。この腐植土中にも岩片が含まれる（試料K4-1・K4-2）。

Ta-c（試料K4-3）は一次堆積物で、遊離結晶として斜長石、斜方輝石、単斜輝石、不透明鉱物を多く含んでいる。結晶粒は半自形～自形が多い。鉱物化学組成では、MgO/FeO（斜方輝石。以下同じ）が1.7－2.8に分布し値の幅が大きいが、1.8－1.9と2.7付近に弱い集中があるようにみえる。

Ta-cの上位の腐植土（試料K4-1・K4-2）では、鉱物組成はほぼ同じでTa-cともよく似ている。結晶粒は、K4-1が半自形、K4-2が破片～半自形のものが多い。MgO/FeOのばらつきがやや大きいが、両試料とも1.8－1.9付近に比較的集中している。

Ta-c直下の試料K4-4では、不透明鉱物が少ないほかはTa-cの鉱物組成と似ている。結晶粒は半自形が多い。MgO/FeOは1.6－2.8にある。試料K4-5では、K4-1～K4-4と比較して、角閃石が多い。結晶粒は破片状が多い。MgO/FeOは1.8－2.8で、1.9付近と2.3付近に弱い集中があるようにみえる。

b．グリッドW－44：この地区は泥炭層中に数枚のテフラが介在している。この地区でもTa-c（試料K4-11）が明瞭に認められる。LP－3と異なり、ここではTa-cの直上に白色の軽石質のテフラ（試料K4-8～K4-10）が堆積している。このテフラは不明瞭ながら成層しているようにみえる。これらの上方3㎝に砂～細礫サイズの灰色の降下軽石（試料K4-7）が層厚0.5㎝で堆積している。さらにこの上方90㎝に、シルトサイズの白色の降下テフラ（試料K4-6）が斑状に堆積している。LP－3ではTa-cの直下に岩片を多く含む腐植土があったが、この地区ではそのような土壌層はみられ

表1　テフラ・土壌の鉱物組成

(粒径1/8-1/16mm)

試料名	石英	アルカリ長石	斜長石	角閃石	斜方輝石	単斜輝石	火山ガラス	不透明鉱物	岩片	軽石	プラントオパール
K4-1			○		○	○	tr	○	+		
K4-2			○		○	○	tr	○	○		
K4-3			○	tr	○	○		○	+		
K4-4			○	tr	○	○	tr	+	+	tr	
K4-5	tr		○	+	○	○	tr	+	tr	tr	tr
K4-6		tr					●F,Bw>P				
K4-7	tr		○		○	+	+	+		+	
K4-8			○		○	+	tr	+	+	○	
K4-9			○	tr	○	+	+	+	tr	○	
K4-10			○	tr	+	tr	+	+	tr	○	
K4-11	tr		○		+	+	tr	+	○		

●：頗る多い　○：多い　＋：少ない　tr：僅量　Bw：バブルウォール型ガラス　F：繊維状ガラス　P：平板状ガラス

ない。また、LP－3では試料K4-7に対比されるような軽石はみられない。

試料K4-6はほとんど全て火山ガラスから成り、アルカリ長石を僅量含んでいる。火山ガラスの形態は、繊維状、バブルウォール型が多く、平板状も認められる。火山ガラスの化学組成ではK_2Oが多い。

試料K4-7は主に斜長石と斜方輝石から成る。結晶粒は破片～半自形のものが多い。MgO/FeOはほぼ1.8－2.0で良い集中を示す。

試料K4-8・K4-9は主に斜長石、斜方輝石から成り、軽石も多い。結晶粒は、K4-8は半自形、K4-9は半自形～自形が多い。両試料とも、MgO/FeOは1.8－2.0に弱い集中があるが、ばらつきが大きい。

試料K4-10はK4-8・K4-9とよく似た鉱物組成だが、斜方輝石が比較的少ない。結晶粒は半自形が多い。MgO/FeOは1.8－2.0に比較的強い集中があり、2.6付近に弱い集中があるようにみえる。

試料K4-11は主に斜長石から成り、岩片も多い。LP－3のTa-cと比較して、重鉱物量が少ない。MgO/FeOは1.8－2.9で、2.7付近に弱い集中があるようにみえる。

2．テフラの対比、土壌物質の起源

a．試料K4-3とK4-11は前述のようにTa-cに対比される。本遺跡ではTa-cの上下から縄文時代晩期の遺物が出土する。Ta-cは北海道における縄文時代晩期の指標層として重要である。K4-11の直下の泥炭と、K4-7とK4-8の間の泥炭から、それぞれ2930±50yB.P.、2550±50yB.P.が得られている（Ⅶ－1）。

b．試料K4-6はガラス質で、アルカリ長石を含む特異なテフラである。またK_2Oが多い。このような特徴を有するテフラは白頭山起源のB-Tm（白頭山－苫小牧火山灰。10世紀。町田ほか、1992）である。北海道では擦文時代の指標テフラとして重要である。

c．試料K4-7のテフラは、キウス5遺跡（北海道埋蔵文化財センター、1997）やユカンボシE9遺跡（鈴木・上屋、1996）の泥炭地で確認されている。鈴木・上屋（1996）はこれを樽前山起源の降下軽石Ta-c_1（北海道火山灰命名委員会（1979）の名称）に対比し、従来Ta-c_1とTa-c_2は休止期

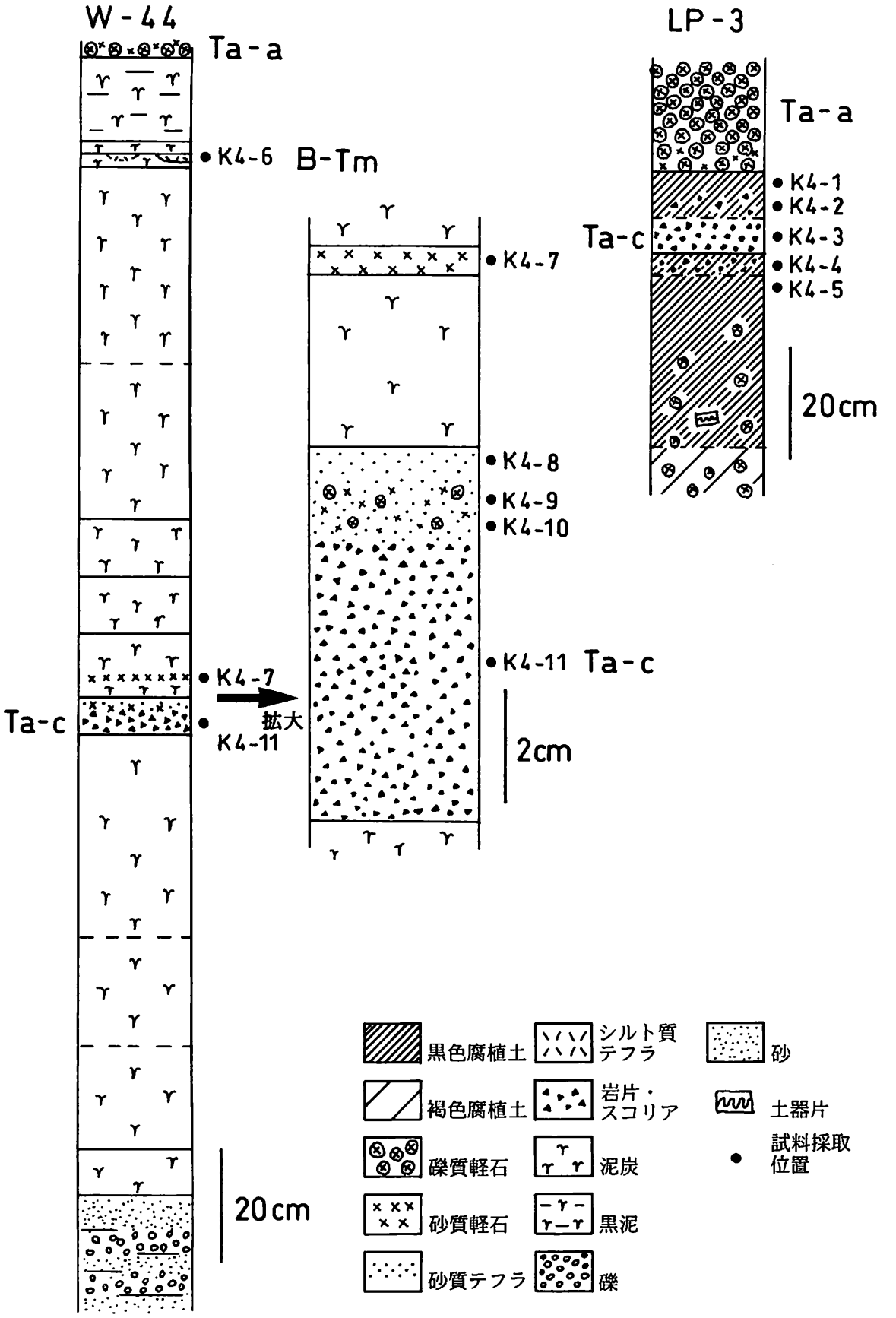


図1　グリッドW－44とフラスコ状ピットLP－3におけるテフラ層序

間を挟まない一連の噴出物とされてきたことに対して、降下岩片 Ta-c$_2$（北海道火山灰命名委員会（1979）の名称）との間には約30年間の噴火の休止期があるとした。

しかし、本遺跡では Ta-c（試料 K4-11）の岩片層の直上に軽石層（試料 K4-8～K4-10）が堆積しており、これが Ta-c の降下軽石に対比される可能性がある。対比のためには、模式地での Ta-c 軽石層の各フォールユニットとの比較がさらに必要である。

d．LP－3における Ta-c 直下の岩片を多く含む土壌（試料 K4-4）は、当初、テフラを母材とする腐植土の可能性を考えたが、鉱物化学組成のばらつきが多く、また、通常、テフラの保存が良いと考えられる泥炭層中にこの土壌に相当する堆積物がないことで、少なくとも一次堆積のテフラではないであろう。

e．試料 K4-1・K4-2は MgO/FeO のばらつきはあるものの、比較的1.8－1.9に集中が多い。これは直下の Ta-c に由来する物質を主体としながら他起源の粒子を取り込んで腐植土が形成されたことを示していると考えられる。

文献

鈴木正章・上屋真一（1996）：北海道恵庭市ユカンボシＥ９遺跡における完新世後期のテフラ層．「第四紀露頭集―日本のテフラ」；日本第四紀学会，p.125．

曽屋龍典・佐藤博之（1980）：千歳地域の地質．地域地質研究報告（５万分の１図幅），地質調査所，92p．

北海道火山灰命名委員会（1979）「北海道の火山灰分布図」．

北海道埋蔵文化財センター（1997）：「千歳市キウス５遺跡(3)」．623p．

町田　洋・新井房夫（1992）：「火山灰アトラス」．東京大学出版会，276p．

表２　試料 K4-1の斜方輝石の化学組成

EPMA分析結果一覧表

試料名：K4-1　　分析鉱物：斜方輝石；分子式：(Mg,Fe)SiO3；少量Ca, Al, Mn含有．　分析点数：15～20

元素 / 分析点番号	SiO2 wt.%	TiO2 wt.%	Al2O3 wt.%	FeO wt.%	MnO wt.%	MgO wt.%	CaO wt.%	Na2O wt.%	K2O wt.%	Cr2O3 wt.%	NiO wt.%	Total wt.%	MgO/FeO (mol/mol)	(MgO+FeO)/SiO2 (mol/mol)
1	51.16	0.00	0.97	20.52	0.67	24.41	1.44	0.34	0.04	0.03	0.22	99.80	2.12	1.05
2	50.77	0.17	0.81	22.15	0.94	22.73	1.21	0.00	0.00	0.00	0.00	98.78	1.83	1.03
3	51.16	0.17	0.68	22.98	0.94	23.05	1.16	0.00	0.03	0.00	0.00	100.17	1.79	1.05
4	50.39	0.23	1.02	19.84	1.05	25.12	1.52	0.15	0.11	0.02	0.00	99.45	2.26	1.07
5	50.76	0.19	1.91	20.67	0.58	25.54	1.34	0.06	0.05	0.01	0.04	101.15	2.20	1.09
6	50.46	0.09	0.61	22.40	0.93	23.32	1.28	0.11	0.00	0.07	0.01	99.28	1.86	1.06
7	51.30	0.00	0.65	22.05	0.83	23.34	1.15	0.09	0.07	0.18	0.00	99.66	1.89	1.04
8	50.83	0.00	0.80	22.29	0.72	23.66	1.14	0.09	0.00	0.11	0.20	99.84	1.89	1.06
9	50.75	0.21	0.85	23.30	0.72	23.03	1.26	0.00	0.01	0.06	0.00	100.19	1.76	1.06
10	50.80	0.24	1.37	20.28	0.71	25.39	1.57	0.32	0.01	0.01	0.03	100.73	2.23	1.08
11	50.00	0.11	0.96	22.08	0.80	22.70	2.39	0.19	0.08	0.00	0.00	99.31	1.83	1.05
12	50.36	0.29	0.55	22.62	0.82	23.28	1.19	0.10	0.00	0.13	0.00	99.34	1.83	1.06
13	51.47	0.18	0.95	21.33	0.81	24.51	1.42	0.13	0.00	0.02	0.00	100.82	2.05	1.06
14	50.93	0.10	1.15	18.98	0.48	25.84	1.73	0.00	0.08	0.00	0.00	99.29	2.43	1.07
15	51.15	0.00	0.63	23.03	0.93	23.31	1.16	0.00	0.00	0.00	0.04	100.25	1.80	1.06
16	50.89	0.17	0.50	21.26	0.82	24.38	1.39	0.00	0.00	0.00	0.00	99.41	2.04	1.06
17	51.27	0.15	0.59	23.01	0.77	23.31	1.13	0.16	0.00	0.00	0.00	100.39	1.81	1.05
18	50.29	0.29	0.63	22.91	0.92	23.04	1.26	0.00	0.00	0.02	0.00	99.36	1.79	1.06
19	50.75	0.00	0.62	22.02	0.82	23.43	1.20	0.23	0.00	0.00	0.00	99.07	1.90	1.05
20	50.99	0.24	1.72	17.39	0.71	27.60	1.48	0.00	0.12	0.10	0.00	100.35	2.83	1.09
平均値	50.82	0.14	0.90	21.56	0.80	24.05	1.37	0.10	0.03	0.04	0.03	99.83	**2.01**	**1.06**
標準偏差	0.38	0.10	0.39	1.54	0.14	1.28	0.29	0.11	0.04	0.05	0.06	0.64	**0.27**	**0.02**

Total Fe as FeO; Fe2O3=1.1113FeO.

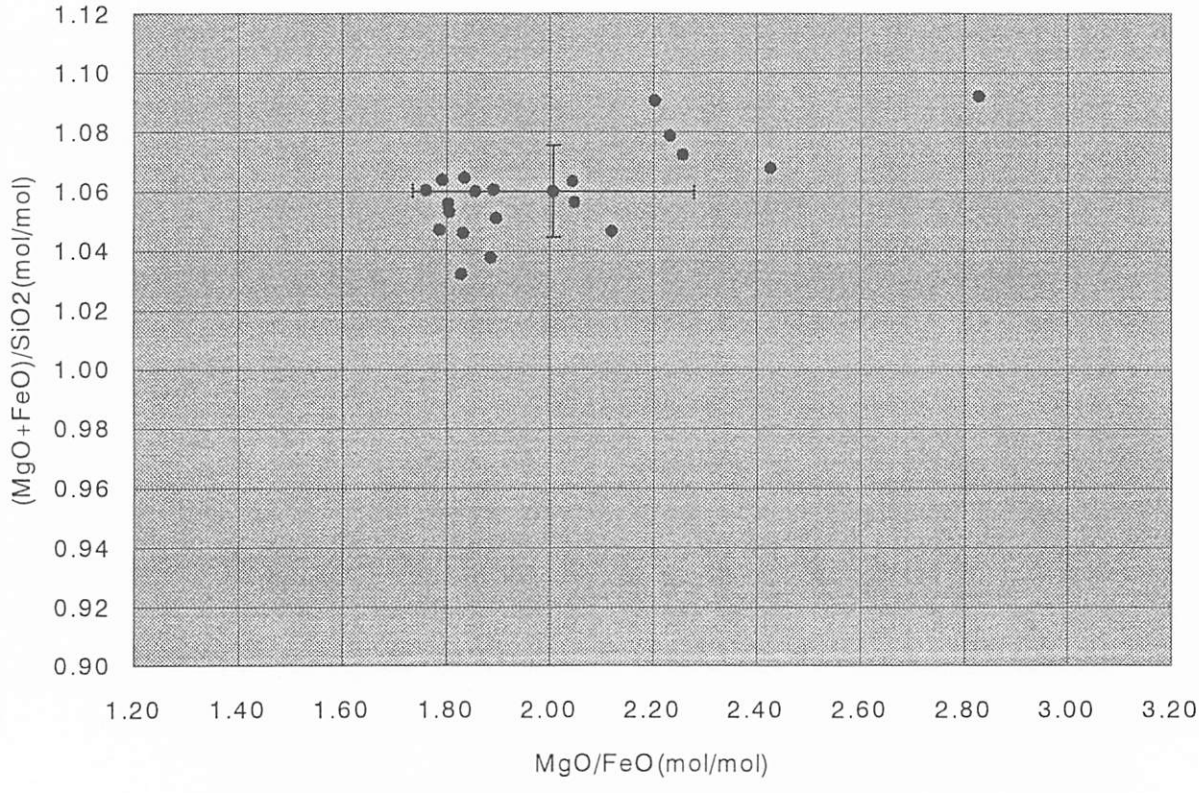


図２　試料 K4-1の斜方輝石の化学組成分布

表３　試料 K4-2の斜方輝石の化学組成

EPMA分析結果一覧表

試料名：K4-2　　分析鉱物：斜方輝石；分子式：(Mg,Fe)SiO3；少量Ca, Al, Mn含有.　分析点数：15～20

元素 / 分析点番号	SiO2 wt.%	TiO2 wt.%	Al2O3 wt.%	FeO wt.%	MnO wt.%	MgO wt.%	CaO wt.%	Na2O wt.%	K2O wt.%	Cr2O3 wt.%	NiO wt.%	Total wt.%	MgO/FeO (mol/mol)	(MgO+FeO)/SiO2 (mol/mol)
1	52.13	0.15	0.67	21.29	0.80	23.21	1.20	0.10	0.01	0.28	0.00	99.84	1.94	1.01
2	51.90	0.06	0.69	22.70	0.87	22.21	1.13	0.00	0.00	0.06	0.03	99.65	1.74	1.00
3	52.35	0.18	0.44	21.81	1.04	23.52	1.22	0.33	0.00	0.00	0.19	101.08	1.92	1.02
4	51.94	0.20	0.62	22.18	1.02	23.36	1.30	0.22	0.00	0.09	0.09	101.02	1.88	1.03
5	52.20	0.00	1.28	21.92	0.87	21.26	1.36	0.28	0.17	0.14	0.04	99.52	1.73	0.96
6	51.33	0.18	0.68	22.85	0.99	23.32	1.15	0.14	0.01	0.00	0.11	100.76	1.82	1.05
7	52.30	0.12	0.68	22.76	0.90	22.90	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	100.91	1.79	1.02
8	51.34	0.15	0.79	20.95	0.88	24.10	1.38	0.00	0.00	0.00	0.00	99.59	2.05	1.04
9	51.81	0.19	1.04	21.02	0.92	24.03	1.32	0.09	0.00	0.00	0.21	100.63	2.04	1.03
10	51.77	0.22	0.68	21.88	0.81	22.49	1.13	0.30	0.05	0.11	0.11	99.55	1.83	1.00
11	51.36	0.24	0.66	22.15	0.88	22.63	1.25	0.04	0.00	0.00	0.23	99.44	1.82	1.02
12	51.38	0.12	1.44	19.71	0.87	25.28	1.36	0.32	0.00	0.00	0.14	100.62	2.29	1.05
13	52.12	0.15	0.78	21.66	1.13	23.21	1.41	0.11	0.09	0.10	0.17	100.93	1.91	1.01
14	52.23	0.09	0.93	18.74	0.54	25.29	1.32	0.02	0.04	0.00	0.00	99.20	2.41	1.02
15	51.63	0.36	1.45	19.00	0.79	24.37	1.68	0.00	0.07	0.03	0.31	99.69	2.29	1.01
16	51.31	0.17	0.47	23.31	0.77	22.90	1.14	0.39	0.00	0.00	0.02	100.48	1.75	1.05
17	51.39	0.20	0.54	21.88	0.87	23.02	1.08	0.28	0.08	0.13	0.08	99.55	1.88	1.02
18	51.59	0.10	0.78	22.23	1.07	23.07	1.34	0.15	0.05	0.07	0.05	100.50	1.85	1.03
19	51.37	0.34	0.82	22.21	0.80	23.32	1.34	0.00	0.00	0.00	0.11	100.31	1.87	1.04
20	51.41	0.12	1.26	21.94	0.92	21.59	1.78	0.31	0.06	0.12	0.13	99.64	1.75	0.98
平均値	51.74	0.17	0.84	21.61	0.89	23.25	1.31	0.15	0.03	0.06	0.10	100.15	**1.93**	**1.02**
標準偏差	0.38	0.08	0.30	1.22	0.13	1.03	0.17	0.14	0.05	0.07	0.09	0.63	**0.19**	**0.02**

Total Fe as FeO; Fe2O3=1.1113FeO.

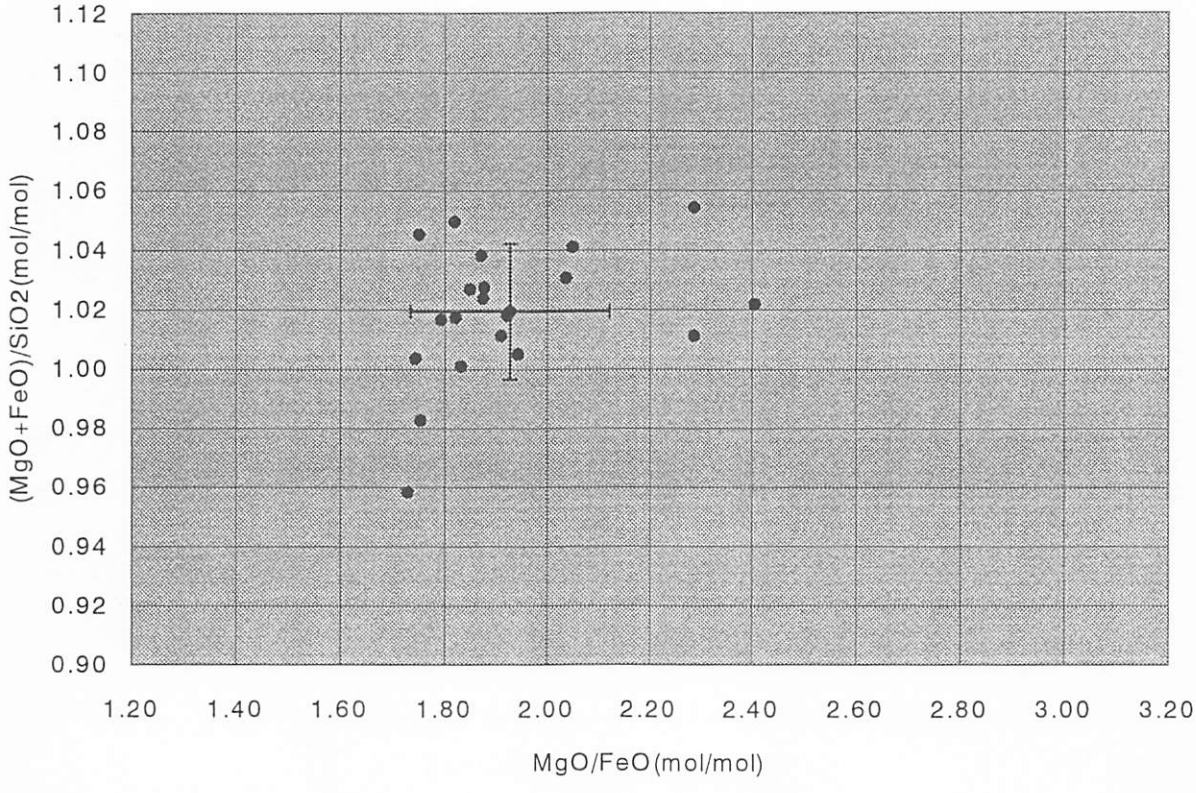


図３　試料 K4-2の斜方輝石の化学組成分布

表4　試料K4-3の斜方輝石の化学組成

EPMA分析結果一覧表

試料名：K4-3　　分析鉱物：斜方輝石；分子式：(Mg,Fe)SiO3；少量Ca, Al, Mn含有.　分析点数：15～20

元素 / 分析点番号	SiO2 wt.%	TiO2 wt.%	Al2O3 wt.%	FeO wt.%	MnO wt.%	MgO wt.%	CaO wt.%	Na2O wt.%	K2O wt.%	Cr2O3 wt.%	NiO wt.%	Total wt.%	MgO/FeO (mol/mol)	(MgO+FeO)/SiO2 (mol/mol)
1	50.89	0.03	0.68	21.93	0.86	23.29	1.18	0.25	0.05	0.03	0.00	99.19	1.89	1.04
2	52.60	0.03	1.03	17.52	0.54	26.41	1.49	0.18	0.12	0.15	0.17	100.24	2.69	1.03
3	51.53	0.27	0.79	22.31	1.07	23.05	1.29	0.14	0.02	0.00	0.00	100.47	1.84	1.03
4	51.37	0.12	2.40	17.21	0.42	26.65	1.41	0.00	0.02	0.00	0.30	99.90	2.76	1.05
5	51.57	0.26	0.59	21.76	0.91	23.19	1.19	0.07	0.00	0.32	0.08	99.94	1.90	1.02
6	53.17	0.14	0.91	15.54	0.30	28.36	1.60	0.42	0.00	0.22	0.00	100.66	3.25	1.04
7	51.93	0.11	0.64	22.18	1.05	23.34	1.44	0.09	0.04	0.00	0.00	100.82	1.88	1.03
8	52.55	0.13	0.48	22.85	0.94	22.23	1.20	0.07	0.00	0.00	0.00	100.45	1.73	0.99
9	51.73	0.02	0.92	21.11	0.43	23.85	1.49	0.11	0.10	0.00	0.08	99.84	2.01	1.03
10	53.16	0.05	2.42	17.06	0.36	24.13	1.91	0.35	0.18	0.18	0.00	99.80	2.52	0.94
11	52.30	0.07	0.66	17.98	0.52	26.85	1.32	0.31	0.00	0.00	0.06	100.07	2.66	1.05
12	51.20	0.10	0.55	22.83	1.07	22.50	1.10	0.28	0.03	0.13	0.00	99.79	1.76	1.03
13	50.85	0.12	0.81	23.30	0.61	22.40	1.29	0.07	0.00	0.00	0.00	99.45	1.71	1.04
14	51.84	0.27	1.61	18.69	0.57	25.94	1.72	0.12	0.00	0.00	0.28	101.04	2.47	1.05
15	51.84	0.05	1.43	17.63	0.72	26.41	1.42	0.20	0.00	0.00	0.05	99.75	2.67	1.04
16	51.91	0.25	1.28	18.34	0.64	25.68	1.61	0.00	0.00	0.13	0.00	99.84	2.50	1.03
17	51.22	0.12	0.73	21.78	1.01	22.58	1.27	0.18	0.06	0.05	0.33	99.33	1.85	1.01
18	51.36	0.12	1.53	20.07	0.44	24.18	1.64	0.06	0.02	0.00	0.00	99.42	2.15	1.03
19	50.48	0.20	2.64	17.63	0.53	26.17	1.52	0.00	0.00	0.05	0.00	99.22	2.65	1.06
20	51.58	0.11	0.50	21.63	0.76	23.14	1.22	0.13	0.00	0.17	0.00	99.24	1.91	1.02
平均値	51.75	0.13	1.13	19.97	0.69	24.52	1.42	0.15	0.03	0.07	0.07	99.92	**2.24**	**1.03**
標準偏差	0.72	0.08	0.67	2.44	0.25	1.85	0.21	0.12	0.05	0.10	0.11	0.55	**0.45**	**0.03**

Total Fe as FeO; Fe2O3=1.1113FeO.

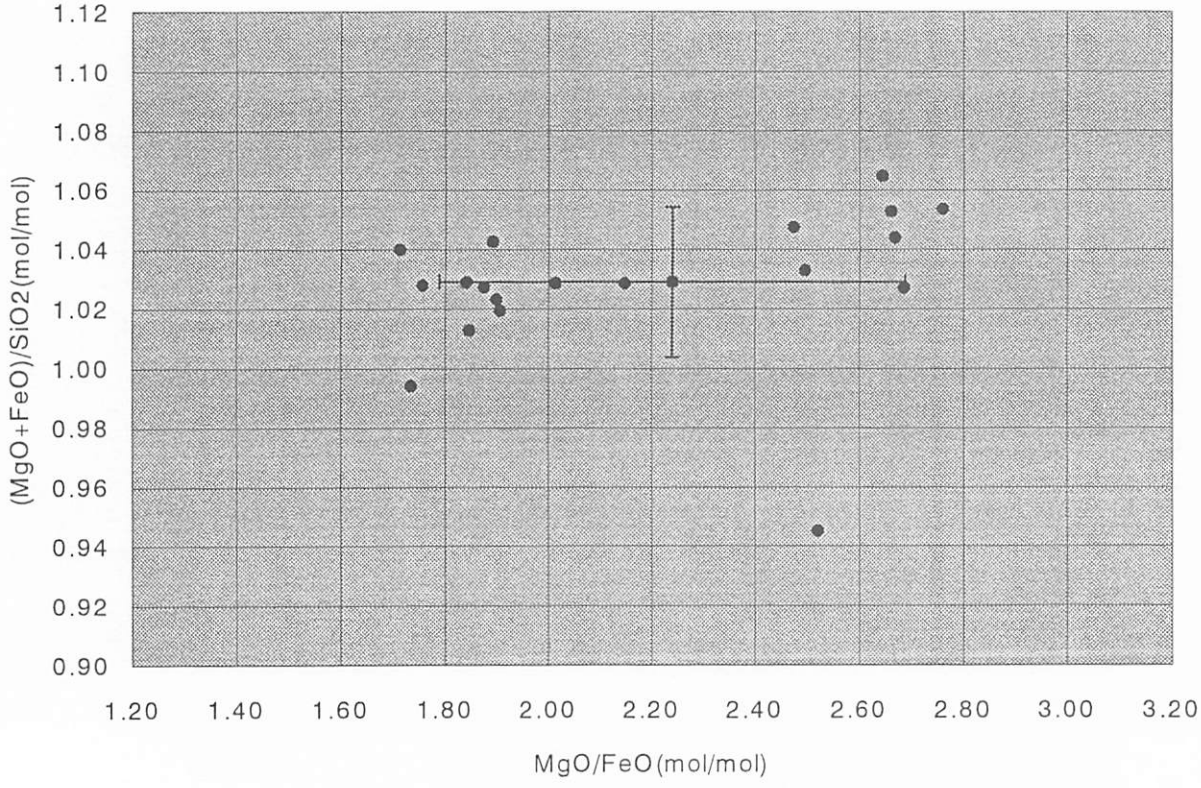


図4　試料K4-3の斜方輝石の化学組成分布

表５　試料 K4-4の斜方輝石の化学組成

EPMA分析結果一覧表

試料名：K4-4　　分析鉱物：斜方輝石；分子式：(Mg,Fe)SiO3；少量Ca, Al, Mn含有.　分析点数：15～20

元素 / 分析点番号	SiO2 wt.%	TiO2 wt.%	Al2O3 wt.%	FeO wt.%	MnO wt.%	MgO wt.%	CaO wt.%	Na2O wt.%	K2O wt.%	Cr2O3 wt.%	NiO wt.%	Total wt.%	MgO/FeO (mol/mol)	(MgO+FeO)/SiO2 (mol/mol)
1	51.26	0.21	1.00	23.39	1.15	21.62	1.44	0.08	0.06	0.01	0.00	100.22	1.65	1.01
2	51.71	0.04	0.77	21.16	0.83	24.63	1.39	0.30	0.00	0.19	0.09	101.11	2.07	1.05
3	51.30	0.20	1.89	17.40	0.54	26.67	1.93	0.15	0.02	0.03	0.02	100.15	2.73	1.06
4	51.94	0.26	1.19	18.59	0.35	26.61	1.42	0.00	0.02	0.00	0.00	100.38	2.55	1.06
5	51.16	0.28	0.93	22.37	0.83	22.76	1.25	0.00	0.11	0.05	0.00	99.74	1.81	1.03
6	52.05	0.29	0.93	20.13	0.49	24.02	1.24	0.02	0.00	0.08	0.10	99.35	2.13	1.01
7	50.89	0.20	1.00	23.24	0.81	22.40	1.30	0.00	0.00	0.20	0.00	100.04	1.72	1.04
8	50.34	0.13	1.28	23.26	1.24	22.12	1.48	0.25	0.02	0.00	0.11	100.23	1.69	1.04
9	51.27	0.27	1.72	19.39	0.52	24.41	1.87	0.02	0.00	0.00	0.09	99.56	2.24	1.03
10	50.99	0.29	0.72	23.09	0.85	22.06	1.34	0.14	0.04	0.00	0.00	99.52	1.70	1.02
11	51.54	0.04	1.24	21.00	0.48	24.15	1.56	0.16	0.00	0.15	0.00	100.32	2.05	1.04
12	52.21	0.14	1.39	17.91	0.45	26.01	1.58	0.24	0.00	0.18	0.00	100.11	2.59	1.03
13	51.53	0.13	0.85	22.00	0.80	23.79	1.34	0.09	0.03	0.14	0.10	100.80	1.93	1.05
14	50.99	0.24	0.71	20.81	0.82	23.45	1.54	0.00	0.02	0.62	0.00	99.20	2.01	1.03
15	51.66	0.08	0.97	19.17	0.54	25.50	1.33	0.00	0.00	0.00	0.13	99.38	2.37	1.05
16	51.03	0.14	1.43	21.90	0.67	23.53	1.27	0.14	0.00	0.04	0.00	100.15	1.91	1.05
17	52.38	0.08	1.13	19.13	0.47	26.06	1.43	0.10	0.00	0.03	0.09	100.90	2.43	1.05
18	51.92	0.06	0.32	22.15	1.24	22.96	0.91	0.01	0.00	0.01	0.00	99.58	1.85	1.02
19	52.35	0.08	1.61	17.85	0.67	26.74	1.60	0.00	0.00	0.04	0.00	100.94	2.67	1.05
20	51.08	0.11	1.10	21.76	0.75	23.76	1.45	0.08	0.03	0.03	0.01	100.16	1.95	1.05
平均値	51.48	0.16	1.11	20.79	0.73	24.16	1.43	0.09	0.02	0.09	0.04	100.09	**2.10**	**1.04**
標準偏差	0.54	0.09	0.38	1.96	0.26	1.64	0.22	0.09	0.03	0.14	0.05	0.56	**0.35**	**0.02**

Total Fe as FeO; Fe2O3=1.1113FeO.

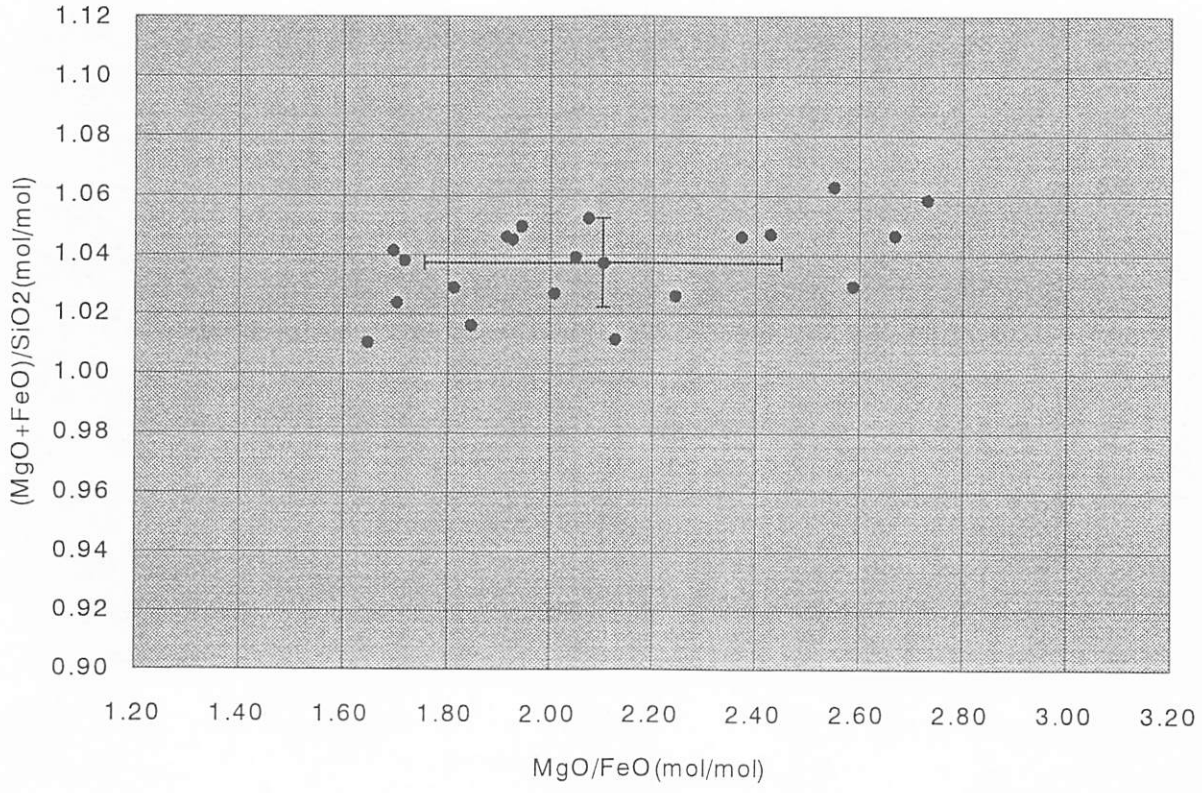


図５　試料 K4-4の斜方輝石の化学組成分布

表 6　試料 K4-5の斜方輝石の化学組成

EPMA分析結果一覧表

試料名：K4-5　　分析鉱物：斜方輝石；分子式：(Mg,Fe)SiO3；少量Ca, Al, Mn含有.　分析点数：15～20

元素 / 分析点番号	SiO2 wt.%	TiO2 wt.%	Al2O3 wt.%	FeO wt.%	MnO wt.%	MgO wt.%	CaO wt.%	Na2O wt.%	K2O wt.%	Cr2O3 wt.%	NiO wt.%	Total wt.%	MgO/FeO (mol/mol)	(MgO+FeO)/SiO2 (mol/mol)
1	51.95	0.08	0.70	21.21	1.21	24.43	1.09	0.11	0.03	0.01	0.00	100.82	2.05	1.04
2	51.97	0.29	0.96	20.65	1.00	23.97	1.26	0.01	0.00	0.10	0.00	100.21	2.07	1.02
3	52.75	0.04	0.95	19.68	0.72	24.97	1.37	0.18	0.00	0.00	0.02	100.68	2.26	1.02
4	51.81	0.15	0.74	21.71	0.80	24.01	1.58	0.15	0.02	0.00	0.00	100.97	1.97	1.04
5	51.54	0.14	0.69	21.77	0.84	23.71	1.17	0.09	0.00	0.06	0.00	100.01	1.94	1.04
6	52.28	0.12	0.73	21.67	0.74	23.54	1.41	0.32	0.01	0.11	0.01	100.94	1.94	1.02
7	51.65	0.10	1.11	20.26	0.74	24.24	1.81	0.00	0.00	0.00	0.00	99.91	2.13	1.03
8	51.94	0.35	0.85	19.64	0.64	24.90	1.29	0.34	0.02	0.18	0.00	100.15	2.26	1.03
9	52.56	0.00	1.09	19.28	0.72	25.40	1.64	0.00	0.03	0.00	0.00	100.72	2.35	1.03
10	52.12	0.06	1.21	17.77	0.49	26.93	1.39	0.20	0.01	0.06	0.00	100.24	2.70	1.06
11	51.94	0.37	1.05	19.48	1.19	24.76	1.77	0.20	0.01	0.08	0.00	100.85	2.27	1.02
12	51.77	0.03	1.24	19.13	0.62	25.53	1.48	0.14	0.00	0.00	0.01	99.95	2.38	1.04
13	52.13	0.20	0.89	19.29	1.43	24.21	1.60	0.10	0.07	0.09	0.03	100.04	2.24	1.00
14	52.55	0.22	0.69	21.42	0.91	23.35	1.19	0.00	0.00	0.03	0.00	100.36	1.94	1.00
15	51.66	0.12	0.90	22.13	0.97	23.25	1.18	0.32	0.07	0.11	0.07	100.78	1.87	1.03
16	51.89	0.31	1.67	18.53	0.69	25.27	1.69	0.00	0.13	0.05	0.00	100.23	2.43	1.02
17	52.31	0.30	1.50	18.26	0.43	25.90	1.58	0.12	0.10	0.20	0.00	100.70	2.53	1.03
18	52.16	0.19	0.90	21.81	0.74	23.50	1.32	0.29	0.00	0.07	0.00	100.98	1.92	1.02
19	51.61	0.36	1.29	17.21	0.63	26.74	1.31	0.23	0.03	0.14	0.01	99.56	2.77	1.05
20	51.53	0.23	1.05	21.45	0.90	23.02	1.31	0.03	0.00	0.00	0.09	99.61	1.91	1.01
平均値	52.01	0.18	1.01	20.12	0.82	24.58	1.42	0.14	0.03	0.06	0.01	100.39	**2.20**	**1.03**
標準偏差	0.35	0.12	0.27	1.50	0.25	1.12	0.21	0.12	0.04	0.06	0.02	0.46	**0.27**	**0.01**

Total Fe as FeO; Fe2O3=1.1113FeO.

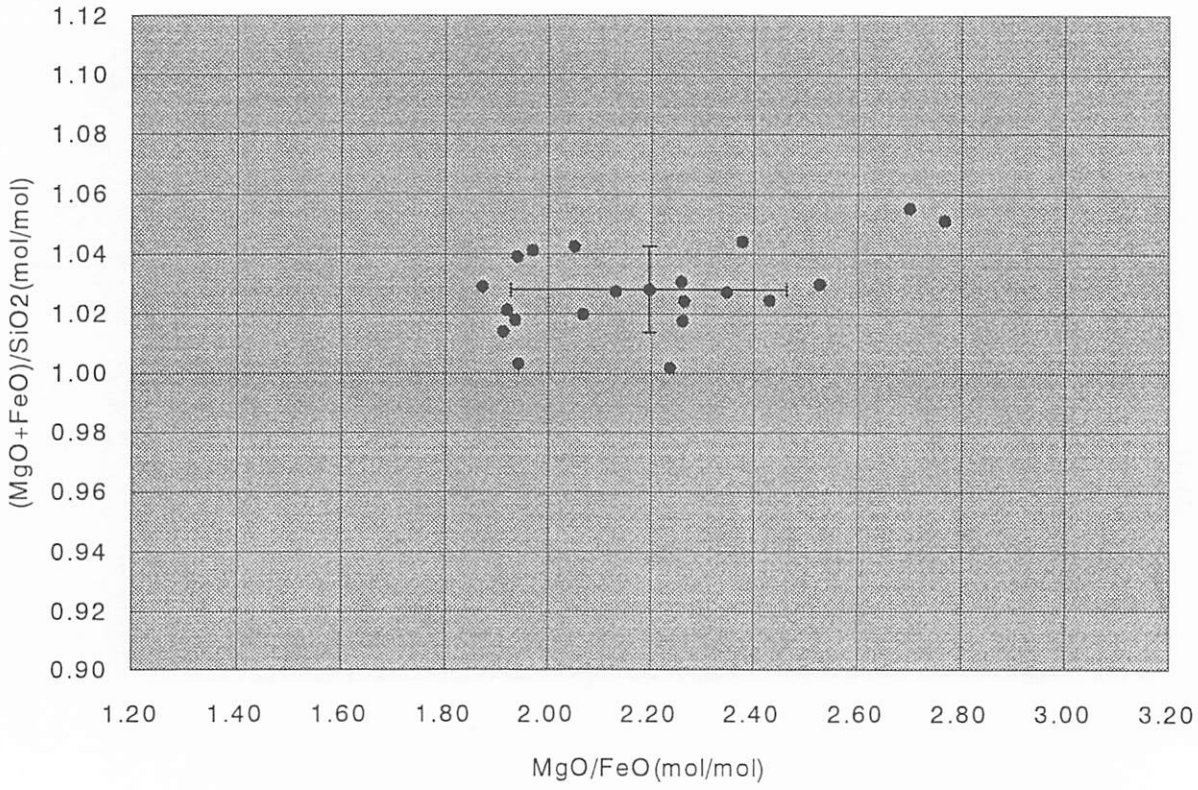


図 6　試料 K4-5の斜方輝石の化学組成分布

表７　試料 K4-6の火山ガラスの化学組成

火山ガラスEPMA分析結果一覧表

試料名：K4-6

分析項目＼分析点番	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	平均値	標準偏差	δ/m
	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	wt.%	%
SiO2	66.00	67.42	70.65	66.63	70.65	73.48	71.62	72.74	66.61	67.95	73.20	72.61	72.74	66.08	66.76	73.50	68.90	71.85	71.56	73.47	70.22	2.84	4.05
TiO2	0.50	0.50	0.09	0.49	0.22	0.24	0.12	0.18	0.31	0.24	0.13	0.28	0.20	0.35	0.33	0.34	0.28	0.29	0.13	0.09	0.27	0.13	48.47
Al2O3	14.53	12.21	10.90	13.97	9.72	9.53	9.75	9.63	13.86	13.02	9.94	9.96	9.86	14.22	13.91	10.06	12.21	9.55	10.45	9.88	11.36	1.89	16.66
FeO	4.81	3.72	3.47	3.96	3.59	3.62	3.45	3.58	4.15	4.00	4.10	3.57	3.71	4.05	4.34	3.91	3.91	3.20	3.53	3.73	3.82	0.36	9.55
MnO	0.21	0.00	0.19	0.18	0.07	0.18	0.19	0.19	0.25	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.26	0.00	0.00	0.18	0.42	0.26	0.13	0.12	90.97
MgO	0.09	0.16	0.28	0.08	0.05	0.08	0.05	0.00	0.06	0.12	0.01	0.00	0.05	0.24	0.15	0.00	0.19	0.00	0.00	0.10	0.09	0.08	96.93
CaO	1.41	0.72	0.49	0.99	0.29	0.42	0.33	0.30	1.05	0.81	0.35	0.42	0.30	1.38	1.24	0.30	0.91	0.24	0.30	0.50	0.64	0.39	61.95
Na2O	3.01	4.56	4.69	2.67	3.49	3.76	4.26	3.96	4.74	3.98	4.01	3.67	4.03	4.77	4.39	3.83	4.22	3.98	3.97	4.02	4.00	0.53	13.34
K2O	5.93	5.39	4.87	5.46	4.61	4.53	4.40	4.68	5.37	5.57	4.70	4.74	4.44	5.62	5.42	4.65	5.18	4.39	4.49	4.44	4.94	0.49	9.97
Cr2O3	0.00	0.17	0.00	0.05	0.13	0.00	0.23	0.00	0.00	0.00	0.16	0.06	0.15	0.19	0.00	0.10	0.13	0.04	0.00	0.00	0.07	0.08	111.83
NiO	0.31	0.07	0.07	0.34	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.05	0.08	0.00	0.23	0.06	0.02	0.05	0.20	0.22	0.00	0.10	0.11	117.74
TOTAL	96.80	94.92	95.70	94.82	92.82	95.84	94.40	95.46	96.40	95.78	96.65	95.39	95.48	97.13	96.86	96.71	95.98	93.92	95.07	96.49	95.63	1.09	1.15
Al2O3/SiO2 %	22.02	18.11	15.43	20.97	13.76	12.97	13.61	13.24	20.81	19.16	13.58	13.72	13.56	21.52	20.84	13.69	17.72	13.29	14.60	13.45	16.30	3.40	20.85
FeO/SiO2 %	7.29	5.52	4.91	5.94	5.08	4.93	4.82	4.92	6.23	5.89	5.60	4.92	5.10	6.13	6.50	5.32	5.67	4.45	4.93	5.08	5.46	0.70	12.79
CaO/SiO2 %	2.14	1.07	0.69	1.49	0.41	0.57	0.46	0.41	1.58	1.19	0.48	0.58	0.41	2.09	1.86	0.41	1.32	0.33	0.42	0.68	0.93	0.61	65.84
Na2O/SiO2 %	4.56	6.76	6.64	4.01	4.94	5.12	5.95	5.44	7.12	5.86	5.48	5.05	5.54	7.22	6.58	5.21	6.12	5.54	5.55	5.47	5.71	0.84	14.68
K2O/SiO2 %	8.98	7.99	6.89	8.19	6.53	6.16	6.14	6.43	8.06	8.20	6.42	6.53	6.10	8.50	8.12	6.33	7.52	6.11	6.27	6.04	7.08	0.99	13.99
(K2O+Na2O)/SiO2 %	13.55	14.76	13.53	12.20	11.46	11.28	12.09	11.88	15.18	14.05	11.90	11.58	11.64	15.72	14.69	11.54	13.64	11.65	11.82	11.51	12.78	1.45	11.34
(FeO+CaO)/SiO2 %	9.42	6.59	5.61	7.43	5.49	5.50	5.28	5.33	7.81	7.08	6.08	5.50	5.51	8.22	8.36	5.73	7.00	4.79	5.35	5.76	6.39	1.28	20.02

注*　δ/m：標準偏差/平均値

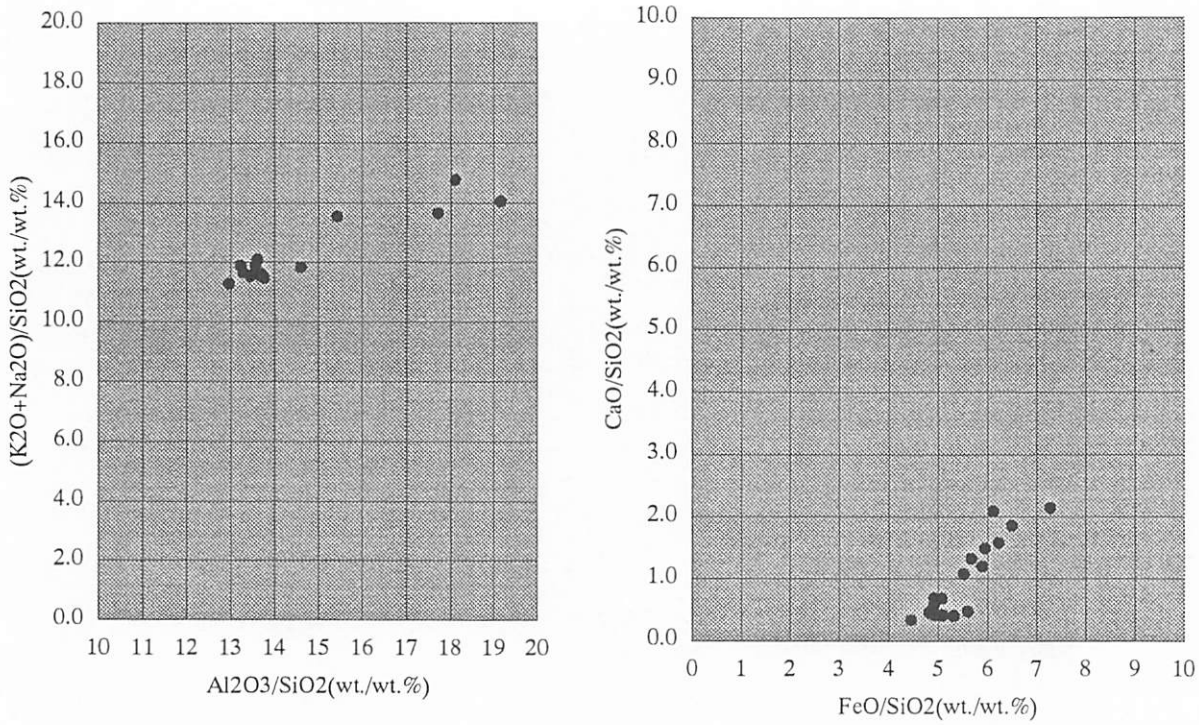


図７　試料 K4-2の火山ガラスの化学組成分布

表8　試料K4-7の斜方輝石の化学組成

EPMA分析結果一覧表

試料名：K4-7　　分析鉱物：斜方輝石；分子式：(Mg,Fe)SiO3；少量Ca, Al, Mn含有.　分析点数：15～20

元素 / 分析点番号	SiO2 wt.%	TiO2 wt.%	Al2O3 wt.%	FeO wt.%	MnO wt.%	MgO wt.%	CaO wt.%	Na2O wt.%	K2O wt.%	Cr2O3 wt.%	NiO wt.%	Total wt.%	MgO/FeO (mol/mol)	(MgO+FeO)/SiO2 (mol/mol)
1	51.91	0.13	0.69	21.22	1.14	23.13	1.15	0.10	0.00	0.02	0.00	99.49	1.94	1.01
2	51.34	0.07	0.64	22.14	0.88	22.80	1.23	0.14	0.04	0.09	0.13	99.50	1.84	1.02
3	51.40	0.09	0.96	21.89	0.88	22.96	1.25	0.20	0.00	0.00	0.09	99.72	1.87	1.02
4	52.30	0.03	0.62	22.25	0.76	23.62	1.05	0.06	0.02	0.01	0.10	100.82	1.89	1.03
5	51.56	0.18	0.70	22.72	0.80	22.68	1.15	0.12	0.09	0.19	0.00	100.19	1.78	1.02
6	51.68	0.10	0.90	21.30	0.77	22.93	1.32	0.18	0.00	0.19	0.00	99.37	1.92	1.01
7	52.00	0.07	0.77	22.22	0.92	23.16	1.16	0.12	0.13	0.15	0.00	100.70	1.86	1.02
8	51.53	0.29	0.69	21.58	1.13	23.12	1.24	0.27	0.00	0.06	0.00	99.91	1.91	1.02
9	52.49	0.19	0.59	22.17	0.93	23.22	1.12	0.12	0.00	0.00	0.06	100.89	1.87	1.01
10	51.47	0.27	0.86	23.35	1.00	22.78	1.19	0.00	0.07	0.00	0.00	100.99	1.74	1.04
11	51.77	0.06	0.77	21.56	0.83	23.16	1.36	0.18	0.00	0.03	0.00	99.72	1.91	1.02
12	47.27	0.73	0.93	26.72	0.80	21.86	1.09	0.02	0.00	0.08	0.12	99.62	1.46	1.16
13	51.79	0.08	0.62	22.90	1.02	22.84	1.23	0.42	0.00	0.00	0.01	100.91	1.78	1.03
14	51.28	0.11	0.65	22.56	0.86	23.77	1.13	0.00	0.00	0.05	0.01	100.42	1.88	1.06
15	51.85	0.00	0.94	21.84	1.05	23.21	1.23	0.12	0.04	0.04	0.00	100.32	1.89	1.02
16	51.82	0.00	0.57	22.93	0.84	22.86	1.13	0.02	0.05	0.00	0.05	100.27	1.78	1.03
17	51.93	0.16	0.54	21.32	0.63	23.74	1.22	0.00	0.00	0.00	0.00	99.54	1.98	1.02
18	51.57	0.06	0.83	22.53	0.91	22.96	1.10	0.22	0.00	0.00	0.00	100.18	1.82	1.03
19	52.04	0.27	0.73	22.02	0.95	22.92	1.36	0.11	0.00	0.00	0.18	100.58	1.86	1.01
20	51.85	0.12	0.71	22.01	0.95	23.24	1.24	0.11	0.00	0.08	0.00	100.31	1.88	1.02
平均値	51.54	0.15	0.74	22.36	0.90	23.05	1.20	0.13	0.02	0.05	0.04	100.17	**1.84**	**1.03**
標準偏差	1.05	0.16	0.13	1.18	0.13	0.41	0.09	0.10	0.04	0.06	0.06	0.54	**0.11**	**0.03**

Total Fe as FeO; Fe2O3=1.1113FeO.

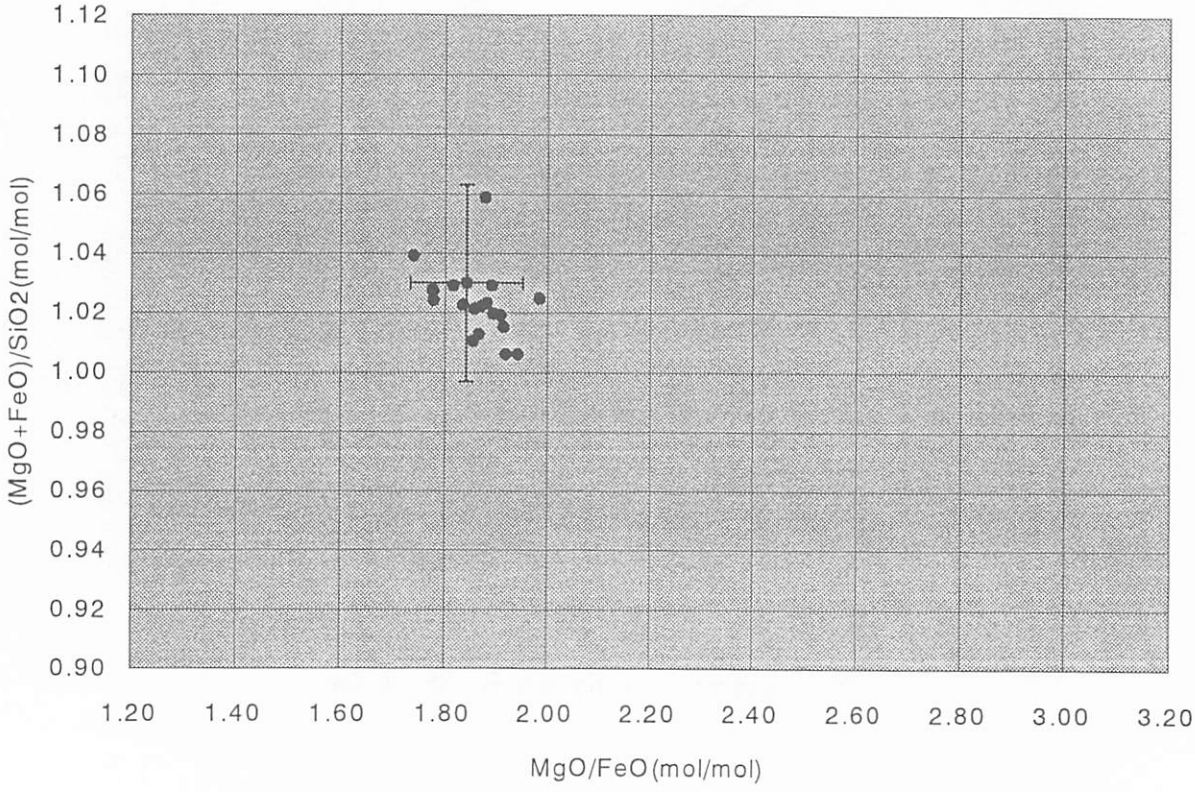


図8　試料K4-7の斜方輝石の化学組成分布

表９　試料 K4-8の斜方輝石の化学組成

EPMA分析結果一覧表

試料名：K4-8　　分析鉱物：斜方輝石；分子式：(Mg,Fe)SiO3；少量Ca, Al, Mn含有.　分析点数：15～20

元素 / 分析点番号	SiO2 wt.%	TiO2 wt.%	Al2O3 wt.%	FeO wt.%	MnO wt.%	MgO wt.%	CaO wt.%	Na2O wt.%	K2O wt.%	Cr2O3 wt.%	NiO wt.%	Total wt.%	MgO/FeO (mol/mol)	(MgO+FeO)/SiO2 (mol/mol)
1	51.64	0.00	0.77	22.46	0.80	22.63	1.23	0.03	0.04	0.03	0.10	99.73	1.80	1.02
2	50.94	0.00	0.89	21.41	0.75	24.03	1.14	0.32	0.00	0.00	0.11	99.59	2.00	1.05
3	51.47	0.08	0.85	21.24	0.80	23.46	1.22	0.06	0.01	0.12	0.00	99.31	1.97	1.02
4	51.98	0.04	0.43	21.45	0.73	23.21	1.30	0.24	0.07	0.00	0.17	99.62	1.93	1.01
5	51.13	0.09	0.68	23.02	0.88	23.30	1.27	0.00	0.00	0.00	0.00	100.37	1.80	1.06
6	52.05	0.10	0.52	22.17	1.00	22.81	1.13	0.00	0.00	0.00	0.00	99.78	1.83	1.01
7	52.39	0.28	1.20	18.28	0.69	26.62	1.27	0.00	0.00	0.00	0.23	100.96	2.60	1.05
8	50.77	0.11	0.75	24.73	1.11	20.48	1.35	0.27	0.14	0.01	0.03	99.75	1.48	1.01
9	52.52	0.19	0.71	22.29	0.72	23.08	1.21	0.24	0.00	0.12	0.00	101.08	1.85	1.01
10	52.18	0.14	1.09	21.44	0.90	23.48	1.19	0.09	0.00	0.00	0.00	100.51	1.95	1.01
11	52.03	0.19	0.72	22.16	0.77	23.12	1.18	0.00	0.00	0.00	0.00	100.17	1.86	1.02
12	52.03	0.12	1.49	15.96	0.45	28.57	1.49	0.14	0.00	0.05	0.00	100.30	3.19	1.07
13	51.54	0.11	0.79	22.46	0.75	22.56	1.27	0.11	0.00	0.00	0.12	99.71	1.79	1.02
14	51.29	0.00	0.72	22.78	0.82	23.30	1.15	0.00	0.06	0.00	0.00	100.12	1.82	1.05
15	51.87	0.30	1.33	21.25	0.68	23.74	1.32	0.20	0.00	0.00	0.17	100.86	1.99	1.02
16	51.49	0.12	0.70	22.28	0.92	23.39	1.34	0.10	0.00	0.10	0.00	100.44	1.87	1.04
17	52.02	0.00	0.71	20.40	0.83	24.67	1.27	0.27	0.00	0.00	0.10	100.27	2.16	1.03
18	50.91	0.26	1.07	23.50	0.88	22.02	1.28	0.43	0.00	0.00	0.18	100.53	1.67	1.03
19	51.85	0.17	0.73	21.55	1.01	23.29	1.29	0.06	0.00	0.00	0.00	99.95	1.93	1.02
20	51.52	0.22	0.62	21.97	0.60	22.91	1.29	0.13	0.04	0.06	0.00	99.36	1.86	1.02
平均値	51.68	0.13	0.84	21.64	0.80	23.53	1.26	0.13	0.02	0.02	0.06	100.12	**1.97**	**1.03**
標準偏差	0.50	0.09	0.27	1.84	0.15	1.65	0.08	0.13	0.04	0.04	0.08	0.52	**0.36**	**0.02**

Total Fe as FeO; Fe2O3=1.1113FeO.

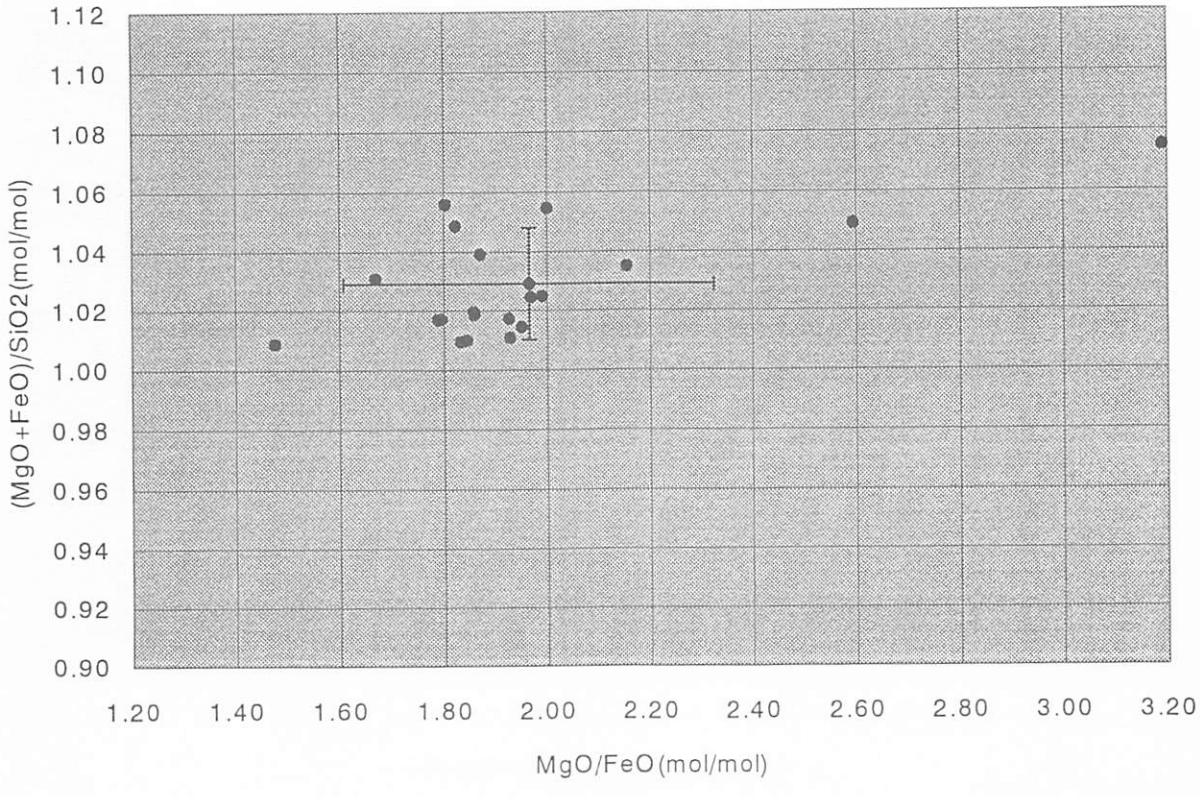


図９　試料 K4-8の斜方輝石の化学組成分布

表10　試料 K4-9の斜方輝石の化学組成

EPMA分析結果一覧表

試料名：K4-9　　分析鉱物：斜方輝石；分子式：(Mg,Fe)SiO3；少量Ca, Al, Mn含有．　分析点数：15～20

元素 / 分析点番号	SiO2 wt.%	TiO2 wt.%	Al2O3 wt.%	FeO wt.%	MnO wt.%	MgO wt.%	CaO wt.%	Na2O wt.%	K2O wt.%	Cr2O3 wt.%	NiO wt.%	Total wt.%	MgO/FeO (mol/mol)	(MgO+FeO)/SiO2 (mol/mol)
1	51.34	0.19	2.00	19.33	0.57	24.60	1.66	0.19	0.00	0.26	0.00	100.14	2.27	1.03
2	52.32	0.16	0.72	21.74	0.65	23.44	1.21	0.00	0.09	0.00	0.00	100.33	1.92	1.02
3	51.43	0.28	0.67	22.25	1.11	22.90	1.27	0.06	0.00	0.08	0.33	100.38	1.83	1.03
4	53.48	0.25	2.12	20.31	0.84	21.34	1.37	0.32	0.17	0.15	0.12	100.47	1.87	0.91
5	51.88	0.18	1.19	18.43	0.86	26.04	1.68	0.14	0.02	0.02	0.00	100.44	2.52	1.05
6	52.32	0.13	1.07	19.22	0.56	26.02	1.55	0.03	0.05	0.09	0.04	101.08	2.41	1.05
7	51.85	0.08	1.48	18.07	0.49	26.85	1.32	0.25	0.00	0.16	0.00	100.55	2.65	1.06
8	51.01	0.15	1.12	21.64	0.90	23.50	1.43	0.00	0.00	0.10	0.32	100.17	1.94	1.04
9	51.56	0.08	0.65	21.39	1.01	23.44	1.19	0.02	0.00	0.00	0.00	99.34	1.95	1.02
10	51.92	0.12	0.71	22.17	0.77	22.64	1.17	0.00	0.00	0.08	0.00	99.58	1.82	1.01
11	51.91	0.15	0.68	22.23	0.77	23.25	1.22	0.35	0.00	0.00	0.00	100.56	1.86	1.03
12	51.33	0.25	0.58	22.18	0.96	23.18	1.15	0.14	0.05	0.00	0.00	99.82	1.86	1.03
13	51.05	0.09	0.54	22.67	1.01	22.63	1.16	0.11	0.16	0.00	0.08	99.50	1.78	1.03
14	52.20	0.21	1.23	18.52	0.33	25.53	1.23	0.04	0.09	0.08	0.23	99.69	2.46	1.03
15	52.16	0.14	0.72	21.83	0.85	23.59	1.17	0.25	0.00	0.08	0.00	100.79	1.93	1.02
16	52.66	0.03	1.23	19.05	0.62	25.27	1.47	0.12	0.00	0.03	0.00	100.48	2.36	1.02
17	51.12	0.17	0.76	21.39	0.64	23.56	1.51	0.11	0.00	0.00	0.00	99.26	1.96	1.04
18	51.72	0.09	0.50	22.04	0.90	23.09	1.19	0.00	0.06	0.06	0.07	99.72	1.87	1.02
19	51.57	0.20	0.93	20.60	0.60	24.28	1.26	0.15	0.00	0.11	0.00	99.70	2.10	1.04
20	51.56	0.00	0.63	22.35	0.65	22.80	1.11	0.11	0.05	0.10	0.00	99.36	1.82	1.02
平均値	51.82	0.15	0.98	20.87	0.75	23.90	1.32	0.12	0.04	0.07	0.06	100.07	**2.06**	**1.02**
標準偏差	0.60	0.07	0.46	1.54	0.20	1.40	0.18	0.11	0.05	0.07	0.11	0.53	**0.28**	**0.03**

Total Fe as FeO; Fe2O3=1.1113FeO.

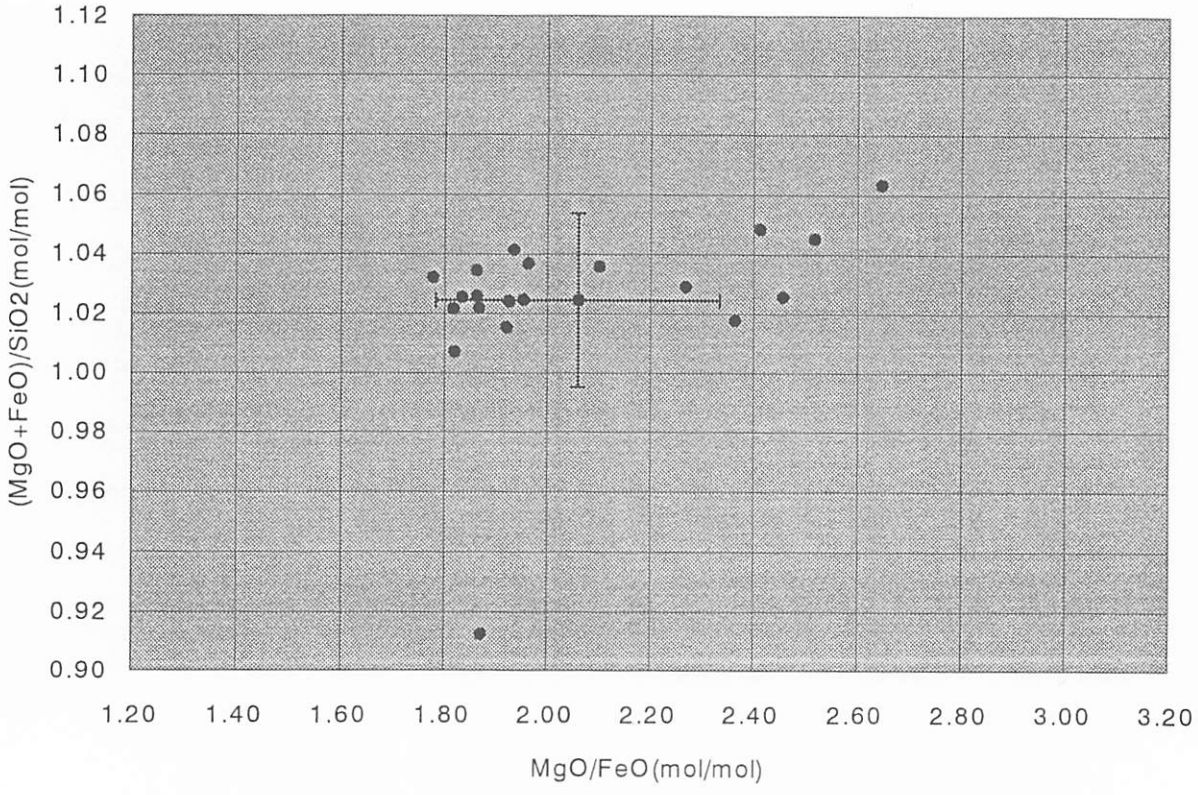


図10　試料 K4-9の斜方輝石の化学組成分布

図11　試料K4-10の斜方輝石の化学組成分布

EPMA分析結果一覧表

試料名：K4-10　　分析鉱物：斜方輝石；分子式：(Mg,Fe)SiO3；少量Ca, Al, Mn含有.　分析点数：15～20

元素 / 分析点番号	SiO2 wt.%	TiO2 wt.%	Al2O3 wt.%	FeO wt.%	MnO wt.%	MgO wt.%	CaO wt.%	Na2O wt.%	K2O wt.%	Cr2O3 wt.%	NiO wt.%	Total wt.%	MgO/FeO (mol/mol)	(MgO+FeO)/SiO2 (mol/mol)
1	51.18	0.25	0.73	22.13	0.76	23.33	1.23	0.22	0.00	0.02	0.00	99.85	1.88	1.04
2	52.27	0.23	1.19	18.23	0.60	26.15	1.48	0.04	0.00	0.00	0.08	100.27	2.56	1.04
3	51.37	0.17	0.59	21.91	0.75	23.17	1.10	0.00	0.00	0.00	0.20	99.26	1.88	1.03
4	51.96	0.34	0.88	21.38	0.92	23.24	1.40	0.42	0.04	0.00	0.08	100.66	1.94	1.01
5	52.32	0.23	0.80	18.24	0.49	26.21	1.59	0.19	0.00	0.00	0.14	100.21	2.56	1.04
6	52.46	0.13	0.89	15.90	0.61	28.04	1.69	0.19	0.00	0.00	0.00	99.91	3.14	1.05
7	51.73	0.31	0.61	22.38	1.02	23.26	1.27	0.04	0.05	0.00	0.00	100.67	1.85	1.03
8	51.00	0.23	1.05	22.02	0.88	22.61	1.11	0.44	0.08	0.00	0.15	99.57	1.83	1.02
9	52.53	0.24	0.90	16.99	0.57	26.73	1.62	0.23	0.00	0.00	0.09	99.90	2.80	1.03
10	51.48	0.01	0.72	21.81	0.77	23.12	1.16	0.19	0.00	0.04	0.00	99.30	1.89	1.02
11	51.98	0.15	0.82	22.06	0.76	23.29	1.19	0.07	0.03	0.06	0.00	100.41	1.88	1.02
12	51.98	0.00	1.28	17.78	0.40	26.30	1.36	0.00	0.10	0.00	0.33	99.53	2.64	1.04
13	51.91	0.08	0.57	22.31	1.05	22.81	1.08	0.15	0.06	0.00	0.00	100.02	1.82	1.01
14	51.72	0.11	1.09	19.31	0.71	24.77	1.50	0.17	0.03	0.07	0.00	99.48	2.29	1.03
15	51.83	0.20	0.91	21.95	0.85	22.61	1.12	0.00	0.00	0.00	0.00	99.47	1.84	1.00
16	52.30	0.08	1.26	17.61	0.56	26.43	1.51	0.04	0.00	0.07	0.00	99.86	2.67	1.03
17	50.61	0.14	1.83	21.35	0.68	23.25	1.42	0.35	0.03	0.00	0.13	99.79	1.94	1.04
18	51.76	0.17	0.91	22.20	0.82	23.22	1.33	0.25	0.01	0.00	0.00	100.67	1.86	1.03
19	52.03	0.06	0.72	22.04	0.67	23.05	1.14	0.28	0.02	0.00	0.03	100.04	1.86	1.01
20	52.14	0.22	0.61	21.48	1.04	22.65	0.97	0.00	0.00	0.00	0.00	99.11	1.88	0.99
平均値	51.83	0.17	0.92	20.45	0.75	24.21	1.31	0.16	0.02	0.01	0.06	99.90	**2.15**	**1.03**
標準偏差	0.50	0.09	0.30	2.16	0.18	1.73	0.21	0.14	0.03	0.03	0.09	0.48	**0.42**	**0.01**

Total Fe as FeO; Fe2O3=1.1113FeO.

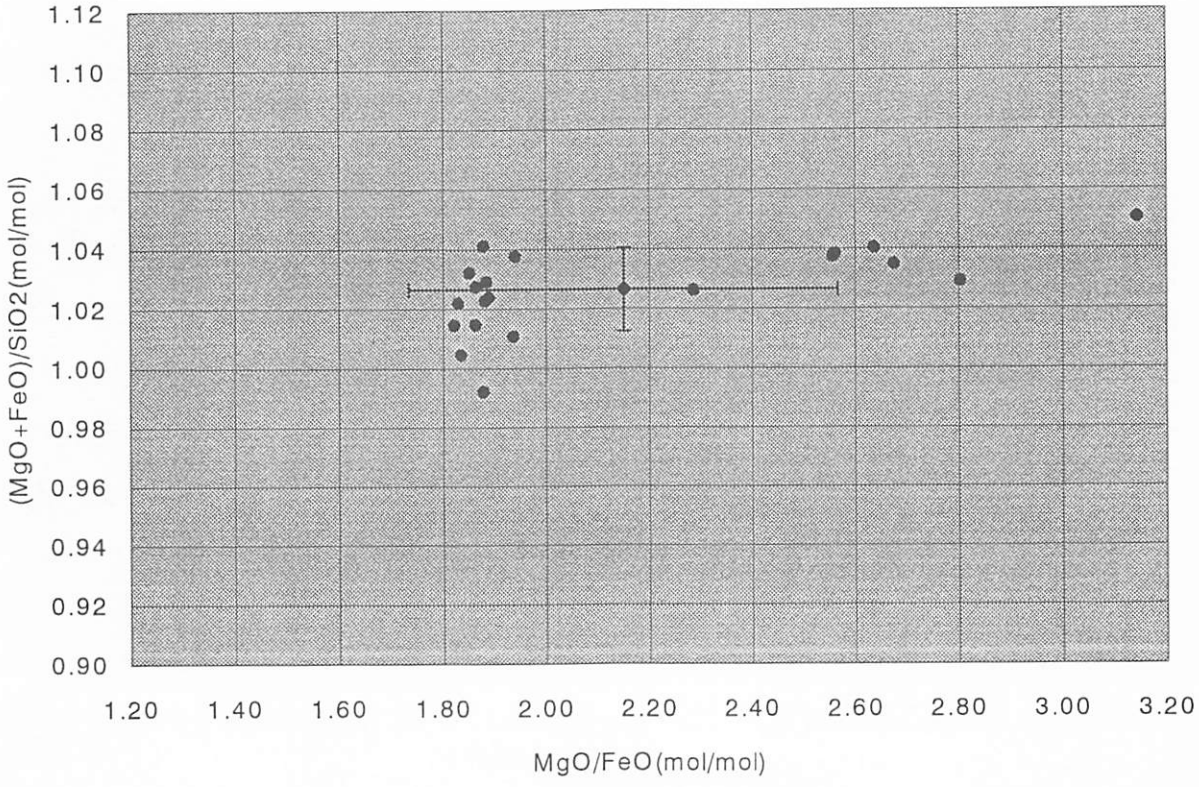


表11　試料K4-10の斜方輝石の化学組成

表12　試料 K4-11の斜方輝石の化学組成

EPMA分析結果一覧表

試料名：K4-11　　分析鉱物：斜方輝石；分子式：(Mg,Fe)SiO3；少量Ca, Al, Mn含有.　分析点数：15～20

元素 / 分析点番号	SiO2 wt.%	TiO2 wt.%	Al2O3 wt.%	FeO wt.%	MnO wt.%	MgO wt.%	CaO wt.%	Na2O wt.%	K2O wt.%	Cr2O3 wt.%	NiO wt.%	Total wt.%	MgO/FeO (mol/mol)	(MgO+FeO)/SiO2 (mol/mol)
1	52.24	0.14	1.77	19.72	0.44	27.25	1.45	0.26	0.05	0.06	0.00	103.38	2.46	1.09
2	51.19	0.27	3.06	17.92	0.72	26.11	1.48	0.00	0.00	0.09	0.11	100.95	2.60	1.05
3	52.06	0.06	1.36	17.94	0.66	25.74	1.52	0.25	0.00	0.00	0.12	99.71	2.56	1.03
4	52.34	0.01	1.27	16.76	0.45	26.82	1.48	0.04	0.11	0.00	0.02	99.30	2.85	1.03
5	52.30	0.08	1.21	18.55	0.69	26.23	1.43	0.16	0.00	0.00	0.00	100.65	2.52	1.04
6	52.03	0.10	1.57	17.89	0.55	26.89	1.42	0.16	0.02	0.00	0.39	101.02	2.68	1.06
7	51.66	0.17	1.01	19.59	0.70	24.74	1.41	0.17	0.06	0.00	0.00	99.51	2.25	1.03
8	52.10	0.19	1.30	17.44	0.72	26.25	1.61	0.00	0.00	0.02	0.02	99.65	2.68	1.03
9	51.38	0.24	0.71	20.94	0.77	23.53	1.47	0.41	0.00	0.00	0.11	99.56	2.00	1.02
10	51.76	0.08	1.23	21.26	0.88	22.85	1.25	0.05	0.04	0.10	0.00	99.50	1.92	1.00
11	52.51	0.13	1.33	17.36	0.43	26.62	1.65	0.10	0.00	0.00	0.11	100.24	2.73	1.03
12	51.90	0.04	1.35	17.31	0.72	26.49	1.59	0.50	0.00	0.00	0.00	99.90	2.73	1.04
13	51.19	0.44	0.83	21.07	0.80	23.36	1.34	0.15	0.00	0.02	0.00	99.20	1.98	1.02
14	51.64	0.21	0.66	22.36	0.96	22.53	1.17	0.29	0.00	0.02	0.00	99.84	1.80	1.01
15	52.17	0.27	1.34	18.03	0.76	25.84	1.59	0.07	0.00	0.06	0.05	100.18	2.55	1.03
16	51.73	0.15	0.86	20.38	0.94	23.58	1.81	0.25	0.10	0.00	0.00	99.80	2.06	1.01
17	52.35	0.20	1.49	16.84	0.48	27.36	1.57	0.19	0.01	0.05	0.00	100.54	2.90	1.05
18	52.19	0.09	1.39	17.98	0.56	26.72	1.56	0.12	0.00	0.00	0.00	100.61	2.65	1.05
19	52.28	0.21	0.85	19.34	0.74	25.45	1.46	0.16	0.09	0.00	0.00	100.58	2.35	1.03
20	52.41	0.08	0.75	19.87	1.14	24.28	1.51	0.23	0.00	0.07	0.00	100.34	2.18	1.01
平均値	51.97	0.16	1.27	18.93	0.71	25.43	1.49	0.18	0.02	0.02	0.05	100.22	**2.42**	**1.03**
標準偏差	0.40	0.10	0.52	1.64	0.19	1.55	0.14	0.13	0.04	0.03	0.09	0.92	**0.33**	**0.02**

Total Fe as FeO; Fe2O3=1.1113FeO.

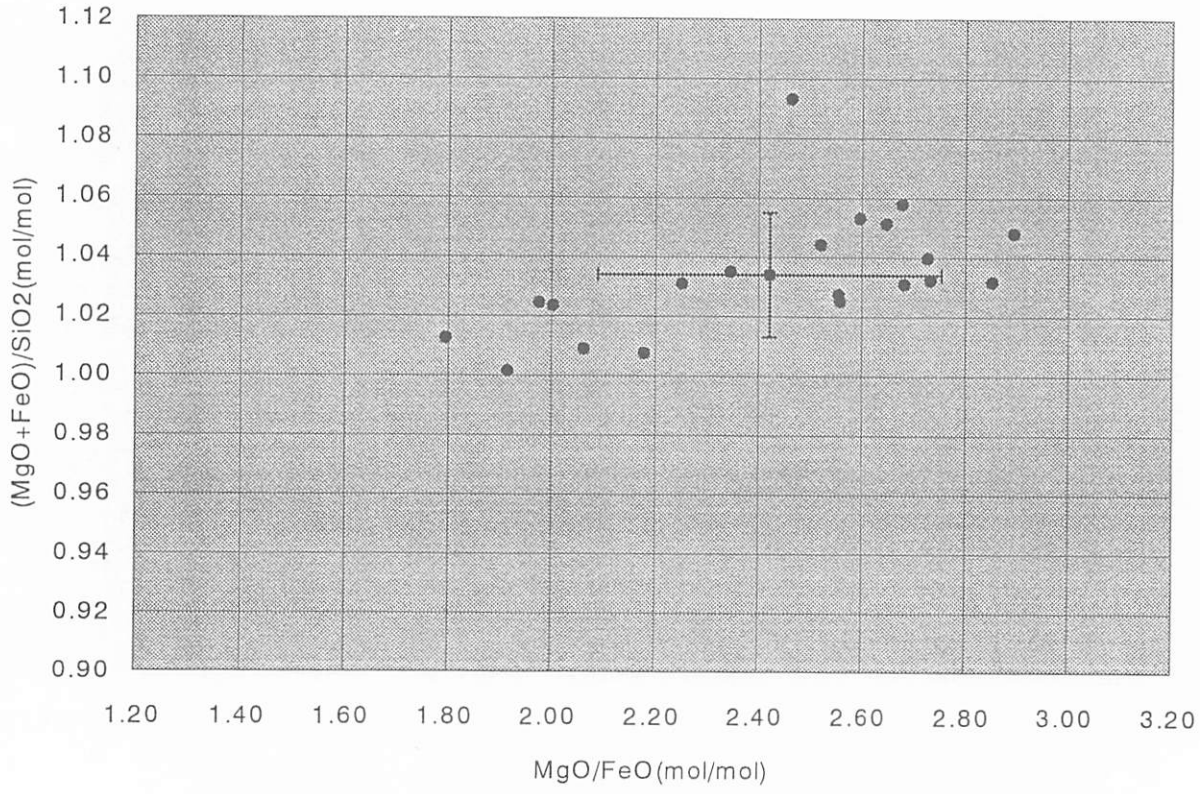


図12　試料 K4-11の斜方輝石の化学組成分布

9　キウス4遺跡（A地区）出土漆製品の材質と技法

北海道開拓記念館　小　林　幸　雄

1．はじめに

キウス4遺跡（A地区）の低湿地部からは、木質部を残した漆塗弓などの漆製品数点が出土した。今回は、漆製品から得られた小片をもとに、材質と技法に関わる事柄について検討したので概略を報告する。

2．試料と方法

調査対象としたのは漆製品5件から得られた小片の試料9点である（表1）。これら試料について、ⅰ）肉眼観察と実体顕微鏡観察をおこなって、次の観察と分析に供する部位を選択し、ⅱ）走査顕微鏡（JEOL-JSM5200、以下はSEMとする）とエネルギー分散型X線分析装置（JEOL-JED2001、以下はEDSとする）を用いて、①試料表面、②あるいは試料断面における微小領域の形態・構造と材質について検討した。SEMでは二次電子像（Secondary Electron Image、以下はSEIとする）、あるいは反射電子像（Backscattered Electron Image、BEI）の組成像（COMPO）を観察しながら、適宜に対応する箇所のEDS分析をおこなった。

表1　試料

No.	遺物番号	遺　物	調査区	表面調査	断面調査	写真図版
1	資仮10	ベンガラ漆塗容器片	C-47, ロ(V-3)	○		図版1
2A	1063, 1069	ベンガラ漆塗容器片(内面)	C-47, V(V-3)	○		図版1
2B		〃　(外面)		○	○	図版1、図版3
3A	1064	ベンガラ漆塗容器片(内面)	C-47, V(V-3)	○		図版1、図版3
3B		〃　(側面)		○		図版1、図版3
3C		〃　(底面)		○		図版2
4	1065	朱漆塗丸木弓片	Z-47, V(V-3)	○		図版2、図版3
5A	1072	朱漆塗丸木弓片(細撚)	Z-47	○	○	図版2、図版3
5B		〃　(太撚)		○		図版2

3．結果

各試料の検討を進める前に、図版1、図版2、図版3を簡単に説明する。

図版1と図版2には、試料表面の赤色彩色層側における低倍率（モニターテレビ観察時の35倍、あるいは50倍）での観察結果、あわせて同一箇所におけるEDSの面分析結果を示した。いずれも、左列には観察像としてのSEI、中央列には鉄（Fe）X線像を示し、右列にはNo.1、2、3については硫黄（S）X線像、No.4、5については水銀（Hg）X線像をそれぞれ示した。図版3には、各試料の中で特徴的な組織や分析結果が確認されたものを示した。ここでは表面観察にSEI、断面観察にBEI/COMPOを選択し、分析結果についてはFe・S・Hgの各X線像を対象試料の特質にあわせて

適宜に選択した。

〈No.1〉　ベンガラ漆塗容器片（資仮10）

図版1のFeX線像にあるように、赤色彩色された表面全体にはFeが濃密に分布する。このことから赤色彩色層には、鉄酸化物系（Fe_2O_3など）の顔料を含むベンガラ漆が用いられたと推定する。朱（HgS）顔料の存在をあらわすHgX線は検出されない。ただし、SX線像によると、わずかにSが分布する。FeとSが共存するならば、硫化鉄（FeS）など鉄硫化物系物質がやや不純物的に存在する可能性が高い。しかし、朱（HgS）との関連でみると、Hg元素は昇華性の高い物質であり、遺物自体が熱的な影響を受けていないかなども吟味する必要がある。

〈No.2〉　ベンガラ漆塗容器片（1063, 1069）

この試料については、内面（2A）と外面（2B）の2種類の小片が得られた。図版1によると、2Aと2Bの表面にはともにFeが分布する。また、図版3では、2B断面部においても表面の赤色彩色層の部分にはFeが濃密に分布する。このような観察と分析の結果から、赤色の彩色層にはベンガラ漆が用いられたと推定する。また断面部観察によると、ベンガラ漆による赤色彩色層の層厚は薄い部分（下）で約50μm、厚い部分（上）で約70μmを示す。また、FeとSのX線像を比較すると、SのX線像の反応は微弱ではあるが、ともに分布する範囲は一致する。これは、赤色彩色層中にFeとSによる化合物（FeSなど）が存在する可能性を示す。

〈No.3〉　ベンガラ漆塗容器片（1064）

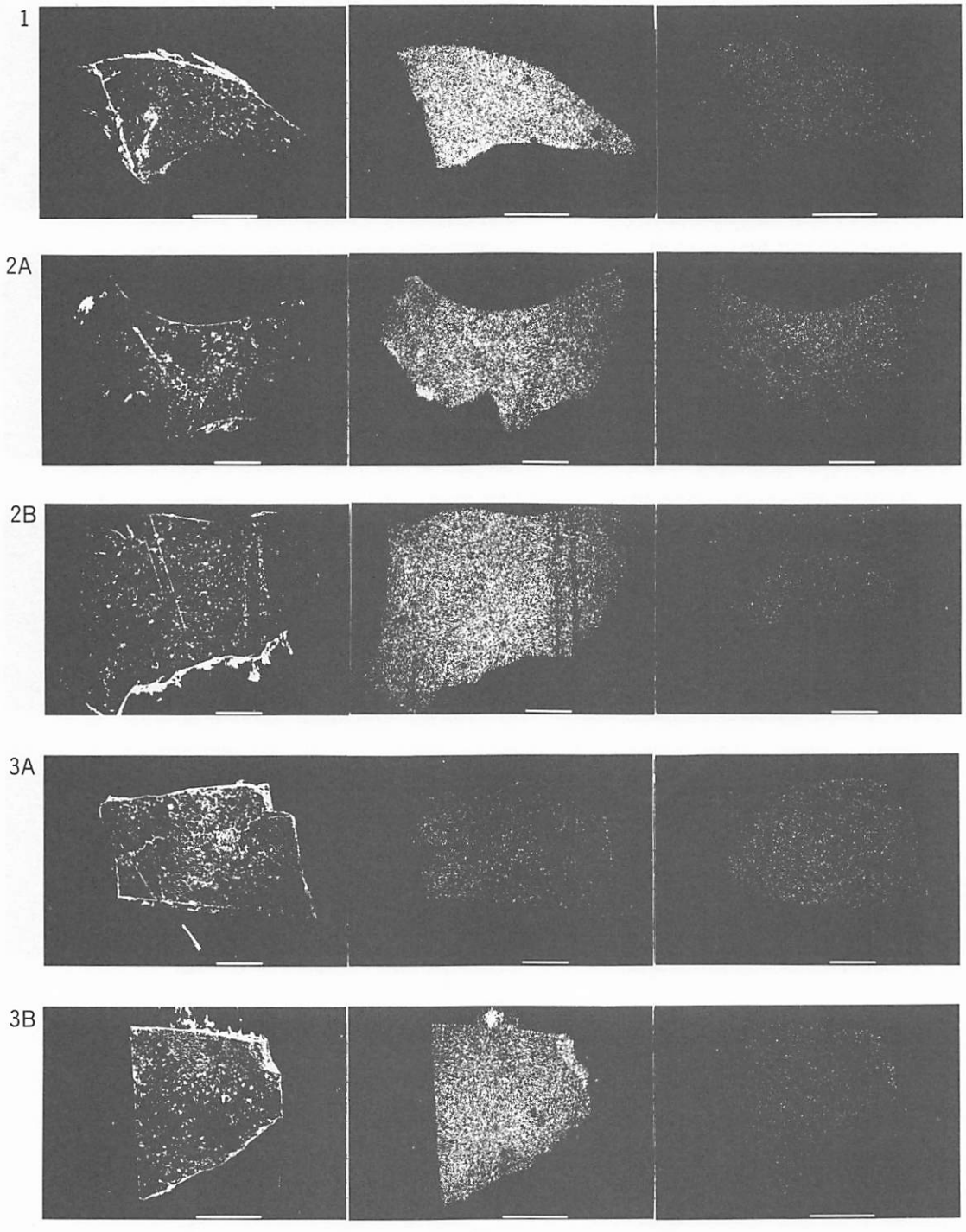
この試料については、内面（3A）、側面（3B）、底面（3C）の3種類の小片が得られた。図版1と図版2によると、Feは表面全体に分布し、ともに赤色彩色層には、ベンガラ漆を用いたと推定する。しかし、内面（3A）におけるFeX線の反応はやや弱い。図版Ⅲのように高倍率下で確認すると、SEIには10μm強から70μmに達する粒状の組織が観察される。さらに対応するFeとSのX線像をみると、粒の周縁部にはFe、粒の本体部にはSがそれぞれ分布する。これに対して、側面（3B）では粒状組織、あるいはそれに対応したFe分布やS分布のバラツキは確認されない。内面（3A）の粒状組織については、「朱顔料が熱影響によって昇華性の高いHg元素を失ったため」とするとうまく説明できると思われるが、現実にそのようなプロセスがあり得るのかを含めて今後に再検討を期したい。

〈No.4〉　朱漆塗丸木弓片（1065）

Hgが表面全体に分布しており、赤色彩色層には朱（HgS）顔料を含む朱漆が用いられたと推定する。観察部位の朱粒子は数μm以内の粒径を示す。

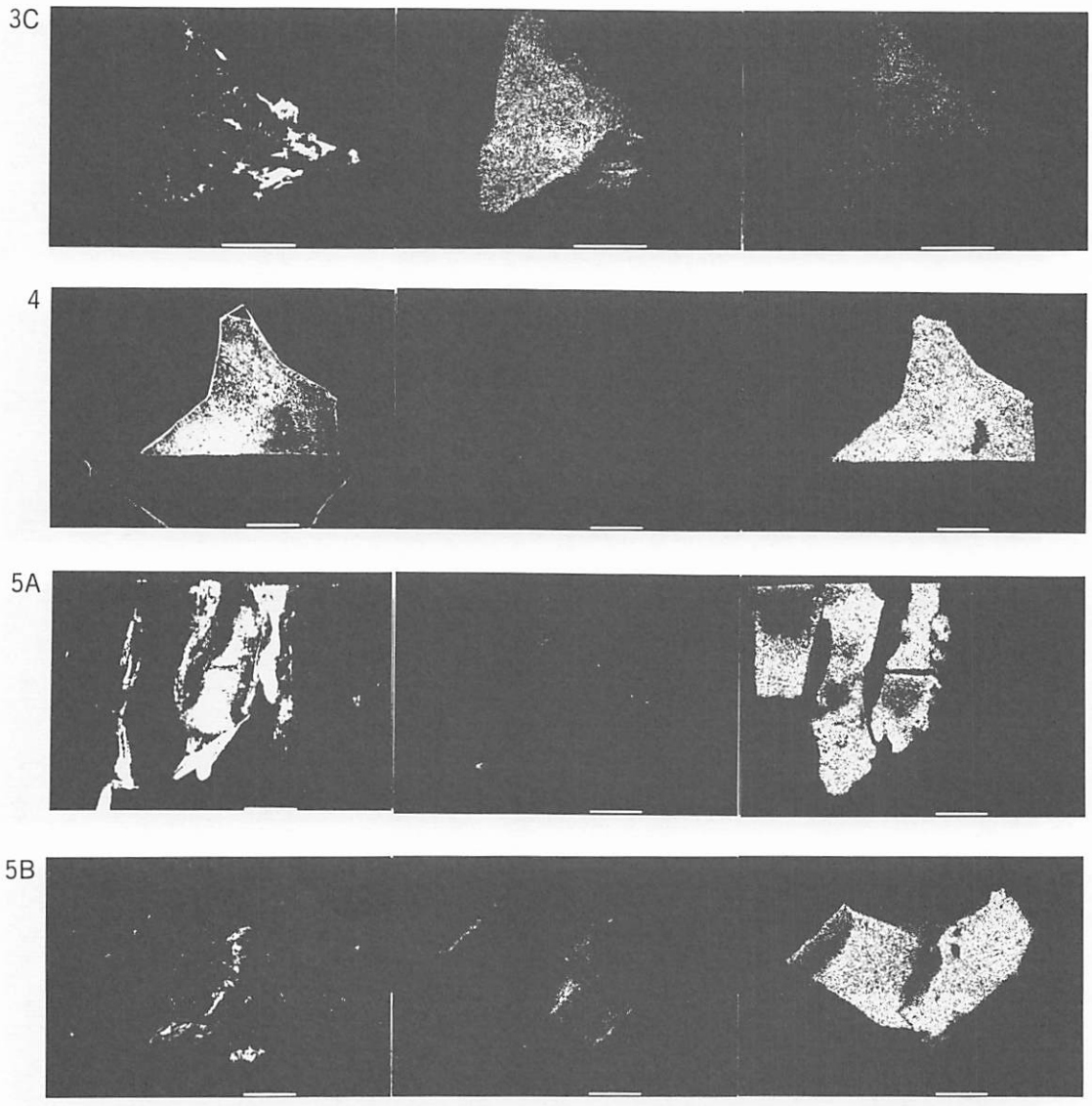
〈No.5〉　朱漆塗丸木弓片（1072）

この試料については、細撚（5A）、太撚（5B）の2種類の小片が得られた。Hgが表面全体に分布し、赤色彩色層には朱顔料を含む朱漆が用いられたと推定する。一方、細撚（5A）、太撚（5B）ともに、赤色彩色層の破損部などHg元素が分布しない部分にFe元素がやや明瞭に分布する。下塗り層としてベンガラ漆を用いた可能性がある。図版3には5A断面部の観察と分析の結果を示した。弓を飾る巻糸と巻糸の間には朱漆が浸入し、最深部で約200μmを測る。



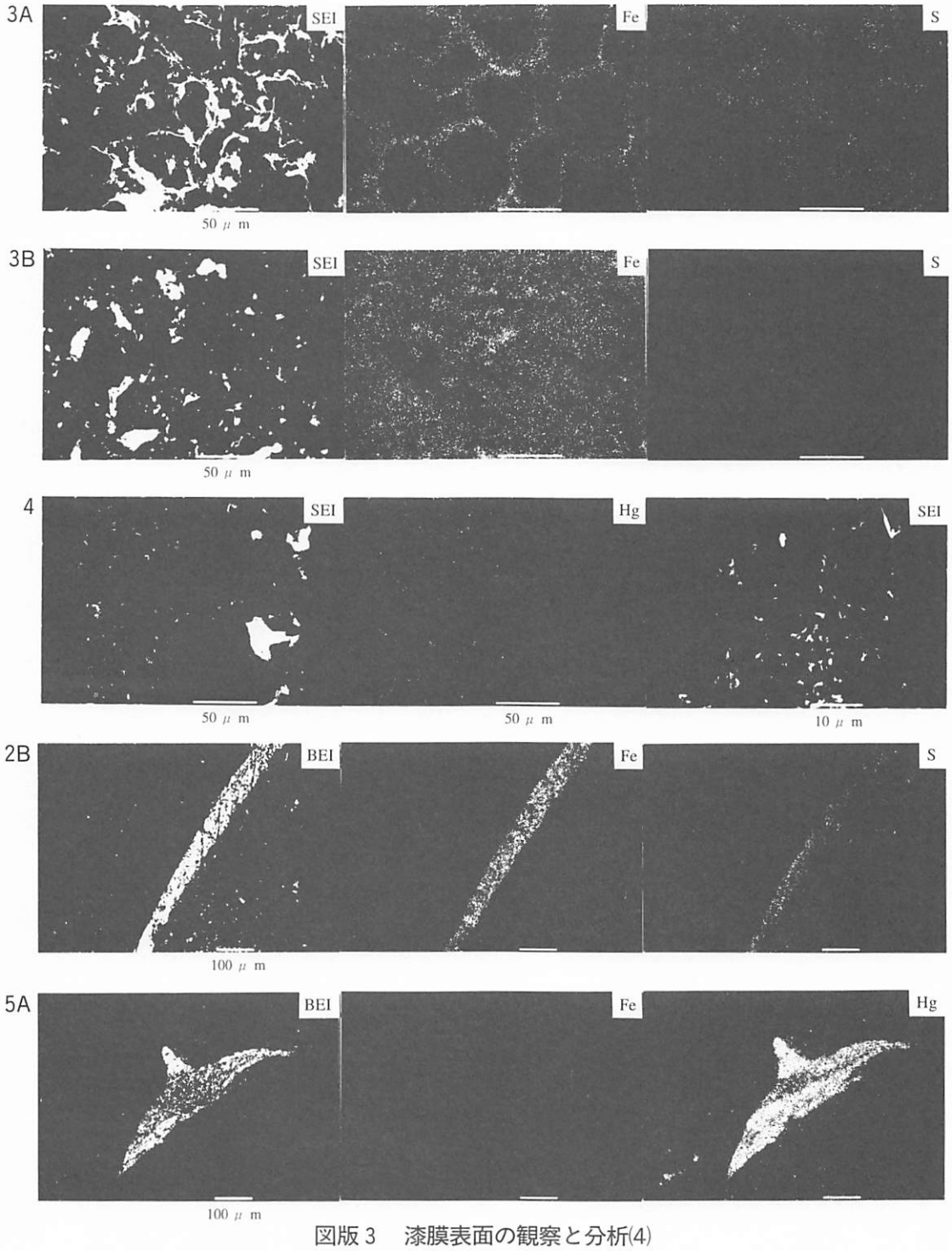
図版１　漆膜表面の観察と分析(1)

左列：二次電子像（SEI)、中央列に鉄（Fe）Ｘ線像、右列に硫黄（S）Ｘ線像
写真中（下）の白線長は全て500㎛を示す。



図版２　漆膜表面の観察と分析(2)

左列：二次電子像（SEI）、中央列に鉄（Fe）X線像、右列：3C は硫黄（S）X線像、
4,5A,5B は水銀（Hg）X線像
写真中（下）の白線長は全て500㎛を示す。



図版 3　漆膜表面の観察と分析(4)

写真中（下）の白線長は、4 以外全て左列（SEI、BEI）に対応する。

Ⅷ　集計・一覧

表１　遺構一覧(1)

A地区　住居跡

遺構名		位置	確認面の長径×短径(m)	床面の長径×短径(m)	最大深(m)	長軸方向	平面形	性格	時期
ALH1		V-52(L地区)・W-52	2.42×2.02	1.96×1.84	0.42	北北西-南南東	楕円形	住居跡?	Ⅰ群b類土器期
ALH2		－欠番－							
ALH3		K・L-44・45	7.22×3.24	6.00×2.58	0.68	北東-南西	隅丸長方形	住居跡	Ⅱ群a類土器期
ALH4		K-46・47、L-46・47・48、M-47	7.08×3.95	5.16×2.76	0.70	北北西-南南東	隅丸長方形	住居跡	Ⅱ群a類土器期
ALH5		H-45・46	3.12×3.04	2.92×2.90	0.22		不整円形	住居跡	Ⅰ群b-3類土器期
ALH6		G・H-40	2.88×2.42	2.04×1.52	0.66	北西-南東	楕円形	土壙	Ⅱ群a-2類土器期
ALH7		I-41	2.24×1.76	1.66×1.32	0.22	北-南	楕円形	住居跡?	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALH8		I・J-41	2.08×1.60	1.48×1.18	0.26	北西-南東	楕円形	住居跡?	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALH9		L・M-41	2.46×2.16	2.28×1.96	0.18	北西-南東	楕円形	住居跡?	Ⅰ群b類土器期
ALH10		M・N-43・44・45	5.51×4.59	4.87×3.98	0.28	東北東-西南西	楕円形	住居跡	Ⅰ群b-3類土器期
ALH11		I・J-42・43	2.78×2.26	2.20×1.46	0.44	北東-南西	隅丸長方形	住居跡?	Ⅱ群a-1類土器期
ALH12		J-40	2.66×2.04	2.04×1.26	0.26	西北西-東南東	隅丸長方形	住居跡?	Ⅱ群a-1類土器期
ALH13		K・L-43	4.94×3.32	4.22×2.78	0.32	北東-南西	楕円形	住居跡	Ⅰ群b-3類土器期
ALH14		J・K-40	3.70×(2.30)	3.54×(2.20)	0.10		円形?	住居跡	Ⅰ群b-3類土器期
ALH15		J・K-41・42・43	4.82×(3.60)	4.38×(3.36)	0.20		不整円形	住居跡	Ⅰ群b-3類土器期
ALH16		－欠番－							
ALH17		M-43、N-43・44	3.78×(0.95)	3.63×(0.86)	0.18		円形?	住居跡?	Ⅰ群b-2類土器期
ALH18		L・M-44	1.62×(0.82)	1.28×(0.66)	0.24		楕円形?	住居跡?	Ⅰ群b-2類土器期

A地区　住居跡付属遺構

遺構名	付属遺構名	位置	確認面の長径×短径/床面の長径×短径/深さ 直径／深さ	長軸方向	平面形	性格	時期
ALH3	ALH3掘上土	J・K・L・M-43・44・45、	12.80×12.20/0.17		不整楕円形	掘上土	
ALH4	ALH4掘上土	J-46・47、K・L・M-46・47・48	13.20×10.50/0.11		不整形	掘上土	
	ALH4HP1	K-46	0.12/0.09		円形	柱穴	
	ALH4HP2	K-46	0.18/0.09		円形	柱穴	
	ALH4HP3	L-46	0.14/0.25		円形	柱穴	
	ALH4HP4	L-47	0.15/0.33		円形	柱穴	
	ALH4HP5	L-47	0.14/0.18		円形	柱穴	
	ALH4HP6	L-47	0.14/0.24		円形	柱穴	
	ALH4HP10	K-47	0.16/0.12		円形	柱穴	
	ALH4HP19	K-47	0.12/0.09		円形	柱穴	
	ALH4HP25	L-46	0.18/0.11		円形	柱穴	
	ALH4HP26	L-47	0.15/0.28		円形	柱穴	
	ALH4HP27	L-47	0.15/0.08		円形	柱穴	
ALH5	ALH5HF1	H-46	0.30×0.27/0.04		円形	地床炉?	
	ALH5HP1	H-46	0.16/0.21		円形	柱穴?	
	ALH5HP2	H-46	0.25/0.31		円形	柱穴?	
ALH6	ALH6掘上土	G・H-40・41	(4.70)×4.20/0.08		不整円形	掘上土	
	ALH6HP1	H-40	0.16/0.33		円形	柱穴	
	ALH6HP2	G-40	0.18/0.09		円形	柱穴	
	ALH6HP3	G-40	0.10/0.14		円形	柱穴	
	ALH6HP4	G-40	0.12/0.09		円形	柱穴	
	ALH6HP5	H-40・41	0.12/0.12		円形	柱穴	
	ALH6HP6	G・H-40	0.12/0.18		円形	柱穴	
	ALH6HP7	H-40	0.14/0.22		円形	柱穴	
ALH8	ALH8HP1	J-41	0.10/0.14		円形	柱穴	
	ALH8HP2	J-41	0.16/0.32		円形	柱穴	
	ALH8HP3	J-41	0.22/0.10		円形	柱穴	
ALH10	ALH10掘上土	M・N-43、N-44、M・N-	9.65×(3.00)		円形?	掘上土	
	ALH10HP1	M-44	0.85×0.72/0.37×0.36/0.20		楕円形/円形	不明	
	ALH10HP2	M-44	0.18/0.21		円形	柱穴	
	ALH10HP3	M・N-44	0.15/0.30		円形	柱穴	
	ALH10HP4	M-44	0.15/0.30		円形	柱穴	
	ALH10HP5	N-44	0.17/0.14		円形	柱穴	
	ALH10HP6	M-45	0.20/0.19		円形	柱穴	
	ALH10HP7	M-45	0.13/0.10		円形	柱穴	
	ALH10HP8	M-45	0.20/0.06		円形	柱穴	
	ALH10HP9	N-44	0.12/0.17		円形	柱穴	
	ALH10HP10	M・N-44	0.18/0.07		円形	柱穴	
	ALH10HP11	M-44	0.20/0.11		円形	柱穴	
	ALH10HP12	M-44	0.14/0.18		円形	柱穴	
	ALH10HP13	M-43	0.13/0.14		円形	柱穴	
	ALH10HP14	M-44	0.12/0.16		円形	柱穴	
	ALH10HP15	M-44	0.15/0.14		円形	柱穴	
	ALH10HP16	M-44	0.16/0.18		円形	柱穴	
	ALH10HP17	M-45	0.14/0.13		円形	柱穴	
	ALH10HP18	M-44	0.10/0.06		円形	柱穴	
	ALH10HP19	M-44	0.14/0.10		円形	柱穴	
ALH11	ALH11掘上土	I-42	1.71×(1.18)/0.06		不整円形	掘上土	
ALH13	ALH13HP1	L-43	0.70×0.56/0.30×0.20/0.30		円形	不明	
	ALH13HP2	L-43	0.56×0.48/0.31×0.21/0.14		円形	不明	
	ALH13HP3	K・L-43	(0.64)×0.63/0.52×0.50/0.20		円形	不明	
	ALH13HP5	K-43	0.32/0.04		円形	柱穴	
	ALH13HP6	L-43	0.54×(0.40)/0.43×0.28/0.24		円形	不明	
	ALH13HP7	L-43	0.16/0.04		円形	柱穴	
	ALH13HP8	L-43	0.14/0.10		円形	柱穴	
	ALH13HP9	L-43	0.12/0.11		円形	柱穴	
ALH14	ALH14HF1	J-40	0.35×0.27/0.08		楕円形	地床炉	
	ALH14HP1	J-40	0.20/0.28		円形	柱穴	
	ALH14HP2	J-40	0.12/0.09		円形	柱穴	
	ALH14HP3	J-40	0.10/0.10		円形	柱穴	
	ALH14HP4	J-40	0.10/0.08		円形	柱穴	
	ALH14HP5	J-40	0.18/0.14		円形	柱穴	
	ALH14HP6	J-40	0.07/0.04		円形	柱穴	
ALH15	ALH15HF2	K-42	0.79×0.58/0.08		楕円形	地床炉	
	ALH15HP1	K-42	0.57×0.46/0.50×0.44/0.06		円形	不明	

表1　遺構一覧(2)

遺構名	付属遺構名	位置	確認面の長径×短径/床面の長径×短径/深さ 直径/深さ	長軸方向	平面形	性格	時期
	ALH15HP2	K-42	0.86×0.56/0.70×0.39/0.06		楕円形	不明	
	ALH15HP3	J･K-42	0.60×0.44/0.50×0.30/0.05		楕円形	不明	
	ALH15HP4	J-42	1.20×0.94/0.96×0.66/0.32		楕円形	不明	
	ALH15HP5	K-41･42	0.60×0.54/0.46×0.44/0.22		楕円形	不明	
	ALH15HP6	J･K-42	0.52×(0.36)/0.45×(0.30)/0.22		円形	不明	
	ALH15HP7	K-42	0.16/0.18		円形	柱穴	
	ALH15HP8	K-41	0.58×0.34/0.47×0.18/0.07		楕円形	不明	
	ALH15HP9	K-42	1.18×0.60/1.08×0.44/0.04		楕円形	不明	
	ALH15HP10	K-42	0.09/0.18		円形	柱穴	
	ALH15HP11	K-42	0.13/0.16		円形	柱穴	
	ALH15HP12	K-42	0.13/0.11		円形	柱穴	
	ALH15HP13	K-43	0.12/0.11		円形	柱穴	
	ALH15HP14	J-43	0.12/0.07		円形	柱穴	
ALH17	ALH17HP1	M-43	0.14/0.24		円形	柱穴	
	ALH17HP2	M-43	0.16/0.08		円形	柱穴	

A地区　ALP

遺構名	位置	確認面の長径×短径(m)	床面の長径×短径(m)	最大深(m)	長軸方向	平面形	性格	時期
ALP1	Y･Z－45･46	3.70×2.45	－	1.75	南西-北東	不整形	水場遺構	Ⅳ群c類土器期
ALP2	Y･Z－46･47	2.15×1.78	2.10×1.23	1.60	南西-北東	楕円形	水場遺構	Ⅳ群c類土器期
ALP3	Z-47	1.85×1.28	－	0.35	南西-北東	楕円形	水場遺構	Ⅳ群c類土器期
ALP4	Z-47･48	1.44×1.62	－	1.55	南西-北東	楕円形	水場遺構	Ⅳ群c類土器期
ALP5	Y-47	1.07×0.75	－	－		不整形	不明	Ⅳ群c類土器期
ALP6	Y-47	2.58×1.50	－	－	北北西-南南東	不整楕円形	不明	Ⅳ群c類土器期
ALP7	W･X-46	1.05×0.97	－	－		不整円形	不明	Ⅳ群c類土器期
ALP8	W-46	0.72×0.54	－	－	北東-南西	楕円形	不明	Ⅳ群c類土器期
ALP9	c-47	0.40×0.36	－	0.45		不整形	杭穴	Ⅳ群c類土器期
ALP10	c-47	0.45×0.35	－	0.26		円形	杭穴	Ⅳ群c類土器期
ALP11	c-47	0.60×0.47	－	0.61		不整形	杭穴	Ⅳ群c類土器期
ALP12	b･c-47･48	0.35×0.29	－	－		円形	杭穴	Ⅳ群c類土器期
ALP13	b-46	0.24×0.20	－	0.13		円形	杭穴	Ⅳ群c類土器期
ALP14	d-47	0.30×0.27	－	0.23		円形	杭穴	Ⅳ群c類土器期
ALP15	X-43･44	0.86×0.63	0.38×0.25	0.25	北西-南東	楕円形	杭穴	Ⅳ群c類土器期
ALP16	X-43	1.25×1.01	0.70×0.46	0.13	西北西-東南東	楕円形	杭穴	Ⅳ群c類土器期
ALP17	W･X-43	1.18×1.01	0.47×0.56	0.18		円形	杭穴	Ⅳ群c類土器期
ALP18	X-43	1.67×1.09	0.93×0.64	0.26	北北西-南南東	不整楕円形	杭穴	Ⅳ群c類土器期
ALP19	Y-44	1.03×0.74	0.28×0.19	0.93	北西-南東	楕円形	杭穴	Ⅳ群c類土器期
ALP20	M-41	0.86×0.76	0.67×0.69	0.24		円形	土壙	Ⅰ群b-3類土器期
ALP21	M-42	0.40×0.38	0.29×0.27	0.16		円形	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP22	P-40	2.84×2.16	2.22×1.40	0.49	北東-南西	楕円形	土壙	Ⅰ群b-3類土器期
ALP23	N･O-39	2.20×1.72	1.86×1.31	0.16	北東-南西	楕円形	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP24	S･T-45	2.41×2.00	2.00×1.63	0.18	北西-南東	楕円形	土壙?	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP25	G･H-43	0.72×0.48	0.64×0.40	0.03	北東-南西	楕円形	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP27	K･L-41	1.82×1.78	1.72×1.62	0.06		円形	土壙	Ⅰ群b類類土器期
ALP28	M-41･42	0.67×0.62	0.58×0.50	0.10		円形	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP29	I-41･42	1.34×1.02	1.22×0.90	0.10	北北西-南南東	楕円形	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP30	G･H-41	1.82×1.32	1.40×1.06	0.12	北西-南東	隅丸長方形	土壙	Ⅱ群a-2類土器期
ALP31	I･J-43･44	2.04×1.90	1.88×1.78	0.12		円形	土壙	Ⅰ群b類類土器期
ALP32	H･I-41･42	1.50×0.80	1.22×0.54	0.22	北西-南東	楕円形	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP33	G･H-41	1.02×0.64	0.82×0.40	0.24	北東-南西	楕円形	土壙	Ⅱ群a類土器期
ALP34	I･J-41･42	2.12×2.00	1.07×1.36	0.12	北北西-南南東	楕円形	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP35	G･H-41	1.76×1.64	1.64×1.36	0.08		円形	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP36	H-41	0.64×0.44	0.44×0.32	0.10	北北東-南南西	楕円形	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP37	H-41	0.54×0.40	0.38×0.26	0.06	北西-南東	楕円形	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP38	H-40･41	0.74×0.58	0.60×0.50	0.04	北北西-南南東	楕円形	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP39	H-41	0.82×0.80	0.64×0.60	0.20		円形	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP40	J-41･42	1.96×(1.70)	1.42×1.32	0.28		円形	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP41	Q-41	0.19	－	0.45		円形	杭穴	不明
ALP42	Q-41･42	0.21	－	0.32		円形	杭穴	不明
ALP43	P-41	0.14	－	0.19		円形	杭穴	不明
ALP44	M-45	1.02×0.68	0.74×0.62	0.24		円形?	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP45	L-41	1.70×1.18	1.60×1.12	0.06		不整円形	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP46	K･L-43	0.67×0.18	0.58×0.10	0.26	北東-南西	楕円形?	土壙	Ⅱ群a-1類土器期
ALP47	N-38･39	1.24×0.64	0.71×0.43	0.44	北西-南東	楕円形	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP48	L･M-44	0.66×0.56	0.52×0.48	0.24		円形	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP49	L･M-44	0.66×0.62	0.62×0.56	0.24		円形	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP50	M-43･44	1.56×1.42	1.35×1.26	0.37		円形	土壙	Ⅰ群b-2類土器期
ALP51	K-43	0.78×(0.52)	0.56×(0.42)	0.12		不整円形	土壙	Ⅰ群b類土器期
ALP52	H-39	0.50×0.40	－	0.10	北西-南東	楕円形	不明	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP53	G-42	0.18	－	－		円形	杭穴	不明
ALP54	G-42･43	1.18×0.73	－	0.44		不整形	土壙?	不明
ALP55	O-47･48	1.84×1.84	1.74×1.66	0.11		不整円形	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP56	M-43	0.21	－	0.21		円形	杭穴	不明
ALP57	P-45	0.32	－	0.32	北西-南東	楕円形	杭穴	不明
ALP58	P-45	0.26	－	0.36		円形	杭穴	不明
ALP59	K-45	0.42×0.38	0.37×0.33	0.23		円形	土壙	Ⅰ群b類～Ⅱ群a類土器期
ALP60	H-40	0.38×0.26	－	－	北東-南西	楕円形	不明	不明

表１　遺構一覧(3)

A地区　遺構一覧（ＡＬＦ）

遺構名	位置	規模(m) 長径×短径／厚さ	平面形	色調	遺構名	位置	規模(m) 長径×短径／厚さ	平面形	色調
ALF1	-欠番-				ALF32	H-43	0.40×0.28/0.04	楕円形	にぶい橙色
ALF2	-欠番-				ALF33	I-44	0.52×0.34/0.06	不整楕円形	橙色
ALF3	Z-51	0.46×0.28	隅丸長方形	極暗赤褐色	ALF34	I-44	0.52×0.50/0.05	円形	黄橙色
ALF4	Z-51	0.36×0.24	楕円形	極暗赤褐色	ALF35	H-42	0.48×(0.24)/0.08	楕円形?	橙色
ALF5	Z-51	0.24×0.22	円形	極暗赤褐色	ALF36	H-42	0.44×0.40/0.03	円形	橙色
ALF6	Z-52	0.42×0.22	円形?	極暗赤褐色	ALF37	H-41	0.90×0.58/0.06	不整楕円形	橙色
ALF7	Z-51	0.65×0.33	不整長方形	極暗赤褐色	ALF38	H-41	0.38×0.38/0.03	円形	橙色
ALF8	Z-51	0.32×0.24/0.06	楕円形	にぶい赤褐色	ALF39	H-41	0.32×0.26/0.02	円形	明赤褐色
ALF9	f-49	0.80×(0.70)	不整形		ALF40	S-47	0.56×0.51/0.05	円形	極暗赤褐色
ALF10	f-49	0.88×(0.32)/0.06	不整長方形		ALF41	P-46	0.51×0.50/0.05	円形	極暗赤褐色
ALF11	f-49	0.98×0.61/0.03	不整形		ALF42	N-41	2.02×0.96/0.13	不整楕円形	暗赤褐色
ALF12	e-49	0.52×0.40/0.04	不整形		ALF43	N-41	0.45×0.40/0.03	円形	暗赤褐色
ALF13	e･f-48	1.22×0.59	不整形		ALF44	N-41	0.50×0.41/0.09	円形	暗赤褐色
ALF14	e-48	0.18×0.14	不整楕円形		ALF45	N-39	0.56×0.48/0.14	不整円形	暗赤褐色
ALF15	e-48	0.22×0.14	不整楕円形		ALF46	N-38･39	0.52×0.40/0.16	楕円形	暗赤褐色
ALF16	f-49	0.64×(0.25)/0.06	不整形		ALF47	G-39	0.70×0.58/0.09	不整楕円形	
ALF17	e･f-48･49	1.48×0.67	不整形		ALF48	H-39	0.21×0.17/0.04	円形	明赤褐色
ALF18	-欠番-				ALF49	H-39	0.47×0.46/0.03	不整円形	
ALF19	J-42	0.40×0.20/0.04	楕円形	にぶい赤褐色	ALF50	H-39	0.20×0.17/0.02	楕円形	
ALF20	J-41	0.52×0.50/0.08	円形	橙色	ALF51	H-38	0.50×0.48/0.06	不整円形	明赤褐色
ALF21	I-41	0.52×0.26/0.04	不整楕円形	橙色	ALF52	L-42	0.60×0.40/0.04	不整楕円形	にぶい赤褐色
ALF22	H-42	0.52×0.38/0.04	楕円形	橙色	ALF53	N-45	1.34×1.00/0.15	不整形	赤褐色
ALF23	H･I-43	0.52×0.30/0.08	不整楕円形	橙色	ALF54	I-40	0.18×0.12/0.04	楕円形	にぶい赤褐色
ALF24	I-43	0.32×0.26/0.04	不整円形	にぶい赤褐色	ALF55	I-40	0.42×0.08/0.04	不整形	にぶい赤褐色
ALF25	H-40	0.30×0.22/0.03	楕円形	明赤褐色	ALF56	I-40	0.46×0.26/0.04	楕円形	にぶい赤褐色
ALF26	G-40	0.40×(0.32)/0.06	楕円形?	橙色	ALF57	H-42	0.38×0.38/0.03	円形	橙色
ALF27	I･J-41	0.50×0.34/0.03	不整楕円形	橙色	ALF58	H-41	0.50×0.42/0.05	不整円形	橙色
ALF28	J-41	0.20×0.18/0.03	円形	にぶい赤褐色	ALF59	H-41	(0.38)×0.40/0.04	円形?	橙色
ALF29	G-41	0.44×0.24/0.04	不整楕円形	橙色	ALF60	-欠番-			
ALF30	G-41	0.46×0.44/0.06	円形	橙色	ALF61	H-38	0.89×0.73	不整方形	
ALF31	I-43	0.18×0.16/0.03	円形	暗赤褐色					

A地区　遺構一覧（ＡＭＦ）

遺構名	位置	規模(m) 長径×短径／厚さ	平面形	色調
AMF1	Y-53	0.54×(0.28)/0.06	楕円形?	にぶい赤褐色
AMF2	Y-52	0.50×0.30/0.04	楕円形	にぶい赤褐色
AMF3	a-51	0.48×(0.17)/0.10	楕円形?	にぶい赤褐色
AMF4	a-51	0.29×(0.19)/0.10	円形?	にぶい赤褐色
AMF5	Z-52	0.35(0.23)/0.04	楕円形?	にぶい赤褐色

表1 遺構一覧(4)

A地区 遺構一覧(ALSP)

遺構番号	位置	規模(m)		遺構番号	位置	規模(m)	
		検出面の直径	最大深			検出面の直径	最大深
ALSP1	Y-44	0.26	0.03	ALSP47	W-40	0.20	0.02
ALSP2	Y-44	0.23	0.05	ALSP48	Y-41	0.17	0.07
ALSP3	Y-44	0.24	0.03	ALSP49	Y-41	0.18	0.07
ALSP4	Y-43	0.29	0.04	ALSP50	Y-41	0.24	0.11
ALSP5	Y-44	0.29	0.21	ALSP51	X-41	0.20	0.15
ALSP6	Y-43	0.26	0.05	ALSP52	X-41	0.18	0.12
ALSP7	Y-43	0.26	0.04	ALSP53	b·c-47	0.26	0.55
ALSP8	Y·Z-43	0.28	0.22	ALSP54	b-47	0.21	0.45
ALSP9	Z-43	0.30	0.05	ALSP55	b-47	0.19	0.31
ALSP10	Y-43	0.28	0.22	ALSP56	c-47	0.19	—
ALSP11	Y-43	0.18	0.05	ALSP57	c-47	0.16	0.20
ALSP12	Y-43	0.25	0.02	ALSP58	c-47	0.36	0.49
ALSP13	Y-42	0.16	0.07	ALSP59	c-47	0.33	0.37
ALSP14	Y-42	0.21	0.08	ALSP60	c-47	0.21	0.28
ALSP15	Y-42	0.14	0.15	ALSP61	c-47	0.39	0.28
ALSP16	Y-41	0.12	0.07	ALSP62	d-48	0.07	0.07
ALSP17	X·Y-41	0.30	0.08	ALSP63	c-47	0.32	0.34
ALSP18	X-41	0.22	0.03	ALSP64	c-47	0.23	0.45
ALSP19	X-41	0.14	0.03	ALSP65	c-47	0.40	0.40
ALSP20	X-41	0.22	0.05	ALSP66	c-47	0.20	0.29
ALSP21	X-41	0.24	0.06	ALSP67	c-47	0.17	0.25
ALSP22	X-42	0.19	0.05	ALSP68	b-46	0.09	0.31
ALSP23	Y-42	0.15	0.16	ALSP69	b-46	0.12	0.19
ALSP24	X-40	0.21	0.03	ALSP70	b-46	0.10	0.19
ALSP25	X-43	0.30	0.05	ALSP71	b-47	0.12	0.21
ALSP26	X-41	0.25	0.04	ALSP72	b-47	0.29	0.30
ALSP27	X-40	0.19	0.03	ALSP73	b-47	0.28	0.27
ALSP28	X-40	0.22	0.12	ALSP74	b-47	0.21	0.28
ALSP29	X-40	0.12	0.03	ALSP75	b-47	0.21	0.30
ALSP30	X-40	0.16	0.06	ALSP76	b-47	0.13	0.23
ALSP31	X-40	0.42	0.26	ALSP77	b-47	0.22	0.31
ALSP32	X-40	0.17	0.10	ALSP78	b-47	0.27	0.38
ALSP33	X-40	0.15	0.03	ALSP79	b-47	0.13	0.29
ALSP34	W·X-40	0.19	0.02	ALSP80	b-47	0.13	0.24
ALSP35	X-41	0.16	0.02	ALSP81	b-47	0.31	—
ALSP36	X-41	0.14	0.03	ALSP82	b-47	0.31	0.33
ALSP37	X-41	0.18	0.09	ALSP83	b-46	0.47	0.38
ALSP38	W-41	0.18	0.07	ALSP84	b-46	0.19	0.41
ALSP39	W·X-41	0.20	0.03	ALSP85	V-45	0.22	0.20
ALSP40	W-41	0.26	0.06	ALSP86	V-45	0.22	0.27
ALSP41	W-41	0.16	0.07	ALSP87	V-45	0.22	0.18
ALSP42	W-41	0.16	0.02	ALSP88	U-44	0.14	0.19
ALSP43	W-41	0.15	0.03	ALSP89	V-44	0.13	0.10
ALSP44	W-40	0.10	0.02	ALSP90	V-44	0.11	0.12
ALSP45	W-40	0.18	0.03	ALSP91	V-44	0.14	0.12
ALSP46	W-40	0.15	0.03	ALSP92	V-44	0.09	0.11

表1　遺構一覧(5)

遺構番号	位　置	規　模(m)		遺構番号	位　置	規　模(m)	
		検出面の直径	最大深			検出面の直径	最大深
ALSP93	V-44	0.16	0.10	ALSP139	U-39	0.10	0.14
ALSP94	U·V-44	0.14	0.13	ALSP140	U-39	0.17	0.08
ALSP95	V-43	0.18	0.18	ALSP141	U-39	0.17	0.12
ALSP96	V-43	0.12	0.06	ALSP142	U-39	0.14	0.13
ALSP97	U-44	0.15	0.16	ALSP143	V-39	0.18	0.09
ALSP98	V-42	0.12	0.10	ALSP144	V-39	0.11	0.09
ALSP99	U-42	0.12	0.12	ALSP145	V-39	0.16	0.11
ALSP100	U-42	0.15	0.18	ALSP146	V-39	0.18	0.15
ALSP101	U-41	0.14	0.14	ALSP147	V-39	0.19	0.07
ALSP102	U-41	0.15	0.08	ALSP148	W-39	0.20	0.17
ALSP103	V-41	0.20	0.19	ALSP149	W-39	0.17	0.12
ALSP104	V-41	0.14	0.22	ALSP150	W-39	0.21	0.31
ALSP105	V-41	0.23	0.11	ALSP151	W-39	0.19	0.31
ALSP106	V-41	0.16	0.12	ALSP152	V·W-39	0.21	0.16
ALSP107	－欠番－			ALSP153	W-38	0.21	0.24
ALSP108	V-41	0.12	0.10	ALSP154	W-38	0.21	0.09
ALSP109	U-40	0.12	0.09	ALSP155	W-38	0.19	0.16
ALSP110	U-40	0.17	0.21	ALSP156	W-38	0.19	0.18
ALSP111	U-40	0.12	0.06	ALSP157	W-38	0.19	0.36
ALSP112	V-40	0.13	0.15	ALSP158	W-38	0.20	0.29
ALSP113	V-40	0.14	0.16	ALSP159	W-38	0.21	0.41
ALSP114	V-40	0.16	0.13	ALSP160	W-38	0.15	0.30
ALSP115	V-40	0.15	0.11	ALSP161	W-38	0.15	0.10
ALSP116	V-40	0.11	0.11	ALSP162	V-38	0.22	0.47
ALSP117	V-40	0.16	0.14	ALSP163	V-38	0.21	0.24
ALSP118	V-40	0.22	0.12	ALSP164	U-38	0.12	0.10
ALSP119	V-40	0.26	0.17	ALSP165	U-38	0.14	0.18
ALSP120	V-40	0.15	0.10	ALSP166	U-38	0.12	0.24
ALSP121	V-40	0.22	0.10	ALSP167	U-38	0.10	0.10
ALSP122	V-40	0.17	0.10	ALSP168	U-38	0.15	0.08
ALSP123	V-40	0.18	0.12	ALSP169	U-38	0.20	0.25
ALSP124	T-40	0.22	0.09	ALSP170	V-38	0.21	0.15
ALSP125	T-40	0.24	0.09	ALSP171	V-37	0.17	0.26
ALSP126	T-40	0.20	0.07	ALSP172	V-37	0.19	0.30
ALSP127	U-39	0.13	0.11	ALSP173	V-36	0.18	0.33
ALSP128	U-39·40	0.15	0.06	ALSP174	V-36	0.19	0.15
ALSP129	T-40	0.17	0.11	ALSP175	V-37	0.24	0.39
ALSP130	T-39	0.21	0.09	ALSP176	U·V-36	0.25	0.37
ALSP131	T-39	0.14	0.04	ALSP177	U-37	0.27	0.39
ALSP132	T-39	0.18	0.10	ALSP178	U-37	0.22	0.20
ALSP133	T-39	0.15	0.10	ALSP179	U-37	0.32	0.16
ALSP134	T·U-39	0.11	0.04	ALSP180	U-36	0.17	0.24
ALSP135	U-39	0.14	0.08	ALSP181	U-36	0.20	0.37
ALSP136	U-39	0.19	0.09	ALSP182	U-36	0.22	0.27
ALSP137	U-39	0.13	0.11	ALSP183	T-37	0.18	0.16
ALSP138	U-39	0.22	0.14	ALSP184	T-37	0.22	0.19

表1　遺構一覧(6)

遺構番号	位　置	規　模(m)		遺構番号	位　置	規　模(m)	
		検出面の直径	最大深			検出面の直径	最大深
ALSP185	T-37	0.15	0.14	ALSP191	S-37	0.10	0.02
ALSP186	T-37	0.19	0.13	ALSP192	S-37	0.15	0.07
ALSP187	T-37	0.20	0.32	ALSP193	S-37	0.17	0.09
ALSP188	S-38	0.15	0.11	ALSP194	S-37	0.15	0.05
ALSP189	S-38	0.14	0.03	ALSP195	S-37	0.11	0.03
ALSP190	S-38	0.17	0.03	ALSP196	S-37	0.15	0.05

表1　遺構一覧(7)

H地区										
遺構名	グリッド	規模(m)					長軸方向	平面形	性格	時期
		確認面の長径(上場)	確認面の短径(上場)	底面の長径(下場)	底面の短径(下場)	最大深(m)				
盛土										
HM1									盛土	縄文時代後期
HM2									盛土	縄文時代後期
HM3									盛土	縄文時代後期
大型柱穴列										
HLP410	e61	0.61	0.60			0.93		円形	大型柱穴列	縄文時代後期
HLP412	d61	0.50	0.45			0.78		円形	大型柱穴列	縄文時代後期
HLP522	e61	0.42	0.52			0.78		円形	大型柱穴列	縄文時代後期
HLP537	d61	0.48	0.46			0.70		円形	大型柱穴列	縄文時代後期
HLP001	e59	0.05	0.05			0.20		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP002	f59	0.36	0.50			0.56		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP003	e59	0.19	0.18			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP004	e59	0.38	0.24			0.33		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP005	e59	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP006	e59	0.17	0.31			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP007	e59	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP008	e59	0.24	0.24			0.25		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP009	e59	0.63	0.46	0.51	0.26	0.20		円形	HLH1入りロビット	縄文時代後期
HLP010	e59	1.05	0.25	0.70	0.10	0.20		長円形	HLH1入りロビット	縄文時代後期
HLP011	e59	0.05	0.05			0.20		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP012	e59	0.22	0.33			0.35		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP013	e59	0.15	0.18			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP014	e59	0.34	0.31			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP015	e59	0.21	0.38			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP016	e59	0.32	0.29			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP017	e59	0.24	0.26			0.24		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP018	e59	0.25	0.29			0.43		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP019	e59	0.46	0.35	0.30	0.23	0.20		楕円形	HLH1入りロビット	縄文時代後期
HLP020	e59	0.94	0.29	0.80	0.20	0.18		長円形	HLH1入りロビット	縄文時代後期
HLP021	e59	0.26	0.24			0.30		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP022	e59	0.14	0.21			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP023	e59	0.32	0.18			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP024	d59	0.20	0.28			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP025	e59	0.24	0.30			0.24		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP026	e59	0.23	0.28			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP027	d58	0.31	0.34			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP028	e59	0.16	0.15			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP029	e58	0.29	0.30			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP030	e58	0.25	0.24			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP031	e58	0.27	0.30			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP032	e58	0.19	0.23			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP033	f58	0.47	0.45			0.36		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP034	e58	0.26	0.28			0.27		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP035	e58	0.25	0.30			0.44		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP036	e58	0.35	0.40			0.22		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP037	e58	0.27	0.27			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP038	e58	0.25	0.30			0.28		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP039	e58	0.27	0.33			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP040	e58	0.18	0.23			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP041	e58	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP042	e58	0.11	0.20			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP043	e58	0.17	0.16			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP044	e58	0.20	0.23			0.36		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP045	e58	0.21	0.22			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP046	e58	0.18	0.24			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP047	e58	0.34	0.27			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP048	e58	0.30	0.26			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP049	e58	0.26	0.47			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP050	e58	0.29	0.30			0.34		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP051	e57	0.27	0.30			0.31		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP052	e58	0.47	0.55			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP053	f58	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP054	f58	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP055	f59	0.35	0.35			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP056	f59	0.24	0.20			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP057	f59	0.15	0.17			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP058	f59	0.21	0.27			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP059	e60	0.16	0.12			0.55		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP060	e60	0.10	0.06			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP061	e59	0.15	0.16			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP062	e59	0.18	0.27			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP063	e60	0.10	0.10			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期

表1　遺構一覧(8)

遺構名	グリッド	確認面の長径(上場)	確認面の短径(上場)	底面の長径(下場)	底面の短径(下場)	最大深(m)	長軸方向	平面形	性格	時期
HLP064	e59	0.28	0.30			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP065	e60	0.16	0.17			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP066	e60	0.14	0.15			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP067	e60	0.45	0.36			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP068	d60	0.15	0.14			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP069	d59	0.21	0.23			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP070	d60	0.21	0.23			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP071	d59	0.22	0.41			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP072	d59	0.54	0.43			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP073	d60	0.14	0.20			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP074	d59	0.17	0.20			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP075	d59	0.15	0.40			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP076	c59	0.20	0.38			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP077	c59	0.22	0.33			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP078	c59	0.18	0.23			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP079	d59	0.18	0.22			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP080	e59	0.50	0.35			0.22		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP081	d59	0.18	0.18			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP082	d59	0.15	0.18			0.01		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP083	d59	0.07	0.20			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP084	d59	0.38	0.41			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP085	d58	0.16	0.26			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP086	d59	0.15	0.19			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP087	d59	0.22	0.34			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP088	d59	0.33	0.30			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP089	d59	0.53	0.50			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP090	d59	0.20	0.18			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP091	d59	0.37	0.32			0.20		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP092	d59	0.16	0.25			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP093	d59	0.20	0.20			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP094	d59	0.27	0.37			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP095	d58	0.16	0.20			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP096	d58	0.31	0.26			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP097	d58	0.23	0.26			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP098	d58	0.27	0.25			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP099	d58	0.19	0.15			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP100	d58	0.14	0.26			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP101	d58	0.12	0.10			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP102	d58	0.19	0.23			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP103	d58	0.18	0.20			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP104	d58	0.23	0.17			0.31		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP105	c58	0.18	0.21			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP106	c58	0.26	0.25			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP107	c58	0.20	0.19			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP108	c58	0.17	0.35			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP109	c58	0.15	0.18			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP110	c58	0.67	0.42			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP111	c58	0.02	0.32			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP112	c58	0.18	0.18			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP113	c58	0.32	0.32			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP114	c58	0.17	0.25			0.37		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP115	c57	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP116	d57	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP117	d58	0.32	0.50			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP118	d58	0.15	0.15			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP119	d58	0.05	0.17			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP120	d58	0.19	0.23			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP121	d58	0.12	0.32			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP122	e58	0.37	0.37			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP123	e58	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP124	e58	0.27	0.20			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP125	e58	0.21	0.27			0.32		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP126	e58	0.27	0.36			0.21		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP127	e58	0.19	0.24			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP128	e58	0.25	0.29			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP129	e59	0.28	0.47			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP130	e59	0.14	0.06			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP131	f58	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP132	f59	0.22	0.32			0.30		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP133	f59	0.15	0.07			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP134	f59	0.21	0.21			0.18		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP135	d57	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代早期
HLP135	d57	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP136	f58	0.90	0.18	0.80	0.10	0.13		円形	HLH2入りロピット	縄文時代後期
HLP137	f57	0.30	0.31			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP138	f57	0.49	0.46			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期

表1　遺構一覧(9)

遺構名	グリッド	確認面の長径(上場)	確認面の短径(上場)	底面の長径(下場)	底面の短径(下場)	最大深(m)	長軸方向	平面形	性格	時期
HLP139	e57	0.18	0.19			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP140	e57	0.23	0.26			0.28		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP141	e57	0.19	0.16			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP142	e57	0.16	0.20			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP143	e57	0.13	0.18			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP144	e57	0.23	0.23			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP145	e57	0.08	0.17			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP146	e57	0.15	0.20			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP147	e57	0.25	0.27			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP148	e57	0.30	0.29			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP149	e57	0.14	0.00			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP150	e57	0.16	0.00			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP151	e57	0.16	0.25			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP152	e57	0.16	0.16			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP153	e57	0.27	0.39			0.43		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP154	e57	0.21	0.24			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP155	e57	0.18	0.31			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP156	e56	0.17	0.19			0.20		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP157	e57	0.29	0.00			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP158	e57	0.29	0.33			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP159	e57	0.15	0.16			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP160	e57	0.28	0.32			0.44		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP161	f57	0.21	0.24			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP162	f57	0.18	0.20			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP163	f57	0.28	0.31			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP164	f57	0.26	0.30			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP165	f57	0.19	0.38			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP166	f57	0.14	0.14			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP167	f57	0.16	0.16			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP168	f56	0.31	0.33			0.51		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP169	f56	0.22	0.23			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP170	f56	0.40	0.30			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP171	f56	0.36	0.33			0.27		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP172	f56	0.20	0.21			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP173	f56	0.18	0.24			0.20		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP174	f56	0.13	0.00			0.23		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP175	f56	0.05	0.00			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP176	f56	0.21	0.24			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP177	f56	0.36	0.30			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP178	f56	0.06	0.00			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP179	e56	0.21	0.22			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP180	e56	0.18	0.23			0.22		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP181	e56	0.97	0.51			0.28		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP182	e56	0.16	0.00			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP183	e56	0.30	0.27			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP184	e56	0.17	0.18			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP185	e56	0.25	0.22			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP186	e56	0.15	0.00			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP187	e56	0.18	0.29			0.18		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP188	e56	0.12	0.00			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP189	e56	0.22	0.34			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP190	e56	0.30	0.28			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP191	e56	0.24	0.26			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP192	d56	0.15	0.17			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP193	d56	0.13	0.14			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP194	e56	0.10	0.00			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP195	d56	0.25	0.27			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP196	d56	0.31	0.34			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP197	d56	0.19	0.32			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP198	d56	0.12	0.00			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP199	d56	0.12	0.27			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP200	d56	0.23	0.27			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP201	d56	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP202	d56	0.17	0.30			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP203	d56	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP204	d57	0.12	0.12			0.20		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP205	d57	0.18	0.21			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP206	d57	0.25	0.55			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP207	e57	0.90	0.18	0.75	0.10	0.10		円形	HLH2入りロピット	縄文時代後期
HLP208	d57	0.18	0.18			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP209	d56	0.23	0.21			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP210	d56	0.46	0.37			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP211	d56	0.20	0.24			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP212	d55	0.16	0.00			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP213	e55	0.17	0.30			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP214	e57	0.05	0.05			0.10		円形	HLH2入りロピット	縄文時代後期
HLP215	c57	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期

表1　遺構一覧(10)

遺構名	グリッド	確認面の長径(上場)	確認面の短径(上場)	底面の長径(下場)	底面の短径(下場)	最大深(m)	長軸方向	平面形	性格	時期
HLP215	c57	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP216	c56	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP216	c56	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP217	e59	0.29	0.22			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP218	e59	0.50	0.24			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP219	e59	0.36	0.26			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP220	e59	0.26	0.32			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP221	e59	0.37	0.17			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP222	e59	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP223	e59	0.18	0.22			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP224	d59	0.15	0.00			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP225	c58	0.17	0.38			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP226	d58	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP227	d58	0.80	0.30			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP228	e58	0.82	0.44			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP229	e58	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP230	e58	0.20	0.41			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP231	e58	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP232	f54	0.27	0.34			0.22		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP233	e58	0.33	0.26			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP234	e58	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP235	e58	0.17	0.21			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP236	f58	0.65	0.27			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP237	e58	0.23	0.21			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP238	e57	0.18	0.20			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP239	e58	0.19	0.20			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP240	e58	0.19	0.39			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP241	e57	0.15	0.15			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP242	e57	0.19	0.35			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP243	e57	0.16	0.23			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP244	e57	0.24	0.21			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP245	e57	0.15	0.21			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP246	e57	0.15	0.34			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP247	e57	0.15	0.20			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP248	e57	0.19	0.20			0.20		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP249	e56	0.10	0.00			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP250	d57	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP251	d57	0.30	0.00			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP252	c57	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP253	d57	0.29	0.30			0.01		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP254	d57	0.30	0.28			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP255	d57	0.17	0.19			0.21		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP256	d57	0.33	0.42			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP257	d57	0.19	0.27					円形	柱穴	縄文時代後期
HLP258	d57	0.17	0.26			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP259	d56	0.20	0.23			0.34		円形	柱穴	縄文時代後期中葉
HLP260	d56	0.17	0.23			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP261	d56	0.48	0.42			0.23		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP262	d56	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP263	d56	0.21	0.23			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP265	d56	0.14	0.00			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP266	e56	0.19	0.20			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP267	e56	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP268	d56	0.17	0.20			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP269	d56	0.31	0.34			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP270	d56	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP271	c56	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP272	d56	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP273	c56	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP274	d56	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP275	d55	0.30	0.53			0.28		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP276	d55	0.28	0.26			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP277	d55	0.25	0.23			0.26		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP278	d55	0.40	0.38			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP279	d55	0.31	0.23			0.27		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP280	d55	0.24	0.22			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP281	d55	0.22	0.24			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP282	e55	0.19	0.28			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP283	e55	0.32	0.34			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP284	e55	0.16	0.19			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP285	e55	0.13	0.00			0.01		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP286	e55	0.19	0.40			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP287	e55	0.20	0.00			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP288	e55	0.20	0.29			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP289	e55	0.23	0.25			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP290	e55	0.33	0.44			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP291	e55	0.23	0.24			0.27		円形	柱穴	縄文時代後期

表1　遺構一覧(11)

遺構名	グリッド	確認面の長径(上場)	確認面の短径(上場)	底面の長径(下場)	底面の短径(下場)	最大深(m)	長軸方向	平面形	性格	時期
HLP292	e55	0.22	0.28			0.18		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP293	e55	0.18	0.31			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP294	e55	0.29	0.33			0.20		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP295	e55	0.21	0.21			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP296	e55	0.13	0.21			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP297	e55	0.21	0.48			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP298	e55	0.19	0.20			0.22		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP299	e55	0.12	0.00			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP300	e55	0.20	0.34			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP301	e55	0.17	0.19			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP302	e55	0.25	0.24			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP303	e55	0.25	0.27			0.23		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP304	f55	0.20	0.33			0.21		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP305	f55	0.20	0.22			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP306	f55	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP307	e55	0.61	0.63			0.88		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP308	e55	0.19	0.21			0.23		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP309	e55	0.20	0.21			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP310	f56	0.20	0.20			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP311	f55	0.07	0.00			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP312	f55	0.06	0.00			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP313	f55	0.24	0.28			0.34		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP314	f55	0.15	0.17			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP315	f55	0.26	0.30			0.38		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP316	f56	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP317	f56	0.20	0.19			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP318	f56	0.23	0.30			0.28		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP319	f55	0.14	0.00			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP320	f55	0.20	0.20			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP321	f55	0.07	0.00			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP322	f55	0.06	0.00			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP323	f55	0.12	0.00			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP324	f55	0.18	0.22			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP325	f54	0.20	0.18			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP326	f55	0.21	0.25			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP327	f54	0.20	0.23			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP328	f54	0.21	0.20			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP329	f54	0.10	0.10			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP330	f54	0.33	0.32			0.38		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP331	f54	0.06	0.00			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP332	d55	1.96	1.48	1.26	1.00	0.35	NNE-SSW	楕円形	土壙	縄文時代後期
HLP333	e61	1.38	0.82	1.10	0.70	0.25	NEE-SWW	楕円形	土壙	縄文時代後期
HLP334	f53	0.22	0.24			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP335	f55	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP336	e55	0.20	0.29			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP337	e55	0.18	0.24			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP338	d55	0.39	0.35			0.39		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP339	e55	0.31	0.31			0.25		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP340	f53	0.15	0.00			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP341	f53	0.11	0.00			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP342	e53	0.20	0.19			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP343	e53	0.17	0.19			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP344	e53	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP345	e53	0.16	0.19			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP346	e53	0.35	0.36			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP347	f53	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP348	f53	0.13	0.00			0.18		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP349	f53	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP350	f53	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP351	f53	0.38	0.43			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP352	f53	0.17	0.00			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP353	f53	0.25	0.42			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP354	f53	0.28	0.28			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP355	f53	0.32	0.38			0.48		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP356	e53	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP357	d60	0.19	0.22			0.25		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP358	c60	0.14	0.17			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP359	c60	0.20	0.23			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP360	c60	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP361	c60	0.19	0.20			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP362	c60	0.13	0.21			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP363	c60	0.20	0.33			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP364	c60	0.18	0.19			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP365	c60	0.27	0.27			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP366	b60	0.14	0.22			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP367	c60	0.15	0.19			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP368	c60	0.11	0.00			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期

表１　遺構一覧(12)

遺構名	グリッド	確認面の長径(上場)	確認面の短径(上場)	底面の長径(下場)	底面の短径(下場)	最大深(m)	長軸方向	平面形	性格	時期
HLP369	c60	0.07	0.14			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP370	c59	0.21	0.30			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP371	c59	0.15	0.18			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP372	c59	0.28	0.26			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP373	c59	0.16	0.19			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP374	c59	0.30	0.41			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP375	c58	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP376	c59	0.18	0.21			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP377	c59	0.14	0.18			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP378	c60	0.28	0.33			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP379	d59	0.13	0.00			0.01		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP380	d59	0.12	0.00			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP381	d59	0.20	0.29			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP382	e59	0.13	0.00			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP383	e59	0.27	0.27			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP384	c59	0.23	0.24			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP385	f54	0.14	0.12			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP386	d61	0.36	0.37			0.28		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP387	d60	0.30	0.25			0.20		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP388	d60	0.37	0.32			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP389	d61	0.16	0.21			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP390	d60	0.22	0.27			0.41		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP391	d60	0.37	0.27			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP392	d60	0.23	0.26			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP393	e61	0.20	0.24			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP394	e61	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP395	e60	0.21	0.20			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP396	e60	0.20	0.33			0.22		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP397	e60	0.22	0.24			0.21		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP398	e60	0.16	0.16			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP399	e60	0.54	0.57			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP400	e60	0.14	0.29			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP401	e60	0.17	0.25			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP402	e60	0.19	0.00			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP403	e60	0.13	0.21			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP404	e60	0.19	0.22			0.33		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP405	f60	0.08	0.00			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP406	e60	0.12	0.11			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP407	e61	0.20	0.24			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP408	e61	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP409	e61	0.29	0.32			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP411	e61	0.50	0.64			0.46		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP413	i52	0.15	0.18			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP414	d54	0.60	0.65			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP415	e54	0.68	0.88			0.18		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP416	e54	0.22	0.23			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP417	e54	0.21	0.21			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP418	e54	0.05	0.00			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP419	e54	0.30	0.27			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP420	e54	0.18	0.42			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP421	e54	0.37	0.43			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP422	e54	0.27	0.29			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP423	d54	0.62	0.50			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP424	d54	0.15	0.28			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP425	d54	0.37	0.43			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP426	d54	0.37	0.30			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP427	d54	0.32	0.46			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP428	d54	0.20	0.22			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP429	d54	0.13	0.17			0.22		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP430	d54	0.24	0.26			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP431	d53	0.05	0.05			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP432	d53	0.20	0.34			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP433	d53	0.30	0.37			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP434	e53	0.36	0.34			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP435	e53	0.21	0.24			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP436	e53	0.17	0.24			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP437	e53	0.27	0.28			0.21		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP438	e53	0.44	0.43			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP439	e53	0.32	0.42			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP440	e53	0.16	0.20			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP441	e53	0.83	0.47			0.23		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP442	e53	0.17	0.29			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP443	e53	0.21	0.28			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP444	e53	0.32	0.43			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP445	e53	0.14	0.00			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP446	e53	0.37	0.42			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP447	e53	0.28	0.30			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期

表１　遺構一覧(13)

遺構名	グリッド	確認面の長径(上場)	確認面の短径(上場)	底面の長径(下場)	底面の短径(下場)	最大深(m)	長軸方向	平面形	性格	時期
HLP448	f52	0.20	0.23			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP449	f52	0.21	0.28			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP450	f52	0.32	0.37			0.35		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP451	f52	0.14	0.16			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP452	f52	0.20	0.26			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP453	g52	0.21	0.28			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP454	g52	0.16	0.16			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP455	g52	0.11	0.00			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP456	g53	0.22	0.22			0.31		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP457	f52	0.08	0.08			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP458	f52	0.06	0.06			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP459	f52	0.18	0.26			0.25		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP460	f53	0.20	0.00			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP461	i52	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP462	f54	0.22	0.23			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP463	f54	0.41	0.40			0.70		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP464	e54	0.35	0.29			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP465	d54	0.49	0.50			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP466	d60	0.08	0.09			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP467	d60	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP468	d60	0.32	0.41			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP469	d60	0.10	0.14			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP470	e60	0.11	0.09			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP471	d60	0.21	0.22			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP472	d60	0.19	0.22			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP473	d60	0.24	0.23			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP474	d60	0.20	0.26			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP475	d60	0.26	0.24			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP476	d60	0.19	0.20			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP477	d60	0.14	0.15			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP478	d60	0.50	0.31			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP479	d60	0.22	0.25			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP480	d60	0.22	0.30			0.28		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP481	d60	0.22	0.30			0.28		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP482	d60	0.13	0.16			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP483	d60	0.10	0.20			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP484	d60	0.22	0.17			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP485	d60	0.18	0.17			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP486	h52	0.19	0.32			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP487	h52	0.25	0.32			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP488	h52	0.21	0.23			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP489	h52	0.32	0.44			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP490	h52	0.30	0.38			0.22		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP491	h52	0.28	0.54			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP492	h52	0.21	0.21			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP493	h52	0.18	0.18			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP494	h52	0.15	0.16			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP495	h52	0.18	0.00			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP496	h52	0.21	0.37			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP497	h52	0.22	0.23			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP498	h52	0.17	0.00			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP499	e62	0.36	0.00			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP500	e61	0.14	0.15			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP501	e61	0.17	0.19			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP502	e61	0.18	0.21					円形	柱穴	縄文時代後期
HLP503	f61	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP504	e62	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP505	e62	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP506	e62	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP507	e61	0.30	0.21			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP508	e61	0.21	0.26			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP509	e62	0.18	0.25			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP510	e62	0.21	0.17			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP511	e62	0.14	0.19			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP512	e61	0.32	0.35			0.47		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP513	e61	0.28	0.45			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP514	e61	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP515	e61	0.19	0.19			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP516	e61	0.20	0.23			0.22		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP517	e61	0.22	0.34			0.22		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP518	e61	0.54	0.45			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP519	e61	0.27	0.26			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP520	e61	0.08	0.00			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP521	e61	0.31	0.29					円形	柱穴	縄文時代後期
HLP523	d61	0.20	0.22			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP524	d61	0.23	0.25			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP525	d61	0.10	0.08			0.22		円形	柱穴	縄文時代後期

表1　遺構一覧(14)

遺構名	グリッド	確認面の長径(上場)	確認面の短径(上場)	底面の長径(下場)	底面の短径(下場)	最大深(m)	長軸方向	平面形	性格	時期
HLP526	d61	0.30	0.20			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP527	d61	0.21	0.17			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP528	d61	0.22	0.20			0.27		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP529	d61	0.23	0.47			0.18		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP530	d61	0.82	0.44			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP531	d61	0.13	0.22			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP532	d61	0.32	0.37			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP533	e61	0.22	0.24			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP534	e61	0.31	0.35			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP535	d61	0.96	0.34			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP536	d61	0.15	0.18			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP538	d61	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP539	d61	0.33	0.33			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP540	d61	0.20	0.16			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP541	d61	0.17	0.36			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP542	d61	0.20	0.30			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP543	d60	0.23	0.26			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP544	c61	0.16	0.35			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP545	c61	0.17	0.00			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP546	c61	0.28	0.00			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP547	c60	0.18	0.16			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP548	c60	0.19	0.28			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP549	c61	0.31	0.35			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP550	c61	0.53	0.73			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP551	c61	0.24	0.25			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP552	c61	0.28	0.29			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP553	c61	0.29	0.38			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP554	c61	0.45	0.62			0.18		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP555	c60	0.26	0.22			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP556	d60	0.49	0.44			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP557	d60	0.37	0.00			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP558	d60	0.17	0.17			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP559	d60	0.14	0.20			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP560	e61	0.23	0.34			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP561	e60	0.19	0.23			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP562	e61	0.17	0.26			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP563	e53	0.05	0.05			0.10		円形	土壙	縄文時代後期
HLP564	e60	0.20	0.24			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP565	e60	0.24	0.25			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP566	e60	0.16	0.21			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP567	e60	0.32	0.39			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP568	e60	0.48	0.37			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP569	f60	0.16	0.18			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP570	f60	0.29	0.37			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP571	f59	0.33	0.00			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP572	f59	0.30	0.26			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP573	f59	0.19	0.20			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP574	f59	0.21	0.00			0.50		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP575	f59	0.24	0.33			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP576	f59	0.31	0.31			0.23		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP577	f59	0.21	0.00			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP578	e59	0.31	0.42			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP579	e59	0.40	0.41			0.29		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP580	e59	0.21	0.20			0.20		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP581	e59	0.11	0.00			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP582	e59	0.16	0.15			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP583	e60	0.30	0.22			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP584	e59	0.25	0.19			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP585	e60	0.40	0.34			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP586	e59	0.35	0.28			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP587	e62	0.15	0.18			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP588	e59	0.35	0.26			0.27		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP589	e59	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP590	e59	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP591	e59	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP592	e59	0.20	0.21			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP593	e59	0.15	0.23			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP594	e59	0.22	0.27			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP595	e59	0.16	0.17			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP596	e60	0.15	0.16			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP597	e59	0.17	0.21			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP598	e60	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP599	e59	0.10	0.21			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP600	e59	0.08	0.16			0.01		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP601	e59	0.12	0.35			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP602	e59	0.24	0.38			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP603	e59	0.16	0.18			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期

表1　遺構一覧(15)

遺構名	グリッド	確認面の長径(上場)	確認面の短径(上場)	底面の長径(下場)	底面の短径(下場)	最大深(m)	長軸方向	平面形	性格	時期
HLP604	d59	0.49	0.32			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP605	d60	0.20	0.29			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP606	d59	0.32	0.24			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP607	d59	0.19	0.20			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP608	d58	0.25	0.46			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP609	d58	0.48	0.47			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP610	d59	0.15	0.17			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP611	d59	0.15	0.23			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP612	d59	0.20	0.25			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP613	c59	0.43	0.47			0.24		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP614	c59	0.25	0.18			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP615	c59	0.22	0.18			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP616	c59	0.22	0.17			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP617	c59	0.52	0.56			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP618	c60	0.24	0.25			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP619	b61	0.48	0.24			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP620	b61	0.84	0.34			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP621	b61	0.16	0.00			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP622	b61	0.19	0.00			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP623	c59	0.27	0.28			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP624	b59	0.46	0.27			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP625	c59	0.25	0.43			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP626	c58	0.18	0.23			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP627	c58	0.32	0.40			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP628	c58	0.20	0.21			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP629	c58	0.18	0.21			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP630	c58	0.19	0.24			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP631	c58	0.17	0.00			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP632	c58	0.35	0.25			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP633	c58	0.17	0.25			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP634	c58	0.17	0.18			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP635	c58	0.24	0.30			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP636	c58	0.16	0.25			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP637	c58	0.17	0.20			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP638	c58	0.20	0.27			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP639	d58	0.16	0.00			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP640	c58	0.49	0.40			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP641	c58	0.18	0.26			0.18		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP642	d58	0.15	0.20			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP643	d58	0.20	0.24			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP644	d58	0.29	0.29			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP645	d58	0.27	0.25			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP646	d58	0.11	0.13			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP647	d58	0.36	0.29			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP648	d58	0.20	0.21			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP649	d58	0.15	0.36			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP650	d58	0.44	0.41			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP651	d58	0.19	0.20			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP652	d58	0.28	0.22			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP653	e59	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP654	e58	0.20	0.44			0.24		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP655	e58	0.19	0.28			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP656	e58	0.36	0.34			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP657	e58	0.33	0.27			0.20		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP658	e58	0.23	0.25			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP659	e58	0.23	0.78			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP660	e58	0.27	0.43			0.18		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP661	f58	0.20	0.39			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP662	f58	0.14	0.26			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP663	e58	0.15	0.19			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP664	e58	0.14	0.18			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP665	e58	0.27	0.31			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP666	e58	0.33	0.30			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP667	e58	0.25	0.25			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP668	e58	0.16	0.21			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP669	e58	0.13	0.16			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP670	d54	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代早期
HLP671	d58	0.14	0.16			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP672	d58	0.36	0.41			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP673	d58	0.25	0.24			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP674	d57	0.25	0.26			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP675	d58	0.51	0.25			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP676	c58	0.22	0.23			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP677	c57	0.19	0.35			0.21		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP678	c57	0.38	0.39			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP679	c57	0.14	0.18			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP680	c57	0.32	0.33			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期

表1　遺構一覧(16)

遺構名	グリッド	確認面の長径(上場)	確認面の短径(上場)	底面の長径(下場)	底面の短径(下場)	最大深(m)	長軸方向	平面形	性格	時期
HLP681	c57	0.26	0.43			0.20		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP682	c57	0.18	0.23			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP683	c57	0.51	0.48			0.25		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP684	c57	0.22	0.17			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP685	c57	0.20	0.21			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP686	c57	0.24	0.33			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP687	c57	0.27	0.35			0.36		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP688	d57	0.26	0.27			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP689	c57	0.20	0.23			0.32		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP690	d57	0.23	0.21			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP691	d57	0.26	0.29			0.21		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP692	d57	0.20	0.26			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP693	d57	0.28	0.27			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP694	d57	0.37	0.31			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP695	d57	0.49	0.22			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP696	d57	0.27	0.36			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP697	d57	0.24	0.36			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP698	d57	0.19	0.43			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP699	d57	0.21	0.23			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP700	d57	0.26	0.66			0.26		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP701	d57	0.79	0.27			0.21		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP702	d57	1.35	0.80			0.33		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP703	d57	0.16	0.16			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP704	d57	0.18	0.23			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP705	e58	0.13	0.12			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP706	e57	0.19	0.21			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP707	e57	0.20	0.21			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP708	e57	0.23	0.18			0.18		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP709	e57	0.88	0.80			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP710	e57	0.17	0.20			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP711	e57	0.27	0.32			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP712	f57	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP713	f57	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP714	f57	0.32	0.23			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP715	f57	0.30	0.29			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP716	f56	1.94	0.84			0.33		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP717	e56	0.55	2.90			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP718	e56	0.23	0.26			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP719	e56	0.17	0.18			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP720	e56	0.13	0.20			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP721	e56	0.15	0.17			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP722	e56	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP723	e56	0.20	0.17			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP724	e56	0.12	0.16			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP725	e56	0.19	0.21			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP726	e56	0.23	0.38			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP727	e56	0.24	0.39			0.20		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP729	e56	0.17	0.28			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP730	e56	0.24	0.24			0.24		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP731	e56	0.32	0.34			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP732	e56	0.29	0.25			0.24		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP733	e56	0.27	0.32			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP734	e56	0.24	0.27			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP735	e56	0.32	0.49			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP736	e56	0.44	0.35			0.22		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP737	e56	0.17	0.00			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP738	e56	1.20	0.58			0.34		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP739	e56	0.17	0.00			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP740	e56	0.17	0.00			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP741	d56	0.32	0.22			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP742	d56	0.17	0.31			0.21		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP743	d56	0.56	0.50			0.25		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP744	d56	0.19	0.00			0.66		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP745	d56	0.13	0.28			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP746	d56	0.19	0.00			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP747	d56	0.42	0.28			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP748	d56	0.20	0.35			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP750	d56	0.19	0.00			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP751	d56	0.38	0.51			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP752	d56	0.21	0.35			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP753	d56	0.26	0.33			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP754	d56	0.23	0.21			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP755	d56	0.20	0.23			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP756	d56	0.26	0.33			0.24		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP757	d56	0.12	0.00			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP758	d56	0.27	0.31			0.29		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP759	d56	0.33	0.29			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期

表1　遺構一覧(17)

遺構名	グリッド	確認面の長径(上場)	確認面の短径(上場)	底面の長径(下場)	底面の短径(下場)	最大深(m)	長軸方向	平面形	性格	時期
HLP760	d56	0.20	0.28			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP761	c55	0.16	0.17			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP762	c55	0.52	0.33			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP763	d55	0.25	0.36			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP764	d55	0.15	0.00			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP765	d55	0.16	0.21			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP766	d55	0.12	0.00			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP767	d55	0.37	0.34			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP768	d55	0.27	0.68			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP769	d55	0.13	0.00			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP770	d55	0.15	0.00			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP771	d55	0.20	0.20			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP772	d55	0.19	0.00			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP773	d55	0.21	0.22			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP774	d55	0.16	0.17			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP775	d55	0.65	0.54			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP776	d55	0.33	0.41			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP777	d55	0.18	0.00			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP778	d55	0.40	0.40			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP779	d55	0.32	0.31			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP780	d55	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP781	d55	0.19	0.31			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP782	d55	0.14	0.00			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP783	e55	0.12	0.28			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP784	e55	0.13	0.33			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP785	e55	0.24	0.39			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP786	e55	0.33	0.40			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP787	e55	0.34	0.44			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP788	e55	0.17	0.13			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP789	e54	0.29	0.28			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP790	e54	0.34	0.43			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP791	e54	0.28	0.30			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP792	e54	0.09	0.39			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP793	e54	0.20	0.20			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP794	e54	0.24	0.36			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP795	e54	0.24	0.25			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP796	d54	0.91	1.07			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP797	d54	0.19	0.20			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP798	d54	0.20	0.21			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP799	d54	0.34	0.40			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP800	d54	0.09	0.15			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP801	d54	0.16	0.00			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP802	d54	0.19	0.23			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP803	d53	0.44	0.45			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP804	d53	0.20	0.18			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP805	e53	0.22	0.25			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP806	e53	0.08	0.14			0.02		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP807	e53	0.23	0.22			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP808	e53	0.27	0.39			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP809	e53	0.36	0.41			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP810	e53	0.20	0.23			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP811	e53	0.22	0.00			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP812	e52	0.33	0.34			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP813	f52	0.30	0.39			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP814	f52	0.28	0.25			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP815	f52	0.29	0.27			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP816	f52	0.21	0.23			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP817	e52	0.65	0.44			0.25		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP818	e52	0.25	0.20			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP819	e52	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP820	e52	0.17	0.00			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP821	e52	0.23	0.37			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP822	e52	0.37	0.34			0.26		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP823	e52	0.56	0.49			0.23		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP824	e52	0.22	0.23			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP825	e52	0.28	0.00			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP826	e52	0.33	0.31			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP827	e52	0.33	0.25			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP828	e52	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP829	f52	0.19	0.22			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP830	f52	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP831	f52	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP832	g52	0.17	0.30			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP833	f51	0.22	0.27			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP834	d55	0.22	0.10			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP835	e61	0.17	0.00			0.24		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP836	e61	0.17	0.16			0.03		円形	柱穴	縄文時代後期

表1　遺構一覧(18)

遺構名	グリッド	確認面の長径(上場)	確認面の短径(上場)	底面の長径(下場)	底面の短径(下場)	最大深(m)	長軸方向	平面形	性格	時期
HLP837	e61	0.14	0.20			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP838	e60	0.19	0.00			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP839	d60	0.17	0.21			0.20		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP840	e59	0.15	0.19			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP841	e59	0.56	0.33			0.38		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP842	e59	0.15	0.19			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP843	e59	0.10	0.08			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP844	e59	0.16	0.29			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP845	e58	0.20	0.22			0.47		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP846	c57	0.30	0.26			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP847	c57	0.10	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP848	e56	0.05	0.05			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP849	f56	0.24	0.20			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP850	f56	0.11	0.22			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP851	f56	0.25	0.27			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP852	e54	0.22	0.33			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP853	c55	0.25	0.20			0.27		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP854	c55	0.36	0.37			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP855	c55	0.59	0.52			0.20		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP856	c55	0.22	0.28			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP857	e53	0.11	0.22			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP858	f52	0.52	0.56			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP859	f52	0.27	0.44			0.27		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP860	f52	0.11	0.22			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP861	f51	0.22	0.28			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP862	f51	0.20	0.21			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP863	f51	0.33	0.26			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP864	f51	0.22	0.21			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP865	g51	0.20	0.25			0.29		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP866	g51	0.19	0.22			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP867	h51	0.19	0.22			0.24		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP868	e55	0.19	0.22			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP869	e59	0.25	0.28			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP870	e58	0.20	0.45			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP871	d61	0.13	0.29			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP872	d61	0.15	0.18			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP873	e52	0.57	0.70			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP874	e52	0.25	0.00			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
HLP875	g54	0.31	0.41			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
焼土										
HLF001	e58	0.74	0.61			0.10		円形	HLH1炉跡	縄文時代後期
HLF002	e59	0.50	0.35					楕円形		縄文時代後期
HLF003	f57	0.43	0.39			0.05		円形	HLH2炉跡	縄文時代後期
HLF004	f57	0.33	0.20			0.06		楕円形	HLH2炉跡	縄文時代後期
HLF005	e55	0.22	0.28					楕円形		縄文時代後期
HLF006	g49	0.20	0.21					楕円形		縄文時代後期
HLF007	c59	0.33	0.26					楕円形		縄文時代後期
HLF008	b60	0.22	0.21					楕円形		縄文時代後期
HLF009	c59	0.20	0.25					楕円形		縄文時代後期
HLF010	d58	0.19	0.22					楕円形		縄文時代後期
HLF011	e.f52	0.19	0.22					楕円形		縄文時代後期
HMF001	c57	0.20	0.18					楕円形		縄文時代後期
HMF002	d54	0.20	0.20					楕円形		縄文時代後期
HMF003	d54	0.15	0.18					楕円形		縄文時代後期
HMF004	d54	0.18	0.00					楕円形		縄文時代後期
HMF005	c54	0.40	0.40					楕円形		縄文時代後期
HMF006	c55	0.32	0.31					楕円形		縄文時代後期
HMF007	d54	0.50	0.40					楕円形		縄文時代後期
HMF008	d54	0.19	0.31					楕円形		縄文時代後期
HMF009	d55	0.14	0.00					楕円形		縄文時代後期
HMF010	d55	0.12	0.28					楕円形		縄文時代後期
HMF011	c55	0.13	0.33					楕円形		縄文時代後期
HMF012	c55	0.24	0.39					楕円形		縄文時代後期
HMF013	d53	0.33	0.40					楕円形		縄文時代後期
HMF014	d53	0.34	0.44					楕円形		縄文時代後期
HMF015	d53	0.17	0.13					楕円形		縄文時代後期
HMF016	d53	0.29	0.28					楕円形		縄文時代後期
HMF017	d53	0.34	0.43					楕円形		縄文時代後期
HMF018	e60	0.28	0.30					楕円形		縄文時代後期
HMF019	d60	0.09	0.39					楕円形		縄文時代後期
HMF020	i51	0.20	0.20					楕円形		縄文時代後期
HMF021	d54	0.24	0.36					楕円形		縄文時代後期
HMF022	c55	0.24	0.25					楕円形		縄文時代後期
HMF023	c55	0.91	1.07					楕円形		縄文時代後期
HMF024	c55	0.19	0.20					楕円形		縄文時代後期

表1　遺構一覧(19)

遺構名	グリッド	確認面の長径(上場)	確認面の短径(上場)	底面の長径(下場)	底面の短径(下場)	最大深(m)	長軸方向	平面形	性格	時期
K地区										
大型柱穴列										
KLP001	d68	1.10	0.90			1.65		円形	大型柱穴列	縄文時代後期
KLP002	d69	1.00	0.83			1.48		円形	大型柱穴列	縄文時代後期
KLP005	c68	1.17	0.96			1.35		円形	大型柱穴列	縄文時代後期
KLP008	c69	1.01	0.80			1.25		円形	大型柱穴列	縄文時代後期
KLP003	e71	1.02	0.48			0.75		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP004	c70	0.41	0.45			0.60		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP006	c71	0.38	0.33			0.40		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP007	e71	0.38	0.59			0.35		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP009	c71	0.24	0.24			0.46		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP010	c72	0.80	0.59			0.25		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP011	a69	0.30	0.20			0.43		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP012	b71	0.21	0.22			0.23		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP013	d71	0.31	0.31			0.24		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP014	d71	0.37	0.38			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP015	d70	0.49	0.43			0.55		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP016	c71	0.38	0.33			0.35		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP017	c71	0.43	0.54			0.23		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP018	a71	0.50	0.27			0.34		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP019	a70	0.65	0.78			0.22		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP020	b70	0.38	0.33			0.15		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP021	b70	0.70	0.75			0.09		大きい円形	柱穴	縄文時代後期
KLP022	b70	0.24	0.24			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP023	b69	0.80	0.59			0.10		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP024	b69	0.30	0.20			1.01		瓢箪形	柱穴	縄文時代後期
KLP025	c69	0.55	0.43			0.10		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP026	d70	0.49	0.43			0.10		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP027	c70	0.28	0.18			0.16		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP028	c70	0.42	0.41			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP029	c70	0.21	0.22			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP030	c70	0.31	0.31			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP031	c70	0.37	0.38			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP032	c71	0.49	0.43			0.11		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP033	c71	0.20	0.34			0.14		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP034	b71	0.31	0.32			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP035	b71	0.52	0.40			0.10		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP036	b71	0.46	0.38			0.10		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP037	b71	0.39	0.25			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP038	d71	0.30	0.20			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP039	d70	(0.25)	0.14			0.25		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP040	c69	0.66	0.44			0.18		長円形	柱穴	縄文時代後期
KLP041	b69	(0.53)	(0.41)			0.15		隅円形方形	柱穴	縄文時代後期
KLP042	b69	0.11	0.35			0.06		長円形	柱穴	縄文時代後期
KLP043	b69	0.33	0.33			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP044	b68	0.53	0.81			0.16		円	柱穴	縄文時代後期
KLP045	d70	0.36	0.34			0.23		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP046	b69	0.39	0.25			0.13		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP047	b69	0.20	0.34			0.07		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP048	c69	0.60	0.29			0.13		長楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP049	c69	0.17	0.20			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP050	c69	0.22	0.40			0.14		長楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP051	b69	0.33	0.34			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP052	b69	0.36	0.47			0.16		卵形	柱穴	縄文時代後期
KLP053	d70	0.64	0.49			0.19		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP054	c70	0.51	0.56			0.18		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP056	c68	0.17	0.31			0.08		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP057	c68	0.24	(0.12)			0.06		壁	柱穴	縄文時代後期
KLP058	c68	0.17	0.20			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP059	c68	0.75	0.44			0.16		ひょうたん	柱穴	縄文時代後期
KLP060	d68	0.44	0.44			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP061	c68	0.29	0.25			0.31		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP062	c70	0.51	0.47			0.14		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP063	d71	0.20	0.12			0.10		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP064	c71	0.65	(0.31)			0.27		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP065	b70	0.71	0.66			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP066	b70	0.26	0.30			0.18		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP067	d70	0.10	0.10			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP068	c71	0.12	0.12			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP069	c71	0.25	0.73			0.08		そら豆形	柱穴	縄文時代後期
KLP070	c70	0.20	0.18			0.07		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP073	d70	0.21	0.17			0.08		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP074	b70	0.46	0.38			0.11		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP075	e70	0.46	0.48			1.16		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP076	c71	0.21	0.19			0.21		円形	柱穴	縄文時代後期

表1　遺構一覧(20)

遺構名	グリッド	確認面の長径(上場)	確認面の短径(上場)	底面の長径(下場)	底面の短径(下場)	最大深(m)	長軸方向	平面形	性格	時期
KLP077	b71	0.46	0.55			0.14		やや円形	柱穴	縄文時代後期
KLP078	b72	1.05	0.25			0.14			柱穴	縄文時代後期
KLP079	c72	0.55	0.47			0.68		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP080	c72	0.42	(0.20)			0.18		壁	柱穴	縄文時代後期
KLP081	b70	0.40	0.49			0.14		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP082	b71	0.70	0.46			0.13		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP085	c71	0.54	0.65			0.97		やや円形	柱穴	縄文時代後期
KLP086	c69	0.25	0.21			0.14		卵形	柱穴	縄文時代後期
KLP087	d68	0.15	0.18			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP088	d70	0.21	0.21			0.24		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP089	c69	0.19	0.17			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP090	a69	0.41	0.70			0.25		円形	土壙	縄文時代後期
KLP091	c69	0.60	0.49			0.11		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP092	c71	0.20	0.19			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP093	b70	0.43	0.37			0.19		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP095	b70	0.30	0.20			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP097	b70	0.27	0.26			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP098	d70	0.25	0.25			0.27		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP099	d68	0.24	0.26			0.33		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP100	b69	0.34	0.44			0.16		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP101	d71	0.60	0.43			0.56		長楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP102	c72	0.73	0.51			0.58		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP103	c69	0.20	0.35			0.16		長楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP104	c69	0.43	0.40			0.18		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP105	a69	0.20	0.28			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP107	a69	0.47	0.44			0.08		不整円形	柱穴	縄文時代後期
KLP109	b71	0.74	0.76			0.33		大きい円形	柱穴	縄文時代後期
KLP110	d71	0.18	0.19			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP111	d71	0.18	0.18			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP112	d71	0.19	0.23			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP113	d72	0.50	0.33			0.35		壁	柱穴	縄文時代後期
KLP114	d72	0.25	0.27			0.21		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP115	c72	0.35	0.30			0.41		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP116	c72	0.48	0.20			0.56		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP117	c71	0.44	0.41			0.12		やや円形	柱穴	縄文時代後期
KLP119	d70	0.26	0.23			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP120	d70	0.30	0.28			0.09		やや円形	柱穴	縄文時代後期
KLP121	d70	0.30	0.30			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP122	c72	0.37	0.39			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP123	b72	0.40	0.52			0.16		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP125	b72	0.62	0.54			0.19		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP126	b72	1.13	0.70			0.20		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP127	b72	0.28	0.29			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP128	c72	0.33	0.26			0.46		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP130	d71	0.20	0.18			0.24		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP132	a70	0.31	0.30			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP132	a70	0.31	0.30			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP133	d71	0.24	0.24			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP134	b69	0.32	0.17			0.08		そら豆形	柱穴	縄文時代後期
KLP135	a69	0.24	0.26			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP136	b71	0.22	0.21			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP137	c71	0.27	0.38			0.09		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP138	d70	0.43	0.47			0.22		やや円形	柱穴	縄文時代後期
KLP139	b69	0.49	0.58			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP140	d69	0.37	0.37			0.22		卵形	柱穴	縄文時代後期
KLP141	d70	0.21	0.27			0.06		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP143	d71	0.33	0.26			0.24		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP144	e71	0.30	(0.16)			0.18		壁	柱穴	縄文時代後期
KLP145	d72	0.57	(0.20)			0.16		壁	柱穴	縄文時代後期
KLP146	b72	0.31	(0.27)			0.15		壁	柱穴	縄文時代後期
KLP146	b72	0.31	(0.27)			0.15		壁	柱穴	縄文時代後期
KLP147	c71	0.18	0.24			0.24		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP148	c69	0.40	0.50			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP149	c69	0.23	0.22			0.18		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP150	b70	0.27	0.36			0.17		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP151	d68	0.21	0.21			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP152	c69	0.19	0.48			0.10		長楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP153	b69	0.22	0.22			0.25		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP154	c71	0.18	0.18			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP155	b69	0.22	0.33			0.18		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP156	c70	0.50	0.60			0.16		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP157	c69	(0.31)	0.42			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP158	c69	0.33	0.26			0.05		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP159	c70	0.48	0.50			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP160	b70	0.54	0.40			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP162	a69	0.47	0.63			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP163	a69	0.24	0.24			0.24		円形	柱穴	縄文時代後期

表1　遺構一覧(21)

遺構名	グリッド	確認面の長径(上場)	確認面の短径(上場)	底面の長径(下場)	底面の短径(下場)	最大深(m)	長軸方向	平面形	性格	時期
KLP164	b68	0.40	(0.21)			0.34		壁	柱穴	縄文時代後期
KLP165	b69	0.22	0.24			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP166	b69	0.37	0.48			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP167	b69	0.38	0.28			0.16		長楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP169	a69	0.32	0.58			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP170	a69	0.22	0.26			0.09		やや円形	柱穴	縄文時代後期
KLP171	a70	0.24	0.24			0.28		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP172	b70	0.19	0.21			0.09		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP174	d71	0.31	0.30			0.04		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP175	c69	0.40	0.36			0.07		やや円形	柱穴	縄文時代後期
KLP176	b72	0.51	0.32			0.14		長楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP177	c70	0.21	(0.15)			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP178	e70	0.22	0.22			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP179	d71	0.20	0.20			0.22		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP180	d71	0.26	0.26			0.11		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP182	c71	0.29	0.40			0.14		卵形	柱穴	縄文時代後期
KLP183	a70	0.44	0.59			0.13		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP184	c72	0.49	0.47			0.10		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP185	c71	0.24	0.24			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP186	b70	0.19	0.18			0.18		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP187	c70	0.21	0.35			0.09		長楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP188	b71	0.22	0.26			0.18		やや円形	柱穴	縄文時代後期
KLP189	d70	0.49	0.27			0.13		長楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP190	d70	0.12	0.12			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP191	c69	0.20	0.20			0.33		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP192	c70	0.28	0.45			0.09		長楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP193	e70	0.22	0.20			0.28		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP194	e71	0.24	0.20			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP195	d71	0.18	0.18			0.18		円形？	柱穴	縄文時代後期
KLP196	c69	0.21	0.19			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP197	b69	0.34	0.37			0.06		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP198	a69	0.10	0.05			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP199	a69	0.28	0.29			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP200	a69	0.50	0.36			0.24		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP201	d70	0.17	(0.18)			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP202	d71	0.28	0.29			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP203	d71	0.36	0.50			0.13		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP204	d71	0.20	0.10			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP205	d71	0.26	0.29			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP206	d71	0.16	0.16			0.08		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP207	d71	0.18	0.19			0.37		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP209	c69	0.17	0.15			0.06		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP210	c69	0.25	0.30			0.08		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP211	c68	0.22	0.26			0.18		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP211	c68	0.22	0.26			0.18		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP215	b69	0.36	0.25			0.09		長楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP216	a69	0.20	0.20			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP217	a69	0.26	0.26			0.15		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP218	a69	0.18	0.18			0.17		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP219	b70	0.19	0.19			0.07		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP220	c70	0.26	0.30			0.23		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP221	c70	0.21	0.23			0.24		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP222	b71	0.28	0.28			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP222	b71	0.28	0.28			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP223	b70	0.22	0.20			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP224	d69	0.16	0.18			0.22		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP226	a69	0.21	0.20			0.13		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP227	a69	0.18	0.18			0.18		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP228	e69	0.15	0.15			0.14		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP229	e71	0.22	0.23			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP230	b72	0.40	0.30			0.23		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP231	b72	0.45	0.35			0.12		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP232	c72	0.22	(0.21)			0.50		楕円形	柱穴	縄文時代後期
KLP233	c72	0.30	0.30			0.10		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP234	d71	0.17	0.16			0.19		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP235	a70	0.17	0.18			0.05		円形	柱穴	縄文時代後期
KLP236	a69	0.27	0.29			0.16		円形	柱穴	縄文時代後期
焼土										
KLF001	a69	0.60	0.60			0.10		不整形	焼土	縄文時代後期
KLF002	b70	0.36	0.30			0.03		不整形	焼土	縄文時代後期
KLF003	d71	0.84	0.60			0.05		不整形	炉跡(？)	縄文時代後期

表1　遺構一覧(22)

I地区										
遺構名	グリッド	規模(m)					長軸方向	平面形	性格	時期
		確認面の長径(上場)	確認面の短径(上場)	底面の長径(下場)	底面の短径(下場)	最大深(m)				
ILP-1	v-100.101	1.90	1.40	1.66	1.26	0.66	N-5°-W	隅丸長方形	貯蔵穴	縄文時代後期後葉
ILP-2	x-102-a.b	2.73	1.88	-	-	0.90		楕円形	貯蔵穴	縄文時代後期
ILP-3	w-100	3.30	2.45	2.80	1.83	1.22	W-5°-E	長円形	貯蔵穴	縄文時代後期後葉
ILP-4	o-100-d	1.56	0.73	-	-	1.00	N-83°-W	楕円形	土壙墓	縄文時代後期
ILP-5	x-106.107	1.76	1.24	0.74	0.31	0.72	N-57°-W	長楕円形	土壙墓	縄文時代後期後葉
ILP-6	v-103.104 w-103.104	2.30	1.68	1.14	0.52	0.73	N-45°-W	不整長楕円形	土壙墓	縄文時代後期後葉
ILP-7	x-100-c	1.70	0.94	-	-	0.55	N-86°-E	楕円形	土壙墓	縄文時代後期
ILP-8	o-100-d	1.24	0.95	-	-	0.89	N-30°-W	楕円形	土壙墓	縄文時代後期
ILP-9	w-101-d	1.86	0.73	-	-	1.08	N-37°-W	楕円形	土壙墓	縄文時代後期
ILP-10	v-105	1.55	1.01	0.84	0.50	1.15	N-31°-W	長楕円形	土壙墓	縄文時代後期後葉
ILP-11	l-107.n-107.108	1.36	1.11	1.10	0.84	0.37	N-82°-W	長円形	土壙墓	縄文時代後期後葉
ILP-12	u-102-d	1.57	0.70	-	-	1.11	N-55°-W	楕円形	土壙墓	縄文時代後期
ILP-13										
ILP-14	4-98-b	2.19	2.19	-	-	1.12	N-28°-W	円形	貯蔵穴	縄文時代後期
ILP-15	u-105 v-105	1.40	1.27	0.65	0.45	0.73	N-82°-E	隅丸長方形	土壙墓	縄文時代後期後葉
ILP-16	t-104-c	2.31	0.76	-	-	0.96		不整形	Tピット	縄文時代早期
ILP-17	g-102-d	1.38	1.17	-	-	1.38	N-25°-W	楕円形	不明	縄文時代後期
ILP-18	g-104-d	1.92	0.65	-	-	0.94	N-47°-W	楕円形	土壙墓	縄文時代後期
ILP-19	5-100-d	2.38	1.96	-	-	0.28		卵形	不明	縄文時代
ILP-20	v-95-c	1.79	1.53	-	-	0.40	N-41°-W	円形	不明	縄文時代
ILP-21	o-93-c	1.57	1.49	-	-	0.75	N-33°-W	円形	土壙墓	縄文時代
ILP-22	5-95-d	1.24	1.13	-	-	0.24		円形	不明	不明
ILP-23	5-95-a.b	1.67	1.62	-	-	0.30		円形	不明	縄文時代
ILP-24	o-95-c	1.48	1.13	-	-	0.28		楕円形	土壙墓	縄文時代
ILP-25	o-95-d	1.23	0.88	-	-	0.24		楕円形	不明	縄文時代
ILP-26	o-95-a	1.18	1.04	-	-	0.29		円形	不明	縄文時代
ILP-27	o-97-c p-98-a	2.63	0.61	-	-	1.01		長楕円形	Tピット	縄文時代早期
ILP-28	r-94-a	0.92	0.88	-	-	0.31		円形	不明	縄文時代
ILP-29	y-29 y-104	(0.51)	-	-0.51	-	1.20		円形	不明	縄文時代早期

表2　調査区別遺物集計一覧(1)

合計：点数		地区	包含層											
		A		A計	H		H計	I		I計	K		K計	総計
遺物名	分類	遺構	包含層		遺構	包含層		遺構	包含層		遺構	包含層		
土器	Ⅰ		90	90										90
	Ⅰa		38	38										38
	Ⅰb	1133	16669	17802		20	20	167	3143	3310		10	10	21142
	Ⅱa	170	8922	9092				2	2	4				9096
	Ⅱb								1	1				1
	Ⅲ		3	3				2	4	6				9
	Ⅲb							3	17	20				20
	Ⅲb-1								3	3				3
	Ⅳ	3521	105022	108543	11	4	15		42	42				108600
	Ⅳa	7	219	226	23	13	36	273	4	277				539
	Ⅳb	57	437	494	432	3911	4343	3768	5034	8802		1210	1210	14849
	Ⅳc	767	13469	14236	1549	32074	33623	12513	14111	26624	52	9675	9727	79867
	Ⅴ		116	116										116
	Ⅵ		26	26										26
	Ⅵ～Ⅶ		10	10										10
	Ⅶ		2	2		11	11		5	5		5	5	23
	未分類	1	1515	1516				14	98	112				1628
土器 計		5656	146538	152194	1583	32122	33705	16743	22517	39260	52	10900	10952	236111
土製品	土製品	2	3	5		1	1	5	9	14		2	2	22
	スタンプ型土製品				1		1							1
	耳栓										1	1	2	2
	焼成粘土塊				1		1	1		1				2
	スタンプ形土製品	2		2										2
土製品 計		4	3	7	2	1	3	6	9	15	1	3	4	29
石器	石鏃	20	370	390	16	116	132	87	114	201	4	16	20	743
	石錐	1	41	42	3	18	21	13	7	20	1	6	7	90
	つまみ付きナイフ	3	80	83		5	5	7	26	33				121
	スクレイパー	11	94	105	3	18	21	13	93	106	3		3	235
	くさび形石器		1	1										1
	石核		17	17		4	4	4	12	16				37
	石斧	12	229	241	15	88	103	36	51	87	1	6	7	438
	すり石	11	237	248	1	5	6	10	17	27				281
	たたき石	7	99	106	3	41	44	8	22	30	1	2	3	183
	石錯		12	12					1	1				13
	石錘		4	4										4
	台石・石皿	8	181	189	8	30	38	1	5	6	1	1	2	235
	フレイク・チップ	1766	27377	29143	691	4874	5565	1956	21536	23492	189	617	806	59006
	Rフレイク	20	141	161	7	120	127	30	85	115	4	4	8	411
	Uフレイク	2	1	3	5	12	17	8	12	20	2	5	7	47
	加工痕のある礫	3	134	137										137
	細石刃					1	1		1	1				2
	石のみ		6	6										6
	石器素材	1	19	20										20
	石器未成品				1	21	22							22
	石槍・ナイフ	1	21	22	2	20	22	1	4	5				49
	石斧原石							9	10	19				19
	砥石	7	158	165	19	170	189	8	27	35	1	7	8	397
	発泡黒曜石				2		2							2
	有構砥石					1	1							1
石器 計		1873	29222	31095	776	5544	6320	2191	22023	24214	207	664	871	62500
石製品	石製品		1	1	3	6	9	2	6	8				18
	異形石器		5	5										5
	玉		3	3										3
	玉の素材		2	2										2
	勾玉		1	1										1
	石棒		8	8				2		2				10
石製品 計			20	20	3	6	9	4	6	10				39
自然遺物	クルミ	1	261	262										262
	サメの歯		3	3										3
	ベンガラ		4	4										4
	灰集中													
	高師小僧													
	骨片	11	366	377	6	87	93							470
	種子		28	28										28
	炭化物	7	213	220	8	57	65							285
	木製品付着土壌	1		1										1
	木皮		4	4										4
自然遺物 計		20	879	899	14	144	158							1057
礫	原石		54	54		18	18	11	8	19				91
	礫	172	3232	3404	187	1546	1733	450	753	1203	19	3	22	6362
	円礫					1	1				1		1	2
	加工痕のある礫											1	1	1
	軽石								1	1				1
礫 計		172	3286	3458	187	1565	1752	461	762	1223	20	4	24	6457

表２　調査区別遺物集計一覧(2)

遺物名	分類	A 遺構	A 包含層	A 計	H 遺構	H 包含層	H 計	I 遺構	I 包含層	I 計	K 遺構	K 包含層	K 計	総計
現代遺物	磁器								3	3				3
	鉄製品					1	1		3	3				4
	砥石								1	1				1
現代遺物 計						1	1		7	7				8
木製品・木片	木片	52		52										52
	流木		8	8										8
	木製品					1	1							1
製品・木片 計		52	8	60		1	1							61
総計		7777	179956	187733	2565	39384	41949	19405	45324	64729	280	11571	11851	306262

表3　遺構別遺物集計一覧(1)　A地区

地区	A																			
合計：点数		遺物名	分類																	
		土器														土器計	土製品		土製品計	総計
遺構名	層位	Ⅰ	Ⅰa	Ⅰb	Ⅱa	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ	Ⅵ	Ⅵ～Ⅶ	Ⅶ	未分類		土製品	スタンプ形土製品		
ALF 001	焼土中						6			8						14				14
ALF 001 計							6			8						14				14
ALF 027	焼土中			2												2				2
ALF 027 計				2												2				2
ALF 033	焼土				3											3				3
ALF 033 計					3											3				3
ALF 046	焼土上面			2	6											8				8
ALF 046 計				2	6											8				8
ALF 055	焼土直上			25												25				25
ALF 055 計				25												25				25
ALH 001	覆土4層			2												2				2
ALH 001 計				2												2				2
ALH 002	覆土5層						24	1		5						30				30
ALH 002 計							24	1		5						30				30
ALH 003	掘上土			17	2											19				19
	床面			3												3				3
	覆土			44	14										1	59				59
ALH 003 計				64	16										1	81				81
ALH 004	Ⅱ層			5												5				5
	Ⅲ層			3	4											7				7
	Ⅳ層			2	2											4				4
	Ⅴ層				2											2				2
	掘上土			11	13											24				24
ALH 004 計				21	21											42				42
ALH 005	床面			18												18				18
ALH 005 計				18												18				18
ALH 006	覆土			4	74											78				78
ALH 006 計				4	74											78				78
ALH 007	覆土			2	8											10				10
ALH 007 計				2	8											10				10
ALH 008	覆土			5												5				5
ALH 008 計				5												5				5
ALH 009	覆土			11												11				11
ALH 009 計				11												11				11
ALH 010	床面			16												16				16
	覆土1層			39												39				39
	覆土壁			4												4				4
ALH 010 計				59												59				59
ALH 011	覆土			7	4											11				11
ALH 011 計				7	4											11				11
ALH 012	床面				2											2				2
	覆土			8	5											13				13
ALH 012 計				8	7											15				15
ALH 013	床面			2												2				2
	覆土			251												251				251
ALH 013 計				253												253				253
ALH 014	床面			169												169				169
	覆土			167	1											168				168
ALH 014 計				336	1											337				337
ALH 015	覆土			10												10				10
ALH 015 計				10												10				10
ALH 016	掘上土			12												12				12
	覆土			2												2				2
ALH 016 計				14												14				14
ALH 016HP1	覆土			2												2				2
ALH 016HP1 計				2												2				2
ALH 017	床面			38												38				38
	覆土1層			15												15				15
	覆土壁			2												2				2
ALH 017 計				55												55				55
ALH 018	床面			55												55				55
ALH 018 計				55												55				55
ALP 001	覆土						112		1	16						129				129
	覆土1層						58			10						68				68

表3　遺構別遺物集計一覧(2)　A地区

		土器														土器計	土製品		土製品計	総計
遺構名	層位	Ⅰ	Ⅰa	Ⅰb	Ⅱa	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ	Ⅵ	Ⅵ～Ⅶ	Ⅶ	未分類		土製品	スタンプ形土製品		
	覆土2層						44			14						58				58
	覆土3層						10			2						12				12
ALP 001 計							224		1	42						267				267
ALP 002	覆土						986		33	152						1171				1171
ALP 002 計							986		33	152						1171				1171
ALP 003	ハ層						20			8						28				28
	ロ層						98		2	6						106				106
	覆土						7		1	2						10				10
	覆土1層						31		6	48						85		1	1	86
	壙底						4		4	8						16				16
ALP 003 計							160		13	72						245		1	1	246
ALP 004	覆土						297	2	4	44						347				347
	覆土2層						228		4	32						264				264
	覆土下層						6			2						8				8
ALP 004 計							531	2	8	78						619				619
ALP 006	Ⅰ層						8			2						10				10
ALP 006 計							8			2						10				10
ALP 011	Ⅴ層						58		2	3						63				63
ALP 011 計							58		2	3						63				63
ALP 020	覆土1層			95												95				95
ALP 020 計				95												95				95
ALP 022	覆土5層			9												9				9
	覆土7層			28												28				28
ALP 022 計				37												37				37
ALP 023	覆土1層			2												2				2
ALP 023 計				2												2				2
ALP 027	覆土			3												3				3
ALP 027 計				3												3				3
ALP 030	覆土				22											22				22
ALP 030 計					22											22				22
ALP 031	覆土			11												11				11
ALP 031 計				11												11				11
ALP 032	Ⅰ層			2												2				2
ALP 032 計				2												2				2
ALP 034	覆土				1											1				1
ALP 034 計					1											1				1
ALP 035	覆土				1											1				1
ALP 035 計					1											1				1
ALP 040	覆土			26												26				26
ALP 040 計				26												26				26
ALP 046	床面				6											6				6
ALP 046 計					6											6				6
ALSP 053	覆土						10									10				10
ALSP 053 計							10									10				10
ALSP 054	覆土						12									12				12
ALSP 054 計							12									12				12
ALSP 055	覆土						14									14				14
ALSP 055 計							14									14				14
ALSP 057	覆土						4									4				4
ALSP 057 計							4									4				4
ALSP 058	覆土						16	2		4						22				22
ALSP 058 計							16	2		4						22				22
ALSP 060	覆土									4						4				4
ALSP 060 計										4						4				4
ALSP 061	覆土						16									16				16
ALSP 061 計							16									16				16
ALSP 072	覆土						4			2						6				6
ALSP 072 計							4			2						6				6
ALSP 073	覆土						4									4				4
ALSP 073 計							4									4				4
ALSP 074	覆土						2									2				2
ALSP 074 計							2									2				2
ALSP 077	覆土						2									2				2
ALSP 077 計							2									2				2
ALSP 078	覆土						4									4				4
ALSP 078 計							4									4				4
ALSP 083	覆土						6									6				6
ALSP 083 計							6									6				6
AM 001	盛土Ⅰ層						403	1		107						511	2	1	3	514

表3　遺構別遺物集計一覧(3)　A地区

遺構名	層位	土器														土器計	土製品		土製品計	総計
		Ⅰ	Ⅰa	Ⅰb	Ⅱa	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ	Ⅵ	Ⅵ～Ⅶ	Ⅶ	未分類		土製品	スタンプ形土製品		
	盛土Ⅱ層			2			461	1		133						597				597
	盛土Ⅲ層						198			61						259				259
	盛土Ⅳ層						355			91						446				446
	盛土Ⅴ層						13			3						16				16
AM 001 計				2			1430	2		395						1829	2	1	3	1832
包含層	Ⅰ層													2		2				2
	Ⅱ層						2									2				2
	Ⅲ-7層						310			24					2	336				336
	Ⅲ-9b層			8			2540			208			10		18	2784				2784
	Ⅲ-9c層						22			2						24				24
	Ⅲ層			8			990		1	99					6	1104				1104
	Ⅳ層			12			8860	10	68	1568					58	10576				10576
	Ⅴ-10層			1	1											2				2
	Ⅴ-11層														2	2				2
	Ⅴ-1b層		1	554	104		4								10	673				673
	Ⅴ-1層	90		3139	1949		3			1					24	5206				5206
	Ⅴ-1層下位			4												4				4
	Ⅴ-4層						322			38						360				360
	Ⅴ-7層			66	170										6	242				242
	Ⅴ-8a層			40	4										4	48				48
	Ⅴ-8b層		36	1547	2252										24	3859				3859
	Ⅴ-8c層			744	982										24	1750				1750
	Ⅴ-8層			27	1											28				28
	Ⅴ-9層			20	44											64				64
	Ⅴ-ホ層									2						2				2
	Ⅴ層			6606	1957	1	22279	45	178	4233	116				591	36006	3		3	36009
	Ⅴ層1回目						580	2		30						612				612
	Ⅴ層2回目						444			32					10	486				486
	Ⅴ層3回目						332	24		26					2	384				384
	Ⅴ層4回目						154			10						164				164
	Ⅴ層6回目						4									4				4
	Ⅴ層下位			46												46				46
	Ⅵ層			2605	1029		92			16		26			44	3812				3812
	イ層			12	2		23856	46	150	3610					72	27748				27748
	ニ層						1080	14	20	130					10	1254				1254
	ハ層			20			13222	16	2	1162					12	14434				14434
	ホ層						492	2		26						520				520
	ロ層			10	2		28740	58	18	2220					588	31636				31636
	河道跡			8	2		2								2	14				14
	河道跡5層			2												2				2
	撹乱			68	4	2	478			24						576				576
	掘上土		1	944	323										2	1270				1270
	掘上土層			172	96											268				268
	風倒木痕			6			32								4	42				42
	攪乱						182	2		8						192				192
包含層 計		90	38	####	8922	3	105022	219	437	####	116	26	10	2	1515	146538	3		3	146541
総計		90	38	####	9092	3	108543	226	494	####	116	26	10	2	1516	152194	5	2	7	152201

表３　遺構別遺物集計一覧(4)　Ａ地区

地区	A																																
合計：点数		遺物名	分類																														
		石器																					石器計	石製品						石製品計	礫		礫計	総計
遺構名	層位	石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	くさび形石器	石核	石斧	すり石	たたき石	石皿・砥石	石錘	台石・石皿	フレイク・チップ	Rフレイク	Uフレイク	加工痕のある礫	石のみ	石器素材	石槍・ナイフ	砥石		石製品	異形石器	玉	玉の素材	勾玉	石棒		原石	礫		
ALF 021	焼土中																													1	1	1	1
ALF 021 計																														1	1	1	1
ALF 033	撹土													2								2											2
ALF 033 計														2								2											2
ALF 039	焼土中													1								1											1
ALF 039 計														1								1											1
ALH 002	撹土5層												1									1								4	4	5
ALH 002 計													1									1								4	4	5
ALH 003	掘上土				1									22								23								1	1	24
	撹土				3				2					98	3							106								3	3	109
	撹土1層													1								1								1	1	2
ALH 003 計					4				2					121	3							130								5	5	135
ALH 004	掘上土													1								1											1
	撹土													1								1											1
	撹土2層													1								1											1
	撹土3層				1			1						3								5								4	4	9
	撹土4層							1								1						2											2
	撹土5層							1						1								2											2
ALH 004 計					1			3						7		1						12								4	4	16
ALH 006	掘上土	1												14	1						1	17								1	1	18
	床面												1									1											1
	撹土	3						3	1	1			2	51	2						1	64								11	11	75
ALH 006 計		4						3	1	1			3	65	3						2	82								12	12	94
ALH 007	撹土													3								3											3
ALH 007 計														3								3											3
ALH 008	撹土													3								3								1	1	4
ALH 008 計														3								3								1	1	4
ALH 009	撹土																													4	4	4
ALH 009 計																														4	4	4
ALH 010	掘上土													1								1								1	1	2
	撹土2層			1	1					1			1	11								15								3	3	18
ALH 010 計				1	1					1			1	12								16								4	4	20
ALH 010HP1	撹土								1													1											1
ALH 010HP1 計									1													1											1
ALH 011	撹土	1												24								25								1	1	26
ALH 011 計		1												24								25								1	1	26
ALH 012	撹土													9								9											9
ALH 012 計														9								9											9
ALH 013	撹土	4						3	1	2				30	5							45								5	5	50
ALH 013 計		4						3	1	2				30	5							45								5	5	50
ALH 014	床面													5								5											5
ALH 014 計														5								5											5
ALH 015	床面																													1	1	1	1
	撹土													2								2											2
ALH 015 計														2								2								1	1	3	
ALH 016	撹土				1									4								5											5
ALH 016 計					1									4								5											5
ALH 017	撹土								1				1	2			1					5											5
ALH 017 計									1				1	2			1					5											5
ALP 001	V層													1								1											1
	撹土													8			1					9								6	6	15
	撹土2層													2								2								1	1	3
ALP 001 計														11			1					12								7	7	19
ALP 002	撹土													32								32								28	28	60
	撹土下層													2								2											2
ALP 002 計														34								34								28	28	62
ALP 003	ハ層													1								1								1	1	2
	ロ層													6								6								2	2	8
	撹土													5								5											5
	撹土1層													3								3											3
	撹土2層													1								1											1
	撹土3層													1								1											1
	壙底													1								1											1
ALP 003 計														18								18								3	3	21
ALP 004	撹土													18								18								8	8	26
	撹土2層													20								20								5	5	25
	撹土下層																													2	2	2
ALP 004 計														38								38								15	15	53
ALP 006	撹土1層													1								1								2	2	3
ALP 006 計														1								1								2	2	3

表3　遺構別遺物集計一覧(5)　A地区

遺構名	層位	石器																				石器計	石製品						石製品計	礫		礫計	総計
		石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	くさび形石器	石核	石斧	すり石	たたき石	石錘	石錘	台石・石皿	フレイク・チップ	Rフレイク	Uフレイク	加工痕のある礫	石のみ	石器素材	石槍・ナイフ	砥石		石製品	異形石器	玉	玉の素材	勾玉	石棒		原石	礫		
ALP 008	表土									1												1											1
ALP 008 計										1												1											1
ALP 009	表土													1								1											1
ALP 009 計														1								1											1
ALP 010	表土													1			1					2									1	1	3
ALP 010 計														1			1					2									1	1	3
ALP 011	表土													2								2											2
ALP 011 計														2								2											2
ALP 023	表土													1								1											1
	表土1層													1								1											1
ALP 023 計														2								2											2
ALP 025	床面								2													2											2
ALP 025 計									2													2											2
ALP 027	表土								1													1											1
ALP 027 計									1													1											1
ALP 030	表土													1								1											1
ALP 030 計														1								1											1
ALP 031	表土													1								1											1
ALP 031 計														1								1											1
ALP 032	表土	1		1																		2											2
ALP 032 計		1		1																		2											2
ALP 033	表土													2								2									1	1	3
ALP 033 計														2								2									1	1	3
ALP 034	表土				1								1	1								3									1	1	4
ALP 034 計					1								1	1								3									1	1	4
ALP 035	表土								1													1									8	8	9
ALP 035 計									1													1									8	8	9
ALP 038	表土			1																		1											1
ALP 038 計				1																		1											1
ALP 040	床面				1																	1											1
ALP 040 計					1																	1											1
ALSP 053	表土													1								1											1
ALSP 053 計														1								1											1
ALSP 056	表土									1												1											1
ALSP 056 計										1												1											1
ALSP 058	表土													1								1											1
ALSP 058 計														1								1											1
ALSP 060	表土								1													1											1
ALSP 060 計									1													1											1
ALSP 061	表土													1								1									2	2	3
ALSP 061 計														1								1									2	2	3
ALSP 074	表土													2								2											2
ALSP 074 計														2								2											2
ALSP 077	表土													1								1											1
ALSP 077 計														1								1											1
AM 001	盛土Ⅰ層	6			1			2					1	1159	4				1			1174									14	14	1188
	盛土Ⅱ層	2	1		1			1						44	1	1				1	2	54									21	21	75
	盛土Ⅲ層	2												118								120									7	7	127
	盛土Ⅳ層									1				30	4						3	38									17	17	55
	盛土Ⅴ層													4								4									3	3	7
	盛土上面													2								2											2
AM 001 計		10	1		2			3		1			1	1357	9	1			1	1	5	1392									62	62	1454
河道跡 001	Ⅲ層													13								13									1	1	14
河道跡 001														13								13									1	1	14
河道跡 002	Ⅰ層	6	1	2			5	5	5	6			8	719	2		5			1	3	768									60	60	828
	Ⅱ層	11	1		2			6	3	10			8	1916	1		5	1	1		17	1982								4	81	85	2067
	Ⅲ層	7	1				1	9	6	9	2	1	3	1265	3		14				8	1329		1				1	2	5	109	114	1445
	Ⅳ層	4	1					3	2	1			2	392	1		1	1			2	410						1	1	1	31	32	443
河道跡 002		28	4	2	2		6	23	16	26	2	1	21	4292	7		25	2	1	1	30	4489		1				2	3	10	281	291	4783
河道跡 003	Ⅰ層													2								2											2
河道跡 003														2								2											2
河道跡 004	Ⅰ層	4	1											82	1						1	89								1	6	7	96
河道跡 004		4	1											82	1						1	89								1	6	7	96
河道跡 005	Ⅰ層	1												65	3							69									5	5	74
河道跡 005		1												65	3							69									5	5	74
根穴03	撹乱	1												8								9											9
根穴03 計		1												8								9											9
根穴10	撹乱																														1	1	1
根穴10 計																															1	1	1
根穴68	Ⅴ層													5								5											5
根穴68 計														5								5											5
石斧集中	Ⅴ層			1				22		1				50	3				3			80											80
石斧集中 計				1				22		1				50	3				3			80											80
包含層	Ⅱ層													224								224											224
	Ⅲ-1層													2								2											2

表3　遺構別遺物集計一覧(6)　A地区

遺構名	層位	石器																				石器計	石製品						石製品計	礫		礫計	総計
		石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	くさび形石器	石核	石斧	すり石	たたき石	石錘	石錘	台石・石皿	フレイク・チップ	Rフレイク	Uフレイク	加工痕のある礫	石のみ	石器素材	石槍・ナイフ	砥石		石製品	異形石器	玉	玉の素材	勾玉	石棒		原石	礫		
	Ⅲ-7b層													17								17											17
	Ⅲ-7層													66								66									3	3	69
	Ⅲ-9b層							6	1				2	806	1		1				2	819								1	20	21	840
	Ⅲ層	4												449			2					455								2	19	21	476
	Ⅳ層	15			2			5		5			3	2999	2		3			1	13	3048						1	1	3	96	99	3148
	Ⅴ-11層													2								2									7	7	9
	Ⅴ-1b層	1	1		4			2	2				1	98	2					1		112								1	25	26	138
	Ⅴ-1層	50		19	13		1	43	26	5	1	1	20	3106	31		21		5	3	2	3347	1	1					2	5	667	672	4021
	Ⅴ-1層下													20								20											20
	Ⅴ-3層													11								11						2	2				13
	Ⅴ-4層												2						1			3									1	1	4
	Ⅴ-7層	1		1					1				2	40								45									1	1	46
	Ⅴ-8a層	1												12								13									1	1	14
	Ⅴ-8b層	10		2	6			23	50	4	1		22	575	15		8		1	4	7	728		1					1	2	193	195	924
	Ⅴ-8c層	2	1	1	9			9	27	1			9	167	4		6		3	1	2	242								6	96	102	344
	Ⅴ-8層	4							2				2	14	1						1	24									17	17	41
	Ⅴ-9層			1				2					2		1				1	1		8									4	4	12
	Ⅴ層	78	12	29	37	1	7	45	59	21	5	1	31	7036	32	1	22	2	2	4	34	7459		1		2	1	1	5	10	422	432	7896
	Ⅵ層	24	2	5	7		1	13	25	1			10	685	9		9	1		1	3	796								1	79	80	876
	イ層	45	8	1	5		1	7	7	9	2		8	2502	7		7				18	2627		1	3			1	5	1	143	144	2776
	ニ層							2		1				30	3		1				7	44									14	14	58
	ハ層	10	2	1				6	4	13		1	12	927	1		17				11	1005								5	364	369	1374
	ホ層						1			2				23	1							27								1	6	7	34
	ロ層	77	8	5	6			12	7	7	1		15	2725	9		9	1	2	4	26	2914								5	703	708	3622
	撹乱				1			1	2					35	1							40									1	1	41
	掘上土	11	2	12	2			8	8	3			19	190	7		3				1	266									55	55	321
	排土	3												38								41									1	1	42
	表採													4								4											4
	不明													12								12											12
	風倒木													45								45						1	1				46
包含層 計		336	36	77	92	1	11	184	221	72	10	3	160	22860	127	1	109	4	15	20	127	24466	1	4	3	2	1	6	17	43	2938	298	27464
総計		390	42	83	105	1	17	241	248	106	12	4	189	29143	161	3	137	6	20	22	165	31095	1	5	3	2	1	8	20	54	3404	345	34573

表3　遺構別遺物集計一覧(7)　H地区

地区	H											
合計：点数		遺物名	分類									
		土器					土器 計	土製品			土製品 計	総計
遺構名	層位	Ⅰb	Ⅳ	Ⅳa	Ⅳc	Ⅶ		土製品	スタンプ型土製品	焼成粘土塊		
HLP 002	覆土				2		2					2
HLP 002 計					2		2					2
HLP 003	覆土				1		1					1
HLP 003 計					1		1					1
HLP 006	覆土				1		1					1
HLP 006 計					1		1					1
HLP 008	覆土				1		1					1
HLP 008 計					1		1					1
HLP 010	覆土			9	8		17					17
HLP 010 計				9	8		17					17
HLP 012	覆土				1		1					1
HLP 012 計					1		1					1
HLP 014	覆土				3		3					3
HLP 014 計					3		3					3
HLP 018	覆土				5		5					5
HLP 018 計					5		5					5
HLP 020	覆土				1		1					1
HLP 020 計					1		1					1
HLP 033	覆土				1		1					1
HLP 033 計					1		1					1
HLP 049	覆土				2		2					2
HLP 049 計					2		2					2
HLP 057	覆土				3		3					3
HLP 057 計					3		3					3
HLP 105	覆土				1		1					1
HLP 105 計					1		1					1
HLP 112	覆土		3				3					3
HLP 112 計			3				3					3
HLP 125	覆土				1		1					1
HLP 125 計					1		1					1
HLP 126	覆土				2		2					2
HLP 126 計					2		2					2
HLP 135	覆土1層			1			1					1
HLP 135 計				1			1					1
HLP 137	覆土				1		1					1
HLP 137 計					1		1					1
HLP 153	覆土				5		5					5
HLP 153 計					5		5					5
HLP 158	覆土				1		1					1
HLP 158 計					1		1					1
HLP 160	覆土				2		2					2
HLP 160 計					2		2					2
HLP 164	覆土				1		1					1
HLP 164 計					1		1					1
HLP 167	覆土				1		1					1
HLP 167 計					1		1					1
HLP 171	覆土			1	4		5					5
HLP 171 計				1	4		5					5
HLP 174	覆土				2		2					2
HLP 174 計					2		2					2
HLP 181	覆土				1		1					1
HLP 181 計					1		1					1
HLP 182	覆土				1		1					1
HLP 182 計					1		1					1
HLP 183	覆土				1		1					1
HLP 183 計					1		1					1
HLP 217	覆土				1		1					1
HLP 217 計					1		1					1
HLP 218	覆土				1		1					1
HLP 218 計					1		1					1
HLP 219	覆土				1		1					1
HLP 219 計					1		1					1
HLP 227	覆土				9		9					9
HLP 227 計					9		9					9
HLP 228	覆土				1		1					1
HLP 228 計					1		1					1
HLP 259	覆土				1		1					1
HLP 259 計					1		1					1
HLP 267	覆土				4		4					4
HLP 267 計					4		4					4

表3　遺構別遺物集計一覧(8)　H地区

		土器					土器 計	土製品			土製品 計	総計
遺構名	層位	Ⅰb	Ⅳ	Ⅳa	Ⅳc	Ⅶ		土製品	スタンプ型土製品	焼成粘土塊		
HLP 273	覆土				1		1					1
HLP 273 計					1		1					1
HLP 290	覆土				1		1					1
HLP 290 計					1		1					1
HLP 304	覆土				2		2					2
HLP 304 計					2		2					2
HLP 307	覆土				1		1					1
HLP 307 計					1		1					1
HLP 324	覆土				1		1					1
HLP 324 計					1		1					1
HLP 326	覆土				2		2					2
HLP 326 計					2		2					2
HLP 327	覆土				4		4					4
HLP 327 計					4		4					4
HLP 328	覆土				1		1					1
HLP 328 計					1		1					1
HLP 332	覆土				63		63					63
	覆土1層				67		67					67
HLP 332 計					130		130					130
HLP 333	覆土			1	106		107			1	1	108
HLP 333 計				1	106		107			1	1	108
HLP 338	覆土				9		9					9
HLP 338 計					9		9					9
HLP 355	覆土				1		1					1
HLP 355 計					1		1					1
HLP 386	覆土				2		2					2
HLP 386 計					2		2					2
HLP 394	覆土				5		5					5
HLP 394 計					5		5					5
HLP 398	覆土				2		2					2
HLP 398 計					2		2					2
HLP 402	覆土				1		1					1
HLP 402 計					1		1					1
HLP 410	覆土				8		8					8
HLP 410 計					8		8					8
HLP 411	Ⅵ層				2		2					2
	覆土				20		20					20
HLP 411 計					22		22					22
HLP 412	Ⅵ層				2		2					2
	覆土				2		2					2
HLP 412 計					4		4					4
HLP 415	覆土				1		1					1
HLP 415 計					1		1					1
HLP 461	覆土				1		1					1
HLP 461 計					1		1					1
HLP 504	覆土				3		3					3
HLP 504 計					3		3					3
HLP 505	覆土				36		36					36
HLP 505 計					36		36					36
HLP 512	覆土				3		3					3
HLP 512 計					3		3					3
HLP 513	覆土				17		17					17
HLP 513 計					17		17					17
HLP 517	覆土				1		1					1
HLP 517 計					1		1					1
HLP 518	覆土				6		6					6
HLP 518 計					6		6					6
HLP 522	覆土				1		1					1
HLP 522 計					1		1					1
HLP 537	覆土				6		6					6
HLP 537 計					6		6					6
HLP 563	覆土		7		47		54					54
HLP 563 計			7		47		54					54
HLP 573	覆土				1		1					1
HLP 573 計					1		1					1
HLP 579	覆土				3		3					3
HLP 579 計					3		3					3
HLP 591	覆土				2		2					2
HLP 591 計					2		2					2
HLP 617	覆土				11		11					11
HLP 617 計					11		11					11
HLP 662	覆土				1		1					1
HLP 662 計					1		1					1

表3　遺構別遺物集計一覧(9)　H地区

		土器					土器 計	土製品			土製品 計	総計
遺構名	層位	Ⅰb	Ⅳ	Ⅳa	Ⅳc	Ⅶ		土製品	スタンプ型土製品	焼成粘土塊		
HLP 670	覆土				1		1					1
HLP 670 計					1		1					1
HLP 677	覆土				3		3					3
HLP 677 計					3		3					3
HLP 691	覆土				1		1					1
HLP 691 計					1		1					1
HLP 696	覆土				1		1					1
HLP 696 計					1		1					1
HLP 702	覆土				2		2					2
HLP 702 計					2		2					2
HLP 709	覆土				1		1					1
HLP 709 計					1		1					1
HLP 717	覆土				5		5					5
HLP 717 計					5		5					5
HLP 742	覆土				3		3					3
HLP 742 計					3		3					3
HLP 778	覆土				1		1					1
HLP 778 計					1		1					1
HLP 808	覆土				1		1					1
HLP 808 計					1		1					1
HLP 841	覆土				6		6					6
HLP 841 計					6		6					6
HLP 845	覆土				3		3					3
HLP 845 計					3		3					3
HLP 870	覆土				12		12					12
HLP 870 計					12		12					12
HLP 876	覆土				2		2					2
HLP 876 計					2		2					2
HM 001	盛土Ⅰ層			11	792		803		1		1	804
	盛土Ⅱ層		1		183		184					184
HM 001 計			1	11	975		987		1		1	988
HMF 018	焼土				6		6					6
	覆土				3		3					3
HMF 018 計					9		9					9
HUP 001	覆土				6		6					6
HUP 001 計					6		6					6
HUP 006	覆土				1		1					1
HUP 006 計					1		1					1
HUP 014	覆土				2		2					2
HUP 014 計					2		2					2
包含層	Ⅲ層			1	2566	6	2573					2573
	Ⅲ層上面				1675		1675					1675
	Ⅳ層				1350		1350					1350
	Ⅴb層				38		38					38
	Ⅴ層	20		9	4288	5	4322					4322
	Ⅴ層上面			1	1113		1114					1114
	Ⅵ層		4		1446		1450	1			1	1451
	Ⅶ層				1		1					1
	撹乱			1	13335		13336					13336
	焼土				5		5					5
	盛土				874		874					874
	盛土Ⅰ層			1	3402		3403					3403
	盛土Ⅱ層				1097		1097					1097
	盛土上面				91		91					91
	撹乱				793		793					793
包含層 計		20	4	13	32074	11	32122	1			1	32123
総計		20	15	36	33623	11	33705	1	1	1	3	33708

表3　遺構別遺物集計一覧(10)　H地区

地区	H																										
合計：点数		遺物名	分類																								
		石器																			石器計	石製品	石製品計	礫			礫計	総計
遺構名	層位	石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	石核	石斧	すり石	たたき石	台石・石皿	フレイク・チップ	Rフレイク	Uフレイク	細石刃	石器未成品	石槍・ナイフ	砥石	発泡黒曜石	有樋砥石		石製品		原石	礫	円礫		
HLF 003	覆土																							2		2	2
HLF 003 計																								2		2	2
HLH 001	盛土Ⅱ層									1										1							1
HLH 001 計										1										1							1
HLP 010	覆土										4									4							4
HLP 010 計											4									4							4
HLP 012	覆土																							1		1	1
HLP 012 計																								1		1	1
HLP 014	覆土										2									2							2
HLP 014 計											2									2							2
HLP 018	覆土										2									2							2
HLP 018 計											2									2							2
HLP 020	覆土				1															1							1
HLP 020 計					1															1							1
HLP 033	覆土										3									3							3
HLP 033 計											3									3							3
HLP 038	覆土																							1		1	1
HLP 038 計																								1		1	1
HLP 049	覆土										3									3				4		4	7
HLP 049 計											3									3				4		4	7
HLP 061	覆土																							1		1	1
HLP 061 計																								1		1	1
HLP 068	覆土																							2		2	2
HLP 068 計																								2		2	2
HLP 069	覆土																							1		1	1
HLP 069 計																								1		1	1
HLP 073	覆土																							1		1	1
HLP 073 計																								1		1	1
HLP 075	覆土																							1		1	1
HLP 075 計																								1		1	1
HLP 080	覆土																							1		1	1
HLP 080 計																								1		1	1
HLP 084	覆土																							1		1	1
HLP 084 計																								1		1	1
HLP 105	覆土																							1		1	1
HLP 105 計																								1		1	1
HLP 110	覆土										1									1							1
HLP 110 計											1									1							1
HLP 112	覆土										5									5							5
HLP 112 計											5									5							5
HLP 119	覆土																							1		1	1
HLP 119 計																								1		1	1
HLP 125	覆土									1	5									6							6
HLP 125 計										1	5									6							6
HLP 136	覆土										1									1							1
HLP 136 計											1									1							1
HLP 137	覆土																							1		1	1
HLP 137 計																								1		1	1
HLP 149	覆土										1									1							1
HLP 149 計											1									1							1
HLP 153	覆土										1									1							1
HLP 153 計											1									1							1
HLP 160	覆土																							1		1	1
HLP 160 計																								1		1	1
HLP 172	覆土																							1		1	1
HLP 172 計																								1		1	1
HLP 173	覆土										1									1							1
HLP 173 計											1									1							1
HLP 181	覆土																							1		1	1
HLP 181 計																								1		1	1
HLP 182	覆土																							1		1	1
HLP 182 計																								1		1	1
HLP 206	覆土										1									1							1
HLP 206 計											1									1							1
HLP 207	覆土																							3		3	3

表3　遺構別遺物集計一覧(11)　H地区

		石器																			石器計	石製品	石製品計	礫			礫計	総計
遺構名	層位	石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	石核	石斧	すり石	たたき石	台石・石皿	フレイク・チップ	Rフレイク	Uフレイク	細石刃	石器未成品	石槍・ナイフ	砥石	発泡黒曜石	有溝砥石		石製品		原石	礫	円礫		
HLP 207 計																								3		3	3
HLP 219	表土																							1		1	1
HLP 219 計																								1		1	1
HLP 228	表土		1								1									2							2
HLP 228 計			1								1									2							2
HLP 230	表土	1																		1				1		1	2
HLP 230 計		1																		1				1		1	2
HLP 257	表土																							4		4	4
HLP 257 計																								4		4	4
HLP 259	表土																							1		1	1
HLP 259 計																								1		1	1
HLP 267	表土																							2		2	2
HLP 267 計																								2		2	2
HLP 281	表土																							1		1	1
HLP 281 計																								1		1	1
HLP 283	表土										1									1							1
HLP 283 計											1									1							1
HLP 290	表土																							1		1	1
HLP 290 計																								1		1	1
HLP 292	表土																							1		1	1
HLP 292 計																								1		1	1
HLP 303	表土																							1		1	1
HLP 303 計																								1		1	1
HLP 304	表土	1																		1							1
HLP 304 計		1																		1							1
HLP 305	表土										1									1							1
HLP 305 計											1									1							1
HLP 313	表土										2									2							2
HLP 313 計											2									2							2
HLP 326	表土										1									1				1		1	2
HLP 326 計											1									1				1		1	2
HLP 332	表土										1						1			2				2		2	4
	表土1層						1										1			2				8		8	10
HLP 332 計							1				1						2			4				10		10	14
HLP 333	表土		1				1				37	1	1							41				4		4	45
HLP 333 計			1				1				37	1	1							41				4		4	45
HLP 338	表土																							1		1	1
HLP 338 計																								1		1	1
HLP 339	表土										3									3							3
HLP 339 計											3									3							3
HLP 340	表土																							2		2	2
HLP 340 計																								2		2	2
HLP 355	表土										1	3								4							4
HLP 355 計											1	3								4							4
HLP 358	表土										1									1							1
HLP 358 計											1									1							1
HLP 386	表土										13									13							13
HLP 386 計											13									13							13
HLP 400	表土																							2		2	2
HLP 400 計																								2		2	2
HLP 402	表土																							3		3	3
HLP 402 計																								3		3	3
HLP 410	表土																3			3							3
	表土上層										2									2				1		1	3
HLP 410 計											2						3			5				1		1	6
HLP 411	表土						2													2							2
HLP 411 計							2													2							2
HLP 415	表土										1									1							1
HLP 415 計											1									1							1
HLP 423	表土																							1		1	1
HLP 423 計																								1		1	1
HLP 427	表土																							1		1	1
HLP 427 計																								1		1	1
HLP 460	表土																							1		1	1
HLP 460 計																								1		1	1
HLP 461	表土										2									2							2
HLP 461 計											2									2							2
HLP 463	表土																							1		1	1
HLP 463 計																								1		1	1
HLP 464	表土																							1		1	1

表3　遺構別遺物集計一覧(12)　H地区

遺構名	層位	石器																		石器計	石製品	石製品計	礫			礫計	総計
		石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	石核	石斧	すり石	たたき石	台石・石皿	フレイク・チップ	Rフレイク	Uフレイク	細石刃	石器未成品	石槍・ナイフ	砥石	発泡黒曜石	有溝砥石		石製品		原石	礫	円礫		
HLP 464 計																								1		1	1
HLP 465	腹土																							1		1	1
HLP 465 計																								1		1	1
HLP 474	腹土																							2		2	2
HLP 474 計																								2		2	2
HLP 504	腹土										1									1							1
HLP 504 計											1									1							1
HLP 512	腹土								1		3									4							4
HLP 512 計									1		3									4							4
HLP 513	腹土										2									2							2
HLP 513 計											2									2							2
HLP 522	腹土								1											1							1
HLP 522 計									1											1							1
HLP 549	腹土																							1		1	1
HLP 549 計																								1		1	1
HLP 550	腹土																							2		2	2
HLP 550 計																								2		2	2
HLP 563	腹土										2									2							2
HLP 563 計											2									2							2
HLP 579	腹土										4									4				1		1	5
HLP 579 計											4									4				1		1	5
HLP 587	腹土	1																		1							1
HLP 587 計		1																		1							1
HLP 593	腹土																							1		1	1
HLP 593 計																								1		1	1
HLP 597	腹土																							1		1	1
HLP 597 計																								1		1	1
HLP 606	腹土																							1		1	1
HLP 606 計																								1		1	1
HLP 617	腹土										3									3				2		2	5
HLP 617 計											3									3				2		2	5
HLP 632	腹土																							1		1	1
HLP 632 計																								1		1	1
HLP 635	腹土																							1		1	1
HLP 635 計																								1		1	1
HLP 662	腹土										1									1							1
HLP 662 計											1									1							1
HLP 670	腹土										4									4							4
HLP 670 計											4									4							4
HLP 675	腹土																							2		2	2
HLP 675 計																								2		2	2
HLP 680	腹土																							1		1	1
HLP 680 計																								1		1	1
HLP 684	腹土																							2		2	2
HLP 684 計																								2		2	2
HLP 702	腹土										1									1				1		1	2
HLP 702 計											1									1				1		1	2
HLP 715	腹土																							1		1	1
HLP 715 計																								1		1	1
HLP 716	腹土																							8		8	8
HLP 716 計																								8		8	8
HLP 717	腹土										4									4				1		1	5
HLP 717 計											4									4				1		1	5
HLP 738	腹土																							6		6	6
HLP 738 計																								6		6	6
HLP 742	腹土										1									1							1
HLP 742 計											1									1							1
HLP 744	腹土																							1		1	1
HLP 744 計																								1		1	1
HLP 750	腹土																							1		1	1
HLP 750 計																								1		1	1
HLP 756	腹土																							1		1	1
HLP 756 計																								1		1	1
HLP 758	腹土										2									2							2
HLP 758 計											2									2							2
HLP 775	腹土																							3		3	3
HLP 775 計																								3		3	3
HLP 778	腹土																							1		1	1
HLP 778 計																								1		1	1
HLP 786	腹土										1									1							1

表3　遺構別遺物集計一覧(13)　H地区

遺構名	層位	石器 石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	石核	石斧	すり石	たたき石	台石・石皿	フレイク・チップ	Rフレイク	Uフレイク	細石刃	石器未成品	石槍・ナイフ	砥石	発泡黒曜石	有樋砥石	石器計	石製品 石製品	石製品計	礫 原石	礫	円礫	礫計	総計
HLP 786 計											1									1							1
HLP 823	覆土																							1		1	1
HLP 823 計																								1		1	1
HLP 826	覆土																							1		1	1
HLP 826 計																								1		1	1
HLP 828	覆土																							2		2	2
HLP 828 計																								2		2	2
HLP 858	覆土																							1		1	1
HLP 858 計																								1		1	1
HLP 860	覆土	1																		1							1
HLP 860 計		1																		1							1
HLP 870	覆土										1									1							1
HLP 870 計											1									1							1
HLP 871	覆土																							1		1	1
HLP 871 計																								1		1	1
HLP 872	覆土																							2		2	2
HLP 872 計																								2		2	2
HLP 875	覆土									1										1							1
HLP 875 計										1										1							1
HLP 876	覆土										61		3							64							64
HLP 876 計											61		3							64							64
HM 001	盛土Ⅰ層	12	1		1		10	1	1	4	496	1	1		1	2	8	2		541	2	2		55		55	598
	盛土Ⅱ層				1		1			1	4	2					6			15	1	1		12		12	28
HM 001 計		12	1		2		11	1	1	5	500	3	1		1	2	14	2		556	3	3		67		67	626
HMF 018	覆土										3									3							3
HMF 018 計											3									3							3
HUP 006	覆土																							1		1	1
HUP 006 計																								1		1	1
包含層	Ⅲ層	8	2				6	1	5		493	5	1		6		17			544			1	98		99	643
	Ⅲ層上面	15	3		4	2	7			2	171	7				2	9			222			2	50		52	274
	Ⅳ層	2							3		184	3	1	1			10			204			1	51		52	256
	Vb層										4									4				15		15	19
	Ⅴ層	13	4	3	2		8	1	5	3	777	17	2		1	4	17			857	1	1	1	211		212	1070
	Ⅴ層上面						1	1	3	3	156	2			1		6			173				17		17	190
	Ⅵ層	4				1	5		5	2	326	11	1		2	1	25		1	384			1	121		122	506
	撹乱	58	6	2	8	1	55	2	15	18	1665	62	5		8	11	58			1974	4	4	12	592	1	605	2583
	盛土	1	3		4		3		1		251				2	1	6			272				89		89	361
	盛土Ⅰ層	9					1		1	1	612	5	2			1	13			645	1	1		247		247	893
	盛土Ⅱ層	3							2		161	3					4			173				33		33	206
	盛土上面						1		1		11	2					1			16				2		2	18
	排土										5	1								6				3		3	9
	表採	1									1	1					1			4							4
	撹乱	2					1			1	57	1			1		3			66				17		17	83
包含層 計		116	18	5	18	4	88	5	41	30	4874	120	12	1	21	20	170		1	5544	6	6	18	154	1	1565	7115
総計		132	21	5	21	4	103	6	44	38	5565	127	17	1	22	22	189	2	1	6320	9	9	18	173	1	1752	8081

表3　遺構別遺物集計一覧(14)　Ⅰ地区

地区	Ⅰ																	
合計：点数		遺物名	分類															
		土器												土器 計	土製品		土製品 計	総計
遺構名	層位	Ⅰb	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲ	Ⅲb	Ⅲb-1	Ⅳ	Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅶ	未分類		土製品	焼成粘土塊		
IMA	盛土Ⅰ層	4	1			1			2	3124	5941		2	9075				9075
	盛土										7			7				7
	Ⅰ層										990			990	3		3	993
IMA 計		4	1			1			2	3124	6838		2	10072	3		3	10075
IMB	盛土Ⅰ層	82	1						270	400	3392		5	4150				4150
	盛土Ⅱ層	4							1		463			468				468
	盛土	2			2					221	608			834	1		1	835
	Ⅰ層					1					603			604	1	1	2	606
	Ⅱ層										90			90				90
IMB 計		88	1		2	1			271	221	5556		5	6146	2	1	3	6149
ILF 010	焼土										1			1				1
ILF 010 計											1			1				1
ILF 011	焼土	1												1				1
ILF 011 計		1												1				1
ILF 047	焼土										1			1				1
ILF 047 計											1			1				1
ILFG 041	焼土										1			1				1
ILFG 041 計											1			1				1
ilfg 048	焼土1層	7												7				7
ilfg 048 計		7												7				7
ILFG 054	焼土1層										1			1				1
ILFG 054 計											1			1				1
ILFG 058	焼土												3	3				3
ILFG 058 計													3	3				3
ILFG 059	焼土										1			1				1
ILFG 059 計											1			1				1
ilfg 068	焼土1層	3												3				3
ilfg 068 計		3												3				3
ilfg 071	焼土										2			2				2
	焼土1層	1												1				1
ilfg 071 計		1									2			3				3
ilfg 072	焼土										1			1				1
	焼土1層	4												4				4
ilfg 072 計		4									1			5				5
ilfg 073	焼土1層	1												1				1
ilfg 073 計		1												1				1
ilfg 074	焼土1層	5												5				5
ilfg 074 計		5												5				5
ILFG 075	焼土										1			1				1
ILFG 075 計											1			1				1
ilfg 077	焼土1層	1												1				1
ilfg 077 計		1												1				1
ilfg 078	焼土1層	3												3				3
ilfg 078 計		3												3				3
ILFG 084	焼土										1			1				1
ILFG 084 計											1			1				1
ilfg 089	焼土1層	4												4				4
ilfg 089 計		4												4				4
ilfg 090	焼土1層	1												1				1
ilfg 090 計		1												1				1
ilfg 092	焼土1層	1												1				1
ilfg 092 計		1												1				1
ILFG 095	焼土										1			1				1
ILFG 095 計											1			1				1
ilfg 100	焼土1層	2												2				2
ilfg 100 計		2												2				2
ilfg 108	焼土1層	3												3				3
ilfg 108 計		3												3				3
ilfg 109	焼土1層	3												3				3
ilfg 109 計		3												3				3
ilfg 114	焼土1層										2			2				2
ilfg 114 計											2			2				2
ILFG 120	焼土	2												2				2
ILFG 120 計		2												2				2
ilfg 125	焼土1層	6												6				6

表3　遺構別遺物集計一覧(15)　Ⅰ地区

遺構名	層位	土器 Ⅰb	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲ	Ⅲb	Ⅲb-1	Ⅳ	Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅶ	未分類	土器 計	土製品 土製品	土製品 焼成粘土塊	土製品 計	総計
ilfg 125 計		6												6				6
ILFG 145	焼土	2												2				2
ILFG 145 計		2												2				2
ILFG 159	焼土	2												2				2
ILFG 159 計		2												2				2
ILFG 171	焼土										1			1				1
ILFG 171 計											1			1				1
ilfg 183	焼土1層	9												9				9
ilfg 183 計		9												9				9
ILFG 200	焼土	1												1				1
ILFG 200 計		1												1				1
ILFG 204	焼土	1												1				1
ILFG 204 計		1												1				1
ILFG 214	焼土										2			2				2
ILFG 214 計											2			2				2
ILFG 221	焼土										1			1				1
ILFG 221 計											1			1				1
ilfg 265	焼土1層										1			1				1
ilfg 265 計											1			1				1
ilfg 317	焼土1層	1												1				1
ilfg 317 計		1												1				1
ilfg 351	焼土1層	1												1				1
ilfg 351 計		1												1				1
ilfg 374	焼土1層										1			1				1
ilfg 374 計											1			1				1
ilfg 405	焼土1層										1			1				1
ilfg 405 計											1			1				1
ilfg 441	焼土1層												1	1				1
ilfg 441 計													1	1				1
ILFG 985	焼土										2			2				2
	焼土1層										8			8				8
ILFG 985 計											10			10				10
ILFG 986	焼土1層										1			1				1
ILFG 986 計											1			1				1
ILFG 989	焼土1層										4			4				4
ILFG 989 計											4			4				4
ILFG 990	焼土1層										1			1				1
ILFG 990 計											1			1				1
ILFG 993	焼土1層										1			1				1
ILFG 993 計											1			1				1
ILP 001	覆土2層										1			1				1
ILP 001 計											1			1				1
ILP 002	覆土										4			4				4
ILP 002 計											4			4				4
ILP 003	覆土1層										2			2				2
	覆土2層										154		1	155				155
	覆土3層										31		2	33				33
	覆土4層										2			2				2
	覆土5層										12			12				12
	覆土6層	1									18			19				19
	覆土7層										5			5				5
ILP 003 計		1									224		3	228				228
ILP 008	覆土										1			1				1
ILP 008 計											1			1				1
ILP 009	覆土										1			1				1
ILP 009 計											1			1				1
ILP 011	覆土	1												1				1
	覆土1層	2									3			5				5
ILP 011 計		3									3			6				6
ILP 018	覆土										2			2				2
ILP 018 計											2			2				2
ILP 019	覆土	2												2				2
ILP 019 計		2												2				2
IMAF 002	焼土										3			3				3
IMAF 002 計											3			3				3
IMAF 025	焼土										1			1				1
IMAF 025 計											1			1				1
IMBF 004	焼土					1								1				1
IMBF 004 計						1								1				1

表3　遺構別遺物集計一覧(16)　Ⅰ地区

		土器												土器 計	土製品		土製品 計	総計
遺構名	層位	Ⅰb	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲ	Ⅲb	Ⅲb-1	Ⅳ	Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅶ	未分類		土製品	焼成粘土塊		
IMBF 009	焼土	1								23	124			148				148
IMBF 009 計		1								23	124			148				148
IMBF 010	焼土										2			2				2
IMBF 010 計											2			2				2
IMBF 012	焼土	1									8			9				9
IMBF 012 計		1									8			9				9
IMBF 014	焼土										1			1				1
IMBF 014 計											1			1				1
IMBF 019	焼土										1			1				1
IMBF 019 計											1			1				1
IMBF 041	焼土	1												1				1
IMBF 041 計		1												1				1
IMBF 045	焼土	1									1			2				2
IMBF 045 計		1									1			2				2
IMBF 048	焼土										5			5				5
IMBF 048 計											5			5				5
包含層	Ⅰ-b層										7			7				7
	Ⅰ層	30									674		8	712				712
	Ⅲ層	7			1				1		562	4		575				575
	Ⅳ層	9	2		2	2					2624		2	2641	2		2	2643
	Ⅴa層	42				2		25		3	6660		12	6744				6744
	Ⅴb層	2071				11	3	16		50	1983		52	4186	4		4	4190
	Ⅴ層	292			1	2			2		5172		7	5476	2		2	5478
	Ⅴ層1回目	2									801		5	808	1		1	809
	Ⅴ層2回目										73			73				73
	Ⅵ層	345									6		6	357				357
	Ⅶ層	165									6		3	174				174
	撹乱	140		1				1	1		502	1	3	649				649
	排土	11									28			39				39
	風倒木	29									47			76				76
包含層 計		3143	2	1	4	17	3	42	4	53	19145	5	98	22517	9		9	22526
総計		3310	4	1	6	20	3	42	277	54	35426	5	112	39260	14	1	15	39275

表3　遺構別遺物集計一覧(17)　Ⅰ地区

地区	Ⅰ																												
合計：点数		遺物名	分類																										
		石器																			石器計	石製品		石製品計	礫			礫計	総計
遺構名	層位	石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	石核	石斧	すり石	たたき石	石鋸	台石・石皿	フレイク・チップ	Rフレイク	Uフレイク	細石刃	石槍・ナイフ	石斧原石	砥石			石製品	石棒		原石	礫	軽石		
IMA	盛土Ⅰ層	54	5	2	6	3	23	7	3		1	551	24	6			5	4			694	1	1	2	7	258		265	961
IMA 計		54	5	2	6	3	23	7	3		1	551	24	6			5	4			694	1	1	2	7	258		265	961
IMB	Ⅰ層	1	1																		2					3		3	5
	撹乱																									1		1	1
	盛土	1	1						1			57	1					1			62					21		21	83
	盛土Ⅰ層	2							1			4					1	1			9					4		4	13
	盛土Ⅱ層	1																			1								1
	覆土1層	25	6	2	6	1	8	2	2			270	3	1			3	2			331	1	1	2	3	118		121	454
	覆土2層	3					2					53	1								59				1	18		19	78
IMB 計		33	8	2	6	1	10	2	4			384	5	1			4	4			464	1	1	2	4	165		169	635
ILF 022	焼土																									1		1	1
ILF 022 計																										1		1	1
ilfg 068	焼土直上											1									1								1
ilfg 068 計												1									1								1
ilfg 071	焼土直上											2									2								2
ilfg 071 計												2									2								2
ilfg 072	焼土直上											1									1					1		1	2
ilfg 072 計												1									1					1		1	2
ilfg 074	焼土直上											2									2								2
ilfg 074 計												2									2								2
ILFG 075	焼土																									1		1	1
ILFG 075 計																										1		1	1
ilfg 078	焼土直上											1									1								1
ilfg 078 計												1									1								1
ilfg 089	焼土直上											1									1								1
ilfg 089 計												1									1								1
ilfg 090	焼土直上											2									2								2
ilfg 090 計												2									2								2
ilfg 092	焼土直上																									1		1	1
ilfg 092 計																										1		1	1
ilfg 093	焼土直上											9									9								9
ilfg 093 計												9									9								9
ilfg 096	焼土直上											1									1								1
ilfg 096 計												1									1								1
ilfg 097	焼土直上											3									3								3
ilfg 097 計												3									3								3
ilfg 100	焼土直上											2									2					1		1	3
ilfg 100 計												2									2					1		1	3
ilfg 103	焼土直上											6									6								6
ilfg 103 計												6									6								6
ilfg 106	焼土直上											1									1								1
ilfg 106 計												1									1								1
ilfg 108	焼土直上											2									2								2
ilfg 108 計												2									2								2
ilfg 109	焼土直上											1									1					1		1	2
ilfg 109 計												1									1					1		1	2
ilfg 112	焼土直上				1							2									3								3
ilfg 112 計					1							2									3								3
ILFG 120	焼土																									1		1	1
ILFG 120 計																										1		1	1
ilfg 125	焼土直上											2									2					1		1	3
ilfg 125 計												2									2					1		1	3
ILFG 143	焼土																									1		1	1
ILFG 143 計																										1		1	1
ilfg 160	焼土直上											2									2								2
ilfg 160 計												2									2								2
ilfg 183	焼土直上											4									4								4
ilfg 183 計												4									4								4
ILFG 184	焼土											2									2								2
ILFG 184 計												2									2								2
ILFG 189	焼土											1									1								1
ILFG 189 計												1									1								1
ILFG 221	焼土											4									4								4
ILFG 221 計												4									4								4

表3　遺構別遺物集計一覧(18)　Ⅰ地区

遺構名	層位	石器																	石器 計	石製品		石製品計	礫			礫 計	総計
		石鏃	石錐	つまみ付きナイフ	スクレイパー	石核	石斧	すり石	たたき石	石錘	台石・石皿	フレイク・チップ	Rフレイク	Uフレイク	細石刃	石槍・ナイフ	石斧原石	砥石		石製品	石棒		原石	礫	軽石		
ilfg 233	焼土直上											1							1								1
ilfg 233 計												1							1								1
ilfg 245	焼土直上																							1		1	1
ilfg 245 計																								1		1	1
ilfg 272	焼土直上											1							1								1
ilfg 272 計												1							1								1
ilfg 285	焼土直上			1															1								1
ilfg 285 計				1															1								1
ILFG 290	焼土																							1		1	1
ILFG 290 計																								1		1	1
ilfg 370	焼土直上											1							1								1
ilfg 370 計												1							1								1
ilfg 371	焼土直上			1															1								1
ilfg 371 計				1															1								1
ilfg 444	焼土直上																							1		1	1
ilfg 444 計																								1		1	1
ILFG 984	焼土																							1		1	1
ILFG 984 計																								1		1	1
ILFG 985	焼土																							1		1	1
ILFG 985 計																								1		1	1
ILP 001	覆土1層											1							1								1
	覆土2層						1												1								1
ILP 001 計							1					1							2								2
ILP 003	Ⅱ層						1												1								1
	掘上土											27							27								27
	覆土1層											61	1						62								62
	覆土2層											586							586					2		2	588
	覆土3層											209							209								209
	覆土4層											2							2								2
	覆土5層											76							76					3		3	79
ILP 003 計							1					961	1						963					5		5	968
ILP 009	覆土1層							1											1								1
ILP 009 計								1											1								1
ILP 011	覆土											1							1								1
	覆土1層																							2		2	2
ILP 011 計												1							1					2		2	3
ILP 018	覆土1層											1							1								1
ILP 018 計												1							1								1
ILP 026	覆土1層								1			1							2								2
ILP 026 計									1			1							2								2
IMBF 004	焼土											1							1								1
IMBF 004 計												1							1								1
IMBF 009	焼土			1			1									1			3					4		4	7
IMBF 009 計				1			1									1			3					4		4	7
IMBF 010	焼土													1					1					1		1	2
IMBF 010 計														1					1					1		1	2
IMBF 043	焼土																							1		1	1
IMBF 043 計																								1		1	1
包含層	Ⅰ層	3	1		2	1		1				107	6	1				1	123	1		1		14		14	138
	Ⅲ層	3			2		4		1			95	1				1	1	108				2	26		28	136
	Ⅳ層	13		1	5	2	7		4			316	2	3				4	357					66		66	423
	Va層	16	3	3	4	5	11	2	3			1482	8	1			2	6	1546				1	147	1	149	1695
	Vb層	32	3	9	37	1	10	10	8	1	2	1601	25	1		1	3	6	1750				3	279		282	2032
	V層	29		6	26	2	14	1	4		1	1301	25	2		1	2	4	1418	4		4	2	136		138	1560
	V層1回目	6		1			3					350	1	1		1	1	1	365					30		30	395
	V層2回目	1										76				1			78								78
	Ⅵ層							1				1						1	3								3
	Ⅵ層風倒木											1533							15334					12		12	15346
	Ⅵ層木の根	6		3	5		1		2		1	374	9	1	1		1	1	405					20		20	425
	Ⅶ層				4							5							9								9
	Ⅶ層風倒木							1				48							49								49
	Ⅶ層木の根	3		2	2	1						238	2						248					2		2	250
	撹乱	1		1	5		1	1			1	183	5	2				1	201					17		17	218
	排土	1			1							12	1					1	16					1		1	17
	表採											1							1								1
	風倒木											12							12	1		1		3		3	16
包含層 計		##	7	26	93	12	51	17	22	1	5	2153	85	12	1	4	10	27	22023	6		6	8	753	1	762	22791
総計		##	20	33	##	16	87	27	30	1	6	2349	##	20	1	5	19	35	24214	8	2	10	19	###	1	1223	25447

表3　遺構別遺物集計一覧(19)　K地区

地区	K																					
合計：点数		遺物分類																				
		土器			土器 計	土製品		土製品	石器										石器 計	石製	石製品	総計
遺構名	層位	Ⅰb	Ⅳc	Ⅶ		土製品	耳栓		石鏃	石錐	スクレイパー	石斧	たたき石	台石・石皿	フレイク・チップ	Rフレイク	Uフレイク	砥石		玉		
KLF 002	覆土						1	1														1
KLF 002 計							1	1														1
KLH 001	覆土														11				11			11
KLH 001 計															11				11			11
KLP 001	覆土		14		14										1				1			15
	覆土1層														1				1			1
KLP 001 計			14		14										2				2			16
KLP 002	覆土		5		5										2				2			7
	覆土2層														1				1			1
KLP 002 計			5		5										3				3			8
KLP 003	覆土														8				8			8
KLP 003 計															8				8			8
KLP 004	覆土														5				5			5
KLP 004 計															5				5			5
KLP 005	覆土		22		22																	22
	覆土1層														2	1			3			3
	覆土上層														4				4			4
KLP 005 計			22		22										6	1			7			29
KLP 006	覆土														1				1			1
KLP 006 計															1				1			1
KLP 007	覆土		4		4										1				1			5
	覆土1層								1										1			1
KLP 007 計			4		4				1						1				2			6
KLP 008	覆土		7		7						1				5				6			13
	覆土1層								2										2			2
KLP 008 計			7		7				2		1				5				8			15
KLP 009	覆土														2				2			2
KLP 009 計															2				2			2
KLP 010	覆土														6				6			6
KLP 010 計															6				6			6
KLP 012	覆土														7		1		8			8
KLP 012 計															7		1		8			8
KLP 013	覆土									1				1	55	1			58			58
KLP 013 計										1				1	55	1			58			58
KLP 014	覆土										2				5				7			7
KLP 014 計											2				5				7			7
KLP 015	覆土														18	2			20			20
KLP 015 計															18	2			20			20
KLP 038	覆土														2				2			2
KLP 038 計															2				2			2
KLP 040	覆土														1				1			1
KLP 040 計															1				1			1
KLP 042	覆土														1				1			1
KLP 042 計															1				1			1
KLP 043	覆土														1				1			1
KLP 043 計															1				1			1
KLP 044	覆土														1				1			1
KLP 044 計															1				1			1
KLP 045	覆土											1							1			1
KLP 045 計												1							1			1
KLP 053	覆土														1				1			1
KLP 053 計															1				1			1
KLP 059	覆土														1				1			1
KLP 059 計															1				1			1
KLP 063	覆土														1				1			1
KLP 063 計															1				1			1
KLP 068	覆土														1				1			1
KLP 068 計															1				1			1
KLP 078	覆土														1				1			1
KLP 078 計															1				1			1
KLP 079	覆土								1										1			1
KLP 079 計									1										1			1
KLP 085	覆土														1				1			1
KLP 085 計															1				1			1
KLP 091	覆土														1				1			1
KLP 091 計															1				1			1
KLP 102	覆土																	1	1			1

表3　遺構別遺物集計一覧(20)　K地区

遺構名	層位	土器 Ⅰb	土器 Ⅳc	土器 Ⅶ	土器 計	土製品 土製品	土製品 耳栓	土製品	石器 石鏃	石器 石錐	石器 スクレイパー	石器 石斧	石器 たたき石	石器 台石・石皿	石器 フレイク・チップ	石器 Rフレイク	石器 Uフレイク	石器 砥石	石器 計	石製 玉	石製品	総計
KLP 102 計																		1	1			1
KLP 106	腹土														2				2			2
KLP 106 計															2				2			2
KLP 115	腹土														1				1			1
KLP 115 計															1				1			1
KLP 116	腹土														3				3			3
KLP 116 計															3				3			3
KLP 117	腹土														2				2			2
KLP 117 計															2				2			2
KLP 133	腹土														1				1			1
KLP 133 計															1				1			1
KLP 135	腹土														2				2			2
KLP 135 計															2				2			2
KLP 138	腹土														1				1			1
KLP 138 計															1				1			1
KLP 140	腹土														2				2			2
KLP 140 計															2				2			2
KLP 141	腹土														20				20			20
KLP 141 計															20				20			20
KLP 145	腹土																1		1			1
KLP 145 計																	1		1			1
KLP 156	腹土														1				1			1
KLP 156 計															1				1			1
KLP 157	腹土												1						1			1
KLP 157 計													1						1			1
KLP 164	腹土														1				1			1
KLP 164 計															1				1			1
KLP 183	腹土														1				1			1
KLP 183 計															1				1			1
KLP 197	腹土														1				1			1
KLP 197 計															1				1			1
KLP 221	腹土														1				1			1
KLP 221 計															1				1			1
KLP 300	腹土														2				2			2
KLP 300 計															2				2			2
包含層	Ⅳ層		2430		2430				2	1		1			91				95			2525
	Ⅳ層上面		880		880	2	1	3							35				35			918
	Ⅴ層		5209		5209				11	3		4	2	1	338	4	4	5	372			5581
	Ⅴ層上面		676		676				1						30				31			707
	Ⅵ層	10	1172	5	1187				1	2		1			77		1	1	83			1270
	Ⅶ層		46		46										5				5			51
	撹乱		460		460				1						30				31			491
	表採		12		12										11				11			23
	腹土																	1	1			1
包含層 計		10	10885	5	10900	2	1	3	16	6		6	2	1	617	4	5	7	664			11567
総計		10	10937	5	10952	2	2	4	20	7	3	7	3	2	806	8	7	8	871			11827

表4　遺構掲載土器一覧(1)

遺構名	図番号		グリッド・遺構名	層位	分類	点数	合計	備考
A地区　盛土遺構								
AM	図Ⅳ-14	1	Z49	河道跡2-1	Ⅳc	1		
			Z51	盛土2層	Ⅳc	1		
			Z51	盛土2層	Ⅳc	1		
			Z51	盛土2層	Ⅳc	1	4	
	図Ⅳ-14	2	W49	河道跡2-2	Ⅳc	1		
			W52	Ⅴ層	Ⅳc	1		
			X52	Ⅵ層	Ⅳc	1		
			X52	盛土4層	Ⅳc	27		
			X52	Ⅴ層	Ⅳc	6		
			X52	盛土層	Ⅳc	1		
			X53	Ⅴ層	Ⅳc	2		
			X53	Ⅴ層	Ⅳc	1		
			X53	4	Ⅳc	1		
			X53	Ⅴ層	Ⅳc	1		
			Y48	河道跡2-Ⅲ	Ⅳc	1		
			Y50	Ⅲ層	Ⅳc	1		
			Y52	盛土4層	Ⅳc	1		
			Y52	盛土4層	Ⅳc	3		
			Y52	盛土層	Ⅳc	1		
			Y52	Ⅴ層	Ⅳc	2		
			不明	盛土4層	Ⅳc	1	52	
	図Ⅳ-14	3	Y52	盛土4層	Ⅳc	1		
			Y52	盛土5層	Ⅳc	1	2	
	図Ⅳ-14	4	X51	Ⅴ層	Ⅳc	1		
			Y52	不明	Ⅳc	1		
			Y53	盛土2層	Ⅳc	1		
			Z51	Ⅲ層	Ⅳc	3		
			Z51	盛土2層	Ⅳc	1		
			Z51	盛土6層	Ⅳc	1		
			Z51	Ⅳ層	Ⅳc	2	10	
	図Ⅳ-14	5	a51	盛土1層	Ⅳc	2		
			W53	Ⅴ層	Ⅳc	2		
			X52	Ⅴ層	Ⅳc	5		
			X53	Ⅴ層	Ⅳc	3		
			Y52	Ⅳ層	Ⅳc	1	13	
	図Ⅳ-14	6	AM	盛土層	Ⅳb	1		
	図Ⅳ-14	7	AM	盛土層	Ⅳb	1	2	
	図Ⅳ-14	8	AM	盛土1層	Ⅳb	1		
	図Ⅳ-14	8	a51	Ⅴ層	Ⅳb	1	2	
	図Ⅳ-14	9	X52	盛土4層	Ⅳb	1	1	
	図Ⅳ-14	10	Z51	Ⅲ層	Ⅳb	2	2	
	図Ⅳ-14	11	X52	盛土4層	Ⅳc	1		
			Y52	盛土層5	Ⅳc	1		
			X52	盛土4層	Ⅳc	1		
			Y52	盛土2層	Ⅳc	1	4	
	図Ⅳ-14	12	AM	盛土2層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-14	13	X52	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1		
			Y52	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
			AM	盛土1層	Ⅳc	1	3	
	図Ⅳ-14	14	AM	盛土1層	Ⅳc	3		
			AM	盛土2層	Ⅳc	3		
			Z51	Ⅲ層	Ⅳc	1		
			AM	盛土4層	Ⅳc	3		
	図Ⅳ-14	15	AM	盛土2層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-14	16	AM	盛土2層	Ⅳc	1		
			AM	盛土4層	Ⅳc	2	3	
	図Ⅳ-14	17	AM	盛土2層	Ⅳc	1		
			AM	盛土2層	Ⅳc	1		
			AM	盛土4層	Ⅳc	1	3	
	図Ⅳ-14	18	AM	盛土1層	Ⅳc	1		
			Z51	Ⅳ層	Ⅳc	1	2	
	図Ⅳ-14	31	AM	盛土1層	土玉	1	1	
	図Ⅳ-14	32	AM	盛土1層	垂飾	1	1	
	図Ⅳ-14	33	AM	盛土1層	スタンプ形土製品	1	1	
A地区　住居跡								
ALH3	図Ⅳ-18	1	ALH3	覆土	Ⅱa-1	1		
			I37	Ⅴ-8b	Ⅱa-1	1		
			I37	Ⅴ-8c	Ⅱa-1	28		
			K35	Ⅴ-8c	Ⅱa-1	1		
			K46	Ⅴ	Ⅱa-1	1		
			L44	Ⅴ-1b	Ⅱa-1	1		
			M44	Ⅴ	Ⅱa-1	1		
			M44	Ⅵ	Ⅱa-1	1		
			N40	Ⅴ	Ⅱa-1	2		
			N43	Ⅴ	Ⅱa-1	1		
			N46	Ⅴ	Ⅱa-1	1	39	
	図Ⅳ-18	2	ALH3	床面	Ⅰb-2	1	1	
	図Ⅳ-18	3	ALH3	覆土	Ⅰb-2	3	3	
	図Ⅳ-18	4	ALH3	覆土	Ⅰb-2	4		
			ALH3	掘上土	Ⅰb-2	1	5	
	図Ⅳ-18	5	ALH3	覆土	Ⅱa-1	1	1	
	図Ⅳ-18	6	ALH3	覆土	Ⅱa-1	1	1	
	図Ⅳ-18	7	ALH3	覆土	Ⅱa-2	1	1	
	図Ⅳ-18	8	ALH3	覆土	Ⅱa-2	1	1	
	図Ⅳ-18	9	ALH3	覆土	Ⅱa-2	1	1	
	図Ⅳ-18	10	ALH3	覆土	Ⅱa-2	2	2	
ALH4	図Ⅳ-20	1	ALH4	掘上土	Ⅰb-4	2	2	
	図Ⅳ-20	2	ALH4	掘上土	Ⅱa-1	3	3	
	図Ⅳ-20	3	ALH4	覆土	Ⅱa-2	2	2	
	図Ⅳ-20	4	ALH4	掘上土	Ⅱa-2	1	1	
ALH5	図Ⅳ-21	1	ALH5	床面	Ⅰb-3	23	23	
	図Ⅳ-21	2	ALH5	床面	Ⅰb-3	1		
			K45	Ⅴ-1b	Ⅰb-3	6	7	
ALH6	図Ⅳ-23	1	ALH6	覆土	Ⅱa-2	14		
			G39	Ⅵ	Ⅱa-2	1		
			H40	掘上土	Ⅱa-2	4	19	
	図Ⅳ-23	2	ALH6	覆土	Ⅱa-2	10		
			G39	Ⅴ	Ⅱa-2	1		
			H39	Ⅴ	Ⅱa-2	1		
			H39	Ⅴ-8c	Ⅱa-2	1	13	
	図Ⅳ-23	3	H39	Ⅴ-7	Ⅰb-2	1		
			H39	Ⅴ-8c	Ⅰb-2	1	2	
	図Ⅳ-23	4	ALH6	覆土	Ⅰb-2	1		
			H39	Ⅴ	Ⅰb-2	1		
			H40	掘上土	Ⅰb-2	2	4	

遺構名	図番号		グリッド・遺構名	層位	分類	点数	合計	備考
	図Ⅳ-23	5	ALH6	覆土	Ⅱa-2	2		
			G39	Ⅴ	Ⅱa-2	1		
			G40	Ⅴ	Ⅱa-2	1		
			H39	Ⅴ	Ⅱa-2	1		
			H40	掘上土	Ⅱa-2	5	10	
	図Ⅳ-23	6	ALH6	覆土	Ⅱa-2	3	3	
	図Ⅳ-23	7	ALH6	覆土	Ⅱa-2	1		
			ALH6	掘上土	Ⅱa-2	1	2	
	図Ⅳ-23	8	ALH6	覆土	Ⅱa-2	1	1	
	図Ⅳ-23	9	H41	Ⅵ	Ⅱa-2	2	2	
ALH7	図Ⅳ-25	1	ALH7	覆土	Ⅰb-3	1	1	
	図Ⅳ-25	2	ALH7	覆土	Ⅱa-2	2	2	
	図Ⅳ-25	3	ALH7	覆土	Ⅱa-2	1	1	
ALH8	図Ⅳ-25	1	ALH8	覆土	Ⅰb-2	1	1	
ALH9	図Ⅳ-26	1	ALH9	覆土	Ⅰb-2	1	1	
	図Ⅳ-26	2	ALH9	覆土	Ⅰb-3	5	5	
ALH10	図Ⅳ-28	1	ALH10	覆土	Ⅰb-3	16		
			M43	Ⅵ	Ⅰb-3	1	17	
	図Ⅳ-28	2	ALH10	覆土	Ⅰb-3	7	7	
	図Ⅳ-28	3	ALH10	覆土	Ⅰb-3	1		
			N42	Ⅴ		3	4	
	図Ⅳ-28	4	ALH10	覆土	Ⅰb-3	2	2	
	図Ⅳ-28	5	ALH10	覆土	Ⅰb	2	2	
	図Ⅳ-28	6	ALH10	覆土	Ⅰb-3	3	3	
	図Ⅳ-28	7	ALH10	覆土	Ⅰb-2	1	1	
	図Ⅳ-28	8	ALH10	覆土	Ⅰb-3	1	1	
	図Ⅳ-28	9	ALH10	覆土	Ⅰb-3	1	1	
	図Ⅳ-28	10	ALH10	覆土	Ⅰb-3	1		
			N44	Ⅵ	Ⅰb-3	1	2	
	図Ⅳ-28	11	ALH10	床面	Ⅰb-3	7		
			ALH10	覆土	Ⅰb-3	2	9	
	図Ⅳ-29	12	ALH10	覆土	Ⅰb-3	17		
			M44	Ⅴ	Ⅰb-3	1	18	
	図Ⅳ-29	13	ALH10	覆土	Ⅰb-3	2		
			M44	Ⅴ	Ⅰb-3	5		
			ALH10	掘上土	Ⅰb-3	3	10	
ALH11	図Ⅳ-30	1	ALH11	覆土	Ⅰb-3	3	3	
	図Ⅳ-30	2	ALH11	覆土	Ⅰb-4	1	1	
	図Ⅳ-30	3	ALH11	覆土	Ⅱa-1	1	1	
	図Ⅳ-30	4	ALH11	覆土	Ⅱa-2	2	2	
ALH12	図Ⅳ-31	1	ALH12	覆土	Ⅰb-4	1	1	
	図Ⅳ-31	2	ALH12	床面	Ⅰb	1	1	
	図Ⅳ-31	3	ALH12	床面	Ⅱa-1	1	1	
	図Ⅳ-31	4	ALH12	覆土	Ⅱa-1	2	2	
	図Ⅳ-31	5	ALH12	覆土	Ⅱa-1	4	4	
	図Ⅳ-31	6	ALH12	覆土	Ⅱa-2	1	1	
	図Ⅳ-31	7	L35	Ⅴ-8c	Ⅱa-1	1	1	
	図Ⅳ-31	8	G36	Ⅴ-8b	Ⅱa-1	1	1	
	図Ⅳ-31	9	H37	Ⅴ-8b	Ⅱa-1	4		
			H38	Ⅴ-8b	Ⅱa-1	2		
			H38	Ⅴ-8c	Ⅱa-1	1	7	
	図Ⅳ-31	10	ALH12	覆土	Ⅱa-1	1		
			J36	Ⅴ-8c	Ⅱa-1	2		
			K36	Ⅴ-8b	Ⅱa-1	2	5	
ALH13	図Ⅳ-33	1	ALH13	覆土	Ⅰb-3	15		
			K43	Ⅴ-1b	Ⅰb-3	2		
			L43	Ⅵ	Ⅰb-3	1	18	
	図Ⅳ-33	2	ALH13	覆土	Ⅰb-3	10	10	
	図Ⅳ-33	3	ALH13	覆土	Ⅰb-3	21	21	
	図Ⅳ-33	4	ALH13	覆土	Ⅰb-3	5		
			ALH3	掘上土	Ⅰb-3	3		
			K43	Ⅴ-1	Ⅰb-3	1		
			K43	Ⅴ-1b	Ⅰb-3	3		
			K43	Ⅵ	Ⅰb-3	1		
			L42	Ⅴ	Ⅰb-3	3		
			L43	Ⅵ	Ⅰb-3	4		
			M42	Ⅴ	Ⅰb-3	1		
				未注記	Ⅰb-3	1	23	
	図Ⅳ-33	5	ALH13	覆土	Ⅰb-3	1	1	
	図Ⅳ-33	6	ALH13	覆土	Ⅰb-3	3	3	
	図Ⅳ-33	7	ALH13	覆土	Ⅰb-3	6	6	
	図Ⅳ-33	8	ALH13HP1	覆土	Ⅰb	2	2	
	図Ⅳ-33	9	ALH13	覆土	Ⅰb-2	1		
			J43	Ⅴ	Ⅰb-2	2	3	
	図Ⅳ-33	10	ALH13	覆土	Ⅰb-3	1	1	
	図Ⅳ-33	11	ALH13	覆土	Ⅰb-3	1	1	
	図Ⅳ-33	12	ALH13	覆土				
	図Ⅳ-33	13	ALH13	覆土	Ⅰb-3	9	9	
	図Ⅳ-33	14	ALH13	覆土	Ⅰb-3	3	3	
	図Ⅳ-33	15	ALH13	覆土	Ⅰb-2	1	1	
ALH14	図Ⅳ-35	1	ALH14	床面	Ⅰb-3	170		
			J39	Ⅵ	Ⅰb-3	2		
			L40	Ⅵ	Ⅰb-3	1	173	
	図Ⅳ-35	2	ALH14	床面	Ⅰb-3	18		
			K42	Ⅴ	Ⅰb-3	1		
			N39	Ⅴ	Ⅰb-3	1	20	
	図Ⅳ-35	3	ALH14	覆土	Ⅰb-3	1		
			K36	Ⅴ-8b	Ⅰb-3	3		
			K40	掘上土	Ⅰb-3	3		
			L40	Ⅴ	Ⅰb-3	1		
			M37	Ⅴ-8b	Ⅰb-3	1	9	
	図Ⅳ-35	4	ALH14	床面	Ⅰb-3	1		
			G43	Ⅵ	Ⅰb-3	2		
			K41	Ⅵ	Ⅰb-3	10		
			L40	掘上土	Ⅰb-3	1		
			L41	Ⅵ	Ⅰb-3	10		
			L46	Ⅴ	Ⅰb-3	2		
			M43	Ⅴ	Ⅰb-3	1		
			N41	攪乱	Ⅰb-3	3	30	
	図Ⅳ-35	5	ALH14	覆土	Ⅰb	1	1	
	図Ⅳ-35	6	ALH14	床面	Ⅰb-2	1	1	
	図Ⅳ-35	7	ALH14	床面	Ⅰb-3	1	1	
	図Ⅳ-35	8	ALH14	床面	Ⅰb-2	3		
			J40	掘上土	Ⅰb-2	1		
			J41	掘上土	Ⅰb-2	1		
			K40	Ⅵ	Ⅰb-2	2		
			L40	Ⅴ	Ⅰb-2	2		
			L40	Ⅵ	Ⅰb-2	3		

表4　遺構掲載土器一覧(2)

遺構名	図番号		グリッド・遺構名	層位	分類	点数	合計	備考
			L41	Ⅵ	Ⅰb-2	2	14	
	図Ⅳ-35	9	ALH14	覆土	Ⅰb-3	1	1	
	図Ⅳ-35	10	ALH14	覆土	Ⅰb-3	1	1	
	図Ⅳ-35	11	ALH14	床面	Ⅰb-3	1		
			I41	掘上土	Ⅰb-3	2		
			J47	Ⅴ	Ⅰb-3	1		
			L40	Ⅴ	Ⅰb-3	2	6	
	図Ⅳ-35	12	ALH14	床面	Ⅰb-3	1	1	
	図Ⅳ-35	13	ALH14	覆土	Ⅰb-2	1		
			J39	Ⅴ-8b	Ⅰb-2	1		
			J39	Ⅵ	Ⅰb-2	1		
			J40	掘上土	Ⅰb-2	1		
			K41	Ⅵ	Ⅰb-2	1	5	
	図Ⅳ-35	14	ALH14	覆土	Ⅰb-3	1	1	
	図Ⅳ-35	15	ALH14	床面	Ⅰb-3	1	1	
	図Ⅳ-35	16	ALH14	床面	Ⅰb-3	2	2	
	図Ⅳ-35	17	ALH14	覆土	Ⅰb-3	1	1	
ALH15	図Ⅳ-36	1	ALH15	覆土	Ⅰb-2	1	1	
	図Ⅳ-36	2	ALH15	覆土	Ⅰb	1	1	
	図Ⅳ-36	3	ALH15	覆土	Ⅰb-2	1	1	
	図Ⅳ-36	4	ALH15	覆土	Ⅰb-3	2	2	
ALH17	図Ⅳ-37	1	ALH17	覆土	Ⅰb-2	25		
			ALH10	覆土	Ⅰb-2	2		
			M43	Ⅴ	Ⅰb-2	9		
			M43	Ⅵ	Ⅰb-2	5		
			N42	Ⅴ	Ⅰb-2	2		
			N43	Ⅴ	Ⅰb-2	2		
			O43	Ⅴ	Ⅰb-2	5	50	
	図Ⅳ-37	2	ALH17	覆土	Ⅰb-2	13		
			ALH10	掘上土	Ⅰb-2	4	17	
	図Ⅳ-37	3	ALH17	覆土	Ⅰb	1	1	
	図Ⅳ-38	4	ALH17	床面	Ⅰb-2	20	20	
ALH18	図Ⅳ-40	1	ALH18	床面	Ⅰb	2	2	
	図Ⅳ-40	2	ALH18	覆土	Ⅰb-2	13	13	
A地区　水場遺構土壙群								
ALP1	図Ⅳ-42	1	Z45	覆土1	Ⅳc	6	6	
	図Ⅳ-42	2	ALP1	覆土1	Ⅳc	16		
			ALP1	覆土2	Ⅳc	19		
			ALP1	覆土3	Ⅳc	4		
			Y45	Ⅴ層	Ⅳc	1		
			ALP1	覆土	Ⅳc	2		
			Y46	Ⅴ層	Ⅳc	1		
			Y46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
			Z47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2	46	
	図Ⅳ-42	4	ALP1	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-42	5	ALP1	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-42	6	ALP1	覆土	Ⅳc	1	1	
ALP2	図Ⅳ-49	1	ALP2	覆土	Ⅳb	4		
			a47	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	1		
			X47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳb	1		
			X49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳb	1		
			X49	河道跡2－Ⅲ	Ⅳb	2		
			Y47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳb	3		
			Y48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳb	16		
			Y48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳb	1		
			Y48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳb	14		
			Y48	河道跡2－Ⅳ	Ⅳb	3		
			Y49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳb	1		
			Z47	河道跡2－Ⅱ	Ⅳb	1		
			Z47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳb	1		
			Z47	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1		
			Z47	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	2		
			Z48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳb	1		
			Z48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳb	34		
			Z48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳb	75		
			Z48	河道跡2－Ⅳ	Ⅳb	16		
			Z48	Ⅴ-イ層	Ⅳb	1		
			Z48	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	2		
			Z48	河道跡2	Ⅳb	1		
			Z49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳb	6		
			Z49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳb	6	194	
	図Ⅳ-49	2	ALP2	覆土	Ⅳb	50		
			Z46	Ⅴ層	Ⅳb	1	51	
	図Ⅳ-49	3	ALP2	覆土	Ⅳc	9	9	
	図Ⅳ-49	4	ALP2	覆土	Ⅳc	9	9	
	図Ⅳ-49	5	ALP2	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-49	6	ALP2	覆土	Ⅳb	3	3	
	図Ⅳ-49	7	ALP2	覆土	Ⅳc	9		
			Z46	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
			Z46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	7	17	
	図Ⅳ-49	8	Z46	覆土	Ⅳc	2	2	
	図Ⅳ-49	9	ALP2	覆土	Ⅳc	2	2	
	図Ⅳ-50	10	Z46	覆土	Ⅳb	69		
			Z46	Ⅴ層	Ⅳb	1		
			Z47	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	2	72	
	図Ⅳ-50	11	ALP2	覆土1	Ⅳc	14		
			Z47	Ⅴ層	Ⅳc	2		
			ALP2	覆土2	Ⅳc	1		
			a46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
			a47	1	Ⅳc	1		
			a47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	3		
			a47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	7		
			a47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	7		
			a48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	4		
			a48	河道跡2	Ⅳc	2		
			a48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	5		
			b48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
			b48	1	Ⅳc	1		
			b49	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
			c47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
			c47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
			c48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
			d47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
			d49	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
			f49	4	Ⅳc	2		
			W48	河道跡2-Ⅲ	Ⅳc	1		
			Y47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		

遺構名	図番号		グリッド・遺構名	層位	分類	点数	合計	備考
			Y49	河道跡2-2	Ⅳc	2		
			Z47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	6		
			Z47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
			Z48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
			Z48	Ⅴ層	Ⅳc	6		
			Z48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	5		
			Z48	河道跡2-Ⅰ	Ⅳc	9		
			Z49	河道跡2-2	Ⅳc	1		
				河道跡2-Ⅲ	Ⅳc	1	92	
	図Ⅳ-50	12	Z47	覆土	Ⅳc	10		
			Z47	河道跡2-Ⅲ	Ⅳc	1	11	
	図Ⅳ-50	13		覆土	Ⅳc	1		
			Y47	覆土	Ⅳc	10	11	
	図Ⅳ-50	14	ALP2	覆土	Ⅳc	15		
			ALP2	覆土1	Ⅳc	2		
			ALP2	覆土2	Ⅳc	1		
			ALP2	覆土2	Ⅳc	1		
			Z47	Ⅴ層	Ⅳc	1		
			Z47	覆土2	Ⅳc	8		
			Z47	覆土下	Ⅳc	1		
			Z47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
			Z47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
			d47	Ⅴ層	Ⅳc	1		
				覆土	Ⅳc	1		
			Z46	覆土	Ⅳc	5		
			X47	河道跡2-2	Ⅳc	2		
			X47	河道跡2-Ⅲ	Ⅳc	1		
			Y47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2		
			Z46	覆土	Ⅳc	9		
			Z46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	4		
			Z47	覆土	Ⅳc	8	63	
	図Ⅳ-51	15	ALP2	覆土	Ⅳc	19		
			ALP2	覆土2	Ⅳc	2		
			ALP2	覆土1	Ⅳc	1		
			Z47	Ⅴ層	Ⅳc	2		
			Z47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
			Z47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	6	31	
	図Ⅳ-51	16	ALP2	覆土	Ⅳb	2	2	
	図Ⅳ-51	17	ALP2	覆土	Ⅳb	2	2	
	図Ⅳ-51	18	ALP2	覆土	Ⅳc	2	2	
	図Ⅳ-51	19	ALP2	覆土	Ⅳb	2	2	
	図Ⅳ-51	20	ALP2	覆土	Ⅳc	4	4	
	図Ⅳ-52	21	ALP2	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-52	22	ALP2	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-52	23	ALP2	覆土	Ⅳc	3	3	
	図Ⅳ-52	24	ALP2	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-52	25	ALP2	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-52	26	ALP2	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-52	27	ALP2	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-52	28	ALP2	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-52	29	ALP2	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-52	30	ALP2	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-52	31	ALP2	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-52	32	ALP2	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-52	33	ALP2	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-52	34	ALP2	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-52	36	ALP2	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-52	37	ALP2	覆土	Ⅳc	1		
			ALP2	覆土	Ⅳc	1	2	
	図Ⅳ-52	38	ALP2	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-52	39	ALP2	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-52	40	ALP2	覆土	Ⅳc	9		
			ALP2	覆土	Ⅳc	3		
			ALP2	覆土	Ⅳc	11		
			ALP2	覆土	Ⅳc	1		
			ALP2	覆土	Ⅳc	1		
			ALP2	覆土	Ⅳc	1	26	
	図Ⅳ-52	41	ALP2	覆土	Ⅳc	1	1	水彩土器
	図Ⅳ-52	42	ALP2	覆土	Ⅳc	1	1	ミニチュア土器
ALP-3	図Ⅳ-56	1	ALP3	覆土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅳ-56	2	ALP3	覆土	Ⅳb	10		
			ALP4	覆土	Ⅳb	2		
			Z48	Ⅴ層	Ⅳb	2	14	
	図Ⅳ-56	3	ALP3	覆土	Ⅳc	1		
			ALP3	覆土1	Ⅳc	1		
			ALP3	壊底	Ⅳc	1		
			ALP3	覆土1	Ⅳc	1		
			ALP3	覆土1	Ⅳc	4		
			ALP3	覆土1	Ⅳc	2		
			Z48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2	12	
	図Ⅳ-56	4	ALP3	壊底	Ⅳc	2		
			ALP3	覆土底	Ⅳc	1		
			Y48	河道跡2-Ⅲ	Ⅳc	18		
			Z47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
			Z47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	5		
			Z48	河道跡2	Ⅳc	4		
			Z48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	6		
			Z48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	9		
			Z48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	3		
			Z49	河道跡2	Ⅳc	1		
			Z49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	9	59	
	図Ⅳ-56	5	Z48	河道跡2-1	Ⅳc	10		
			Z48	河道跡2-2	Ⅳc	5		
			ALP3	覆土	Ⅳc	18		
			Z48	Ⅴ層	Ⅳc	3	36	
	図Ⅳ-56	6		覆土1	Ⅳc	1		
			Z47	河道跡2-Ⅲ	Ⅳc	7		
			Z47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	9		
			Z48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	7		
			Z48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2		
			Z48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	9	35	
	図Ⅳ-56	7	ALP-3	覆土1	Ⅳc	1		
			Z47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
			Z47	覆土2	Ⅳc	1		
			Z47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
			Z47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2		
			Z48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	12		

表4　遺構掲載土器一覧(3)

遺構名	図番号		グリッド・遺構名	層位	分類	点数	合計	備考
			Z48	V-イ層	Ⅳc	1		
			Z48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1	20	
	図Ⅳ-56	8	ALP3	撹土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅳ-56	9	ALP3	撹土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅳ-56	10	ALP3	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-56	11	ALP3	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-56	12	ALP3	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-56	13	Z47	撹土	Ⅳc	1		
			ALP4	撹土	Ⅳc	1		
			Z47	V-ハ層	Ⅳc	2		
ALP-4	図Ⅳ-57	14	ALP4	撹土	Ⅳc	4	4	赤彩土器
	図Ⅳ-57	15	Z47	V-ロ層	Ⅳc	1		
			ALP3	撹土1	Ⅳc	1		
			ALP3	撹土1	Ⅳc	1		
			ALP4	撹土1	Ⅳc	1		
			ALP4	撹土1	Ⅳc	1		
			ALP4	撹土1	Ⅳc	1		
			ALP4	撹土2	Ⅳc			
			ALP4	撹土2	Ⅳc	1		
			ALP4	撹土2	Ⅳc	1		
			ALP4	撹土	Ⅳc	1		
			ALP4	撹土2	Ⅳc	2		
			Z47	V-ロ層	Ⅳc	1		
			Z47	V-ハ層	Ⅳc	3		
			Z48	V-ハ層	Ⅳc	9	24	
	図Ⅳ-57	16	ALP4	撹土1	Ⅳc	1		
			ALP4	撹土1	Ⅳc	1		
			ALP4	撹土1	Ⅳc	1		
			ALP4	撹土2	Ⅳc	1		
			ALP4	撹土2	Ⅳc	1		
			ALP4	撹土2	Ⅳc	1		
			Z47	V-ロ層	Ⅳc	2		
			Z47	V-ハ層	Ⅳc	4		
			Y47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1	13	
	図Ⅳ-57	17	Z47	撹土1	Ⅳb	1		
			Z47	撹土2	Ⅳb	1		
			Z47	撹土2	Ⅳb	1		
			Z47	V-ロ層	Ⅳb	11		
			Z47	V-ハ層	Ⅳb	7	21	
	図Ⅳ-57	18	Z47	撹土1	Ⅳc	1		
			Z47	撹土1	Ⅳc	2		
			Z47	撹土1	Ⅳc	3		
			Z47	撹土1	Ⅳc	1		
			Z47	撹土1	Ⅳc	1		
			Z47	V-ハ層	Ⅳc	3	11	
	図Ⅳ-57	19	ALP4	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-57	20	ALP4	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-57	21	ALP4	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-57	22	ALP4	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-57	23	ALP4	撹土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅳ-57	24	ALP4	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-57	25	ALP4	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-57	26	ALP4	撹土2	Ⅳc	1		
			Z47	撹土2	Ⅳc	3		
			Z47	V-ロ層	Ⅳc	1		
			Z47	V-ハ層	Ⅳc	5	10	
ALP-3	図Ⅳ-58	31	ALP3	撹土	スタンプ形土製品	1	1	
A地区ピット群								
ALP-5	図Ⅳ-62	1	ALP5	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-62	2	ALP5	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-62	3	ALP5	撹土	Ⅳc	1	1	
ALP-6	図Ⅳ-62	4	ALP6	撹土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅳ-62	5	ALP6	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-62	6	ALP6	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-62	7	ALP6	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-62	8	ALP6	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-62	9	ALP6	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-62	10	ALP6	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-62	11	ALP6	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-62	12	ALP6	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-62	13	ALP6	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-62	14	ALP6	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-62	15	ALP6	撹土	Ⅳc	1	1	
ALP-9	図Ⅳ-62	18	ALP9	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-62	19	ALP9	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-62	20	ALP9	撹土	Ⅳc	1	1	
ALP-10	図Ⅳ-62	21	ALP10	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-62	22	ALP10	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-62	23	ALP10	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-62	24	ALP10	撹土	Ⅳc	1	1	
ALSP-58	図Ⅳ-63	1	ALSP58	撹土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅳ-63	2	ALSP58	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-63	3	ALSP58	撹土	Ⅳc	1	1	
ALSP-83	図Ⅳ-63	4	ALSP83	撹土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅳ-63	5	ALSP83	撹土	Ⅳc	1	1	
ALSP-92	図Ⅳ-63	6	ALSP92	撹土	Ⅳc	1	1	
ALP-11	図Ⅳ-65	1	ALP11	撹土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅳ-65	2	ALP11	撹土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅳ-65	3	ALP11	撹土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅳ-65	4	ALP11	撹土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅳ-65	5	ALP11	撹土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅳ-65	6	ALP11	撹土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅳ-65	7	ALP11	撹土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅳ-65	8	ALP11	撹土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅳ-65	9	ALP11	撹土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅳ-65	10	ALP11	撹土	Ⅳb	1	1	
ALP-20	図Ⅳ-66	1	ALP20	撹土	Ⅰb-3	78		
			M43	V	Ⅰb-3	5	83	
ALP-22	図Ⅳ-66	1	ALP22	撹土	Ⅰb-3	3	3	
ALP-27	図Ⅳ-68	1	ALP27	撹土	Ⅰb-2	2	2	
ALP-30	図Ⅳ-68	1	ALP30	撹土	Ⅱa-2	2	2	
	図Ⅳ-68	2	ALP30	撹土	Ⅱa-2	4	4	
ALP-31	図Ⅳ-69	1	ALP31	撹土	Ⅰb-3	2	2	
ALP-32	図Ⅳ-69	1	ALP32	撹土	Ⅰb-2	1	1	
ALP-34	図Ⅳ-69	1	ALP34	撹土	Ⅰb-3	1	1	
	図Ⅳ-69	2	ALP34	撹土	Ⅱa-2	1	1	

遺構名	図番号		グリッド・遺構名	層位	分類	点数	合計	備考
ALP-35	図Ⅳ-70	1	ALP35	撹土	Ⅱa-1	1		
	図Ⅳ-70		I40	V	Ⅱa-1	1	2	
ALP-39	図Ⅳ-70	1	ALP39	撹土	Ⅱa-2	1	1	
ALP-46	図Ⅳ-72	1	ALP46	撹土	Ⅱa-1	6		
			K41	V	Ⅱa-1	1		
			M44	V	Ⅱa-1	5		
			N44	V	Ⅱa-1	51	63	
ALP-49	図Ⅳ-71	1	ALP49	撹土	Ⅰb-2	1	1	
ALP-50	図Ⅳ-72	1	ALP50	撹土	Ⅰb-2	4		
			ALH10	撹土	Ⅰb-2	2	6	
ALP-33	図Ⅳ-75	1	ALP33	焼土	Ⅱa-2	3	3	
ALP-46	図Ⅳ-75	2	ALP46	焼土	Ⅰb-2	2	2	
	図Ⅳ-75	3	ALP46	焼土上	Ⅱa-1	1		
			N38	V-9	Ⅱa-1	1	2	
ALP-55	図Ⅳ-75	4	ALP55	焼土	Ⅰb-2	12	12	
H・K地区								
HM-1	図Ⅴ-7	1	c54	V層	Ⅳc	1		
			c54	盛土	Ⅳc	1		
			c55	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1		
			c55	盛土Ⅰ層	Ⅳc	2		
			c55	V層	Ⅳc	4	9	
	図Ⅴ-7	2	d53	盛土Ⅰ層	Ⅰb	1	1	
	図Ⅴ-7	3	d54	盛土Ⅰ層	Ⅰb	1	1	
	図Ⅴ-7	4	d55	盛土Ⅰ層	Ⅰb	1	1	
	図Ⅴ-7	5	d55	盛土Ⅰ層	Ⅰb	1	1	
	図Ⅴ-7	6	d55	盛土Ⅰ層	Ⅰb	1	1	
	図Ⅴ-7	7	d54	盛土Ⅰ層	Ⅰb	1	1	
	図Ⅴ-7	8	c55	盛土Ⅱ層	Ⅳb	1	1	
	図Ⅴ-7	9	c55	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1		
	図Ⅴ-7	10	d53	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1		
			d53	Ⅲ層	Ⅳc	2		
			d54	撹乱	Ⅳc	3	6	
	図Ⅴ-7	11	d54	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-7	12	d53	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-7	13	d53	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-7	14	d53	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-7	15	c57	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-7	16	d55	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-7	17	d55	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-7	18	e54	V層	Ⅳc	2		
	図Ⅴ-7	18	d54	盛土Ⅰ層	Ⅳc	5	7	
	図Ⅴ-7	19	c57	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-7	20	d57	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-7	21	d54	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-7	22	d55	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-7	23	d55	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-8	24	d53	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1		
			d53	撹乱	Ⅳc	1		
			d53	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1		
			d53	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1		
			d53	盛土2	Ⅳc	1		
			c53	盛土	Ⅳc	2		
			f49	V層	Ⅳc	1	8	
	図Ⅴ-8	25	d55	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1		
	図Ⅴ-8	25		盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	2	
	図Ⅴ-8	26	d54	盛土Ⅰ層	Ⅳc	4	4	
	図Ⅴ-8	27	c54	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-8	28	d55	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-8	29	d54	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-8	30	c55	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-8	31	f54	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-8	32	d53	盛土Ⅰ層	Ⅳc	2	2	
	図Ⅴ-8	33	d54	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-8	34	d55	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-8	35	d55	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-8	36	d54	盛土Ⅰ層	Ⅳc	2	2	
	図Ⅴ-8	37	d56	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-8	38	c57	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-8	39	c55	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-8	40	d53	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1		
			d53	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1		
			d53	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1		
			d53	盛土Ⅰ層	Ⅳc	2		
			d53	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	6	
	図Ⅴ-8	41	d54	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-8	42	c55	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-8	43	c54	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-8	44	c54	盛土Ⅰ層	Ⅳc	2		
			c54	盛土	Ⅳc	5		
			d54	V層	Ⅳc	1		
			d55	V層	Ⅳc	2	10	
	図Ⅴ-8	45	c55	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-8	46	d53	盛土Ⅰ層	Ⅳc	2		
	図Ⅴ-8	46	d53	盛土Ⅰ層	Ⅳc	2	4	
	図Ⅴ-9	47	c55	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-9	48	e61	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-9	49	d55	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-9	50	d53	盛土Ⅰ層	Ⅳc	10	10	
	図Ⅴ-9	51	d54	盛土Ⅰ層	Ⅳc	3	3	
	図Ⅴ-9	52	d54	盛土Ⅰ層	Ⅳc	4	4	
	図Ⅴ-9	53	c55	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-9	54	d54	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-9	55	d54	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-9	56	c53	盛土Ⅰ層	ミニチュア土器	1	1	
	図Ⅴ-9	57	f51	盛土Ⅱ層	Ⅳb	1	1	
	図Ⅴ-9	58	d54	盛土Ⅱ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-9	59	c54	盛土Ⅱ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-9	60	c55	盛土Ⅱ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-9	61	d54	盛土Ⅱ層	Ⅳc	1		
			d55	Ⅲ層上面	Ⅳc	1	2	
	図Ⅴ-9	62	c55	盛土Ⅱ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-9	63	c55	盛土Ⅰ層	スタンプ形土製品	1	1	
HM-2	図Ⅴ-11	1	e60	盛土Ⅰ層	Ⅳb	1	1	
	図Ⅴ-11	2	e61	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-11	3	e60	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	

表4　遺構掲載土器一覧(4)

遺構名	図番号		グリッド・遺構名	層位	分類	点数	合計	備考
	図Ⅴ-11	4	e60	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-11	5	e61	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-11	6	e61	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-11	7	e61	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-11	8	e61	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-11	9	e61	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-11	10	e61	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-11	11	e61	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-11	12	e61	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-11	13	e61	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-11	14	e61	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-11	15	c60	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-11	16	e61	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-11	17	f61	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-11	18	e62	盛土Ⅱ層	Ⅳb	1	1	
	図Ⅴ-11	19	e61	盛土Ⅰ層	Ⅳb	1	1	
	図Ⅴ-11	20	e61	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-11	21	e61	Ⅳ層	Ⅳc	1		
			e61	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	2	
	図Ⅴ-11	29	e61	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	赤彩土器
HM-3	図Ⅴ-12	1	i52	盛土Ⅰ層	Ⅰb	1	1	
	図Ⅴ-12	2	h52	盛土Ⅱ層	Ⅰb	1	1	
	図Ⅴ-12	3	h52	盛土Ⅰ層	Ⅳb	3		
			h51	Ⅵ層	Ⅳb	4	7	
	図Ⅴ-12	4	i52	盛土Ⅱ層	Ⅳb	1	1	
	図Ⅴ-12	5	h51	盛土Ⅰ層	Ⅳb	1	1	
	図Ⅴ-12	6	g52	盛土Ⅰ層	Ⅳb	1	1	
	図Ⅴ-12	7	h52	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-12	8	g52	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-12	9	i51	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-12	10	i52	盛土Ⅱ層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-12	11	h52	盛土Ⅰ層	Ⅳc	2	2	
	図Ⅴ-12	12	h52	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	1	
HLP-332	図Ⅴ-19	1	d54	盛土Ⅰ層	Ⅳc	18		
			d53	盛土Ⅱ層	Ⅳc	1		
			HLP332	覆土	Ⅳc	3	22	
	図Ⅴ-19	2	HLP332	覆土	Ⅳc	1		
			d55	盛土Ⅰ層	Ⅳc	9	10	
	図Ⅴ-19	3	HLP332	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-19	4	HLP332	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-19	5	HLP332	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-19	6	HLP332	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-19	7	HLP332	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-19	8	HLP332	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-19	9	HLP332	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-19	10	HLP332	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-19	11	HLP332	覆土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅴ-19	12	HLP332	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-19	13	HLP332	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-19	14	HLP332	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-19	15	HLP332	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-19	16	HLP332	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-19	17	HLP332	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-19	18	HLP332	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-19	19	HLP332	覆土	Ⅳc	1	1	
HLP-333	図Ⅴ-20	1	HLP333	覆土	Ⅳc	5	5	
	図Ⅴ-20	2	HLP333	覆土	Ⅳc	7	7	
	図Ⅴ-20	3	HLP333	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-20	4	HLP333	覆土	Ⅳc	1	1	
HLP-563	図Ⅴ-20	1	HLP563	覆土	Ⅳc	22		
	図Ⅴ-20	1	e53	盛土Ⅰ層	Ⅳc	1	23	
	図Ⅴ-20	2	HLP563	覆土	Ⅳc	9	9	
	図Ⅴ-20	3	HLP563	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-20	4	HLP563	覆土	Ⅳc	1	1	
HLP-505	図Ⅴ-20	1	HLP505	覆土	Ⅳc	7	7	
HLP-105	図Ⅴ-20	1	HLP105	覆土	Ⅳb	1	1	
HLP-126	図Ⅴ-20	1	HLP126	覆土2層		1	1	
HLP-33	図Ⅴ-20	1	HLP33	覆土	Ⅳc	1	1	
HLP-531	図Ⅴ-20	1	HLP531	覆土	Ⅳc	1	1	
HLP-12	図Ⅴ-20	1	HLP12	覆土	Ⅳc	1	1	
HLP-895	図Ⅴ-20	1	HLP895	覆土	Ⅳb	1	1	
HLP-10	図Ⅴ-20	1	HLP10	覆土	Ⅰb	1	1	
	図Ⅴ-20	2	HLP10	覆土	Ⅰb	1	1	
HLP-537	図Ⅴ-21	1	HLP537	覆土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅴ-21	2	HLP537	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-21	3	HLP537	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-21	4	HLP537	覆土	Ⅳc	1	1	
HLP-410	図Ⅴ-21	1	HLP410	覆土	Ⅳb	1	1	
HLP-537	図Ⅴ-21	5	HLP537	覆土	土玉	1	1	
HLP-304	図Ⅴ-21	1	HLP304	覆土	Ⅳc	1	1	
HLP-513	図Ⅴ-21	1	HLP513	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-21	2	HLP513	覆土	Ⅳc	1	1	
HLP-518	図Ⅴ-21	1	HLP518	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-21	2	HLP518	覆土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅴ-21	3	HLP518	覆土	Ⅳc	1	1	
HLP-135	図Ⅴ-21	1	HLP135	覆土	Ⅰb	1	1	
HLP-259	図Ⅴ-21	1	HLP259	覆土	Ⅳb	1	1	
HLP-338	図Ⅴ-21	1	HLP338	覆土	Ⅳc	1	1	
HLP-402	図Ⅴ-21	1	HLP402	覆土	Ⅳc	1	1	
HLP-481	図Ⅴ-21	1	HLP481	覆土	Ⅳc	1	1	
HLP-670	図Ⅴ-21	1	HLP670	覆土	Ⅰb	1	1	
HLP-677	図Ⅴ-21	1	HLP677	覆土	Ⅳc	1	1	
HLP-691	図Ⅴ-21	1	HLP691	覆土	Ⅳc	1	1	
HLP-717	図Ⅴ-21	1	HLP717	覆土	Ⅳc	1	1	
HLP-808	図Ⅴ-21	1	HLP808	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-90	図Ⅴ-24	1	KLP90	覆土	Ⅳc	188	188	
KLP-5	図Ⅴ-27	1	KLP5	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-27	2	KLP5	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-27	3	KLP5	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-27	4	KLP5	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-27	5	KLP5	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-27	6	KLP5	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-8	図Ⅴ-27	1	KLP8	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-27	2	KLP8	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-27	3	KLP8	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-27	4	KLP8	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-4	図Ⅴ-27	1	KLP4	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-27	2	KLP4	覆土	Ⅳc	1	1	

遺構名	図番号		グリッド・遺構名	層位	分類	点数	合計	備考
KLP-7	図Ⅴ-27	1	KLP7	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-9	図Ⅴ-27	1	KLP9	覆土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅴ-27	2	KLP9	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-12	図Ⅴ-27	1	KLP12	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-27	2	KLP12	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-27	3	KLP12	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-27	4	KLP12	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-16	図Ⅴ-27	1	KLP16	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-27	2	KLP16	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-17	図Ⅴ-27	1	KLP17	覆土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅴ-27	2	KLP17	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-10	図Ⅴ-27	1	KLP10	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-14	図Ⅴ-28	1	KLP14	覆土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅴ-28	2	KLP14	覆土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅴ-28	3	KLP14	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-28	4	KLP14	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-28	5	KLP14	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-28	6	KLP14	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-28	7	KLP14	覆土	Ⅳb	1	1	
KLP-15	図Ⅴ-28	1	KLP15	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-28	2	KLP15	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-28	3	KLP15	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-28	4	KLP15	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-28	5	KLP15	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-12	図Ⅴ-28	1	KLP12	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-20	図Ⅴ-28	1	KLP20	覆土	Ⅳb	1	1	
KLP-22	図Ⅴ-28	1	KLP22	覆土	Ⅳb	1	1	
KLP-23	図Ⅴ-28	1	KLP23	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-28	2	KLP23	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-47	図Ⅴ-28	1	KLP47	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-28	2	KLP47	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-52	図Ⅴ-28	1	KLP52	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-63	図Ⅴ-28	1	KLP63	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-53	図Ⅴ-28	1	KLP53	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-77	図Ⅴ-28	1	KLP77	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-68	図Ⅴ-28	1	KLP68	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-28	2	KLP68	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-79	図Ⅴ-28	1	KLP79	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-28	2	KLP79	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-85	図Ⅴ-28	1	KLP85	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-102	図Ⅴ-28	1	KLP102	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-114	図Ⅴ-28	1	KLP114	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-115	図Ⅴ-28	1	KLP115	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅴ-28	2	KLP115	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-116	図Ⅴ-28	1	KLP116	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-126	図Ⅴ-28	1	KLP126	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-144	図Ⅴ-28	1	KLP144	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-152	図Ⅴ-28	1	KLP152	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-155	図Ⅴ-28	1	KLP155	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-162	図Ⅴ-28	1	KLP162	覆土	Ⅳb	1	1	
KLP-116	図Ⅴ-28	1	KLP116	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-126	図Ⅴ-28	1	KLP126	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-164	図Ⅴ-28	1	KLP164	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-169	図Ⅴ-28	1	KLP169	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-215	図Ⅴ-28	1	KLP215	覆土	Ⅳc	1	1	
KLP-229	図Ⅴ-28	1	KLP229	覆土	Ⅳc	1	1	
Ⅰ地区								
盛土A	図Ⅵ-13	1	o92	MA1	Ⅳc	45	45	
	図Ⅵ-13	2	o92	MA1	Ⅳc	18	18	
	図Ⅵ-13	3	o92	MA1	Ⅳc	29	29	
	図Ⅵ-13	4	o92	MA1	Ⅳc	8	8	
	図Ⅵ-13	5	o93	MA1	Ⅳc	6	6	
	図Ⅵ-13	5	o93	MA1	Ⅳc	21	27	
	図Ⅵ-13	6	o94	MA1	Ⅳc	1		
		6	o94	MA1	Ⅳc	1		
		6	o93	MA1	Ⅳc	1	3	
	図Ⅵ-13	7	o94	MA1	Ⅳc	9		
			o95	MA1	Ⅳc	2	11	
	図Ⅵ-13	8	p93		Ⅳc	12		
			p93	MB1	Ⅳc	1		
			p93	MB1	Ⅳc	1		
			p93	Ⅳ層	Ⅳc	3		
			p93	MA1	Ⅳc	1		
			p93	Ⅴ層	Ⅳc	1		
			q93	MB1	Ⅳc	1		
			q94	MB1	Ⅳc	2		
			q94	MB2	Ⅳc	2	24	
	図Ⅵ-14	9	o92	MA1	Ⅳb	23		
			o92	MA1	Ⅳb	9	32	
	図Ⅵ-14	10	o93	MA1	Ⅳb	1		
			o93	MA1	Ⅳb	1		
			o93	MA1	Ⅳb	2	4	
	図Ⅵ-14	11	o92	MA1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-14	12	p92	MA1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-14	13	o92	MA1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-14	14	o92	MA1	Ⅳb	1	2	
	図Ⅵ-14	15	o92	MA1	Ⅳb	2	2	
	図Ⅵ-14	16	o92	MA1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-14	17	o93	MA1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-14	18	o92	MA1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-14	19	o92	MA1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-14	20	o92	MA1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-14	21	o93	MA1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-14	22	p95	MA1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-14	23	o92	MA1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-14	24	p92	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-14	25	o93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-14	26	p94	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-14	27	o92	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-14	28	o94	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-14	29	p93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-14	30	o93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-14	31	o92	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-14	32	o92	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-15	33	o92	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-15	34	o93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-15	35	o92	MA1	Ⅳc	3	3	

表4　遺構掲載土器一覧(5)

遺構名	図番号		グリッド・遺構名	層位	分類	点数	合計	備考
	図Ⅵ-15	36	o94	MA1	Ⅳc	2	2	
	図Ⅵ-15	37	o93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-15	38	o92	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-15	39	o94	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-15	40	o92	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-15	41	o94	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-15	42	o94	MA1	Ⅳc	7	7	
	図Ⅵ-15	43	n93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-15	44	n95	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-15	45	o93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-15	46	p94	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-15	47	o93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-15	48	o93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-15	48	o94	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	49	p93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	50	o92	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	51	o94	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	52	p92	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	53	p93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	54	p93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	55	o93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	56	n95	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	57	p94	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	58	o95	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	59	n95	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	60	o92	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	61	o92	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	62	o92	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	63	q93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	64	o94	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	65	o94	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	66	n95	MA1	Ⅳc	4	4	
	図Ⅵ-16	67	o95	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	68	o93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	69	o93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-16	70	o93	MA1	Ⅳc	3	3	
	図Ⅵ-16	71	o94	MA1	Ⅳc	35	35	
	図Ⅵ-17	72	p93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	73	n95	MA1	Ⅳc	4	4	
	図Ⅵ-17	74	o93	MA1	Ⅳc	2		
			p94	MB1	Ⅳc	2	4	
	図Ⅵ-17	75	o93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	76	p93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	77	o95	MA1	Ⅳc	3	3	
	図Ⅵ-17	78	o94	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	79	o94	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	80	o94	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	81	n95	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	82	o92	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	83	o92	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	84	p93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	85	o92	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	86	o93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	87	o95	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	88	n95	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	89	n96	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	90	p93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	91	o94	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	92	p92	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	93	o93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	94	o93	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	95	o92	MA1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-17	96	p93	MA1	Ⅰb	1	1	
	図Ⅵ-17	97	o93	MA1	Ⅰb	1	1	
盛土B	図Ⅵ-21	1	q93	MB2	Ⅳb	1		
			q93	MB1	Ⅳb	1		
	図Ⅵ-21	2	MB1	撹上1	Ⅳb	1		
				Ⅴ層	Ⅳb	1		
				Ⅴ層 b	Ⅳb	1		
				Ⅴ層	Ⅳb	1		
				Ⅴ層	Ⅳb	1		
				Ⅴ層	Ⅳb	1		
				Ⅴ層	Ⅳb	1		
				?	Ⅳb	1		
			MB1		Ⅳb	1		
				Ⅴ層	Ⅳb	1		
				Ⅴ層	Ⅳb	1		
				Ⅴ層	Ⅳb	1		
				4	Ⅳb	1		
				Ⅴ層	Ⅳb	1		
					Ⅳb	1		
				Ⅴ層	Ⅳb	1		
					Ⅳb	1		
			q93	MB1	Ⅳb	1		
	図Ⅵ-21	3		MB1	Ⅳb	7		
				MB2	Ⅳb	1		
				MB2	Ⅳb	1		
				MB2	Ⅳb	1		
			r93	Ⅲ層	Ⅳb	1		
			r93	4	Ⅳb	1		
			?	MB1	Ⅳb	1		
				MB1	Ⅳb	1		
				MB1	Ⅳb	1		
			v93	MB1	Ⅳb	1		
			S97	Ⅴ層a	Ⅳb	1		
	図Ⅵ-21	4	q92	MB1	Ⅳb	1		
	図Ⅵ-22	5		MB1		1		
				MB1		1		
				MB1		1		
				MB1		1		
				MB1		1		
				MB1		1		
				MB1		1		
				MB1		1		
				MB1		1		
				MB1		1		
				MB1		1		

遺構名	図番号		グリッド・遺構名	層位	分類	点数	合計	備考
				MB1		1		
				MB2		1		
				MB1		1		
				MB1		1		
				MB1		1		
			r95	MB1		1		
			q93	MB2		1		
			q93	MB1		1		
			q95	MB1		1		
			q98	MB≠		1		
				MB1		1		
				MB≠		1		
				MB≠		1		
				MB1		9		
				Ⅳ層		1		
	図Ⅵ-22	6	p93	4		1		
			q93	Ⅴ層		1		
			q93	MB≠		1		
			q93			1		
	図Ⅵ-22	7	q93	MB1		1		
			q94	MB1		3		
			q94	Ⅳ層		4	8	
	図Ⅵ-22	8	q95	MB1		1		
			r95	MB1		1		
			q96	MB1		1		
			q95	Ⅴ層b		1		
			r94	MB1		1		
			s94	Ⅴ層a		1		
			r95	Ⅲ層		1		
			q95	4		1		
			q96	Ⅴ層b		1		
			MB	MB1		1		
			s94	撹乱		1	11	
	図Ⅵ-22	9	q93	MB1		1	1	
	図Ⅵ-22	10	r93	MB1		2		
			r93	MB1		3		
			r93	MB1		2		
			r93	MB1		9		
			r93	MB1		1	17	
	図Ⅵ-22	11	q96	MB1		8		
			r96	MB1		1		
			q96	Ⅴ層		4		
			q96	Va層		2	15	
	図Ⅵ-22	12	q94	MB1		2		
			q94	Ⅴ層		1	3	
	図Ⅵ-23	13	r93	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-23	14	q94	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-23	15	r95	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-23	16	r95	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-23	17	r95	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-23	18	q93	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-23	19	r95	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-23	20	r94	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-23	21	q95	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-23	22	r95	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-23	23	q95	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-23	24	r93	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-23	25	q95	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-23	26	r93	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-23	27	q93	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-23	28	q94	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-23	29	r94	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-23	30	q95	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-23	31	q95	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-23	32	r94	MB1	Ⅳb	2		
	図Ⅵ-23	32	r95	MB1	Ⅳb	1	3	
	図Ⅵ-23	33	r95	MB1	Ⅳb	1		
	図Ⅵ-23	33	r95	Ⅴ層	Ⅳb	1	2	
	図Ⅵ-23	34	r95	MB1	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-24	35	r93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	36	r93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	37	r93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	38	r94	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	39	q93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	40	r95	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	41	q93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	42	q93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	43	r96	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	44	r96	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	45	q93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	46	r94	MB1	Ⅳc	4		
			r93	MB1	Ⅳc	1		
			v94	MB1	Ⅳc	1	6	
	図Ⅵ-24	47	r93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	48	q93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	49	s93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	50	q94	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	51	r94	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	52	r94	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	53	q96	MB1	Ⅳc	1		
			q95	MB1	Ⅳc	1	2	
	図Ⅵ-24	54	r94	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	55	q95	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	56	q95	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	57	q93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	58	s95	MB1	Ⅳc	1		
			r95	MB	Ⅳc	2	3	
	図Ⅵ-24	59	r93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	60	r93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	61	q93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	62	q94	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	63	q94	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-24	64	r95	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-25	65	p94	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-25	66	p94	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-25	67	r93	MB1	Ⅳc	8		
	図Ⅵ-25	67	r94	MB1	Ⅳc	2		
	図Ⅵ-25	67	v94	Ⅴ層	Ⅳc	1		

表4　遺構掲載土器一覧(6)

遺構名	図番号		グリッド・遺構名	層位	分類	点数	合計	備考
	図Ⅵ-25	67	v94	Va層	Ⅳc	1	12	
	図Ⅵ-25	68	q93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-25	69	r95	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-25	70	r95	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-25	71	r95	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-25	72	q93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-25	73	r93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-25	74	r96	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-25	75	r95	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-25	76	q94	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-25	77	q96	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-25	78	p96	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-25	79	q93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-25	80	s93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-25	81	r93	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-25	82	r95	MB1	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-26	83	q93	MB2	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-26	84	q93	MB2	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-26	85	q93	MB2	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-26	86	q93	MB2	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-26	87	r95	MB	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-26	88	q92	MB2	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-26	89	r93	MB	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-26	90	q93	MB2	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-26	91	q93	MB2	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-26	92	r93	MB	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-26	93	q93	MB2	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-26	94	r94	MB2	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-26	95	q94	MB2	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-26	96	q92	MB2	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-26	97	q93	MB2	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-26	98	q93	MB2	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-26	99	q95	MB2	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-26	100	q93	MB2	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-26	101	q93	MB2	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-26	102	q93	MB2	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-26	103	s94	MB	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-26	104	r93	MB	Ⅳc	4	4	
	図Ⅵ-26	105	r93	MB2	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-26	106	q93	MB2	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-26	107	q93	MB2	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-26	108	q93	MB2	Ⅳc	1	1	
IMBF-9	図Ⅵ-29	1	IMBF9	覆土	Ⅳc	49		
			q94	Ⅴ層	Ⅳc	1		
			q94	Ⅳ層	Ⅳc	5		
			q94	Ⅲ層	Ⅳc	4		
			r102	Vb層	Ⅳc	1		
	図Ⅵ-29	1	r101	Vb層	Ⅳc	1	61	
	図Ⅵ-29	2	IMBF9	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-29	3	IMBF9	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-29	4	IMBF9	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-29	5	IMBF9	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-29	6	IMBF9	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-29	7	IMBF9	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-29	8	IMBF9	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-29	9	IMBF9	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-29	10	IMBF9	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-29	11	IMBF9	覆土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-29	12	IMBF9	覆土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-29	13	IMBF9	覆土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-29	14	IMBF9	覆土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-29	15	IMBF9	覆土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-29	16	IMBF9	覆土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-29	17	IMBF9	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-29	18	IMBF9	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-29	19	IMBF9	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-29	20	IMBF9	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-29	21	IMBF9	覆土	Ⅳc	1	1	
IMBF-12	図Ⅵ-29	22	IMBF12	覆土	Ⅳc	1	1	
IMBF-24	図Ⅵ-29	23	IMBF24	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-29	24	IMBF24	覆土	Ⅳc	1	1	
IMBF-2	図Ⅵ-29	25	IMBF2	覆土	Ⅳc	1	1	
IMBF-10	図Ⅵ-30	26	IMBF10	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-30	27	IMBF10	覆土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-30	28	IMBF10	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-30	29	IMBF10	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-30	30	IMBF10	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-30	31	IMBF10	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-30	32	IMBF10	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-30	33	IMBF10	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-30	34	IMBF10	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-30	35	IMBF10	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-30	36	IMBF10	覆土	Ⅳc	1	1	
ILP-3	図Ⅵ-35	1	ILP3	覆土2層	Ⅳc	108		
			ILP3	覆土3層	Ⅳc	19	127	
	図Ⅵ-35	2	ILP3	覆土2層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-35	3	ILP3	覆土2層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-35	4	ILP3	掘り上げ土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-35	5	ILP3	覆土2層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-35	6	ILP3	覆土5層	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-35	7	ILP3	覆土3層	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-35	8	ILP3	覆土	Ⅳc	2		
			ILP3	覆土2層	Ⅳc	1	3	
	図Ⅵ-35	9	ILP3	覆土	Ⅳc	1	1	
ILP-7	図Ⅵ-41	1	ILP7	覆土	Ⅰb	1	1	
ILP-8	図Ⅵ-44	1	ILP7	覆土	Ⅳc	1	1	
ILP-9	図Ⅵ-45	1	ILP9	覆土	Ⅳc	1	1	
ILP-11	図Ⅵ-48	1	ILP11	覆土	Ⅰb	1	1	
ILP-19	図Ⅵ-57	1	ILP19	覆土	Ⅳc	1	1	
ILP-21	図Ⅵ-60	1	ILP21	覆土	Ⅳc	1	1	
	図Ⅵ-60	2	ILP21	覆土	Ⅳb	1	1	
	図Ⅵ-60	3	ILP21	覆土	Ⅳc	1	1	
ILF-47	図Ⅵ-74	1	ILF47	覆土	Ⅳc	1	1	
ILFG-59	図Ⅵ-74	2	ILFG59	覆土	Ⅳc	1	1	
ILFG-171	図Ⅵ-74	3	ILFG171	覆土	Ⅳb	1	1	
ILFG-990	図Ⅵ-74	4	ILFG990	覆土	Ⅳc	1	1	
ilfg-14	図Ⅵ-74	5	ilfg14	覆土	Ⅰb	1	1	
ilfg-74	図Ⅵ-74	6	ilfg74	覆土	Ⅰb	1	1	

遺構名	図番号		グリッド・遺構名	層位	分類	点数	合計	備考
ilfg-90	図Ⅵ-74	7	ilfg90	覆土	Ⅰb	1	1	
ilfg-100	図Ⅵ-74	8	ilfg100	覆土	Ⅰb	1	1	
ilfg-108	図Ⅵ-74	9	ilfg108	覆土	Ⅰb	1	1	
ilfg-108	図Ⅵ-74	10	ilfg108	覆土	Ⅰb	1	1	
ilfg-317	図Ⅵ-74	11	ilfg317	覆土	Ⅰb	1	1	

表5　遺構掲載石器一覧(1)

遺構名	図番号		分類	グリッド・遺構名	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さcm	重さ(g)	材質
A地区盛土遺構										
盛土遺構	図Ⅳ－15	21	石鏃	AM	盛土3層	3.21	1.70	0.40	1.50	頁岩
盛土遺構	図Ⅳ－15	22	石鏃	AM	盛土2層	(1.95)	1.30	0.35	0.70	黒曜石
盛土遺構	図Ⅳ－15	23	石鏃	AM	盛土1層	2.30	1.30	0.40	0.80	黒曜石
盛土遺構	図Ⅳ－15	24	石鏃	AM	盛土2層	2.30	1.55	0.32	0.80	黒曜石
盛土遺構	図Ⅳ－15	25	石鏃	AM	盛土2層	(2.38)	1.38	0.39	1.00	黒曜石
盛土遺構	図Ⅳ－15	26	石鏃	AM	盛土1層	(2.70)	(1.70)	0.60	2.00	黒曜石
盛土遺構	図Ⅳ－15	27	石鏃	AM	盛土1層	2.90	1.40	0.50	1.50	黒曜石
盛土遺構	図Ⅳ－15	28	石錐	AM	盛土2層	(1.90)	2.55	0.90	3.10	黒曜石
盛土遺構	図Ⅳ－15	29	石斧	AM	盛土1層	(3.50)	2.88	1.07	20.24	緑色泥岩
盛土遺構	図Ⅳ－15	30	石斧	AM	盛土1層	(0.20)	5.00	2.70	168.00	緑色泥岩
A地区住居跡										
ALH-3	図Ⅳ－18	11	スクレイパー	ALH-3	堀上げ土	7.00	2.80	0.75	11.30	黒曜石
	図Ⅳ－18	12	スクレイパー	ALH-3	覆土	6.00	1.90	0.12	10.90	黒曜石
	図Ⅳ－18	13	すり石	ALH-3	覆土	7.52	(9.20)	4.72	500.00	砂岩
ALH-4	図Ⅳ－20	5	スクレイパー	ALH-4	覆土3層	4.85	1.90	0.60	5.40	黒曜石
	図Ⅳ－20	6	石斧	ALH-4	覆土4層	(5.45)	5.75	1.90	76.00	蛇紋岩
ALH-6	図Ⅳ－23	10	石鏃	ALH-6	堀上げ土	(2.10)	(1.40)	0.23	0.50	黒曜石
	図Ⅳ－23	11	石鏃	ALH-6	覆土	3.25	(2.70)	0.50	2.80	黒曜石
	図Ⅳ－23	12	石鏃	ALH-6	覆土	(2.15)	2.00	0.35	1.50	黒曜石
	図Ⅳ－23	13	石鏃	ALH-6	覆土	2.58	1.62	0.32	0.70	黒曜石
	図Ⅳ－23	14	石斧	ALH-6	覆土	5.70	3.10	0.99	30.00	片岩
	図Ⅳ－23	15	石斧	ALH-6	覆土	(3.50)	3.20	0.95	16.00	片岩
	図Ⅳ－23	16	砥石	ALH-6	堀上げ土	(4.30)	(5.90)	3.40	136.00	安山岩
	図Ⅳ－23	17	すり石	ALH-6	覆土	4.55	11.12	3.05	242.00	安山岩
	図Ⅳ－23	18	砥石	ALH-6	覆土	(11.65)	(7.35)	2.85	306.00	砂岩
	図Ⅳ－24	19	台石・石皿	ALH-6	覆土	55.50	288.00	9.60	2540.00	泥岩
ALH-10	図Ⅳ－29	14	つまみ付きナイフ	ALH-10	覆土2層	(3.40)	1.50	0.50	1.50	黒曜石
	図Ⅳ－29	15	スクレイパー	ALH-10	覆土2層	(3.15)	4.10	1.10	18.40	黒曜石
	図Ⅳ－29	16	台石・石皿	ALH-10	覆土2層	(4.70)	(5.70)	2.70	210.00	安山岩
	図Ⅳ－29	17	すり石	ALH-10	覆土	8.70	(8.70)	5.00	446.00	安山岩
	図Ⅳ－29	18	たたき石	ALH-10	覆土2層	(14.10)	(7.10)	4.35	482.00	砂岩
ALH-13	図Ⅳ－33	16	石鏃	ALH-13	覆土	(1.35)	1.05	0.20	0.20	黒曜石
	図Ⅳ－33	17	石鏃	ALH-13	覆土	(1.87)	0.92	0.23	0.30	黒曜石
	図Ⅳ－33	18	スクレイパー	ALH-13	覆土	5.28	3.80	1.40	26.00	頁岩
	図Ⅳ－33	19	石斧	ALH-13	覆土	(12.00)	5.10	2.45	262.00	蛇紋岩
	図Ⅳ－33	20	たたき石	ALH-13	覆土	(5.10)	(7.15)	4.48	222.00	安山岩
	図Ⅳ－33	21	石斧	ALH-13	覆土	(8.50)	5.85	1.03	60.00	片岩
	図Ⅳ－33	22	たたき石	ALH-13	覆土	(12.60)	6.60	3.30	410.00	砂岩
	図Ⅳ－33	23	すり石	ALH-13	覆土	(5.40)	(10.27)	4.10	224.00	砂岩
ALH17	図Ⅳ－38	5	すり石	ALH-17	覆土	7.35	16.20	4.33	808.00	安山岩
	図Ⅳ－39	6	台石・石皿	ALH-17	覆土	(57.00)	(33.00)	(9.00)	2130.00	安山岩
A地区水場遺構										
ALP-1	図Ⅳ-42	7	石斧	ALP-1	覆土	(9.25)	4.80	2.30	177.00	緑色泥岩
ALP-2	図Ⅳ-52	43	石斧	ALP-2	覆土	(5.70)	4.20	1.80	77.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-52	44	たたき石	ALP-2	覆土	6.90	7.80	2.70	269.00	緑色泥岩
ALP-4	図Ⅳ-58	27	石斧	ALP-4	覆土	(8.30)	5.80	1.80	220.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-58	28	たたき石	ALP-4	覆土	6.60	4.80	4.80	248.00	泥岩
ALP-3	図Ⅳ-58	29	砥石	ALP-3	覆土	12.60	21.00	7.50	2800.00	砂岩
ALP-4	図Ⅳ-58	30	石皿・台石	ALP-4	覆土	28.80	30.60	3.60	4950.00	砂岩
A地区ピット群										
ALP-8	図Ⅳ-60	1	たたき石	ALP-6	覆土	(7.20)	9.00	4.80	292.00	安山岩
ALP-6	図Ⅳ-62	16	砥石	ALP-6	覆土	(11.10)	(10.50)	2.70	180.00	砂岩
	図Ⅳ-62	17	石斧	ALP-6	覆土	(14.40)	(2.40)	(1.80)	168.00	安山岩
ALP-25	図Ⅳ-67	1	すり石	ALP-25	覆土	7.60	16.00	5.50	770.00	砂岩
	図Ⅳ-67	2	すり石	ALP-25	覆土	6.33	12.60	5.90	636.00	砂岩
ALP-27	図Ⅳ-68	2	すり石	ALP-27	覆土	(4.95)	(9.90)	4.70	328.00	安山岩
ALP-32	図Ⅳ-69	2	石鏃	ALP-32	覆土	(2.10)	1.40	0.30	0.80	黒曜石
	図Ⅳ-69	3	つまみ付きナイフ	ALP-32	覆土	4.05	2.10	0.45	3.20	頁岩
ALP-34	図Ⅳ-69	3	スクレイパー	ALP-34	覆土	3.50	1.65	0.50	2.20	黒曜石
ALP-35	図Ⅳ-70	2	すり石	ALP-35	覆土	7.80	13.15	6.30	776.00	泥岩
ALP-38	図Ⅳ-70	1	つまみ付きナイフ	ALP-38	覆土	6.00	2.63	0.35	6.00	頁岩
ALP-40	図Ⅳ-71	1	スクレイパー	ALP-40	底面	5.00	4.30	0.78	20.00	頁岩
A地区石斧集中										
石斧集中	図Ⅳ-79	1	石斧	石斧集中	Ⅴ層	7.20	3.95	0.65	30.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-79	2	石斧	石斧集中	Ⅴ層	8.40	3.30	1.25	64.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-79	3	石斧	石斧集中	Ⅴ層	8.80	1.65	1.00	22.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-79	4	石斧	石斧集中	Ⅴ層	9.70	2.30	1.30	52.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-79	5	石斧	石斧集中	Ⅴ層	(9.95)	3.80	1.50	96.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-79	6	石斧	石斧集中	Ⅴ層	(12.70)	3.80	2.90	272.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-79	7	石斧	石斧集中	Ⅴ層	14.85	7.30	2.35	378.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-79	8	石斧	石斧集中	Ⅴ層	9.90	4.90	1.45	114.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-79	9	石斧	石斧集中	Ⅴ層	10.25	4.80	1.35	102.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-79	10	石斧	石斧集中	Ⅴ層	11.30	4.40	1.40	96.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-79	11	石斧	石斧集中	Ⅴ層	(12.35)	3.30	1.65	120.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-79	12	たたき石	石斧集中	Ⅴ層	(11.00)	4.70	4.00	384.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-79	13	石斧	石斧集中	Ⅴ層	18.90	7.15	1.40	316.00	緑色泥岩

表5　遺構掲載石器一覧(2)

遺構名	図番号		分類	グリッド・遺構名	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さcm	重さ(g)	材質
	図Ⅳ-79	14	石斧	石斧集中	Ⅴ層	17.10	8.80	1.10	264.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-80	15	石斧	石斧集中	Ⅴ層	8.20	5.10	0.60	58.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-80	16	石斧	石斧集中	Ⅴ層	9.90	3.80	1.10	66.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-80	17	石斧	石斧集中	Ⅴ層	10.25	4.20	0.90	53.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-80	18	石斧	石斧集中	Ⅴ層	(10.60)	2.75	(1.15)	60.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-80	19	石斧	石斧集中	Ⅴ層	11.90	5.05	1.40	142.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-80	20	石斧	石斧集中	Ⅴ層	13.75	4.50	1.70	162.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-80	21	石斧	石斧集中	Ⅴ層	15.00	6.30	1.60	250.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-80	22	石斧	石斧集中	Ⅴ層	20.35	6.50	4.10	722.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-80	23	石斧	石斧集中	Ⅴ層	14.35	2.60	1.30	86.00	緑色泥岩
	図Ⅳ-80	24	つまみ付きナイフ	石斧集中	Ⅴ層	10.40	1.80	0.85	17.24	頁岩
	図Ⅳ-80	25	Rフレイク	石斧集中	Ⅴ層	3.85	2.05	0.73	5.12	頁岩
	図Ⅳ-80	26	Rフレイク	石斧集中	Ⅴ層	4.50	2.50	0.70	6.67	頁岩
	図Ⅳ-80	27	Rフレイク	石斧集中	Ⅴ層	3.90	3.20	0.80	8.08	頁岩
	図Ⅳ-80	28	Rフレイク	石斧集中	Ⅴ層	4.10	2.55	0.50	5.95	頁岩
	図Ⅳ-80	29	Rフレイク	石斧集中	Ⅴ層	4.70	3.07	0.70	8.60	頁岩
	図Ⅳ-80	30	Rフレイク	石斧集中	Ⅴ層	4.60	3.00	0.80	9.55	頁岩
	図Ⅳ-80	31	Rフレイク	石斧集中	Ⅴ層	2.60	4.75	0.80	6.00	頁岩
	図Ⅳ-80	32	Rフレイク	石斧集中	Ⅴ層	3.10	4.90	0.90	11.50	頁岩
	図Ⅳ-80	33	Rフレイク	石斧集中	Ⅴ層	3.80	2.95	0.70	6.50	頁岩
H地区盛土遺構										
HM-1	図Ⅴ-10	64	石鏃	d-54	盛土	1.90	1.40	0.35	0.70	黒曜石
	図Ⅴ-10	65	石鏃	f-51	盛土	2.30	1.50	0.30	0.90	黒曜石
	図Ⅴ-10	66	石鏃	f-54	盛土	2.35	1.50	0.40	1.00	黒曜石
	図Ⅴ-10	67	石鏃	d-54	盛土	2.60	1.45	0.38	1.10	頁岩
	図Ⅴ-10	68	石鏃	d-55	盛土	(3.20)	1.10	0.45	1.00	黒曜石
	図Ⅴ-10	69	石鏃	e-53	盛土	(3.80)	1.50	0.51	1.80	黒曜石
	図Ⅴ-10	70	石鏃	d-54	盛土	3.10	1.42	0.43	1.20	頁岩
	図Ⅴ-10	71	石槍	c-55	盛土1層	(5.15)	2.05	0.90	8.00	黒曜石
	図Ⅴ-10	72	石錐	d-54	盛土1層	3.80	1.35	0.60	1.70	頁岩
	図Ⅴ-10	73	石錐	c-54	盛土	(2.40)	1.61	0.55	1.55	黒曜石
	図Ⅴ-10	74	石錐	d-55	盛土1層	3.45	1.00	0.04	1.50	黒曜石
	図Ⅴ-10	75	スクレイパー	c-54	盛土2層	4.25	2.80	1.30	12.30	黒曜石
	図Ⅴ-10	76	石斧	c-54	盛土1層	(8.35)	4.35	2.00	120.00	泥岩
	図Ⅴ-10	77	石斧	f-51	盛土1層	(6.80)	4.80	1.50	76.00	緑色泥岩
	図Ⅴ-10	78	石斧	c-55	盛土1層	(5.20)	3.20	1.20	35.10	緑色泥岩
	図Ⅴ-10	79	石斧	e-53	盛土1層	(4.80)	3.00	1.00	22.00	緑色泥岩
	図Ⅴ-10	80	砥石	d-54	盛土	(8.40)	(7.70)	5.00	234.00	砂岩
	図Ⅴ-10	81	石斧	c-55	盛土1層	(6.40)	0.54	1.45	61.60	緑色泥岩
	図Ⅴ-10	82	石斧	c-55	盛土1層	(3.90)	1.90	0.45	6.00	緑色泥岩
	図Ⅴ-10	83	石斧	d-53	盛土2層	(4.70)	5.60	2.70	108.00	緑色泥岩
	図Ⅴ-10	84	砥石	d-54 h-51	盛土1層 Ⅵ層	9.80	2.95	2.10	96.00	砂岩
	図Ⅴ-10	85	台石	c-55	盛土2層	(14.20)	(12.20)	3.10	510.00	砂岩
	図Ⅴ-10	86	台石	d-53	盛土1層	(12.10)	(12.10)	3.80	664.00	砂岩
	図Ⅴ-10	87	石製品	c-57	盛土1層	(3.00)	2.45	0.70	4.60	黒曜石
HM-2	図Ⅴ-11	22	石鏃	d-61	盛土	1.80	1.40	0.40	0.50	黒曜石
	図Ⅴ-11	23	石鏃	e-61	盛土	1.90	1.40	0.60	0.90	黒曜石
	図Ⅴ-11	24	石鏃	e-61	盛土	(2.60)	1.30	0.50	1.10	黒曜石
	図Ⅴ-11	25	石鏃	e-61	盛土	2.74	1.70	0.38	1.00	黒曜石
	図Ⅴ-11	26	石鏃	e-61	盛土	2.60	1.30	0.35	0.90	黒曜石
	図Ⅴ-11	27	石鏃	e-61	盛土	(3.20)	1.70	0.45	1.70	黒曜石
	図Ⅴ-11	28	台石	e-61	盛土1層	(7.45)	(6.20)	1.50	102.00	砂岩
HM-3	図Ⅴ-12	13	石鏃	h-52	盛土1層	(3.05)	(1.90)	0.05	1.90	黒曜石
	図Ⅴ-12	14	砥石	g-52	盛土1層	(11.80)	(11.20)	2.40	60.00	砂岩
H地区ピット群										
HLP-333	図Ⅴ-20	5	石錐	HLP333	覆土1層	3.50	1.20	0.40	1.20	黒曜石
HLP-587	図Ⅴ-20	1	石鏃	HLP-587	覆土	(2.50)	1.14	0.04	0.90	黒曜石
HLP-20	図Ⅴ-20	1	スクレイパー	HLP-20	覆土	4.52	2.97	0.70	11.60	黒曜石
HLP-230	図Ⅴ-20	1	石鏃	HLP-230	覆土	2.49	(1.40)	0.04	1.00	黒曜石
HLP-228	図Ⅴ-20	1	石錐	HLP-228	覆土	(2.18)	2.02	0.38	0.80	黒曜石
HLP-125	図Ⅴ-20	1	砥石	HLP-125	覆土	(10.00)	(7.05)	0.24	170.00	砂岩
HLP-522	図Ⅴ-21	1	たたき石	HLP-522	覆土	9.60	7.70	6.80	704.00	安山岩
HLP-304	図Ⅴ-21	2	石鏃	HLP-304	覆土	(1.90)	1.12	0.35	0.52	黒曜石
HLP-860	図Ⅴ-21	1	石鏃	HLP-860	覆土	2.10	1.40	0.02	0.66	黒曜石
HLP-875	図Ⅴ-21	1	台石	HLP-875	覆土1層	19.70	(11.10)	9.40	3160.00	花崗岩
K地区ピット群										
KLP-300	図Ⅴ-24	2	原石	KLP-300	覆土	7.90	5.40	3.40	141.00	メノウ
KLP-1	図Ⅴ-27	1	スクレイパー	KLP-1	覆土1層	2.81	(3.22)	0.46	3.80	黒曜石
KLP-4	図Ⅴ-27	3	たたき石	KLP-4	覆土1層	(8.25)	0.69	0.40	338.00	緑色泥岩
KLP-5	図Ⅴ-27	7	石鏃	KLP-5	覆土1層	(2.30)	1.40	0.30	0.80	黒曜石
KLP-6	図Ⅴ-27	1	石斧	KLP-8	覆土	(3.90)	4.60	1.60	32.00	泥岩
KLP-7	図Ⅴ-27	2	石鏃	KLP-7	覆土	(2.40)	1.10	0.35	0.80	黒曜石
	図Ⅴ-27	3	石鏃	KLP-7	覆土1層	3.10	1.54	0.41	1.60	黒曜石
KLP-8	図Ⅴ-27	5	石鏃	KLP-8	覆土1層	1.60	1.40	0.40	0.60	黒曜石
	図Ⅴ-27	6	石鏃	KLP-8	覆土1層	1.14	1.39	0.40	0.72	黒曜石
	図Ⅴ-27	7	石鏃	KLP-8	覆土1層	2.70	1.40	0.40	0.65	黒曜石
	図Ⅴ-27	8	スクレイパー	KLP-8	覆土	5.10	3.70	1.05	1.34	黒曜石
KLP-13	図Ⅴ-27	1	石錐	KLP-13	覆土	4.85	1.90	0.80	6.86	頁岩
KLP-45	図Ⅴ-27	1	石斧	KLP-45	覆土	(5.00)	3.50	(2.15)	53.00	緑色泥岩
KLP-157	図Ⅴ-27	1	たたき石	KLP-157	覆土	(7.20)	4.50	2.80	111.88	砂岩
KLP-208	図Ⅴ-27	1	たたき石	KLP-208	覆土1層	7.40	6.60	4.50	370.00	緑色泥岩
KLP-14	図Ⅴ-28	8	スクレイパー	KLP-14	覆土	3.90	4.00	0.90	10.00	頁岩
	図Ⅴ-28	9	スクレイパー	KLP-14	覆土	3.20	4.50	1.20	14.00	黒曜石

表5　遺構掲載石器一覧(3)

遺構名	図番号		分類	グリッド・遺構名	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さcm	重さ(g)	材質
KLP-79	図V-28	3	石鏃	KLP-79	表土	(2.30)	1.35	0.18	0.75	黒曜石
I地区盛土遺構										
盛土A	図VI-18	1	石鏃	o-93	盛土1層	1.85	1.45	0.33	0.40	黒曜石
	図VI-18	2	石鏃	o-92	盛土1層	2.05	0.80	0.30	0.40	黒曜石
	図VI-18	3	石鏃	o-94	盛土1層	2.45	1.20	0.30	0.50	黒曜石
	図VI-18	4	石鏃	o-94	盛土1層	2.75	1.50	0.35	1.10	黒曜石
	図VI-18	5	石鏃	o-92	盛土1層	2.12	1.54	0.23	0.60	黒曜石
	図VI-18	6	石鏃	o-94	盛土1層	(2.30)	(1.30)	0.40	(0.90)	黒曜石
	図VI-18	7	石鏃	o-94	盛土1層	3.20	1.25	0.40	0.90	頁岩
	図VI-18	8	石鏃	p-93	盛土1層	(2.30)	1.15	0.40	(0.80)	黒曜石
	図VI-18	9	石鏃	o-93	盛土1層	(2.10)	1.40	0.40	(0.70)	頁岩
	図VI-18	10	石鏃	o-93	盛土1層	(1.65)	1.20	0.30	(0.40)	黒曜石
	図VI-18	11	石鏃	o-93	盛土1層	(1.40)	1.15	0.30	(0.30)	頁岩
	図VI-18	12	石鏃	o-94	盛土1層	1.90	1.23	0.40	0.60	黒曜石
	図VI-18	13	石鏃	o-93	盛土1層	1.95	1.40	0.45	0.70	黒曜石
	図VI-18	14	石鏃	o-94	盛土1層	(1.60)	1.30	0.30	(0.40)	黒曜石
	図VI-18	15	石鏃	o-92	盛土1層	2.15	1.35	0.50	0.60	黒曜石
	図VI-18	16	石鏃	o-92	盛土1層	(1.90)	1.46	0.40	(0.70)	黒曜石
	図VI-18	17	石鏃	o-93	盛土1層	(2.10)	1.25	0.30	(0.50)	黒曜石
	図VI-18	18	石鏃	o-92	盛土1層	(2.10)	1.30	0.40	(0.70)	黒曜石
	図VI-18	19	石鏃	n-96	盛土1層	2.40	1.40	(0.40)	0.80	黒曜石
	図VI-18	20	石鏃	p-93	盛土1層	(2.30)	1.70	0.50	(1.10)	黒曜石
	図VI-18	21	石鏃	p-93	盛土1層	2.40	1.25	0.55	1.00	黒曜石
	図VI-18	22	石鏃	o-95	盛土1層	(2.30)	1.40	0.50	(1.00)	黒曜石
	図VI-18	23	石鏃	o-95	盛土1層	(2.15)	(1.40)	0.35	(0.70)	ﾒﾉｳ
	図VI-18	24	石鏃	o-93	盛土1層	2.55	1.80	0.50	1.10	黒曜石
	図VI-18	25	石鏃	p-94	盛土1層	(2.10)	(1.26)	0.34	(0.70)	黒曜石
	図VI-18	26	石鏃	n-95	盛土1層	(2.15)	(1.35)	0.28	(0.70)	黒曜石
	図VI-18	27	石鏃	o-94	盛土1層	(2.50)	(1.40)	0.40	(0.80)	黒曜石
	図VI-18	28	石鏃	o-92	盛土1層	2.60	1.45	0.30	0.80	黒曜石
	図VI-18	29	石鏃	o-92	盛土1層	(2.70)	(1.67)	0.45	(1.30)	黒曜石
	図VI-18	30	石鏃	o-93	盛土1層	(2.40)	1.40	0.55	(0.80)	黒曜石
	図VI-18	31	石鏃	o-92	盛土1層	(3.10)	(1.50)	0.40	(1.00)	黒曜石
	図VI-18	32	石鏃	o-95	盛土1層	(2.60)	(1.20)	(0.50)	(1.00)	黒曜石
	図VI-18	33	石鏃	o-93	盛土1層	(2.60)	(1.20)	0.39	(0.90)	黒曜石
	図VI-18	34	石錐	o-93	盛土1層	(3.80)	2.50/0.45	0.60/0.20	(1.60)	頁岩
	図VI-18	35	石錐	p-93	盛土1層	(3.40)	2.20/0.40	0.60/0.30	(1.90)	黒曜石
	図VI-18	36	石錐	o-93	盛土1層	(2.10)	1.90/0.45	0.70/0.35	(1.70)	黒曜石
	図VI-18	37	石錐	o-93	盛土1層	(2.48)	0.84	0.48	(0.90)	黒曜石
	図VI-18	38	つまみ付ナイフ	o-92	盛土1層	(4.10)	(2.50)	0.70	(4.40)	黒曜石
	図VI-18	39	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	o-92	盛土1層	3.00	7.10	1.40	26.20	黒曜石
	図VI-18	40	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	o-93	盛土1層	3.10	3.35	0.85	7.60	黒曜石
	図VI-18	41	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	o-92	盛土1層	3.50	5.80	1.65	28.80	黒曜石
	図VI-19	42	石斧	n-95	盛土1層	(5.75)	4.40	1.80	(67.00)	緑色泥岩
	図VI-19	43	石斧	o-93	盛土1層	(3.40)	3.80	0.70	(15.70)	緑色泥岩
	図VI-19	44	石斧	o-93	盛土1層	(9.20)	(5.50)	3.10	(279.70)	緑色泥岩
	図VI-19	45	石斧	p-93	盛土1層	(6.10)	4.40	2.40	(106.10)	緑色泥岩
	図VI-19	46	石斧	o-94	盛土1層	(6.60)	4.50	2.20	(109.00)	緑色泥岩
	図VI-19	47	すり石	n-94	盛土1層	(10.20)	5.20	4.50	(434.20)	閃緑岩
	図VI-19	48	原石	〃	盛土1層	18.50	12.60	11.80	32kg	黒曜石
	図VI-19	49	石製品	p-92	盛土1層	(5.60)	(3.80)	(2.00)	(45.30)	粘板岩
	図VI-19	50	石製品	o-92	盛土1層	1.70	0.90	0.40	1.10	砂岩
	図VI-19	51	石製品	o-92	盛土1層	1.80	0.80	0.45	1.20	—
	図VI-19	52	石製品	o-94	盛土1層	1.75	1.00	0.70	1.70	安山岩
	図VI-19	53	石製品	o-94	盛土1層	1.35	0.70	0.35	0.70	泥岩
	図VI-19	54	石製品	p-92	盛土1層	1.85	0.50	0.40	0.70	泥岩
	図VI-19	55	石製品	p-92	盛土1層	2.40	0.80	0.20	0.90	泥岩
	図VI-19	56	石製品	p-93	盛土1層	2.00	0.80	0.60	1.70	泥岩
盛土B	図VI-27	1	石鏃	q-93	盛土1層	2.40	1.60	0.40	0.70	黒曜石
	図VI-27	2	石鏃	r-95	盛土1層	2.60	1.60	0.60	0.70	頁岩
	図VI-27	3	石鏃	r-95	盛土1層	(2.50)	1.70	0.50	(0.80)	黒曜石
	図VI-27	4	石鏃	q-94	盛土1層	(3.00)	(1.40)	0.35	(0.80)	黒曜石
	図VI-27	5	石鏃	r-93	盛土1層	1.60	1.25	0.25	0.30	黒曜石
	図VI-27	6	石鏃	q-94	盛土1層	1.55	1.10	0.30	0.10	黒曜石
	図VI-27	7	石鏃	q-95	盛土1層	(1.45)	1.70	0.40	0.60	黒曜石
	図VI-27	8	石鏃	q-94	盛土1層	(1.90)	1.25	0.20	(0.30)	黒曜石
	図VI-27	9	石鏃	q-93	盛土1層	(2.10)	1.50	0.30	(0.60)	黒曜石
	図VI-27	10	石鏃	q-93	盛土1層	(2.20)	1.30	0.40	(0.50)	黒曜石
	図VI-27	11	石鏃	q-94	盛土1層	2.50	1.45	0.45	0.70	黒曜石
	図VI-27	12	石鏃	r-95	盛土1層	(2.80)	1.70	0.40	(1.30)	黒曜石
	図VI-27	13	石鏃	q-95	盛土1層	(2.10)	1.40	0.50	(1.00)	黒曜石
	図VI-27	14	石鏃	q-94	盛土1層	2.70	1.40	0.50	0.80	黒曜石
	図VI-27	15	石鏃	r-93	盛土1層	2.70	1.20	0.55	0.80	黒曜石
	図VI-27	16	石鏃	q-95	盛土1層	2.70	1.40	0.33	0.50	黒曜石
	図VI-27	17	石鏃	r-93	盛土1層	(2.60)	1.50	0.40	(0.90)	頁岩
	図VI-28	18	石鏃	q-93	盛土2層	(2.00)	1.70	0.40	(1.00)	黒曜石
	図VI-28	19	石鏃	q-93	盛土2層	(1.75)	1.20	0.30	(0.40)	頁岩
	図VI-28	20	石鏃	q-93	盛土2層	2.05	1.40	0.37	0.50	黒曜石
	図VI-28	21	石鏃	q-93	盛土2層	1.80	(1.20)	0.40	(0.50)	黒曜石
	図VI-28	22	石鏃	p-94	盛土2層	(2.10)	1.50	0.45	(0.60)	黒曜石
	図VI-28	23	石鏃	p-95	盛土	2.70	1.50	0.45	0.90	黒曜石
	図VI-27	24	石錐	q-95	盛土1層	2.30	1.10	0.70	1.40	黒曜石
	図VI-27	25	石錐	q-93	盛土1層	(3.90)	0.80	0.40	(1.30)	頁岩
	図VI-27	26	石錐	r-96	盛土1層	5.00	0.90	0.50	3.10	頁岩

表5　遺構掲載石器一覧(4)

遺構名	図番号		分類	グリッド・遺構名	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さcm	重さ(g)	材質
	図Ⅵ-27	27	石錐	q-93	盛土1層	5.90	1.90	0.70	7.20	頁岩
	図Ⅵ-28	28	石錐	q-93	盛土2層	2.85	0.70	0.30	0.70	黒曜石
	図Ⅵ-28	29	石錐	q-93	盛土2層	3.00	1.40	0.70	2.20	頁岩
	図Ⅵ-28	30	石錐	p-95	盛土	(3.00)	1.00	0.40	(1.20)	黒曜石
	図Ⅵ-27	31	スクレイパー	q-93	盛土1層	5.10	2.10	1.40	12.00	黒曜石
	図Ⅵ-27	32	石斧	r-93	盛土1層	6.60	2.40	0.70	21.30	緑色泥岩
	図Ⅵ-28	33	石斧	q-93	盛土2層	(7.50)	4.80	2.20	(121.20)	緑色泥岩
	図Ⅵ-28	34	石斧	r-93	盛土	(13.65)	6.00	3.30	(403.30)	緑色泥岩
	図Ⅵ-27	35	たたき石	p-95	盛土1層	13.00	4.30	3.90	271.70	安山岩
	図Ⅵ-27	36	すり石	p-93	盛土1層	8.60	(7.80)	2.20	(268.10)	片麻岩
	図Ⅵ-27	37	砥石	p-94	盛土1層	(8.90)	(15.00)	3.45	459.30	砂岩
	図Ⅵ-27	38	砥石	q-94	盛土1層	(4.90)	(5.90)	1.80	(76.70)	砂岩
	図Ⅵ-27	39	石製品	r-94	盛土1層	(7.50)	(0.80)	0.30	(0.10)	不明
	図Ⅵ-27	40	石製品	q-95	盛土1層	1.90	1.65	1.00	4.60	カンラン岩
	図Ⅵ-27	41	石製品	r-95	盛土1層	(12.60)	(2.80)	1.35	(85.10)	粘板岩
IMBF-9	図Ⅵ-31	1	石槍またはナイフ	p-94	焼土中	5.70	1.60	0.50	3.30	黒曜石
	図Ⅵ-31	2	つまみ付ナイフ	q-94	焼土中	5.40	4.20	0.85	14.00	黒曜石
I地区土壙群										
ILP-1	図Ⅵ-33	1	石斧	v-100	覆土2層	(6.60)	7.30	3.50	(219.40)	緑色泥岩
ILP-3	図Ⅵ-37	1	石斧	u-100	覆土2層	(10.30)	6.90	2.60	(375.40)	緑色泥岩
ILP-26	図Ⅵ-66	1	たたき石	u-95	覆土1層	14.30	4.30	2.70	245.70	砂岩
I地区焼土群										
ILF-11	図Ⅵ-74	1	石鏃	q-95	焼土	(1.85)	(1.50)	0.30	(0.60)	黒曜石
ilfg-112	図Ⅵ-74	2	スクレイパー	s-113	焼土直上	6.20	5.00	1.20	34.10	黒曜石
ilfg-285	図Ⅵ-74	3	つまみ付ナイフ	l-105	焼土直上	5.20	2.50	0.60	6.30	頁岩
ilfg-371	図Ⅵ-74	4	つまみ付ナイフ	s-109	焼土直上	5.00	4.30	7.50	9.50	黒曜石

表6　包含層掲載土器一覧(1)

図番号		グリッド	層位	分類	点数	合計	備考
A地区							
図Ⅳ-80	1	L-42	Ⅴ層	Ⅰb-2	33		
図Ⅳ-80	1	L-42	Ⅵ層	Ⅰb-2	2		
図Ⅳ-80	1	L-43	Ⅴ層	Ⅰb-2	1	36	
図Ⅳ-80	2	L-42	Ⅴ層	Ⅰb-2	2		
図Ⅳ-80	2	L-42	Ⅵ層	Ⅰb-2	4	6	
図Ⅳ-80	3	K-40	掘上土	Ⅰb-3	1		
図Ⅳ-80	3	L-42	Ⅴ層	Ⅰb-3	9		
図Ⅳ-80	3	L-43	Ⅴ層	Ⅰb-3	1		
図Ⅳ-80	3	M-42	Ⅴ層	Ⅰb-3	5	16	
図Ⅳ-80	4	J-40	Ⅴ層	Ⅰb-3	2		
図Ⅳ-80	4	J-40	掘上土	Ⅰb-3	4		
図Ⅳ-80	4	J-41	Ⅴ層	Ⅰb-3	1	7	
図Ⅳ-80	5	G-36	Ⅴ-8b層	Ⅰb-4	1		
図Ⅳ-80	5	I-37	Ⅴ-8b層	Ⅰb-4	1		
図Ⅳ-80	5	J-34	Ⅴ-8b層	Ⅰb-4	5		
図Ⅳ-80	5	J-35	Ⅴ-8b層	Ⅰb-4	2		
図Ⅳ-80	5	J-35	Ⅴ-8c層	Ⅰb-4	100		
図Ⅳ-80	5		未注記	Ⅰb-4	110		
図Ⅳ-80	6	J-42	Ⅴ層	Ⅰb-4	6		
図Ⅳ-80	6	K-42	Ⅴ層	Ⅰb-4	19		
図Ⅳ-80	6	K-45	Ⅴ-1b層	Ⅰb-4	3		
図Ⅳ-80	6	N-43	Ⅴ層	Ⅰb-4	1	29	
図Ⅳ-80	7	I-36	Ⅴ-8b層	Ⅰb-4	42		
図Ⅳ-80	7	I-36	Ⅴ-8c層	Ⅰb-4	28	70	
図Ⅳ-80	8	H-42	Ⅵ層	Ⅰb-3	2		
図Ⅳ-80	8	J-42	Ⅴ層	Ⅰb-3	1		
図Ⅳ-80	8	J-43	Ⅵ層	Ⅰb-3	1	4	
図Ⅳ-80	9	G-43	Ⅴ層	Ⅰb-3	6	6	
図Ⅳ-81	1	G-36	Ⅴ-8b層	Ⅰb-1	3	3	
図Ⅳ-81	2	G-36	Ⅴ-8b層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-81	3	G-36	Ⅴ-8b層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-81	4	N-48	Ⅴ層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-81	5	U-47	Ⅴ層下位	Ⅰb-1	4	4	
図Ⅳ-81	6	P-43	Ⅴ層	Ⅰb-1	3	3	
図Ⅳ-81	7	Q-43	Ⅴ層	Ⅰb-1	15		
図Ⅳ-81	7	Q-43	Ⅵ層	Ⅰb-1	9	24	
図Ⅳ-81	8	T-48	Ⅴ層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-81	9	Z-52	Ⅴ層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-81	10	I-37	Ⅴ-8c層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-81	11	R-48	Ⅵ層	Ⅰb-1	3	3	
図Ⅳ-81	12	Q-39	Ⅴ層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-81	13	W-53	Ⅴ層	Ⅰb-1	4	4	
図Ⅳ-81	14	K-37	Ⅴ-8b層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-81	15	M-41	Ⅵ層	Ⅰb-1	2	2	
図Ⅳ-81	16	M-43	Ⅴ層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-81	17	b-48	Ⅴ-ロ層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-81	18	M-44	Ⅴ層	Ⅰb-1	1		
図Ⅳ-81	18	M-47	Ⅴ層	Ⅰb-1	22		
図Ⅳ-81	18	S-49	Ⅴ層	Ⅰb-1	1		
図Ⅳ-81	18	W-51	Ⅲ層	Ⅰb-1	4	28	
図Ⅳ-81	19	R-42	Ⅴ層	Ⅰb-1	2	2	
図Ⅳ-81	20	U-48	Ⅴ層下位	Ⅰb-1	5	5	
図Ⅳ-81	21	M-42	Ⅵ層	Ⅰb-1	2	2	
図Ⅳ-81	22	K-40	掘上土	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-81	23	T-49	Ⅴ層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-81	24	U-45	Ⅴ-8b層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-81	25	T-39	Ⅴ-8層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-81	26	X-51	Ⅳ層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-81	27	G-36	Ⅴ-8b層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-81	28	K-39	Ⅴ-8b層	Ⅰb-1	2	2	
図Ⅳ-81	29	I-46	Ⅴ層	Ⅰb-1	1		
図Ⅳ-81	29	I-47	Ⅴ層	Ⅰb-1	1	2	
図Ⅳ-81	30	R-48	Ⅴ層	Ⅰb-1	2	2	
図Ⅳ-81	31	N-40	Ⅴ層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-81	32	X-52	Ⅴ層	Ⅰb-1	2	2	
図Ⅳ-82	33	X-52	Ⅴ層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-82	34	K-41	Ⅵ層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-82	35	X-47	河道跡2	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-82	36	I-46	Ⅵ層	Ⅰb-1	1		
図Ⅳ-82	36	J-45	Ⅴ-1b層	Ⅰb-1	1	2	
図Ⅳ-82	37	K-40	掘上土	Ⅰb-1	2	2	
図Ⅳ-82	38	K-40	掘上土	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-82	39	c-48	Ⅴ-ハ層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-82	40	I-46	Ⅴ層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-82	41	N-49	Ⅴ層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-82	42	V-48	Ⅴ層下位	Ⅰb-1	7	7	
図Ⅳ-82	43	P-43	Ⅴ層	Ⅰb-1	2	2	
図Ⅳ-82	44	Q-43	Ⅴ層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-82	45	P-45	Ⅴ層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-82	46	K-46	Ⅴ層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-82	46		Ⅴ層	Ⅰb-2	2	3	
図Ⅳ-82	47	N-44	Ⅵ層	Ⅰb-1	1	1	
図Ⅳ-82	48	N-42	Ⅴ層	Ⅰb-1	3	3	
図Ⅳ-83	1	K-46	Ⅵ層	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-83	2	L-46	Ⅴ層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-83	3	K-44	ALH3掘上土	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-83	3	J-44	Ⅴ-1b層	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-83	3	K-45	Ⅴ-1b層	Ⅰb-2	1	3	
図Ⅳ-83	4	J-44	Ⅴ-1b層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-83	5	J-44	Ⅵ層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-83	6	L-42	Ⅴ層	Ⅰb-2	3	3	
図Ⅳ-83	7	J-40	掘上土	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-83	7	K-40	掘上土	Ⅰb-2	1	2	
図Ⅳ-83	8	J-46	Ⅴ-1b層	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-83	8	J-47	Ⅵ層	Ⅰb-2	1	2	
図Ⅳ-83	9	M-43	Ⅴ層	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-83	9	M-44	Ⅴ層	Ⅰb-2	3	4	
図Ⅳ-83	10	J-37	Ⅴ-8c層	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-83	10	K-38	Ⅴ-8b層	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-83	10	L-44	Ⅴ層	Ⅰb-2	2	4	
図Ⅳ-83	11	J-37	Ⅴ-8c層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-83	12	J-47	Ⅴ-1b層	Ⅰb-2	4		
図Ⅳ-83	12	J-47	Ⅵ層	Ⅰb-2	8		
図Ⅳ-83	12	J-48	Ⅵ層	Ⅰb-2	1	13	
図Ⅳ-83	13	J-46	Ⅴ層	Ⅰb-2	7		
図Ⅳ-83	13	J-47	Ⅴ層	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-83	13	M-47	Ⅴ層	Ⅰb-2	4	12	
図Ⅳ-83	14	L-40	Ⅴ層	Ⅰb-2	3		
図Ⅳ-83	14	L-40	Ⅵ層	Ⅰb-2	1	4	
図Ⅳ-83	15	J-40	掘上土	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-83	15	K-40	掘上土	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-83	15	L-39	Ⅵ層	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-83	15	L-41	Ⅵ層	Ⅰb-2	3	6	
図Ⅳ-83	16	H-35	Ⅴ-8b層	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-83	16	H-37	Ⅴ-8b層	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-83	16	H-38	Ⅴ-8b層	Ⅰb-2	3	5	
図Ⅳ-83	17	J-37	Ⅴ-8c層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-83	18	K-40	掘上土	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-83	19	K-41	掘上土	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-83	20	N-41	Ⅵ層	Ⅰb-2	2	2	
図Ⅳ-83	21	G-45	Ⅴ層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-83	21	H-44	Ⅴ層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-83	22	I-41	掘上土	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-83	23	L-41	Ⅵ層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-83	24	I-42	Ⅵ層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-83	25	M-44	Ⅴ層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-83	26	I-47	Ⅴ層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-83	26	J-42	Ⅵ層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-83	27	ALH10	表土	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-83	28	Y-50	河道跡2	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-83	29	K-44	ALH3掘上土	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-83	29	K-44	Ⅴ-1b層	Ⅰb-2	1	2	
図Ⅳ-83	30	I-40	掘上土	Ⅰb-2	3	3	
図Ⅳ-83	31	I-42	Ⅴ層	Ⅰb-2	5	5	
図Ⅳ-83	32	I-40	掘上土	Ⅰb-2	2	2	
図Ⅳ-83	33	J-43	Ⅴ層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-83	34	M-41	Ⅵ層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-84	35	M-43	Ⅵ層	Ⅰb-2	6	6	
図Ⅳ-84	36	M-45	Ⅴ-1b層	Ⅰb-2	2	2	
図Ⅳ-84	37	J-37	Ⅴ-8c層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-84	38	J-37	Ⅴ-8c層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-84	39	M-44	Ⅴ層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-84	40	N-40	Ⅴ層	Ⅰb-2	3	3	
図Ⅳ-84	41	K-41	Ⅵ層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-84	42	N-41	Ⅵ層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-84	43	K-44	ALH3掘上土	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-84	43	J-44	Ⅴ-1b層	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-84	43	K-44	Ⅵ層	Ⅰb-2	1	3	
図Ⅳ-84	44	J-44	Ⅵ層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-84	45	K-37	Ⅴ-8b層	Ⅰb-2	1	1	
図Ⅳ-84	46	Q-42	Ⅴ層	Ⅰb-2	9	9	
図Ⅳ-84	47	K-36	Ⅴ-8b層	Ⅰb-2	3	3	
図Ⅳ-84	48	H-39	Ⅴ層	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-84	48	H-39	Ⅴ-8c層	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-84	48	I-39	Ⅵ層	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-84	48	I-40	掘上土	Ⅰb-2	2	5	
図Ⅳ-84	49	H-40	掘上土	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-84	49	I-40	Ⅵ層	Ⅰb-2	2		
図Ⅳ-84	49	I-40	掘上土	Ⅰb-2	1	4	
図Ⅳ-84	50	J-37	Ⅴ-8c層	Ⅰb-2	1		
図Ⅳ-84	50	L-43	Ⅴ層	Ⅰb-2	2		
図Ⅳ-84	50	M-43	Ⅴ層	Ⅰb-2	5		
図Ⅳ-84	50	M-44	Ⅴ層	Ⅰb-2	2	10	
図Ⅳ-85	1	M-43	Ⅵ層	Ⅰb-3	3		
図Ⅳ-85	1	N-43	Ⅴ層	Ⅰb-3	3		
図Ⅳ-85	1	O-48	Ⅴ層	Ⅰb-3	2	8	
図Ⅳ-85	2	O-47	Ⅴ層	Ⅰb-3	3	3	
図Ⅳ-85	3	L-42	Ⅴ層	Ⅰb-3	5	5	
図Ⅳ-85	4	M-46	Ⅴ層	Ⅰb-3	2	2	
図Ⅳ-85	5	N-46	Ⅵ層	Ⅰb-3	5	5	
図Ⅳ-85	6	H-37	Ⅴ-8b層	Ⅰb-3	1		
図Ⅳ-85	6	L-34	Ⅴ-8b層	Ⅰb-3	1	2	
図Ⅳ-85	7	K-42	Ⅴ層	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-85	8	J-37	Ⅴ-8c層	Ⅰb-3	3	3	
図Ⅳ-85	9	M-43	Ⅴ層	Ⅰb-3	1		
図Ⅳ-85	9	M-44	Ⅴ層	Ⅰb-3	3	4	
図Ⅳ-85	10	R-42	Ⅴ層	Ⅰb-3	7	7	
図Ⅳ-85	11	K-40	掘上土	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-85	12	I-44	Ⅴ層	Ⅰb-3	1		
図Ⅳ-85	12	M-41	Ⅴ層	Ⅰb-3	2	3	
図Ⅳ-85	13	J-40	掘上土	Ⅰb-3	2	2	
図Ⅳ-85	14	I-43	Ⅴ層	Ⅰb-3	3	3	
図Ⅳ-85	15	K-42	Ⅵ層	Ⅰb-3	3	3	

表6　包含層掲載土器一覧(2)

図番号		グリッド	層位	分類	点数	合計	備考
図Ⅳ-85	16	K-42	Ⅴ層	Ⅰb-3	6	6	
図Ⅳ-85	17	P-36	Ⅵ層	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-85	18	J-42	Ⅴ層	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-85	19	I-40	掘上土	Ⅰb-3	1		
図Ⅳ-85	19	J-40	掘上土	Ⅰb-3	6		
図Ⅳ-85	19	J-41	掘上土	Ⅰb-3	9	16	
図Ⅳ-85	20	I-41	掘上土	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-85	21	J-37	Ⅴ-8c層	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-85	22	J-40	掘上土	Ⅰb-3	3	3	
図Ⅳ-85	23	N-41	Ⅵ層	Ⅰb-3	2	2	
図Ⅳ-85	24	I-40	掘上土	Ⅰb-3	2	2	
図Ⅳ-85	25	I-40	掘上土	Ⅰb-3	1		
図Ⅳ-85	25	J-39	Ⅴ-8b層	Ⅰb-3	1	2	
図Ⅳ-85	26	L-43	Ⅵ層	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-85	27	N-35	Ⅴ-8b層	Ⅰb-3	3	3	
図Ⅳ-85	28	J-44	Ⅴ層	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-85	29	L-42	Ⅴ層	Ⅰb-3	2		
図Ⅳ-85	29	L-42	Ⅵ層	Ⅰb-3	3	5	
図Ⅳ-85	30	N-38	Ⅵ層	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-85	31	N-47	Ⅴ層	Ⅰb-3	5	5	
図Ⅳ-85	32	M-43	Ⅵ層	Ⅰb-3	2		
図Ⅳ-85	32	N-43	Ⅴ層	Ⅰb-3	4	6	
図Ⅳ-85	33	J-44	Ⅴ層	Ⅰb-3	1		
図Ⅳ-85	33	J-44	Ⅵ層	Ⅰb-3	7	8	
図Ⅳ-85	34	N-43	Ⅴ層	Ⅰb-3	1		
図Ⅳ-85	34	O-43	Ⅴ層	Ⅰb-3	1	2	
図Ⅳ-85	35	M-43	Ⅴ層	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-86	36	P-43	Ⅴ層	Ⅰb-3	34	34	
図Ⅳ-86	37	O-42	Ⅴ層	Ⅰb-3	11	11	
図Ⅳ-86	38	L-42	Ⅴ層	Ⅰb-3	4	4	
図Ⅳ-86	39	I-39	Ⅵ層	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-86	40	R-43	Ⅴ層	Ⅰb-3	1		
図Ⅳ-86	40	R-45	Ⅴ層	Ⅰb-3	4	5	
図Ⅳ-86	41	O-42	Ⅴ層	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-86	42	M-42	Ⅴ層	Ⅰb-3	2	2	
図Ⅳ-86	43	O-43	Ⅴ層	Ⅰb-3	2	2	
図Ⅳ-86	44	K-37	Ⅴ-8b層	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-86	45	G-38	Ⅴ-8b層	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-86	46	J-40	掘上土	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-86	47	K-41	Ⅵ層	Ⅰb-3	2	2	
図Ⅳ-86	48	Q-39	Ⅴ層	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-86	49	J-42	Ⅴ層	Ⅰb-3	2		
図Ⅳ-86	49	J-42	Ⅵ層	Ⅰb-3	1	3	
図Ⅳ-86	50	K-40	Ⅵ層	Ⅰb-3	2	2	
図Ⅳ-86	51	K-36	Ⅴ-8b層	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-86	52	L-48	Ⅴ-1b層	Ⅰb-3	2	2	
図Ⅳ-86	53	J-40	掘上土	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-86	54	K-40	掘上土	Ⅰb-3	2	2	
図Ⅳ-86	55	H-41	Ⅵ層	Ⅰb-3	1		
図Ⅳ-86	55	I-40	掘上土	Ⅰb-3	1	2	
図Ⅳ-86	56	I-39	Ⅵ層	Ⅰb-3	2	2	
図Ⅳ-86	57	N-35	Ⅴ-8b層	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-86	58	M-41	Ⅵ層	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-86	59	M-43	Ⅴ層	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-86	60	ALH13	撹土	Ⅰb-3	10		
図Ⅳ-86	60	L-43	Ⅴ層	Ⅰb-3	2		
図Ⅳ-86	60	M-42	Ⅴ層	Ⅰb-3	3	15	
図Ⅳ-86	61	N-36	Ⅴ層	Ⅰb-3	3	3	
図Ⅳ-86	62	P-37	Ⅴ-8b層	Ⅰb-3	3	3	
図Ⅳ-86	63	P-40	Ⅴ層	Ⅰb-3	14	14	
図Ⅳ-86	64	H-40	掘上土	Ⅰb-3	2		
図Ⅳ-86	64	I-40	掘上土	Ⅰb-3	2	4	
図Ⅳ-86	65	J-40	掘上土	Ⅰb-3	1		
図Ⅳ-86	65	K-40	掘上土	Ⅰb-3	1	2	
図Ⅳ-86	66	K-42	Ⅵ層	Ⅰb-3	21	21	
図Ⅳ-86	67	K-42	Ⅵ層	Ⅰb-3	9	9	
図Ⅳ-86	68	K-36	Ⅴ-8b層	Ⅰb-3	1		
図Ⅳ-86	68	K-37	Ⅴ-8b層	Ⅰb-3	1	2	
図Ⅳ-86	69	K-36	Ⅴ-8b層	Ⅰb-3	1		
図Ⅳ-86	69	K-36	Ⅴ-8c層	Ⅰb-3	1	2	
図Ⅳ-86	70	L-40	Ⅴ層	Ⅰb-3	1	1	
図Ⅳ-86	71	Q-38	Ⅴ-8b層	Ⅰb-3	2	2	
図Ⅳ-87	1	M-37	Ⅴ層	Ⅰb-4	1	1	
図Ⅳ-87	2	O-40	Ⅴ層	Ⅰb-4	1	1	
図Ⅳ-87	3	N-40	Ⅴ層	Ⅰb-4	2	2	
図Ⅳ-87	4	O-38	Ⅴ-8a層	Ⅰb-4	1	1	
図Ⅳ-87	5	N-39	Ⅴ層	Ⅰb-4	1	1	
図Ⅳ-87	6	I-42	Ⅴ層	Ⅰb-4	1		
図Ⅳ-87	6	J-42	Ⅴ層	Ⅰb-4	10	11	
図Ⅳ-87	7	J-40	Ⅴ-1b層	Ⅰb-4	1	1	
図Ⅳ-87	8	O-41	Ⅴ層	Ⅰb-4	1		
図Ⅳ-87	8	O-41	Ⅵ層	Ⅰb-4	4	5	
図Ⅳ-87	9	P-38	Ⅴ層	Ⅰb-4	1	1	
図Ⅳ-87	10	G-39	Ⅴ-8b層	Ⅰb-4	1		
図Ⅳ-87	10	H-38	Ⅴ-8c層	Ⅰb-4	1	2	
図Ⅳ-87	11	G-37	Ⅴ-8c層	Ⅰb-4	2	2	
図Ⅳ-87	12	L-36	Ⅴ-8c層	Ⅰb-4	1	1	
図Ⅳ-87	13	M-47	Ⅵ層	Ⅰb-4	1	1	
図Ⅳ-87	14	Q-38	Ⅴ-9層	Ⅰb-4	1	1	
図Ⅳ-87	15	H-38	Ⅴ-8b層	Ⅰb-4	2	2	
図Ⅳ-87	16	N-41	Ⅵ層	Ⅰb-4	3	3	
図Ⅳ-87	17	I-39	Ⅴ-8b層	Ⅰb-4	1	1	

図番号		グリッド	層位	分類	点数	合計	備考
図Ⅳ-87	18	K-36	Ⅴ-8b層	Ⅰb-4	2	2	
図Ⅳ-87	19	H-35	Ⅴ-8c層	Ⅰb-4	1	1	
図Ⅳ-87	20	N-40	Ⅴ層	Ⅰb-4	1	1	
図Ⅳ-87	21	J-37	Ⅴ-8c層	Ⅰb-4	3	3	
図Ⅳ-87	22	J-38	Ⅴ-8c層	Ⅰb-4	2	2	
図Ⅳ-87	23	K-42	Ⅴ層	Ⅰb-4	2		
図Ⅳ-87	23	R-45	Ⅵ層	Ⅰb-4	1	3	
図Ⅳ-87	24	O-40	Ⅵ層	Ⅰb-4	2	2	
図Ⅳ-87	25	J-41	掘上土	Ⅰb-4	1		
図Ⅳ-87	25	K-42	Ⅴ層	Ⅰb-4	2	3	
図Ⅳ-87	26	M-42	Ⅴ層	Ⅰb-4	1	1	
図Ⅳ-87	27	M-36	Ⅴ-8c層	Ⅰb-4	1		
図Ⅳ-87	27	P-38	Ⅴ層	Ⅰb-4	1		
図Ⅳ-87	27	P-39	Ⅴ-8b層	Ⅰb-4	1	3	
図Ⅳ-87	28	K-42	Ⅴ層	Ⅰb-4	1	1	
図Ⅳ-87	29	K-46	Ⅴ層	Ⅰb-4	1	1	
図Ⅳ-87	30	K-46	Ⅴ層	Ⅰb-4	5	5	
図Ⅳ-87	31	J-42	Ⅴ層	Ⅰb	1	1	
図Ⅳ-87	32	I-40	掘上土	Ⅰb	1	1	
図Ⅳ-87	33	I-40	掘上土	Ⅰb	1	1	
図Ⅳ-87	34	M-48	Ⅴ-1b層	Ⅰb	1	1	
図Ⅳ-87	35	J-47	Ⅵ層	Ⅰb	2	2	
図Ⅳ-87	36	N-45	Ⅴ層	Ⅰb	9	9	
図Ⅳ-88	1	O-43	Ⅴ層	Ⅱa-1	43	43	
図Ⅳ-88	2	C-38	Ⅴ層中位	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	E-34	Ⅴ層下位	Ⅱa-1	2		
図Ⅳ-88	2	E-38	Ⅴ層中位	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	E-40	Ⅴ層中位	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	E-40	Ⅴ層下位	Ⅱa-1	8		
図Ⅳ-88	2	E-40	Ⅴ層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	F-36	Ⅴ-D	Ⅱa-1	2		
図Ⅳ-88	2	F-37	Ⅴ層中位	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	F-40	Ⅴ層下位	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	F-47	Ⅴ層中位	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	G-36	Ⅴ-S	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	H-33	Ⅴ-8b層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	H-35	Ⅴ-8b層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	H-47	Ⅴ層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	I-35	Ⅴ-8b層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	I-36	Ⅴ-8b層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	I-36	Ⅴ-8c層	Ⅱa-1	2		
図Ⅳ-88	2	I-37	Ⅴ-8c層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	I-38	Ⅴ-8b層	Ⅱa-1	2		
図Ⅳ-88	2	J-43	Ⅴ層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	J-44	Ⅴ-1b層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	K-37	Ⅴ-8b層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	K-38	Ⅴ-8b層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	K-47	Ⅴ-1b層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	L-40	Ⅵ層	Ⅱa-1	2		
図Ⅳ-88	2	L-40	撹乱	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	L-41	Ⅴ層	Ⅱa-1	2		
図Ⅳ-88	2	L-45	Ⅴ-1b層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	M-37	Ⅴ層	Ⅱa-1	2		
図Ⅳ-88	2	Q-39	Ⅴ層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	2	R-40	Ⅴ層	Ⅱa-1	1	45	
図Ⅳ-88	3	G-38	Ⅴ-8b層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	3	G-38	Ⅴ-8c層	Ⅱa-1	5		
図Ⅳ-88	3	H-37	Ⅴ-8c層	Ⅱa-1	2		
図Ⅳ-88	3	H-38	Ⅴ-8b層	Ⅱa-1	40		
図Ⅳ-88	3	H-38	Ⅴ-8c層	Ⅱa-1	15		
図Ⅳ-88	3	I-35	Ⅴ-8b層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	3	I-37	Ⅴ-8c層	Ⅱa-1	3		
図Ⅳ-88	3	I-38	Ⅴ-8b層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	3	J-36	Ⅴ-8c層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-88	3	J-37	Ⅴ-8b層	Ⅱa-1	4	73	
図Ⅳ-89	4	F-40	撹乱	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-89	4	G-36	Ⅴ-S	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-89	4	G-41	Ⅴ層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-89	4	G-42	Ⅴ層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-89	4	G-42	Ⅴ層上位	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-89	4	G-42	Ⅴ層中位	Ⅱa-1	2		
図Ⅳ-89	4	H-44	Ⅴ層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-89	4	I-43	Ⅴ層	Ⅱa-1	12		
図Ⅳ-89	4	I-44	Ⅴ層	Ⅱa-1	8		
図Ⅳ-89	4		未注記	Ⅱa-1	8	36	
図Ⅳ-89	5	M-37	Ⅴ層	Ⅱa-1	2		
図Ⅳ-89	5	O-42	Ⅴ層	Ⅱa-1	12		
図Ⅳ-89	5	P-41	Ⅴ層	Ⅱa-1	3		
図Ⅳ-89	5	P-42	Ⅴ層	Ⅱa-1	5		
図Ⅳ-89	5	Q-40	Ⅴ層	Ⅱa-1	6		
図Ⅳ-89	5	Q-40	Ⅴ-9層	Ⅱa-1	4		
図Ⅳ-89	5	S-45	Ⅴ層	Ⅱa-1	5	37	
図Ⅳ-89	6	K-41	Ⅵ層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-89	6	N-43	Ⅴ層	Ⅱa-1	20	21	
図Ⅳ-89	7	Q-39	Ⅴ-9層	Ⅱa-1	29	29	
図Ⅳ-89	8	H-41	Ⅵ層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-89	8	J-40	掘上土	Ⅱa-1	14		
図Ⅳ-89	8	J-41	掘上土	Ⅱa-1	1	16	
図Ⅳ-89	9	Q-45	Ⅴ層	Ⅱa-1	4		
図Ⅳ-89	9	T-42	Ⅴ層	Ⅱa-1	20	24	
図Ⅳ-90	10	G-35	Ⅴ-8b層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-90	10	G-36	Ⅴ-8c層	Ⅱa-1	22		

表6　包含層掲載土器一覧(3)

図番号		グリッド	層位	分類	点数	合計	備考
図Ⅳ-90	10	H-35	V-8b層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-90	10	H-36	V-8b層	Ⅱa-1	60	84	
図Ⅳ-90	11	ALH22	攪土	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-90	11	C-35	V層上位	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-90	11	D-35	V層上位	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-90	11	D-36	V層中位	Ⅱa-1	3		
図Ⅳ-90	11	D-36	V層下位	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-90	11	D-37	V層中位	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-90	11	E-38	V層中位	Ⅱa-1	2		
図Ⅳ-90	11	F-33	V-FS	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-90	11	F-38	V層中位	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-90	11	G-36	V-FS	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-90	11	G-37	V-D	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-90	11	G-38	V層下位	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-90	11	G-38	V-8b層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-90	11	L-45	V-1b層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-90	11		未注記	Ⅱa-1	1	18	
図Ⅳ-90	12	J-35	V-8b層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-90	12	J-35	V-8c層	Ⅱa-1	60	61	
図Ⅳ-91	13	K-35	V-8c層	Ⅱa-1	2		
図Ⅳ-91	13	K-36	V-8b層	Ⅱa-1	2		
図Ⅳ-91	13	L-35	V-8c層	Ⅱa-1	1	5	
図Ⅳ-91	14	I-39	V-8c層	Ⅱa-1	2		
図Ⅳ-91	14	P-38	V層	Ⅱa-1	5		
図Ⅳ-91	14	P-39	V-8b層	Ⅱa-1	1	8	
図Ⅳ-91	15	R-39	V層	Ⅱa-1	1	1	
図Ⅳ-91	16	J-43	V層	Ⅱa-1	1	1	
図Ⅳ-91	17	L-39	V-8b層	Ⅱa-1	1	1	
図Ⅳ-91	18	G-36	V-8c層	Ⅱa-1	7		
図Ⅳ-91	18	H-36	V-8b層	Ⅱa-1	1		
図Ⅳ-91	18	H-36	V-8c層	Ⅱa-1	1	9	
図Ⅳ-91	19	M-44	V層	Ⅱa-1	1	1	
図Ⅳ-91	20	P-39	V-8b層	Ⅱa-1	1	1	
図Ⅳ-91	21	R-42	V層	Ⅱa-1	2	2	
図Ⅳ-91	22	I-37	V-8b層	Ⅱa-1	1	1	
図Ⅳ-91	23	M-47	V層	Ⅱa-1	2		
図Ⅳ-91	23	R-44	V層	Ⅱa-1	1	3	
図Ⅳ-91	24	P-49	V層	Ⅱa-1	1	1	
図Ⅳ-91	25	P-42	V層	Ⅱa-1	13	13	
図Ⅳ-91	26	H-37	V-8b層	Ⅱa-1	5	5	
図Ⅳ-91	27	I-40	掘上土	Ⅱa-1	1	1	
図Ⅳ-91	28	H-38	V-8b層	Ⅱa-1	1	1	
図Ⅳ-91	29	H-38	V-8b層	Ⅱa-1	1	1	
図Ⅳ-91	30	G-38	V-8c層	Ⅱa-1	1	1	
図Ⅳ-91	31	H-38	V-8b層	Ⅱa-1	1	1	
図Ⅳ-92	1	G-43	V層	Ⅱa-2	1		
図Ⅳ-92	1	H-40	V層	Ⅱa-2	1		
図Ⅳ-92	1	H-43	V層	Ⅱa-2	34	36	
図Ⅳ-92	2	F-39	V層	Ⅱa-2	1		
図Ⅳ-92	2	G-38	V層下位	Ⅱa-2	1		
図Ⅳ-92	2	G-39	V層	Ⅱa-2	33		
図Ⅳ-92	2	G-39	Ⅵ層	Ⅱa-2	3		
図Ⅳ-92	2	G-47	V層	Ⅱa-2	1		
図Ⅳ-92	2	G-49	V層	Ⅱa-2	1	40	
図Ⅳ-92	3	ALF107	焼土	Ⅱa-2	1		
図Ⅳ-92	3	C-38	V層中位	Ⅱa-2	1		
図Ⅳ-92	3	C-39	V層中位	Ⅱa-2	1		
図Ⅳ-92	3	D-37	V層中位	Ⅱa-2	1		
図Ⅳ-92	3	D-39	V層中位	Ⅱa-2	7		
図Ⅳ-92	3	D-39	V層下位	Ⅱa-2	2		
図Ⅳ-92	3	D-40	V層中位	Ⅱa-2	1		
図Ⅳ-92	3	E-39	V層	Ⅱa-2	1		
図Ⅳ-92	3	H-37	V-8b層	Ⅱa-2	3		
図Ⅳ-92	3	I-38	V-8b層	Ⅱa-2	1	19	
図Ⅳ-92	4	H-38	V-8b層	Ⅱa-2	30	30	
図Ⅳ-92	5	E-34	V-D	Ⅱa-2	2		
図Ⅳ-92	5	H-37	V-8b層	Ⅱa-2	4		
図Ⅳ-92	5	H-38	V-8b層	Ⅱa-2	1		
図Ⅳ-92	5	I-38	V-8c層	Ⅱa-2	2		
図Ⅳ-92	5		未注記	Ⅱa-2	20	29	
図Ⅳ-92	6	J-41	Ⅵ層	Ⅱa-2	33	33	
図Ⅳ-92	7	I-38	V-8c層	Ⅱa-2	3	3	
図Ⅳ-92	8	H-37	V-8b層	Ⅱa-2	5	5	
図Ⅳ-92	9	J-40	掘上土	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-93	10	I-40	掘上土	Ⅱa-2	3	3	
図Ⅳ-93	11	I-40	掘上土	Ⅱa-2	3	3	
図Ⅳ-93	12	K-43	V層	Ⅱa-2	3	3	
図Ⅳ-93	13	H-39	V層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-93	14	M-42	V層	Ⅱa-2	4	4	
図Ⅳ-93	15	J-40	掘上土	Ⅱa-2	2	2	
図Ⅳ-93	16	G-43	V層	Ⅱa-2	6	6	
図Ⅳ-93	17	G-41	V層	Ⅱa-2	2	2	
図Ⅳ-93	18	G-38	V-8c層	Ⅱa-2	2	2	
図Ⅳ-93	19	G-39	V層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-93	20	H-39	Ⅵ層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-93	21	H-40	掘上土	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-93	22	H-39	V-8b層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-93	23	I-37	V-8b層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-93	24	G-39	V層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-93	25	N-39	V層	Ⅱa-2	2	2	
図Ⅳ-93	26	K-43	V層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-93	27	H-39	V-7層	Ⅱa-2	1	1	

図番号		グリッド	層位	分類	点数	合計	備考
図Ⅳ-93	28	H-42	V層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-93	29	H-39	V-8c層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-93	30	J-43	V層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-93	31	G-42	V層	Ⅱa-2	2	2	
図Ⅳ-93	32	H-39	Ⅵ層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-93	33	I-40	掘上土	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-93	34	H-39	V-8b層	Ⅱa-2	6	6	
図Ⅳ-93	35	G-39	V層	Ⅱa-2	7	7	
図Ⅳ-93	36	L-37	V-8c層	Ⅱa-2	2	2	
図Ⅳ-93	37	J-42	V層	Ⅱa-2	2	2	
図Ⅳ-93	38	H-39	V-8b層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-93	39	H-37	V-8b層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-93	40	Q-39	V層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-93	41	K-39	V-8b層	Ⅱa-2	2	2	
図Ⅳ-93	42	H-39	V-8c層	Ⅱa-2	2	2	
図Ⅳ-93	43	H-39	V-7層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-93	44	G-39	V-8b層	Ⅱa-2	6	6	
図Ⅳ-94	45	H-37	V-8b層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-94	46	H-41	V層	Ⅱa-2	1		
図Ⅳ-94	46	H-42	V層	Ⅱa-2	5	6	
図Ⅳ-94	47	G-37	V-8b層	Ⅱa-2	1		
図Ⅳ-94	47	H-37	V-8b層	Ⅱa-2	2	3	
図Ⅳ-94	48	H-39	V-7層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-94	49	I-38	V-8c層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-94	50	I-40	V層	Ⅱa-2	1		
図Ⅳ-94	50	I-40	掘上土	Ⅱa-2	4	5	
図Ⅳ-94	51	H-37	V-8b層	Ⅱa-2	3	3	
図Ⅳ-94	52	H-39	Ⅵ層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-94	53	H-39	V層	Ⅱa-2	3	3	
図Ⅳ-94	54	G-43	V層	Ⅱa-2	3	3	
図Ⅳ-94	55	G-38	V-8b層	Ⅱa-2	4	4	
図Ⅳ-94	56	H-46	V層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-94	57	I-44	V層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-94	58	G-42	V層	Ⅱa-2	3	3	
図Ⅳ-94	59	G-39	V層	Ⅱa-2	5	5	
図Ⅳ-94	60	G-44	V層	Ⅱa-2	2	2	
図Ⅳ-94	61	G-39	V-8b層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-94	62	I-39	V-8b層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-94	63	H-38	V-8b層	Ⅱa-2	2	2	
図Ⅳ-94	64	M-42	Ⅵ層	Ⅱa-2	5	5	
図Ⅳ-94	65	I-39	V-7層	Ⅱa-2	1		
図Ⅳ-94	65	I-39	Ⅵ層	Ⅱa-2	2		
図Ⅳ-94	65	I-40	V層	Ⅱa-2	1	4	
図Ⅳ-94	66	I-39	V-7層	Ⅱa-2	1	1	
図Ⅳ-95	1	e-48	V-二層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-95	1	e-49	V-二層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-95	1	f-49	V-イ層	Ⅳb	5		
図Ⅳ-95	1	f-49	V-二層	Ⅳb	3	10	
図Ⅳ-95	2	e-49	V-イ層	Ⅳb	3		
図Ⅳ-95	2	f-49	V-イ層	Ⅳb	9	12	
図Ⅳ-95	3	e-49	V-イ層	Ⅳb	10		
図Ⅳ-95	3	e-49	V-イ層	Ⅳb	1	11	
図Ⅳ-95	4	c-48	V-ロ層	Ⅳb	49		
図Ⅳ-95	4	c-48	V-ハ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-95	4	c-48	V層	Ⅳb	9		
図Ⅳ-95	4	c-48	V-二層	Ⅳb	41		
図Ⅳ-95	4	c-48	V-ハ層	Ⅳb	5		
図Ⅳ-95	4	c-48	V層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-95	4	c-49	V層	Ⅳb	1	107	
図Ⅳ-95	5	Y-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳb	12		
図Ⅳ-95	5	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳb	12		
図Ⅳ-95	5	Y-48	河道跡2－Ⅳ	Ⅳb	10		
図Ⅳ-95	5	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳb	1		
図Ⅳ-95	5	Z-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳb	1		
図Ⅳ-95	5	Z-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳb	1		
図Ⅳ-95	5	Z-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳb	23		
図Ⅳ-95	5	Z-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳb	56		
図Ⅳ-95	5	Z-48	河道跡2－Ⅳ	Ⅳb	11		
図Ⅳ-95	5	Z-48	河道跡2	Ⅳb	1		
図Ⅳ-95	5	Z-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳb	1		
図Ⅳ-95	5	Z-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳb	2		
図Ⅳ-95	5	Z-49	V-ロ層	Ⅳb	1	132	
図Ⅳ-95	6	c-47	V-ロ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-95	6	d-47	V層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-95	6	e-48	V-イ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-95	6	e-48	V-ロ層	Ⅳb	17		
図Ⅳ-95	6	e-48	V-二層	Ⅳb	3		
図Ⅳ-95	6	e-48	V-イ層	Ⅳb	8		
図Ⅳ-95	6	e-48	V-ロ層	Ⅳb	4		
図Ⅳ-95	6	e-48	V-二層	Ⅳb	5	40	
図Ⅳ-96	7	c-48	V-ロ層	Ⅳb	9		
図Ⅳ-96	7	c-48	V層	Ⅳb	3	12	
図Ⅳ-96	8	c-48	V-ロ層	Ⅳb	27		
図Ⅳ-96	8	c-48	V-ハ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-96	8	c-48	V層	Ⅳb	2	30	
図Ⅳ-96	9	f-49	Ⅳ層	Ⅳb	21		
図Ⅳ-96	9	f-49	V-イ層	Ⅳb	8		
図Ⅳ-96	9	f-49	V-ハ層	Ⅳb	1	30	
図Ⅳ-96	10	a-48	河道跡2	Ⅳb	1		
図Ⅳ-96	10	a-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳb	1		
図Ⅳ-96	10	a-48	V-ロ層	Ⅳb	6		
図Ⅳ-96	10	a-48	V-ロ層	Ⅳb	1		

表6　包含層掲載土器一覧(4)

図番号		グリッド	層位	分類	点数	合計	備考
図Ⅳ-96	10	a-49	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	2		
図Ⅳ-96	10	b-47	Ⅴ-イ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-96	10	b-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	23		
図Ⅳ-96	10	b-48	Ⅴ層	Ⅳb	2		
図Ⅳ-96	10	b-48	Ⅴ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-96	10	b-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	2		
図Ⅳ-96	10	b-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-96	10	b-49	Ⅲ層	Ⅳb	7		
図Ⅳ-96	10	b-49	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	3		
図Ⅳ-96	10	c-49	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-96	10	d-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1	54	
図Ⅳ-96	11	b-49	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	20		
図Ⅳ-96	11	b-49	Ⅴ層	Ⅳb	12	32	
図Ⅳ-97	12	X-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-97	12	X-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	12	X-48	河道跡2－Ⅳ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	12	Y-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	12	Y-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	3		
図Ⅳ-97	12	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	7		
図Ⅳ-97	12	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-97	12	Y-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1	18	
図Ⅳ-97	13	a-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	7		
図Ⅳ-97	13	a-46	Ⅴ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-97	13	a-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	13		
図Ⅳ-97	13	a-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	7		
図Ⅳ-97	13	a-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	18		
図Ⅳ-97	13	a-47	Ⅴ層	Ⅳc	13		
図Ⅳ-97	13	Y-48	河道跡2－Ⅳ	Ⅳc	1	61	
図Ⅳ-97	14	b-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	7		
図Ⅳ-97	14	b-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	3	10	
図Ⅳ-97	15	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	15	Z-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	15	Z-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	2	5	
図Ⅳ-97	16	b-48	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	16	b-48	Ⅴ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-97	16	b-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	16	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-97	16	c-48	Ⅴ層	Ⅳc	1	8	
図Ⅳ-97	17	b-46		Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	17	b-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	4		
図Ⅳ-97	17	b-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	4		
図Ⅳ-97	17	X-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	10	
図Ⅳ-97	18	a-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-97	18	b-48	Ⅴ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-97	18	d-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	18	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	18	Y-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	18	Y-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	18	Z-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1	9	
図Ⅳ-97	19	W-38	Ⅴ層	Ⅳc	15	15	
図Ⅳ-97	20	Y-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	2	2	
図Ⅳ-97	21	a-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	21	a-51	Ⅳ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-97	21	b-48	河道跡4－Ⅰ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	21	b-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-97	21	b-49	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	21	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-97	21	c-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	21	c-48	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	21	d-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-97	21	d-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	21	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	21	e-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-97	21	e-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-97	21	Z-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-97	21	Z-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1	22	
図Ⅳ-97	22	Z-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	3	3	
図Ⅳ-98	23	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	9		
図Ⅳ-98	23	c-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-98	23	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2	12	
図Ⅳ-98	24	a-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	14		
図Ⅳ-98	24	a-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-98	24	a-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-98	24	a-47	Ⅴ層	Ⅳc	7		
図Ⅳ-98	24	a-47	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-98	24	b-45	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	4		
図Ⅳ-98	24	b-46	Ⅴ-イ層	Ⅳc	14		
図Ⅳ-98	24	b-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	12		
図Ⅳ-98	24	b-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	8		
図Ⅳ-98	24	b-46		Ⅳc	1		
図Ⅳ-98	24	b-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-98	24	b-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	18		
図Ⅳ-98	24	b-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-98	24	b-47		Ⅳc	4	91	
図Ⅳ-98	25	a-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-98	25	c-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-98	25	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-98	25	d-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-98	25	d-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-98	25	e-48	Ⅳ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-98	25	e-48	Ⅴ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-98	25	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	3		

図番号		グリッド	層位	分類	点数	合計	備考
図Ⅳ-98	25	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-98	25	e-48	Ⅴ-二層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-98	25	e-48	Ⅳ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-98	25	e-48	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-98	25	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-98	25	f-49	Ⅳ層	Ⅳc	2	20	
図Ⅳ-98	26	Y-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	17		
図Ⅳ-98	26	Y-47	河道跡2	Ⅳc	1		
図Ⅳ-98	26	Y-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	12		
図Ⅳ-98	26	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1	31	
図Ⅳ-98	27	c-47	Ⅴ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-98	27	c-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	4		
図Ⅳ-98	27	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	8		
図Ⅳ-98	27	c-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	14		
図Ⅳ-98	27	c-47	不明	Ⅳc	1		
図Ⅳ-98	27	c-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-98	27	d-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	16		
図Ⅳ-98	27	d-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	13		
図Ⅳ-98	27	d-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-98	27	e-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1	62	
図Ⅳ-99	28	a-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	5		
図Ⅳ-99	28	a-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-99	28	a-47	Ⅴ層	Ⅳc	9		
図Ⅳ-99	28	a-47	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	28	a-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-99	28	c-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	28	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	28	f-49	Ⅳ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	28	Z-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1	24	
図Ⅳ-99	29	a-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-99	29	a-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-99	29	a-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-99	29	a-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	10		
図Ⅳ-99	29	a-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	5		
図Ⅳ-99	29	a-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-99	29	a-48	Ⅲ－9b層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	29	b-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	29	b-48	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	29	Y-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-99	29	Z-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	33	
図Ⅳ-99	30	a-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	30	a-48	Ⅲ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	30	a-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	30	a-48	不明	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	30	a-48	河道跡2	Ⅳc	2		
図Ⅳ-99	30	a-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	4		
図Ⅳ-99	30	a-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	30	a-48	河道跡2	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	30	a-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-99	30	a-49	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	30	a-49	河道跡2	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	30	a-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	6		
図Ⅳ-99	30	a-49	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	30	b-48	Ⅴ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-99	30	b-49	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	30	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-99	30	Z-48	河道跡2	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	30	Z-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	30	Z-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	30	Z-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	2	34	
図Ⅳ-99	31	a-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	4		
図Ⅳ-99	31	a-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	64		
図Ⅳ-99	31	X-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	30	98	
図Ⅳ-99	32	Y-47	河道跡2	Ⅳc	2		
図Ⅳ-99	32	Y-47	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	4		
図Ⅳ-99	32	Y-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	28		
図Ⅳ-99	32	Y-47	河道跡2－Ⅳ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-99	32	Y-47	Ⅴ層	Ⅳc	1	36	
図Ⅳ-100	33	a-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-100	33	b-49	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-100	33	c-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-100	33	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-100	33	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-100	33	c-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-100	33	c-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	14	22	
図Ⅳ-100	34	a-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	22		
図Ⅳ-100	34	a-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	6		
図Ⅳ-100	34	a-48	河道跡2	Ⅳc	5	33	
図Ⅳ-100	35	a-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-100	35	a-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-100	35	a-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	26		
図Ⅳ-100	35	a-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-100	35	b-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	12		
図Ⅳ-100	35	Z-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1	46	
図Ⅳ-100	36	a-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-100	36	a-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	3	6	
図Ⅳ-100	37	a-48	Ⅲ－9b層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-100	37	Z-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-100	37	Z-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1	4	
図Ⅳ-100	38	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-100	38	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	7		
図Ⅳ-100	38	Z-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	2		

表6　包含層掲載土器一覧(5)

図番号		グリッド	層位	分類	点数	合計	備考
図Ⅳ-100	38	Z-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-100	38	Z-49	Ⅳ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-100	38	Z-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1	14	
図Ⅳ-101	39	a-46	Ⅴ層	Ⅳc	10		
図Ⅳ-101	39	a-46	Ⅴ層	Ⅳc	5		
図Ⅳ-101	39	a-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	8		
図Ⅳ-101	39	a-48	河道跡2	Ⅳc	1		
図Ⅳ-101	39	a-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-101	39	a-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-101	39	b-46	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-101	39	b-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	26		
図Ⅳ-101	39	b-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	7		
図Ⅳ-101	39	b-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	20		
図Ⅳ-101	39	b-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	3	85	
図Ⅳ-101	40	a-48	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-101	40	b-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	24		
図Ⅳ-101	40	b-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	16		
図Ⅳ-101	40	b-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	6		
図Ⅳ-101	40	b-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-101	40	b-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-101	40	c-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1	52	
図Ⅳ-101	41	X-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-101	41	X-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-101	41	X-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	5		
図Ⅳ-101	41	X-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	33		
図Ⅳ-101	41	X-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-101	41	X-47	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	3		
図Ⅳ-101	41	X-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-101	41	X-47	河道跡2－Ⅳ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-101	41	X-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-101	41	X-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	14		
図Ⅳ-101	41	X-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1	63	
図Ⅳ-102	42	W-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-102	42	W-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-102	42	W-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	8		
図Ⅳ-102	42	W-47	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-102	42	W-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-102	42	W-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	4		
図Ⅳ-102	42	X-47	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	3		
図Ⅳ-102	42	X-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	3		
図Ⅳ-102	42	X-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-102	42	X-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	23		
図Ⅳ-102	42	X-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-102	42	X-47	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	4		
図Ⅳ-102	42	X-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	4		
図Ⅳ-102	42	X-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-102	42	X-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	25		
図Ⅳ-102	42	Y-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-102	42	Z-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-102	42		未註記	Ⅳc	5		
図Ⅳ-102	42		不明	Ⅳc	1	97	
図Ⅳ-102	43	c-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-102	43	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	8		
図Ⅳ-102	43	c-47	Ⅴ-ホ層	Ⅳc	1	11	
図Ⅳ-102	44	e-48	Ⅳ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-102	44	e-48	Ⅴ層	Ⅳc	7		
図Ⅳ-102	44	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	32		
図Ⅳ-102	44	f-49	Ⅴ-イ層	Ⅳc	3	43	
図Ⅳ-102	45	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-102	45	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-102	45	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	2	4	
図Ⅳ-102	46	c-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	6		
図Ⅳ-102	46	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	15		
図Ⅳ-102	46	c-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	8		
図Ⅳ-102	46	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-102	46	c-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-102	46	c-48	Ⅴ-ホ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-102	46	c-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-102	46	c-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-102	46	c-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	4		
図Ⅳ-102	46	c-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1	41	
図Ⅳ-102	47	c-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-102	47	c-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-102	47	c-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	41		
図Ⅳ-102	47	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-102	47	c-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	47	
図Ⅳ-102	48	a-46	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-102	48	a-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-102	48	a-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-102	48	Y-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-102	48		Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2	9	
図Ⅳ-103	49	e-49	Ⅴ-イ層	Ⅳc	7	7	
図Ⅳ-103	50	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-103	50	e-48	Ⅴ-二層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-103	50	e-49	Ⅴ-イ層	Ⅳc	13		
図Ⅳ-103	50	e-49	Ⅴ-イ層	Ⅳc	11	28	
図Ⅳ-103	51	c-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-103	51	c-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-103	51	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	24	29	
図Ⅳ-103	52	Z-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	5		
図Ⅳ-103	52	Z-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-103	52	Z-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	9		
図Ⅳ-103	52	Z-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-103	52	Z-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-103	52	Z-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-103	52	Z-48	Ⅴ層	Ⅳc	1	20	
図Ⅳ-103	53	a-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	5		
図Ⅳ-103	53	a-48	Ⅲ層	Ⅳc	2	7	
図Ⅳ-103	54	a-49	河道跡2	Ⅳc	1		
図Ⅳ-103	54	Y-50	Ⅴ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-103	54	Z-50	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-103	54	Z-50	Ⅳ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-103	54	Z-51	Ⅲ－9b層	Ⅳc	10	17	
図Ⅳ-103	55	Z-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-103	55	Z-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-103	55	Z-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	14		
図Ⅳ-103	55	Z-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	11	27	
図Ⅳ-104	56	Z-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	4		
図Ⅳ-104	56	Z-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	5		
図Ⅳ-104	56	Z-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	9		
図Ⅳ-104	56	Z-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	3	21	
図Ⅳ-104	57	c-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-104	57	c-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-104	57	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2	5	
図Ⅳ-104	58	a-48	河道跡2－Ⅳ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-104	58	c-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-104	58	e-48	Ⅴ-二層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-104	58	e-49	Ⅴ-イ層	Ⅳc	4		
図Ⅳ-104	58	f-49	Ⅴ-イ層	Ⅳc	3	10	
図Ⅳ-104	59	b-46	Ⅴ-イ層	Ⅳc	7		
図Ⅳ-104	59	Z-48	河道跡2	Ⅳc	5	12	
図Ⅳ-104	60	e-48	Ⅴ層	Ⅳc	8		
図Ⅳ-104	60	e-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-104	60	e-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2	12	
図Ⅳ-104	61	e-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2	2	
図Ⅳ-104	62	Y-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	8		
図Ⅳ-104	62	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-104	62	Z-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	4		
図Ⅳ-104	62	Z-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	4	17	
図Ⅳ-104	63	e-48	Ⅴ層	Ⅳc	23	23	
図Ⅳ-104	64	W-47	河道跡2－Ⅳ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-104	64	X-47	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-104	64	X-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	18		
図Ⅳ-104	64	X-47	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-104	64	X-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-104	64	X-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-104	64	X-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-104	64	X-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-104	64	X-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	4		
図Ⅳ-104	64	Y-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	5		
図Ⅳ-104	64	Y-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	6		
図Ⅳ-104	64	Y-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	3		
図Ⅳ-104	64	Y-47	河道跡2－Ⅳ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-104	64	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	3	49	
図Ⅳ-104	65	c-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-104	65	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-104	65	c-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-104	65	c-47	Ⅴ-ホ層	Ⅳc	6	12	
図Ⅳ-104	66	W-52	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-104	66	X-52	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-104	66	X-52	Ⅴ層	Ⅳc	1	3	
図Ⅳ-104	67	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-104	67	c-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-104	67	c-47	Ⅴ-ホ層	Ⅳc	2	7	
図Ⅳ-104	68	a-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	10	10	
図Ⅳ-104	69	b-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-104	69	b-48	Ⅴ層	Ⅳc	1	3	
図Ⅳ-104	70	X-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-104	70	X-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	3	4	
図Ⅳ-104	71	a-46	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-105	72	c-47	Ⅴ-ホ層	Ⅳb	2	2	
図Ⅳ-105	73	a-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2	2	
図Ⅳ-105	74	Y-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	7		
図Ⅳ-105	74	Y-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳb	2	9	
図Ⅳ-105	77	a-48	不明	Ⅳb	1		
図Ⅳ-105	77	a-49	Ⅴ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-105	77	a-49	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-105	77	a-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳb	1		
図Ⅳ-105	77	Z-47	Ⅴ-イ層	Ⅳb	14	18	
図Ⅳ-105	78	b-48	Ⅴ層	Ⅳb	2		
図Ⅳ-105	78	c-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	3		
図Ⅳ-105	78	c-49	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-105	78	d-48	Ⅴ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-105	78	d-48		Ⅳb	1		
図Ⅳ-105	78			Ⅳb	1	9	
図Ⅳ-105	79	?	不明	Ⅳb	3		
図Ⅳ-105	79	a-47	Ⅴ-イ層	Ⅳb	28		
図Ⅳ-105	79	a-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	2	33	
図Ⅳ-105	80	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳb	4	4	
図Ⅳ-106	81	Z-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	12		
図Ⅳ-106	81	Z-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	3	15	
図Ⅳ-106	82	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	6	6	
図Ⅳ-106	83	Z-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	8		
図Ⅳ-106	83	Z-48	河道跡2－Ⅳ	Ⅳc	2		

表6　包含層掲載土器一覧(6)

図番号		グリッド	層位	分類	点数	合計	備考
図Ⅳ-106	83	Z-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1	11	
図Ⅳ-106	84	b-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-106	85	c-48	河道跡2－Ⅳ	Ⅳc	2	2	
図Ⅳ-106	86	d-48	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-106	87	Y-48	Ⅴ層	Ⅳc	2	2	
図Ⅳ-106	88	Z-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-106	88	Z-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	6	7	
図Ⅳ-106	89	a-48	河道跡2	Ⅳc	1		
図Ⅳ-106	89	a-48	Ⅲ－9b層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-106	89	a-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-106	89	Z-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-106	89	Z-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1	6	
図Ⅳ-106	90	X-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-106	90	X-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	3	4	
図Ⅳ-106	91	Y-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-106	91	Y-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-106	91	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1	3	
図Ⅳ-106	92	b-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-106	93	Y-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-106	94	X-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-106	94	X-49	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-106	94	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	8		
図Ⅳ-106	94	Y-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	5		
図Ⅳ-106	94	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	19		
図Ⅳ-106	94	Y-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1	37	
図Ⅳ-106	95	e-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-106	95	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	3	4	
図Ⅳ-106	96	b-49	河道跡4－Ⅰ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-106	96	b-49	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-106	96	c-49	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	5	7	
図Ⅳ-106	97	X-50	Ⅲ－9b層	Ⅶ	1		
図Ⅳ-106	97	X-52	Ⅳ層	Ⅶ	2		
図Ⅳ-106	97	X-53	Ⅴ層	Ⅶ	2		
図Ⅳ-106	97	Y-50	Ⅲ－9b層	Ⅶ	6		
図Ⅳ-106	97	Y-50	河道跡2－Ⅱ	Ⅶ	1		
図Ⅳ-106	97	Z-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅶ	1	13	
図Ⅳ-107	98	d-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-107	98	d-49	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-107	98	f-49	Ⅴ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-107	98	e-49	Ⅴ-イ層	Ⅳb	2		
図Ⅳ-107	98	d-49	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-107	98	f-49	Ⅴ層	Ⅳb	1	7	
図Ⅳ-107	99	e-49	Ⅴ-イ層	Ⅳb	2	2	
図Ⅳ-107	100	f-49	Ⅴ-イ層	Ⅳb	2		
図Ⅳ-107	100	f-49	Ⅴ層	Ⅳb	2	4	
図Ⅳ-107	101	c-49	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-107	101	c-49	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-107	101	c-49	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1	3	
図Ⅳ-107	102	b-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-107	102	d-47	Ⅴ-イ層	Ⅳb	3	4	
図Ⅳ-107	103	c-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅳ-107	104	c-49	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅳ-107	105	b-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-107	105	b-48	Ⅴ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-107	105	b-49	Ⅴ-イ層	Ⅳb	2		
図Ⅳ-107	105	b-49	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	3		
図Ⅳ-107	105	b-49	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-107	105	c-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-107	105	c-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	3		
図Ⅳ-107	105	c-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	2		
図Ⅳ-107	105	c-48	Ⅴ層	Ⅳb	2		
図Ⅳ-107	105	c-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	7		
図Ⅳ-107	105	c-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	3		
図Ⅳ-107	105	c-48	Ⅴ層	Ⅳb	2		
図Ⅳ-107	105	c-49	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	6		
図Ⅳ-107	105	c-49	Ⅴ層	Ⅳb	2		
図Ⅳ-107	105	c-49		Ⅳb	1		
図Ⅳ-107	105	c-49	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	5		
図Ⅳ-107	105	c-49	Ⅴ層	Ⅳb	2		
図Ⅳ-107	105	d-47	Ⅴ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-107	105	f-49	Ⅴ層	Ⅳb	1	46	
図Ⅳ-107	106	Y-49	河道跡2	Ⅳb	1		
図Ⅳ-107	106	Z-48	河道跡2	Ⅳb	1		
図Ⅳ-107	106	Z-50	河道跡2－Ⅱ	Ⅳb	1	3	
図Ⅳ-107	107	a-47	Ⅴ-イ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-107	107	b-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	1	2	
図Ⅳ-107	108	b-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅳ-107	109	e-48	Ⅴ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-107	109	e-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-107	109	f-49	Ⅴ-イ層	Ⅳb	1	3	
図Ⅳ-107	110	f-49	Ⅴ-イ層	Ⅳb	2		
図Ⅳ-107	110	f-49	Ⅳ層	Ⅳb	4	6	
図Ⅳ-107	111	a-49	Ⅲ－9b層	Ⅳb	1	1	
図Ⅳ-107	112	b-48	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅳ-107	113	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-107	113	c-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1	2	
図Ⅳ-107	114	a-49	河道跡2	Ⅳb	2		
図Ⅳ-107	114	a-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳb	1	3	
図Ⅳ-107	115	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅳ-107	116	X-52	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅳ-108	117	b-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	117	c-49	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	2		

図番号		グリッド	層位	分類	点数	合計	備考
図Ⅳ-108	117	Z-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	2	5	
図Ⅳ-108	118	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	118	Z-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	119	b-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	119	d-47	Ⅴ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	119	d-48	Ⅴ-イ層	Ⅳb	1	4	
図Ⅳ-108	120	a-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	120	a-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	1	2	
図Ⅳ-108	121	e-49	Ⅴ-イ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	121	e-49	Ⅴ-イ層	Ⅳb	1	2	
図Ⅳ-108	122	a-48	Ⅴ-ホ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅳ-108	123	Z-48	河道跡2	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	123	Z-48	河道跡2	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	124	d-47	Ⅴ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	125	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	126	d-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	127	e-49	Ⅴ-イ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	127		不明	Ⅳb	1	2	
図Ⅳ-108	128	a-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	128	a-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	1	2	
図Ⅳ-108	129	b-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	129	Z-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳb	1	2	
図Ⅳ-108	130	Y-51	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅳ-108	131	Z-48	Ⅴ-イ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅳ-108	132	b-50	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	133	b-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	133	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	3		
図Ⅳ-108	133	a-48	河道跡2	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	133	a-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	133	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	133		不明	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	134	a-49	Ⅴ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-108	135	X-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳb	1	1	
図Ⅳ-108	136	b-47	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅳ-108	137	e-48	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅳ-108	138	c-46	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅳ-108	139	b-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅳ-108	140	b-47	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅳ-108	141	b-47	河道跡2	Ⅳb	1	1	
図Ⅳ-109	142	a-47	Ⅴ層	Ⅳb	10	10	
図Ⅳ-109	143	c-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅳ-109	144	e-48	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅳ-109	145	e-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-109	146	a-48	河道跡2	Ⅳc	5		
図Ⅳ-109	146	Z-48	河道跡2	Ⅳc	4		
図Ⅳ-109	146	Z-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1	10	
図Ⅳ-109	147	a-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-109	148	W-48	Ⅴ-ホ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-109	148	W-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1	2	
図Ⅳ-109	149	a-46	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-109	150	a-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-109	150	a-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-109	150	b-49	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-109	150	c-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-109	150	c-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-109	150	c-48	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-109	150	c-49	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	5	14	
図Ⅳ-109	151	X-48	河道跡2－Ⅳ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-109	151	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	3	4	
図Ⅳ-109	152	b-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	4		
図Ⅳ-109	152	b-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	5	
図Ⅳ-109	153	a-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2	2	
図Ⅳ-109	154	Y-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-109	154	Z-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-109	154	Z-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1	3	
図Ⅳ-109	155	a-45	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-109	155	b-46	Ⅴ-イ層	Ⅳc	4	5	
図Ⅳ-109	156	f-49	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-110	157	Z-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	3	3	
図Ⅳ-110	158	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	5		
図Ⅳ-110	158	Z-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1	6	
図Ⅳ-110	159	b-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-110	159	c-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	3	4	
図Ⅳ-110	160	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-110	160	e-49	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1	2	
図Ⅳ-110	161	X-49	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-110	161	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-110	162	Y-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	2	4	
図Ⅳ-110	163	c-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-110	164	Z-51	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-110	164	Z-52	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-110	164	Z-53	Ⅴ層	Ⅳc	1	3	
図Ⅳ-110	165	e-48	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-110	166	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-110	167	a-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-110	168	a-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-110	169	a-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-110	170	Y-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-110	171	Y-52	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-110	172	a-46	Ⅴ層	Ⅳc	3	3	
図Ⅳ-110	173	b-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-110	173	e-48	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	

表6　包含層掲載土器一覧(7)

図番号		グリッド	層位	分類	点数	合計	備考
図Ⅳ-110	174	Y-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-110	175	a-50	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-110	176	c-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-110	176	c-48	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-110	176	e-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-110	176	Z-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-110	176	Z-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1	6	
図Ⅳ-110	177	a-47	Ⅴ層	Ⅳc	5		
図Ⅳ-110	177	a-48	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-110	177	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1	7	
図Ⅳ-110	178	Z-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-110	179	w-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-110	180	b-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-110	181	Y-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-110	182	Z-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	6	6	
図Ⅳ-110	183	a-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-110	184	b-46	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-110	184	b-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-110	184	b-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	3	
図Ⅳ-110	185	X-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-110	185	X-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	2	4	
図Ⅳ-110	186	b-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-111	187	b-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-111	187	b-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-111	187	b-48	Ⅴ層	Ⅳc	4		
図Ⅳ-111	187	b-48	Ⅴ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-111	187	c-48	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-111	187	c-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-111	187	d-47	Ⅴ層	Ⅳc	1	12	
図Ⅳ-111	188	a-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	3	3	
図Ⅳ-111	189	a-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-111	189	a-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-111	189	a-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2	4	
図Ⅳ-111	190	Y-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	10		
図Ⅳ-111	190	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1	11	
図Ⅳ-111	191	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-111	191	Z-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-111	191	Z-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	6	
図Ⅳ-111	192	Z-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-111	192	Z-48	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-111	192	Z-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1	3	
図Ⅳ-111	193	a-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	5		
図Ⅳ-111	193	a-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-111	193	a-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	8	
図Ⅳ-111	194	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	4	4	
図Ⅳ-111	195	a-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-111	195	a-48	河道跡2	Ⅳc	1		
図Ⅳ-111	195	a-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-111	195	a-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	4	7	
図Ⅳ-112	196	a-49	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-112	197	b-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-112	197	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1	2	
図Ⅳ-112	198	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	4		
図Ⅳ-112	198	c-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-112	198	c-47	Ⅴ-ホ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-112	198	Y-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	4	10	
図Ⅳ-112	199	X-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-112	199	Y-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-112	199	Y-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	2	5	
図Ⅳ-112	200	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	3	3	
図Ⅳ-112	201	Z-52	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-112	202	X-49	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-112	202	Y-48	河道跡2－Ⅳ	Ⅳc	1	3	
図Ⅳ-112	203	X-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-112	203	X-48	河道跡2	Ⅳc	1	2	
図Ⅳ-112	204	a-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-112	204	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-112	204	Z-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	4	6	
図Ⅳ-112	205	b-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-112	206	W-51	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-112	206	W-51	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-112	206	W-51	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-112	206	W-51	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-112	206	W-51	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-112	206	W-51	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-112	206	W-51	Ⅳ層	Ⅳc	4		
図Ⅳ-112	206	W-51	Ⅴ層	Ⅳc	2	12	
図Ⅳ-112	207	Z-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-112	208	d-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-112	209	a-46	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-112	209	a-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-112	209	a-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-112	209	a-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-112	209	a-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-112	209	b-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	6	
図Ⅳ-112	210	Z-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-112	211	W-52	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-112	212	W-51	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-112	213	Z-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-112	214	Z-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-112	215	X-53	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-112	216	Z-51	Ⅲ－9b層	Ⅳc	1	1	

図番号		グリッド	層位	分類	点数	合計	備考
図Ⅳ-113	217	a-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	11	11	
図Ⅳ-113	218	Z-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	8	8	
図Ⅳ-113	219	X-52	Ⅳ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-113	219	Y-52	盛土2層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-113	219	Y-52	盛土	Ⅳc	1		
図Ⅳ-113	219	Y-52	Ⅳ層	Ⅳc	5		
図Ⅳ-113	219	Y-52		Ⅳc	2	10	
図Ⅳ-113	220	Y-52	Ⅳ層	Ⅳc	5	5	
図Ⅳ-113	221	e-48	Ⅳ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-113	221	Y-52	Ⅳ層	Ⅳc	1	2	
図Ⅳ-113	222	b-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-113	223	W-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-113	223	Y-52	Ⅳ層	Ⅳc	2	3	
図Ⅳ-113	224	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-113	224	e-48	Ⅴ-二層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-113	224	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1	4	
図Ⅳ-113	225	Y-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	5	5	
図Ⅳ-113	226	Y-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-113	226	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	6	7	
図Ⅳ-114	227	a-46	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	227	b-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	227	b-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-114	227	b-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	5	
図Ⅳ-114	228	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	6		
図Ⅳ-114	228	Y-48	河道跡2－Ⅶ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	228	Y-48	河道跡2－Ⅳ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	228	Z-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	228	Z-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	10	
図Ⅳ-114	229	c-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	229	c-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	229	d-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-114	229	d-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	229	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	3	8	
図Ⅳ-114	230	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-114	231	b-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-114	232	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-114	233	d-48	Ⅲ－9b層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-114	234	W-51	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-114	235	b-49	河道跡4－Ⅰ	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-114	236	b-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	236	b-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	2	
図Ⅳ-114	237	a-46	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	237	a-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	237	b-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	237	b-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	237	b-49	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	237	X-52	Ⅴ層	Ⅳc	1	6	
図Ⅳ-114	238	a-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	238	c-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-114	238	c-49	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-114	238	X-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	238	Y-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	238	Z-48	河道跡2	Ⅳc	1	8	
図Ⅳ-114	239	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	10	10	
図Ⅳ-114	240	Z-48	河道跡2	Ⅳc	2		
図Ⅳ-114	240	Z-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	240	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-114	240	e-48	Ⅴ-二層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-114	240	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	240	e-49	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1	10	
図Ⅳ-114	241	d-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-114	241	d-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	4		
図Ⅳ-114	241	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1	6	
図Ⅳ-115	242	b-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-115	242	b-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	3	
図Ⅳ-115	243	Z-48	河道跡2	Ⅳc	2		
図Ⅳ-115	243	Z-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	3		
図Ⅳ-115	243	Z-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-115	243	Z-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1	7	
図Ⅳ-115	244	W-50	Ⅲ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-115	245	e-48	Ⅵ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-115	246	d-47	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-115	247	X-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-115	247	X-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-115	247	X-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1	4	
図Ⅳ-115	248	e-48	Ⅴ-二層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-115	248	e-48	Ⅴ層	Ⅳc	1	2	
図Ⅳ-115	249	e-49	Ⅵ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-115	250	a-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-115	251	d-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-115	252	Z-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-115	253	a-51	Ⅳ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-115	253	Z-51		Ⅳc	1	3	
図Ⅳ-115	254	b-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-115	255	a-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-115	256	W-53	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-115	257	b-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	4		
図Ⅳ-115	257	c-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-115	257	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1	5	
図Ⅳ-115	258	b-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	4	4	
図Ⅳ-115	259	b-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-115	260	e-48	Ⅴ層	Ⅳc	5	5	

表6　包含層掲載土器一覧(8)

図番号		グリッド	層位	分類	点数	合計	備考
図Ⅳ-115	261	W-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	6		
図Ⅳ-115	261	W-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	7	
図Ⅳ-116	262	a-48	河道跡2－Ⅳ	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-116	263	c-49	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-116	264	a-49	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-116	265	Y-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-116	266	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-116	266	e-48	Ⅴ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-116	266	e-48		Ⅳc	1	5	
図Ⅳ-116	267	a-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	2	2	
図Ⅳ-116	268	d-47	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-116	269	b-48	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-116	270	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-116	270	e-48	Ⅴ層	Ⅳc	1	2	
図Ⅳ-116	271	e-49	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-116	272	a-49	河道跡2	Ⅳc	1		
図Ⅳ-116	272	b-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-116	272	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-116	272	Z-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1	4	
図Ⅳ-116	273	d-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-116	273	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	2	3	
図Ⅳ-116	274	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-116	274	c-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	2	
図Ⅳ-116	275	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	3	3	
図Ⅳ-116	276	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	2	2	
図Ⅳ-116	277	Z-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-116	277	Z-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-116	277	Z-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-116	277	Z-48	Ⅴ層	Ⅳc	1	5	
図Ⅳ-116	278		Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-116	279		Ⅴ-イ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-116	280		Ⅴ-ロ・ハ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-117	281		Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-117	282	b-40	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-117	282	b-40	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-117	282	Z-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-117	282	Z-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-117	282	Z-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-117	282	Z-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	2	8	
図Ⅳ-117	283	f-49	Ⅴ-イ層	Ⅳc	6	6	
図Ⅳ-117	284	a-46	Ⅴ層	Ⅳc	10	10	
図Ⅳ-117	285	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-117	285	f-49	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1	2	
図Ⅳ-117	286	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-117	287	e-48	Ⅴ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-117	287	e-49	Ⅴ-イ層	Ⅳc	2	4	
図Ⅳ-117	288	d-47	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-117	288	e-48	Ⅴ-二層	Ⅳc	2	3	
図Ⅳ-117	289	X-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-117	289	X-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	3	5	
図Ⅳ-117	290	a-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-118	291	f-49	Ⅴ層	Ⅳc	3	3	
図Ⅳ-118	292	c-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-118	293	Z-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-118	294	a-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-118	295	Z-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-118	296	b-46	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-118	296	b-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-118	297	Z-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-118	297	Z-48	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-118	298	Z-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-118	298	Z-48	河道跡2－Ⅳ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-118	298	Z-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-118	299	Z-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-118	300	b-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-118	300	b-46	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	3	
図Ⅳ-118	301	Z-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-118	302	W-47	Ⅴ層	Ⅴ	8	8	
図Ⅳ-118	303	c-47	Ⅴ-イ層	Ⅴ	1	1	
図Ⅳ-118	303	Z-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅴ	1	1	
図Ⅳ-118	304	d-47	Ⅴ-イ層	Ⅴ	2	2	
図Ⅳ-118	305	b-48	Ⅴ-ロ層	Ⅴ	1	1	
図Ⅳ-118	306	c-48	Ⅴ層	Ⅴ	1	1	
図Ⅳ-118	307	W-47	Ⅴ層	Ⅴ	1	1	
図Ⅳ-118	308	b-48	Ⅴ-イ層	Ⅴ	1	1	
図Ⅳ-118	309	c-48	Ⅴ層	Ⅴ	1	1	
図Ⅳ-118	310	u-48	Ⅴ層	Ⅴ	1	1	
図Ⅳ-118	311	b-48	Ⅴ層	Ⅴ	1	1	
図Ⅳ-118	312	c-48		Ⅴ	1	1	
図Ⅳ-118	313	V-49	河道跡2－Ⅳ	Ⅴ	1	1	
図Ⅳ-118	314	c-47	Ⅴ-ハ層	Ⅴ	1	1	
図Ⅳ-118	315	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅴ	1	1	
図Ⅳ-118	316	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅴ	1	1	
図Ⅳ-118	317	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅴ	1	1	
図Ⅳ-119	318	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-119	318	e-49	Ⅴ-イ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-119	318	e-49	Ⅴ-イ層	Ⅳc	2	6	
図Ⅳ-119	319	b-48	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-119	319	b-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-119	319	b-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	3	
図Ⅳ-119	320	b-48	Ⅴ層	Ⅳb	1		
図Ⅳ-119	321	Y-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1	2	
図Ⅳ-119	321	Y-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	1	2	
図Ⅳ-119	322	c-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	3		
図Ⅳ-119	322	c-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳb	3	6	
図Ⅳ-119	323	e-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-119	323	e-48	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1	2	
図Ⅳ-119	324	Y-48	河道跡3	Ⅳc	1		
図Ⅳ-119	324	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-119	324	Z-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-119	324	Z-49	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-119	324	Z-49	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-119	324	Z-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1	6	
図Ⅳ-119	325	Z-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-119	325	Z-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1	2	
図Ⅳ-119	326	Y-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-119	326	Y-48	河道跡2－Ⅱ	Ⅳc	1	2	
図Ⅳ-119	327	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-119	327	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1	2	
図Ⅳ-119	328	a-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-119	328	a-49	河道跡2－Ⅰ	Ⅳc	1	2	
図Ⅳ-119	329	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1		
図Ⅳ-119	329	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1	2	
図Ⅳ-119	330	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-119	330	e-48	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1	2	
図Ⅳ-119	331	e-48	Ⅴ-二層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-119	332	a-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	3	3	
図Ⅳ-119	333	Y-47	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-119	334	d-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅳ-119	335	c-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-119	335	c-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳc	1	2	
図Ⅳ-119	336	c-48	Ⅴ層	Ⅳc	5	5	
図Ⅳ-119	337	W-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-119	337	W-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	3		
図Ⅳ-119	338	b-48	Ⅴ層	Ⅳc	2		
図Ⅳ-119	338	b-48	Ⅴ層	Ⅳc	2		75
図Ⅳ-119	338	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	2		
図Ⅳ-119	338	Y-48	河道跡2－Ⅲ	Ⅳc	2		75
図Ⅳ-119	339	a-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-119	339	a-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		
図Ⅳ-119	339	a-47	Ⅴ-イ層	Ⅳc	1		31
図Ⅳ-119	339	a-47	Ⅴ-ロ層	Ⅳc	1		31
図Ⅳ-120	340	e-48	Ⅴ層	Ⅳ	1		赤彩土器
図Ⅳ-120	341	Z-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳ	1		赤彩土器
図Ⅳ-120	342	d-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳ	1		赤彩土器
図Ⅳ-120	343	d-47	Ⅴ-ハ層	Ⅳ	1		赤彩土器
図Ⅳ-120	344	c-46	Ⅴ-ロ層	Ⅳ	1		赤彩土器
図Ⅳ-120	344	c-48	Ⅴ-ハ層	Ⅳ	1		赤彩土器
図Ⅳ-120	345	b-48	Ⅴ層	Ⅳ	2		赤彩土器
図Ⅳ-120	346	a-47	Ⅴ層	Ⅳ	1		赤彩土器
図Ⅳ-120	347		Ⅴ-ロ層	Ⅳ	1		赤彩土器
図Ⅳ-120	348	e-48	Ⅴ層	Ⅳ	1		赤彩土器
図Ⅳ-120	349	e-48	Ⅴ層	Ⅳ	3		赤彩土器
図Ⅳ-120	350	c-47	Ⅴ-ハ層	スタンプ形土製品	1	1	
図Ⅳ-120	351	e-50	河道跡2－Ⅲ	スタンプ形土製品	1	1	
図Ⅳ-120	352	a-47		ミニチュア土器	1	1	
図Ⅳ-120	353	e-61	河道跡2－Ⅲ	土製品	1	1	
図Ⅳ-120	354	c-60	Ⅴ層	ミニチュア土器	1	1	
図Ⅳ-120	355	e-49	Ⅴ-ロ層	ミニチュア土器	1	1	
H地区							
図Ⅴ-29	1	d-53	Ⅲ層	Ⅳc	3		
図Ⅴ-29	1	d-54	撹乱	Ⅳc	8		
図Ⅴ-29	1	d-54	撹乱	Ⅳc	6		
図Ⅴ-29	1	d-55	撹乱	Ⅳc	2		
図Ⅴ-29	1	f-54	撹乱	Ⅳc	1	20	
図Ⅴ-29	2	I-51	Ⅲ層	Ⅳc	4		
図Ⅴ-29	2	I-51	Ⅴ層	Ⅳc	6		
図Ⅴ-29	2	I-51	Ⅵ層	Ⅳc	17	27	
図Ⅴ-29	3	c-54	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅴ-29	3	c-54	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅴ-29	3	d-54	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅴ-29	3	d-54	撹乱	Ⅳc	1		
図Ⅴ-29	3	d-54	Ⅴ層	Ⅳc	1	5	
図Ⅴ-29	4	d-53	Ⅲ層	Ⅳc	1		
図Ⅴ-29	4	d-54	撹乱	Ⅳc	5	6	
図Ⅴ-29	5	h-51	Ⅴ層	Ⅶ	5		
図Ⅴ-29	5	h-51	Ⅵ層	Ⅶ	2		
図Ⅴ-29	5	h-51	Ⅵ層	Ⅶ	1		
図Ⅴ-29	5	I-51	Ⅴ層	Ⅶ	1	9	
図Ⅴ-29	6	b-60	Ⅲ層	Ⅰb	1	1	
図Ⅴ-29	7	f-52	撹乱	Ⅰb	1	1	
図Ⅴ-29	8	e-55	撹乱	Ⅰb	1	1	
図Ⅴ-29	9	e-62	Ⅵ層	Ⅰb	1	1	
図Ⅴ-29	10	e-55	Ⅵ層	Ⅰb	1	1	
図Ⅴ-29	11	d-56	Ⅴ層	Ⅰb	1	1	
図Ⅴ-29	12	d-55	Ⅴ層上面	Ⅰb	1	1	
図Ⅴ-29	13	h-51	撹乱	Ⅰb	1	1	
図Ⅴ-29	14	e-55	撹乱	Ⅰb	1	1	
図Ⅴ-29	15	f-51	Ⅲ層	Ⅳa	3		
図Ⅴ-29	15	f-52	撹乱	Ⅳa	5	8	
図Ⅴ-29	16	f-49	Ⅳ層	Ⅳb	1		
図Ⅴ-29	16	f-50	Ⅵ層	Ⅳb	6	7	

表6　包含層掲載土器一覧(9)

図番号		グリッド	層位	分類	点数	合計	備考
図V-29	17	g-51	Ⅵ層	Ⅳb	1	1	
図V-29	18	g-51	Ⅲ層	Ⅳb	1	1	
図V-29	19	f-50	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図V-30	20	f-50	Ⅵ層	Ⅳb	2	2	
図V-30	21	f-50	Ⅳ層	Ⅳb	1	1	
図V-30	22	h-51	Ⅵ層	Ⅳb	1	1	
図V-30	23	c-60	撹乱	Ⅳb	1	1	
図V-30	24	d-59	Ⅵ層	Ⅳb	1	1	
図V-30	25	トレンチ	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図V-30	26	f-53	撹乱	Ⅳb	1	1	
図V-30	27	d-61	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図V-30	28	g-51	Ⅲ層	Ⅳb	1	1	
図V-30	29	e-53	撹乱	Ⅳb	1	1	
図V-30	30	g-51	Ⅲ層	Ⅳb	1	1	
図V-30	31	f-50	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図V-30	32	f-50	Ⅳ層	Ⅳb	1	1	
図V-30	33	c-57	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図V-30	34	h-51	Ⅵ層	Ⅳb	1	1	
図V-30	35	c-58	撹乱	Ⅳb	1	1	
図V-30	36	f-51	Ⅵ層	Ⅳb	1	1	
図V-30	36	h-51	Ⅵ層	Ⅳb	5	5	
図V-30	37	h-51	Ⅵ層	Ⅳb	3		
図V-30	37	h-51	Ⅵ層	Ⅳb	1		
図V-30	37	h-51	Ⅵ層	Ⅳb	1	5	
図V-30	38	b-61	Ⅲ層上面	Ⅳb	1		
図V-31	39	b-60	撹乱	Ⅳb	1		
図V-31	39	c-60	撹乱	Ⅳb	1	3	
図V-31	40	e-61	Ⅳ層	Ⅳb	1	1	
図V-31	41	f-50	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図V-31	42	f-50	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図V-31	43	g-50	Ⅵ層	Ⅳb	1	1	
図V-31	44	e-53	撹乱	Ⅳb	3		
図V-31	44	e-57	Ⅴ層	Ⅳb	1	4	
図V-31	45	d-55	Ⅴ層	Ⅳc	2		
図V-31	45	e-55	撹乱	Ⅳc	1	3	
図V-31	46	d-53	Ⅲ層	Ⅳc	1		
図V-31	46	d-54	撹乱	Ⅳc	3	4	
図V-31	47	e-53	撹乱	Ⅳc	8	8	
図V-31	48	e-53	撹乱	Ⅳc	3	3	
図V-31	49	d-55	Ⅴ層	Ⅳc	2	2	
図V-31	50	f-53	撹乱	Ⅳc	1	1	
図V-31	51	c-55	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-31	52	g-52	Ⅵ層	Ⅳc	1	1	
図V-31	53	d-59	撹乱	Ⅳc	1	1	
図V-31	54	B調査トレンチ	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-31	55	d-54	Ⅴ層上面	Ⅳc	1	1	
図V-31	56	d-55	Ⅴ層上面	Ⅳc	1	1	
図V-31	57	d-61	Ⅴ層上面	Ⅳc	1	1	
図V-31	58	d-53	Ⅲ層	Ⅳc	1	1	
図V-31	59	c-54	撹乱	Ⅳc	1	1	
図V-31	60	e-52	撹乱	Ⅳc	1	1	
図V-31	61	e-61	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-31	62	c-59	撹乱	Ⅳc	1	1	
図V-31	63	c-58	撹乱	Ⅳc	1	1	
図V-31	64	e-60	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図V-31	65	g-51	Ⅲ層	Ⅳc	2	2	
図V-31	66	c-55	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-31	67	c-60	撹乱	Ⅳc	1	1	
図V-31	68	B調査トレンチ2	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-31	69	c-59	撹乱	Ⅳc	1	1	
図V-31	70	e-51	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-31	71	e-61	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-31	72	h-51	Ⅵ層	Ⅳc	1	1	
図V-31	73	h-51	Ⅵ層	Ⅳc	2	2	
図V-32	74	e-61	Ⅴ層上面	Ⅳc	1	1	
図V-32	75	e-60	Ⅲ層	Ⅳc	1	1	
図V-32	76	h-51	Ⅵ層	Ⅳc	1	1	
図V-32	77	g-51	Ⅵ層	Ⅳc	1	1	
図V-32	78	f-50	Ⅲ層	Ⅳc	1	1	
図V-32	79	d-53	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-32	80	c-57	Ⅴ層上面	Ⅳc	1	1	
図V-32	81	e-54	撹乱	Ⅳc	1	1	
図V-32	82	f-52	撹乱	Ⅳc	1	1	
図V-32	83	f-52	撹乱	Ⅳc	1	1	
図V-32	84	e-53	撹乱	Ⅳc	1	1	
図V-32	85	e-53	撹乱	Ⅳc	1	1	
図V-32	86	e-54	撹乱	Ⅳc	1	1	
図V-32	87	f-55	撹乱	Ⅳc	1	1	
図V-32	88	b-60	Ⅲ層	Ⅳc	1	1	
図V-32	89	B調査トレンチ3	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-32	90	f-51	Ⅵ層	Ⅳc	1	1	
図V-32	91	B調査トレンチ2	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-32	92	d-60	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-32	93	e-60	Ⅲ層	Ⅳc	1	1	
図V-32	94	d-58	撹乱	Ⅳc	1	1	
図V-32	95	B調査トレンチ3	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-32	96	不明	撹乱	Ⅳc	1		
図V-32	96	b-60	Ⅲ層	Ⅳc	1		
図V-32	96	d-53	Ⅲ層	Ⅳc	2		

図番号		グリッド	層位	分類	点数	合計	備考
図V-32	96	e-52	撹乱	Ⅳc	1		
図V-32	96	e-53	撹乱	Ⅳc	6		
図V-32	96	e-54	撹乱	Ⅳc	3		
図V-32	96	e-55	撹乱	Ⅳc	4	18	
図V-32	97	c-55	Ⅴ層	Ⅳc	3	3	
図V-32	98	c-57	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-32	99	e-53	撹乱	Ⅳc	1	1	
図V-32	100	d-54	撹乱	Ⅳc	2	2	
図V-32	101	B調査トレンチ2	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-32	102	f-50	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図V-32	103	c-55	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-32	104	d-59	撹乱	Ⅳc	1		
図V-32	104	d-59	Ⅴ層	Ⅳc	1	2	
図V-32	105	h-51	Ⅵ層	Ⅳc	1		
図V-32	105	h-51	Ⅵ層	Ⅳc	1	2	
図V-32	106	e-61	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図V-32	106	e-61	Ⅳ層	Ⅳc	1	2	
K地区							
図V-33	1	b-69	Ⅵ層	Ⅳb	1	1	
図V-33	2	c-68	Ⅵ層	Ⅳb	1	1	
図V-33	3	c-72	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図V-33	4	c-69	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	5	b-70	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	6	b-71	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	7	b-71	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	8	b-71	Ⅳ層上面	Ⅳc	1	1	
図V-33	9	d-71	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	10	b-71	Ⅵ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	11	c-70	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	12	b-69	Ⅵ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	13	c-69	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	14	b-70	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	15	b-70	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	16	c-69	Ⅳ層上面	Ⅳc	1	1	
図V-33	17	b-71	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	18	b-70	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	19	c-68	Ⅵ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	20	c-71	Ⅴ層上面	Ⅳc	1	1	
図V-33	21	c-69	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	22	b-70	Ⅵ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	23	a-70	Ⅵ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	24	b-70	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	25	d-71	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	26	c-71	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	27	e-71	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	28	a-70	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	29	a-70	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	30	e-71	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	31	a-70	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	32	d-71	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	33	c-70	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	34	d-71	Ⅴ層上面	Ⅳc	1	1	
図V-33	35	c-71	Ⅴ層上面	Ⅳc	1	1	
図V-33	36	b-72	Ⅶ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	37	a-70	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	38	a-70	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図V-33	39	b-68	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
I地区							
図VI-83	1	q-116	Ⅳ層	Ⅰb	1	1	
図VI-83	2	K-109	Ⅰ層	Ⅰb	1	1	
図VI-83	3	n-98	Ⅳ層	Ⅳb	1	1	
図VI-83	4	s-94	Ⅳ層	Ⅳb	1	1	
図VI-83	5	q-93	Ⅳ層	Ⅳb	1	1	
図VI-83	6	q-102	Ⅲ層	Ⅳb	1	1	
図VI-83	7	q-93	Ⅳ層	Ⅳb	1	1	
図VI-83	8	r-95	Ⅲ層	Ⅳb	1	1	
図VI-83	9	r-95	Ⅳ層	Ⅳb	1	1	
図VI-83	10	r-95	Ⅳ層	Ⅳb	1	1	
図VI-83	11	p-94	Ⅳ層	Ⅳb	1	1	
図VI-83	12	r-95	Ⅲ層	Ⅳb	1	1	
図VI-83	13	q-95	Ⅳ層	Ⅳb	1	1	
図VI-83	14	p-94	Ⅳ層	Ⅳb	1	1	
図VI-83	15	q-97	Ⅳ層	Ⅳb	1	1	
図VI-83	16	p-94	Ⅲ層	Ⅳb	1	1	
図VI-83	17	s-108	Ⅳ層	Ⅳb	1	1	
図VI-83	18	p-96	Ⅳ層	Ⅳb	1	1	
図VI-83	19	p-92	Ⅳ層	Ⅳb	1	1	
図VI-83	20	q-92	Ⅳ層	Ⅳb	1	1	
図VI-83	21	o-97	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図VI-83	22	p-96	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図VI-83	23	r-96	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図VI-83	24	n-98	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図VI-83	24	r-102	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図VI-83	25	p-95	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図VI-83	26	s-97	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図VI-83	27	p-92	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図VI-83	29	X-105	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図VI-83	30	r-96	Ⅲ層	Ⅳc	1	1	
図VI-83	31	p-92	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図VI-83	32	s-94	Ⅲ層	Ⅳc	1	1	
図VI-83	33	p-94	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	

表6　包含層掲載土器一覧(10)

図番号		グリッド	層位	分類	点数	合計	備考
図Ⅵ-83	34	q-93	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-83	35	r-94	Ⅲ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-83	36	r-95	Ⅲ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-83	37	r-100	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-83	38	q-93	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-83	39	p-94	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-83	40	q-92	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-83	41	q-93	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-83	42	r-96	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-83	43	q-99	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-83	44	s-96	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-83	45	r-102	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-84	46	?102	Ⅳ層	Ⅳb	1		
図Ⅵ-84	46	r-102	Ⅴ層	Ⅳb	9		
図Ⅵ-84	46	r-103	Ⅴ層	Ⅳb	4		
図Ⅵ-84	46	r-103	Ⅲ層	Ⅳb	4	18	
図Ⅵ-84	47	l-104	Ⅳ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-84	47	l-104	Ⅴ層	Ⅳc	2		
図Ⅵ-84	47	l-105	Ⅴ層	Ⅳc	2		
図Ⅵ-84	47	m-104	Ⅴ層	Ⅳc	7		
図Ⅵ-84	47	m-105	Ⅴ層	Ⅳc	7	19	
図Ⅵ-84	48	q-113	Ⅴ層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-84	49	q-113	Ⅴ層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-84	50	q-110	Ⅴ層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-84	51	r-101	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-84	52	3-98	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-84	53	p-95	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-84	54	r-101	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-84	55	K-107	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-84	56	r-103	Ⅴ層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-84	57	p-95	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-84	58	q-94	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-84	59	p-97	Ⅴa層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-84	60	m-100	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-84	61	p-94	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-84	62	m-106	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-84	63	q-94	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-84	64	o-105	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-84	64	p-96	Ⅴa層	Ⅳc	1	2	
図Ⅵ-84	65	s-94	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-84	66	r-98	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-84	67	s-94	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-84	68	r-95	Ⅴ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-84	69	r-101	Ⅴb層	Ⅳb	1		
図Ⅵ-84	69	r-101	Ⅴ層	Ⅳb	1	2	
図Ⅵ-84	70	n-98	Ⅴb層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-84	71	u-103	撹乱	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-84	72	r-106	Ⅳ層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-85	73	u-95	Va層	Ⅳb	5		
図Ⅵ-85	73	u-95	Ⅴ層	Ⅳb	1		
図Ⅵ-85	73	u-95	Va層	Ⅳb	1		
図Ⅵ-85	73	u-95	Va層	Ⅳb	1		
図Ⅵ-85	73	u-95	Va層	Ⅳb	1	9	
図Ⅵ-85	74	s-96	Ⅳ層	Ⅳc	2		
図Ⅵ-85	74	s-96	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	74	s-96	Va層	Ⅳc	3		
図Ⅵ-85	74	s-96	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	74	s-97	Ⅳ層	Ⅳc	2		
図Ⅵ-85	74	s-97	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	74	s-97	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	74	s-97	Va層	Ⅳc	2		
図Ⅵ-85	74	s-97	Vb層	Ⅳc	1	14	
図Ⅵ-85	75	l-106	Ⅴ層	Ⅳc	6		
図Ⅵ-85	75	e-53	撹土	Ⅳc	3		
図Ⅵ-85	75	e-53	撹土	Ⅳc	6		
図Ⅵ-85	75	t-96	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	75	t-97	Va層	Ⅳc	3		
図Ⅵ-85	75	X-105	Ⅴ層	Ⅳc	24		
図Ⅵ-85	75	Y-105	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	75	Y-106	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	75	z-105	Ⅴ層	Ⅳc	15	60	
図Ⅵ-85	76	r-97	Va層	Ⅳc	13		
図Ⅵ-85	76	r-97	Ⅴ層	Ⅳc	21		
図Ⅵ-85	76	r-97	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	76	r-97	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	76	r-97	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	76	r-97	Ⅲ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	76	r-98	Va層	Ⅳc	2		
図Ⅵ-85	76	r-98	Ⅴ層	Ⅳc	3		
図Ⅵ-85	76	r-98	Va層	Ⅳc	1	44	
図Ⅵ-85	77	u-92	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	77	u-97	Ⅴ層	Ⅳc	2		
図Ⅵ-85	77	u-98	Ⅴ層	Ⅳc	18		
図Ⅵ-85	77	u-98	Ⅴ層	Ⅳc	12		
図Ⅵ-85	77	u-98	Va層	Ⅳc	2		
図Ⅵ-85	77	u-98	Ⅰ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	77	u-98	Vb層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	77	u-98	Va層	Ⅳc	2		
図Ⅵ-85	77	u-98	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	77	u-98	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	77	u-98	Ⅳ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	77	u-99	Ⅳ層	Ⅳc	3		
図Ⅵ-85	77	u-99	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	77	v-99	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	77	Y-106	Va層	Ⅳc	1	48	
図Ⅵ-85	78	w-102	Ⅴ層	Ⅳc	29		
図Ⅵ-85	78	w-102	Va層	Ⅳc	11		
図Ⅵ-85	78	w-102	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	78	w-102	Ⅴ層	Ⅳc	3		
図Ⅵ-85	78	w-102	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	78	w-102	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	78	w-102	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	78	w-102	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	78	w-102	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	78	w-102	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	78	w-102	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	78	w-102	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	78	w-102	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	78	w-102	Ⅴ層	Ⅳc	2		
図Ⅵ-85	78	w-102	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	78	x-102	Vb層	Ⅳc	2	60	
図Ⅵ-85	79	n-96	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	79	t-96	Va層	Ⅳc	2		
図Ⅵ-85	79	t-96	Ⅳ層	Ⅳc	2		
図Ⅵ-85	79	t-97	Ⅳ層	Ⅳc	7		
図Ⅵ-85	79	t-97	Ⅴ層	Ⅳc	15		
図Ⅵ-85	79	t-97	Va層	Ⅳc	27		
図Ⅵ-85	79	t-97	Vb層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	79	t-97	不明	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	79	t-99	Va層	Ⅳc	2	58	
図Ⅵ-85	80	r-97	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	80	s-96	Ⅲ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	80	t-95	Vb層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	80	t-97	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	80	t-98	Va層	Ⅳc	6		
図Ⅵ-85	80	t-98	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	80	t-98	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	80	u-95	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	80	v-95	Ⅲ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	80	v-95	Ⅴ層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	80	v-95	Va層	Ⅳc	2		
図Ⅵ-85	80	v-95	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	80	v-95	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	80	v-96	Ⅴ層	Ⅳc	6		
図Ⅵ-85	80	v-96	Va層	Ⅳc	8		
図Ⅵ-85	80	v-96	不明	Ⅳc	9		
図Ⅵ-85	80	v-96	Ⅲ層	Ⅳc	9		
図Ⅵ-85	80	v-96	Va層	Ⅳc	17		
図Ⅵ-85	80	w-95	Ⅴ層	Ⅳc	2		
図Ⅵ-85	80	w-95	Vb層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	80	w-95	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	80	w-95	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	80	w-96	Ⅲ層	Ⅳc	3		
図Ⅵ-85	80	w-96	Ⅴ層	Ⅳc	2		
図Ⅵ-85	80	w-96	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	80	z-95	Ⅴ層	Ⅳc	1	80	
図Ⅵ-85	81	o-96	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	81	p-96	Ⅴ層	Ⅳc	5		
図Ⅵ-85	81	p-96	Va層	Ⅳc	2		
図Ⅵ-85	81	p-96	Vb層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	81	p-97	Va層	Ⅳc	1	10	
図Ⅵ-85	82	q-98	Ⅴ層	Ⅳc	39		
図Ⅵ-85	82	q-99	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	82	q-99	Vb層	Ⅳc	14		
図Ⅵ-85	82	t-98	Va層	Ⅳc	3		
図Ⅵ-85	82	t-98	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	82	u-103	Ⅴ層	Ⅳc	20		
図Ⅵ-85	82	u-103	Vb層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-85	82	u-104	Ⅴ層	Ⅳc	2		
図Ⅵ-85	82	v-96	Va層	Ⅳc	1	82	
図Ⅵ-86	83	q-114	Va層	Ⅰb	2	2	
図Ⅵ-86	84	W-98	Va層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-86	85	u-97	Va層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-86	86	W-98	Va層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-86	87	u-97	Va層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-86	88	u-97	Va層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-86	89	W-98	Va層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-86	90	s-94	Va層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-86	91	s-94	Va層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-86	92	t-98	Va層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-86	93	p-93	Va層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-86	94	n-98	Va層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-86	95	s-98	Va層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-86	96	s-94	Va層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-86	97	p-93	Va層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-86	98	q-97	Va層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-86	99	o-98	Va層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-86	100	s-98	Va層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-86	101	o-97	Va層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-86	102	n-97	Va層	Ⅳb	1		
図Ⅵ-86	103	s-98	Va層	Ⅳb	1		
図Ⅵ-86	103	s-97	Va層	Ⅳb	1	3	

表6　包含層掲載土器一覧(11)

図番号		グリッド	層位	分類	点数	合計	備考
図Ⅵ-86	104	t-98	Va層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-86	105	n-96	Va層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-86	106	r-93	Va層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-86	107	n-98	Va層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-86	108	o-96	Va層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-86	109	s-94	Va層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-86	110	t-93	Va層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-86	111	r-97	Va層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-86	112	r-97	Va層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-86	113	s-97	Va層	Ⅳc	4	4	
図Ⅵ-86	114	o-96	Va層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-86	115	n-97	Va層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-86	116	n-99	Va層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-86	117	r-97	Va層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-86	118	r-97	Va層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-86	119	t-98	Va層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-86	120	o-99	Va層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-86	121	s-94	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-86	121	s-94	Va層	Ⅳc	1	2	
図Ⅵ-86	123	s-97	Va層	Ⅳc	1		
図Ⅵ-86	123	s-97	Ⅳ層	Ⅳc	1	2	
図Ⅵ-86	124	s-97	Va層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-87	125	p-110	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-87	126	n-106	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-87	127	o-110	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-87	128	o-110	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-87	129	p-110	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-87	130	p-110	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-87	131	r-111	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-87	132	m-106	Vb層	Ⅰb	2	1	
図Ⅵ-87	133	r-114	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-87	134	k-107	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-87	135	r-117	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-87	136	o-108	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-87	137	q-96	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-87	138	p-107	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-87	139	p-100	Vb層	Ⅰb	5	5	
図Ⅵ-87	140	v-97	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-87	141	r-110	Vb層	Ⅰb	3	3	
図Ⅵ-88	142	l-104	Vb層	Ⅰb	4	4	
図Ⅵ-88	143	p-108	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-88	144	o-108	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-88	145	o-108	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-88	146	p-90	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-88	147	o-100	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-88	148	q-116	Vb層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-88	149	s-102	Vb層	Ⅳb	4	4	
図Ⅵ-88	150	o-103	Vb層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-88	151	t-98	Vb層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-88	152	q-96	Vb層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-88	153	t-97	Vb層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-88	154	s-96	Vb層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-88	155	s-100	Vb層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-88	156	r-101	Vb層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-88	157	n-106	Vb層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-88	158	r-96	Vb層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-88	159	n-101	Vb層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-88	160	u-98	Vb層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-88	161	m-106	Vb層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-88	162	r-102	Vb層	Ⅳb	1	1	
図Ⅵ-88	163	p-95	Vb層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-88	164	r-97	Vb層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-88	165	p-93	Vb層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-88	166	p-96	Vb層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-88	167	o-96	Vb層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-88	168	p-96	Vb層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-88	169	p-96	Vb層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-88	170	t-106	Vb層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-88	171	q-93	Vb層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-88	172	q-96	Vb層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-88	173	t-97	Vb層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-88	174	p-96	Vb層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-88	175	u-98	Vb層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-88	176	q-102	Vb層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-88	177	t-95	Vb層	Ⅳc	3	3	
図Ⅵ-88	178	r-94	Vb層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-88	179	q-99	Vb層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-88	180	p-95	Vb層	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-88	180	q-94	撹乱	Ⅳc	3	3	
図Ⅵ-89	181	q-109	Ⅶ層	Ⅰb	1		
図Ⅵ-89	181	q-110	Ⅵ根	Ⅰb	1	2	
図Ⅵ-89	182	o-108	Ⅶ層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	183	q-112	Ⅵ根	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	184	o-108	Ⅶ根	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	185	j-109	Ⅵ根	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	186	q-113	Ⅵ根	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	187	o-115	Ⅵ根	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	188	p-109	Ⅶ根	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	189	0-112	Ⅵ根	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	190	不明	排土	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	191	r-115	Ⅵ根	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	192	p-108	Ⅵ根	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	193	n-106	Ⅵ根	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	194	p-108	Ⅵ根	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	195	q-109	Ⅶ層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	196	p-108	Ⅴ根	Ⅰb	1		
図Ⅵ-89	196	p-108	Ⅵ根	Ⅰb	1		
図Ⅵ-89	196	p-108	Ⅶ根	Ⅰb	1	3	
図Ⅵ-89	197	q-114	Ⅵ根	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	198	o-108	Ⅶ根	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	199	q-107	Ⅵ根	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	200	q-112	Ⅵ根	Ⅰb	3	3	
図Ⅵ-89	201	q-112	Ⅵ根	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	202	p-109	Ⅶ層	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	203	g-94	撹乱	Ⅳc	1	1	
図Ⅵ-89	204	p-110	撹乱	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	205	不明	撹乱	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-89	206	不明	撹乱	Ⅰb	1	1	
図Ⅵ-90	207	p-96	Ⅴ層	Ⅳ	3	3	赤彩土器
図Ⅵ-90	208	r-98	Ⅴ層	Ⅳ	6	6	赤彩土器
図Ⅵ-90	209	r-95	Ⅴ層	Ⅳ	1	1	赤彩土器
図Ⅵ-90	210	q-100	Ⅴ層	耳栓	1	1	
図Ⅵ-90	211	s-102	Ⅴ層	耳栓	1	1	
図Ⅵ-90	212	q-114	Ⅴ層	土製品	1	1	
図Ⅵ-90	213	q-93	Ⅴ層	土製品	1	1	
図Ⅵ-90	214	q-96	Ⅴ層	土製品	1	1	
図Ⅵ-90	215	t-97	Ⅴ層	土製品	1	1	
図Ⅵ-90	216	盛土B	盛土1層	Ⅳ	15	15	赤彩土器
図Ⅵ-90	217	盛土B	盛土1層	Ⅳ	3	3	赤彩土器
図Ⅵ-90	218	盛土B	盛土1層	スタンプ形土製品	1	1	
図Ⅵ-90	219	盛土B	盛土1層	土製品	1	1	
図Ⅵ-90	220	盛土B	盛土1層	土製品	1	1	

表7　包含層掲載石器一覧(1)

図番号		分類	グリッド	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
A地区									
図Ⅳ－122	1	石鏃	H-43	Ⅴ－1層	1.70	1.44	0.23	0.38	黒曜石
図Ⅳ－122	2	石鏃	G-42	Ⅴ－1層	2.12	1.20	0.30	0.55	黒曜石
図Ⅳ－122	3	石鏃	X-53	Ⅴ層	2.10	1.85	0.29	0.93	黒曜石
図Ⅳ－122	4	石鏃	J-44	Ⅴ－1層	2.08	1.25	0.33	0.72	黒曜石
図Ⅳ－122	5	石鏃	K-41	Ⅴ－1層	2.30	1.60	0.21	0.59	黒曜石
図Ⅳ－122	6	石鏃	L-40	Ⅴ層	2.15	1.55	0.21	0.83	黒曜石
図Ⅳ－122	7	石鏃	K-41	Ⅵ層	(2.05)	1.58	0.32	0.64	黒曜石
図Ⅳ－122	8	石鏃	I-46	掘り上げ土	2.31	1.26	0.18	0.48	黒曜石
図Ⅳ－122	9	石鏃	Z-51	Ⅴ層	2.30	1.62	0.33	0.76	黒曜石
図Ⅳ－122	10	石鏃	K-41	Ⅴ－1層	2.45	1.68	0.38	1.03	黒曜石
図Ⅳ－122	11	石鏃	P-39	Ⅴ層	2.68	1.80	0.32	1.11	黒曜石
図Ⅳ－122	12	石鏃	O-44	Ⅴ層	2.79	1.49	0.20	0.83	黒曜石
図Ⅳ－122	13	石鏃	T-45	Ⅵ層	2.99	1.70	0.29	1.10	黒曜石
図Ⅳ－122	14	石鏃	Q-40	Ⅴ層	2.85	1.45	0.23	0.78	黒曜石
図Ⅳ－122	15	石鏃	M-42	Ⅵ層	2.92	1.50	0.40	0.45	黒曜石
図Ⅳ－122	16	石鏃	J-39	Ⅲ層	3.45	1.70	0.40	2.08	黒曜石
図Ⅳ－122	17	石鏃	e-48	Ⅴ-イ層	1.80	1.32	0.35	0.54	黒曜石
図Ⅳ－122	18	石鏃	b-48	Ⅴ-ロ層	1.79	1.88	0.35	0.57	黒曜石
図Ⅳ－122	19	石鏃	a-49	河道跡2－Ⅱ	1.86	1.38	0.25	0.40	黒曜石
図Ⅳ－122	20	石鏃	I-49	河道跡5－Ⅱ	2.10	1.20	0.43	0.70	黒曜石
図Ⅳ－122	21	石鏃	a-41	Ⅴ層	2.10	1.10	0.20	0.35	黒曜石
図Ⅳ－122	22	石鏃	a-49	河道跡2－Ⅲ	(1.98)	1.60	0.30	0.60	黒曜石
図Ⅳ－122	23	石鏃	X-52	Ⅴ層	2.38	(1.95)	0.20	0.45	黒曜石
図Ⅳ－122	24	石鏃	Y-48	河道跡2－Ⅱ	(2.40)	(1.50)	0.43	1.30	黒曜石
図Ⅳ－122	25	石鏃	W-47	河道跡2－Ⅱ	2.43	1.41	0.50	1.50	黒曜石
図Ⅳ－122	26	石鏃	b-49	Ⅴ-ロ層	2.44	1.20	0.38	0.72	黒曜石
図Ⅳ－122	27	石鏃	c-47	Ⅴ-ロ層	2.50	1.30	0.39	0.63	黒曜石
図Ⅳ－122	28	石鏃	X-53	Ⅴ層	2.70	1.35	0.50	1.01	黒曜石
図Ⅳ－122	29	石鏃	L-47	Ⅴ-ハ層	2.70	1.20	0.28	0.84	頁岩
図Ⅳ－122	30	石鏃	Y-49	河道跡2－Ⅰ	2.68	1.85	0.47	1.20	黒曜石
図Ⅳ－122	31	石鏃	b-48	Ⅴ-ロ層	2.66	1.69	0.25	0.60	黒曜石
図Ⅳ－122	32	石鏃	b-48	Ⅴ-ロ層	2.74	1.56	0.40	0.78	黒曜石
図Ⅳ－122	33	石鏃	e-49	Ⅴ-イ層	2.75	1.40	0.35	0.74	黒曜石
図Ⅳ－122	34	石鏃	W-48	河道跡2－Ⅱ	2.85	1.15	0.43	0.90	黒曜石
図Ⅳ－122	35	石鏃	Z-45	Ⅴ層	2.80	1.45	0.35	0.73	黒曜石
図Ⅳ－122	36	石鏃	a-46	Ⅴ層	2.90	1.67	0.31	1.00	メノウ
図Ⅳ－122	37	石鏃	e-48	Ⅴ-イ層	2.91	1.40	0.39	0.94	黒曜石
図Ⅳ－122	38	石鏃	L-49	Ⅴ-ハ層	2.90	1.37	0.33	0.66	頁岩
図Ⅳ－122	39	石鏃	e-48	Ⅴ-イ層	3.09	1.48	0.28	0.75	黒曜石
図Ⅳ－122	40	石鏃	e-48	Ⅴ-ロ層	3.00	1.68	0.85	1.75	頁岩
図Ⅳ－122	41	石鏃	W-48	河道跡2－Ⅱ	3.10	1.35	0.30	1.10	黒曜石
図Ⅳ－122	42	石鏃	f-49	Ⅴ層	2.99	1.52	0.39	0.77	黒曜石
図Ⅳ－122	43	石鏃	T-45	Ⅳ層	3.00	1.60	0.39	1.15	黒曜石
図Ⅳ－122	44	石鏃	X-46	Ⅴ層	(3.00)	1.60	0.39	0.99	黒曜石
図Ⅳ－122	45	石鏃	R-42	Ⅴ-イ層	3.65	1.60	0.55	2.17	黒曜石
図Ⅳ－122	46	石鏃	e-49	Ⅴ-ロ層	(0.85)	1.65	0.35	1.42	黒曜石
図Ⅳ－122	47	石鏃	a-49	Ⅴ層	4.41	1.70	0.41	2.45	黒曜石
図Ⅳ－122	48	石鏃	M-44	Ⅴ層	3.83	2.98	0.45	2.96	黒曜石
図Ⅳ－122	49	石鏃	M-44	Ⅴ層	3.95	1.99	0.45	3.50	黒曜石
図Ⅳ－122	50	石鏃	M-44	Ⅴ層	4.55	2.00	0.60	4.70	黒曜石
図Ⅳ－122	51	石鏃	G-40	Ⅴ－1層	2.65	1.08	0.28	0.63	黒曜石
図Ⅳ－122	52	石鏃	N-42	Ⅵ層	3.50	0.90	0.30	0.73	黒曜石
図Ⅳ－122	53	石鏃	K-40	掘り上げ土	0.40	1.30	0.40	1.70	黒曜石
図Ⅳ－122	54	石鏃	I-36	Ⅴ-8b層	4.65	2.80	0.60	6.25	黒曜石
図Ⅳ－122	55	石鏃	K-36	Ⅴ-8b層	5.20	1.75	0.70	5.53	黒曜石
図Ⅳ－122	56	石鏃	a-51	Ⅵ層	6.40	3.15	1.10	16.67	黒曜石
図Ⅳ－123	57	つまみ付きナイフ	M-39	Ⅴ層	4.00	2.00	0.45	2.66	黒曜石
図Ⅳ－123	58	つまみ付きナイフ	J-46	Ⅴ－1層	4.90	2.35	0.65	7.36	蛇紋岩
図Ⅳ－123	59	つまみ付きナイフ	c-48	Ⅴ-ロ層	5.75	1.90	0.60	6.43	黒曜石

表7　包含層掲載石器一覧(2)

図番号		分類	グリッド	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
図Ⅳ－123	60	つまみ付きナイフ	G-39	Ⅵ層	4.45	2.10	0.50	4.31	メノウ
図Ⅳ－123	61	つまみ付きナイフ	O-41	Ⅴ層	4.80	2.00	0.70	7.14	頁岩
図Ⅳ－123	62	つまみ付きナイフ	M-42	Ⅴ層	6.20	2.40	0.50	8.02	頁岩
図Ⅳ－123	63	つまみ付きナイフ	J-40	掘り上げ土	6.10	2.90	0.75	12.14	黒曜石
図Ⅳ－123	64	つまみ付きナイフ	Q-43	Ⅴ－1層	6.41	2.20	0.95	12.72	頁岩
図Ⅳ－123	65	つまみ付きナイフ	L-41	Ⅴ－1層	6.40	1.90	0.80	10.81	黒曜石
図Ⅳ－123	66	つまみ付きナイフ	J-40	掘り上げ土	7.20	2.60	0.60	9.84	黒曜石
図Ⅳ－123	67	つまみ付きナイフ	J-43	Ⅴ－1層	6.45	2.60	0.70	13.09	頁岩
図Ⅳ－123	68	つまみ付きナイフ	H-44	Ⅴ－1層	7.15	3.00	0.80	14.26	頁岩
図Ⅳ－123	69	つまみ付きナイフ	a-45	Ⅴ層	7.40	2.20	0.65	10.45	黒曜石
図Ⅳ－123	70	つまみ付きナイフ	Z-52	Ⅴ層	5.60	1.40	0.50	3.94	頁岩
図Ⅳ－123	71	つまみ付きナイフ	O-40	Ⅴ層	5.60	2.00	0.50	4.32	頁岩
図Ⅳ－123	72	つまみ付きナイフ	N-44	Ⅴ－1層	7.25	1.45	0.65	6.69	頁岩
図Ⅳ－123	73	つまみ付きナイフ	I-41	掘り上げ土	7.60	2.15	0.60	9.36	頁岩
図Ⅳ－123	74	つまみ付きナイフ	O-42	Ⅴ層	9.50	1.90	0.80	14.79	頁岩
図Ⅳ－123	75	つまみ付きナイフ	Q-45	Ⅴ－1層	10.05	1.90	0.60	13.42	頁岩
図Ⅳ－123	76	つまみ付きナイフ	I-39	Ⅴ層	(9.80)	2.20	0.90	18.18	頁岩
図Ⅳ－123	77	つまみ付きナイフ	H-38	Ⅴ-8c層	3.05	3.65	0.75	7.13	頁岩
図Ⅳ－123	78	つまみ付きナイフ	H-39	Ⅴ層	4.90	6.50	1.85	36.55	黒曜石
図Ⅳ－124	79	つまみ付きナイフ	河道跡2	1層	5.19	3.38	1.00	12.00	黒曜石
図Ⅳ－124	80	つまみ付きナイフ	河道跡2	1層	5.00	4.70	0.35	6.20	黒曜石
図Ⅳ－124	81	石錐	e-48	Ⅴ-イ層	2.23	0.80	0.30	0.70	黒曜石
図Ⅳ－124	82	石錐	I-44	Ⅵ層	(2.57)	0.90	0.35	0.96	黒曜石
図Ⅳ－124	83	石錐	f-49	Ⅴ-イ層	2.78	0.88	0.48	1.52	メノウ
図Ⅳ－124	84	石錐	b-48	Ⅴ層	(3.22)	0.90	0.20	1.26	メノウ
図Ⅳ－124	85	石錐	b-49	Ⅴ層	3.62	0.90	0.28	2.21	頁岩
図Ⅳ－124	86	石錐	b-48	Ⅴ層	4.10	1.15	0.35	2.98	黒曜石
図Ⅳ－124	87	石錐	K-45	Ⅵ層	6.20	2.10	1.10	14.78	頁岩
図Ⅳ－124	88	石錐	W-52	Ⅴ層	7.75	2.45	0.80	12.43	頁岩
図Ⅳ－124	89	石錐	Z-49	河道跡2－Ⅰ	(4.40)	(3.60)	0.30	9.20	黒曜石
図Ⅳ－124	90	石錐	a-49	河道跡2－Ⅱ	2.38	1.45	0.35	1.30	黒曜石
図Ⅳ－124	91	石錐	a-48	Ⅴ-ハ層	2.55	1.85	1.35	2.32	黒曜石
図Ⅳ－124	92	石錐	c-49	Ⅴ-ハ層	2.85	2.10	0.45	1.55	黒曜石
図Ⅳ－124	93	石錐	e-48	Ⅴ-イ層	3.30	1.38	0.22	1.31	頁岩
図Ⅳ－124	94	スクレイパー	Z-49	河道跡2－Ⅱ	(5.00)	3.83	0.72	11.90	黒曜石
図Ⅳ－124	95	スクレイパー	R-40	Ⅴ層	6.60	4.00	0.70	23.80	黒曜石
図Ⅳ－124	96	スクレイパー	R-40	Ⅴ層	6.40	3.75	1.10	29.36	頁岩
図Ⅳ－124	97	スクレイパー	Q-39	Ⅴ層	7.15	3.20	0.80	24.82	黒曜石
図Ⅳ－124	98	スクレイパー	T-42	Ⅴ層	8.25	4.40	1.20	50.74	頁岩
図Ⅳ－124	99	スクレイパー	M-36	Ⅴ層	9.10	3.83	1.50	64.47	頁岩
図Ⅳ－125	100	スクレイパー	I-36	Ⅴ-8c層	5.30	3.25	1.00	17.40	黒曜石
図Ⅳ－125	101	スクレイパー	J-36	Ⅴ-8c層	4.95	4.30	0.85	20.19	黒曜石
図Ⅳ－125	102	スクレイパー	Q-45	Ⅴ－1層	4.80	4.27	1.00	21.99	黒曜石
図Ⅳ－125	103	スクレイパー	Q-39	Ⅴ層	4.35	4.30	1.15	22.02	黒曜石
図Ⅳ－125	104	スクレイパー	Q-39	Ⅴ層	5.50	4.50	0.80	24.82	黒曜石
図Ⅳ－125	105	スクレイパー	J-39	Ⅴ-8c層	4.77	5.55	1.10	26.41	黒曜石
図Ⅳ－125	106	スクレイパー	Q-39	Ⅴ層	4.33	(6.50)	0.60	23.09	黒曜石
図Ⅳ－125	107	スクレイパー	I-36	Ⅴ-8c層	4.15	7.00	1.40	33.70	黒曜石
図Ⅳ－125	108	石核	O-40	Ⅴ層	2.20	2.70	1.70	7.90	黒曜石
図Ⅳ－125	109	石核	O-45	Ⅴ層	4.80	3.25	2.10	2.40	黒曜石
図Ⅳ－125	110	石核	Z-45	Ⅴ層	5.00	3.75	1.80	3.00	黒曜石
図Ⅳ－125	111	石核	O-40	Ⅵ層	7.50	6.90	3.65	184.00	黒曜石
図Ⅳ－125	112	石核	Q-40	Ⅴ層	4.50	5.40	3.10	62.00	黒曜石
図Ⅳ－126	113	石斧	J-41	Ⅴ－1層	9.65	2.90	1.10	205.00	緑色泥岩
図Ⅳ－126	114	石斧	d-48	Ⅴ層	(9.40)	6.60	3.40	280.00	緑色泥岩
図Ⅳ－126	115	石斧	e-48	Ⅴ層	(12.20)	6.90	2.20	310.00	蛇紋岩
図Ⅳ－126	116	石斧	Y-48	河道跡2－Ⅳ	(5.10)	3.60	1.00	35.60	緑色泥岩
図Ⅳ－126	117	石斧	b-49	Ⅴ-ロ層	(4.65)	3.60	0.70	30.00	緑色泥岩
図Ⅳ－126	118	石斧	K-41	Ⅵ層	(5.10)	2.40	1.10	35.80	蛇紋岩
図Ⅳ－126	119	石斧	d-47	Ⅴ-ハ層	(4.75)	4.50	1.10	30.00	緑色泥岩

表7　包含層掲載石器一覧(3)

図番号		分類	グリッド	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
図Ⅳ－126	120	石斧	J-38	Ⅴ-8c層	(6.80)	(4.90)	1.20	120.00	緑色泥岩
図Ⅳ－126	121	石斧	J-41	掘り上げ土	(7.30)	4.60	1.85	185.00	緑色泥岩
図Ⅳ－126	122	石斧	X-47	河道跡2－Ⅲ	(10.80)	6.90	2.70	319.70	緑色泥岩
図Ⅳ－126	123	石斧	N-43	Ⅴ－1層	(10.60)	6.40	1.40	308.37	緑色泥岩
図Ⅳ－126	124	石斧	Z-46	Ⅴ-イ層	(9.40)	5.50	3.20	250.00	緑色泥岩
図Ⅳ－126	125	石斧	e-48	Ⅴ-ロ層	(10.00)	5.40	3.30	260.80	緑色泥岩
図Ⅳ－126	126	石斧	X-52	Ⅴ層	(6.75)	4.20	2.90	180.50	緑色泥岩
図Ⅳ－126	127	石斧	Z-48	河道跡2－Ⅰ	(7.50)	5.40	3.35	223.20	緑色泥岩
図Ⅳ－126	128	石斧	H-43	掘り上げ土	11.10	6.60	2.20	108.00	珪岩
図Ⅳ－127	129	たたき石	d-47	Ⅴ層	4.95	5.13	3.65	145.70	カンラン岩
図Ⅳ－127	130	たたき石	J-40	掘り上げ土	(6.95)	4.70	3.10	123.50	安山岩
図Ⅳ－127	131	たたき石	a-47	Ⅴ-イ層	6.20	6.10	5.80	271.00	砂岩
図Ⅳ－127	132	たたき石	Y-48	河道跡2－Ⅲ	8.90	6.25	4.70	416.50	砂岩
図Ⅳ－127	133	たたき石	e-48	Ⅴ-二層	9.20	8.80	4.30	523.50	安山岩
図Ⅳ－127	134	たたき石	Z-48	河道跡2－Ⅲ	9.45	9.15	8.50	964.10	砂岩
図Ⅳ－127	135	たたき石	W-48	河道跡2－Ⅱ	10.10	8.55	6.00	651.90	安山岩
図Ⅳ－127	136	たたき石	R-49	Ⅴ層	9.00	11.60	5.30	790.00	安山岩
図Ⅳ－127	137	たたき石	c-47	Ⅴ-ハ層	7.70	6.90	4.90	357.30	安山岩
図Ⅳ－127	138	たたき石	Z-47	Ⅴ-ハ層	8.10	6.75	4.30	358.80	カンラン岩
図Ⅳ－127	139	たたき石	N-39	Ⅵ層	9.10	4.50	3.80	234.30	安山岩
図Ⅳ－127	140	たたき石	Z-48	河道跡2－Ⅱ	10.70	3.90	3.30	204.90	砂岩
図Ⅳ－127	141	たたき石	V-45	Ⅴ－8b層	(12.10)	6.10	2.65	302.20	砂岩
図Ⅳ－127	142	たたき石	X-52	Ⅴ層	9.00	5.50	3.50	276.90	砂岩
図Ⅳ－127	143	たたき石	J-40	Ⅴ－1層	10.80	4.65	2.80	225.10	緑色泥岩
図Ⅳ－128	144	たたき石	a-48	Ⅴ-ロ層	5.55	5.45	3.70	174.00	緑色泥岩
図Ⅳ－128	145	たたき石	X-48	河道跡2－Ⅱ	5.30	4.95	4.25	190.70	緑色泥岩
図Ⅳ－128	146	たたき石	Y-48	河道跡2－Ⅳ	5.00	6.05	2.80	160.90	カンラン岩
図Ⅳ－128	147	たたき石	Z-49	河道跡2－Ⅰ	5.35	5.50	3.80	203.50	カンラン岩
図Ⅳ－128	148	たたき石	b-48	Ⅴ-ロ層	6.50	5.70	4.10	277.00	カンラン岩
図Ⅳ－128	149	すり石	Z-49	河道跡2－Ⅱ	6.05	5.90	3.30	207.60	緑色泥岩
図Ⅳ－128	150	すり石	Z-47	Ⅴ-ハ層	11.20	11.53	4.80	862.00	砂岩
図Ⅳ－128	151	すり石	X-49	河道跡2－Ⅱ	10.25	8.60	5.60	798.20	砂岩
図Ⅳ－128	152	すり石	Z-48	河道跡2－Ⅰ	10.00	8.25	4.80	626.70	砂岩
図Ⅳ－128	153	すり石	b-47	Ⅴ-イ層	9.05	9.50	5.00	592.00	安山岩
図Ⅳ－128	154	すり石	Z-47	Ⅴ-イ層	8.30	5.05	3.50	277.00	泥岩
図Ⅳ－128	155	すり石	P-42	Ⅴ－1層	12.30	6.65	2.32	323.00	緑色泥岩
図Ⅳ－128	156	すり石	X-49	河道跡2－Ⅰ	(8.10)	9.00	4.80	504.60	砂岩
図Ⅳ－128	157	すり石	W-47	河道跡2－Ⅲ	(9.75)	7.65	3.20	433.00	緑色泥岩
図Ⅳ－128	158	すり石	J-39	Ⅴ-8c層	8.15	(16.75)	7.20	1550.00	砂岩
図Ⅳ－128	159	すり石	H-37	Ⅴ－8b層	8.60	9.00	6.10	590.00	緑色泥岩
図Ⅳ－129	160	すり石	N-42	Ⅵ層	5.00	10.95	3.40	285.00	安山岩
図Ⅳ－129	161	すり石	M-37	Ⅴ-8c層	9.20	15.00	5.60	1100.00	砂岩
図Ⅳ－129	162	すり石	H-38	Ⅴ－8b層	9.60	14.00	5.10	856.10	砂岩
図Ⅳ－129	163	すり石	I-40	掘り上げ土	8.40	18.20	5.90	916.00	砂岩
図Ⅳ－129	164	すり石	H-39	Ⅴ層	9.10	15.10	5.15	1109.80	安山岩
図Ⅳ－129	165	すり石	O-40	Ⅴ層	8.67	18.05	6.20	127.50	砂岩
図Ⅳ－129	166	すり石	M-36	Ⅴ-8c層	7.10	(15.00)	7.60	866.90	砂岩
図Ⅳ－129	167	すり石	H-38	Ⅴ層	9.15	(16.70)	5.60	1220.00	砂岩
図Ⅳ－129	168	すり石	V-47	Ⅴ－8層	8.35	16.20	7.60	1152.80	砂岩
図Ⅳ－129	169	すり石	K-36	Ⅴ－8b層	8.20	14.70	7.35	880.00	安山岩
図Ⅳ－129	170	すり石	H-38	Ⅴ層	8.90	16.65	4.40	933.00	砂岩
図Ⅳ－129	171	すり石	M-45	Ⅴ層	6.85	11.25	4.10	298.00	砂岩
図Ⅳ－129	172	すり石	K-38	Ⅴ－8b層	8.80	15.70	6.10	1250.00	砂岩
図Ⅳ－129	173	すり石	G-37	Ⅴ－8b層	5.70	11.15	2.65	254.00	安山岩
図Ⅳ－130	174	砥石	e-49	Ⅴ-ロ層	(14.10)	(18.90)	3.90	1300.00	砂岩
図Ⅳ－130	175	砥石	J-36	Ⅴ-8c層	(15.90)	(15.90)	4.60	1210.00	安山岩
図Ⅳ－130	176	砥石	a-50	Ⅴ-イ層	(11.70)	(10.80)	(2.70)	240.00	砂岩
図Ⅳ－130	177	砥石	X-50	河道跡2－Ⅱ	(9.30)	(8.25)	2.65	240.00	砂岩
図Ⅳ－130	178	砥石	Y-48	河道跡2－Ⅱ	(11.80)	(11.15)	3.80	870.00	砂岩
図Ⅳ－130	179	砥石	e-48	Ⅴ-ロ層	(27.60)	(21.00)	3.30	2260.00	砂岩

表7　包含層掲載石器一覧(4)

図番号		分類	グリッド	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
図Ⅳ－130	180	砥石	a-48	Ⅴ-ロ層	(16.10)	(15.00)	3.80	1150.00	砂岩
図Ⅳ－131	181	砥石	Z-47	Ⅴ-ハ層	(15.45)	8.80	3.30	766.00	砂岩
図Ⅳ－131	182	砥石	Z-48	Ⅴ-ロ層	(8.25)	(4.35)	2.10	125.00	砂岩
図Ⅳ－131	183	石のみ	M-42	Ⅵ層	(7.45)	1.20	1.20	15.00	泥岩
図Ⅳ－131	184	石のみ	a-48	Ⅳ層	6.70	0.85	0.55	5.00	泥岩
図Ⅳ－131	185	石のみ	M-39	Ⅴ層	(5.80)	1.35	0.50	6.00	蛇紋岩
図Ⅳ－131	186	石鋸	Y-47	河道跡2－Ⅲ	5.00	(6.80)	1.35	60.00	砂岩
図Ⅳ－131	187	石鋸	X-47	河道跡2－Ⅲ	6.90	(7.30)	1.20	88.00	砂岩
図Ⅳ－131	188	石錘	N-44	Ⅴ－1層	8.15	10.70	1.40	201.00	砂岩
図Ⅳ－131	189	石錘	O-42	Ⅴ層	4.00	9.10	2.30	135.00	砂岩
図Ⅳ－131	190	石錘	b-46	Ⅴ-ハ層	5.10	8.20	1.80	138.00	砂岩
図Ⅳ－131	191	石錘	a-49	河道跡2－Ⅲ	7.20	7.65	2.20	164.00	砂岩
図Ⅳ－132	192	石皿・台石	Z-47	Ⅴ－4層	29.85	30.00	10.50	8200.00	砂岩
図Ⅳ－132	193	石皿・台石	Z-47	Ⅴ－4層	(21.15)	24.90	6.20	5200.00	砂岩
図Ⅳ－133	194	石皿・台石	e-48	Ⅴ-8c層	(45.30)	29.70	13.65	20080.00	泥岩
図Ⅳ－134	195	石皿・台石	W-48	Ⅵ層	39.60	(23.70)	9.20	14400.00	泥岩
図Ⅳ－134	196	石皿・台石	X-50	Ⅴ層	(10.05)	(19.20)	(9.60)	6300.00	砂岩
図Ⅳ－135	197	石皿・台石	f-49	Ⅴ層	(32.40)	(32.10)	(0.90)	15500.00	砂岩
図Ⅳ－135	198	石皿・台石	e-49	Ⅴ－1層	(13.65)	27.93	14.25	8200.00	泥岩
図Ⅳ－136	199	石皿・台石	e-48	Ⅴ層	30.75	(40.10)	9.15	18000.00	砂岩
図Ⅳ-137	1	異形石器	J-43	Ⅴ－1層	2.70	1.80	0.30	1.39	黒曜石
図Ⅳ-137	2	異形石器	K-43	Ⅴ－1層	2.50	1.70	0.25	1.12	黒曜石
図Ⅳ-137	3	異形石器	W-53	Ⅴ層	1.05	1.25	0.55	0.51	黒曜石
図Ⅳ-137	4	異形石器	Z-48	河道跡2－Ⅲ	2.20	1.22	0.35	1.40	黒曜石
図Ⅳ-137	5	垂飾	e-48	Ⅴ-イ層	3.30	0.70	0.50	1.33	黒曜石
図Ⅳ-137	6	石玉	f-49	Ⅴ-イ層	1.10	1.10	0.60	1.02	滑石
図Ⅳ-137	7	石玉	e-49	Ⅴ層	1.00	(0.60)	0.70	0.53	滑石
図Ⅳ-137	8	勾玉	P-35	Ⅴ層	2.50	1.60	1.20	5.53	ヒスイ
図Ⅳ-137	9	玉素材	M-41	Ⅴ層	4.25	1.90	1.75	27.13	滑石
図Ⅳ-137	10	玉素材	N-39	Ⅴ層	1.70	2.60	1.35	8.52	滑石
図Ⅳ-137	11	石棒	W-52	Ⅴ層	23.10	4.10	(0.90)	160.40	片岩
図Ⅳ-137			x-47	Ⅴ-3層					
図Ⅳ-137	12	石棒	a-49	河道跡2－Ⅲ	11.80	3.90	3.80	274.30	片岩
図Ⅳ-137	13	加工痕のある礫	W-47	Ⅴ層	57.30	12.90	8.00	9200.00	緑色泥岩
H地区									
図Ⅴ-34	1	石鏃	I-51	Ⅴ層	2.05	1.63	0.25	0.60	黒曜石
図Ⅴ-34	2	石鏃	d-57	Ⅲ層上面	2.50	1.66	0.40	0.90	黒曜石
図Ⅴ-34	3	石鏃	e-57	Ⅲ層	(1.25)	1.20	0.30	0.30	黒曜石
図Ⅴ-34	4	石鏃	e-60	Ⅳ層	1.34	1.10	0.15	0.30	黒曜石
図Ⅴ-34	5	石鏃	d-54	Ⅴ層	(1.66)	(1.42)	0.47	0.70	黒曜石
図Ⅴ-34	6	石鏃	d-55	撹乱	(1.95)	1.35	0.45	0.50	黒曜石
図Ⅴ-34	7	石鏃	f-53	撹乱	1.67	1.25	0.22	0.30	黒曜石
図Ⅴ-34	8	石鏃	g-54	撹乱	(1.78)	1.25	0.30	0.50	黒曜石
図Ⅴ-34	9	石鏃	e-54	撹乱	(1.80)	1.70	0.30	0.70	黒曜石
図Ⅴ-34	10	石鏃	g-50	Ⅵ層	(1.90)	1.55	0.40	0.60	黒曜石
図Ⅴ-34	11	石鏃	e-53	撹乱	(2.00)	1.65	0.40	1.00	黒曜石
図Ⅴ-34	12	石鏃	c-56	Ⅴ層	2.10	1.58	0.31	0.80	黒曜石
図Ⅴ-34	13	石鏃	d-55	Ⅲ層上面	(2.10)	1.40	0.45	0.80	黒曜石
図Ⅴ-34	14	石鏃		撹乱	(2.45)	1.80	0.40	1.10	黒曜石
図Ⅴ-34	15	石鏃	f-52	撹乱	(2.07)	1.50	0.40	0.80	黒曜石
図Ⅴ-34	16	石鏃	e-58	Ⅵ層	2.00	1.50	0.35	0.70	黒曜石
図Ⅴ-34	17	石鏃	d-56	Ⅲ層上面	(2.10)	1.40	0.30	0.80	黒曜石
図Ⅴ-34	18	石鏃	e-53	撹乱	(2.30)	1.35	0.40	1.00	黒曜石
図Ⅴ-34	19	石鏃	f-52	撹乱	(2.40)	(1.50)	0.45	1.00	黒曜石
図Ⅴ-34	20	石鏃	d-54	Ⅴ層	2.60	1.45	0.35	0.90	黒曜石
図Ⅴ-34	21	石鏃	e-61	Ⅳ層	2.55	1.30	0.40	0.90	黒曜石
図Ⅴ-34	22	石鏃	I-51	Ⅴ層	(2.55)	1.30	0.40	1.00	黒曜石
図Ⅴ-34	23	石鏃	e-60	Ⅲ層	(2.40)	(1.40)	0.50	1.10	黒曜石
図Ⅴ-34	24	石鏃	c-60	撹乱	2.20	1.25	0.25	0.60	黒曜石
図Ⅴ-34	25	石鏃	e-53	撹乱	(1.95)	1.60	0.35	1.00	黒曜石
図Ⅴ-34	26	石鏃	e-53	撹乱	2.30	1.30	0.35	1.00	黒曜石
図Ⅴ-34	27	石鏃	e-53	撹乱	2.05	(1.20)	0.20	0.50	黒曜石
図Ⅴ-34	28	石鏃	d-57	Ⅲ層上面	(2.45)	1.22	0.25	0.60	黒曜石
図Ⅴ-34	29	石鏃	f-54	撹乱	2.26	1.39	0.50	1.00	黒曜石
図Ⅴ-34	30	石鏃	g-53	撹乱	2.31	1.42	0.45	1.00	黒曜石

表7　包含層掲載石器一覧(5)

図番号		分類	グリッド	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
図Ⅴ-34	31	石鏃	g-51	Ⅲ層	2.10	1.50	0.40	0.70	黒曜石
図Ⅴ-34	32	石鏃		撹乱	2.15	1.65	0.20	0.70	黒曜石
図Ⅴ-34	33	石鏃	d-57	Ⅲ層上面	1.68	1.19	0.32	0.30	黒曜石
図Ⅴ-34	34	石鏃	e-57	Ⅲ層上面	2.20	1.47	0.40	0.70	黒曜石
図Ⅴ-34	35	石鏃	f-50	Ⅳ層	2.00	1.35	0.30	0.50	黒曜石
図Ⅴ-34	36	石鏃	e-55	撹乱	(2.15)	1.35	0.40	0.70	黒曜石
図Ⅴ-34	37	石鏃	e-52	撹乱	2.50	1.49	0.35	0.80	黒曜石
図Ⅴ-34	38	石鏃	d-55	Ⅲ層上面	(2.10)	1.45	0.40	0.80	黒曜石
図Ⅴ-34	39	石鏃	b-60	Ⅲ層	(2.20)	1.55	0.38	0.90	黒曜石
図Ⅴ-34	40	石鏃	c-59	撹乱	(2.25)	1.20	0.35	0.80	黒曜石
図Ⅴ-34	41	石鏃	e-51	Ⅴ層	(2.45)	1.50	0.45	1.20	頁岩
図Ⅴ-34	42	石鏃	f-55	撹乱	2.50	1.45	0.35	1.00	黒曜石
図Ⅴ-34	43	石鏃	I-51	Ⅲ層	2.50	1.49	0.35	0.80	黒曜石
図Ⅴ-34	44	石鏃	e-56	撹乱	(2.45)	1.30	0.35	0.80	頁岩
図Ⅴ-34	45	石鏃	f-50	Ⅴ層	3.15	1.40	0.30	0.70	黒曜石
図Ⅴ-34	46	石鏃	e-53	撹乱	3.09	1.39	0.44	1.00	黒曜石
図Ⅴ-34	47	石鏃	h-51	Ⅵ層	3.10	1.55	0.25	0.90	黒曜石
図Ⅴ-34	48	石鏃	f-53	撹乱	3.30	1.40	0.45	1.40	黒曜石
図Ⅴ-34	49	石鏃	f-53	撹乱	3.50	1.70	0.45	1.80	黒曜石
図Ⅴ-34	50	石鏃	e-55	撹乱	4.60	1.66	0.55	2.90	黒曜石
図Ⅴ-34	51	石鏃	e-52	Ⅴ層	4.80	1.85	0.50	3.00	黒曜石
図Ⅴ－34	52	石鏃	f-52	撹乱	(3.80)	2.48	0.53	4.90	黒曜石
図Ⅴ－34	53	つまみ付きナイフ	e-53	撹乱	7.40	2.20	0.75	11.20	黒曜石
図Ⅴ－34	54	石錐	e-53	撹乱	2.25	0.90	0.30	0.90	黒曜石
図Ⅴ－34	55	石錐	b-60	Ⅲ層	(2.65)	1.17	0.35	2.00	頁岩
図Ⅴ－34	56	石錐	e-53	撹乱	3.30	1.30	0.30	2.50	頁岩
図Ⅴ－34	57	石錐	c-59	撹乱	3.50	0.90	0.40	1.70	黒曜石
図Ⅴ－34	58	石錐	f-52	撹乱	3.90	1.05	0.81	2.90	黒曜石
図Ⅴ－34	59	石錐	e-55	撹乱	4.20	1.55	0.50	6.00	頁岩
図Ⅴ－34	60	石錐	c-56	Ⅴ層	5.30	2.50	1.15	10.80	頁岩
図Ⅴ－34	61	石錐	d-57	Ⅴ層	(4.23)	1.30	0.45	2.80	黒曜石
図Ⅴ－34	62	石錐	e-53	撹乱	1.88	1.60	0.35	1.00	頁岩
図Ⅴ－34	63	石錐	d-54	撹乱	2.70	1.54	0.40	2.00	頁岩
図Ⅴ－34	64	石錐	e-53	撹乱	(4.30)	2.95	0.32	4.40	黒曜石
図Ⅴ－34	65	両面調整石器	e-55	撹乱	3.70	2.00	1.10	6.40	頁岩
図Ⅴ－34	66	スクレイパー	f-52	撹乱	3.60	2.67	1.05	6.80	黒曜石
図Ⅴ－34	67	スクレイパー	e-54	撹乱	5.30	2.40	0.80	11.90	黒曜石
図Ⅴ－34	68	細石刃	f-50	Ⅳ	(2.50)	1.20	0.35	1.30	黒曜石
図Ⅴ－35	69	スクレイパー	f-50	Ⅳ層	5.50	4.10	0.55	10.10	黒曜石
図Ⅴ－35	70	スクレイパー	e-53	撹乱	5.10	6.30	1.50	29.80	黒曜石
図Ⅴ－35	71	スクレイパー	c-55	Ⅴ層	5.40	2.92	1.38	20.00	緑色泥岩
図Ⅴ－35	72	石斧	f-54	撹乱	4.45	3.20	0.90	22.00	緑色泥岩
図Ⅴ－35	73	石斧	c-60	撹乱	8.30	4.40	1.65	90.00	片岩
図Ⅴ－35	74	石斧	e-54	撹乱	6.00	3.80	1.70	38.00	緑色泥岩
図Ⅴ－35	75	石斧	e-54	撹乱	(8.80)	(2.73)	(1.50)	43.00	緑色泥岩
図Ⅴ－35	76	石斧	b-60	Ⅲ層上面	(6.10)	3.70	1.40	50.00	緑色泥岩
図Ⅴ－35	77	石斧	e-53	撹乱	(5.75)	5.30	2.30	53.00	緑色泥岩
図Ⅴ－35	78	石斧	e-53	撹乱	(6.15)	3.90	1.75	64.00	緑色泥岩
図Ⅴ－35	79	石斧	h-51	Ⅵ層	(5.10)	4.10	2.60	67.34	緑色泥岩
図Ⅴ－35	80	石斧	f-54	撹乱	(5.00)	4.60	2.50	110.44	緑色泥岩
図Ⅴ－35	81	石斧	d-55	撹乱	(7.95)	5.00	1.50	103.30	緑色泥岩
図Ⅴ－35	82	石斧	g-55	Ⅲ層	8.80	5.55	3.20	222.00	片岩
図Ⅴ－35	83	石斧	c-60	Ⅴ層上面	(11.32)	2-5.6	2.30	196.00	泥岩
図Ⅴ－35	84	石斧素材	e-53	撹乱	(10.20)	7.15	4.20	218.00	緑色泥岩
図Ⅴ－35	85	石斧素材	b-60	Ⅲ層	(10.24)	5.25	2.75	180.00	緑色泥岩
図Ⅴ－35	86	すり石	g-50	Ⅵ層	7.75	(8.70)	4.20	304.00	緑色泥岩
図Ⅴ－36	87	たたき石	c-59	撹乱	7.90	(6.75)	2.80	202.00	緑色泥岩
図Ⅴ－36	88	たたき石	e-54	撹乱	5.90	6.20	4.30	246.00	緑色泥岩
図Ⅴ－36	89	たたき石	d-54	Ⅴ層	7.30	(4.50)	5.20	285.00	緑色泥岩
図Ⅴ－36	90	砥石		表採	(6.40)	4.00	3.85	174.00	砂岩
図Ⅴ－36	91	砥石	f-55	撹乱	(6.70)	(6.20)	(2.35)	124.00	砂岩
図Ⅴ－36	92	砥石	g-51	Ⅲ層	(9.50)	(7.05)	1.80	212.00	砂岩
図Ⅴ－36	93	砥石	d-55	Ⅲ層	(10.98)	(9.77)	(1.85)	232.00	砂岩
図Ⅴ－36	94	砥石	g-54	Ⅳ層	(11.30)	(9.75)	4.00	662.00	砂岩
図Ⅴ－36	95	石皿・台石	e-53	撹乱	14.75	9.40	1.35	316.00	泥岩
図Ⅴ－36	96	土玉	e-50	Ⅴ層	-	-	-	-	-
図Ⅴ－36	97	土玉	g-51	Ⅳ層	-	-	-	-	-
図Ⅴ－36	98	垂飾	e-53	Ⅴ層	-	-	-	-	-
図Ⅴ－36	99	垂飾	b-60	Ⅴ層	-	-	-	-	-
図Ⅴ－36	100	耳栓	f-53	Ⅵ層	-	-	-	-	-
図Ⅴ－36	101	垂飾	b-60	Ⅴ層上面	-	-	-	-	-
図Ⅴ－36	102	垂飾	h-51	Ⅴ層	-	-	-	-	-

表7　包含層掲載石器一覧(6)

図番号		分類	グリッド	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
K地区									
図Ⅴ-37	1	石鏃	c-72	Ⅴ層上面	1.57	1.20	0.40	0.50	黒曜石
図Ⅴ-37	2	石鏃	b-69	Ⅳ層	(2.10)	1.30	0.25	0.60	黒曜石
図Ⅴ-37	3	石鏃	e-70	Ⅶ層	(2.20)	(1.50)	0.50	1.30	黒曜石
図Ⅴ-37	4	石鏃	b-72	Ⅴ層	(2.10)	1.40	0.45	0.92	黒曜石
図Ⅴ-37	5	石鏃	KLH-6	覆土	(2.00)	1.50	0.42	0.83	頁岩
図Ⅴ-37	6	石鏃	d-71	Ⅴ層	(2.75)	1.90	0.47	2.10	黒曜石
図Ⅴ-37	7	石鏃	KLH-5	覆土	(1.85)	(1.40)	0.33	0.62	黒曜石
図Ⅴ-37	8	石鏃	b-70	Ⅳ層	(2.25)	1.65	0.55	1.27	黒曜石
図Ⅴ-37	9	石鏃	a-69	Ⅴ層	2.70	1.50	0.53	0.90	頁岩
図Ⅴ-37	10	石鏃	d-71	Ⅳ層	2.88	1.50	0.50	1.50	黒曜石
図Ⅴ-37	11	石鏃	b-70	Ⅴ層	2.90	1.30	0.45	1.07	頁岩
図Ⅴ-37	12	石鏃	c-72	Ⅴ層	(2.44)	1.40	0.40	1.06	黒曜石
図Ⅴ-37	13	石鏃	b-70	Ⅴ層	(1.60)	1.65	0.42	0.90	黒曜石
図Ⅴ-37	14	石鏃	d-58	Ⅴ層上面	(2.35)	1.30	0.40	1.20	黒曜石
図Ⅴ-37	15	石鏃	d-71	Ⅳ層上面	(1.90)	0.98	0.30	0.40	黒曜石
図Ⅴ-37	16	石鏃	a-69	Ⅳ層	2.20	0.90	0.30	0.58	黒曜石
図Ⅴ-37	17	石鏃	b-69	Ⅴ層	3.15	1.65	0.75	2.09	黒曜石
図Ⅴ-37	18	石錐	c-68	Ⅵ層	3.29	1.37	0.48	2.00	黒曜石
図Ⅴ-37	19	石斧	b-69	Ⅳ層	(8.30)	6.25	2.60	22.00	緑色泥岩
図Ⅴ-37	20	たたき石	c-69	Ⅴ層	6.25	3.00	(2.60)	80.00	砂岩
図Ⅴ-37	21	石皿・台石	d-69	Ⅴ層	(12.90)	(5.90)	(3.90)	210.00	砂岩
図Ⅴ-37	22	石斧素材	d-71	Ⅵ層	(13.00)	7.20	3.50	88.00	緑色泥岩
図Ⅴ-37	23	たたき石	d-70	Ⅴ層	15.35	9.55	6.26	200.00	泥岩
図Ⅴ-37	24	石玉	b-70	Ⅴ層	7.60	7.50	4.60	2.20	滑石
I地区									
図Ⅵ-95	1	石鏃	3-97	Ⅲ層	3.80	(1.40)	0.30	1.70	黒曜石
図Ⅵ-95	2	石鏃	p-94	Ⅲ層	(2.70)	1.60	0.47	1.40	黒曜石
図Ⅵ-95	3	石斧	l-108	Ⅲ層	(6.00)	3.70	0.90	39.90	緑色泥岩
図Ⅵ-96	1	石鏃	x-98	Ⅳ層	3.15	1.50	0.32	1.10	黒曜石
図Ⅵ-96	2	石鏃	t-98	Ⅳ層	(2.25)	(1.55)	0.35	0.90	黒曜石
図Ⅵ-96	3	石鏃	z-106	Ⅳ層	(3.10)	1.80	0.50	1.90	黒曜石
図Ⅵ-96	4	石鏃	r-96	Ⅳ層	2.95	1.50	0.35	0.90	黒曜石
図Ⅵ-96	5	石鏃	p-92	Ⅳ層	(1.43)	1.54	0.47	0.60	黒曜石
図Ⅵ-96	6	石鏃	z-105	Ⅳ層	(2.15)	(1.15)	0.43	0.50	黒曜石
図Ⅵ-96	7	石鏃	l-103	Ⅳ層	(2.30)	1.60	0.35	0.70	黒曜石
図Ⅵ-96	8	石鏃	x-98	Ⅳ層	(2.57)	1.20	0.40	1.00	黒曜石
図Ⅵ-96	9	石鏃	x-98	Ⅳ層	(3.35)	1.30	0.60	1.70	黒曜石
図Ⅵ-96	10	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	r-116	Ⅳ層	3.70	5.40	1.08	13.50	黒曜石
図Ⅵ-96	11	石斧	q-98	Ⅳ層	(8.50)	5.80	1.80	145.10	緑色泥岩
図Ⅵ-96	12	たたき石	n-96	Ⅳ層	6.05	(7.30)	(5.30)	262.40	安山岩
図Ⅵ-96	13	すり石	q-98	Ⅳ層	7.80	3.84	(3.17)	227.30	ｶﾝﾗﾝ岩
図Ⅵ-97	1	石鏃	l-105	Ⅴ層	1.40	0.80	0.20	0.10	黒曜石
図Ⅵ-97	2	石鏃	q-109	Ⅴ層	1.50	1.10	0.20	0.20	黒曜石
図Ⅵ-97	3	石鏃	p-108	Ⅴ層	1.80	1.20	0.25	0.40	黒曜石
図Ⅵ-97	4	石鏃	l-107	Ⅴ層	(1.85)	1.15	0.20	0.40	黒曜石
図Ⅵ-97	5	石鏃	2-98	Ⅴ層	2.10	1.17	0.30	0.70	黒曜石
図Ⅵ-97	6	石鏃	2-101	Ⅴ層	2.20	(1.40)	0.20	0.40	黒曜石
図Ⅵ-97	7	石鏃	y-95	Ⅴ層	(2.30)	1.60	0.30	0.90	黒曜石
図Ⅵ-97	8	石鏃	p-94	Ⅴ層	2.10	1.38	0.38	0.60	黒曜石
図Ⅵ-97	9	石鏃	3-100	Ⅴ層	(3.00)	1.70	0.55	1.80	黒曜石
図Ⅵ-97	10	石鏃	k-107	Ⅴ層	(1.40)	1.60	0.40	0.50	黒曜石
図Ⅵ-97	11	石鏃	o-92	Ⅴ層	1.80	1.40	0.45	0.60	黒曜石
図Ⅵ-97	12	石鏃	l-101	Ⅴ層	2.20	1.40	0.50	0.80	黒曜石
図Ⅵ-97	13	石鏃	s-93	Ⅴ層	1.90	1.40	0.40	0.70	黒曜石
図Ⅵ-97	14	石鏃	3-100	Ⅴ層	2.45	1.60	0.52	1.20	黒曜石
図Ⅵ-97	15	石鏃	i-98	Ⅴ層	2.10	1.20	0.30	0.50	黒曜石
図Ⅵ-97	16	石鏃	p-96	Ⅴ層	(2.00)	1.30	0.50	0.90	黒曜石
図Ⅵ-97	17	石鏃	t-99	Ⅴ層	2.90	(1.45)	0.55	1.00	黒曜石
図Ⅵ-97	18	石鏃	t-103	Ⅴ層	(2.80)	1.50	0.45	0.90	黒曜石
図Ⅵ-97	19	石鏃	q-95	Ⅴ層	(2.65)	1.55	0.45	1.10	黒曜石
図Ⅵ-97	20	石鏃	s-102	Ⅴ層	(2.00)	1.50	0.40	0.60	黒曜石
図Ⅵ-97	21	石鏃	s-93	Ⅴ層	2.40	(1.15)	0.50	0.60	黒曜石
図Ⅵ-97	22	石鏃	x-99	Ⅴ層	(3.60)	1.70	0.60	2.50	黒曜石
図Ⅵ-97	23	石槍またはﾅｲﾌ	z-96	Ⅴ層	6.45	2.65	1.10	13.90	黒曜石
図Ⅵ-97	24	つまみ付ﾅｲﾌ	q-112	Ⅴ層	4.45	2.10	0.55	4.70	珪質頁岩
図Ⅵ-97	25	つまみ付ﾅｲﾌ	l-106	Ⅴ層	4.53	2.28	0.81	6.00	黒曜石
図Ⅵ-97	26	つまみ付ﾅｲﾌ	p-108	Ⅴ層	(4.40)	3.20	0.90	9.80	黒曜石
図Ⅵ-97	27	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	p-107	Ⅴ層	2.85	2.80	1.14	7.90	黒曜石
図Ⅵ-97	28	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	3-101	Ⅴ層	5.32	2.63	1.00	8.50	黒曜石
図Ⅵ-97	29	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	i-103	Ⅴ層	4.59	2.09	1.00	6.40	黒曜石
図Ⅵ-97	30	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	l-105	Ⅴ層	3.10	2.52	0.75	5.60	珪質頁岩

表7　包含層掲載石器一覧(7)

図番号		分類	グリッド	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
図Ⅵ-97	31	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	v-102	Ⅴ層	2.82	3.13	0.87	6.80	黒曜石
図Ⅵ-97	32	石斧	s-111	Ⅴ層	(5.50)	2.80	0.60	12.20	片岩
図Ⅵ-97	33	石斧	4-103	Ⅴ層	(3.55)	2.60	0.70	26.30	緑色泥岩
図Ⅵ-97	34	石斧	s-106	Ⅴ層	(5.95)	3.40	1.20	37.50	片岩
図Ⅵ-97	35	石斧	n-105	Ⅴ層	8.70	4.80	1.80	115.00	緑色泥岩
図Ⅵ-97	36	石斧	s-100	Ⅴ層	(6.20)	4.80	1.60	80.60	緑色泥岩
図Ⅵ-97	37	石斧	4-104	Ⅴ層	(10.50)	6.20	2.60	234.20	片岩
図Ⅵ-98	38	たたき石	p-99	Ⅴ層	(12.20)	5.80	5.00	603.00	ｶﾝﾗﾝ岩
図Ⅵ-98	39	砥石	z-103	Ⅴ層	(5.95)	2.90	1.30	27.00	砂岩
図Ⅵ-98	40	台石	k-108	Ⅴ層	(9.80)	(9.95)	6.50	621.20	砂岩
図Ⅵ-98	41	石製品	p-100	Ⅴ層	(6.60)	(4.60)	(1.30)	65.10	粘板岩
図Ⅵ-98	42	石製品	l-106	Ⅴ層	(4.90)	3.70	1.70	39.50	砂岩
図Ⅵ-99	1	石鏃	o-101	Ⅴa層	(3.40)	1.20	0.35	1.30	黒曜石
図Ⅵ-99	2	石鏃	v-94	Ⅴa層	2.50	1.85	0.30	0.70	黒曜石
図Ⅵ-99	3	石鏃	p-95	Ⅴa層	(1.90)	1.55	0.36	0.40	黒曜石
図Ⅵ-99	4	石鏃	p-97	Ⅴa層	1.90	1.30	0.50	0.70	黒曜石
図Ⅵ-99	5	石鏃	r-94	Ⅴa層	(2.50)	1.65	0.50	1.00	黒曜石
図Ⅵ-99	6	石鏃	p-94	Ⅴa層	(2.40)	1.60	0.35	0.70	黒曜石
図Ⅵ-99	7	石錐	r-93	Ⅴa層	(2.17)	0.80	0.45	0.80	黒曜石
図Ⅵ-99	8	石錐	t-95	Ⅴa層	(2.70)	0.90	0.70	1.80	ﾒﾉｳ
図Ⅵ-99	9	つまみ付ナイフ	t-95	Ⅴa層	4.90	3.10	1.10	12.90	黒曜石
図Ⅵ-99	10	つまみ付ナイフ	r-94	Ⅴa層	4.50	3.60	1.40	11.70	黒曜石
図Ⅵ-99	11	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	m-104	Ⅴa層	3.05	2.80	0.63	4.50	黒曜石
図Ⅵ-99	12	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	t-98	Ⅴa層	2.90	2.60	0.84	6.60	黒曜石
図Ⅵ-99	13	石斧	t-95	Ⅴa層	(6.60)	3.40	1.30	51.40	緑色泥岩
図Ⅵ-99	14	石斧	5-103	Ⅴa層	(7.10)	6.00	2.75	185.50	緑色泥岩
図Ⅵ-99	15	たたき石	o-103	Ⅴa層	11.10	8.90	3.80	630.00	片麻岩
図Ⅵ-99	16	たたき石	r-98	Ⅴa層	(7.45)	3.27	2.80	157.50	砂岩
図Ⅵ-100	1	石鏃	i-104	Ⅴb層	(2.20)	1.70	0.45	2.10	黒曜石
図Ⅵ-100	2	石鏃	p-111	Ⅴb層	1.60	1.20	0.20	0.30	黒曜石
図Ⅵ-100	3	石鏃	k-112	Ⅴb層	1.80	1.05	0.20	0.20	黒曜石
図Ⅵ-100	4	石鏃	m-98	Ⅴb層	1.70	1.05	0.25	0.30	黒曜石
図Ⅵ-100	5	石鏃	l-115	Ⅴb層	(1.70)	1.15	0.20	0.20	黒曜石
図Ⅵ-100	6	石鏃	q-112	Ⅴb層	2.10	0.80	0.20	0.10	黒曜石
図Ⅵ-100	7	石鏃	r-110	Ⅴb層	(1.25)	0.90	0.20	0.10	黒曜石
図Ⅵ-100	8	石鏃	w-102	Ⅴb層	2.15	1.55	0.30	0.60	黒曜石
図Ⅵ-100	9	石鏃	n-114	Ⅴb層	(3.00)	1.70	0.50	1.50	頁岩
図Ⅵ-100	10	石鏃	3-99	Ⅴb層	(2.00)	1.40	0.30	0.60	黒曜石
図Ⅵ-100	11	石鏃	2-99	Ⅴb層	(2.15)	1.50	0.40	0.80	黒曜石
図Ⅵ-100	12	石鏃	s-100	Ⅴb層	(2.20)	1.45	0.40	0.90	黒曜石
図Ⅵ-100	13	石鏃	q-101	Ⅴb層	(2.70)	1.85	0.35	1.00	黒曜石
図Ⅵ-100	14	石鏃	o-96	Ⅴb層	(3.00)	1.90	0.50	1.60	黒曜石
図Ⅵ-100	15	石鏃	s-93	Ⅴb層	(3.20)	(1.60)	0.50	1.40	黒曜石
図Ⅵ-100	16	石鏃	4-103	Ⅴb層	(3.10)	1.50	0.40	1.10	黒曜石
図Ⅵ-100	17	石鏃	o-96	Ⅴb層	(2.70)	1.60	0.70	2.00	黒曜石
図Ⅵ-100	18	石槍またはナイフ	z-99	Ⅴb層	(5.20)	2.50	0.90	7.50	黒曜石
図Ⅵ-100	19	石錐	n-96	Ⅴb層	(2.70)	2.00	0.77	2.70	頁岩
図Ⅵ-100	20	つまみ付ナイフ	n-106	Ⅴb層	5.30	2.20	0.70	7.10	黒曜石
図Ⅵ-100	21	つまみ付ナイフ	r-116	Ⅴb層	3.30	1.80	0.40	1.80	頁岩
図Ⅵ-100	22	つまみ付ナイフ	q-116	Ⅴb層	4.05	3.00	0.70	6.10	黒曜石
図Ⅵ-100	23	つまみ付ナイフ	l-107	Ⅴb層	4.25	2.60	0.60	5.80	黒曜石
図Ⅵ-100	24	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	r-114	Ⅴb層	4.00	3.66	1.16	15.80	黒曜石
図Ⅵ-100	25	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	l-103	Ⅴb層	2.85	3.05	0.87	7.20	黒曜石
図Ⅵ-100	26	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	l-107	Ⅴb層	3.00	2.90	0.60	5.70	黒曜石
図Ⅵ-100	27	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	p-110	Ⅴb層	2.75	2.75	1.07	7.70	黒曜石
図Ⅵ-100	28	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	k-107	Ⅴb層	4.30	1.75	0.92	5.30	黒曜石
図Ⅵ-100	29	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	l-107	Ⅴb層	5.30	2.73	1.47	17.30	黒曜石
図Ⅵ-100	30	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	q-110	Ⅴb層	(5.90)	3.70	1.60	40.30	珪質頁岩
図Ⅵ-100	31	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	r-116	Ⅴb層	3.32	2.89	1.77	7.10	黒曜石
図Ⅵ-100	32	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	k-113	Ⅴb層	3.40	3.27	0.90	7.70	黒曜石
図Ⅵ-100	33	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	l-107	Ⅴb層	3.98	2.85	0.95	7.80	黒曜石
図Ⅵ-100	34	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	l-106	Ⅴb層	3.40	2.87	1.25	11.50	黒曜石
図Ⅵ-100	35	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	l-107	Ⅴb層	2.80	2.45	0.61	3.50	黒曜石
図Ⅵ-100	36	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	n-105	Ⅴb層	3.40	2.90	0.63	5.40	黒曜石
図Ⅵ-100	37	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	r-111	Ⅴb層	3.80	3.83	1.10	11.20	黒曜石
図Ⅵ-101	38	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	l-107	Ⅴb層	4.43	3.85	1.55	25.80	黒曜石
図Ⅵ-101	39	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	l-107	Ⅴb層	3.80	3.85	1.10	19.20	黒曜石
図Ⅵ-101	40	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	r-116	Ⅴb層	(5.03)	2.90	1.30	18.90	頁岩
図Ⅵ-101	41	石斧	q-109	Ⅴb層	(6.15)	(2.30)	1.20	23.60	緑色泥岩
図Ⅵ-101	42	石斧	m-111	Ⅴb層	(12.30)	4.20	1.40	119.90	緑色泥岩
図Ⅵ-101	43	石斧	m-107	Ⅴb層	5.50	2.10	0.60	10.40	緑色泥岩
図Ⅵ-101	44	石斧	4-103	Ⅴb層	(5.30)	(3.20)	0.90	26.30	片岩

表7　包含層掲載石器一覧(8)

図番号		分類	グリッド	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
図Ⅵ-101	45	たたき石	s-108	Vb層	(6.70)	9.10	3.80	314.40	安山岩
図Ⅵ-101	46	すり石	o-112	Vb層	7.80	15.30	4.30	673.80	砂岩
図Ⅵ-101	47	すり石	r-114	Vb層	7.20	(6.50)	4.10	236.00	閃緑岩
図Ⅵ-101	48	すり石	n-113	Vb層	15.00	16.30	4.90	1027.50	砂岩
図Ⅵ-101	49	すり石	q-116	Vb層	10.10	10.50	3.60	567.60	砂岩
図Ⅵ-101	50	すり石	q-96	Vb層	(12.60)	(9.80)	4.00	746.50	砂岩
図Ⅵ-101	51	砥石	q-110	Vb層	(5.25)	(8.30)	3.70	159.00	砂岩
図Ⅵ-101	52	石錐	k-108	Vb層	4.90	(7.40)	1.80	66.50	砂岩
図Ⅵ-101	53	石皿	n-113	Vb層	(13.50)	(19.40)	2.24	717.40	安山岩
図Ⅵ-102	1	石鏃	o-112	Ⅵ層	2.15	0.80	0.26	0.50	黒曜石
図Ⅵ-102	2	石鏃	l-111	Ⅵ層	3.40	1.40	0.43	1.90	黒曜石
図Ⅵ-102	3	石鏃	q-113	Ⅵ層	1.97	0.75	0.16	0.20	黒曜石
図Ⅵ-102	4	つまみ付ナイフ	n-106	Ⅵ層	3.53	2.30	0.72	5.20	黒曜石
図Ⅵ-102	5	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	p-108	Ⅵ層	3.50	3.85	0.85	10.90	黒曜石
図Ⅵ-102	6	たたき石	m-101	Ⅵ層	14.05	5.20	3.35	324.50	砂岩
図Ⅵ-102	7	たたき石	k-111	Ⅵ層	14.80	6.00	2.30	377.60	砂岩
図Ⅵ-102	8	砥石	s-95	Ⅵ層	(8.20)	(12.00)	2.90	370.40	砂岩
図Ⅵ-102	9	石皿	o-105	Ⅵ層	38.60	38.20	6.40	13.1kg	砂岩
図Ⅵ-103	1	石鏃	n-112	Ⅶ層	2.60	1.38	0.35	0.70	黒曜石
図Ⅵ-103	2	石鏃	q-113	Ⅶ層	1.30	0.70	0.17	0.10	黒曜石
図Ⅵ-103	3	石鏃	q-113	Ⅶ層	1.70	1.35	0.33	0.50	黒曜石
図Ⅵ-103	4	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	n-114	Ⅶ層	3.23	3.00	0.85	6.10	黒曜石
図Ⅵ-103	5	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	〃	Ⅶ層	3.80	2.40	0.80	5.20	黒曜石
図Ⅵ-103	6	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	o-112	Ⅶ層	2.90	3.10	1.25	10.10	黒曜石
図Ⅵ-103	7	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	r-110	Ⅶ層	3.00	2.40	1.05	6.30	黒曜石
図Ⅵ-103	8	すり石	p-109	Ⅶ層	(7.00)	(18.00)	5.20	706.40	砂岩
図Ⅵ-104	1	石鏃	m-109	Ⅰ層	(1.80)	(1.40)	0.40	0.60	黒曜石
図Ⅵ-104	2	石鏃	o-93	Ⅰ層	(2.10)	1.20	0.40	0.60	黒曜石
図Ⅵ-104	3	石鏃	〃	Ⅰ層	(2.10)	1.40	0.50	1.10	黒曜石
図Ⅵ-104	4	石錐	o-92	Ⅰ層	(2.30)	(1.68)	0.58	1.10	黒曜石
図Ⅵ-104	5	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	q-111	Ⅰ層	3.10	3.25	0.93	8.00	黒曜石
図Ⅵ-104	6	すり石	y-108	Ⅰ層	3.70	(5.90)	3.25	91.30	片麻岩
図Ⅵ-104	7	石製品	p-95	Ⅰ層	2.13	1.75	0.50	1.30	黒曜石
図Ⅵ-104	1	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	排土	Ⅰ層	8.40	11.45	1.80	272.50	砂石
図Ⅵ-104	2	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	q-111	撹乱	2.55	2.80	0.70	6.40	黒曜石
図Ⅵ-104	3	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	q-94	撹乱	7.85	6.82	1.20	41.70	黒曜石
図Ⅵ-104	4	すり石	r-113	撹乱	8.40	(5.25)	5.50	382.10	砂岩
図Ⅵ-104	5	砥石	o-99	撹乱	(6.20)	(10.20)	3.30	301.20	砂岩
図Ⅵ-104	6	台石	q-115	撹乱	(17.20)	(11.03)	10.20	2000.00	砂岩
図Ⅵ-104	7	石製品	q-95	撹乱	(6.95)	(2.80)	(1.20)	36.00	泥岩

表8　掲載木製品一覧

A地区遺構出土の木製品一覧表

図	番号	名称	遺構番号	層位	木取り	樹皮	焼痕	樹種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	縮尺	破片	備考
図Ⅳ-43	8	杵形木製品	ALP-1	覆土2	股木			カエデ属	53.20	14.82	24.40	5377.3	1/3	1	
図Ⅳ-53	1	炭化材	ALP-2	覆土	板目		○	コナラ属	35.50	(8.42)	4.75	(535.3)	1/3	1	
図Ⅳ-54	2	板材片	ALP-2	覆土	板目			トネリコ属	8.47	(7.45)	1.17	(40.1)	1/3	1	
図Ⅳ-54	3	偏平垂円木	ALP-2	壙底直上	柾目			カエデ属	9.80	7.90	3.85	134.2	1/3	1	
図Ⅳ-53	4	串状製品	ALP-2	覆土	板目			コナラ属	13.00	0.95	0.80	5.8	1/3	1	
図Ⅳ-54	5	尖頭木製品	ALP-2	覆土	追柾			コナラ属	8.66	1.15	1.11	5.4	1/3	1	
図Ⅳ-53	6	加工木片	ALP-2	覆土	柾目			コナラ属	15.20	1.90	1.35	21.6	1/3	1	
図Ⅳ-53	7	串状製品片	ALP-2	覆土	丸木			トネリコ属	(11.09)	1.56	1.36	(10.0)	1/3	1	
図Ⅳ-53	8	面取り丸木材片	ALP-2	覆土	丸木			ハシドイ属	34.48	4.99	4.34	350.2	1/3	5	
図Ⅳ-54	9	串状製品	ALP-2	覆土	板目		○	アジサイ属	22.10	1.45	1.50	19.6	1/3	1	
図Ⅳ-59	33	楔状製品未成品	ALP-3	覆土	股木			カエデ属	35.55	12.65	7.45	1296.0	1/3	1	
図Ⅳ-58	32	容器	ALP-4	覆土1	板目			トネリコ属	(12.32)	(4.68)	1.21	(24.8)	1/3	2	
図Ⅳ-65	12	楔状製品片	ALP-11	覆土	股木			カエデ属	(13.57)	(9.55)	6.90	(415.9)	1/3	1	
図Ⅳ-65	11	切片	ALP-11	覆土	丸木		○	コナラ属	(11.58)	2.73	1.62	(23.8)	1/3	1	
図Ⅳ-63	1	杭先	ALKP1	Ⅴ	丸木	○		ハシドイ属	(12.09)	7.00	7.72	(349.2)	1/3	1	
図Ⅳ-64	1	立杭	ALKP2	Ⅴ	丸木			ヤナギ属	(73.20)	8.40	8.90	2969.2	1/3	3	

A地区包含層出土の木製品一覧表

図	番号	名称	遺構番号	層位	木取り	樹皮	焼痕	樹種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	縮尺	破片	備考
図Ⅳ-139	1	角材	K-47	Ⅲ-1	割材			コナラ属	206.67	5.70	5.93	3200.2	1/3	4	
図Ⅳ-139	2	抉付割材片	Z-52	Ⅲ	板目			コナラ属	(28.87)	5.08	2.64	172.4	1/3	1	
図Ⅳ-139	3	柱	f-49	Ⅲ	丸木			ハンノキ属	(32.90)	13.90	11.60	(3185.7)	1/3	5	
図Ⅳ-139	4	丸杭	Z-51	Ⅲ-4	丸木			ハンノキ	(38.04)	8.26	7.03	(1156.0)	1/3	2	
図Ⅳ-140	5	杭	Z-52	Ⅲ	丸木			ハンノキ属	(95.80)	14.95	12.10	(4835.5)	1/4	2	
図Ⅳ-141	6	股木材	Z-50	Ⅲ	股木	○		ハンノキ属	(95.70)	29.20	32.00	(5658.0)	1/4	47	
図Ⅳ-142	7	ベンガラ漆塗容器片	c-47	Ⅴ-3	横木			トチノキ	(8.72)	(5.63)	(5.68)	(61.1)	1/2	5	1069と接合
図Ⅳ-142	7	ベンガラ漆塗容器片	c-47	Ⅴ-3				トチノキ							1069
図Ⅳ-142	8	ベンガラ漆塗容器片	c-47	Ⅴ-ロ	板目(横木)			トチノキ	4.71	2.67	0.66	2.6	1/2	3	
図Ⅳ-142	9	ベンガラ漆塗容器片	c-47	Ⅴ-3	横木			トチノキ	(2.16)	(8.39)	(1.63)	(9.9)	1/2	2	底部
図Ⅳ-142	10	朱漆塗丸木弓片	Z-47	Ⅴ-4	丸木			ニシキギ	(8.90)	2.93	2.22	(27.1)	1/2	15	
図Ⅳ-142	11	朱漆塗丸木弓片	Z-47	Ⅴ-3	丸木			ニシキギ	(7.01)	2.02	2.49	(13.5)	1/2	31	
図Ⅳ-142	12	環状樹皮製品	c-48	Ⅴ-4	樹皮	○		?	9.58	7.20	1.10	4.6	1/2	1	
図Ⅳ-143	13	楔状製品片	a-47	Ⅴ-4	股木			カエデ	(15.50)	(10.90)	4.90	(461.1)	1/3	3	
図Ⅳ-143	14	抉付建材切断品	a-46	Ⅴ	半割			トネリコ	15.14	19.48	8.46	982.9	1/3	23	
図Ⅳ-144	15	板材片	Z-47	Ⅴ	板目	○		コナラ属	84.08	(11.82)	3.24	(999.6)	1/4	6	
図Ⅳ-145	16	板材	c-47	覆土	板目			トネリコ	(18.98)	(8.43)	1.50	(104.2)	1/3	2	旧ALH2
図Ⅳ-145	17	加工割棒	Z-48	Ⅴ-4	柾目			コナラ	31.50	2.90	2.35	117.6	1/3	1	
図Ⅳ-145	18	突起抉り付板材	Z-47	Ⅴ-4	柾目			コナラ属	(49.45)	(9.69)	(4.26)	(1064.7)	1/4	2	
図Ⅳ-146	19	加工板材	Z-47	Ⅴ-4	丸木	○		コナラ属	41.80	19.18	5.72	1933.8	1/3	1	
図Ⅳ-147	20	厚板材	Z-47	Ⅴ-4	柾目	○		コナラ	52.55	(18.30)	7.90	(4594.6)	1/3	8	
図Ⅳ-148	21	細角棒片	T-40	Ⅴ(泥炭)	柾目			クワ属	(65.55)	1.85	1.35	(82.9)	1/3	1	
図Ⅳ-149	22	杭状製品片	I-38	Ⅴ-8b	丸木			ハンノキ属	(14.30)	5.05	(5.58)	(139.2)	1/3	1	
図Ⅳ-149	23	杭状製品	I-37	Ⅴ-8b	丸木			トネリコ属	(27.65)	4.55	4.03	268.7	1/3	2	
図Ⅳ-149	24	尖頭加工棒	H-37	Ⅴ	丸木			アジサイ属	105.00	4.40	3.40	690.8	1/4	6	
図Ⅳ-150	25	炭化割材	H-37	Ⅴ-8b	柾目	○		コナラ属	38.40	7.50	5.00	559.0	1/3	1	
図Ⅳ-150	26	板材片	H-37	Ⅴ-8b	柾目			コナラ属	(13.06)	(5.02)	1.18	(30.8)	1/3	3	
図Ⅳ-150	27	割材(蜜柑割)	H-37	Ⅴ-8b	柾目	○		コナラ属	65.25	4.95	4.74	488.2	1/3	6	
図Ⅳ-151	28	炭化丸木材片	H-37	Ⅴ-8b	股木	○		トネリコ属	(42.40)	3.95	3.50	(161.9)	1/3	2	
図Ⅳ-151	29	炭化丸木材片	H-37	Ⅴ-8b	丸木	○		トネリコ属	(46.49)	3.54	2.92	(227.1)	1/3	4	
図Ⅳ-151	30	炭化材片	H-37	Ⅴ-8b	半割	○		トネリコ属	21.18	4.14	2.39	123.4	1/3	3	

H地区包含層出土の木製品一覧表

図	番号	名称	遺構番号	層位	木取り	樹皮	焼痕	樹種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	縮尺	破片	備考
図Ⅴ-22	1	杭	HUKP-1	Ⅲ-1	丸木	○		サクラ属	(39.07)	4.70	4.42	(413.0)	1/3	3	

報告書抄録

ふりがな	ちとせし　きうすよんいせき
書名	千歳市　キウス４遺跡（３）Ａ・Ｈ・Ｋ・Ｉ地区
副書名	北海道横断自動車道（千歳～夕張）埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第１３４集
編著者名	佐川俊一・和泉田毅・藤井　浩・山中文雄・玉邑雅筆・袖岡淳子・阿部明義
編集機関	(財)北海道埋蔵文化財センター
所在地	〒064-0926　北海道札幌市中央区南26条11丁目　TEL 011-561-3131
発行年月日	西暦1999年３月31日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
きうすよん キウス４	ほっかいどう　ちとせし 北海道千歳市 ちゅうおう 中央1190-3ほか	01224	Ａ-03-92	42度 52分 48秒	141度 42分 45秒	19970506～ 19971030	10,990	道路建設に伴う・事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項
キウス４遺跡	集落跡	縄文時代	住居跡	17	土器	152,000	水場遺構を構成する
Ａ地区		早期	土壙	60	石器	31,000	土壙群
		前期	焼土	61	木製品	60	
		後期	盛土遺構	1	自然遺物	900	
			柱状ピット	198	小計	187,000	
Ｈ地区	集落跡	縄文時代	住居跡	4	土器	34,000	
		後期	柱穴状ピット・土壙	878	石器	6,300	
			焼土	23	木製品	1	
			盛土遺構	3	小計	42,000	
Ｋ地区	集落跡	縄文時代	住居跡	1	土器	11,000	
		後期	柱穴状ピット・土壙	277	石器	870	
			焼土	3			
					小計	12,000	
Ｉ地区		縄文時代	盛土遺構	2	土器	39,000	
		早期	土壙	29	石器	24,000	
		後期	焼土	1455			
			盛土中焼土	80	小計	65,000	

(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第134集

千 歳 市

キウス４遺跡（3）

―北海道横断自動車道（千歳～夕張）埋蔵文化財発掘調査報告書―

第１分冊

平成11年３月31日　発行

編集・発行　財団法人 北海道埋蔵文化財センター
〒064-0926　札幌市中央区南26条西11丁目
TEL(011)561-3131　FAX(011)561-0458
印　　刷　岩橋印刷株式会社
〒063-8580　札幌市西区西町南18丁目１番34号
TEL(011)669-2500　FAX(011)669-2600